

本資料のうち、枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | |
|-----------------------|-------------------|
| 女川原子力発電所第2号機 工事計画審査資料 | |
| 資料番号 | 02-工-B-12-0006_改0 |
| 提出年月日 | 2021年7月20日 |

工事計画に係る説明資料

火災防護設備のうち消火設備

(8.4.2.3 ケーブルトレイ消火設備)

(添付書類)

2021年7月

東北電力株式会社

女川原子力発電所第2号機
工事計画認可申請書本文及び添付書類

目 録

- VI-1-1-4 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書
 - VI-1-1-4-8 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書（その他発電用原子炉の附属施設）
 - VI-1-1-4-8-2 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書（その他発電用原子炉の附属施設（火災防護設備））
 - VI-1-1-4-8-2-1 消火設備に係る設定根拠に関する説明書
 - VI-1-1-4-8-2-1-3 ケーブルトレイ消火設備
 - VI-1-1-4-8-2-1-3-1 ケーブルトレイ消火系
 - VI-1-1-4-8-2-1-3-1-1 ケーブルトレイ消火系 FK-5-1-12 貯蔵容器
 - VI-1-1-4-8-2-1-3-1-2 ケーブルトレイ消火系 主配管（常設）

VI-6 図面

9 その他発電用原子炉の附属施設

9.3 火災防護設備

9.3.2 消火設備

9.3.2.3 ケーブルトレイ消火設備

9.3.2.3.1 ケーブルトレイ消火系

| | | |
|------------------|------------|-------------|
| 第 9-3-2-3-1-1 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 1) |
| 第 9-3-2-3-1-2 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 2) |
| 第 9-3-2-3-1-3 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 3) |
| 第 9-3-2-3-1-4 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 4) |
| 第 9-3-2-3-1-5 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 5) |
| 第 9-3-2-3-1-6 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 6) |
| 第 9-3-2-3-1-7 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 7) |
| 第 9-3-2-3-1-8 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 8) |
| 第 9-3-2-3-1-9 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 9) |
| 第 9-3-2-3-1-10 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 10) |
| 第 9-3-2-3-1-11 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 11) |
| 第 9-3-2-3-1-12 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 12) |
| 第 9-3-2-3-1-13 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 13) |
| 第 9-3-2-3-1-14 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 14) |
| 第 9-3-2-3-1-15 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 15) |
| 第 9-3-2-3-1-16 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 16) |
| 第 9-3-2-3-1-17 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 17) |
| 第 9-3-2-3-1-18 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 18) |
| 第 9-3-2-3-1-19 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 19) |
| 第 9-3-2-3-1-20 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 20) |
| 第 9-3-2-3-1-21 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 21) |
| 第 9-3-2-3-1-22 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 22) |
| 第 9-3-2-3-1-23 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 23) |
| 第 9-3-2-3-1-24 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 24) |
| 第 9-3-2-3-1-25 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 25) |
| 第 9-3-2-3-1-26 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 26) |
| 第 9-3-2-3-1-27 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 27) |
| 第 9-3-2-3-1-28 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 28) |

| | | |
|------------------|------------|--------------|
| 第 9-3-2-3-1-29 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 2 9) |
| 第 9-3-2-3-1-30 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 3 0) |
| 第 9-3-2-3-1-31 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 3 1) |
| 第 9-3-2-3-1-32 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 3 2) |
| 第 9-3-2-3-1-33 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 3 3) |
| 第 9-3-2-3-1-34 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 3 4) |
| 第 9-3-2-3-1-35 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 3 5) |
| 第 9-3-2-3-1-36 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 3 6) |
| 第 9-3-2-3-1-37 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 3 7) |
| 第 9-3-2-3-1-38 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 3 8) |
| 第 9-3-2-3-1-39 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 3 9) |
| 第 9-3-2-3-1-40 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 4 0) |
| 第 9-3-2-3-1-41 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 4 1) |
| 第 9-3-2-3-1-42 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 4 2) |
| 第 9-3-2-3-1-43 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 4 3) |
| 第 9-3-2-3-1-44 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 4 4) |
| 第 9-3-2-3-1-45 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 4 5) |
| 第 9-3-2-3-1-46 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 4 6) |
| 第 9-3-2-3-1-47 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 4 7) |
| 第 9-3-2-3-1-48 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 4 8) |
| 第 9-3-2-3-1-49 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 4 9) |
| 第 9-3-2-3-1-50 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 5 0) |
| 第 9-3-2-3-1-51 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 5 1) |
| 第 9-3-2-3-1-52 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 5 2) |
| 第 9-3-2-3-1-53 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 5 3) |
| 第 9-3-2-3-1-54 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 5 4) |
| 第 9-3-2-3-1-55 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 5 5) |
| 第 9-3-2-3-1-56 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 5 6) |
| 第 9-3-2-3-1-57 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 5 7) |
| 第 9-3-2-3-1-58 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 5 8) |
| 第 9-3-2-3-1-59 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 5 9) |
| 第 9-3-2-3-1-60 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 6 0) |
| 第 9-3-2-3-1-61 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 6 1) |
| 第 9-3-2-3-1-62 図 | ケーブルトレイ消火系 | 系統図 (その 6 2) |

- 第 9-3-2-3-1-97 図 ケーブルトレイ消火系 系統図 (その 97)
- 第 9-3-2-3-1-98 図 ケーブルトレイ消火系 系統図 (その 98)
- 第 9-3-2-3-1-99 図 ケーブルトレイ消火系 系統図 (その 99)
- 第 9-3-2-3-1-100 図 ケーブルトレイ消火系 系統図 (その 100)
- 第 9-3-2-3-1-101 図 ケーブルトレイ消火系 系統図 (その 101)
- 第 9-3-2-3-1-102 図 ケーブルトレイ消火系 系統図 (その 102)
- 第 9-3-2-3-1-103 図 ケーブルトレイ消火系 系統図 (その 103)
- 第 9-3-2-3-1-104 図 ケーブルトレイ消火系 系統図 (その 104)
- 第 9-3-2-3-1-105 図 ケーブルトレイ消火系 系統図 (その 105)
- 第 9-3-2-3-1-106 図 ケーブルトレイ消火系 系統図 (その 106)
- 第 9-3-2-3-1-107 図 ケーブルトレイ消火系 系統図 (その 107)
- 第 9-3-2-3-1-108 図 ケーブルトレイ消火系 系統図 (その 108)
- 第 9-3-2-3-1-109 図 ケーブルトレイ消火系 系統図 (その 109)
- 第 9-3-2-3-1-110 図 ケーブルトレイ消火系 系統図 (その 110)
- 第 9-3-2-3-1-111 図 ケーブルトレイ消火系 系統図 (その 111)
- 第 9-3-2-3-1-112 図 ケーブルトレイ消火系 系統図 (その 112)
- 第 9-3-2-3-1-113 図 ケーブルトレイ消火系 系統図 (その 113)
- 第 9-3-2-3-1-114 図 ケーブルトレイ消火系 系統図 (その 114)
- 第 9-3-2-3-2-1 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P800 用, P401①, P404, P801, P803 用及び P802 用)
- 第 9-3-2-3-2-2 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S100②用, C400②用及び P400①用)
- 第 9-3-2-3-2-3 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S100①用及び C400①用)
- 第 9-3-2-3-2-4 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S605 用, C608 用及び P607 用)
- 第 9-3-2-3-2-5 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(C300②用, S300②用, S300③用及び C300③用)
- 第 9-3-2-3-2-6 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P403⑧, P101⑥用, C403⑧, C100⑧用及び S101④用)
- 第 9-3-2-3-2-7 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S101③用, C403⑦, C100⑦用及び P403⑦, P101⑤用)
- 第 9-3-2-3-2-8 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P101⑦, C403⑨, C100⑨用, P101⑧, C403⑩, C100⑩用)

及び S101⑤用)

- 第 9-3-2-3-2-9 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(C403⑥, C100⑥用及び P403⑥, P101④用)
- 第 9-3-2-3-2-10 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S101②用及び C100⑤用)
- 第 9-3-2-3-2-11 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(C403⑤用, P101③用及び P403⑤用)
- 第 9-3-2-3-2-12 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S101①用, P403④, C403④, C100④用及び P403③, C403③,
C100③用)
- 第 9-3-2-3-2-13 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(C403②, C100②用及び P403②, P101②, C749 用)
- 第 9-3-2-3-2-14 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P403①, P101①用及び C403①, C100①用)
- 第 9-3-2-3-2-15 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P503①, C501①用)
- 第 9-3-2-3-2-16 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S202①用)
- 第 9-3-2-3-2-17 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P502①, P503②, C501②用)
- 第 9-3-2-3-2-18 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S300④用及び C300④用)
- 第 9-3-2-3-2-19 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P202①用及び C202①用)
- 第 9-3-2-3-2-20 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P502②用, P503③用及び C501③用)
- 第 9-3-2-3-2-21 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S202②用)
- 第 9-3-2-3-2-22 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P502③, P503⑤, P202③用及び C501④, C202②用)
- 第 9-3-2-3-2-23 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P502⑤, P503⑦, P202⑤用)
- 第 9-3-2-3-2-24 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P502④, P503⑥, P202④用, C501⑥, C202④用及び S202④用)

- 第 9-3-2-3-2-25 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S202⑤用, C501⑦, C202⑤用及び P502⑥, P503⑧, P202⑥用)
- 第 9-3-2-3-2-26 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P769 用及び C501-1 用)
- 第 9-3-2-3-2-27 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S703 用, C736 用, C729 用及び S704 用)
- 第 9-3-2-3-2-28 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S202③用及び C501⑤, C202③用)
- 第 9-3-2-3-2-29 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P503④, P202②用)
- 第 9-3-2-3-2-30 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(C300①用及び S300①用)
- 第 9-3-2-3-2-31 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S101⑫用及び C403⑫用)
- 第 9-3-2-3-2-32 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S101⑪用, P101⑪, C403⑪, C100⑪用及び P101⑫, C403⑫,
C100⑫用)
- 第 9-3-2-3-2-33 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S101⑩用, C403⑩用及び C100⑩用)
- 第 9-3-2-3-2-34 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S101⑨用, C100⑨用及び C403⑨用)
- 第 9-3-2-3-2-35 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S101⑦用及び S101⑧用)
- 第 9-3-2-3-2-36 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P403⑬, C403⑬, C100⑬用)
- 第 9-3-2-3-2-37 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P403⑪, C403⑬, C100⑬用, P403⑫, C403⑭, C100⑭用及び
C403⑯, C100⑯用)
- 第 9-3-2-3-2-38 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P403⑨, C403⑪, C100⑪用, S101⑥用及び P403⑩, C403⑫,
C100⑫用)
- 第 9-3-2-3-2-39 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P503⑨, P202⑦用, C501⑧, C202⑥用及び S202⑥用)
- 第 9-3-2-3-2-40 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器

- (P503⑪用, P503⑩, P202⑧用, C501⑨, C202⑦用及び S202⑦用)
- 第 9-3-2-3-2-41 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(C501⑪, C202⑨用及び P503⑫, P202⑩用)
- 第 9-3-2-3-2-42 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S202⑧用, P202⑨, C501⑩, C202⑧用及び P202⑪, C501⑫,
C202⑩用)
- 第 9-3-2-3-2-43 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S709①用)
- 第 9-3-2-3-2-44 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S708 用及び C403⑭, C809 用)
- 第 9-3-2-3-2-45 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P101⑨, C403⑬, C100⑫用)
- 第 9-3-2-3-2-46 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P101⑩, C403⑫, C100⑪用及び S101⑬, S709②用)
- 第 9-3-2-3-2-47 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P201①, C201 用)
- 第 9-3-2-3-2-48 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P701⑨, P700⑨, P610⑥用)
- 第 9-3-2-3-2-49 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(K702⑧, K706⑧用, K602②用及び P602⑥, C606④, C601②用)
- 第 9-3-2-3-2-50 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P701⑧, P700⑧, P610⑤用)
- 第 9-3-2-3-2-51 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(C606③用及び S602③用)
- 第 9-3-2-3-2-52 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(K702⑦, K706⑦, P701⑦用, P700⑦, P610④, P602④用及び
P602⑤用)
- 第 9-3-2-3-2-53 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(K702⑥, K706⑥, P701⑥用及び P700⑥, P610③, P602③用)
- 第 9-3-2-3-2-54 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(C606②用及び S602②用)
- 第 9-3-2-3-2-55 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(K702⑤, K706⑤, P701⑤用及び P700⑤, P610②, P602②用)
- 第 9-3-2-3-2-56 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器

(K601, P600, P601 用及び S601②用)

- 第 9-3-2-3-2-57 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(K702④, K706④, P701④用及び P700④, P610①, P602①用)
- 第 9-3-2-3-2-58 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P201⑥用)
- 第 9-3-2-3-2-59 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(K702①, K706①, P701①用及び P700①, P500①, P501①用)
- 第 9-3-2-3-2-60 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(K702②, K706②, P701②用及び P700②, P500②, P501②用)
- 第 9-3-2-3-2-61 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(C606①用)
- 第 9-3-2-3-2-62 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(K702③, K706③, P701③用及び P700③, P500③, P501③用)
- 第 9-3-2-3-2-63 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S602①用)
- 第 9-3-2-3-2-64 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(C602①用, C603②用及び S600①用)
- 第 9-3-2-3-2-65 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(C601①用, C602②用及び S600④用)
- 第 9-3-2-3-2-66 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S600③用)
- 第 9-3-2-3-2-67 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S601③用及び S600②用)
- 第 9-3-2-3-2-68 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P300①, C300⑤用及び S300⑤用)
- 第 9-3-2-3-2-69 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P300③, C300⑦用, S300⑥用, P300②, C300⑥用及び P300④,
C300⑧用)
- 第 9-3-2-3-2-70 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(K100③, P402③用, P102⑤, C100⑰用及び S100③用)
- 第 9-3-2-3-2-71 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(K100⑥, P402⑥用, P102⑥, C100⑳用及び S100④用)
- 第 9-3-2-3-2-72 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(K100⑦, P402⑦用及び P102⑦, C100㉑用)

- 第 9-3-2-3-2-73 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(K201②, P502⑧用及び P201③, C200②用)
- 第 9-3-2-3-2-74 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P201④, C200③用及び K201③, P502⑨用)
- 第 9-3-2-3-2-75 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S200②用, C200④用及び P201⑤用)
- 第 9-3-2-3-2-76 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S100⑤用, P102②, C100④用及び K100②, P402②用)
- 第 9-3-2-3-2-77 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P102①, C100③用及び K100①, P402①用)
- 第 9-3-2-3-2-78 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S200①用, S601①用及び K602①, P603①, C603①用)
- 第 9-3-2-3-2-79 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P201②, C200①用及び K201①, P502⑦用)
- 第 9-3-2-3-2-80 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P102④, C100⑥用及び K100⑤, P402⑤用)
- 第 9-3-2-3-2-81 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S100⑦用)
- 第 9-3-2-3-2-82 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P102③, C100⑤用及び K100④, P402④用)
- 第 9-3-2-3-2-83 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S100⑥用)
- 第 9-3-2-3-2-84 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(K100⑧, P402⑧用, P102⑧, C100⑩用及び S100⑨用)
- 第 9-3-2-3-2-85 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S100⑧用, P102⑨, C100⑪用及び K100⑨, P402⑨用)
- 第 9-3-2-3-2-86 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P502⑩用及び K201④用)
- 第 9-3-2-3-2-87 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S300⑦用及び C300⑨用)
- 第 9-3-2-3-2-88 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(K610③, K611③, K612③用, K610②, K611②, K612②用及び
K610①, K611①, K612①用)
- 第 9-3-2-3-2-89 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器

| | | | | |
|-------------------|------------|-----|-----------|-----------------------------------|
| | (K003①用) | | | |
| 第 9-3-2-3-2-90 図 | ケーブルトレイ消火系 | 構造図 | FK-5-1-12 | 貯蔵容器 (K003②用) |
| 第 9-3-2-3-2-91 図 | ケーブルトレイ消火系 | 構造図 | FK-5-1-12 | 貯蔵容器 (K003③用) |
| 第 9-3-2-3-2-92 図 | ケーブルトレイ消火系 | 構造図 | FK-5-1-12 | 貯蔵容器 (S003③用及び C008③用) |
| 第 9-3-2-3-2-93 図 | ケーブルトレイ消火系 | 構造図 | FK-5-1-12 | 貯蔵容器 (S003②用及び C008②用) |
| 第 9-3-2-3-2-94 図 | ケーブルトレイ消火系 | 構造図 | FK-5-1-12 | 貯蔵容器 (S003①用及び C008①用) |
| 第 9-3-2-3-2-95 図 | ケーブルトレイ消火系 | 構造図 | FK-5-1-12 | 貯蔵容器 (C004 用) |
| 第 9-3-2-3-2-96 図 | ケーブルトレイ消火系 | 構造図 | FK-5-1-12 | 貯蔵容器 (C001②用及び S001②用) |
| 第 9-3-2-3-2-97 図 | ケーブルトレイ消火系 | 構造図 | FK-5-1-12 | 貯蔵容器 (K002 用) |
| 第 9-3-2-3-2-98 図 | ケーブルトレイ消火系 | 構造図 | FK-5-1-12 | 貯蔵容器 (C001①用及び S001①用) |
| 第 9-3-2-3-2-99 図 | ケーブルトレイ消火系 | 構造図 | FK-5-1-12 | 貯蔵容器 (S751①用及び S750①用) |
| 第 9-3-2-3-2-100 図 | ケーブルトレイ消火系 | 構造図 | FK-5-1-12 | 貯蔵容器 (S750②用) |
| 第 9-3-2-3-2-101 図 | ケーブルトレイ消火系 | 構造図 | FK-5-1-12 | 貯蔵容器 (S751②用及び S750③用) |
| 第 9-3-2-3-2-102 図 | ケーブルトレイ消火系 | 構造図 | FK-5-1-12 | 貯蔵容器 (S751③用及び S750④用) |
| 第 9-3-2-3-2-103 図 | ケーブルトレイ消火系 | 構造図 | FK-5-1-12 | 貯蔵容器 (S751④用及び S750⑤用) |
| 第 9-3-2-3-2-104 図 | ケーブルトレイ消火系 | 構造図 | FK-5-1-12 | 貯蔵容器 (C002②用, C003 用及び S002 用) |
| 第 9-3-2-3-2-105 図 | ケーブルトレイ消火系 | 構造図 | FK-5-1-12 | 貯蔵容器 (S750⑥用) |
| 第 9-3-2-3-2-106 図 | ケーブルトレイ消火系 | 構造図 | FK-5-1-12 | 貯蔵容器 |

(C002①用)

- 第 9-3-2-3-2-107 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S750⑦用, S751⑥用及び S751⑤用)
- 第 9-3-2-3-2-108 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S754 用及び S755 用)
- 第 9-3-2-3-2-109 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(S752①用, S752②用及び S753 用)
- 第 9-3-2-3-2-110 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(C400③用, C401①用及び S100⑩用)
- 第 9-3-2-3-2-111 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(K400①用, P400②用及び P402⑩用)
- 第 9-3-2-3-2-112 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(K400②用, P400③用及び P603②用)
- 第 9-3-2-3-2-113 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(C400④用, C401②用及び S603 用)
- 第 9-3-2-3-2-114 図 ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12 貯蔵容器
(P603③用及び P401②用)
- 第 9-3-2-3-3-1 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 1)
- 第 9-3-2-3-3-2 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 2)
- 第 9-3-2-3-3-3 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 3)
- 第 9-3-2-3-3-4 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 4)
- 第 9-3-2-3-3-5 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 5)
- 第 9-3-2-3-3-6 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 6)
- 第 9-3-2-3-3-7 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 7)
- 第 9-3-2-3-3-8 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 8)
- 第 9-3-2-3-3-9 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面

(その9)

- 第 9-3-2-3-3-10 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その10)
- 第 9-3-2-3-3-11 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その11)
- 第 9-3-2-3-3-12 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その12)
- 第 9-3-2-3-3-13 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その13)
- 第 9-3-2-3-3-14 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その14)
- 第 9-3-2-3-3-15 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その15)
- 第 9-3-2-3-3-16 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その16)
- 第 9-3-2-3-3-17 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その17)
- 第 9-3-2-3-3-18 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その18)
- 第 9-3-2-3-3-19 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その19)
- 第 9-3-2-3-3-20 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その20)
- 第 9-3-2-3-3-21 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その21)
- 第 9-3-2-3-3-22 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その22)
- 第 9-3-2-3-3-23 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その23)
- 第 9-3-2-3-3-24 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その24)
- 第 9-3-2-3-3-25 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その25)
- 第 9-3-2-3-3-26 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面

(その 26)

第 9-3-2-3-3-27 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 27)

第 9-3-2-3-3-28 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 28)

第 9-3-2-3-3-29 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 29)

第 9-3-2-3-3-30 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 30)

第 9-3-2-3-3-31 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 31)

第 9-3-2-3-3-32 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 32)

第 9-3-2-3-3-33 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 33)

第 9-3-2-3-3-34 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 34)

第 9-3-2-3-3-35 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 35)

第 9-3-2-3-3-36 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 36)

第 9-3-2-3-3-37 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 37)

第 9-3-2-3-3-38 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 38)

第 9-3-2-3-3-39 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 39)

第 9-3-2-3-3-40 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 40)

第 9-3-2-3-3-41 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 41)

第 9-3-2-3-3-42 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 42)

第 9-3-2-3-3-43 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面

- (その 43)
- 第 9-3-2-3-3-44 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 44)
- 第 9-3-2-3-3-45 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 45)
- 第 9-3-2-3-3-46 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 46)
- 第 9-3-2-3-3-47 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 47)
- 第 9-3-2-3-3-48 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 48)
- 第 9-3-2-3-3-49 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 49)
- 第 9-3-2-3-3-50 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 50)
- 第 9-3-2-3-3-51 図 ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面
(その 51)
- 第 9-3-2-3-4-1 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P800 用)
- 第 9-3-2-3-4-2 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P401①, P404, P801, P803 用)
- 第 9-3-2-3-4-3 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P802 用)
- 第 9-3-2-3-4-4 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S100②用)
- 第 9-3-2-3-4-5 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C400②用)
- 第 9-3-2-3-4-6 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P400①用)
- 第 9-3-2-3-4-7 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S100①用)
- 第 9-3-2-3-4-8 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C400①用)
- 第 9-3-2-3-4-9 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面

(S605 用)

- 第 9-3-2-3-4-10 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C608 用)
- 第 9-3-2-3-4-11 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P607 用)
- 第 9-3-2-3-4-12 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C300②用)
- 第 9-3-2-3-4-13 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S300②用)
- 第 9-3-2-3-4-14 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S300③用)
- 第 9-3-2-3-4-15 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C300③用)
- 第 9-3-2-3-4-16 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P403⑧, P101⑥用)
- 第 9-3-2-3-4-17 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C403⑧, C100⑧用)
- 第 9-3-2-3-4-18 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S101④用)
- 第 9-3-2-3-4-19 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S101③用)
- 第 9-3-2-3-4-20 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C403⑦, C100⑦用)
- 第 9-3-2-3-4-21 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P403⑦, P101⑤用)
- 第 9-3-2-3-4-22 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P101⑦, C403⑨, C100⑨用)
- 第 9-3-2-3-4-23 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P101⑧, C403⑩, C100⑩用)
- 第 9-3-2-3-4-24 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S101⑤用)
- 第 9-3-2-3-4-25 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C403⑥, C100⑥用)
- 第 9-3-2-3-4-26 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面

- (P403⑥, P101④用)
- 第 9-3-2-3-4-27 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S101②用)
- 第 9-3-2-3-4-28 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C100⑤用)
- 第 9-3-2-3-4-29 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C403⑤用)
- 第 9-3-2-3-4-30 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P101③用)
- 第 9-3-2-3-4-31 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P403⑤用)
- 第 9-3-2-3-4-32 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S101①用)
- 第 9-3-2-3-4-33 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P403④, C403④, C100④用)
- 第 9-3-2-3-4-34 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P403③, C403③, C100③用)
- 第 9-3-2-3-4-35 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C403②, C100②用)
- 第 9-3-2-3-4-36 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P403②, P101②, C749 用)
- 第 9-3-2-3-4-37 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P403①, P101①用)
- 第 9-3-2-3-4-38 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C403①, C100①用)
- 第 9-3-2-3-4-39 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P503①, C501①用)
- 第 9-3-2-3-4-40 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S202①用)
- 第 9-3-2-3-4-41 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P502①, P503②, C501②用)
- 第 9-3-2-3-4-42 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S300④用)
- 第 9-3-2-3-4-43 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面

- (C300④用)
- 第 9-3-2-3-4-44 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P202①用)
- 第 9-3-2-3-4-45 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C202①用)
- 第 9-3-2-3-4-46 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P502②用)
- 第 9-3-2-3-4-47 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P503③用)
- 第 9-3-2-3-4-48 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C501③用)
- 第 9-3-2-3-4-49 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S202②用)
- 第 9-3-2-3-4-50 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P502③, P503⑤, P202③用)
- 第 9-3-2-3-4-51 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C501④, C202②用)
- 第 9-3-2-3-4-52 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P502⑤, P503⑦, P202⑤用)
- 第 9-3-2-3-4-53 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P502④, P503⑥, P202④用)
- 第 9-3-2-3-4-54 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C501⑥, C202④用)
- 第 9-3-2-3-4-55 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S202④用)
- 第 9-3-2-3-4-56 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S202⑤用)
- 第 9-3-2-3-4-57 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C501⑦, C202⑤用)
- 第 9-3-2-3-4-58 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P502⑥, P503⑧, P202⑥用)
- 第 9-3-2-3-4-59 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P769 用)
- 第 9-3-2-3-4-60 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面

- (C501-1 用)
- 第 9-3-2-3-4-61 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S703 用)
- 第 9-3-2-3-4-62 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C736 用)
- 第 9-3-2-3-4-63 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C729 用)
- 第 9-3-2-3-4-64 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S704 用)
- 第 9-3-2-3-4-65 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S202③用)
- 第 9-3-2-3-4-66 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C501⑤, C202③用)
- 第 9-3-2-3-4-67 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P503④, P202②用)
- 第 9-3-2-3-4-68 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C300①用)
- 第 9-3-2-3-4-69 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S300①用)
- 第 9-3-2-3-4-70 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S101⑫用)
- 第 9-3-2-3-4-71 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C403⑮用)
- 第 9-3-2-3-4-72 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S101⑪用)
- 第 9-3-2-3-4-73 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P101⑪, C403⑲, C100⑲用)
- 第 9-3-2-3-4-74 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P101⑫, C403⑳, C100⑳用)
- 第 9-3-2-3-4-75 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S101⑩用)
- 第 9-3-2-3-4-76 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C403⑱用)
- 第 9-3-2-3-4-77 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面

- (C100⑱用)
- 第 9-3-2-3-4-78 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S101⑨用)
- 第 9-3-2-3-4-79 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C100⑰用)
- 第 9-3-2-3-4-80 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C403⑰用)
- 第 9-3-2-3-4-81 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S101⑦用)
- 第 9-3-2-3-4-82 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S101⑧用)
- 第 9-3-2-3-4-83 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P403⑬, C403⑮, C100⑮用)
- 第 9-3-2-3-4-84 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P403⑪, C403⑬, C100⑬用)
- 第 9-3-2-3-4-85 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P403⑫, C403⑭, C100⑭用)
- 第 9-3-2-3-4-86 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C403⑯, C100⑯用)
- 第 9-3-2-3-4-87 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P403⑨, C403⑪, C100⑪用)
- 第 9-3-2-3-4-88 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S101⑥用)
- 第 9-3-2-3-4-89 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P403⑩, C403⑫, C100⑫用)
- 第 9-3-2-3-4-90 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P503⑨, P202⑦用)
- 第 9-3-2-3-4-91 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C501⑧, C202⑥用)
- 第 9-3-2-3-4-92 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S202⑥用)
- 第 9-3-2-3-4-93 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P503⑪用)
- 第 9-3-2-3-4-94 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面

- (P503⑩, P202⑧用)
- 第 9-3-2-3-4-95 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C501⑨, C202⑦用)
- 第 9-3-2-3-4-96 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S202⑦用)
- 第 9-3-2-3-4-97 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C501⑪, C202⑨用)
- 第 9-3-2-3-4-98 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P503⑫, P202⑩用)
- 第 9-3-2-3-4-99 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S202⑧用)
- 第 9-3-2-3-4-100 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P202⑨, C501⑩, C202⑧用)
- 第 9-3-2-3-4-101 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P202⑪, C501⑫, C202⑩用)
- 第 9-3-2-3-4-102 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S709①用)
- 第 9-3-2-3-4-103 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S708 用)
- 第 9-3-2-3-4-104 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C403⑭, C809 用)
- 第 9-3-2-3-4-105 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P101⑨, C403⑮, C100⑳用)
- 第 9-3-2-3-4-106 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P101⑩, C403⑯, C100㉑用)
- 第 9-3-2-3-4-107 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S101⑬, S709②用)
- 第 9-3-2-3-4-108 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P201①, C201 用)
- 第 9-3-2-3-4-109 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P701⑨, P700⑨, P610⑥用)
- 第 9-3-2-3-4-110 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K702⑧, K706⑧用)
- 第 9-3-2-3-4-111 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面

- (K602②用)
- 第 9-3-2-3-4-112 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P602⑥, C606④, C601②用)
- 第 9-3-2-3-4-113 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P701⑧, P700⑧, P610⑤用)
- 第 9-3-2-3-4-114 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C606③用)
- 第 9-3-2-3-4-115 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S602③用)
- 第 9-3-2-3-4-116 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K702⑦, K706⑦, P701⑦用)
- 第 9-3-2-3-4-117 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P700⑦, P610④, P602④用)
- 第 9-3-2-3-4-118 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P602⑤用)
- 第 9-3-2-3-4-119 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K702⑥, K706⑥, P701⑥用)
- 第 9-3-2-3-4-120 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P700⑥, P610③, P602③用)
- 第 9-3-2-3-4-121 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C606②用)
- 第 9-3-2-3-4-122 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S602②用)
- 第 9-3-2-3-4-123 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K702⑤, K706⑤, P701⑤用)
- 第 9-3-2-3-4-124 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P700⑤, P610②, P602②用)
- 第 9-3-2-3-4-125 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K601, P600, P601 用)
- 第 9-3-2-3-4-126 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S601②用)
- 第 9-3-2-3-4-127 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K702④, K706④, P701④用)
- 第 9-3-2-3-4-128 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面

- (P700④, P610①, P602①用)
- 第 9-3-2-3-4-129 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P201⑥用)
- 第 9-3-2-3-4-130 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K702①, K706①, P701①用)
- 第 9-3-2-3-4-131 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P700①, P500①, P501①用)
- 第 9-3-2-3-4-132 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K702②, K706②, P701②用)
- 第 9-3-2-3-4-133 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P700②, P500②, P501②用)
- 第 9-3-2-3-4-134 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C606①用)
- 第 9-3-2-3-4-135 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K702③, K706③, P701③用)
- 第 9-3-2-3-4-136 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P700③, P500③, P501③用)
- 第 9-3-2-3-4-137 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S602①用)
- 第 9-3-2-3-4-138 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C602①用)
- 第 9-3-2-3-4-139 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C603②用)
- 第 9-3-2-3-4-140 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S600①用)
- 第 9-3-2-3-4-141 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C601①用)
- 第 9-3-2-3-4-142 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C602②用)
- 第 9-3-2-3-4-143 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S600④用)
- 第 9-3-2-3-4-144 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S600③用)
- 第 9-3-2-3-4-145 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面

- (S601③用)
- 第 9-3-2-3-4-146 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S600②用)
- 第 9-3-2-3-4-147 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P300①, C300⑤用)
- 第 9-3-2-3-4-148 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S300⑤用)
- 第 9-3-2-3-4-149 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P300③, C300⑦用)
- 第 9-3-2-3-4-150 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S300⑥用)
- 第 9-3-2-3-4-151 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P300②, C300⑥用)
- 第 9-3-2-3-4-152 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P300④, C300⑧用)
- 第 9-3-2-3-4-153 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K100③, P402③用)
- 第 9-3-2-3-4-154 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P102⑤, C100⑳用)
- 第 9-3-2-3-4-155 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S100③用)
- 第 9-3-2-3-4-156 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K100⑥, P402⑥用)
- 第 9-3-2-3-4-157 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P102⑥, C100㉘用)
- 第 9-3-2-3-4-158 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S100④用)
- 第 9-3-2-3-4-159 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K100⑦, P402⑦用)
- 第 9-3-2-3-4-160 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P102⑦, C100㉙用)
- 第 9-3-2-3-4-161 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K201②, P502⑧用)
- 第 9-3-2-3-4-162 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面

- (P201③, C200②用)
- 第 9-3-2-3-4-163 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P201④, C200③用)
- 第 9-3-2-3-4-164 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K201③, P502⑨用)
- 第 9-3-2-3-4-165 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S200②用)
- 第 9-3-2-3-4-166 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C200④用)
- 第 9-3-2-3-4-167 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P201⑤用)
- 第 9-3-2-3-4-168 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S100⑤用)
- 第 9-3-2-3-4-169 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P102②, C100④用)
- 第 9-3-2-3-4-170 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K100②, P402②用)
- 第 9-3-2-3-4-171 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P102①, C100③用)
- 第 9-3-2-3-4-172 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K100①, P402①用)
- 第 9-3-2-3-4-173 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S200①用)
- 第 9-3-2-3-4-174 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S601①用)
- 第 9-3-2-3-4-175 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K602①, P603①, C603①用)
- 第 9-3-2-3-4-176 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P201②, C200①用)
- 第 9-3-2-3-4-177 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K201①, P502⑦用)
- 第 9-3-2-3-4-178 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P102④, C100⑥用)
- 第 9-3-2-3-4-179 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面

- (K100⑤, P402⑤用)
- 第 9-3-2-3-4-180 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S100⑦用)
- 第 9-3-2-3-4-181 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P102③, C100⑳用)
- 第 9-3-2-3-4-182 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K100④, P402④用)
- 第 9-3-2-3-4-183 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S100⑥用)
- 第 9-3-2-3-4-184 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K100⑧, P402⑧用)
- 第 9-3-2-3-4-185 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P102⑧, C100㉑用)
- 第 9-3-2-3-4-186 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S100⑨用)
- 第 9-3-2-3-4-187 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S100⑧用)
- 第 9-3-2-3-4-188 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P102⑨, C100㉒用)
- 第 9-3-2-3-4-189 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K100⑨, P402⑨用)
- 第 9-3-2-3-4-190 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P502⑩用)
- 第 9-3-2-3-4-191 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K201④用)
- 第 9-3-2-3-4-192 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S300⑦用)
- 第 9-3-2-3-4-193 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C300⑨用)
- 第 9-3-2-3-4-194 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K610③, K611③, K612③用)
- 第 9-3-2-3-4-195 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K610②, K611②, K612②用)
- 第 9-3-2-3-4-196 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面

(K610①, K611①, K612①用)

- 第 9-3-2-3-4-197 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K003①用)
- 第 9-3-2-3-4-198 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K003②用)
- 第 9-3-2-3-4-199 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K003③用)
- 第 9-3-2-3-4-200 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S003③用)
- 第 9-3-2-3-4-201 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C008③用)
- 第 9-3-2-3-4-202 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S003②用)
- 第 9-3-2-3-4-203 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C008②用)
- 第 9-3-2-3-4-204 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S003①用)
- 第 9-3-2-3-4-205 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C008①用)
- 第 9-3-2-3-4-206 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C004 用)
- 第 9-3-2-3-4-207 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C001②用)
- 第 9-3-2-3-4-208 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S001②用)
- 第 9-3-2-3-4-209 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K002 用)
- 第 9-3-2-3-4-210 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C001①用)
- 第 9-3-2-3-4-211 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S001①用)
- 第 9-3-2-3-4-212 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S751①用)
- 第 9-3-2-3-4-213 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面

| | |
|-------------------|--|
| | (S750①用) |
| 第 9-3-2-3-4-214 図 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (S750②用) |
| 第 9-3-2-3-4-215 図 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (S751②用) |
| 第 9-3-2-3-4-216 図 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (S750③用) |
| 第 9-3-2-3-4-217 図 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (S751③用) |
| 第 9-3-2-3-4-218 図 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (S750④用) |
| 第 9-3-2-3-4-219 図 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (S751④用) |
| 第 9-3-2-3-4-220 図 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (S750⑤用) |
| 第 9-3-2-3-4-221 図 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (C002②用) |
| 第 9-3-2-3-4-222 図 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (C003 用) |
| 第 9-3-2-3-4-223 図 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (S002 用) |
| 第 9-3-2-3-4-224 図 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (S750⑥用) |
| 第 9-3-2-3-4-225 図 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (C002①用) |
| 第 9-3-2-3-4-226 図 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (S750⑦用) |
| 第 9-3-2-3-4-227 図 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (S751⑥用) |
| 第 9-3-2-3-4-228 図 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (S751⑤用) |
| 第 9-3-2-3-4-229 図 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (S754 用) |
| 第 9-3-2-3-4-230 図 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面 |

- (S755 用)
- 第 9-3-2-3-4-231 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S752①用)
- 第 9-3-2-3-4-232 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S752②用)
- 第 9-3-2-3-4-233 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S753 用)
- 第 9-3-2-3-4-234 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C400③用)
- 第 9-3-2-3-4-235 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C401①用)
- 第 9-3-2-3-4-236 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S100⑩用)
- 第 9-3-2-3-4-237 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K400①用)
- 第 9-3-2-3-4-238 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P400②用)
- 第 9-3-2-3-4-239 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P402⑩用)
- 第 9-3-2-3-4-240 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(K400②用)
- 第 9-3-2-3-4-241 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P400③用)
- 第 9-3-2-3-4-242 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P603②用)
- 第 9-3-2-3-4-243 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C400④用)
- 第 9-3-2-3-4-244 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(C401②用)
- 第 9-3-2-3-4-245 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(S603 用)
- 第 9-3-2-3-4-246 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面
(P603③用)
- 第 9-3-2-3-4-247 図 ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面

(P401②用)

VI-1-1-4-8-2-1-3-1-1 設定根拠に関する説明書
(ケーブルトレイ消火系 FK-5-1-12 貯蔵容器)

| | | | |
|--------|-----|-----------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P800用) | |
| 容 量 | L/個 | | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(P800用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である 以上とする。

公称値については,要求される容量と同じ とする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(P800)の消火に必要な貯蔵容器個数である の貯蔵容器を配置する設計とする。

| | | | |
|--|-----|--|----------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P401①, P404, P801, P803用) | |
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P401①, P404, P801, P803 用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P401①, P404, P801, P803)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|--------|-----|-----------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P802用) | |
| 容 量 | L/個 | | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P802 用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である 以上とする。

公称値については,要求される容量と同じ とする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P802)の消火に必要な貯蔵容器個数である の貯蔵容器を配置する設計とする。

| | | |
|--------|-----|-----------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S100②用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S100②用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である 以上とする。

公称値については,要求される容量と同じ とする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S100②)の消火に必要な貯蔵容器個数である の貯蔵容器を配置する設計とする。

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C400②用) | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C400②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C400②)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|---|-----|------------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P400①用) | |
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P400①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P400①)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S100①用) | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S100①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S100①)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C400①用) | |
|---|-----|-----------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C400①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C400①)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S605用) | |
|---|-----|-----------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (S605 用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (S605)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C608用) | |
|---|-----|-----------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (C608 用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (C608)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P607用) | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(P607用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(P607)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C300②用) | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C300②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C300②)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|--------|-----|------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S300②用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S300②用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である 以上とする。

公称値については,要求される容量と同じ とする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S300②)の消火に必要な貯蔵容器個数である の貯蔵容器を配置する設計とする。

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S300③用) | |
|---|-----|-----------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S300③用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S300③)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|--------|-----|-----------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C300③用) | |
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C300③用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。

公称値については,要求される容量と同じ□とする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C300③)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P403⑧, P101⑥用) | |
|--|-----|-------------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P403⑧, P101⑥用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P403⑧, P101⑥)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|--------|-----|-------------------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C403⑧, C100⑧用) | |
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (C403⑧, C100⑧用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は, 高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから, 当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。

公称値については, 要求される容量と同じ □ とする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は, 貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は, 消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は, 試験結果に基づき, ケーブルトレイ (C403⑧, C100⑧) の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S101④用) | |
|--|-----|-----------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S101④用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S101④)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S101③用) | |
|---|-----|------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S101③用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S101③)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C403㉞, C100㉞用) | |
|---|-----|-------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (C403㉞, C100㉞用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (C403㉞, C100㉞)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|---|-----|-------------------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P403⑦, P101⑤用) | |
| 容 量 | L/個 | | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P403⑦, P101⑤用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P403⑦, P101⑤)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(P101⑦, C403⑨, C100⑨用) | |
|--|-----|-------------------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(P101⑦, C403⑨, C100⑨用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(P101⑦, C403⑨, C100⑨)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|---|-----|-------------------------------------|----------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(P101⑧, C403⑩, C100⑩用) | |
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(P101⑧, C403⑩, C100⑩用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(P101⑧, C403⑩, C100⑩)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S101⑤用) | |
|---|-----|------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S101⑤用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S101⑤)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C403⑥, C100⑥用) | |
|---|-----|-------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (C403⑥, C100⑥用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (C403⑥, C100⑥)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P403⑥, P101④用) | |
|--|-----|-------------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P403⑥, P101④用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケーブトレイ (P403⑥, P101④)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S101②用) | |
|---|-----|------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S101②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S101②)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C100⑤用) | |
|--|-----|-----------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C100⑤用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C100⑤)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C403⑤用) | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C403⑤用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C403⑤)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|--------|-----|------------------------|----------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P101③用) | |
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P101③用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である 以上とする。

公称値については,要求される容量と同じ とする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P101③)の消火に必要な貯蔵容器個数である の貯蔵容器を配置する設計とする。

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P403⑤用) | |
|--|-----|------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P403⑤用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P403⑤)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S101①用) | |
|--|-----|------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (S101①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (S101①)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|--|-----|-------------------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(P403④, C403④, C100④用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(P403④, C403④, C100④用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(P403④, C403④, C100④)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--------------------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P403③, C403③, C100③用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P403③, C403③, C100③用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P403③, C403③, C100③)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C403②, C100②用) | |
|--|-----|-------------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (C403②, C100②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (C403②, C100②)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|--|-----|-------------------------------------|----------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P403②, P101②, C749用) | |
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P403②, P101②, C749 用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P403②, P101②, C749)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P403①, P101①用) | |
|--|-----|-------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P403①, P101①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P403①, P101①)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C403①, C100①用) | |
|--|-----|-------------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (C403①, C100①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケーブトレイ (C403①, C100①)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P503①, C501①用) | |
|--|-----|-------------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P503①, C501①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し, 早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は, 高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから, 当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については, 要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は, 貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は, 消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は, 試験結果に基づき, ケーブルトレイ (P503①, C501①) の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S202①用) | |
|---|-----|------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S202①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S202①)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|--------|-----|--------------------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P502①, P503②, C501②用) |
| 容 量 | L/個 | □ |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | □ |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P502①, P503②, C501②用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。

公称値については,要求される容量と同じ □ とする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P502①, P503②, C501②)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S300④用) | |
|---|-----|-----------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S300④用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S300④)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C300④用) | |
|---|-----|-----------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C300④用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C300④)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P202①用) | |
|--|-----|------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P202①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P202①)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C202①用) | |
|--|-----|------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (C202①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (C202①)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P502②用) | |
|---|-----|------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P502②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P502②)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P503③用) | |
|--|-----|------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P503③用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P503③)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C501③用) | |
|---|-----|-----------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C501③用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C501③)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S202②用) | |
|---|-----|------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (S202②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (S202②)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|---|-----|--------------------------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P502③, P503⑤, P202③用) | |
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P502③, P503⑤, P202③用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P502③, P503⑤, P202③)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C501④, C202②用) | |
|--|-----|-------------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (C501④, C202②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケーブトレイ (C501④, C202②)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|--|-----|-------------------------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(P502⑤, P503⑦, P202⑤用) | |
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(P502⑤, P503⑦, P202⑤用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(P502⑤, P503⑦, P202⑤)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|--|-----|-------------------------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(P502④, P503⑥, P202④用) | |
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(P502④, P503⑥, P202④用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(P502④, P503⑥, P202④)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C501⑥, C202④用) | |
|--|-----|-------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (C501⑥, C202④用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (C501⑥, C202④)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とす。</p> | | | |

| | | |
|--------|-----|-----------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S202④用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S202④用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である 以上とする。

公称値については,要求される容量と同じ とする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40とする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S202④)の消火に必要な貯蔵容器個数である の貯蔵容器を配置する設計とする。

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S202⑤用) | |
|---|-----|------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S202⑤用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S202⑤)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C501⑦, C202⑤用) | |
|--|-----|-------------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (C501⑦, C202⑤用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (C501⑦, C202⑤)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|--|-----|--------------------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P502⑥, P503⑧, P202⑥用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P502⑥, P503⑧, P202⑥用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P502⑥, P503⑧, P202⑥)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P769用) | |
|---|-----|-----------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P769 用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P769)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C501-1用) | |
|---|-----|-------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | °C | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C501-1用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40°Cにおける貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40°Cとする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C501-1)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S703用) | |
|---|-----|-----------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S703用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S703)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|--------|-----|-----------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C736用) | |
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C736用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。

公称値については,要求される容量と同じ□とする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C736)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。

| | | | |
|--------|-----|-----------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C729用) | |
| 容 量 | L/個 | | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (C729 用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である 以上とする。

公称値については,要求される容量と同じ とする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (C729)の消火に必要な貯蔵容器個数である の貯蔵容器を配置する設計とする。

| | | | |
|--------|-----|-----------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S704用) | |
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S704用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。

公称値については,要求される容量と同じ□とする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S704)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。

| | | | |
|--|-----|------------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S202③用) | |
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S202③用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S202③)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C501⑤, C202③用) | |
|--|-----|-------------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (C501⑤, C202③用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (C501⑤, C202③)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|--|-----|-------------------------------|----------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P503④, P202②用) | |
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P503④, P202②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P503④, P202②)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C300①用) | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C300①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C300①)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S300①用) | |
|---|-----|------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S300①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S300①)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S101㊸用) | |
|--|-----|------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S101㊸用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S101㊸)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|--------|-----|-----------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C403㊸用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器(C403㊸用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である 以上とする。

公称値については,要求される容量と同じ とする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C403㊸)の消火に必要な貯蔵容器個数である の貯蔵容器を配置する設計とする。

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S101㊸用) | |
|--|-----|------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (S101㊸用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (S101㊸)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|--|-----|-------------------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(P101⑪, C403⑲, C100⑳用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器(P101⑪, C403⑲, C100⑳用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(P101⑪, C403⑲, C100⑳)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| | | | |
|--|-----|--------------------------------------|----------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P101⑫, C403⑳, C100㉑用) | |
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P101⑫, C403⑳, C100㉑用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P101⑫, C403⑳, C100㉑)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|--------|-----|------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S101⑩用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S101⑩用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である 以上とする。

公称値については,要求される容量と同じ とする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S101⑩)の消火に必要な貯蔵容器個数である の貯蔵容器を配置する設計とする。

| | | |
|--------|-----|-----------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C403®用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | °C | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C403®用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である以上とする。

公称値については,要求される容量と同じとする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40°Cにおける貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40°Cとする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C403®)の消火に必要な貯蔵容器個数であるの貯蔵容器を配置する設計とする。

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C100®用) | |
|---|-----|-----------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C100®用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C100®)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S101㊸用) | |
|--|-----|------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S101㊸用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S101㊸)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C100⑰用) | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C100⑰用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C100⑰)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|--------|-----|-----------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C403⑰用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C403⑰用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である以上とする。

公称値については,要求される容量と同じとする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C403⑰)の消火に必要な貯蔵容器個数であるの貯蔵容器を配置する設計とする。

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S101⑦用) | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S101⑦用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S101⑦)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S101⑧用) | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S101⑧用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S101⑧)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(P403⑬, C403⑮, C100⑰用) |
|---|-----|-------------------------------------|
| 容 量 | L/個 | □ |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | □ |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器(P403⑬, C403⑮, C100⑰用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(P403⑬, C403⑮, C100⑰)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| | | | |
|---|-----|-------------------------------------|----------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(P403①, C403③, C100③用) | |
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | °C | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(P403①, C403③, C100③用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40°Cにおける貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40°Cとする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(P403①, C403③, C100③)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|--|-----|--------------------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P403⑫, C403⑭, C100⑰用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P403⑫, C403⑭, C100⑰用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P403⑫, C403⑭, C100⑰)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C403 [㊟] , C100 [㊟] 用) | |
|---|-----|---|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (C403[㊟], C100[㊟]用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃ とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケーブルトレイ (C403[㊟], C100[㊟])の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|--|-----|--------------------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P403⑨, C403⑩, C100⑪用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P403⑨, C403⑩, C100⑪用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P403⑨, C403⑩, C100⑪)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S101⑥用) | |
|--|-----|------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S101⑥用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S101⑥)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|---|-----|-------------------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(P403⑩, C403⑫, C100⑬用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器(P403⑩, C403⑫, C100⑬用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(P403⑩, C403⑫, C100⑬)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P503⑨, P202⑦用) | |
|---|-----|-------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P503⑨, P202⑦用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケーブトレイ (P503⑨, P202⑦)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|---|-----|-------------------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C501⑧, C202⑥用) | |
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (C501⑧, C202⑥用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケーブトレイ (C501⑧, C202⑥)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S202⑥用) | |
|--|-----|------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S202⑥用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S202⑥)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|--------|-----|------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P503⑩用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P503⑩用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である 以上とする。

公称値については,要求される容量と同じ とする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P503⑩)の消火に必要な貯蔵容器個数である の貯蔵容器を配置する設計とする。

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P503⑩, P202⑧用) | |
|---|-----|-------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P503⑩, P202⑧用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケーブトレイ (P503⑩, P202⑧)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C501⑨, C202⑦用) | |
|---|-----|-------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (C501⑨, C202⑦用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (C501⑨, C202⑦)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S202⑦用) | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S202⑦用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S202⑦)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C501㊸, C202㊹用) | |
|---|-----|-------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (C501㊸, C202㊹用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (C501㊸, C202㊹)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|---|-----|---|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P503 [㊚] , P202 [㊙] 用) | |
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P503[㊚], P202[㊙]用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P503[㊚], P202[㊙])の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S202⑧用) | |
|--|-----|------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S202⑧用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S202⑧)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|--|-----|--------------------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P202⑨, C501⑩, C202⑧用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P202⑨, C501⑩, C202⑧用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P202⑨, C501⑩, C202⑧)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--------------------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P202①, C501②, C202⑩用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | °C | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P202①, C501②, C202⑩用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40°Cにおける貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40°C とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P202①, C501②, C202⑩)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S709①用) | |
|--|-----|------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S709①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S709①)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S708用) | |
|---|-----|-----------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S708用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S708)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|---|-----|-----------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C403②, C809用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C403②,C809用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C403②,C809)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| | | | |
|---|-----|-------------------------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(P101⑨, C403⑬, C100⑳用) | |
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(P101⑨, C403⑬, C100⑳用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(P101⑨, C403⑬, C100⑳)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|---|-----|--------------------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P101⑩, C403⑳, C100㉑用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P101⑩, C403⑳, C100㉑用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P101⑩, C403⑳, C100㉑)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S101⑬, S709②用) | |
|--|-----|-------------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (S101⑬, S709②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (S101⑬, S709②)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|--|-----|------------------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P201①, C201用) | |
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器 (P201①, C201用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P201①, C201)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|--|-----|-------------------------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(P701⑨, P700⑨, P610⑥用) | |
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(P701⑨, P700⑨, P610⑥用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(P701⑨, P700⑨, P610⑥)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K702⑧, K706⑧用) | |
|--|-----|-------------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (K702⑧, K706⑧用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケーブトレイ (K702⑧, K706⑧)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|--------|-----|------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K602②用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (K602②用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である 以上とする。

公称値については,要求される容量と同じ とする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (K602②)の消火に必要な貯蔵容器個数である の貯蔵容器を配置する設計とする。

| | | | |
|--|-----|--------------------------------------|----------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P602⑥, C606④, C601②用) | |
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P602⑥, C606④, C601②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P602⑥, C606④, C601②)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|--|-----|-------------------------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(P701⑧, P700⑧, P610⑤用) | |
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(P701⑧, P700⑧, P610⑤用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(P701⑧, P700⑧, P610⑤)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C606③用) | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C606③用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C606③)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S602③用) | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S602③用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S602③)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|--|-----|-------------------------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(K702⑦, K706⑦, P701⑦用) | |
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(K702⑦, K706⑦, P701⑦用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(K702⑦, K706⑦, P701⑦)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|---|-----|-------------------------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(P700⑦, P610④, P602④用) | |
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(P700⑦, P610④, P602④用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(P700⑦, P610④, P602④)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P602⑤用) | |
|---|-----|------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P602⑤用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P602⑤)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|---|-----|-------------------------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(K702⑥, K706⑥, P701⑥用) | |
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器(K702⑥, K706⑥, P701⑥用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(K702⑥, K706⑥, P701⑥)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|--|-----|-------------------------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(P700⑥, P610③, P602③用) | |
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(P700⑥, P610③, P602③用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(P700⑥, P610③, P602③)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C606②用) | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C606②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C606②)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S602②用) |
|--|-----|-----------------------|
| 容 量 | L/個 | □ |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | □ |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S602②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S602②)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| | | | |
|--|-----|-------------------------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(K702⑤, K706⑤, P701⑤用) | |
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(K702⑤, K706⑤, P701⑤用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(K702⑤, K706⑤, P701⑤)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|---|-----|--------------------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P700⑤, P610②, P602②用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P700⑤, P610②, P602②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P700⑤, P610②, P602②)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K601, P600, P601用) | |
|--|-----|-----------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(K601,P600,P601用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(K601,P600,P601)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S601②用) | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S601②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S601②)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|---|-----|-------------------------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(K702④, K706④, P701④用) | |
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(K702④, K706④, P701④用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(K702④, K706④, P701④)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|--|-----|--------------------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P700④, P610①, P602①用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P700④, P610①, P602①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P700④, P610①, P602①)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P201⑥用) | |
|--|-----|------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(P201⑥用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(P201⑥)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|---|-----|-------------------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(K702①, K706①, P701①用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(K702①, K706①, P701①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(K702①, K706①, P701①)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--------------------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P700①, P500①, P501①用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P700①, P500①, P501①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P700①, P500①, P501①)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| | | | |
|--|-----|-------------------------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(K702②, K706②, P701②用) | |
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(K702②, K706②, P701②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(K702②, K706②, P701②)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|---|-----|--------------------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P700②, P500②, P501②用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P700②, P500②, P501②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃ とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P700②, P500②, P501②)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C606①用) | |
|---|-----|------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (C606①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (C606①)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|--|-----|-------------------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(K702③, K706③, P701③用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(K702③, K706③, P701③用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である<input type="text"/>以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ<input type="text"/>とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(K702③, K706③, P701③)の消火に必要な貯蔵容器個数である<input type="text"/>の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--------------------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P700③, P500③, P501③用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P700③, P500③, P501③用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P700③, P500③, P501③)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S602①用) | |
|---|-----|------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S602①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S602①)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C602①用) | |
|---|-----|-----------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C602①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C602①)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C603②用) | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C603②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C603②)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S600①用) | |
|---|-----|-----------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S600①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S600①)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C601①用) | |
|---|-----|-----------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C601①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C601①)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C602②用) | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C602②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C602②)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|--------|-----|-----------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S600④用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S600④用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である以上とする。

公称値については,要求される容量と同じとする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S600④)の消火に必要な貯蔵容器個数であるの貯蔵容器を配置する設計とする。

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S600③用) | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S600③用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S600③)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|--------|-----|-----------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S601③用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S601③用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である以上とする。

公称値については,要求される容量と同じとする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S601③)の消火に必要な貯蔵容器個数であるの貯蔵容器を配置する設計とする。

| | | |
|--------|-----|-----------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S600②用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S600②用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である以上とする。

公称値については,要求される容量と同じとする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S600②)の消火に必要な貯蔵容器個数であるの貯蔵容器を配置する設計とする。

| | | | |
|--|-----|-------------------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P300①, C300⑤用) | |
| 容 量 | L/個 | | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P300①, C300⑤用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケージブレイ (P300①, C300⑤)の消火に必要な貯蔵容器個数である の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S300⑤用) | |
|--|-----|------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (S300⑤用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (S300⑤)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P300③, C300⑦用) | |
|---|-----|-------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P300③, C300⑦用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P300③, C300⑦)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S300㊸用) | |
|---|-----|------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S300㊸用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S300㊸)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P300②, C300⑥用) | |
|---|-----|-------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P300②, C300⑥用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P300②, C300⑥)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|--|-----|-------------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P300④, C300⑧用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P300④, C300⑧用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケージブレイ (P300④, C300⑧)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| | | |
|--------|-----|-------------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K100③, P402③用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (K100③, P402③用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である 以上とする。

公称値については,要求される容量と同じ とする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (K100③, P402③)の消火に必要な貯蔵容器個数である の貯蔵容器を配置する設計とする。

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P102⑤, C100⑦用) | |
|---|-----|-------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P102⑤, C100⑦用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P102⑤, C100⑦)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|--------|-----|-----------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S100③用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S100③用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である以上とする。

公称値については,要求される容量と同じとする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S100③)の消火に必要な貯蔵容器個数であるの貯蔵容器を配置する設計とする。

| | | |
|--|-----|-------------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K100⑥, P402⑥用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (K100⑥, P402⑥用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (K100⑥, P402⑥)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P102⑥, C100⑳用) | |
|---|-----|-------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P102⑥, C100⑳用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P102⑥, C100⑳)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S100④用) | |
|---|-----|-----------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S100④用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S100④)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K100㉞, P402㉞用) | |
|---|-----|-------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (K100㉞, P402㉞用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケージブレイ (K100㉞, P402㉞)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P102⑦, C100⑳用) | |
|---|-----|-------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P102⑦, C100⑳用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P102⑦, C100⑳)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K201②, P502⑧用) | |
|---|-----|-------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (K201②, P502⑧用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケージブレイ (K201②, P502⑧)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P201③, C200②用) | |
|---|-----|-------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P201③, C200②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P201③, C200②)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P201④, C200③用) | |
|---|-----|-------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P201④, C200③用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P201④, C200③)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K201③, P502⑨用) | |
|---|-----|-------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (K201③, P502⑨用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (K201③, P502⑨)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|--------|-----|-----------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S200②用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S200②用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である 以上とする。

公称値については,要求される容量と同じ とする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S200②)の消火に必要な貯蔵容器個数である の貯蔵容器を配置する設計とする。

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C200④用) |
|--|-----|-----------------------|
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C200④用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である<input type="text"/>以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ<input type="text"/>とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C200④)の消火に必要な貯蔵容器個数である<input type="text"/>の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P201⑤用) | |
|--|-----|------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(P201⑤用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(P201⑤)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|--------|-----|-----------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S100⑤用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S100⑤用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である以上とする。

公称値については,要求される容量と同じとする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S100⑤)の消火に必要な貯蔵容器個数であるの貯蔵容器を配置する設計とする。

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P102②, C100④用) | |
|--|-----|-------------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P102②, C100④用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P102②, C100④)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K100②, P402②用) | |
|---|-----|-------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (K100②, P402②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (K100②, P402②)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P102①, C100②用) | |
|---|-----|-------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P102①, C100②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P102①, C100②)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K100①, P402①用) | |
|---|-----|-------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (K100①, P402①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケージブレイ (K100①, P402①)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S200①用) | |
|--|-----|------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S200①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S200①)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S601①用) | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S601①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S601①)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|--|-----|--------------------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K602①, P603①, C603①用) |
| 容 量 | L/個 | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (K602①, P603①, C603①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (K602①, P603①, C603①)の消火に必要な貯蔵容器個数である の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P201②, C200①用) | |
|---|-----|-------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P201②, C200①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P201②, C200①)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K201①, P502⑦用) | |
|---|-----|-------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (K201①, P502⑦用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (K201①, P502⑦)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P102④, C100⑥用) | |
|---|-----|-------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P102④, C100⑥用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケージブレイ (P102④, C100⑥)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K100⑤, P402⑤用) | |
|---|-----|-------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (K100⑤, P402⑤用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (K100⑤, P402⑤)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S100⑦用) | |
|---|-----|-----------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S100⑦用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S100⑦)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P102③, C100⑤用) | |
|--|-----|-------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(P102③,C100⑤用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(P102③,C100⑤)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|---|-----|-------------------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K100④, P402④用) | |
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (K100④, P402④用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (K100④, P402④)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S100⑥用) | |
|--|-----|------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S100⑥用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S100⑥)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K100㊸, P402㊸用) | |
|--|-----|-------------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (K100㊸, P402㊸用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (K100㊸, P402㊸)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P102⑧, C100⑩用) | |
|---|-----|-------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P102⑧, C100⑩用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P102⑧, C100⑩)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S100㊸用) | |
|--|-----|------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S100㊸用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S100㊸)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S100⑧用) | |
|---|-----|------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S100⑧用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S100⑧)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P102㊹, C100㊺用) | |
|---|-----|-------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P102㊹, C100㊺用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P102㊹, C100㊺)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K100㊸, P402㊸用) | |
|---|-----|-------------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (K100㊸, P402㊸用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (K100㊸, P402㊸)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|--------|-----|------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P502⑩用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P502⑩用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である 以上とする。

公称値については,要求される容量と同じ とする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P502⑩)の消火に必要な貯蔵容器個数である の貯蔵容器を配置する設計とする。

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K201④用) | |
|---|-----|------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (K201④用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (K201④)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S300⑦用) | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S300⑦用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S300⑦)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C300㊸用) | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C300㊸用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C300㊸)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|---|-----|-------------------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(K610③, K611③, K612③用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(K610③, K611③, K612③用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である<input type="text"/>以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ<input type="text"/>とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケージトレイ(K610③, K611③, K612③)の消火に必要な貯蔵容器個数である<input type="text"/>の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|-------------------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(K610②, K611②, K612②用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器(K610②, K611②, K612②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃ とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケーブルトレイ(K610②, K611②, K612②)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|-------------------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(K610①, K611①, K612①用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(K610①, K611①, K612①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である<input type="text"/>以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ<input type="text"/>とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケーブルトレイ(K610①, K611①, K612①)の消火に必要な貯蔵容器個数である<input type="text"/>の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K003①用) | |
|---|-----|------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(K003①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(K003①)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K003②用) | |
|--|-----|------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (K003②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (K003②)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|--------|-----|------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K003③用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (K003③用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である 以上とする。

公称値については,要求される容量と同じ とする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (K003③)の消火に必要な貯蔵容器個数である の貯蔵容器を配置する設計とする。

| | | |
|--------|-----|-----------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S003③用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S003③用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である以上とする。

公称値については,要求される容量と同じとする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S003③)の消火に必要な貯蔵容器個数であるの貯蔵容器を配置する設計とする。

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C008③用) | |
|---|-----|-----------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C008③用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C008③)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S003②用) | |
|---|-----|-----------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S003②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S003②)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|--------|-----|-----------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C008②用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C008②用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である以上とする。

公称値については,要求される容量と同じとする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C008②)の消火に必要な貯蔵容器個数であるの貯蔵容器を配置する設計とする。

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S003①用) | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S003①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S003①)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C008①用) | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C008①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C008①)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C004用) | |
|--|-----|-----------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | °C | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (C004 用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40°Cにおける貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40°C とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (C004)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C001②用) | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C001②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C001②)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S001②用) | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S001②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S001②)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K002用) | |
|---|-----|-----------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (K002 用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (K002)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|---|-----|-----------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C001①用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C001①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である<input type="text"/>以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ<input type="text"/>とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C001①)の消火に必要な貯蔵容器個数である<input type="text"/>の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S001①用) | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S001①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S001①)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|---|-----|------------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S751①用) | |
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (S751①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (S751①)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S750①用) | |
|--|-----|------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S750①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S750①)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S750②用) | |
|--|-----|------------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (S750②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (S750②)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S751②用) | |
|--|-----|------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S751②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S751②)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S750③用) | |
|--|-----|------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S750③用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S750③)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S751③用) | |
|--|-----|------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S751③用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S751③)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|--------|-----|-----------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S750④用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |

【設 定 根 拠】

(概要)

火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S750④用)は,以下の機能を有する。

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。

1. 容量

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である以上とする。

公称値については,要求される容量と同じとする。

2. 最高使用圧力

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。

3. 最高使用温度

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。

4. 個数

設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S750④)の消火に必要な貯蔵容器個数であるの貯蔵容器を配置する設計とする。

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S751④用) | |
|--|-----|------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S751④用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S751④)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S750⑤用) | |
|---|-----|------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (S750⑤用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (S750⑤)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C002②用) | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C002②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C002②)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C003用) | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (C003 用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (C003)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S002用) | |
|---|-----|-----------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S002用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S002)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S750㊸用) | |
|--|-----|------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S750㊸用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S750㊸)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C002①用) | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C002①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C002①)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S750⑦用) | |
|---|-----|------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (S750⑦用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である □ 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ □ とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (S750⑦)の消火に必要な貯蔵容器個数である □ の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S751⑥用) | |
|--|-----|------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S751⑥用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S751⑥)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S751⑤用) | |
|--|-----|------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S751⑤用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S751⑤)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S754用) | |
|---|-----|-----------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (S754 用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40℃における貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (S754)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S755用) | |
|---|-----|-----------------------|----------------------|
| 容 量 | L/個 | | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S755用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(S755)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S752①用) | |
|--|-----|------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S752①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケーブルトレイ(S752①)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S752②用) | |
|---|-----|------------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S752②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケーブルトレイ(S752②)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S753用) | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(S753用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40℃における貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40℃とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケーブルトレイ(S753)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|---|-----|-----------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C400③用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | °C | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器(C400③用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40°Cにおける貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40°C とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C400③)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|-----------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C401①用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | °C | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C401①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である<input type="text"/>以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ<input type="text"/>とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40°Cにおける貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40°Cとする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C401①)の消火に必要な貯蔵容器個数である<input type="text"/>の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|-----------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(S100⑩用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | °C | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器(S100⑩用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40°Cにおける貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40°C とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケーブトレイ(S100⑩)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| | | | |
|---|-----|------------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K400①用) | |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | °C | 40 | |
| 個 数 | — | <input type="text"/> | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (K400①用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40°Cにおける貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40°C とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (K400①)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|---|-----|------------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P400②用) | |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | °C | 40 | |
| 個 数 | — | <input type="text"/> | |
| 【設 定 根 拠】 | | | |
| (概要) | | | |
| <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P400②用)は,以下の機能を有する。</p> | | | |
| <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> | | | |
| 1. 容量 | | | |
| <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> | | | |
| <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> | | | |
| 2. 最高使用圧力 | | | |
| <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40°Cにおける貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> | | | |
| 3. 最高使用温度 | | | |
| <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40°C とする。</p> | | | |
| 4. 個数 | | | |
| <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P400②)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|---|-----|------------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P402⑩用) | |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | °C | 40 | |
| 個 数 | — | <input type="text"/> | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P402⑩用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40°Cにおける貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40°C とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケーブトレイ (P402⑩)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|---|-----|------------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K400②用) | |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | °C | 40 | |
| 個 数 | — | <input type="text"/> | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (K400②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40°Cにおける貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40°C とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (K400②)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | |
|---|-----|------------------------|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P400③用) |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | °C | 40 |
| 個 数 | — | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P400③用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40°Cにおける貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40°C とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P400③)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | |

| | | | |
|---|-----|------------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P603②用) | |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | °C | 40 | |
| 個 数 | — | <input type="text"/> | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P603②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40°Cにおける貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40°C とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P603②)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C400④用) | |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | °C | 40 | |
| 個 数 | — | <input type="text"/> | |
| 【設 定 根 拠】 | | | |
| (概要) | | | |
| <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器(C400④用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> | | | |
| 1. 容量 | | | |
| <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> | | | |
| 2. 最高使用圧力 | | | |
| <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40°Cにおける貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> | | | |
| 3. 最高使用温度 | | | |
| <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40°C とする。</p> | | | |
| 4. 個数 | | | |
| <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C400④)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C401②用) | |
| 容 量 | L/個 | □ | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | °C | 40 | |
| 個 数 | — | □ | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12貯蔵容器(C401②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である□以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ□とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度40°Cにおける貯蔵容器内圧と同じ4.6MPaとする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第4項第四号に基づき40°Cとする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用するFK-5-1-12貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ(C401②)の消火に必要な貯蔵容器個数である□の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|--|-----|-----------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S603用) | |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | °C | 40 | |
| 個 数 | — | <input type="text"/> | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (S603 用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> <p>2. 最高使用圧力</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40°Cにおける貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40°C とする。</p> <p>4. 個数</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケーブトレイ (S603)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|---|-----|------------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P603③用) | |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | °C | 40 | |
| 個 数 | — | <input type="text"/> | |
| 【設 定 根 拠】 | | | |
| (概要) | | | |
| <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P603③用)は,以下の機能を有する。</p> | | | |
| <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> | | | |
| 1. 容量 | | | |
| <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> | | | |
| <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> | | | |
| 2. 最高使用圧力 | | | |
| <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40°Cにおける貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> | | | |
| 3. 最高使用温度 | | | |
| <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40°C とする。</p> | | | |
| 4. 個数 | | | |
| <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P603③)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

| | | | |
|--|-----|------------------------|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P401②用) | |
| 容 量 | L/個 | <input type="text"/> | |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 | |
| 最高使用温度 | °C | 40 | |
| 個 数 | — | <input type="text"/> | |
| 【設 定 根 拠】 | | | |
| (概要) | | | |
| <p>火災時に煙の充満,放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する,FK-5-1-12 貯蔵容器 (P401②用)は,以下の機能を有する。</p> <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう,火災の影響を限定し,早期の消火を行うために設置する。</p> | | | |
| 1. 容量 | | | |
| <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,高圧ガス保安法の適合品である一般汎用型の貯蔵容器を使用することから,当該貯蔵容器の容量はメーカーにて定めた容量である <input type="text"/> 以上とする。</p> <p>公称値については,要求される容量と同じ <input type="text"/> とする。</p> | | | |
| 2. 最高使用圧力 | | | |
| <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力は,貯蔵容器を設置する場所の周囲最高温度 40°Cにおける貯蔵容器内圧と同じ 4.6MPa とする。</p> | | | |
| 3. 最高使用温度 | | | |
| <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度は,消防法施行規則第二十条第 4 項第四号に基づき 40°C とする。</p> | | | |
| 4. 個数 | | | |
| <p>設計基準対象施設として使用する FK-5-1-12 貯蔵容器は,試験結果に基づき,ケープトレイ (P401②)の消火に必要な貯蔵容器個数である <input type="text"/> の貯蔵容器を配置する設計とする。</p> | | | |

VI-1-1-4-8-2-1-3-1-2 設定根拠に関する説明書
(ケーブルトレイ消火系 主配管(常設))

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P800用) ～ ケーブルトレイ (P800) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P800用)とケーブルトレイ (P800)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P401①, P404, P801, P803用) ～ ケーブルトレイ (P401①, P404, P801, P803) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は, FK-5-1-12貯蔵容器 (P401①, P404, P801, P803用) とケーブルトレイ (P401①, P404, P801, P803) を接続する配管であり, 発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は, FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は, FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は, メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P802用) ～ ケーブルトレイ (P802) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P802用)とケーブルトレイ (P802)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|---|
| 名 称 | | FK-5-1-12 貯蔵容器 (S100②用) ～ ケーブルトレイ (S100②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12 貯蔵容器 (S100②用)とケーブルトレイ (S100②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|---|
| 名 称 | | FK-5-1-12 貯蔵容器 (C400②用) ～ ケーブルトレイ (C400②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12 貯蔵容器 (C400②用)とケーブルトレイ (C400②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる <input type="text"/> とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P400①用) ～ ケーブルトレイ (P400①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P400①用)とケーブルトレイ (P400①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる <input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S100①用) ～ ケーブルトレイ (S100①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12 貯蔵容器 (S100①用)とケーブルトレイ (S100①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|---|
| 名 称 | | FK-5-1-12 貯蔵容器 (C400①用) ～ ケーブルトレイ (C400①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12 貯蔵容器 (C400①用)とケーブルトレイ (C400①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用圧力と同じ 4.6MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12 貯蔵容器の最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる <input type="text"/> とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S605用) ～ ケーブルトレイ (S605) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S605用)とケーブルトレイ (S605)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

枠囲みの内容は商業機密の観点より公開できません。

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C608用) ～ ケーブルトレイ (C608) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C608用)とケーブルトレイ (C608)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。 | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P607用) ～ ケーブルトレイ (P607) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P607用)とケーブルトレイ (P607)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C300②用) ～ ケーブルトレイ (C300②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C300②用)とケーブルトレイ (C300②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S300②用) ～ ケーブルトレイ (S300②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S300②用)とケーブルトレイ (S300②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる <input type="text"/> とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S300③用) ～ ケーブルトレイ (S300③) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S300③用)とケーブルトレイ (S300③)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C300③用) ～ ケーブルトレイ (C300③) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C300③用)とケーブルトレイ (C300③)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P403⑧, P101⑥用) ～ ケーブルトレイ (P403⑧, P101⑥) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P403⑧, P101⑥用)とケーブルトレイ (P403⑧, P101⑥)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C403⑧, C100⑧用) ～ ケーブルトレイ (C403⑧, C100⑧) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C403⑧, C100⑧用)とケーブルトレイ (C403⑧, C100⑧)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S101④用) ～ ケーブルトレイ (S101④) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S101④用)とケーブルトレイ (S101④)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S101③用) ～ ケーブルトレイ (S101③) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S101③用)とケーブルトレイ (S101③)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C403⑦, C100⑦用) ～ ケーブルトレイ (C403⑦, C100⑦) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C403⑦, C100⑦用)とケーブルトレイ (C403⑦, C100⑦)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P403⑦, P101⑤用) ～ ケーブルトレイ (P403⑦, P101⑤) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は, FK-5-1-12貯蔵容器 (P403⑦, P101⑤用) とケーブルトレイ (P403⑦, P101⑤) を接続する配管であり, 発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は, FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は, FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は, メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P101⑦, C403⑨, C100⑨用) ～ ケーブルトレイ (P101⑦, C403⑨, C100⑨) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P101⑦, C403⑨, C100⑨用)とケーブルトレイ (P101⑦, C403⑨, C100⑨)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P101⑧, C403⑩, C100⑩用) ～ ケーブルトレイ (P101⑧, C403⑩, C100⑩) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P101⑧, C403⑩, C100⑩用)とケーブルトレイ (P101⑧, C403⑩, C100⑩)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S101⑤用) ～ ケーブルトレイ (S101⑤) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S101⑤用)とケーブルトレイ (S101⑤)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C403⑥, C100⑥用) ～ ケーブルトレイ (C403⑥, C100⑥) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C403⑥, C100⑥用)とケーブルトレイ (C403⑥, C100⑥)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P403⑥, P101④用) ～ ケーブルトレイ (P403⑥, P101④) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P403⑥, P101④用)とケーブルトレイ (P403⑥, P101④)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S101②用) ～ ケーブルトレイ (S101②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S101②用)とケーブルトレイ (S101②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C100⑤用) ～ ケーブルトレイ (C100⑤) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C100⑤用)とケーブルトレイ (C100⑤)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C403⑤用) ～ ケーブルトレイ (C403⑤) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C403⑤用)とケーブルトレイ (C403⑤)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P101③用) ～ ケーブルトレイ (P101③) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P101③用)とケーブルトレイ (P101③)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P403⑤用) ～ ケーブルトレイ (P403⑤) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P403⑤用)とケーブルトレイ (P403⑤)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S101①用) ～ ケーブルトレイ (S101①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S101①用)とケーブルトレイ (S101①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P403④, C403④, C100④用) ～ ケーブルトレイ (P403④, C403④, C100④) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P403④, C403④, C100④用)とケーブルトレイ (P403④, C403④, C100④)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P403③, C403③, C100③用) ～ ケーブルトレイ (P403③, C403③, C100③) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P403③, C403③, C100③用)とケーブルトレイ (P403③, C403③, C100③)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C403②, C100②用) ～ ケーブルトレイ (C403②, C100②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C403②, C100②用)とケーブルトレイ (C403②, C100②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P403②, P101②, C749用) ～ ケーブルトレイ (P403②, P101②, C749) |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P403②, P101②, C749用)とケーブルトレイ (P403②, P101②, C749)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P403①, P101①用) ～ ケーブルトレイ (P403①, P101①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P403①, P101①用)とケーブルトレイ (P403①, P101①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C403①, C100①用) ～ ケーブルトレイ (C403①, C100①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C403①, C100①用)とケーブルトレイ (C403①, C100①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P503①, C501①用) ～ ケーブルトレイ (P503①, C501①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P503①, C501①用)とケーブルトレイ (P503①, C501①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S202①用) ～ ケーブルトレイ (S202①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S202①用)とケーブルトレイ (S202①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P502①, P503②, C501②用) ～ ケーブルトレイ (P502①, P503②, C501②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P502①, P503②, C501②用)とケーブルトレイ (P502①, P503②, C501②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S300④用) ～ ケーブルトレイ (S300④) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S300④用)とケーブルトレイ (S300④)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C300④用) ～ ケーブルトレイ (C300④) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C300④用)とケーブルトレイ (C300④)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P202①用) ～ ケーブルトレイ (P202①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P202①用)とケーブルトレイ (P202①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C202①用) ～ ケーブルトレイ (C202①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C202①用)とケーブルトレイ (C202①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P502②用) ～ ケーブルトレイ (P502②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P502②用)とケーブルトレイ (P502②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P503③用) ～ ケーブルトレイ (P503③) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P503③用)とケーブルトレイ (P503③)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C501③用) ～ ケーブルトレイ (C501③) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C501③用)とケーブルトレイ (C501③)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S202②用) ～ ケーブルトレイ (S202②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S202②用)とケーブルトレイ (S202②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P502③, P503⑤, P202③用) ～ ケーブルトレイ (P502③, P503⑤, P202③) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P502③, P503⑤, P202③用)とケーブルトレイ (P502③, P503⑤, P202③)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C501④, C202②用) ～ ケーブルトレイ (C501④, C202②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C501④, C202②用)とケーブルトレイ (C501④, C202②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P502⑤, P503⑦, P202⑤用) ～ ケーブルトレイ (P502⑤, P503⑦, P202⑤) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P502⑤, P503⑦, P202⑤用)とケーブルトレイ (P502⑤, P503⑦, P202⑤)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P502④, P503⑥, P202④用) ～ ケーブルトレイ (P502④, P503⑥, P202④) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P502④, P503⑥, P202④用)とケーブルトレイ (P502④, P503⑥, P202④)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するため設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C501⑥, C202④用) ～ ケーブルトレイ (C501⑥, C202④) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C501⑥, C202④用)とケーブルトレイ (C501⑥, C202④)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S202④用) ～ ケーブルトレイ (S202④) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S202④用)とケーブルトレイ (S202④)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S202⑤用) ～ ケーブルトレイ (S202⑤) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S202⑤用)とケーブルトレイ (S202⑤)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C501⑦, C202⑤用) ～ ケーブルトレイ(C501⑦, C202⑤) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器(C501⑦, C202⑤用)とケーブルトレイ(C501⑦, C202⑤)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P502⑥, P503⑧, P202⑥用) ～ ケーブルトレイ (P502⑥, P503⑧, P202⑥) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P502⑥, P503⑧, P202⑥用)とケーブルトレイ (P502⑥, P503⑧, P202⑥)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P769用) ～ ケーブルトレイ (P769) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P769用)とケーブルトレイ (P769)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C501-1用) ～ ケーブルトレイ (C501-1) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C501-1用)とケーブルトレイ (C501-1)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S703用) ～ ケーブルトレイ (S703) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S703用)とケーブルトレイ (S703)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C736用) ～ ケーブルトレイ (C736) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C736用)とケーブルトレイ (C736)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C729用) ～ ケーブルトレイ (C729) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C729用)とケーブルトレイ (C729)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S704用) ～ ケーブルトレイ (S704) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S704用)とケーブルトレイ (S704)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S202③用) ～ ケーブルトレイ (S202③) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S202③用)とケーブルトレイ (S202③)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C501⑤, C202③用) ～ ケーブルトレイ (C501⑤, C202③) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C501⑤, C202③用)とケーブルトレイ (C501⑤, C202③)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P503④, P202②用) ～ ケーブルトレイ (P503④, P202②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P503④, P202②用)とケーブルトレイ (P503④, P202②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C300①用) ～ ケーブルトレイ (C300①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C300①用)とケーブルトレイ (C300①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S300①用) ～ ケーブルトレイ (S300①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S300①用)とケーブルトレイ (S300①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S101⑫用) ～ ケーブルトレイ (S101⑫) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S101⑫用)とケーブルトレイ (S101⑫)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C403㊸用) ～ ケーブルトレイ (C403㊸) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C403㊸用)とケーブルトレイ (C403㊸)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S101⑩用) ～ ケーブルトレイ (S101⑩) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S101⑩用)とケーブルトレイ (S101⑩)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P101⑪, C403⑱, C100⑲用) ～ ケーブルトレイ (P101⑪, C403⑱, C100⑲) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P101⑪, C403⑱, C100⑲用)とケーブルトレイ (P101⑪, C403⑱, C100⑲)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P101⑫, C403⑳, C100㉑用) ～ ケーブルトレイ (P101⑫, C403⑳, C100㉑) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P101⑫, C403⑳, C100㉑用)とケーブルトレイ (P101⑫, C403⑳, C100㉑)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S101⑩用) ～ ケーブルトレイ (S101⑩) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S101⑩用)とケーブルトレイ (S101⑩)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C403 [®] 用) ～ ケーブルトレイ (C403 [®]) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C403[®]用)とケーブルトレイ (C403[®])を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C100 [®] 用) ～ ケーブルトレイ (C100 [®]) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C100[®]用)とケーブルトレイ (C100[®])を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S101㊸用) ～ ケーブルトレイ (S101㊸) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S101㊸用)とケーブルトレイ (S101㊸)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C100⑰用) ～ ケーブルトレイ (C100⑰) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C100⑰用)とケーブルトレイ (C100⑰)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C403⑰用) ～ ケーブルトレイ (C403⑰) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C403⑰用)とケーブルトレイ (C403⑰)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S101⑦用) ～ ケーブルトレイ (S101⑦) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S101⑦用)とケーブルトレイ (S101⑦)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S101⑧用) ～ ケーブルトレイ (S101⑧) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S101⑧用)とケーブルトレイ (S101⑧)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P403 ^㊸ , C403 ^㊹ , C100 ^㊺ 用) ～ ケーブルトレイ (P403 ^㊸ , C403 ^㊹ , C100 ^㊺) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input style="width: 50px; height: 15px;" type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P403^㊸, C403^㊹, C100^㊺用)とケーブルトレイ (P403^㊸, C403^㊹, C100^㊺)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる <input style="width: 50px; height: 15px;" type="text"/> とする。 | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P403⑪, C403⑬, C100⑬用) ～ ケーブルトレイ (P403⑪, C403⑬, C100⑬) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P403⑪, C403⑬, C100⑬用)とケーブルトレイ (P403⑪, C403⑬, C100⑬)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P403⑫, C403⑭, C100⑭用) ～ ケーブルトレイ (P403⑫, C403⑭, C100⑭) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P403⑫, C403⑭, C100⑭用)とケーブルトレイ (P403⑫, C403⑭, C100⑭)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C403 [Ⓔ] , C100 [Ⓔ] 用) ～ ケーブルトレイ (C403 [Ⓔ] , C100 [Ⓔ]) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C403[Ⓔ], C100[Ⓔ]用)とケーブルトレイ (C403[Ⓔ], C100[Ⓔ])を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P403⑨, C403⑩, C100⑪用) ～ ケーブルトレイ (P403⑨, C403⑩, C100⑪) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P403⑨, C403⑩, C100⑪用)とケーブルトレイ (P403⑨, C403⑩, C100⑪)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S101⑥用) ～ ケーブルトレイ (S101⑥) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S101⑥用)とケーブルトレイ (S101⑥)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P403⑩, C403⑫, C100⑬用) ～ ケーブルトレイ (P403⑩, C403⑫, C100⑬) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P403⑩, C403⑫, C100⑬用)とケーブルトレイ (P403⑩, C403⑫, C100⑬)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P503⑨, P202⑦用) ～ ケーブルトレイ (P503⑨, P202⑦) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P503⑨, P202⑦用)とケーブルトレイ (P503⑨, P202⑦)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器(C501⑧, C202⑥用) ～ ケーブルトレイ(C501⑧, C202⑥) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器(C501⑧, C202⑥用)とケーブルトレイ(C501⑧, C202⑥)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S202⑥用) ～ ケーブルトレイ (S202⑥) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S202⑥用)とケーブルトレイ (S202⑥)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P503⑩用) ～ ケーブルトレイ (P503⑩) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P503⑩用)とケーブルトレイ (P503⑩)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P503⑩, P202⑧用) ～ ケーブルトレイ (P503⑩, P202⑧) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P503⑩, P202⑧用)とケーブルトレイ (P503⑩, P202⑧)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C501⑨, C202⑦用) ～ ケーブルトレイ (C501⑨, C202⑦) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C501⑨, C202⑦用)とケーブルトレイ (C501⑨, C202⑦)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S202⑦用) ～ ケーブルトレイ (S202⑦) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S202⑦用)とケーブルトレイ (S202⑦)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C501⑩, C202⑨用) ～ ケーブルトレイ (C501⑩, C202⑨) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C501⑩, C202⑨用)とケーブルトレイ (C501⑩, C202⑨)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P503⑫, P202⑩用) ～ ケーブルトレイ (P503⑫, P202⑩) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P503⑫, P202⑩用)とケーブルトレイ (P503⑫, P202⑩)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S202⑧用) ～ ケーブルトレイ (S202⑧) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S202⑧用)とケーブルトレイ (S202⑧)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P202⑨, C501⑩, C202⑧用) ～ ケーブルトレイ (P202⑨, C501⑩, C202⑧) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P202⑨, C501⑩, C202⑧用)とケーブルトレイ (P202⑨, C501⑩, C202⑧)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P202⑪, C501⑫, C202⑩用) ～ ケーブルトレイ (P202⑪, C501⑫, C202⑩) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P202⑪, C501⑫, C202⑩用)とケーブルトレイ (P202⑪, C501⑫, C202⑩)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S709①用) ～ ケーブルトレイ (S709①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S709①用)とケーブルトレイ (S709①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる <input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S708用) ～ ケーブルトレイ (S708) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S708用)とケーブルトレイ (S708)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C403②, C809用) ～ ケーブルトレイ (C403②, C809) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C403②, C809用)とケーブルトレイ (C403②, C809)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P101⑨, C403⑳, C100㉔用) ～ ケーブルトレイ (P101⑨, C403⑳, C100㉔) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P101⑨, C403⑳, C100㉔用)とケーブルトレイ (P101⑨, C403⑳, C100㉔)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P101⑩, C403㉔, C100㉕用) ～ ケーブルトレイ (P101⑩, C403㉔, C100㉕) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P101⑩, C403㉔, C100㉕用)とケーブルトレイ (P101⑩, C403㉔, C100㉕)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S101⑬, S709②用) ～ ケーブルトレイ (S101⑬, S709②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S101⑬, S709②用)とケーブルトレイ (S101⑬, S709②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P201①, C201用) ～ ケーブルトレイ (P201①, C201) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P201①, C201用)とケーブルトレイ (P201①, C201)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P701⑨, P700⑨, P610⑥用) ～ ケーブルトレイ (P701⑨, P700⑨, P610⑥) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P701⑨, P700⑨, P610⑥用)とケーブルトレイ (P701⑨, P700⑨, P610⑥)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K702⑧, K706⑧用) ～ ケーブルトレイ (K702⑧, K706⑧) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K702⑧, K706⑧用)とケーブルトレイ (K702⑧, K706⑧)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K602②用) ～ ケーブルトレイ (K602②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K602②用)とケーブルトレイ (K602②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P602⑥, C606④, C601②用) ～ ケーブルトレイ (P602⑥, C606④, C601②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P602⑥, C606④, C601②用)とケーブルトレイ (P602⑥, C606④, C601②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P701⑧, P700⑧, P610⑤用) ～ ケーブルトレイ (P701⑧, P700⑧, P610⑤) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P701⑧, P700⑧, P610⑤用)とケーブルトレイ (P701⑧, P700⑧, P610⑤)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C606③用) ～ ケーブルトレイ (C606③) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C606③用)とケーブルトレイ (C606③)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる <input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S602③用) ～ ケーブルトレイ (S602③) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S602③用)とケーブルトレイ (S602③)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K702⑦, K706⑦, P701⑦用) ～ ケーブルトレイ (K702⑦, K706⑦, P701⑦) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K702⑦, K706⑦, P701⑦用)とケーブルトレイ (K702⑦, K706⑦, P701⑦)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P700⑦, P610④, P602④用) ～ ケーブルトレイ (P700⑦, P610④, P602④) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P700⑦, P610④, P602④用)とケーブルトレイ (P700⑦, P610④, P602④)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P602⑤用) ～ ケーブルトレイ (P602⑤) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P602⑤用)とケーブルトレイ (P602⑤)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K702⑥, K706⑥, P701⑥用) ～ ケーブルトレイ (K702⑥, K706⑥, P701⑥) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K702⑥, K706⑥, P701⑥用)とケーブルトレイ (K702⑥, K706⑥, P701⑥)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P700⑥, P610③, P602③用) ～ ケーブルトレイ (P700⑥, P610③, P602③) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P700⑥, P610③, P602③用)とケーブルトレイ (P700⑥, P610③, P602③)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C606②用) ～ ケーブルトレイ (C606②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C606②用)とケーブルトレイ (C606②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S602②用) ～ ケーブルトレイ (S602②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S602②用)とケーブルトレイ (S602②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K702⑤, K706⑤, P701⑤用) ～ ケーブルトレイ (K702⑤, K706⑤, P701⑤) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K702⑤, K706⑤, P701⑤用)とケーブルトレイ (K702⑤, K706⑤, P701⑤)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P700⑤, P610②, P602②用) ～ ケーブルトレイ (P700⑤, P610②, P602②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P700⑤, P610②, P602②用)とケーブルトレイ (P700⑤, P610②, P602②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K601, P600, P601用) ～ ケーブルトレイ (K601, P600, P601) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K601, P600, P601用)とケーブルトレイ (K601, P600, P601)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。 | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S601②用) ～ ケーブルトレイ (S601②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S601②用)とケーブルトレイ (S601②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K702④, K706④, P701④用) ～ ケーブルトレイ (K702④, K706④, P701④) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K702④, K706④, P701④用)とケーブルトレイ (K702④, K706④, P701④)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P700④, P610①, P602①用) ～ ケーブルトレイ (P700④, P610①, P602①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P700④, P610①, P602①用)とケーブルトレイ (P700④, P610①, P602①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P201⑥用) ～ ケーブルトレイ (P201⑥) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P201⑥用)とケーブルトレイ (P201⑥)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K702①, K706①, P701①用) ～ ケーブルトレイ (K702①, K706①, P701①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K702①, K706①, P701①用)とケーブルトレイ (K702①, K706①, P701①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P700①, P500①, P501①用) ～ ケーブルトレイ (P700①, P500①, P501①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P700①, P500①, P501①用)とケーブルトレイ (P700①, P500①, P501①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K702②, K706②, P701②用) ～ ケーブルトレイ (K702②, K706②, P701②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K702②, K706②, P701②用)とケーブルトレイ (K702②, K706②, P701②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P700②, P500②, P501②用) ～ ケーブルトレイ (P700②, P500②, P501②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P700②, P500②, P501②用)とケーブルトレイ (P700②, P500②, P501②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C606①用) ～ ケーブルトレイ (C606①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C606①用)とケーブルトレイ (C606①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K702③, K706③, P701③用) ～ ケーブルトレイ (K702③, K706③, P701③) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K702③, K706③, P701③用)とケーブルトレイ (K702③, K706③, P701③)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P700③, P500③, P501③用) ～ ケーブルトレイ (P700③, P500③, P501③) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P700③, P500③, P501③用)とケーブルトレイ (P700③, P500③, P501③)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S602①用) ～ ケーブルトレイ (S602①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S602①用)とケーブルトレイ (S602①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C602①用) ～ ケーブルトレイ (C602①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C602①用)とケーブルトレイ (C602①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C603②用) ～ ケーブルトレイ (C603②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C603②用)とケーブルトレイ (C603②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S600①用) ～ ケーブルトレイ (S600①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S600①用)とケーブルトレイ (S600①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C601①用) ～ ケーブルトレイ (C601①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C601①用)とケーブルトレイ (C601①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C602②用) ～ ケーブルトレイ (C602②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C602②用)とケーブルトレイ (C602②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S600④用) ～ ケーブルトレイ (S600④) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S600④用)とケーブルトレイ (S600④)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S600③用) ～ ケーブルトレイ (S600③) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S600③用)とケーブルトレイ (S600③)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S601③用) ～ ケーブルトレイ (S601③) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S601③用)とケーブルトレイ (S601③)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S600②用) ～ ケーブルトレイ (S600②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S600②用)とケーブルトレイ (S600②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P300①, C300⑤用) ～ ケーブルトレイ (P300①, C300⑤) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P300①, C300⑤用)とケーブルトレイ (P300①, C300⑤)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S300⑤用) ～ ケーブルトレイ (S300⑤) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S300⑤用)とケーブルトレイ (S300⑤)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P300③, C300⑦用) ～ ケーブルトレイ (P300③, C300⑦) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P300③, C300⑦用)とケーブルトレイ (P300③, C300⑦)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S300⑥用) ～ ケーブルトレイ (S300⑥) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S300⑥用)とケーブルトレイ (S300⑥)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P300②, C300⑥用) ～ ケーブルトレイ (P300②, C300⑥) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P300②, C300⑥用)とケーブルトレイ (P300②, C300⑥)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P300④, C300⑧用) ～ ケーブルトレイ (P300④, C300⑧) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P300④, C300⑧用)とケーブルトレイ (P300④, C300⑧)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K100③, P402③用) ～ ケーブルトレイ (K100③, P402③) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K100③, P402③用)とケーブルトレイ (K100③, P402③)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P102⑤, C100⑦用) ～ ケーブルトレイ (P102⑤, C100⑦) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P102⑤, C100⑦用)とケーブルトレイ (P102⑤, C100⑦)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S100③用) ～ ケーブルトレイ (S100③) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S100③用)とケーブルトレイ (S100③)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K100⑥, P402⑥用) ～ ケーブルトレイ (K100⑥, P402⑥) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K100⑥, P402⑥用)とケーブルトレイ (K100⑥, P402⑥)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P102⑥, C100⑳用) ～ ケーブルトレイ (P102⑥, C100⑳) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P102⑥, C100⑳用)とケーブルトレイ (P102⑥, C100⑳)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S100④用) ～ ケーブルトレイ (S100④) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S100④用)とケーブルトレイ (S100④)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K100⑦, P402⑦用) ～ ケーブルトレイ (K100⑦, P402⑦) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K100⑦, P402⑦用)とケーブルトレイ (K100⑦, P402⑦)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P102⑦, C100⑳用) ～ ケーブルトレイ (P102⑦, C100⑳) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P102⑦, C100⑳用)とケーブルトレイ (P102⑦, C100⑳)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K201②, P502⑧用) ～ ケーブルトレイ (K201②, P502⑧) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K201②, P502⑧用)とケーブルトレイ (K201②, P502⑧)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P201③, C200②用) ～ ケーブルトレイ (P201③, C200②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P201③, C200②用)とケーブルトレイ (P201③, C200②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P201④, C200③用) ～ ケーブルトレイ (P201④, C200③) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P201④, C200③用)とケーブルトレイ (P201④, C200③)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K201③, P502⑨用) ～ ケーブルトレイ (K201③, P502⑨) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K201③, P502⑨用)とケーブルトレイ (K201③, P502⑨)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S200②用) ～ ケーブルトレイ (S200②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S200②用)とケーブルトレイ (S200②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C200④用) ～ ケーブルトレイ (C200④) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C200④用)とケーブルトレイ (C200④)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P201⑤用) ～ ケーブルトレイ (P201⑤) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P201⑤用)とケーブルトレイ (P201⑤)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S100⑤用) ～ ケーブルトレイ (S100⑤) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S100⑤用)とケーブルトレイ (S100⑤)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P102②, C100④用) ～ ケーブルトレイ (P102②, C100④) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P102②, C100④用)とケーブルトレイ (P102②, C100④)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K100②, P402②用) ～ ケーブルトレイ (K100②, P402②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K100②, P402②用)とケーブルトレイ (K100②, P402②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P102①, C100②用) ～ ケーブルトレイ (P102①, C100②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P102①, C100②用)とケーブルトレイ (P102①, C100②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K100①, P402①用) ～ ケーブルトレイ (K100①, P402①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K100①, P402①用)とケーブルトレイ (K100①, P402①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S200①用) ～ ケーブルトレイ (S200①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S200①用)とケーブルトレイ (S200①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S601①用) ～ ケーブルトレイ (S601①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S601①用)とケーブルトレイ (S601①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K602①, P603①, C603①用) ～ ケーブルトレイ (K602①, P603①, C603①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は, FK-5-1-12貯蔵容器 (K602①, P603①, C603①用) とケーブルトレイ (K602①, P603①, C603①) を接続する配管であり, 発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は, FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は, FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は, メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P201②, C200①用) ～ ケーブルトレイ (P201②, C200①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P201②, C200①用)とケーブルトレイ (P201②, C200①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K201①, P502⑦用) ～ ケーブルトレイ (K201①, P502⑦) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K201①, P502⑦用)とケーブルトレイ (K201①, P502⑦)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P102④, C100⑥用) ～ ケーブルトレイ (P102④, C100⑥) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P102④, C100⑥用)とケーブルトレイ (P102④, C100⑥)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K100⑤, P402⑤用) ～ ケーブルトレイ (K100⑤, P402⑤) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K100⑤, P402⑤用)とケーブルトレイ (K100⑤, P402⑤)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S100⑦用) ～ ケーブルトレイ (S100⑦) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S100⑦用)とケーブルトレイ (S100⑦)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P102③, C100⑤用) ～ ケーブルトレイ (P102③, C100⑤) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P102③, C100⑤用)とケーブルトレイ (P102③, C100⑤)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K100④, P402④用) ～ ケーブルトレイ (K100④, P402④) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K100④, P402④用)とケーブルトレイ (K100④, P402④)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S100⑥用) ～ ケーブルトレイ (S100⑥) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S100⑥用)とケーブルトレイ (S100⑥)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K100⑧, P402⑧用) ～ ケーブルトレイ (K100⑧, P402⑧) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K100⑧, P402⑧用)とケーブルトレイ (K100⑧, P402⑧)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P102⑧, C100⑩用) ～ ケーブルトレイ (P102⑧, C100⑩) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P102⑧, C100⑩用)とケーブルトレイ (P102⑧, C100⑩)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S100㊸用) ～ ケーブルトレイ (S100㊸) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S100㊸用)とケーブルトレイ (S100㊸)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S100⑧用) ～ ケーブルトレイ (S100⑧) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S100⑧用)とケーブルトレイ (S100⑧)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P102⑨, C100⑩用) ～ ケーブルトレイ (P102⑨, C100⑩) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P102⑨, C100⑩用)とケーブルトレイ (P102⑨, C100⑩)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K100㊟, P402㊟用) ～ ケーブルトレイ (K100㊟, P402㊟) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K100㊟, P402㊟用)とケーブルトレイ (K100㊟, P402㊟)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P502⑩用) ～ ケーブルトレイ (P502⑩) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P502⑩用)とケーブルトレイ (P502⑩)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K201④用) ～ ケーブルトレイ (K201④) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K201④用)とケーブルトレイ (K201④)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S300⑦用) ～ ケーブルトレイ (S300⑦) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S300⑦用)とケーブルトレイ (S300⑦)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C300㊸用) ～ ケーブルトレイ (C300㊸) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C300㊸用)とケーブルトレイ (C300㊸)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K610③, K611③, K612③用) ～ ケーブルトレイ (K610③, K611③, K612③) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K610③, K611③, K612③用)とケーブルトレイ (K610③, K611③, K612③)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K610②, K611②, K612②用) ～ ケーブルトレイ (K610②, K611②, K612②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K610②, K611②, K612②用)とケーブルトレイ (K610②, K611②, K612②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するため設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K610①, K611①, K612①用) ～ ケーブルトレイ (K610①, K611①, K612①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K610①, K611①, K612①用)とケーブルトレイ (K610①, K611①, K612①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するため設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K003①用) ～ ケーブルトレイ (K003①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K003①用)とケーブルトレイ (K003①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K003②用) ～ ケーブルトレイ (K003②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K003②用)とケーブルトレイ (K003②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K003③用) ～ ケーブルトレイ (K003③) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K003③用)とケーブルトレイ (K003③)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S003③用) ～ ケーブルトレイ (S003③) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S003③用)とケーブルトレイ (S003③)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる□とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C008③用) ～ ケーブルトレイ (C008③) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C008③用)とケーブルトレイ (C008③)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S003②用) ～ ケーブルトレイ (S003②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S003②用)とケーブルトレイ (S003②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C008②用) ～ ケーブルトレイ (C008②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C008②用)とケーブルトレイ (C008②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S003①用) ～ ケーブルトレイ (S003①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S003①用)とケーブルトレイ (S003①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C008①用) ～ ケーブルトレイ (C008①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C008①用)とケーブルトレイ (C008①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C004用) ～ ケーブルトレイ (C004) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C004用)とケーブルトレイ (C004)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C001②用) ～ ケーブルトレイ (C001②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C001②用)とケーブルトレイ (C001②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S001②用) ～ ケーブルトレイ (S001②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S001②用)とケーブルトレイ (S001②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K002用) ～ ケーブルトレイ (K002) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K002用)とケーブルトレイ (K002)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C001①用) ～ ケーブルトレイ (C001①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C001①用)とケーブルトレイ (C001①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S001①用) ～ ケーブルトレイ (S001①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S001①用)とケーブルトレイ (S001①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S751①用) ～ ケーブルトレイ (S751①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S751①用)とケーブルトレイ (S751①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S750①用) ～ ケーブルトレイ (S750①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S750①用)とケーブルトレイ (S750①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S750②用) ～ ケーブルトレイ (S750②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S750②用)とケーブルトレイ (S750②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S751②用) ～ ケーブルトレイ (S751②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S751②用)とケーブルトレイ (S751②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S750③用) ～ ケーブルトレイ (S750③) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S750③用)とケーブルトレイ (S750③)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S751③用) ～ ケーブルトレイ (S751③) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S751③用)とケーブルトレイ (S751③)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S750④用) ～ ケーブルトレイ (S750④) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S750④用)とケーブルトレイ (S750④)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S751④用) ～ ケーブルトレイ (S751④) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S751④用)とケーブルトレイ (S751④)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S750⑤用) ～ ケーブルトレイ (S750⑤) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S750⑤用)とケーブルトレイ (S750⑤)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C002②用) ～ ケーブルトレイ (C002②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C002②用)とケーブルトレイ (C002②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C003用) ～ ケーブルトレイ (C003) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C003用)とケーブルトレイ (C003)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S002用) ～ ケーブルトレイ (S002) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | □ |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S002用)とケーブルトレイ (S002)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S750⑥用) ～ ケーブルトレイ (S750⑥) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S750⑥用)とケーブルトレイ (S750⑥)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C002①用) ～ ケーブルトレイ (C002①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C002①用)とケーブルトレイ (C002①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S750⑦用) ～ ケーブルトレイ (S750⑦) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S750⑦用)とケーブルトレイ (S750⑦)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S751⑥用) ～ ケーブルトレイ (S751⑥) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S751⑥用)とケーブルトレイ (S751⑥)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S751⑤用) ～ ケーブルトレイ (S751⑤) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S751⑤用)とケーブルトレイ (S751⑤)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。 2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。 3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。 | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S754用) ～ ケーブルトレイ (S754) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S754用)とケーブルトレイ (S754)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S755用) ～ ケーブルトレイ (S755) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S755用)とケーブルトレイ (S755)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S752①用) ～ ケーブルトレイ (S752①) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S752①用)とケーブルトレイ (S752①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S752②用) ～ ケーブルトレイ (S752②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S752②用)とケーブルトレイ (S752②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S753用) ～ ケーブルトレイ (S753) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】 (概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S753用)とケーブルトレイ (S753)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C400③用) ～ ケーブルトレイ (C400③) |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、FK-5-1-12貯蔵容器 (C400③用) とケーブルトレイ (C400③) を接続する配管であり、発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C401①用) ～ ケーブルトレイ (C401①) |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C401①用)とケーブルトレイ (C401①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる <input type="text"/> とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S100⑩用) ～ ケーブルトレイ (S100⑩) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S100⑩用)とケーブルトレイ (S100⑩)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|---|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K400①用) ～ ケーブルトレイ (K400①) |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K400①用)とケーブルトレイ (K400①)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる <input type="text"/> とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P400②用) ～ ケーブルトレイ (P400②) |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、FK-5-1-12貯蔵容器 (P400②用)とケーブルトレイ (P400②)を接続する配管であり、発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる <input type="text"/> とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P402⑩用) ～ ケーブルトレイ (P402⑩) |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P402⑩用)とケーブルトレイ (P402⑩)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる <input type="text"/> とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (K400②用) ～ ケーブルトレイ (K400②) |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (K400②用)とケーブルトレイ (K400②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる <input type="text"/> とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P400③用) ～ ケーブルトレイ (P400③) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P400③用)とケーブルトレイ (P400③)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P603②用) ～ ケーブルトレイ (P603②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P603②用)とケーブルトレイ (P603②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

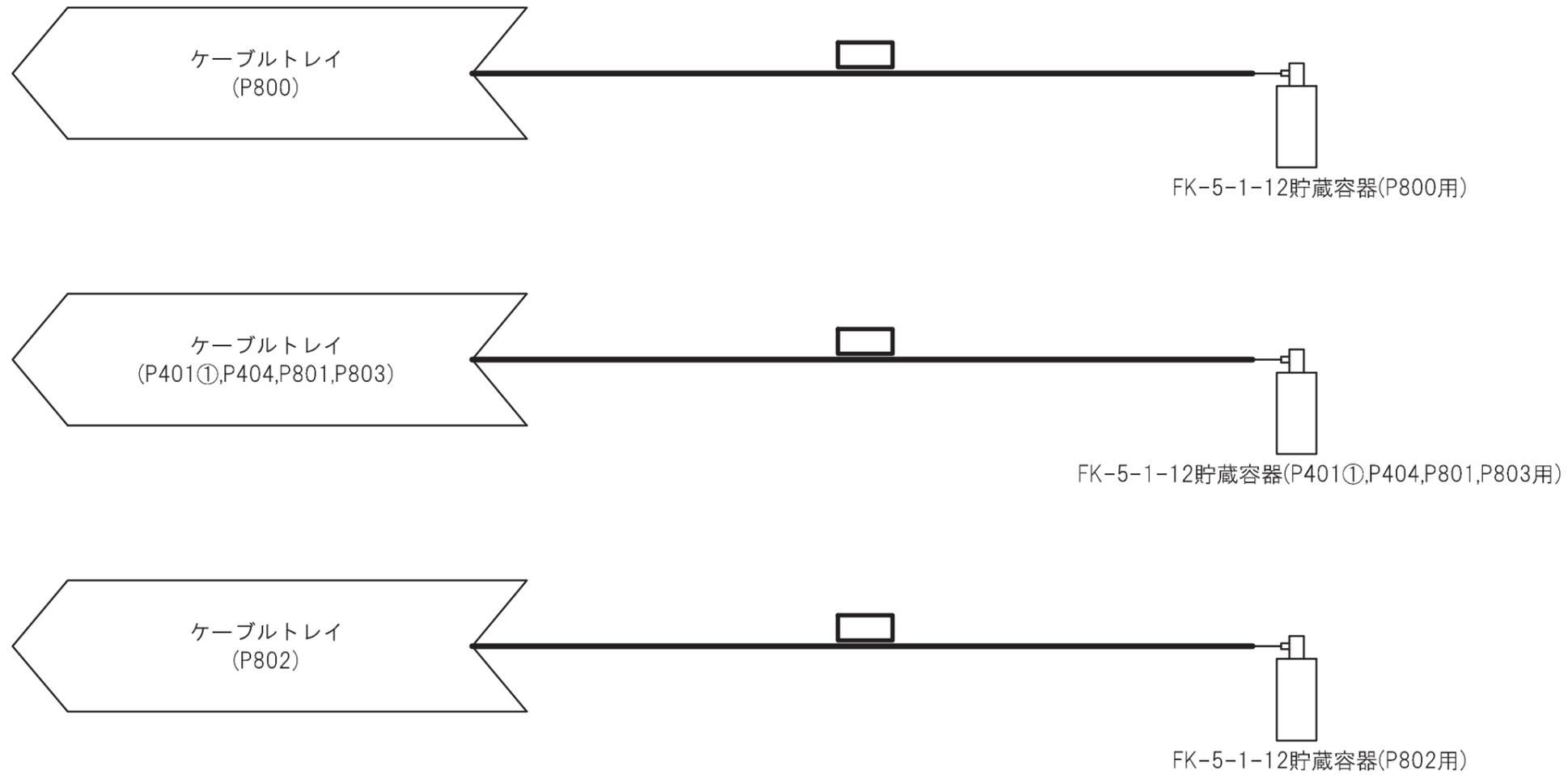
| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C400④用) ～ ケーブルトレイ (C400④) |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (C400④用)とケーブルトレイ (C400④)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる <input type="text"/> とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (C401②用) ～ ケーブルトレイ (C401②) |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 4.6 |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、FK-5-1-12貯蔵容器 (C401②用)とケーブルトレイ (C401②)を接続する配管であり、発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる <input type="text"/> とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (S603用) ～ ケーブルトレイ (S603) |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (S603用)とケーブルトレイ (S603)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる <input type="text"/> とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P603③用) ～ ケーブルトレイ (P603③) |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、FK-5-1-12貯蔵容器 (P603③用)とケーブルトレイ (P603③)を接続する配管であり、発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる <input type="text"/> とする。</p> | | |

| | | |
|--|-----|--|
| 名 称 | | FK-5-1-12貯蔵容器 (P401②用) ～ ケーブルトレイ (P401②) |
| 最高使用圧力 | MPa | 4.6 |
| 最高使用温度 | ℃ | 40 |
| 外 径 | mm | <input type="text"/> |
| <p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は,FK-5-1-12貯蔵容器 (P401②用)とケーブルトレイ (P401②)を接続する配管であり,発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用圧力と同じ4.6MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は,FK-5-1-12貯蔵容器の最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は,メーカーの試験結果に基づき十分なFK-5-1-12ガス量を供給することができる<input type="text"/>とする。</p> | | |

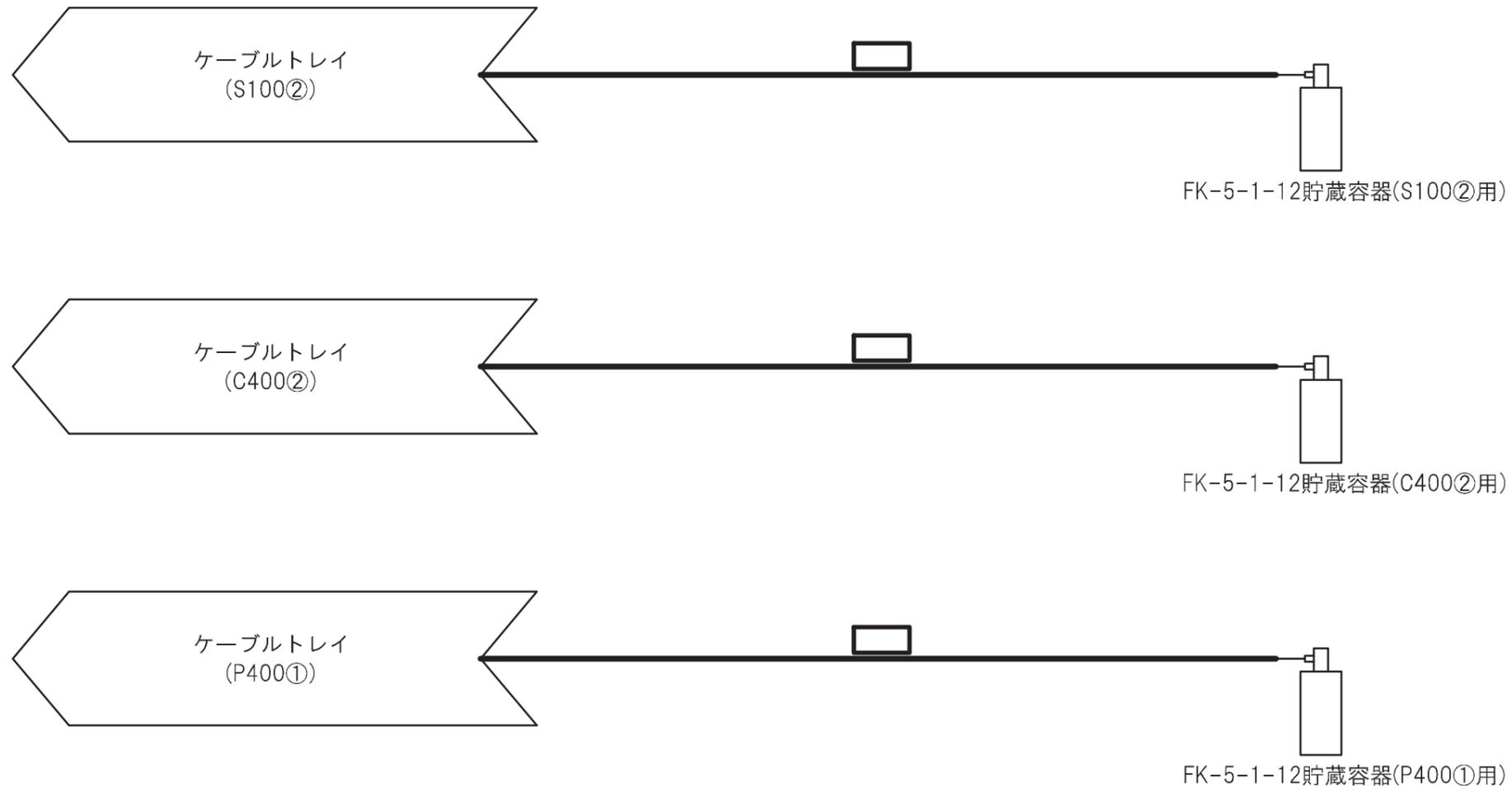


—— 火災防護設備のうち消火設備 (ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-1図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その1) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0930

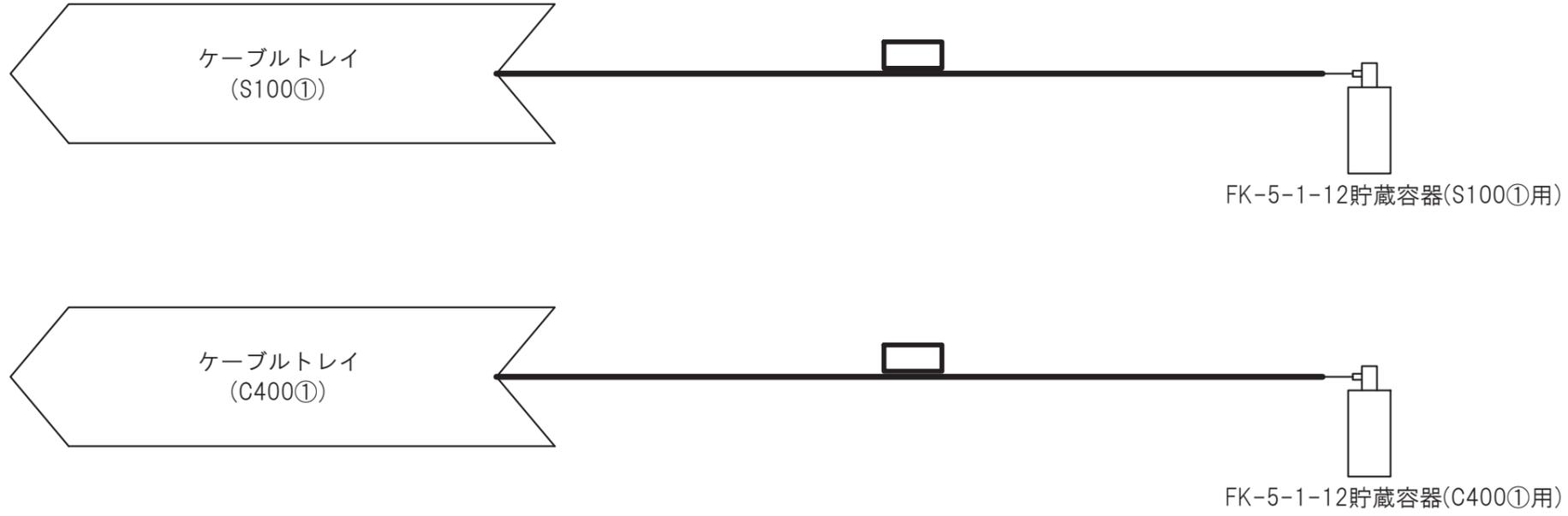


—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

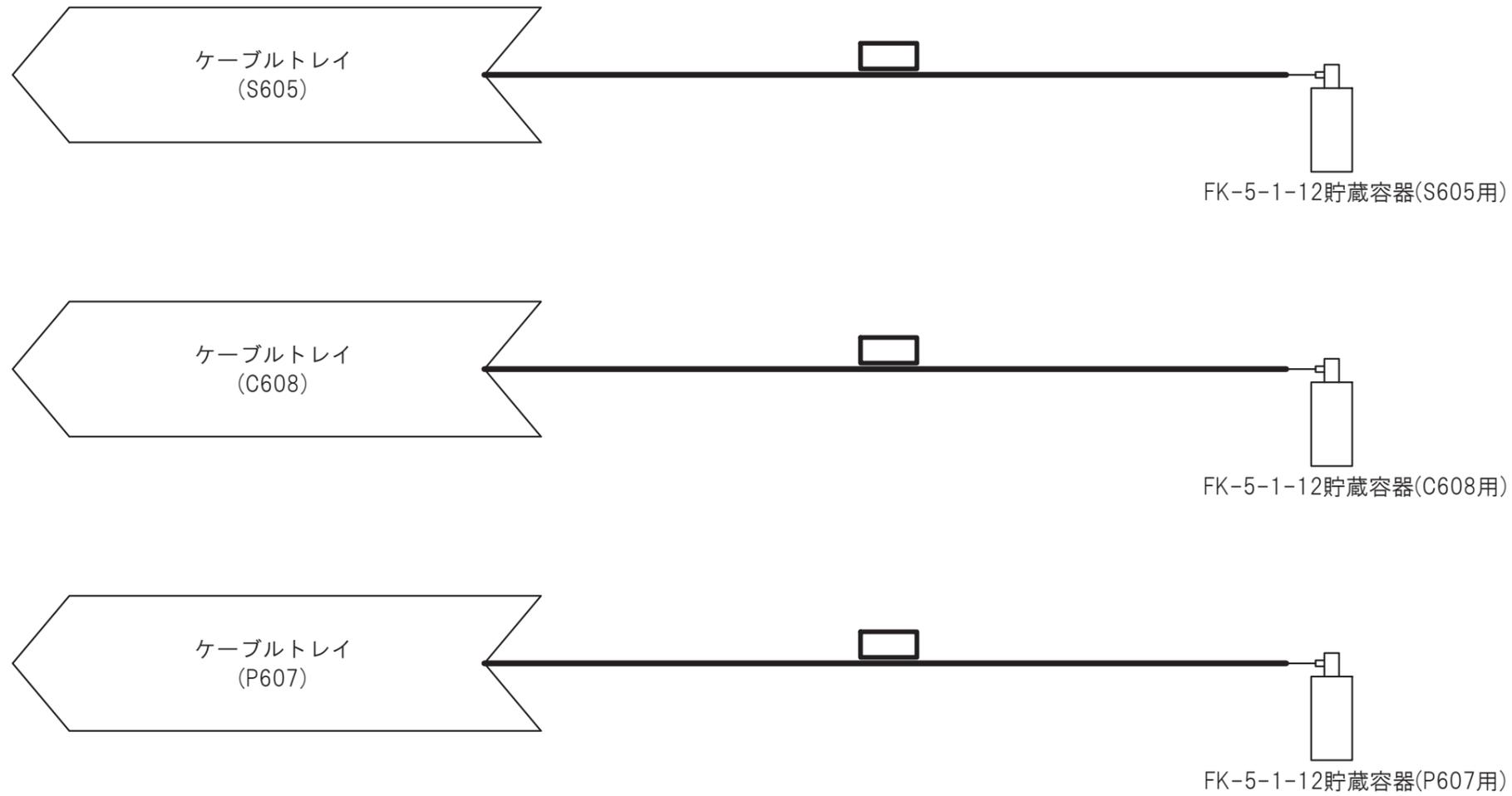
| | |
|---------------|------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-2図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その2) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0930

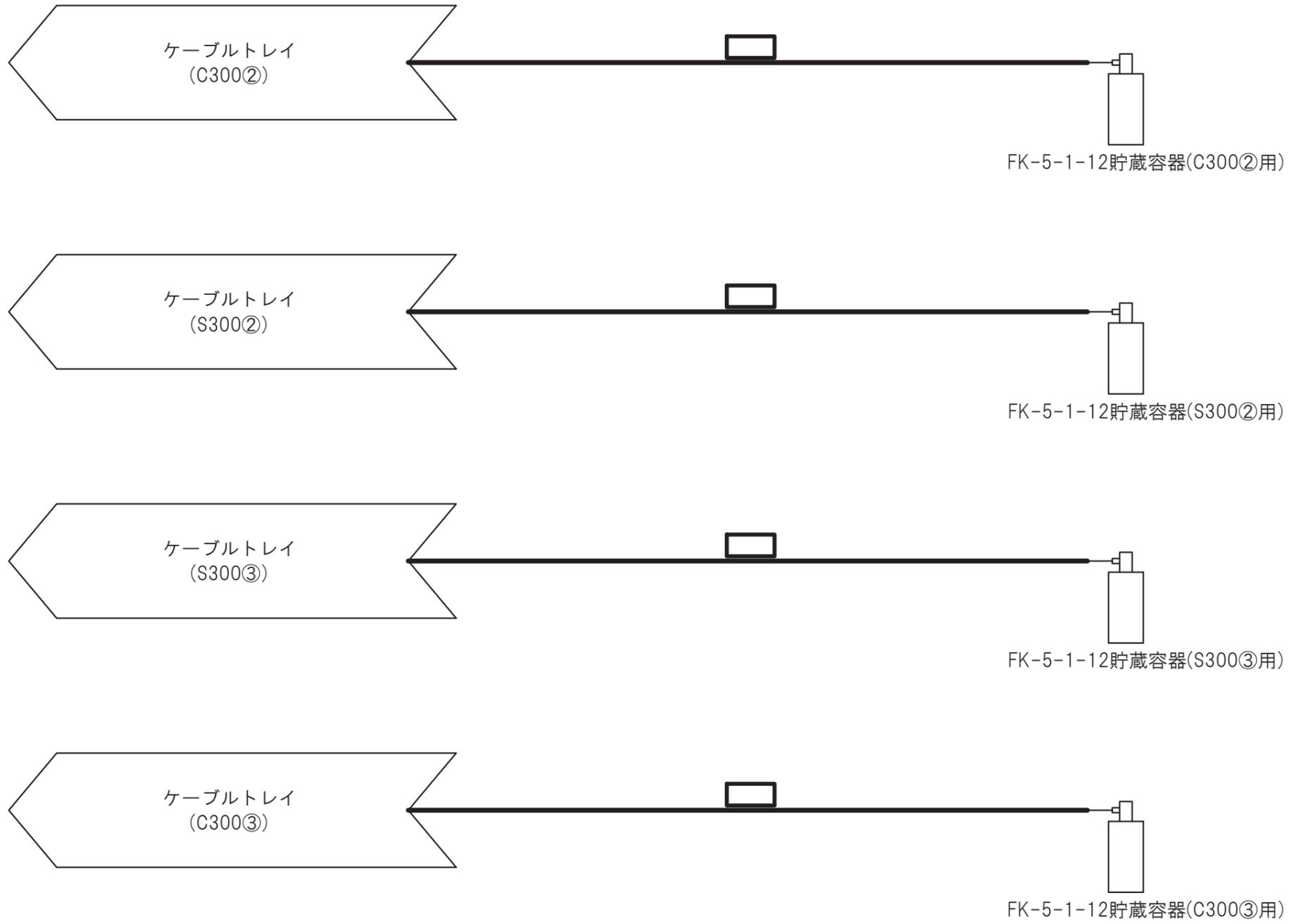


| | |
|---------------|------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-3図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その3) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



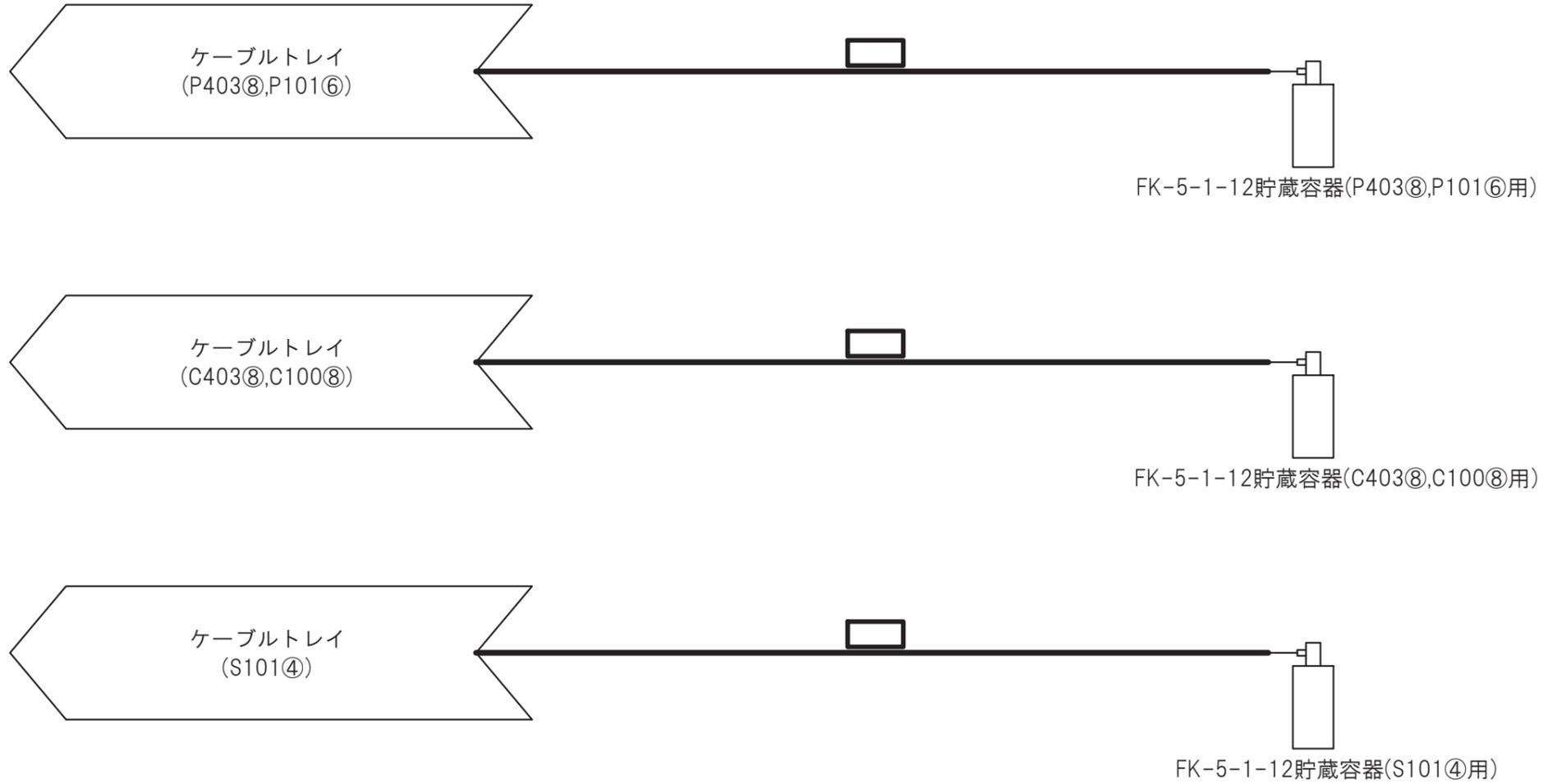
——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|---------------|------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-4図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その4) |
| 東北電力株式会社 | |
| | 0420 |




 火災防護設備のうち消火設備
 (ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

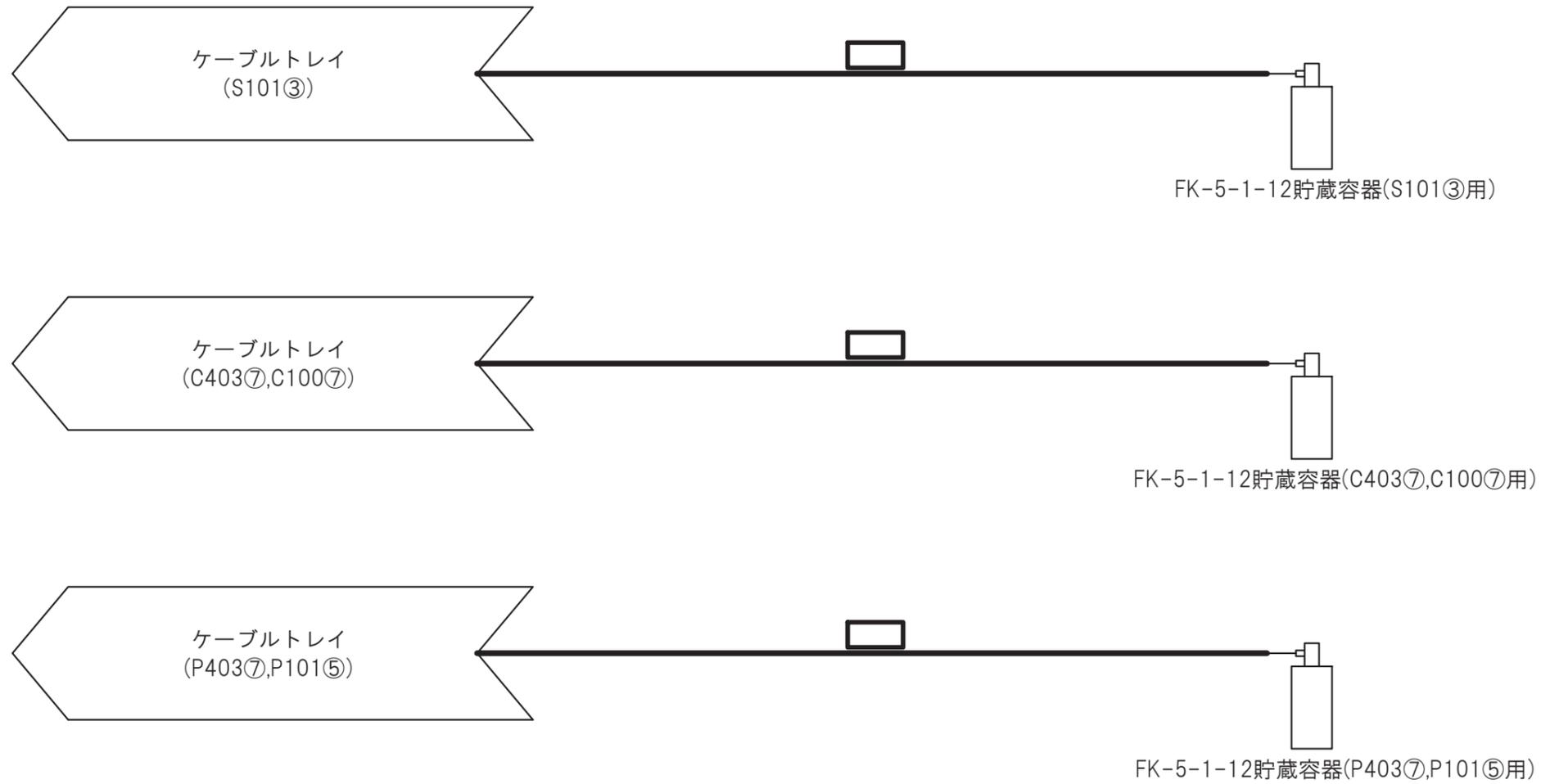
| | |
|----------|------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-5図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その5) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

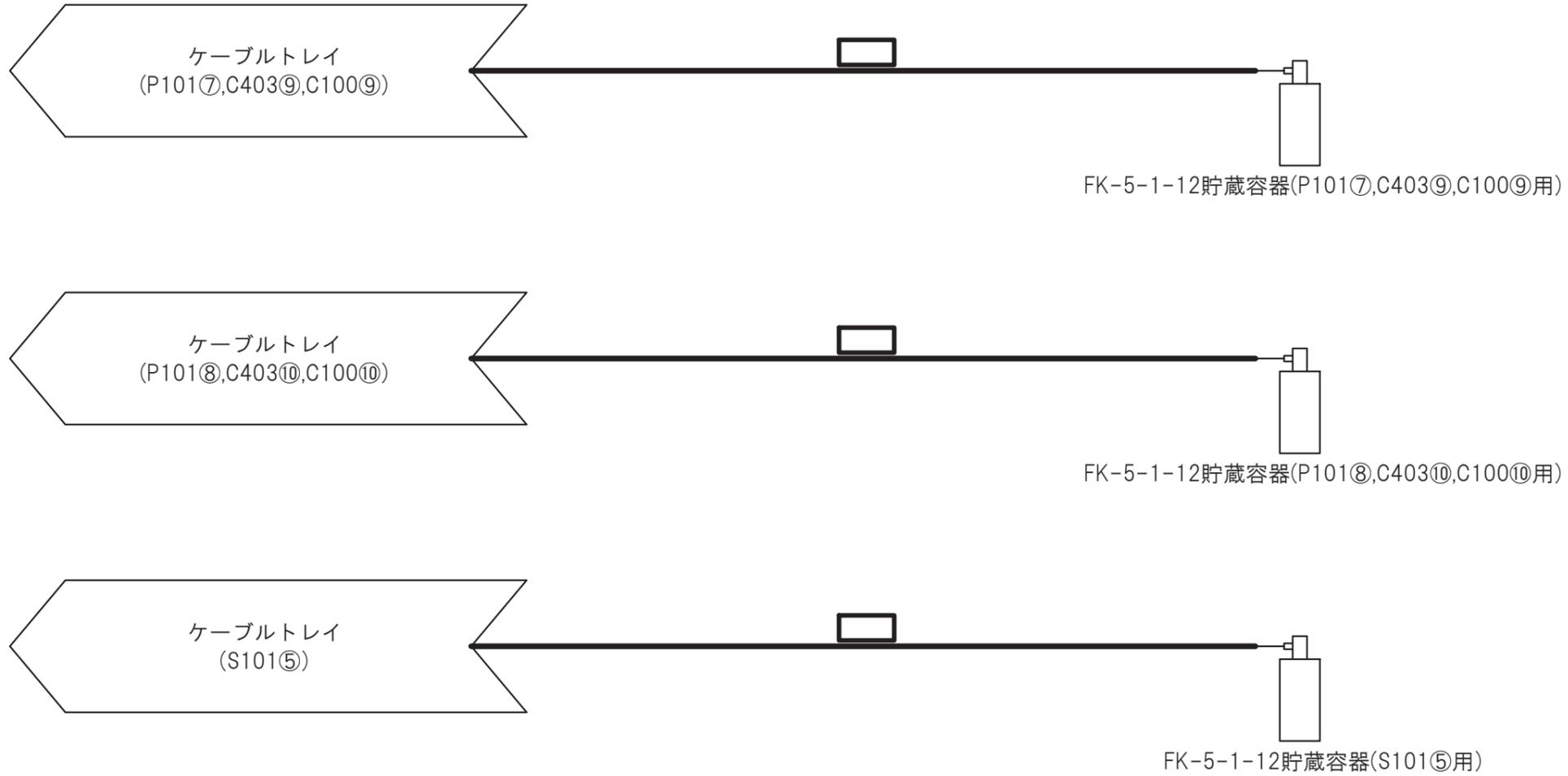
| | |
|---------------|------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-6図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その6) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

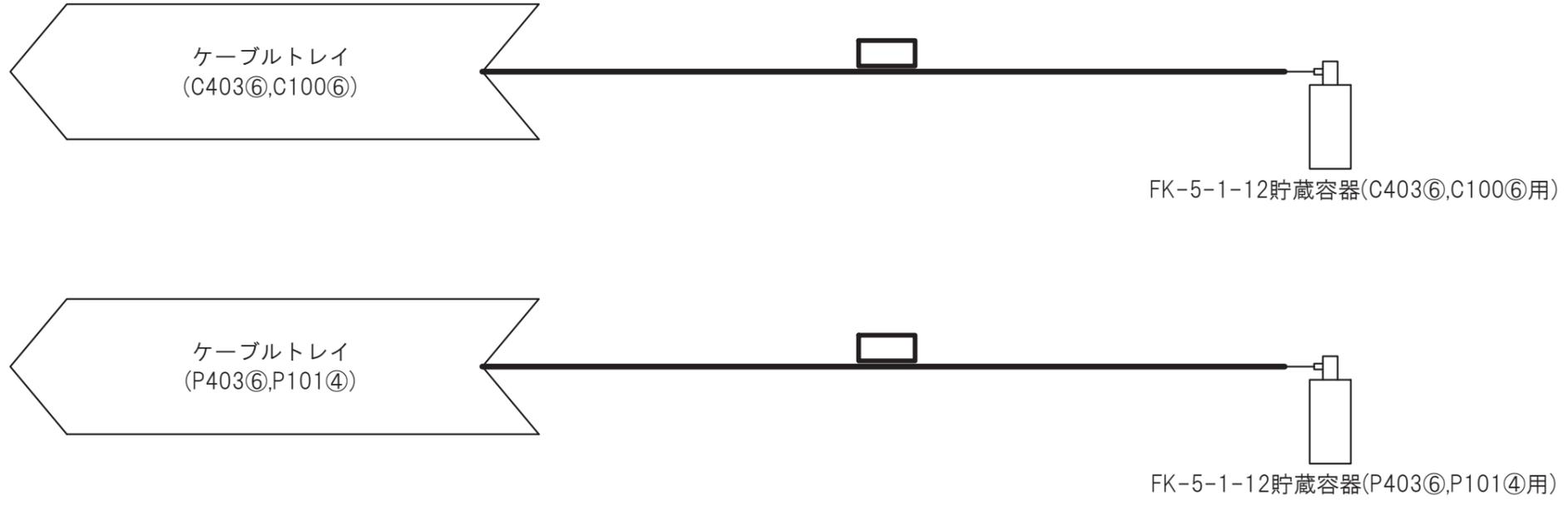
| | |
|---------------|------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-7図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その7) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-8図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その8) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

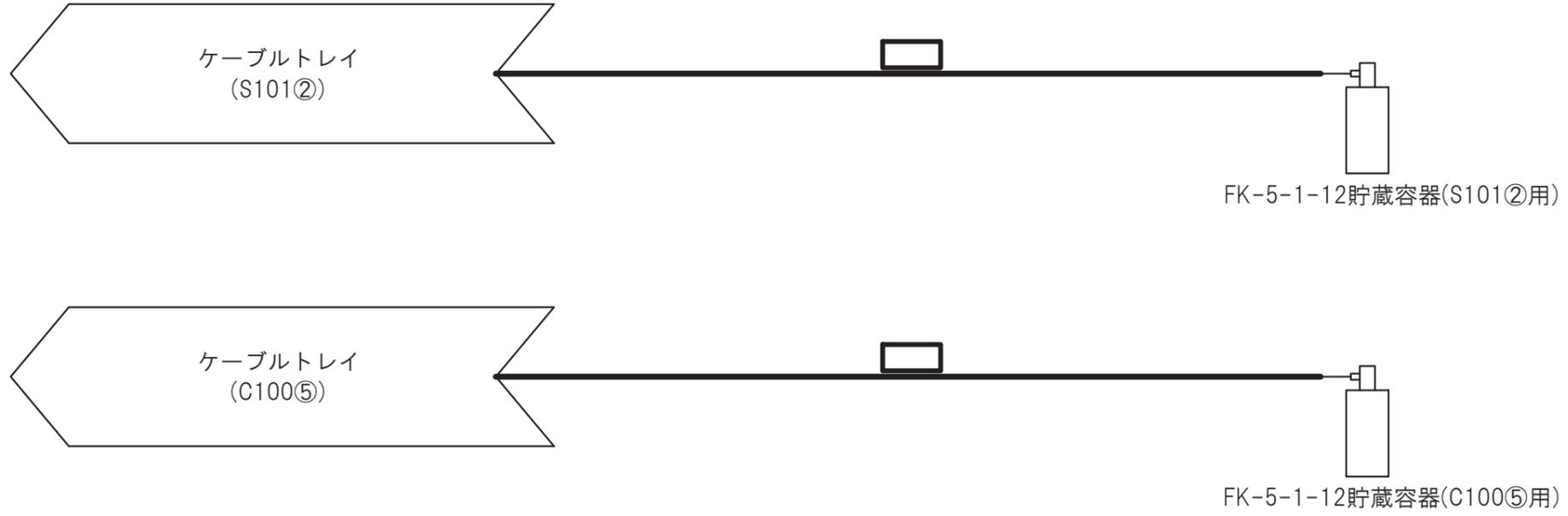
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|---------------|------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-9図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その9) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

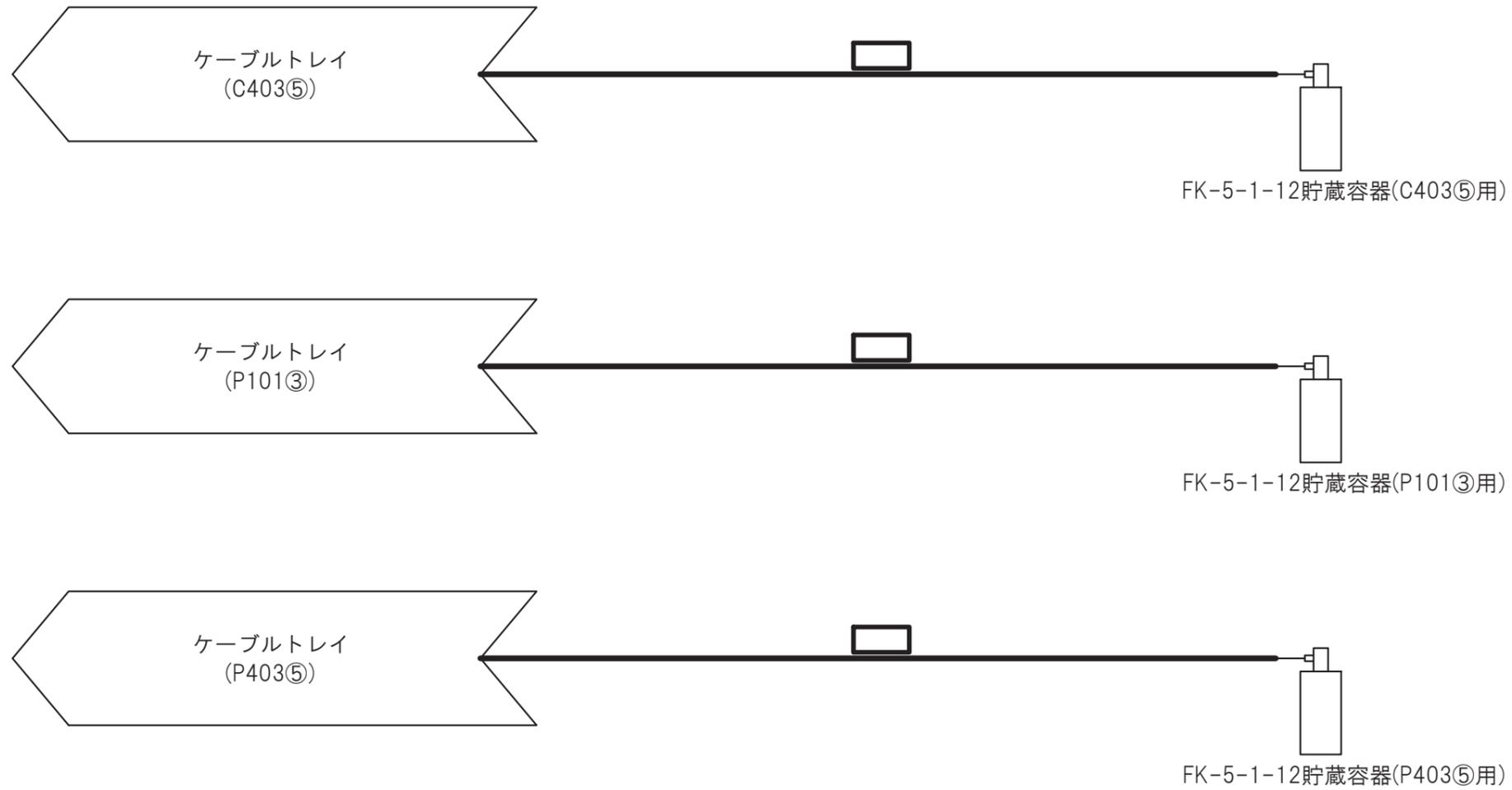
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

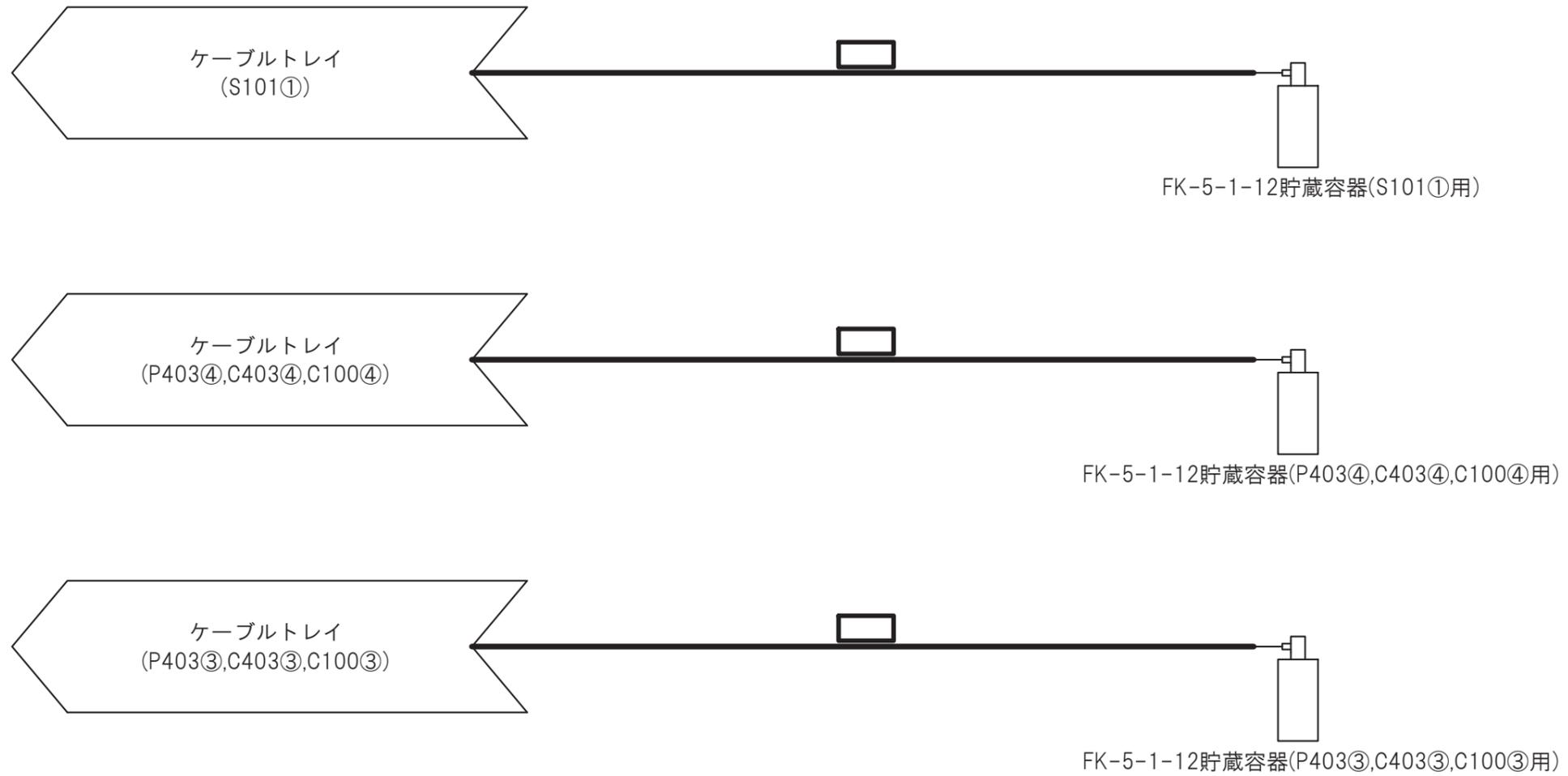
| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-10図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その10) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



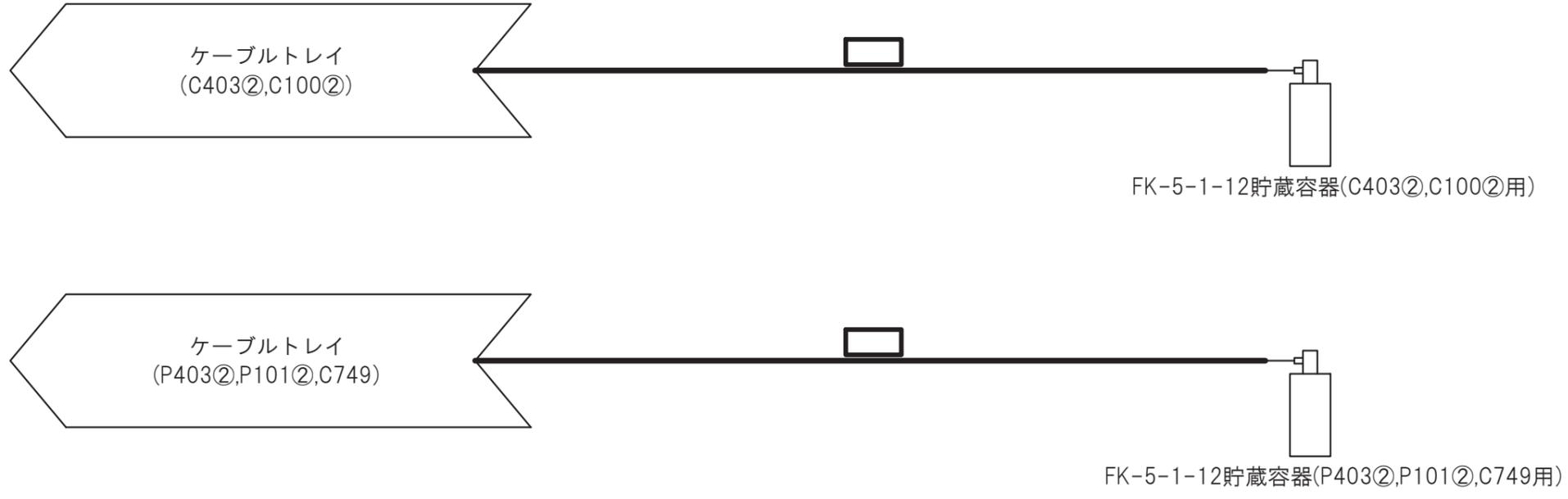
——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-11図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その11) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



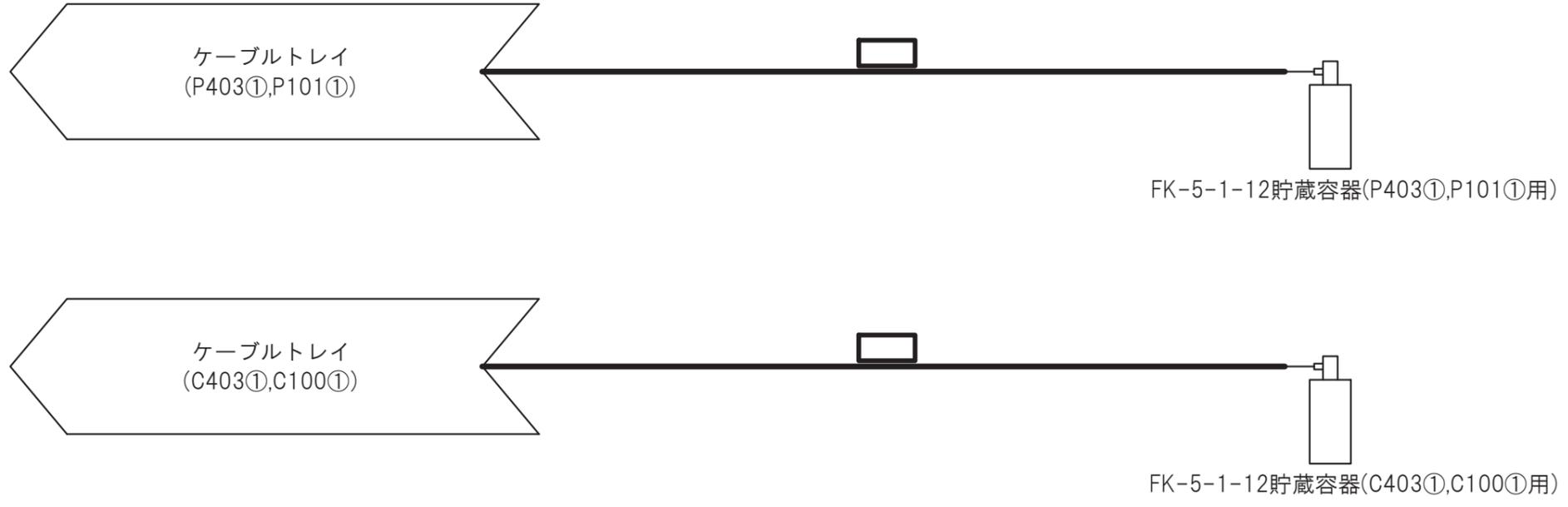
——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-12図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その12) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

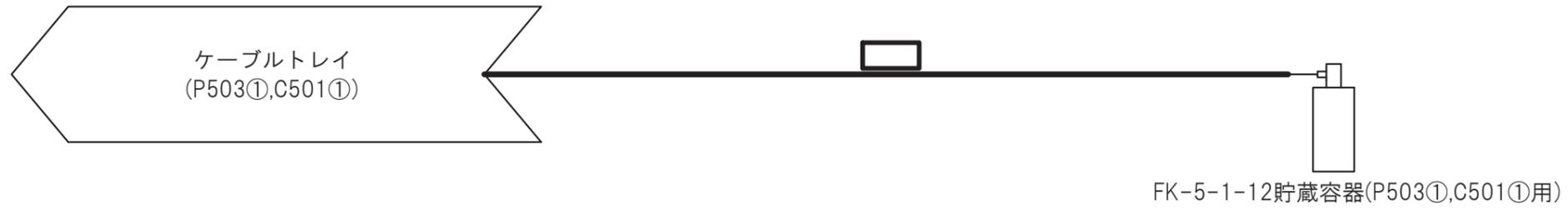
| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-13図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その13) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-14図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その14) |
| 東北電力株式会社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|---------------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-15図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その15) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

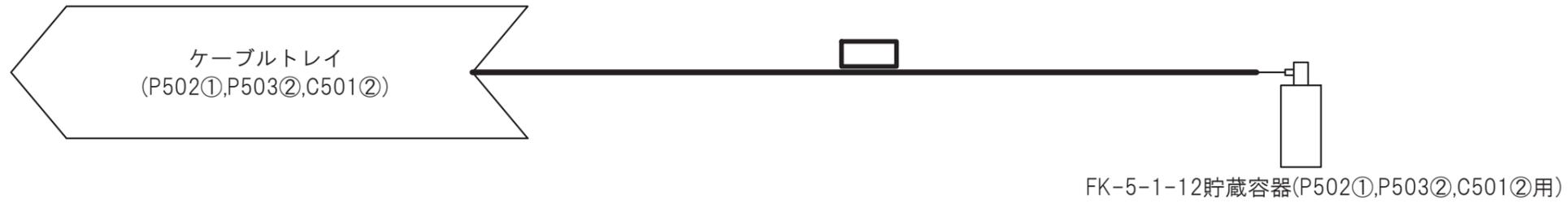


——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-16図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その16) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

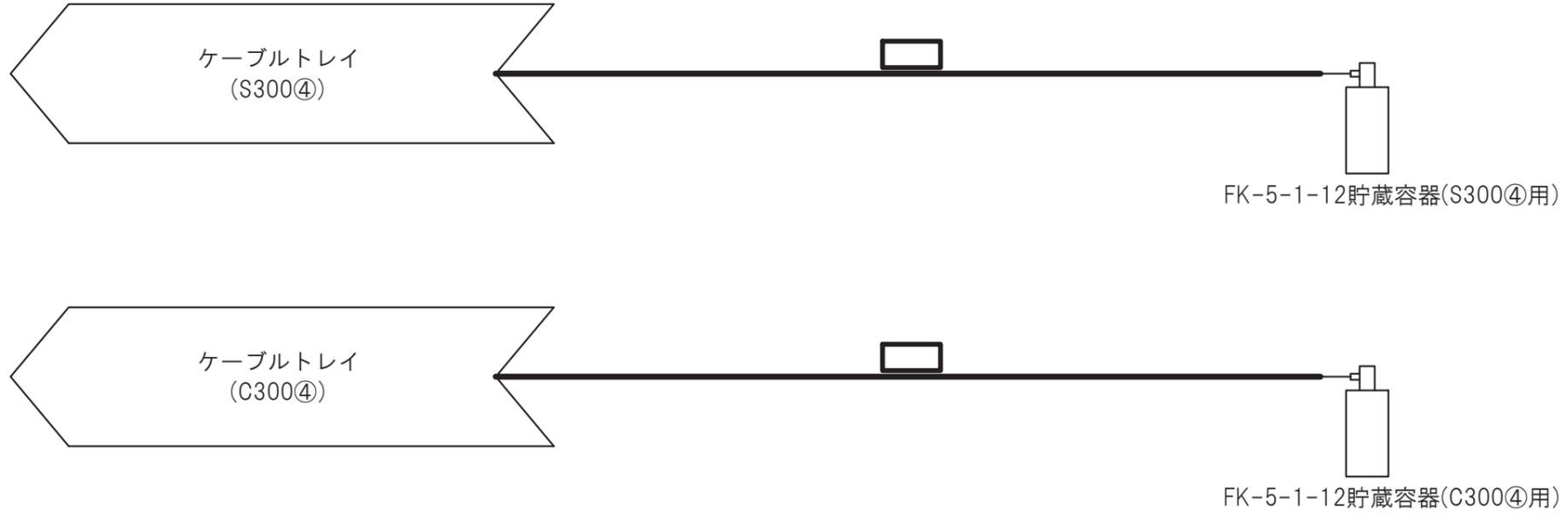
0420



——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

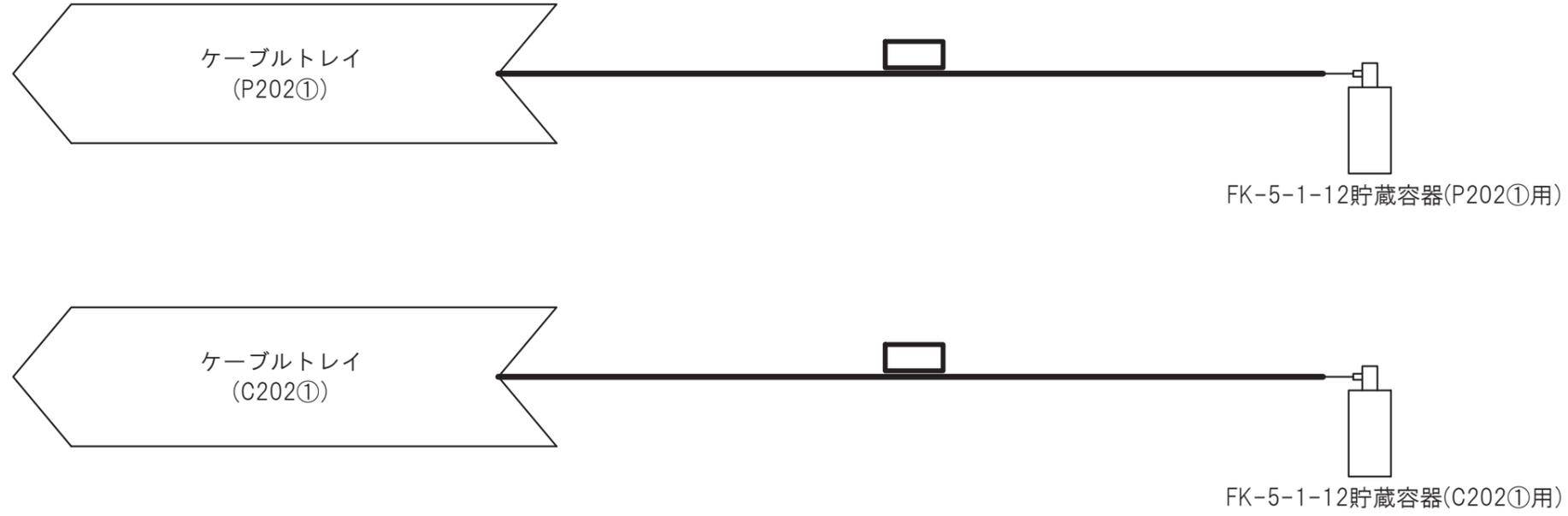
| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-17図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その17) |
| 東北電力株式会社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



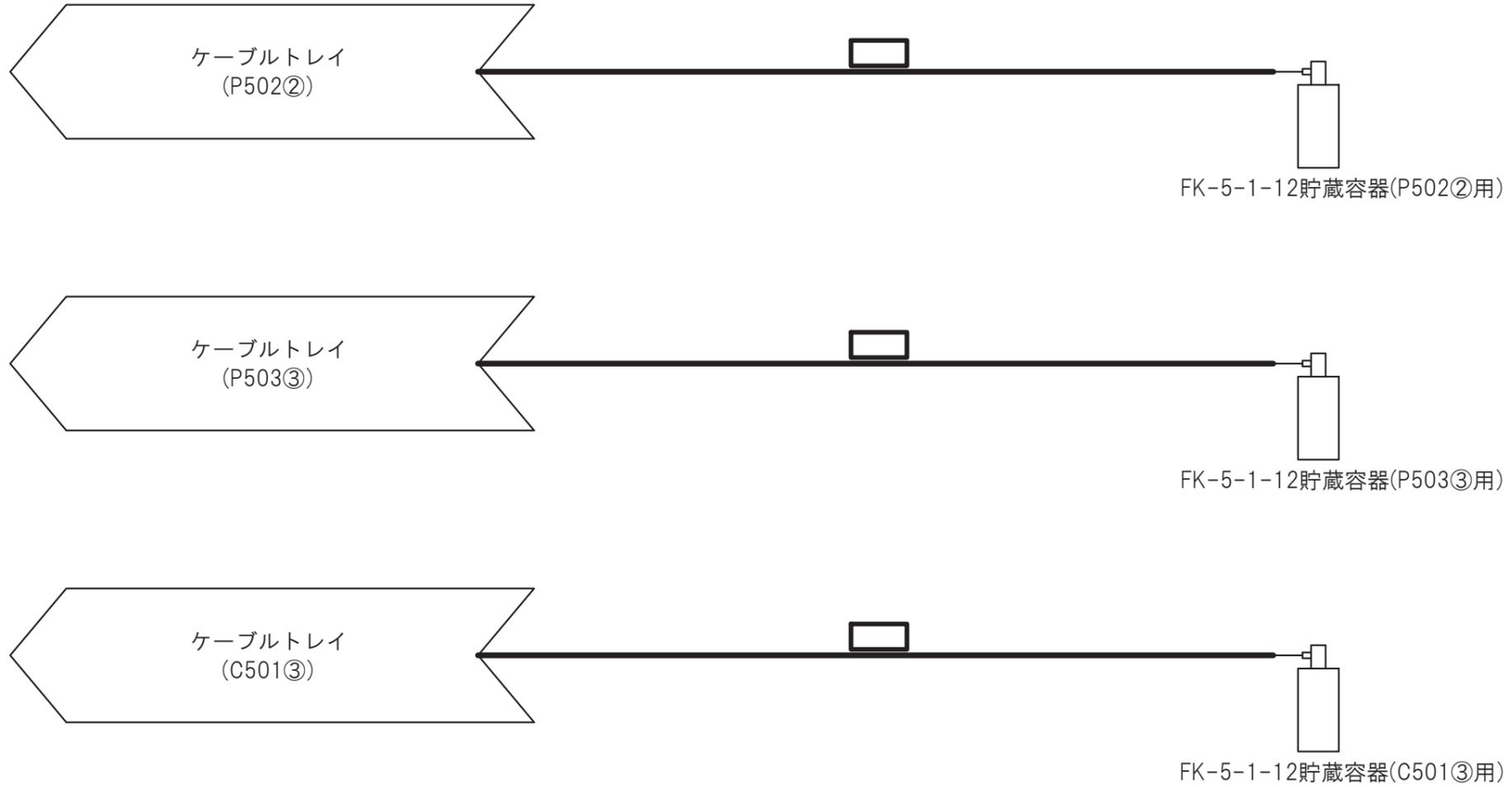

 火災防護設備のうち消火設備
 (ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-18図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その18) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



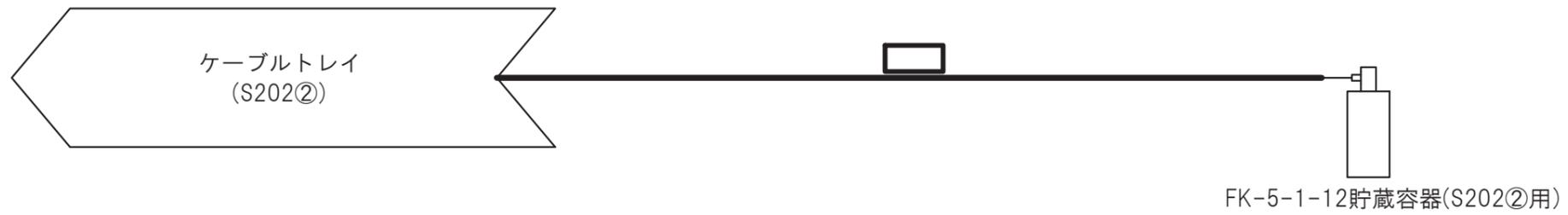
—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-19図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その19) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-20図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その20) |
| 東北電力株式会社 | |
| | 0420 |

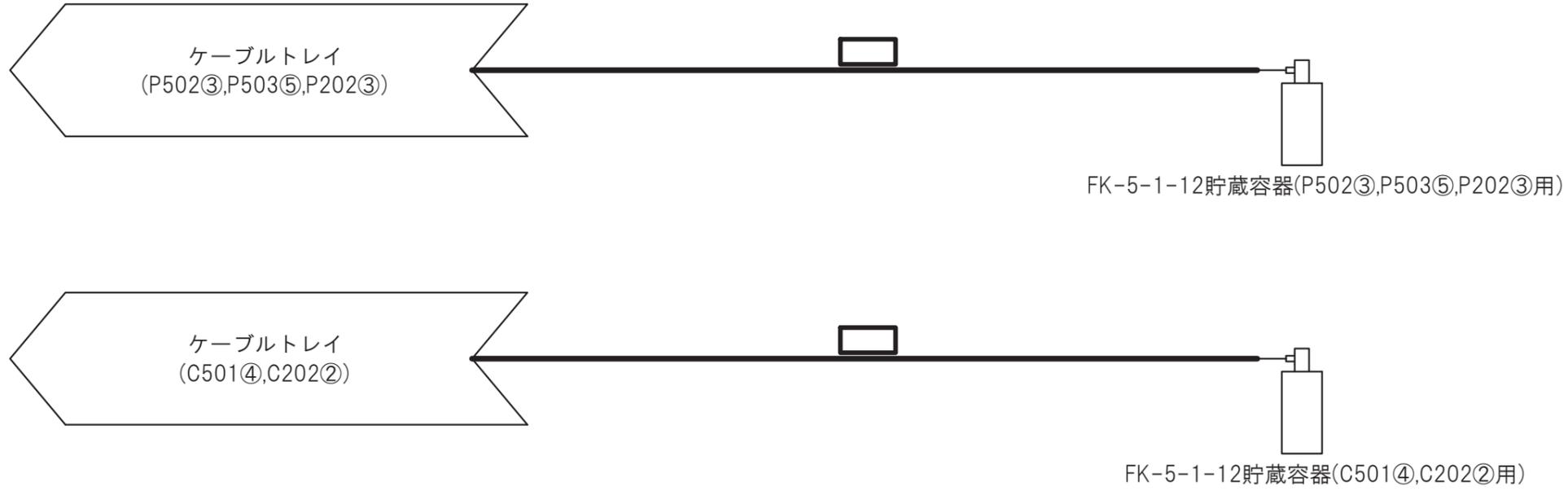


——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-21図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その21) |
| 東北電力株式会社 | |

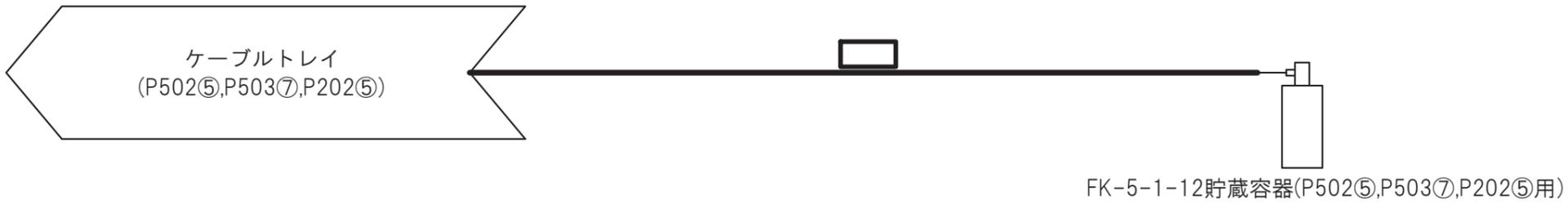
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-22図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その22) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

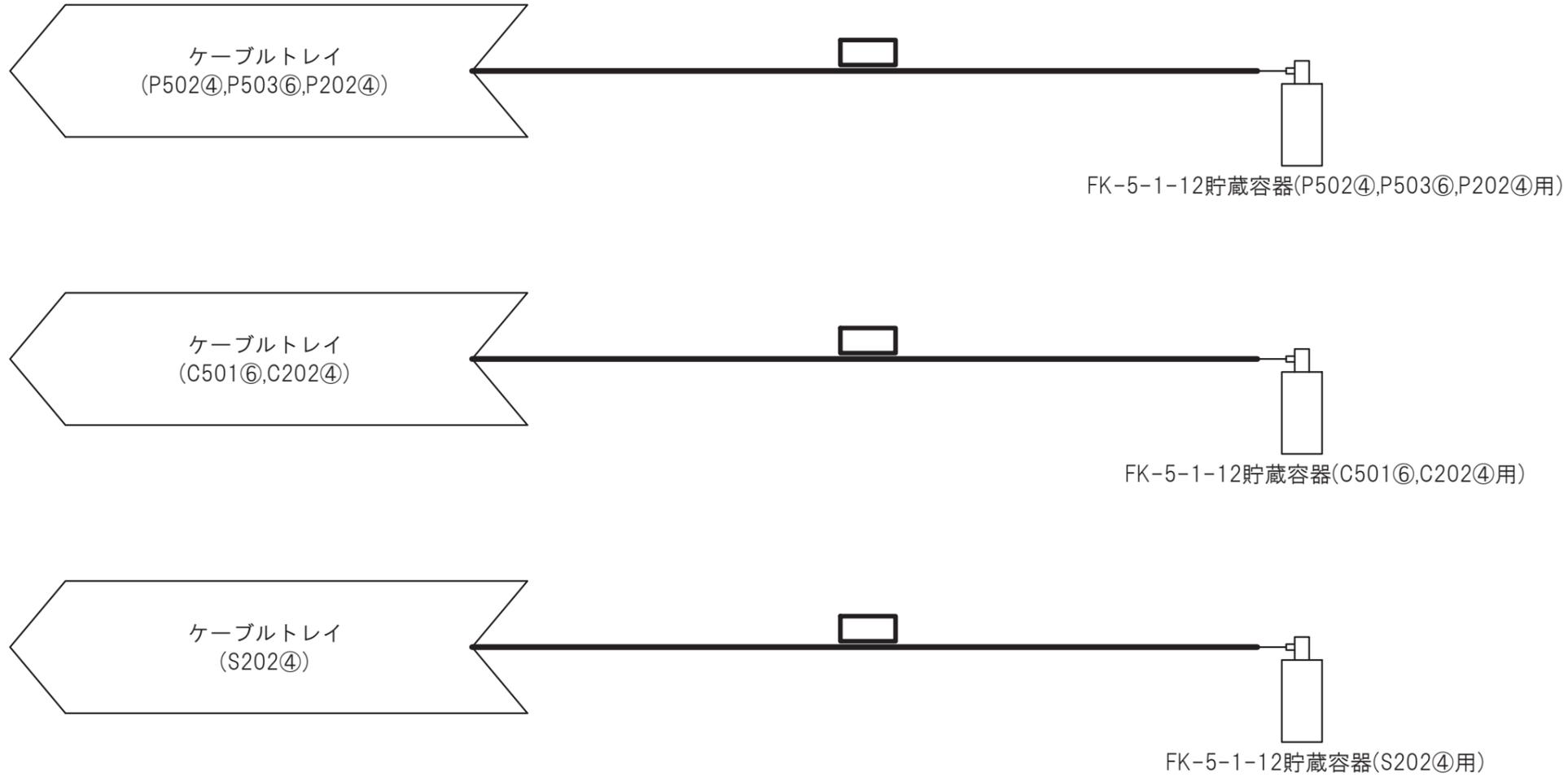


——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|---------------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-23図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その23) |
| 東北電力株式会社 | |

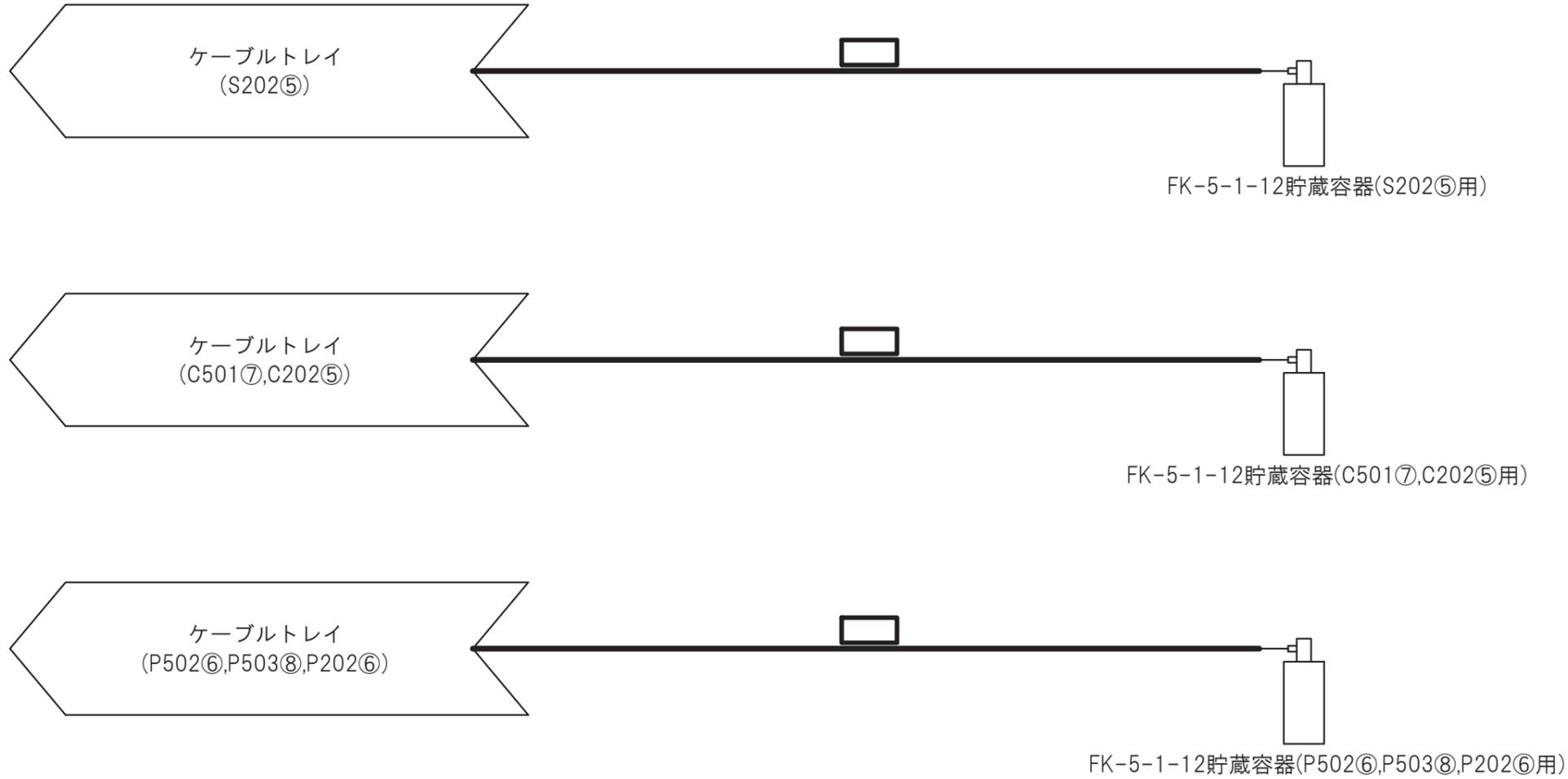
0420

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



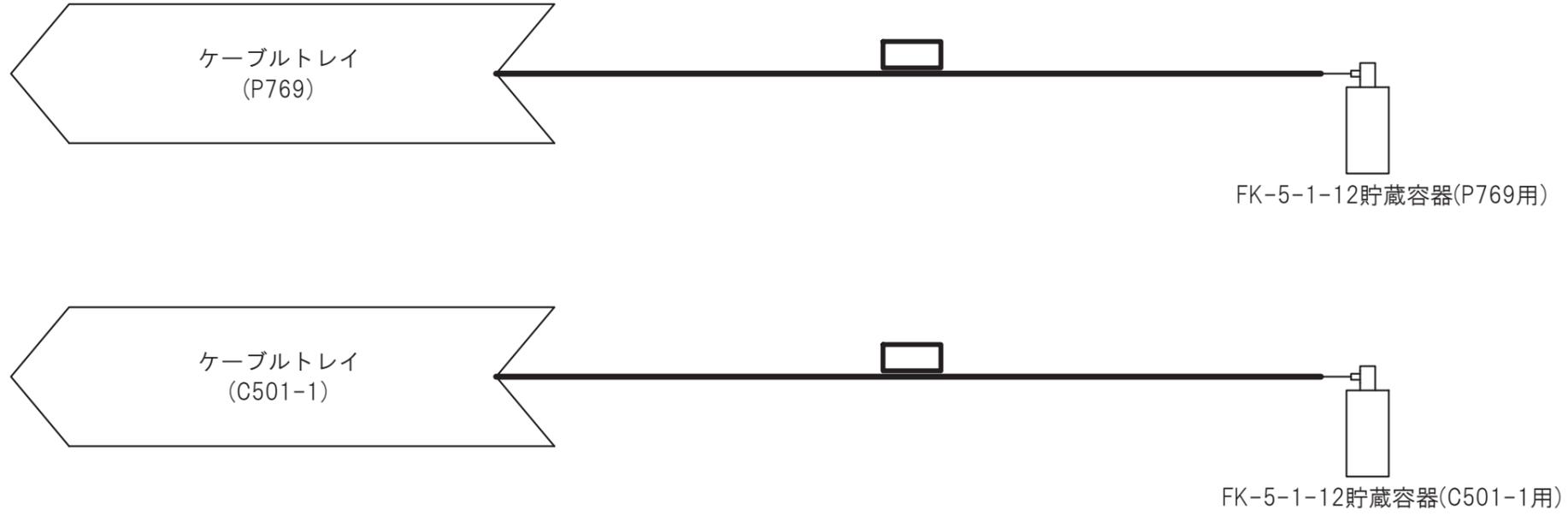
——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-24図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その24) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



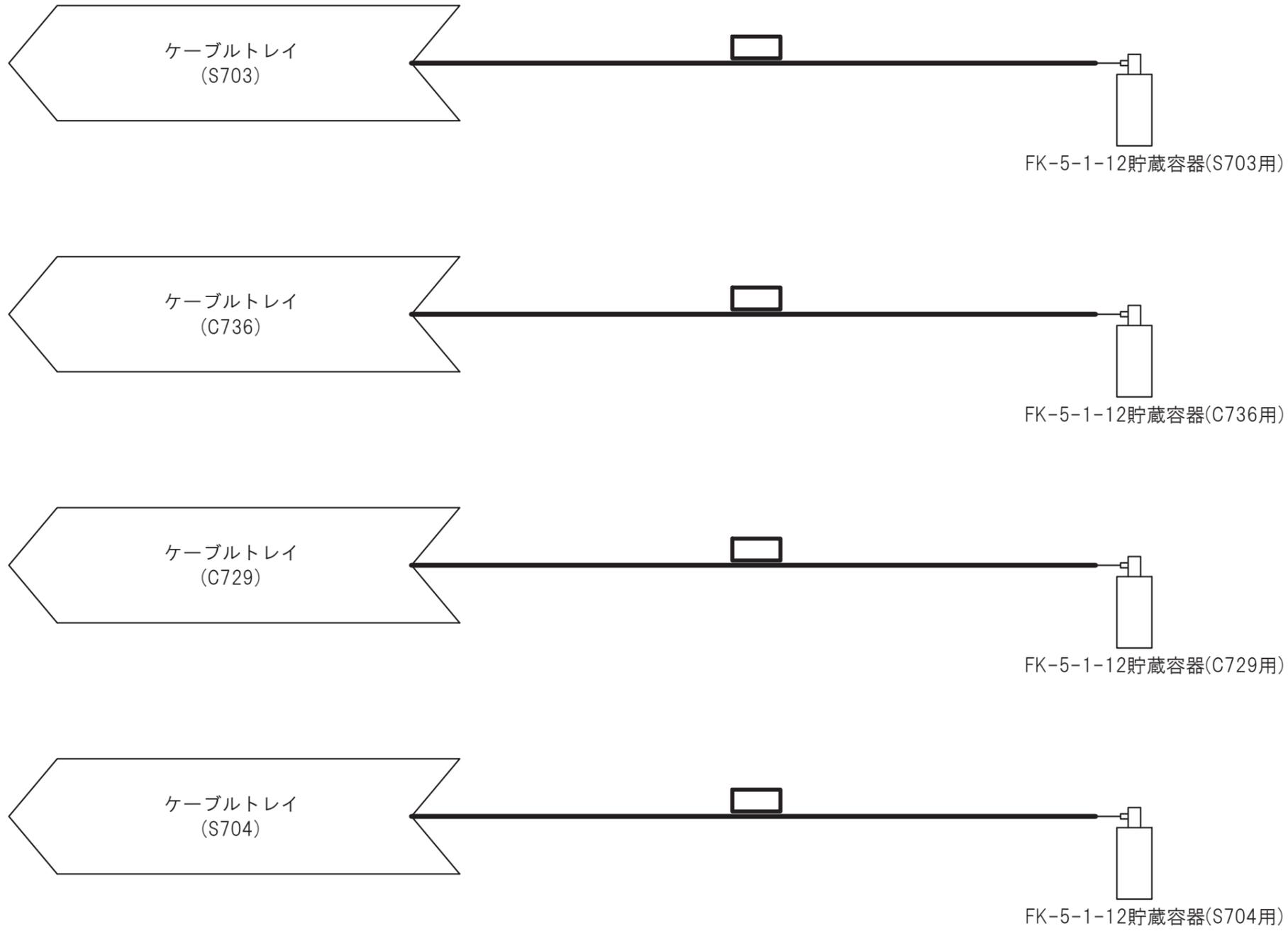
—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-25図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その25) |
| 東北電力株式会社 | |
| | 0420 |



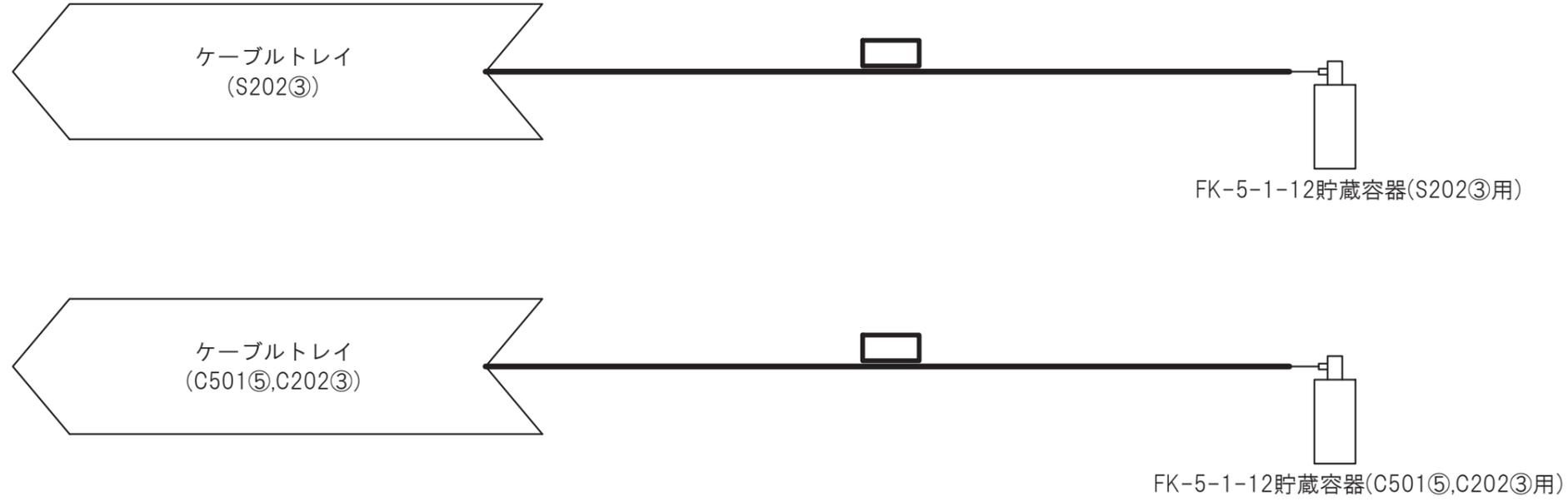
| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-26図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その26) |
| 東北電力株式会社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



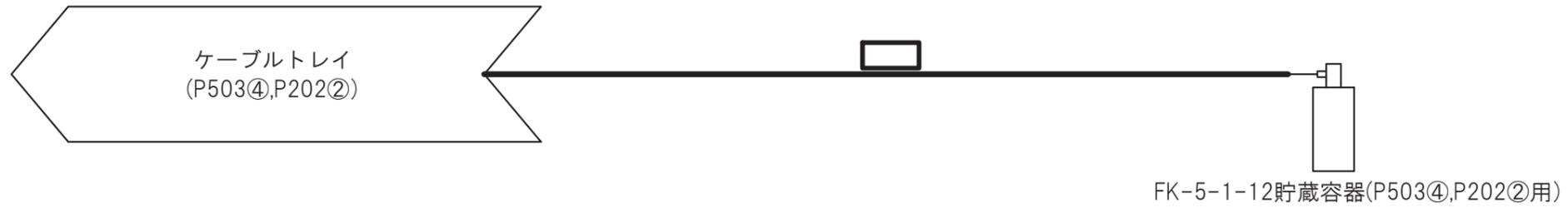
——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-27図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その27) |
| 東北電力株式会社 | |



| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-28図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その28) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

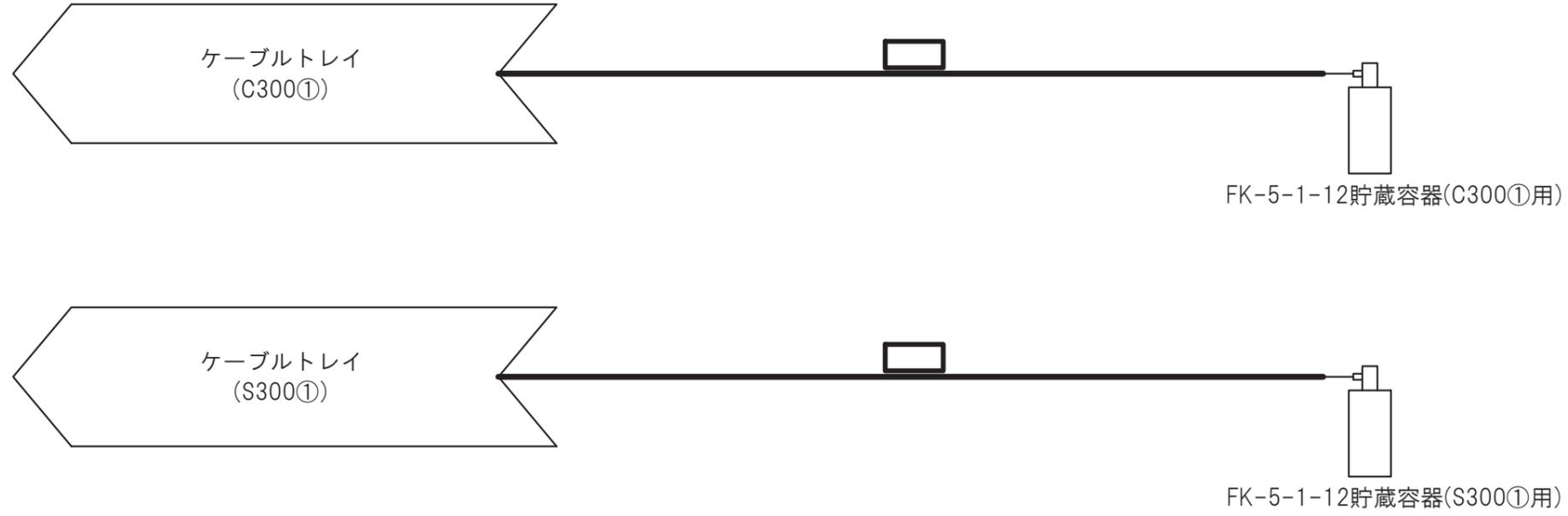


—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

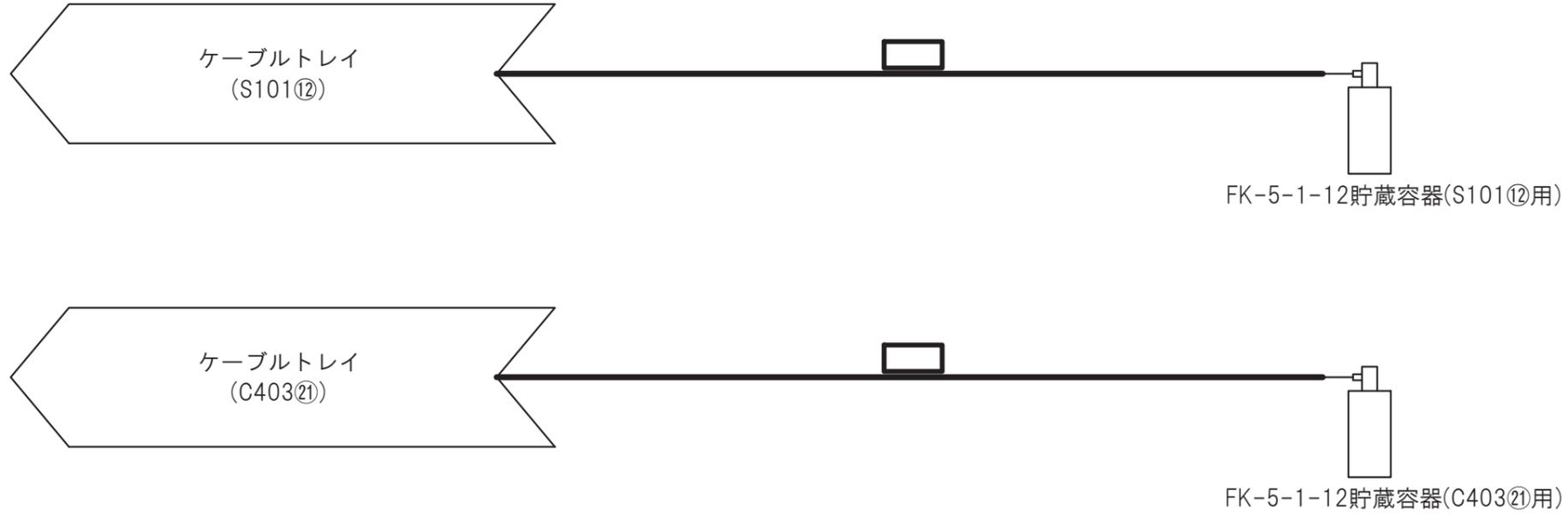
| | |
|---------------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-29図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その29) |
| 東北電力株式会社 | |

0420

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

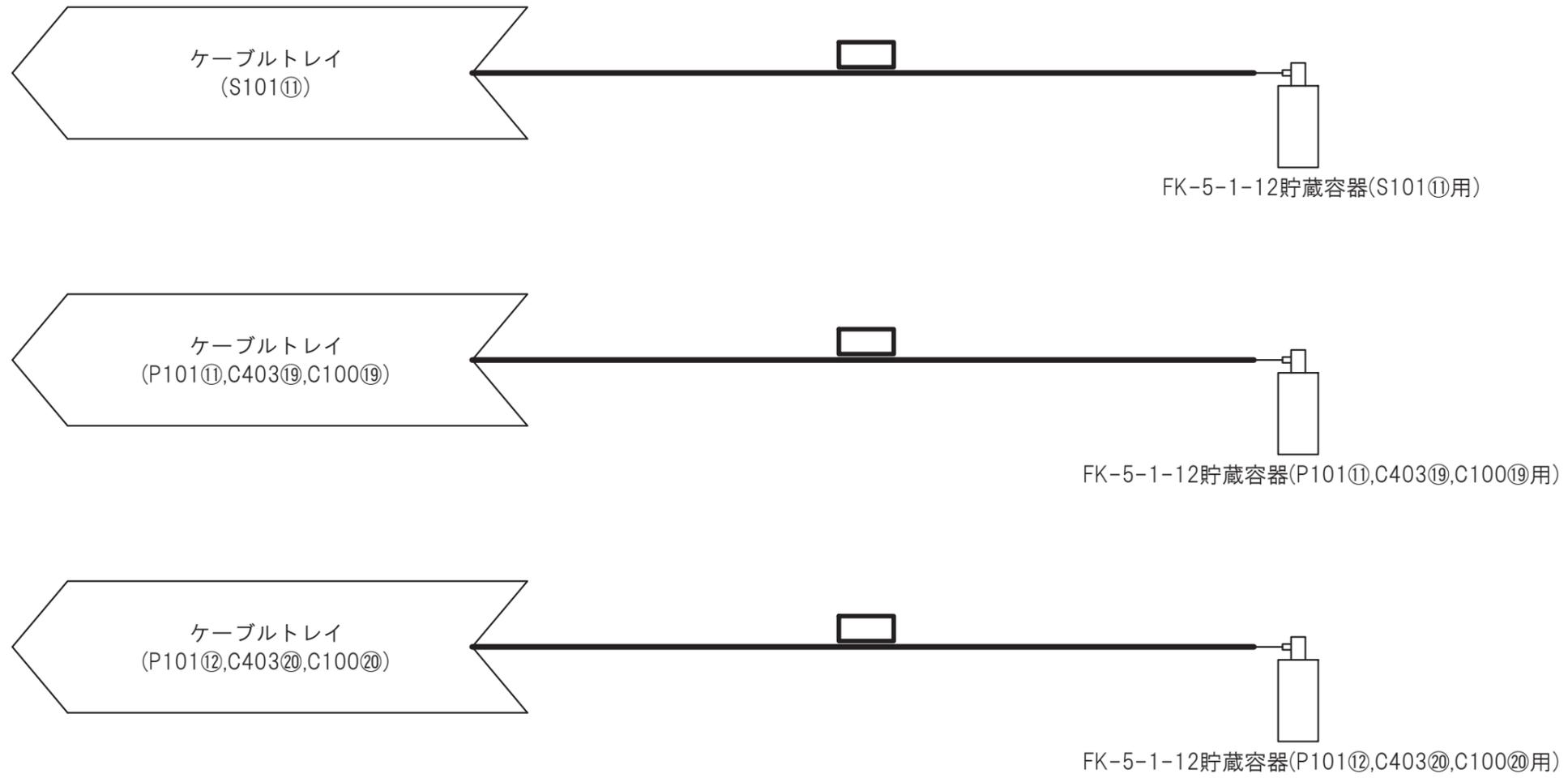


| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-30図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その30) |
| 東北電力株式会社 | |
| | 0420 |



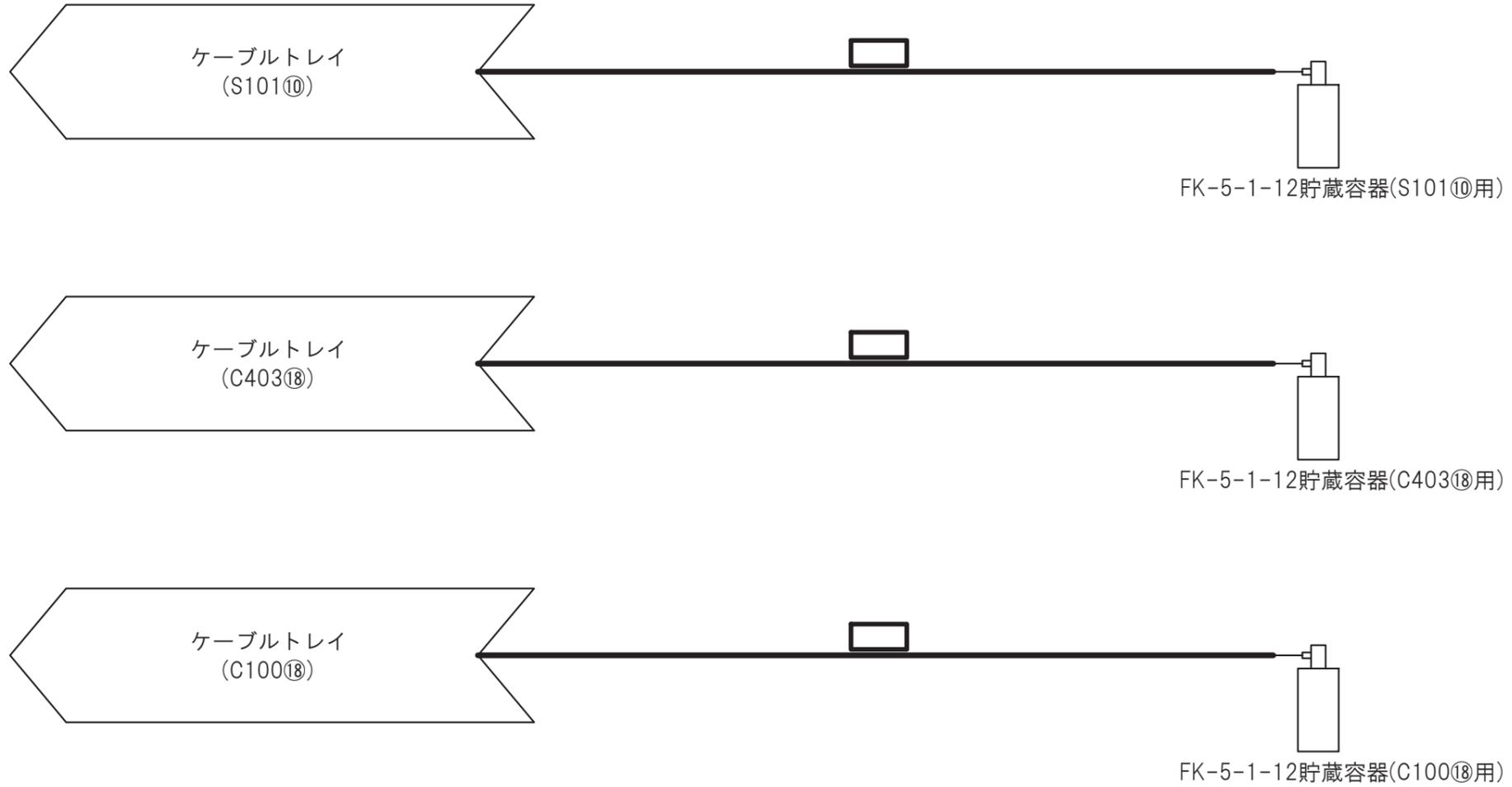
—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-31図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その31) |
| 東北電力株式会社 | |
| | 0420 |



—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

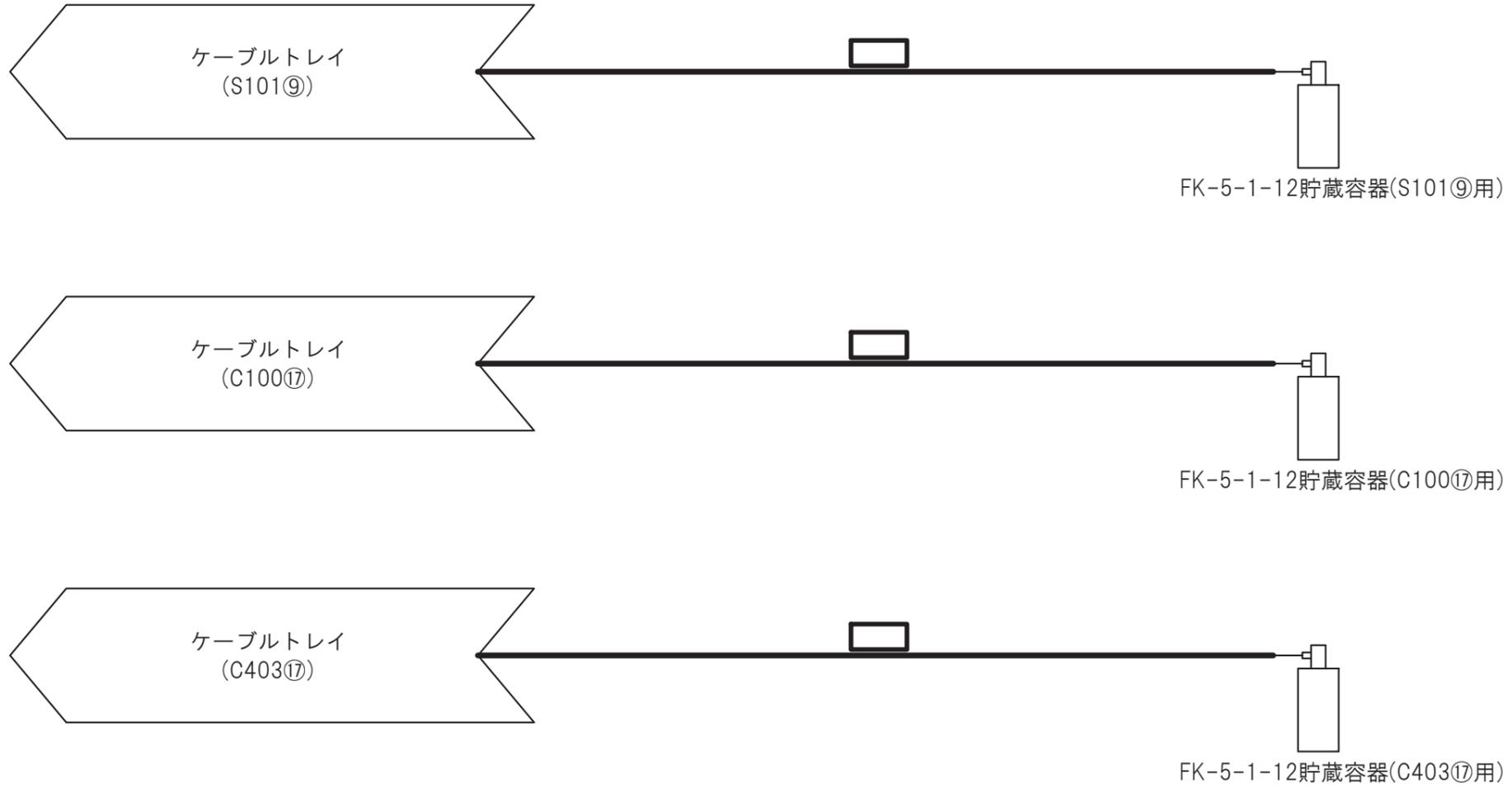
| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-32図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その32) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|---------------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-33図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その33) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

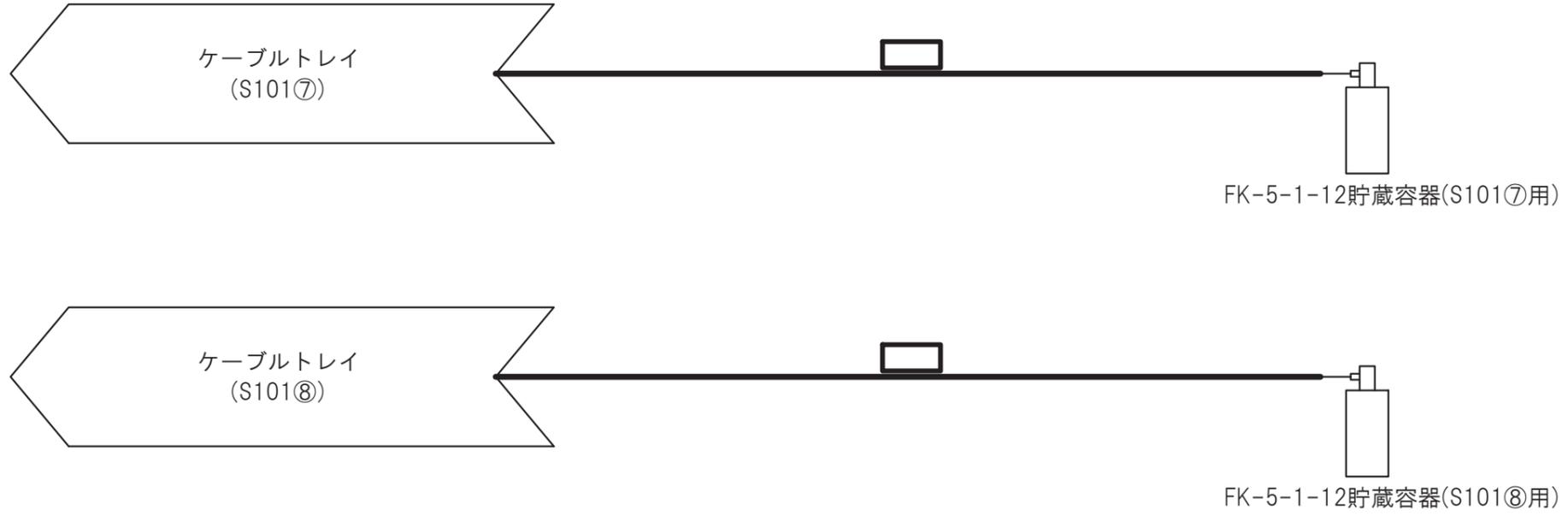


—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-34図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その34) |
| 東北電力株式会社 | |

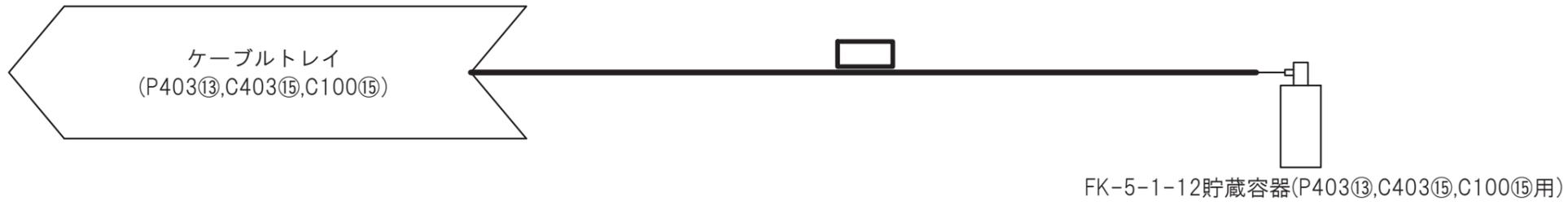
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

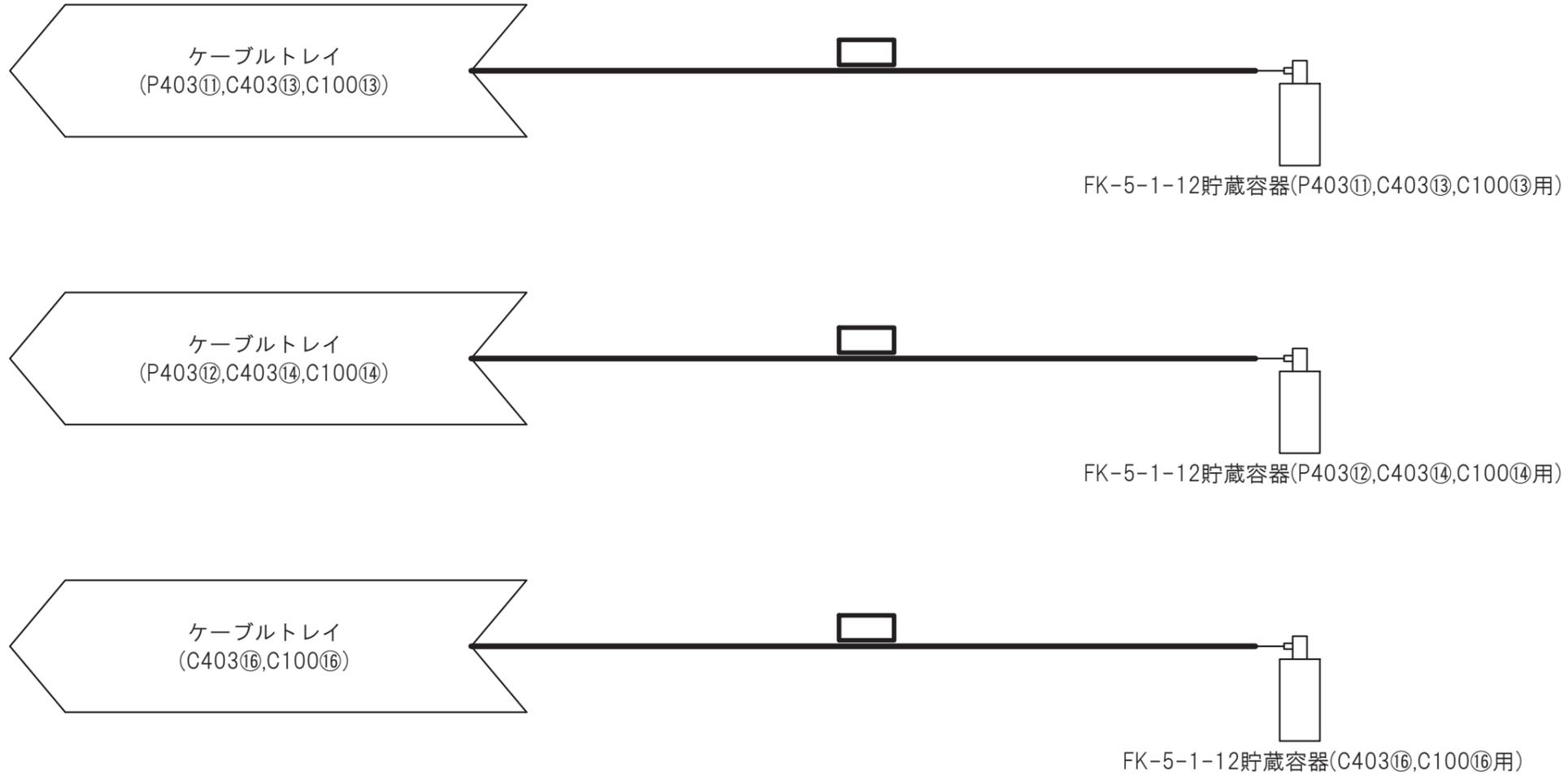
| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-35図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その35) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|---------------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-36図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その36) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

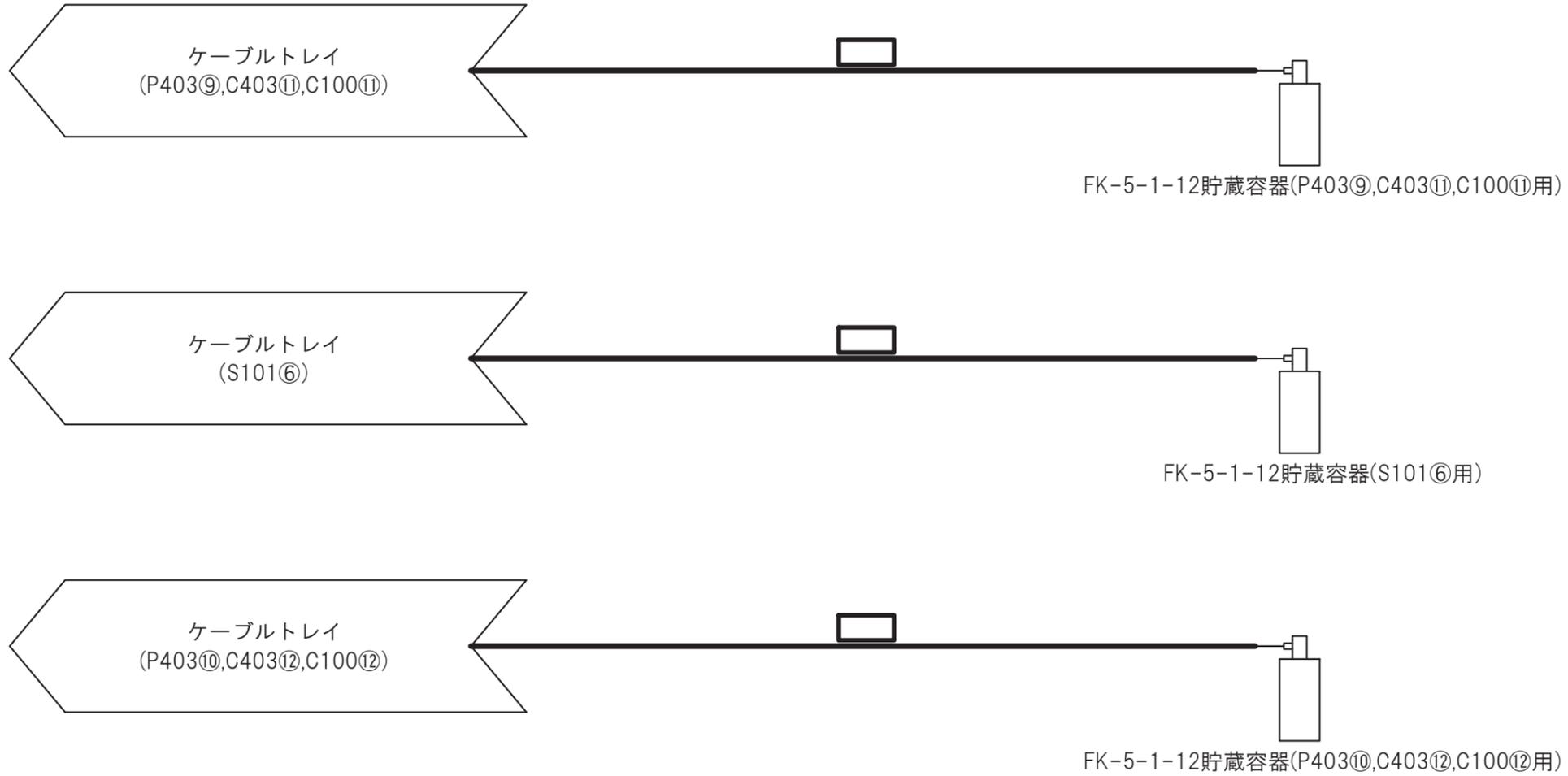
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-37図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その37) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

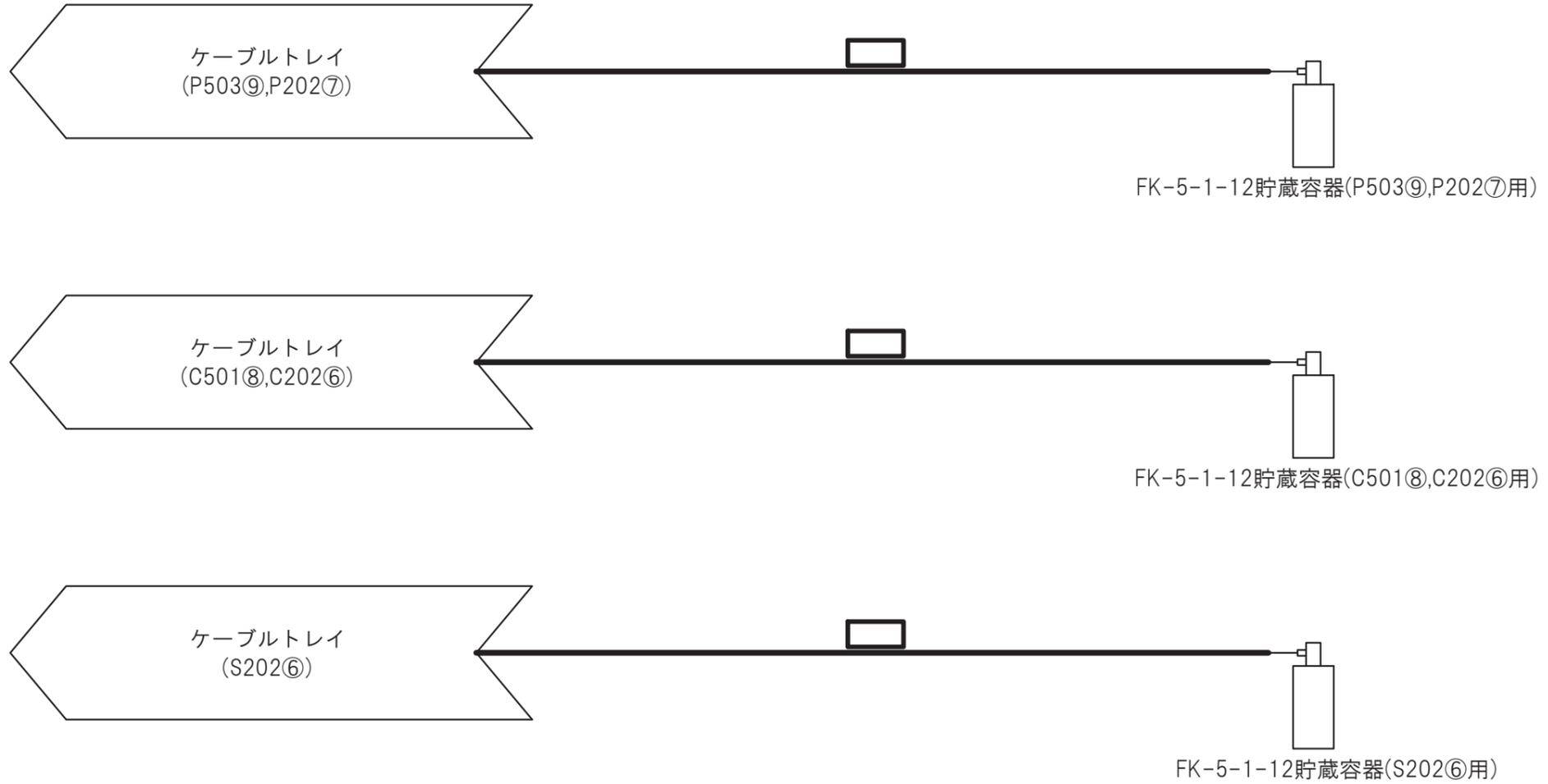
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-38図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その38) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

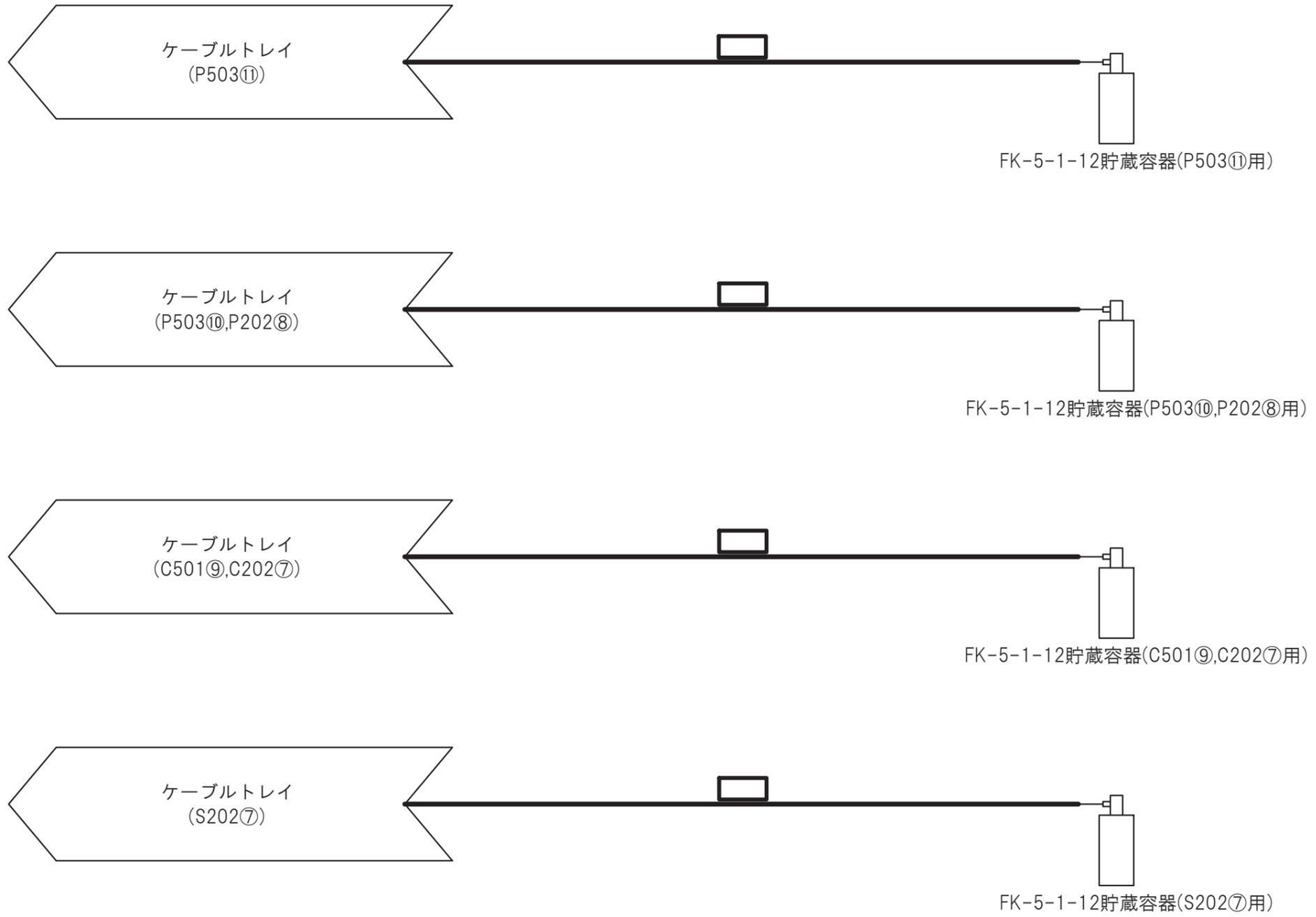
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

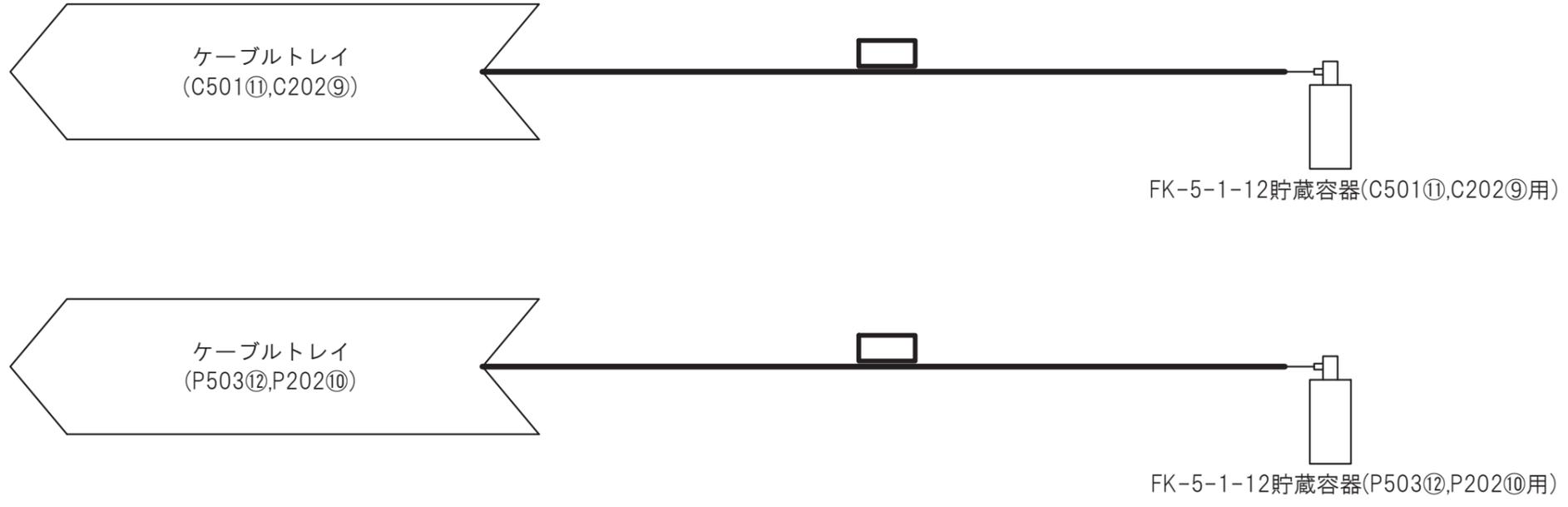
| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-39図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その39) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



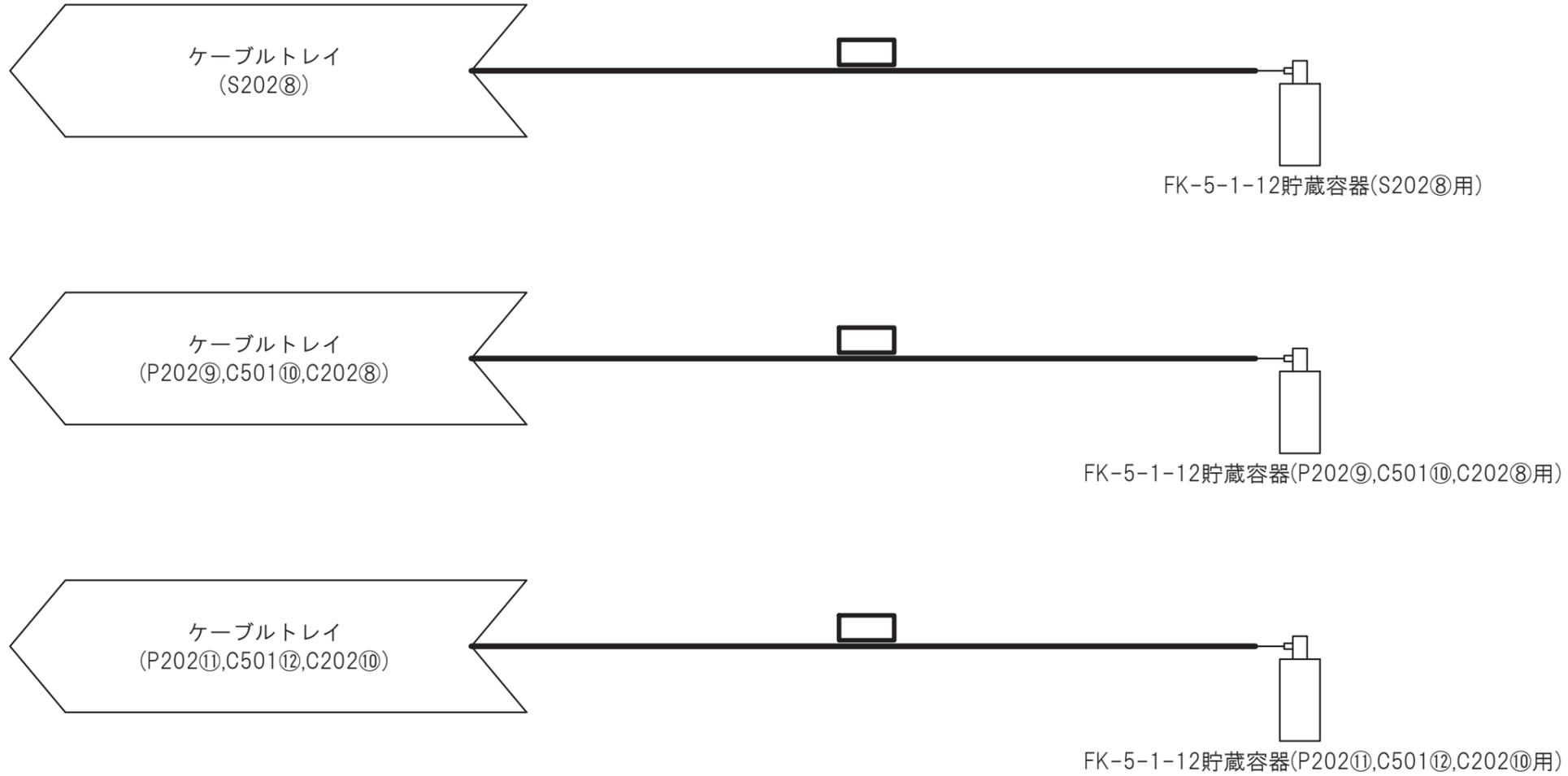
——— 火災防護設備のうち消火設備 (ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-40図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その40) |
| 東北電力株式会社 | |



—— 火災防護設備のうち消火設備 (ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

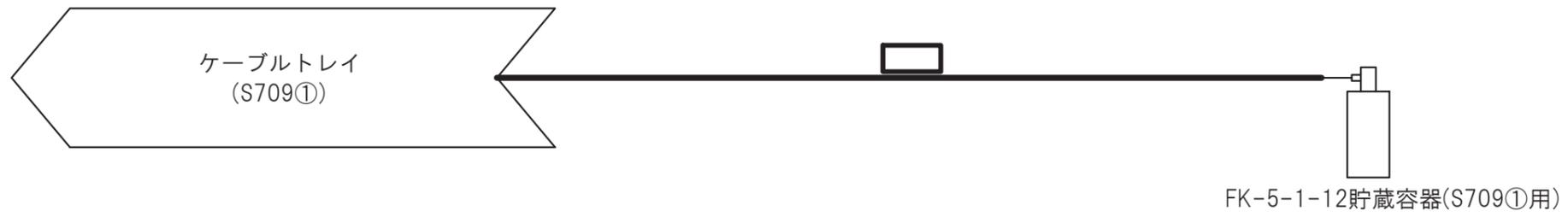
| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-41図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その41) |
| 東北電力株式会社 | |
| | 0420 |



—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-42図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その42) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

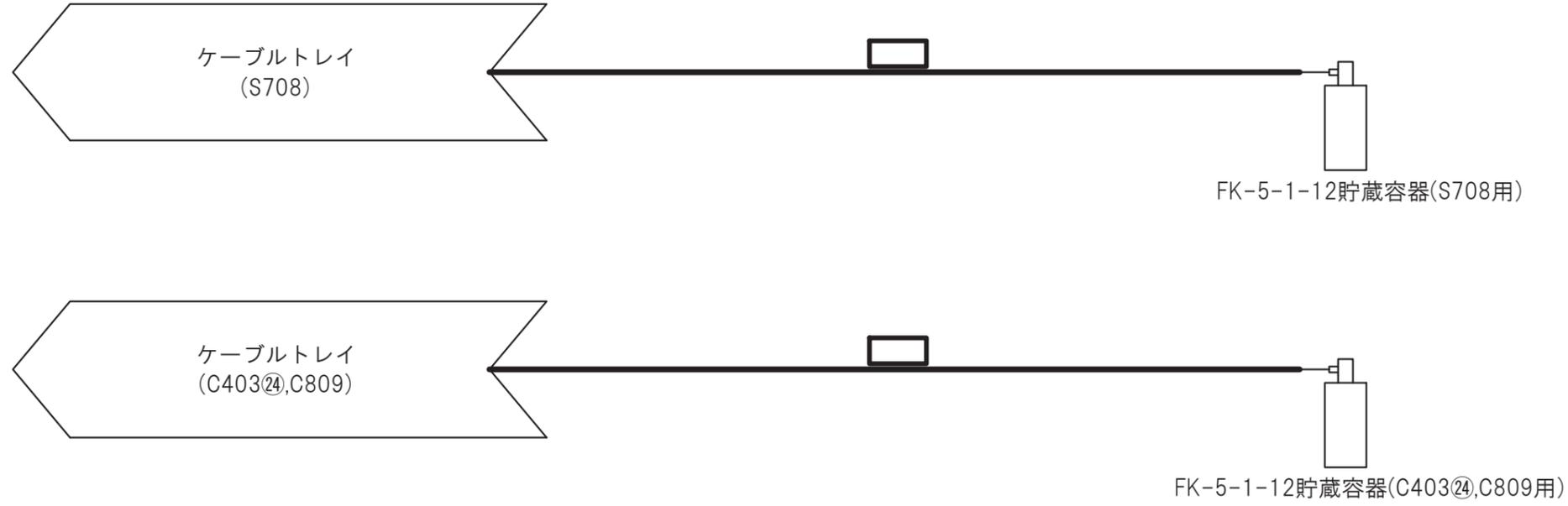


—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-43図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その43) |
| 東北電力株式会社 | |

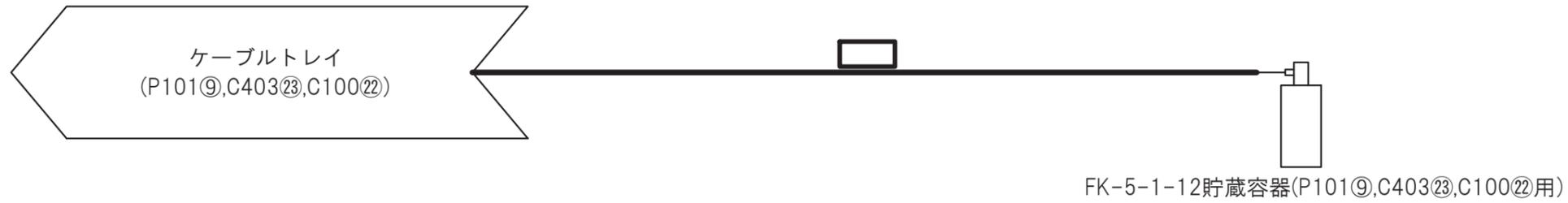
0420

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



| | |
|---------------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-44図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その44) |
| 東北電力株式会社 | |

——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

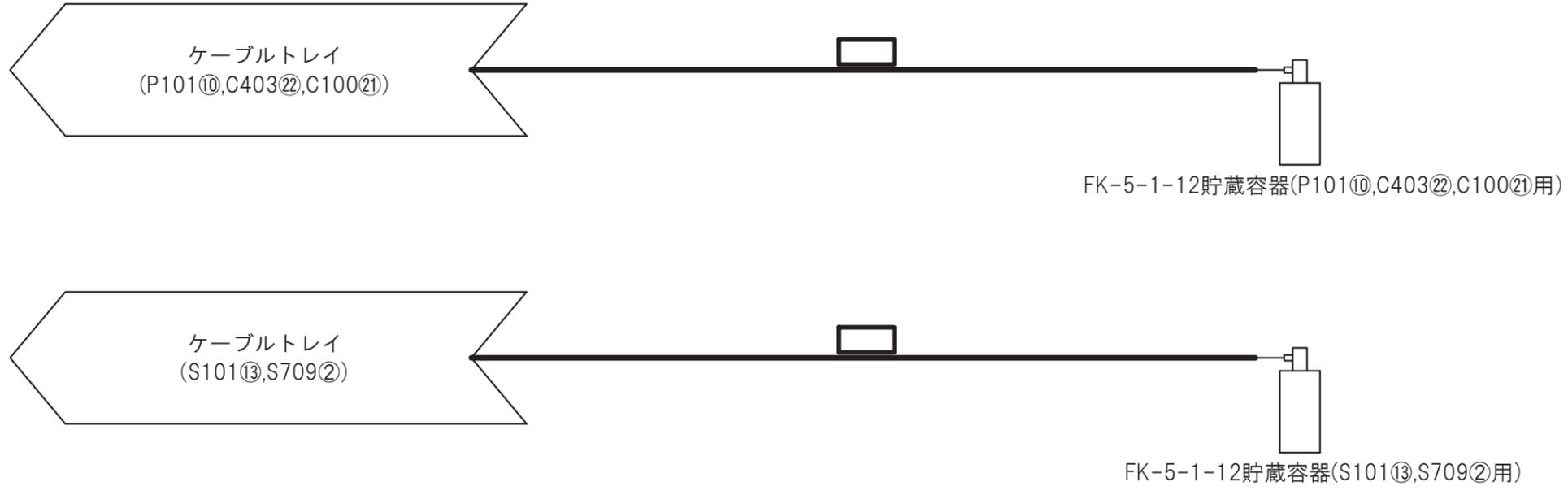



 火災防護設備のうち消火設備
 (ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|---------------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-45図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その45) |
| 東北電力株式会社 | |

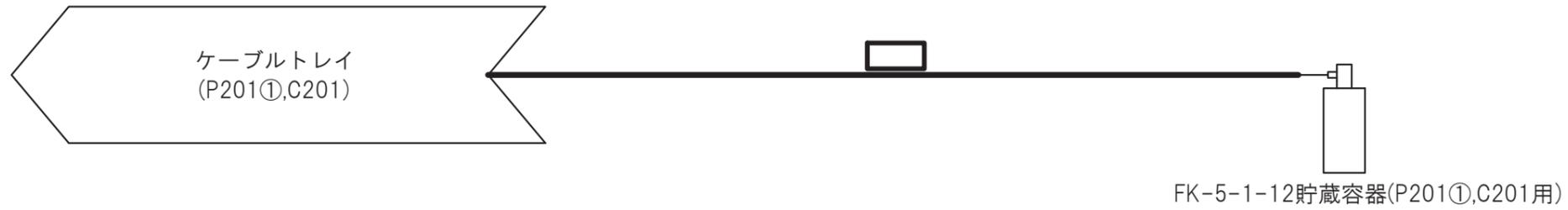
0420

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|---------------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-46図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その46) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

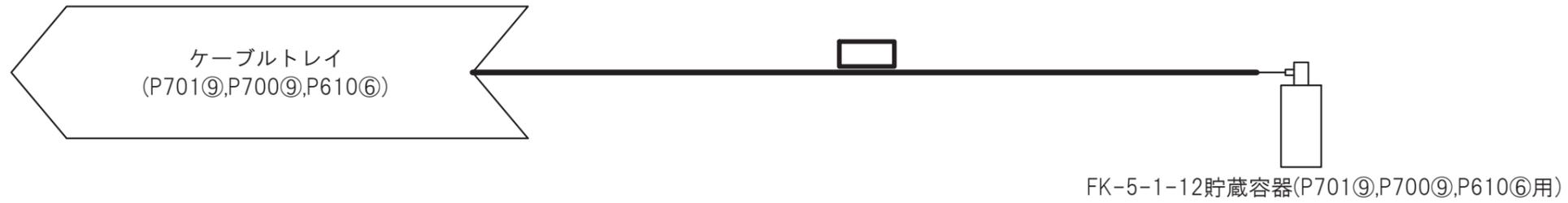



 火災防護設備のうち消火設備
 (ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|---------------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-47図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その47) |
| 東北電力株式会社 | |

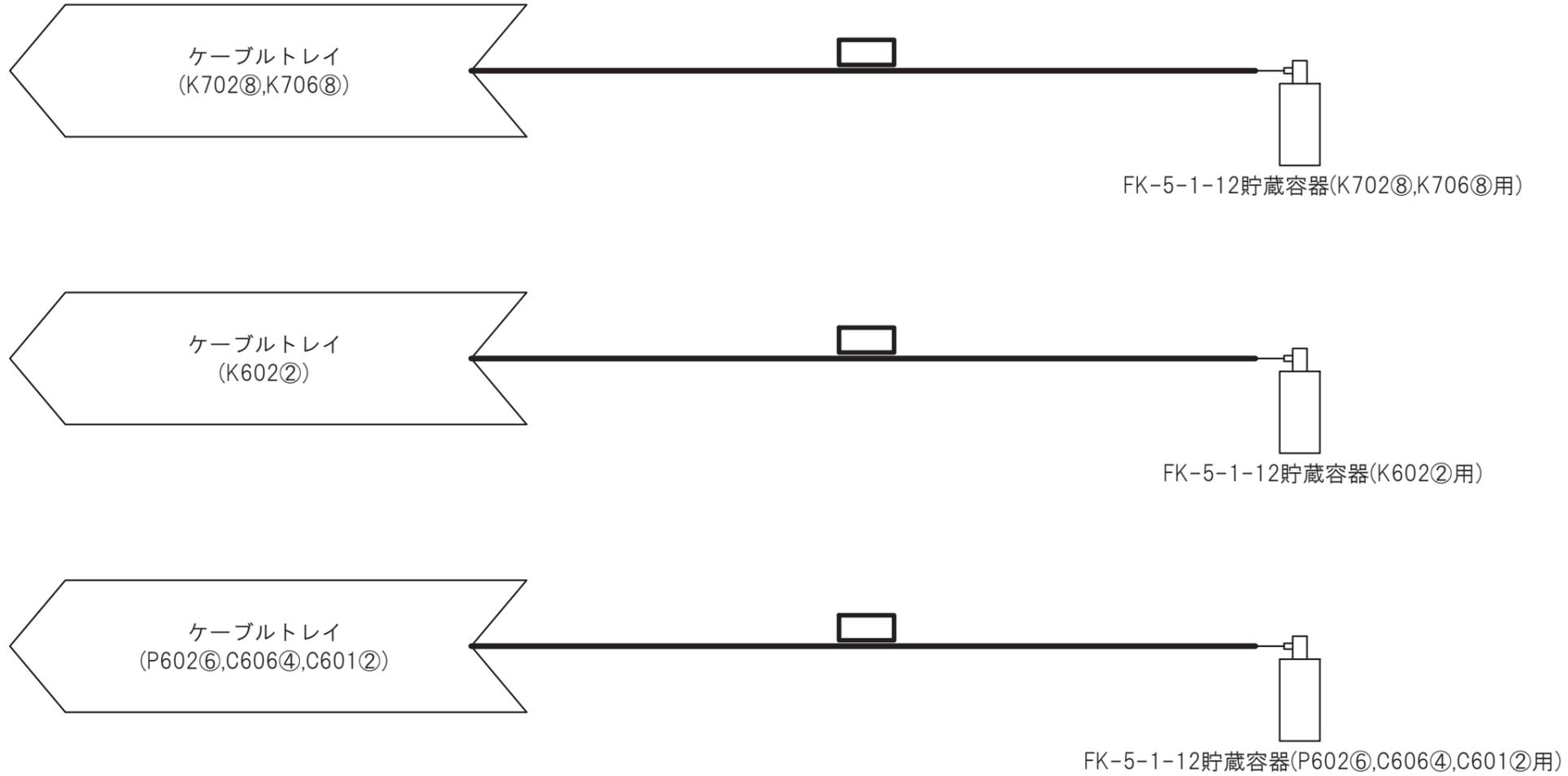
0420

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。




 火災防護設備のうち消火設備
 (ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

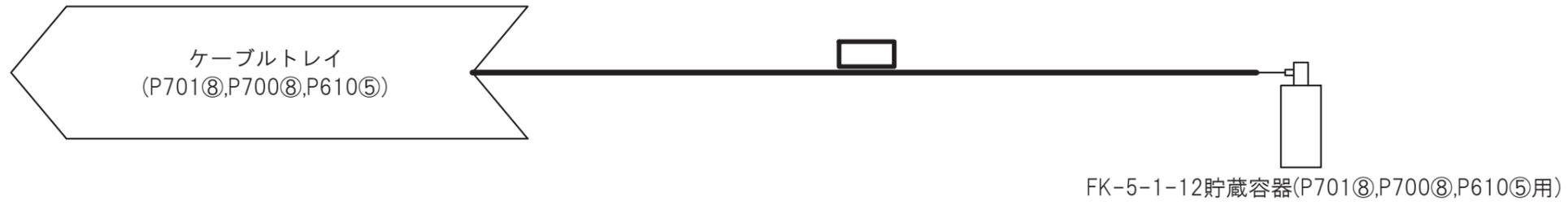
| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-48図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その48) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-49図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その49) |
| 東北電力株式会社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

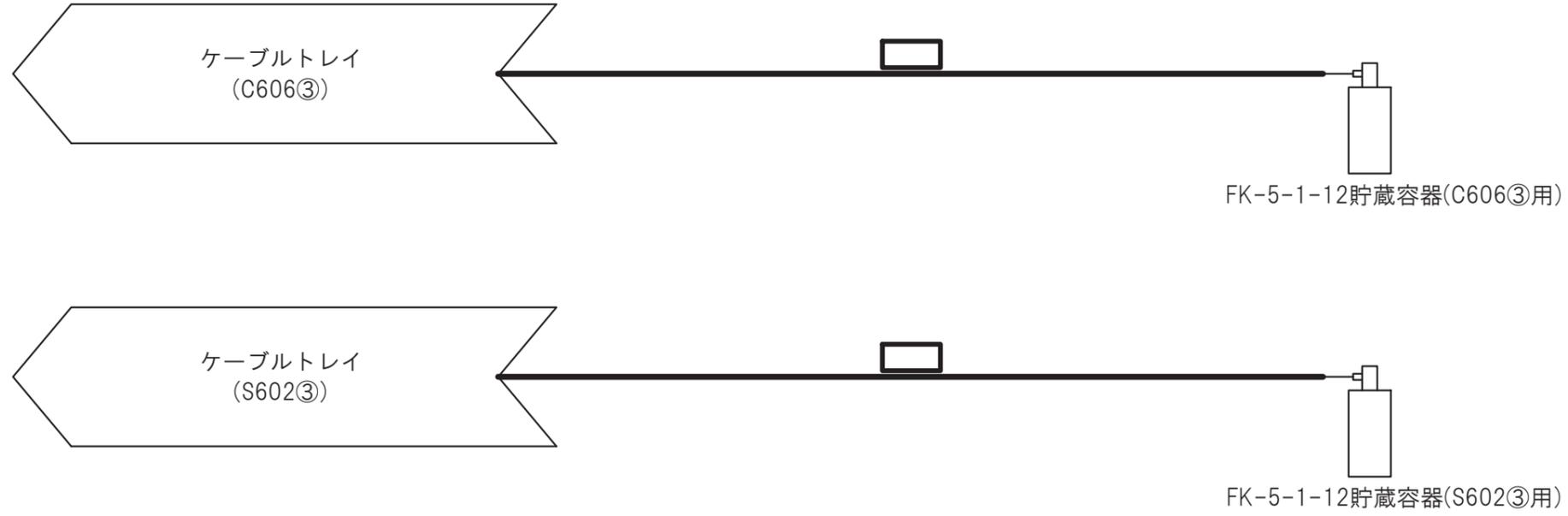


火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

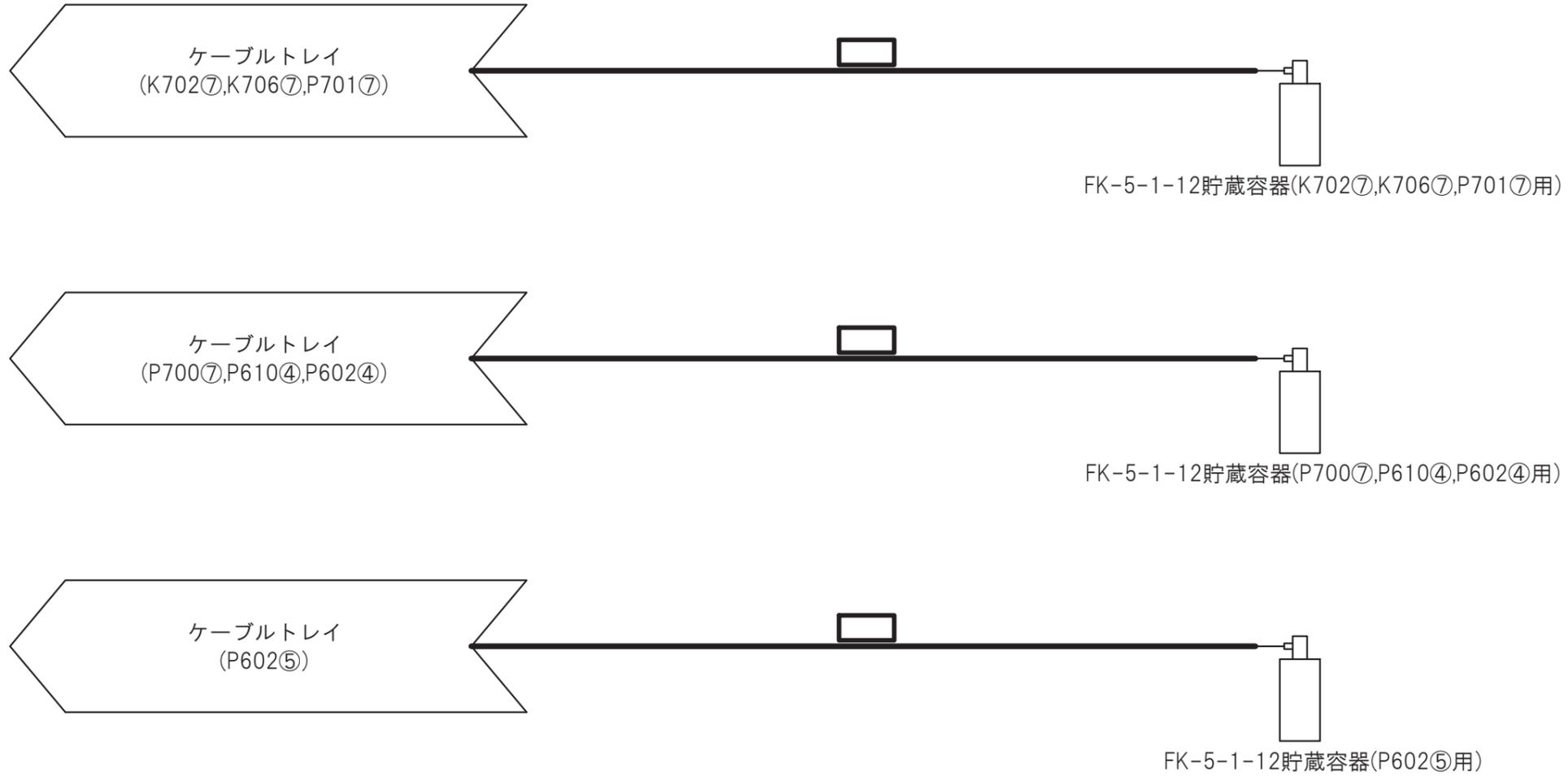
| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-50図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その50) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



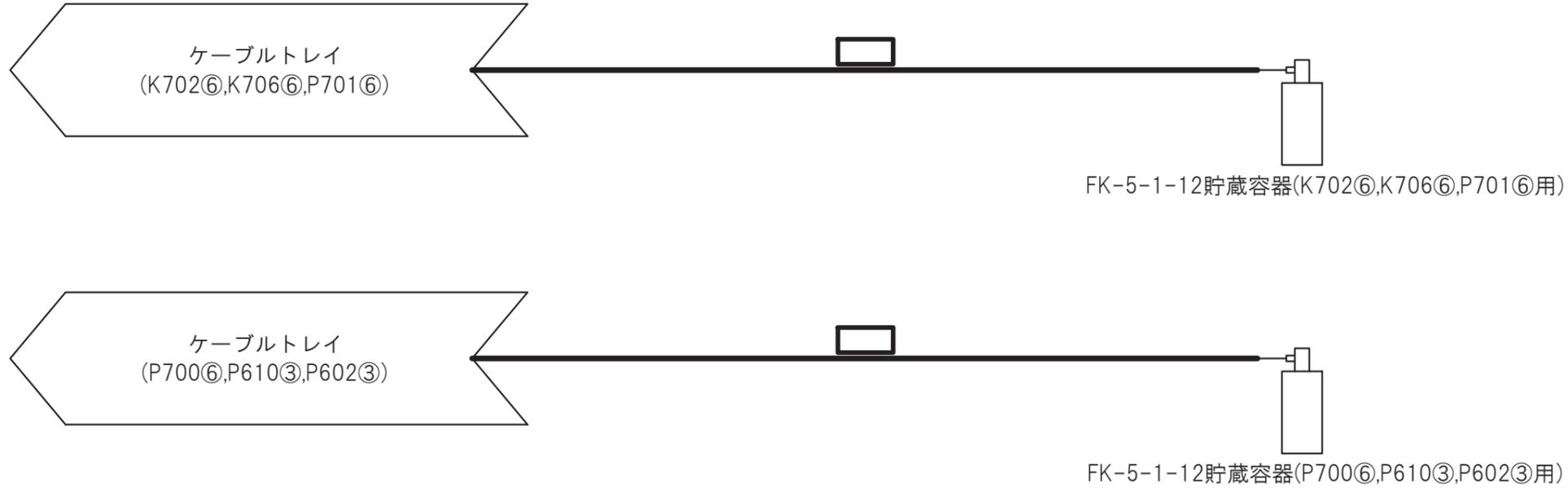
| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-51図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その51) |
| 東北電力株式会社 | |
| | 0420 |



——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

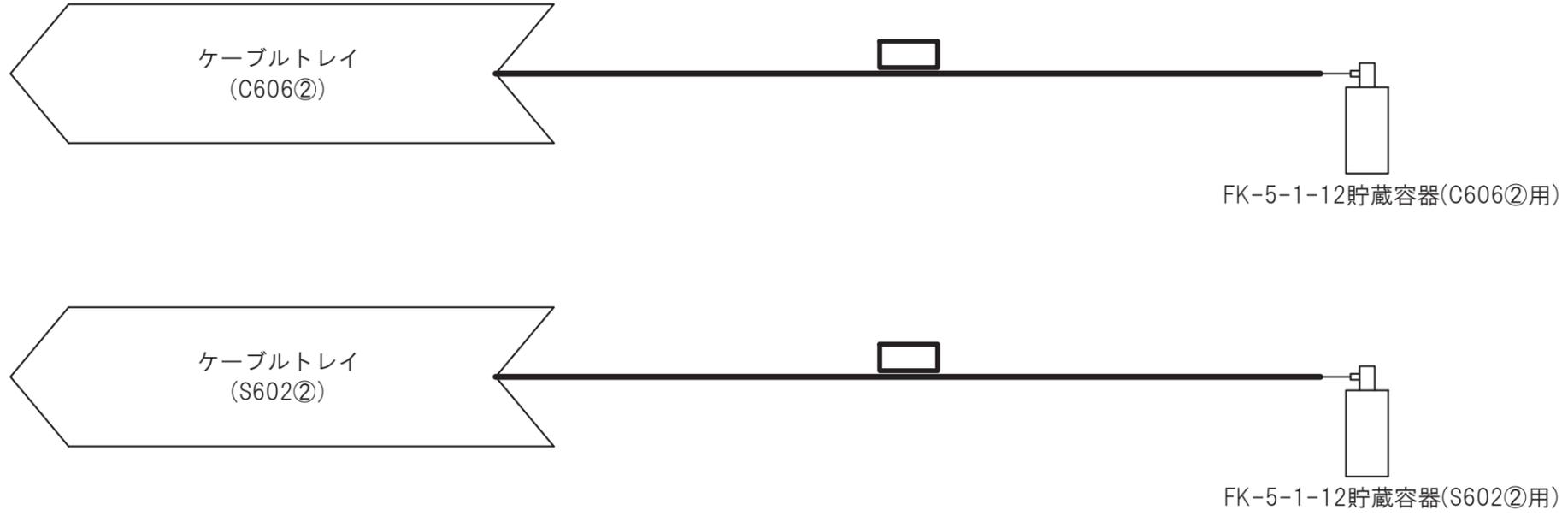
| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-52図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その52) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-53図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その53) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

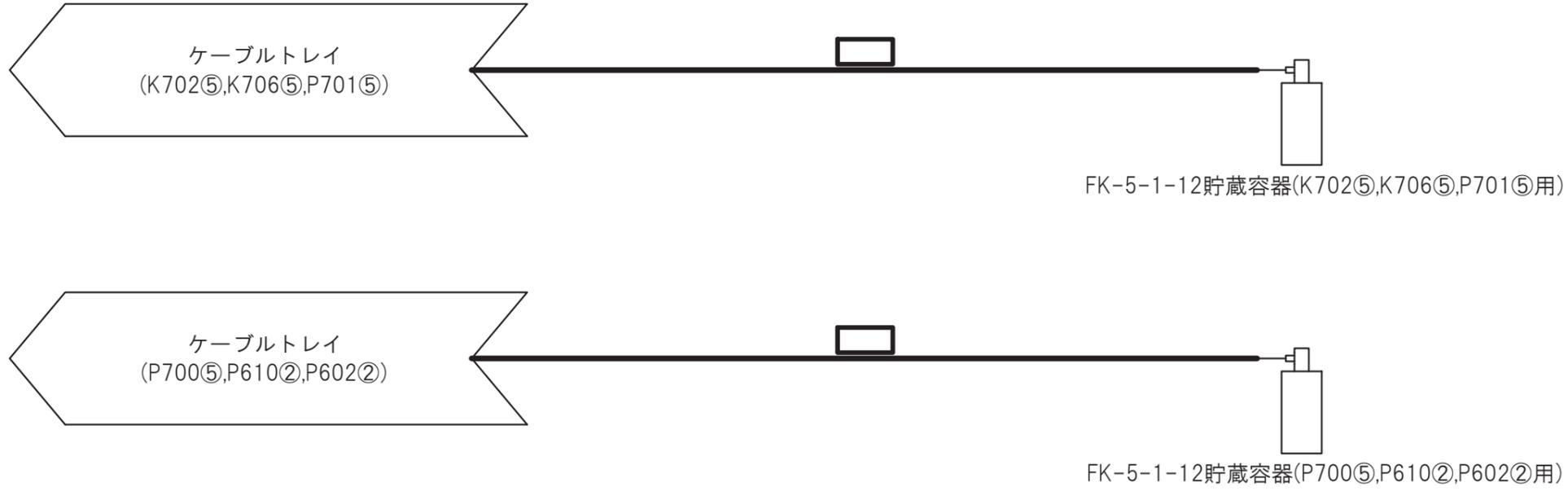


—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-54図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その54) |
| 東北電力株式会社 | |

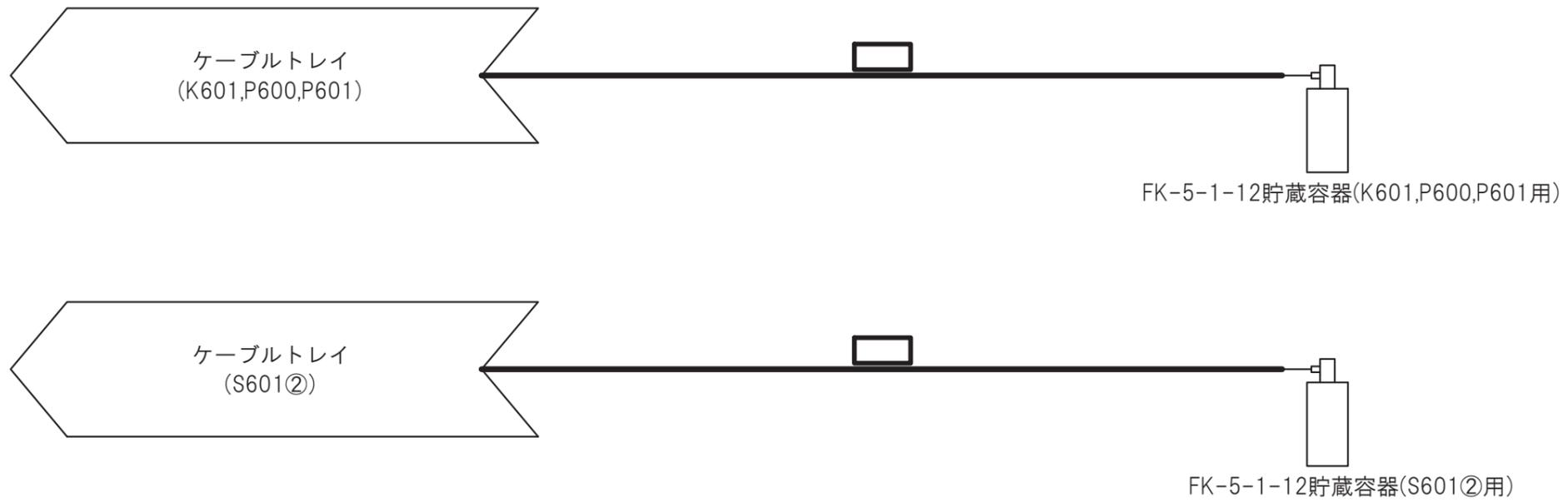
0420

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



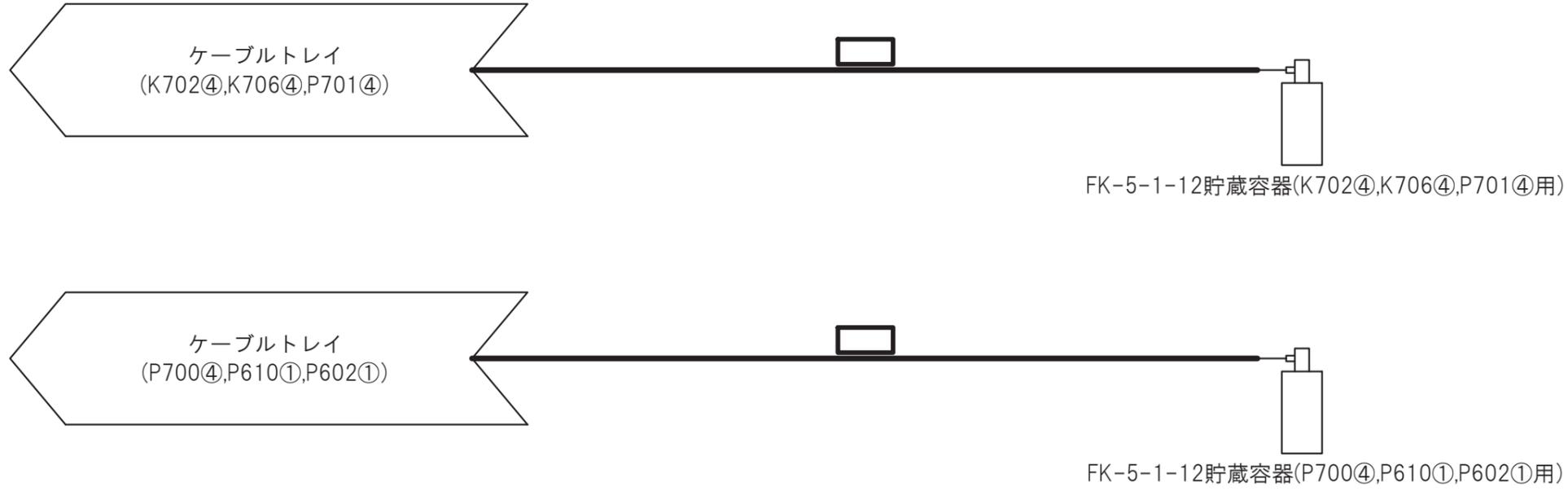
—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|---------------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-55図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その55) |
| 東北電力株式会社 | |



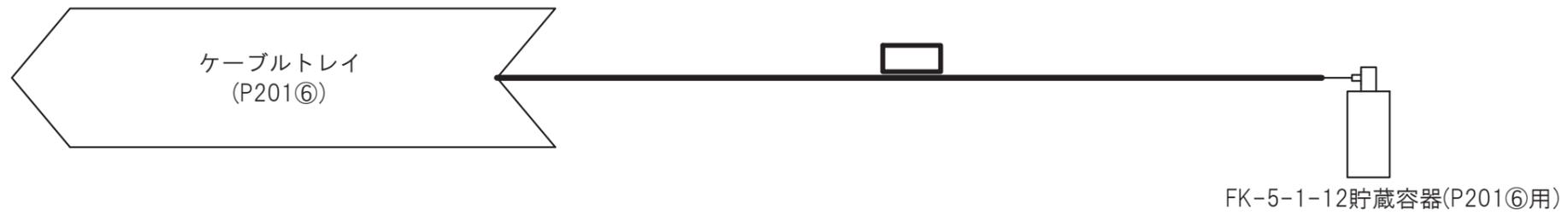
——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-56図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その56) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-57図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その57) |
| 東北電力株式会社 | |
| | 0420 |

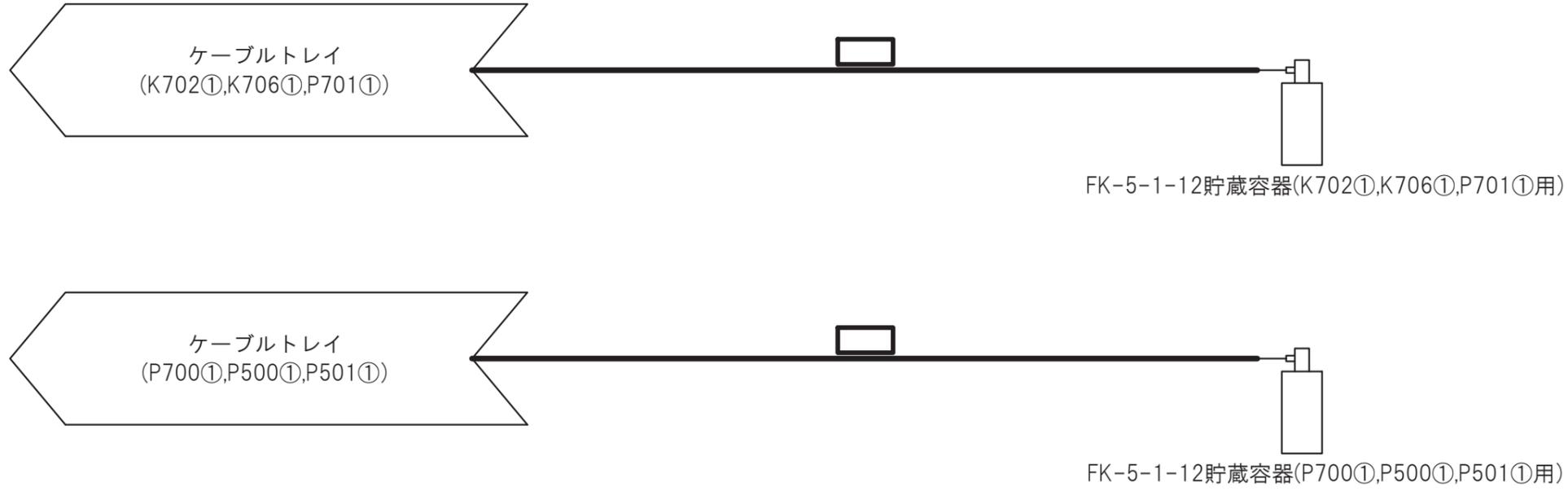


火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-58図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その58) |
| 東北電力株式会社 | |

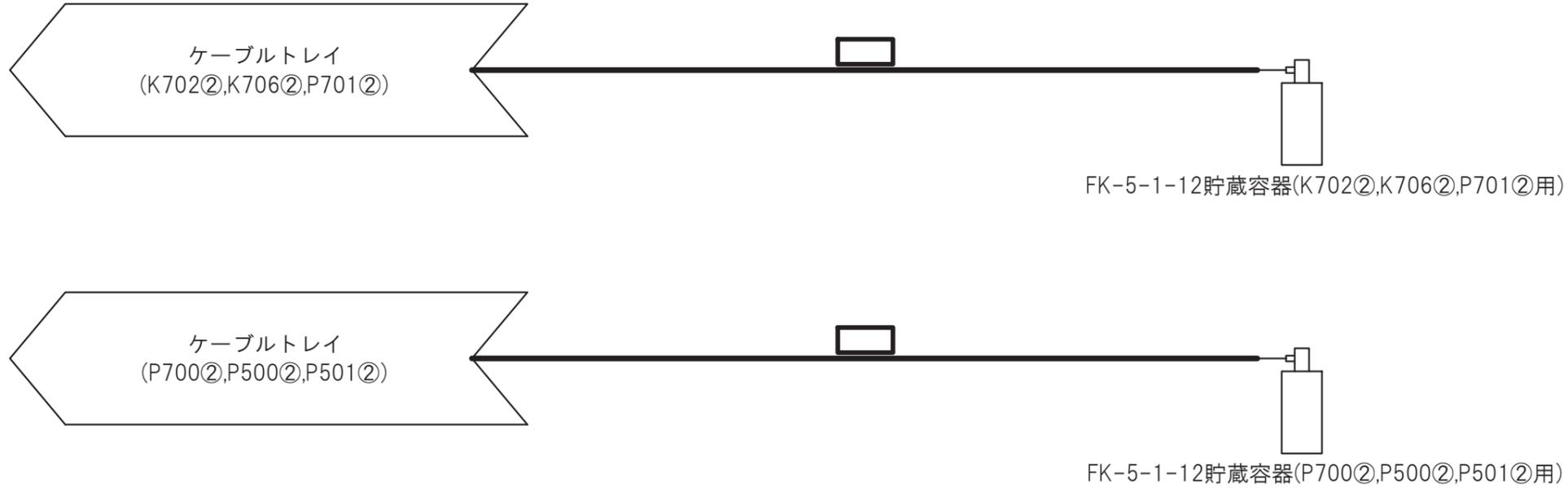
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



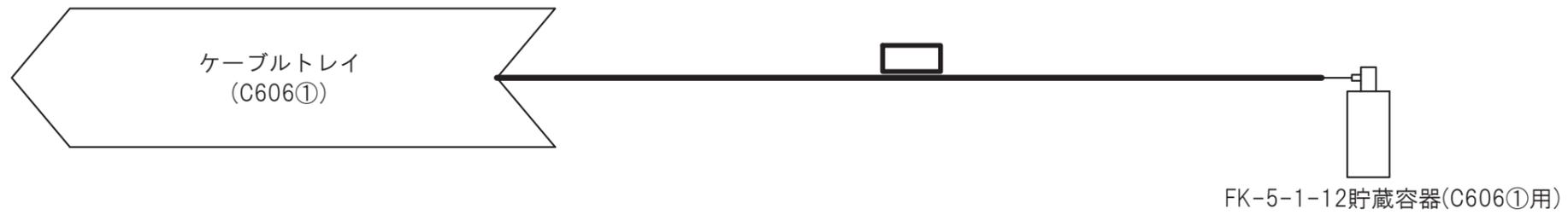
—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|---------------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-59図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その59) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-60図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その60) |
| 東北電力株式会社 | |
| | 0420 |

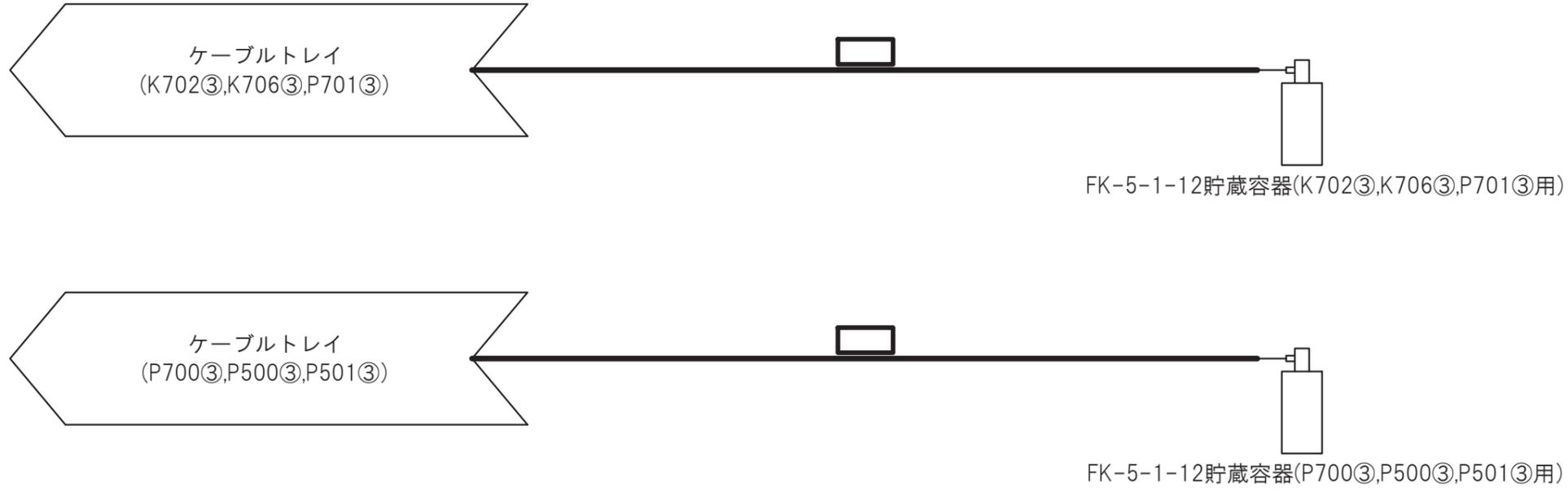


—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-61図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その61) |
| 東北電力株式会社 | |

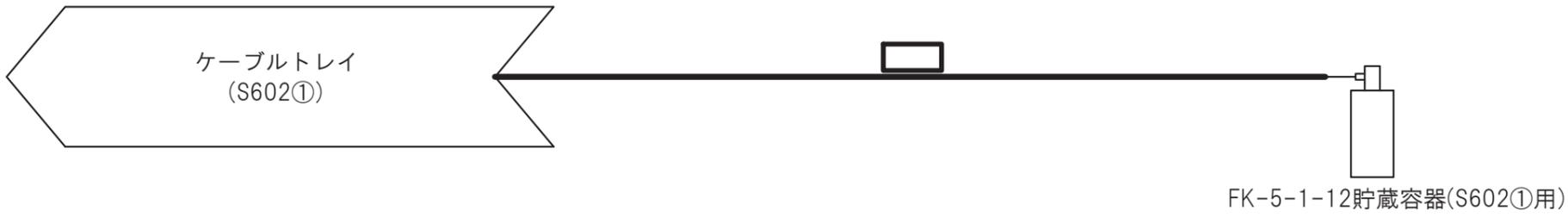
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420




 火災防護設備のうち消火設備
 (ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-62図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その62) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

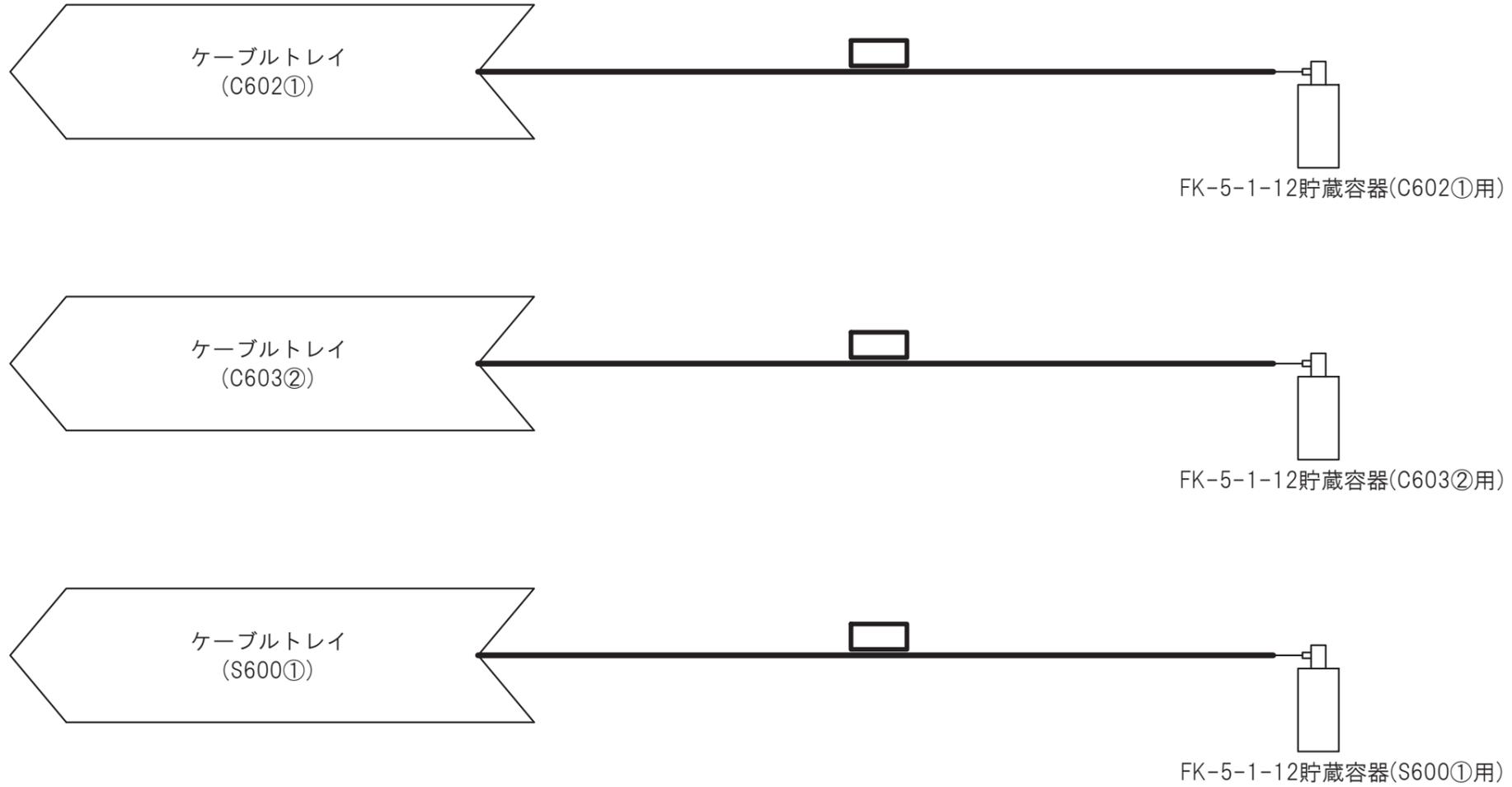


—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-63図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その63) |
| 東北電力株式会社 | |

0420

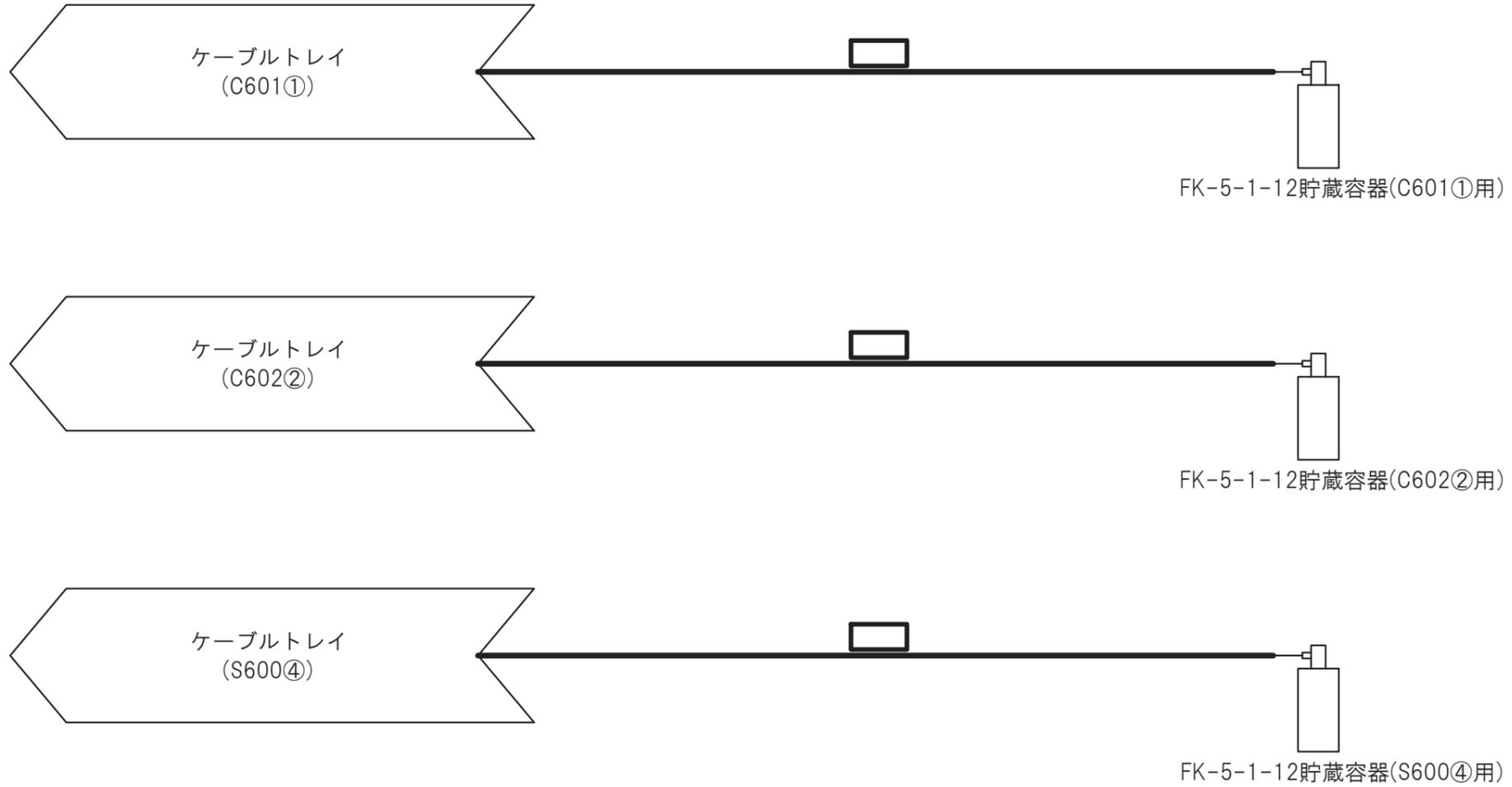
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-64図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その64) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

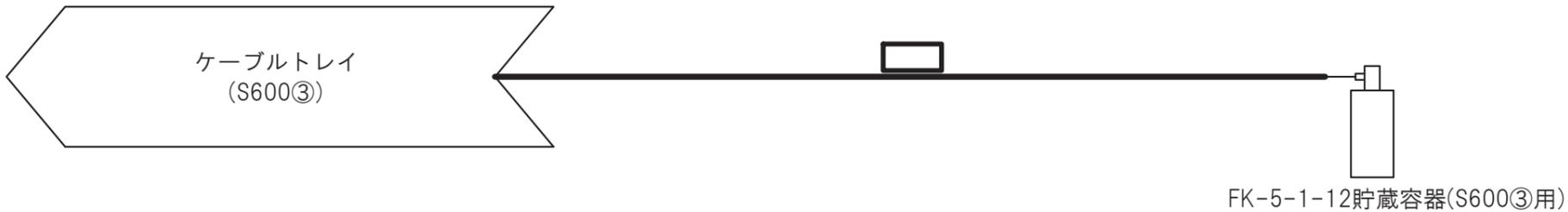


—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-65図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その65) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

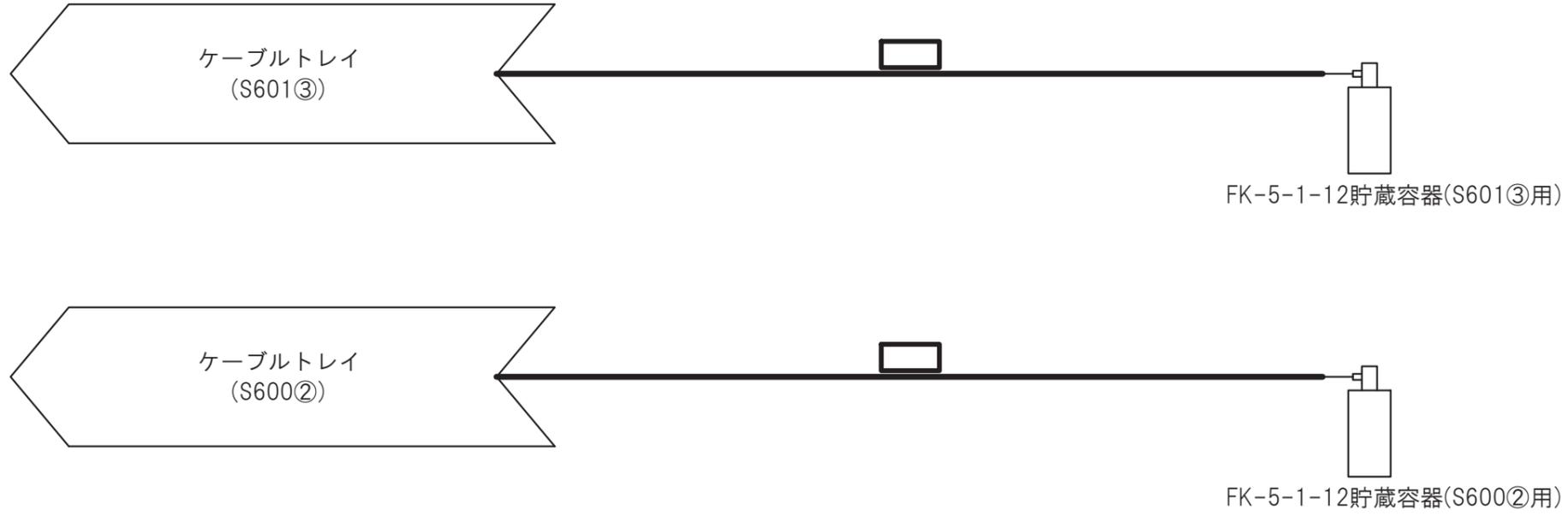


——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-66図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その66) |
| 東北電力株式会社 | |

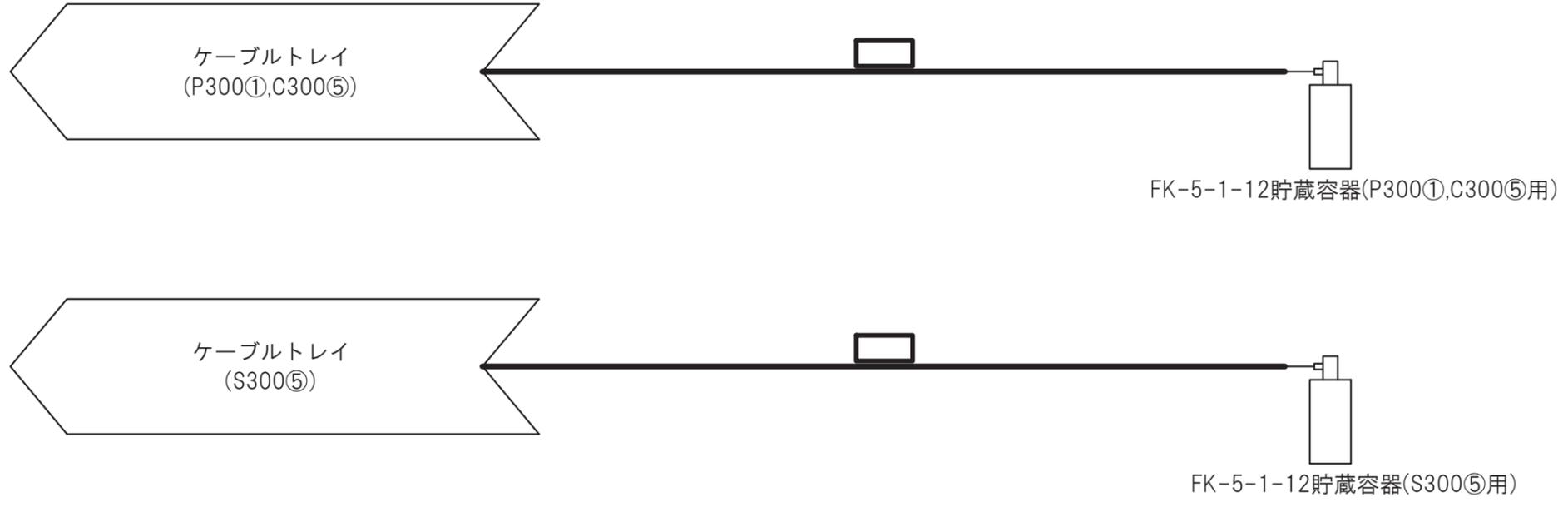
0420

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-67図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その67) |
| 東北電力株式会社 | |
| | 0420 |

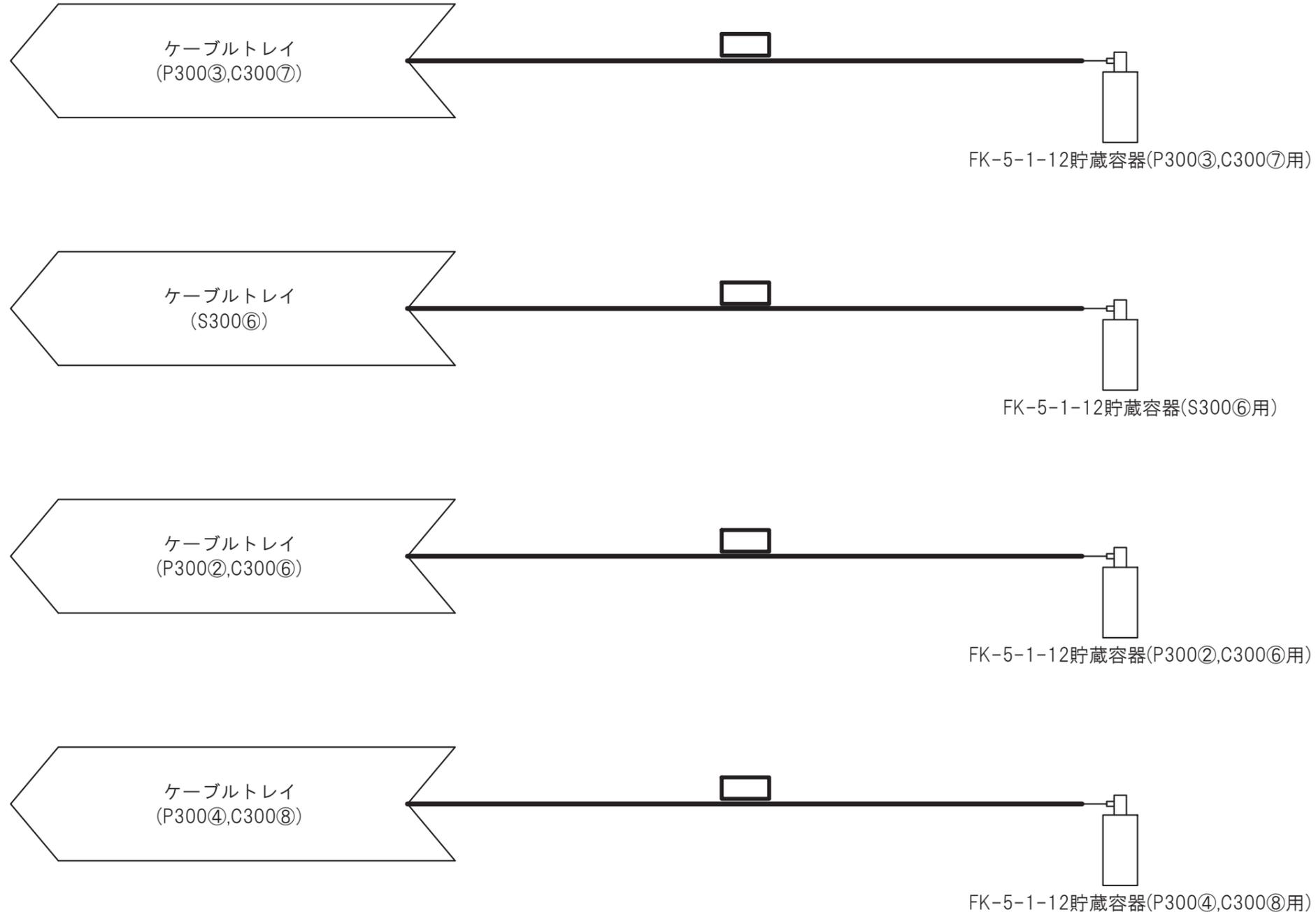
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

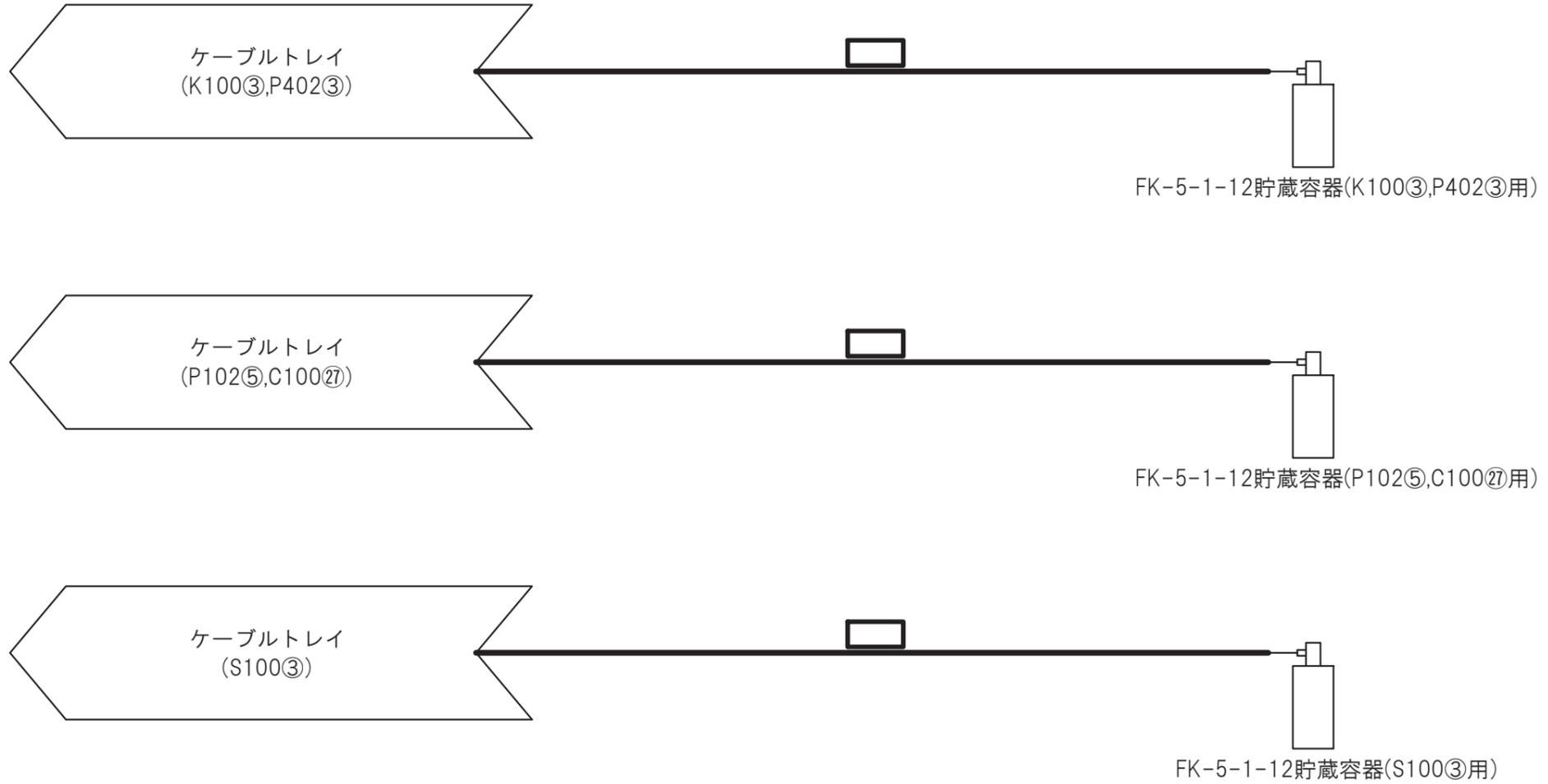
| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-68図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その68) |
| 東北電力株式会社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



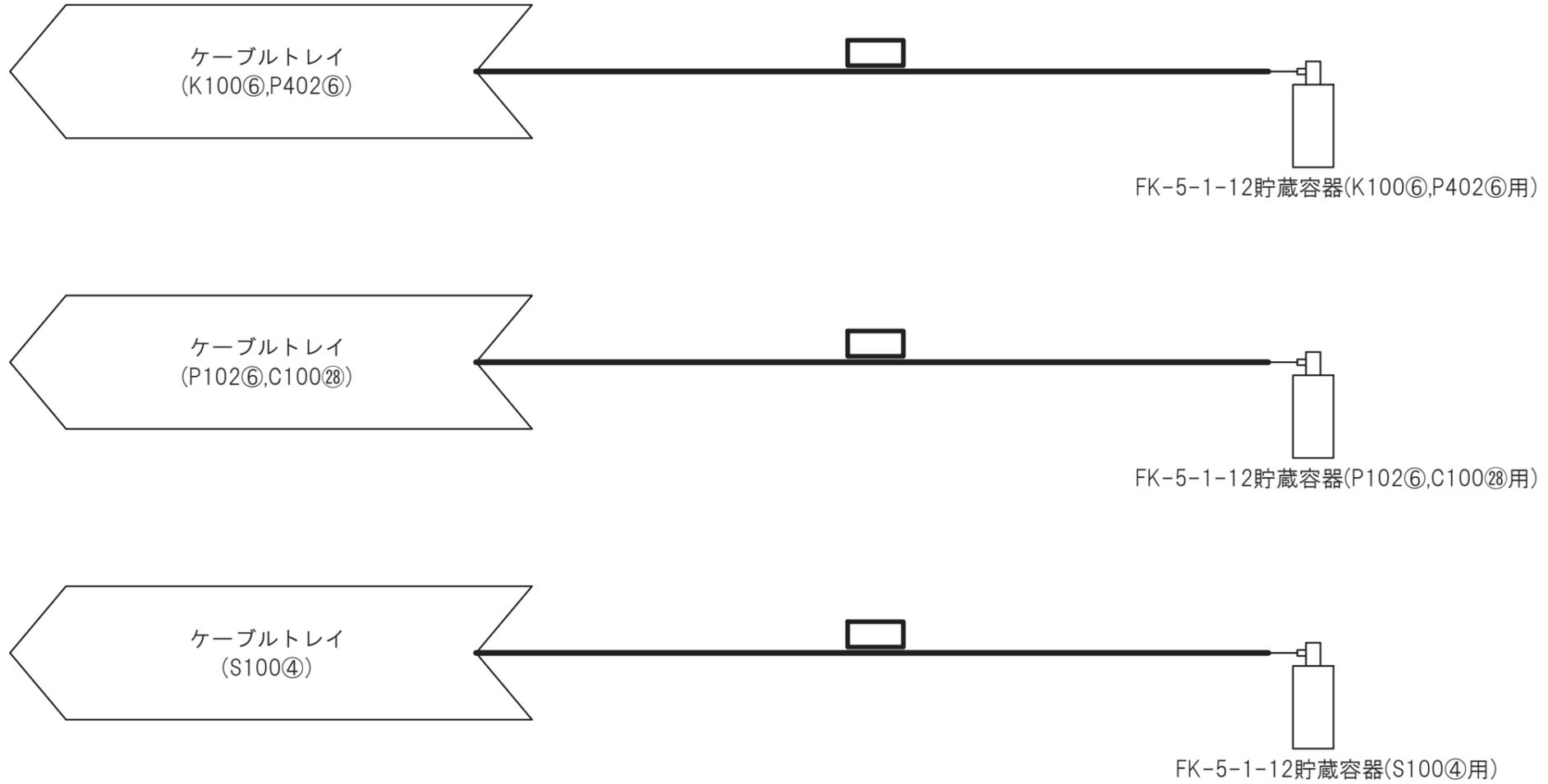
——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-69図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その69) |
| 東北電力株式会社 | |



—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-70図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その70) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

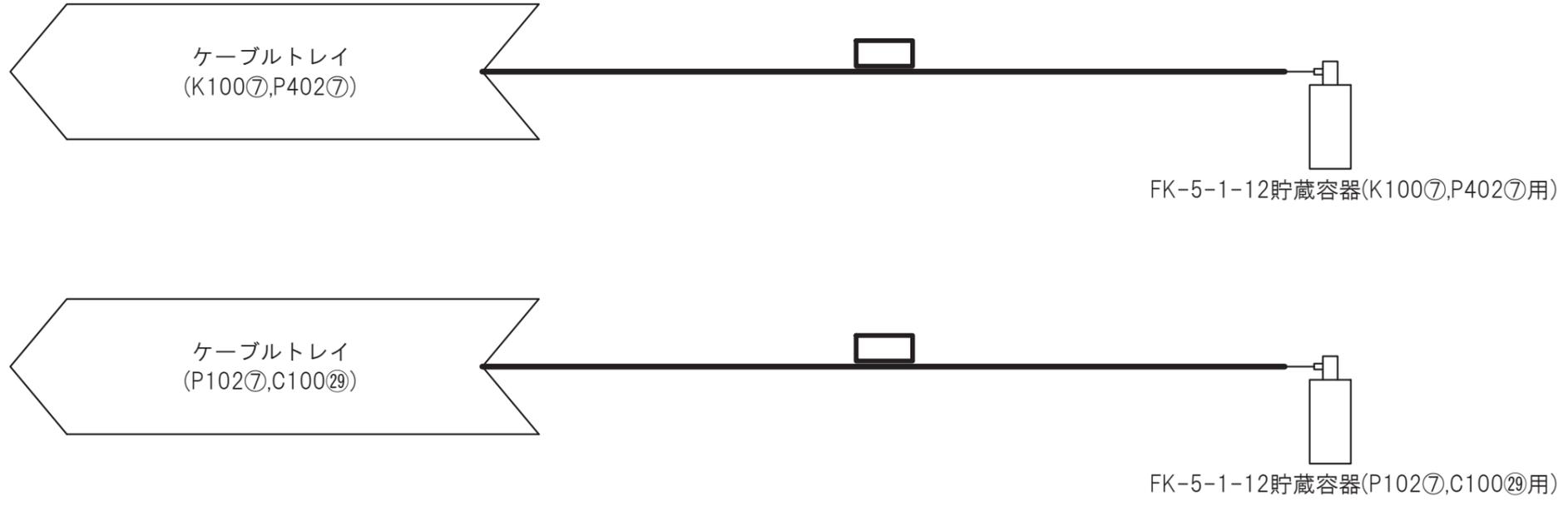


——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-71図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その71) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

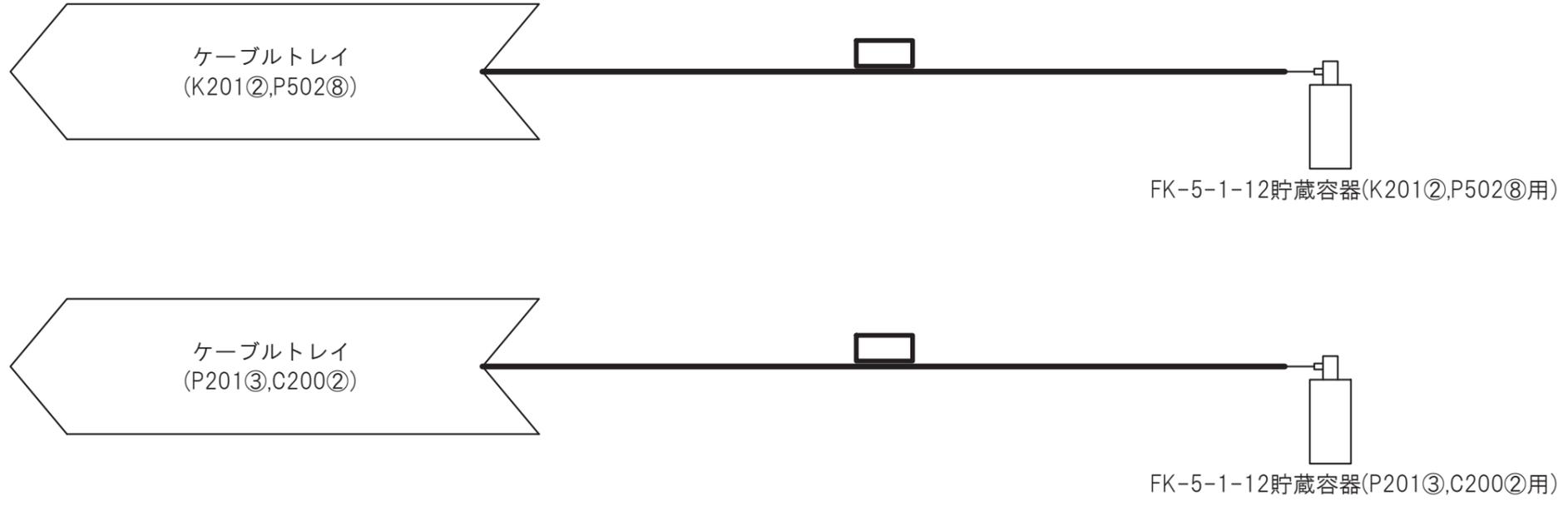
0420



火災防護設備のうち消火設備
 (ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

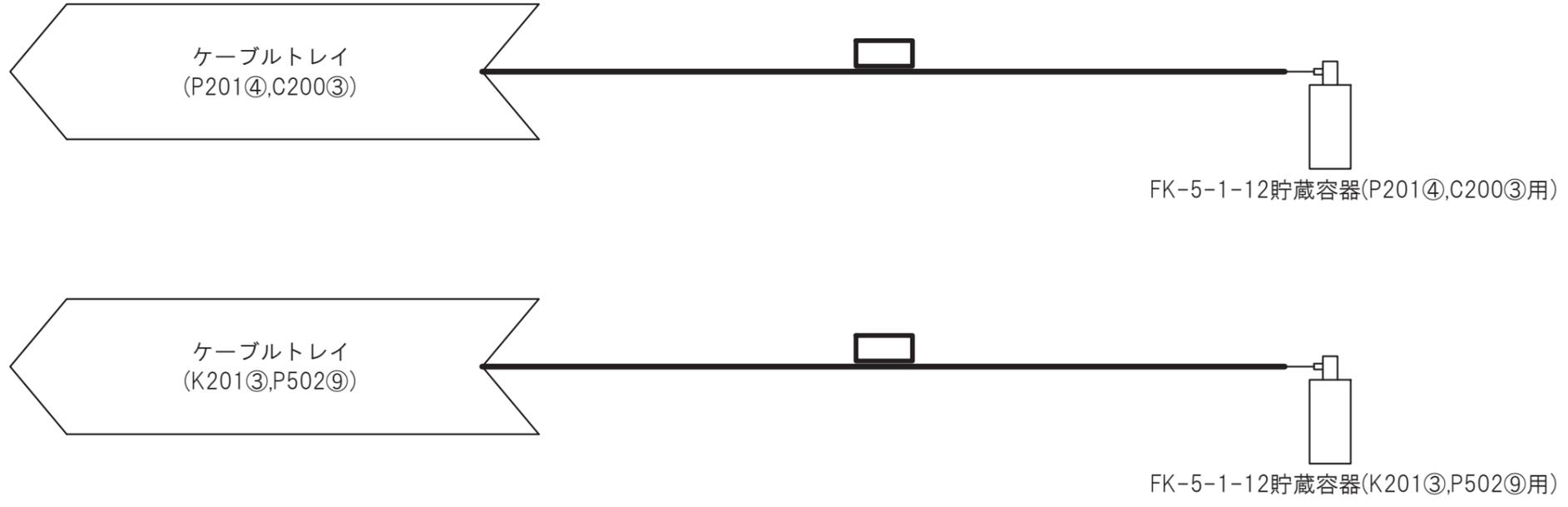
| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-72図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その72) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



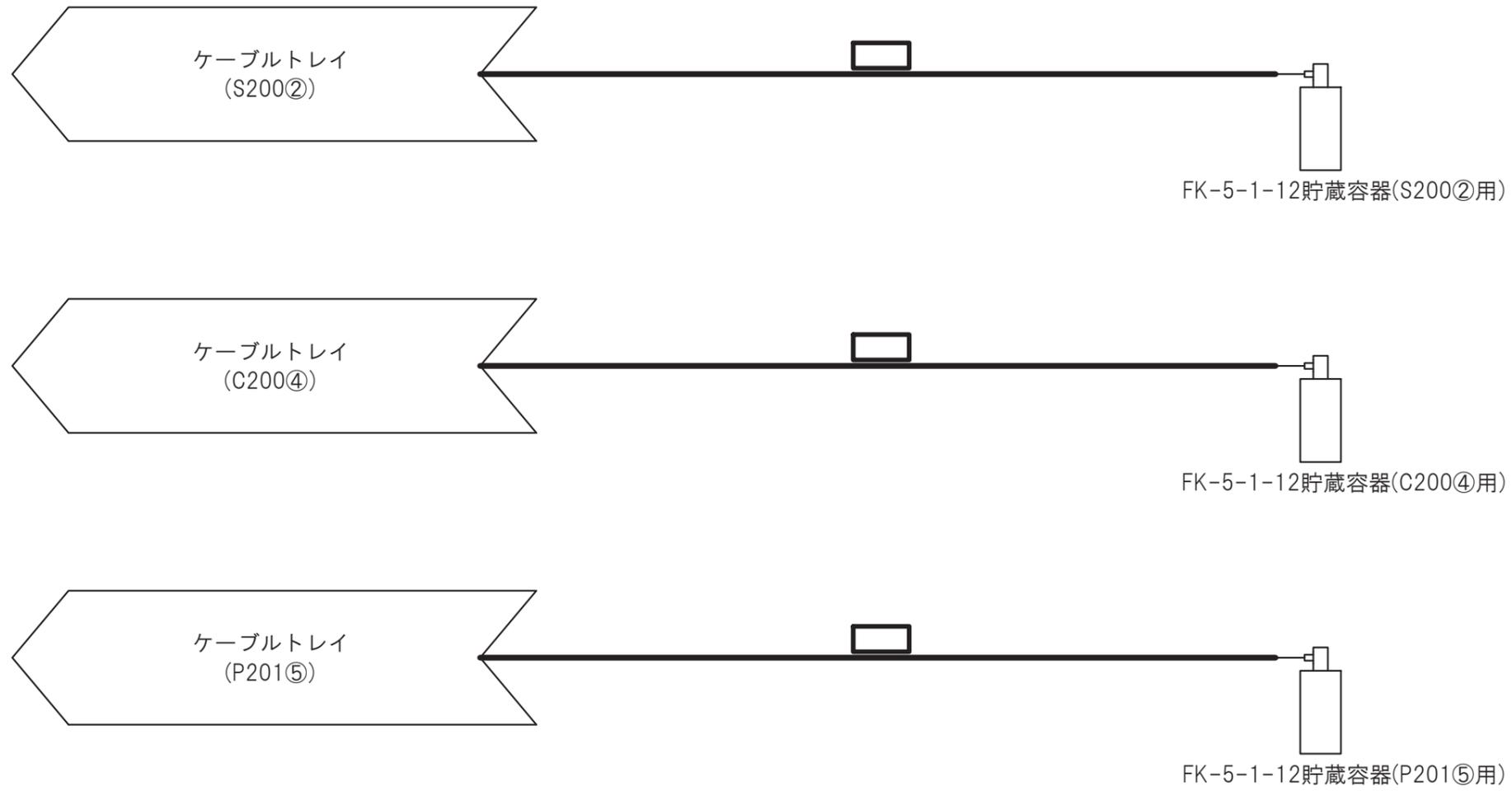
—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-73図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その73) |
| 東北電力株式会社 | |
| | 0420 |



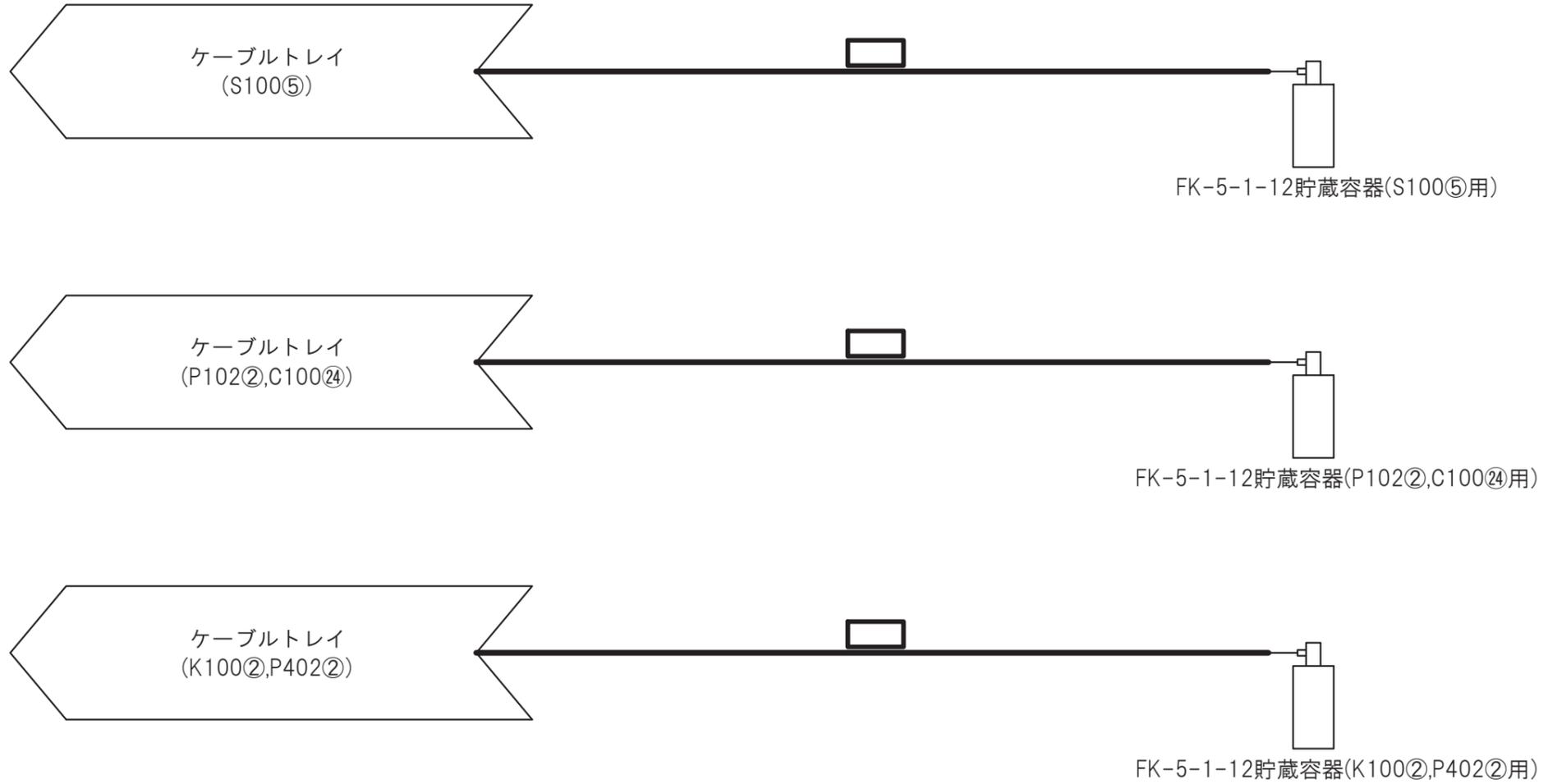
—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-74図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その74) |
| 東北電力株式会社 | |
| | 0420 |



——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

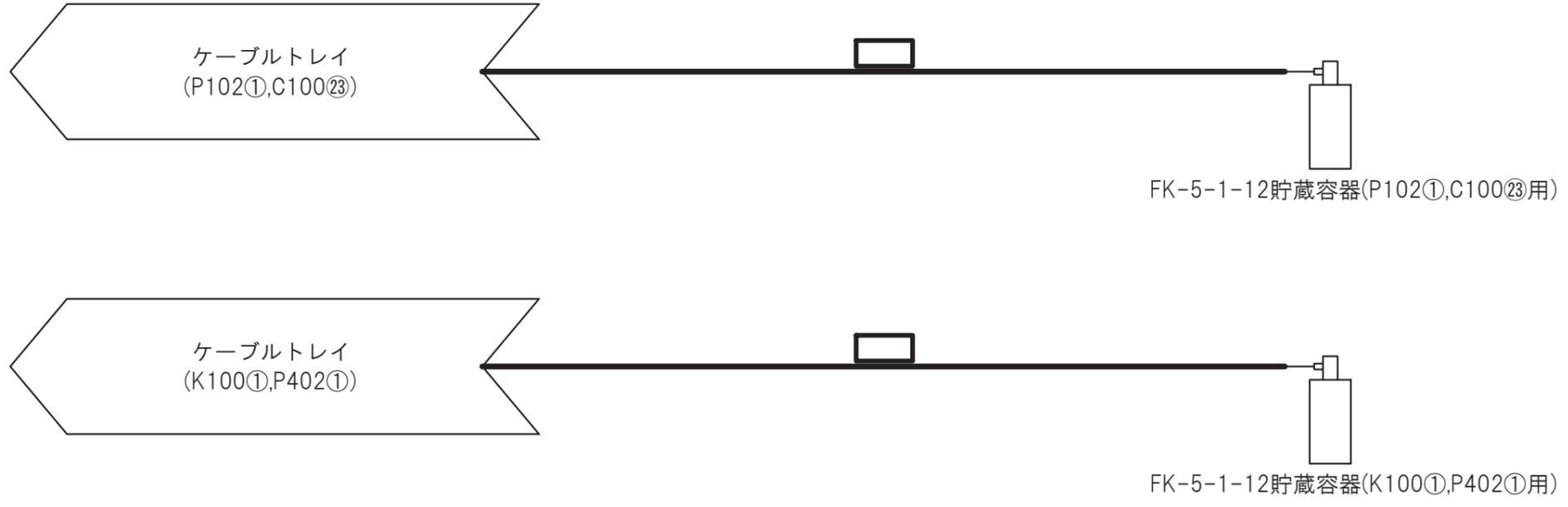
| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-75図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その75) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

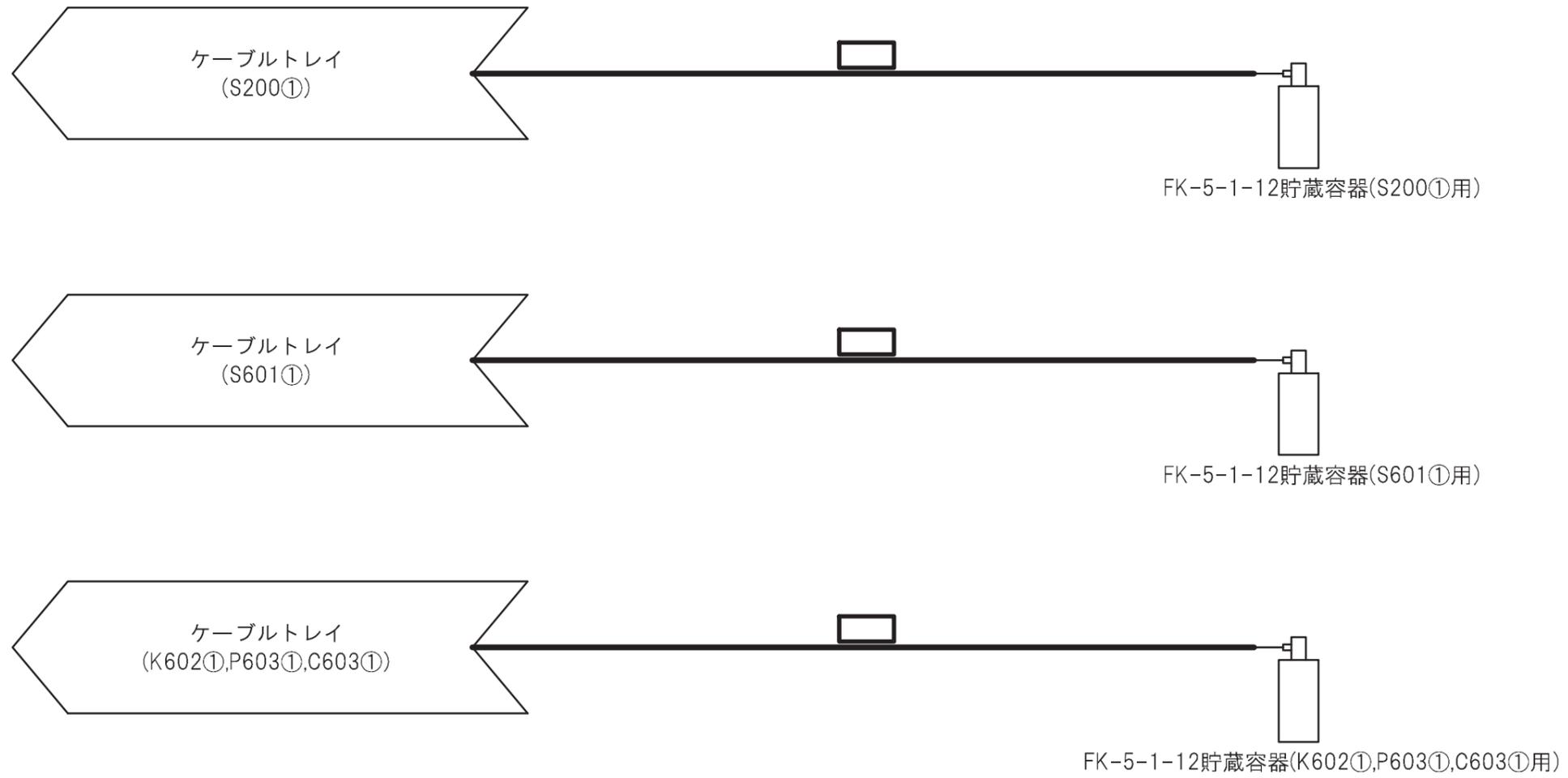
| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-76図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その76) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|---------------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-77図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その77) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

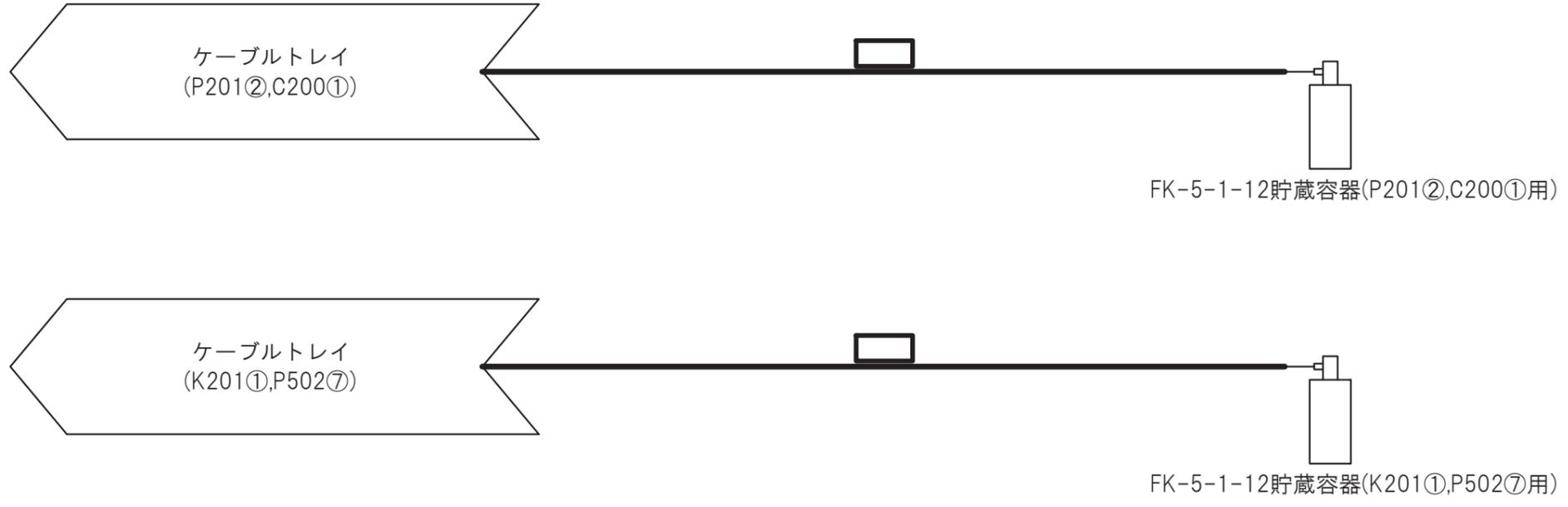


——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-78図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その78) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

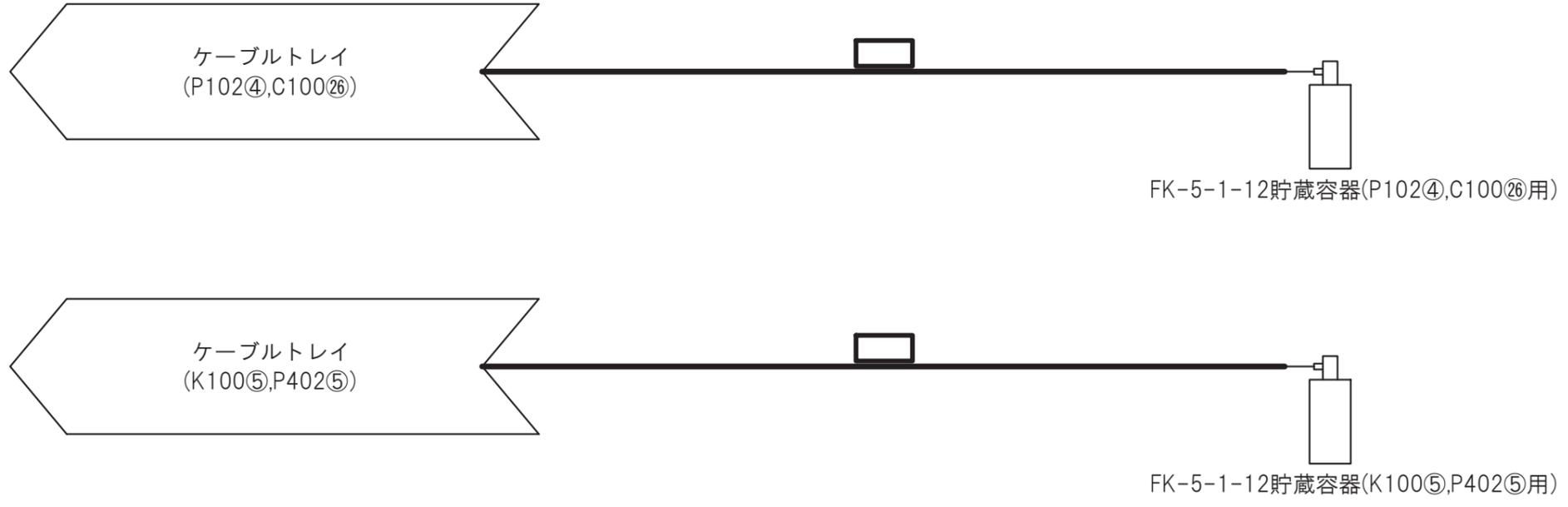
0930



—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|---------------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-79図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その79) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

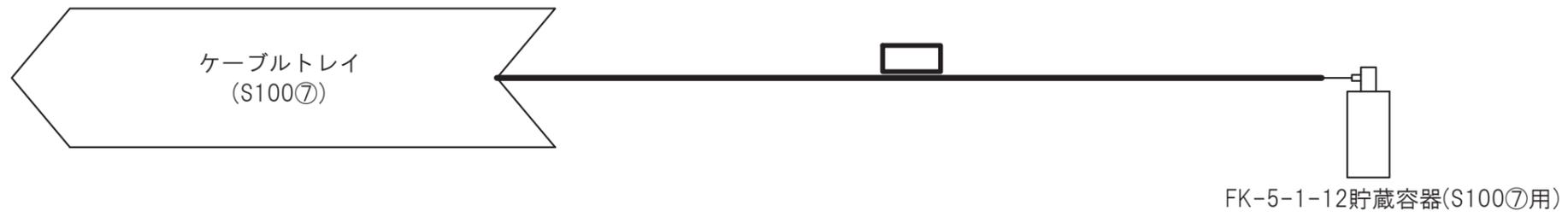
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|---------------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-80図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その80) |
| 東北電力株式会社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

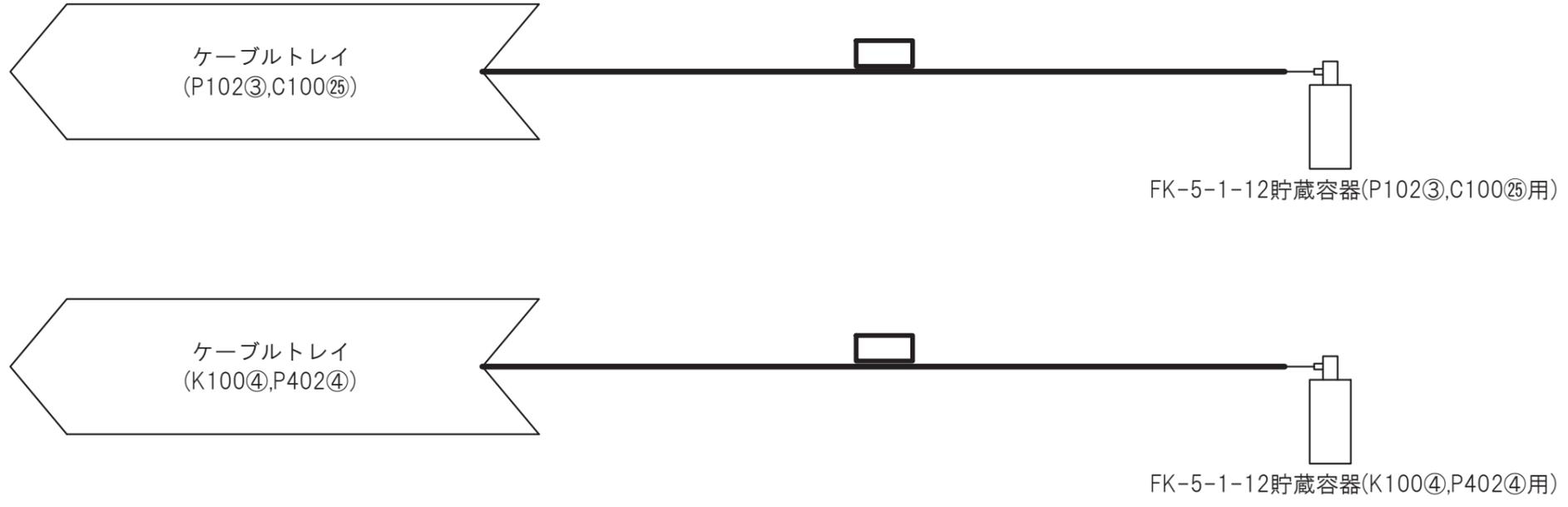


火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-81図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その81) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

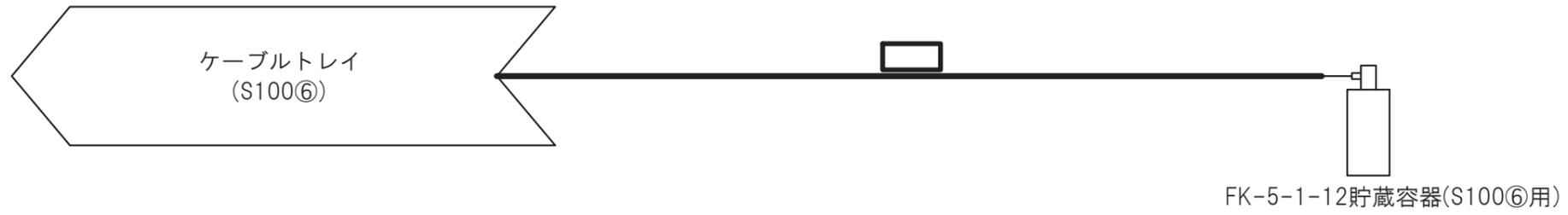
0420



—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-82図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その82) |
| 東北電力株式会社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

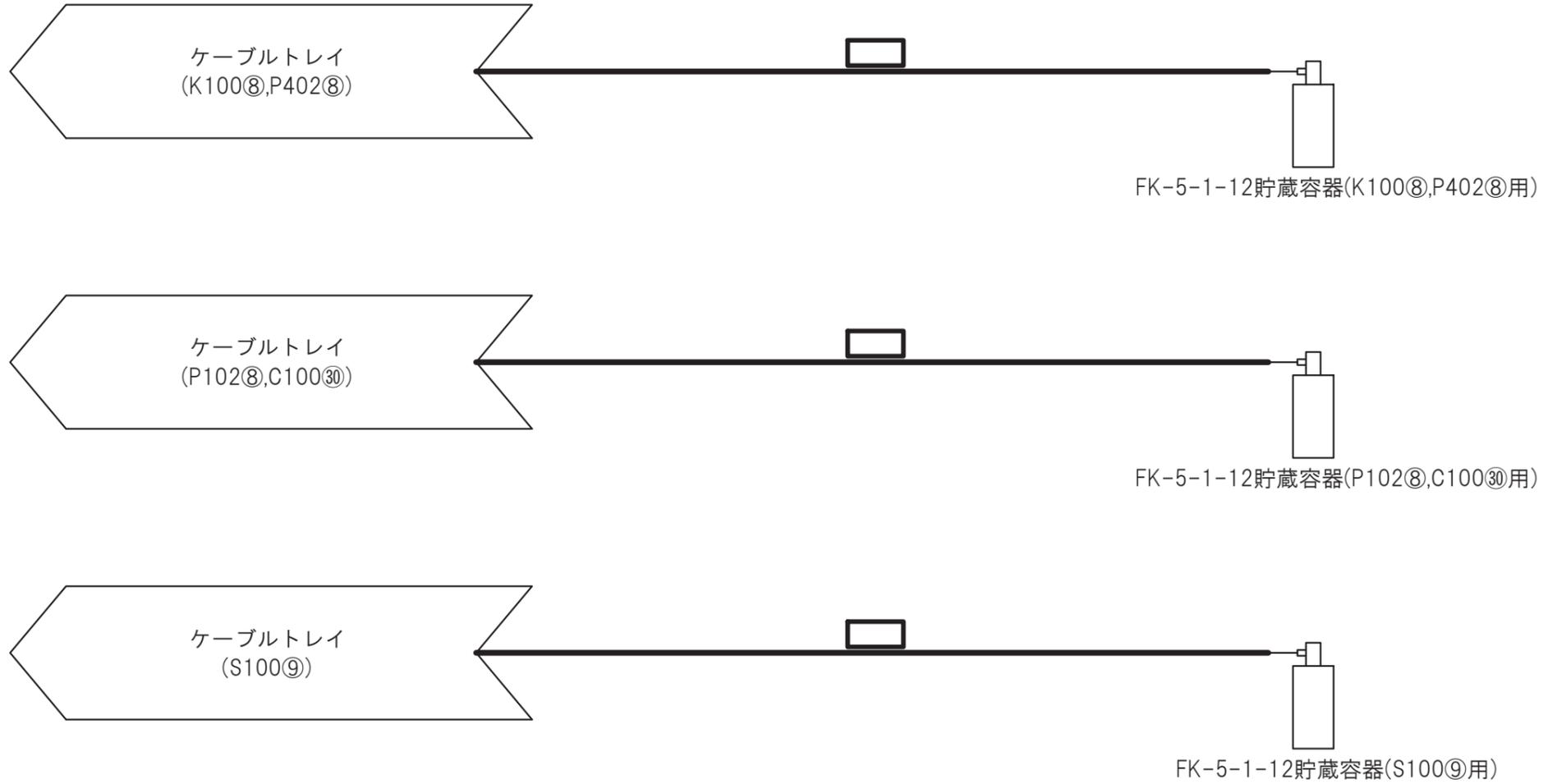


——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-83図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その83) |
| 東北電力株式会社 | |

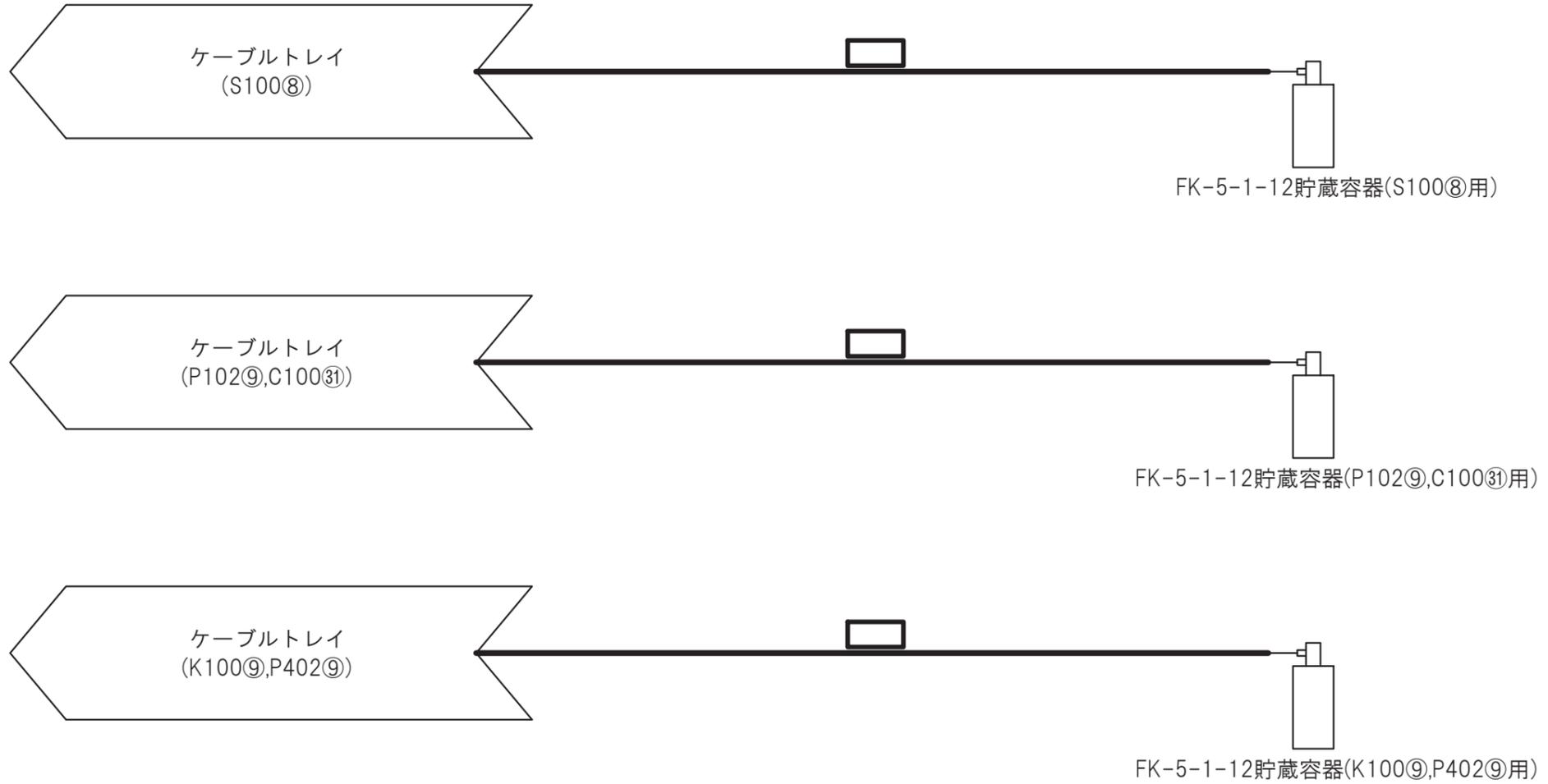
0420

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-84図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その84) |
| 東北電力株式会社 | |
| | 0420 |

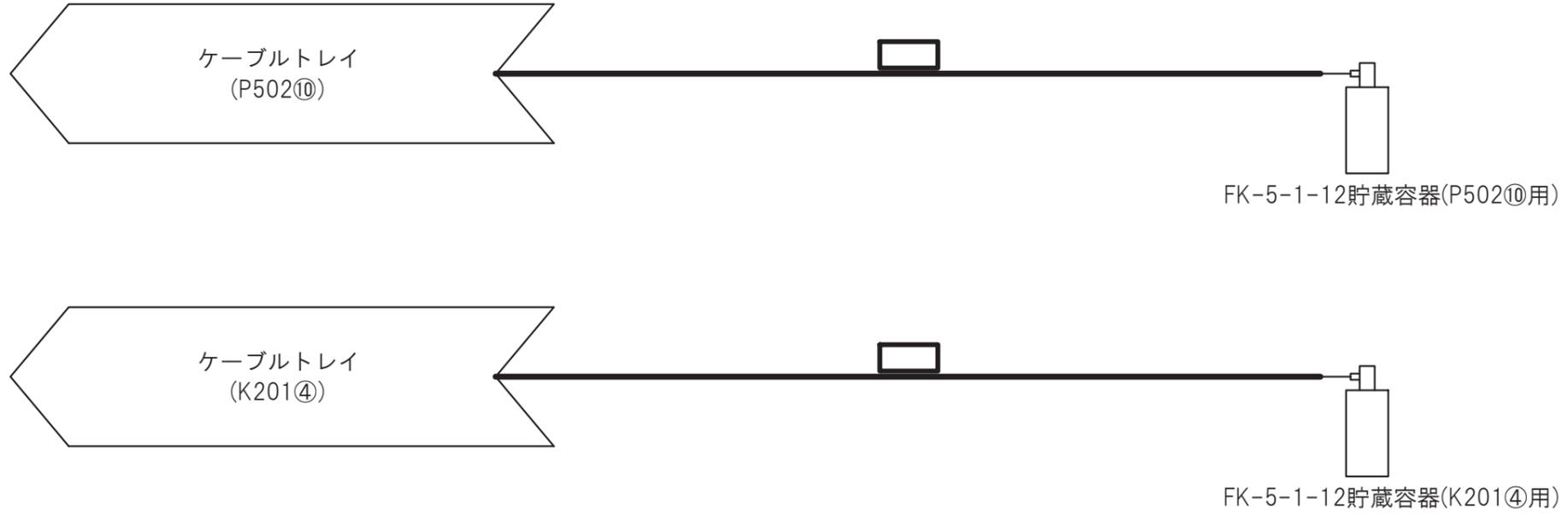
——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)



——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-85図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その85) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

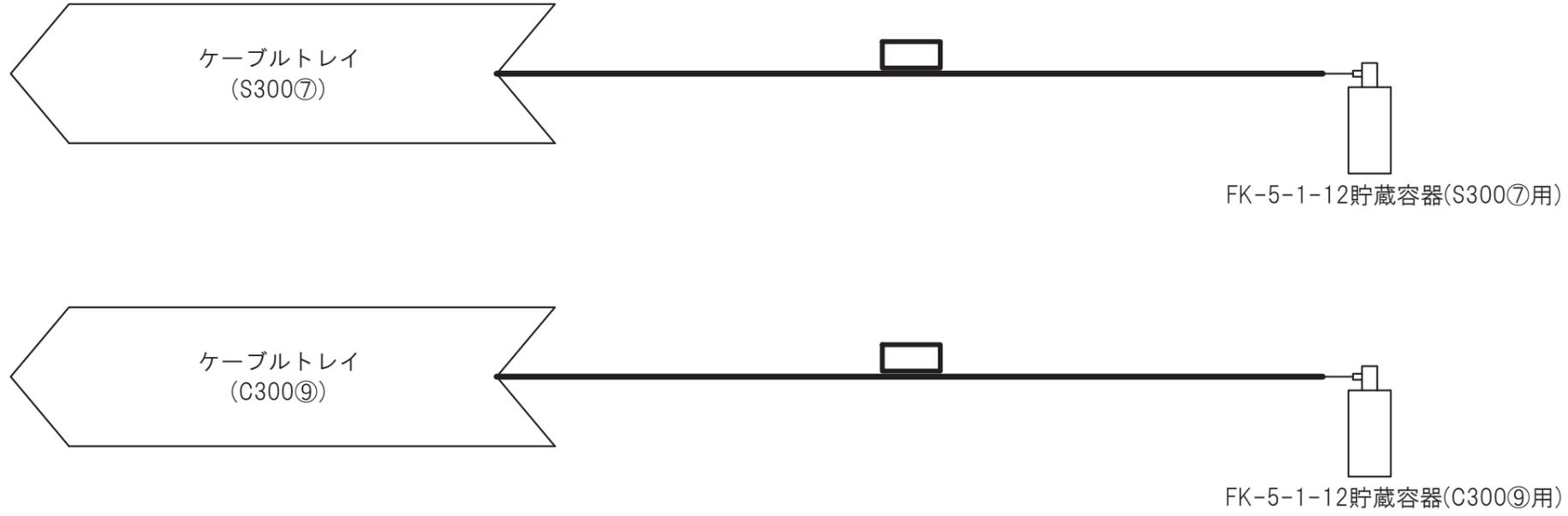
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



火災防護設備のうち消火設備
 (ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

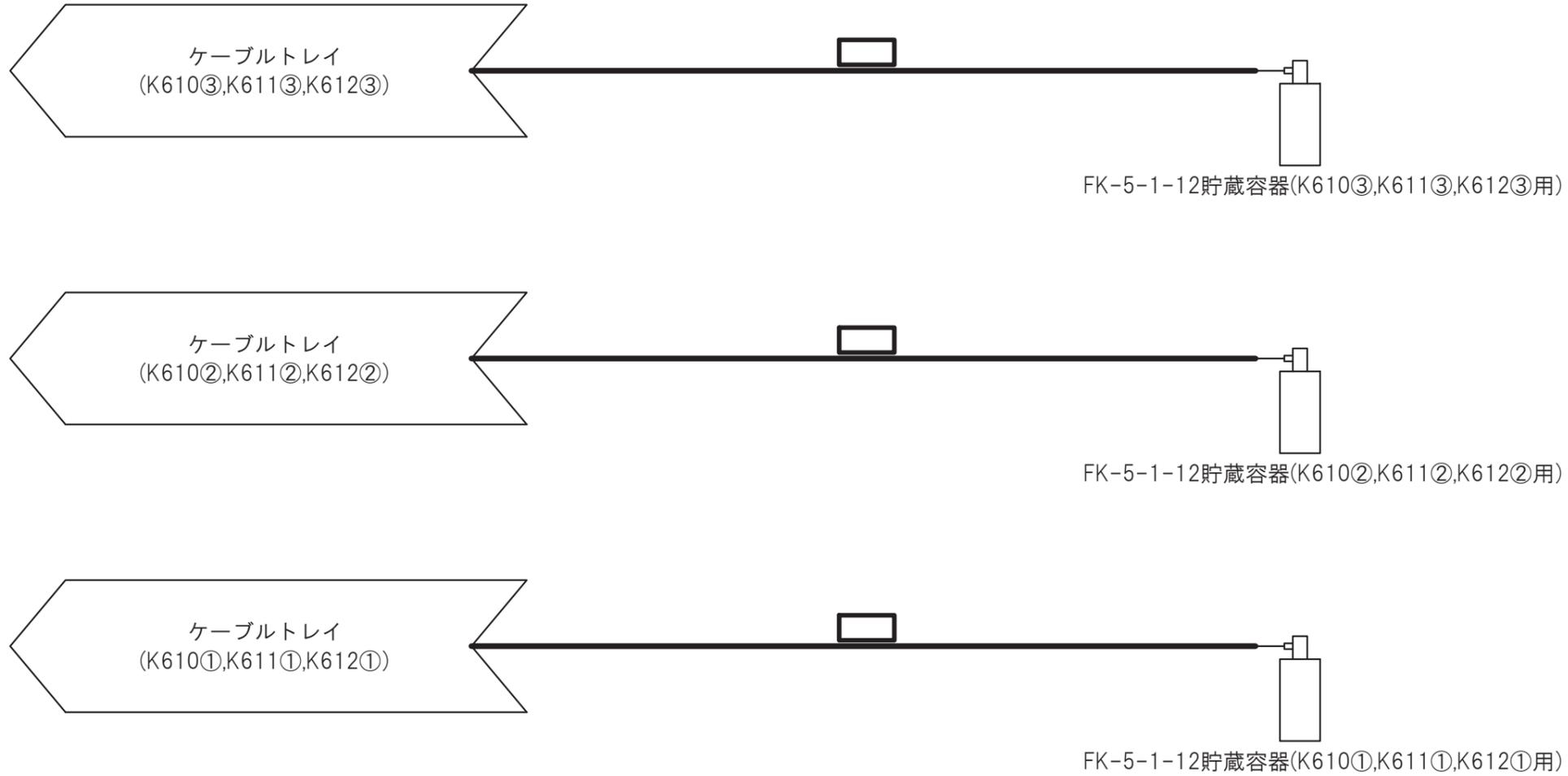
| | |
|---------------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-86図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その86) |
| 東北電力株式会社 | |

0420



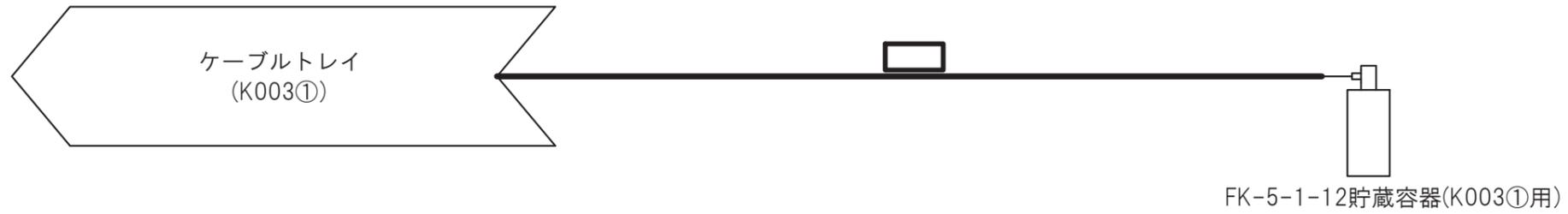

 火災防護設備のうち消火設備
 (ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-87図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その87) |
| 東北電力株式会社 | |
| | 0420 |



—— 火災防護設備のうち消火設備 (ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-88図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その88) |
| 東北電力株式会社 | |
| | 0420 |



火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-89図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その89) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

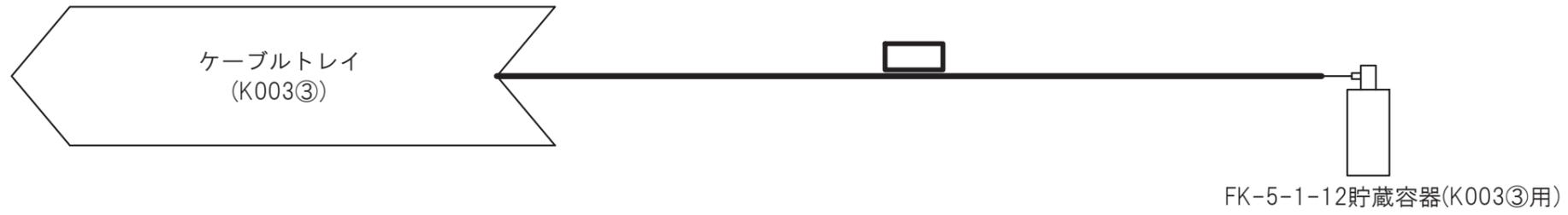


火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-90図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その90) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

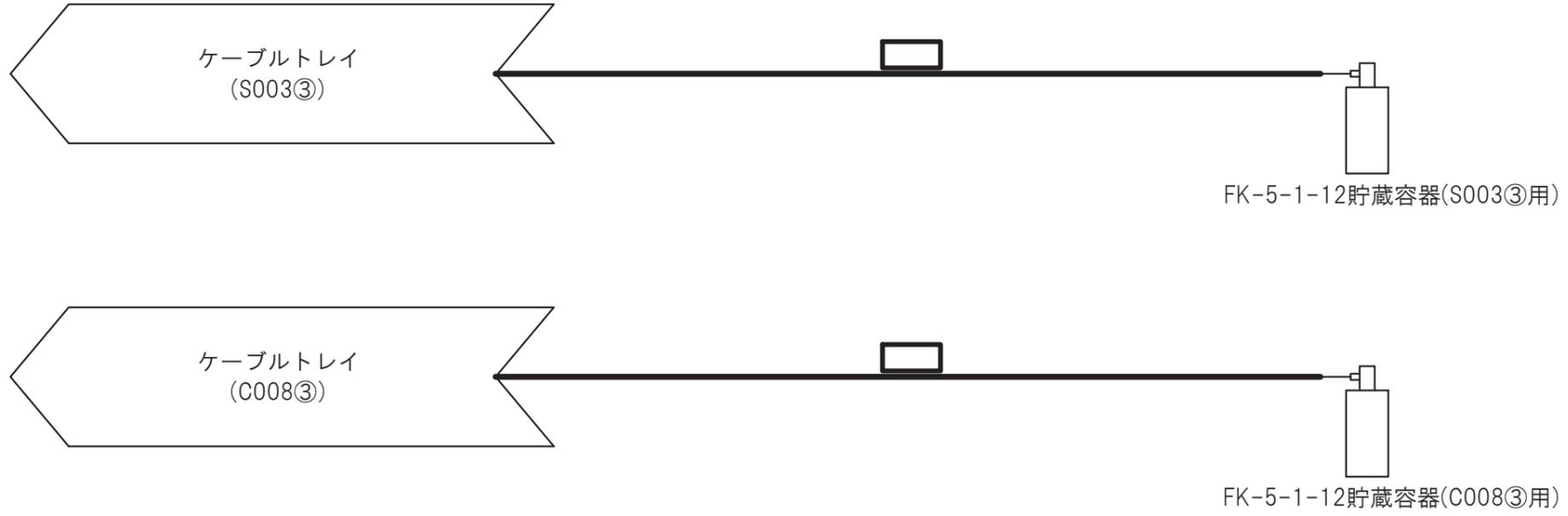
0420



—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|---------------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-91図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その91) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

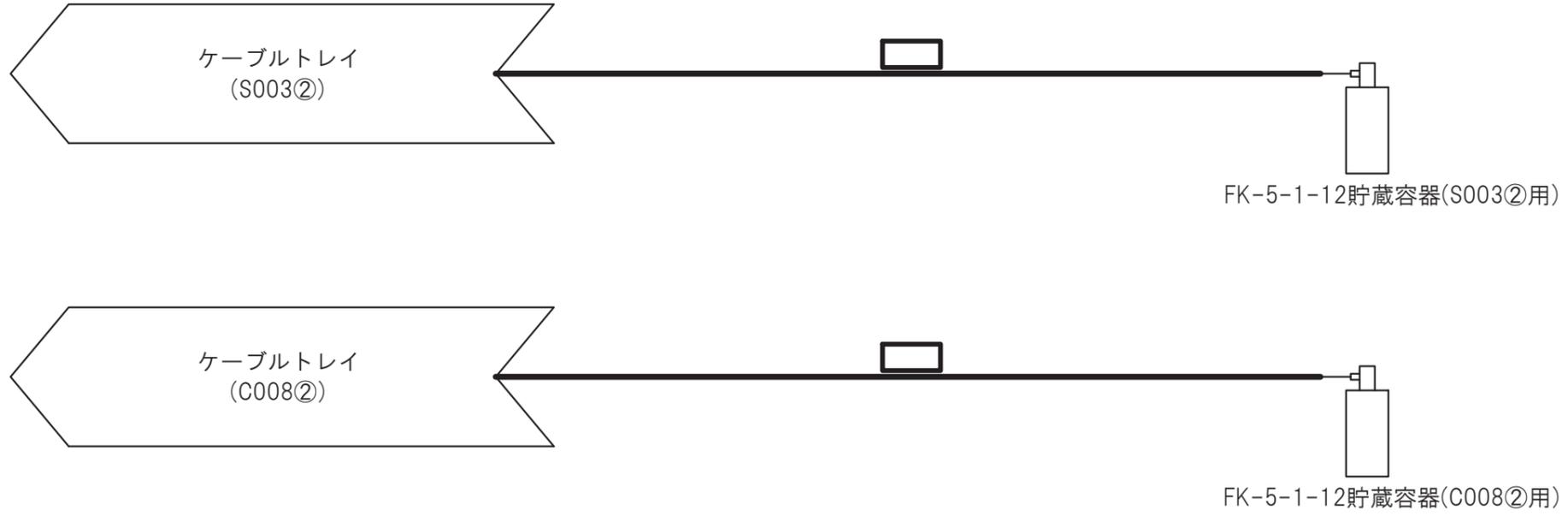



 火災防護設備のうち消火設備
 (ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-92図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その92) |
| 東北電力株式会社 | |

0420

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

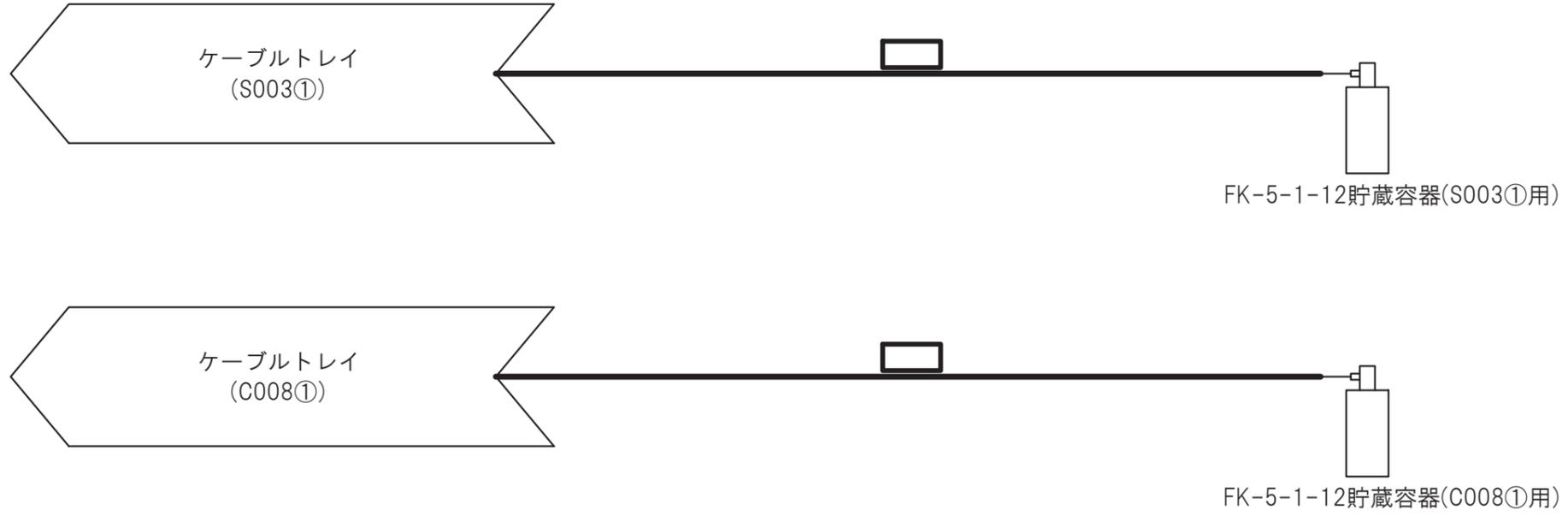


——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

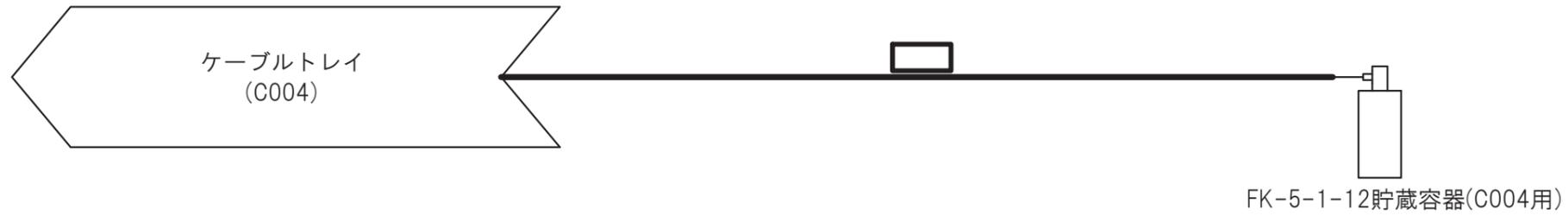
| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-93図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その93) |
| 東北電力株式会社 | |

0420

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-94図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その94) |
| 東北電力株式会社 | |
| | 0420 |

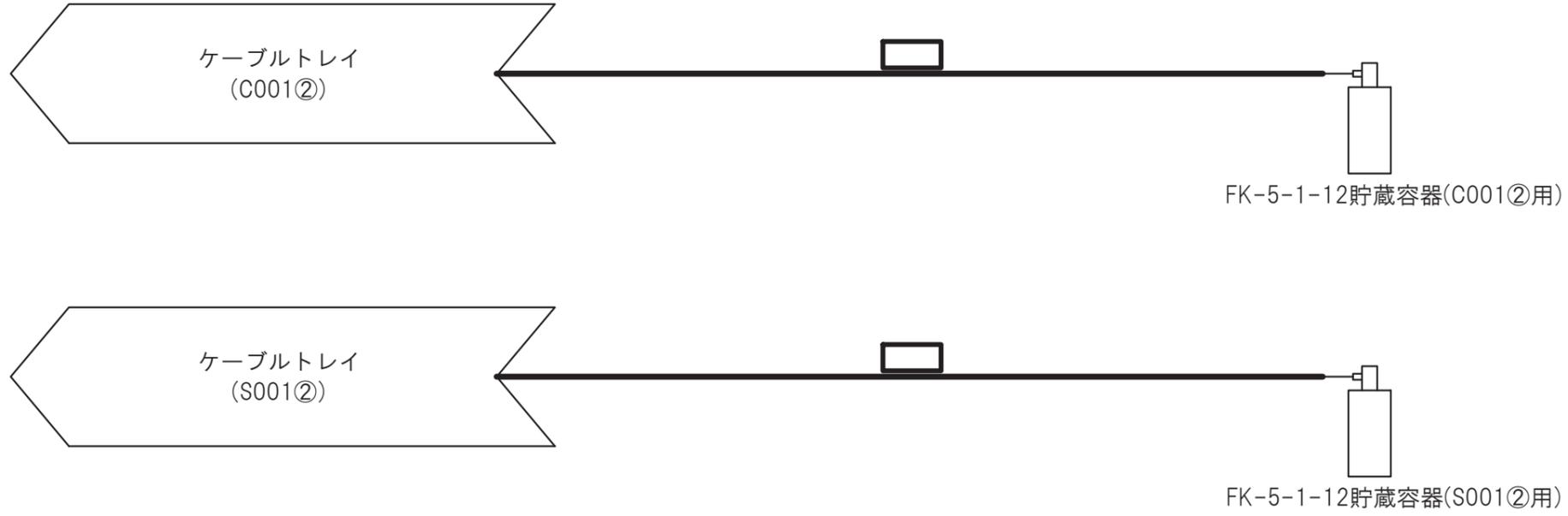


火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-95図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その95) |
| 東北電力株式会社 | |

0420

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-96図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その96) |
| 東北電力株式会社 | |
| | 0420 |

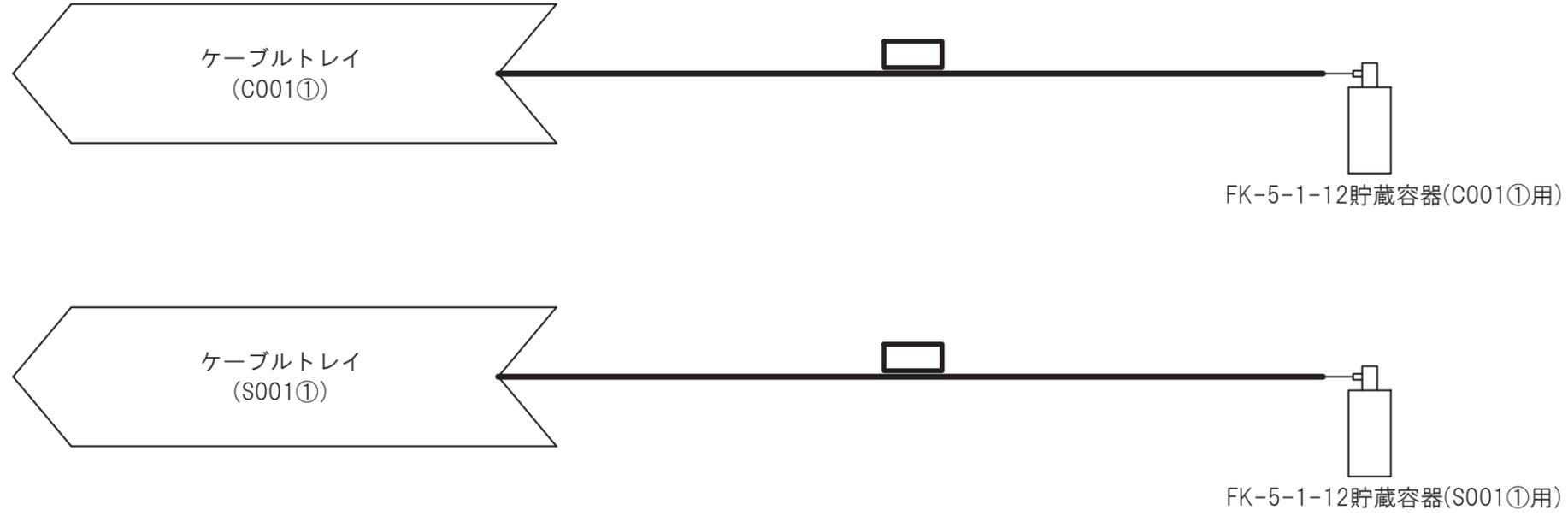


——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-97図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その97) |
| 東北電力株式会社 | |

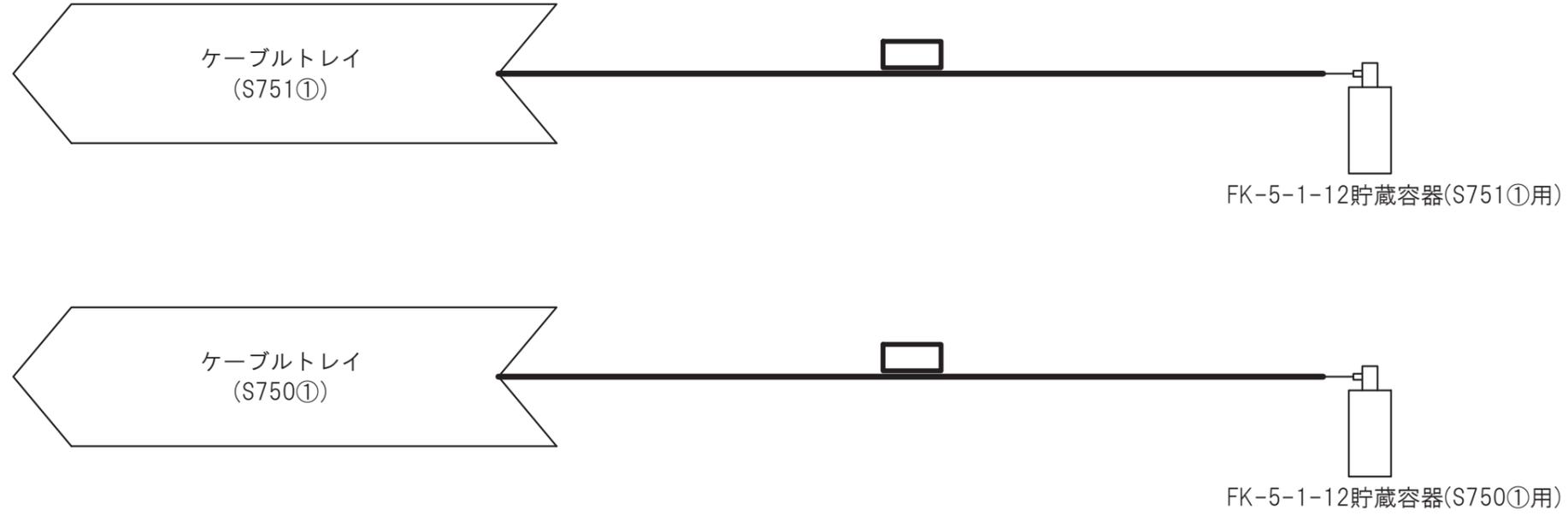
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



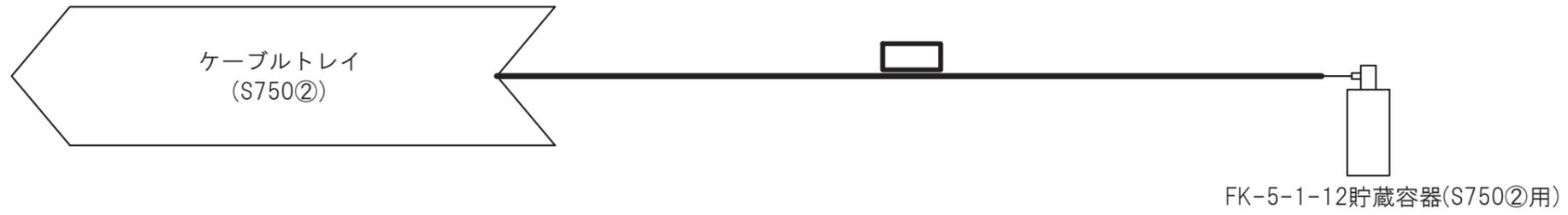
—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-98図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その98) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-99図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その99) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

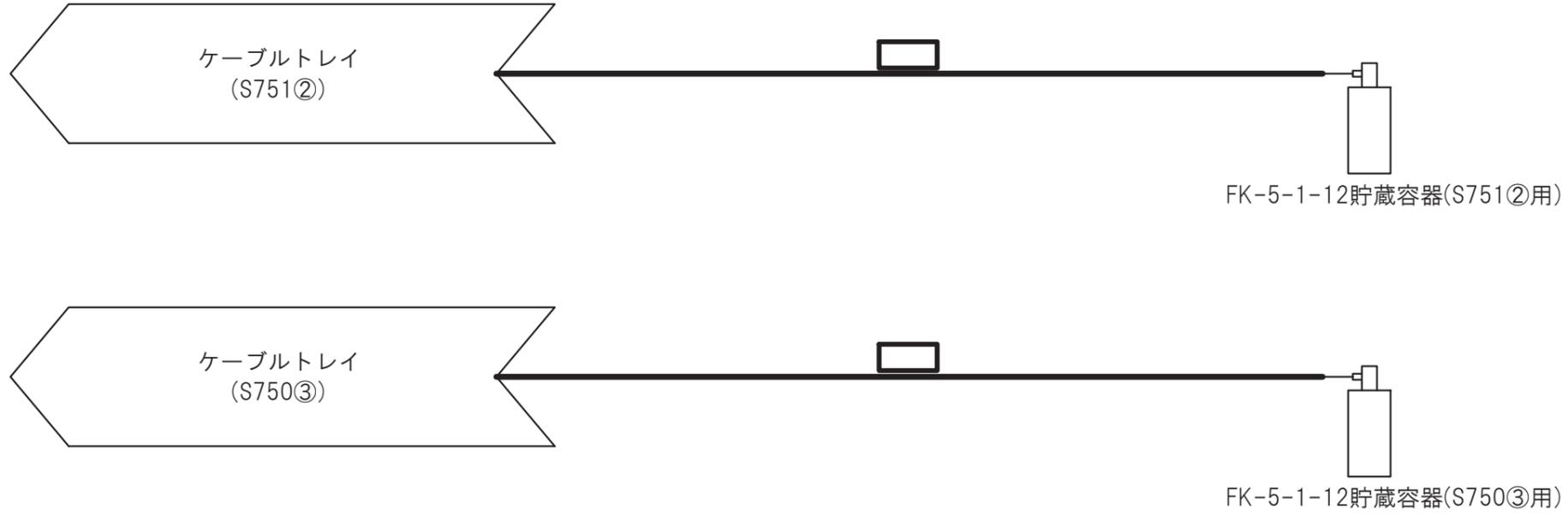


—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|---------------|--------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-100図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その100) |
| 東北電力株式会社 | |

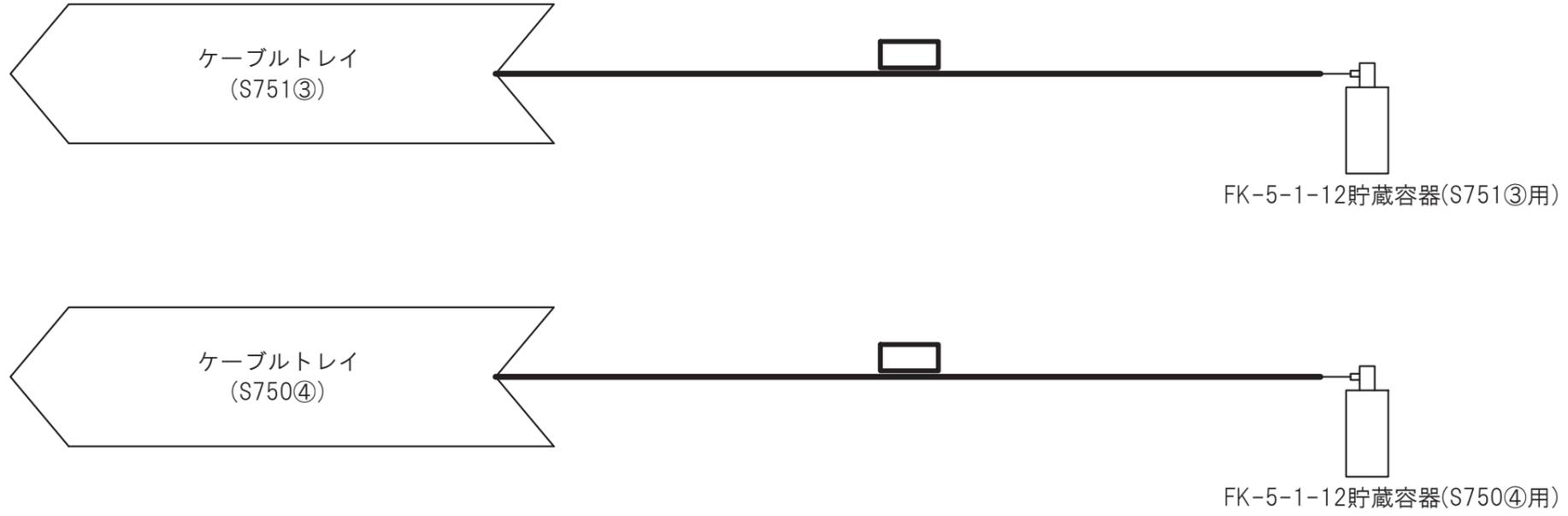
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



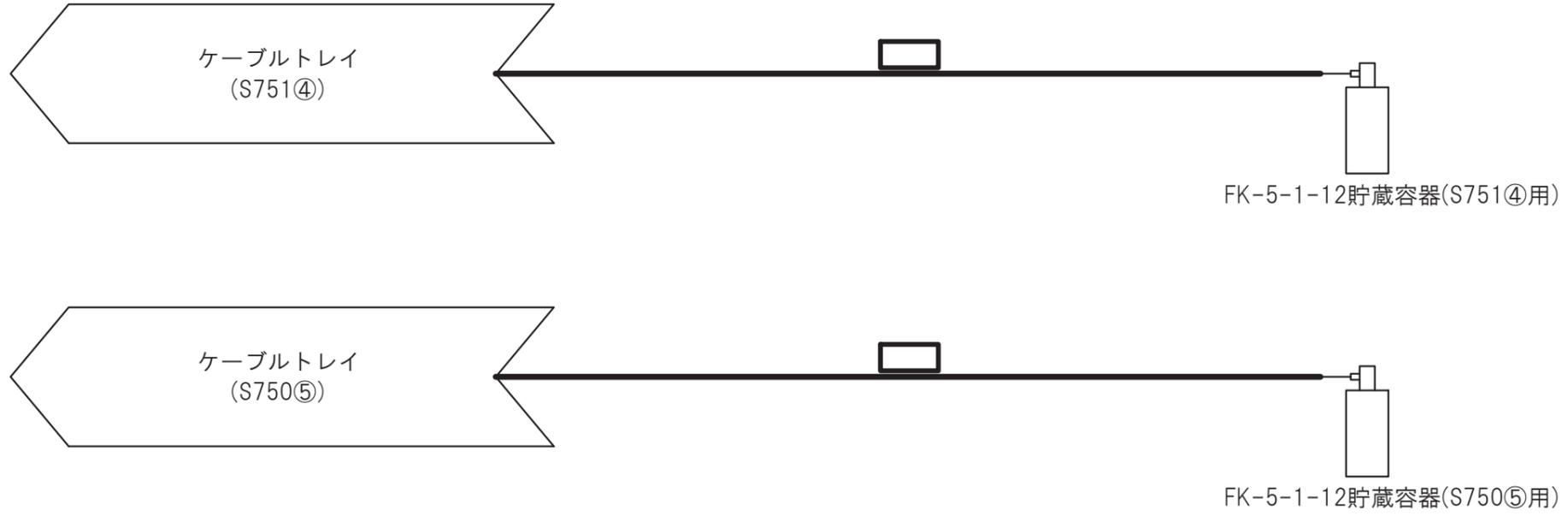
—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|--------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-101図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その101) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|--------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-102図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その102) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

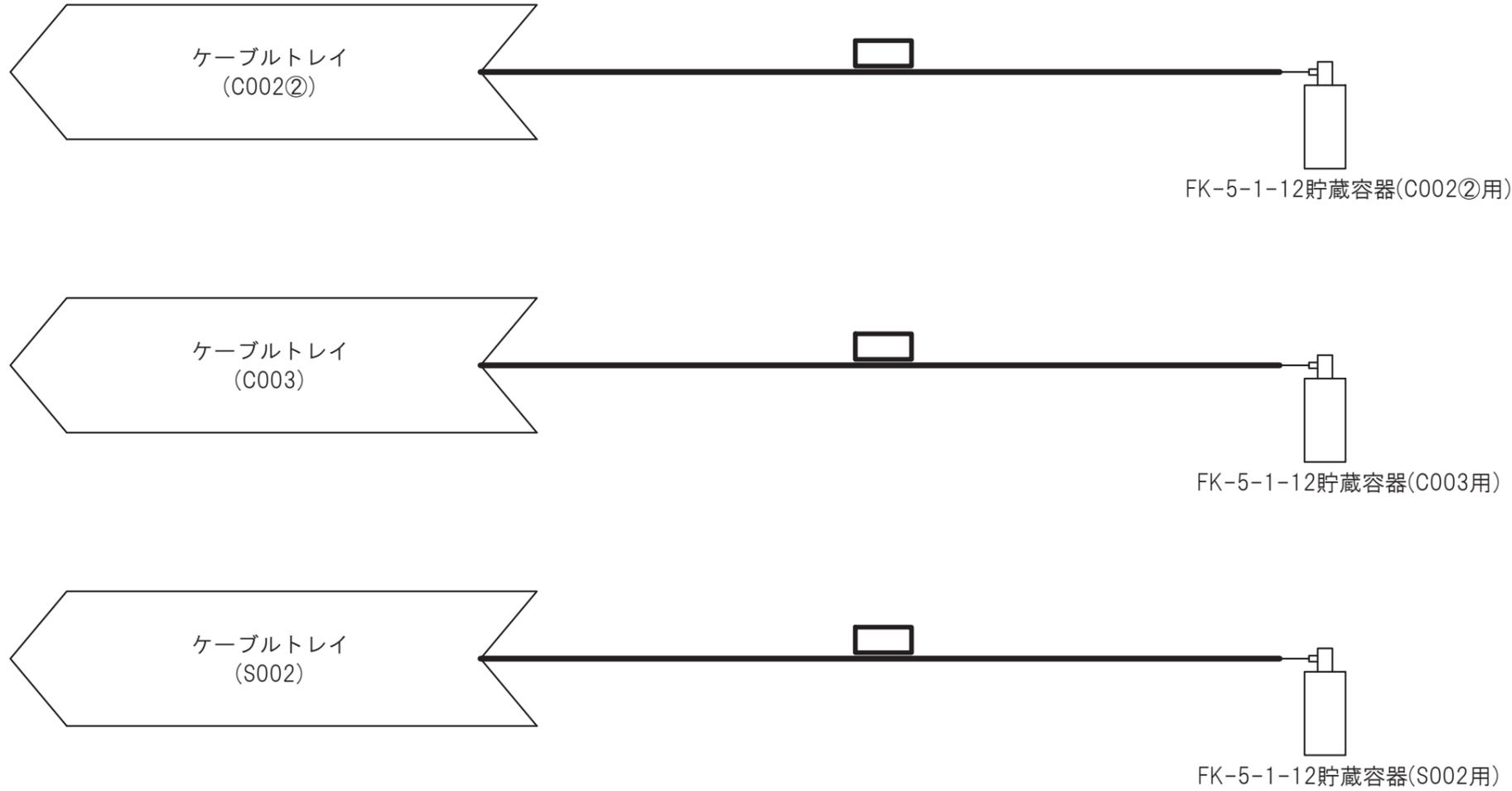


——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|--------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-103図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その103) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

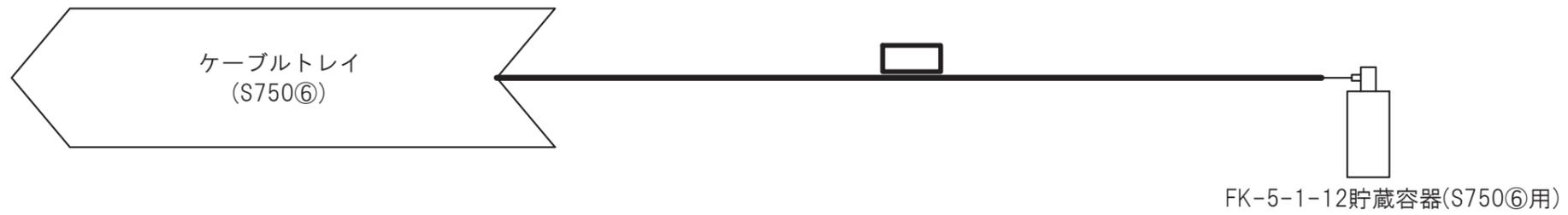
0420



—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|--------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-104図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その104) |
| 東北電力株式会社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

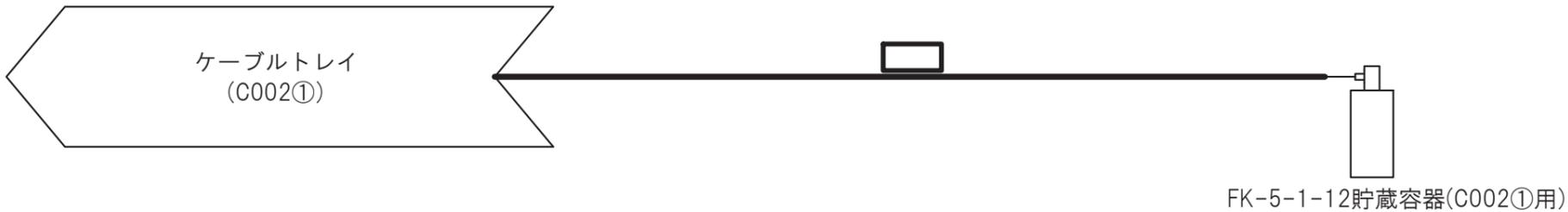


火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|---------------|--------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-105図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その105) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

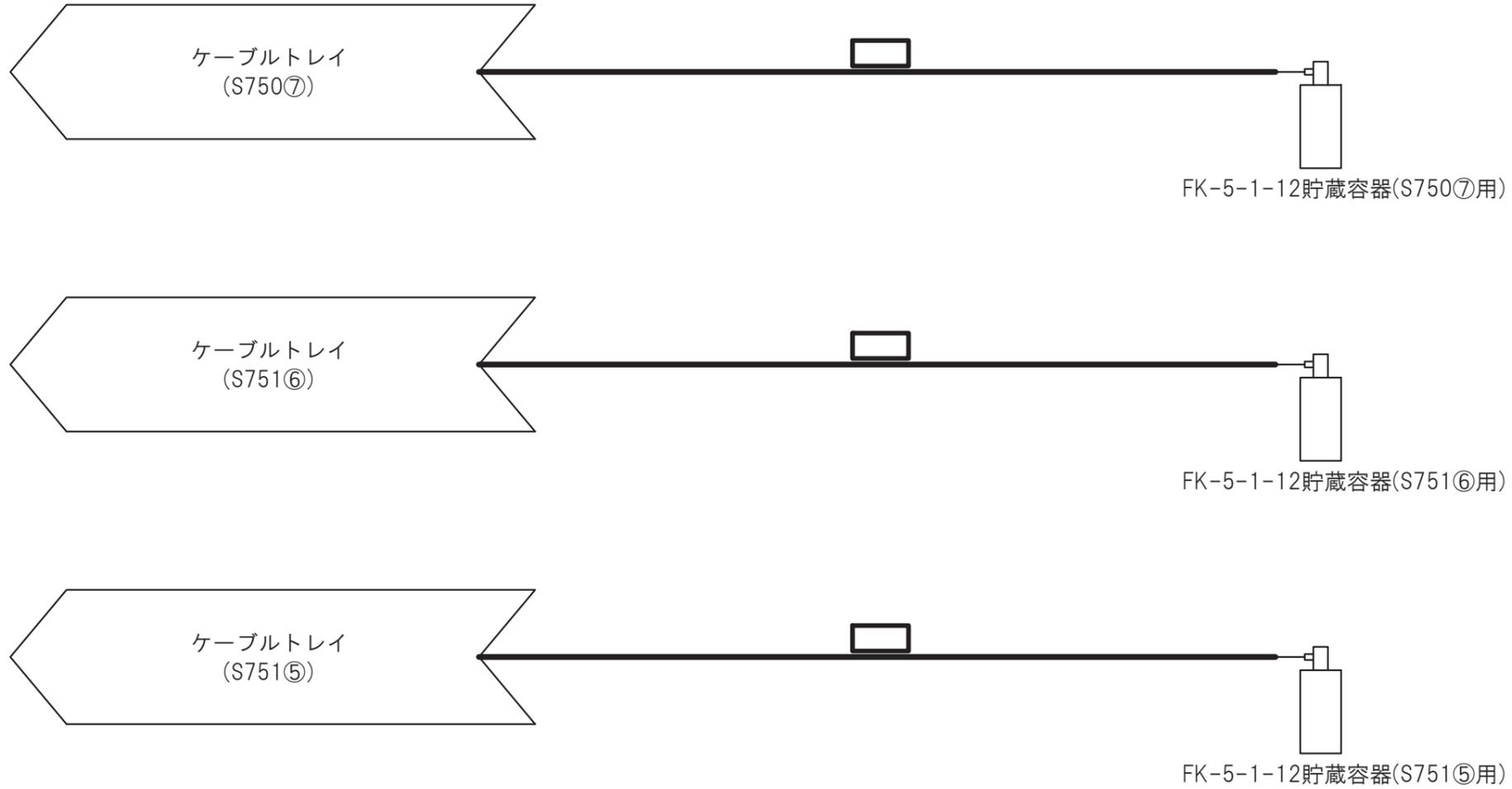
0420



——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

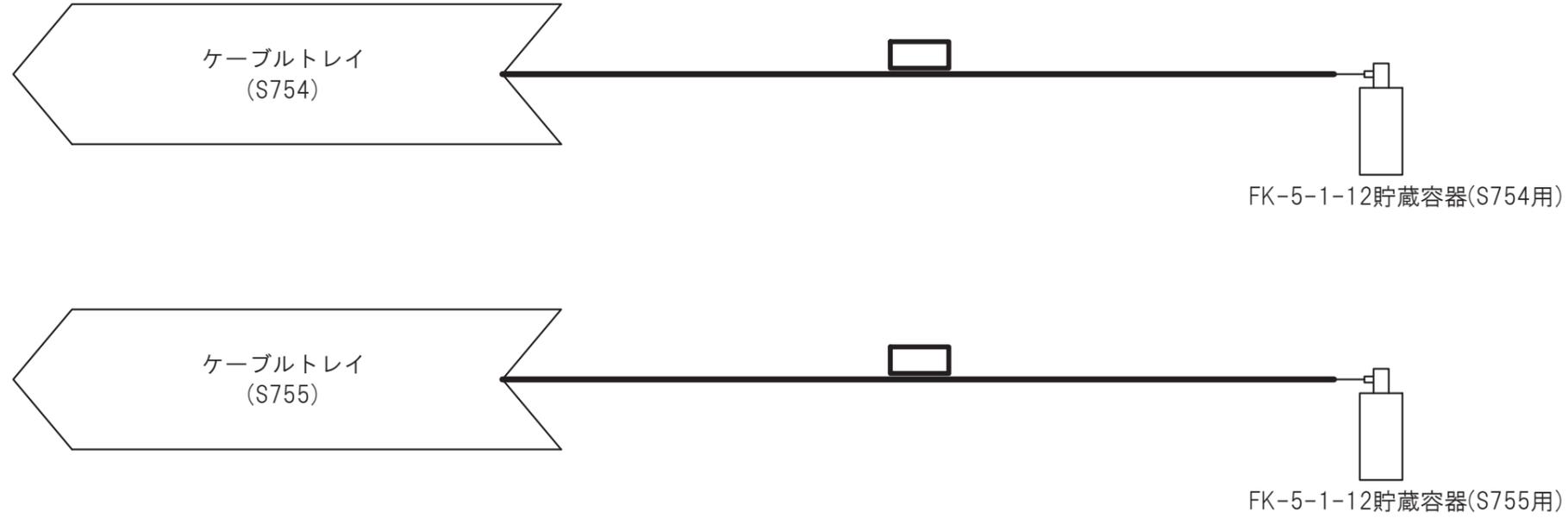
| | |
|---------------|--------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-106図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その106) |
| 東北電力株式会社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



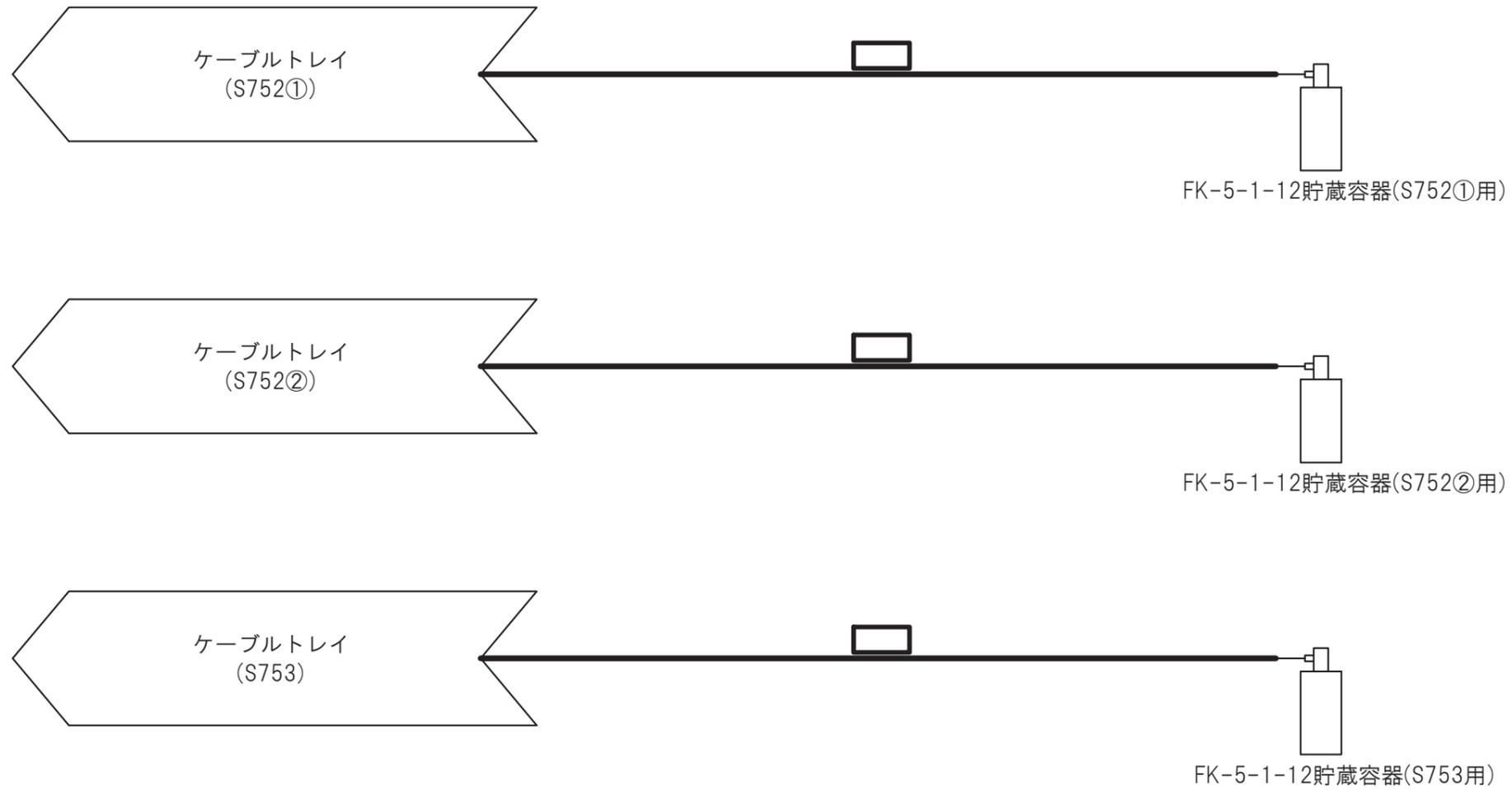
—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|---------------|--------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-107図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その107) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



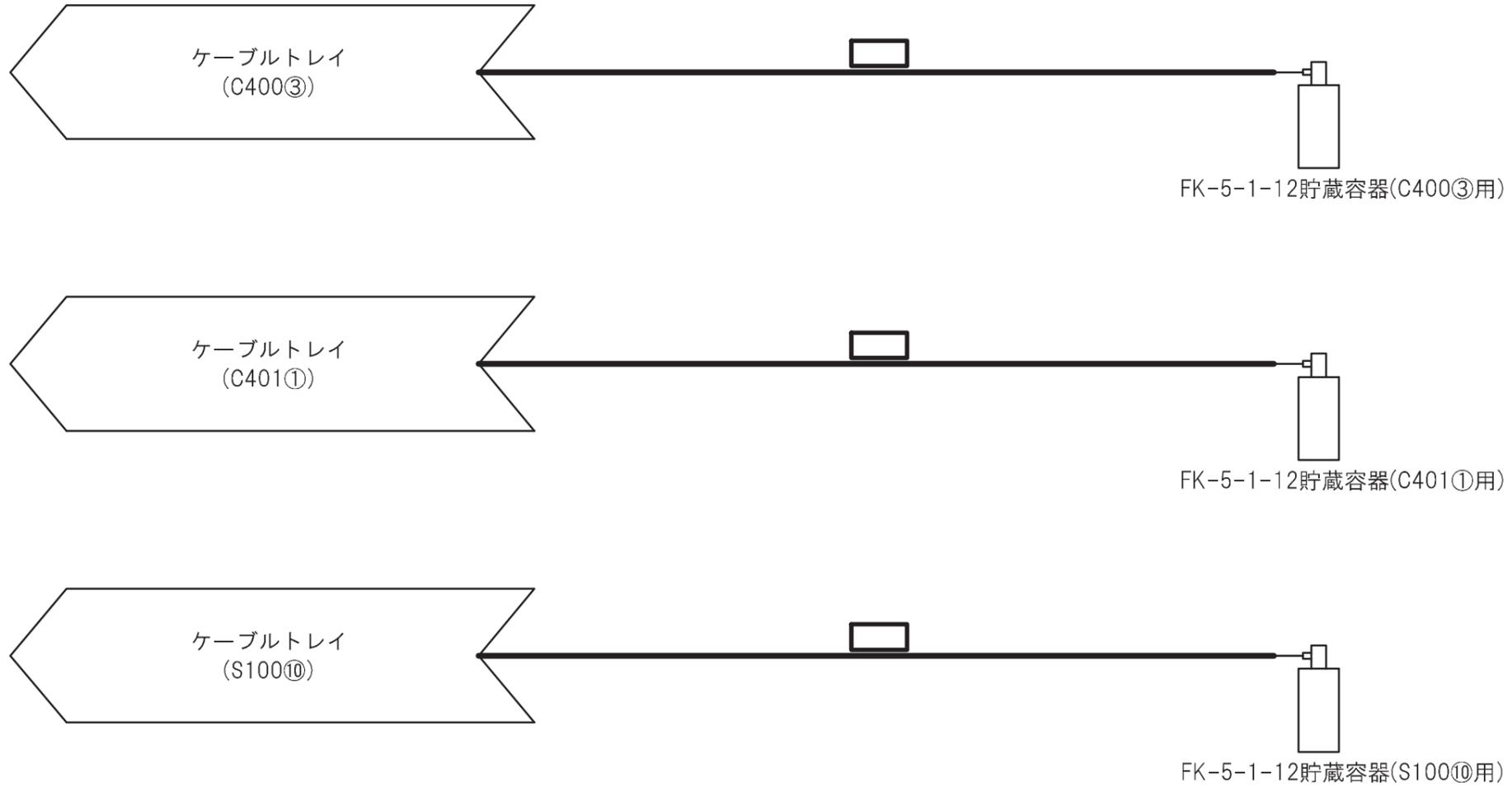
——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|--------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-108図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その108) |
| 東北電力株式会社 | |



—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|---------------|--------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-109図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その109) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

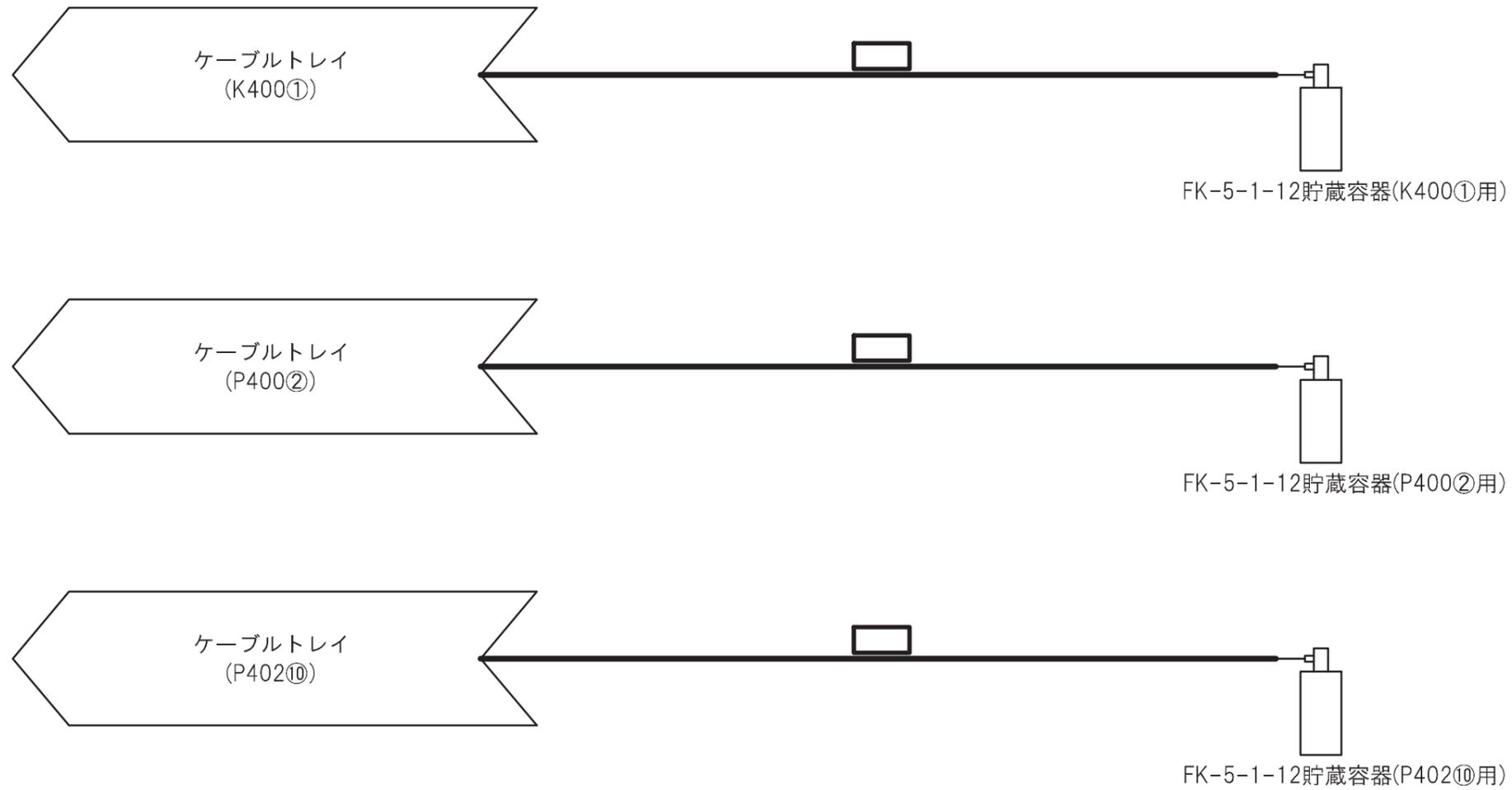


—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|--------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-110図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その110) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0930

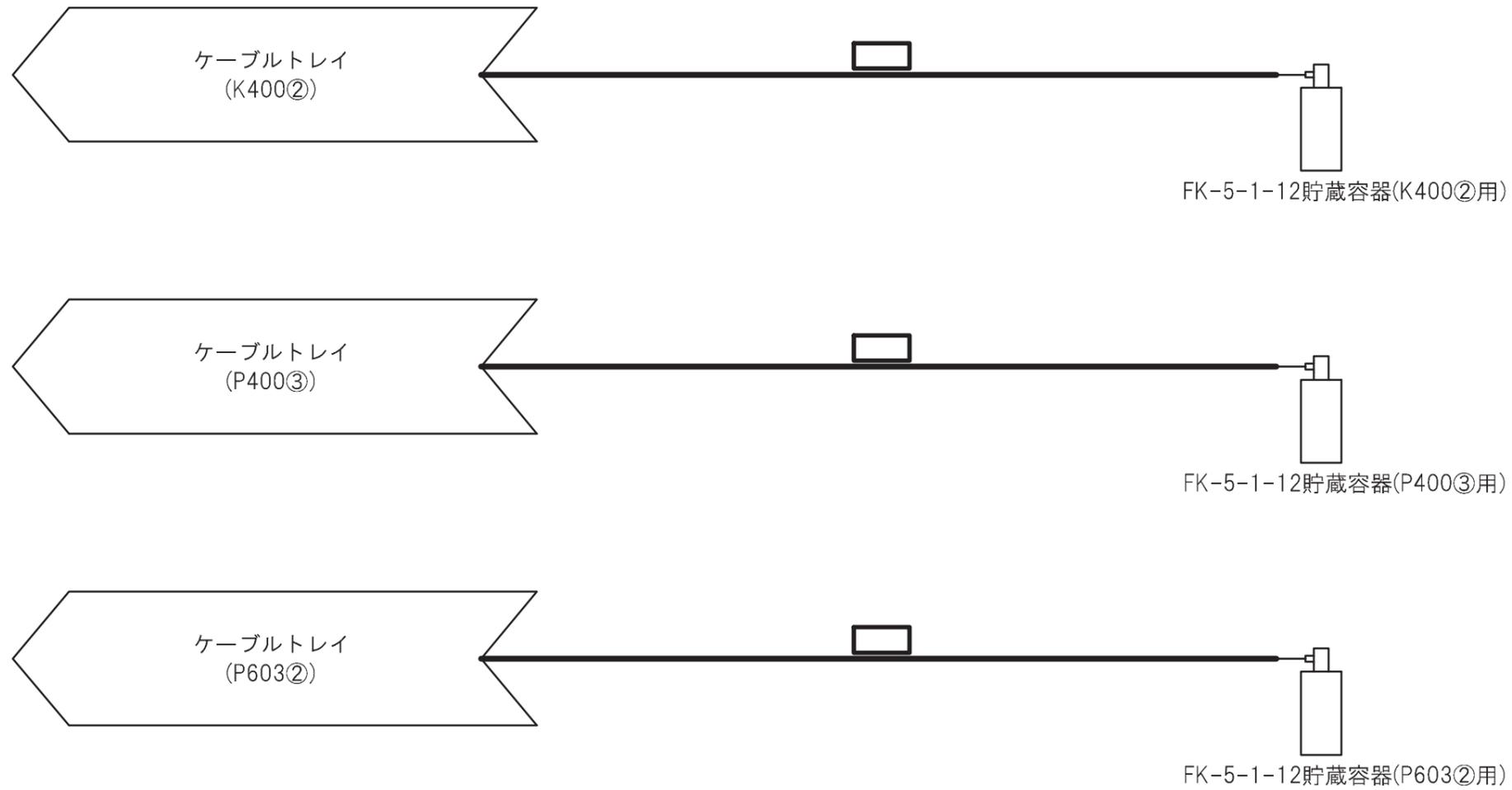


——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|--------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-111図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その111) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0930

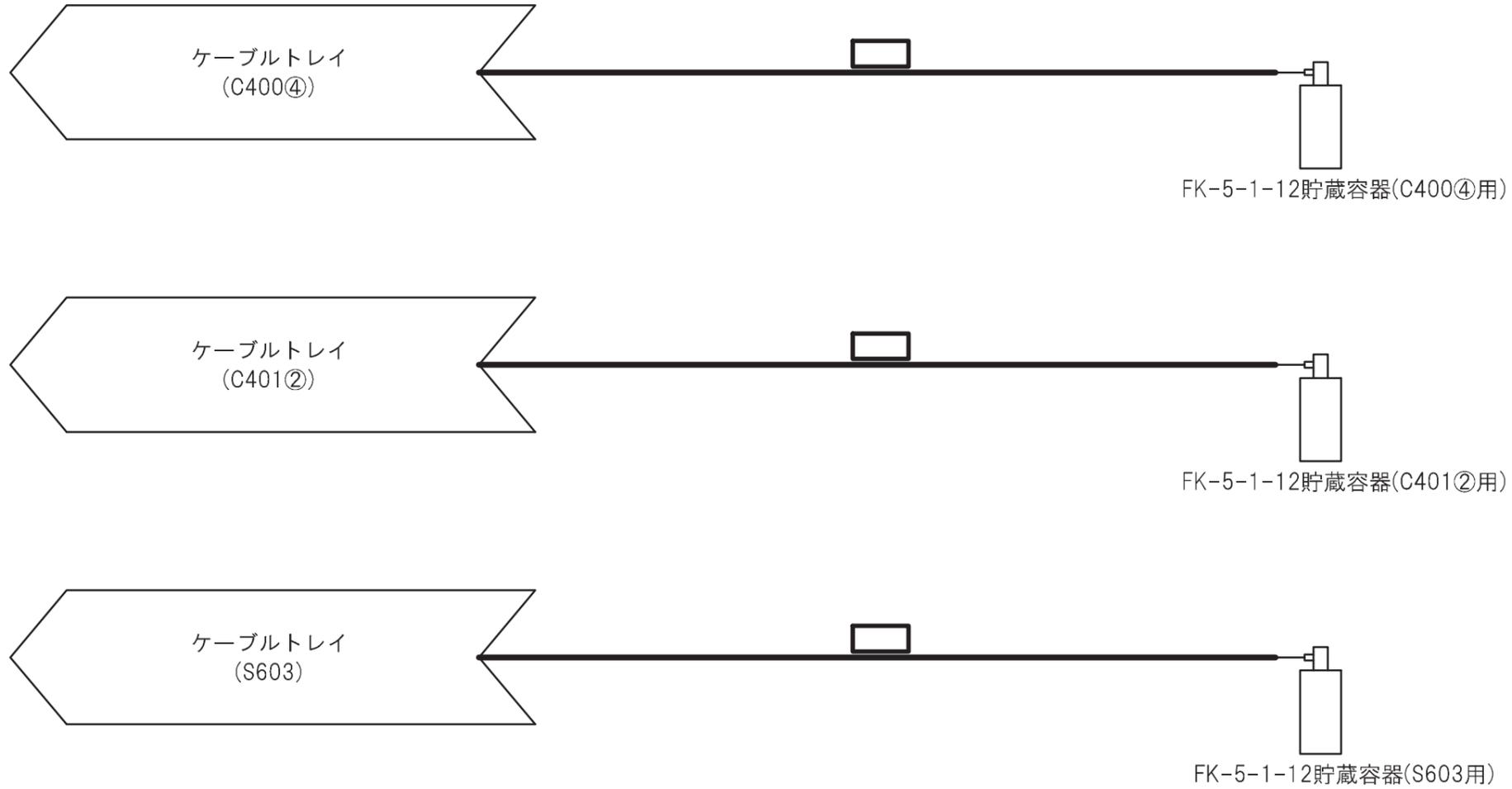


—— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|--------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-112図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その112) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0930

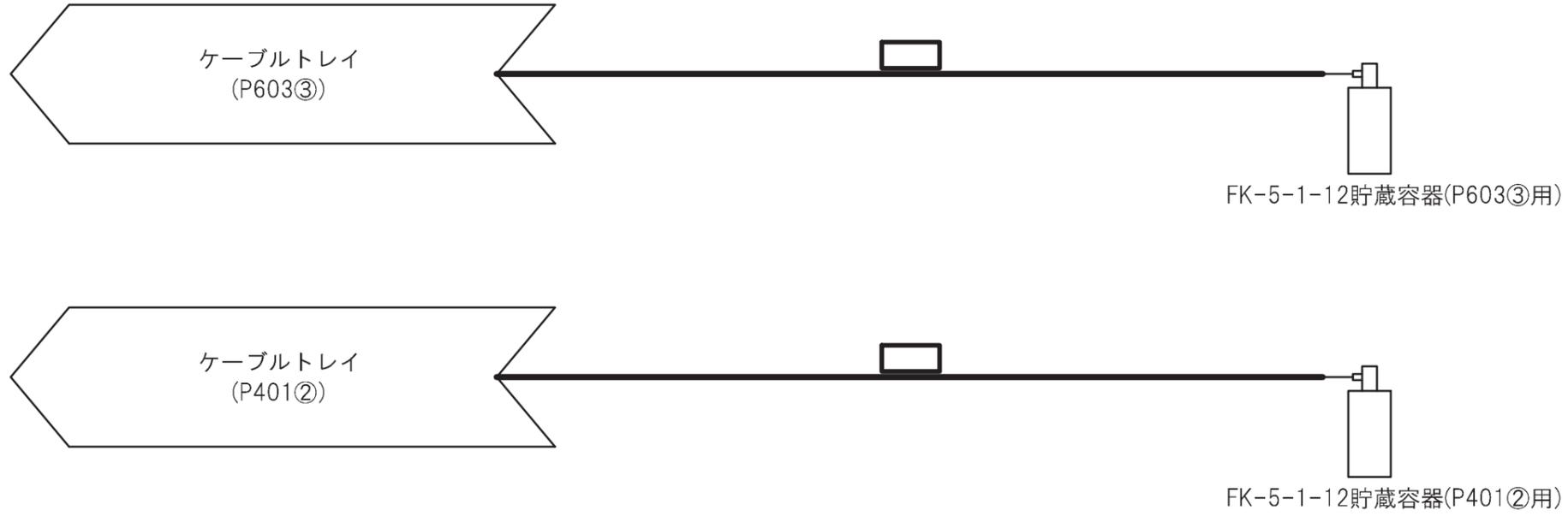


——— 火災防護設備のうち消火設備
(ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|--------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-113図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その113) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0930



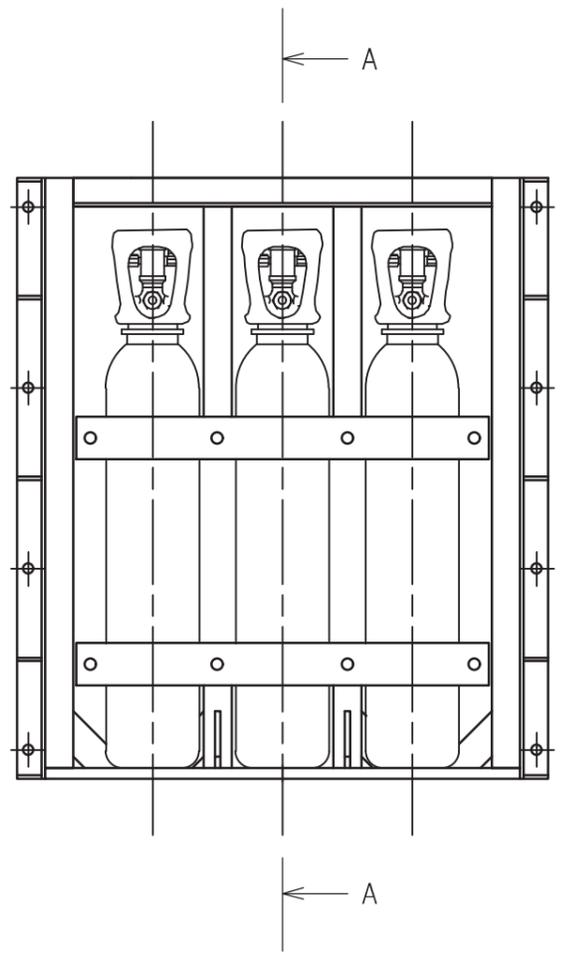

 火災防護設備のうち消火設備
 (ケーブルトレイ消火系)(当該設備の申請範囲)

| | |
|----------|--------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-1-114図 |
| 女川原子力発電所 | 第2号機 |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 系統図(その114) |
| 東北電力株式会社 | |

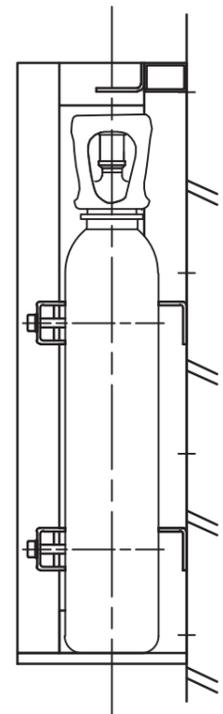
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0930

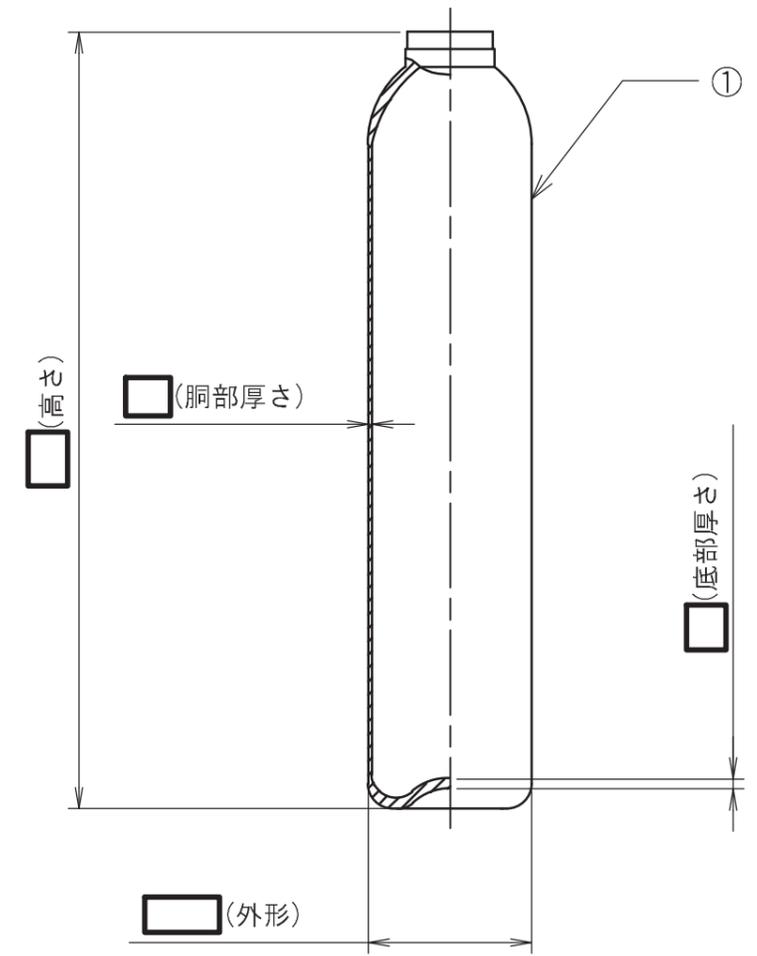
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



A-A矢視図



FK-5-1-12貯蔵容器

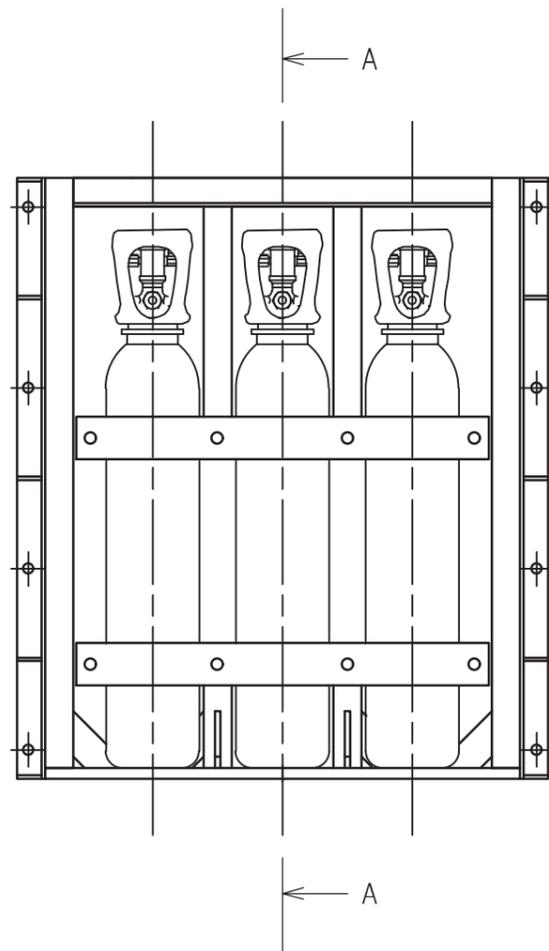
注1：寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

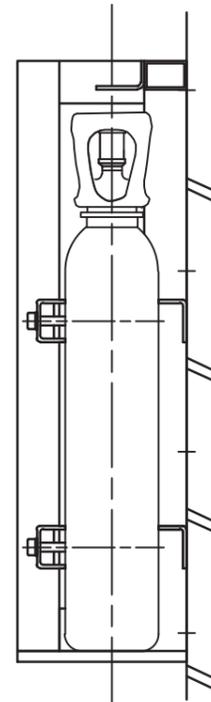
| | |
|---------------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-1図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (P800用,P401①, P404,P801,P803用及びP802用) |
| 東 北 電 力 株 式 有 限 公 司 | |
| | 0930 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

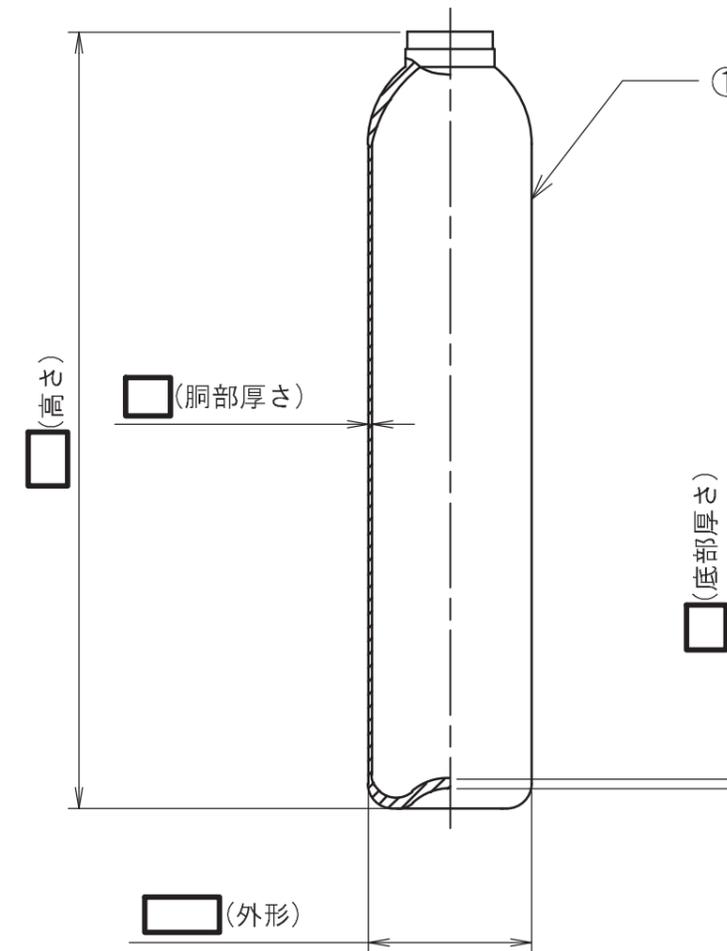
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



A-A矢視図

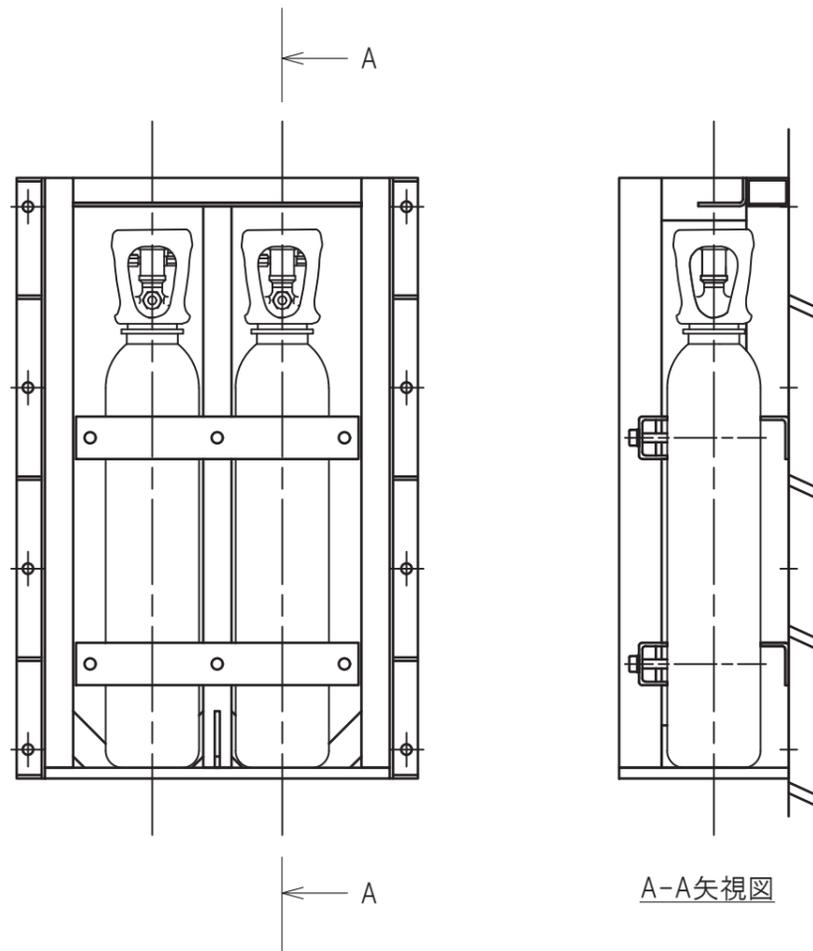


FK-5-1-12貯蔵容器

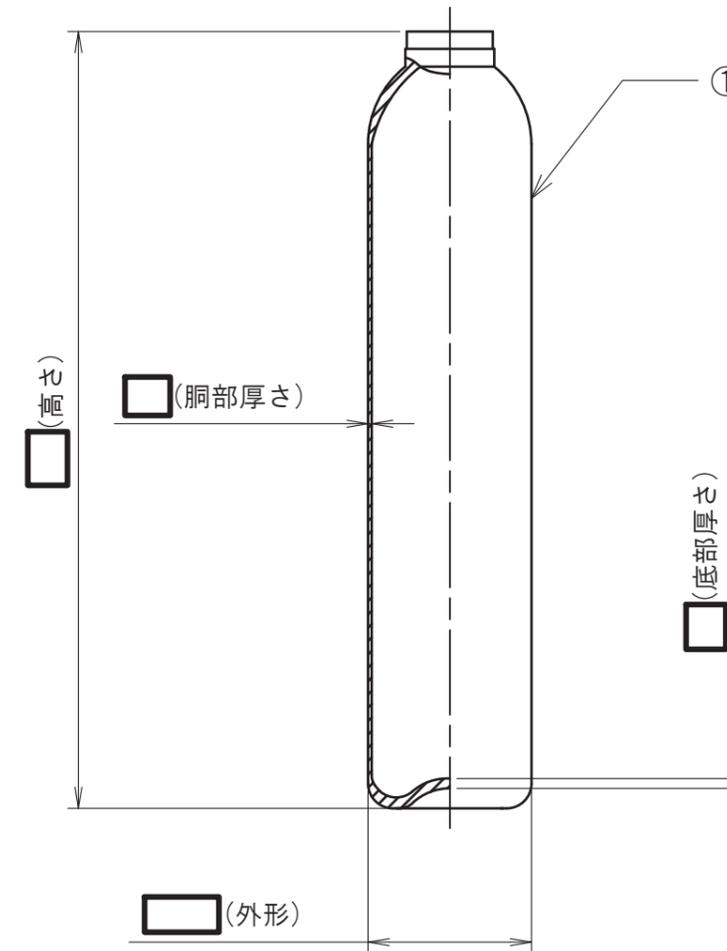
注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

| | |
|-----------------|-------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-2図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 | ケーブルトレイ消火系 構造図 |
| 称 | FK-5-1-12貯蔵容器 |
| | (S100②用,C400②用及びP400①用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0930 |

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



FK-5-1-12貯蔵容器

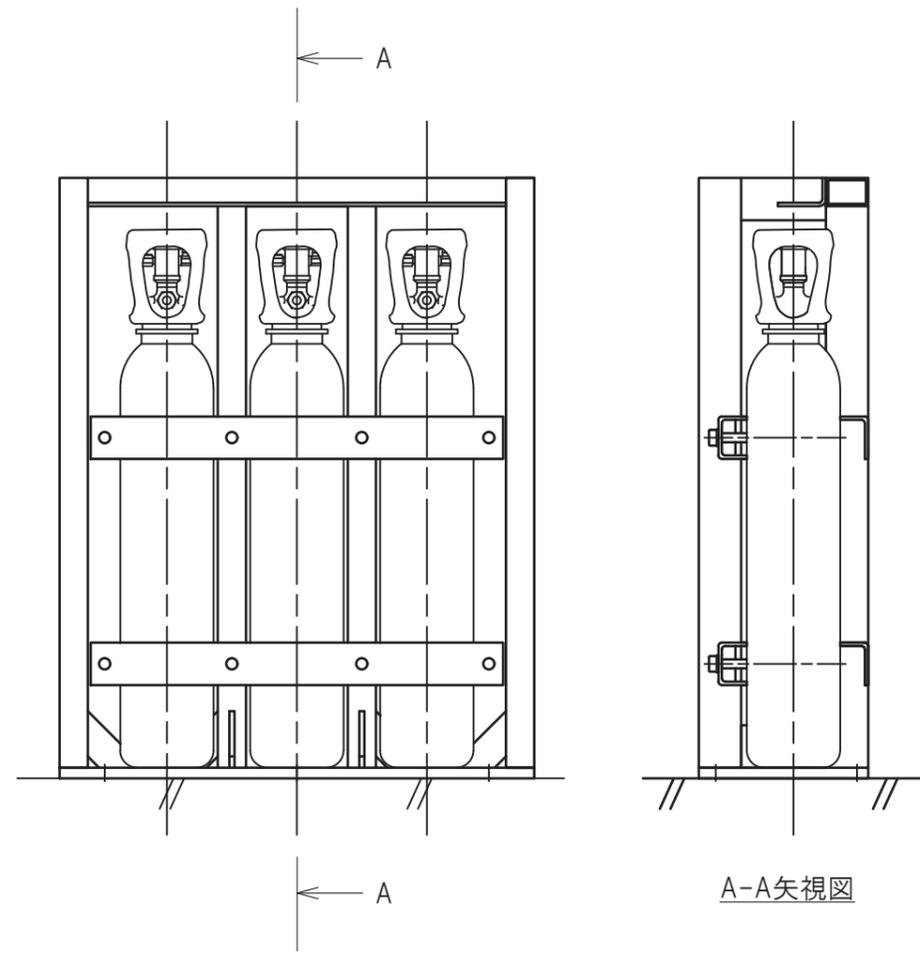
注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-3図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S100①用及びC400①用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |

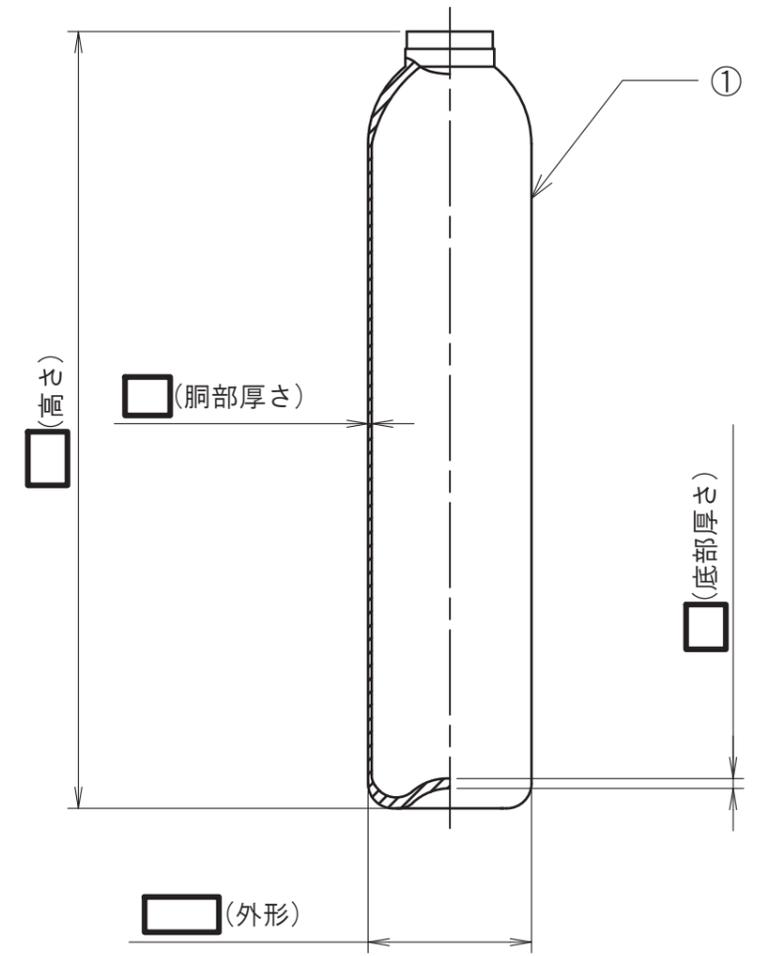
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



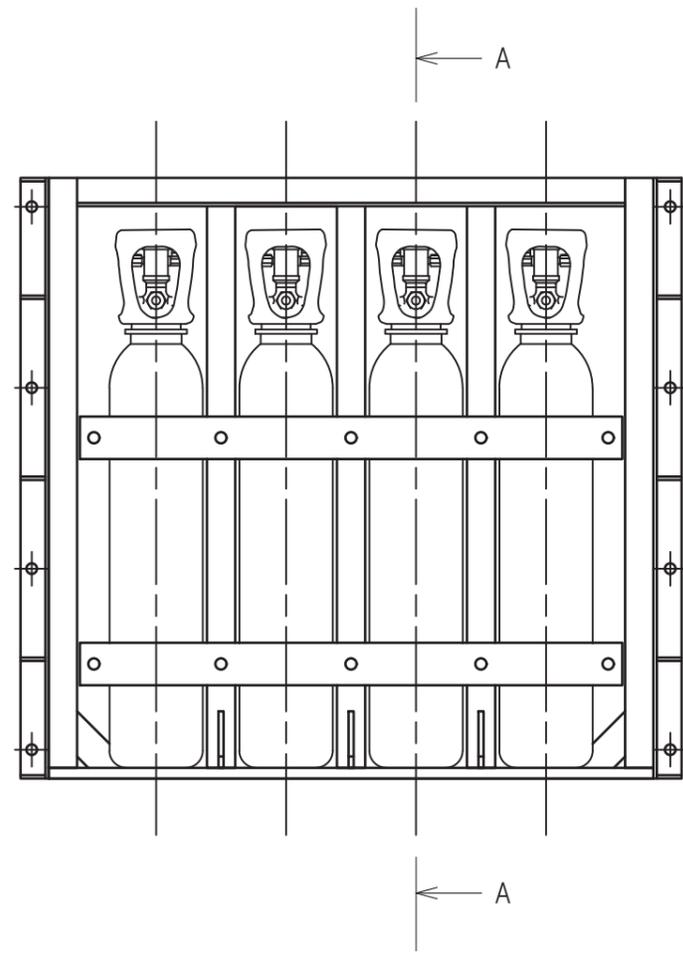
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

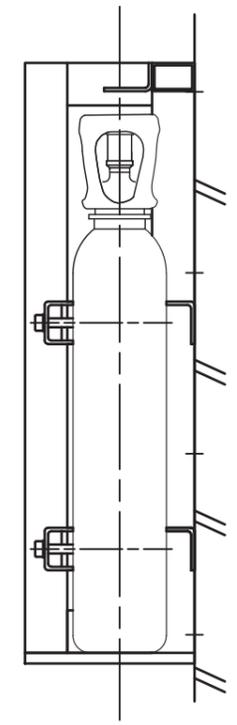
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-4図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S605用,C608用及びP607用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

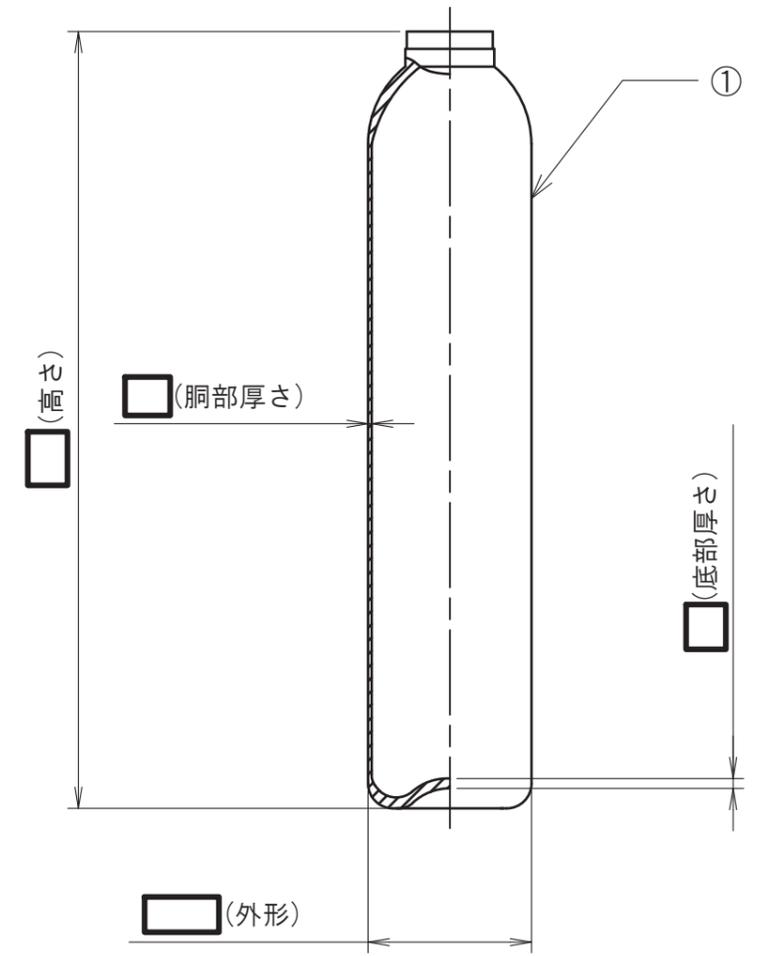
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 4 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



4本ユニット設置



A-A矢視図



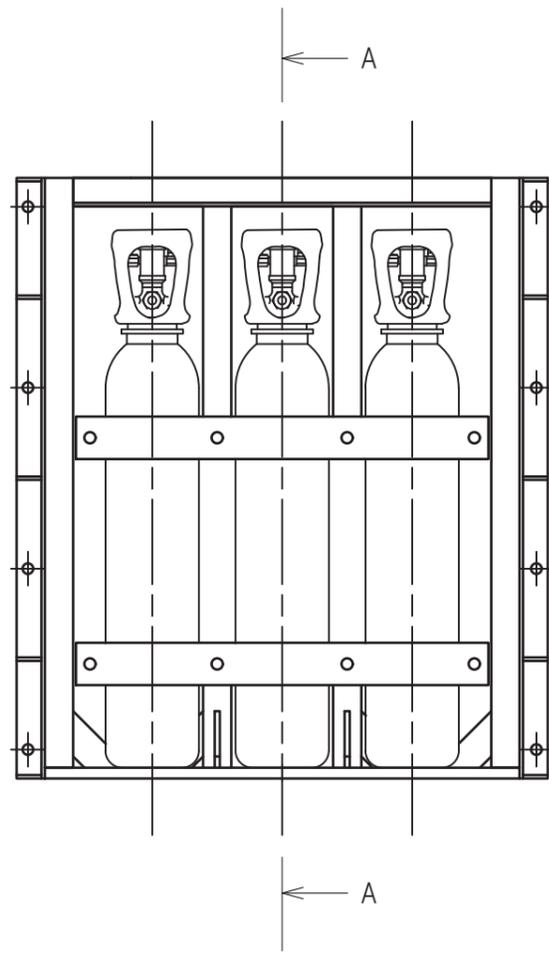
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

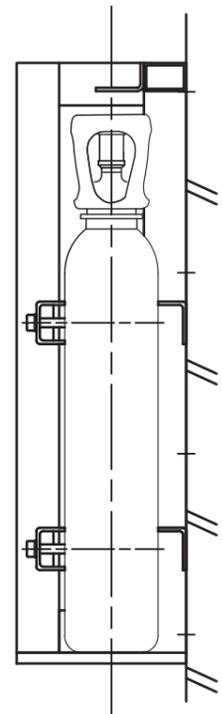
| | |
|---------------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-5図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (C300②用,S300②用,S300③用及びC300③用) |
| 東 北 電 力 株 式 有 限 公 司 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

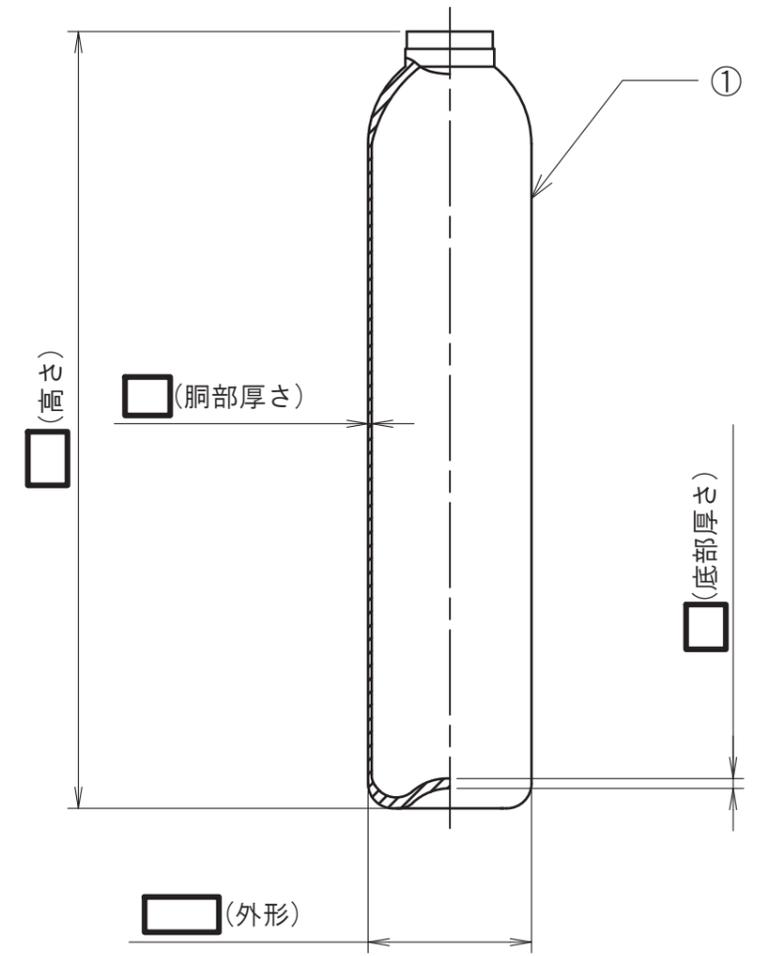
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



A-A矢視図



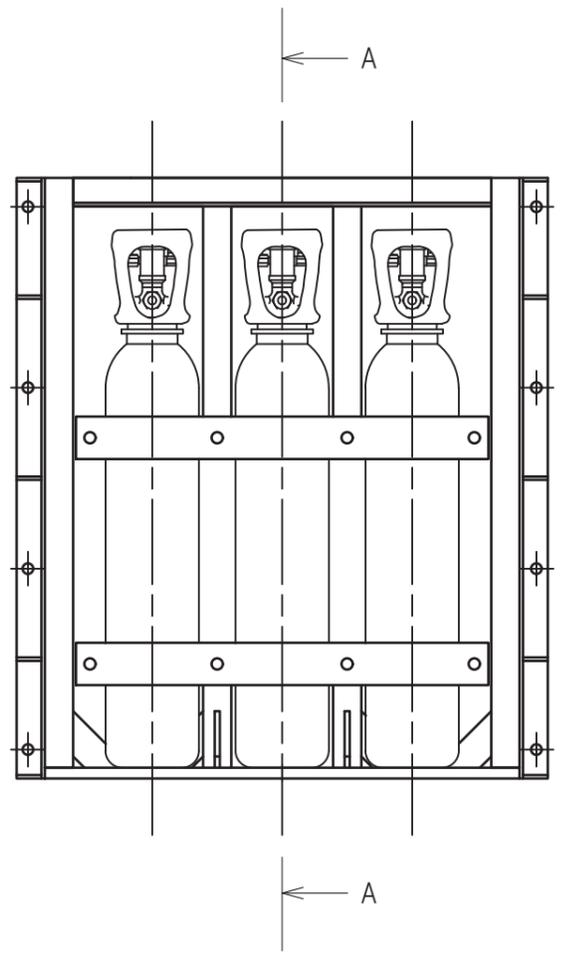
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

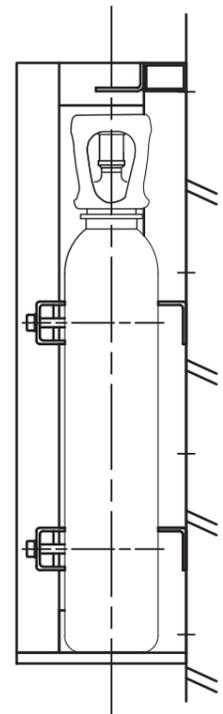
| | |
|---------------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-6図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器(P403⑧,P101⑥ 用,C403⑧,C100⑧用及びS101④用) |
| 東 北 電 力 株 式 有 限 公 司 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

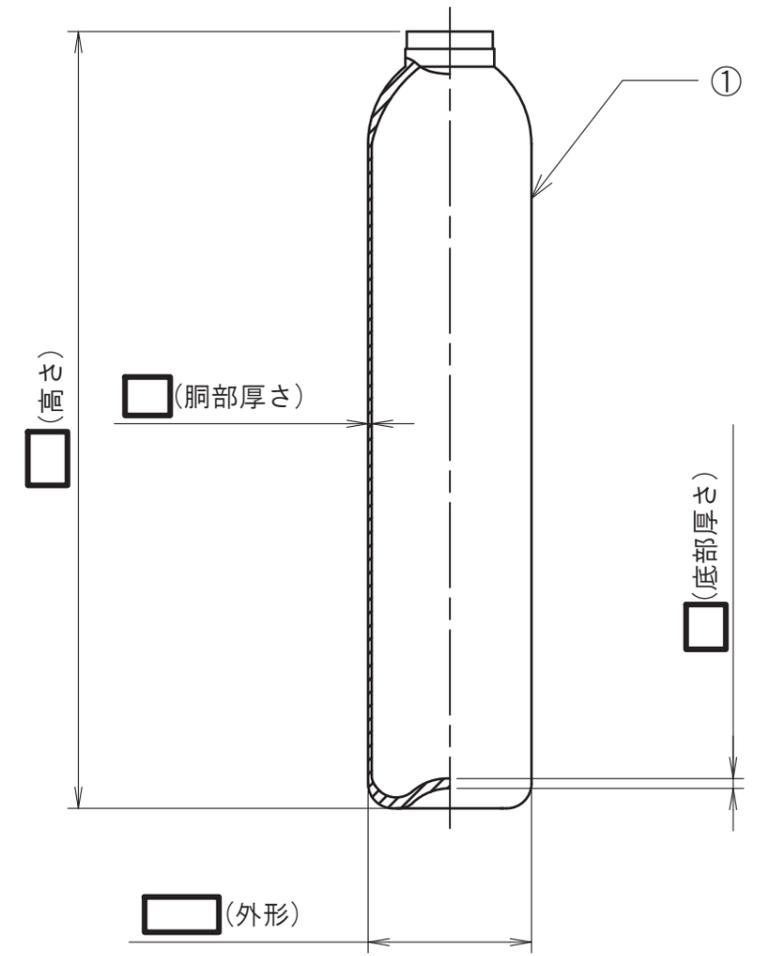
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



A-A矢視図



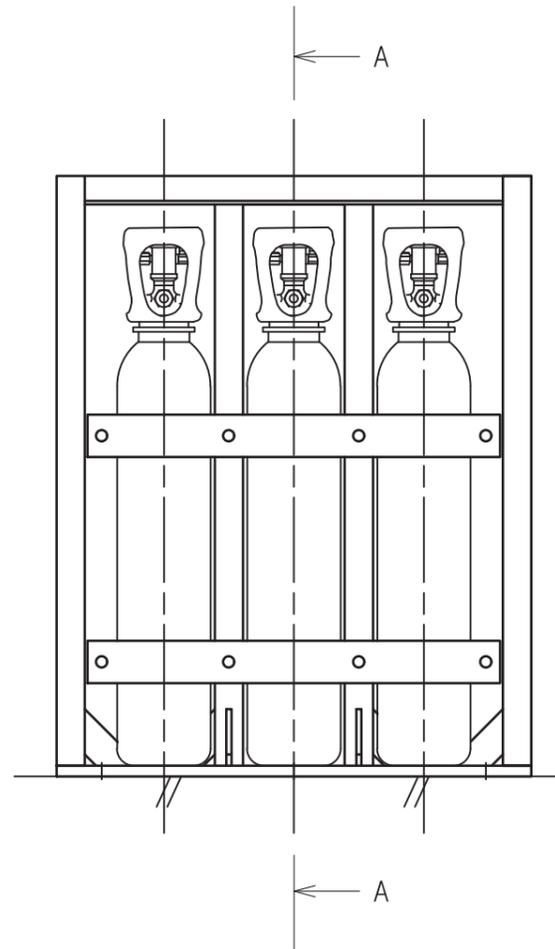
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

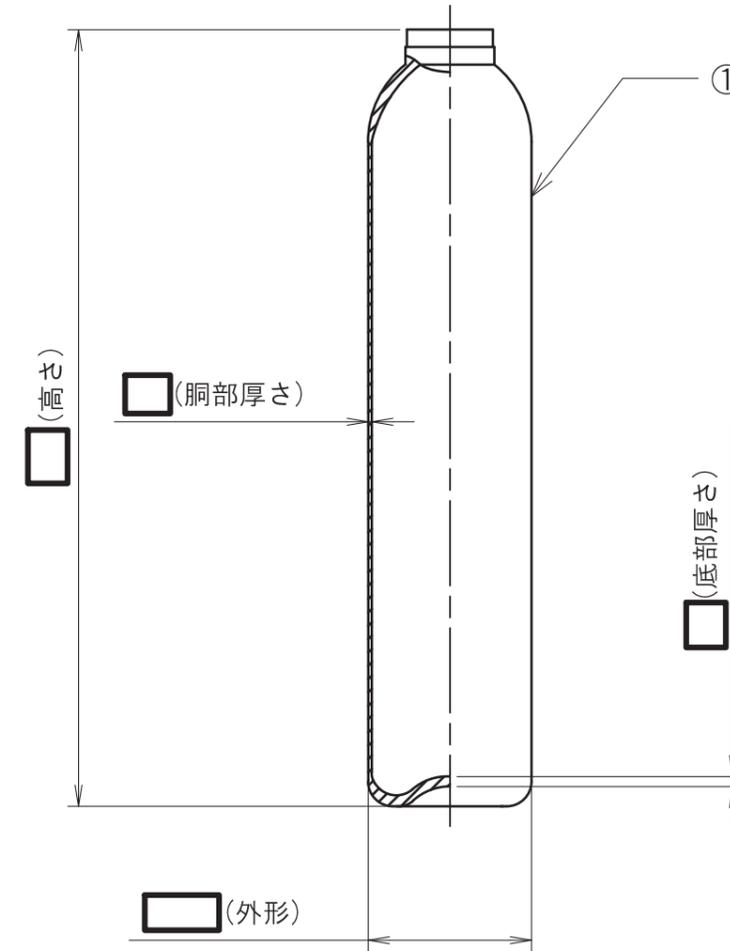
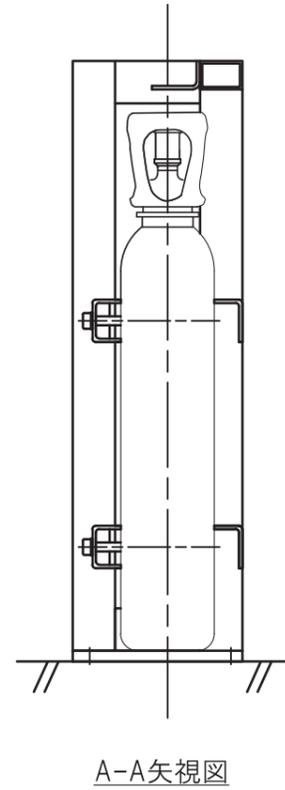
| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-7図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器(S101③用,C403 ⑦,C100⑦用及びP403⑦,P101⑤用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置

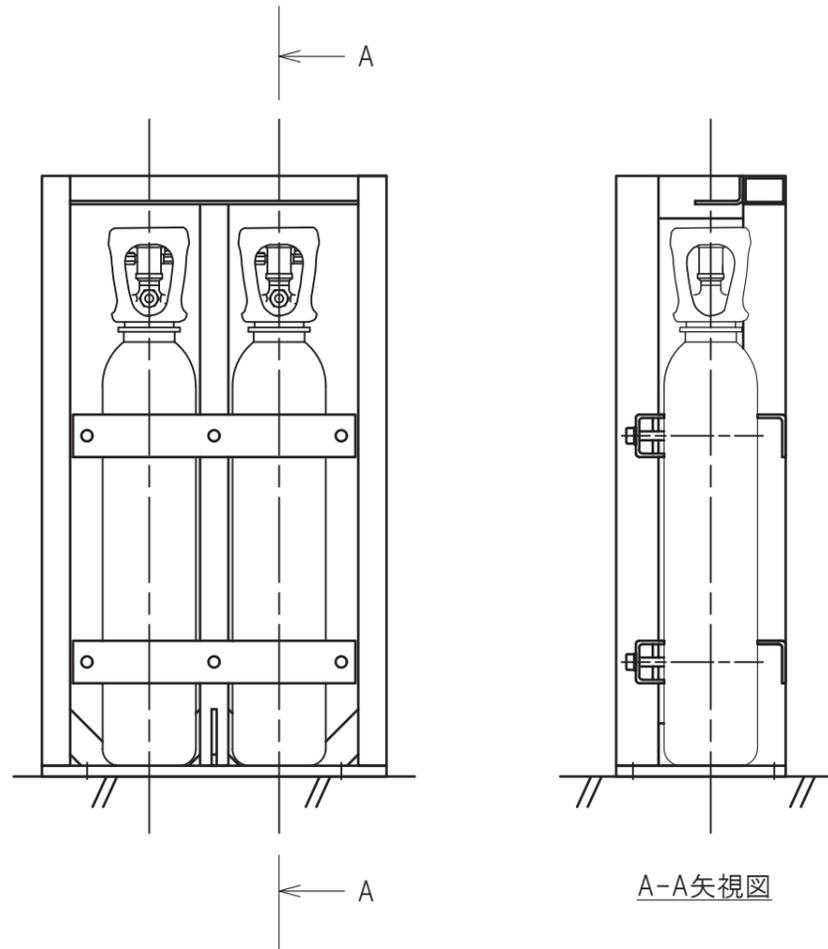


FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

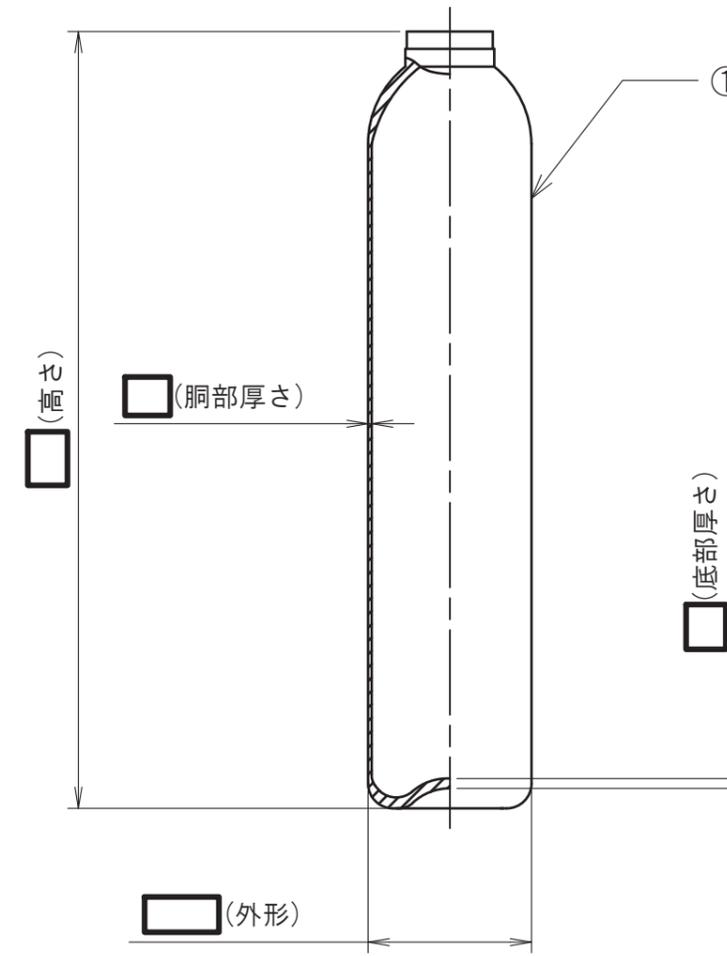
| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-8図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 | ケーブルトレイ消火系 構造図 |
| 称 | FK-5-1-12貯蔵容器(P101⑦,C403⑨,C100⑨用,P101⑧,C403⑩,C100⑩用及びS101⑤用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| 1618 | |

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置

A-A矢視図



FK-5-1-12貯蔵容器

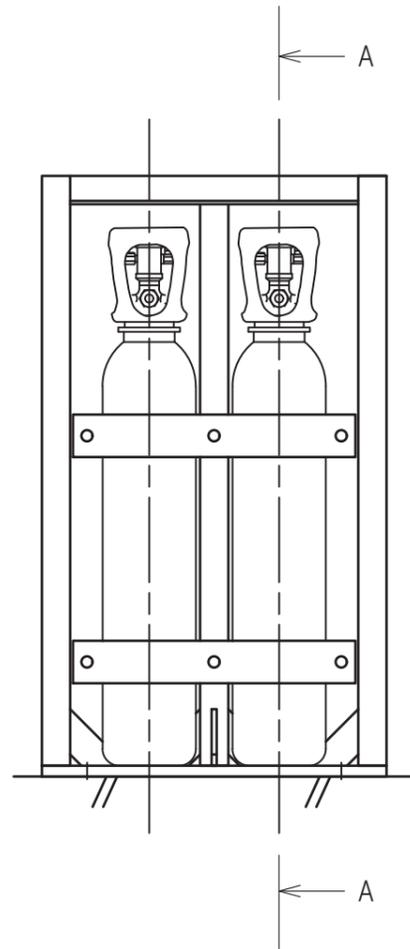
注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-9図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (C403⑥,C100⑥ 用及びP403⑥,P101④用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |

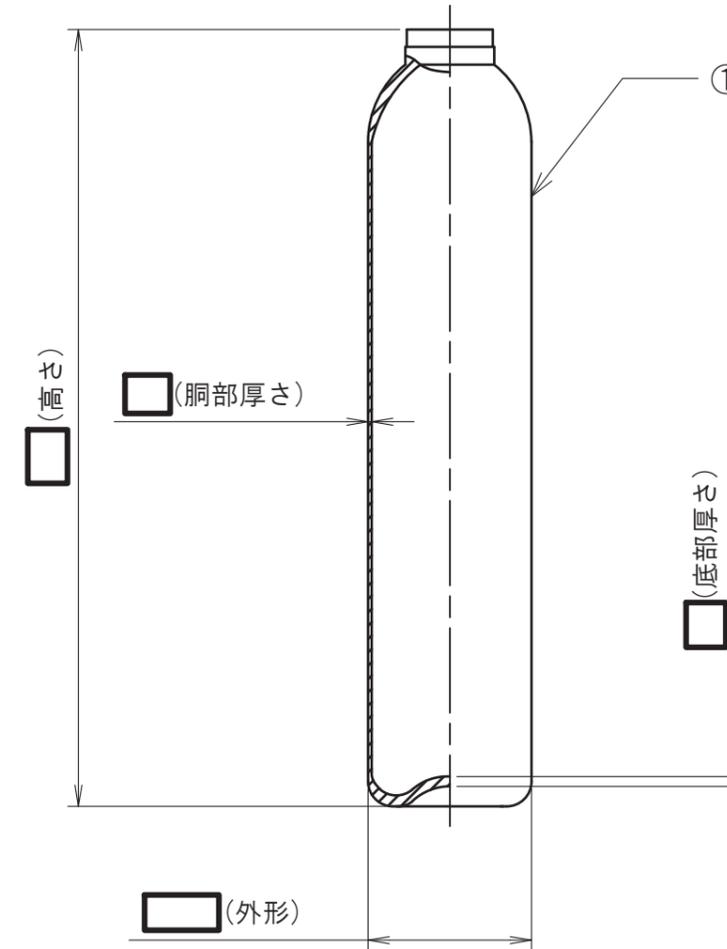
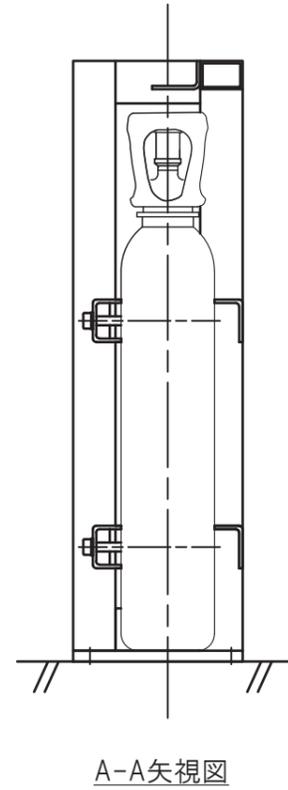
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



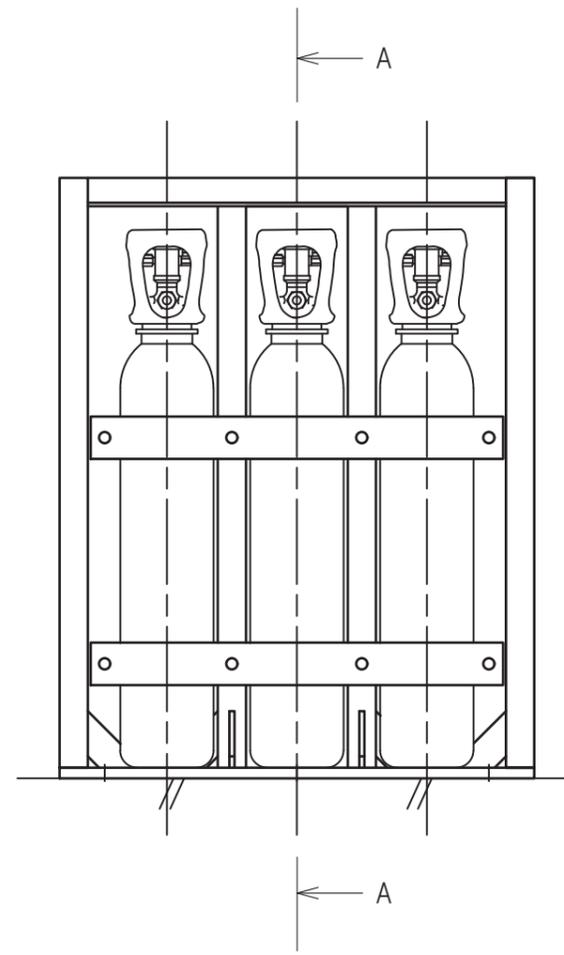
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

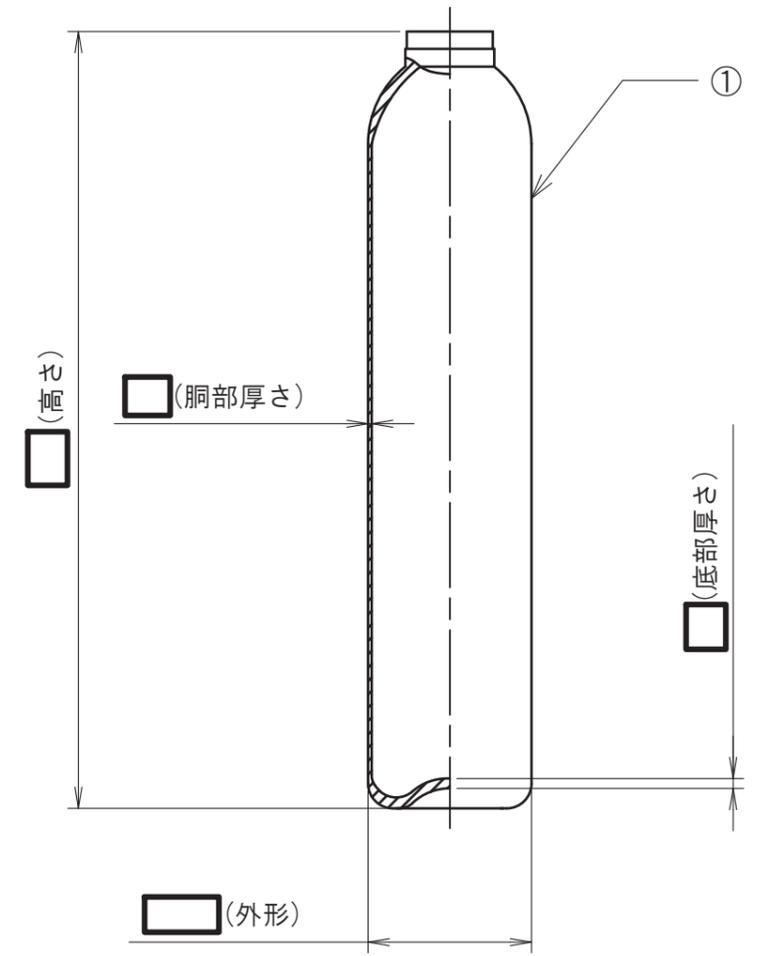
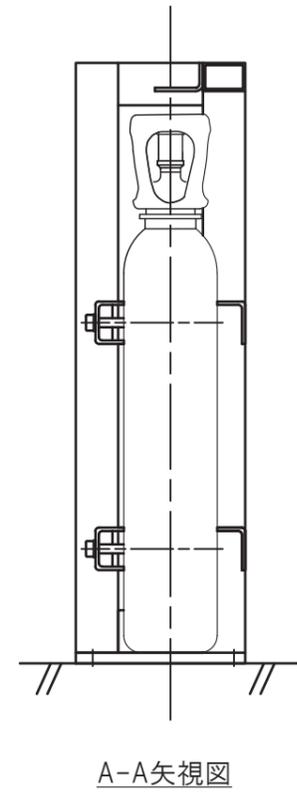
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-10図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S101②用及びC100⑤用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



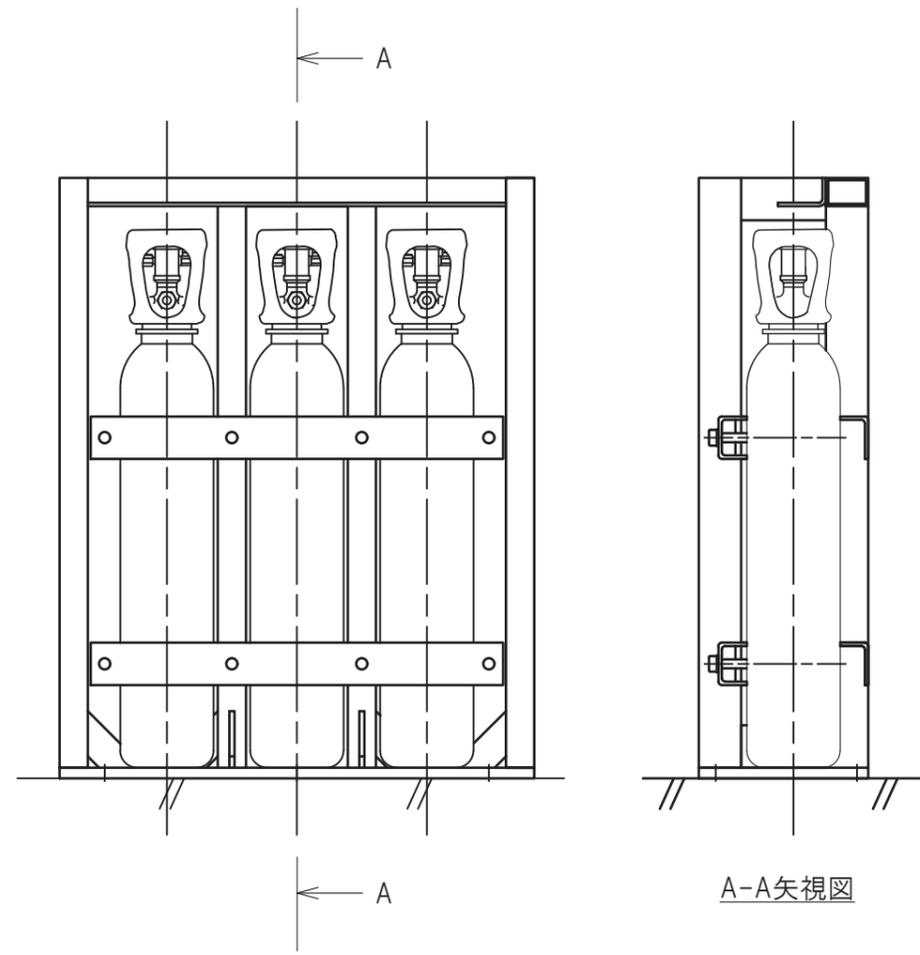
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

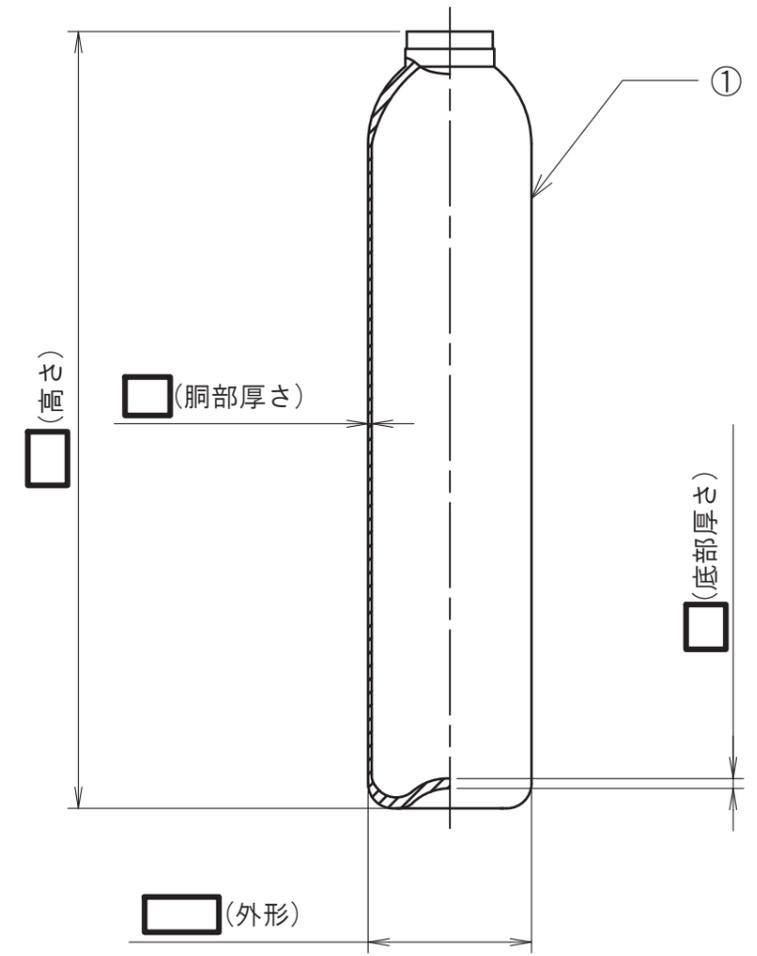
| | |
|---------------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-11図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (C403⑤用,P101③用及びP403⑤用) |
| 東 北 電 力 株 式 有 限 公 司 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



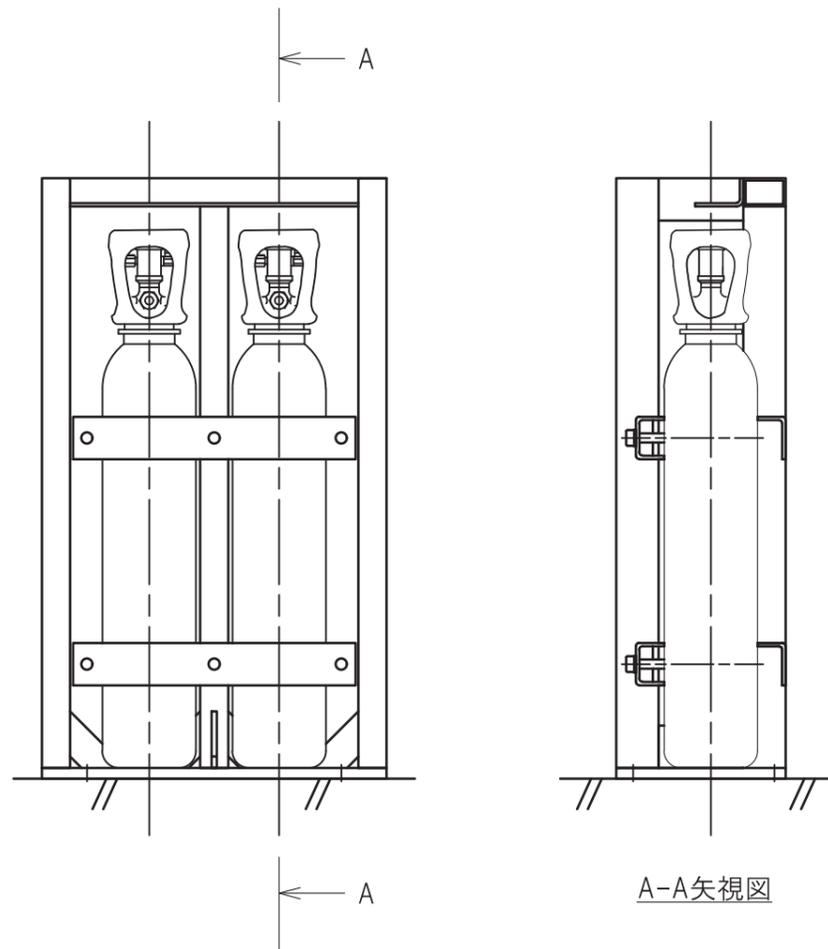
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

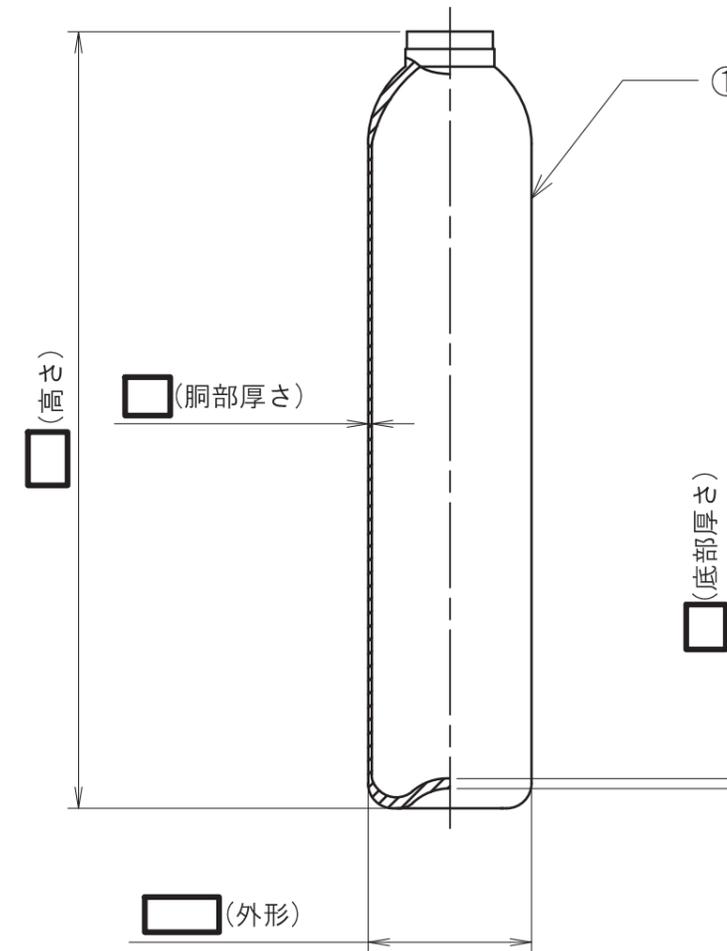
| | |
|---------------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-12図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器(S101①用,P403④,C403④,C100④用及びP403③,C403③,C100③用) |
| 東 北 電 力 株 式 有 限 公 司 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



FK-5-1-12貯蔵容器

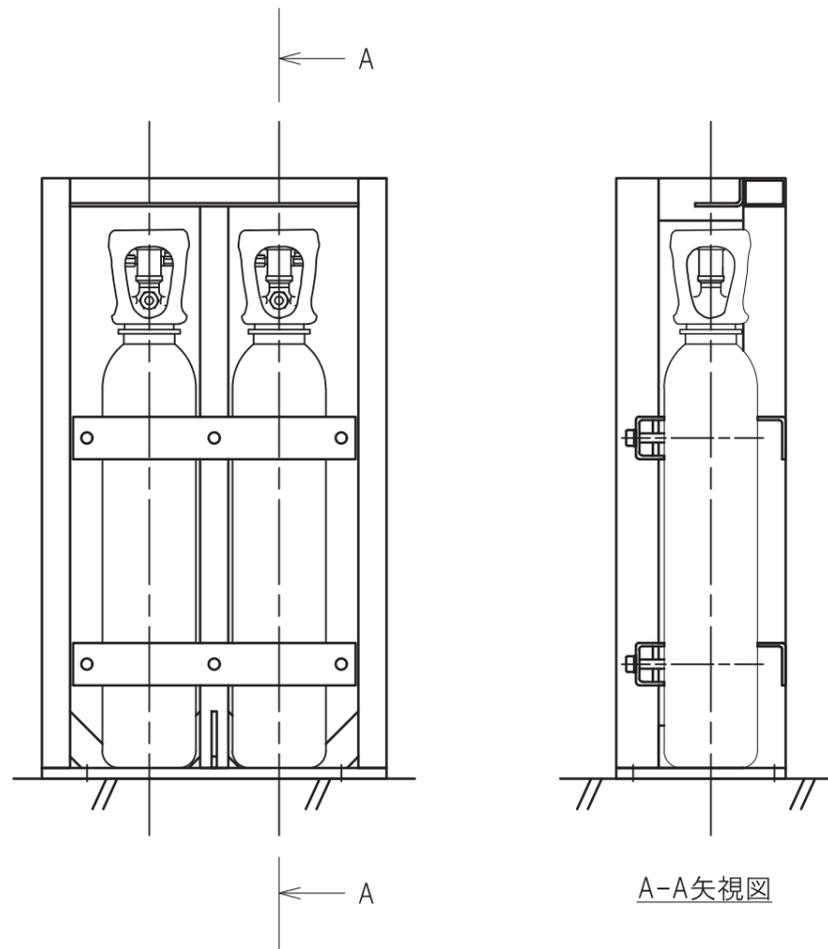
注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-13図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (C403②,C100② 用及びP403②,P101②,C749用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |

1618

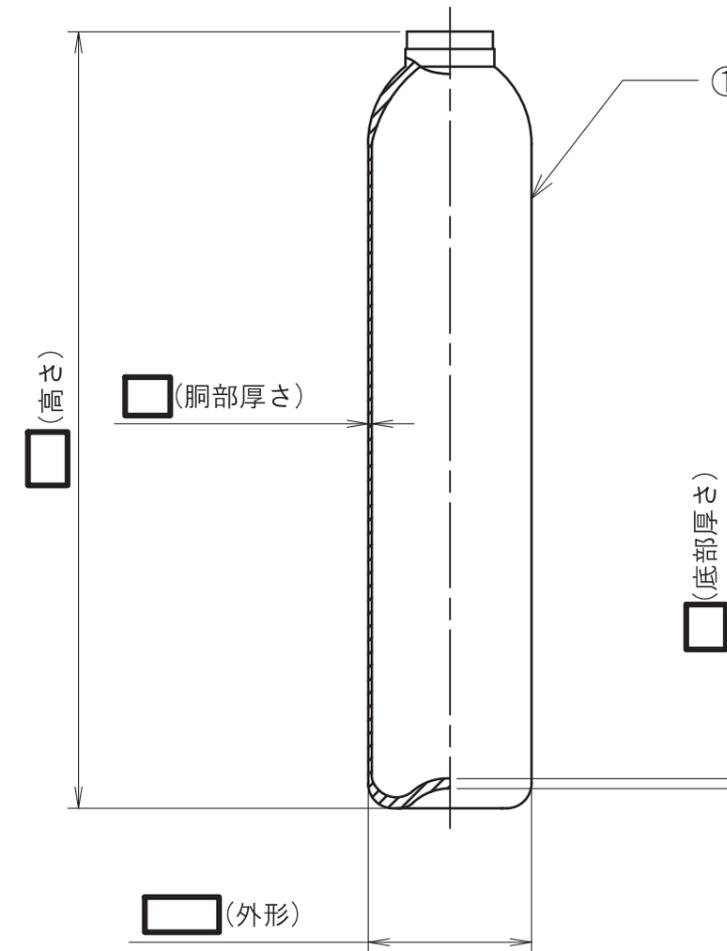
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置

A-A矢視図



FK-5-1-12貯蔵容器

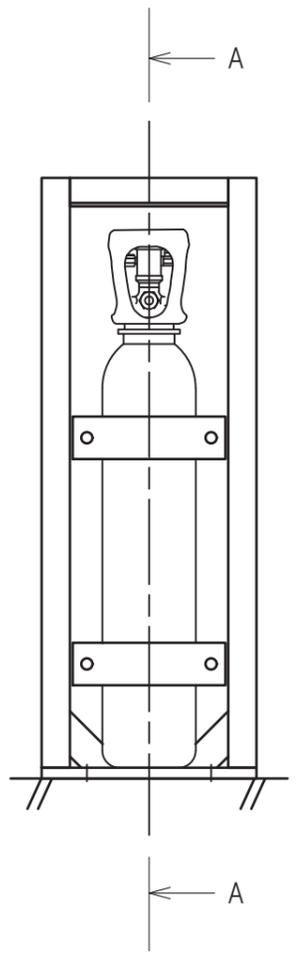
注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

| | |
|---------------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-14図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (P403①,P101① 用及びC403①,C100①用) |
| 東 北 電 力 株 式 有 限 公 司 | |

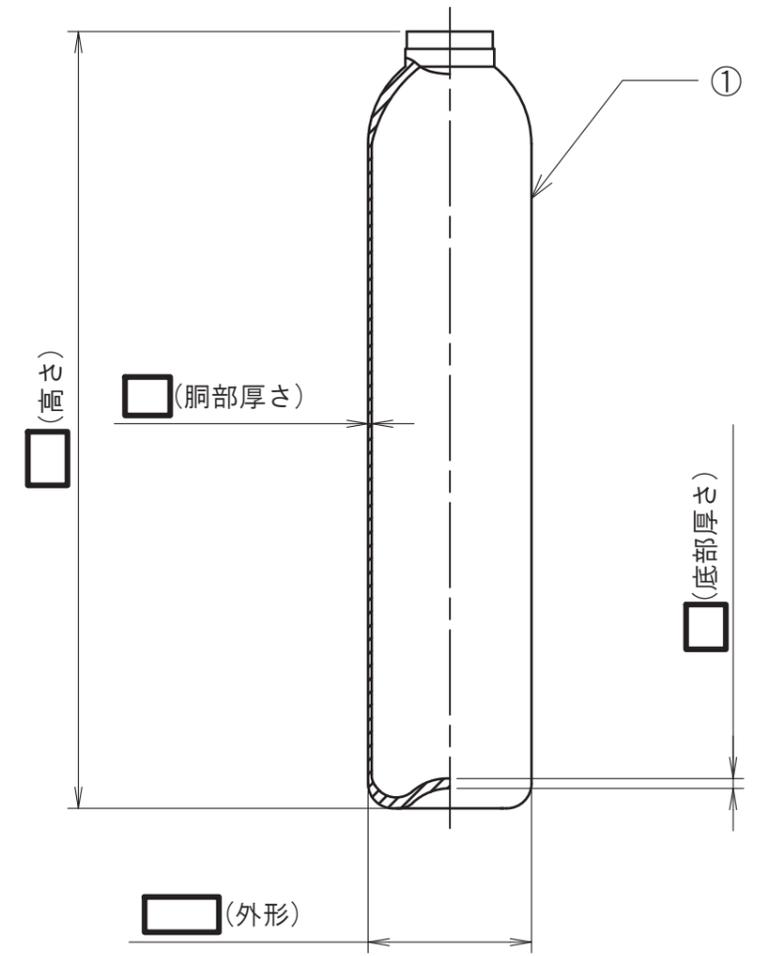
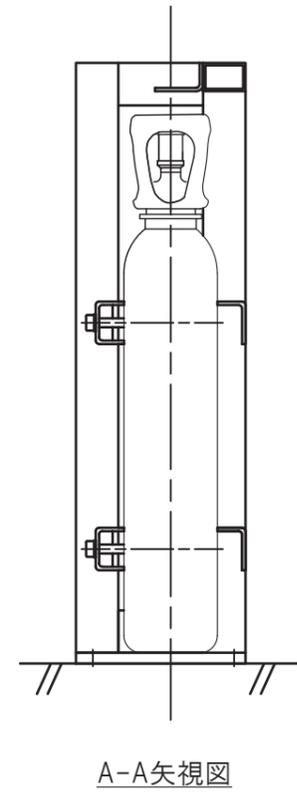
1618

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 1 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



1本ユニット設置



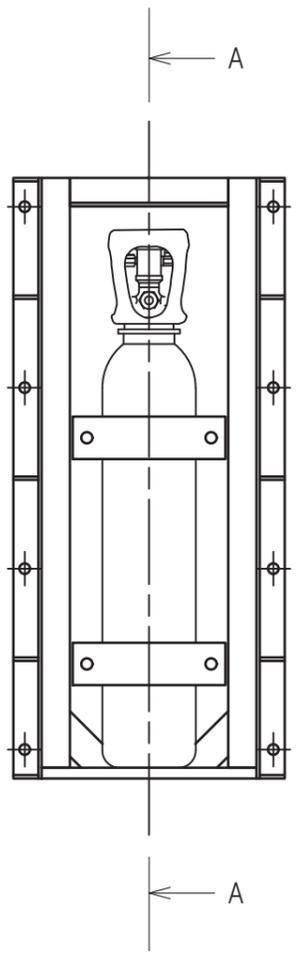
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

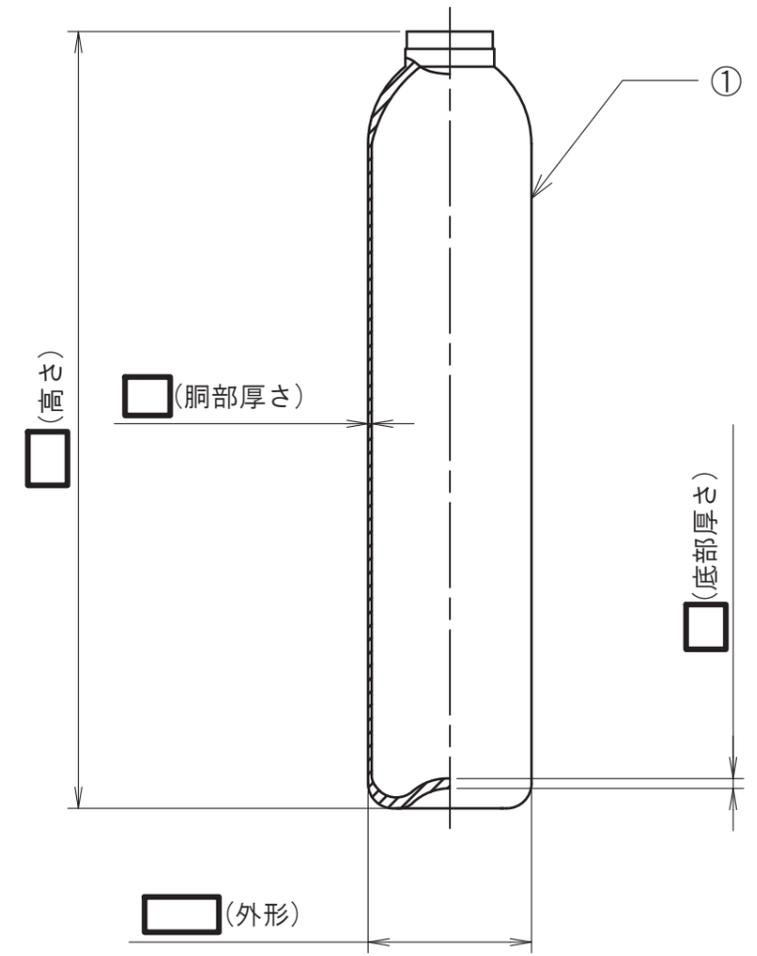
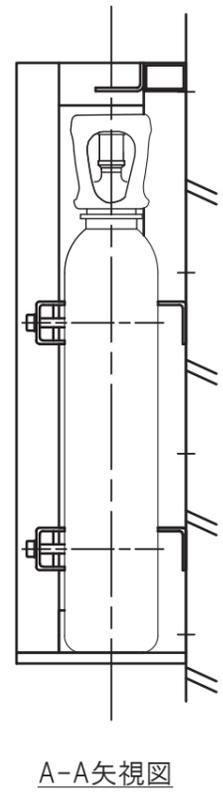
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-15図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (P503①,C501①用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 1 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



1本ユニット設置



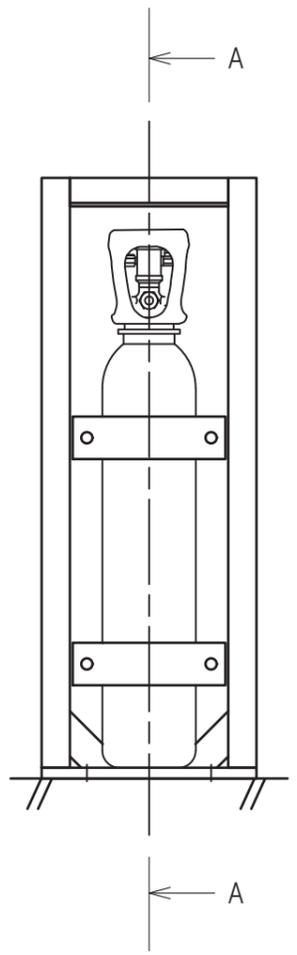
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

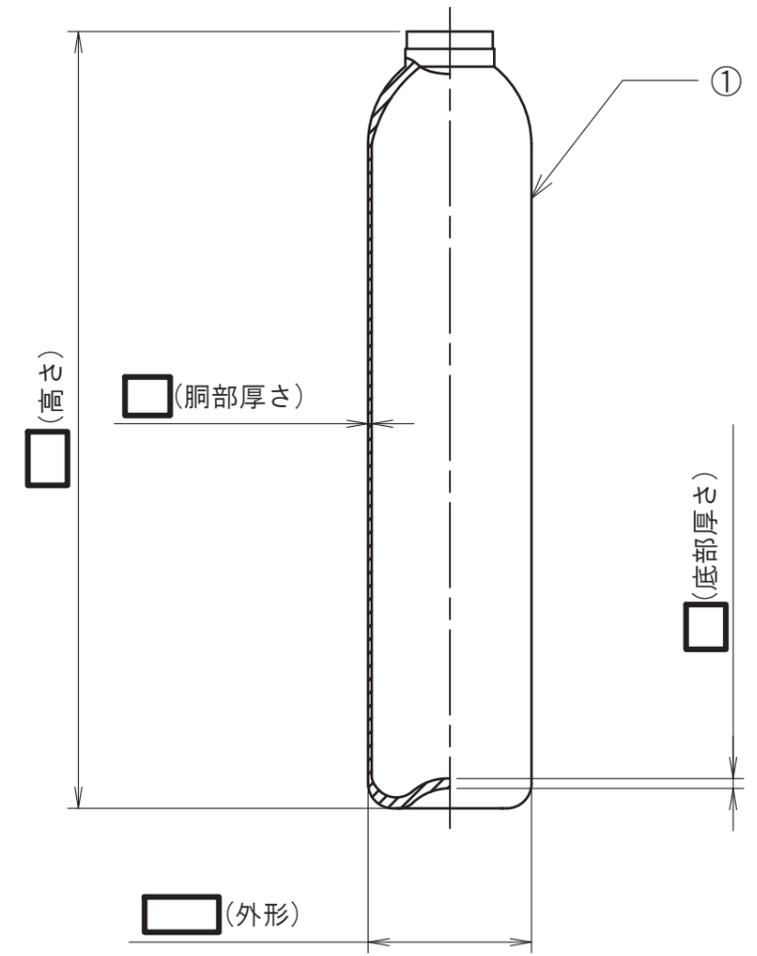
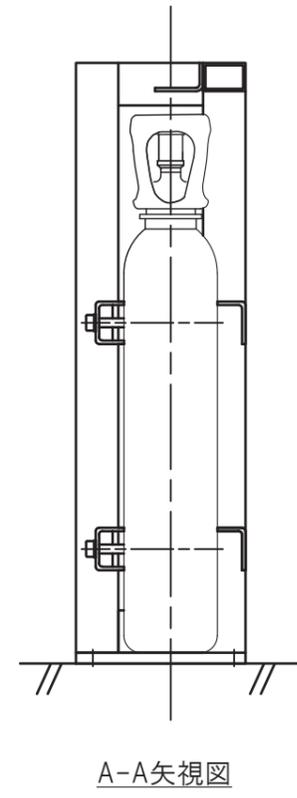
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-16図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S202①用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 1 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



1本ユニット設置



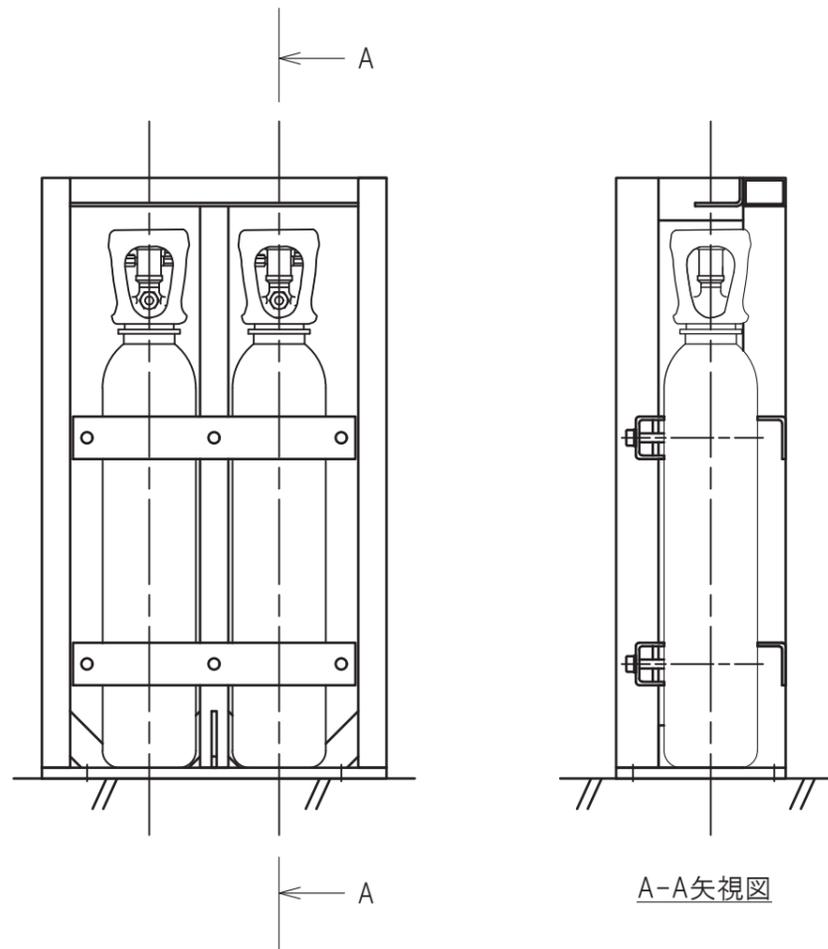
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-17図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (P502①,P503②,C501②用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

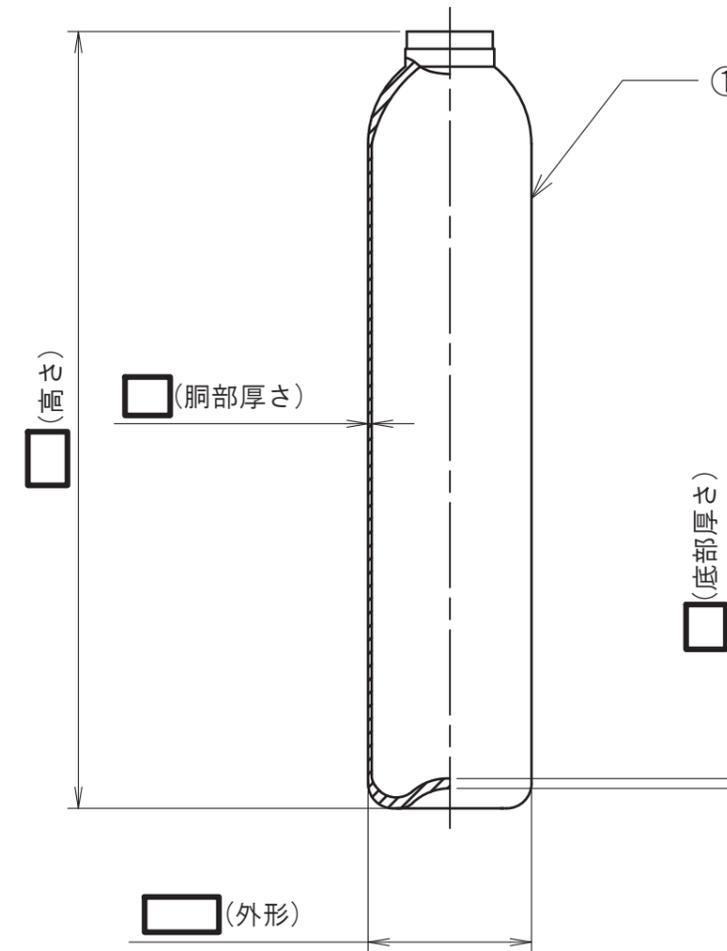
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置

A-A矢視図



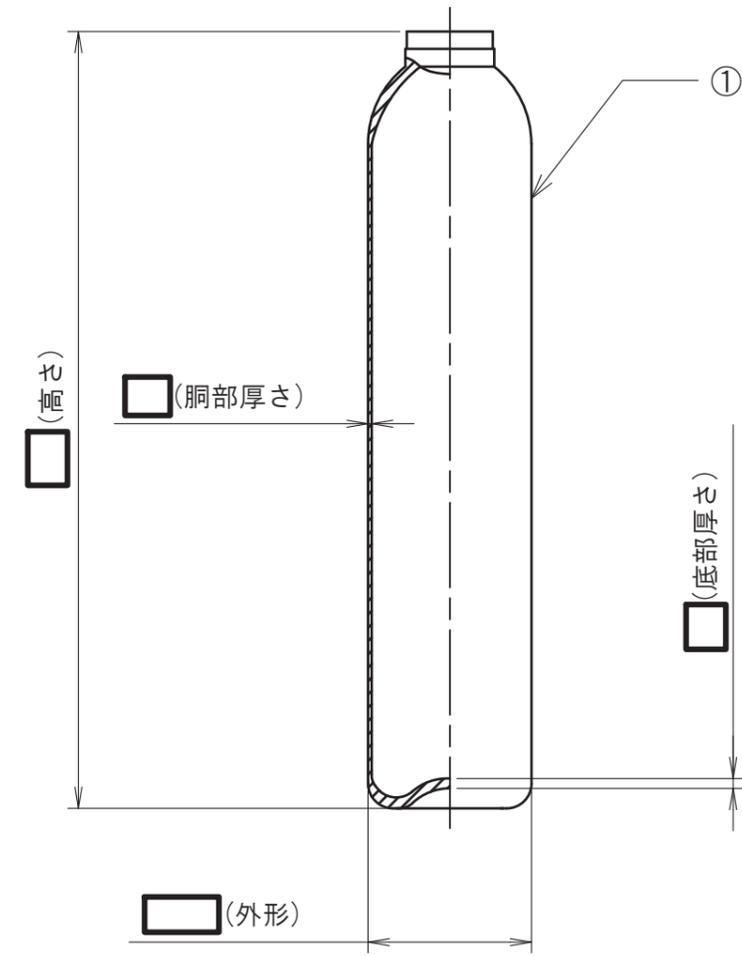
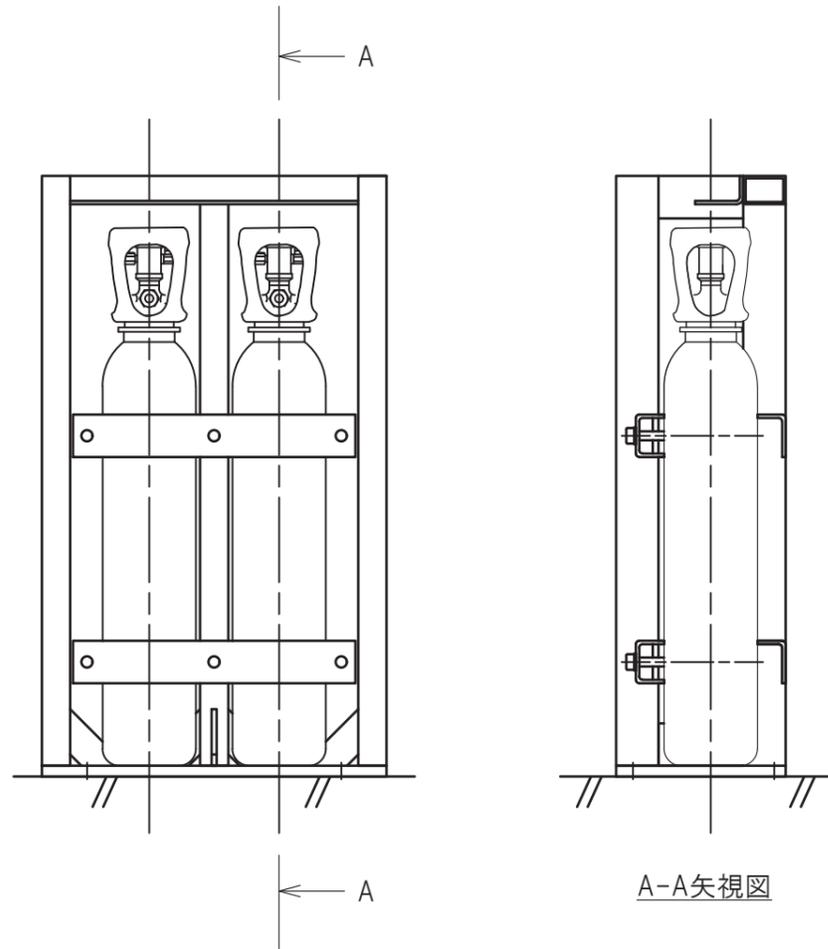
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-18図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S300④用及びC300④用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



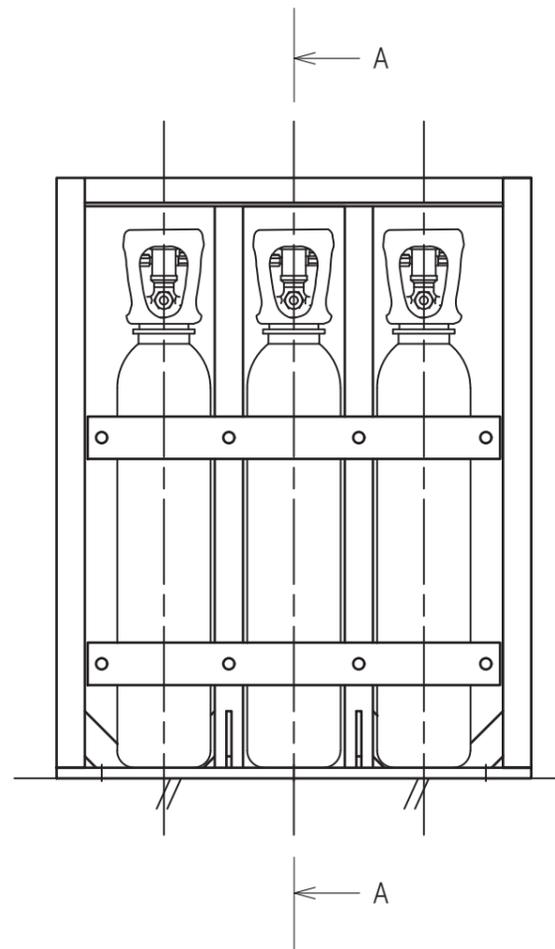
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

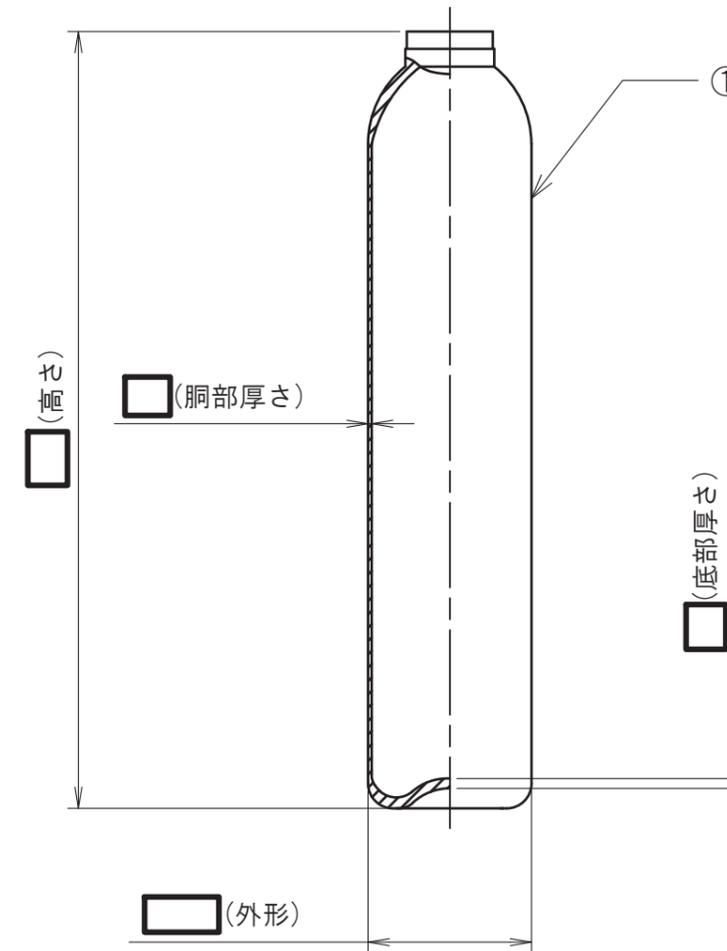
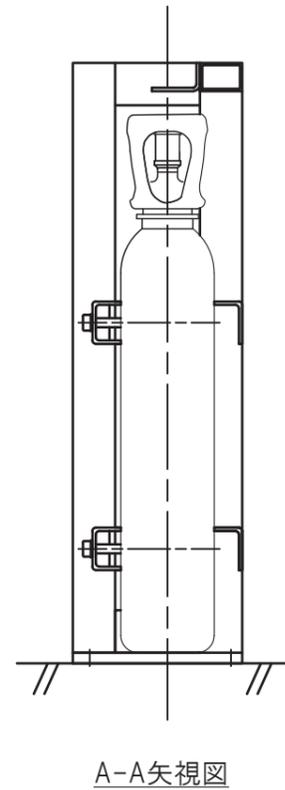
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-19図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (P202①用及びC202①用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



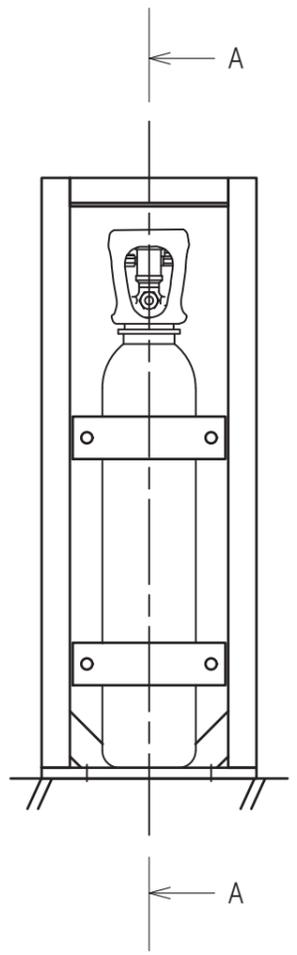
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

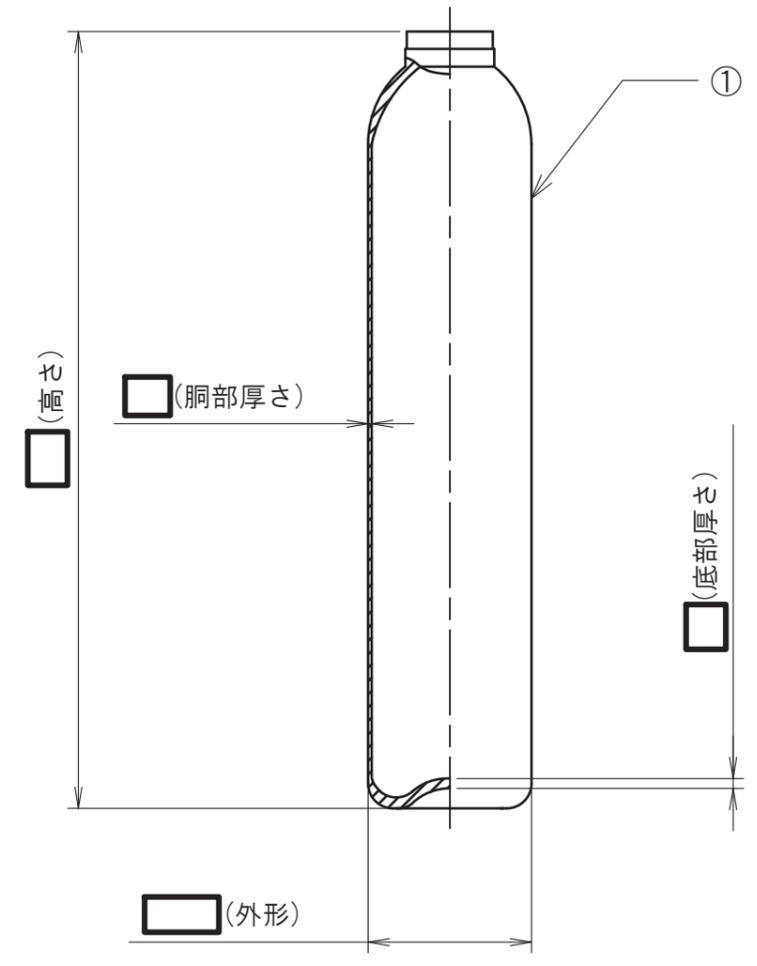
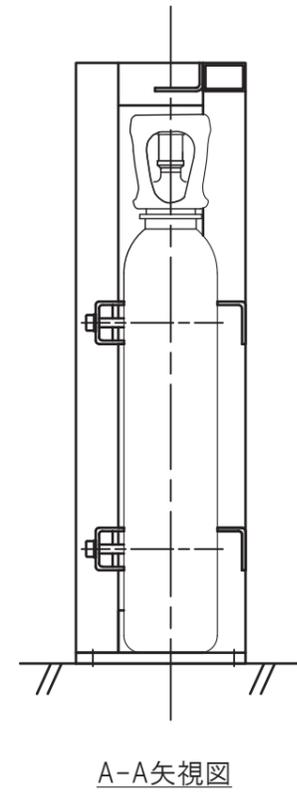
| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-20図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (P502②用,P503③用及びC501③用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 1 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



1本ユニット設置



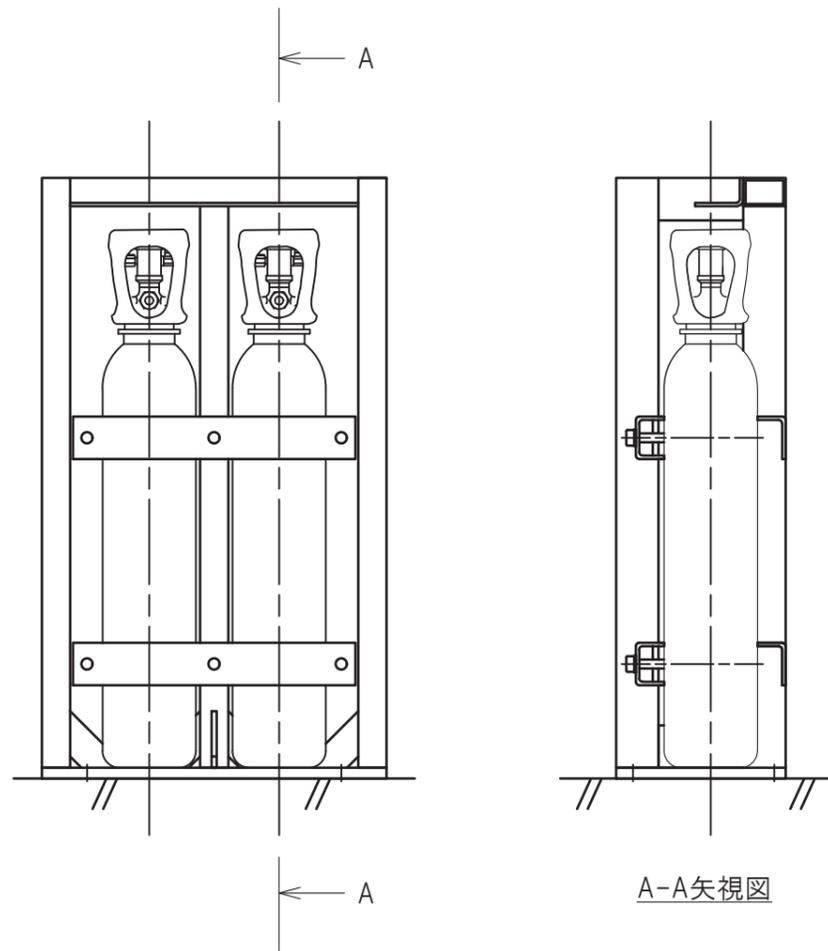
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-21図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S202②用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

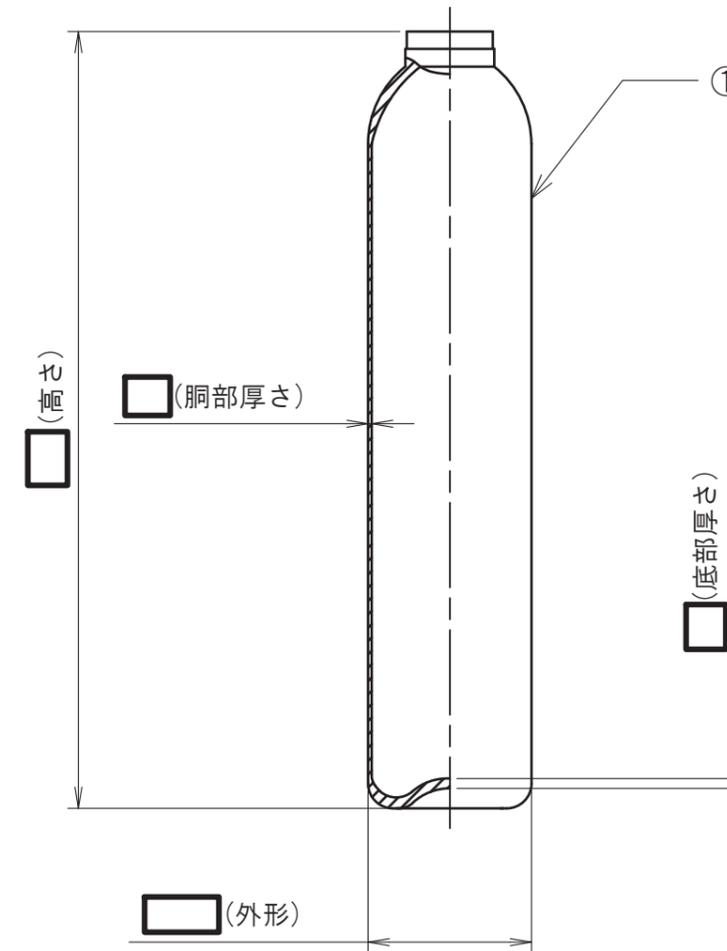
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置

A-A矢視図



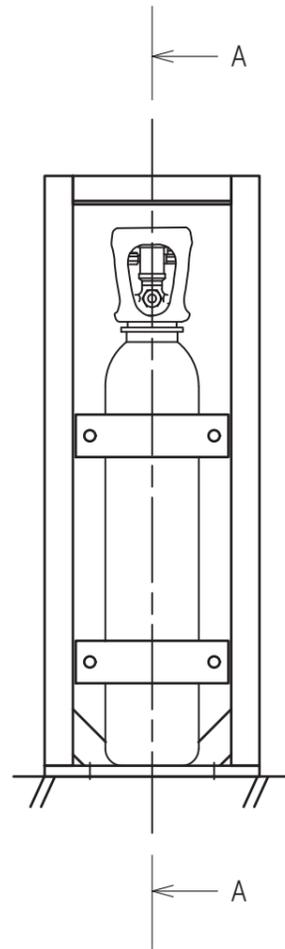
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

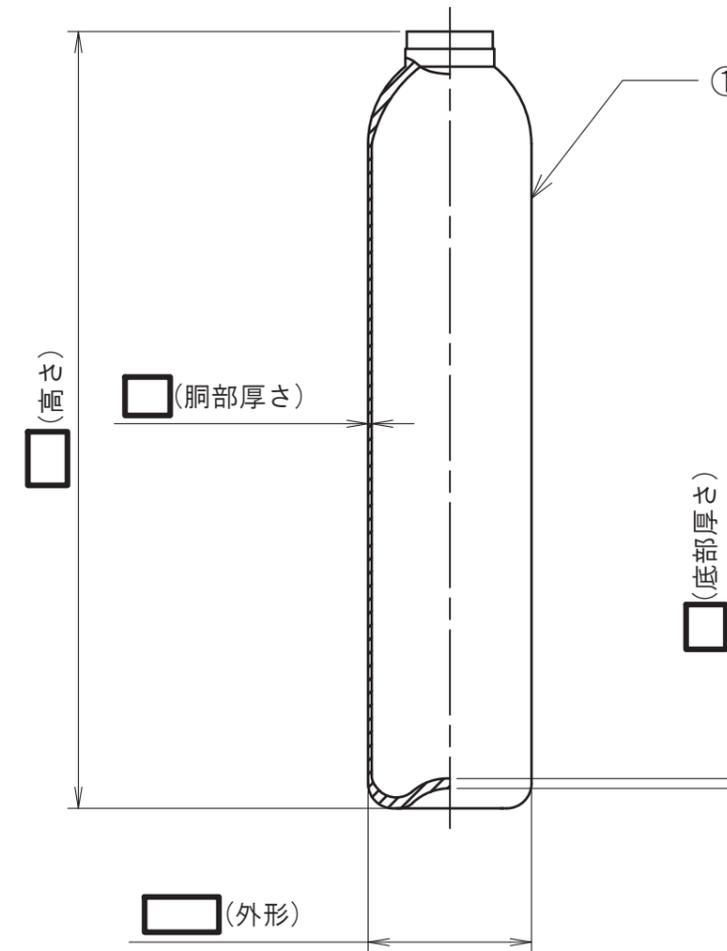
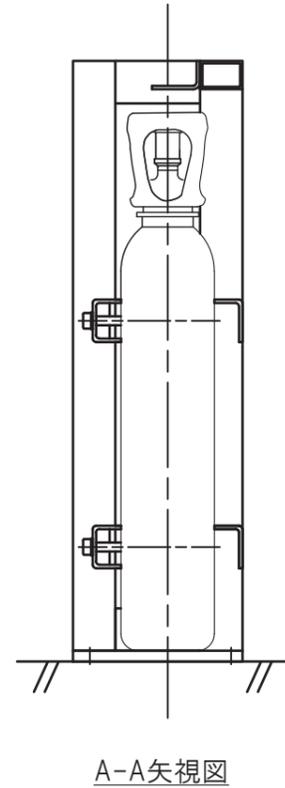
| | |
|---------------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-22図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (P502③,P503⑤, P202③用及びC501④,C202②用) |
| 東 北 電 力 株 式 有 限 公 司 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 1 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



1本ユニット設置



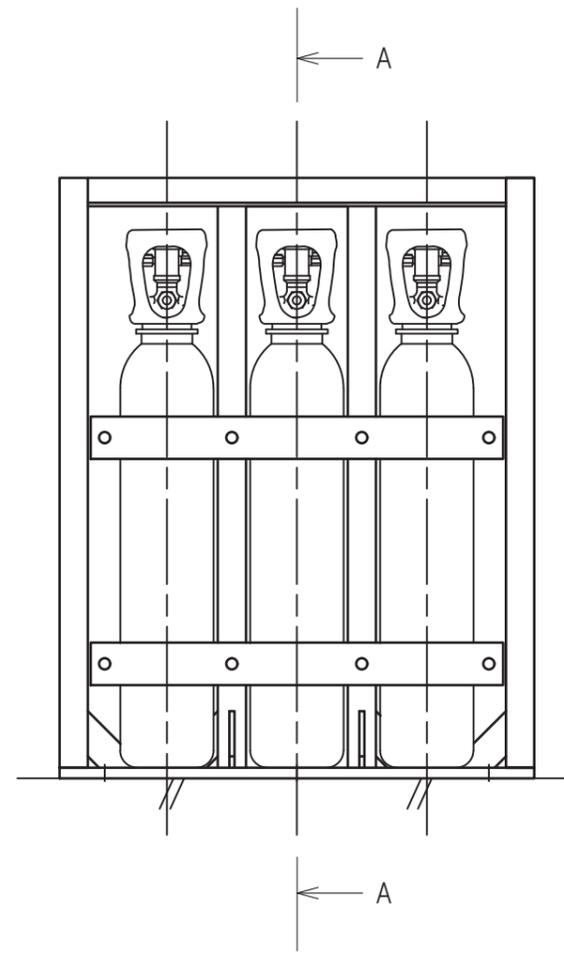
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

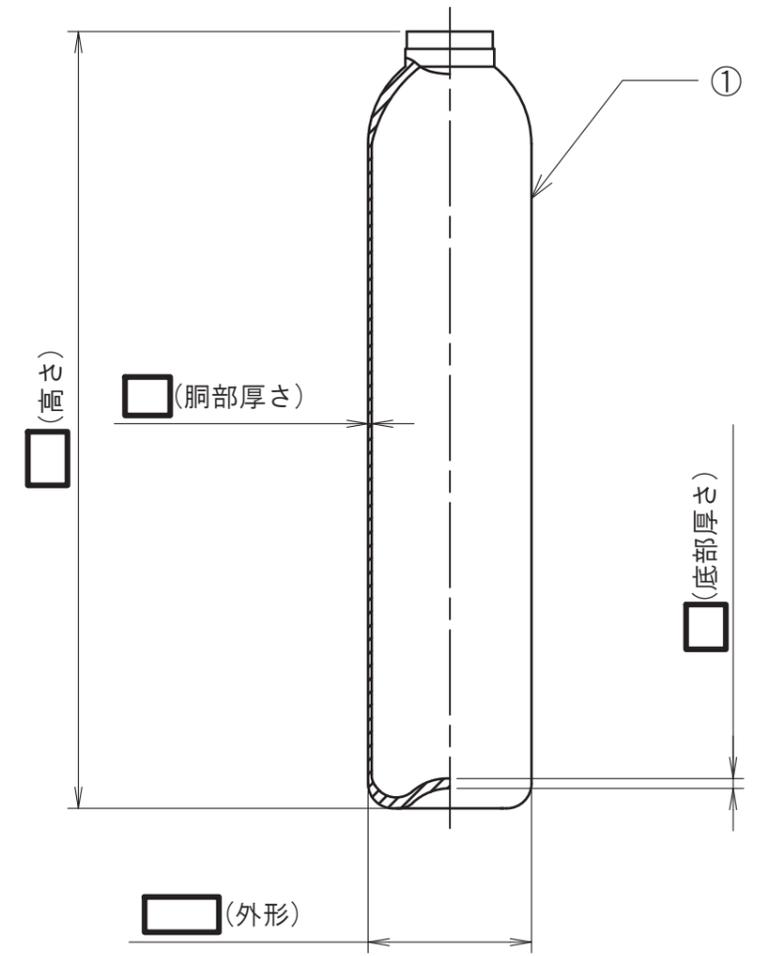
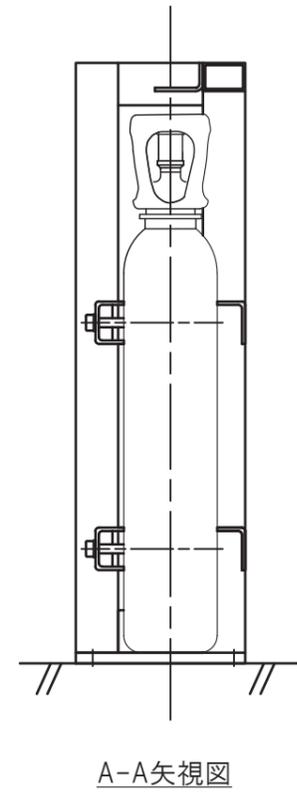
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-23図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (P502⑤,P503⑦,P202⑤用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



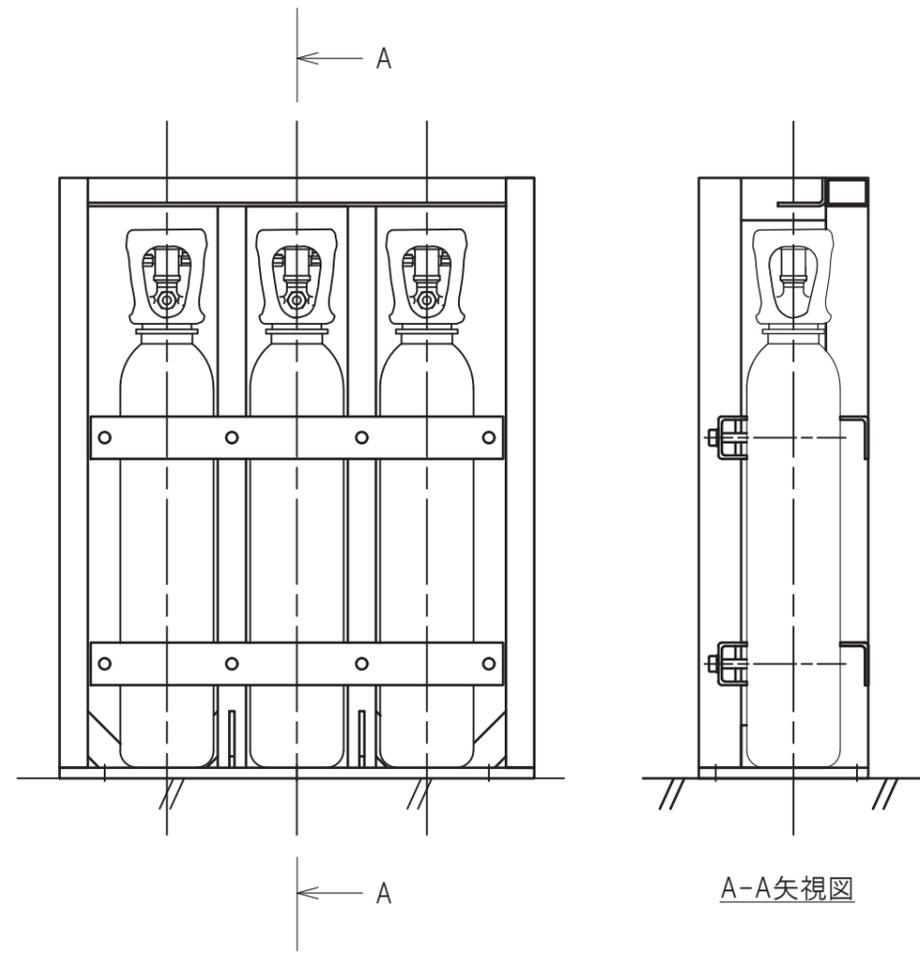
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

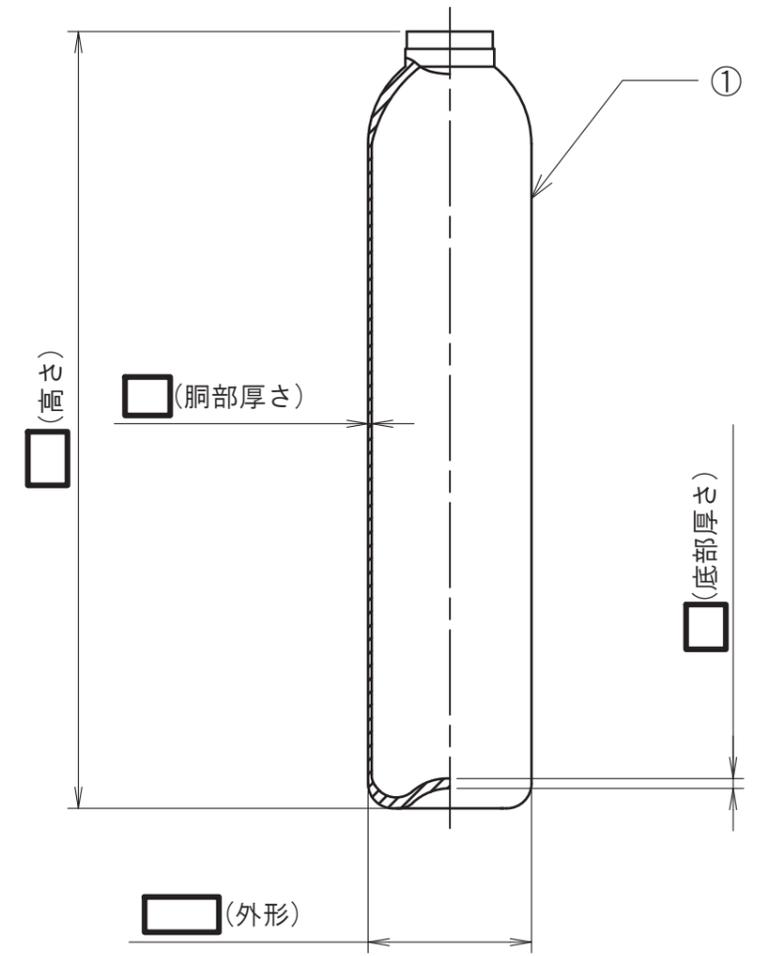
| | |
|---------------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-24図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (P502④,P503⑥,P202④用,C501⑥,C202④用及びS202④用) |
| 東 北 電 力 株 式 有 限 公 司 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



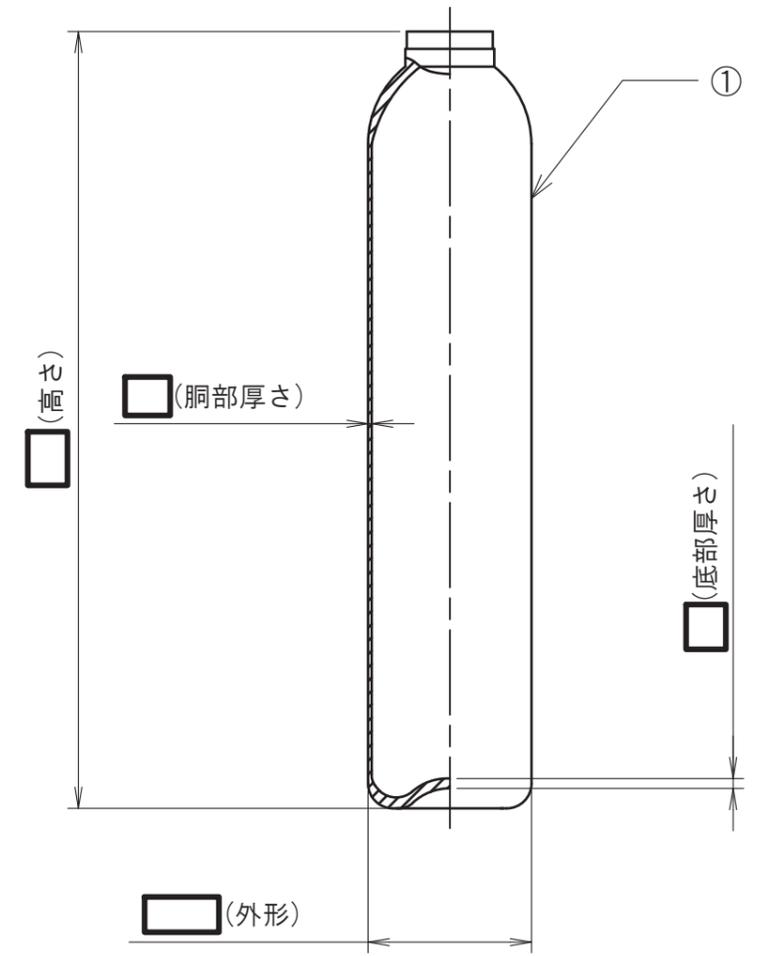
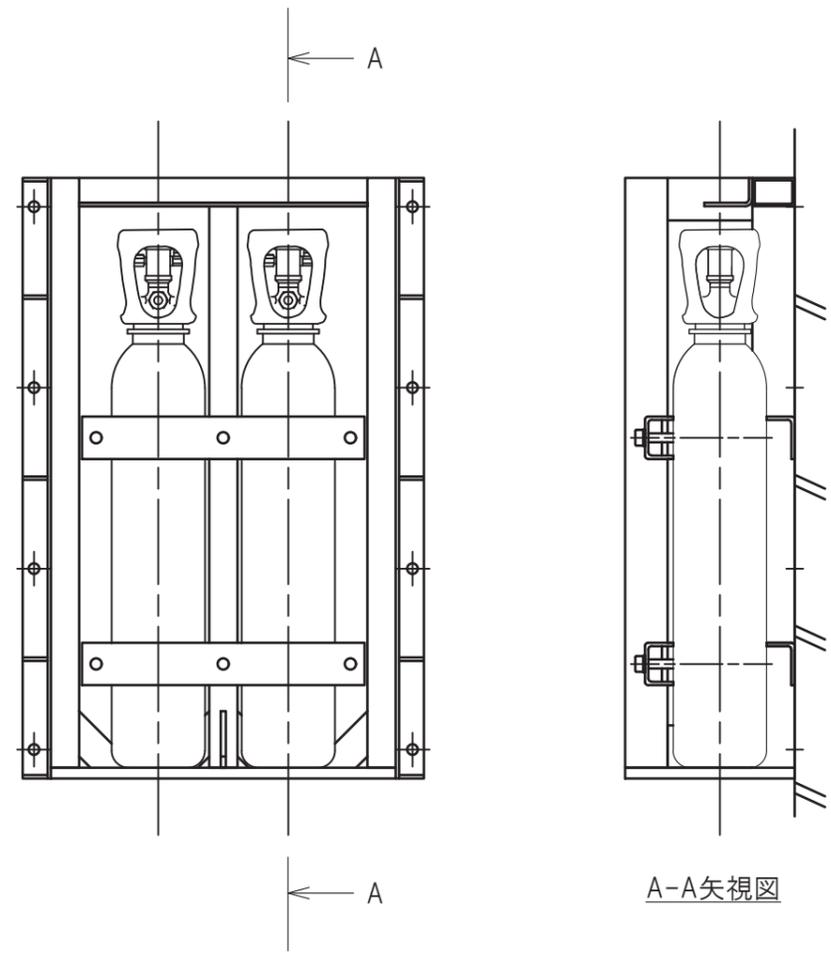
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

| | |
|---------------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-25図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S202⑤用,C501⑦, C202⑤用及びP502⑥,P503⑧,P202⑥用) |
| 東 北 電 力 株 式 有 限 公 司 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



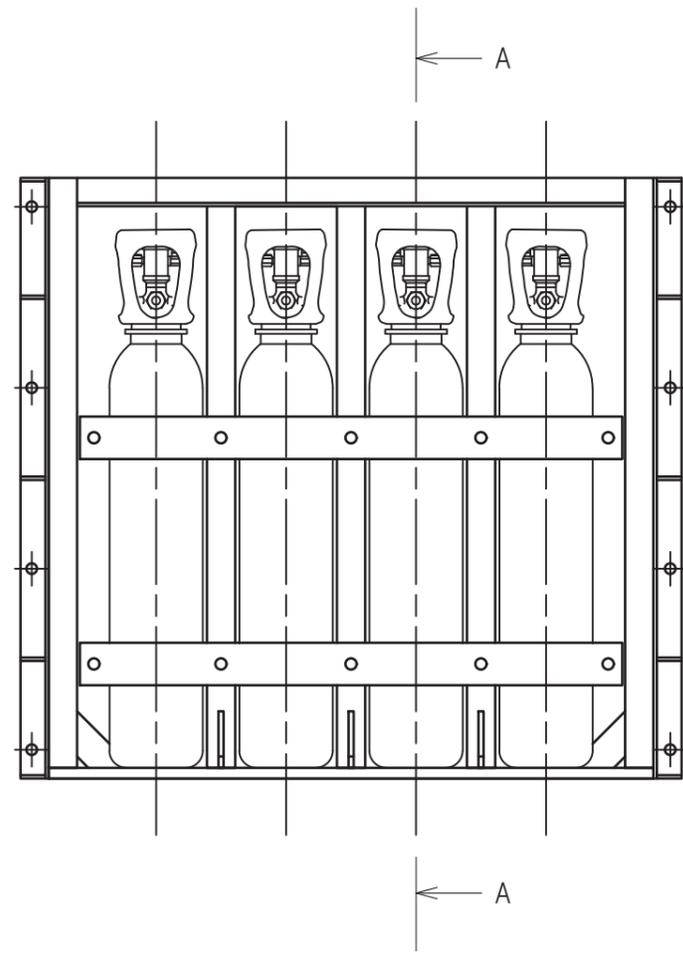
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

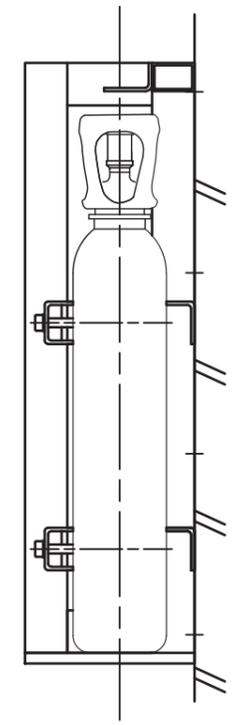
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-26図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (P769用及びC501-1用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

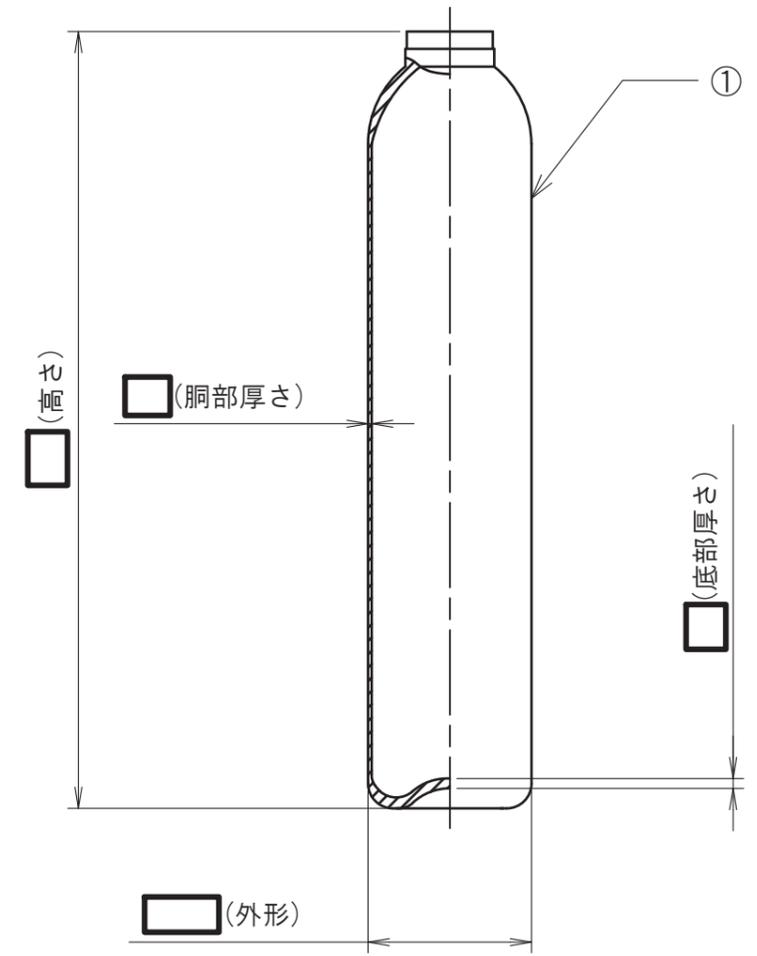
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 4 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



4本ユニット設置



A-A矢視図



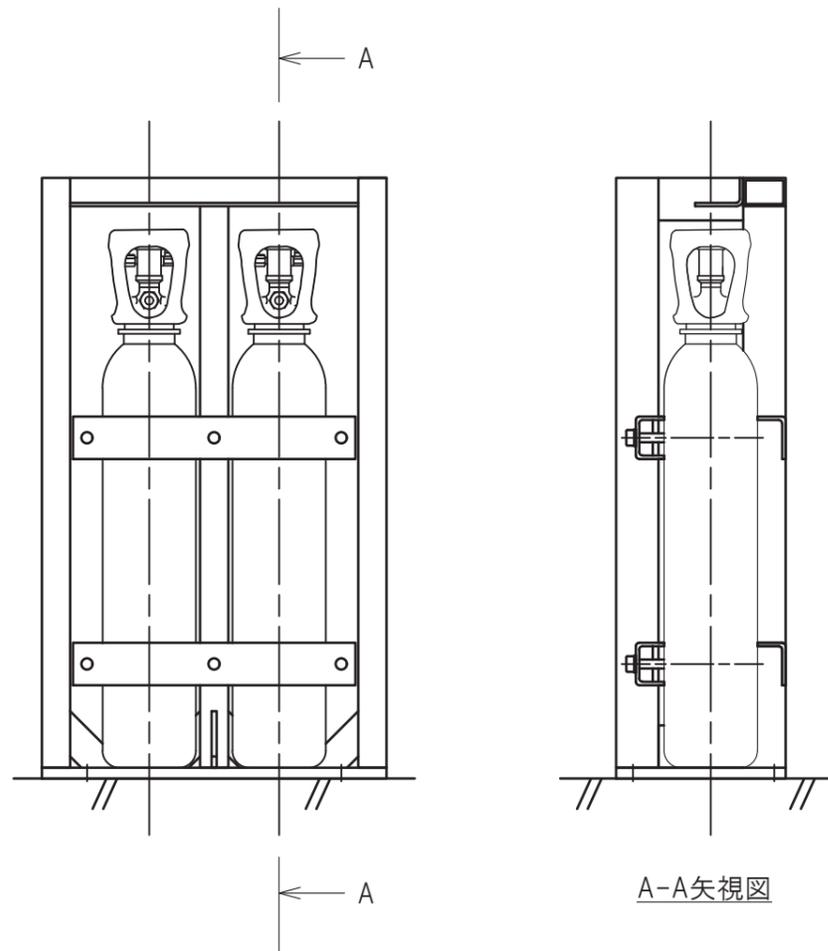
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-27図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S703用,C736用, C729用及びS704用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

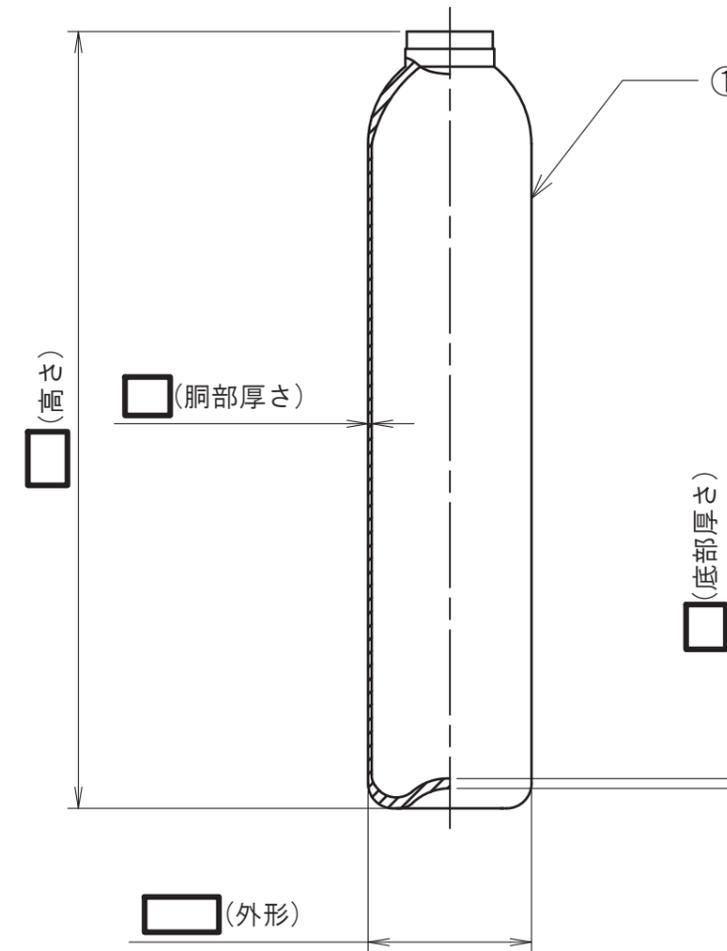
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置

A-A矢視図



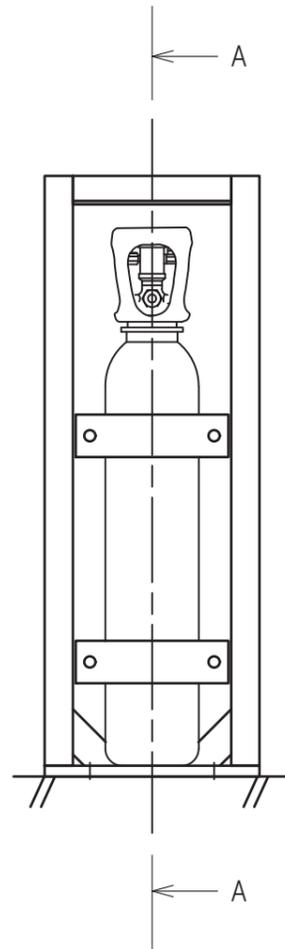
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

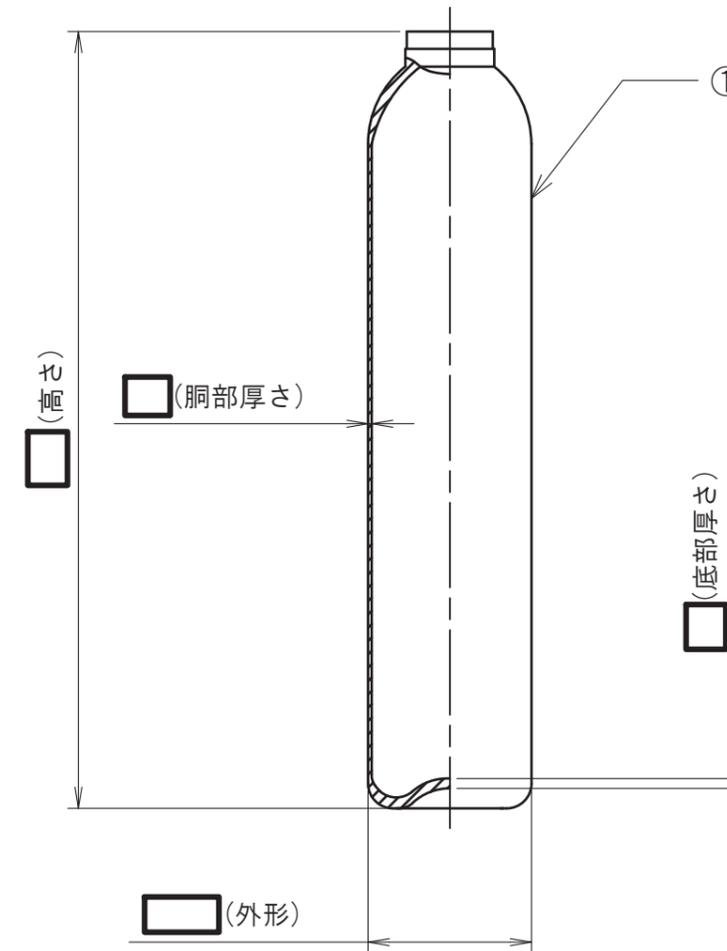
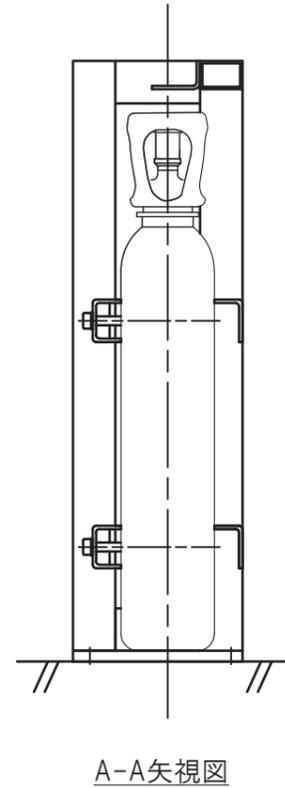
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-28図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S202③用及びC501⑤,C202③用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 1 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



1本ユニット設置



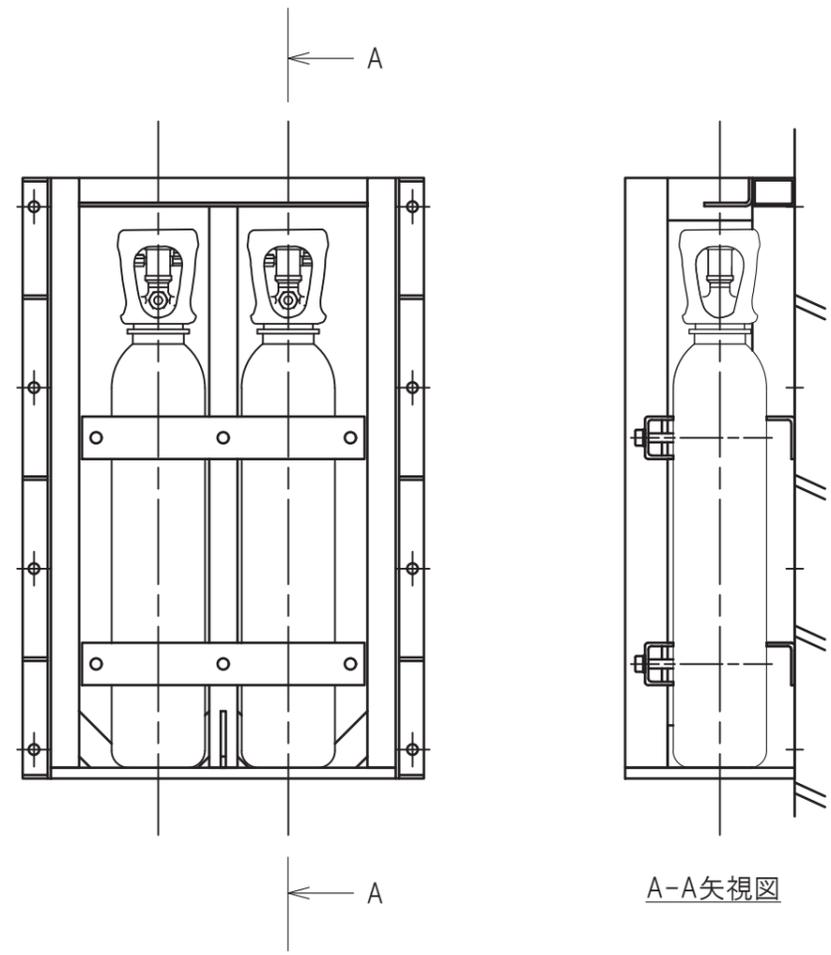
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

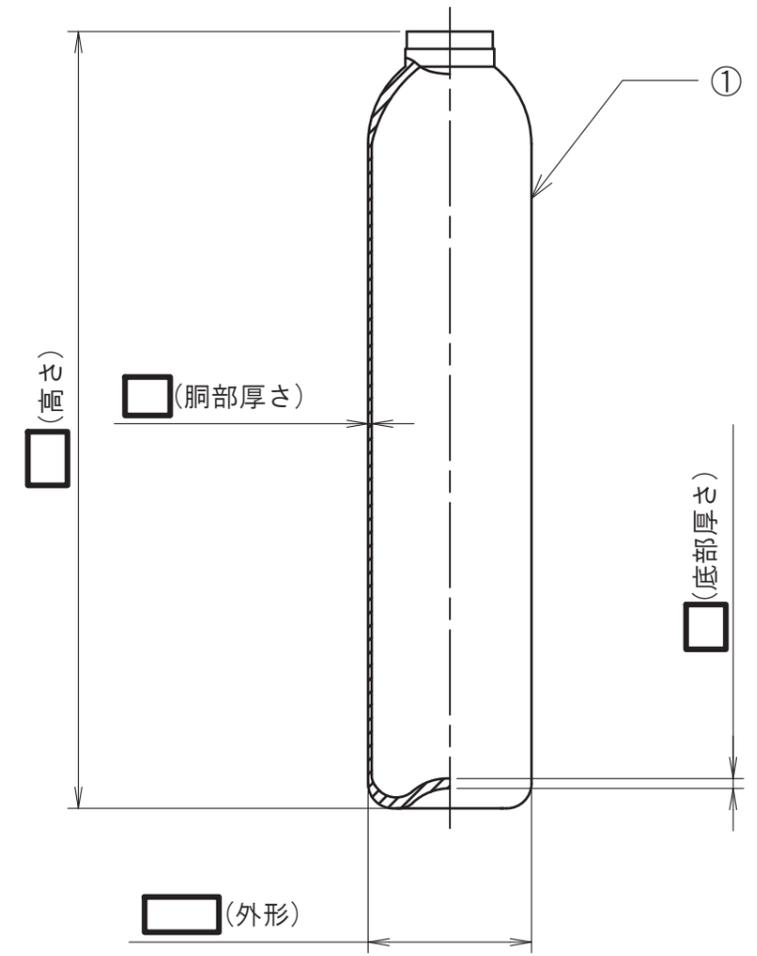
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-29図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (P503④,P202②用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



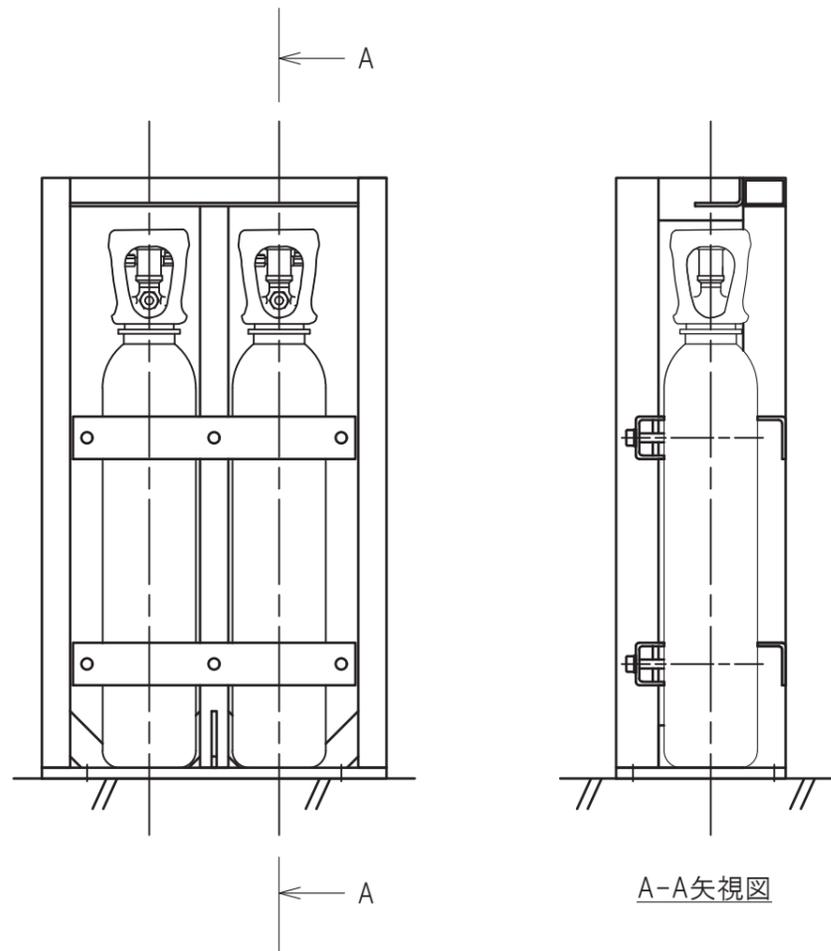
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

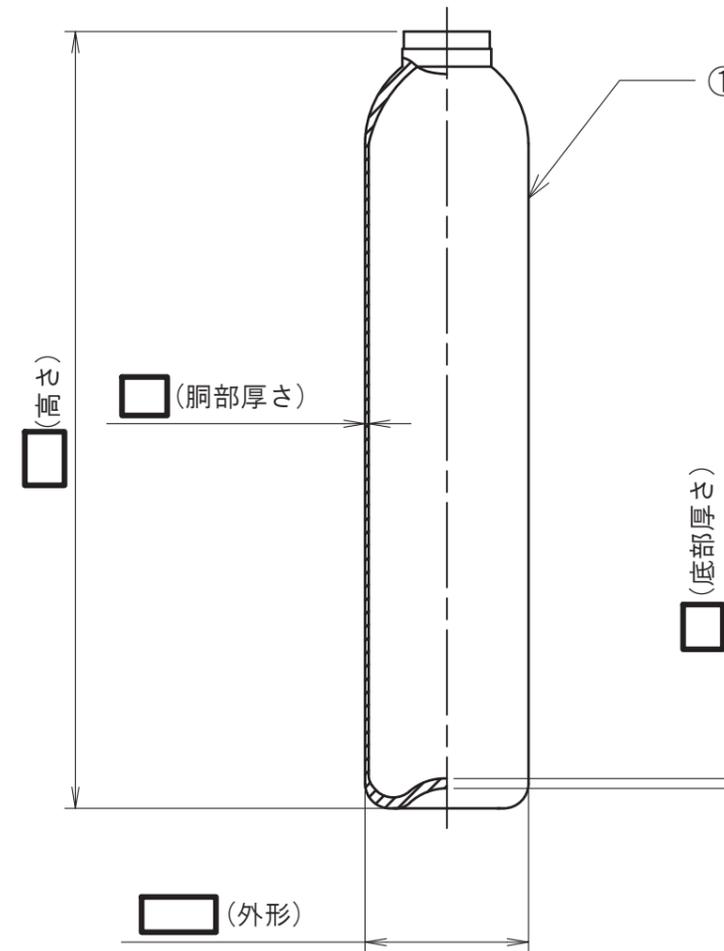
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-30図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (C300①用及びS300①用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



FK-5-1-12貯蔵容器

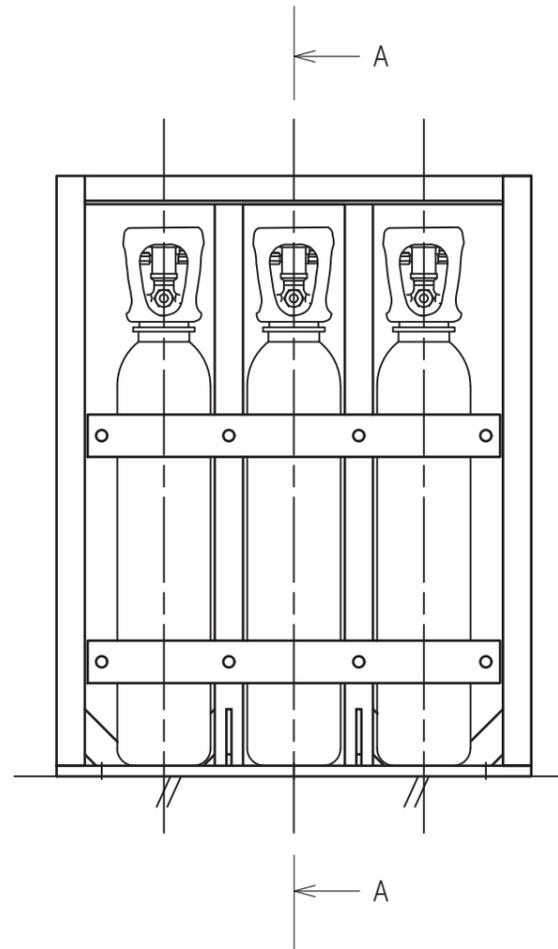
注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-31図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S101⑫用及びC403⑳用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |

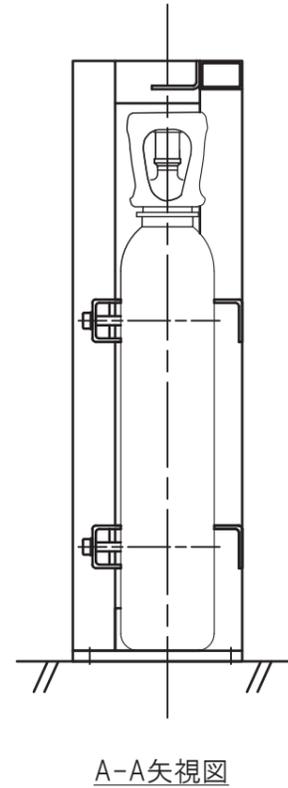
0420

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

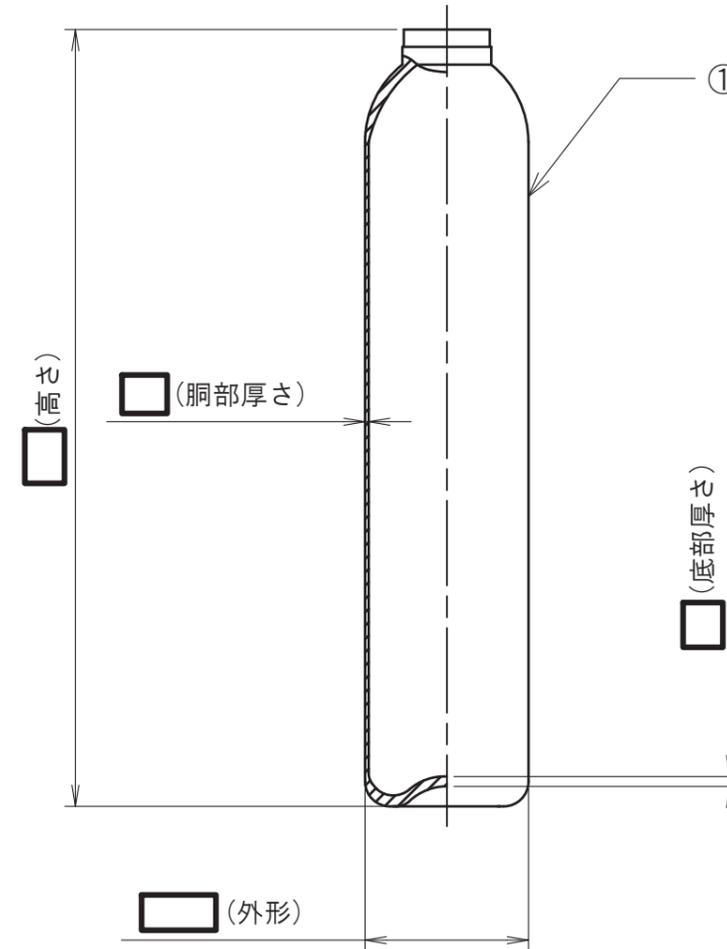
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



A-A矢視図



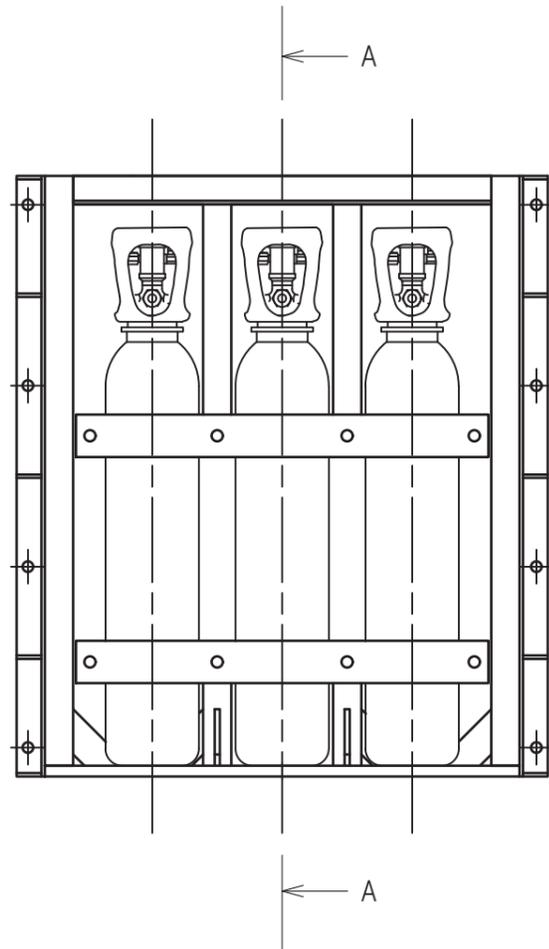
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

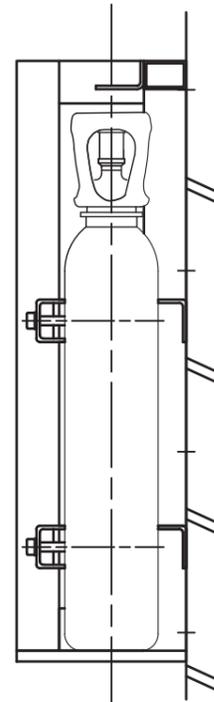
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-32図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S101①用,P101①,C403①⑨,C100①⑨用及びP101⑫,C403⑫,C100⑫用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

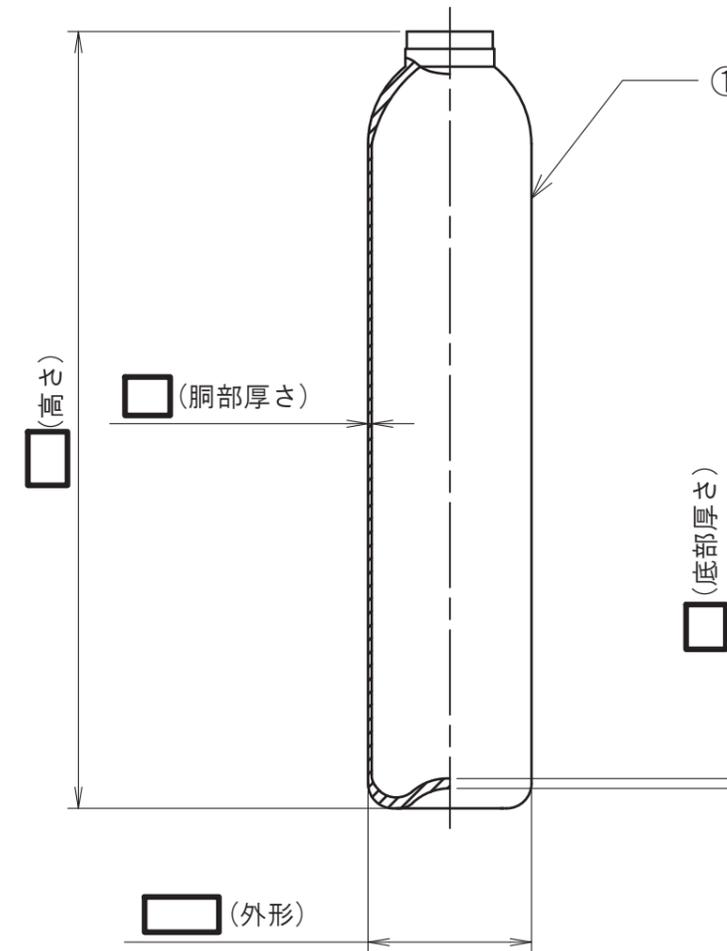
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



A-A矢視図



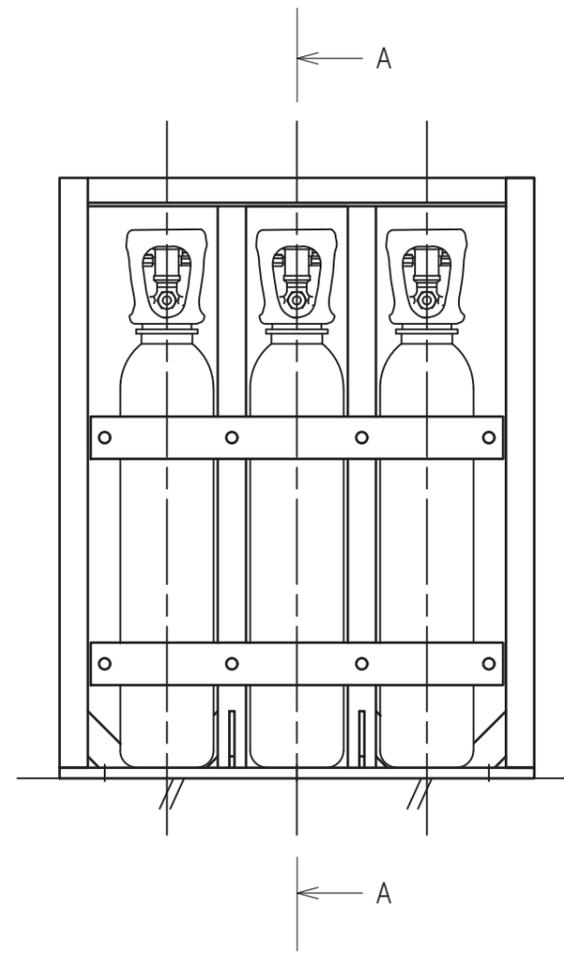
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

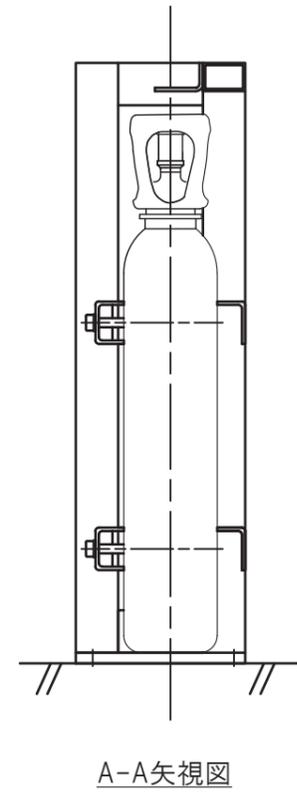
| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-33図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S101⑩用,C403⑬用及びC100⑱用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

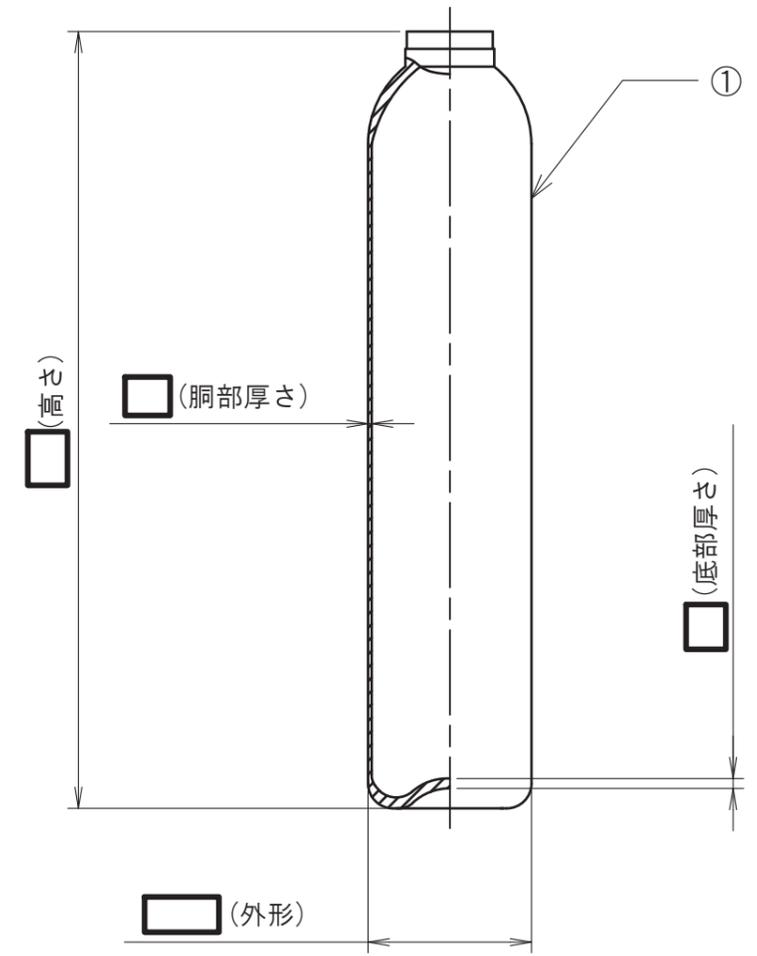
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



A-A矢視図



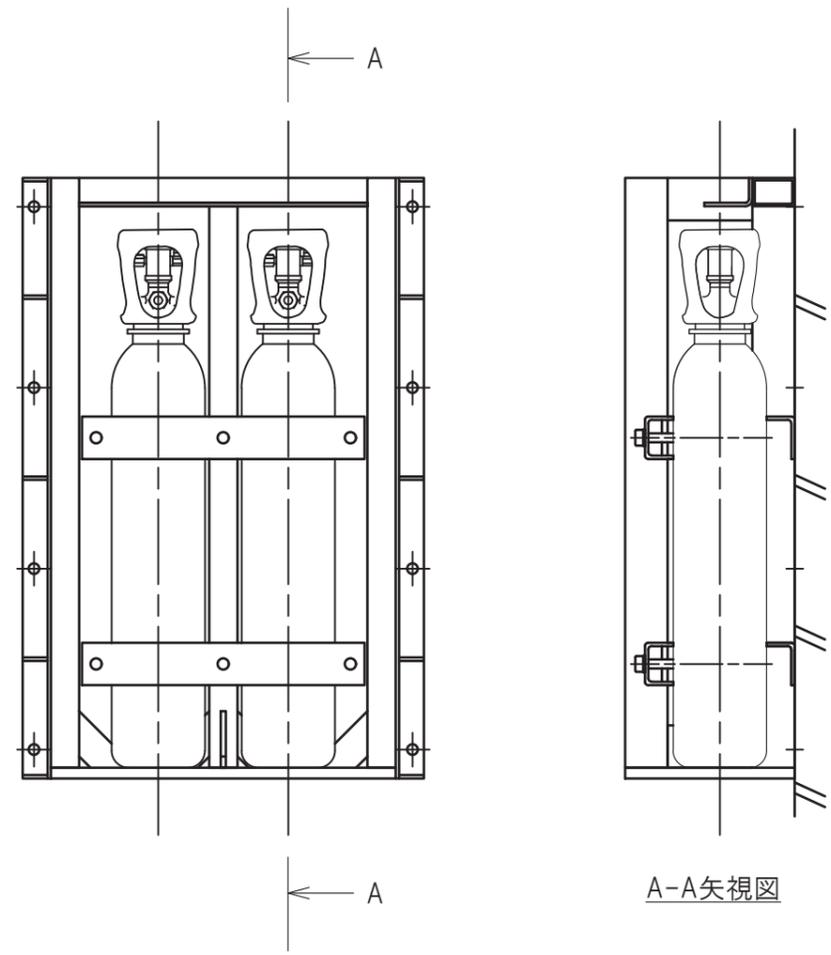
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

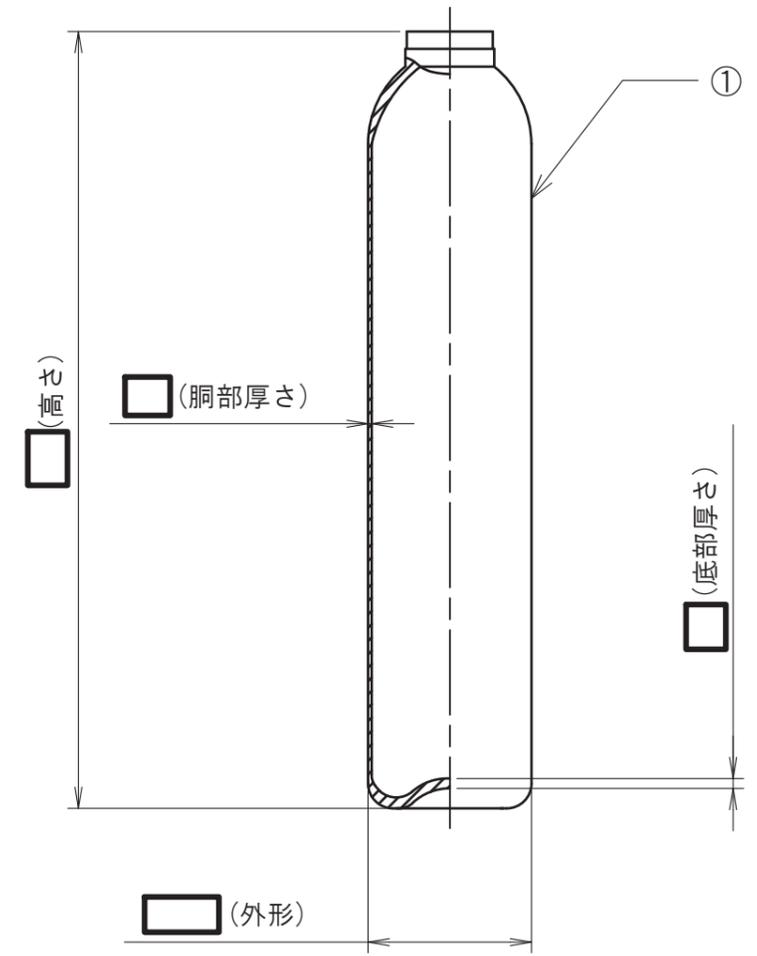
| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-34図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S101⑨用,C100⑰用及びC403⑰用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



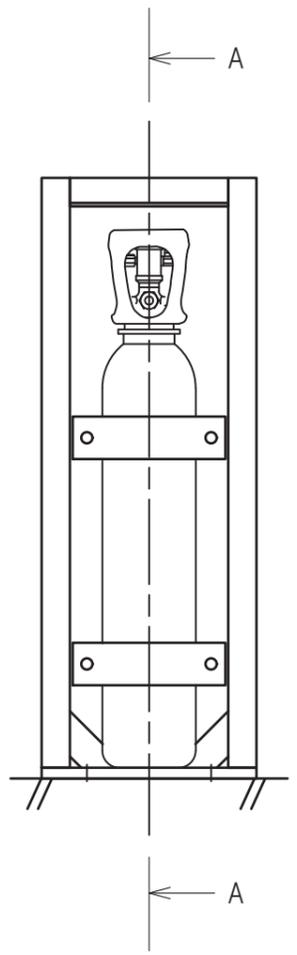
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

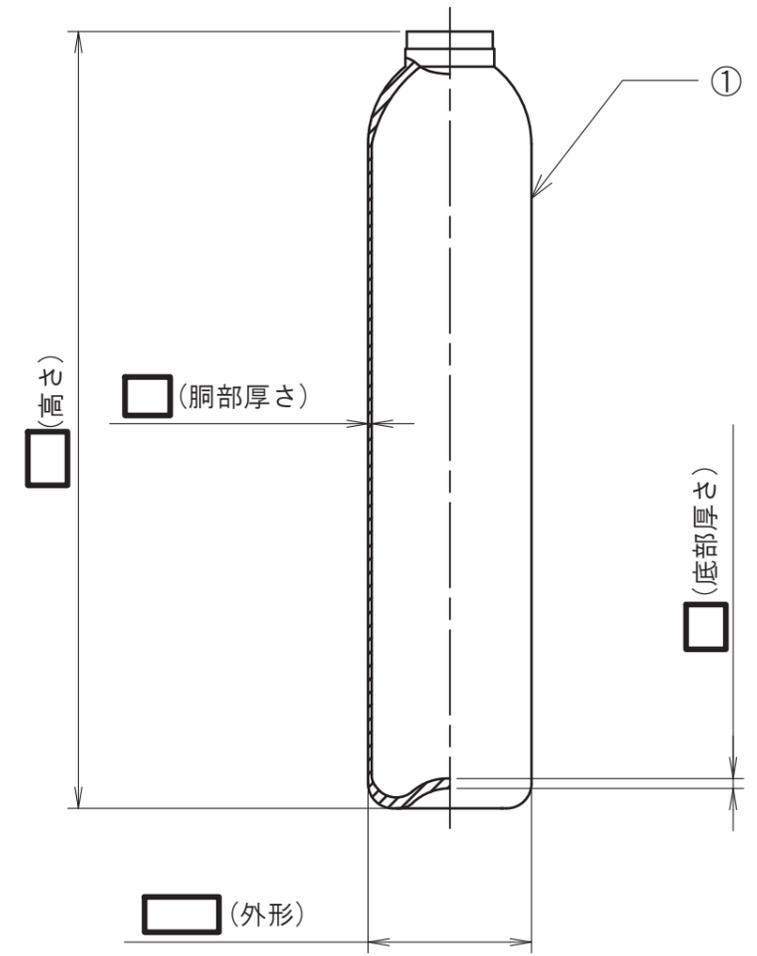
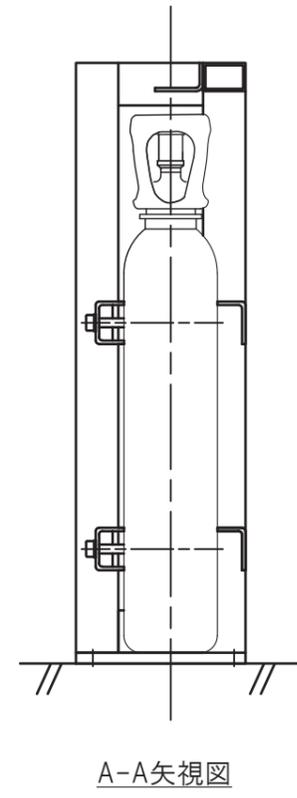
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-35図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S101⑦用及びS101⑧用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 1 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



1本ユニット設置



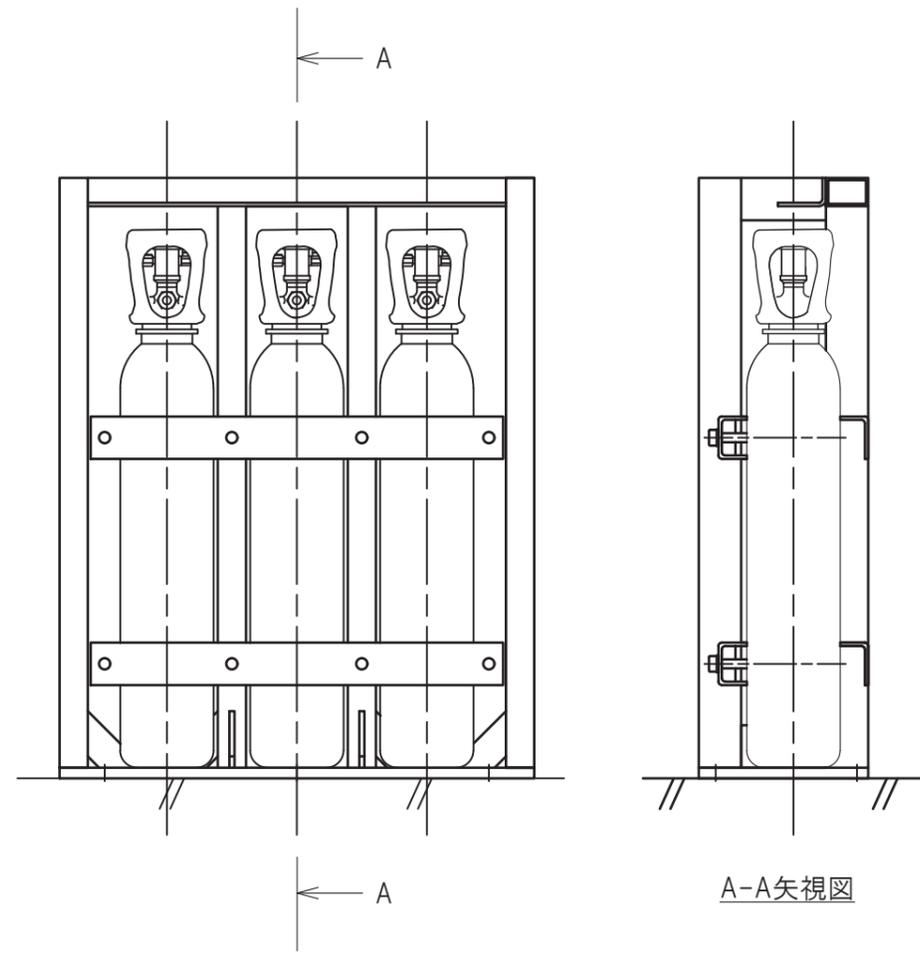
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

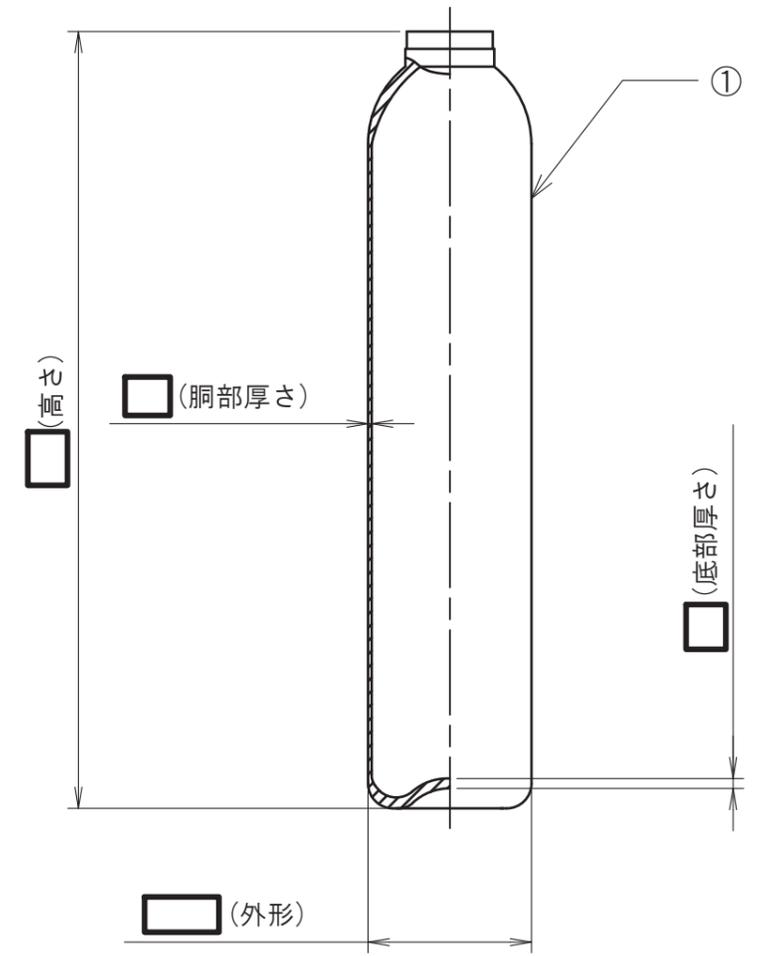
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-36図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (P403⑬,C403⑮,C100⑰用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



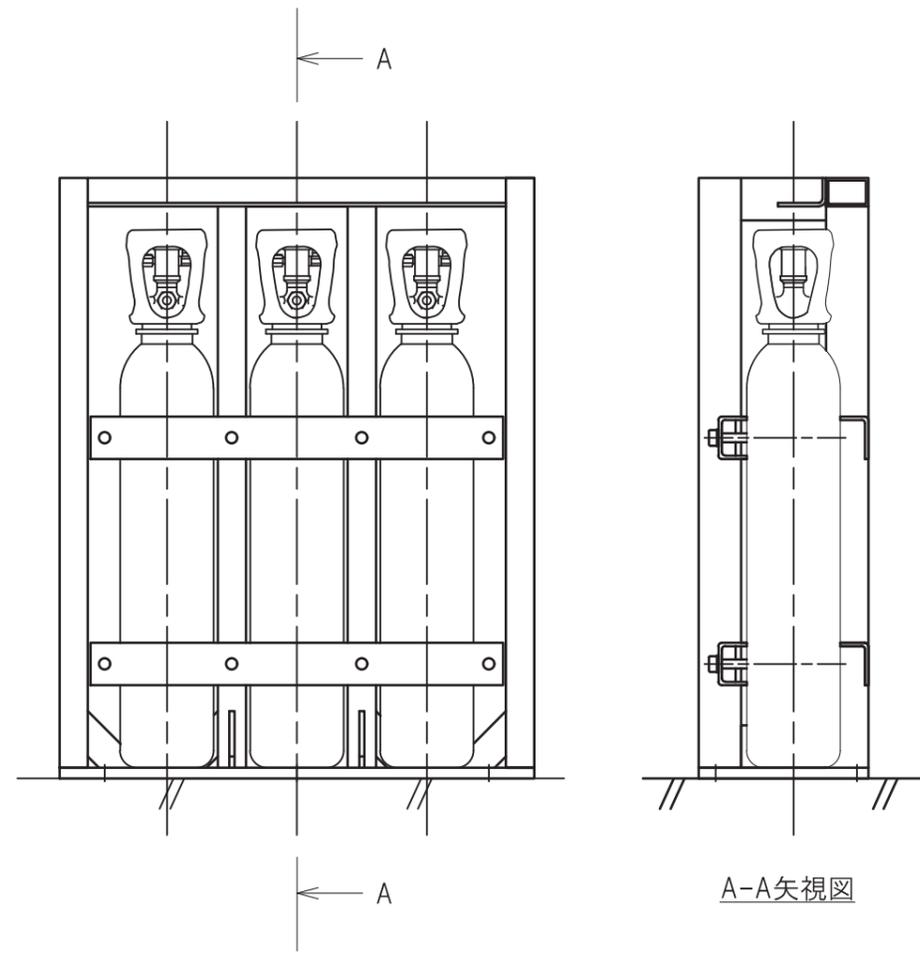
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

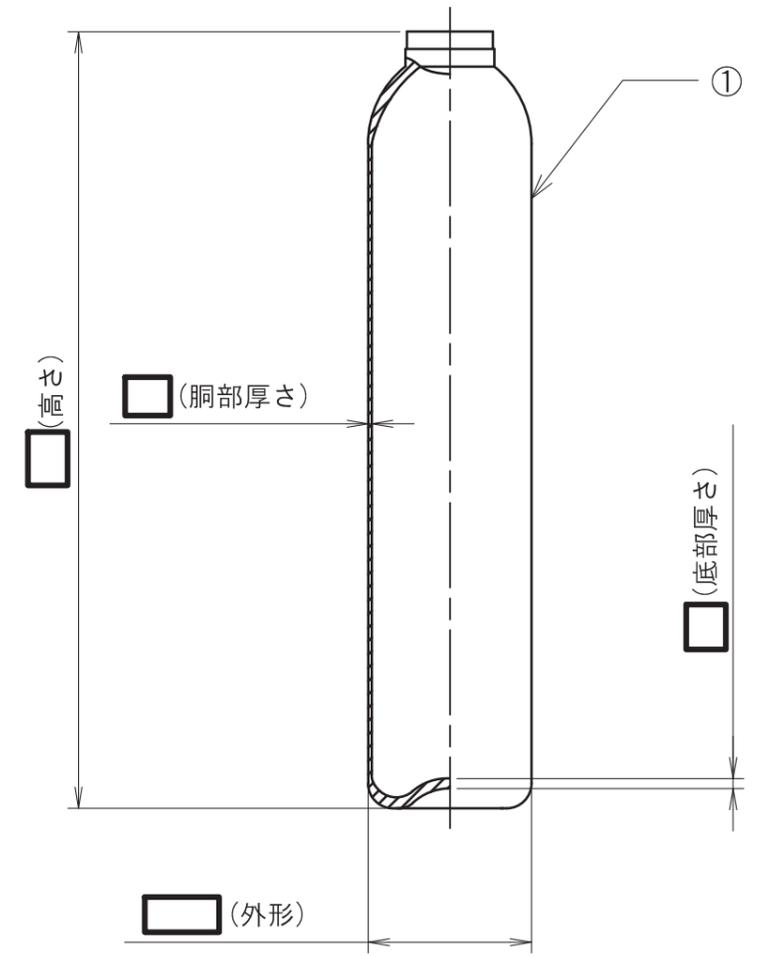
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-37図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 | ケーブルトレイ消火系 構造図 |
| 称 | FK-5-1-12貯蔵容器 (P403①,C403③,C100③用, P403②,C403④,C100④用及びC403⑥,C100⑥用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



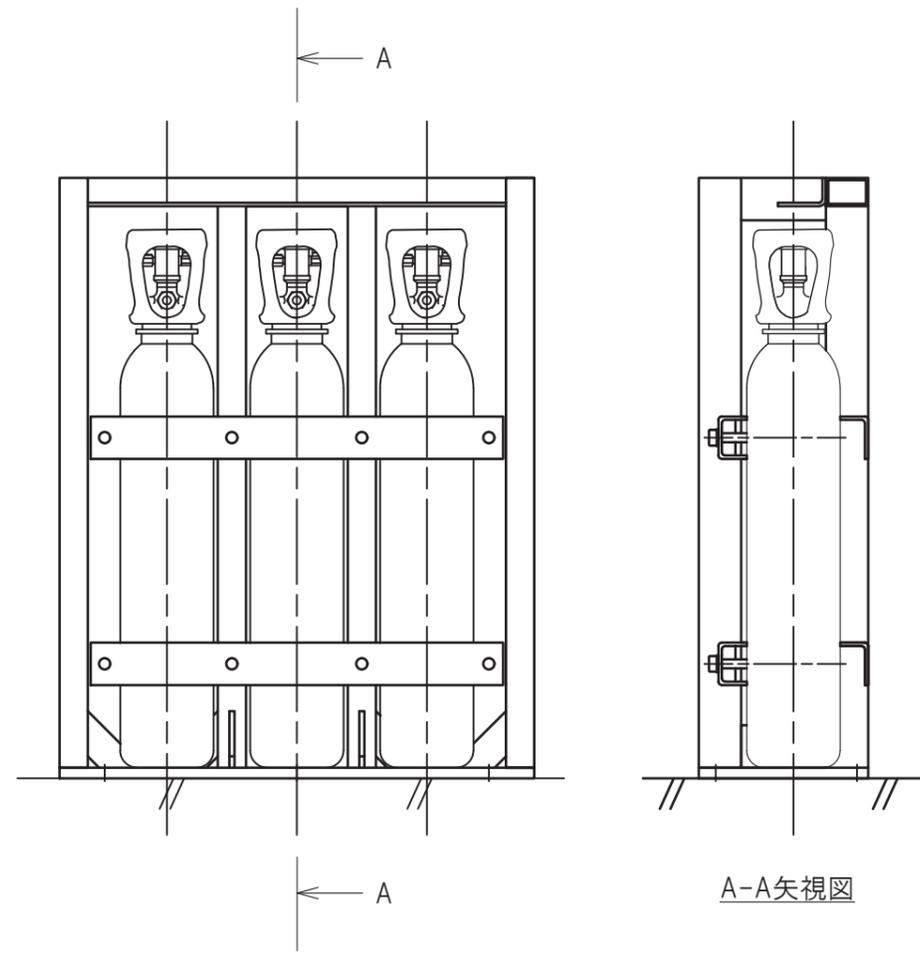
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

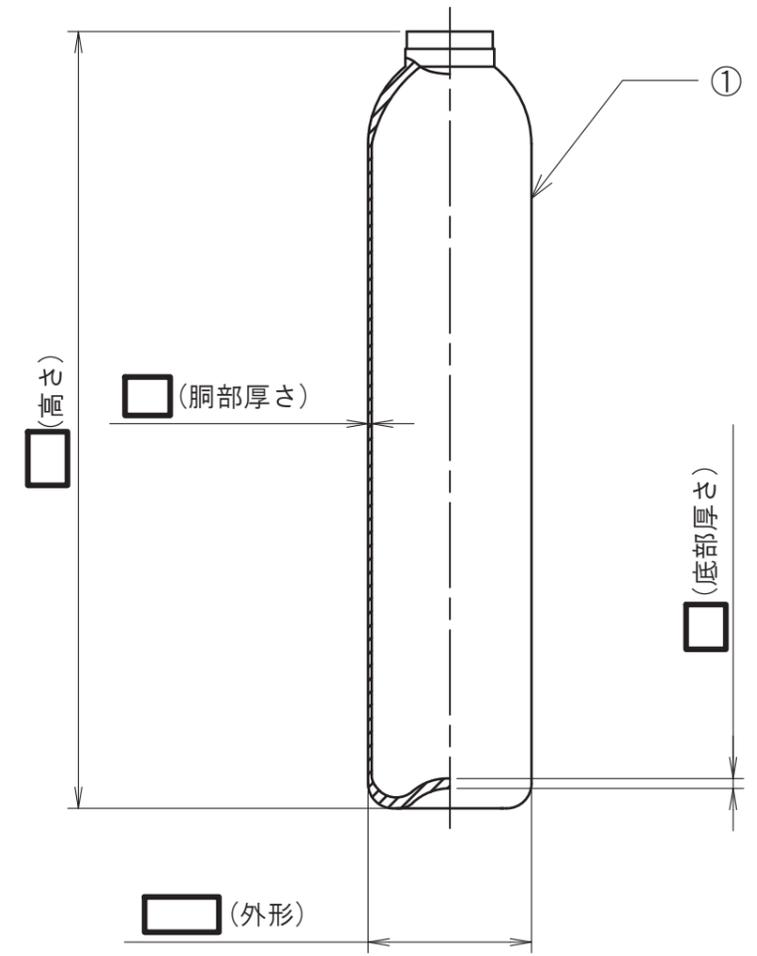
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-38図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (P403⑨,C403⑩,C100⑪ 用,S101⑥用及びP403⑫,C403⑬,C100⑭用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| 1618 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



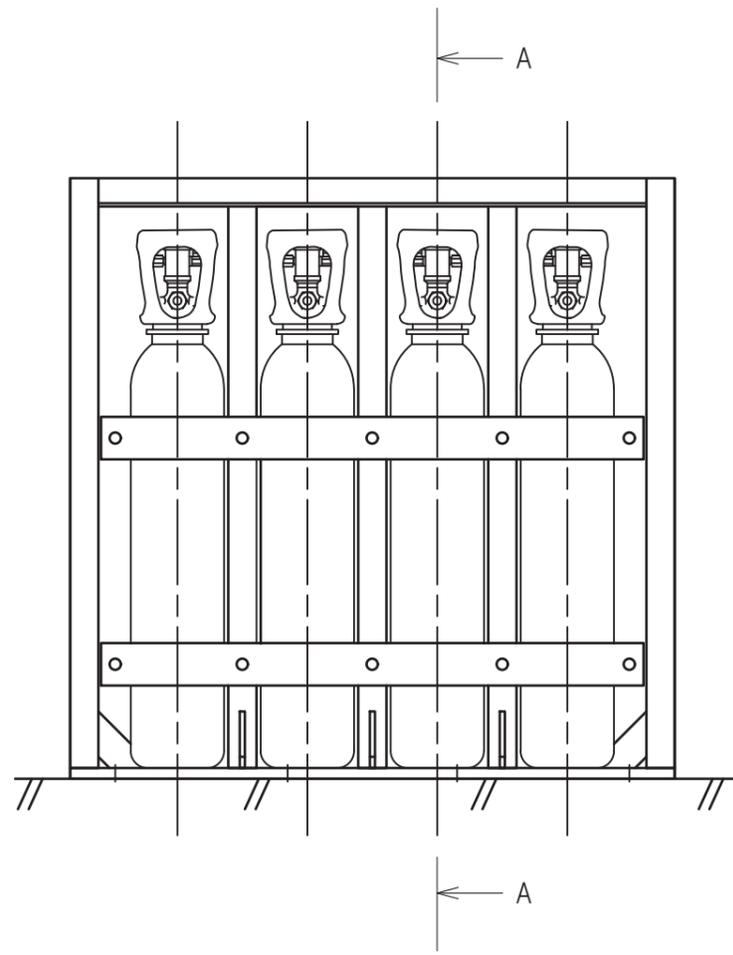
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

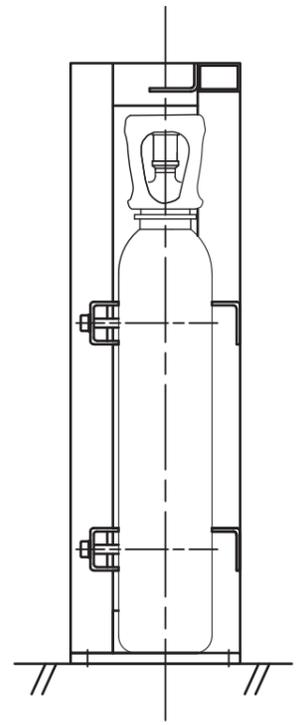
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-39図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (P503⑨,P202⑦ 用,C501⑧,C202⑥用及びS202⑥用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

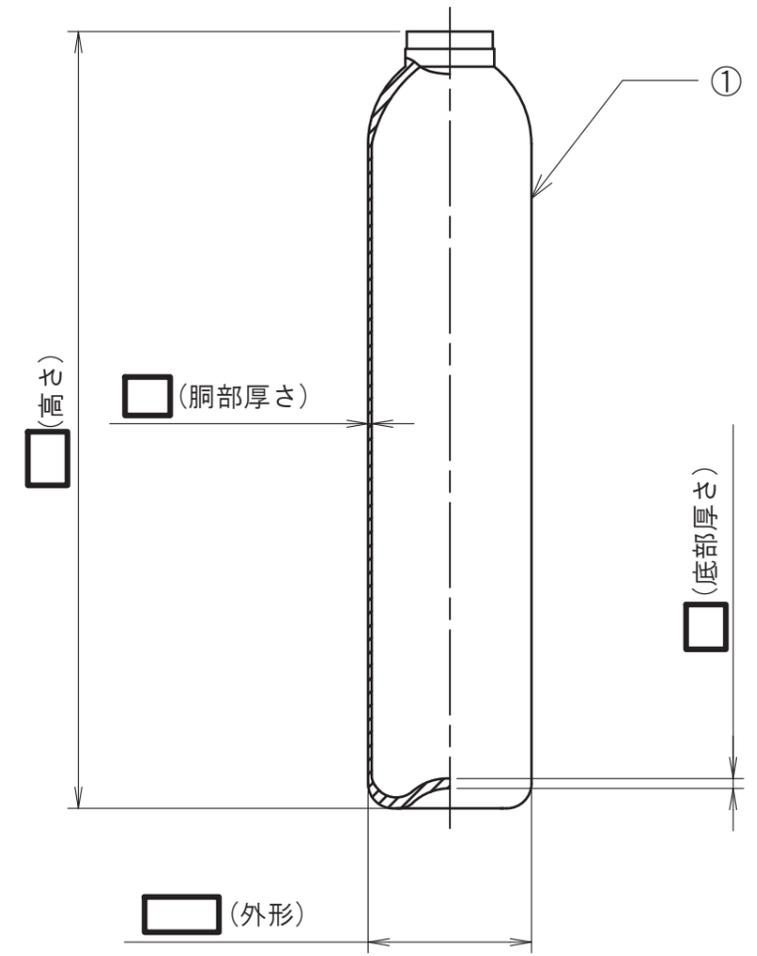
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 4 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



4本ユニット設置



A-A矢視図



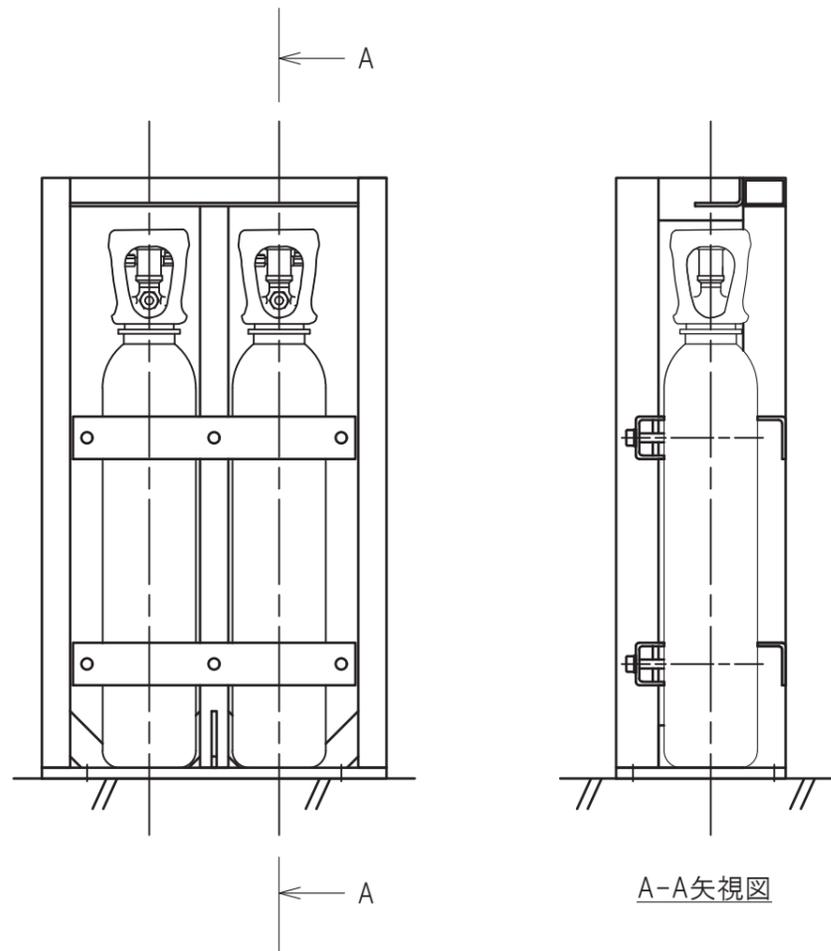
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

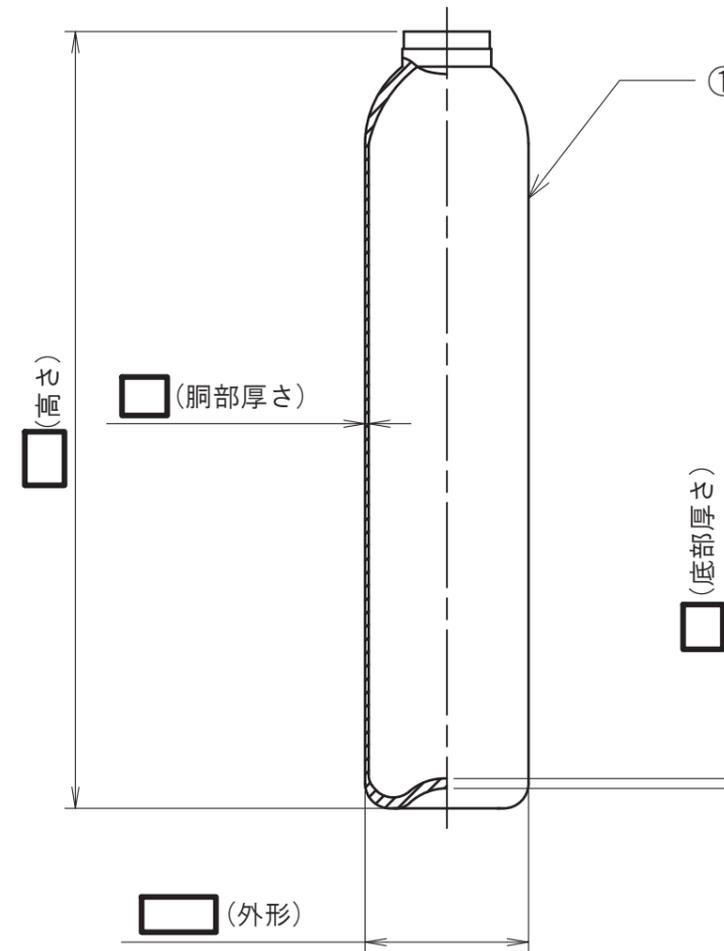
| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-40図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (P503①用,P503⑩, P202⑧用,C501⑨,C202⑦用及びS202⑦用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



FK-5-1-12貯蔵容器

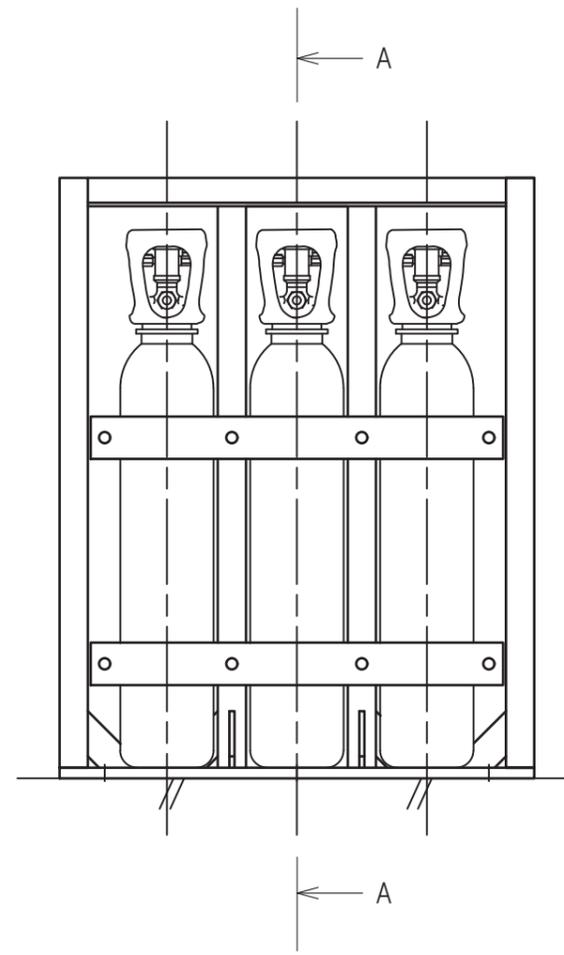
注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-41図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (C501①,C202⑨ 用及びP503⑫,P202⑩用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |

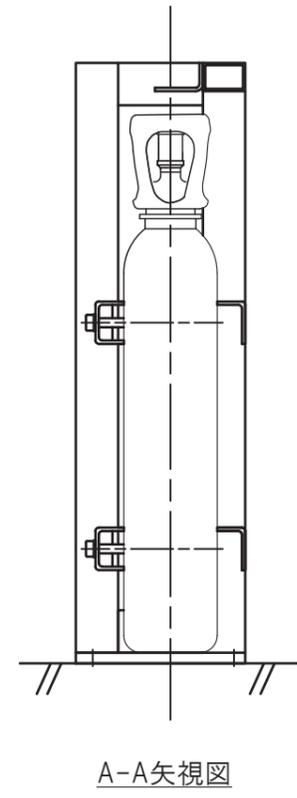
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

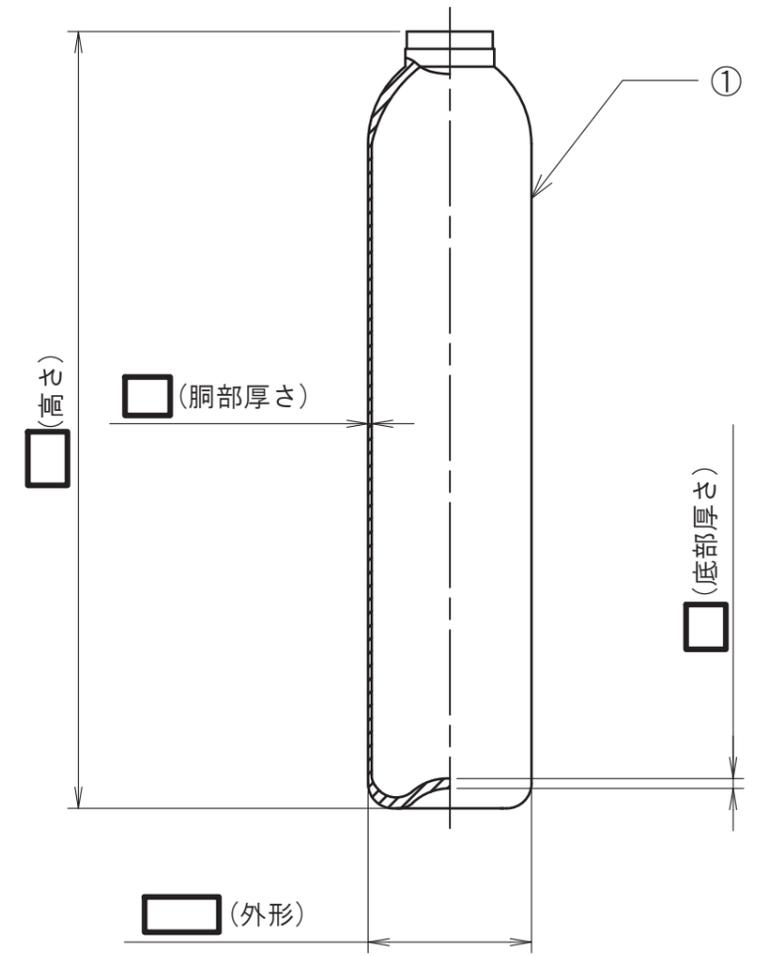
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



A-A矢視図



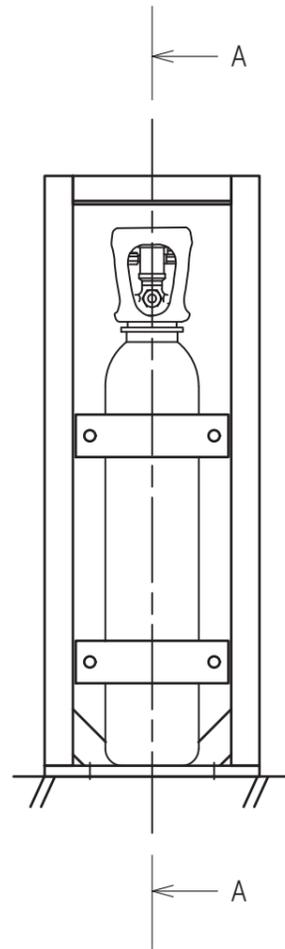
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

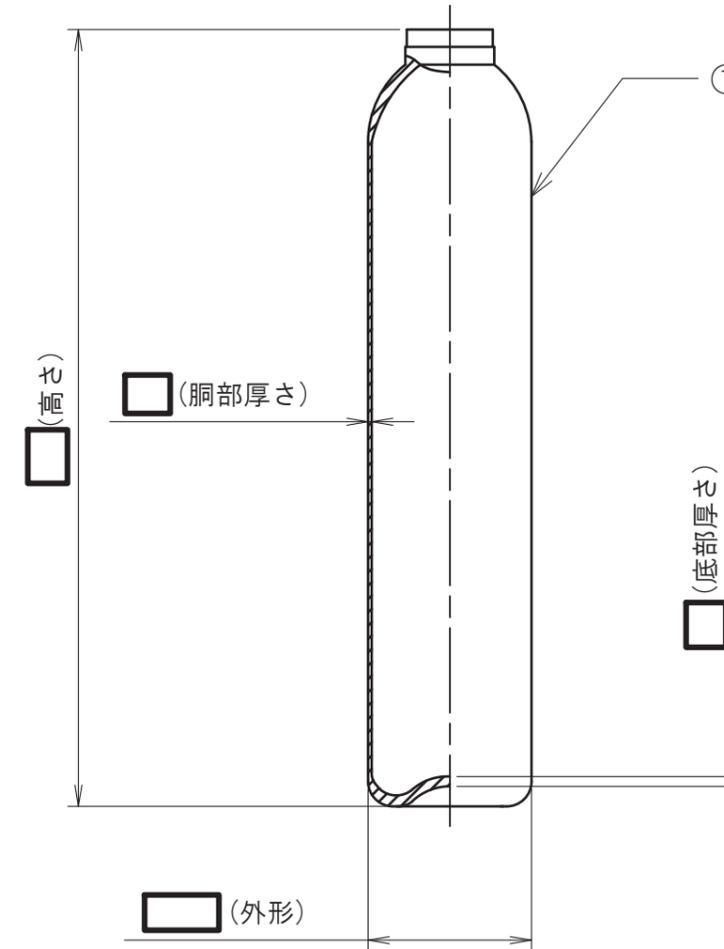
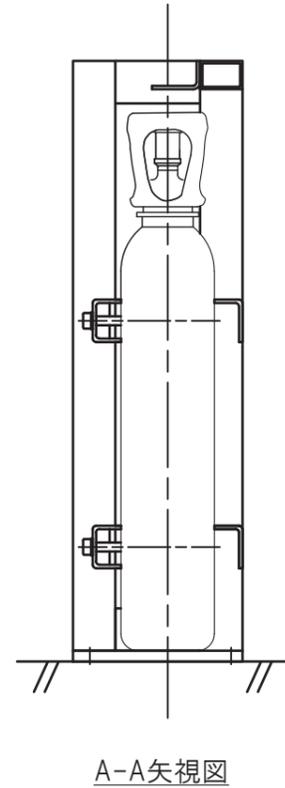
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-42図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S202⑧用,P202⑨,C501⑩,C202⑧用及びP202⑪,C501⑫,C202⑩用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 1 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



1本ユニット設置



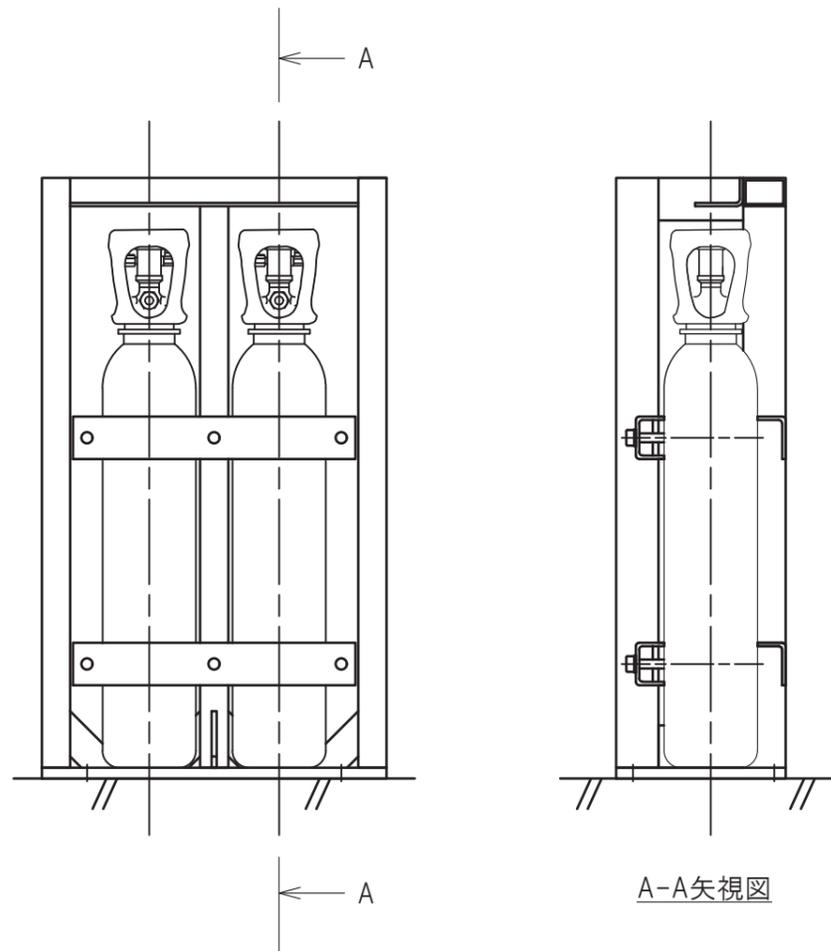
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

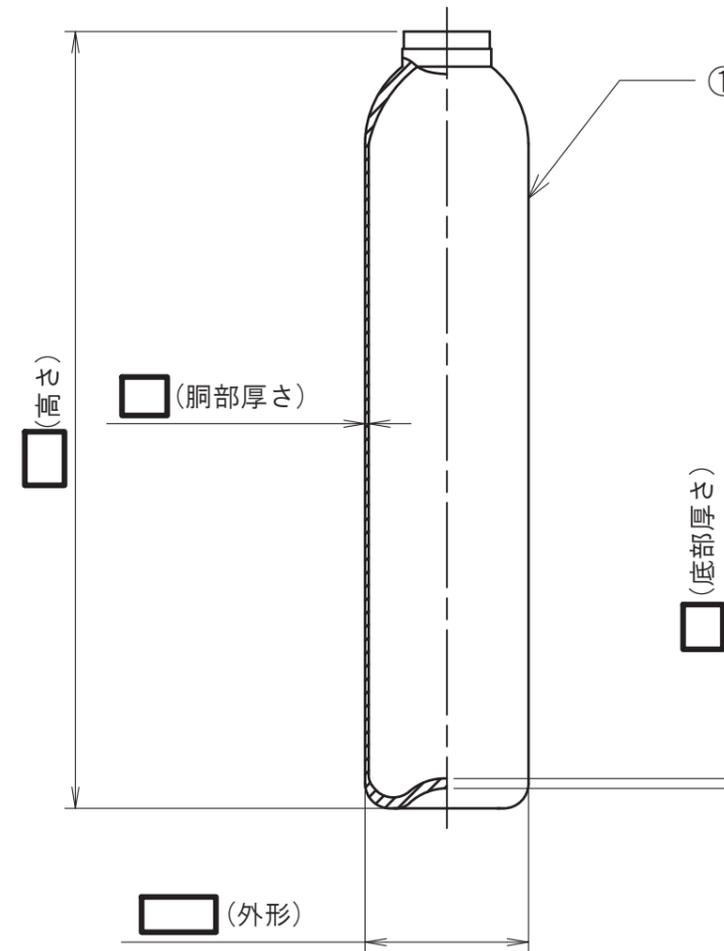
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-43図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S709①用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



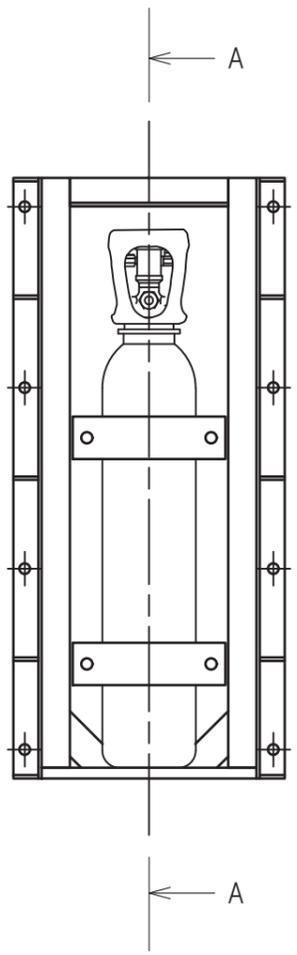
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

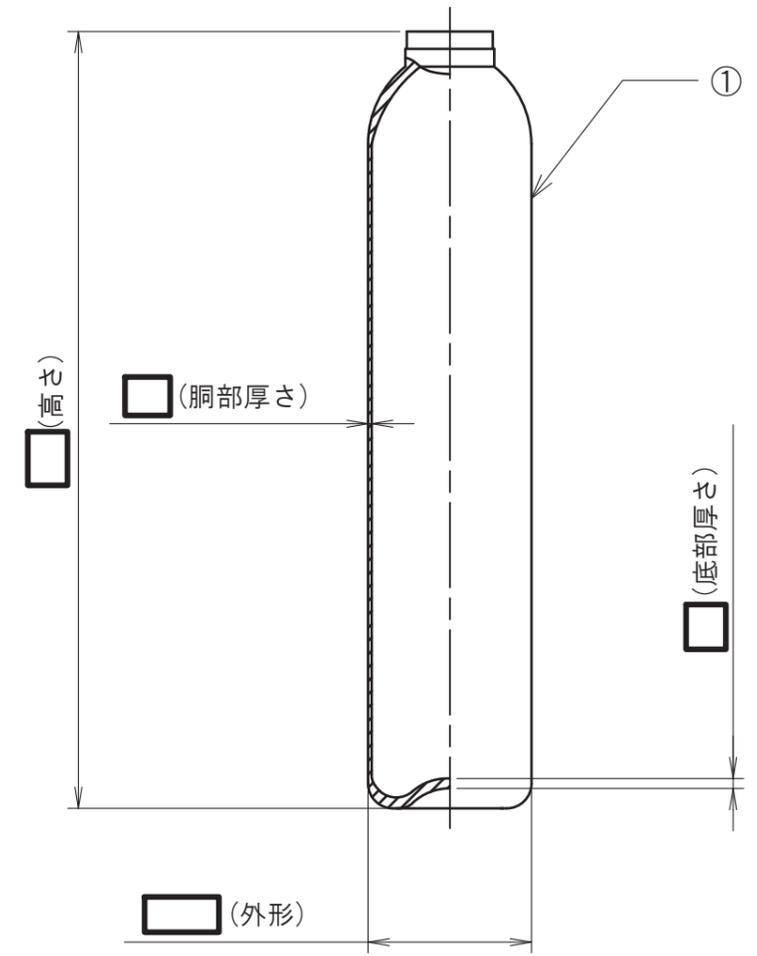
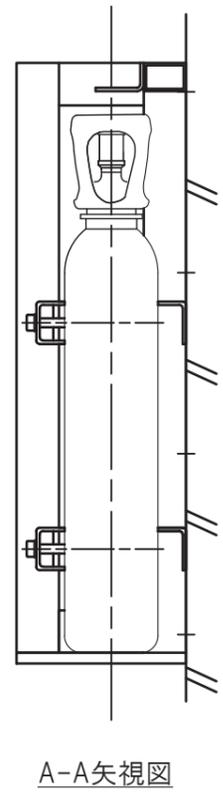
| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-44図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S708用及びC403(24),C809用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 1 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



1本ユニット設置



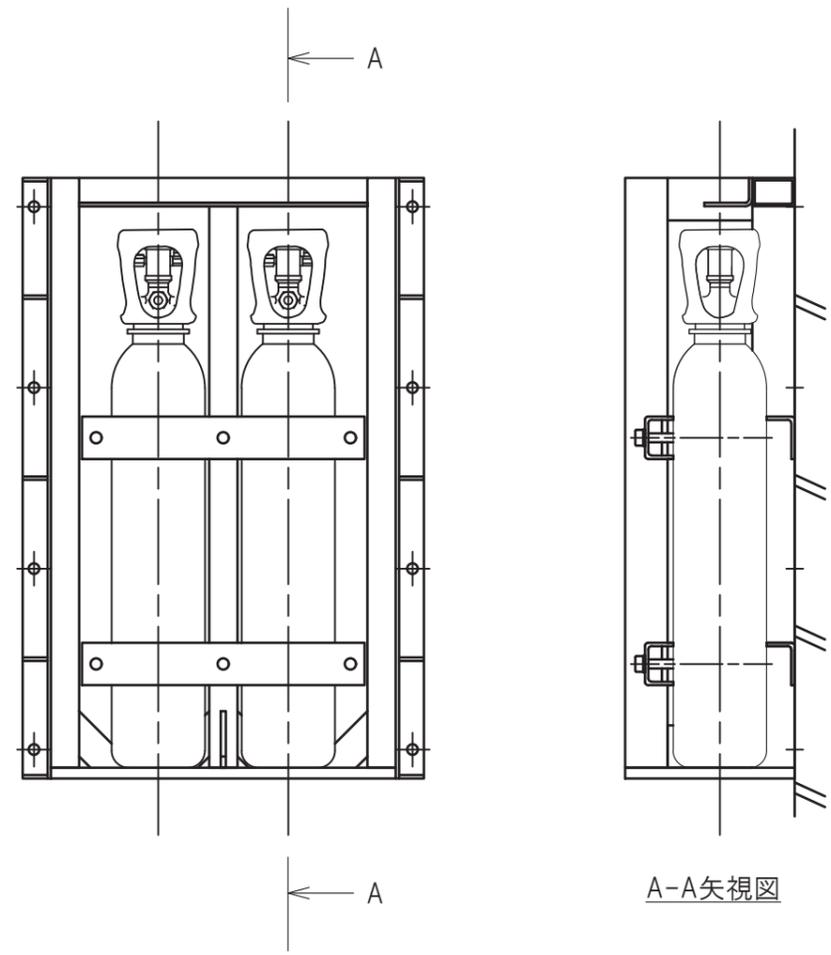
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

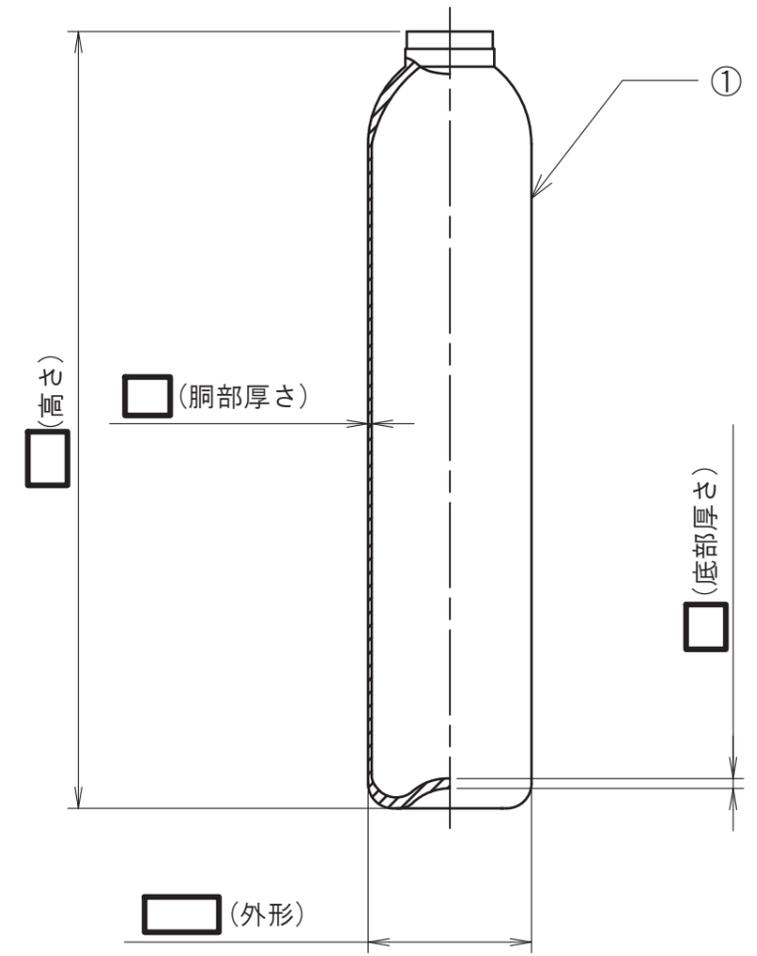
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-45図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (P101⑨,C403⑳,C100㉔用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



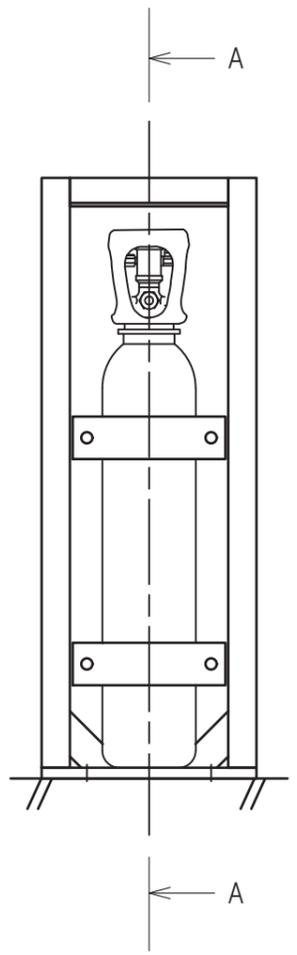
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

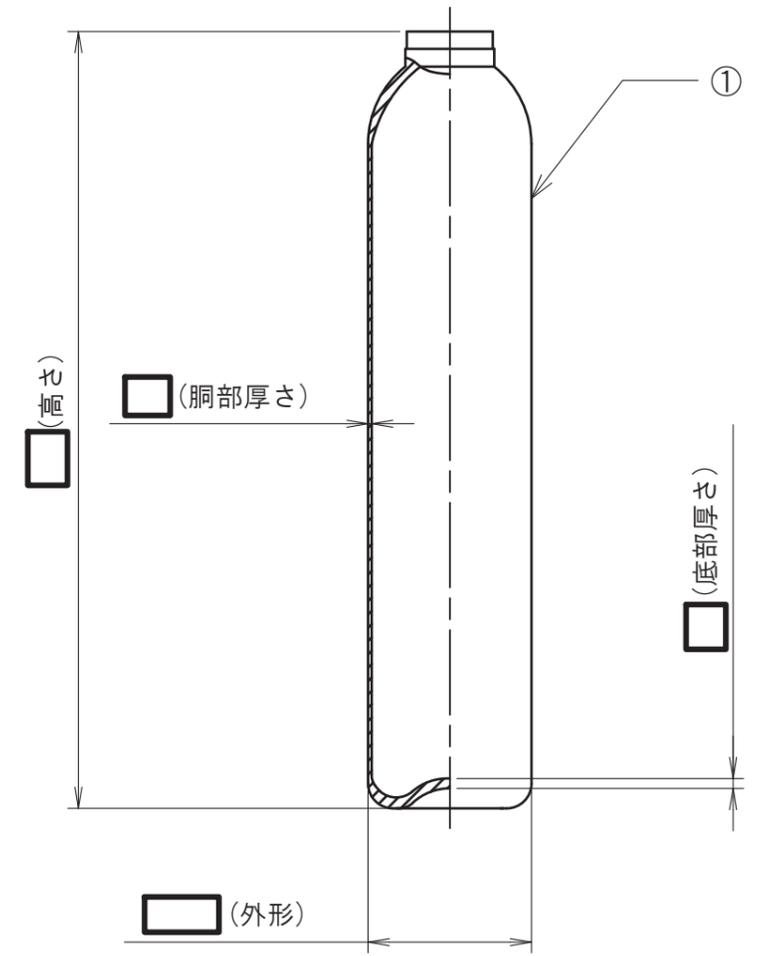
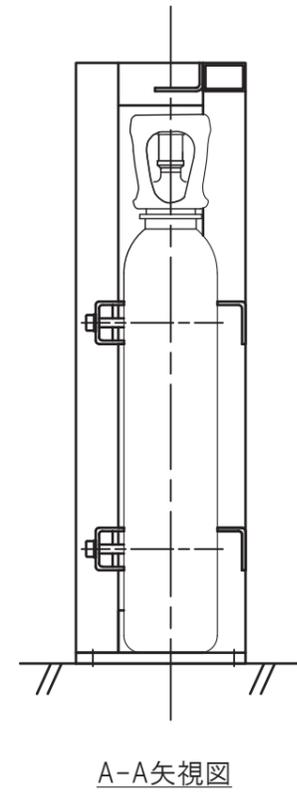
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-46図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (P101⑩,C403②, C100②)用及びS101⑬,S709②用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 1 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



1本ユニット設置



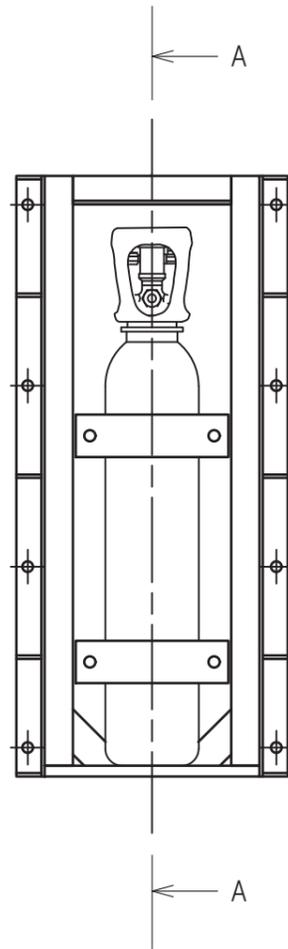
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

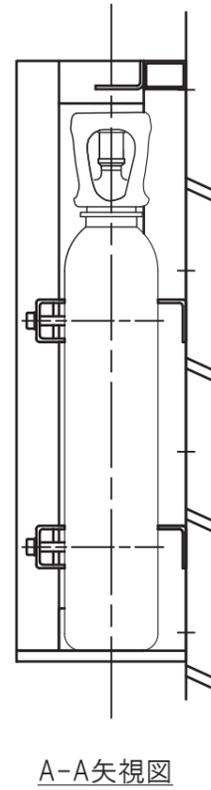
| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-47図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (P201①,C201用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

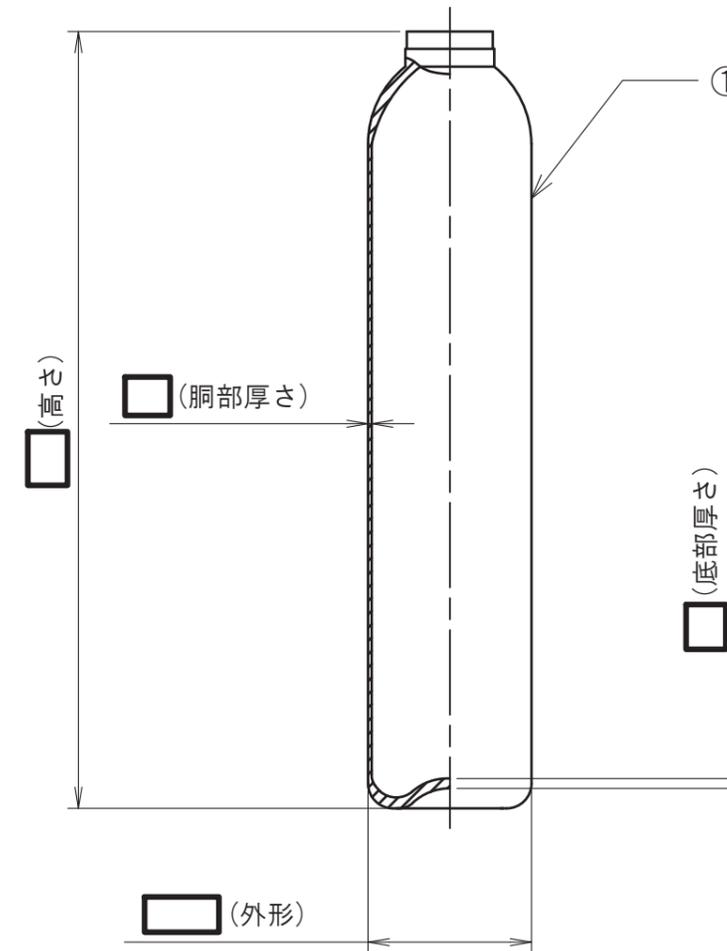
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 1 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



1本ユニット設置



A-A矢視図



FK-5-1-12貯蔵容器

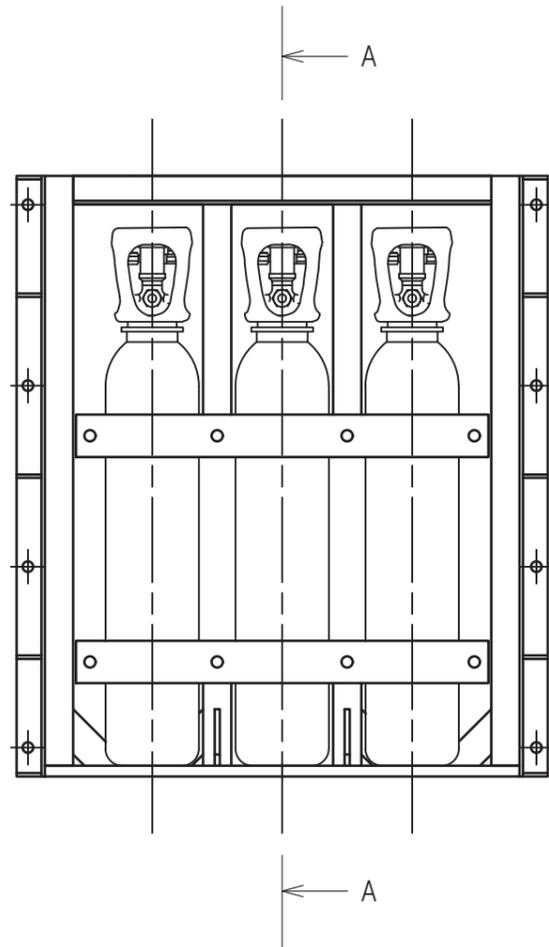
注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-48図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (P701⑨,P700⑨,P610⑥用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |

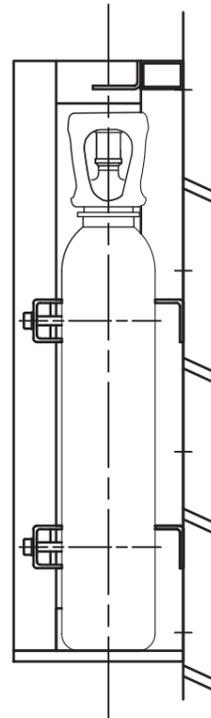
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

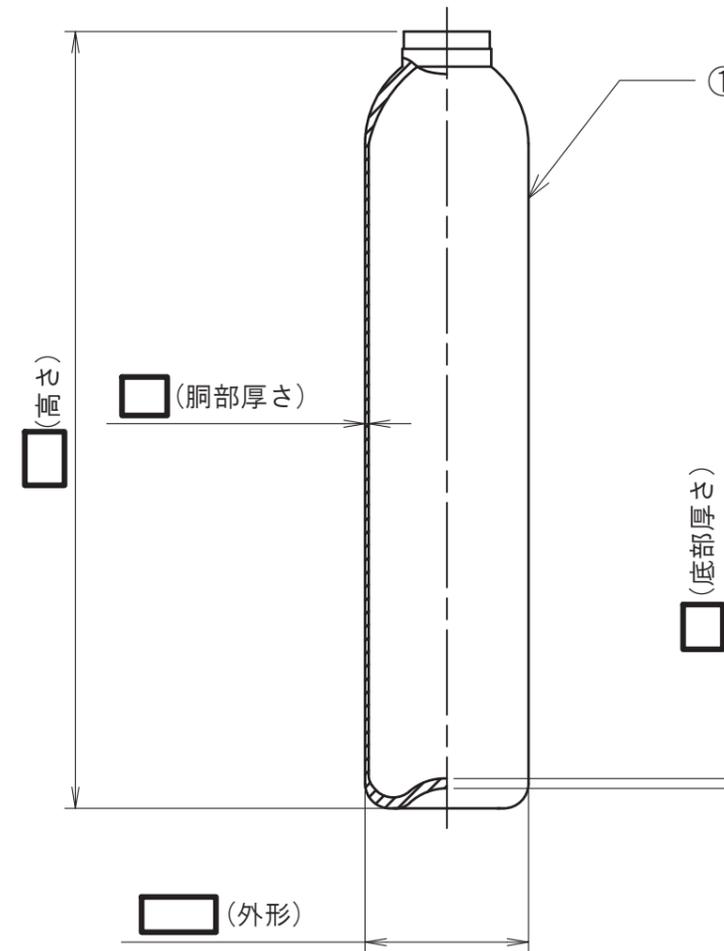
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



A-A矢視図



FK-5-1-12貯蔵容器

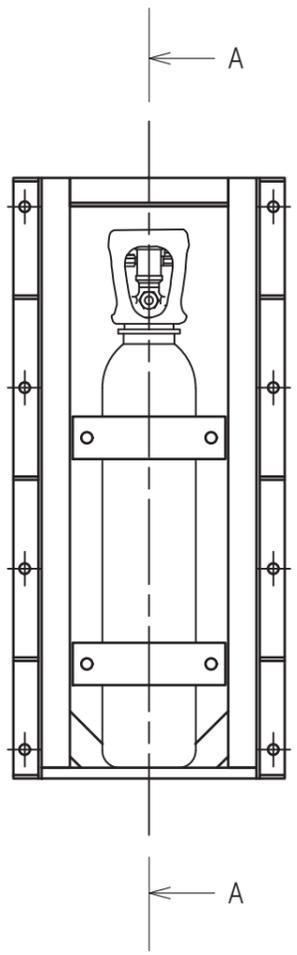
注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-49図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (K702⑧,K706⑧用, K602②用及びP602⑥,C606④,C601②用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |

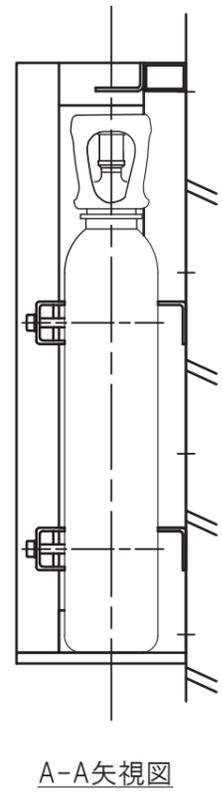
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

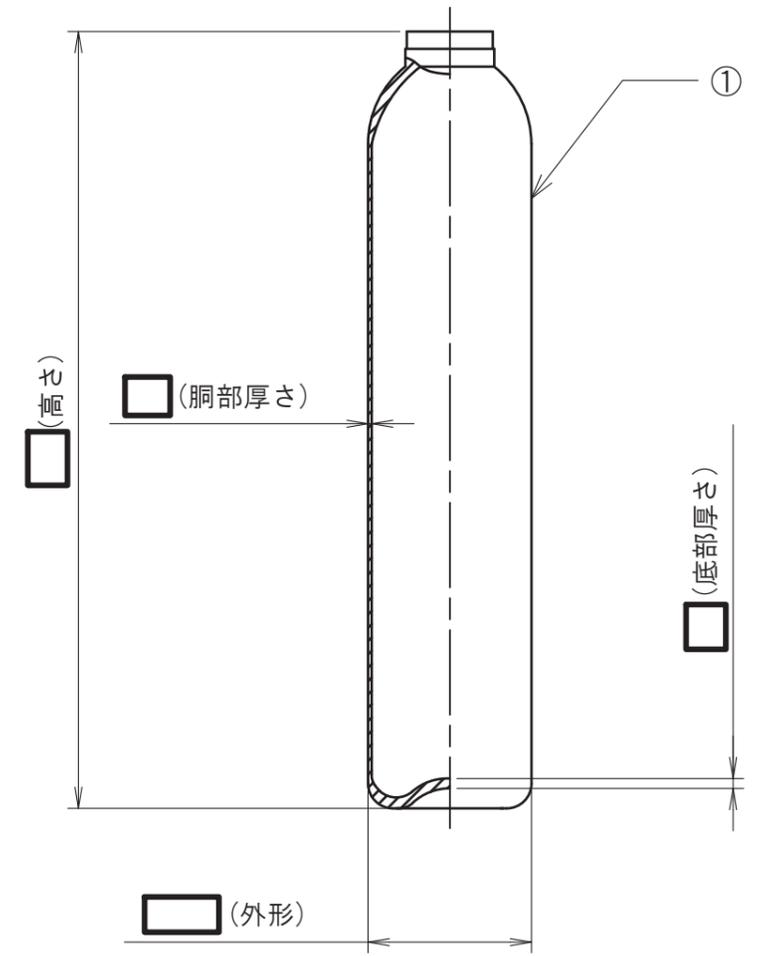
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 1 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



1本ユニット設置



A-A矢視図



FK-5-1-12貯蔵容器

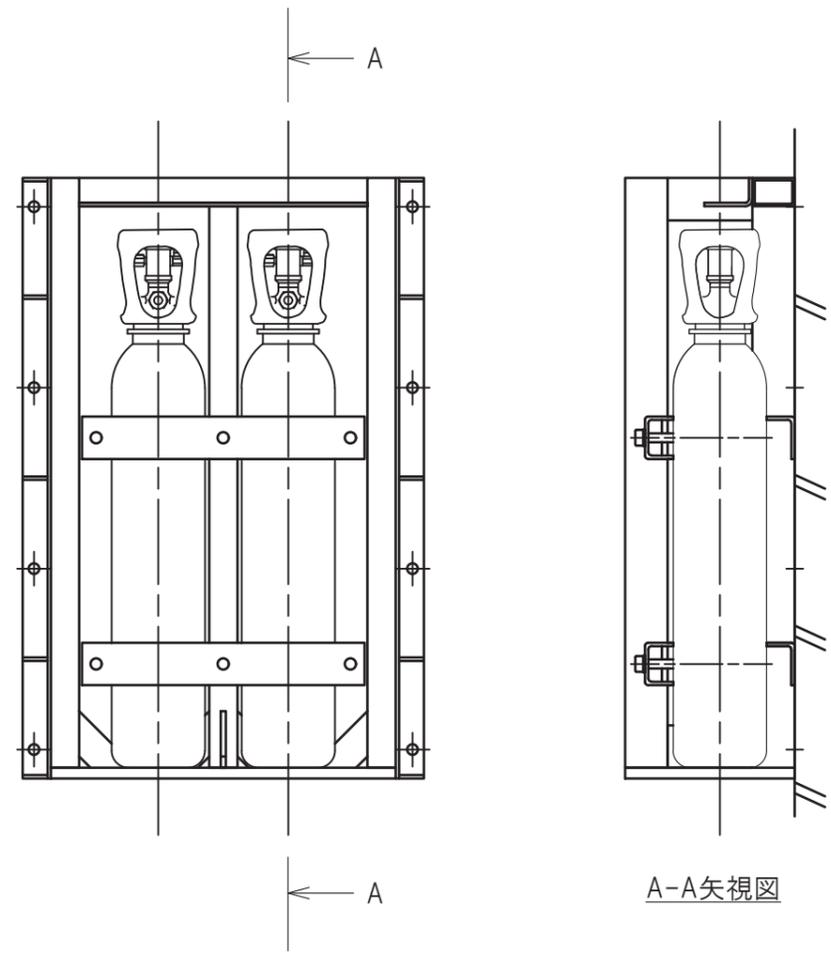
注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-50図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (P701⑧,P700⑧,P610⑤用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |

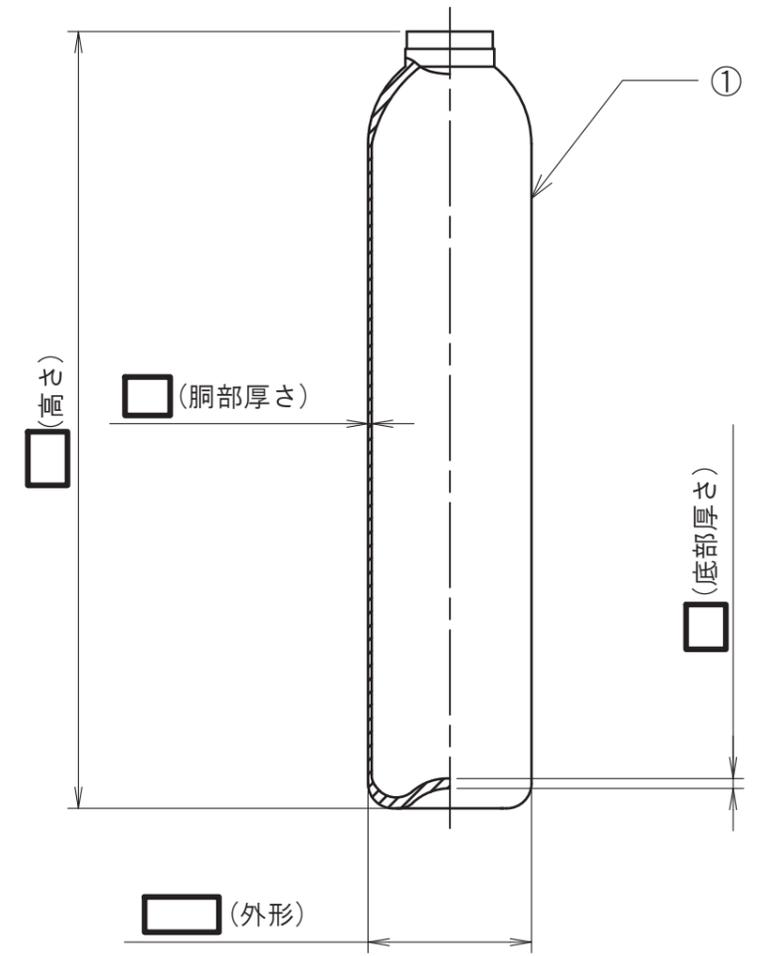
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



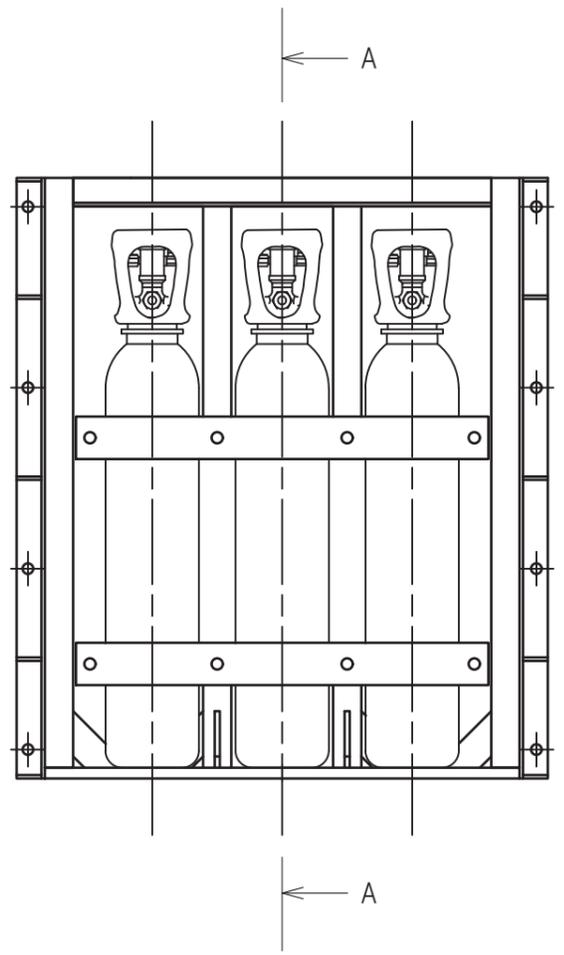
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

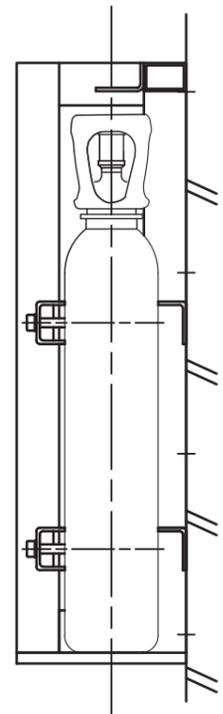
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-51図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (C606③用及びS602③用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

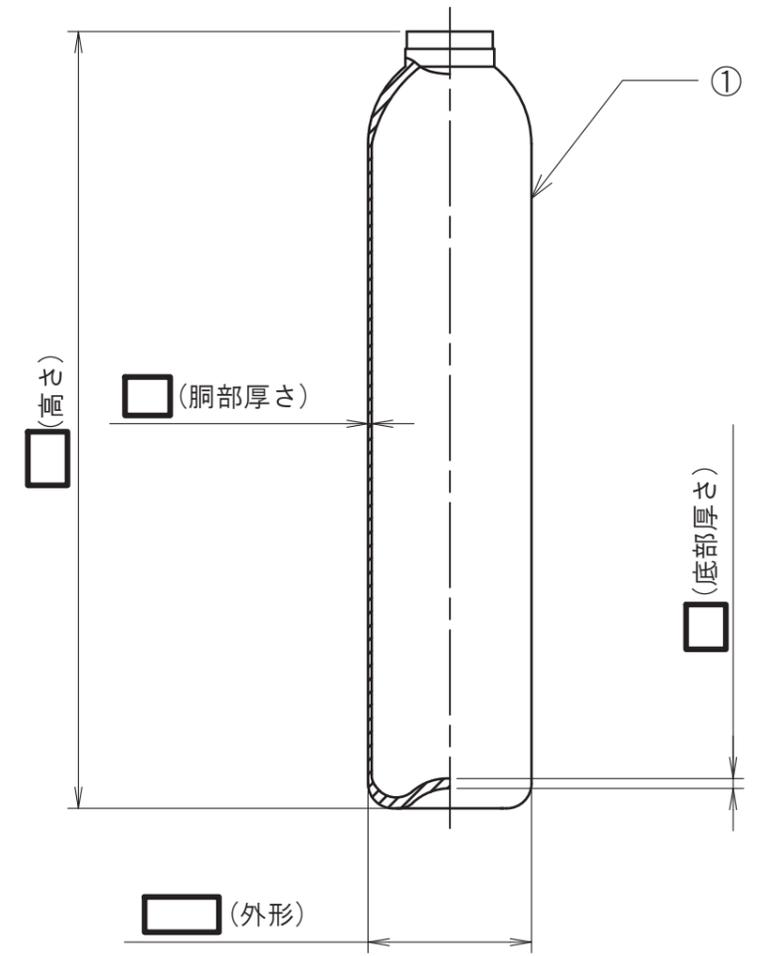
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



A-A矢視図



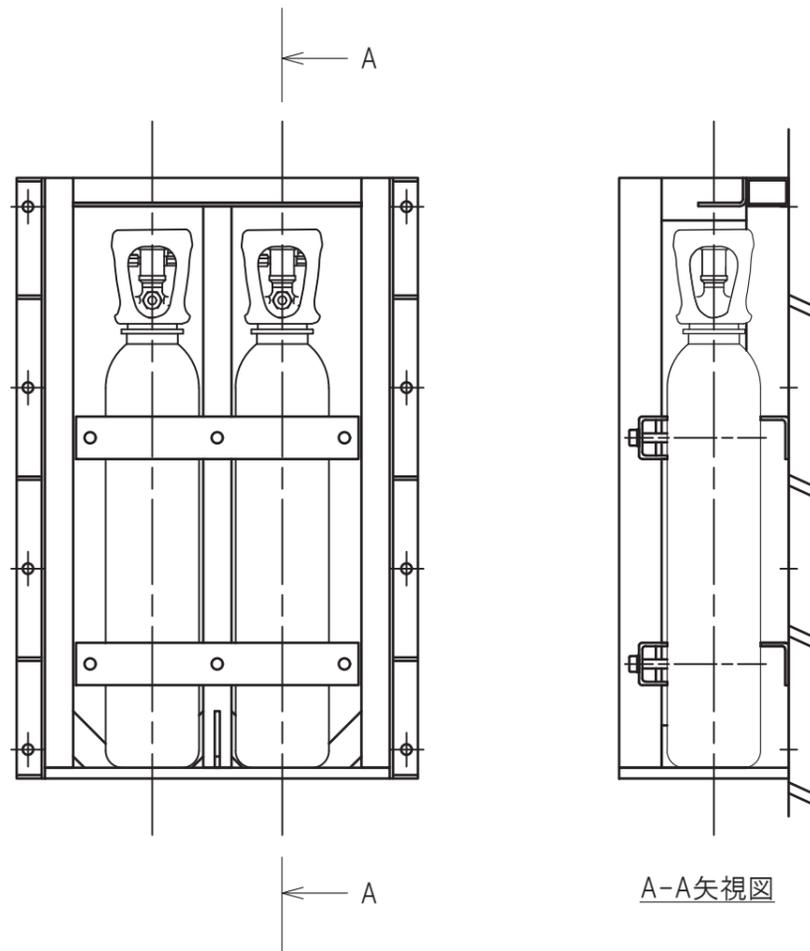
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

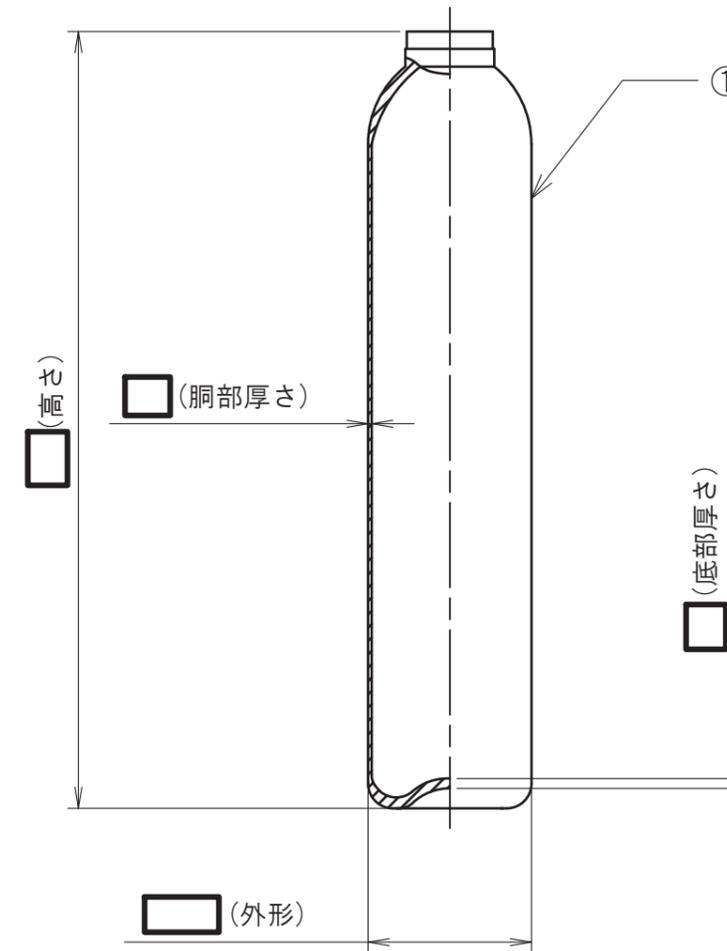
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-52図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (K702⑦,K706⑦,P701⑦ 用,P700⑦,P610④,P602④用及びP602⑤用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



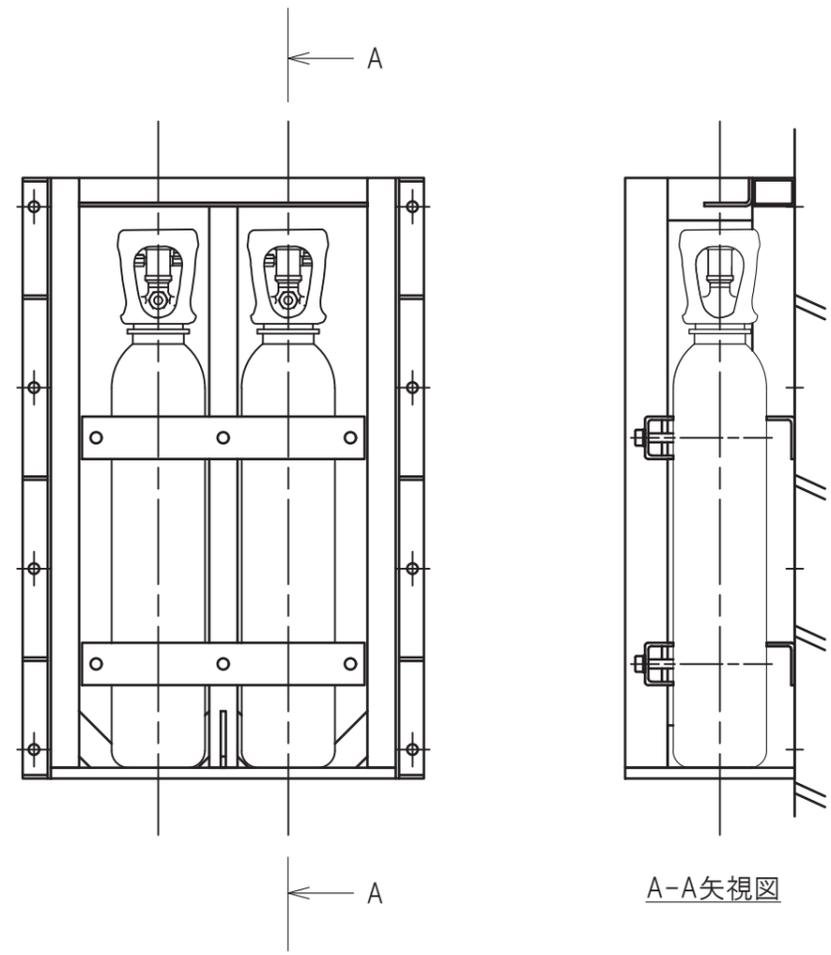
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

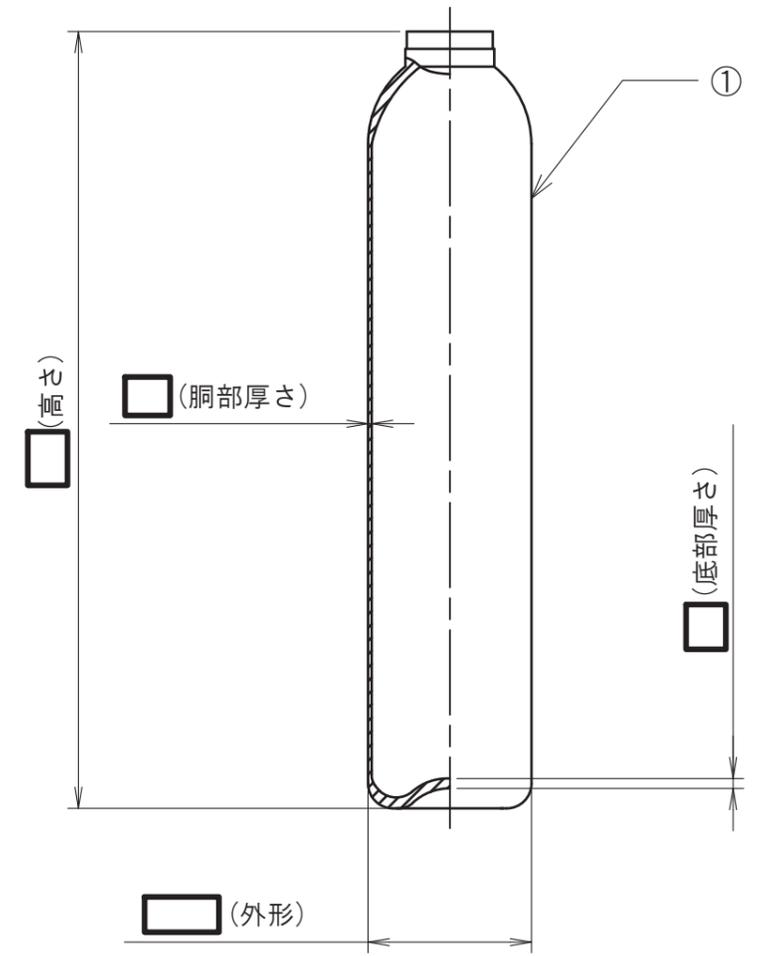
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-53図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器(K702⑥,K706⑥, P701⑥用及びP700⑥,P610③,P602③用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



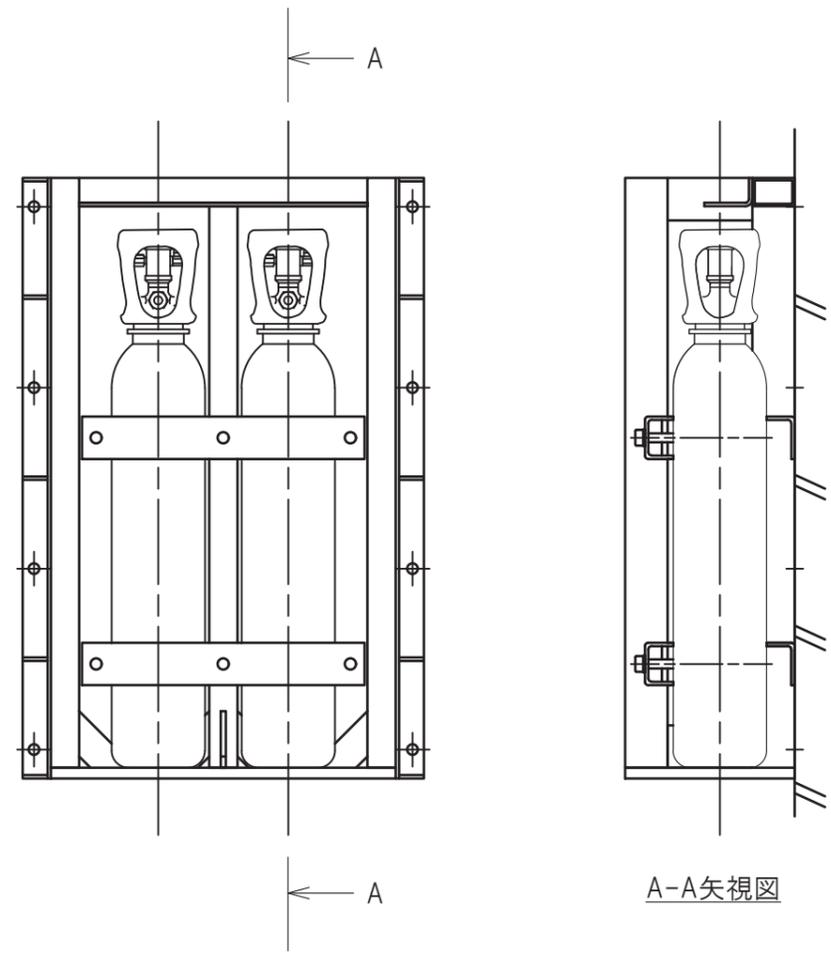
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

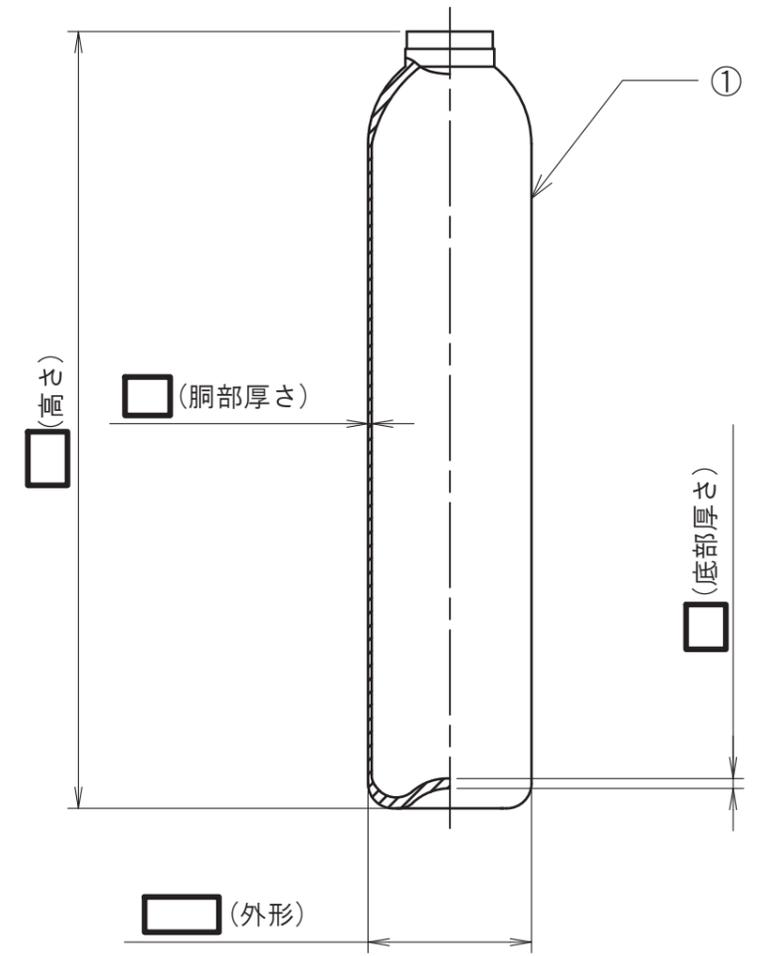
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-54図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (C606②用及びS602②用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



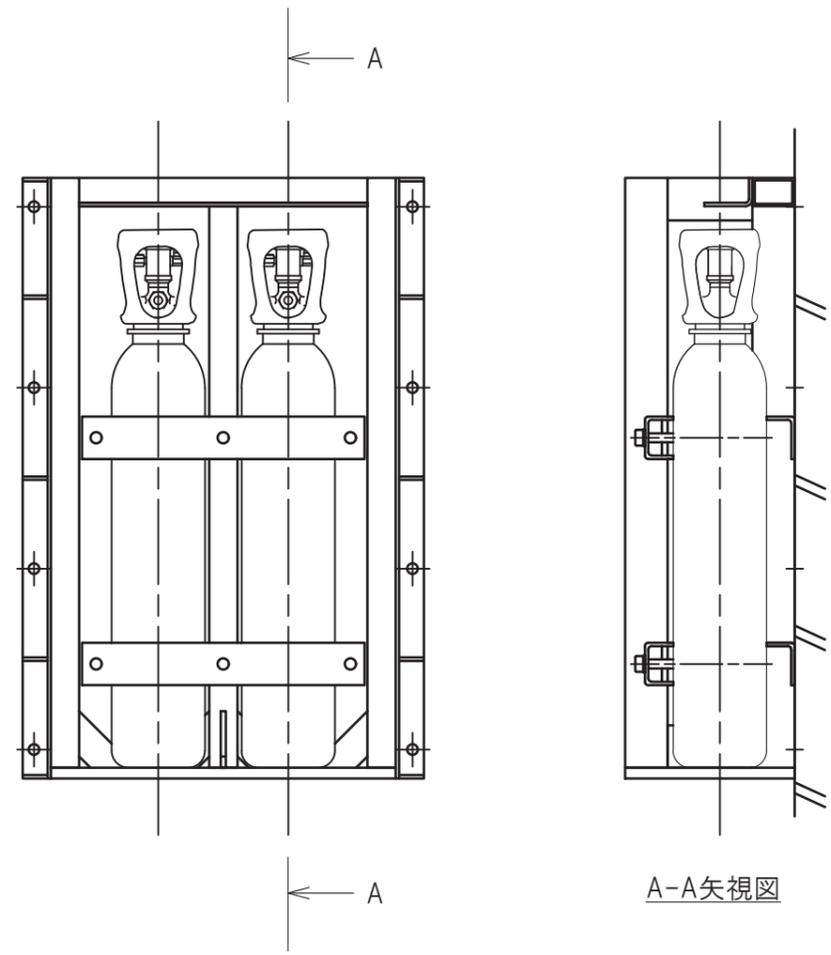
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

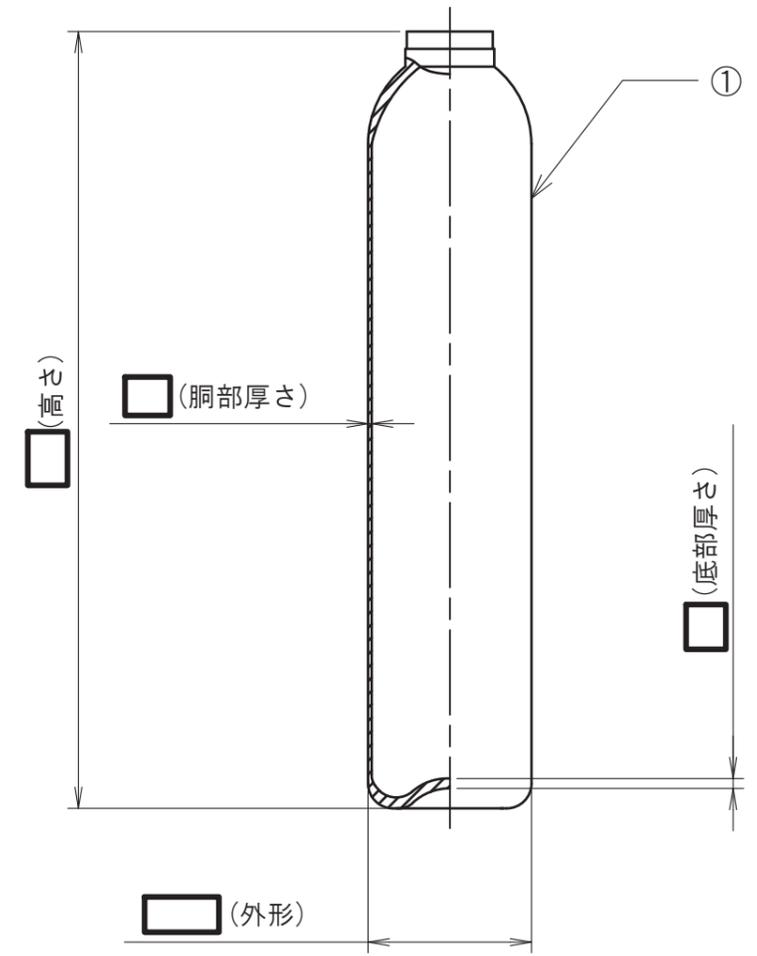
| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-55図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (K702⑤,K706⑤, P701⑤用及びP700⑤,P610②,P602②用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



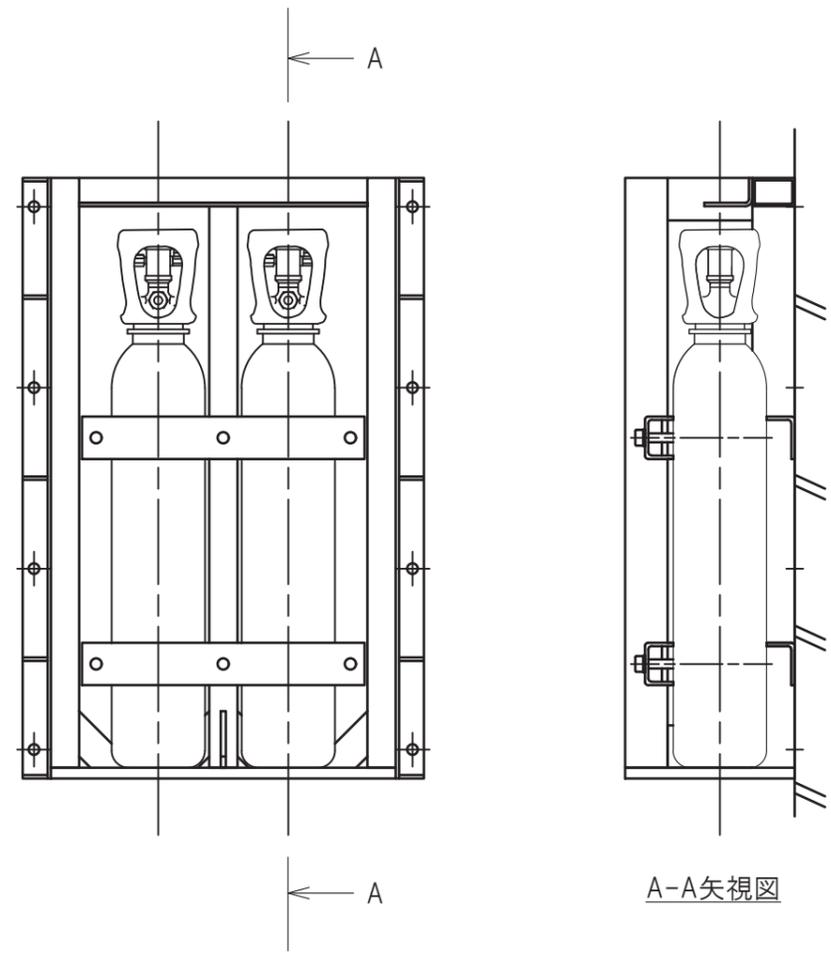
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

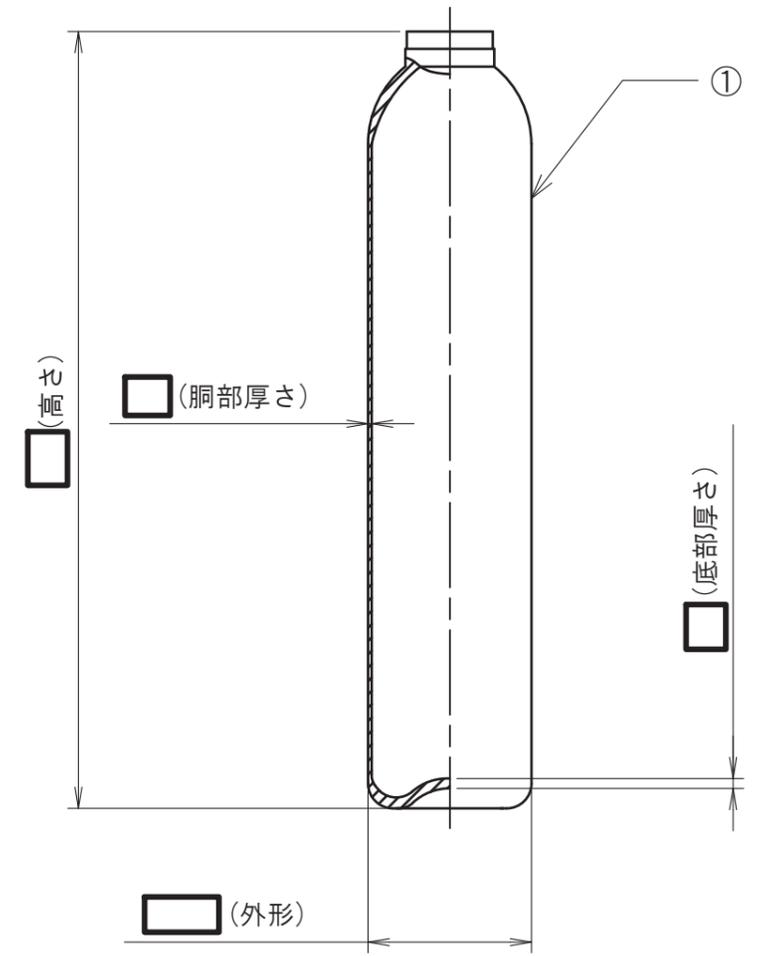
| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-56図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (K601,P600,P601用及びS601②用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



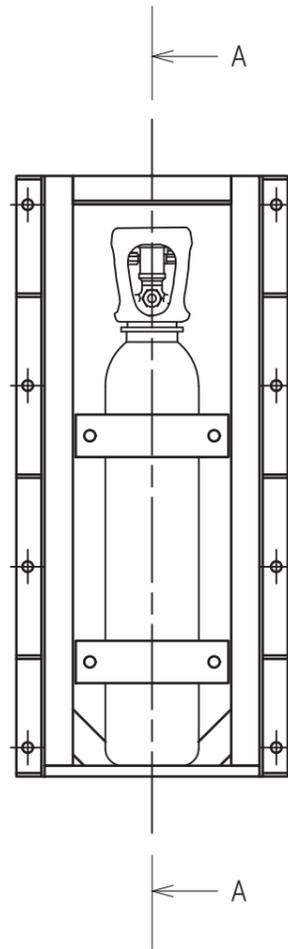
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

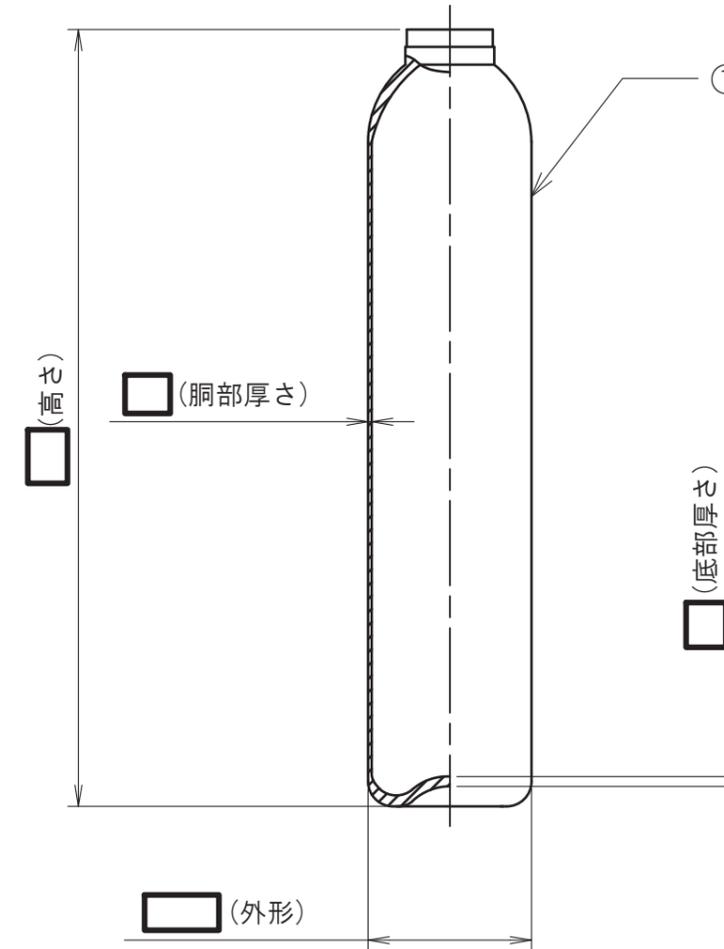
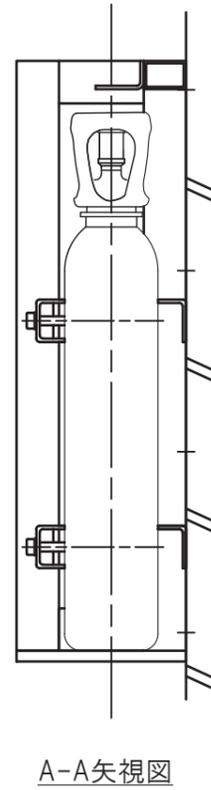
| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-57図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (K702④,K706④, P701④用及びP700④,P610①,P602①用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 1 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



1本ユニット設置



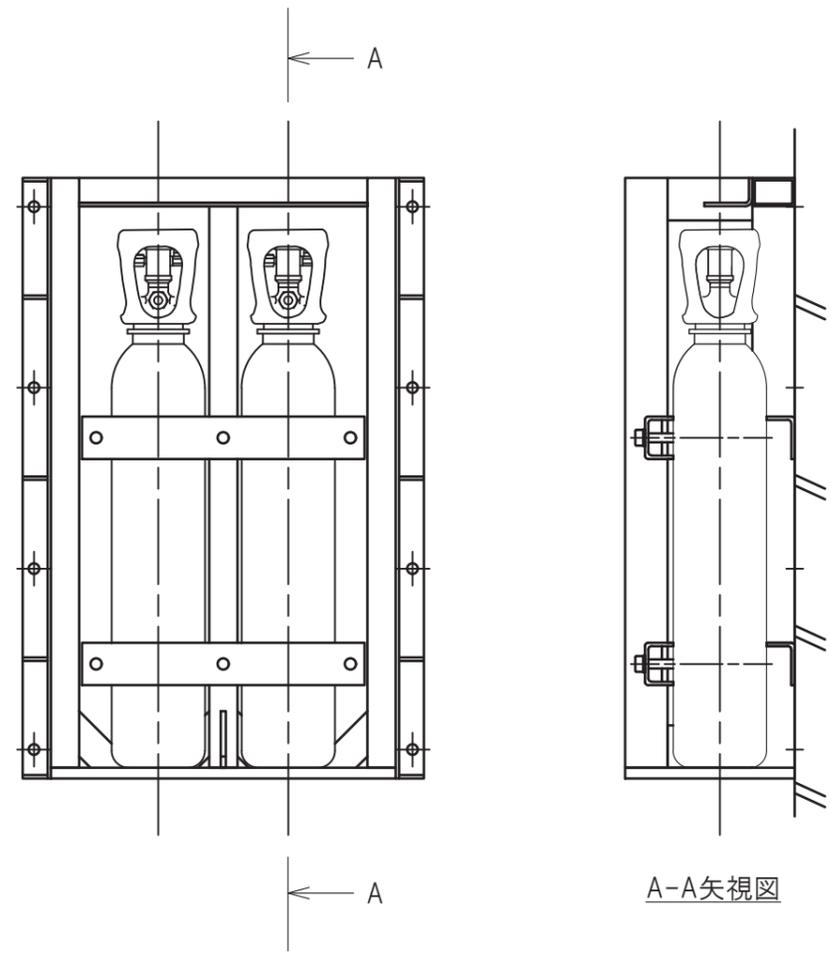
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

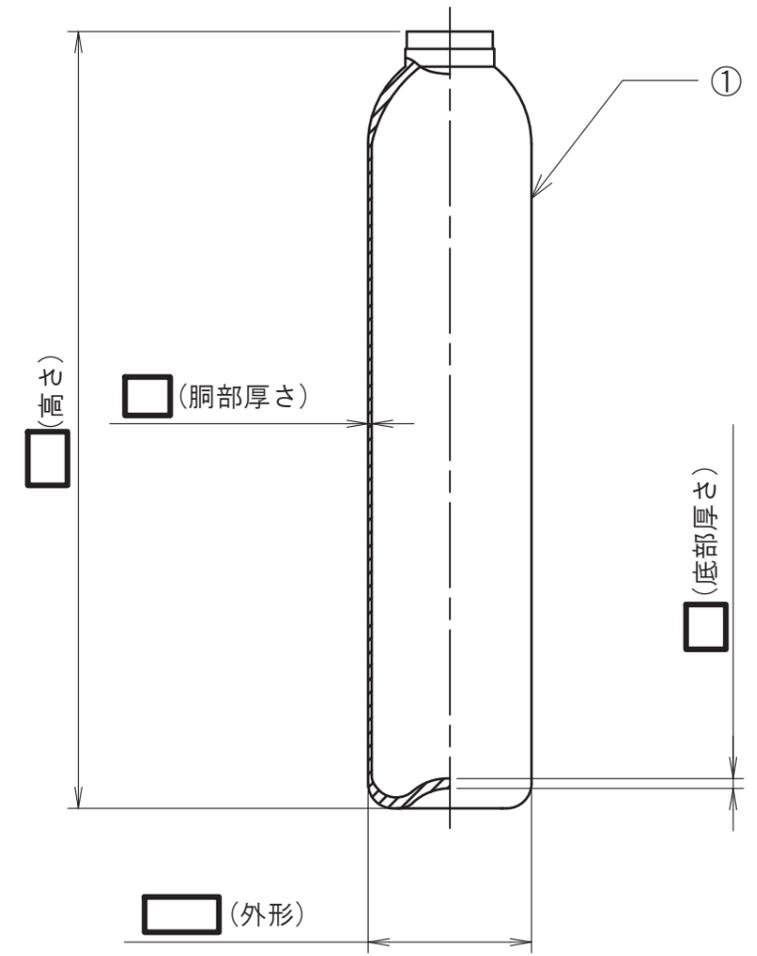
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-58図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (P201⑥用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



FK-5-1-12貯蔵容器

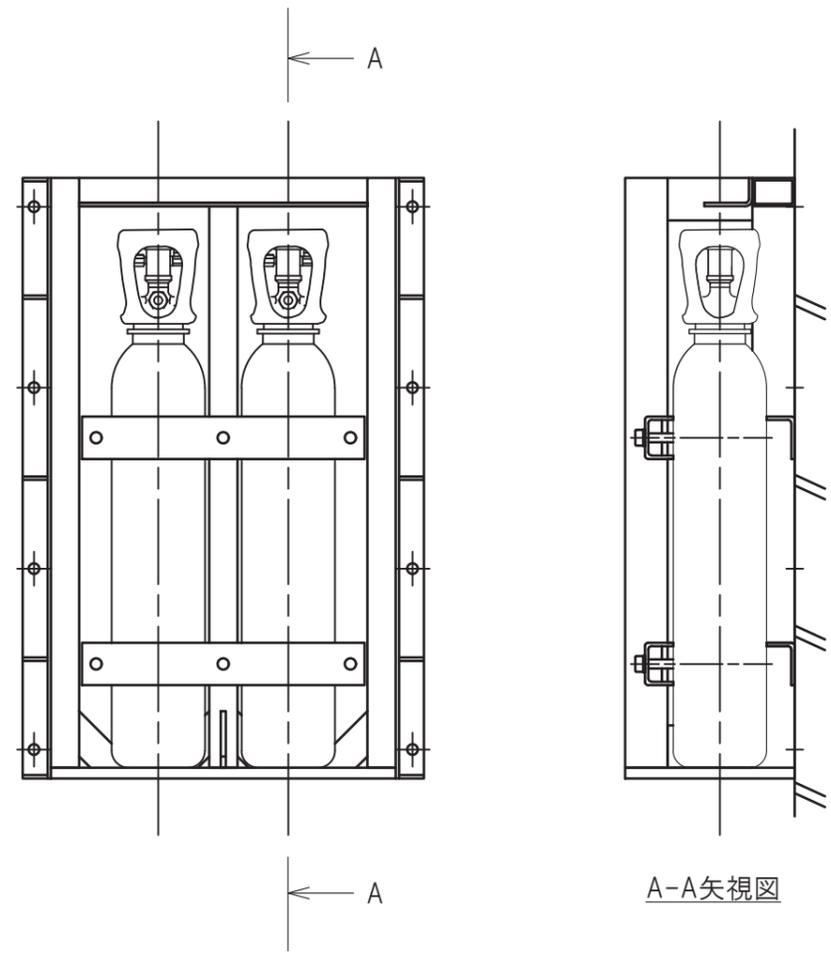
注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-59図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (K702①,K706①, P701①用及びP700①,P500①,P501①用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |

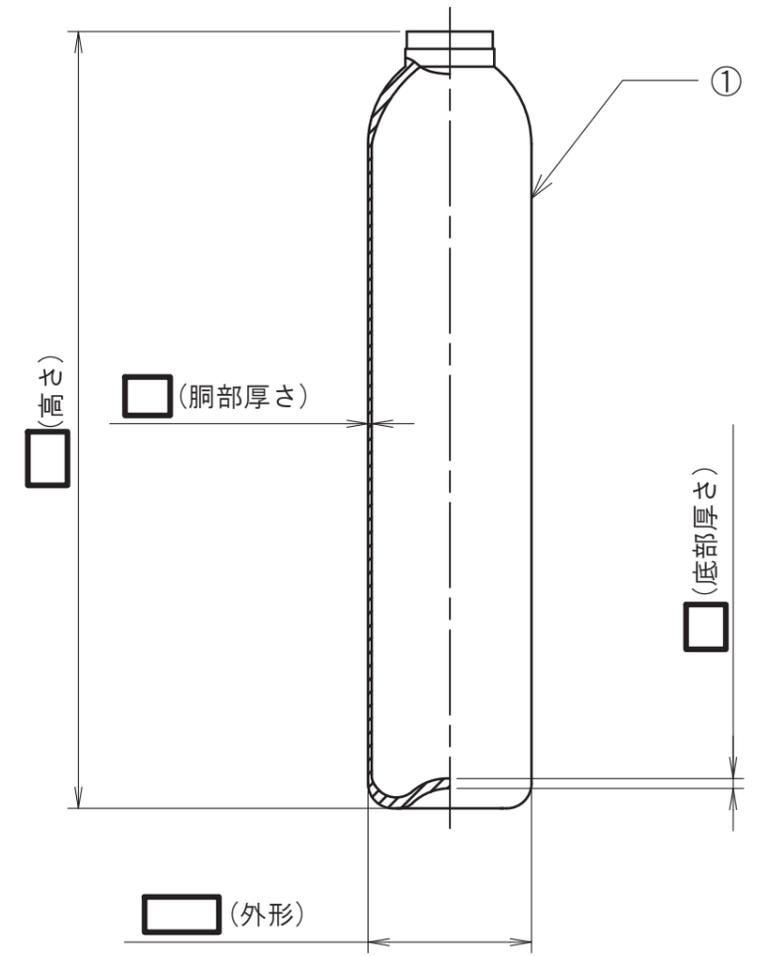
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



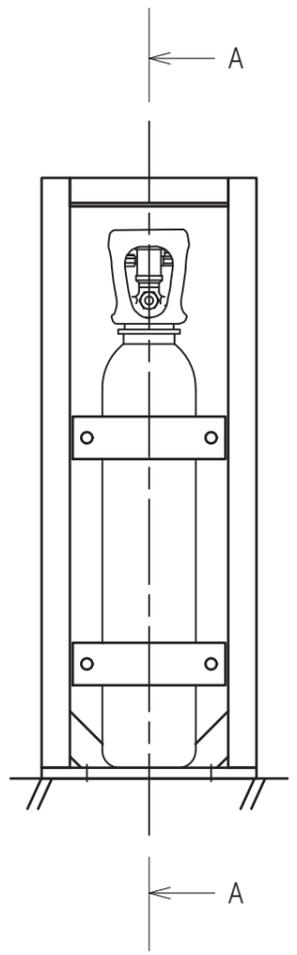
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

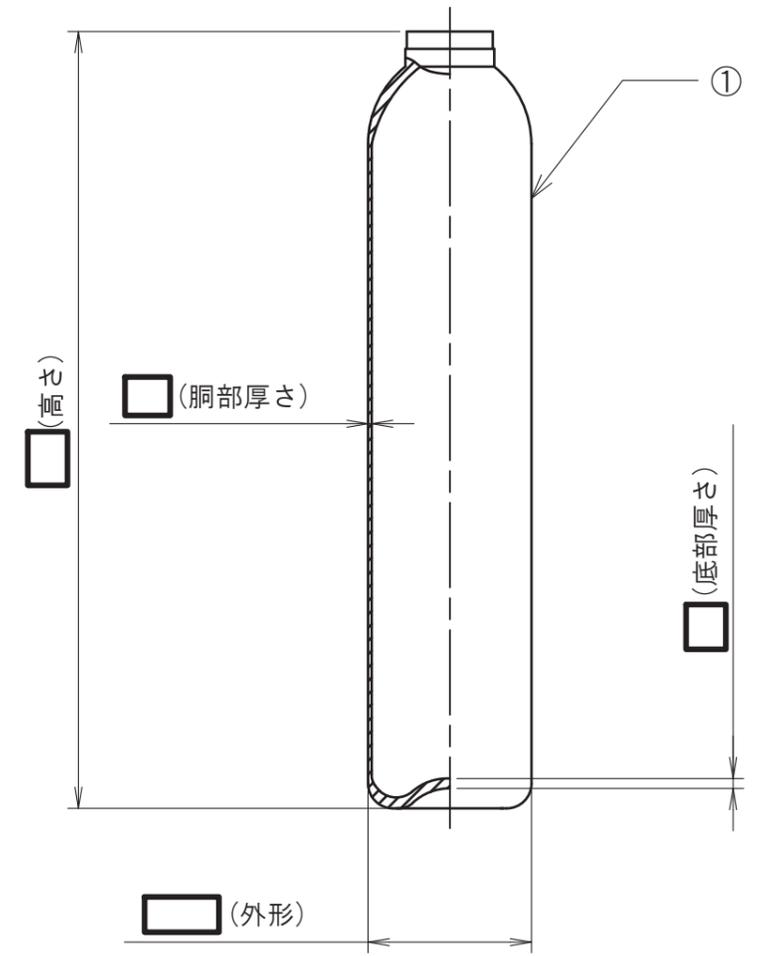
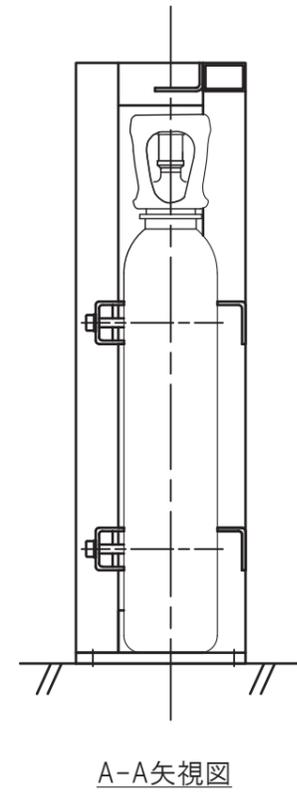
| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-60図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (K702②,K706②, P701②用及びP700②,P500②,P501②用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 1 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



1本ユニット設置



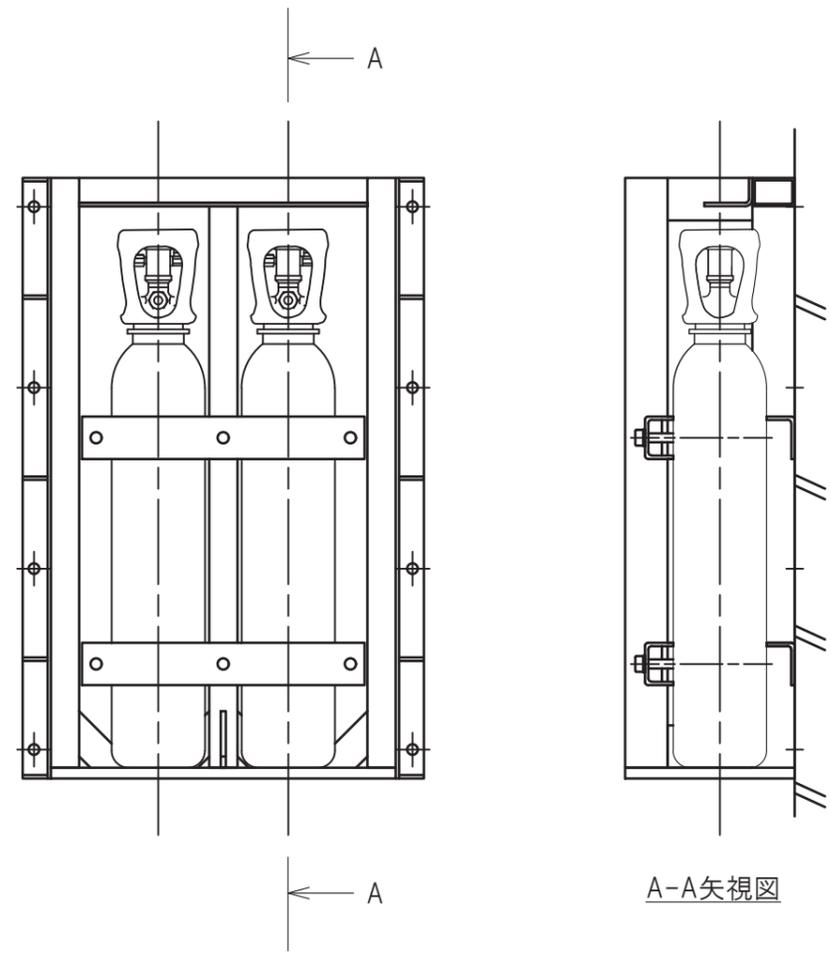
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-61図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (C606①用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

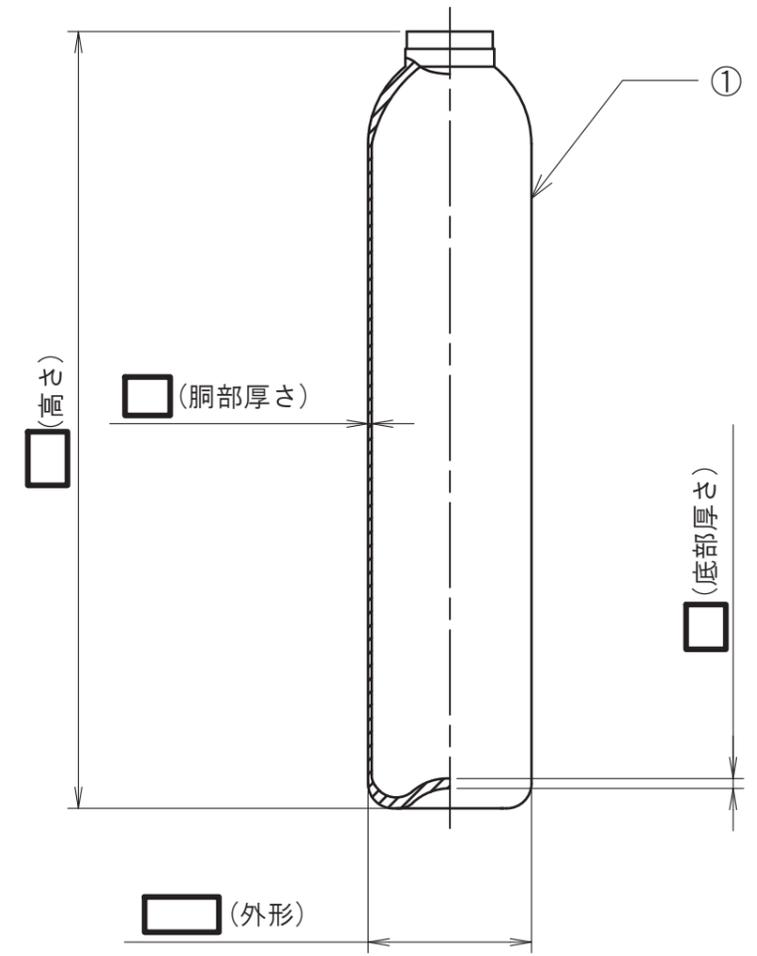
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置

A-A矢視図



FK-5-1-12貯蔵容器

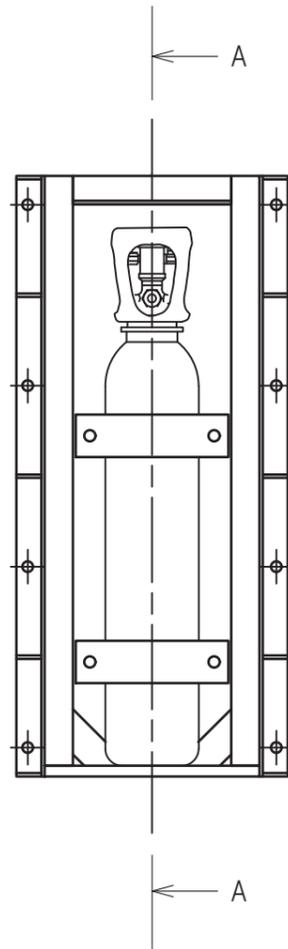
注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-62図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (K702③,K706③, P701③用及びP700③,P500③,P501③用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |

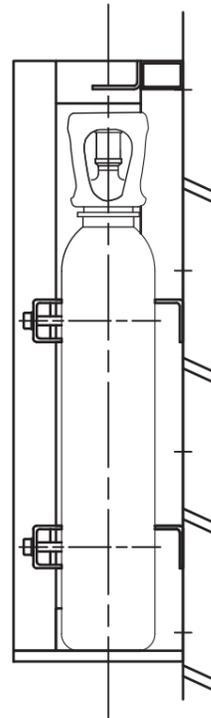
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

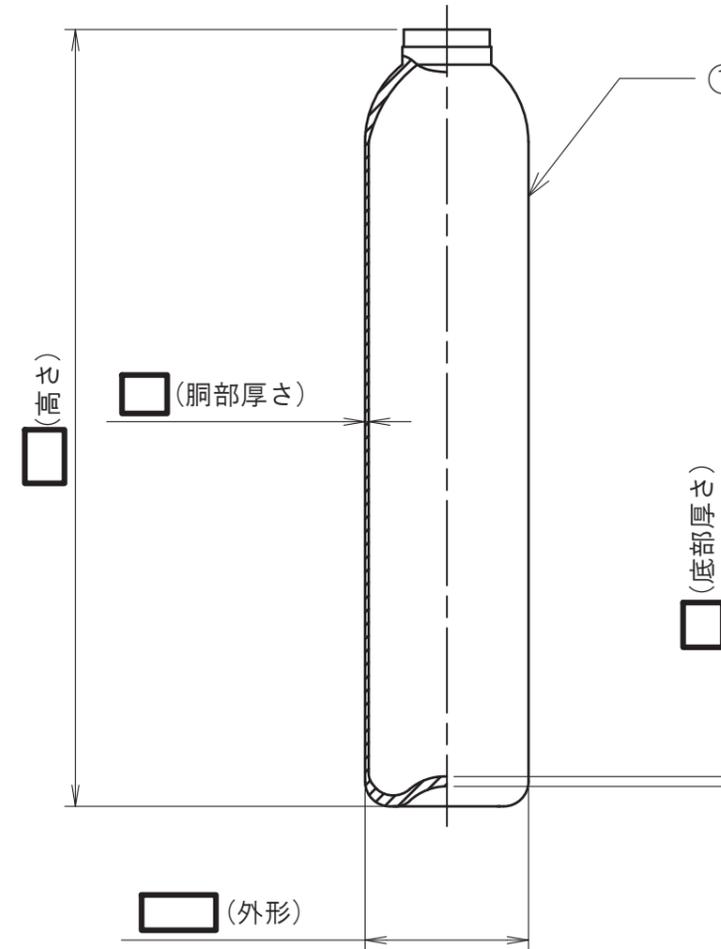
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 1 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



1本ユニット設置



A-A矢視図



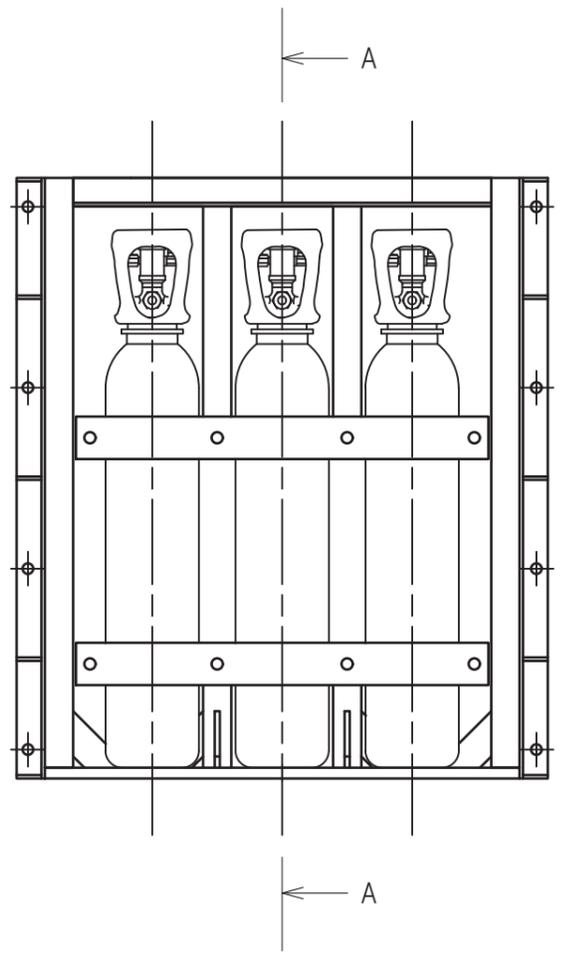
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

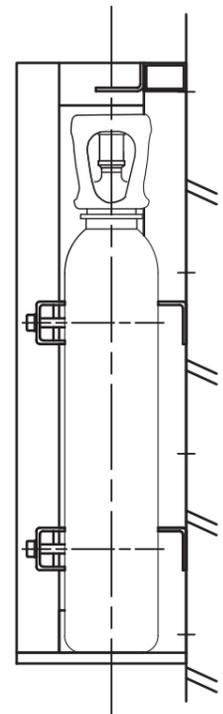
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-63図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S602①用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

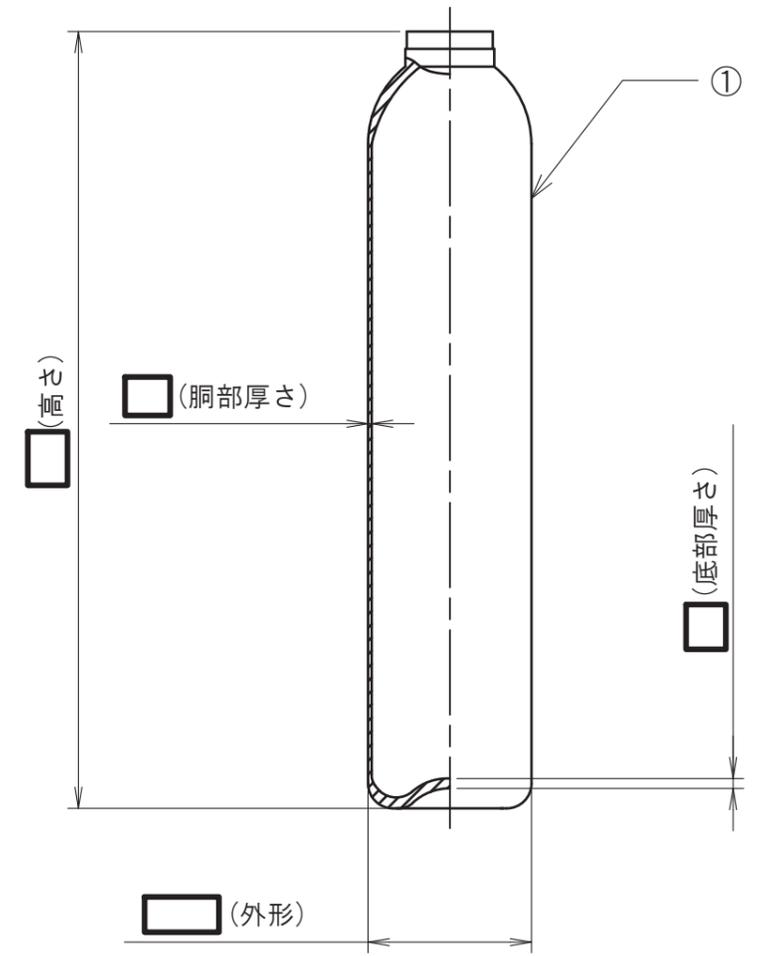
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



A-A矢視図



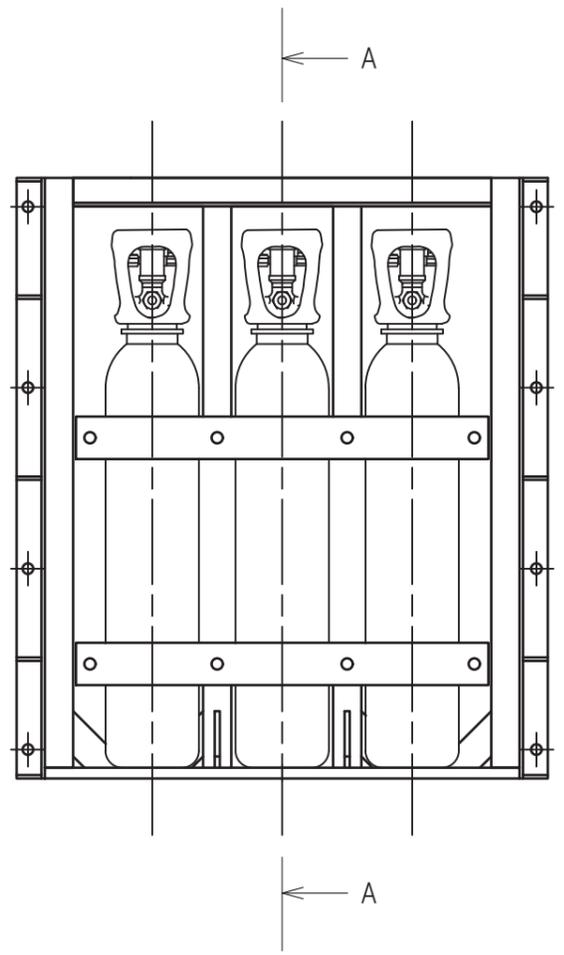
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

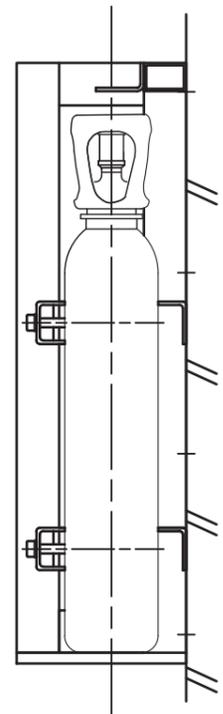
| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-64図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (C602①用,C603②用及びS600①用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

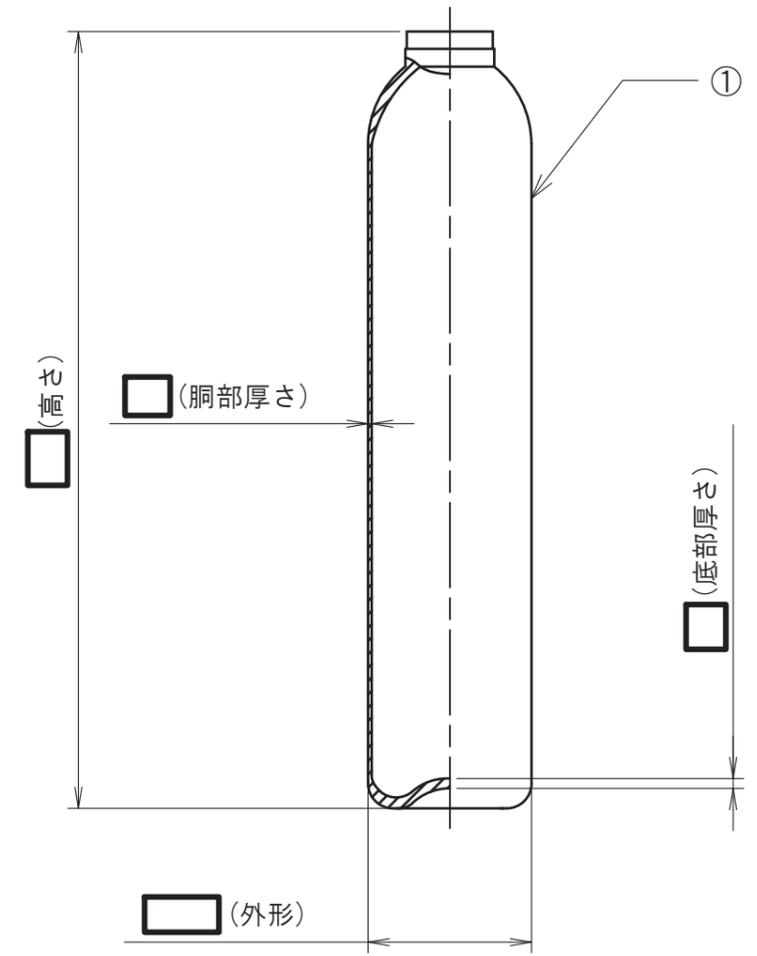
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



A-A矢視図



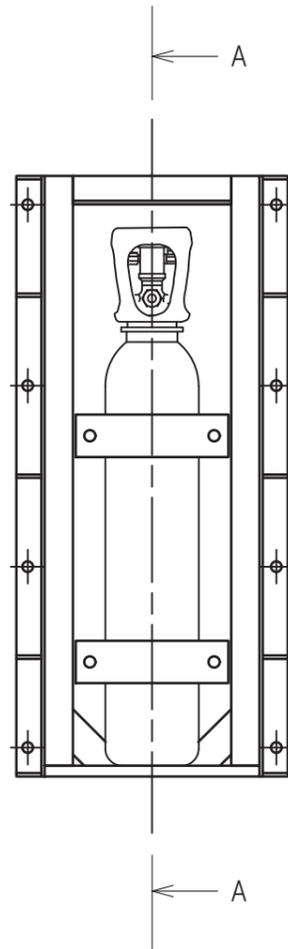
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

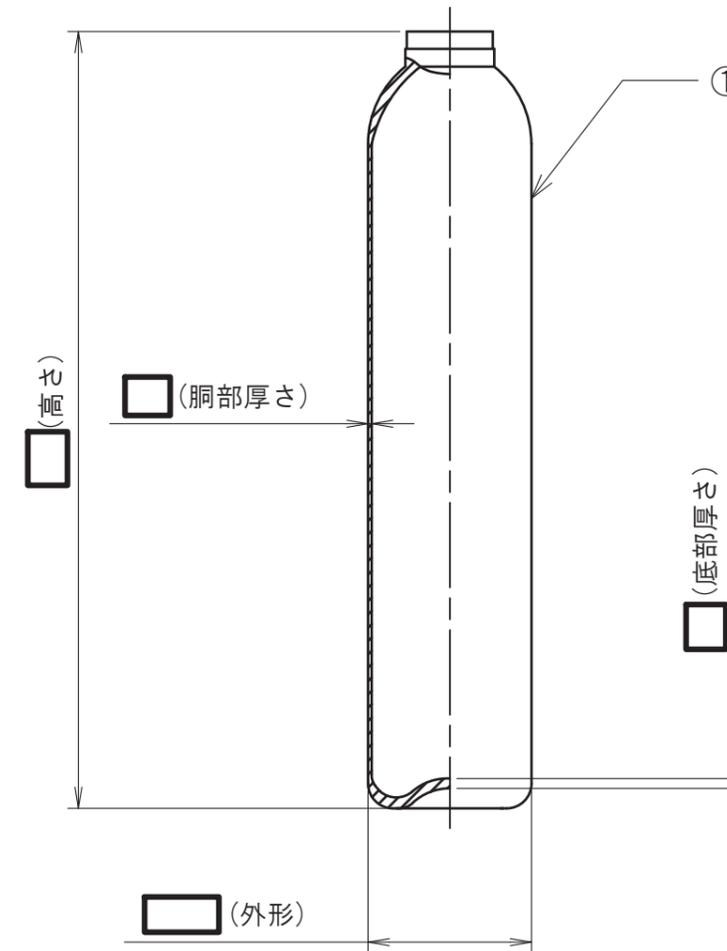
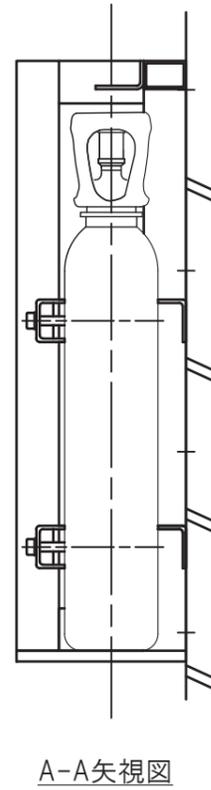
| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-65図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (C601①用,C602②用及びS600④用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 1 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



1本ユニット設置



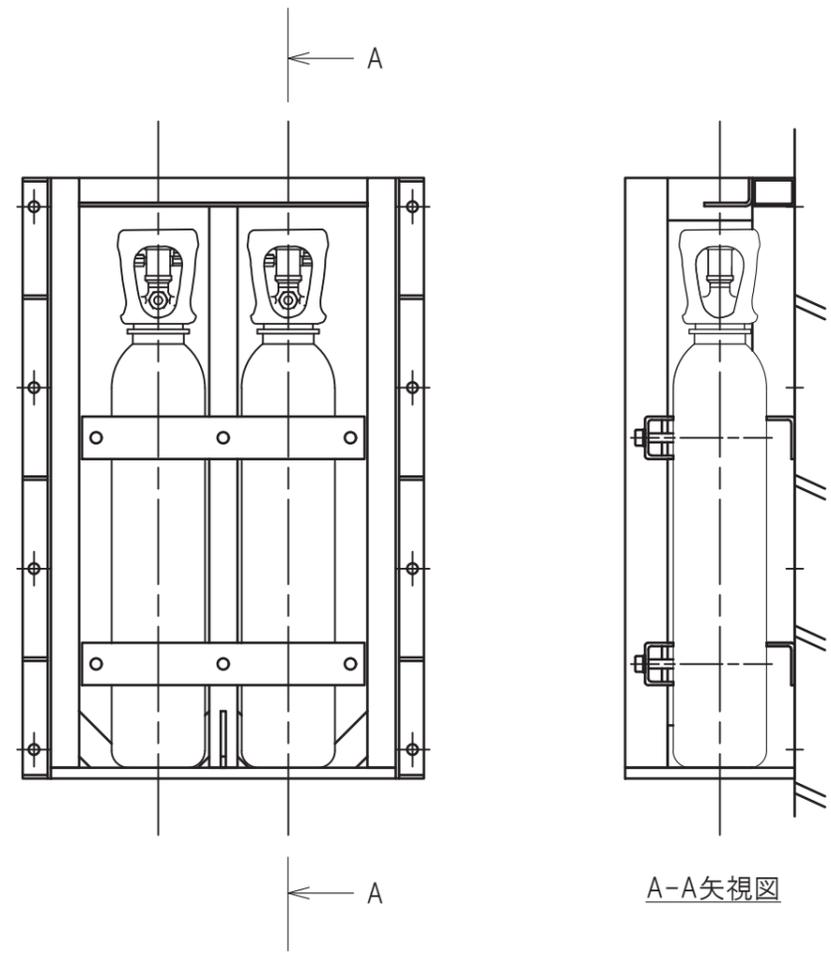
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

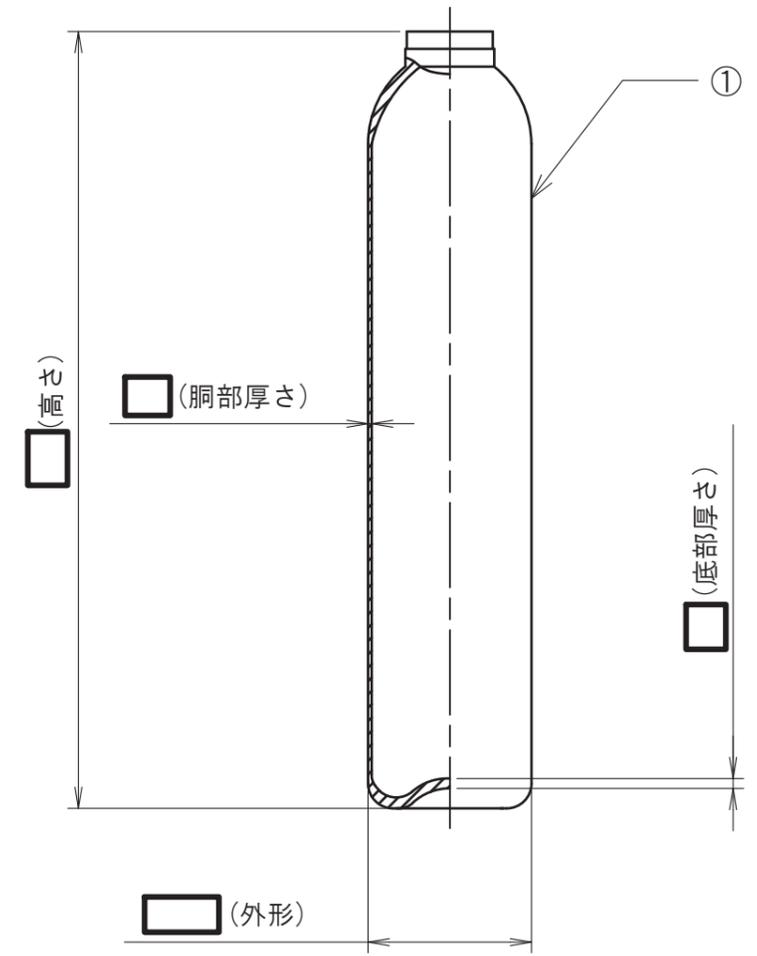
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-66図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S600③用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



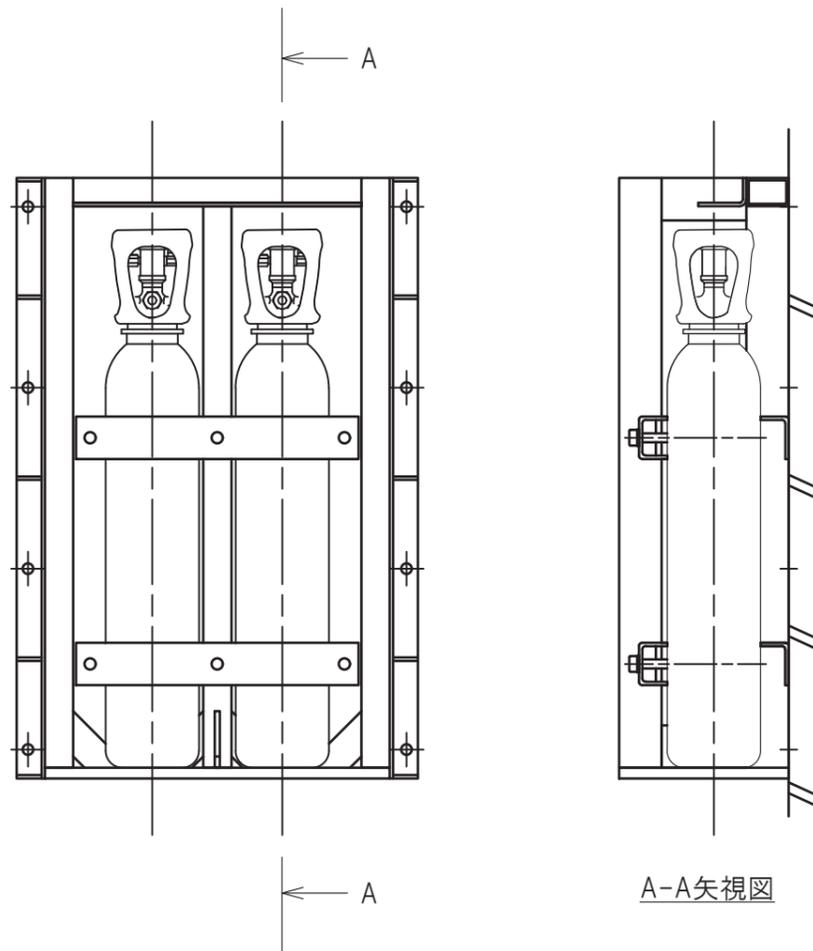
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

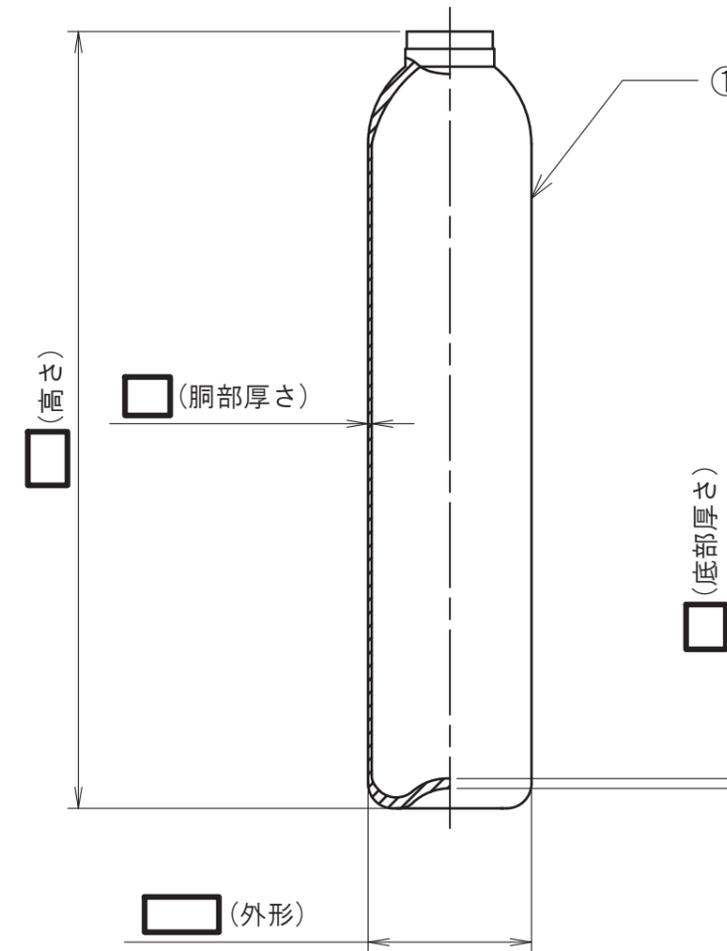
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-67図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S601③用及びS600②用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



FK-5-1-12貯蔵容器

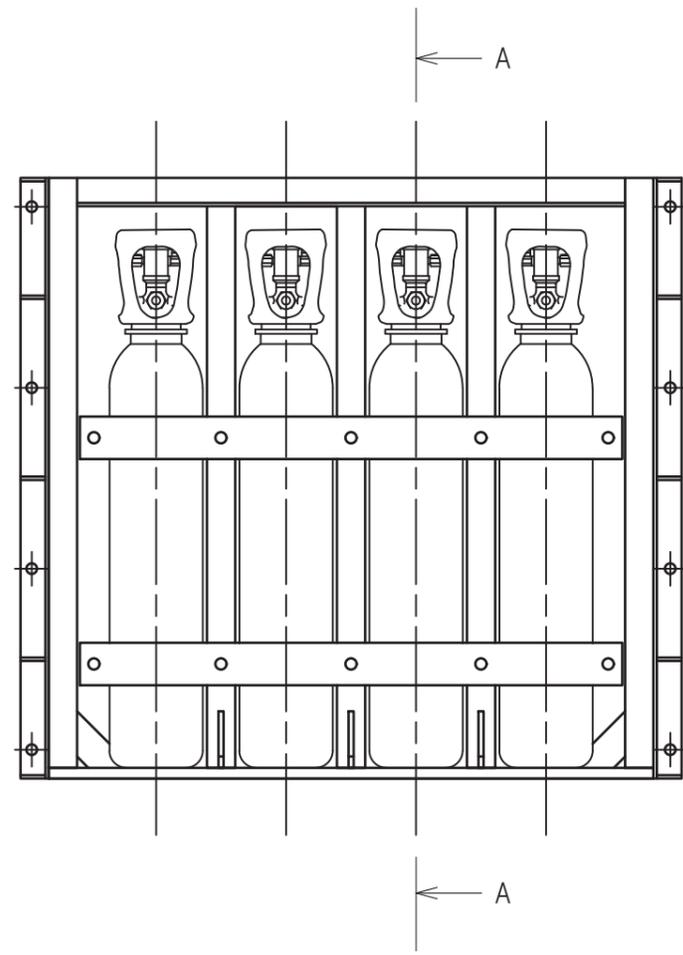
注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-68図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (P300①,C300⑤用及びS300⑤用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |

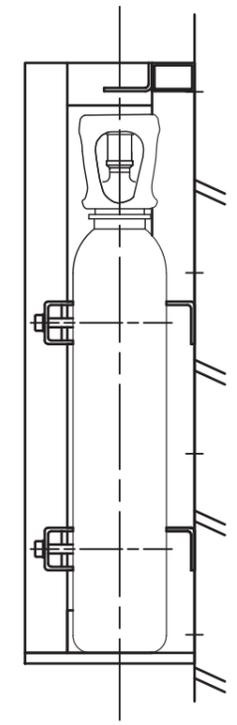
0420

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

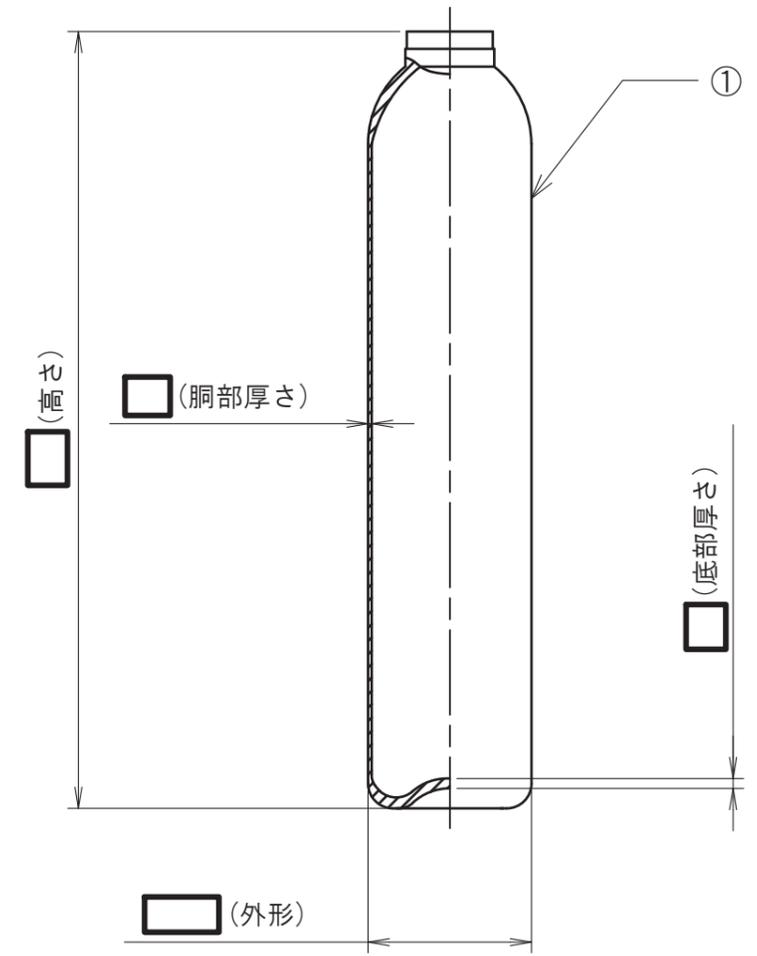
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 4 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



4本ユニット設置



A-A矢視図



FK-5-1-12貯蔵容器

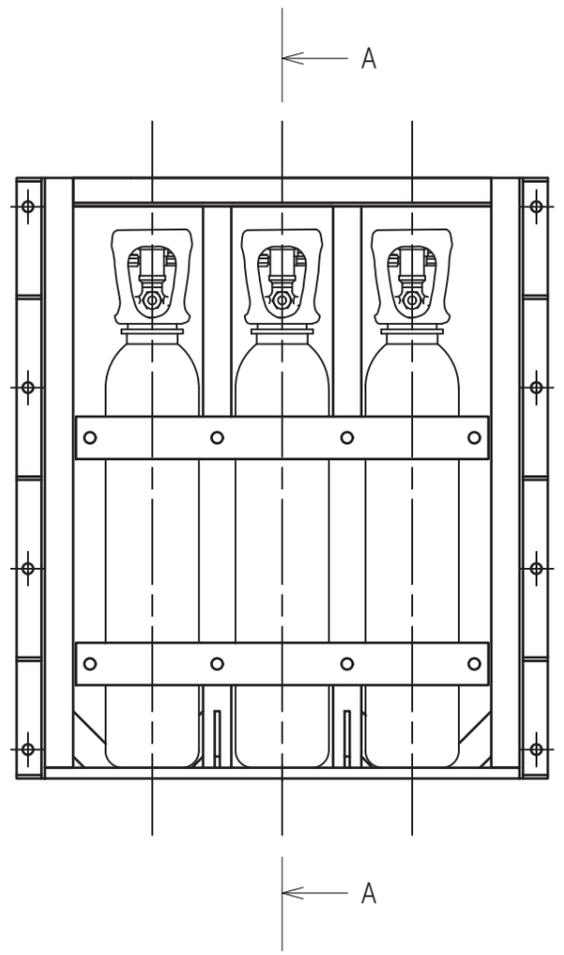
注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-69図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (P300③,C300⑦用,S300⑥用,P300②,C300⑥用及びP300④,C300⑧用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |

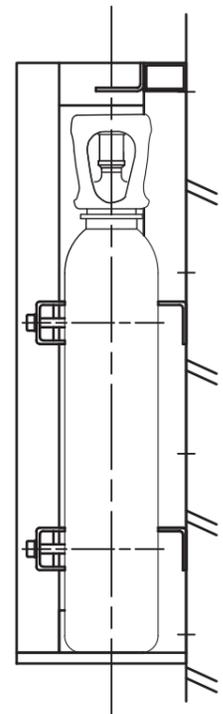
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

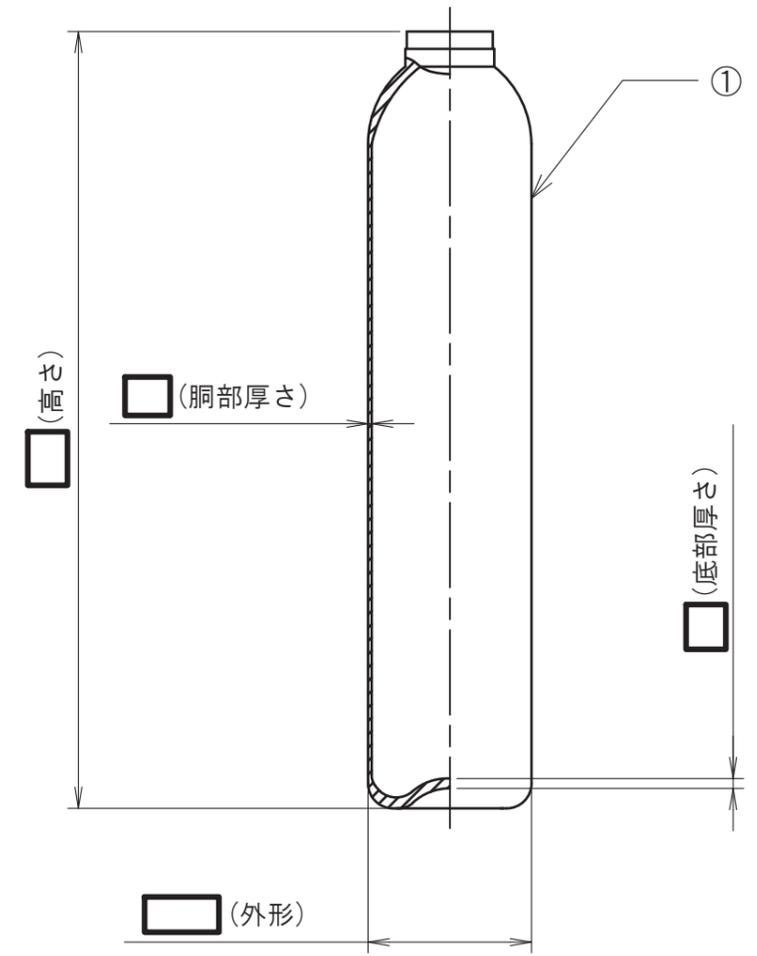
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



A-A矢視図



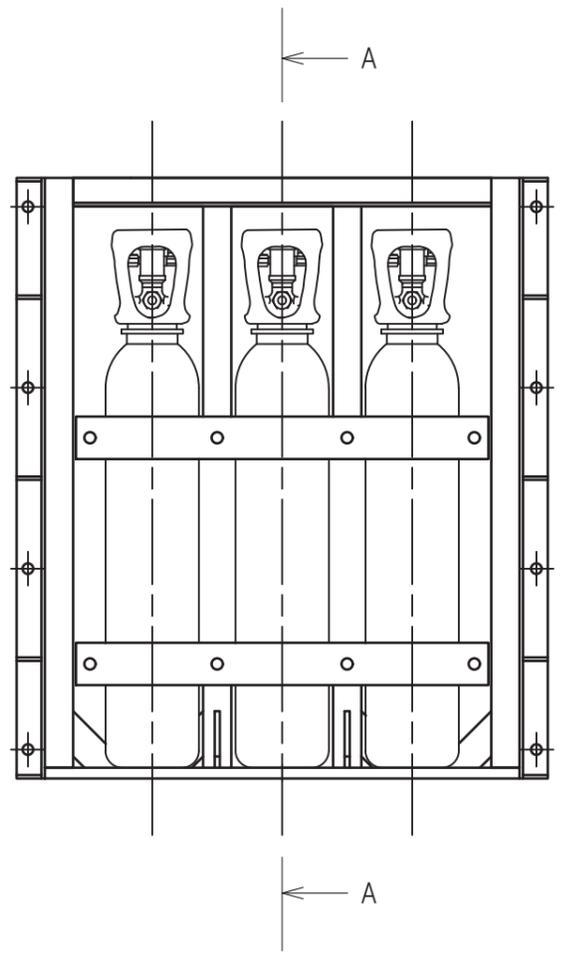
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

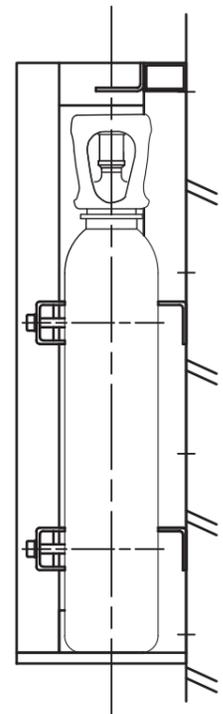
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-70図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (K100③,P402③ 用,P102⑤,C100⑦用及びS100③用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

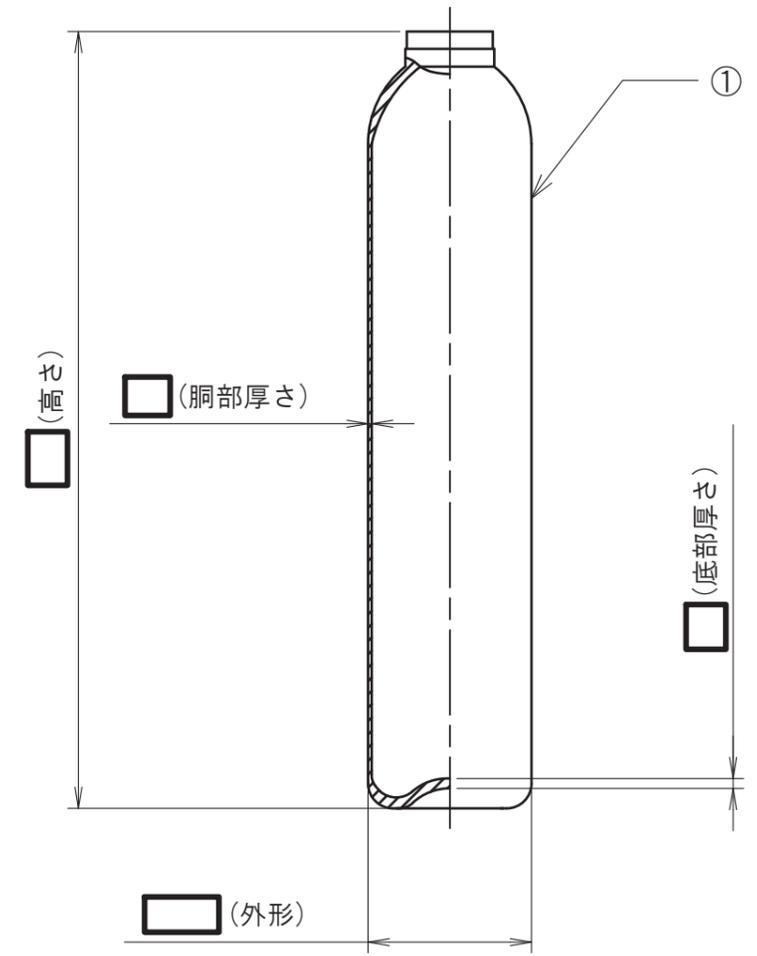
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



A-A矢視図



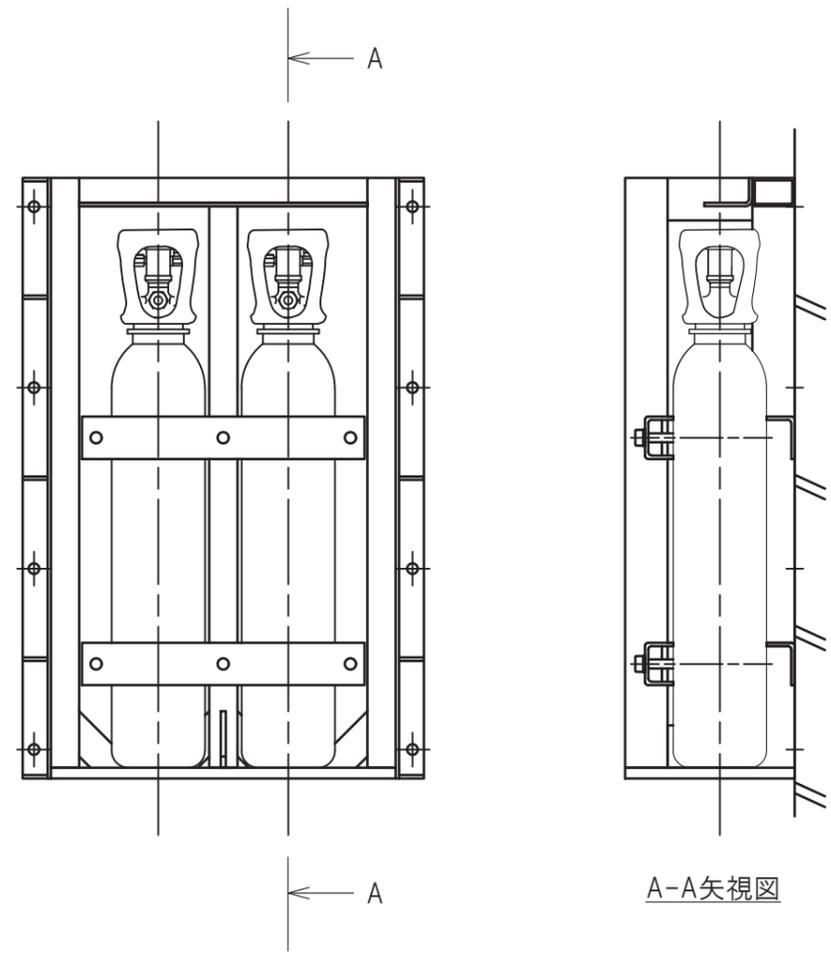
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

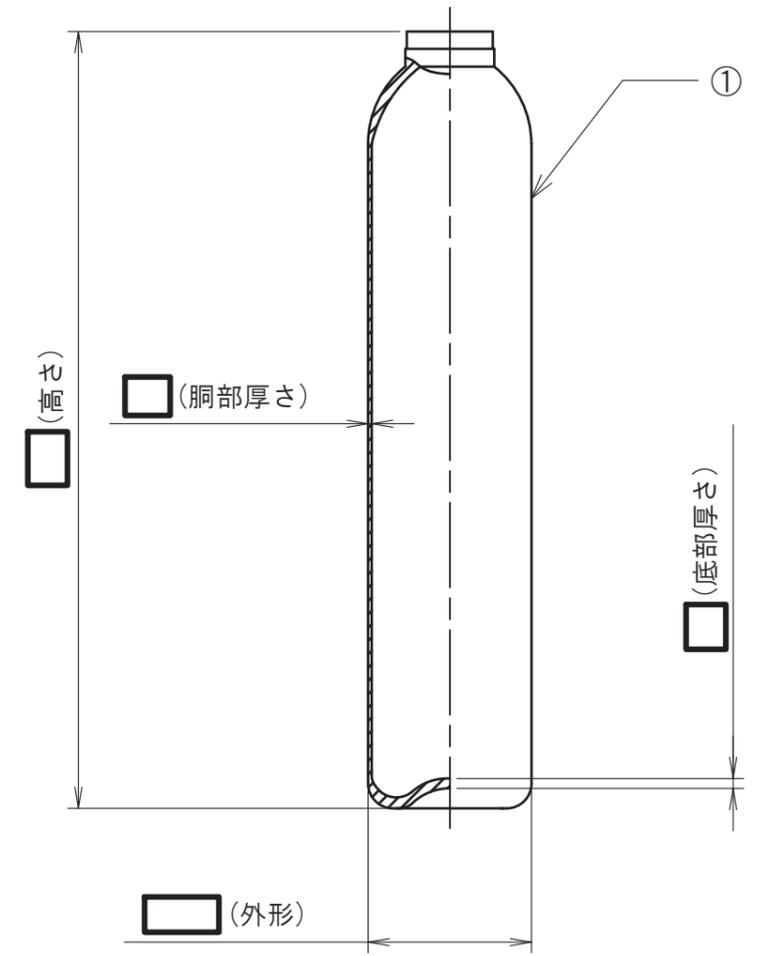
| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-71図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (K100⑥,P402⑥ 用,P102⑥,C100②⑧用及びS100④用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



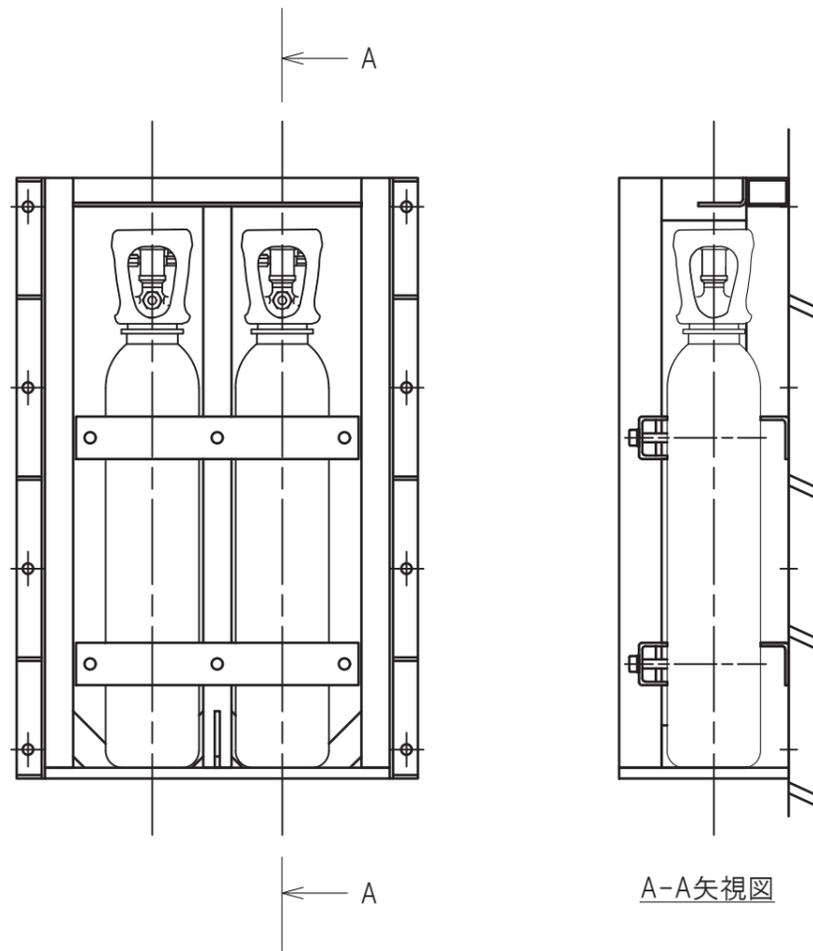
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

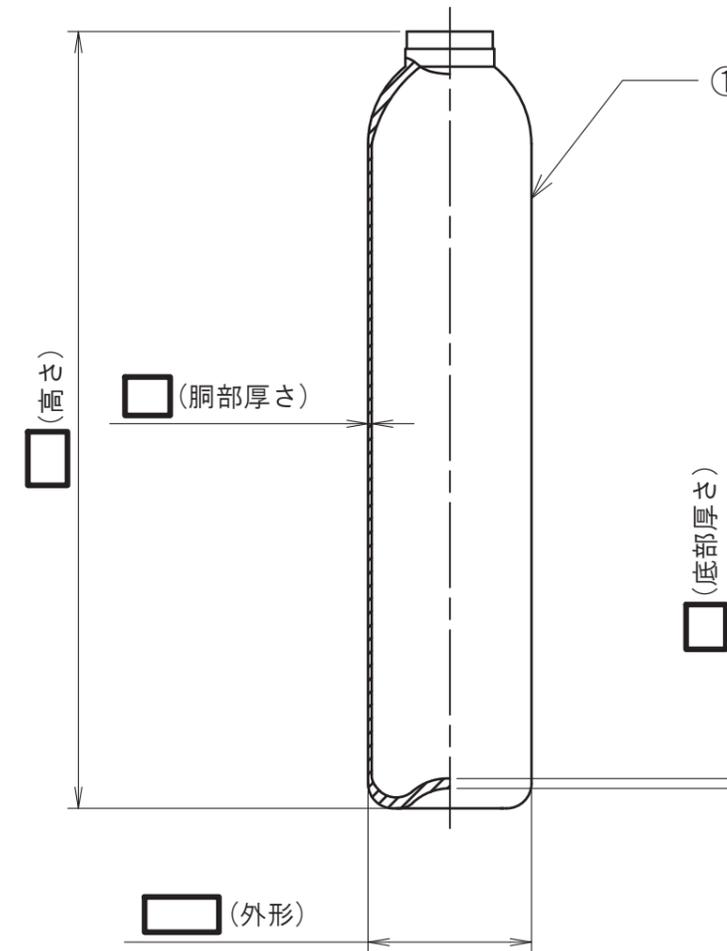
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-72図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (K100⑦,P402 ⑦用及びP102⑦,C100②⑨用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



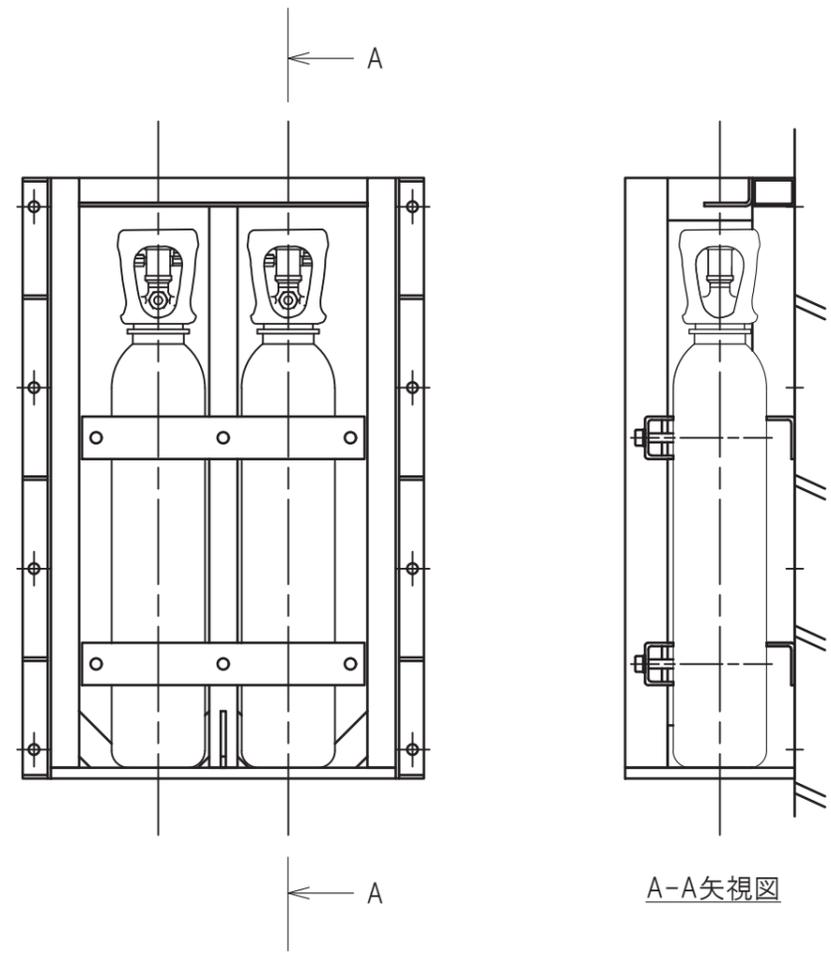
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

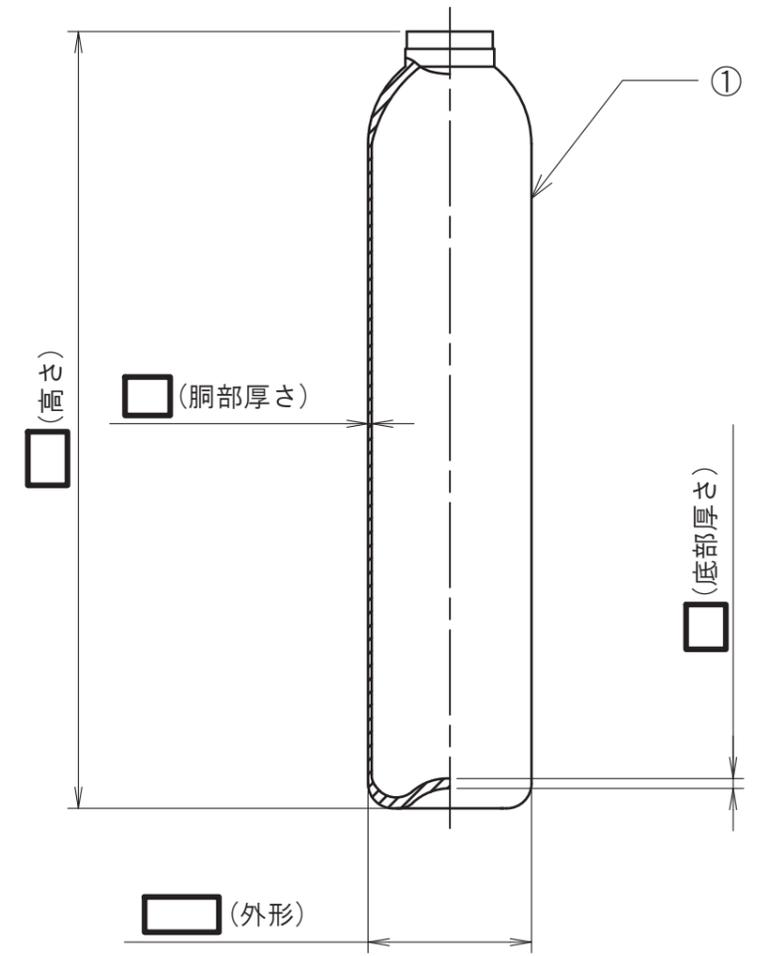
| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-73図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (K201②,P502⑧ 用及びP201③,C200②用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



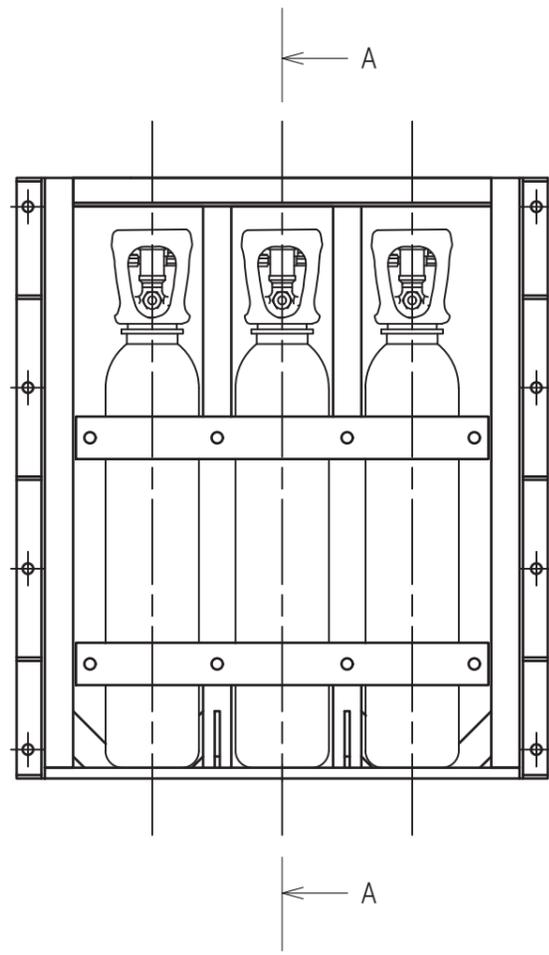
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

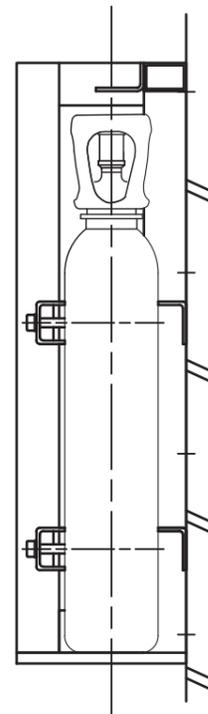
| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-74図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (P201④,C200③ 用及びK201③,P502⑨用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

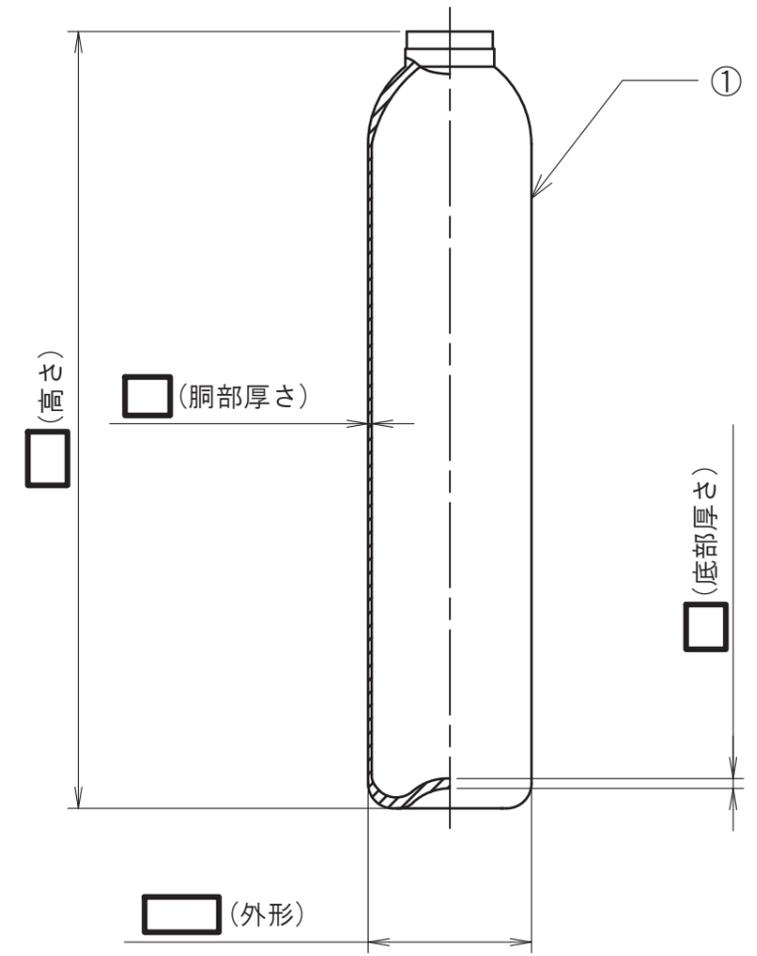
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



A-A矢視図



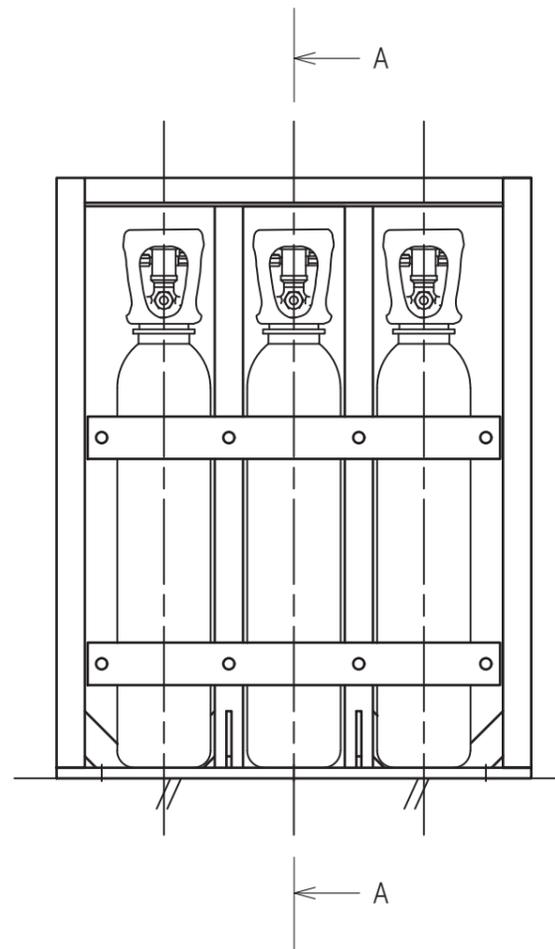
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

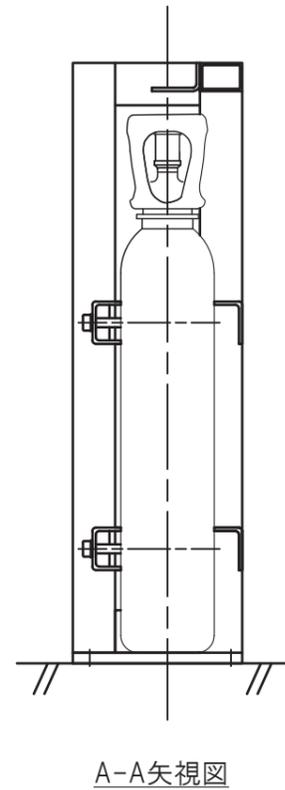
| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-75図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S200②用,C200④用及びP201⑤用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

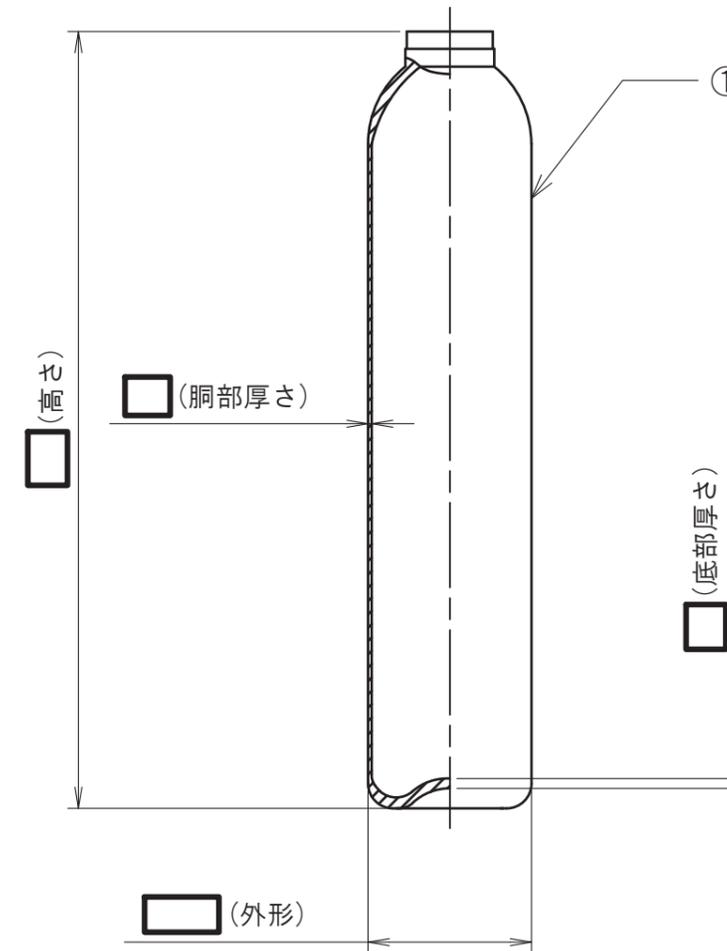
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



A-A矢視図



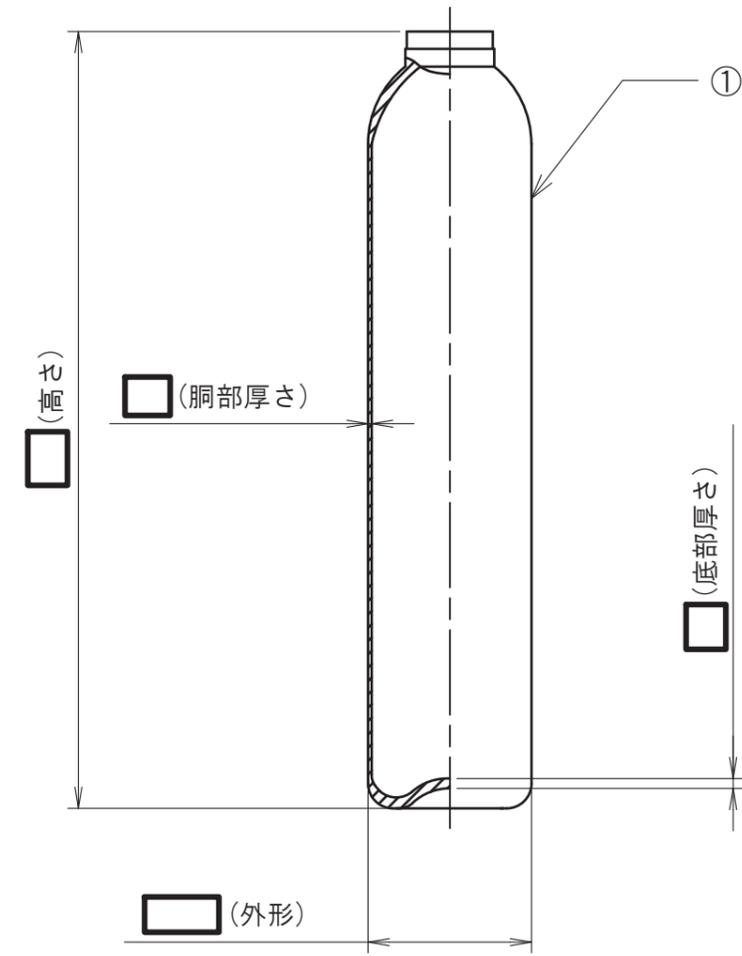
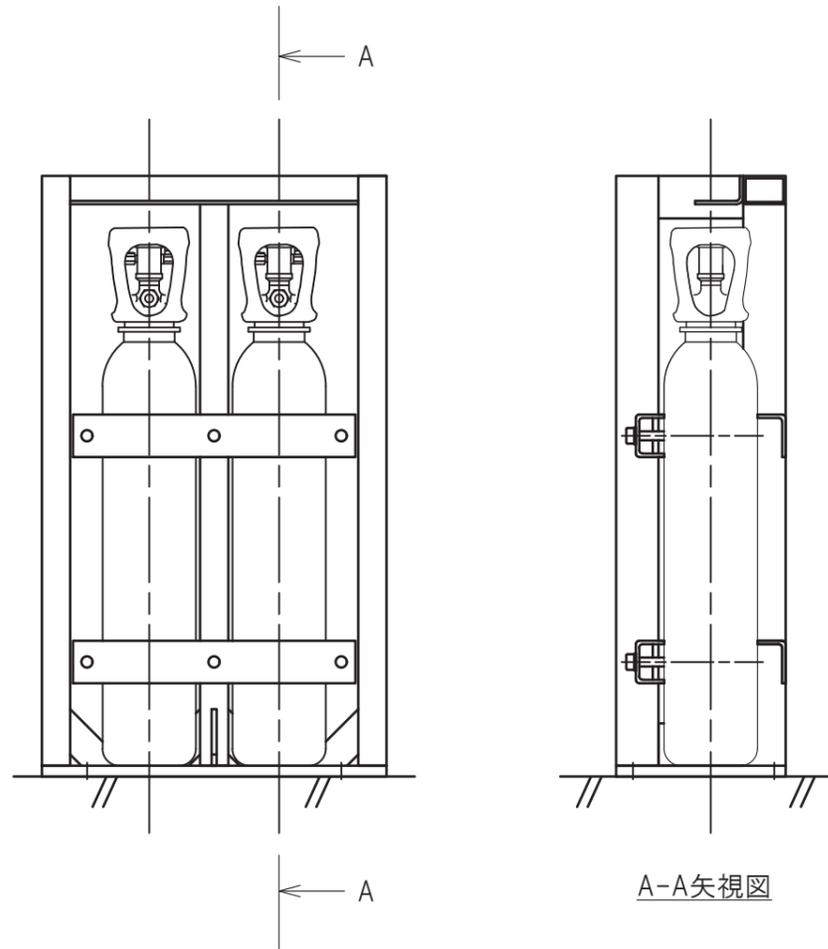
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-76図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S100⑤用,P102②,C100④用及びK100②,P402②用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



FK-5-1-12貯蔵容器

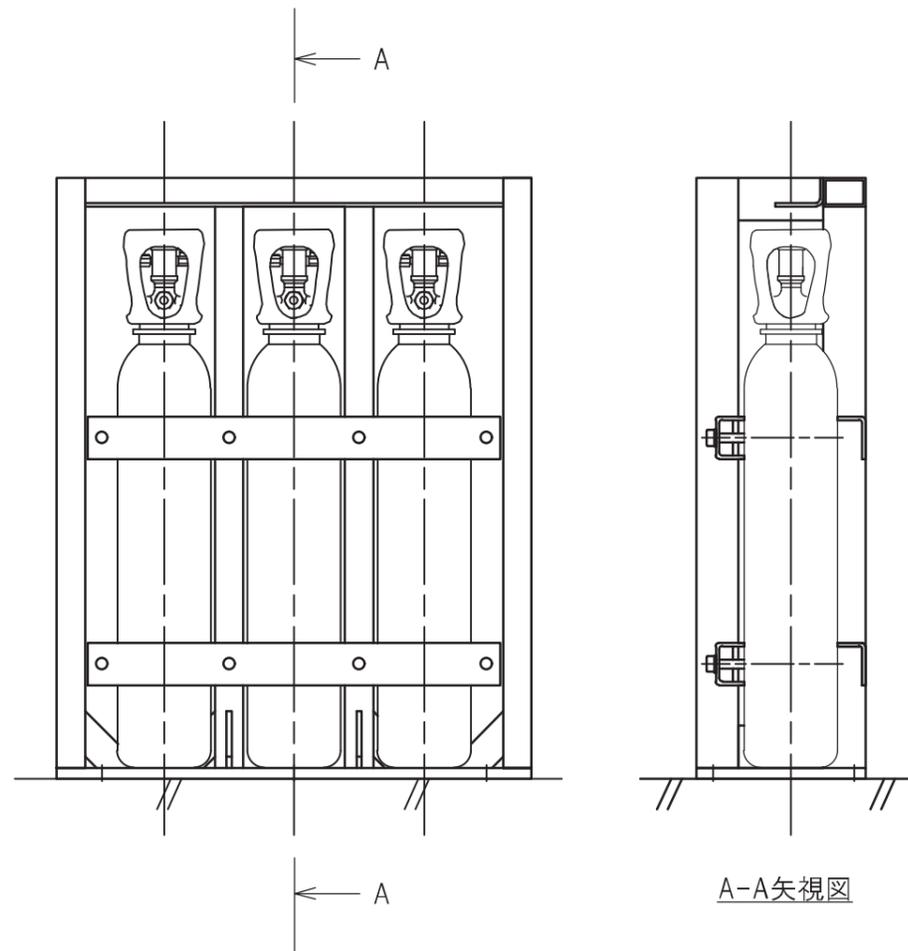
2本ユニット設置

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

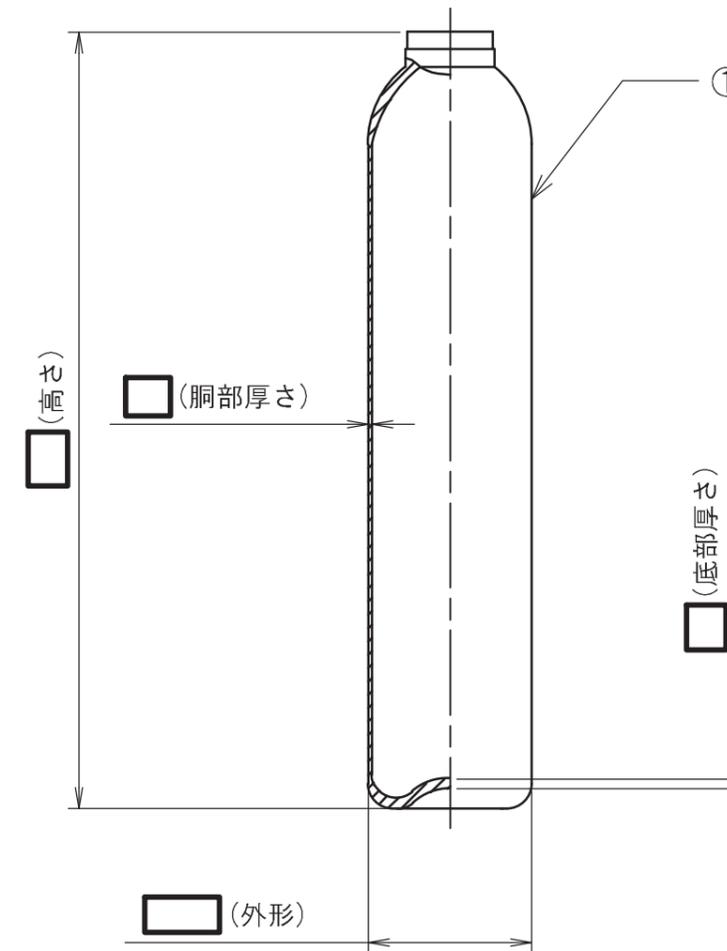
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-77図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (P102①,C100②③ 用及びK100①,P402①用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



FK-5-1-12貯蔵容器

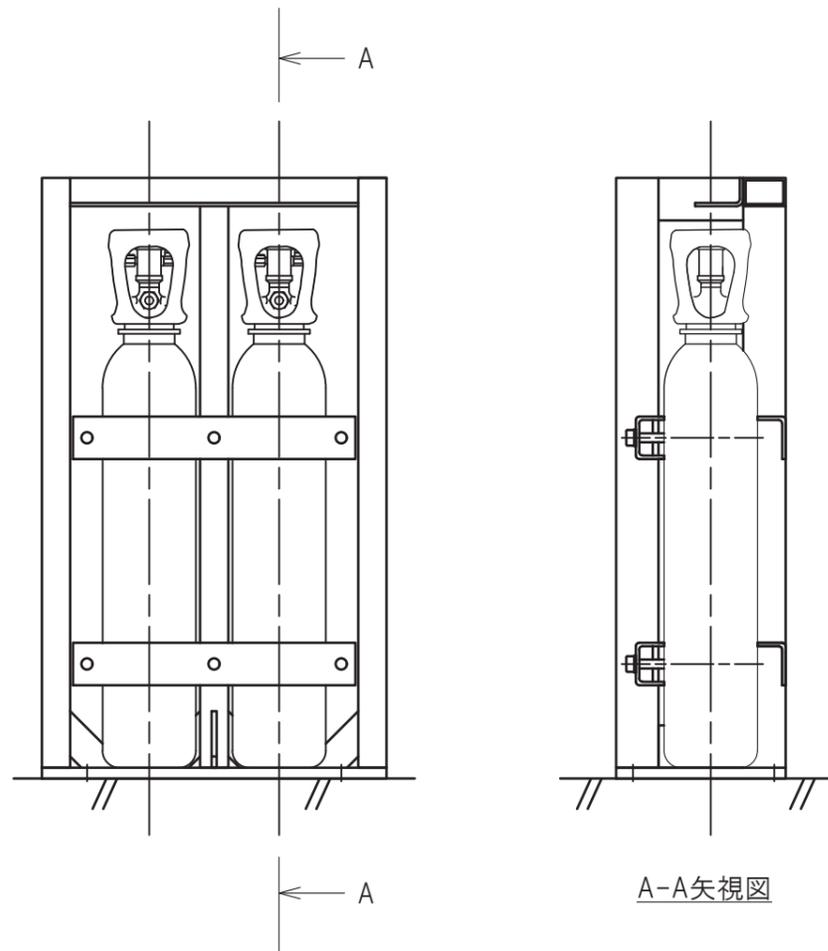
注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-78図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S200①用,S601 ①用及びK602①,P603①,C603①用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |

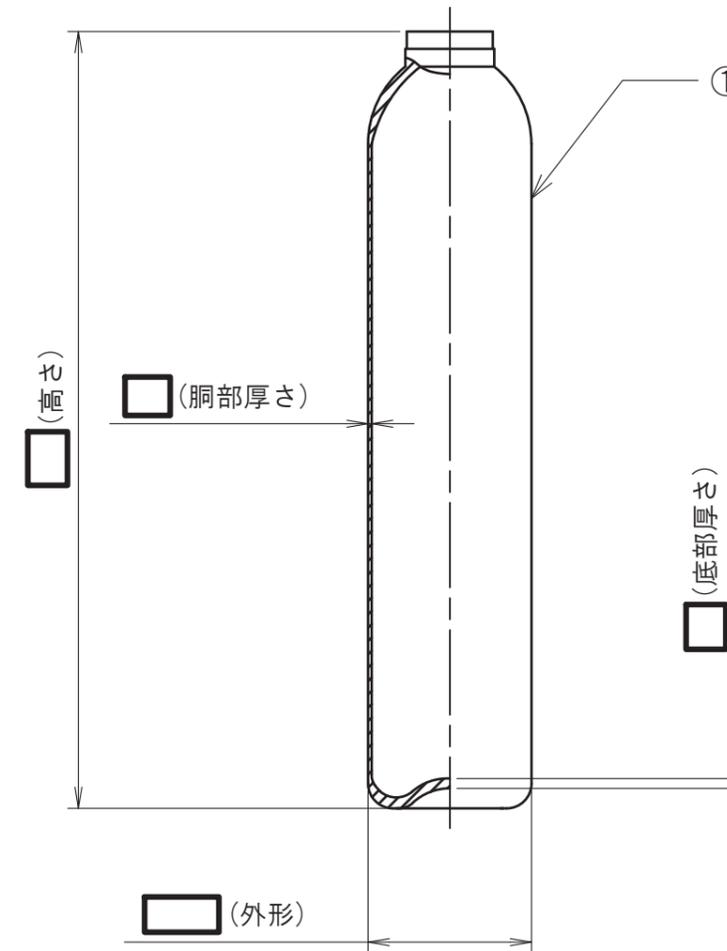
0930

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



FK-5-1-12貯蔵容器

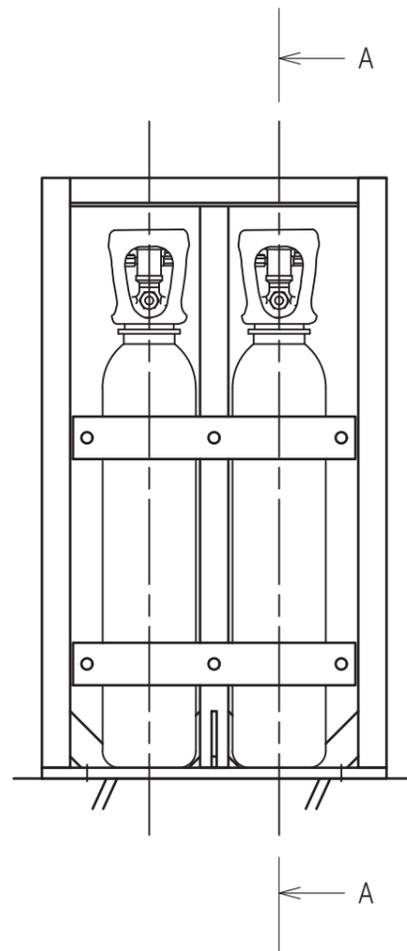
注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-79図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (P201②,C200① 用及びK201①,P502⑦用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |

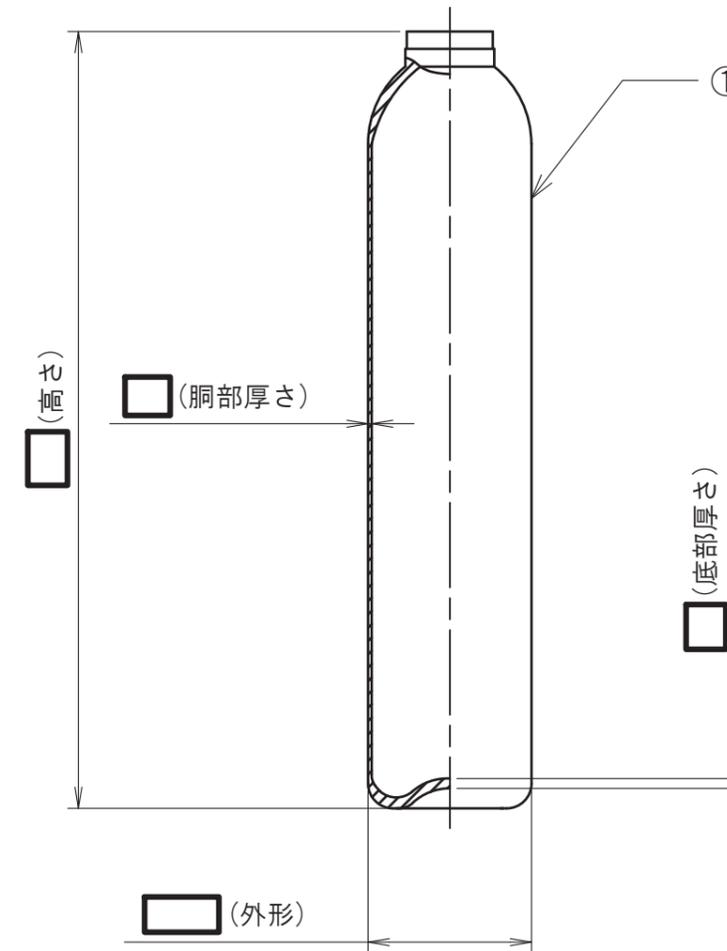
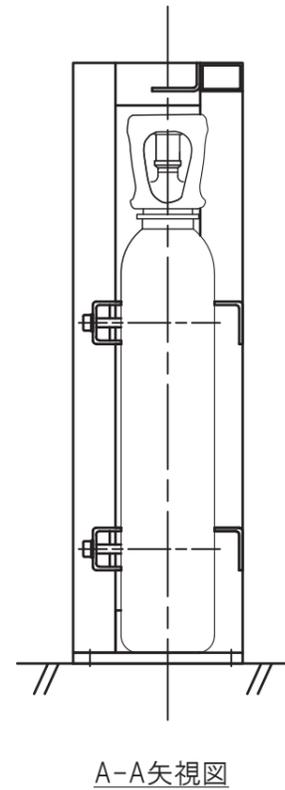
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



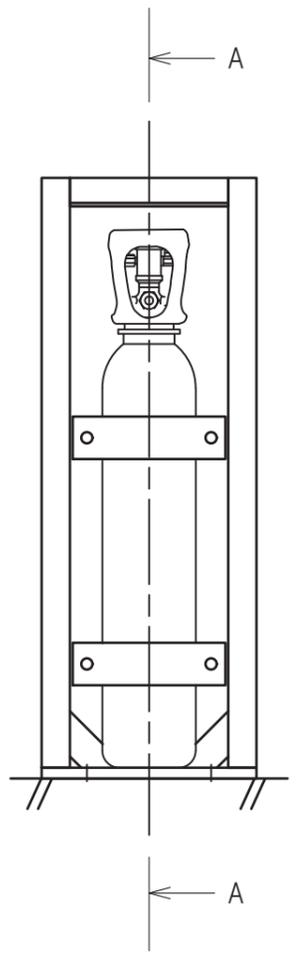
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

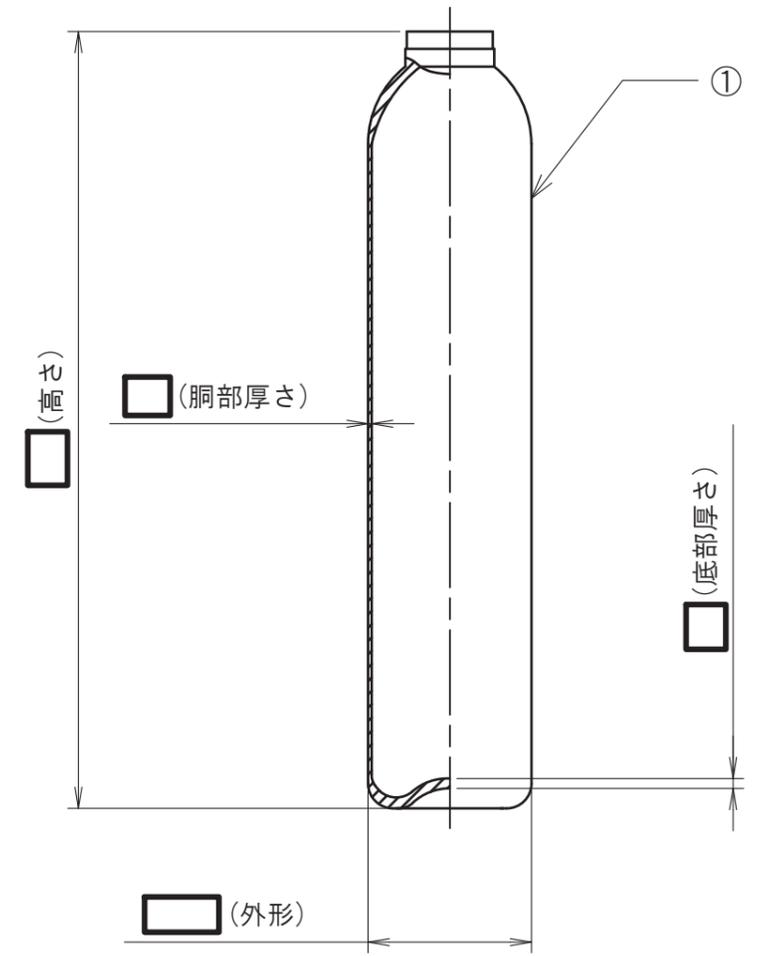
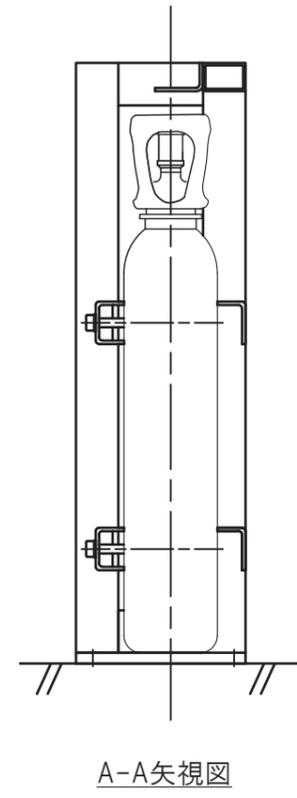
| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-80図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (P102④,C100⑥ 用及びK100⑤,P402⑤用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 1 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



1本ユニット設置



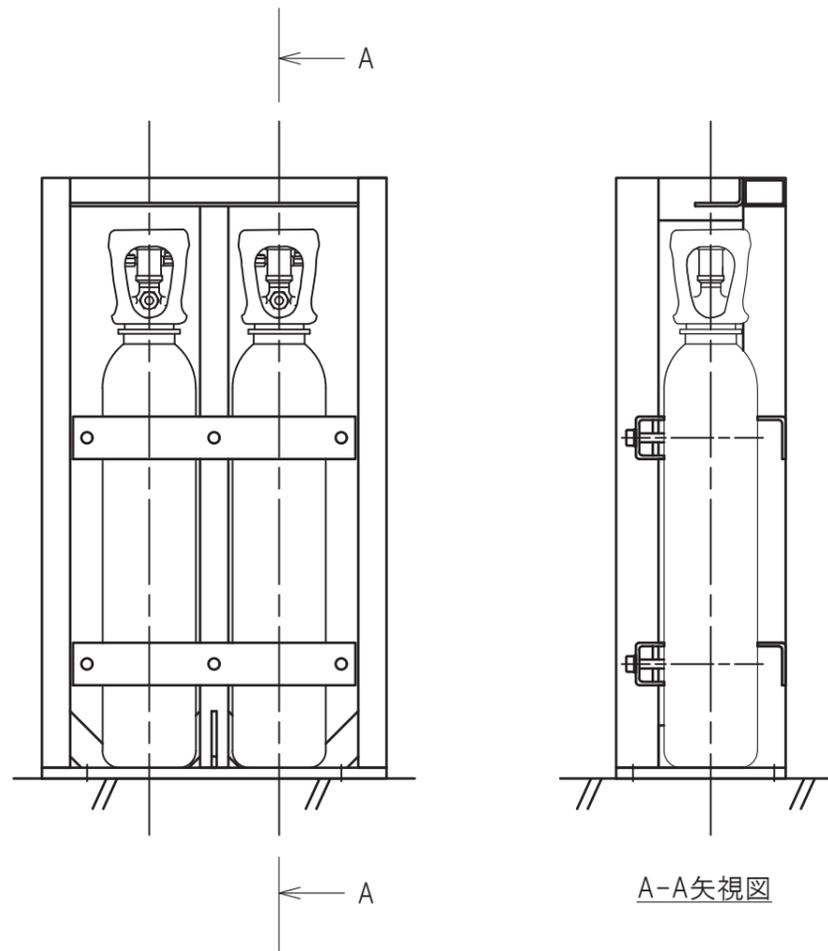
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

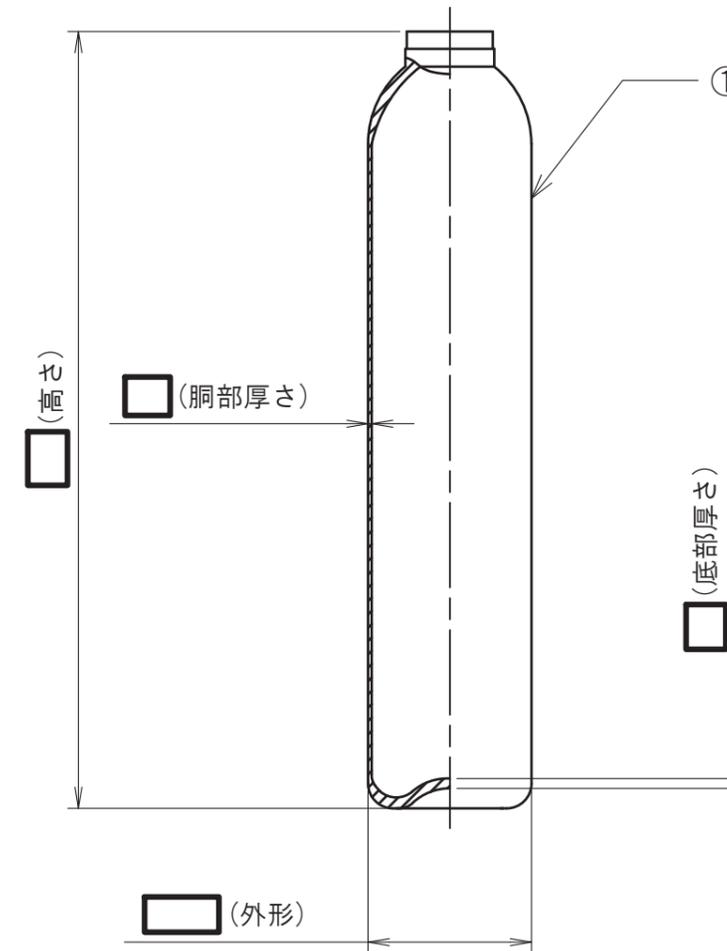
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-81図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S100⑦用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



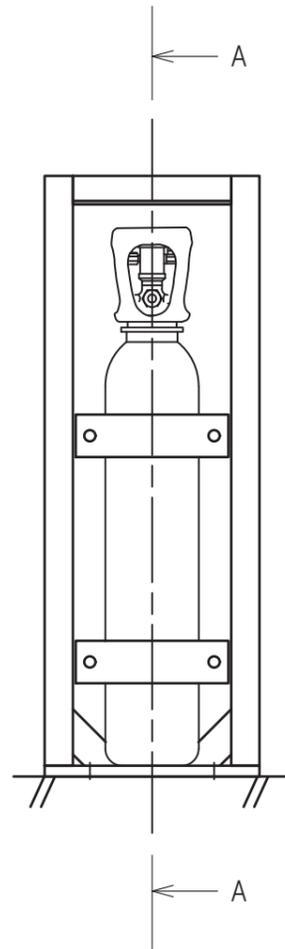
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

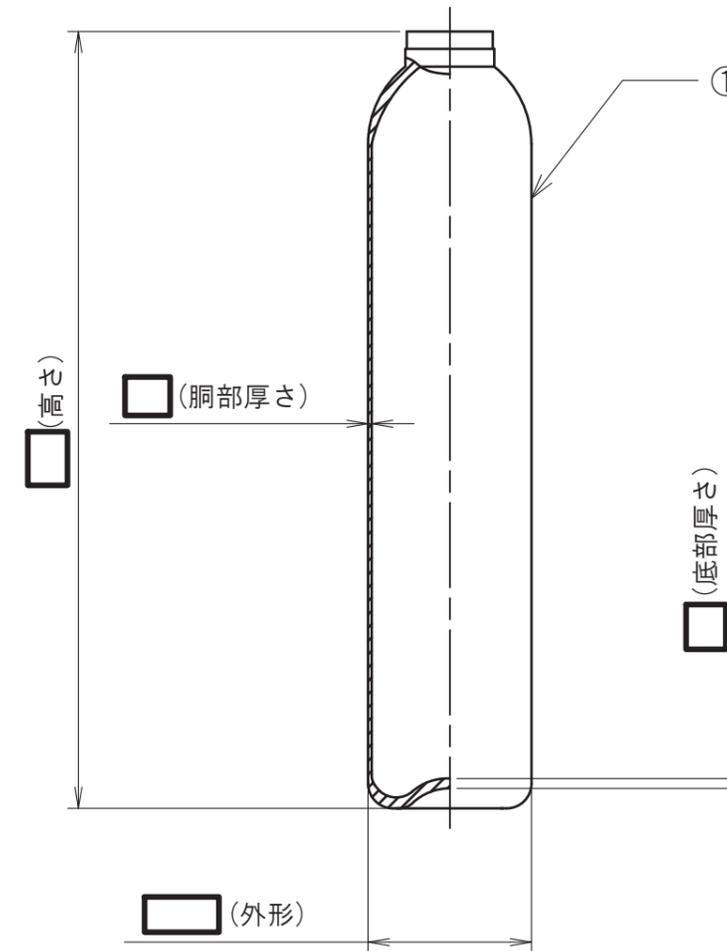
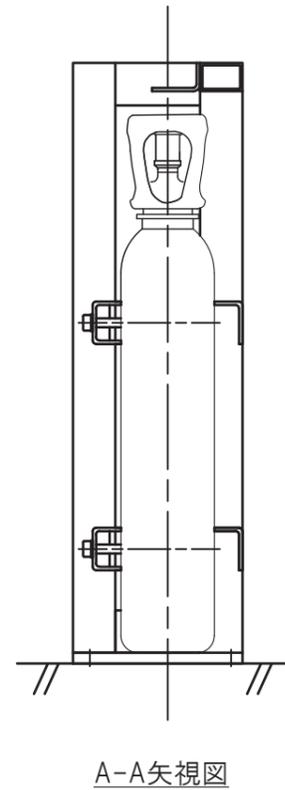
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-82図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器(P102③,C100⑤ 用及びK100④,P402④用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 1 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



1本ユニット設置



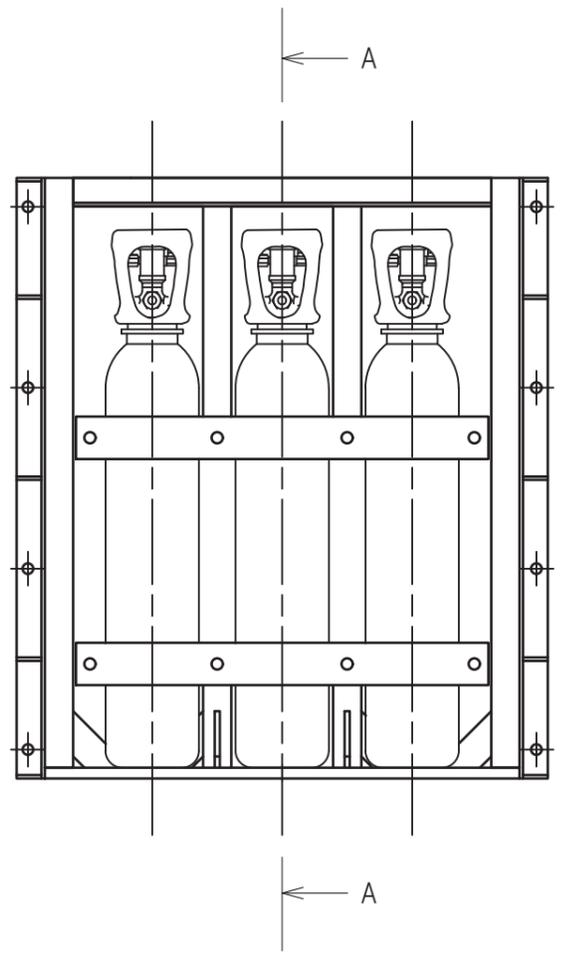
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

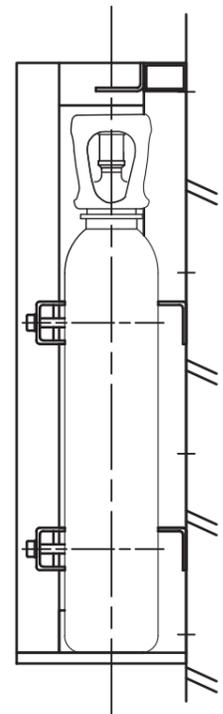
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-83図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S100⑥用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

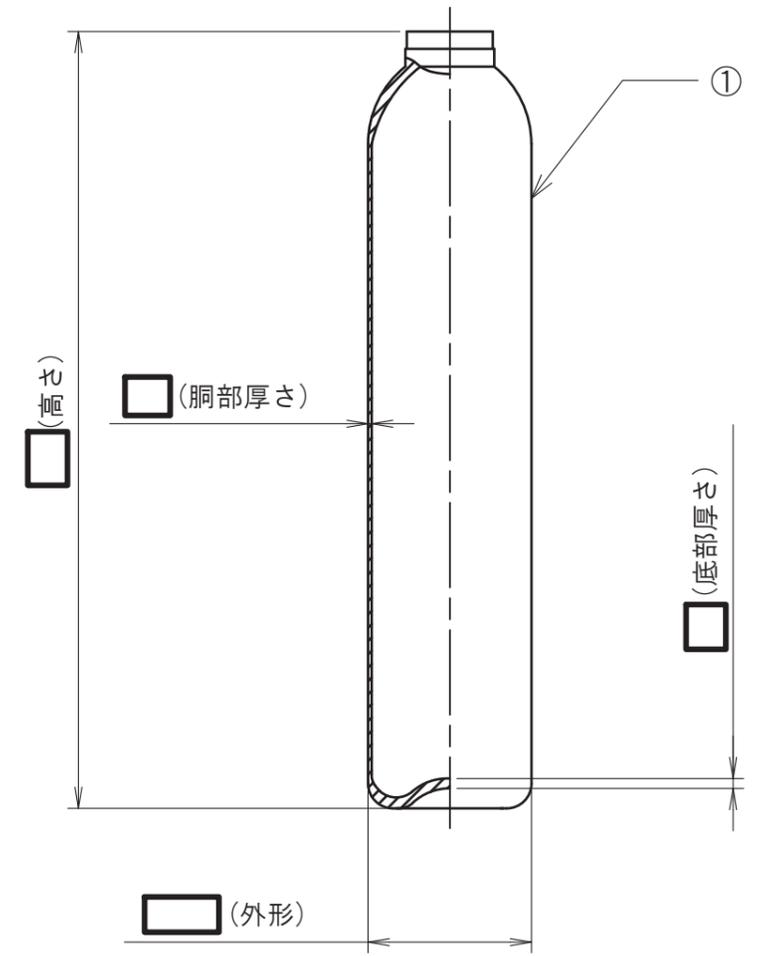
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



A-A矢視図



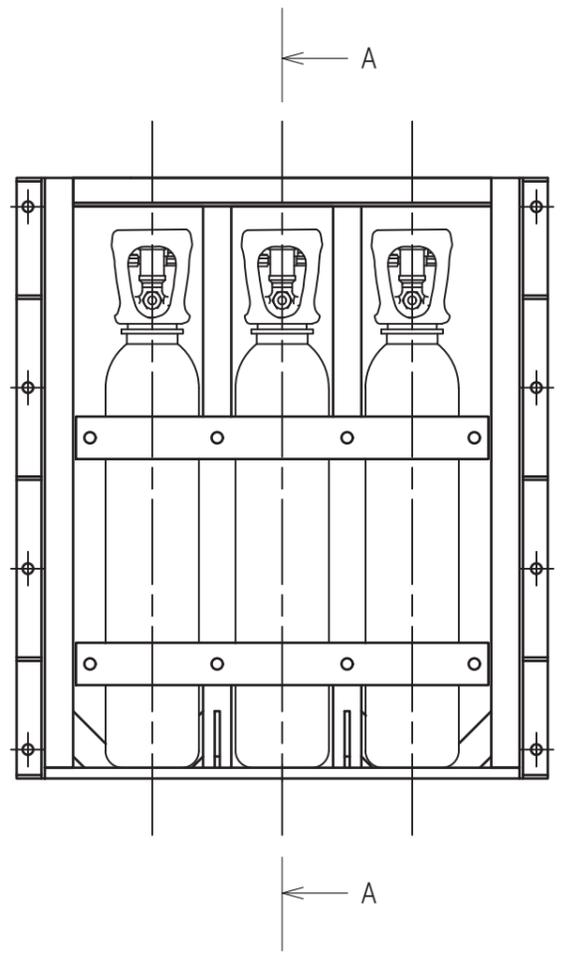
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

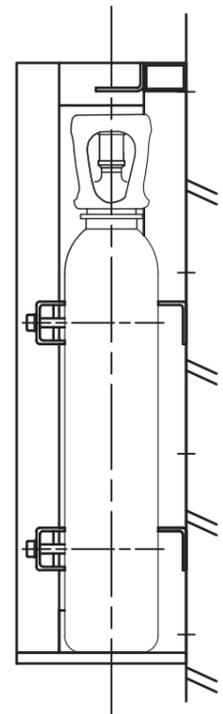
| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-84図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (K100⑧,P402⑧ 用,P102⑧,C100③⑩用及びS100⑨用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

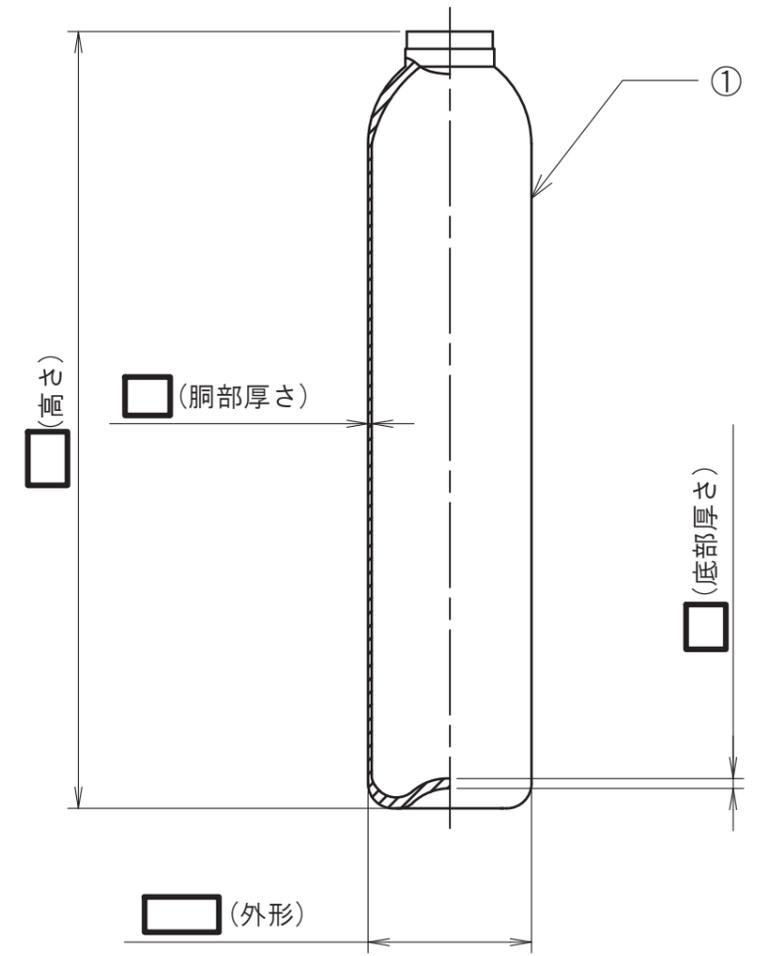
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



A-A矢視図



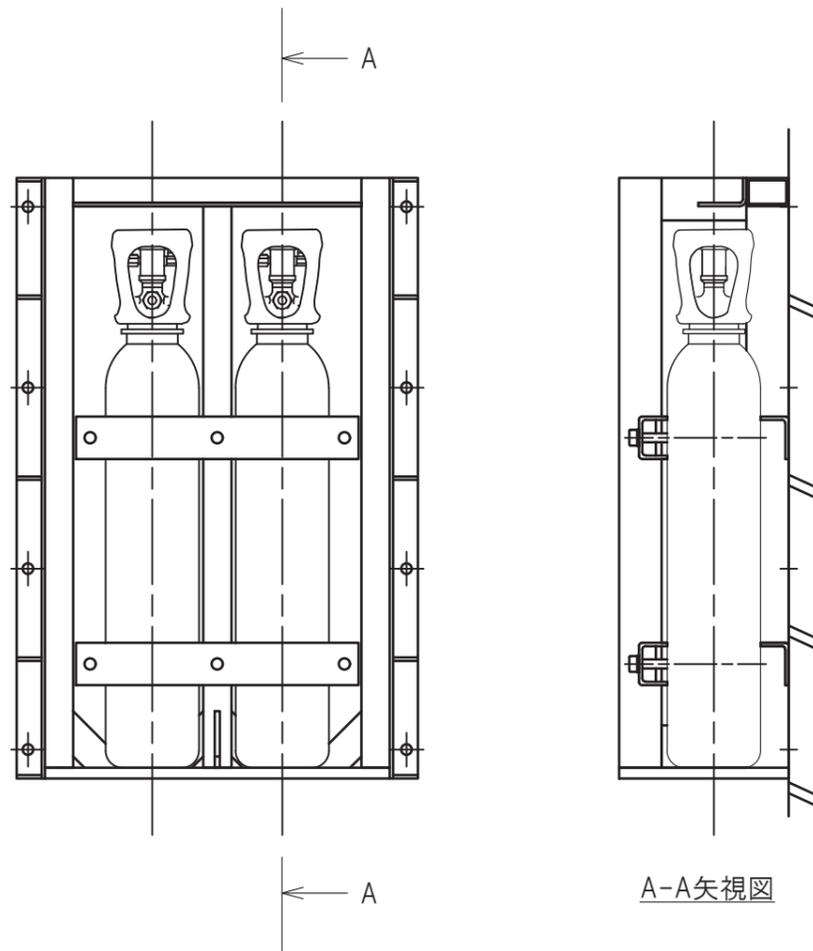
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

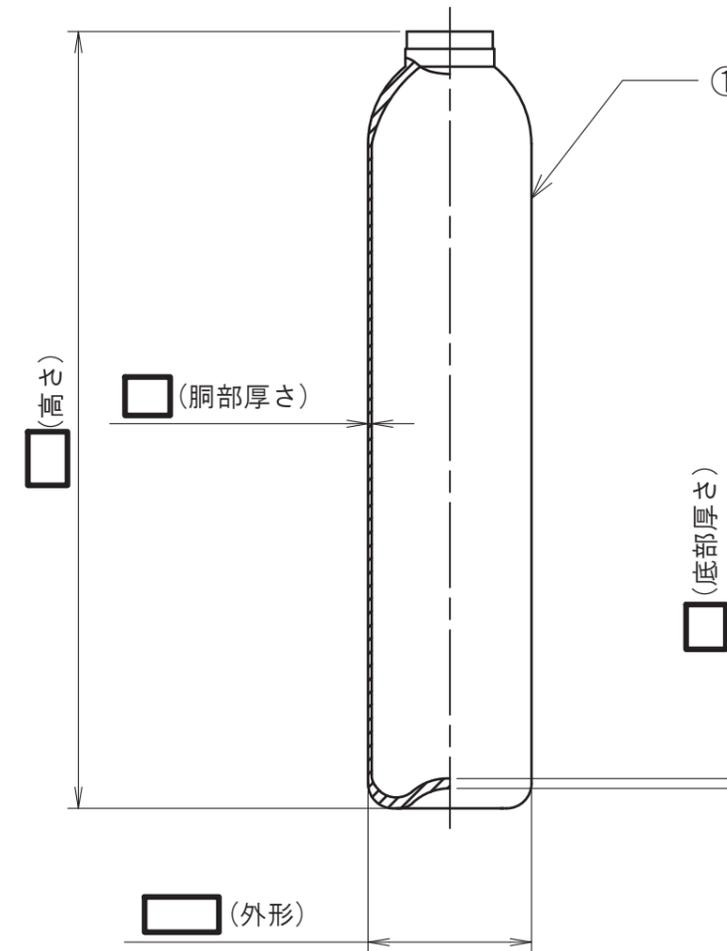
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-85図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S100⑧用,P102⑨,C100⑩用及びK100⑨,P402⑨用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



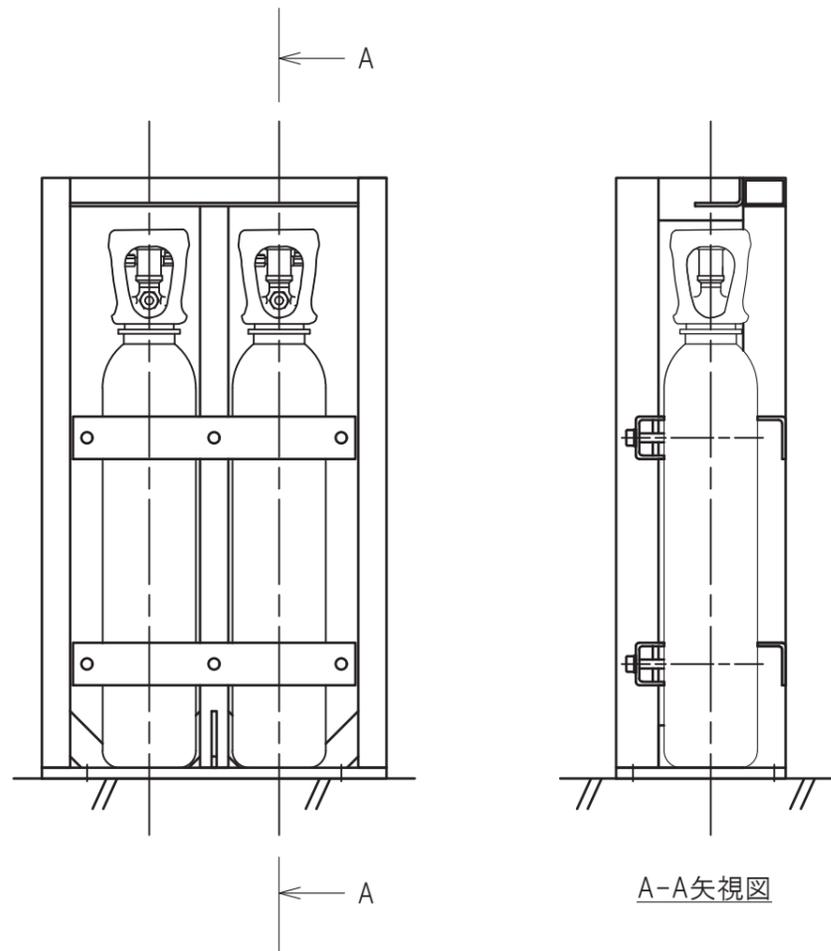
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

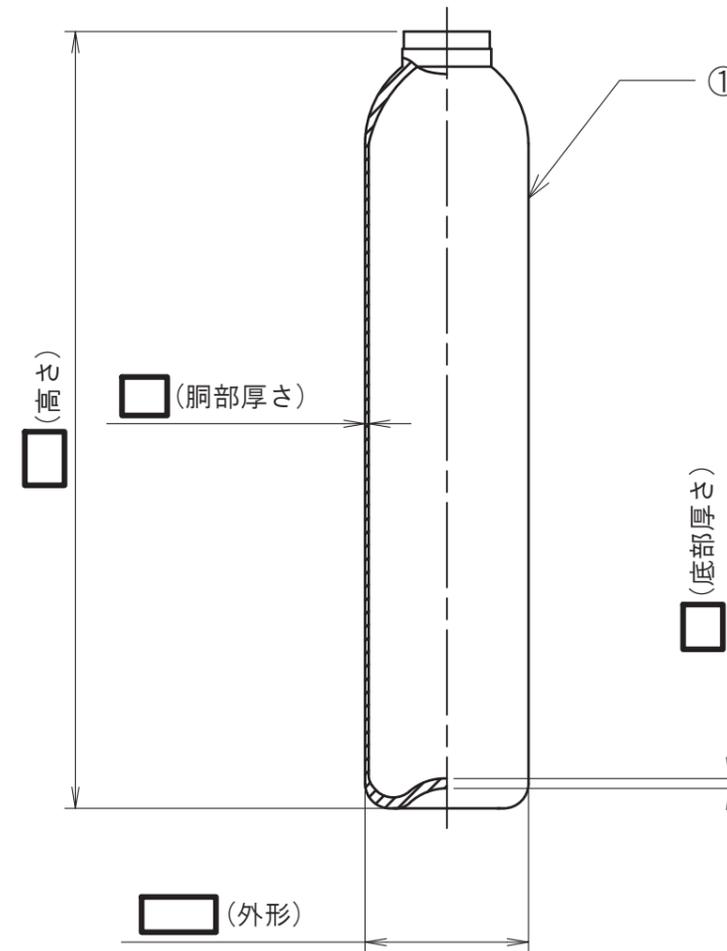
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-86図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (P502⑩用及びK201④用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



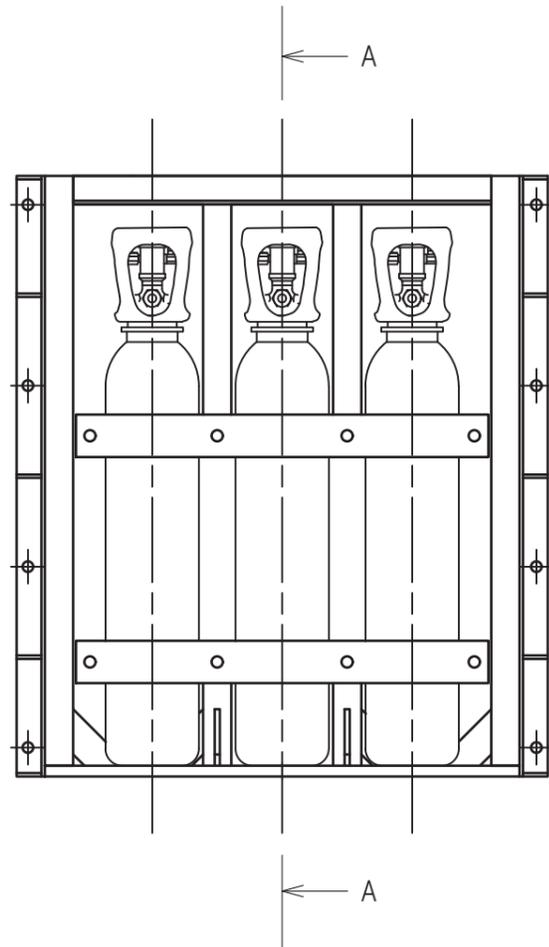
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

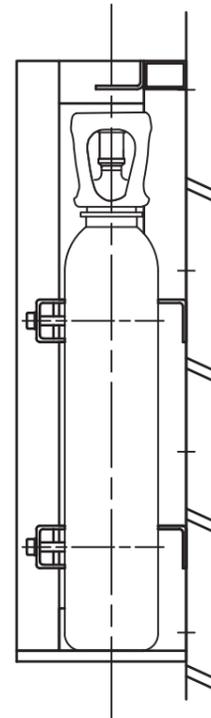
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-87図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S300⑦用及びC300⑨用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

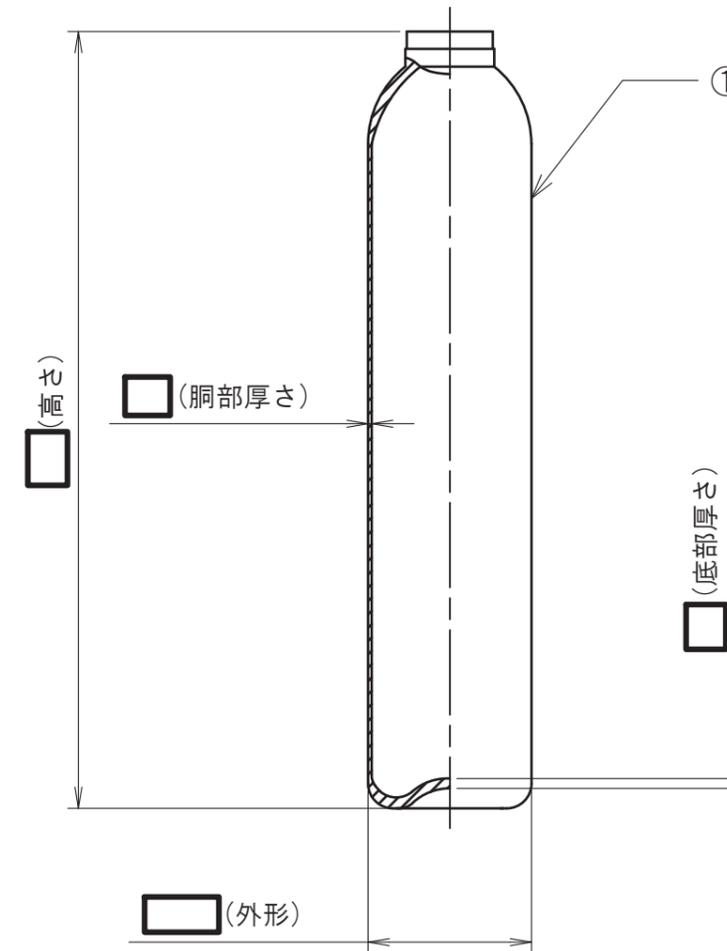
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



A-A矢視図



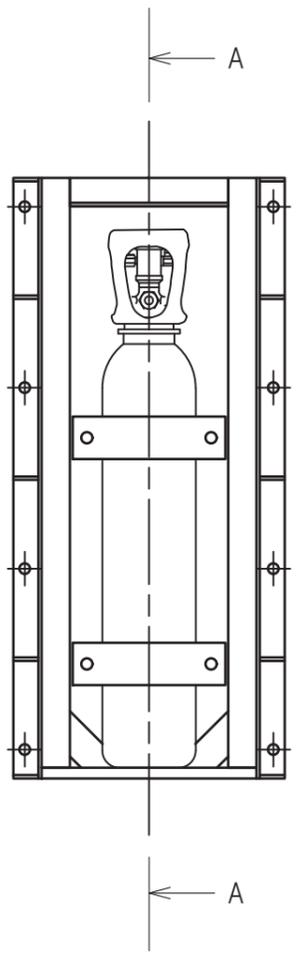
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

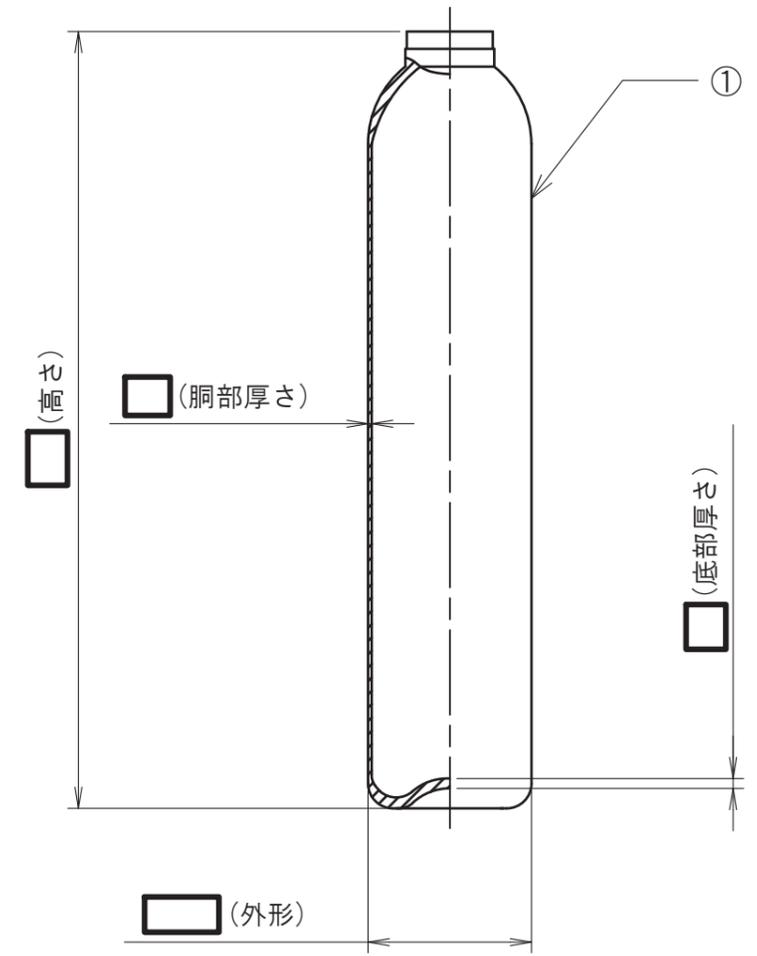
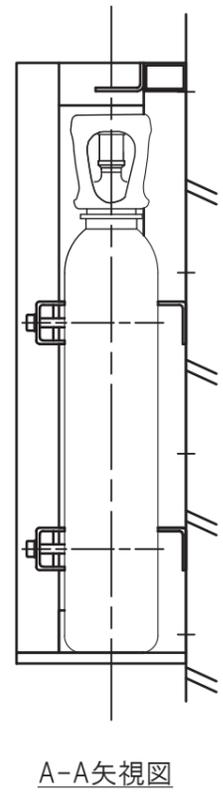
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-88図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 | ケーブルトレイ消火系 構造図 |
| 称 | FK-5-1-12貯蔵容器 (K610③,K611③,K612③用,K610②,K611②,K612②用及びK610①,K611①,K612①用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| 0420 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 1 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



1本ユニット設置



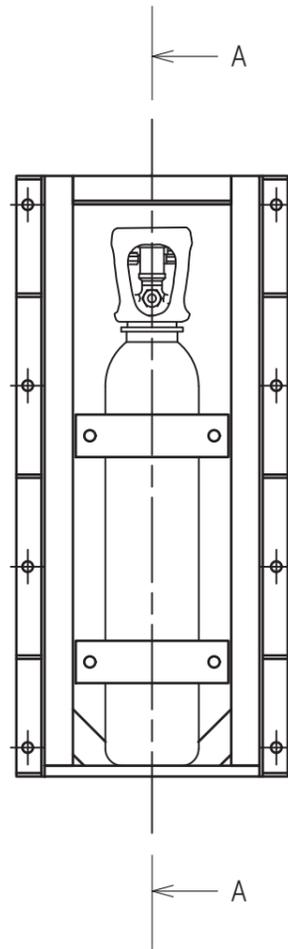
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

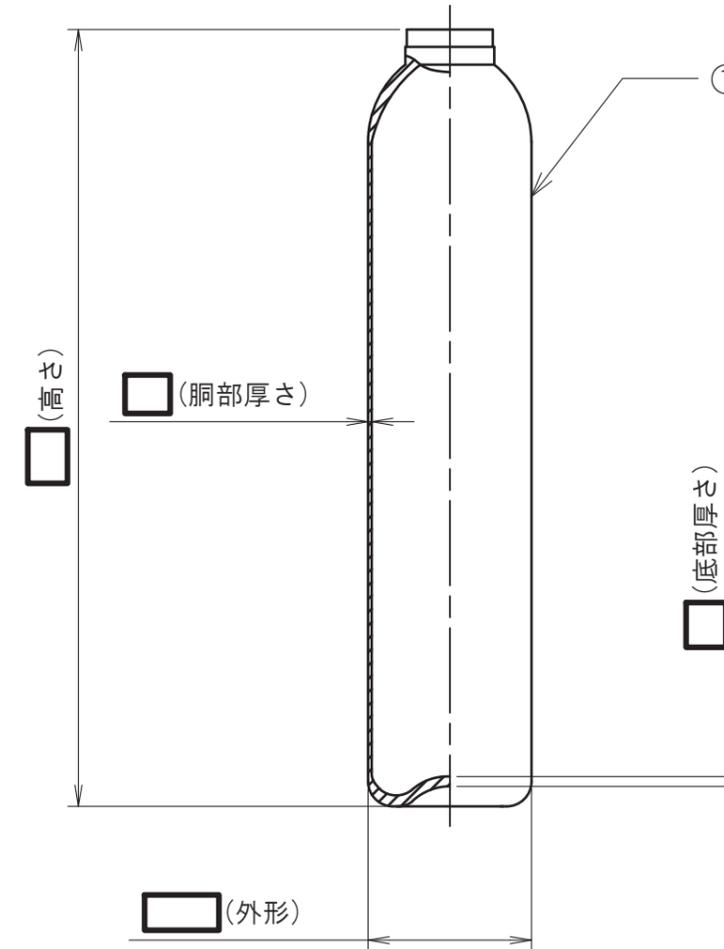
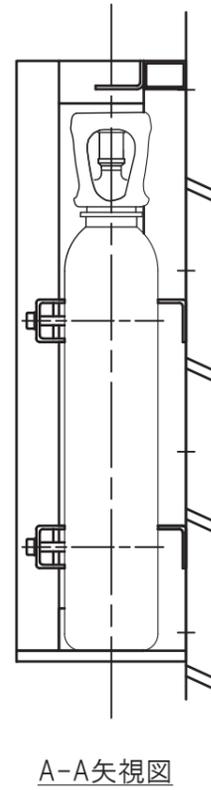
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-89図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (K003①用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 1 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



1本ユニット設置



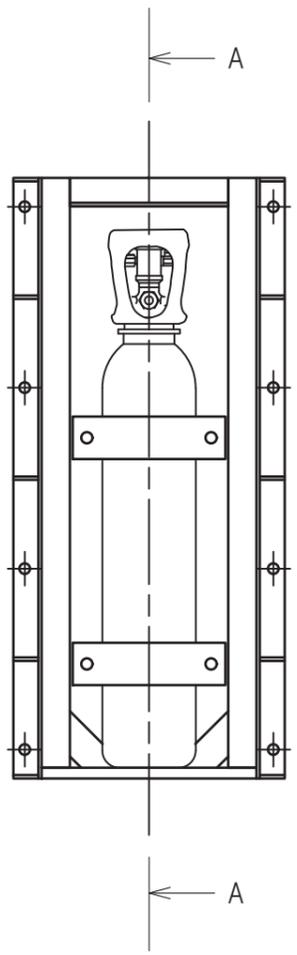
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

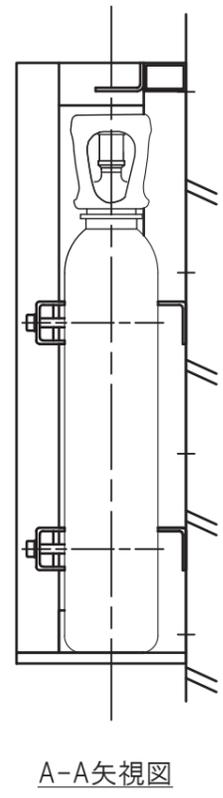
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-90図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (K003②用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

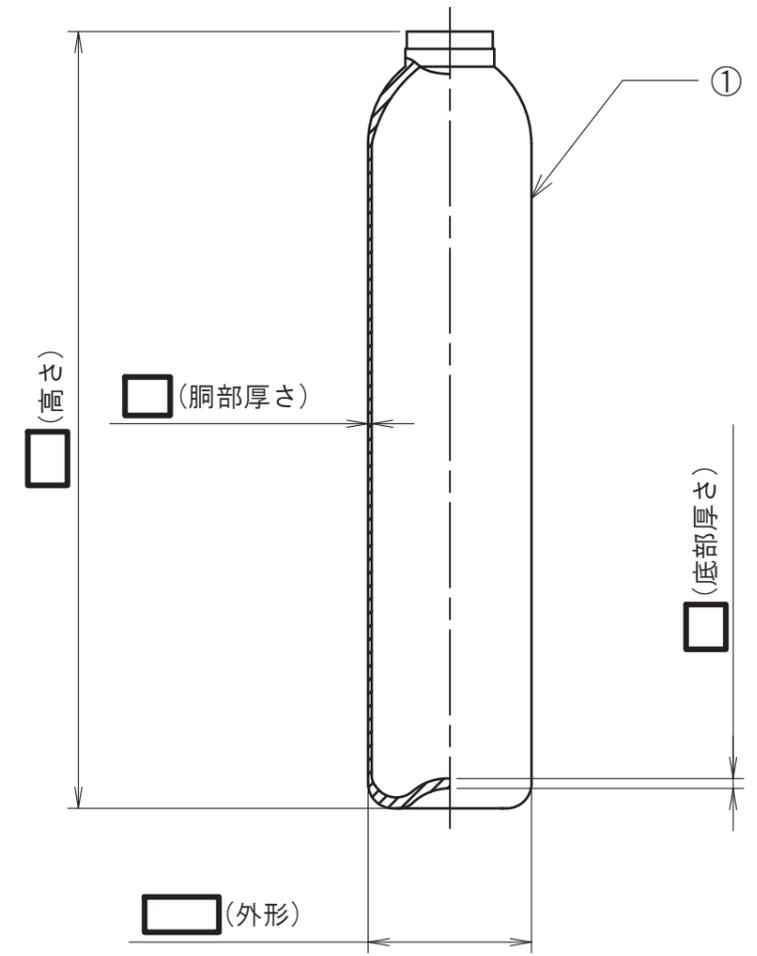
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 1 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



1本ユニット設置



A-A矢視図



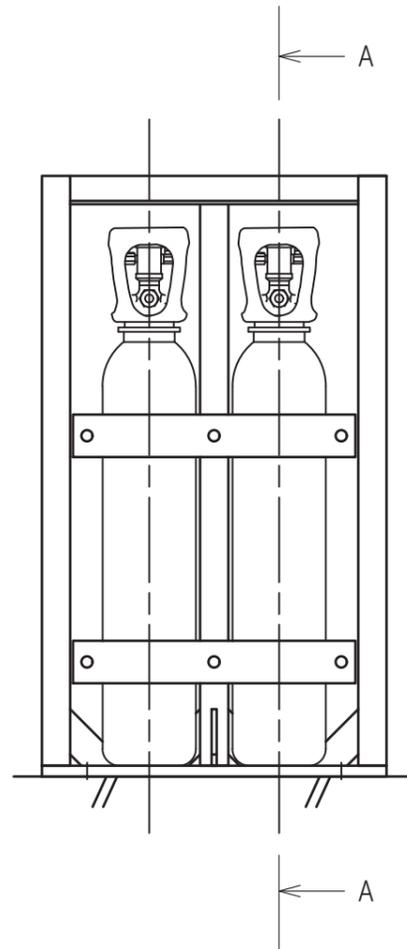
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

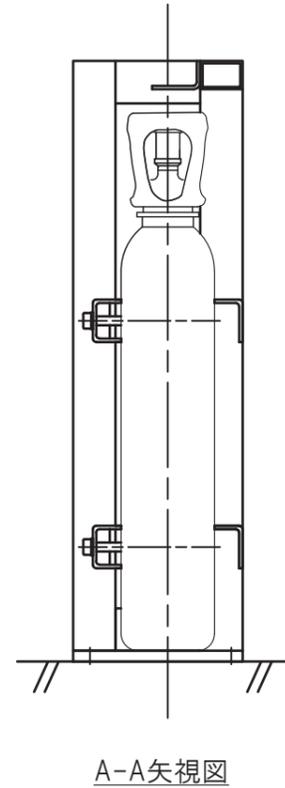
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-91図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (K003③用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

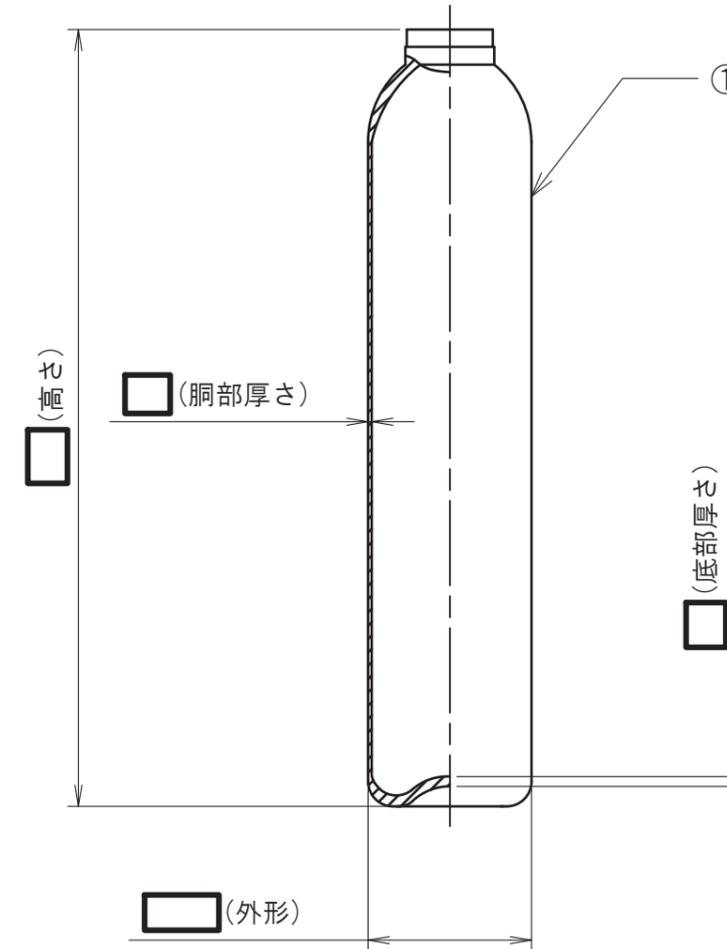
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



A-A矢視図



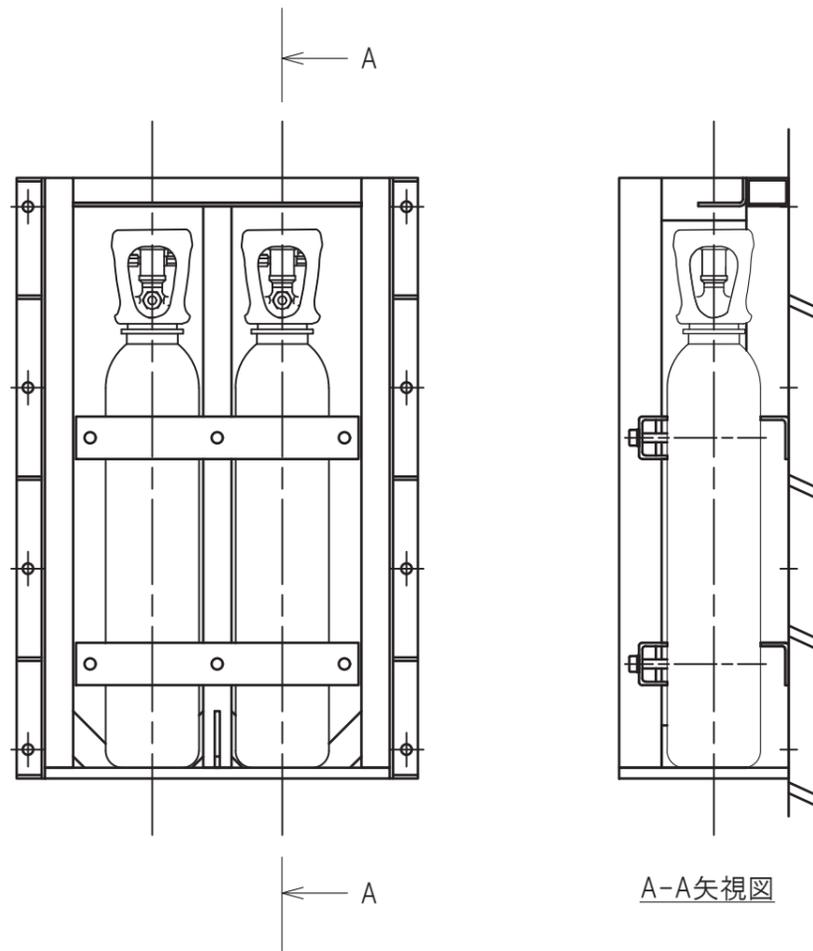
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

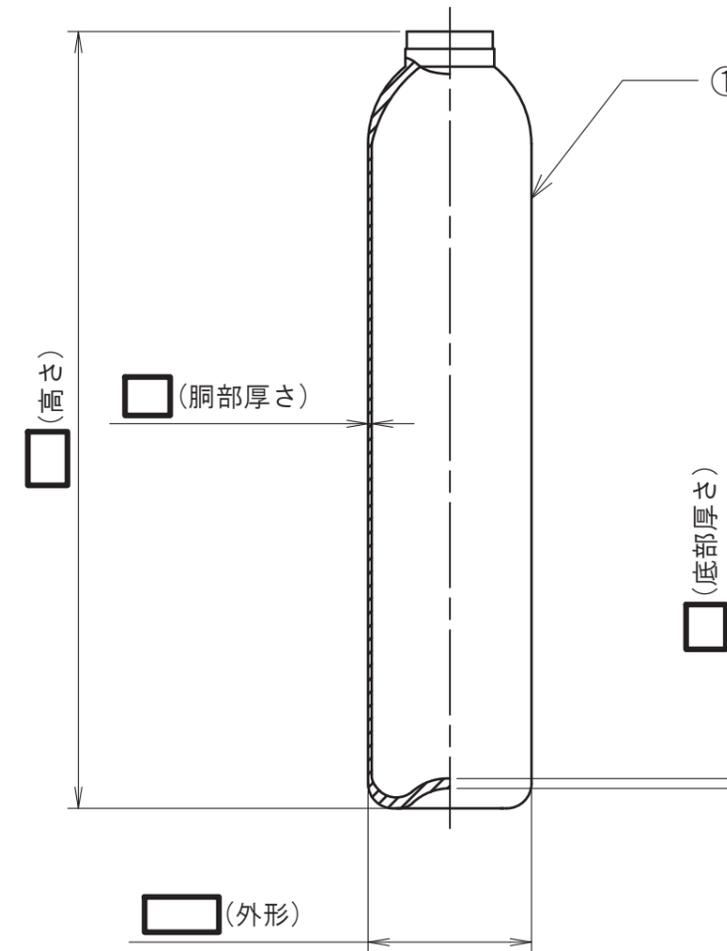
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-92図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S003③用及びC008③用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



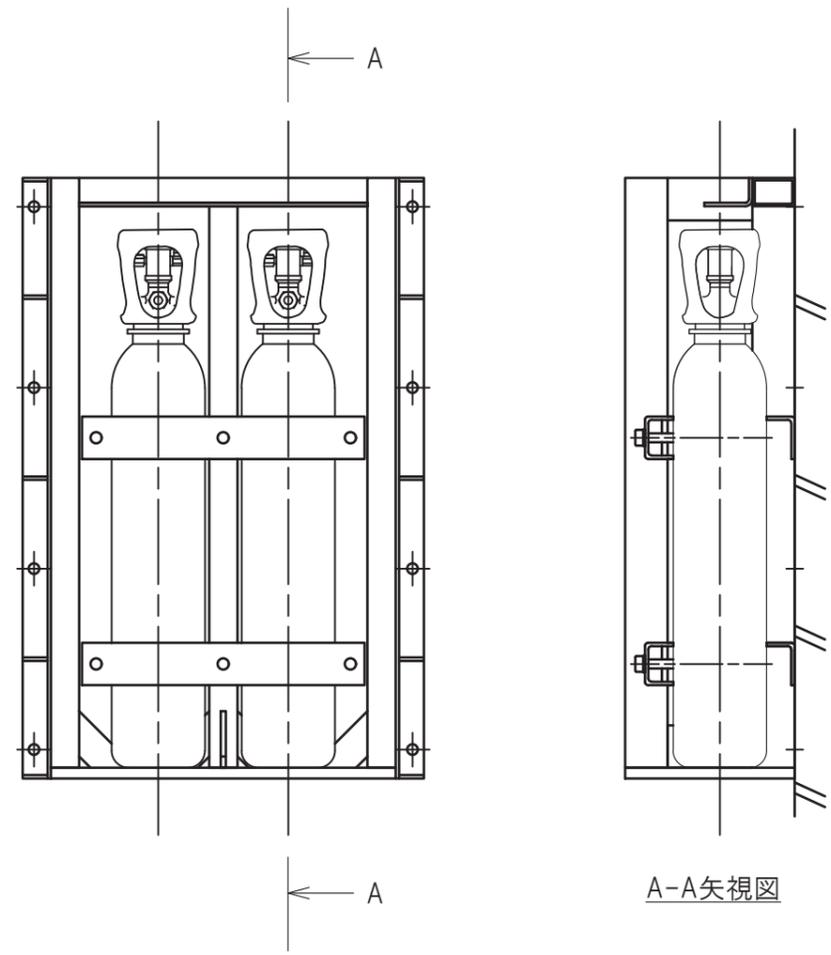
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

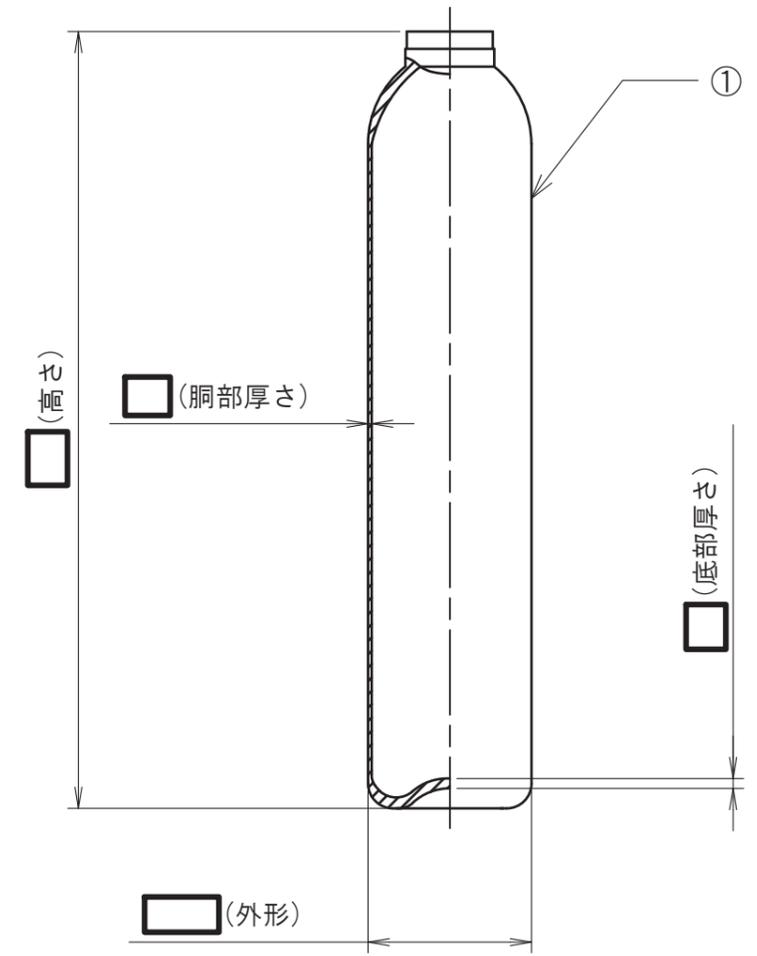
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-93図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S003②用及びC008②用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



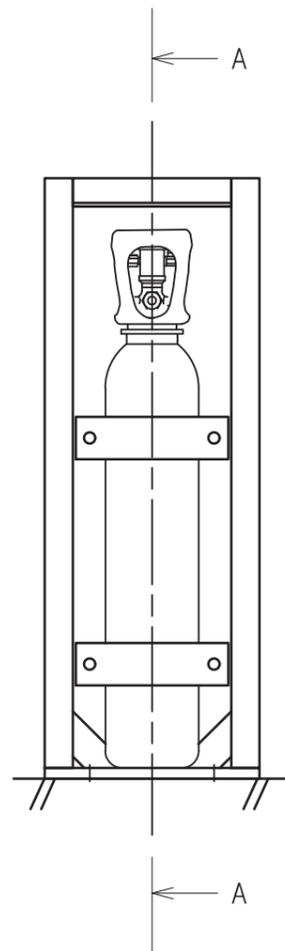
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

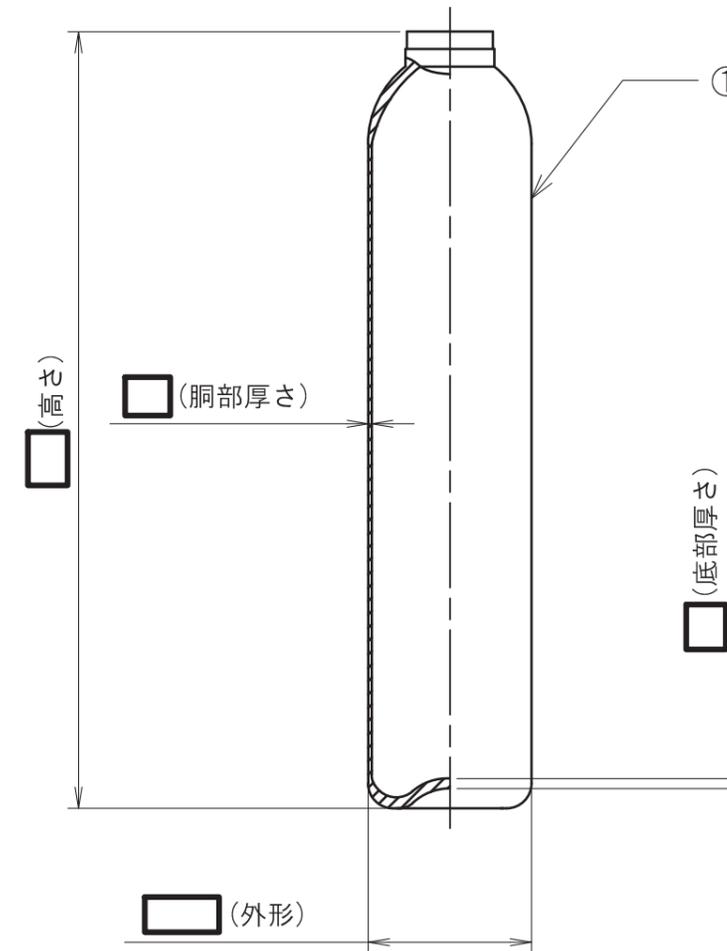
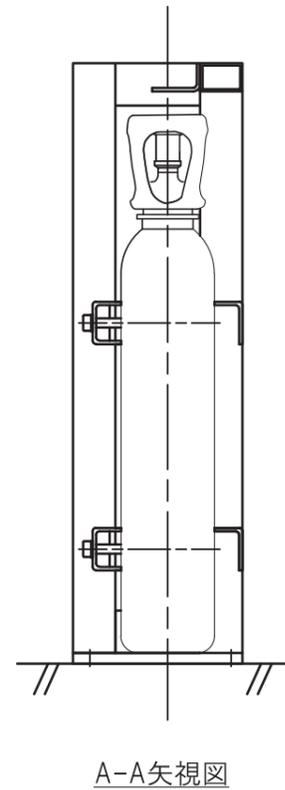
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-94図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S003①用及びC008①用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 1 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



1本ユニット設置



FK-5-1-12貯蔵容器 □

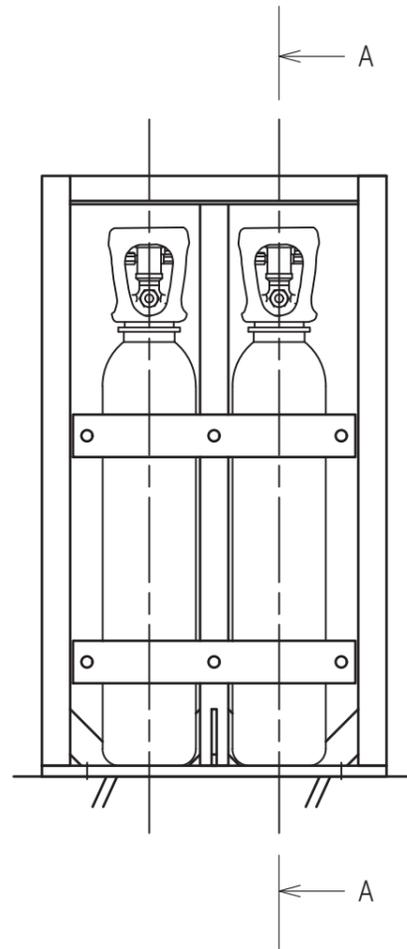
注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-95図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (C004用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |

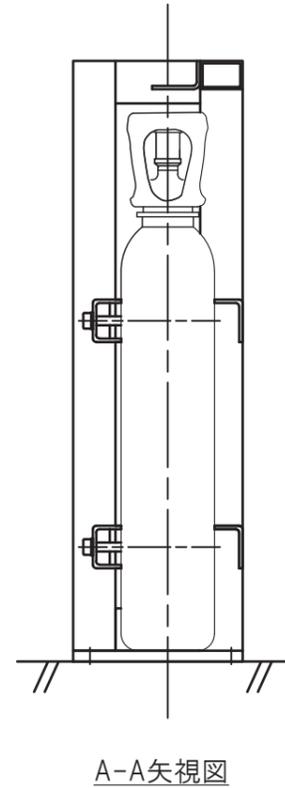
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

1618

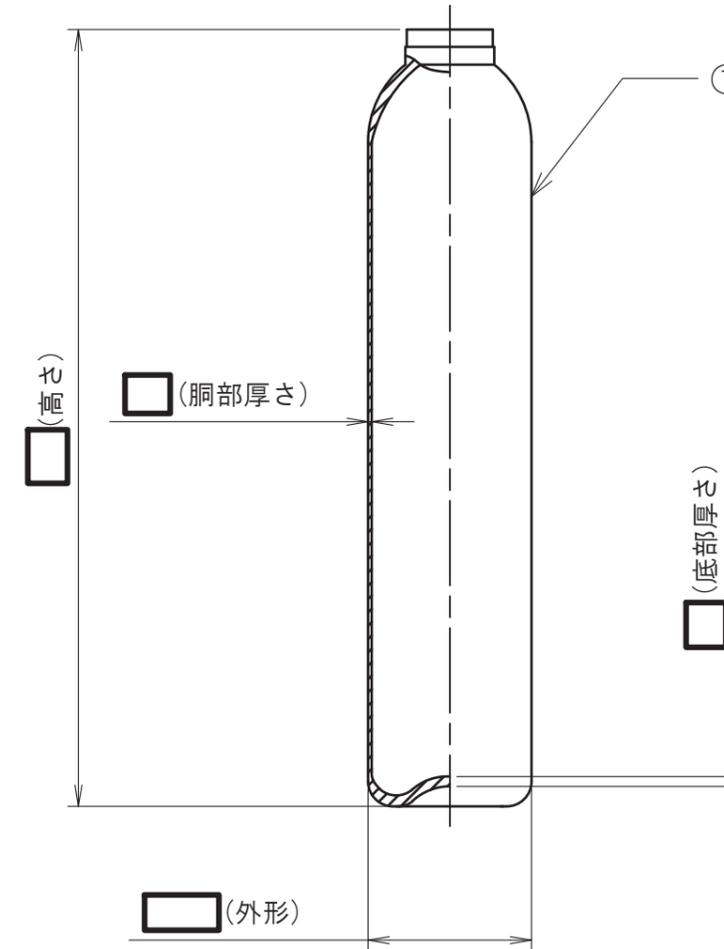
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



A-A矢視図



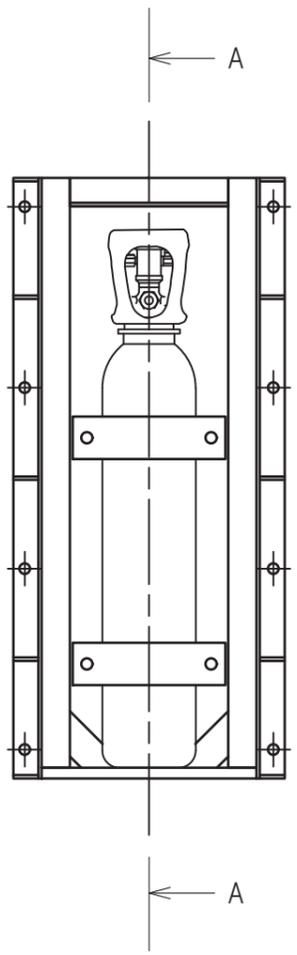
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

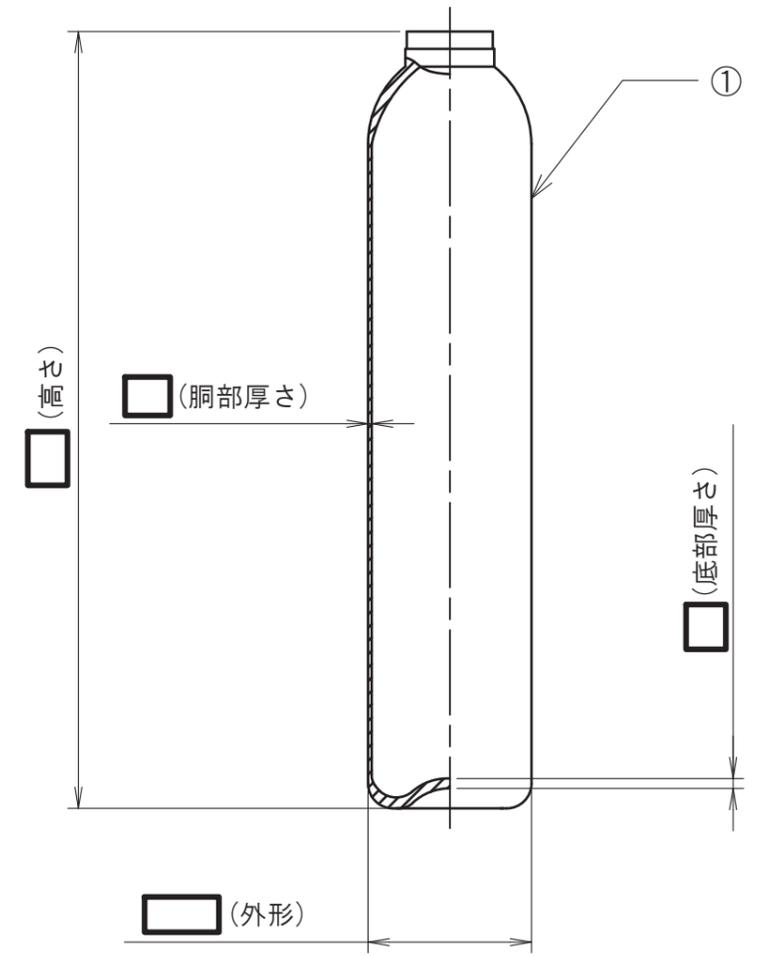
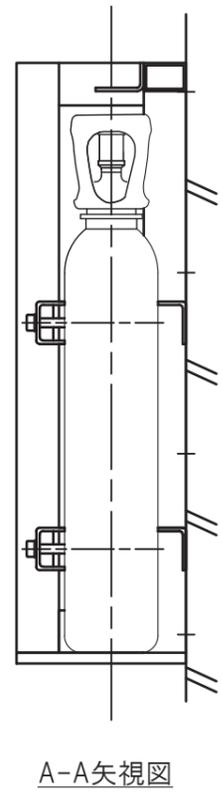
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-96図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (C001②用及びS001②用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 1 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



1本ユニット設置



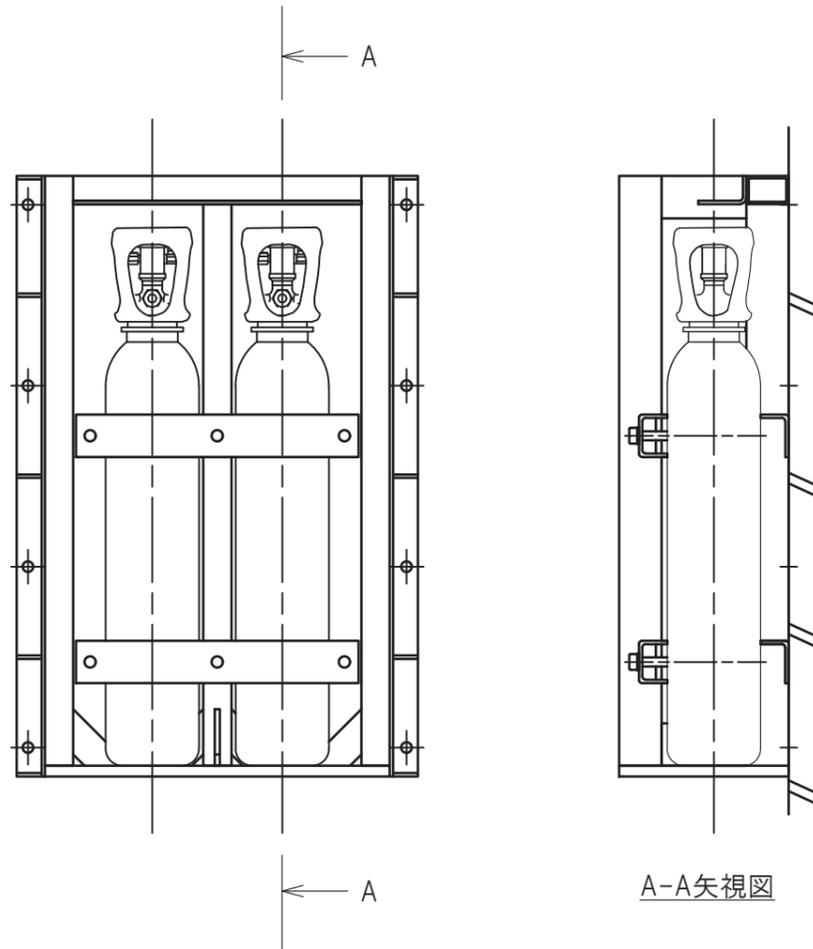
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

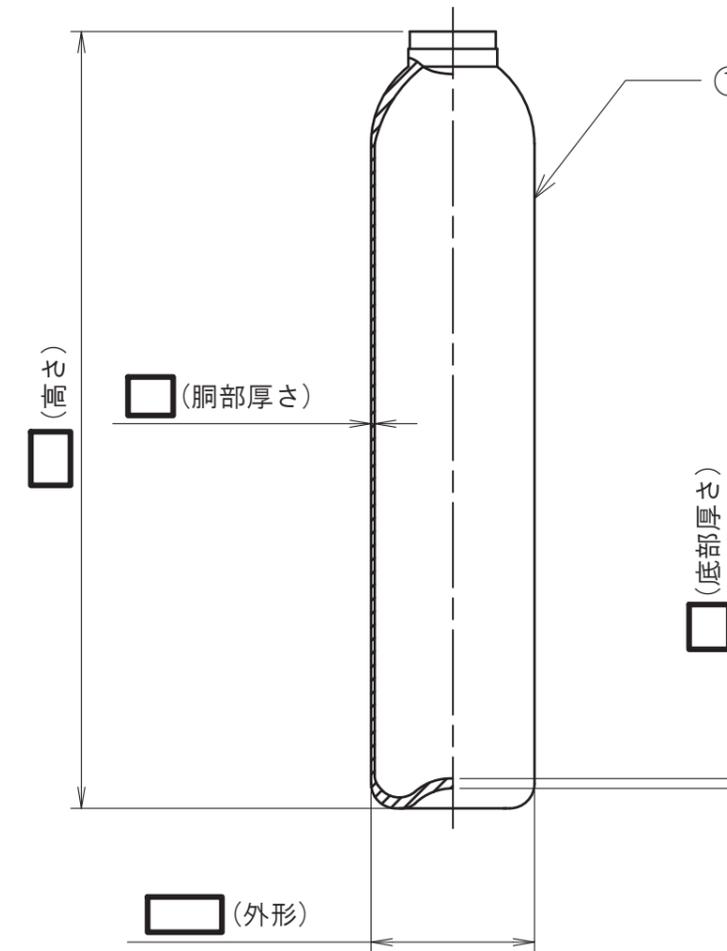
| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-97図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (K002用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



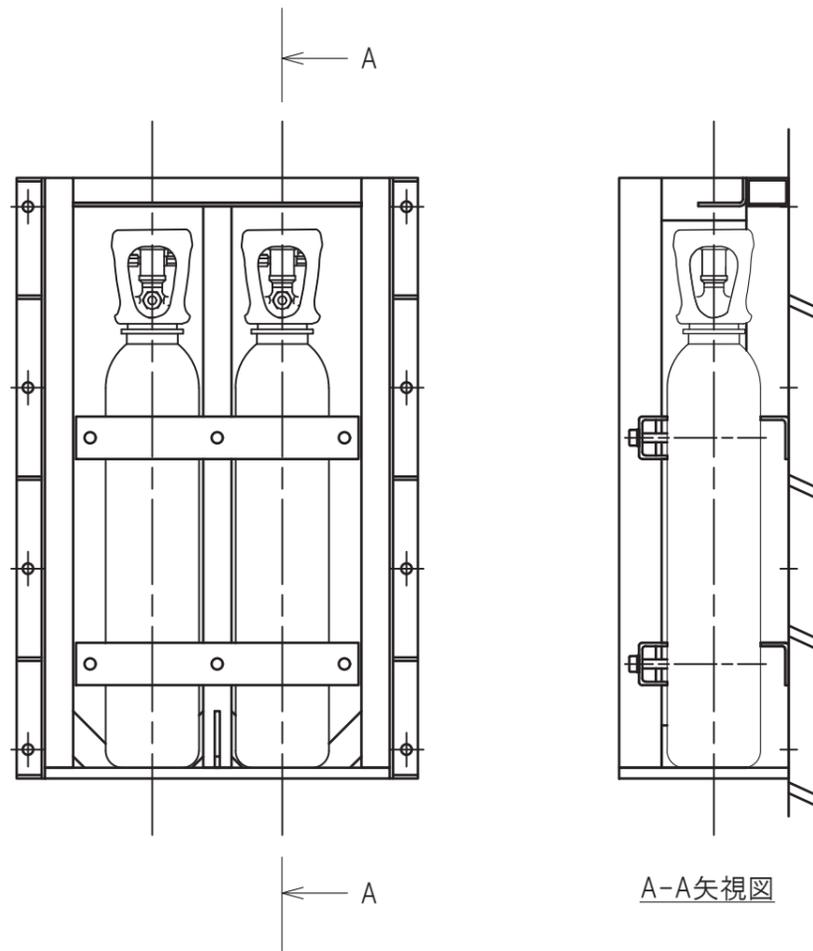
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

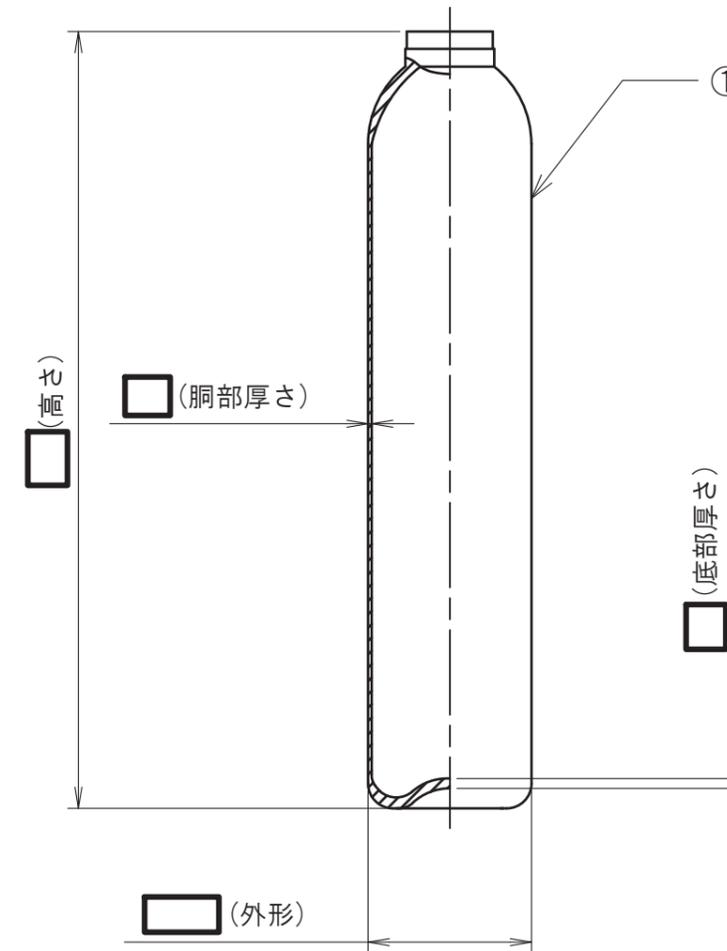
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-98図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (C001①用及びS001①用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



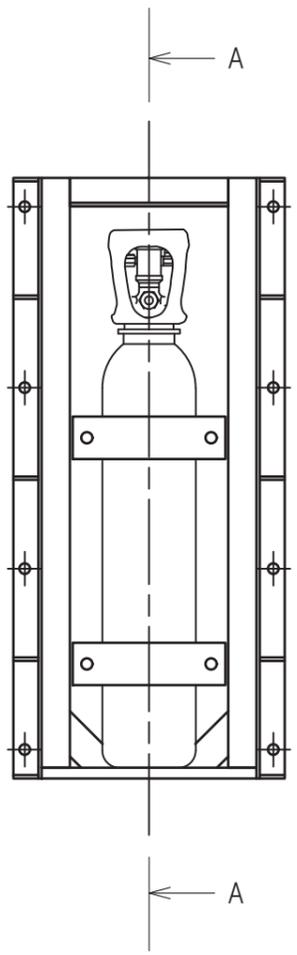
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

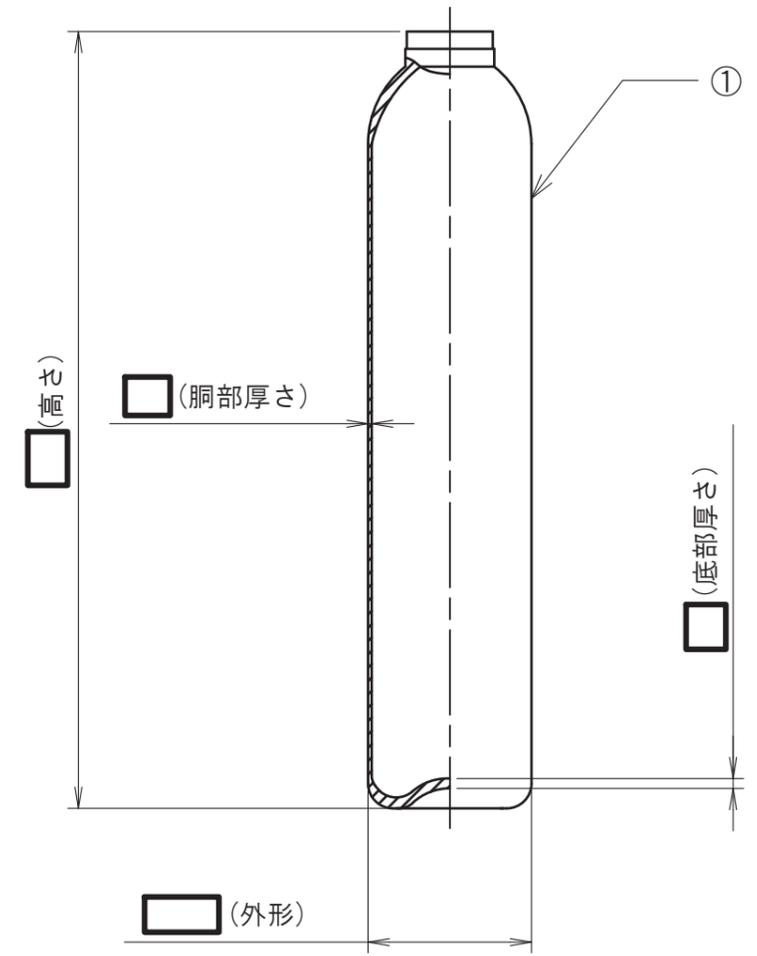
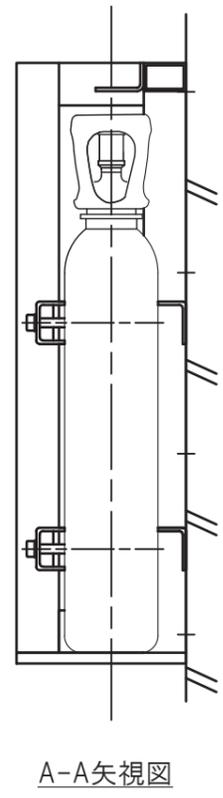
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-99図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S751①用及びS750①用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 1 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



1本ユニット設置



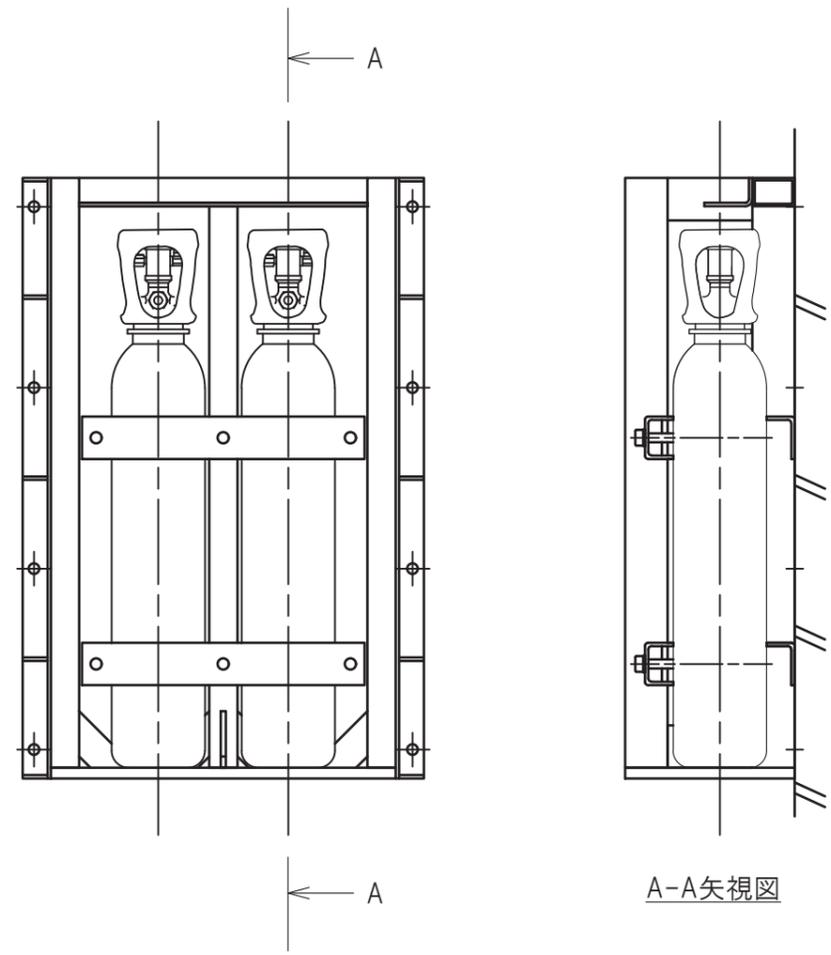
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

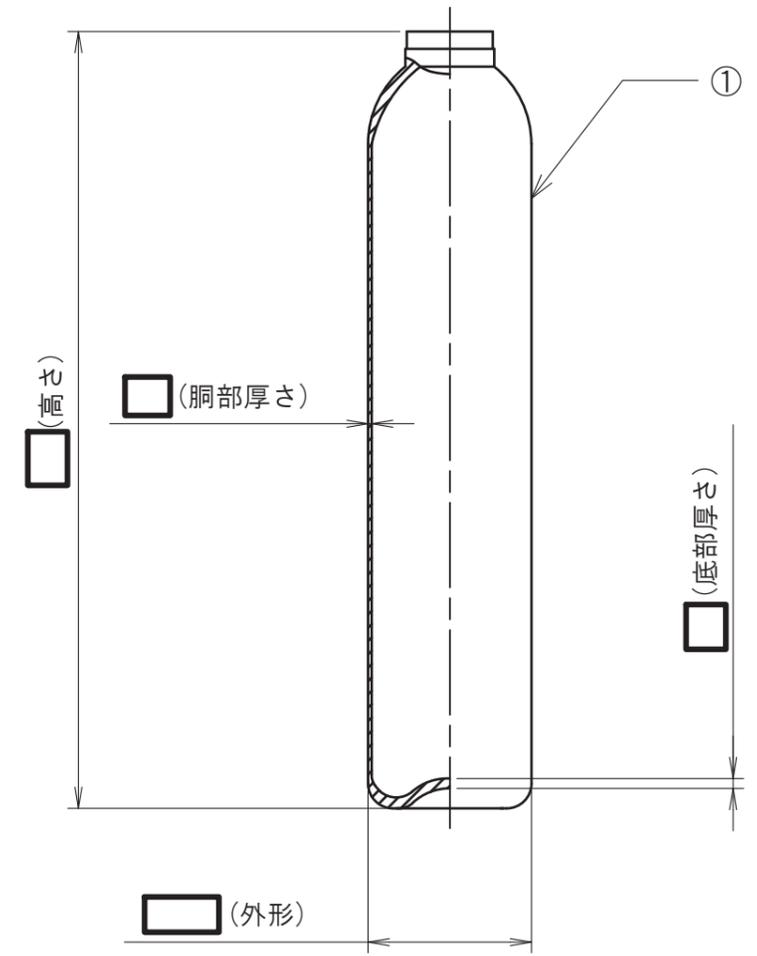
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-100図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S750②用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



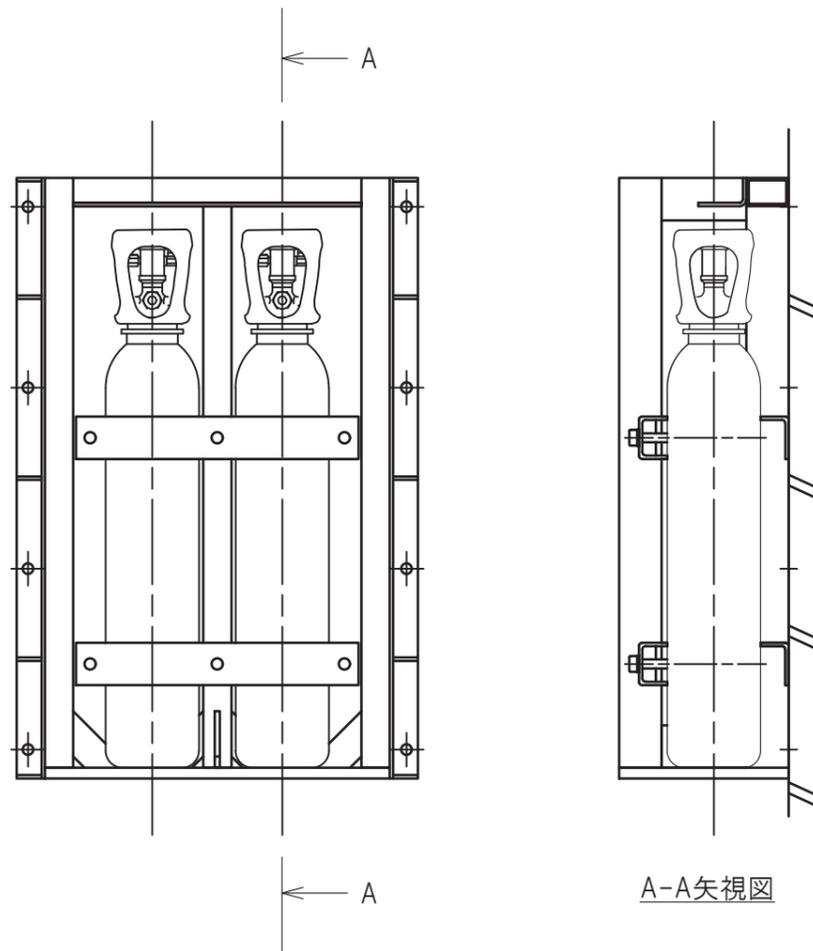
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

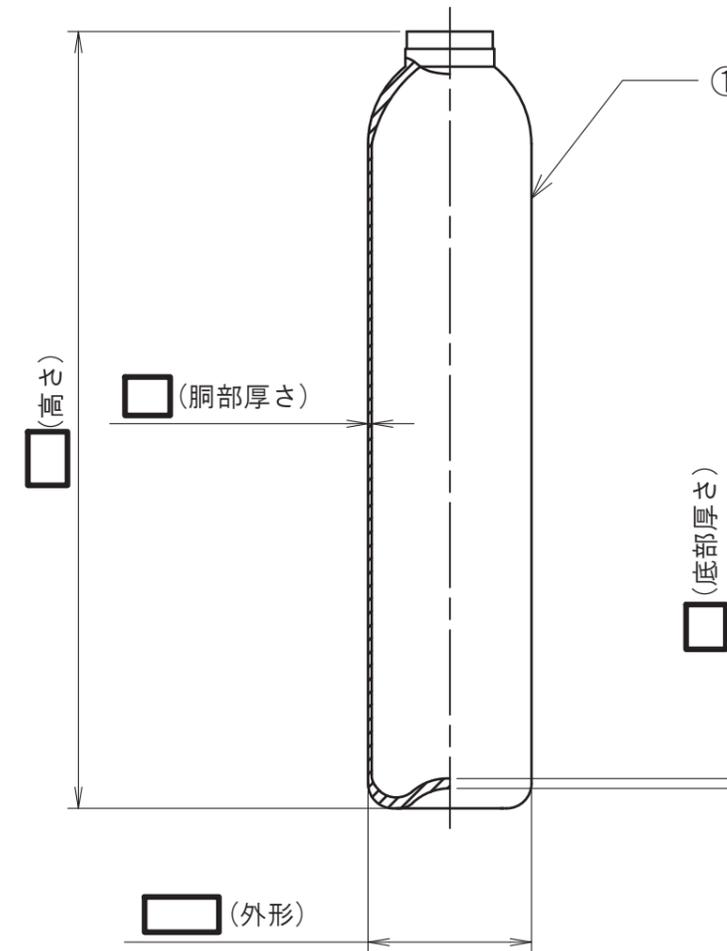
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-101図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S751②用及びS750③用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



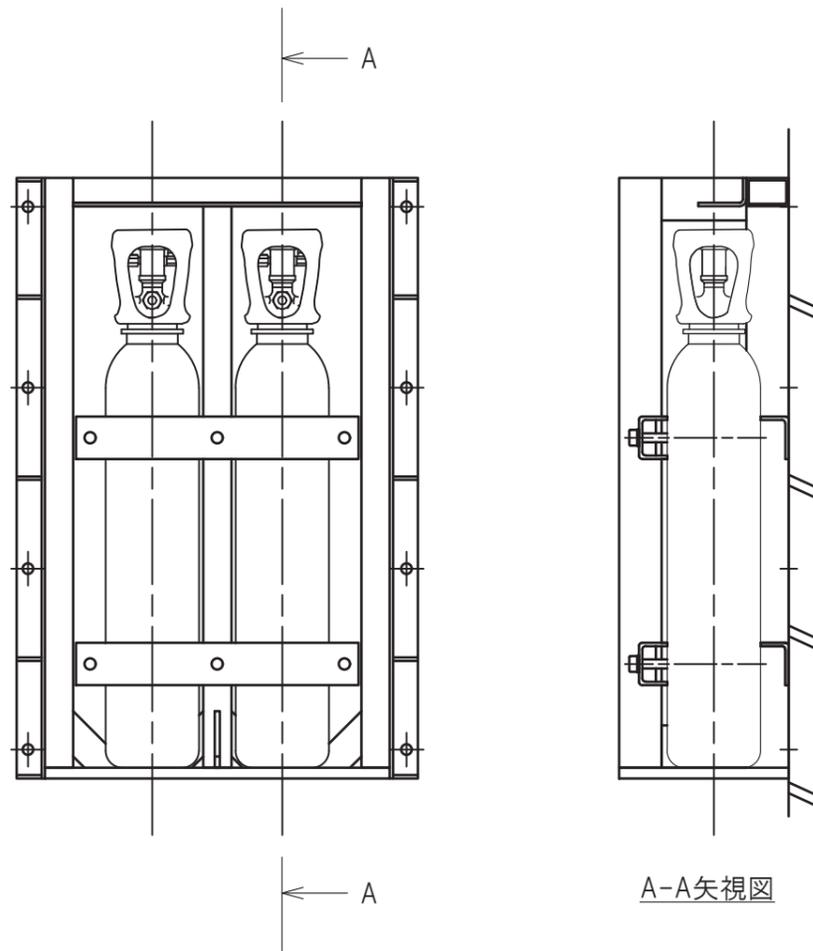
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

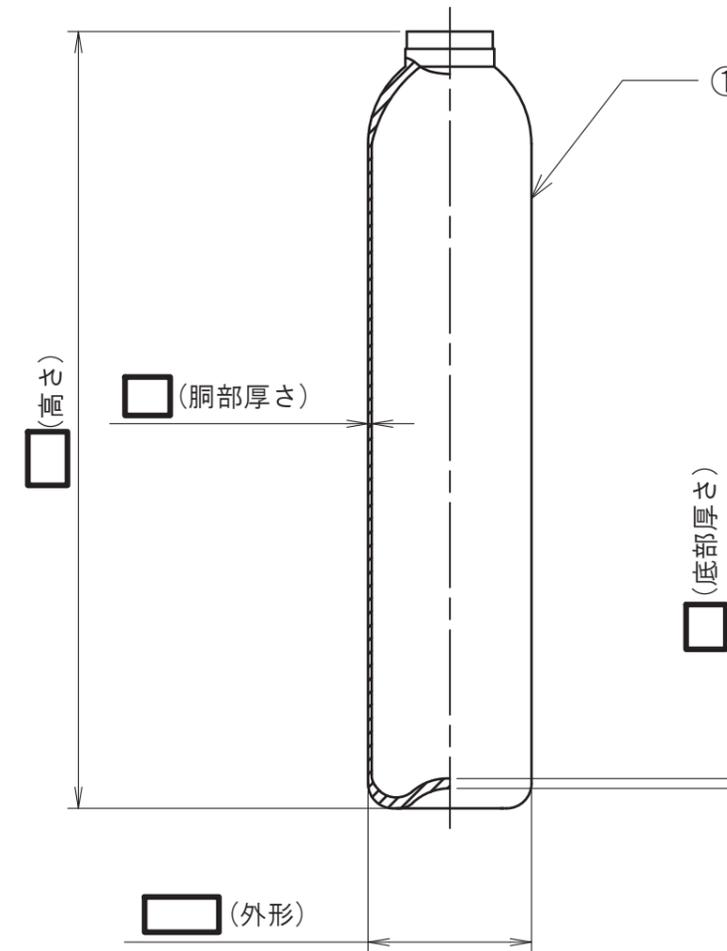
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-102図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S751③用及びS750④用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



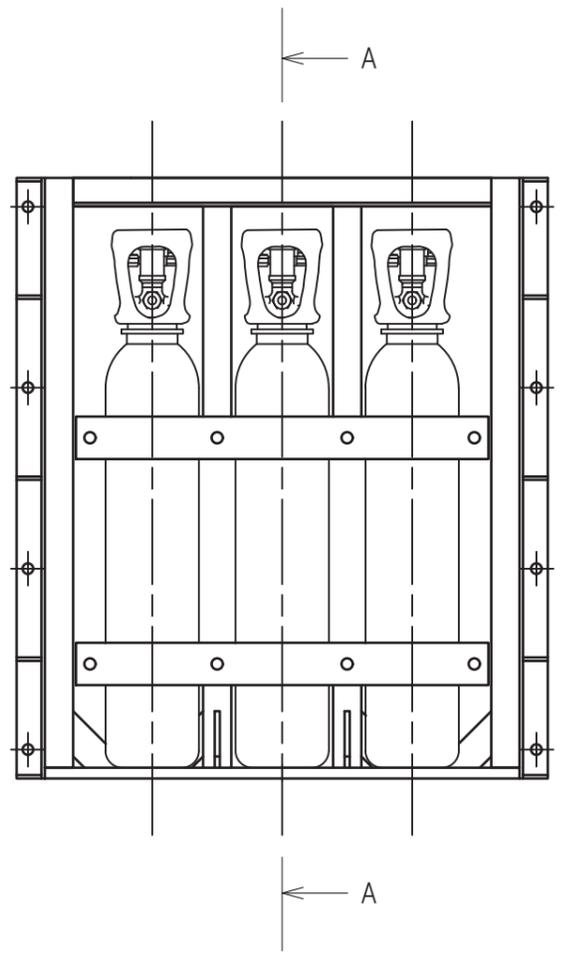
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

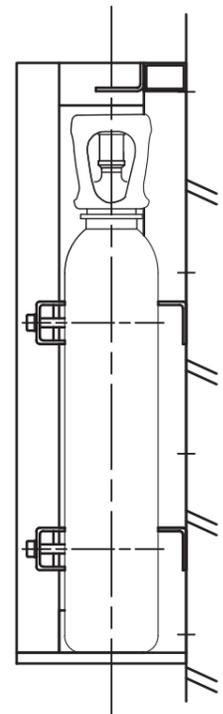
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-103図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S751④用及びS750⑤用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

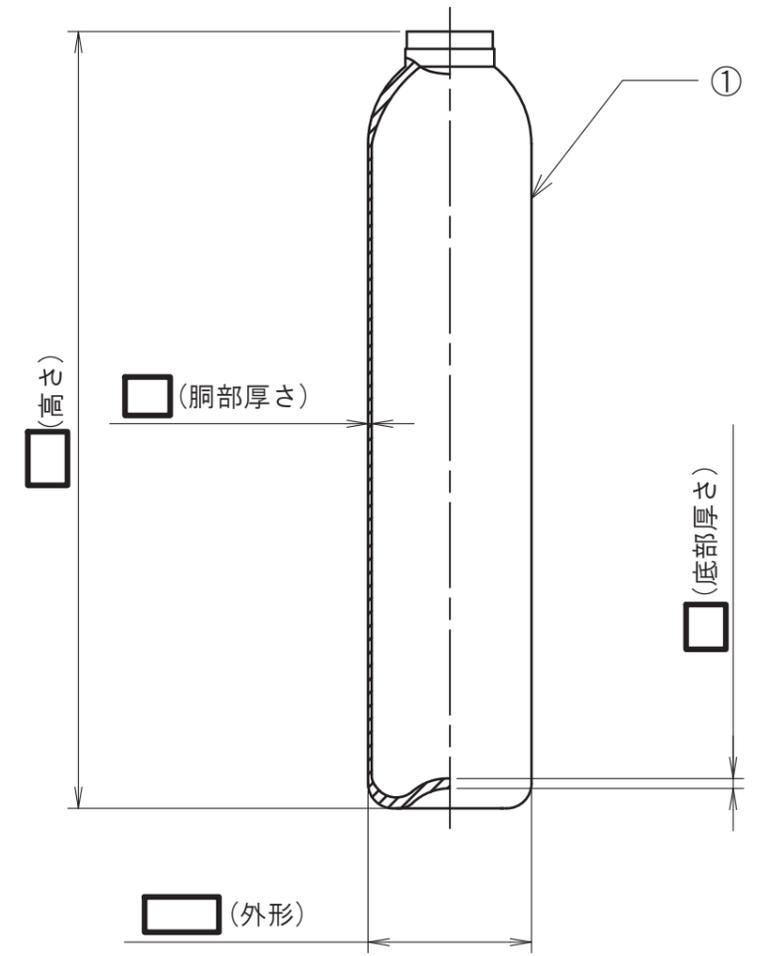
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



A-A矢視図



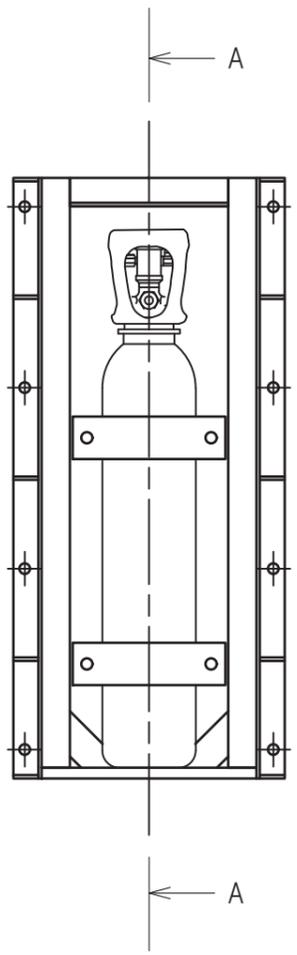
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

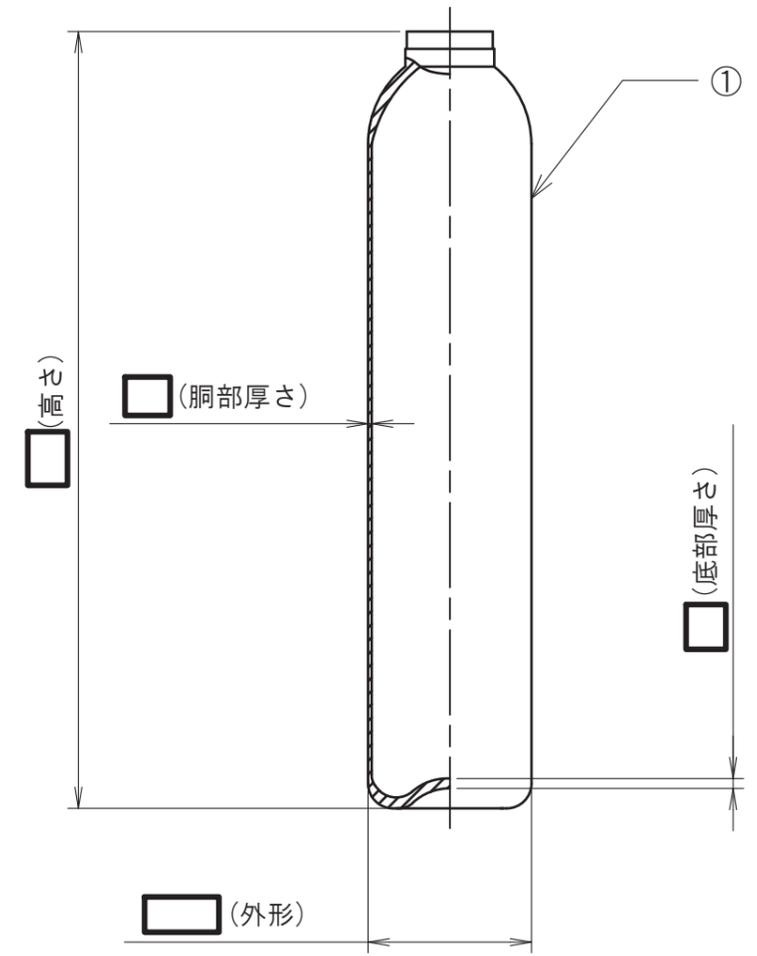
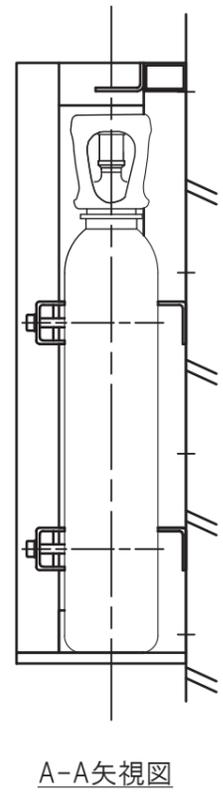
| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-104図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (C002②用,C003用及びS002用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 1 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



1本ユニット設置



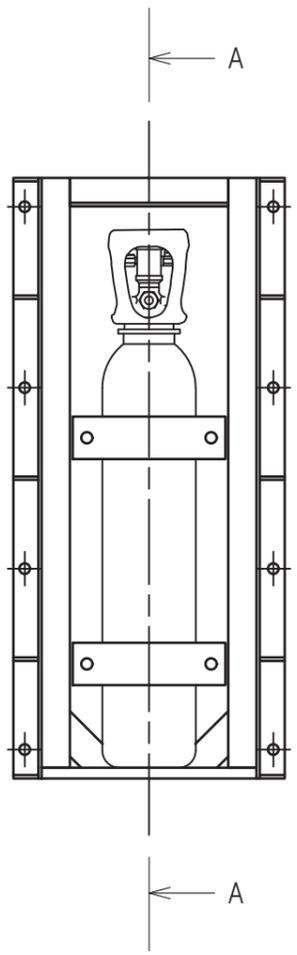
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

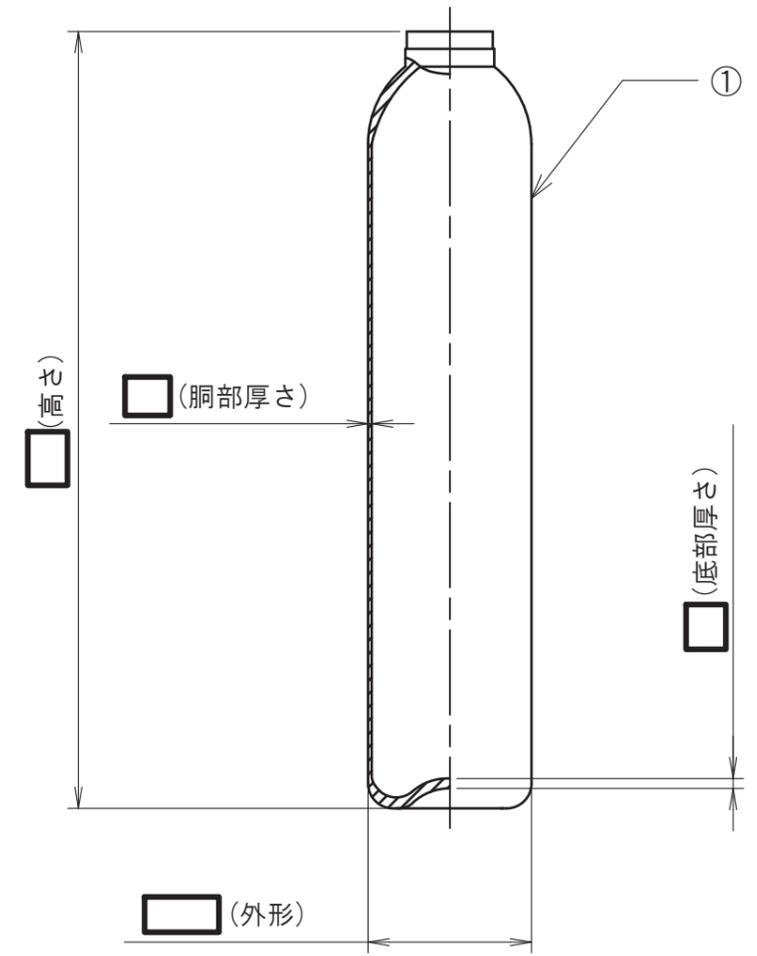
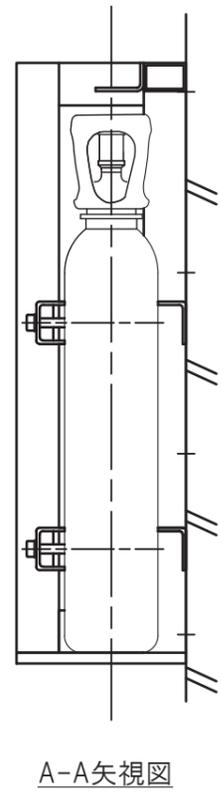
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-105図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S750⑥用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 1 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



1本ユニット設置



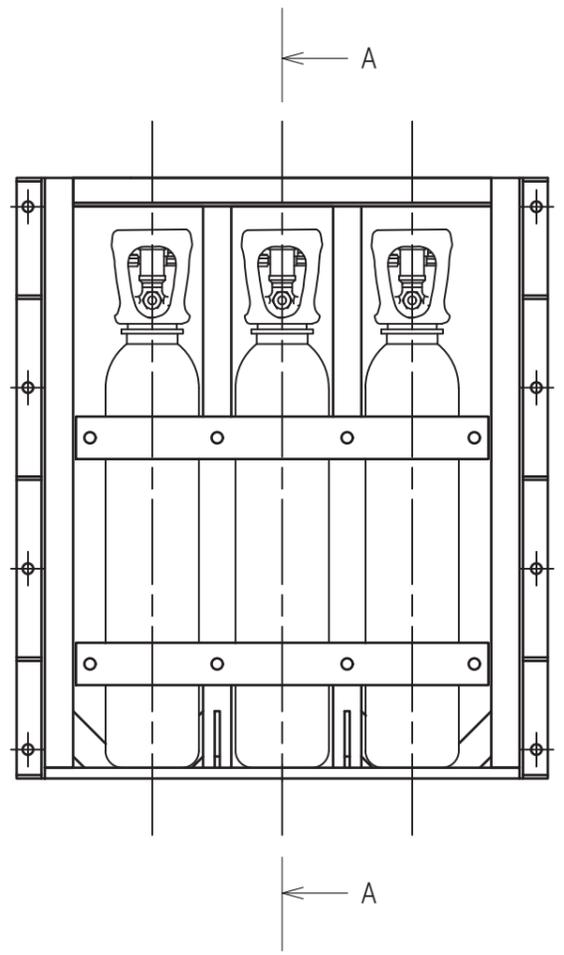
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

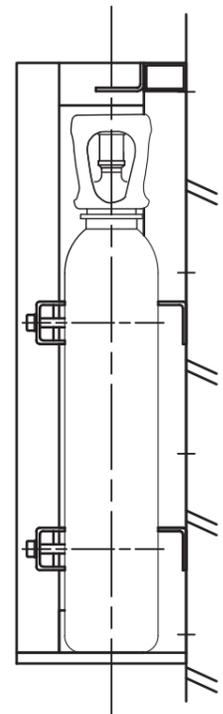
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-106図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (C002①用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

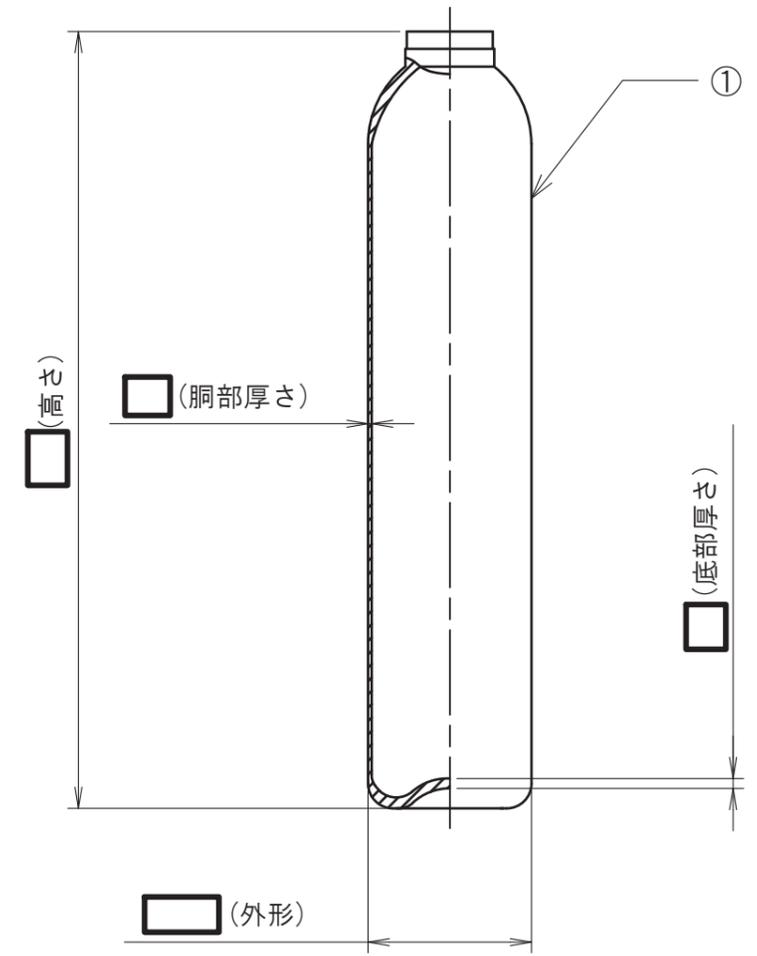
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



A-A矢視図



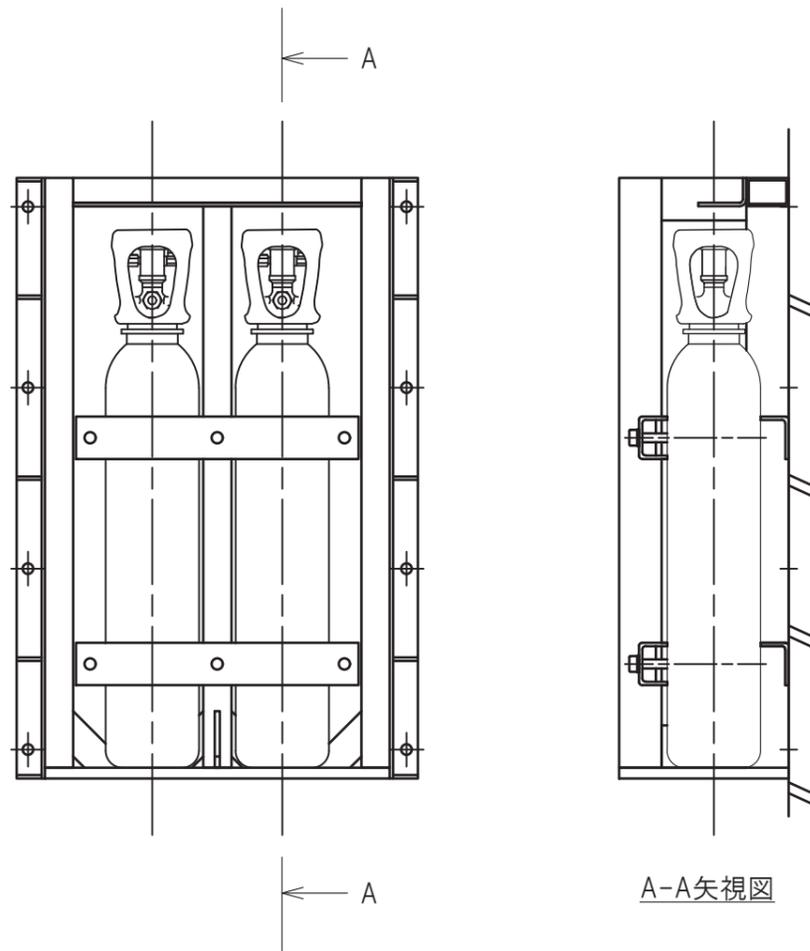
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

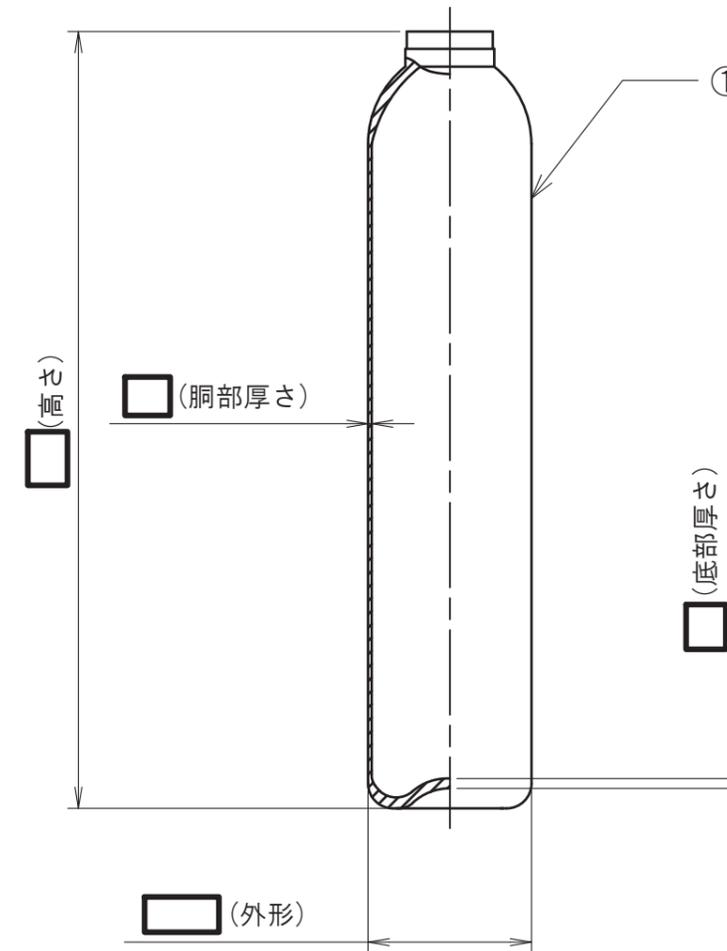
| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-107図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S750⑦用,S751⑥用及びS751⑤用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



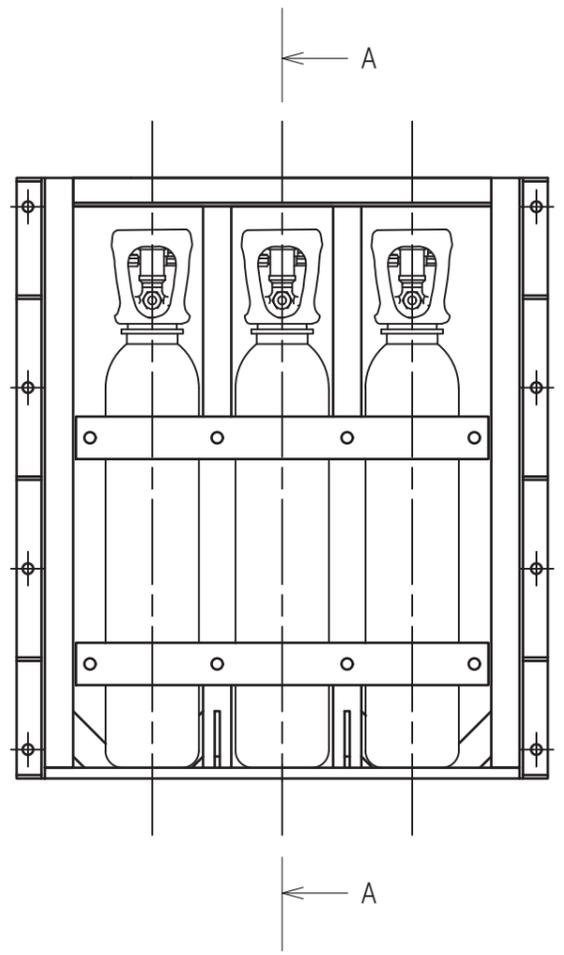
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

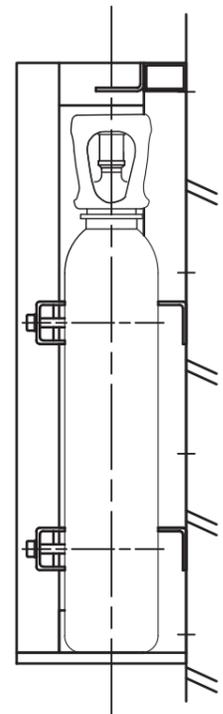
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-108図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S754用及びS755用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

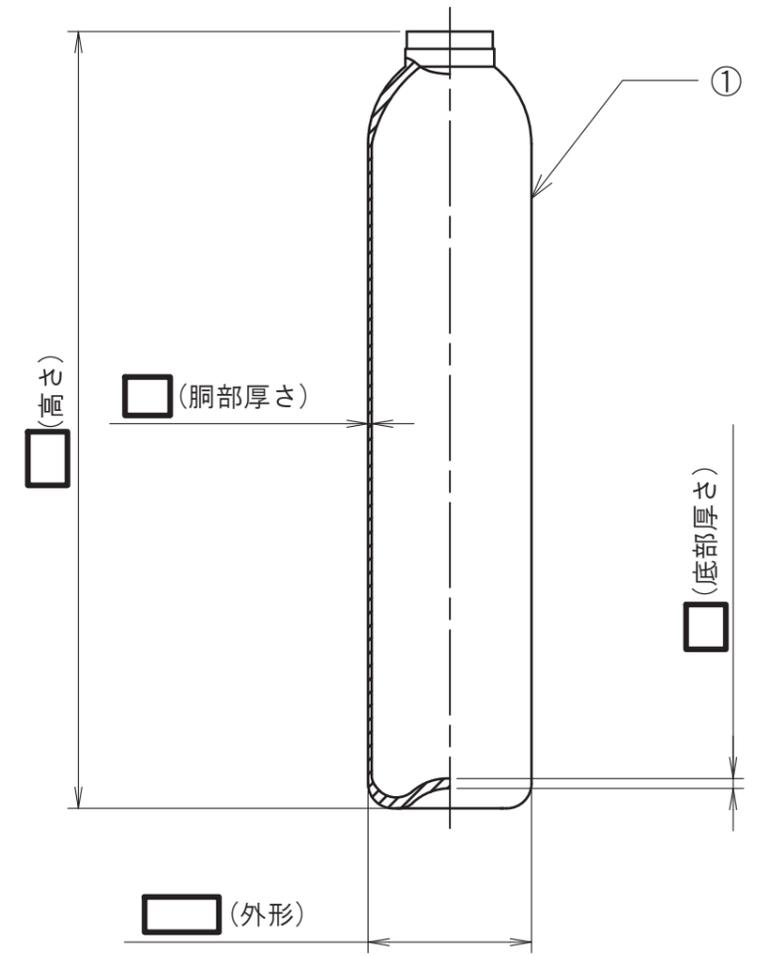
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



A-A矢視図



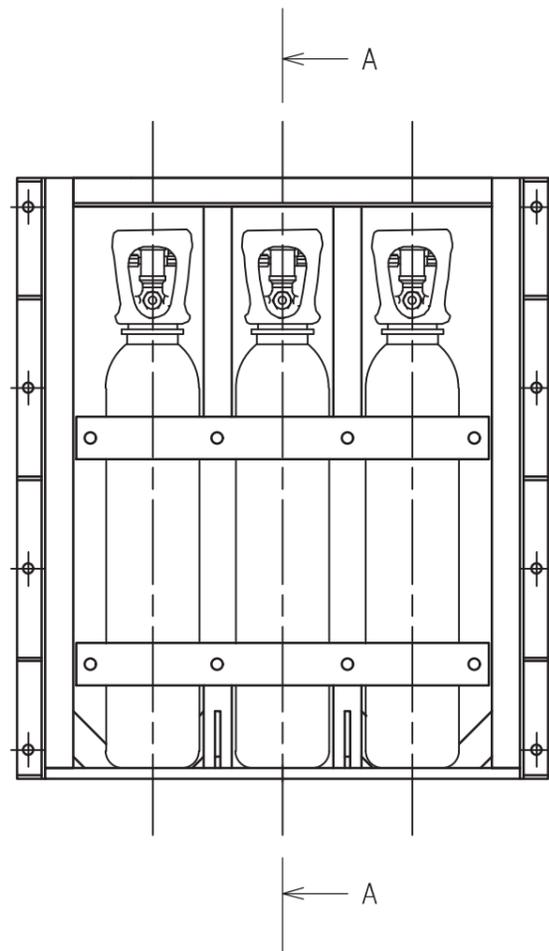
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

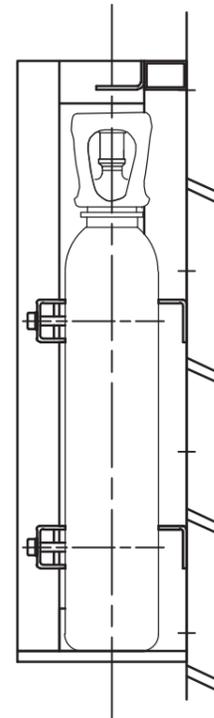
| | |
|-----------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-109図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (S752①用,S752②用及びS753用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0420 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

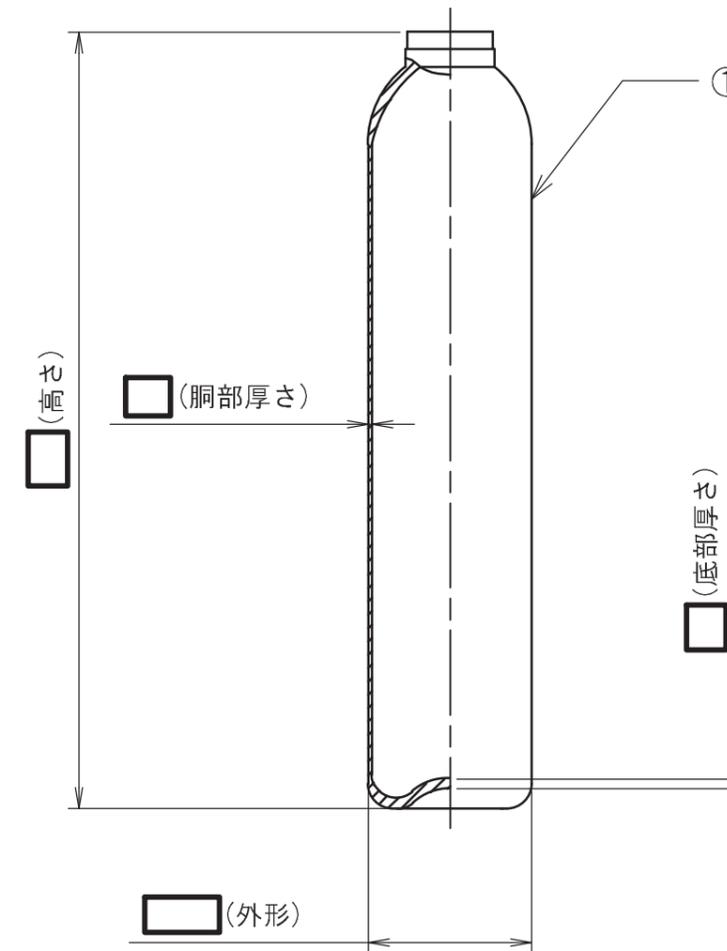
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



A-A矢視図



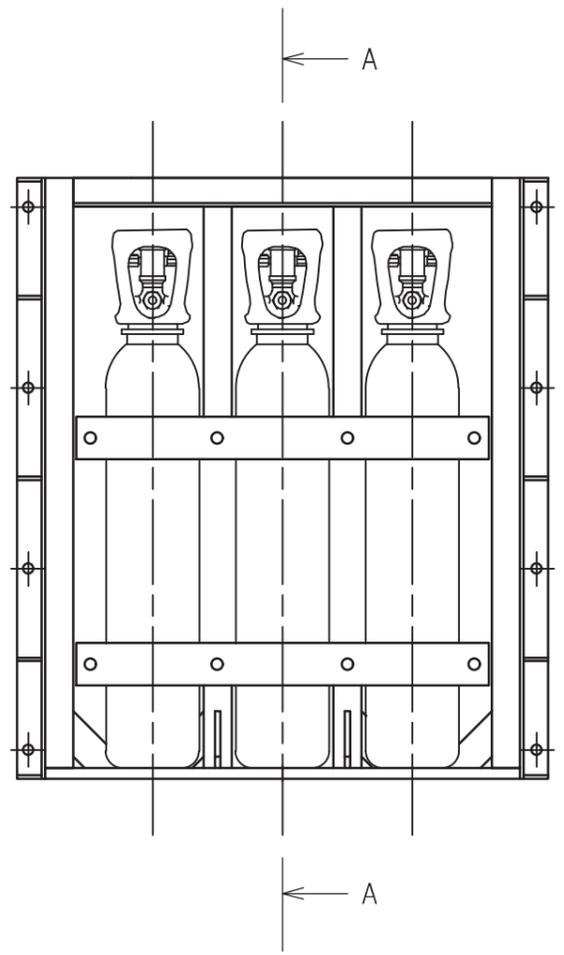
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

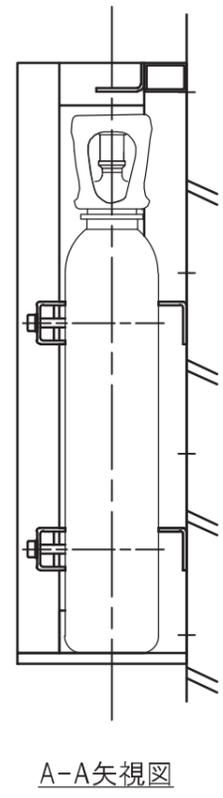
| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-110図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (C400③用,C401①用及びS100⑩用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0930 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

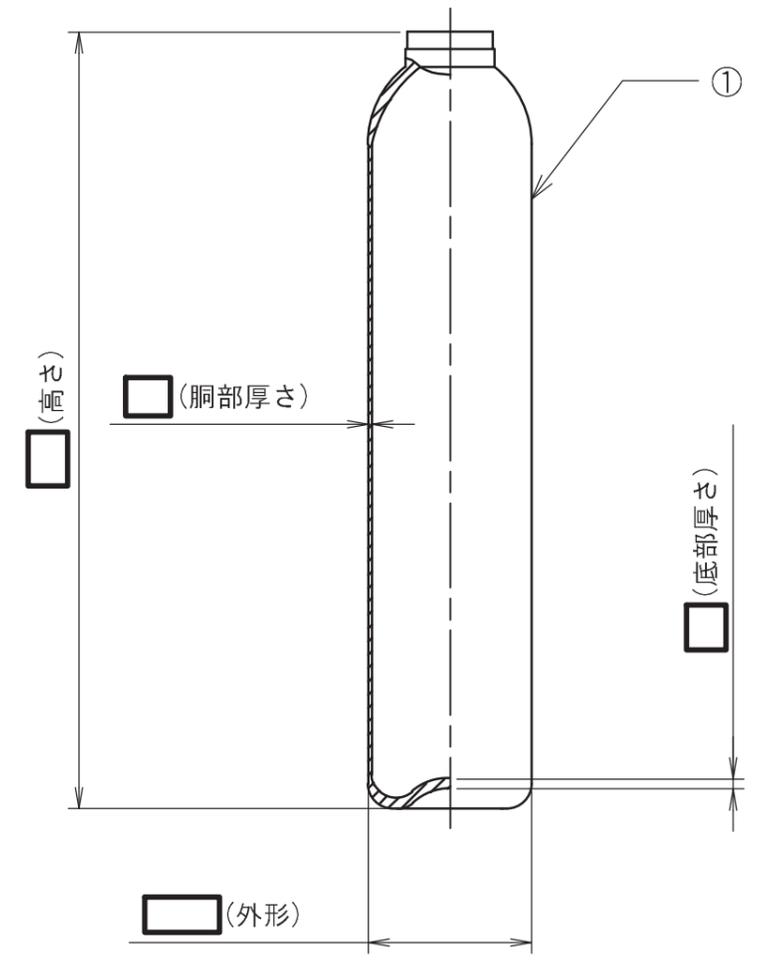
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



A-A矢視図



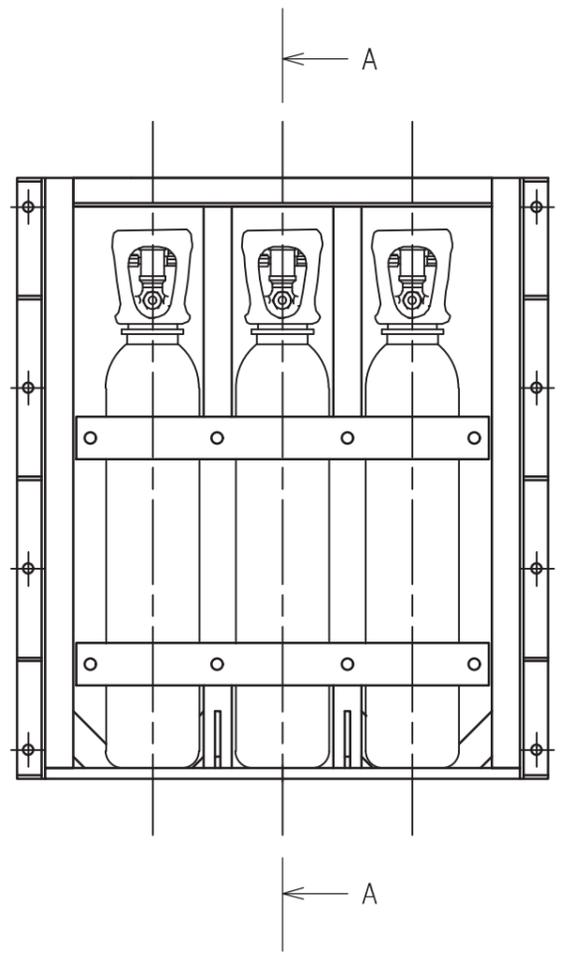
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

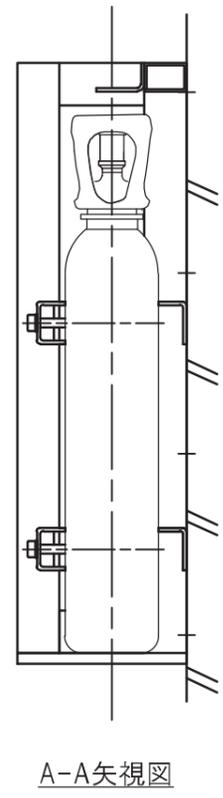
| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-111図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (K400①用,P400②用及びP402⑩用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0930 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

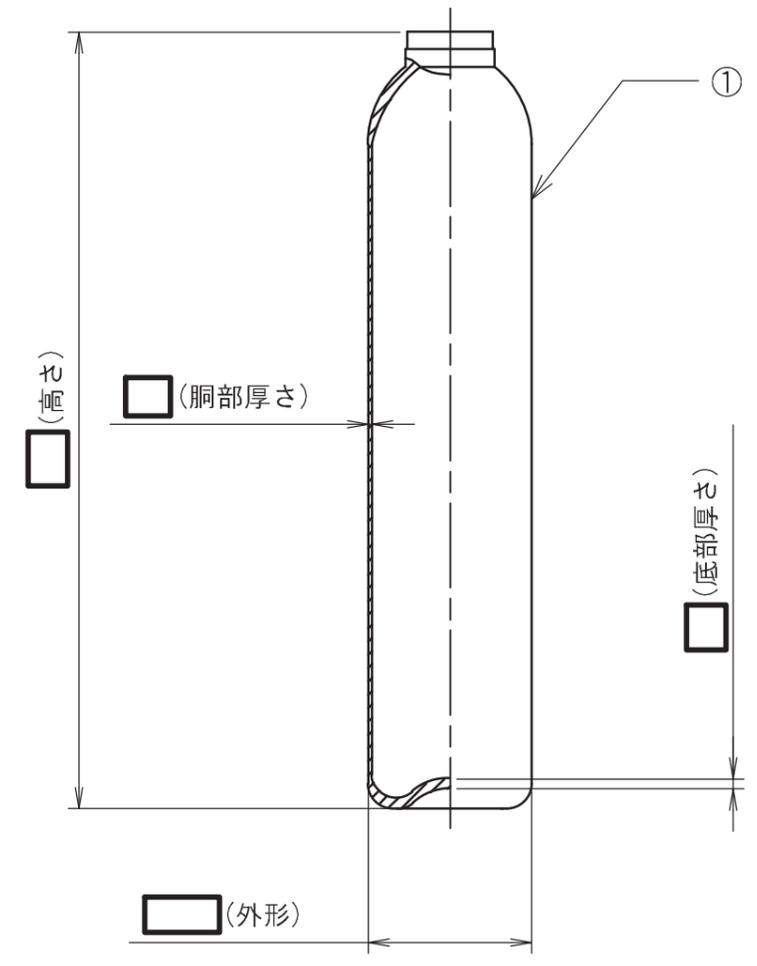
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



A-A矢視図



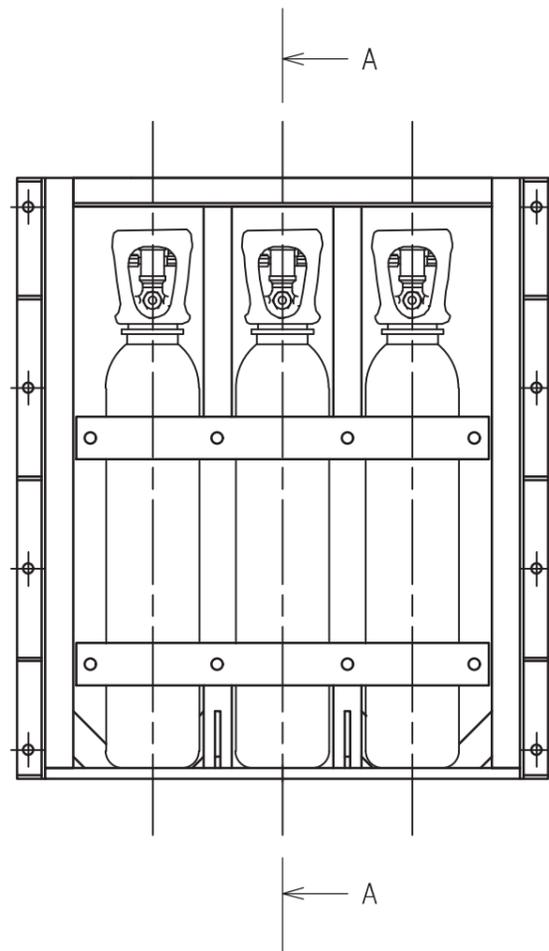
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

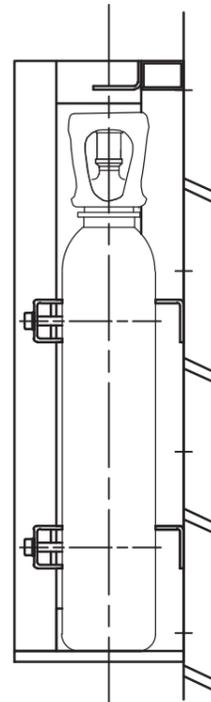
| | |
|-----------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-112図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (K400②用,P400③用及びP603②用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |
| | 0930 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

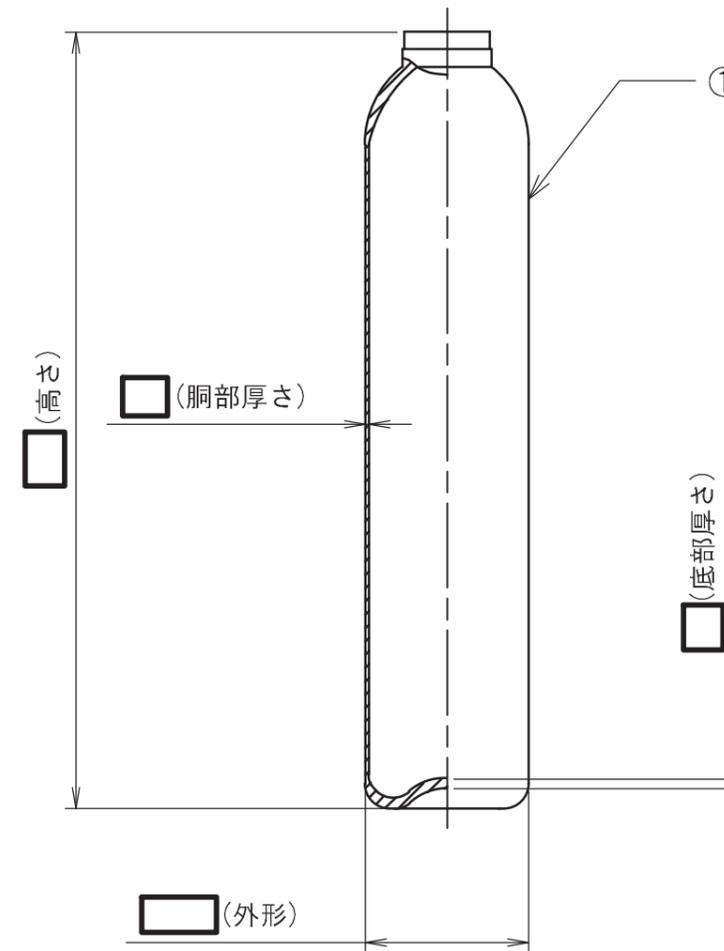
| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 3 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



3本ユニット設置



A-A矢視図



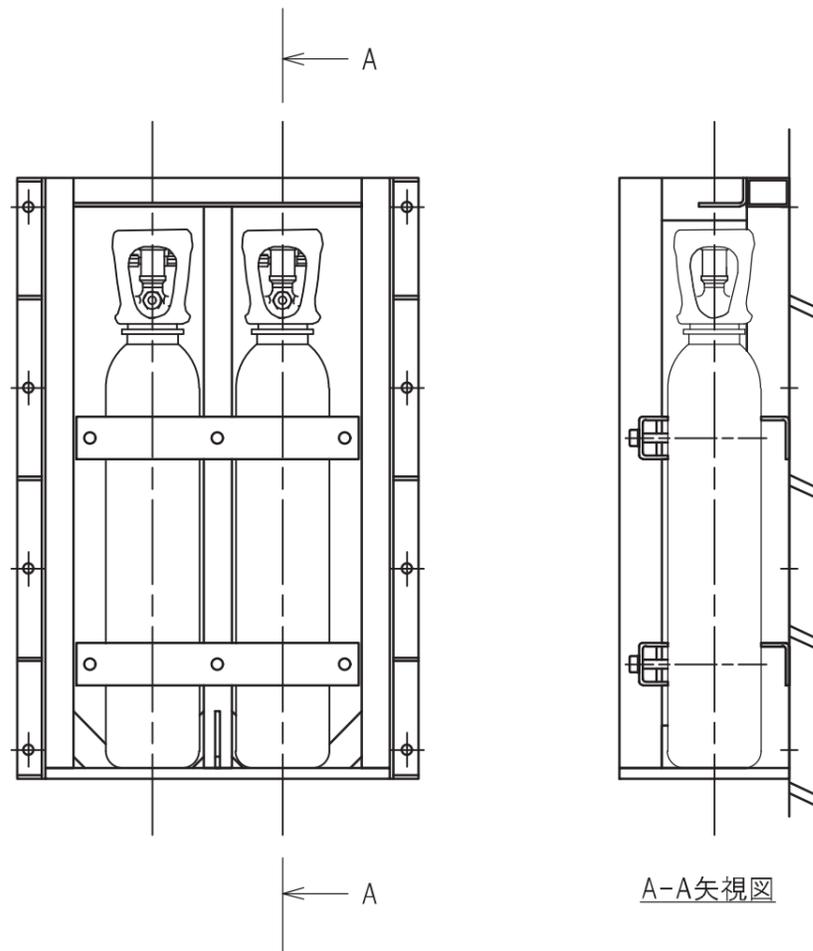
FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

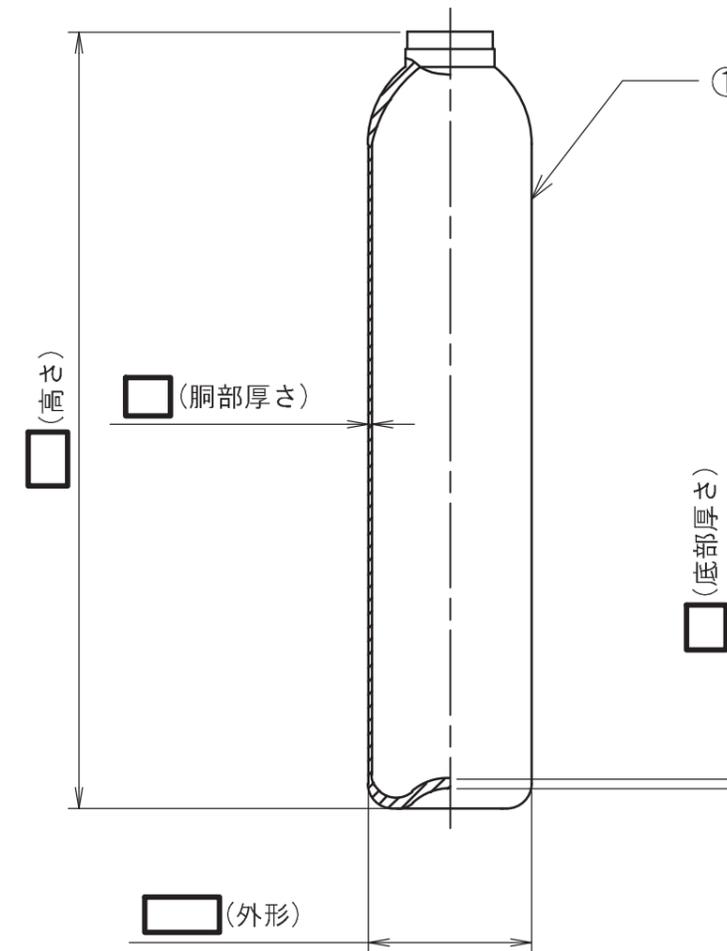
| | |
|---------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-113図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (C400④用,C401②用及びS603用) |
| 東北電力株式会社 | |
| | 0930 |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| | | | |
|-------|---------------|----|-------|
| 1 | FK-5-1-12貯蔵容器 | 2 | STH12 |
| 番号 | 品名 | 個数 | 材料 |
| 部 品 表 | | | |



2本ユニット設置



FK-5-1-12貯蔵容器

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

| | |
|---------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-2-114図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系 構造図 FK-5-1-12貯蔵容器 (P603③用及びP401②用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0930

工事計画記載の公称値の許容範囲

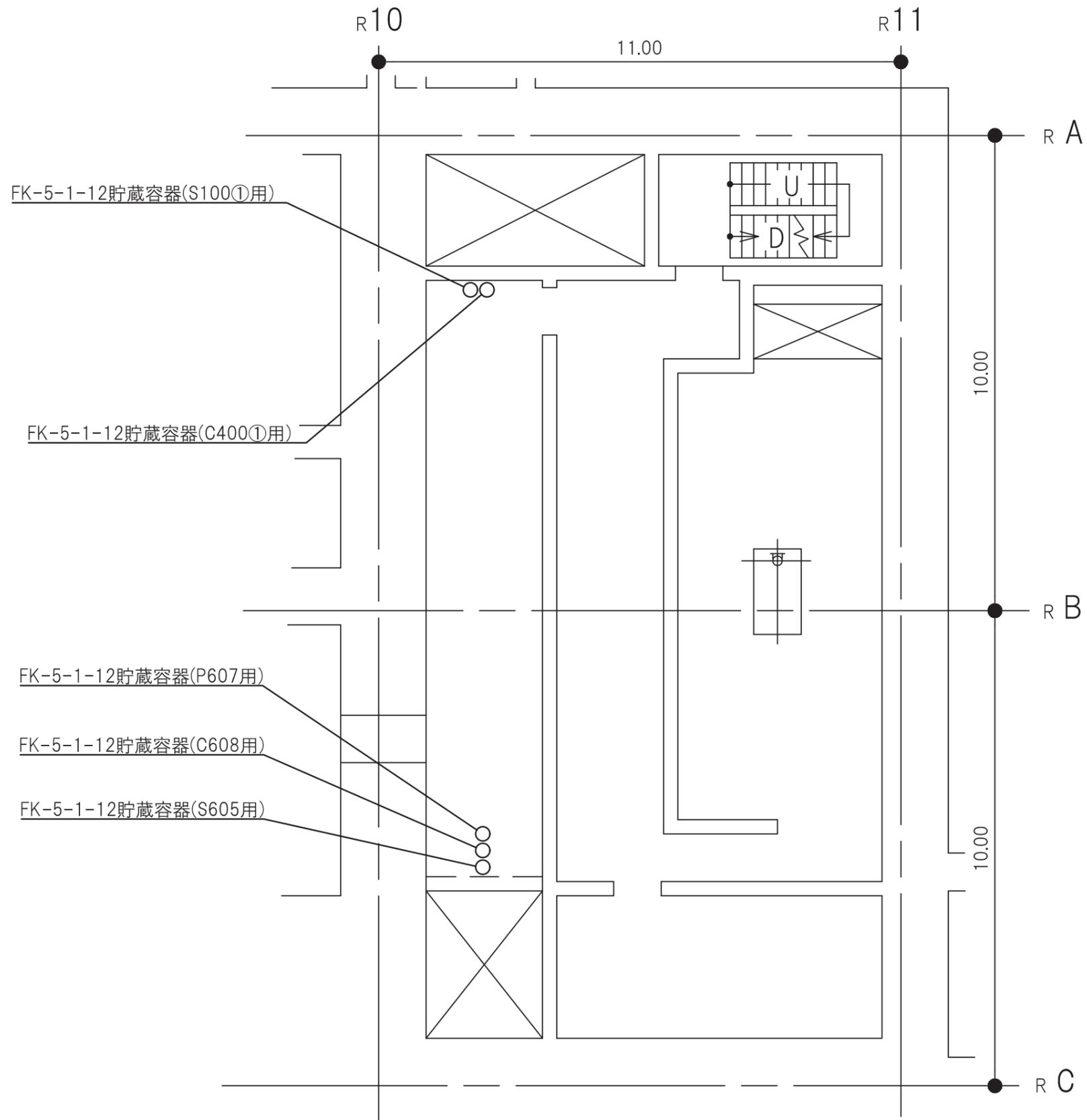
[容器類]

FK-5-1-12貯蔵容器

| 主要寸法 (mm) | 許容範囲 | 根拠 |
|--------------|----------------|-----------------------|
| 外径 | ±1.0% | 製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準 |
| 高さ | ±7.0mm | 製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準 |
| 胴部厚さ | +30.0% -0mm | 製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準 |
| 底部厚さ | +規定しない -0mm | 製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準 |

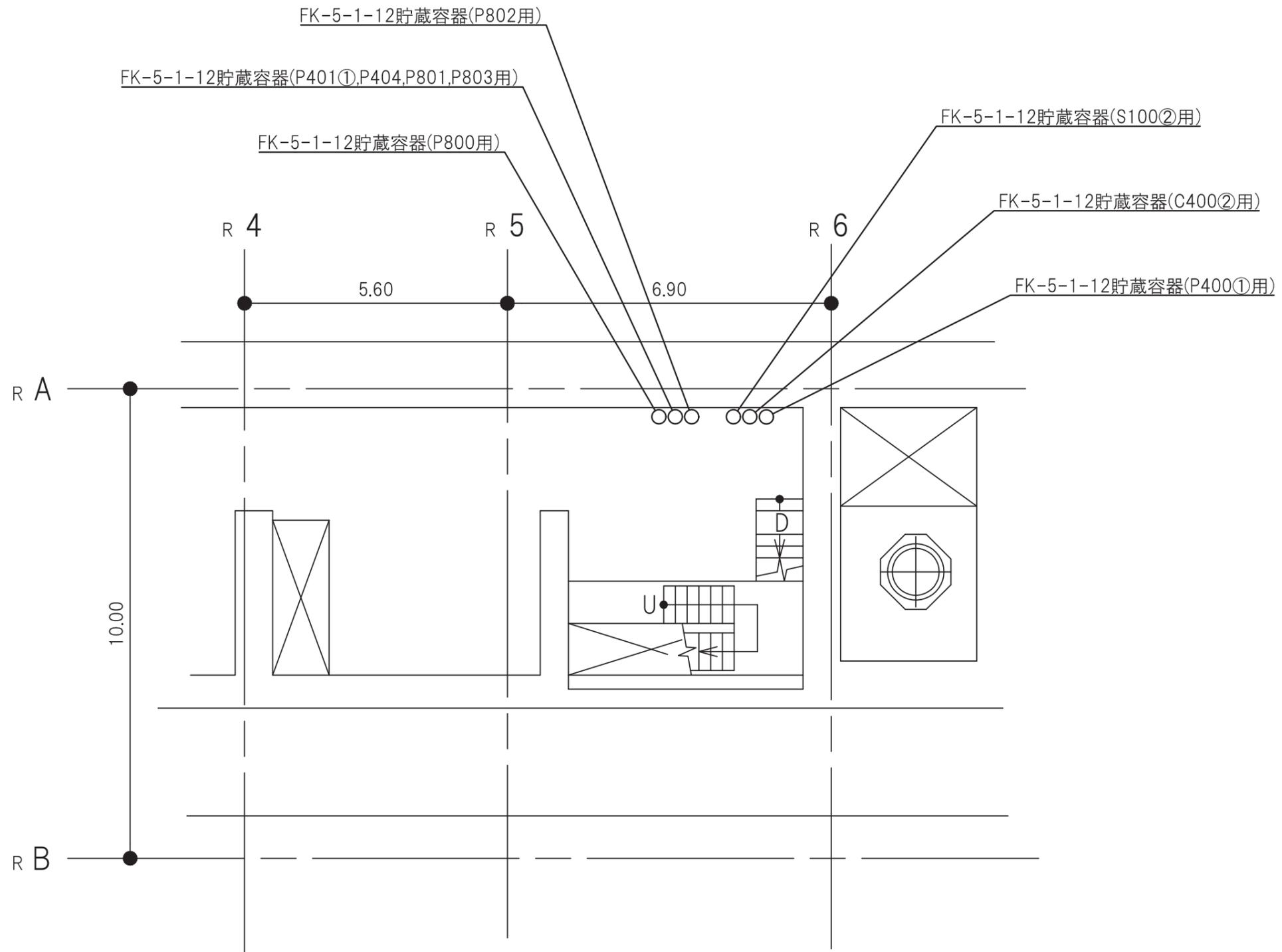
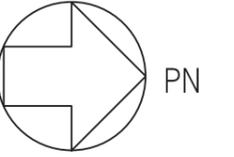
注: 主要寸法は, 工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



注：寸法はmを示す。

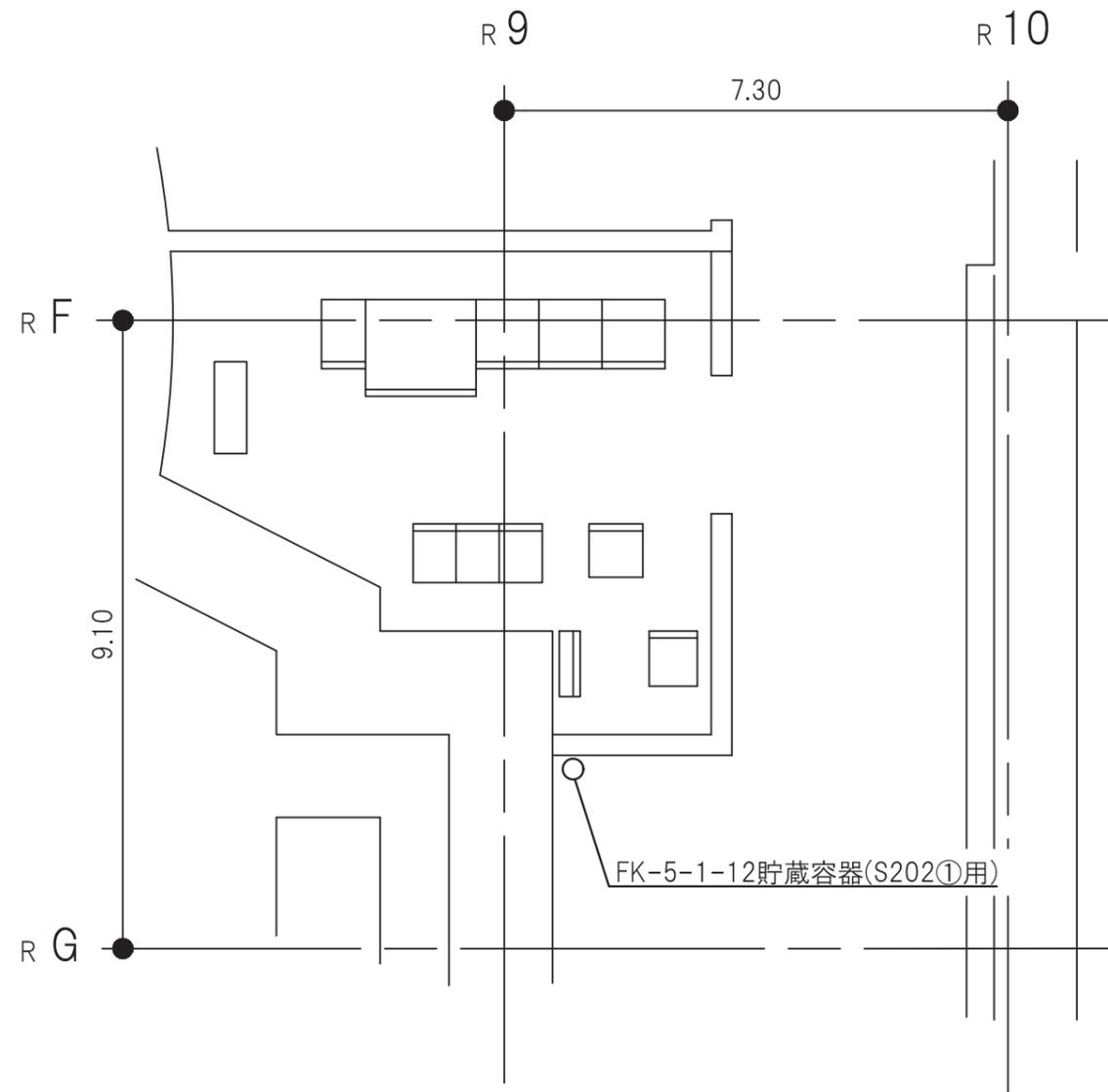
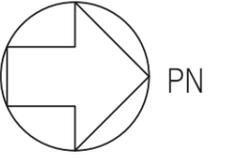
| | |
|---------------|--------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-1図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面(その1) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



原子炉建屋 O.P.5.00(m)

注：寸法はmを示す。

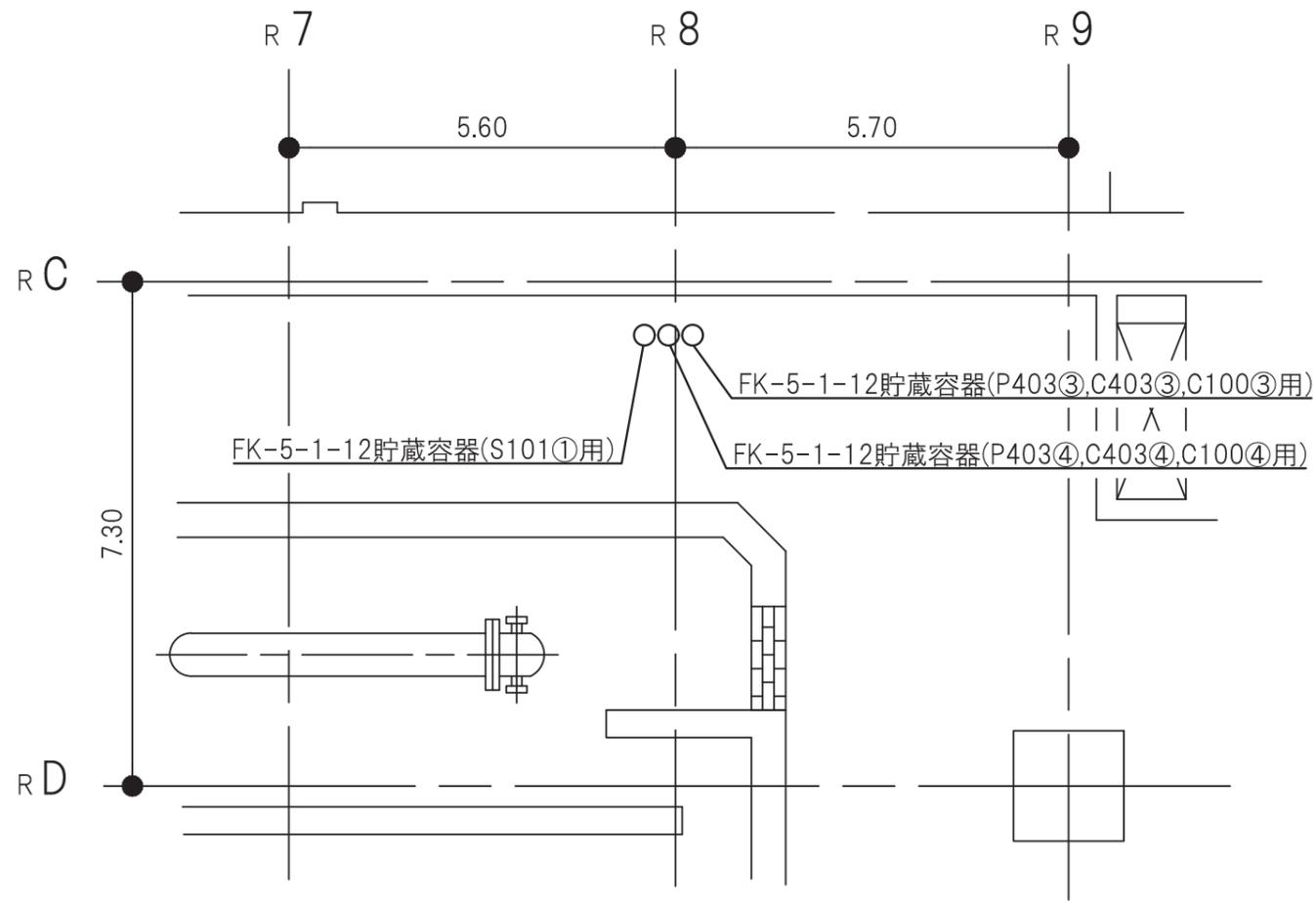
| | |
|---------------|------------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-2図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る 機器の配置を明示した図面(その2) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0930 | |



原子炉建屋 O.P.15.00(m)

注：寸法はmを示す。

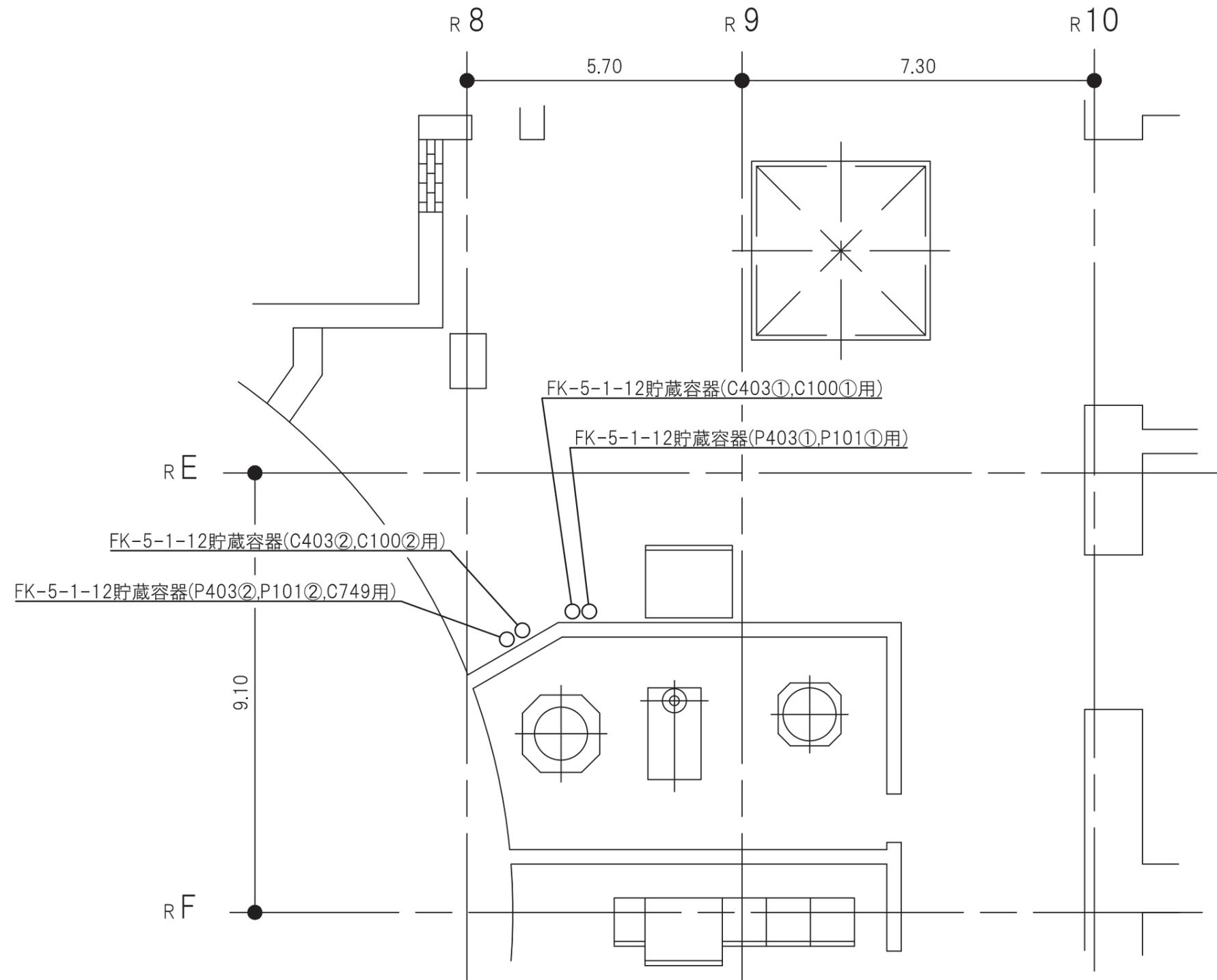
| | |
|---------------|------------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-3図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る 機器の配置を明示した図面(その3) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



原子炉建屋 O.P.15.00(m)

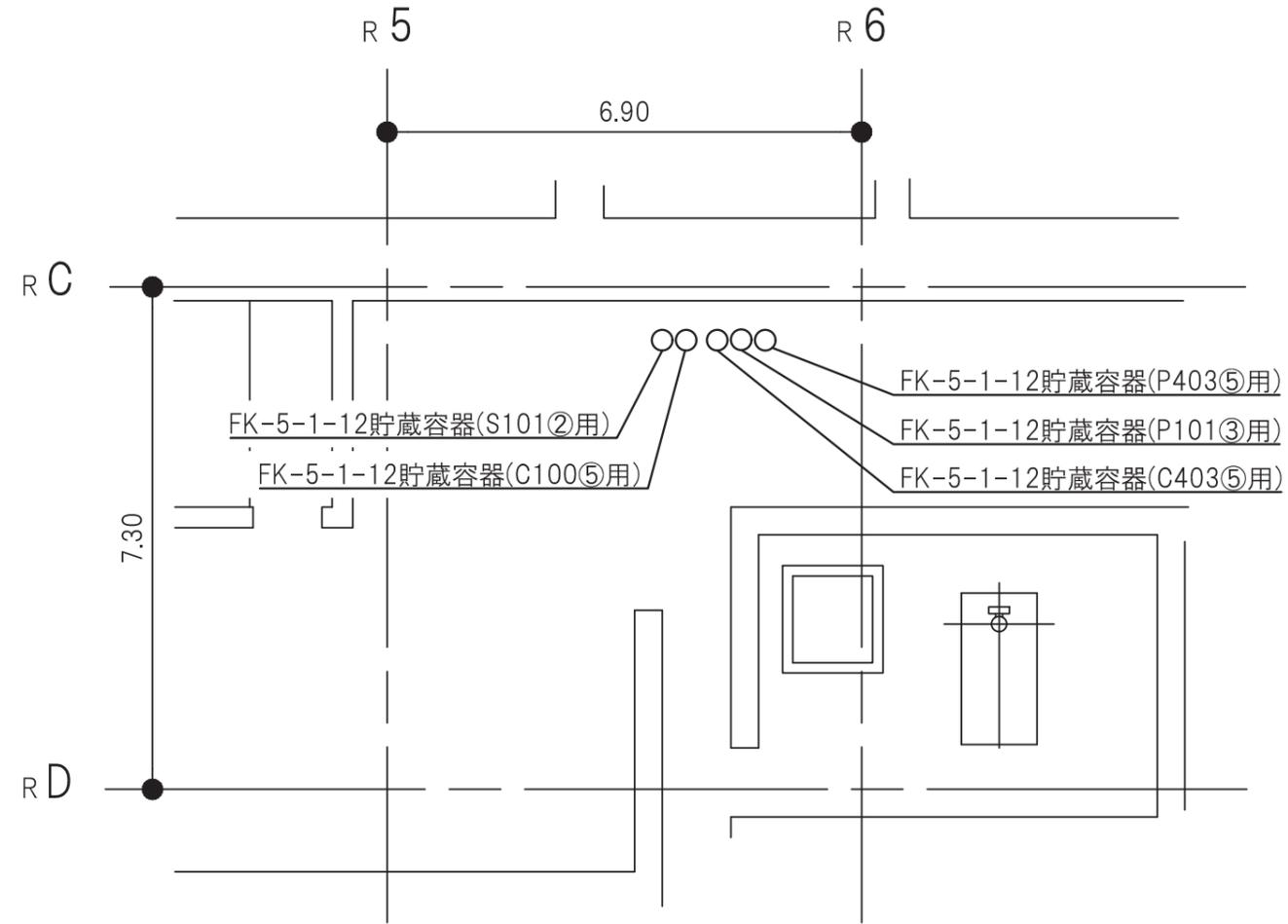
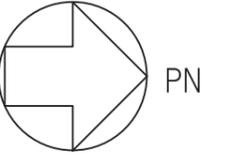
注：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-4図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る 機器の配置を明示した図面(その4) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



注：寸法はmを示す。

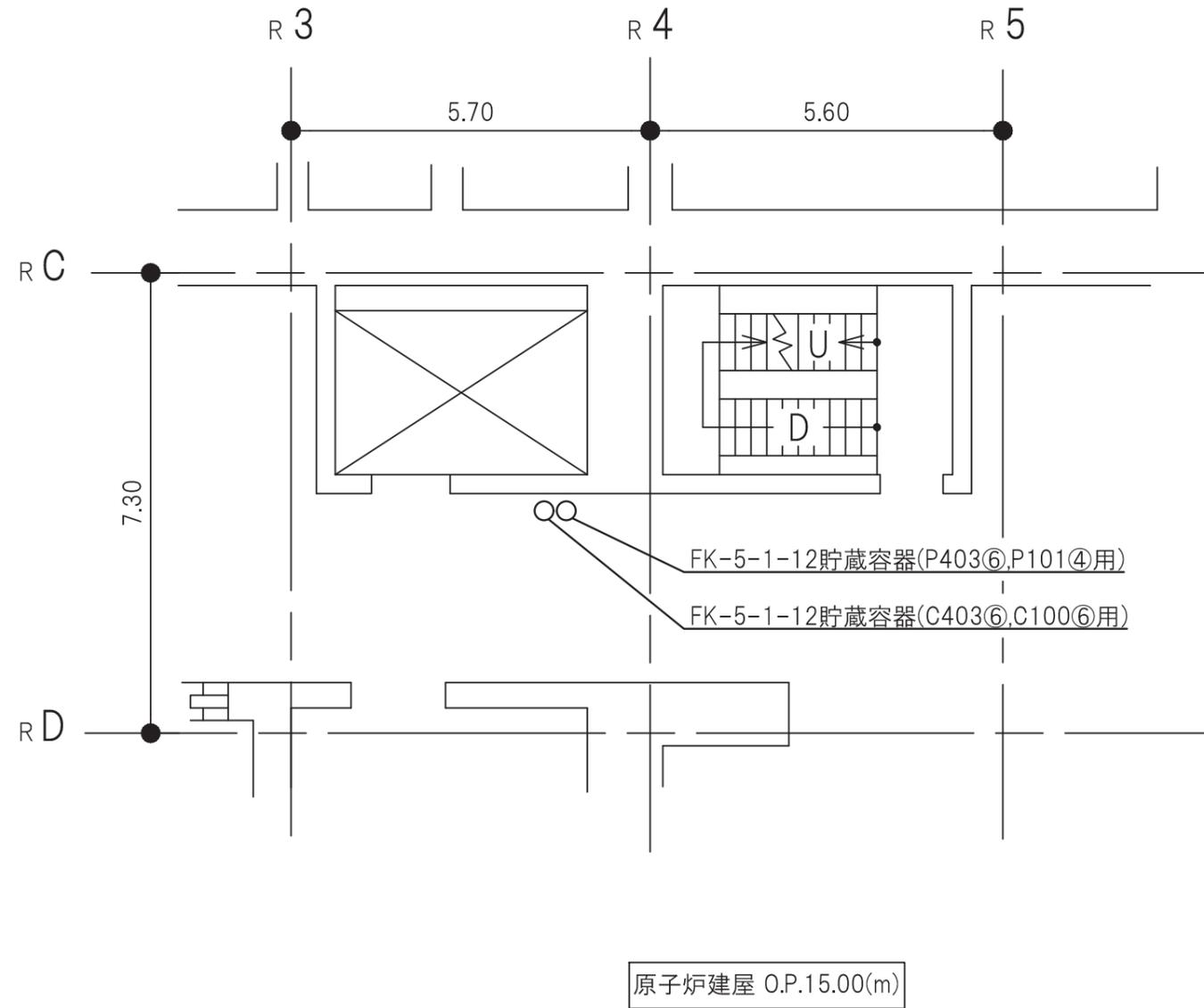
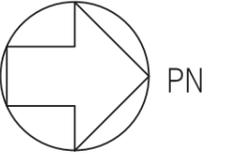
| | |
|---------------|------------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-5図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る 機器の配置を明示した図面(その5) |
| 東北電力株式会社 | |
| 1618 | |



原子炉建屋 O.P.15.00(m)

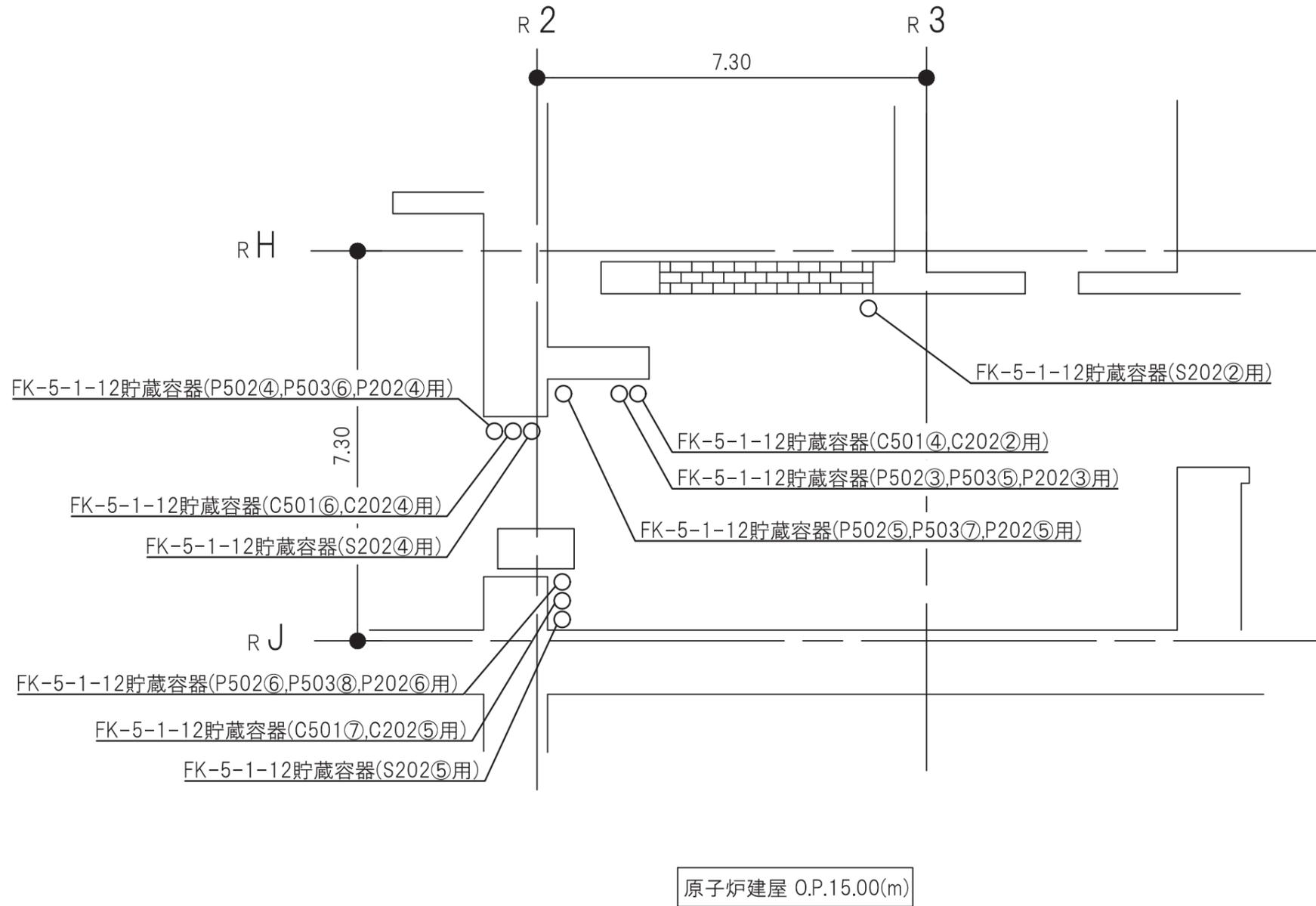
注：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-6図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面(その6) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



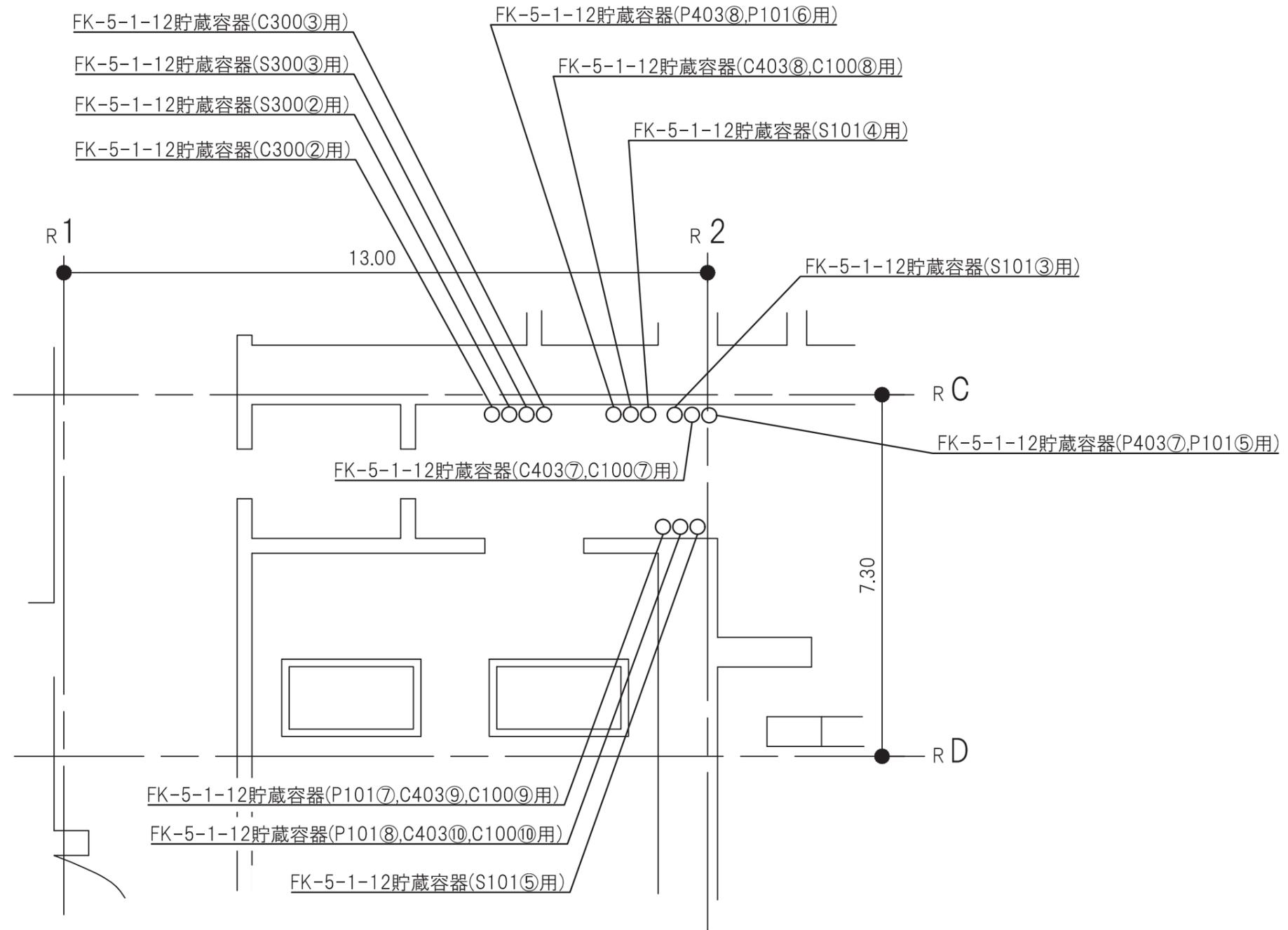
注：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-7図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面(その7) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



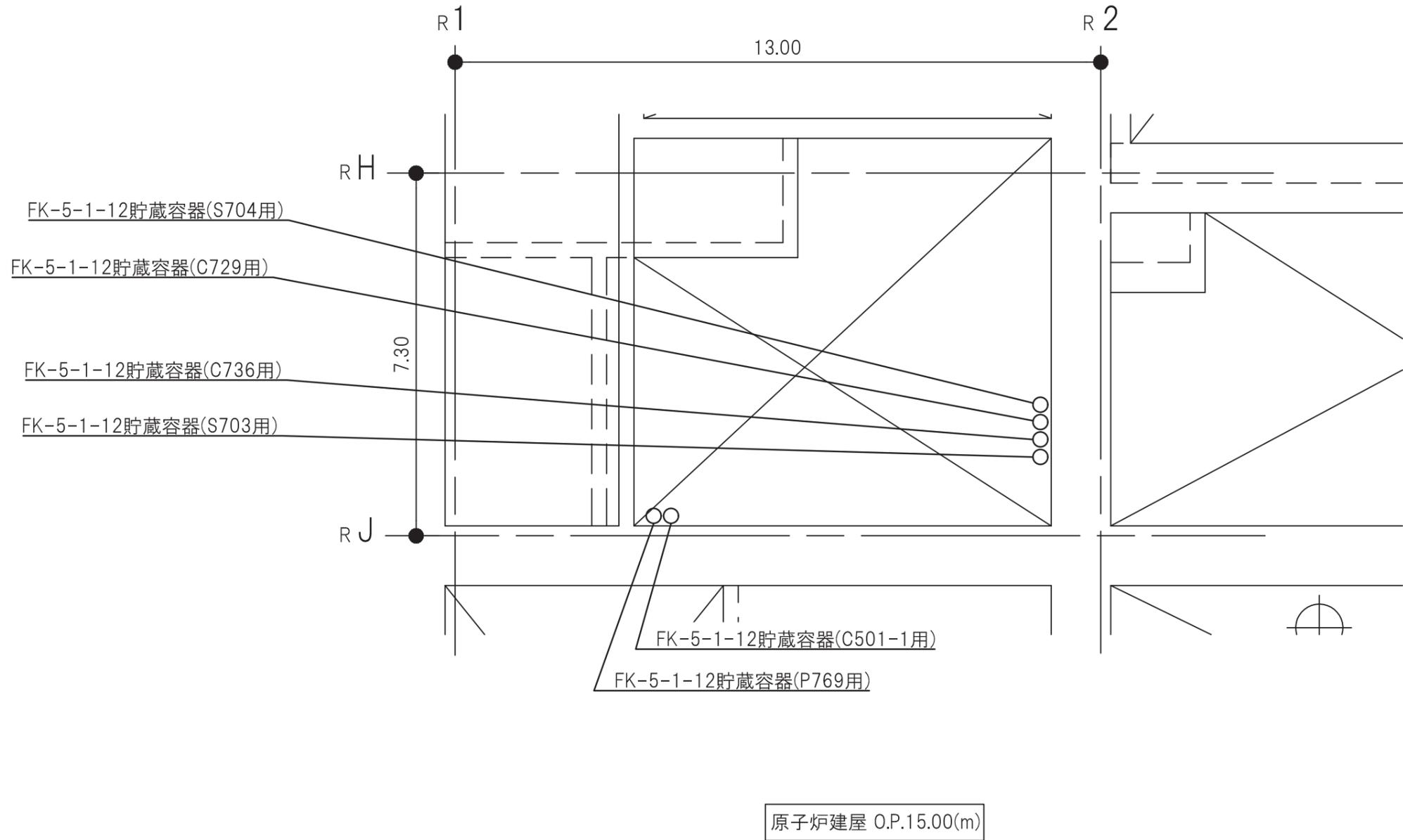
注：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-8図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面(その8) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



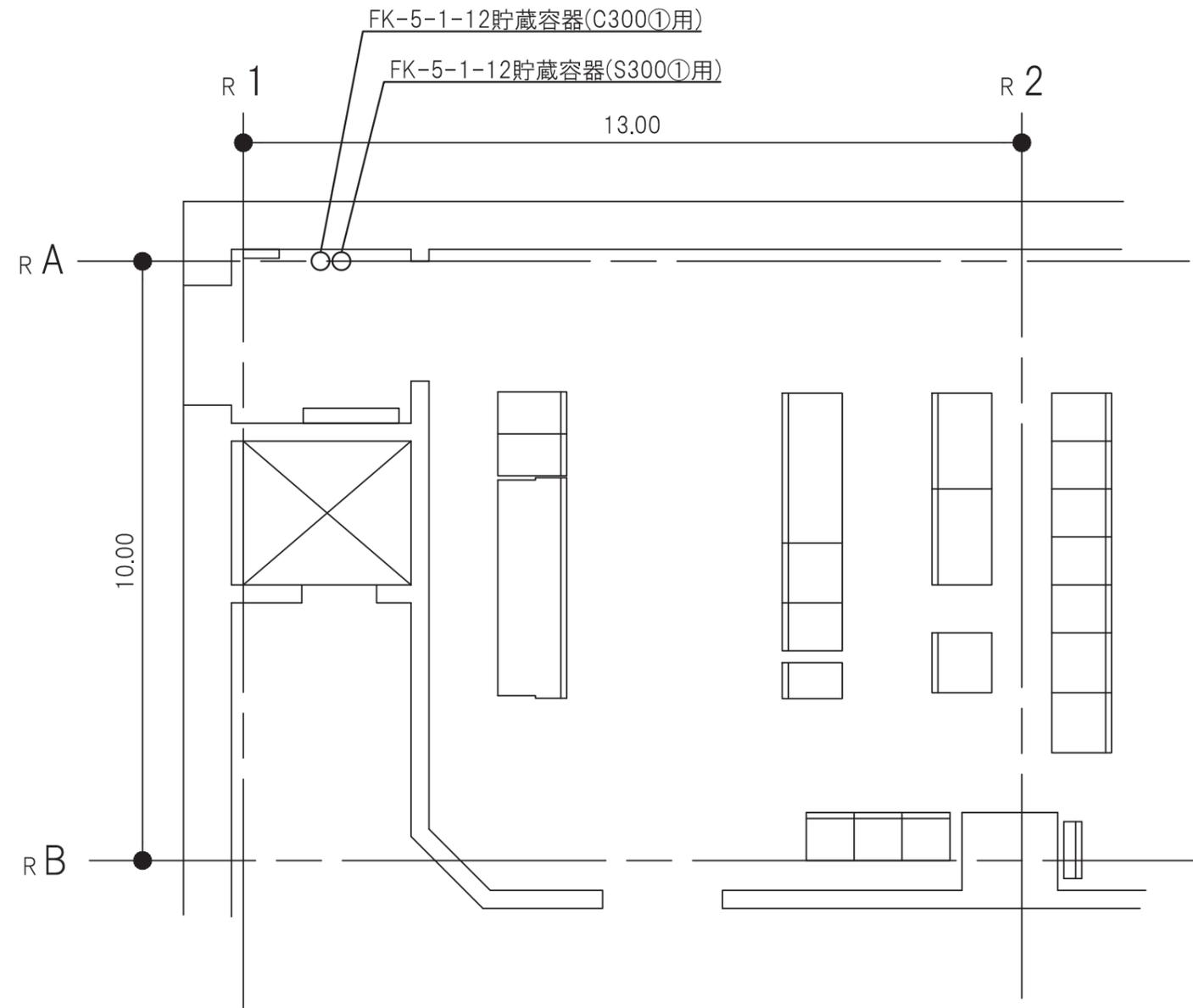
注：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-9図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る 機器の配置を明示した図面(その9) |
| 東北電力株式会社 | |
| 1618 | |



注：寸法はmを示す。

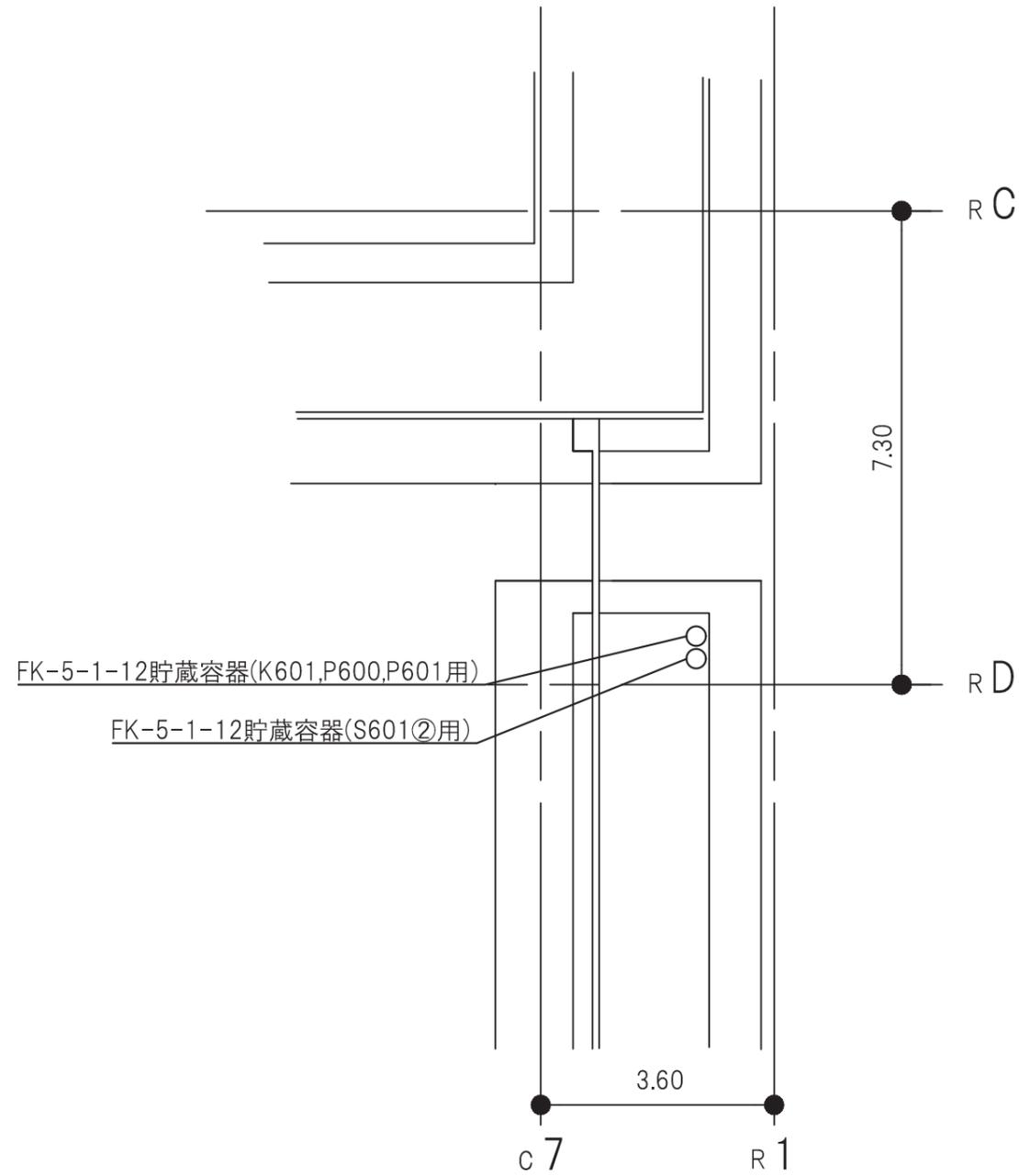
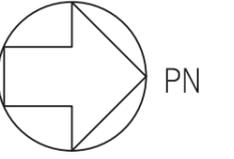
| | |
|---------------|-------------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-10図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る 機器の配置を明示した図面(その10) |
| 東北電力株式会社 | |
| 1618 | |



原子炉建屋 O.P.15.00(m)

注：寸法はmを示す。

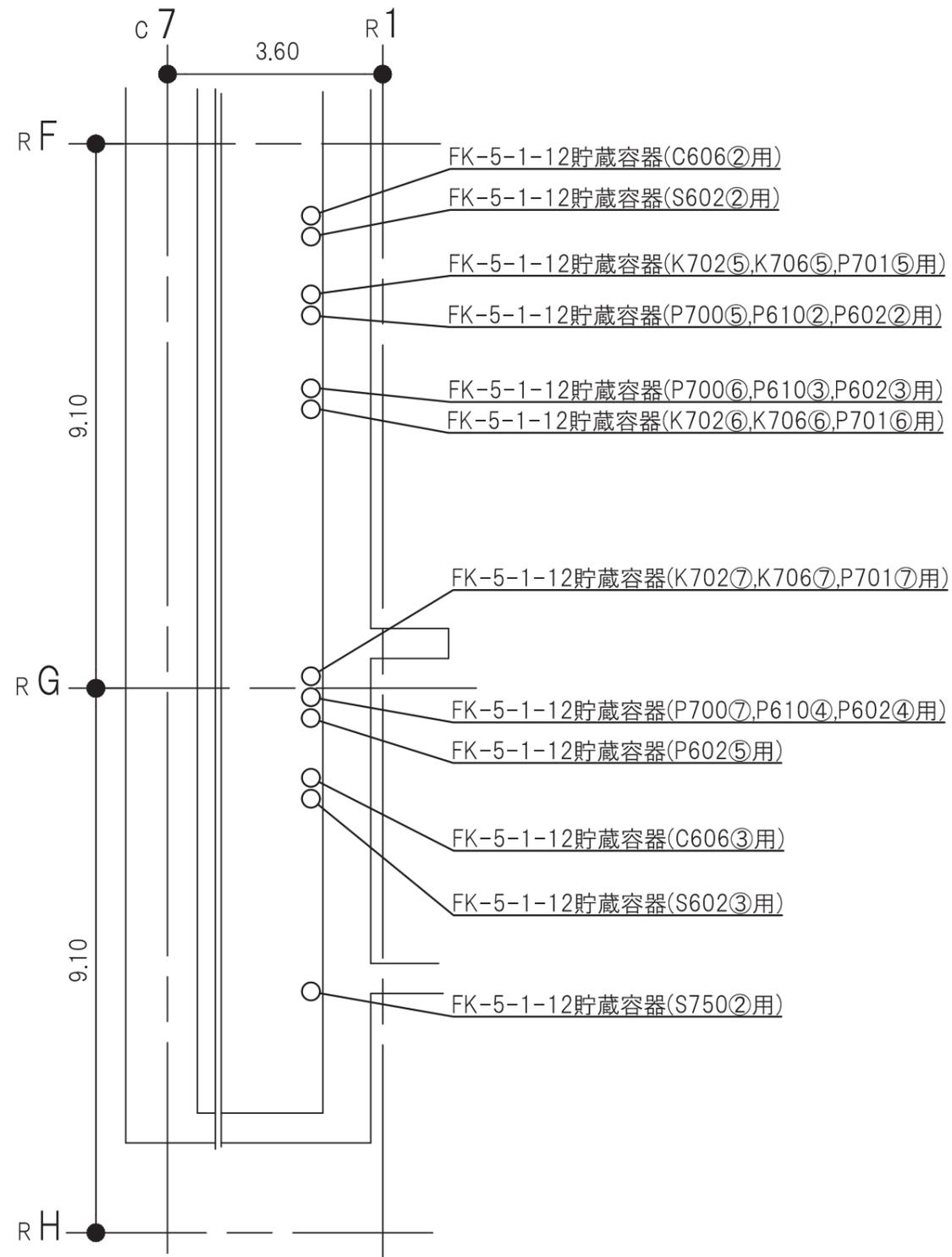
| | |
|---------------|---------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-11図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面(その11) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



原子炉建屋 O.P.15.00(m)

注：寸法はmを示す。

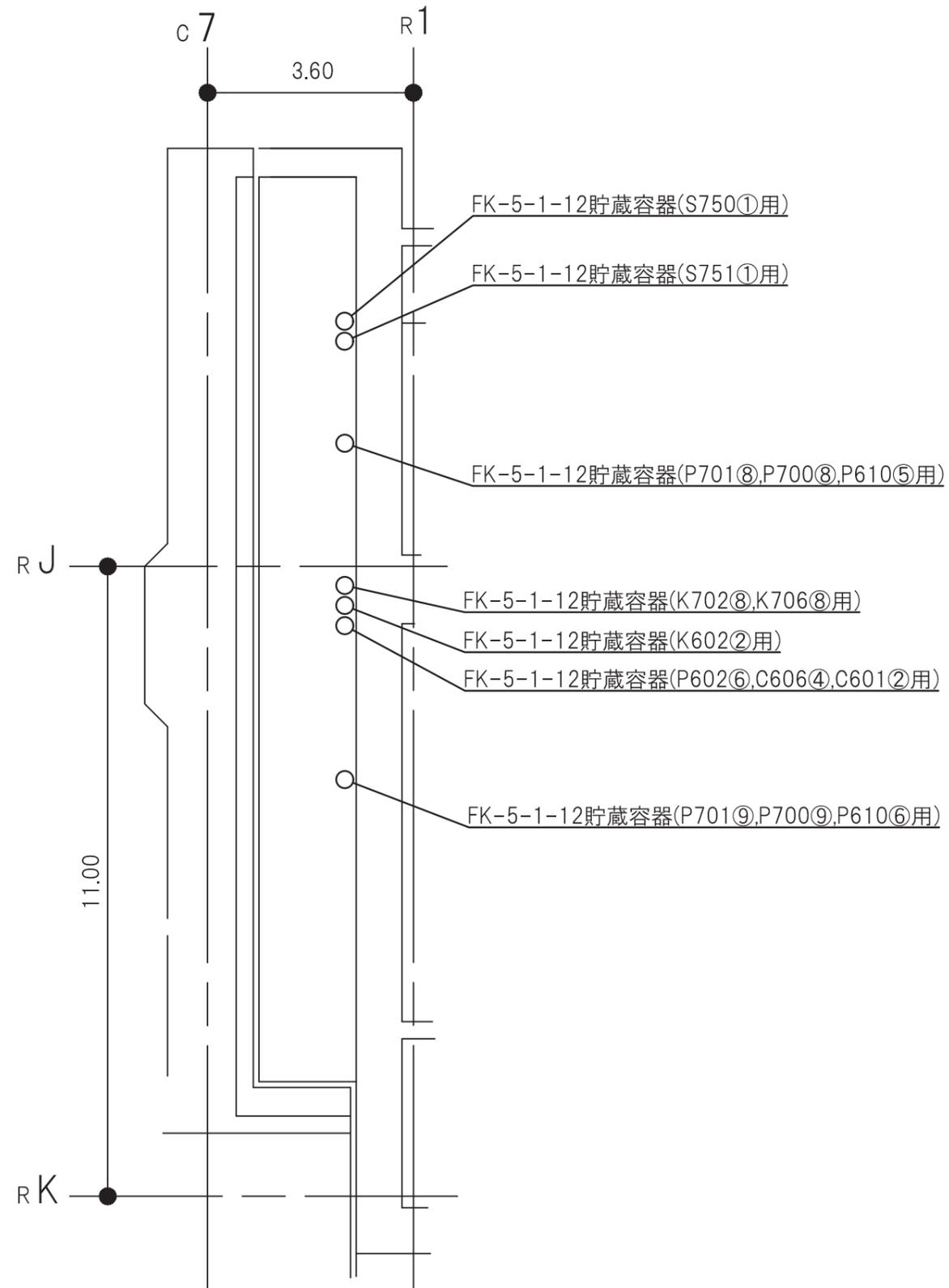
| | |
|---------------|-------------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-12図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る 機器の配置を明示した図面(その12) |
| 東北電力株式会社 | |
| 1119 | |



原子炉建屋 O.P.15.00(m)

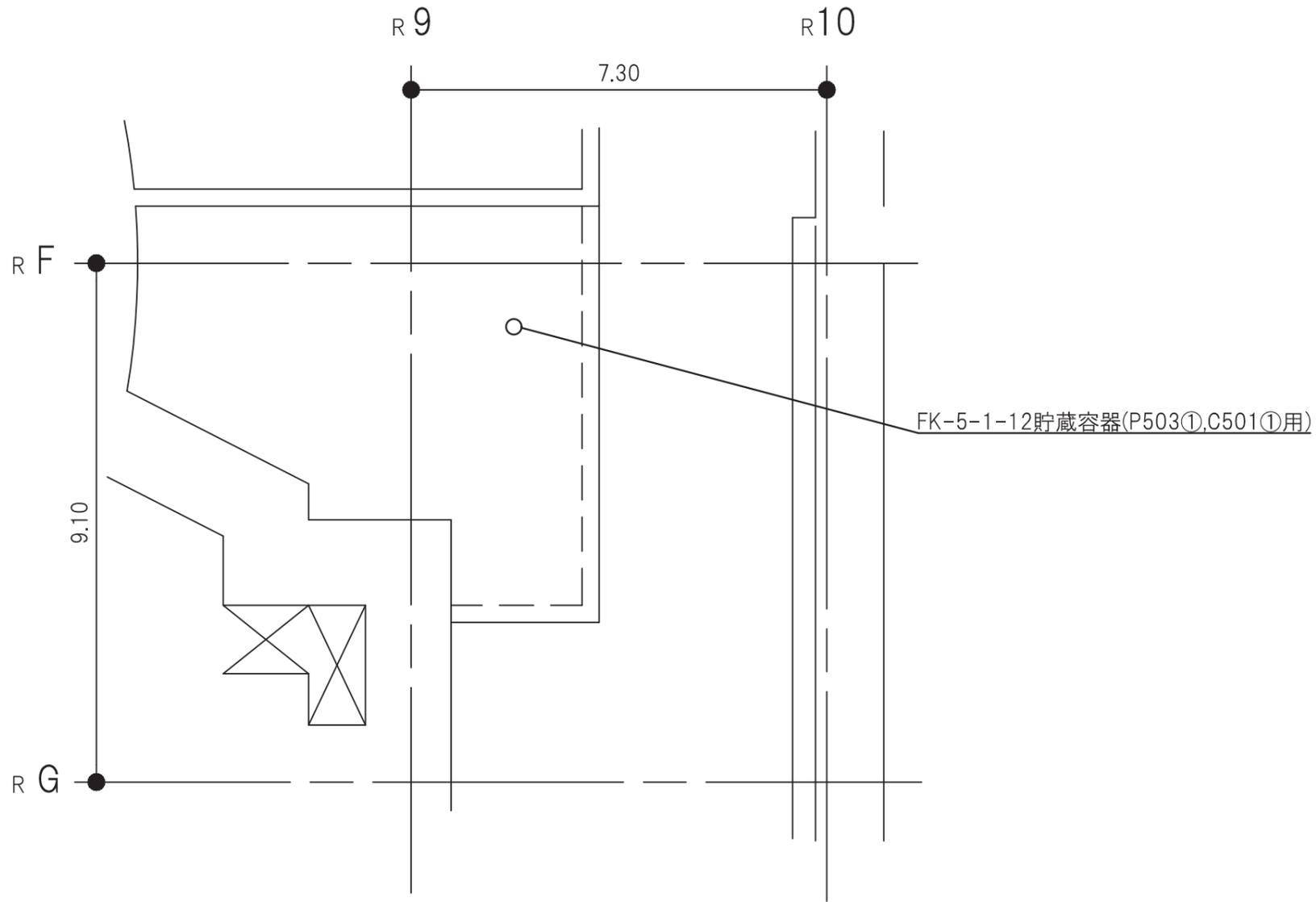
注：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|---------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-13図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面(その13) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



注：寸法はmを示す。

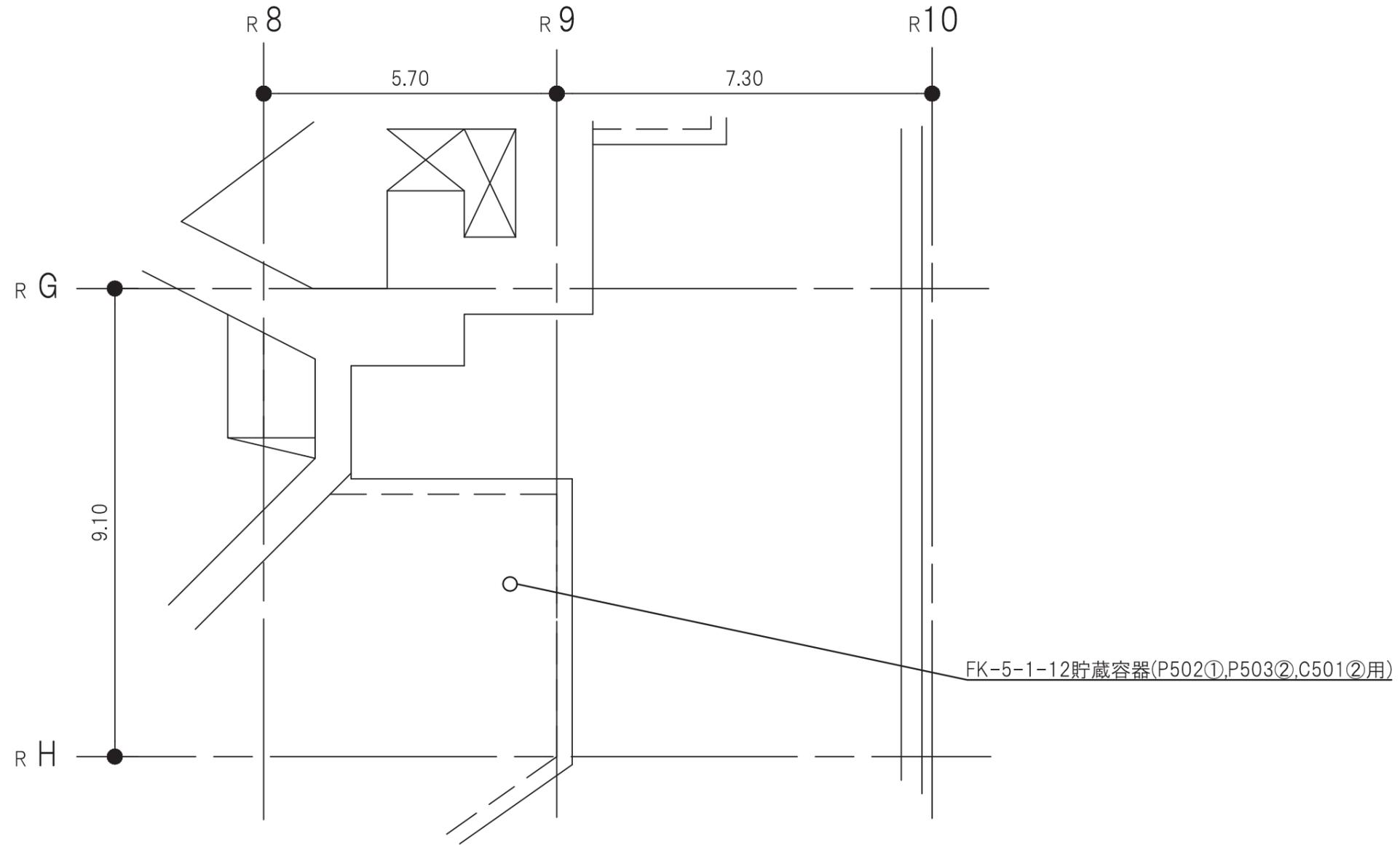
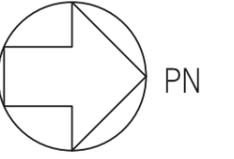
| | |
|---------------|---------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-14図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面(その14) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



原子炉建屋 O.P.18.80(m)

注：寸法はmを示す。

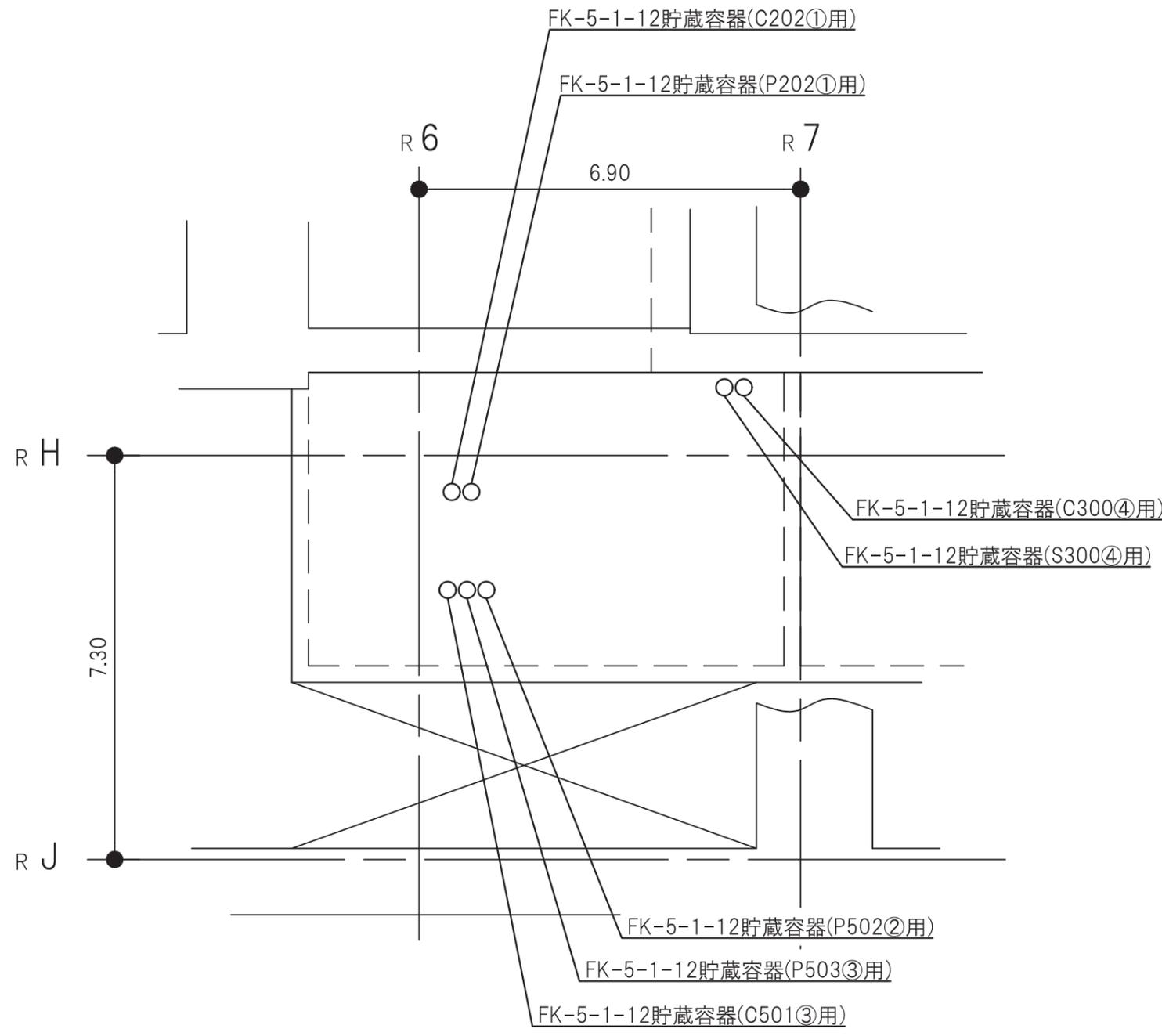
| | |
|---------------|-------------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-15図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る 機器の配置を明示した図面(その15) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



原子炉建屋 O.P.18.80(m)

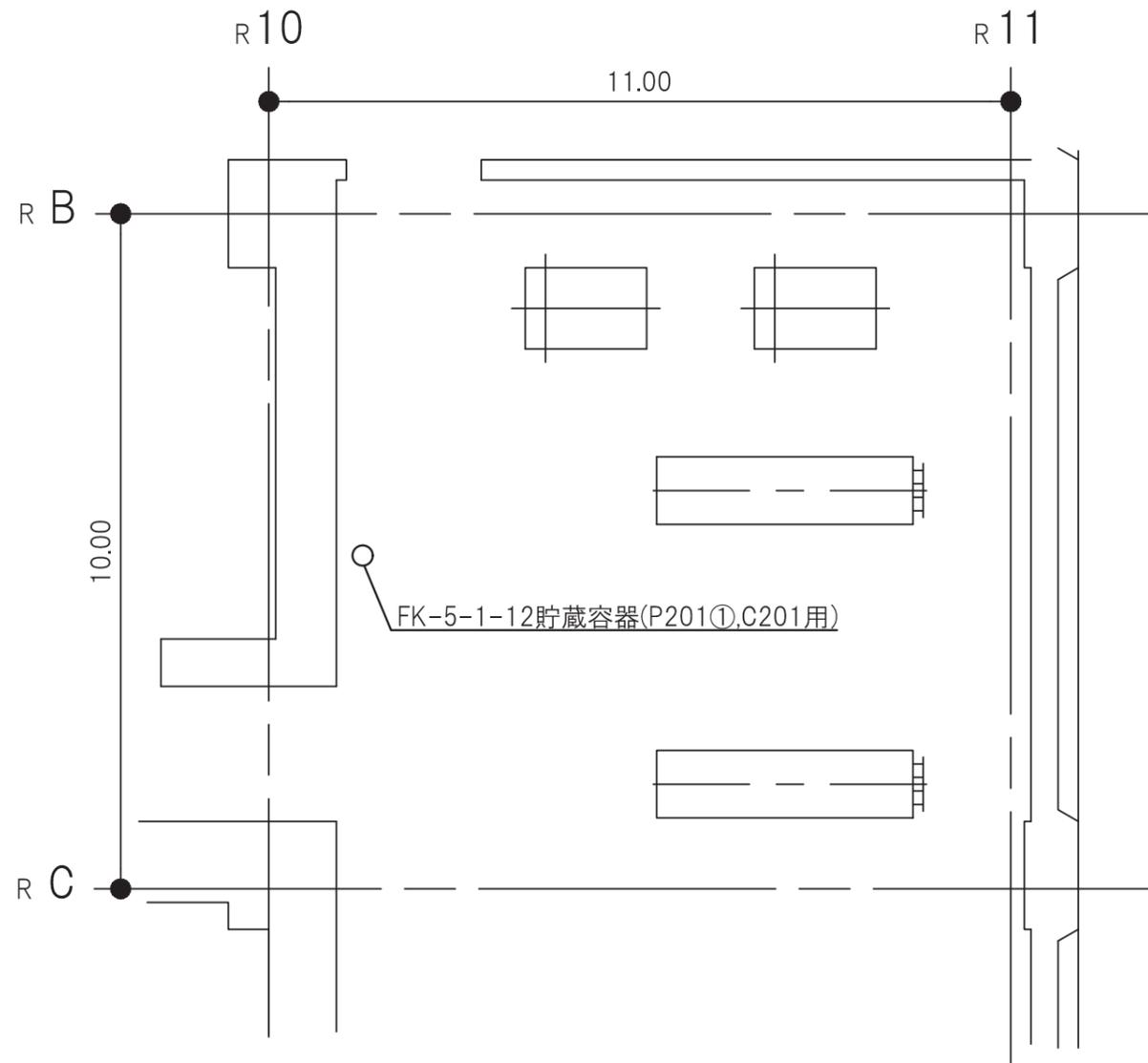
注：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|---------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-16図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面(その16) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



注：寸法はmを示す。

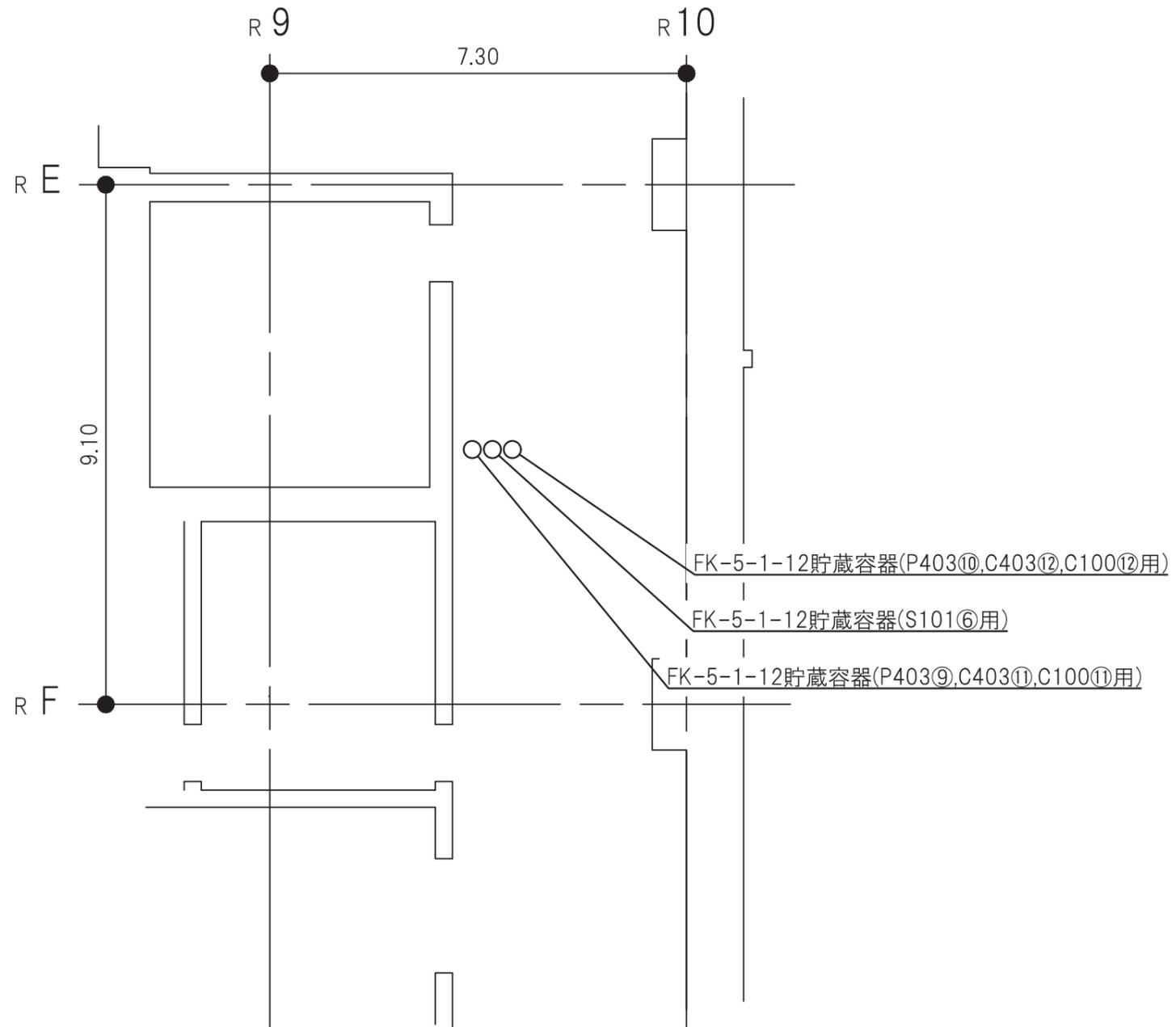
| | |
|---------------|---------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-17図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面(その17) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



原子炉建屋 O.P.24.80(m)

注：寸法はmを示す。

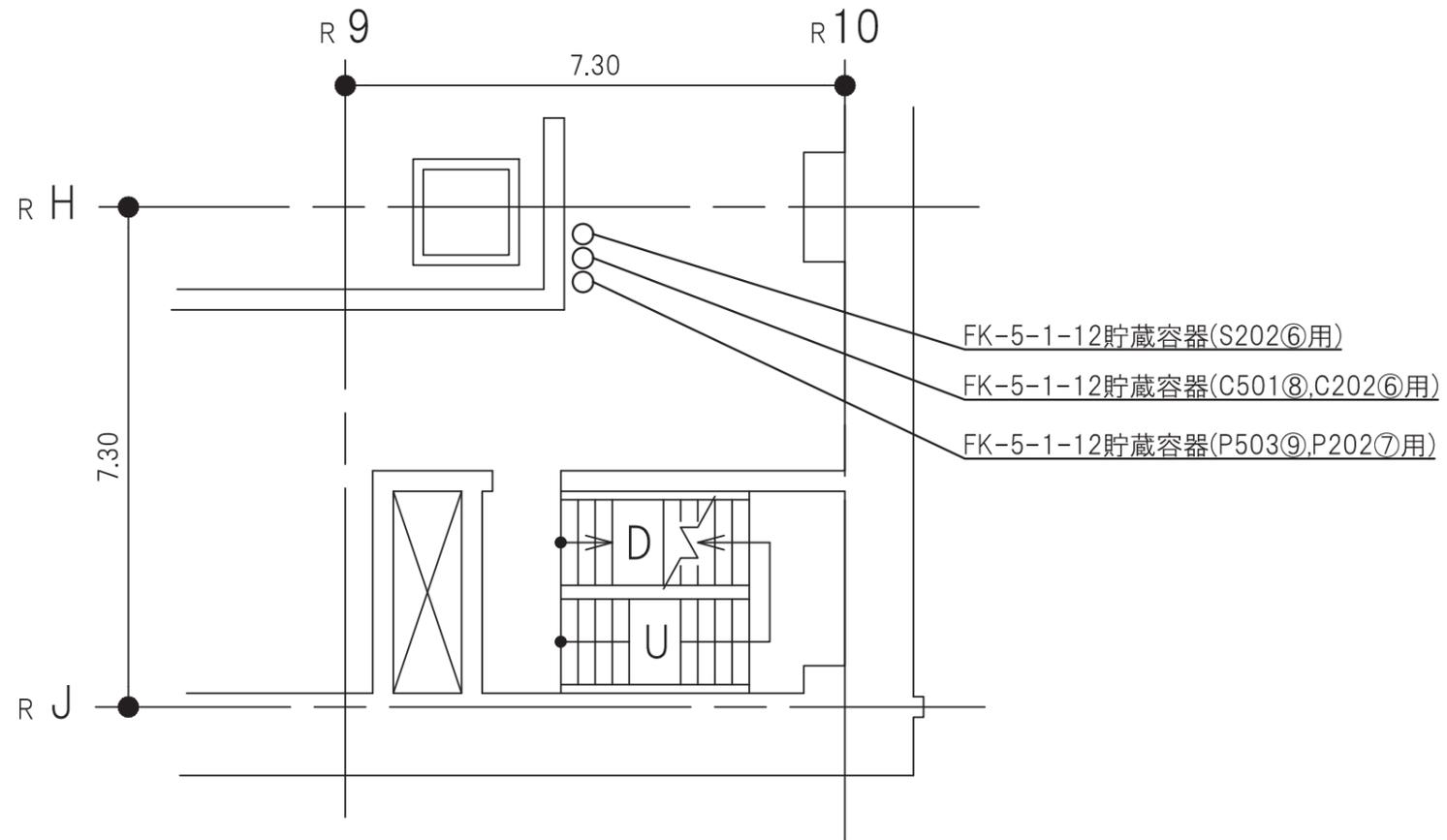
| | |
|---------------|-------------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-18図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る 機器の配置を明示した図面(その18) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0930 | |



原子炉建屋 O.P.22.50(m)

注：寸法はmを示す。

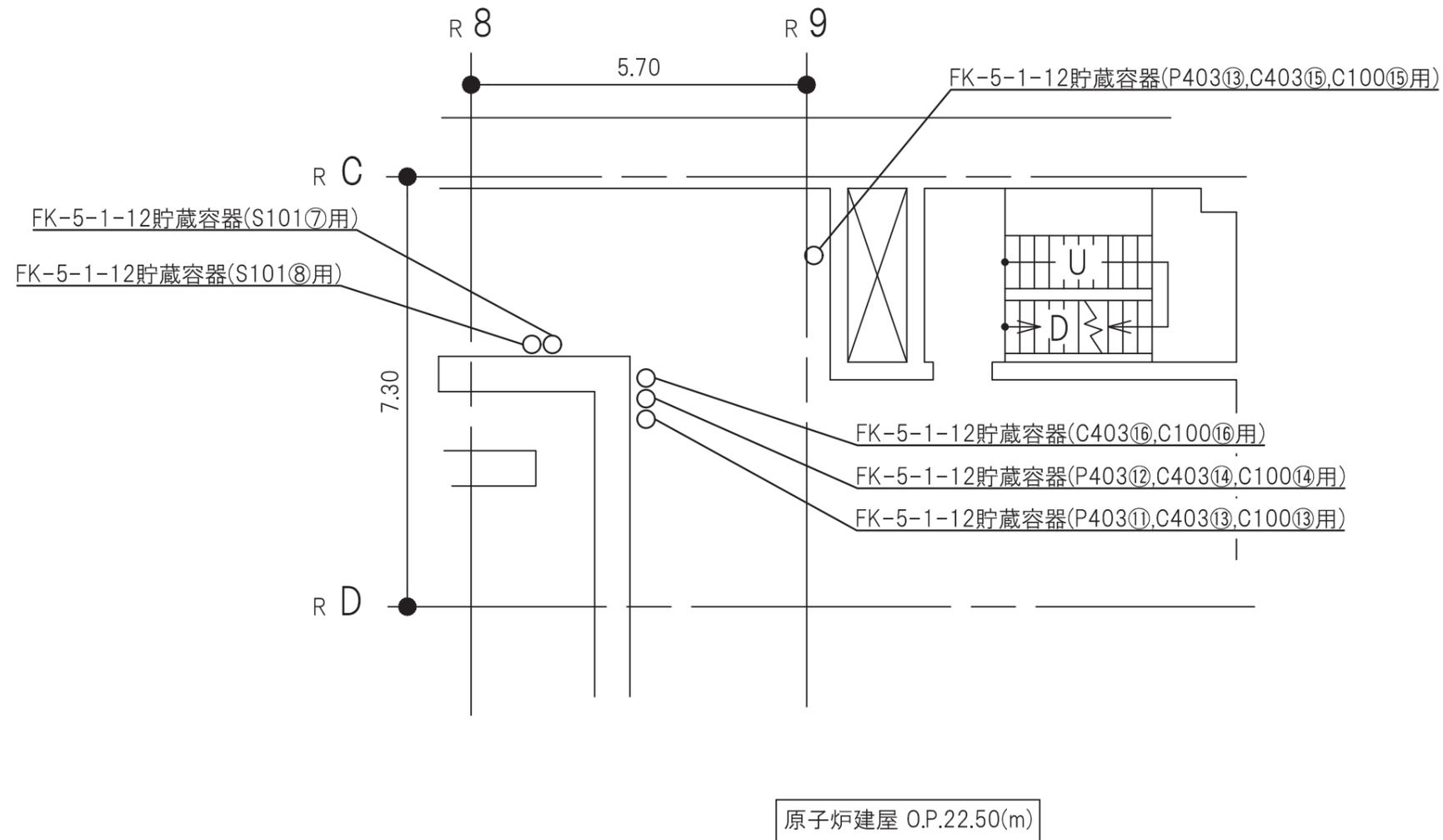
| | |
|---------------|-------------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-19図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る 機器の配置を明示した図面(その19) |
| 東北電力株式会社 | |
| 1618 | |



原子炉建屋 O.P.22.50(m)

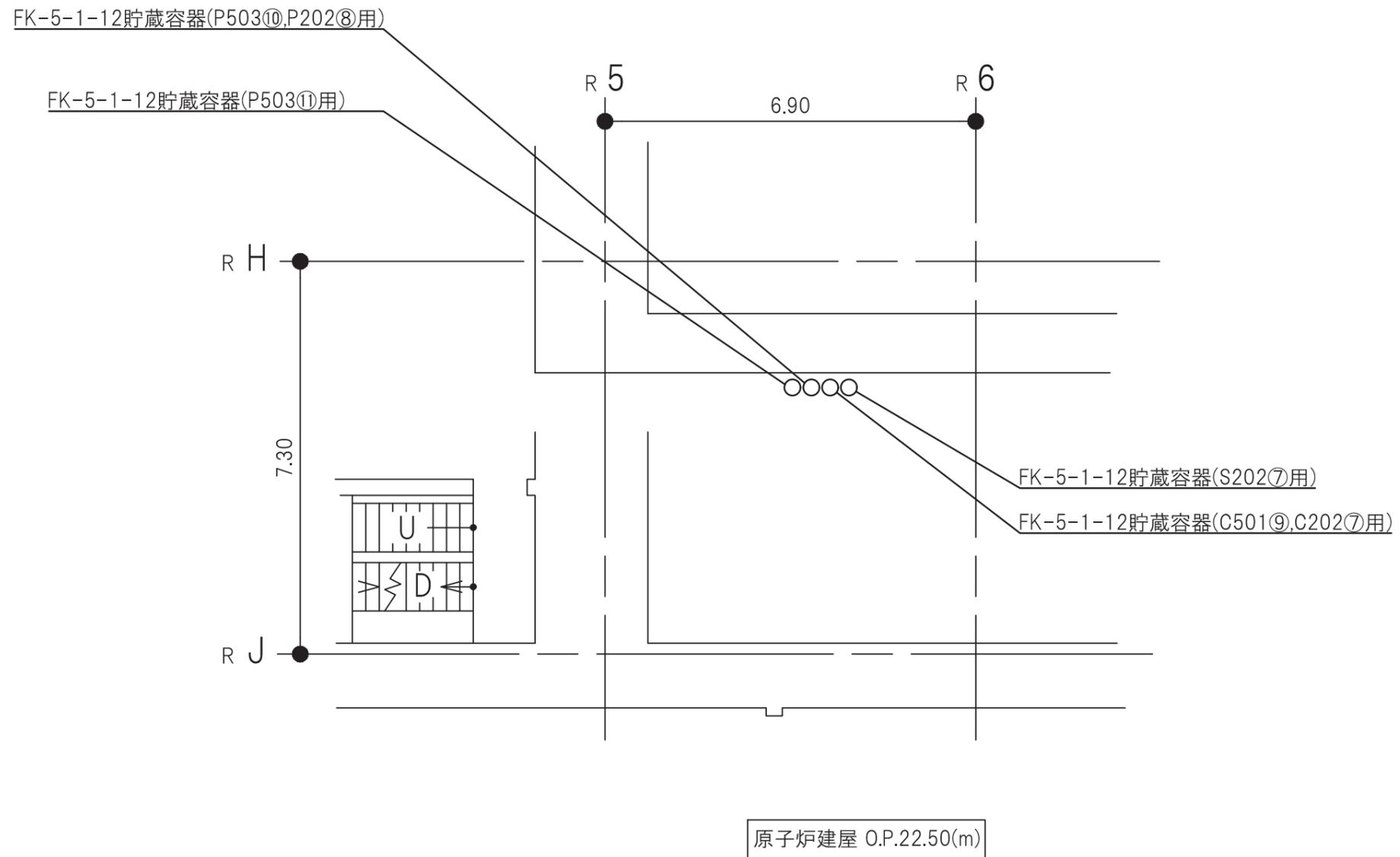
注：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|-------------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-20図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る 機器の配置を明示した図面(その20) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



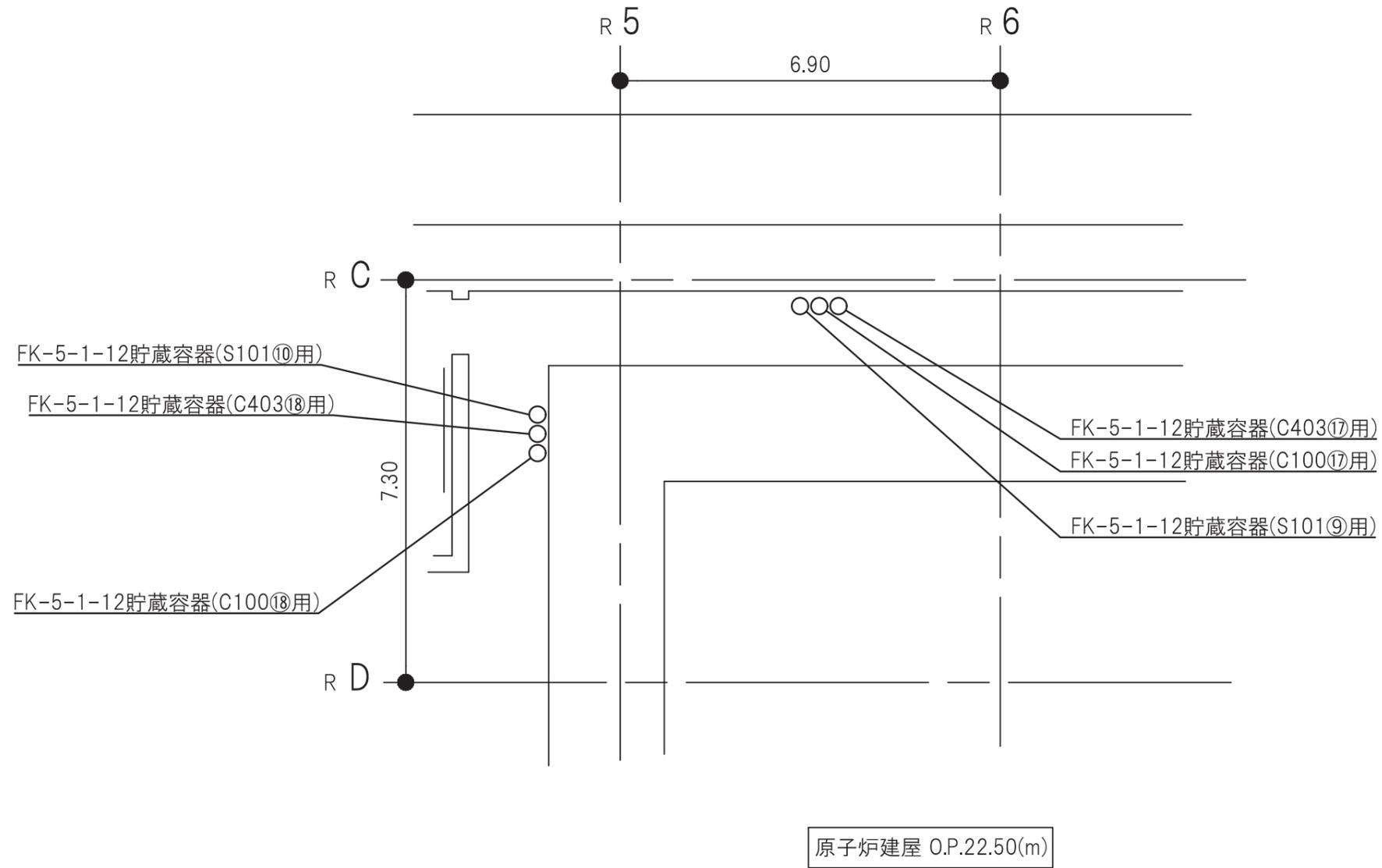
注：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|---------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-21図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面(その21) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



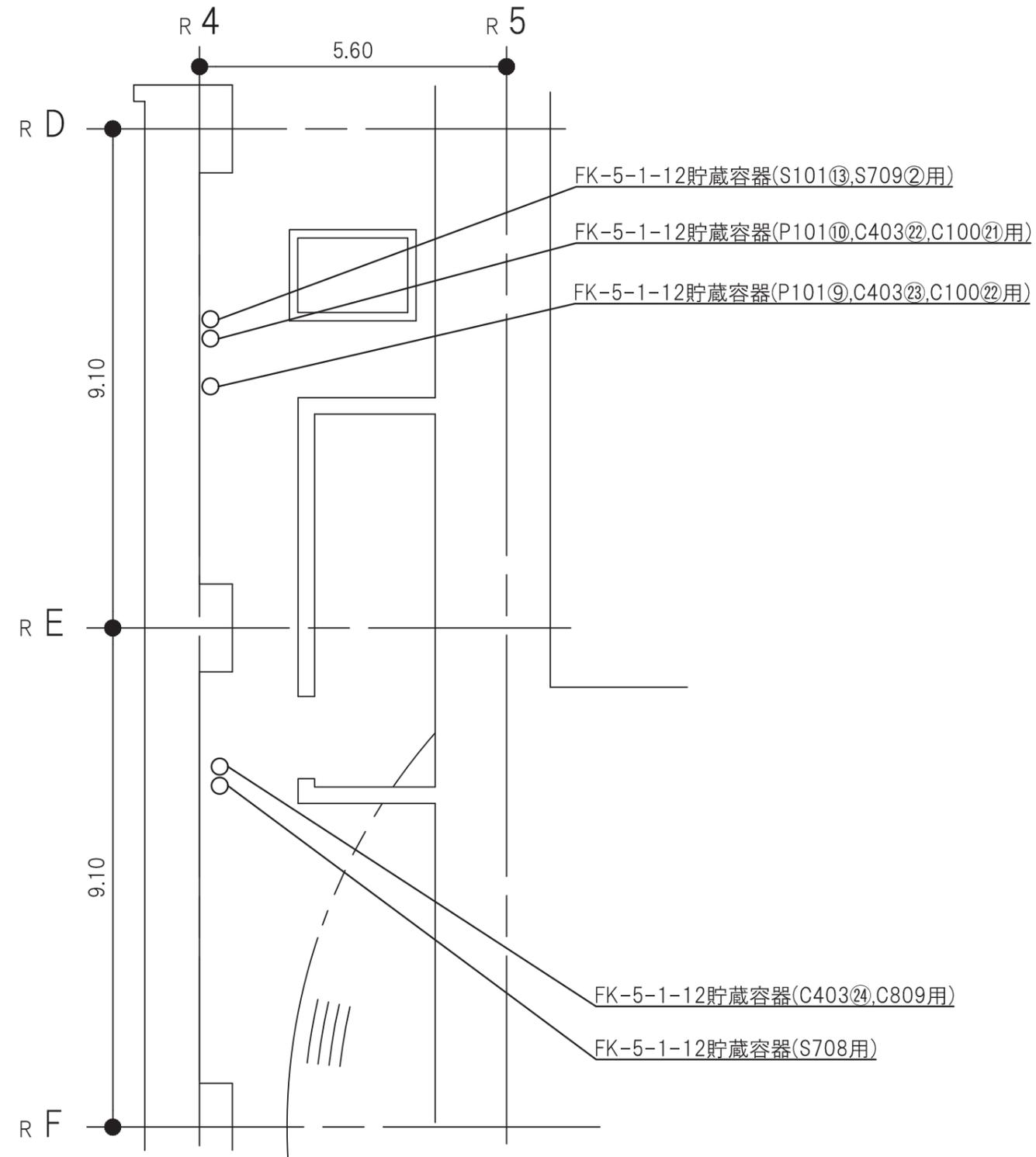
注：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|---------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-22図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面(その22) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



注：寸法はmを示す。

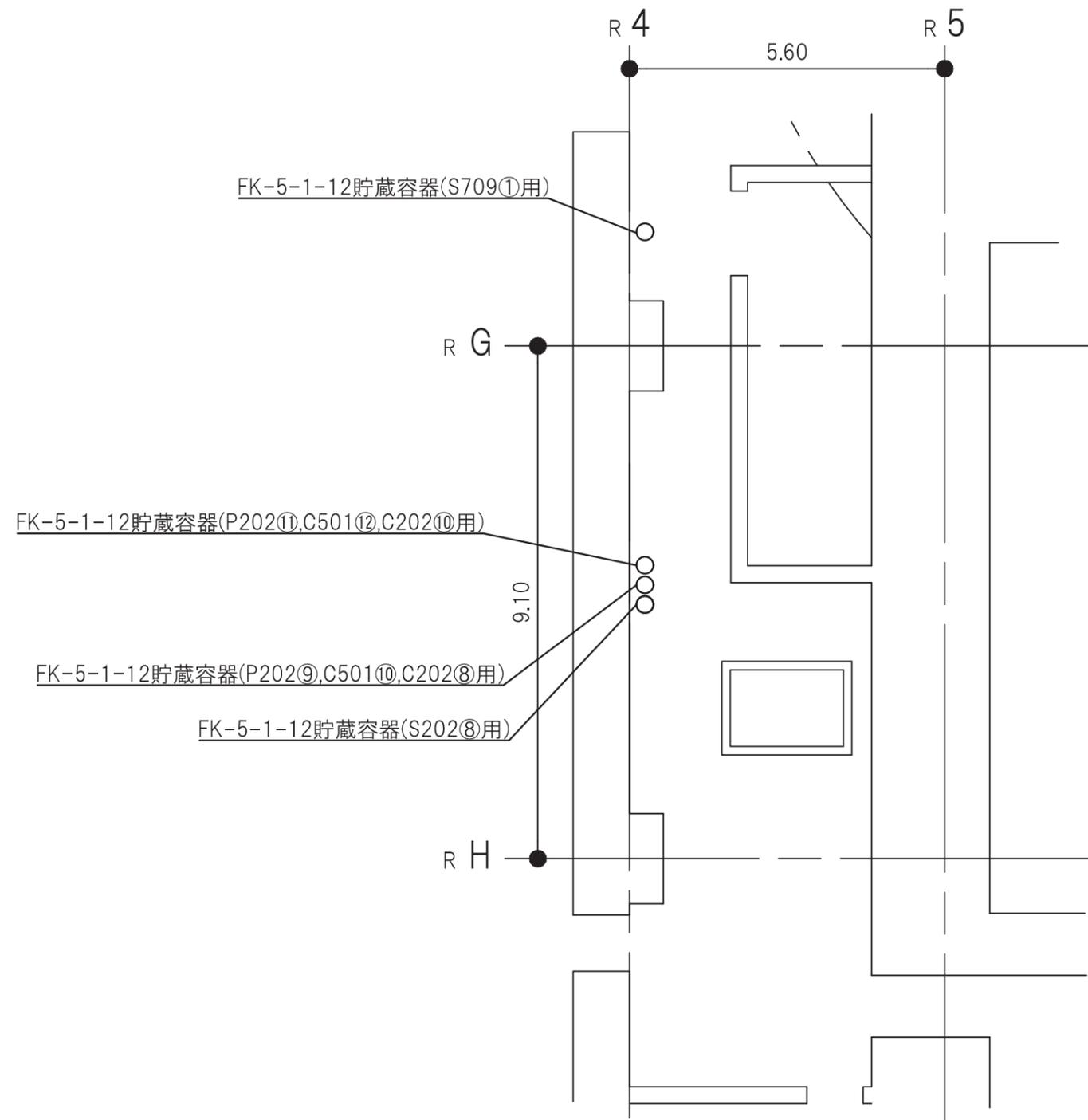
| | |
|---------------|---------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-23図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面(その23) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



原子炉建屋 O.P.22.50(m)

注：寸法はmを示す。

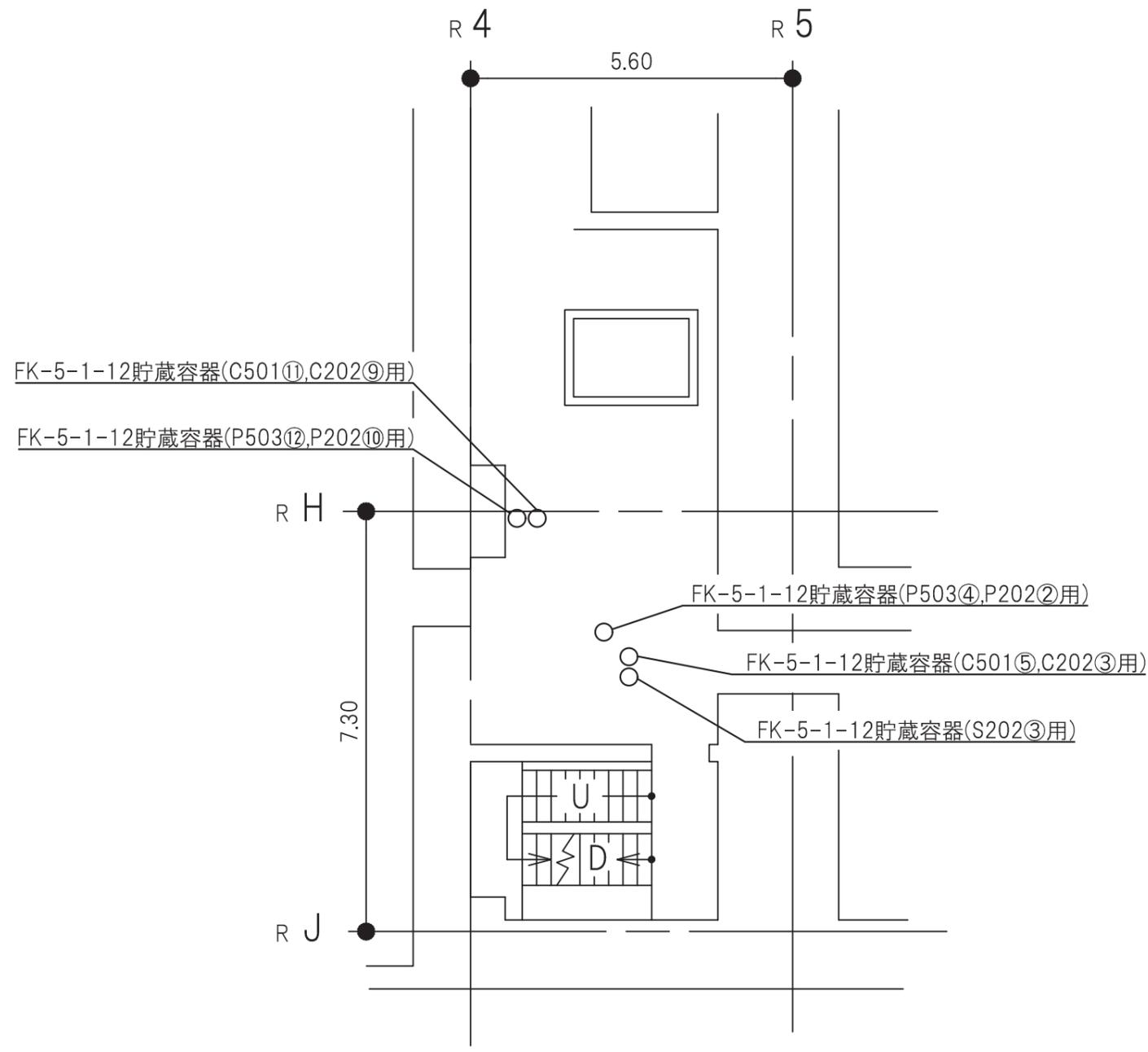
| | |
|---------------|---------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-24図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面(その24) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



原子炉建屋 O.P.22.50(m)

注：寸法はmを示す。

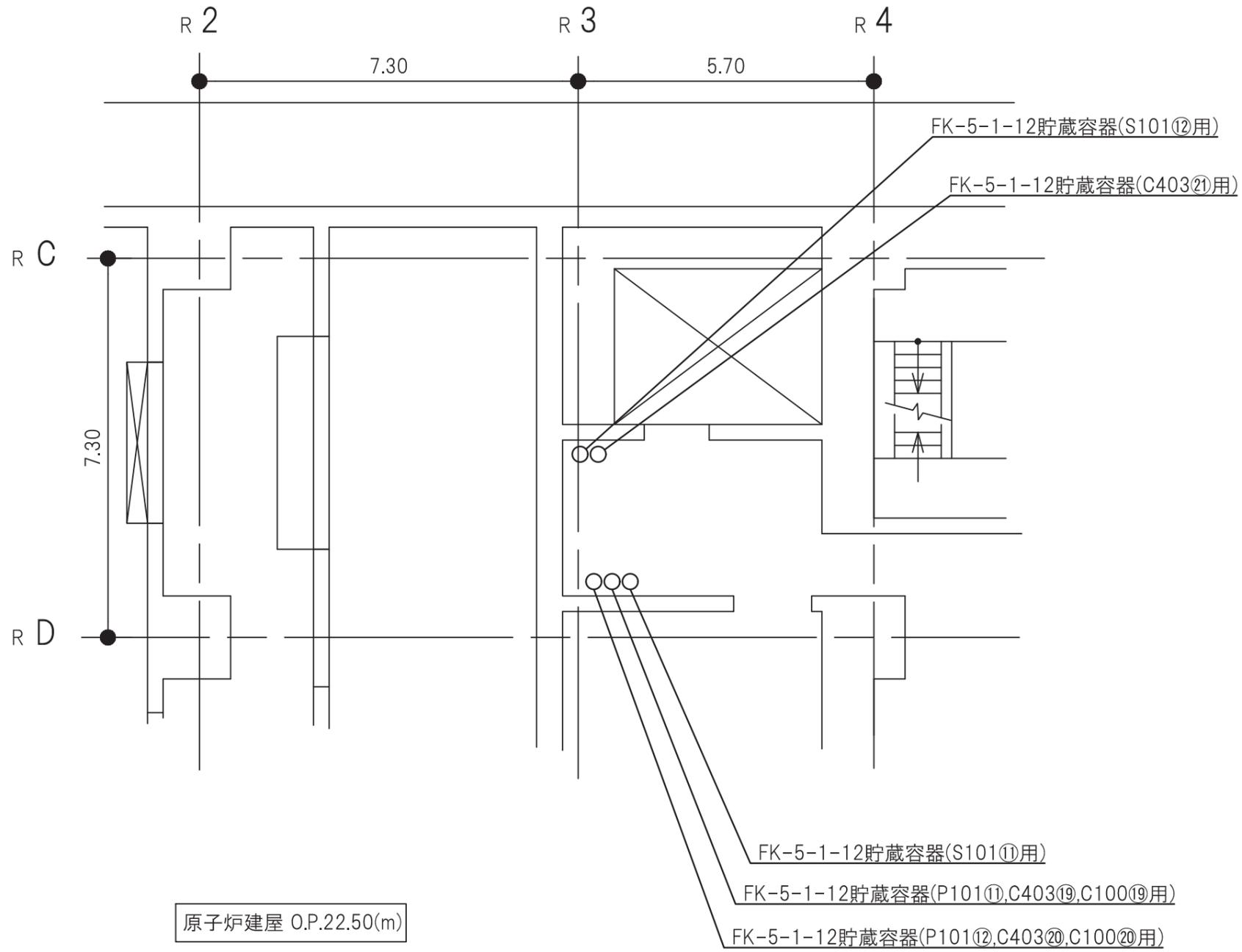
| | |
|---------------|-------------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-25図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る 機器の配置を明示した図面(その25) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



原子炉建屋 O.P.22.50(m)

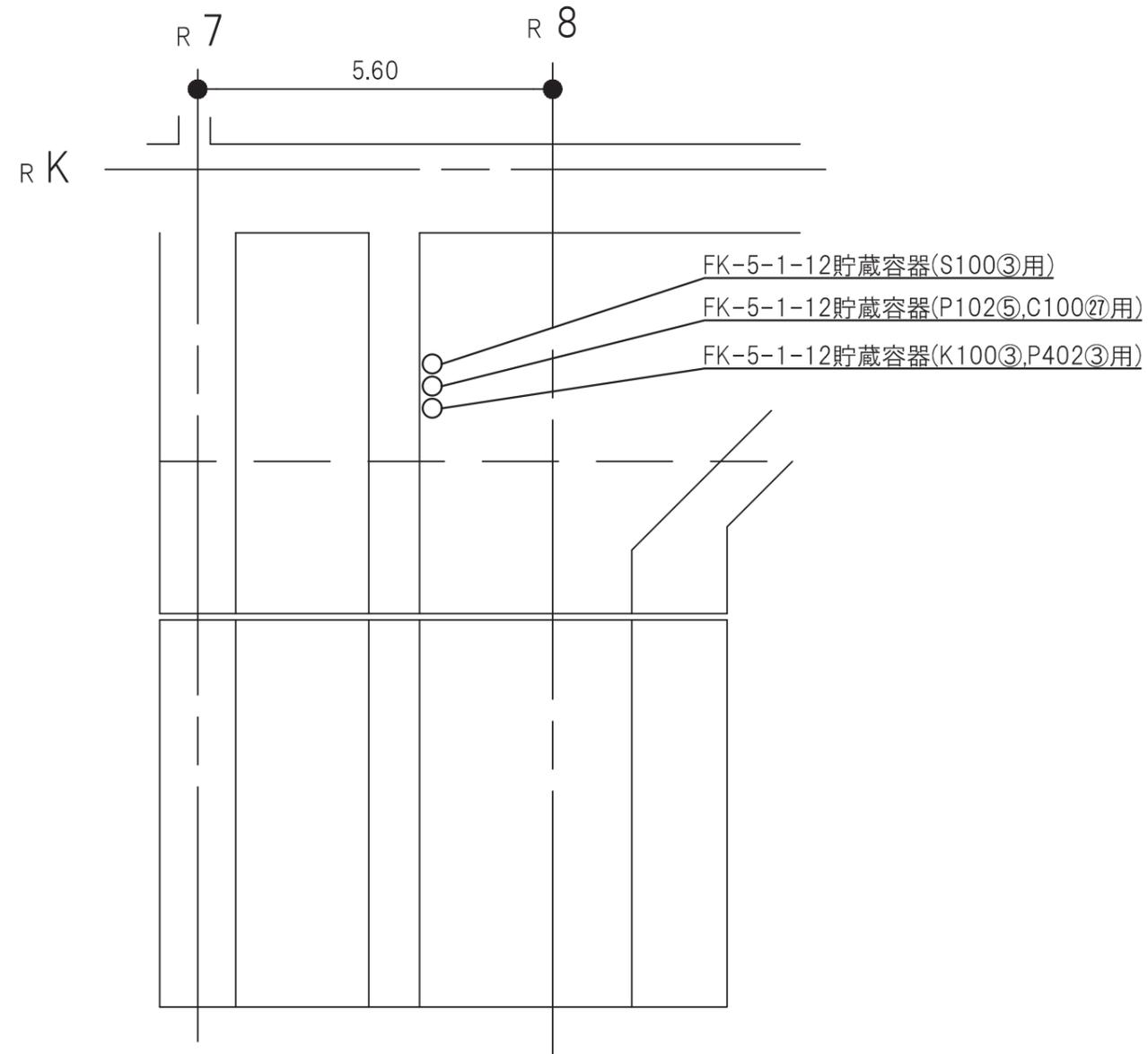
注：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|-------------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-26図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る 機器の配置を明示した図面(その26) |
| 東北電力株式会社 | |
| 1119 | |



注：寸法はmを示す。

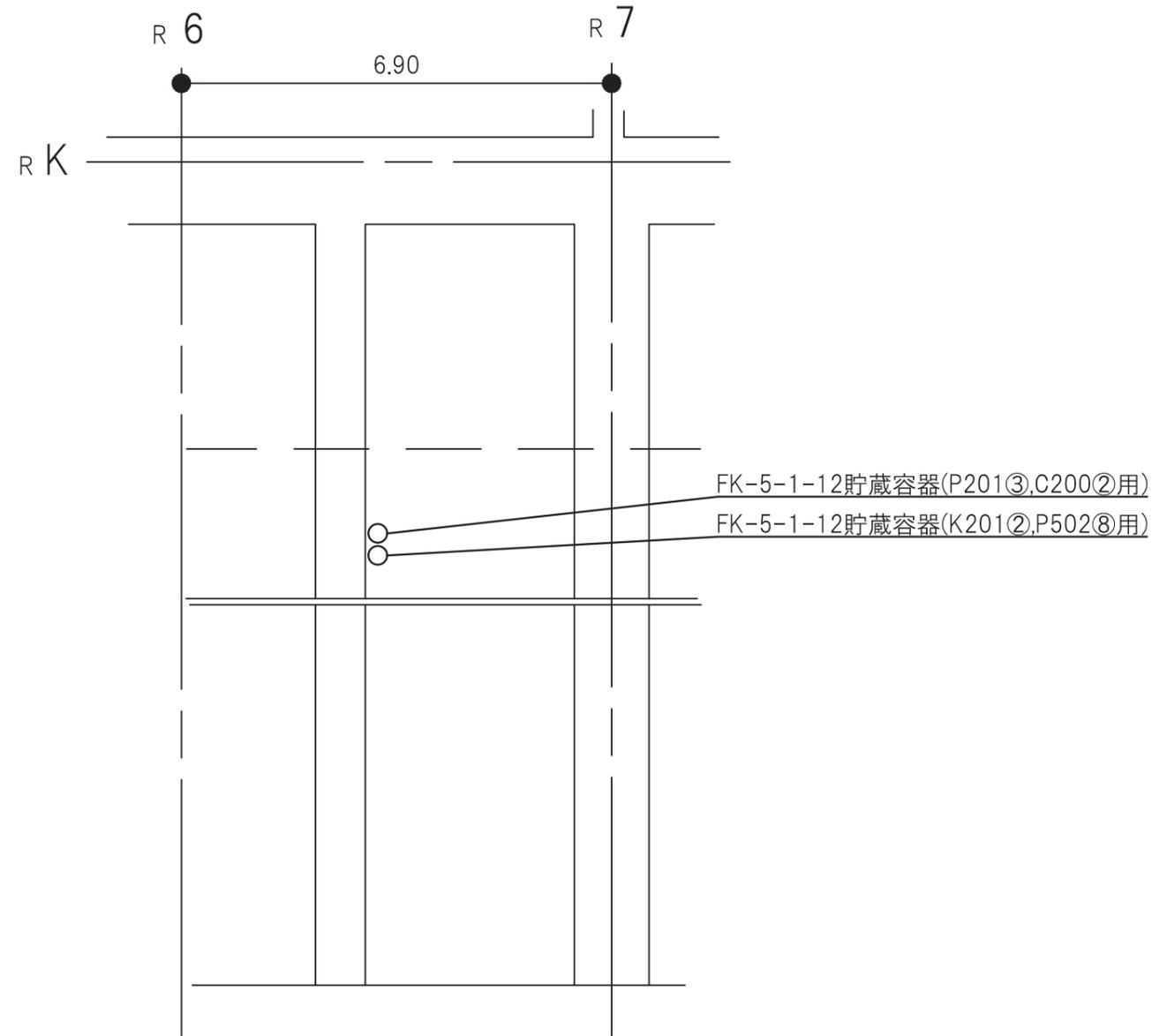
| | |
|---------------|---------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-27図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面(その27) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



原子炉建屋 O.P.-8.10(m)

注：寸法はmを示す。

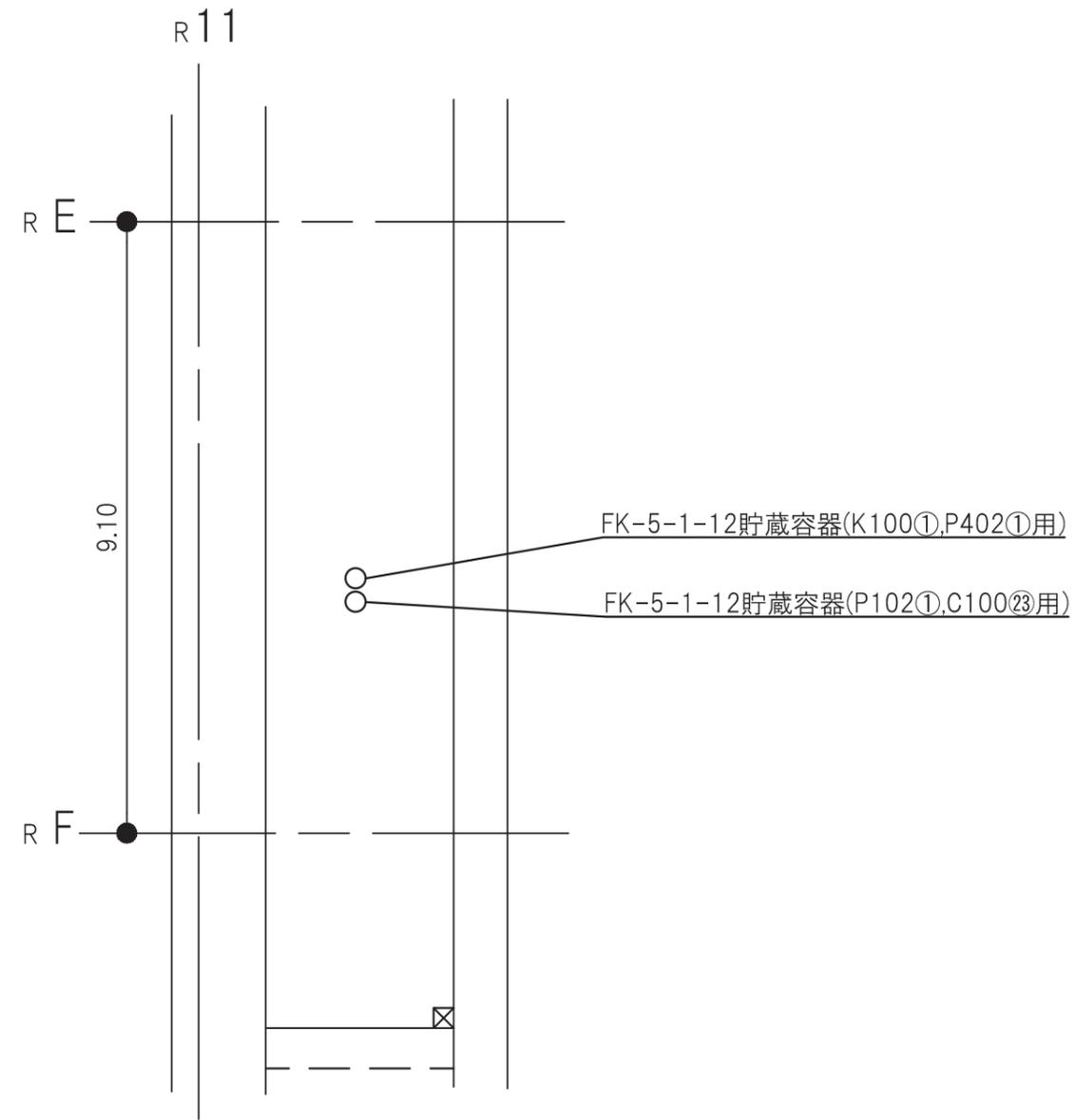
| | |
|---------------|-------------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-28図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る 機器の配置を明示した図面(その28) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



原子炉建屋 O.P.-8.10(m)

注：寸法はmを示す。

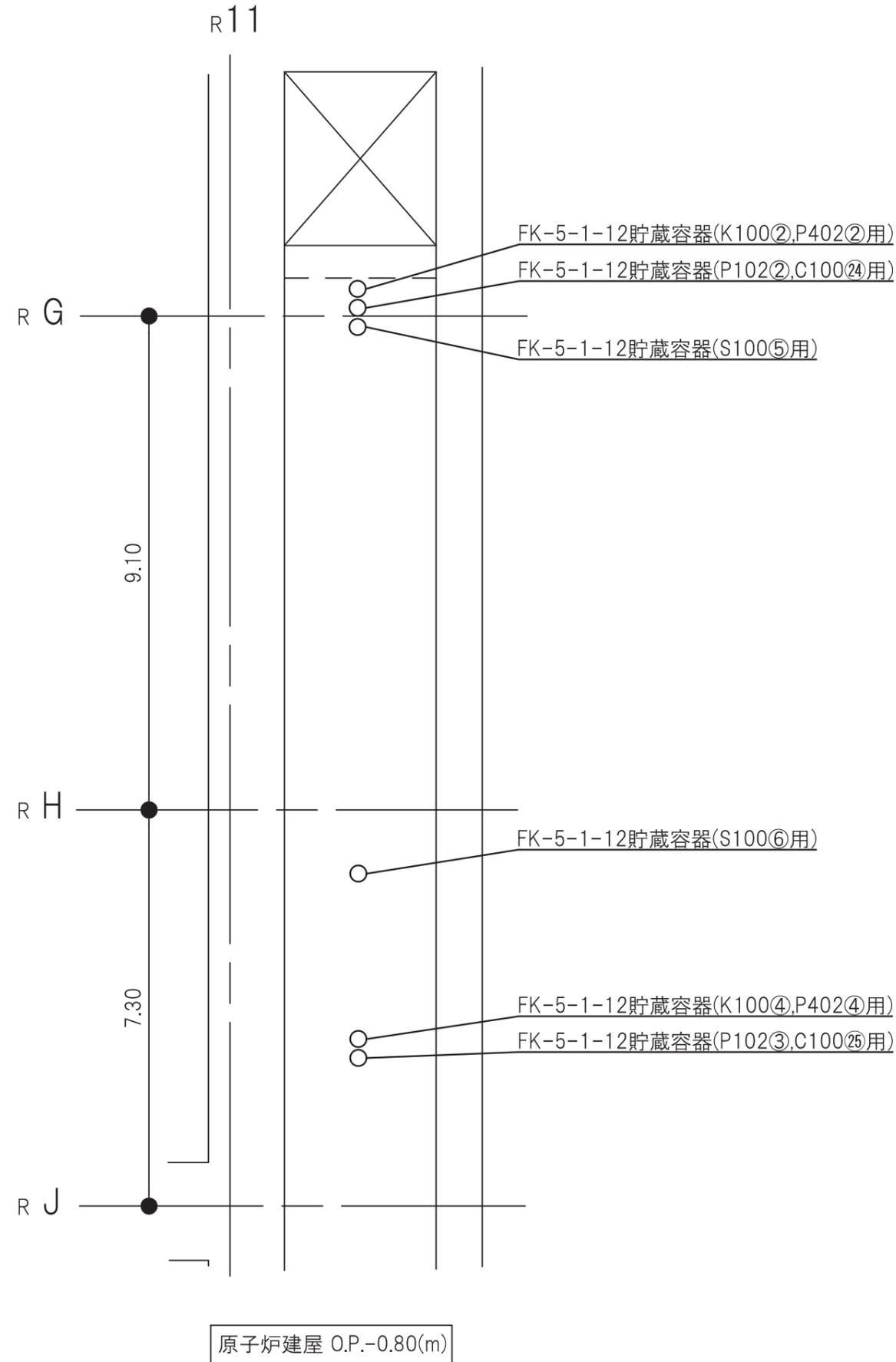
| | |
|---------------|-------------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-29図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る 機器の配置を明示した図面(その29) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



原子炉建屋 O.P.-4.70(m)

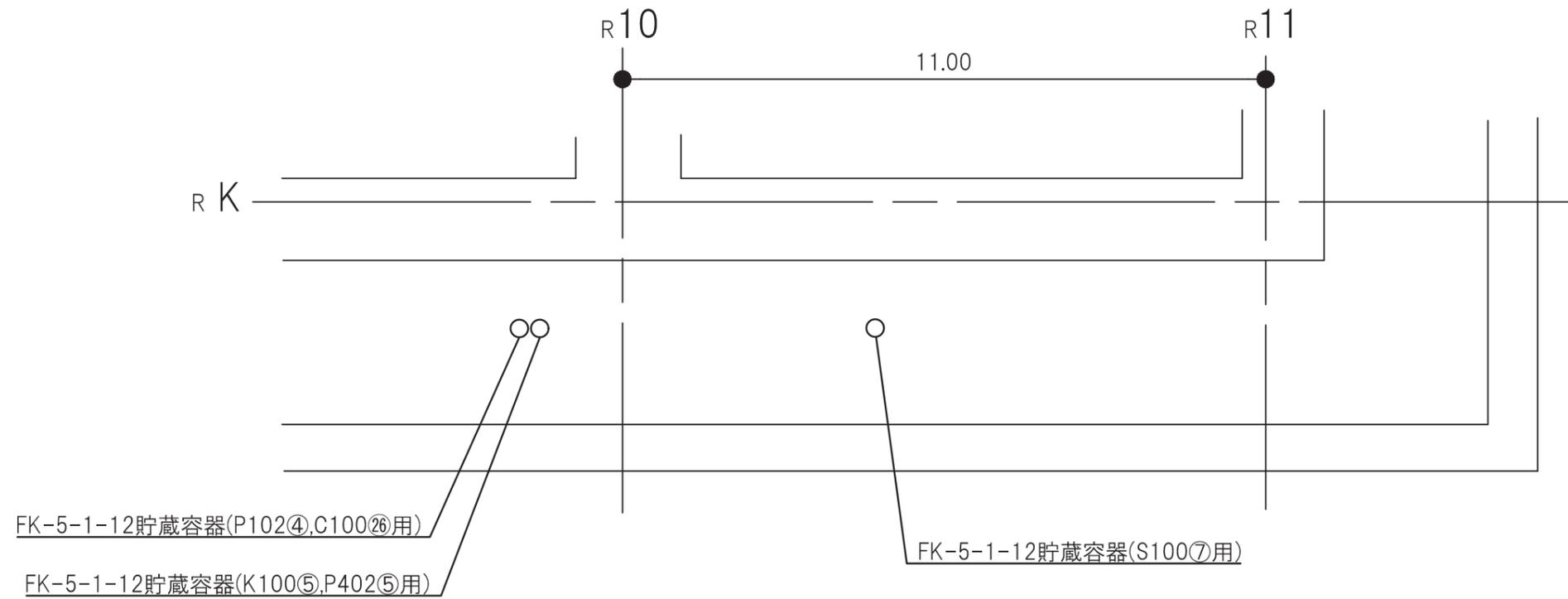
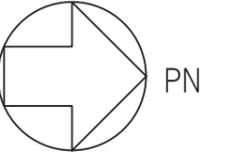
注：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|-------------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-30図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る 機器の配置を明示した図面(その30) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



注：寸法はmを示す。

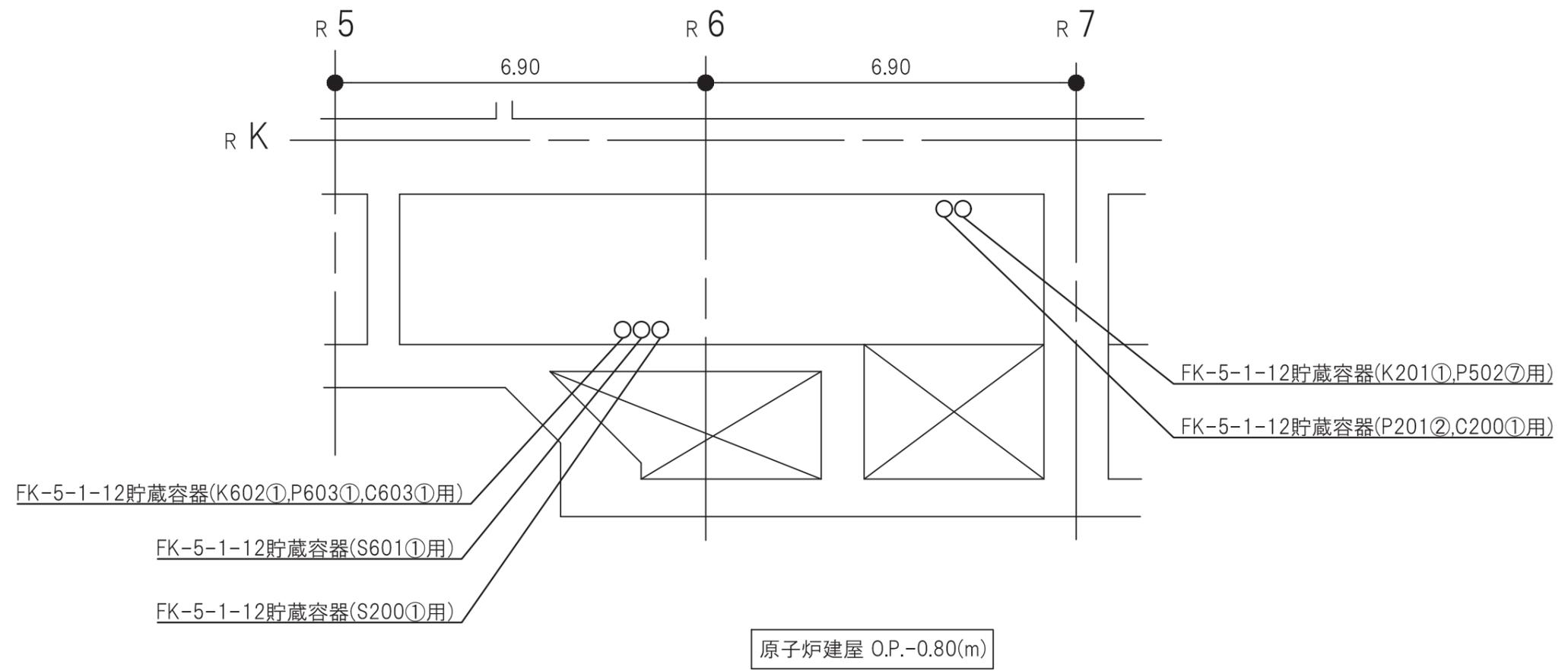
| | |
|---------------|---------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-31図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面(その31) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



原子炉建屋 O.P.-0.80(m)

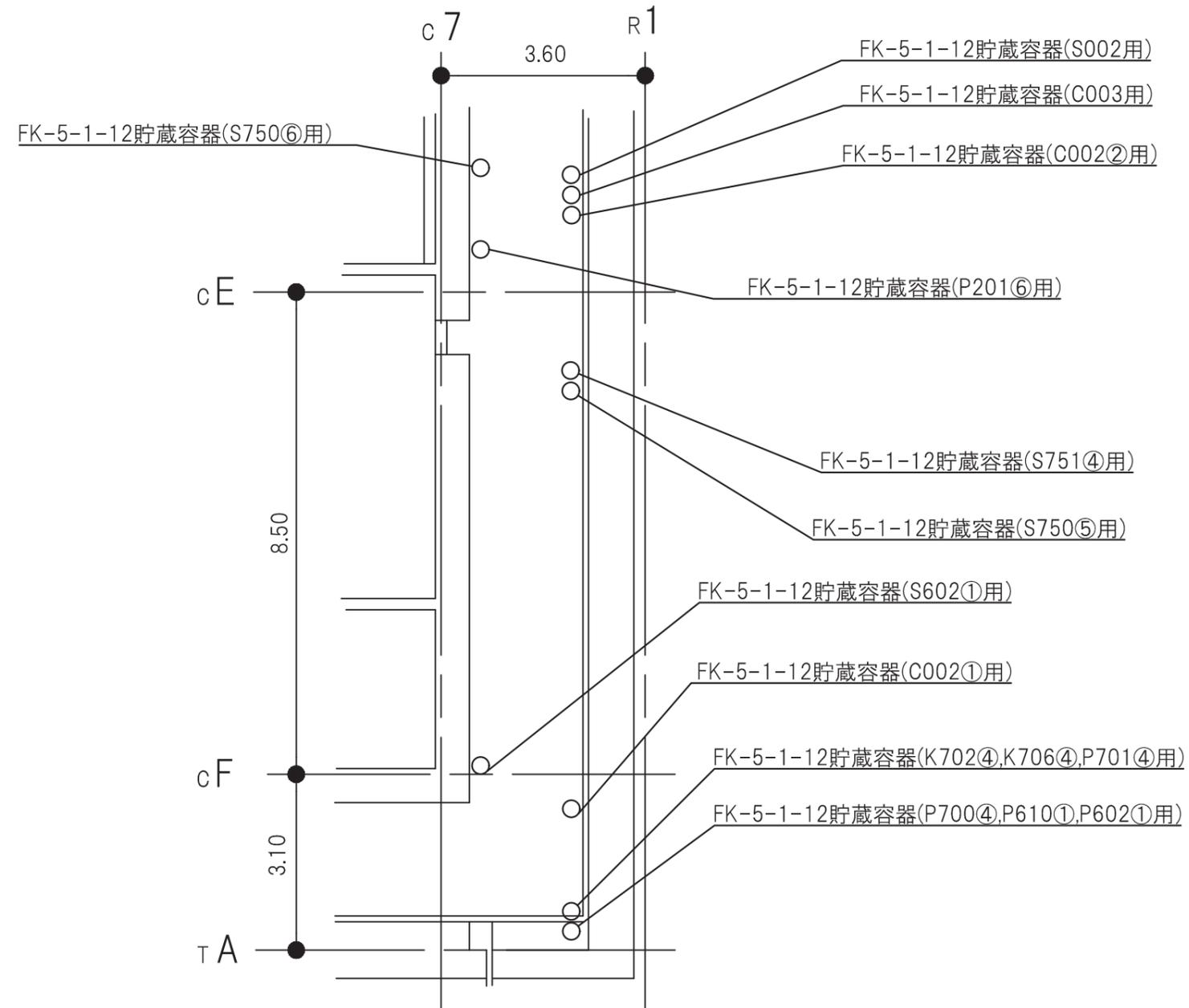
注：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|-------------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-32図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る 機器の配置を明示した図面(その32) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



注：寸法はmを示す。

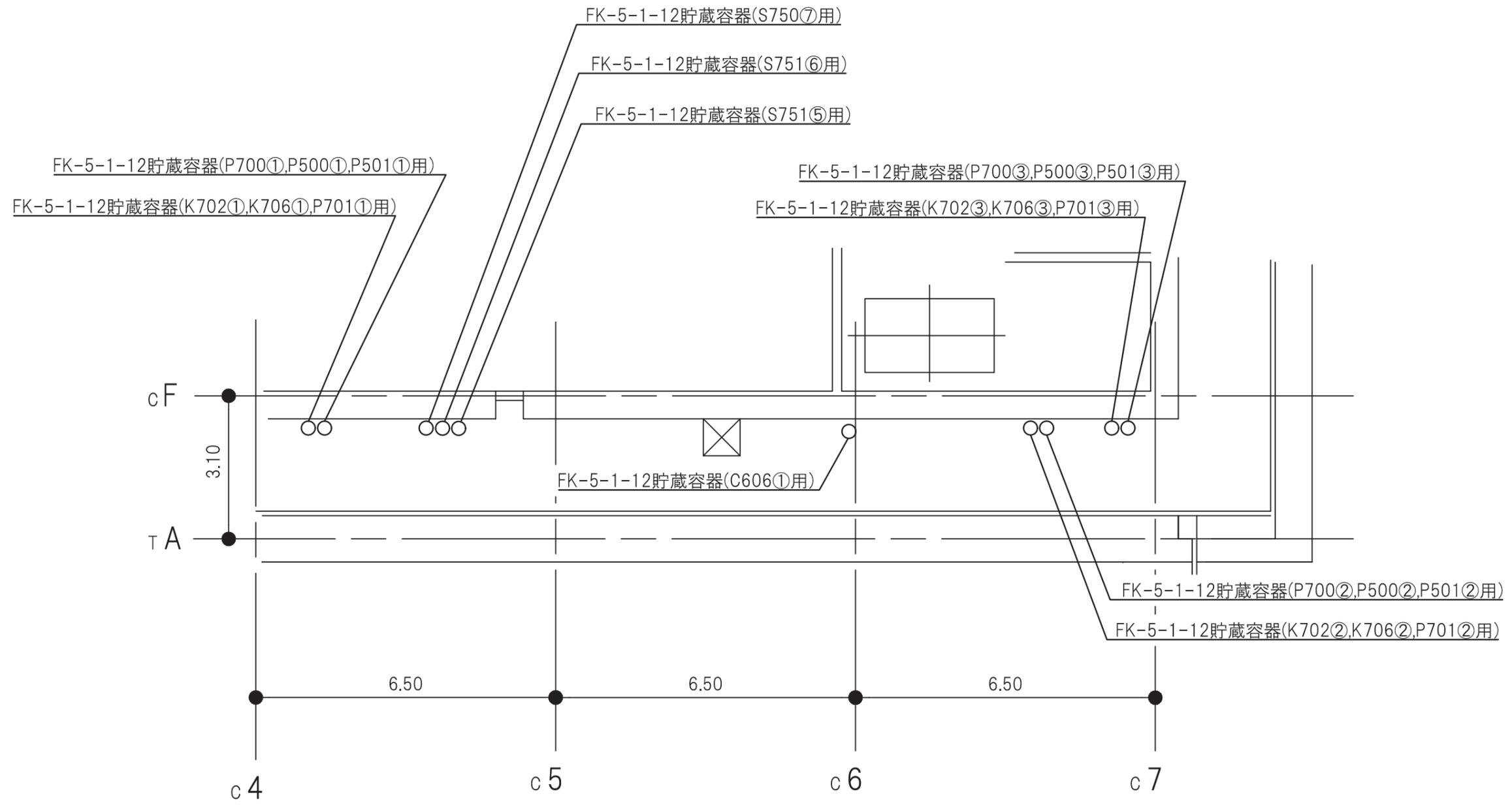
| | |
|---------------|---------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-33図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面(その33) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0930 | |



制御建屋 O.P.15.00(m)

注：寸法はmを示す。

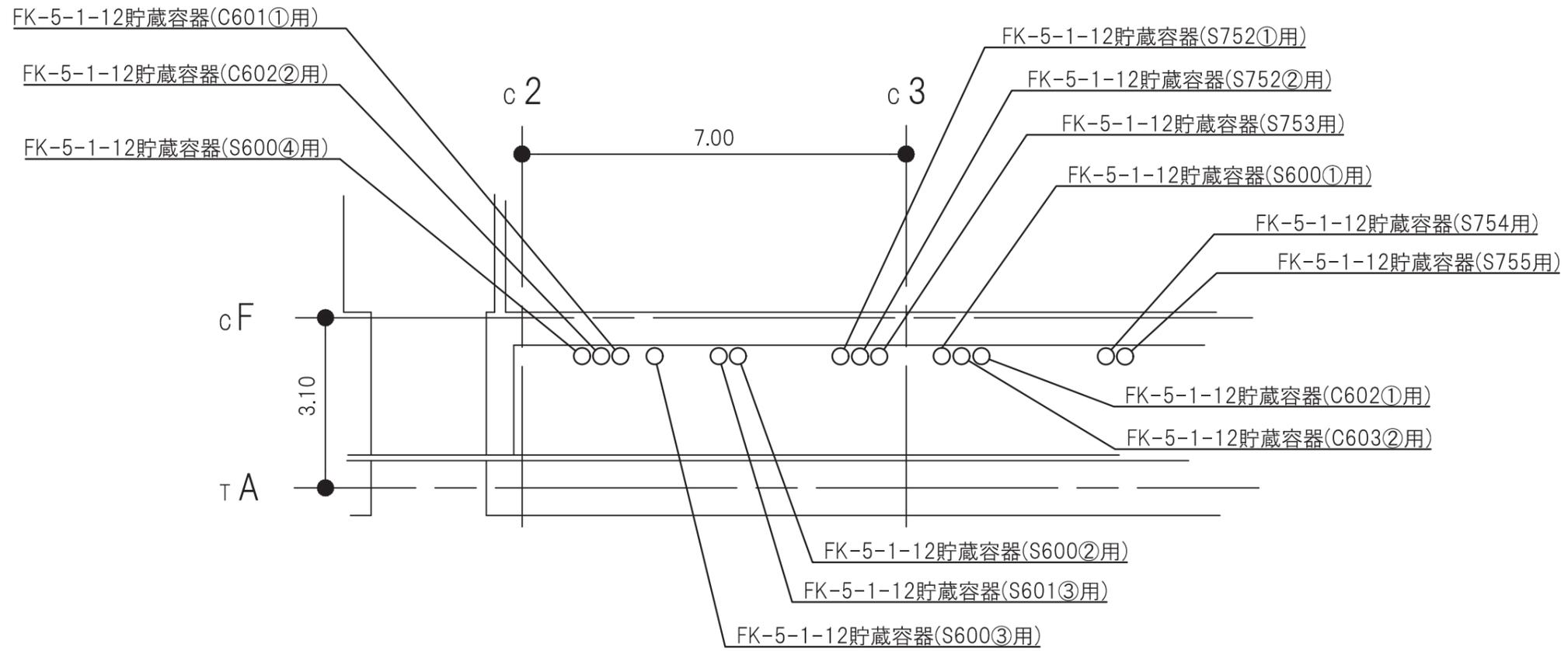
| | |
|---------------|-------------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-34図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る 機器の配置を明示した図面(その34) |
| 東北電力株式会社 | |
| 1119 | |



制御建屋 0.P.15.00(m)

注：寸法はmを示す。

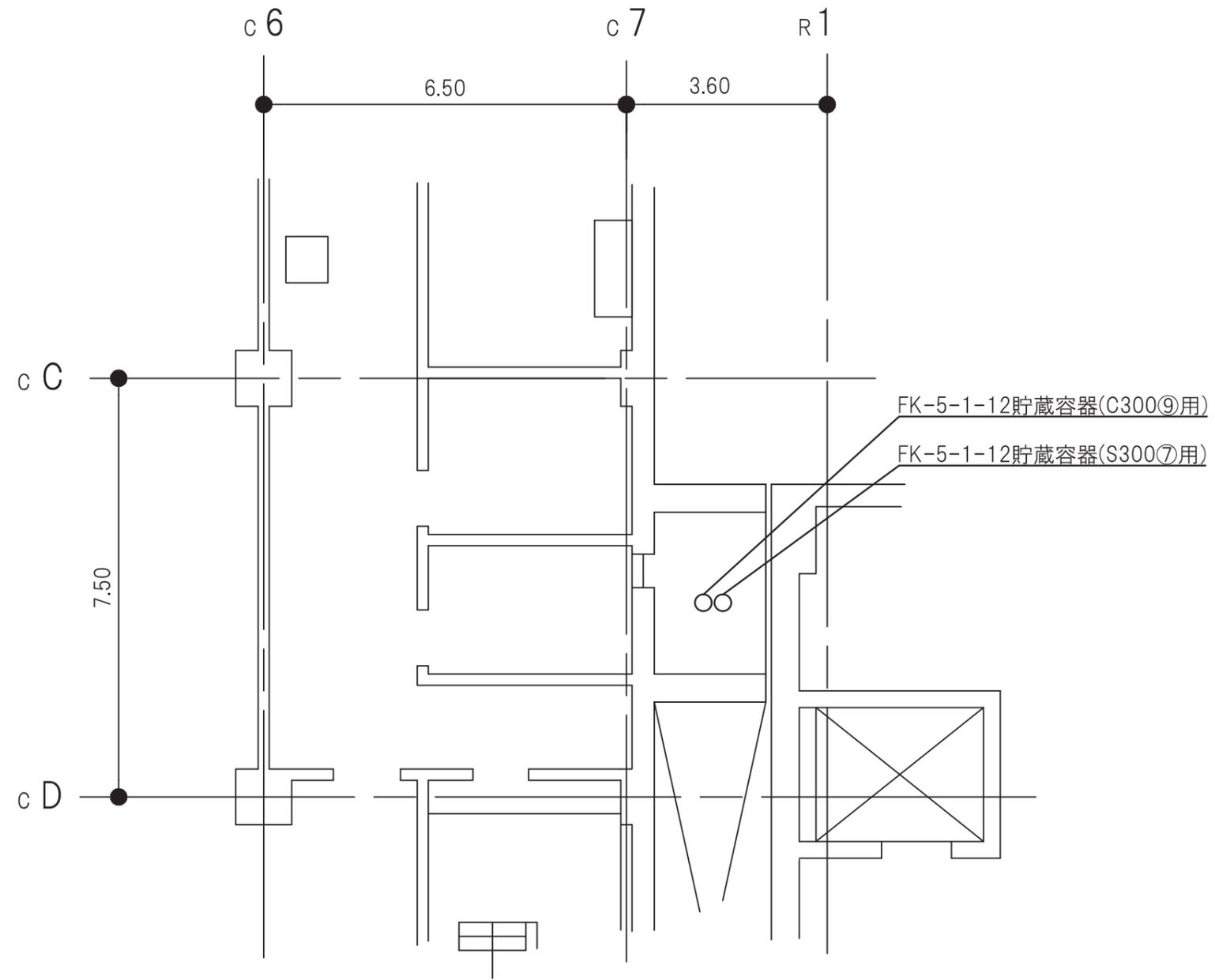
| | |
|---------------|---------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-35図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面(その35) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0930 | |



制御建屋 O.P.15.00(m)

注：寸法はmを示す。

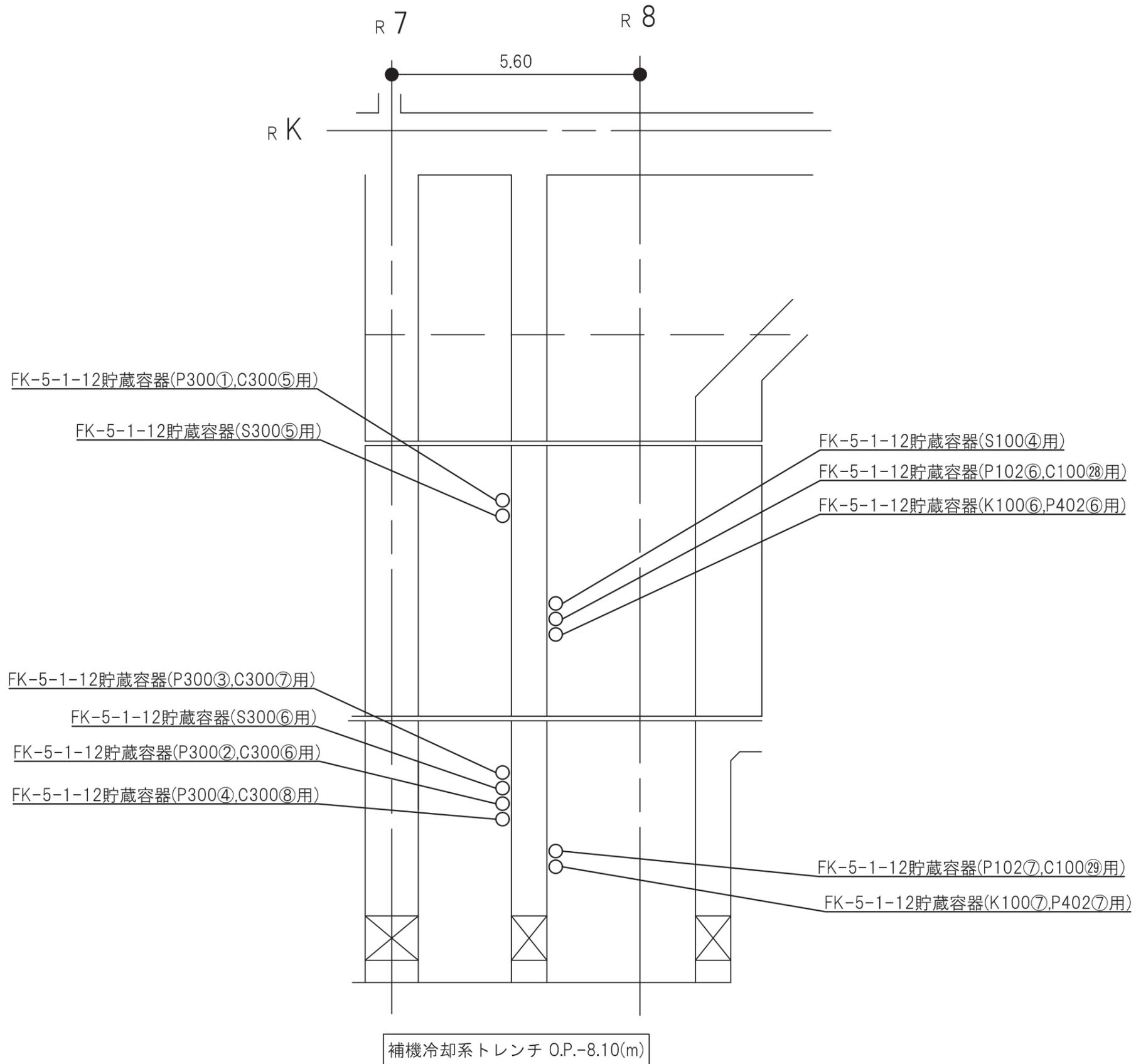
| | |
|---------------|---------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-36図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面(その36) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



制御建屋 O.P.19.50(m)

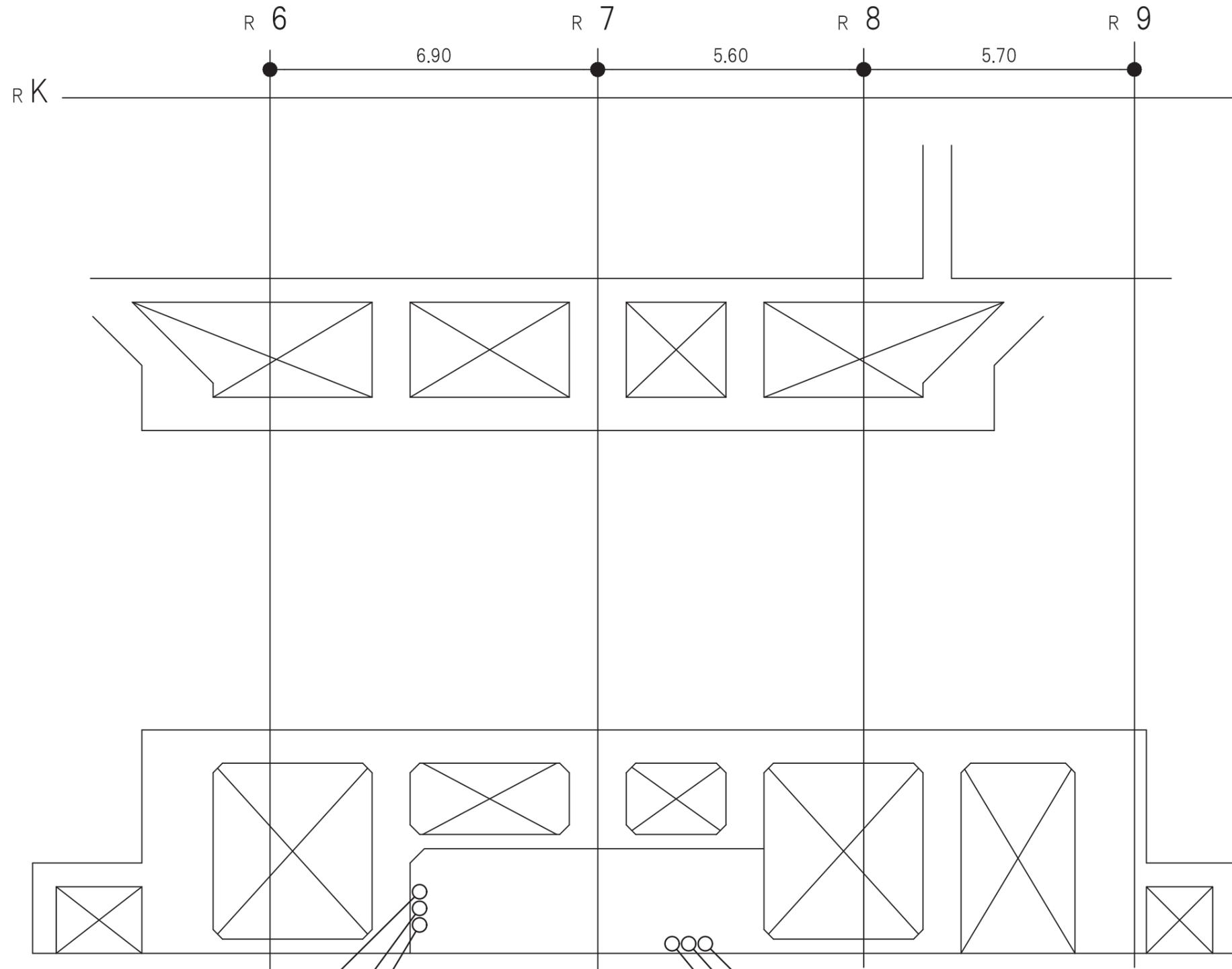
注：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|---------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-37図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面(その37) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



注：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|---------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-38図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面(その38) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



FK-5-1-12貯蔵容器(S100⑨用)

FK-5-1-12貯蔵容器(P102⑧,C100⑩用)

FK-5-1-12貯蔵容器(K100⑧,P402⑧用)

FK-5-1-12貯蔵容器(S100⑧用)

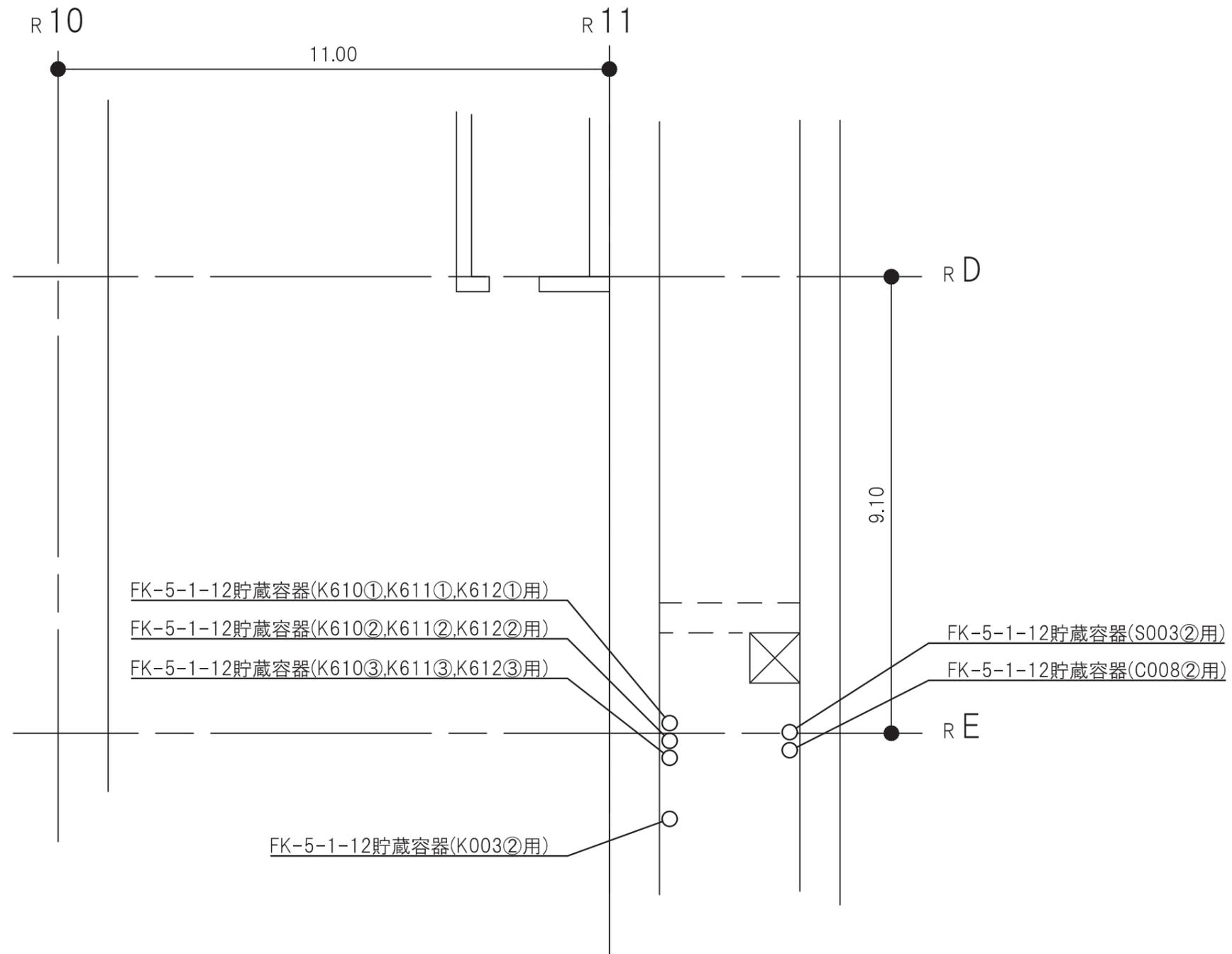
FK-5-1-12貯蔵容器(P102⑨,C100⑩用)

FK-5-1-12貯蔵容器(K100⑨,P402⑨用)

補機冷却系トレンチ O.P.8.85(m)

注：寸法はmを示す。

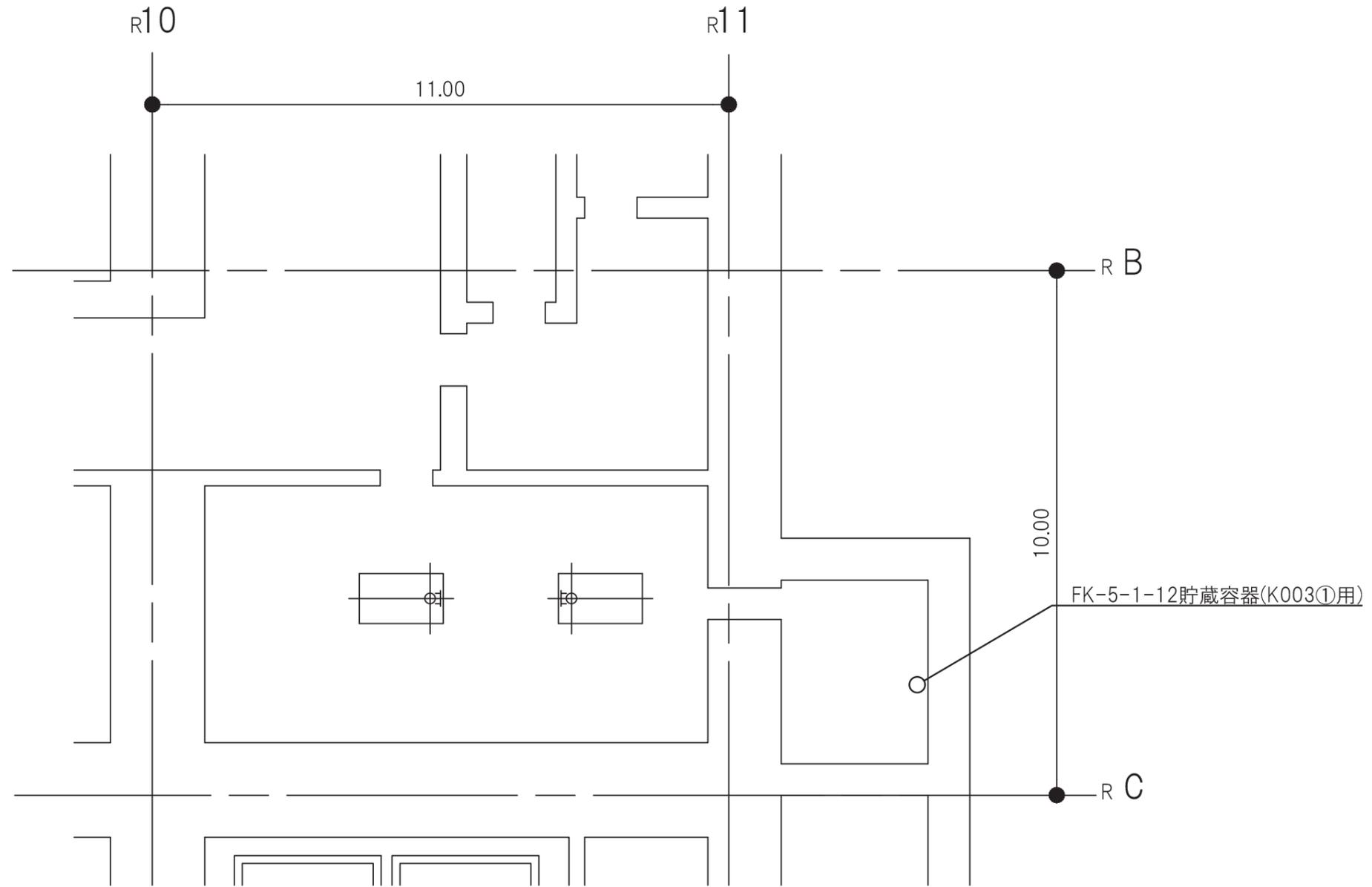
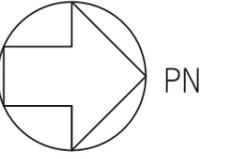
| | |
|---------------|---------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-40図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面(その40) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



原子炉建屋 O.P.6.90(m)

注：寸法はmを示す。

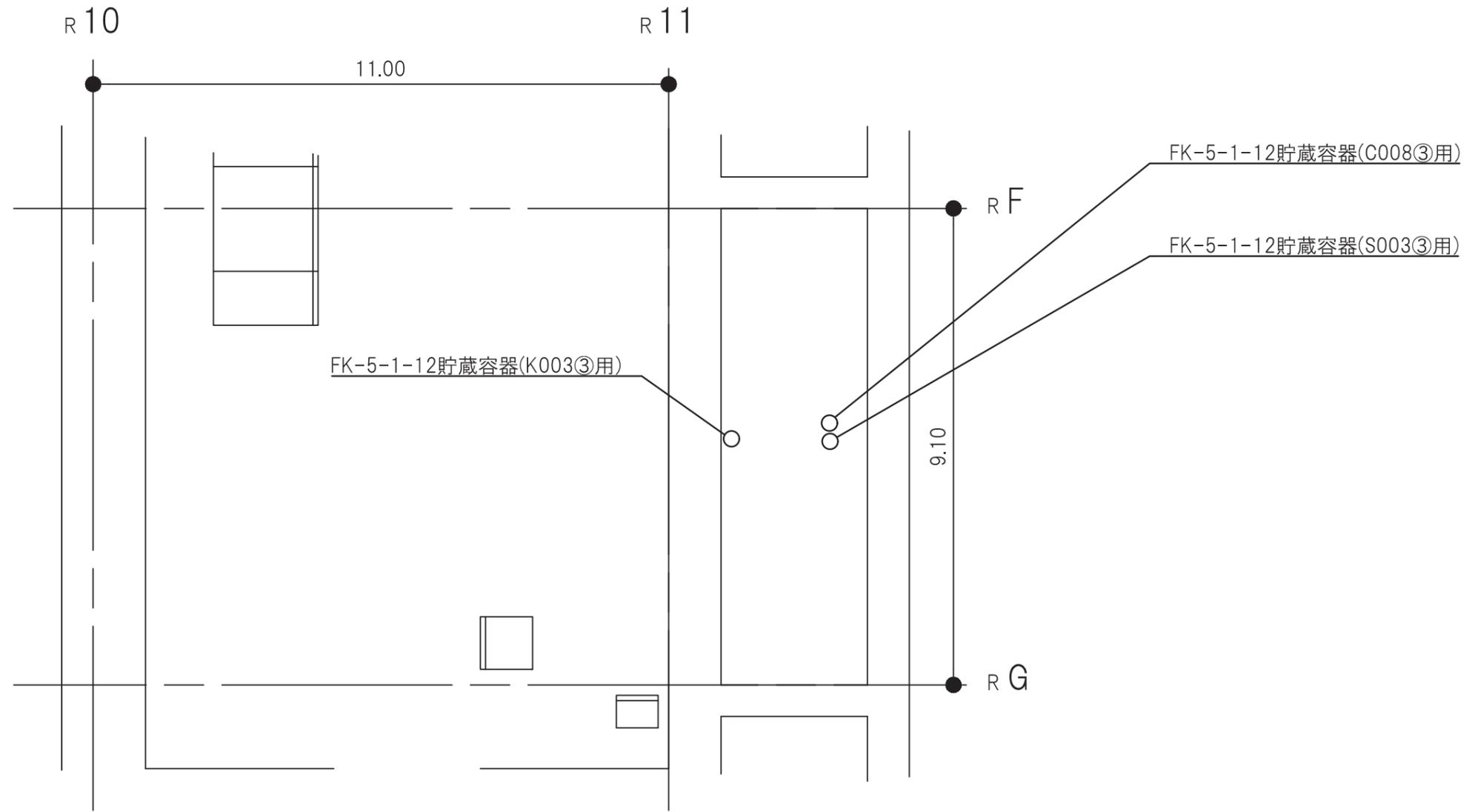
| | |
|---------------|-------------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-41図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る 機器の配置を明示した図面(その41) |
| 東北電力株式会社 | |
| 1618 | |



原子炉建屋 O.P.-8.10(m)

注：寸法はmを示す。

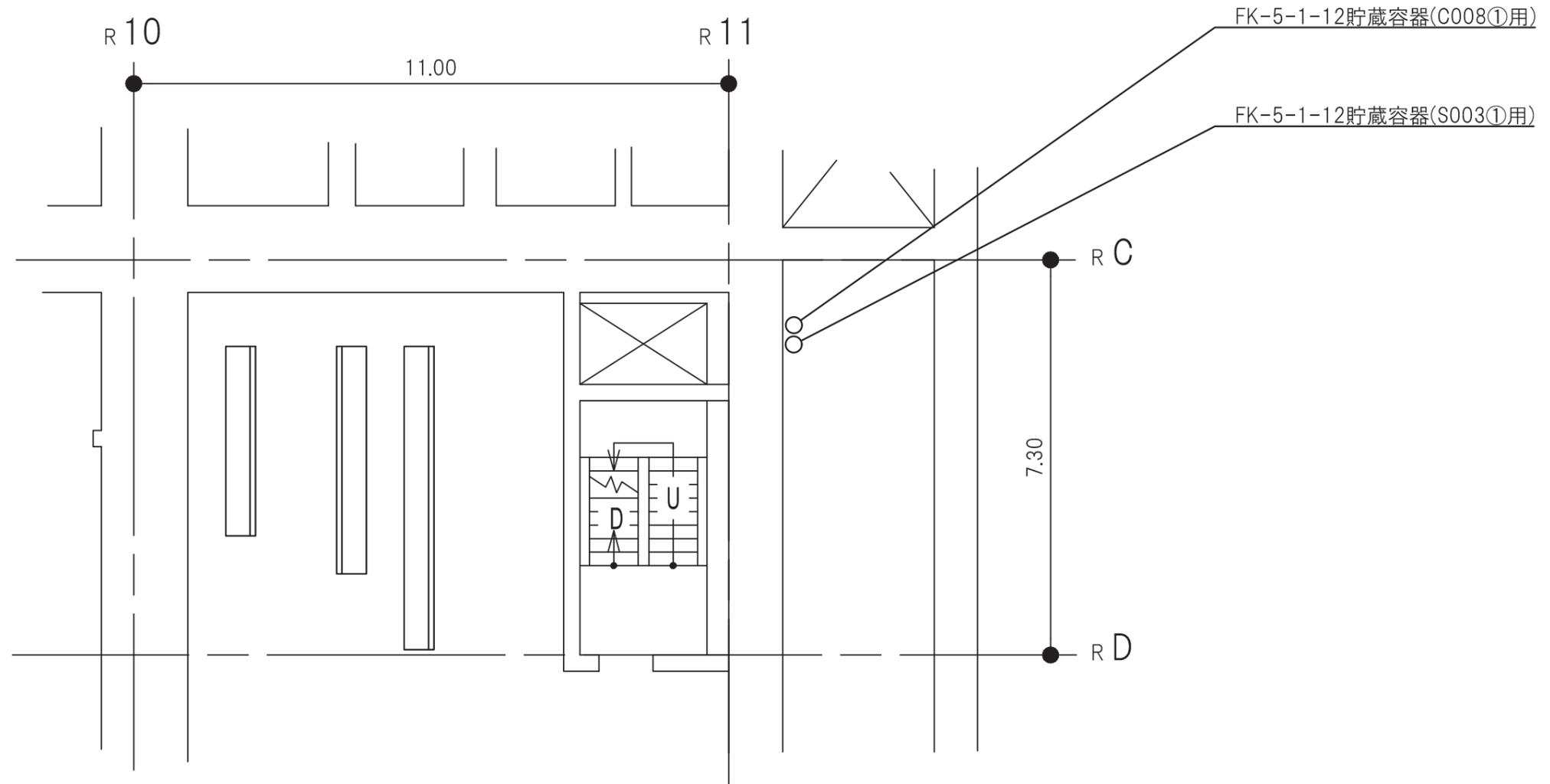
| | |
|---------------|-------------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-42図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る 機器の配置を明示した図面(その42) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



原子炉建屋 O.P.6.90(m)

注：寸法はmを示す。

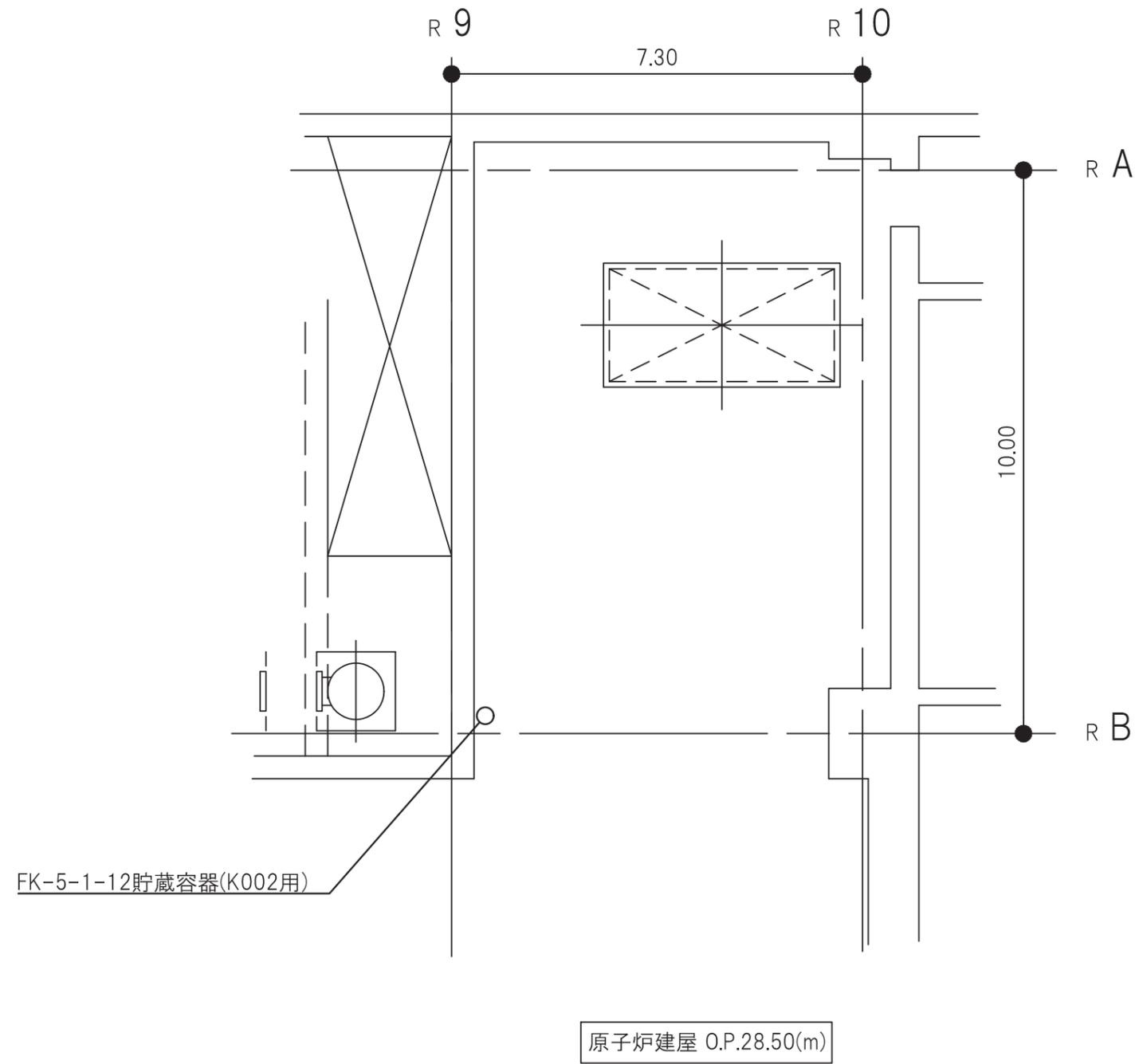
| | |
|---------------|---------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-43図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面(その43) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



原子炉建屋 O.P.6.90(m)

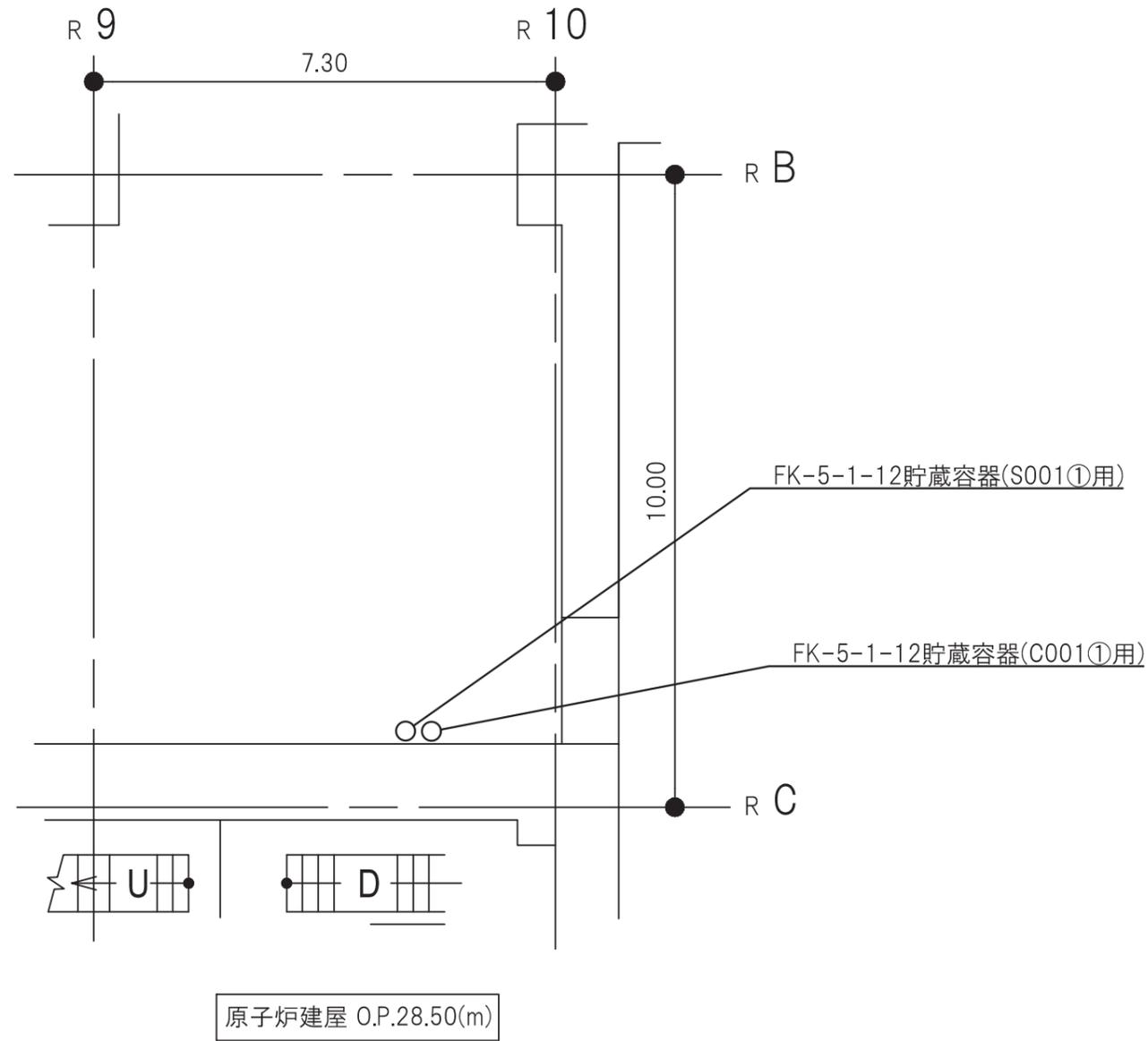
注：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|---------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-44図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面(その44) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



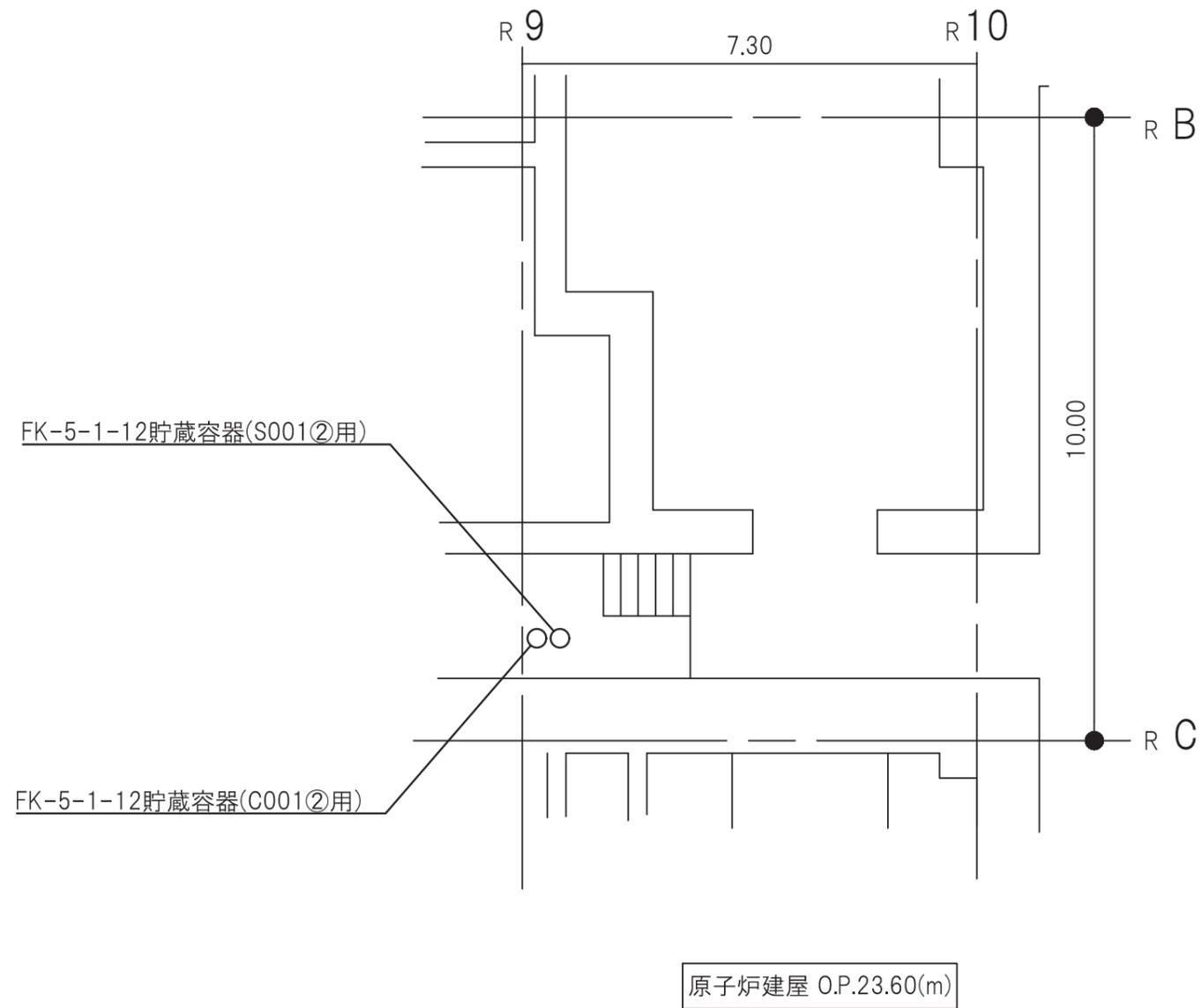
注：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|---------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-45図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面(その45) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



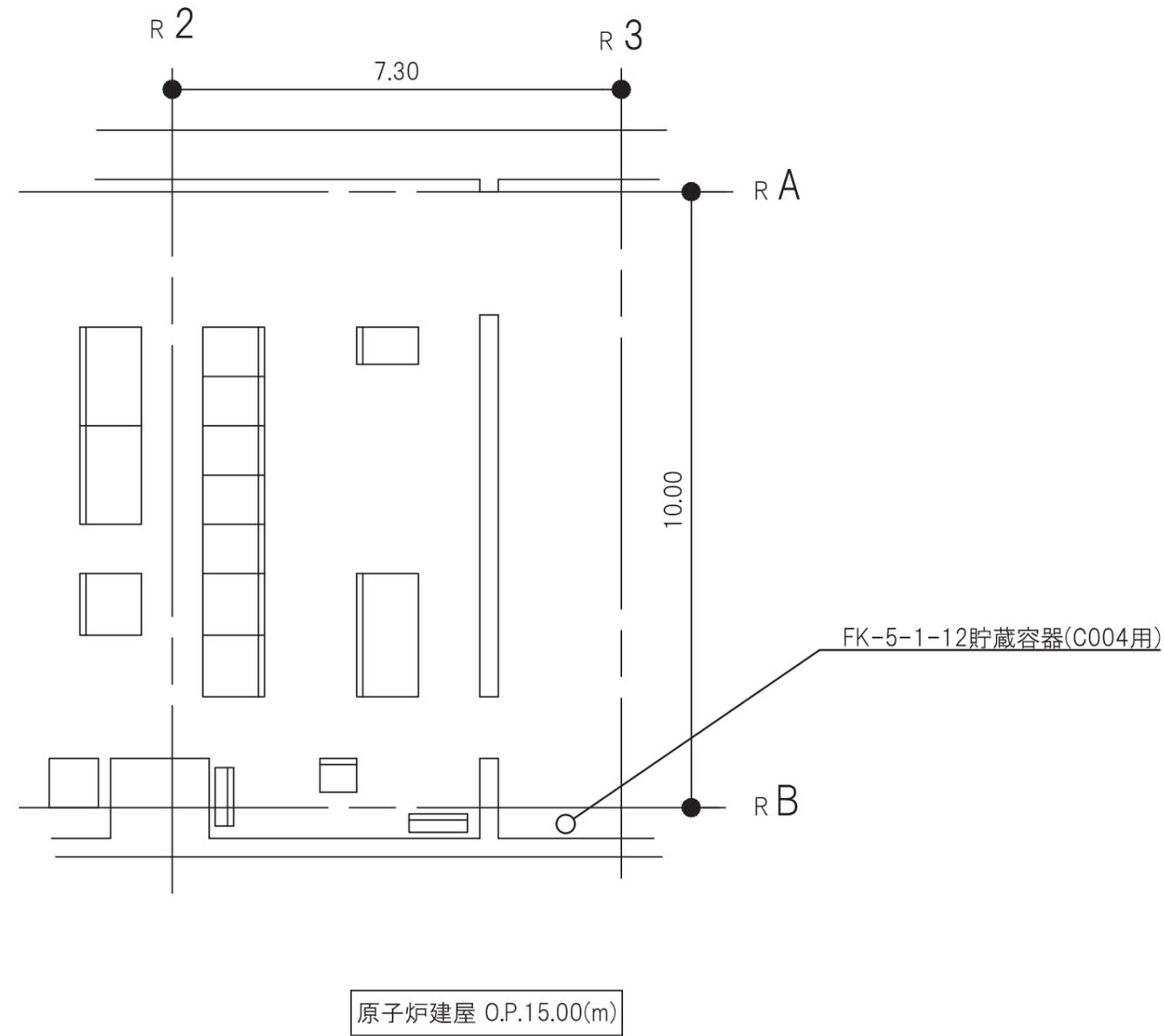
注：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|---------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-46図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面(その46) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |



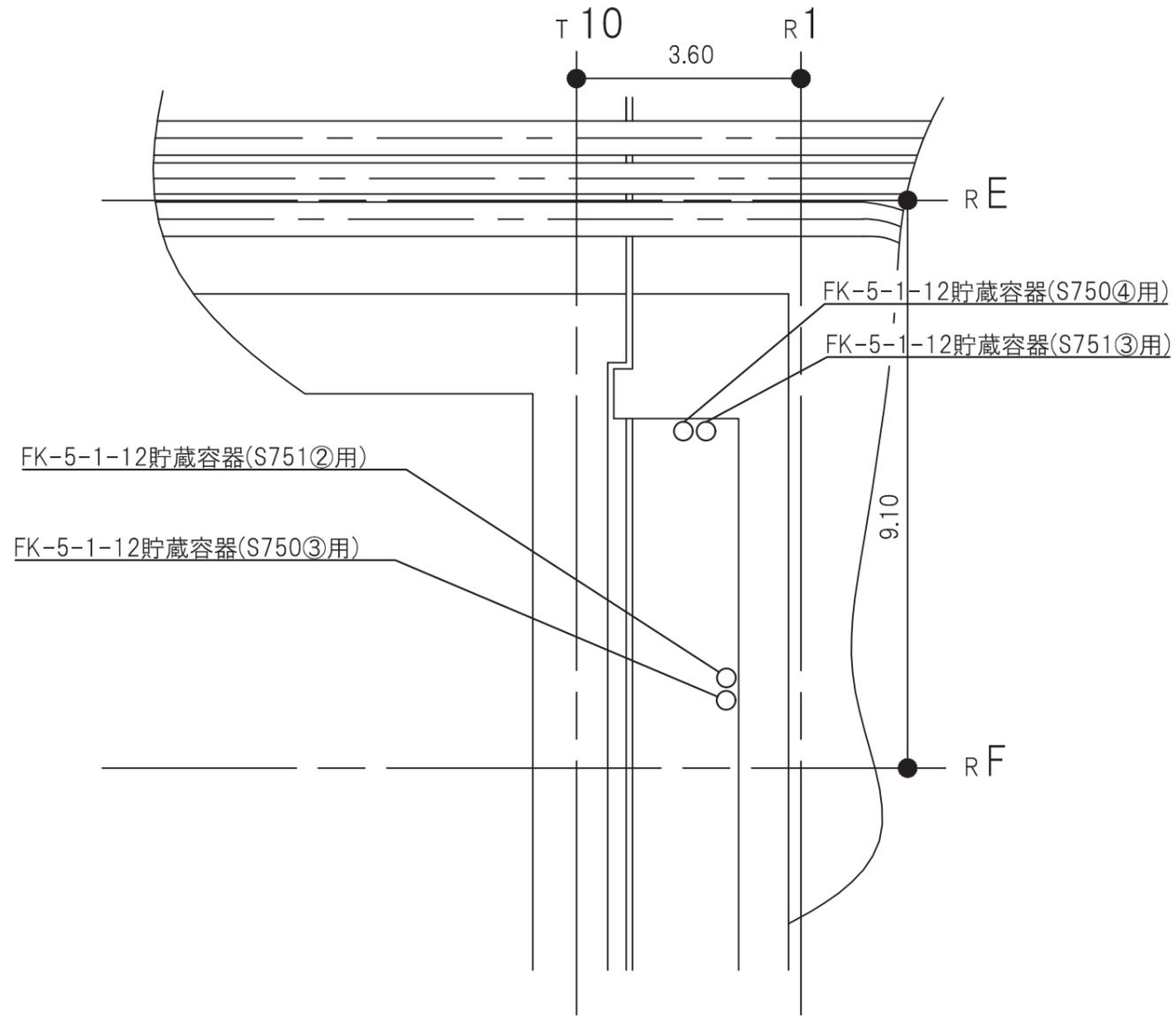
注：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|-------------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-47図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る 機器の配置を明示した図面(その47) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0930 | |



注：寸法はmを示す。

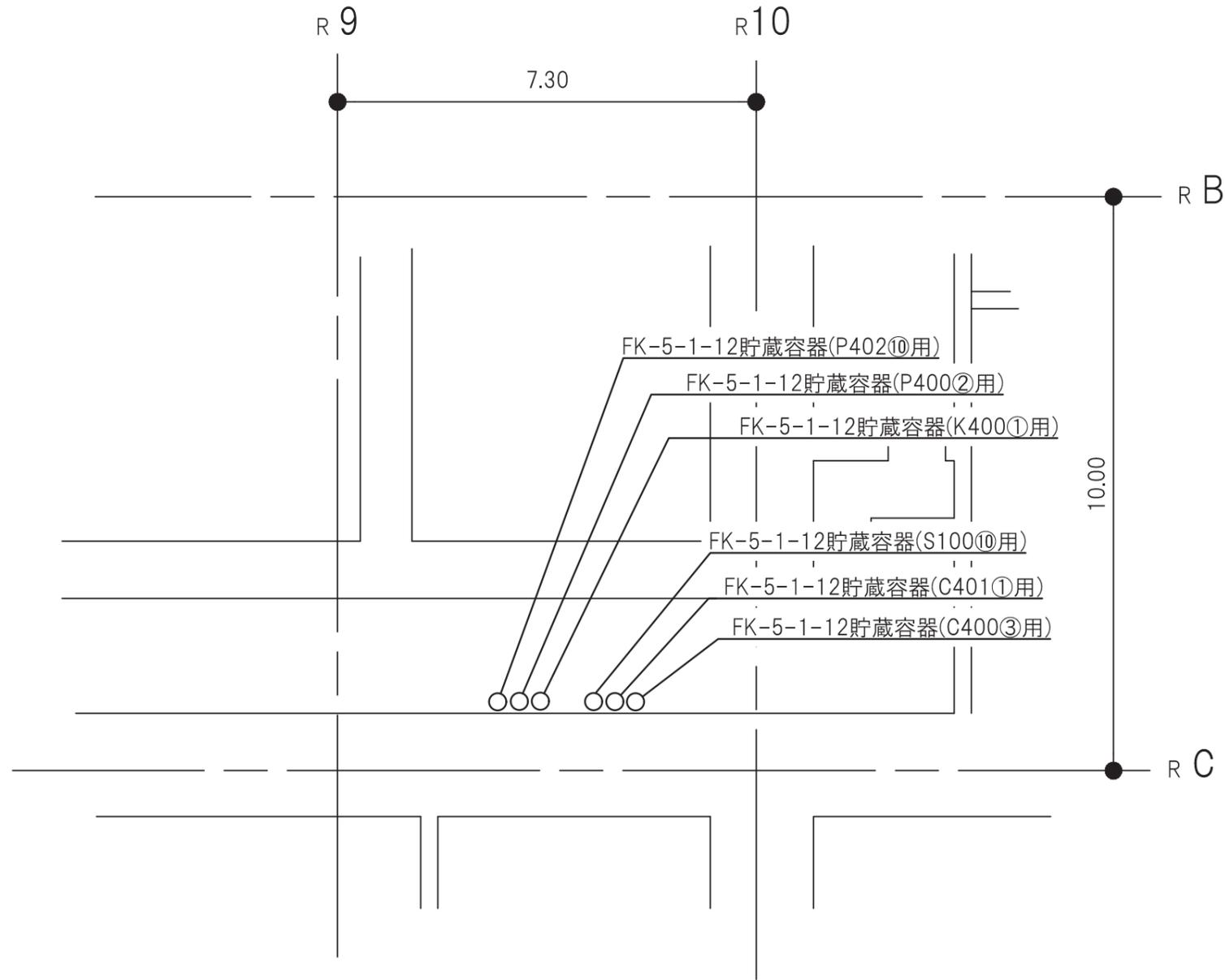
| | |
|---------------|---------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-48図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面(その48) |
| 東北電力株式会社 | |
| 1618 | |



原子炉建屋 O.P.15.00(m)

注：寸法はmを示す。

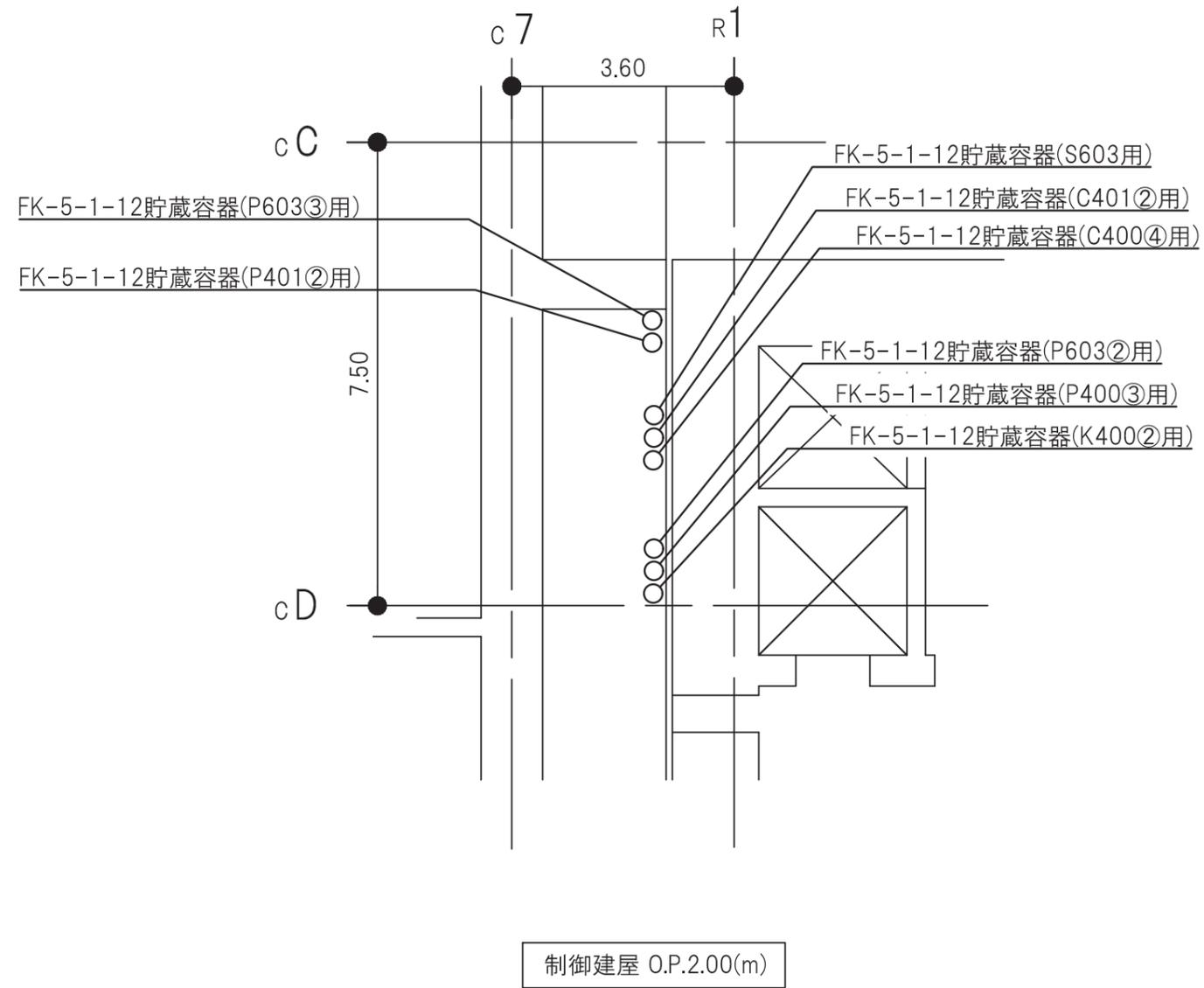
| | |
|---------------|-------------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-49図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る 機器の配置を明示した図面(その49) |
| 東北電力株式会社 | |
| 1119 | |



原子炉建屋 O.P.2.00(m)

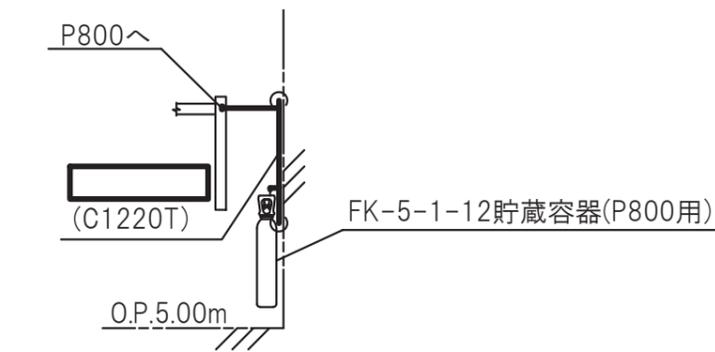
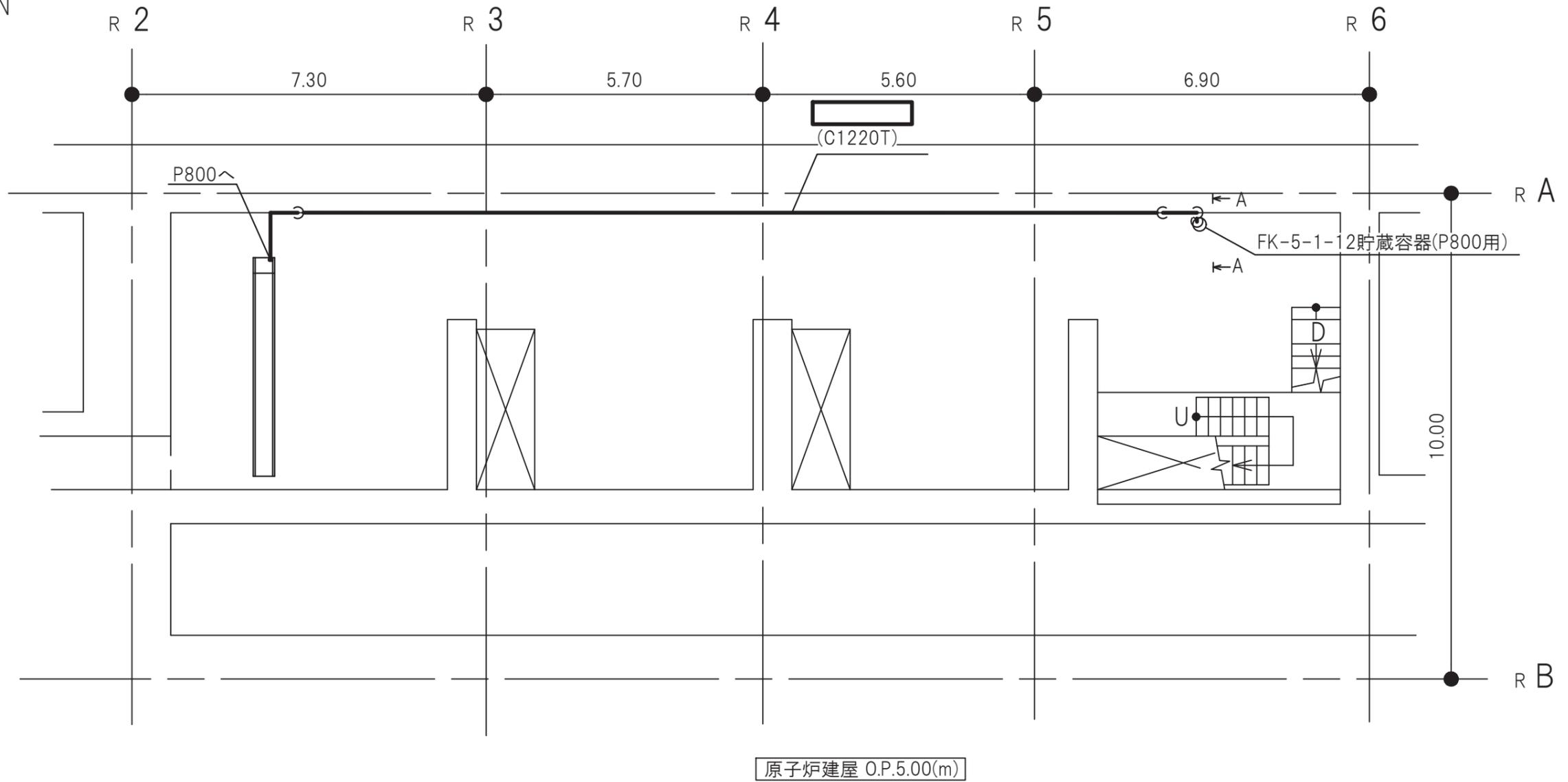
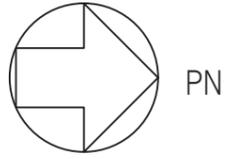
注：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|---------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-50図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る機器の配置を明示した図面(その50) |
| 東北電力株式会社 | |
| OX01 | |



注：寸法はmを示す。

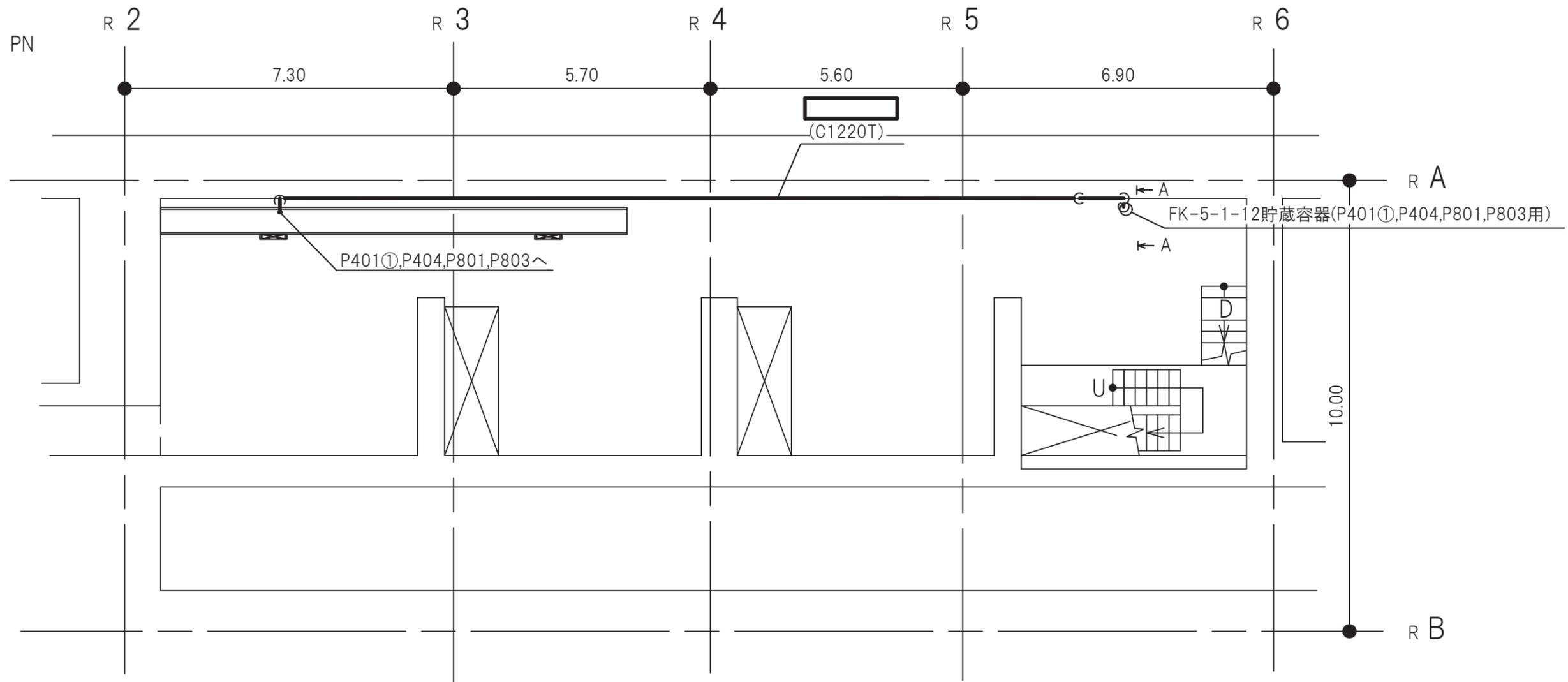
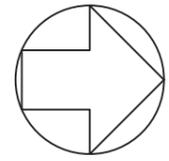
| | |
|---------------|-------------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-3-51図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る 機器の配置を明示した図面(その51) |
| 東北電力株式会社 | |
| OX01 | |



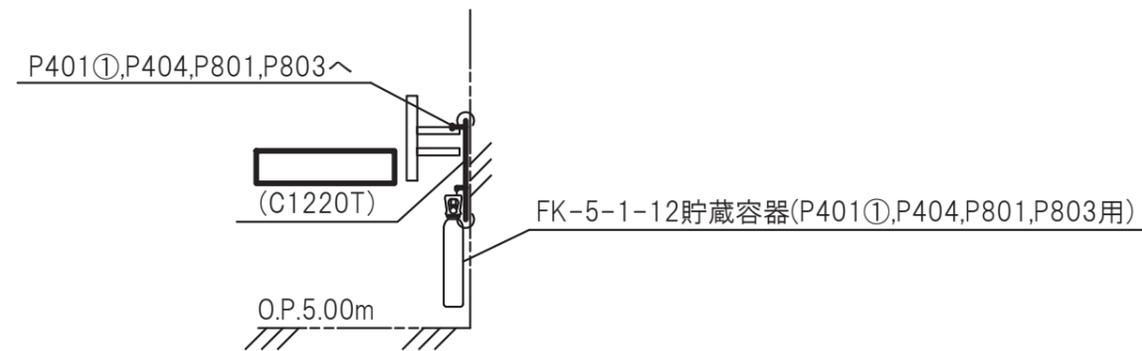
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-1図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P800用) |
| 東北電力株式会社 | |



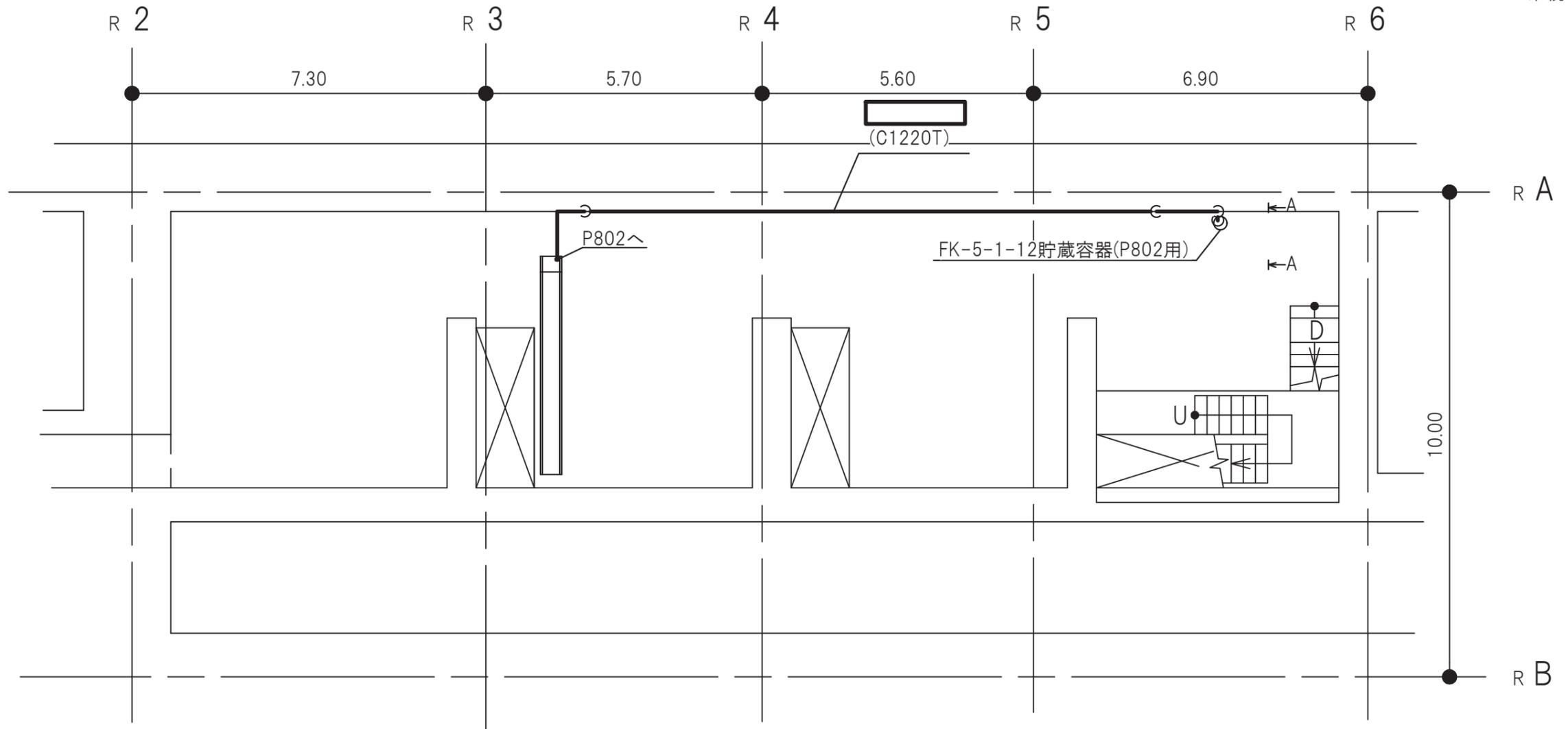
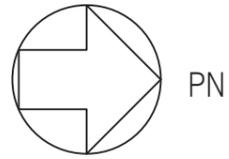
原子炉建屋 O.P.5.00(m)



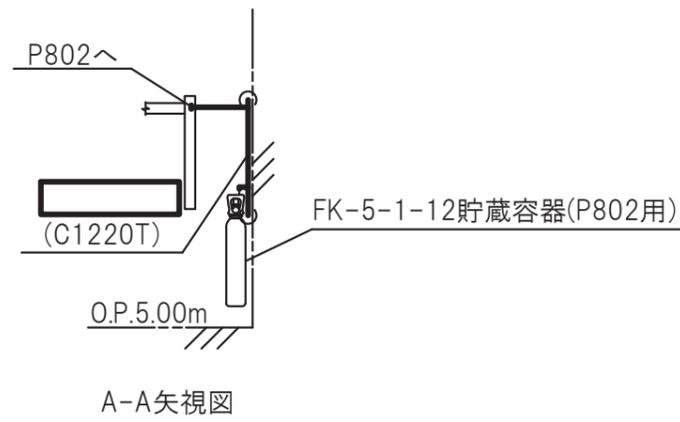
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-2図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P401①, P404, P801, P803用) |
| 東北電力株式会社 | |

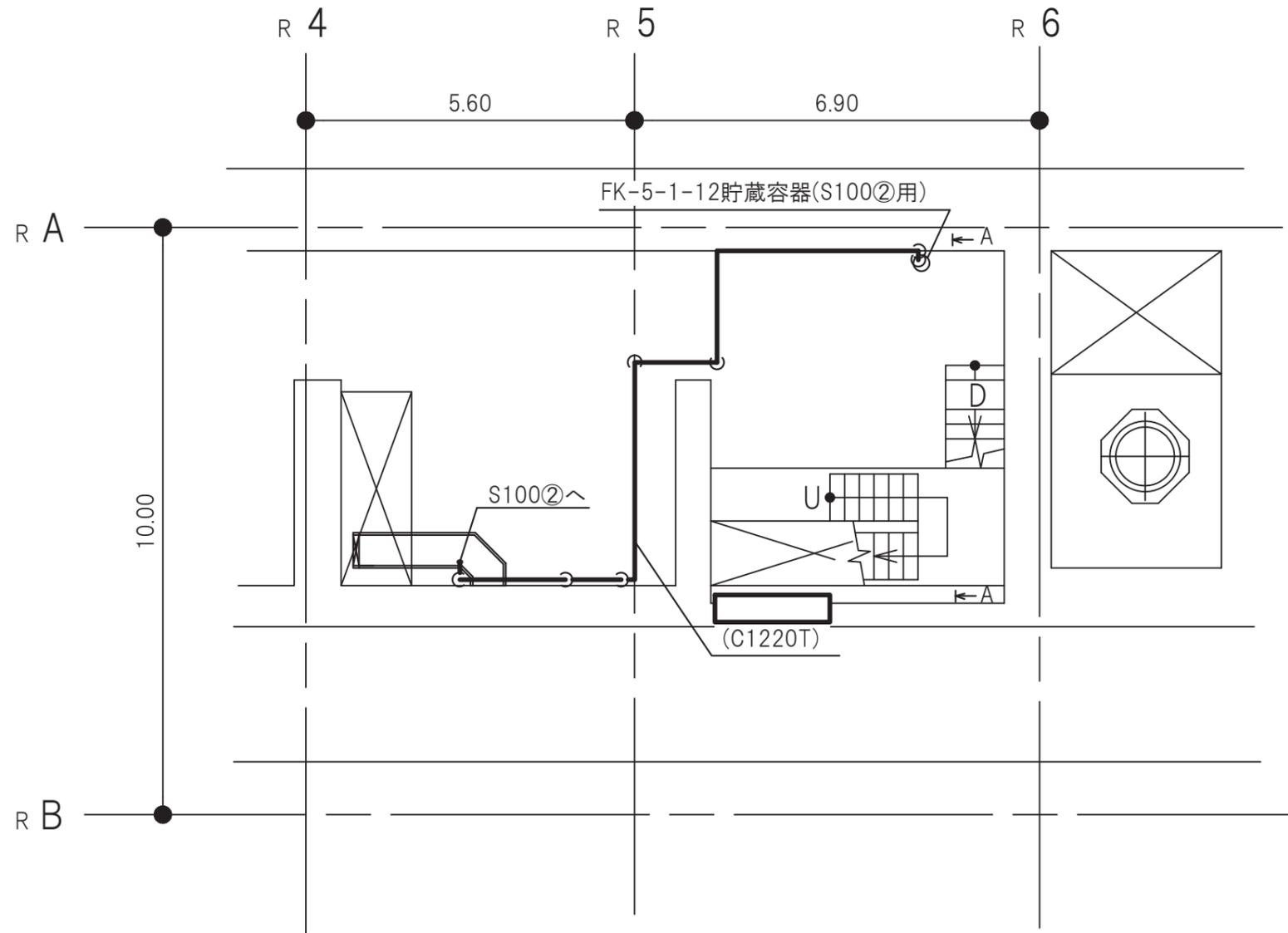


原子炉建屋 O.P.5.00(m)

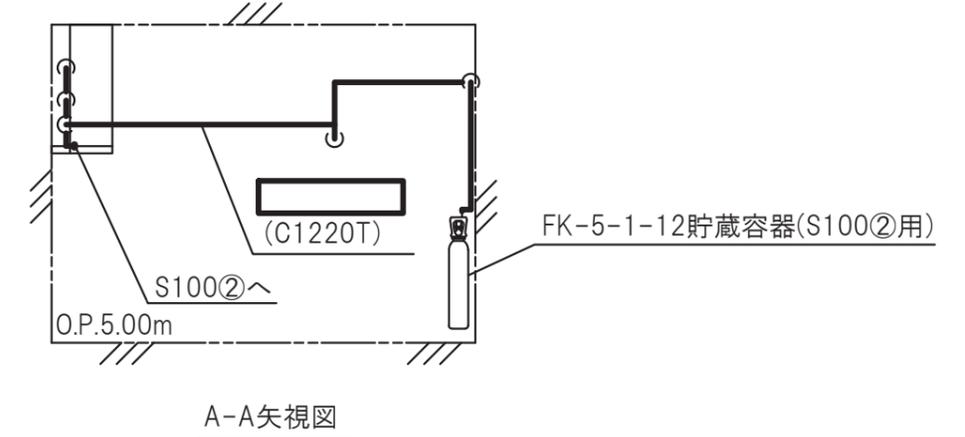


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-3図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P802用) |
| 東北電力株式会社 | |



原子炉建屋 O.P.5.00(m)



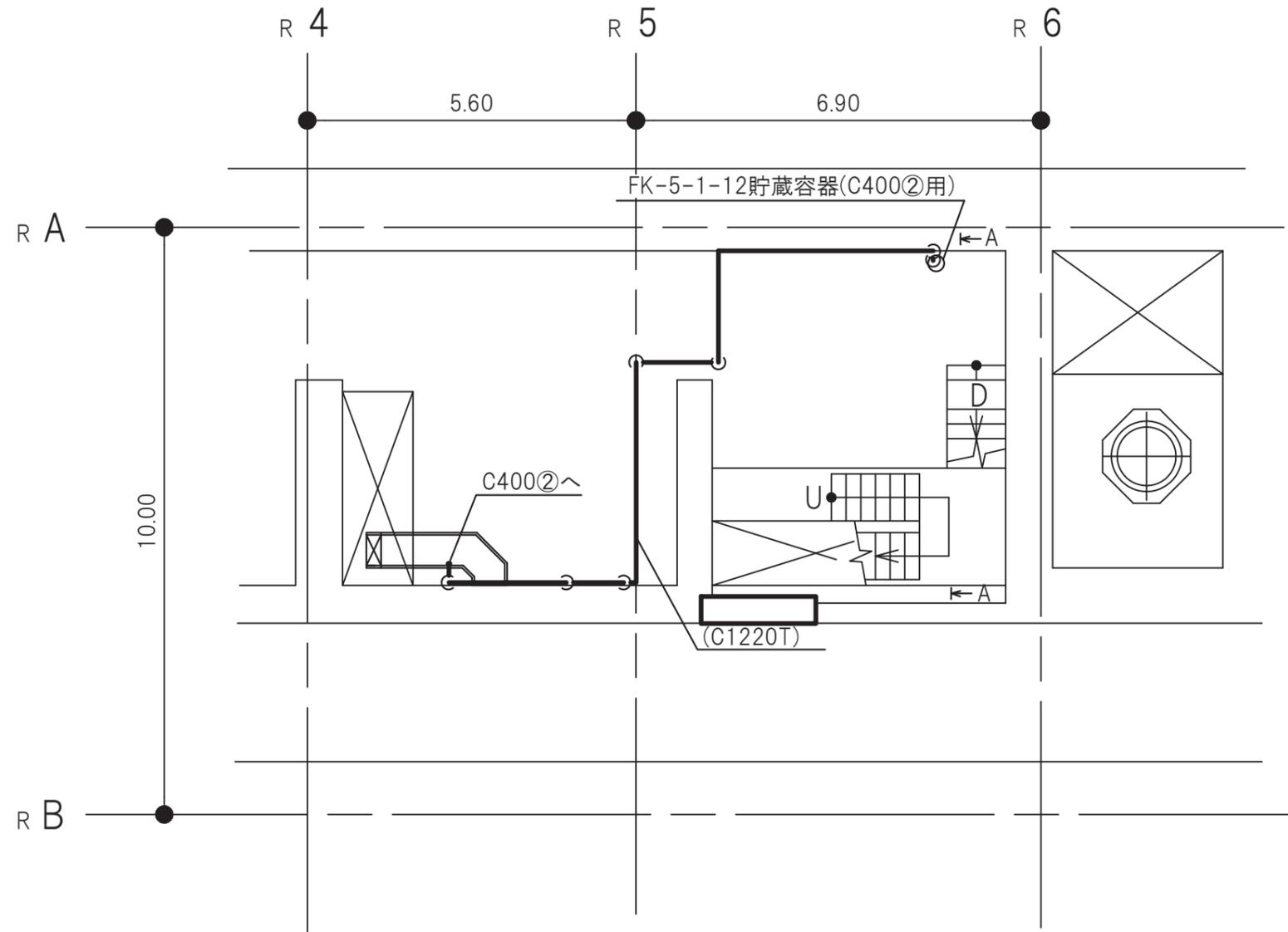
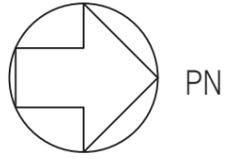
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

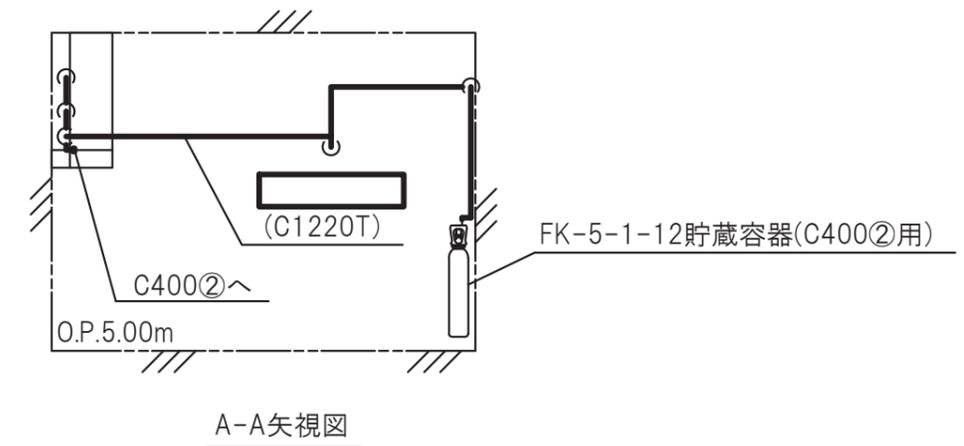
| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-4図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S100②用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



原子炉建屋 O.P.5.00(m)



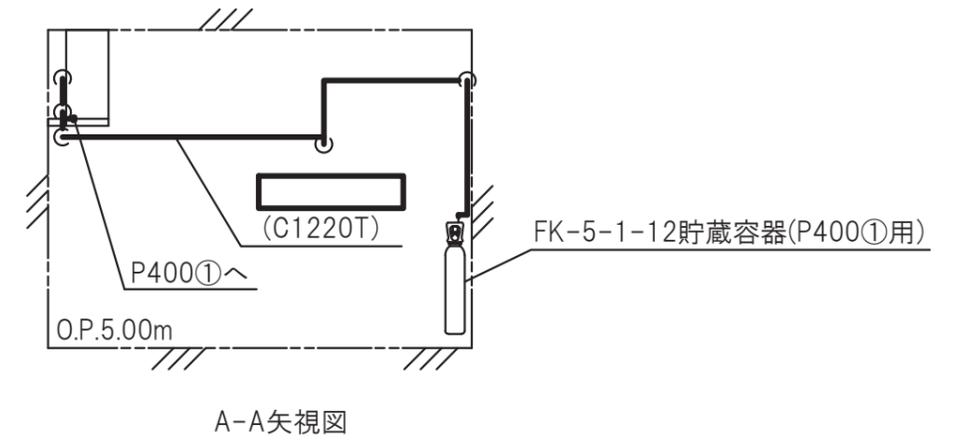
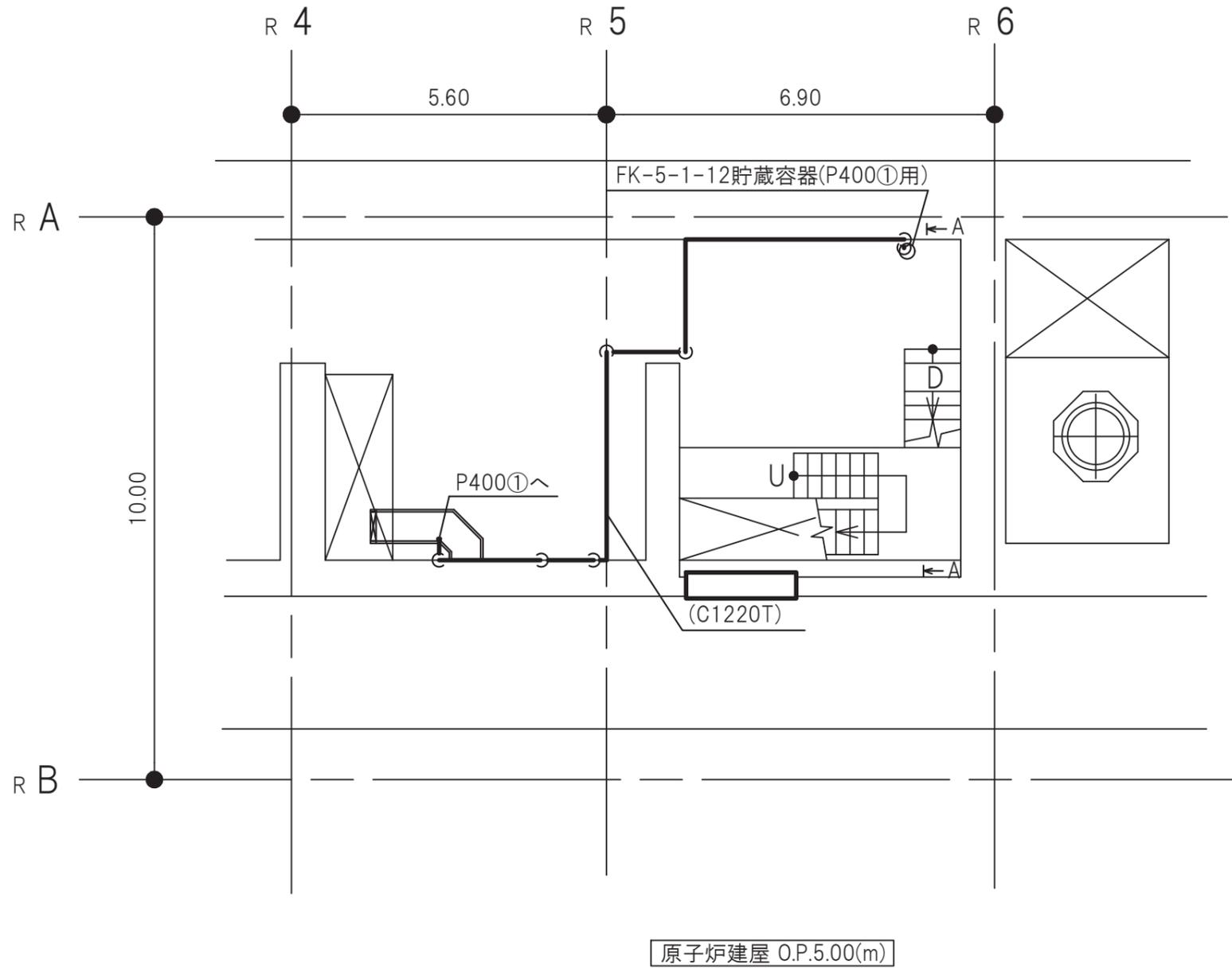
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-5図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C400②用) |
| 東北電力株式会社 | |

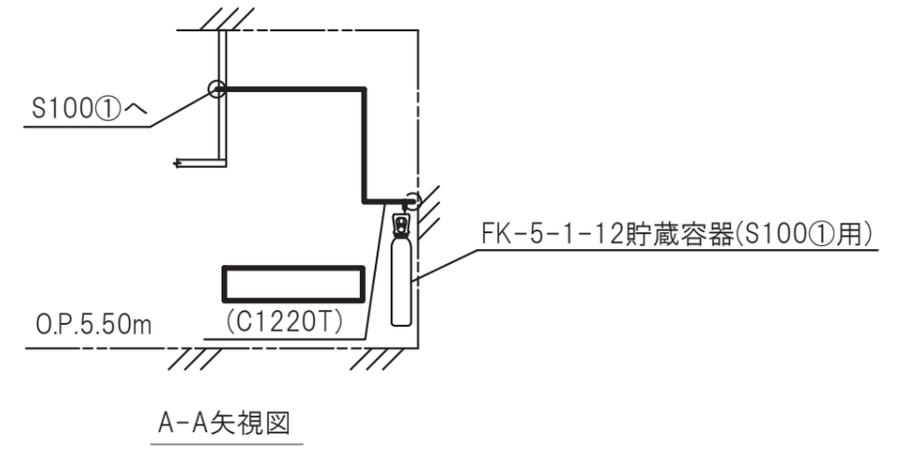
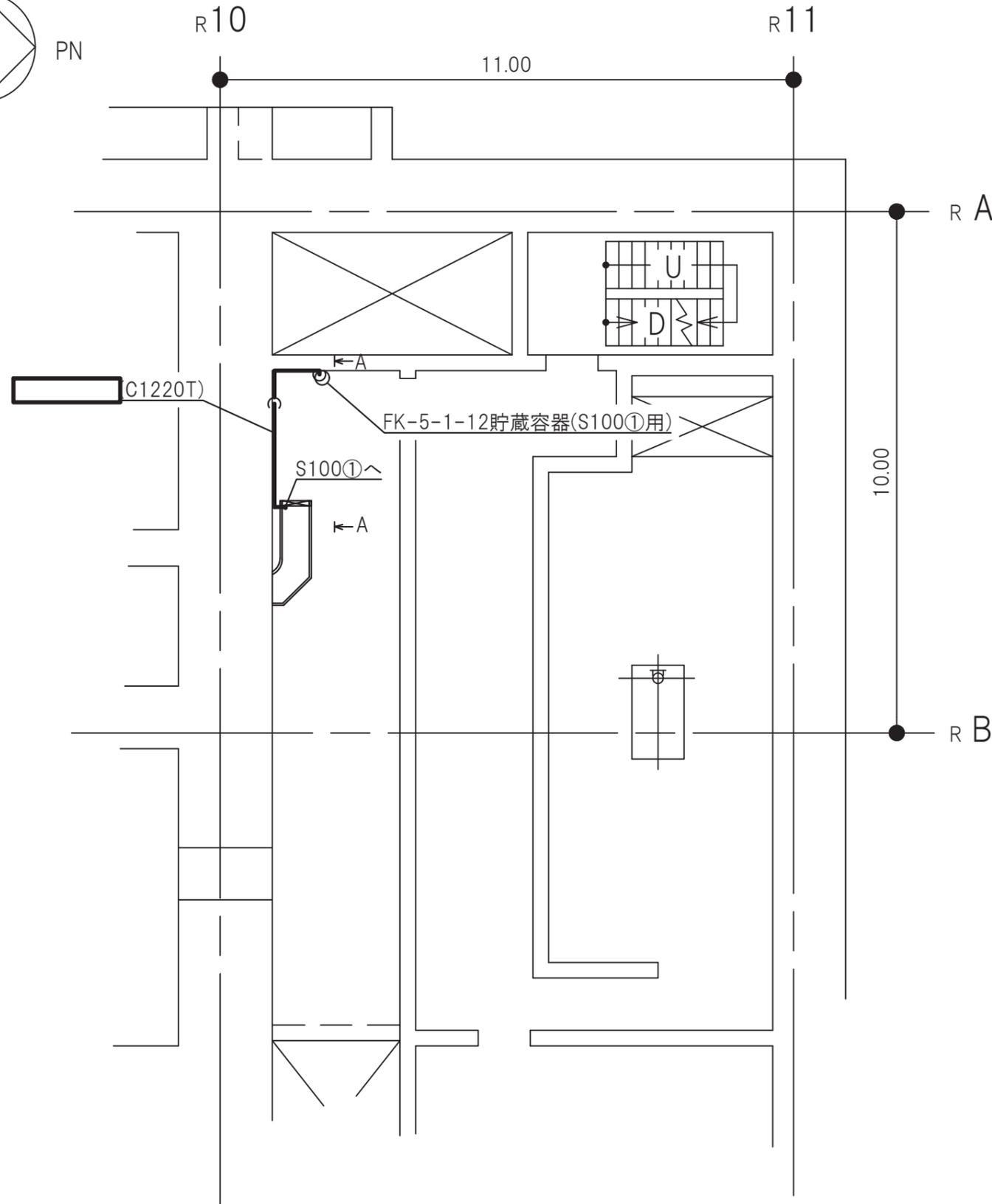
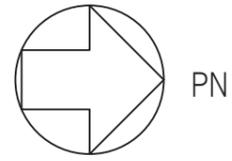
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-6図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P400①用) |
| 東北電力株式会社 | |



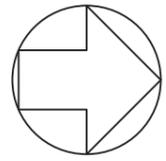
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

原子炉建屋

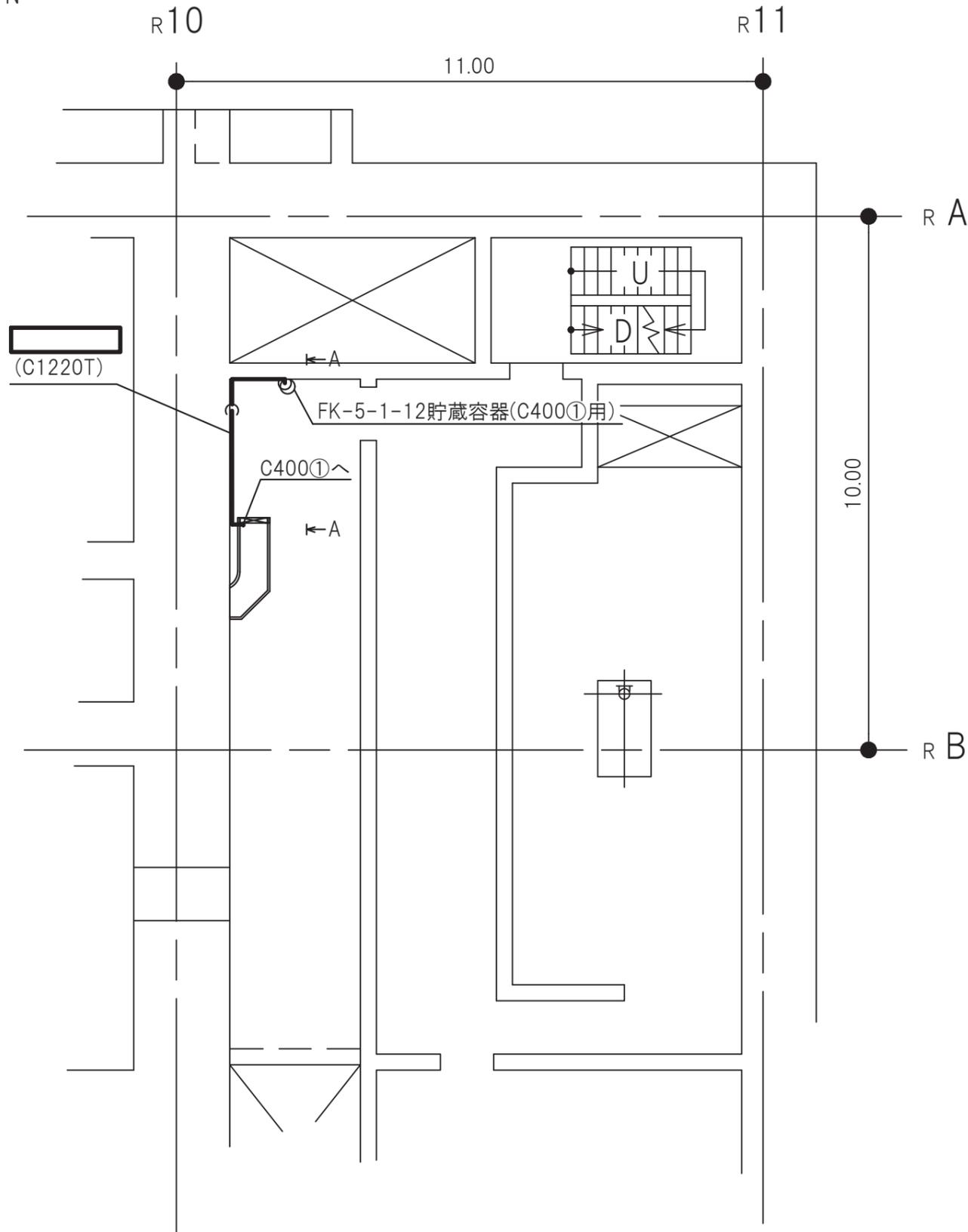
| | |
|---------------|------------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-7図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S100①用) |
| 東北電力株式会社 | |

0420

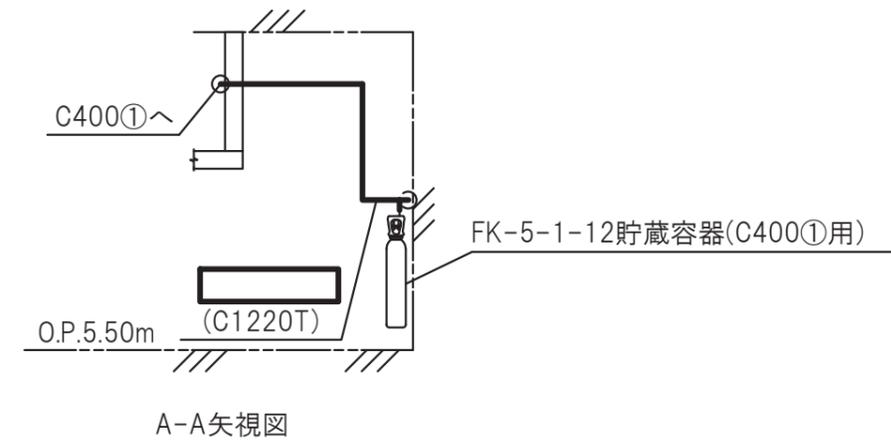
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



PN



原子炉建屋 O.P.5.50(m)



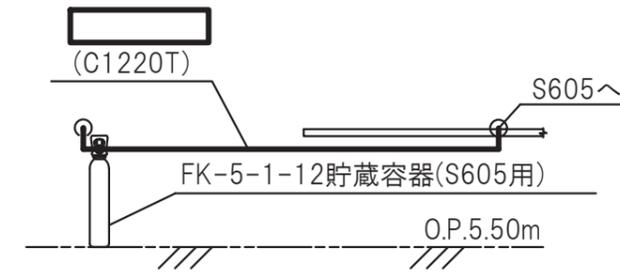
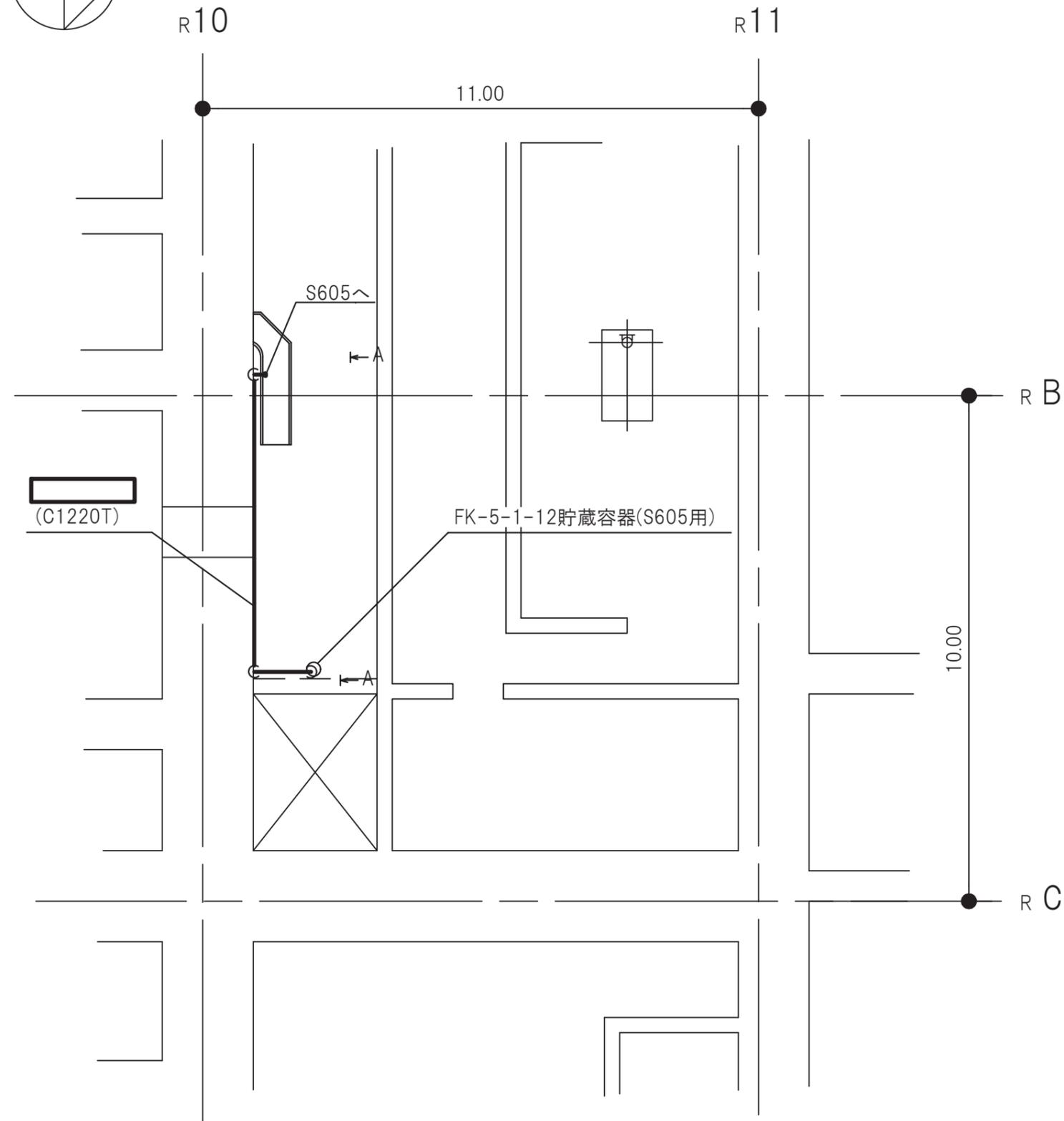
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-8図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C400①用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

原子炉建屋 O.P.5.50(m)

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-9図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S605用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



R10

R11

11.00

C608へ

←A

(C1220T)

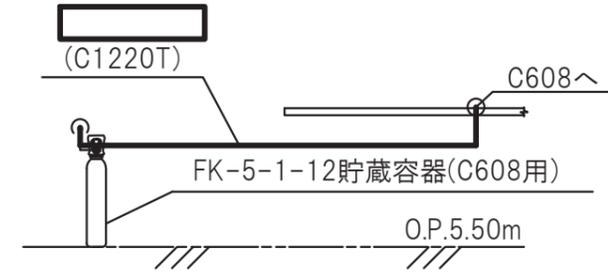
FK-5-1-12貯蔵容器(C608用)

R B

10.00

R C

原子炉建屋 O.P.5.50(m)



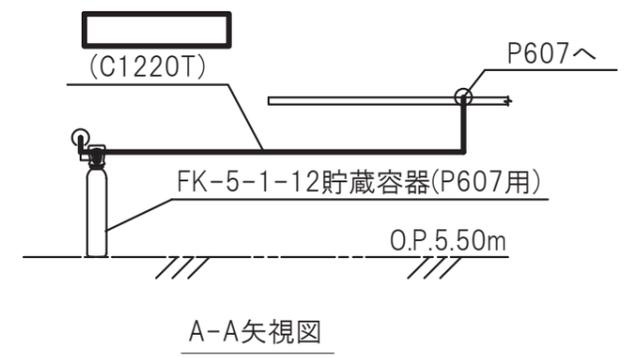
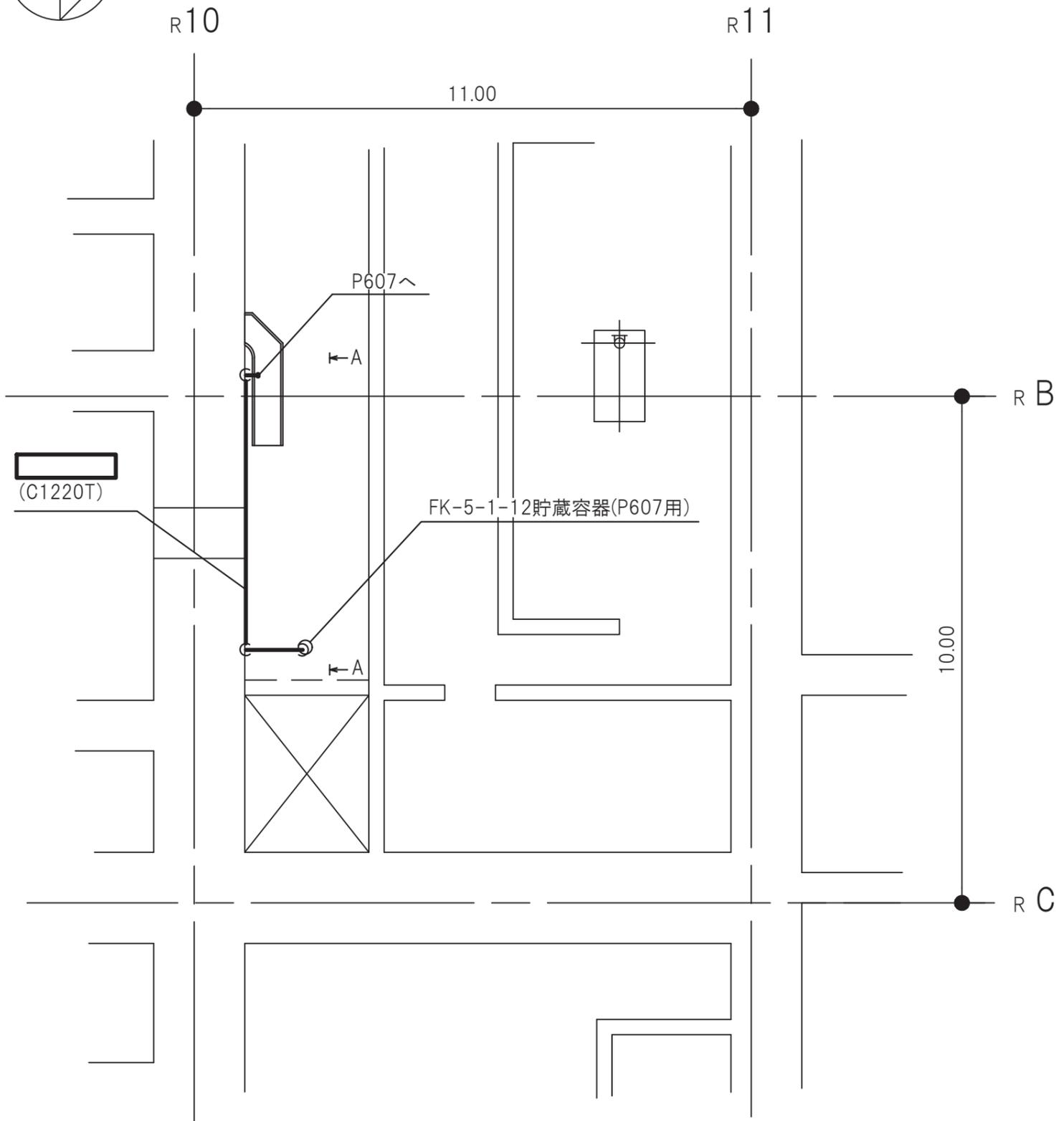
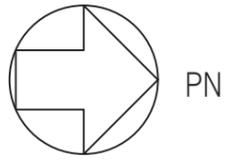
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

原子炉建屋

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-10図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C608用) |
| 東北電力株式会社 | |

0420



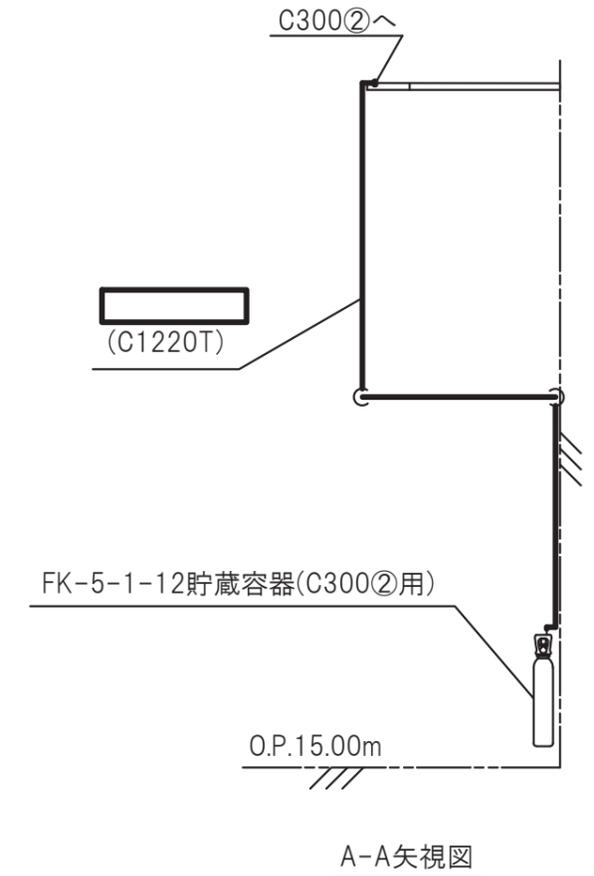
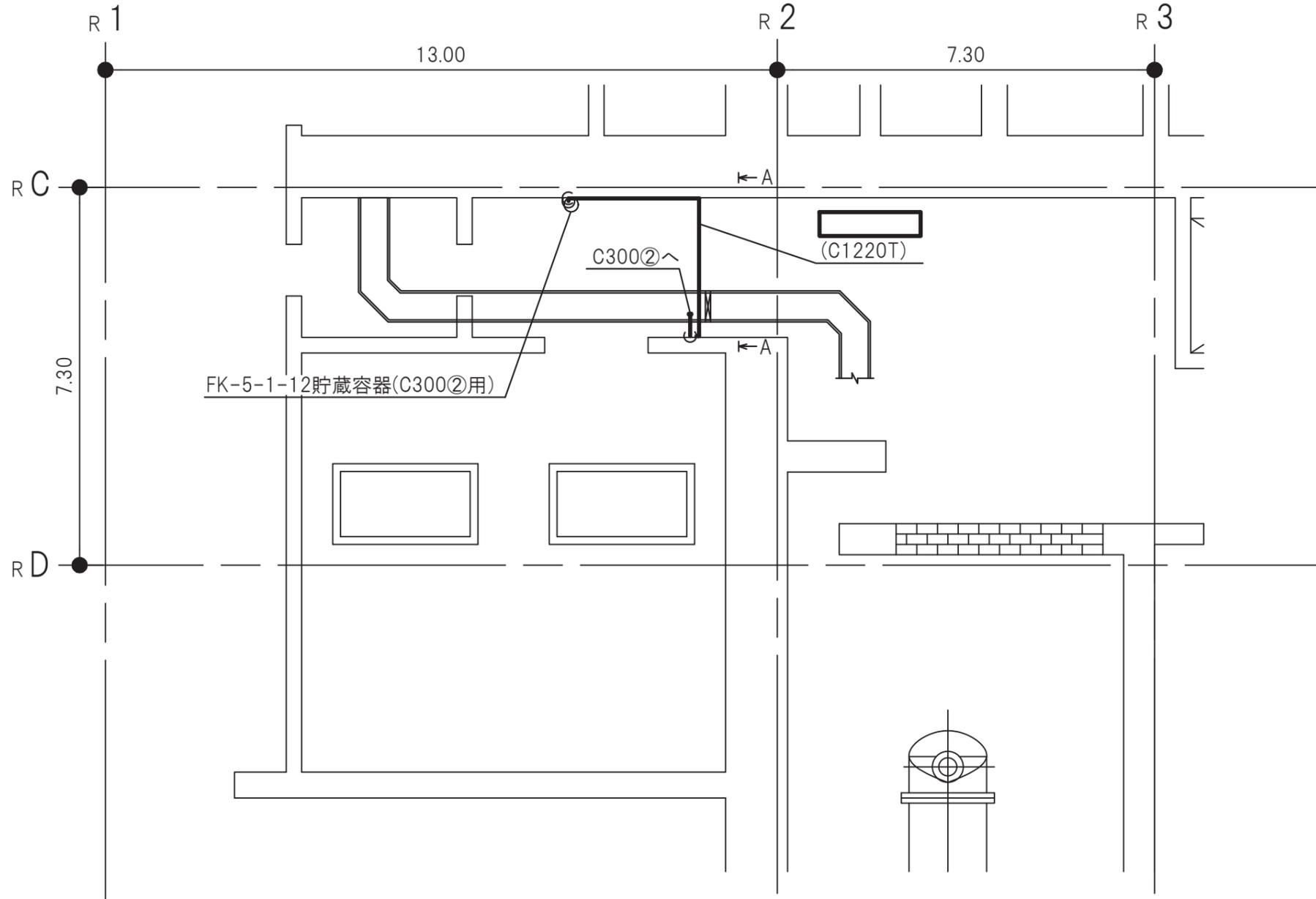
原子炉建屋 O.P.5.50(m)

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-11図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P607用) |
| 東北電力株式会社 | |

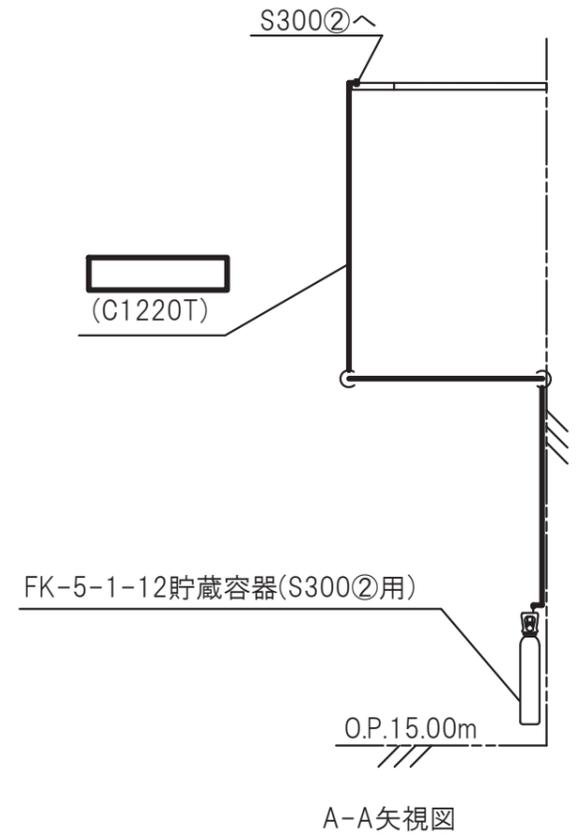
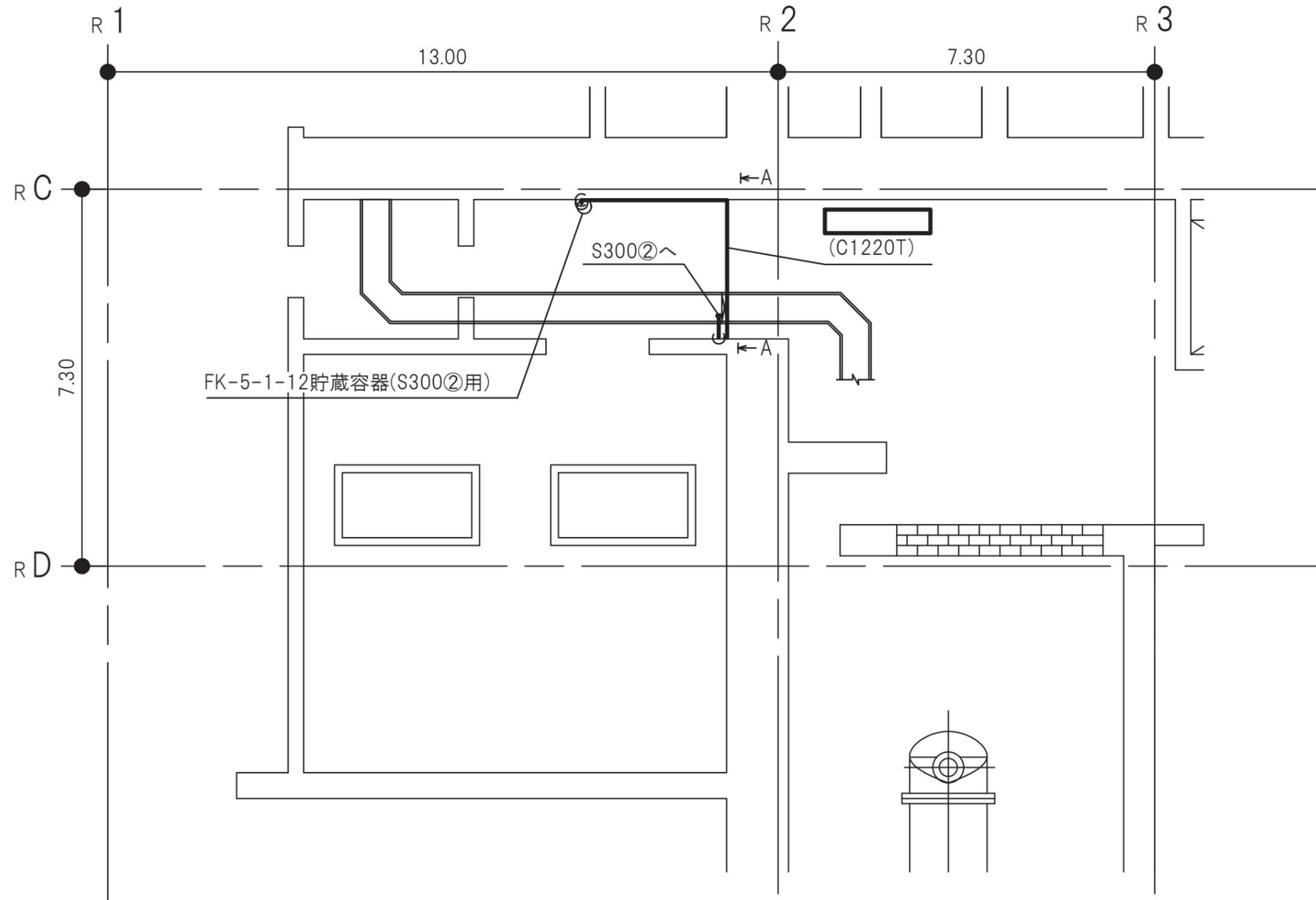
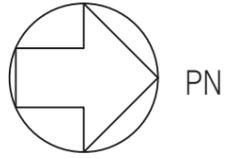
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-12図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C300②用) |
| 東北電力株式会社 | |



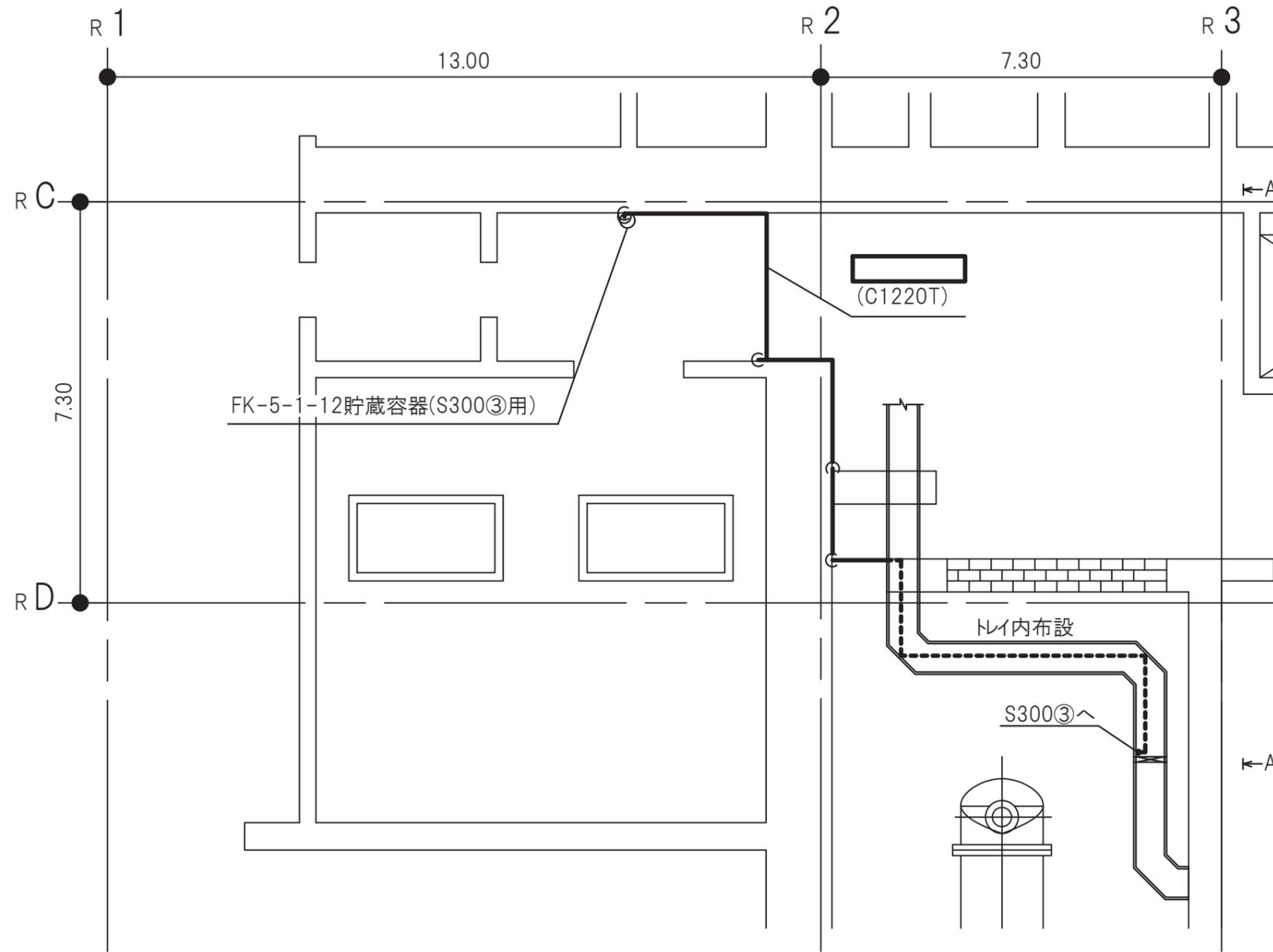
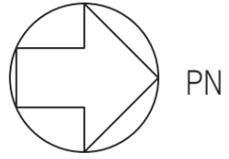
原子炉建屋 O.P.15.00(m)

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

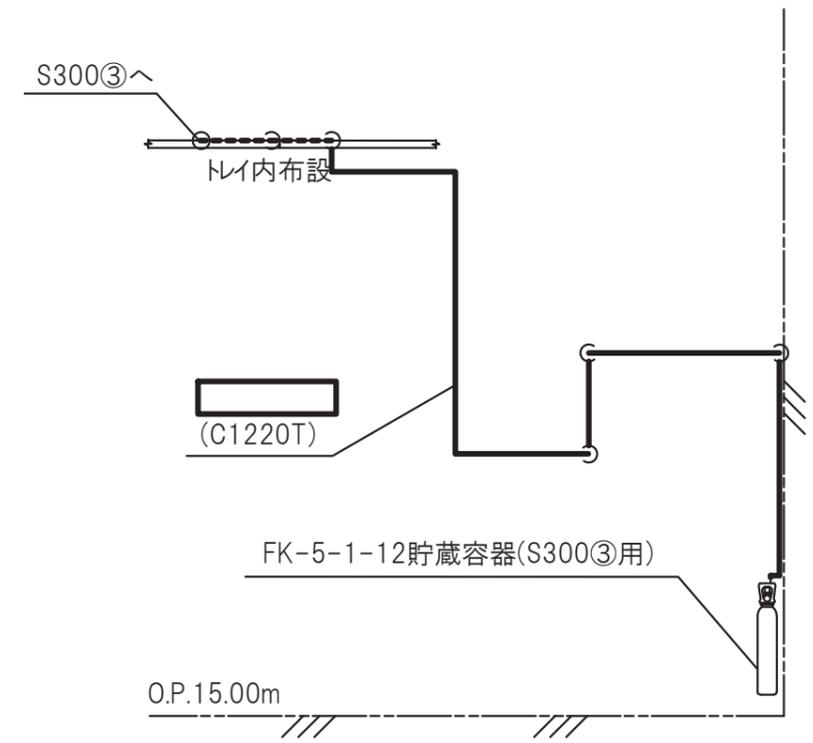
| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-13図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S300②用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



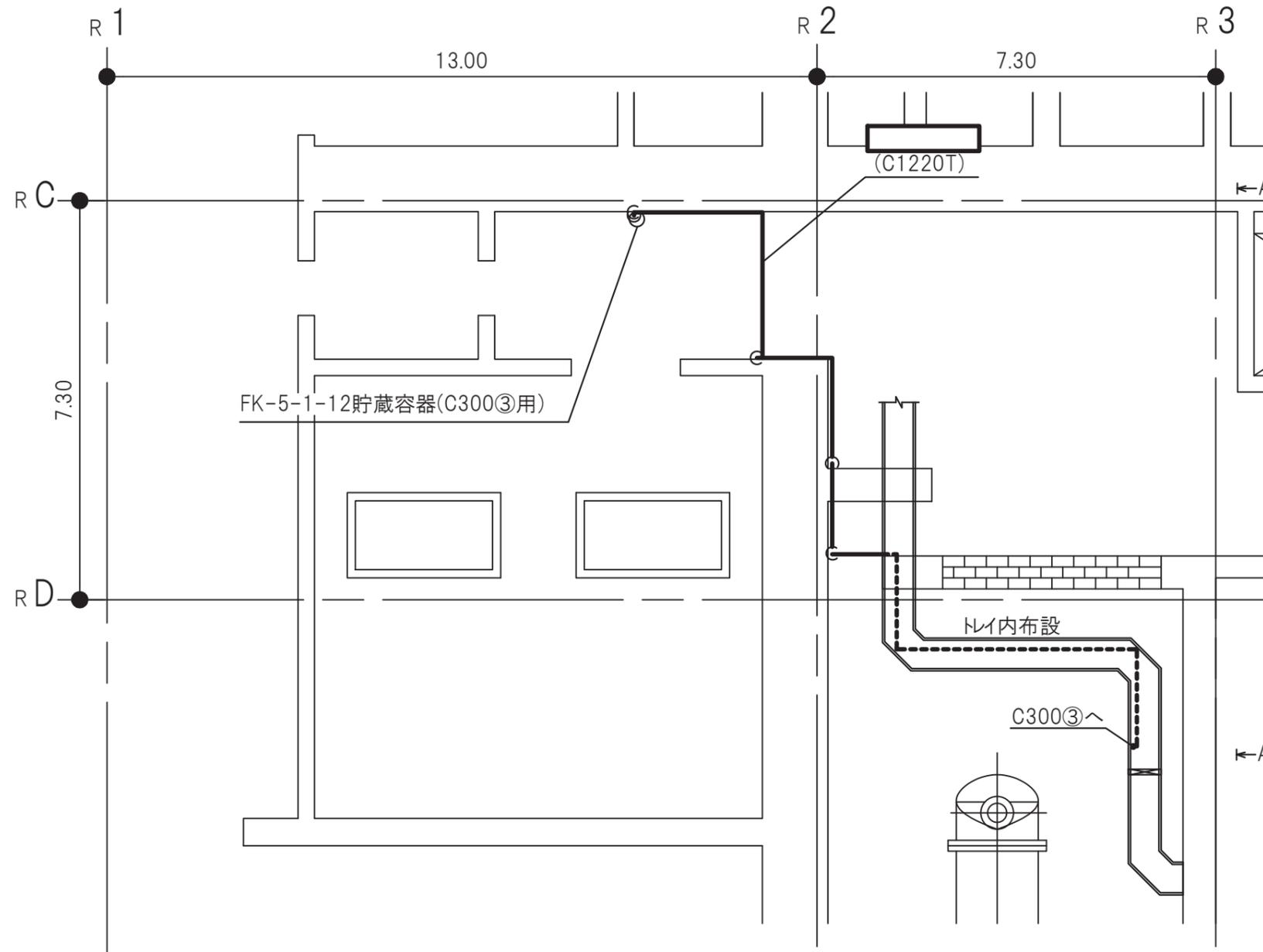
原子炉建屋 O.P.15.00(m)



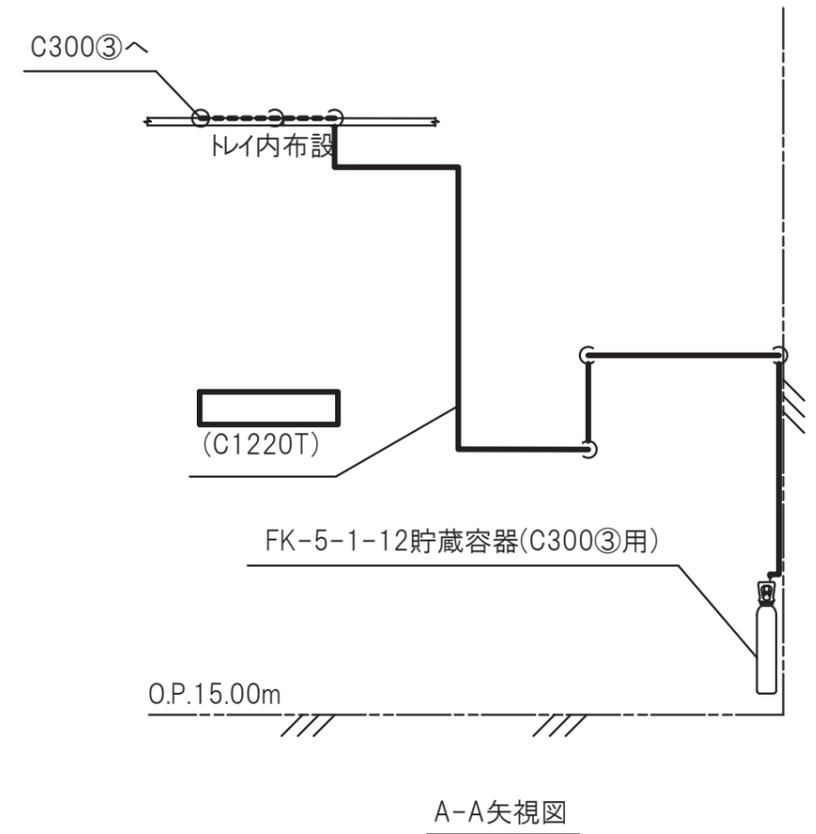
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-14図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S300③用) |
| 東北電力株式会社 | |



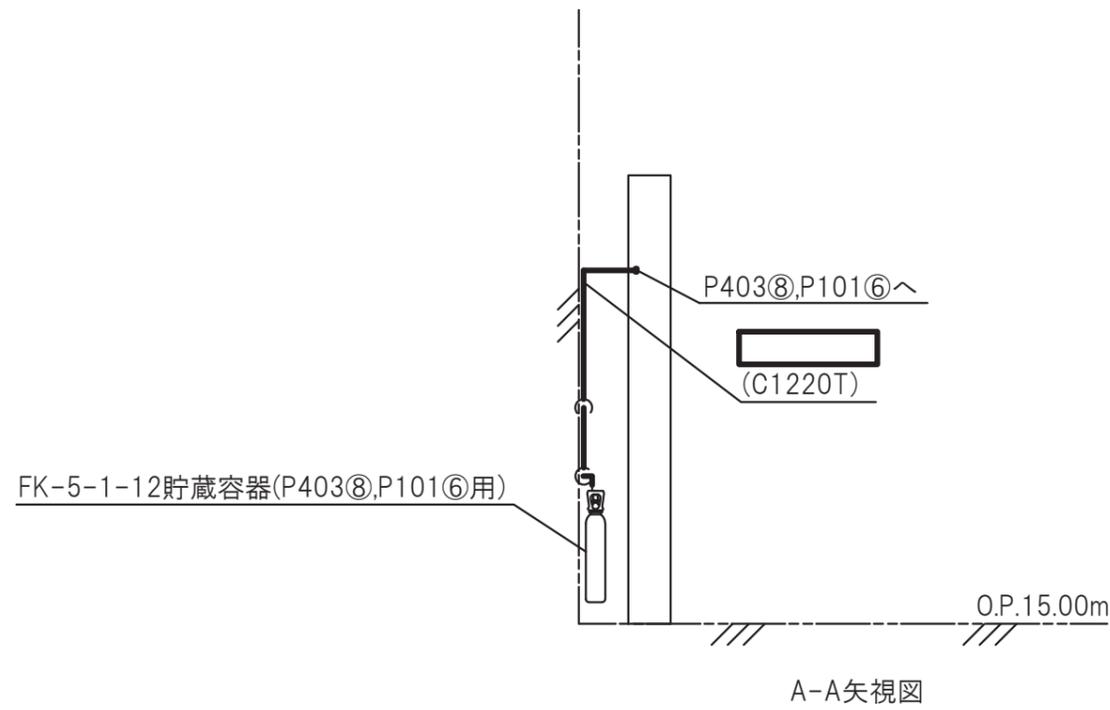
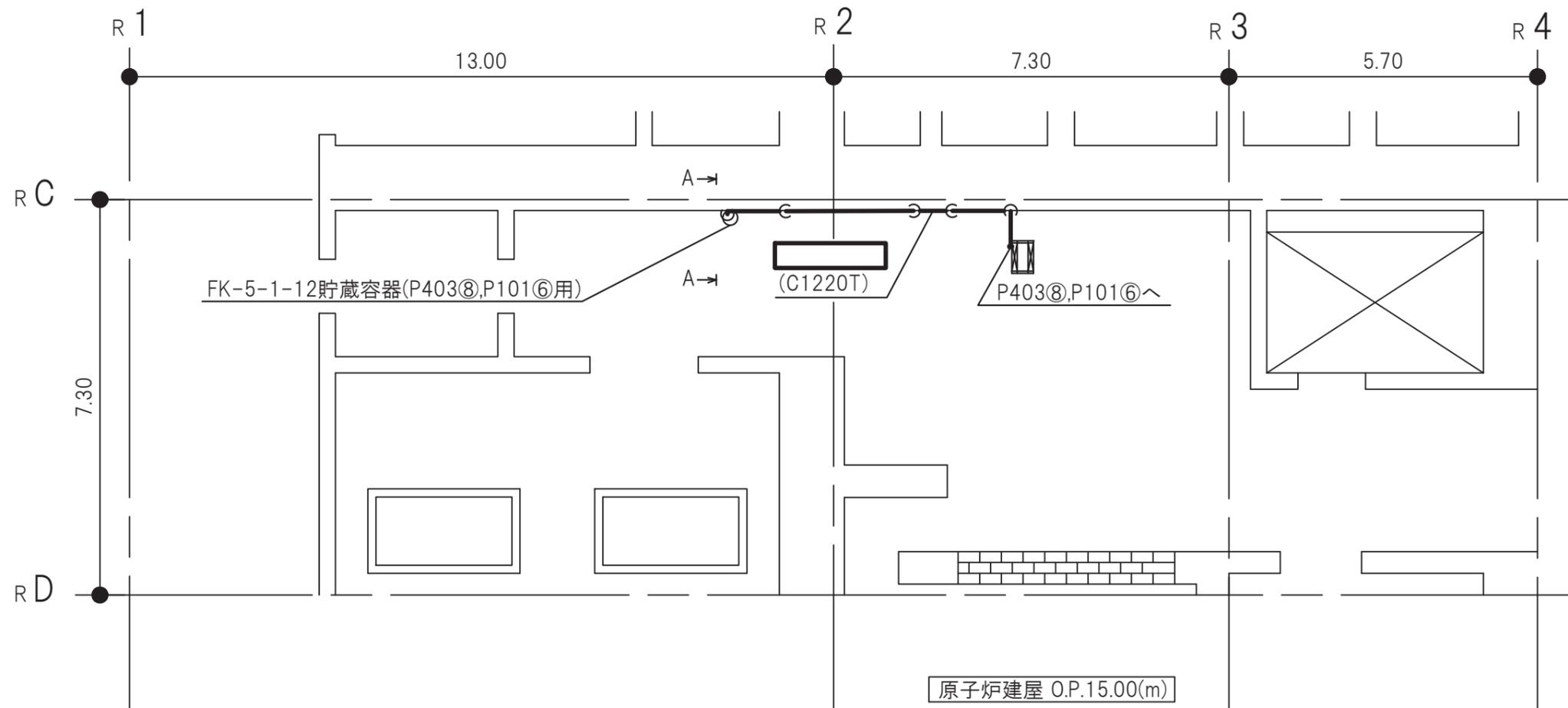
原子炉建屋 O.P.15.00(m)



A-A矢視図

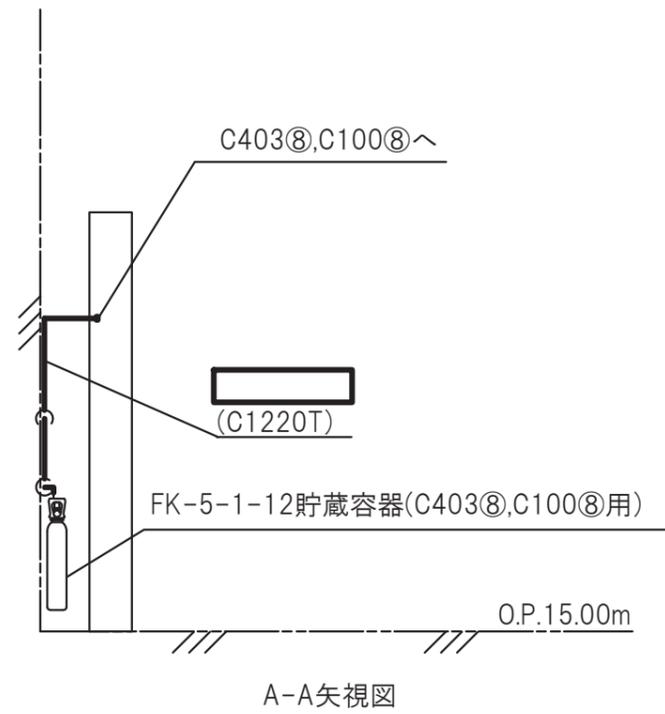
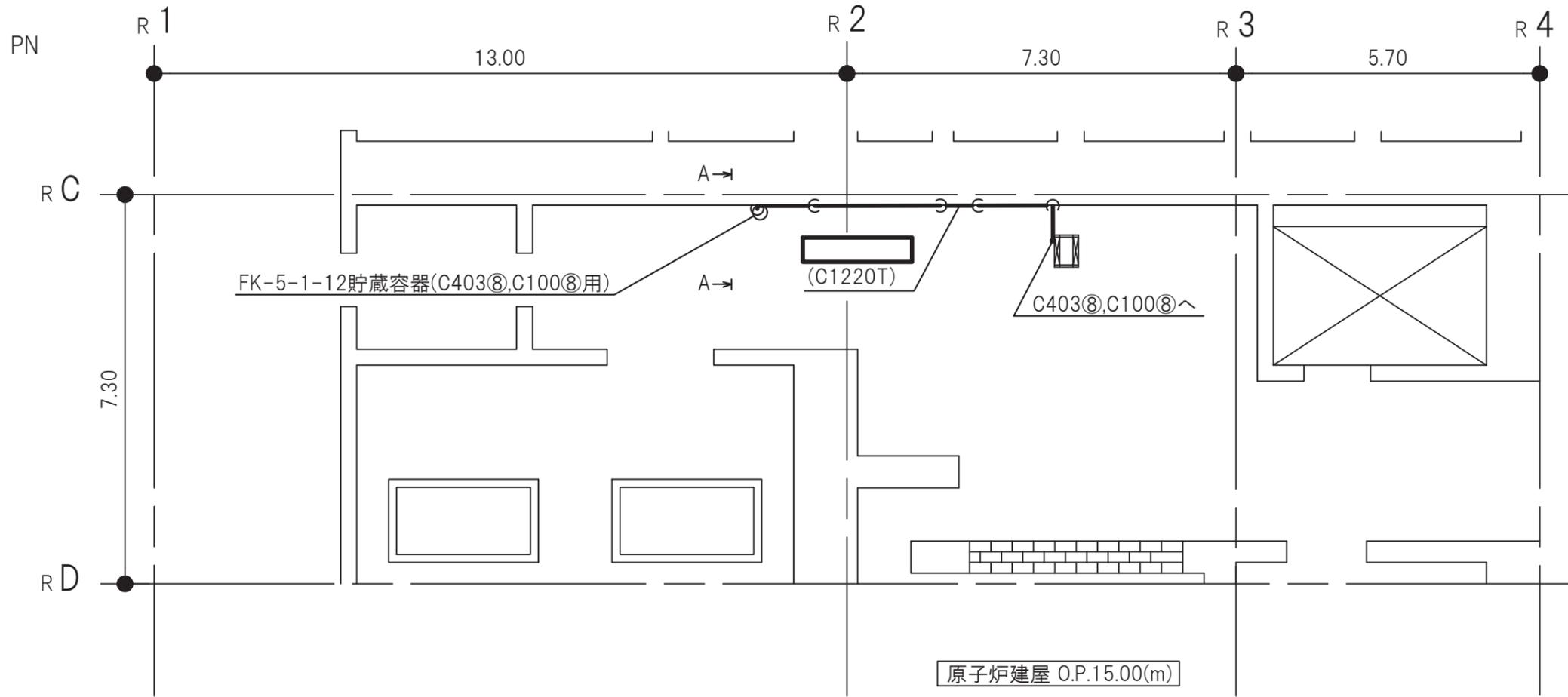
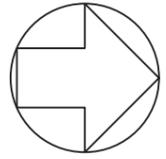
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-15図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C300③用) |
| 東北電力株式会社 | |



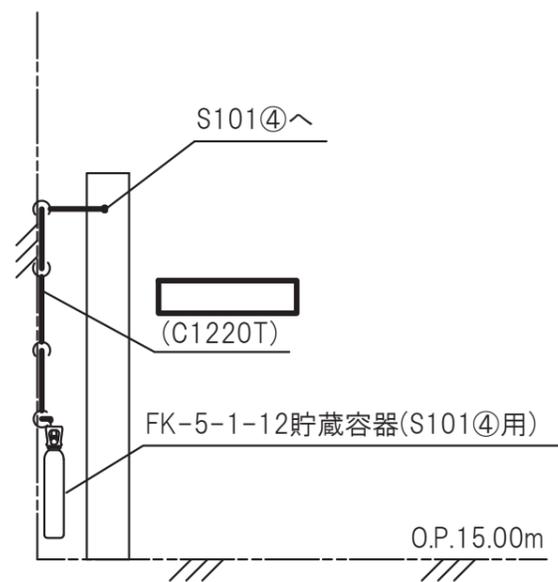
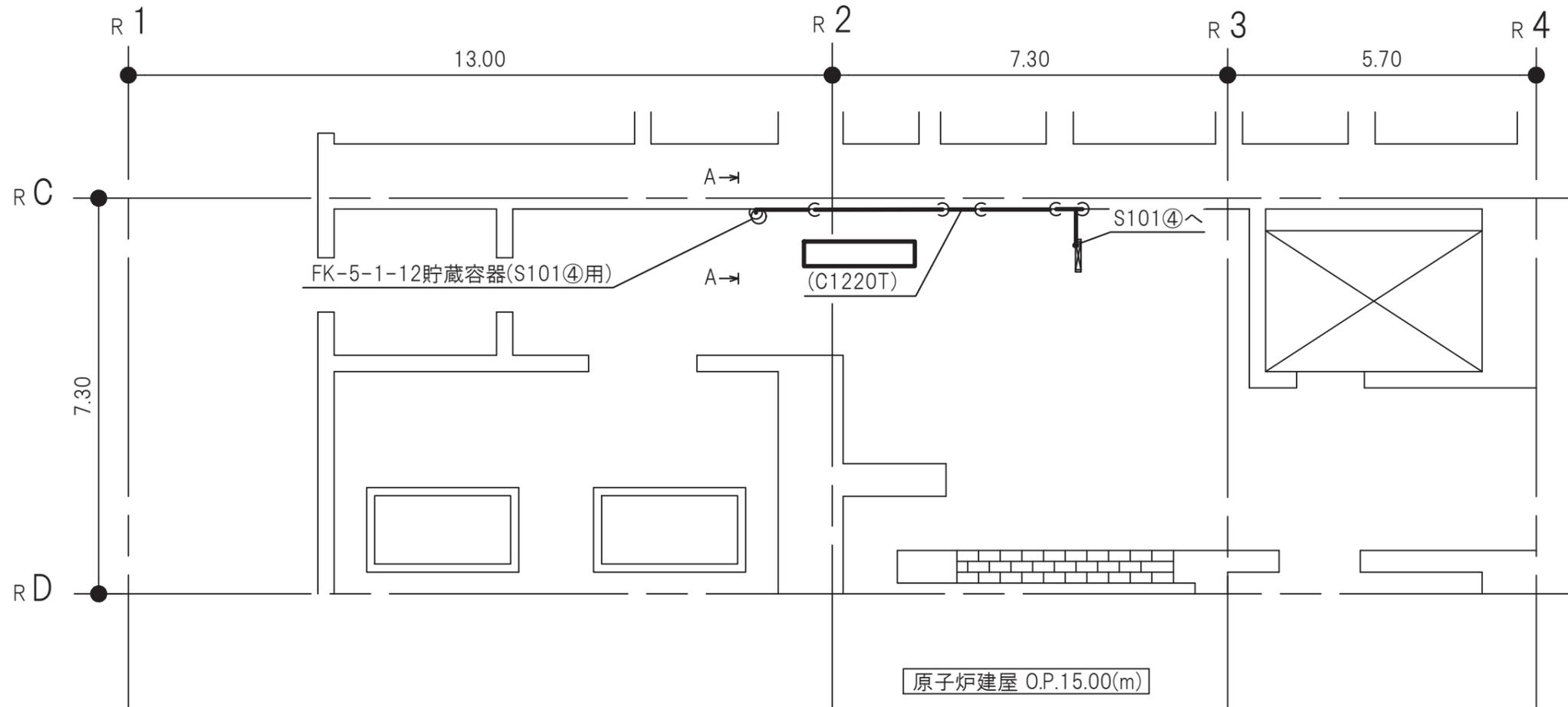
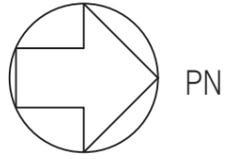
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|---|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-16図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P403⑧, P101⑥用) |
| 東北電力株式会社 | |



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

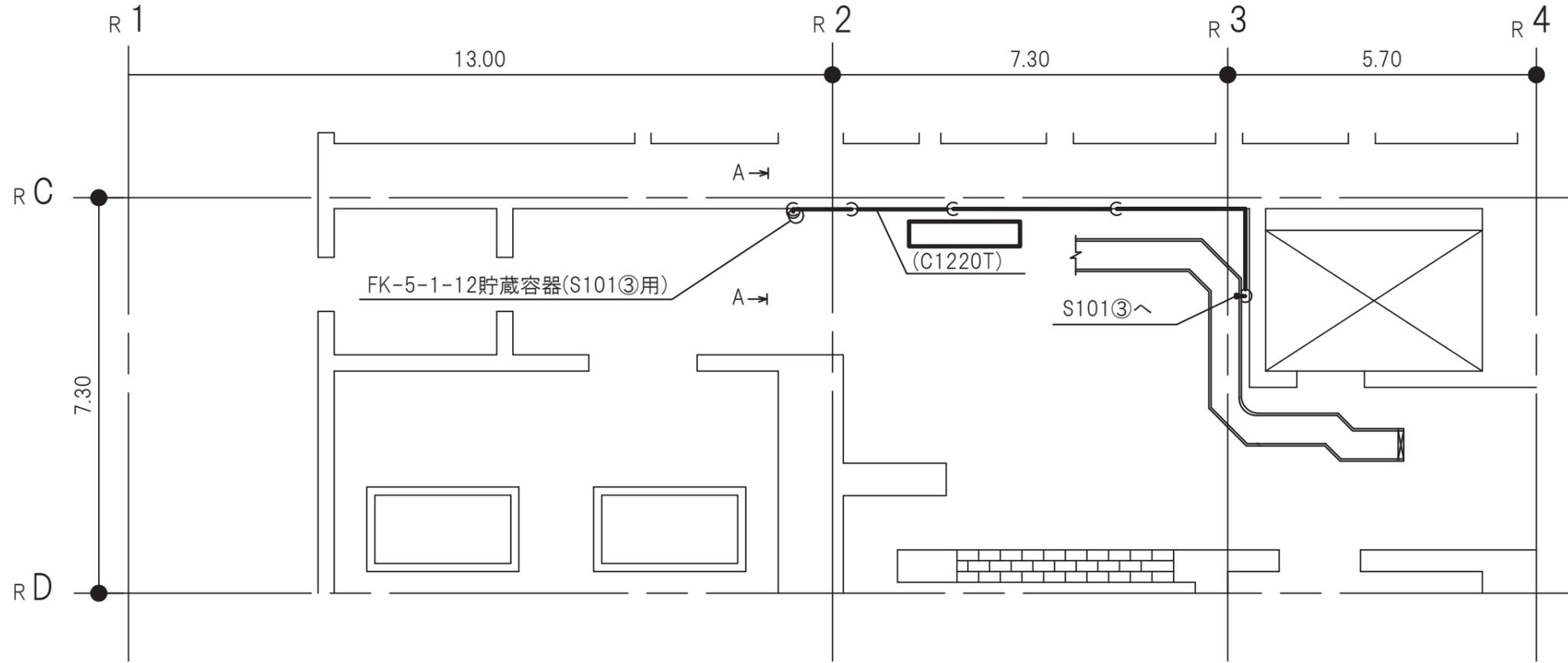
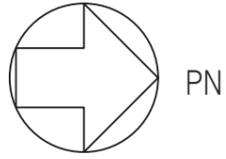
| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-17図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C403⊗,C100⊗用) |
| 東北電力株式会社 | |



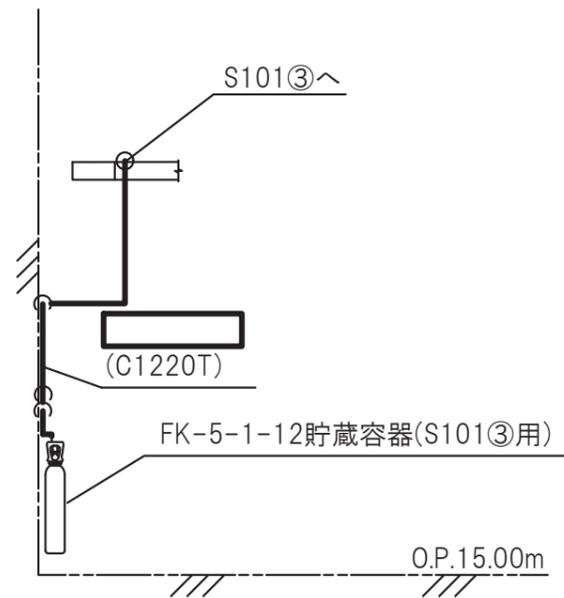
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|-----------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-18図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S101④用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |



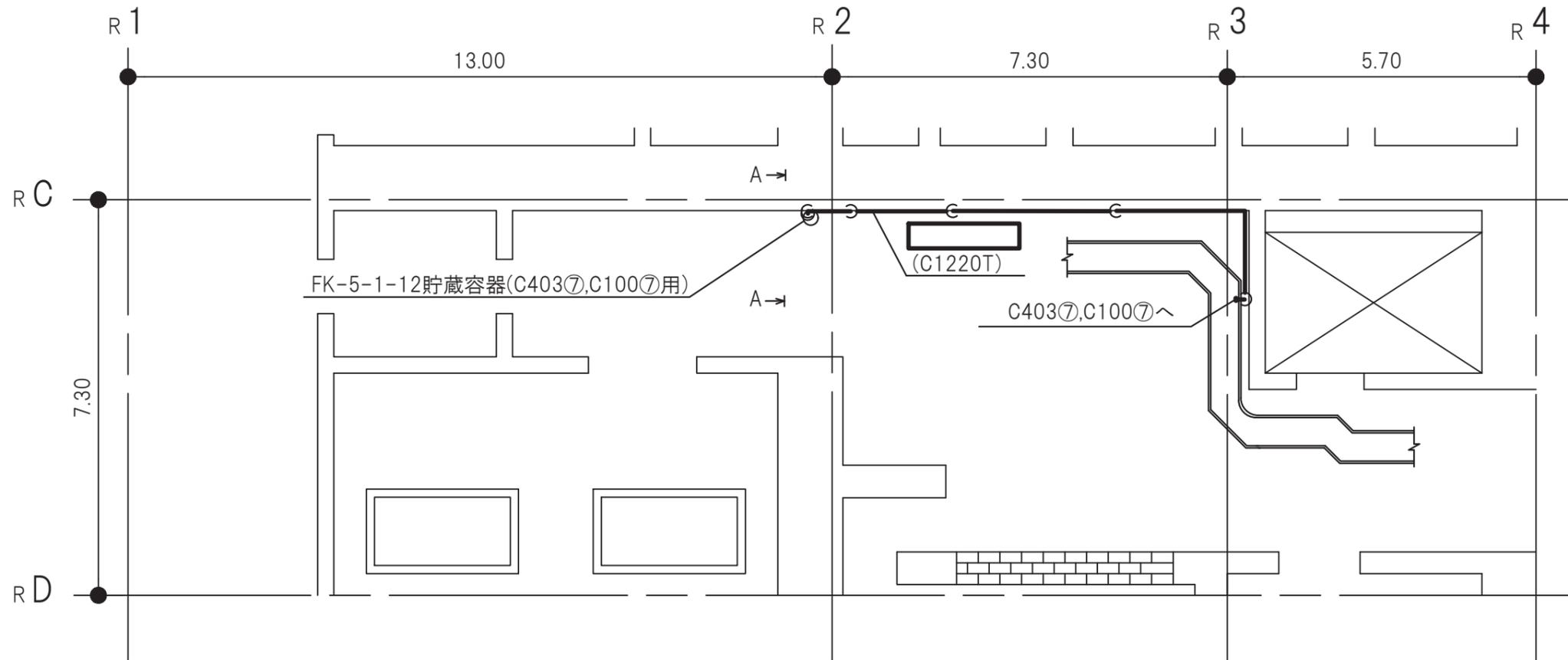
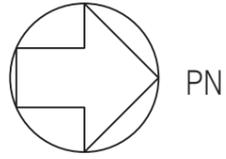
原子炉建屋 O.P.15.00(m)



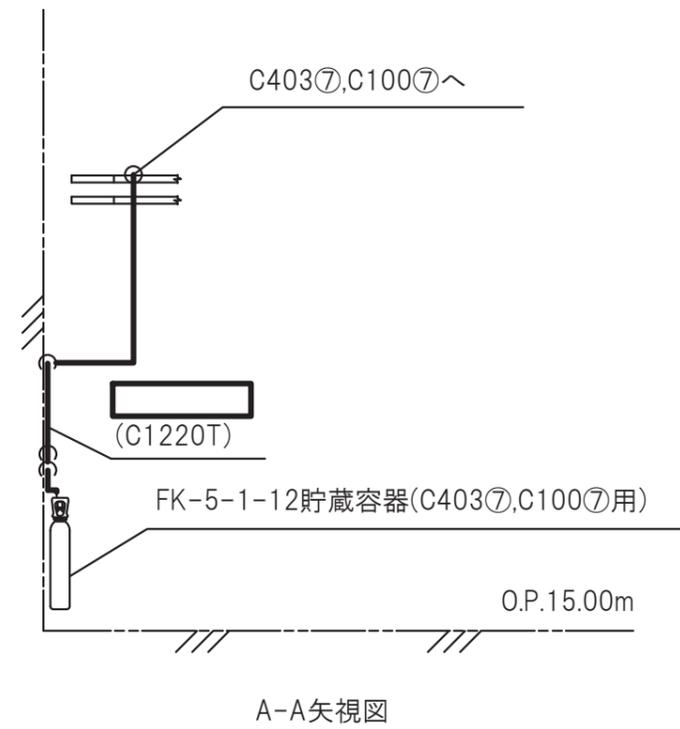
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-19図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S101③用) |
| 東北電力株式会社 | |



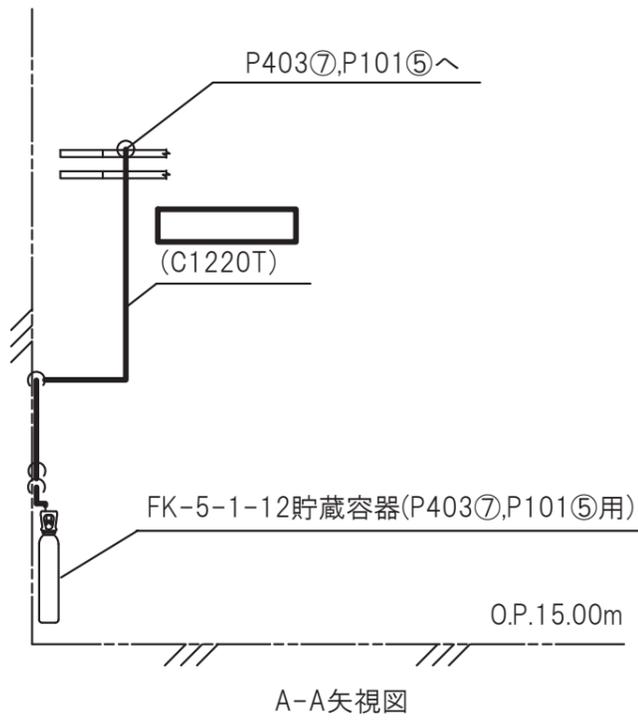
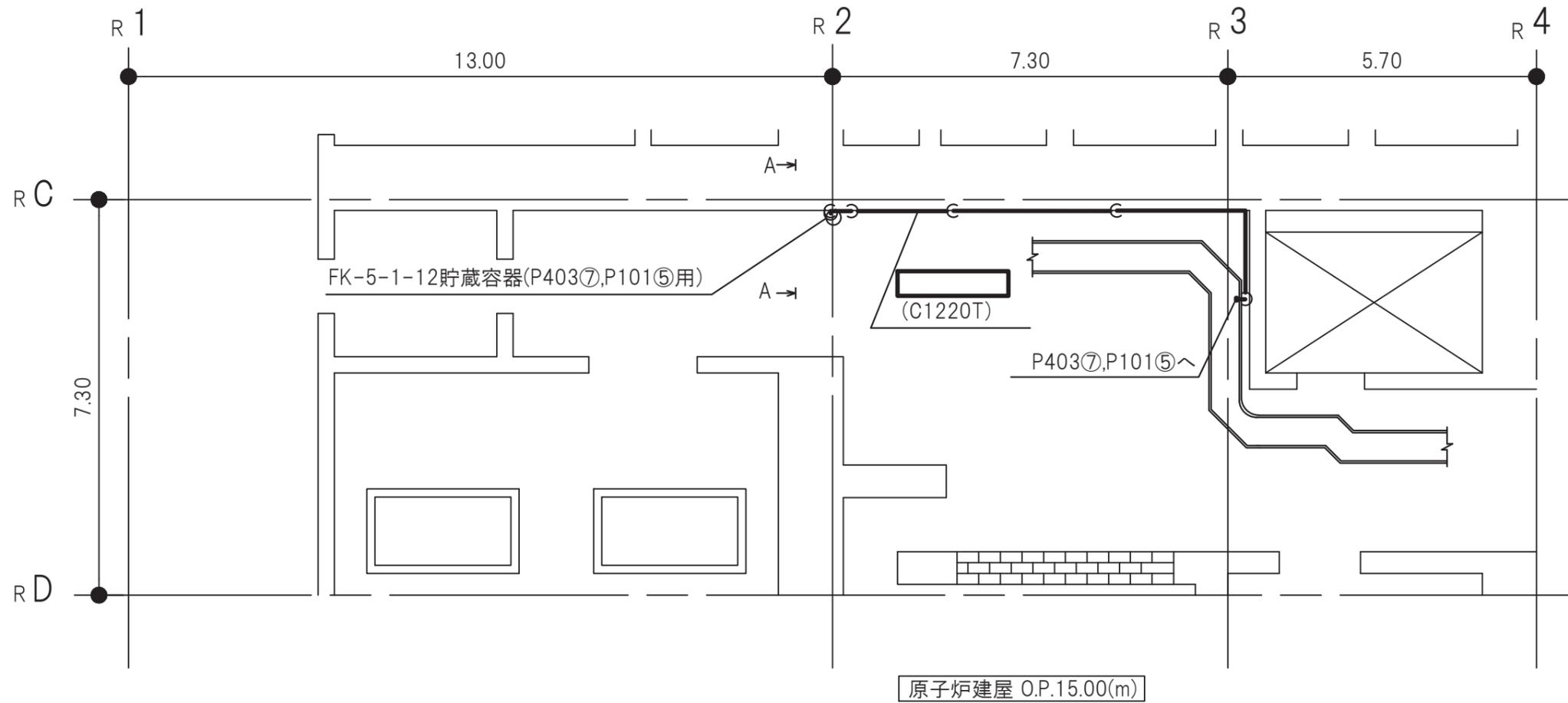
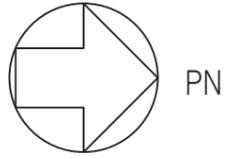
原子炉建屋 O.P.15.00(m)



A-A矢視図

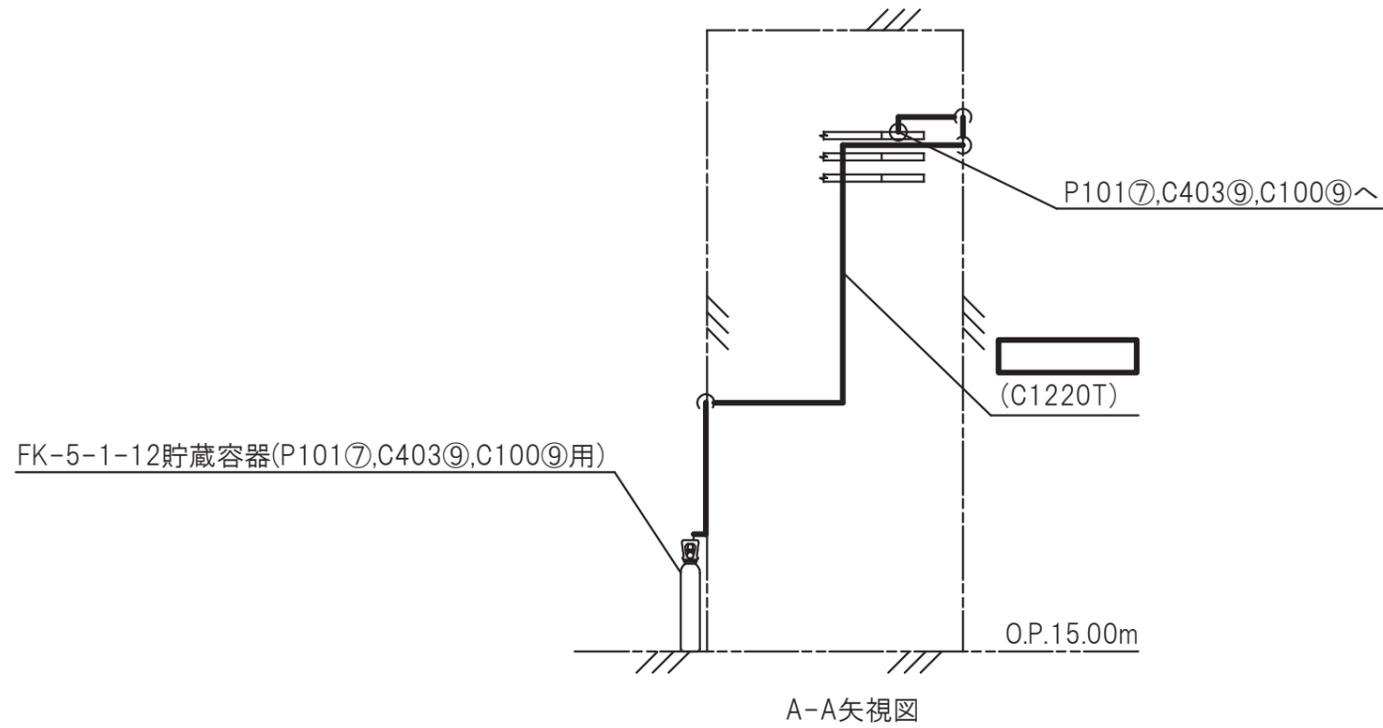
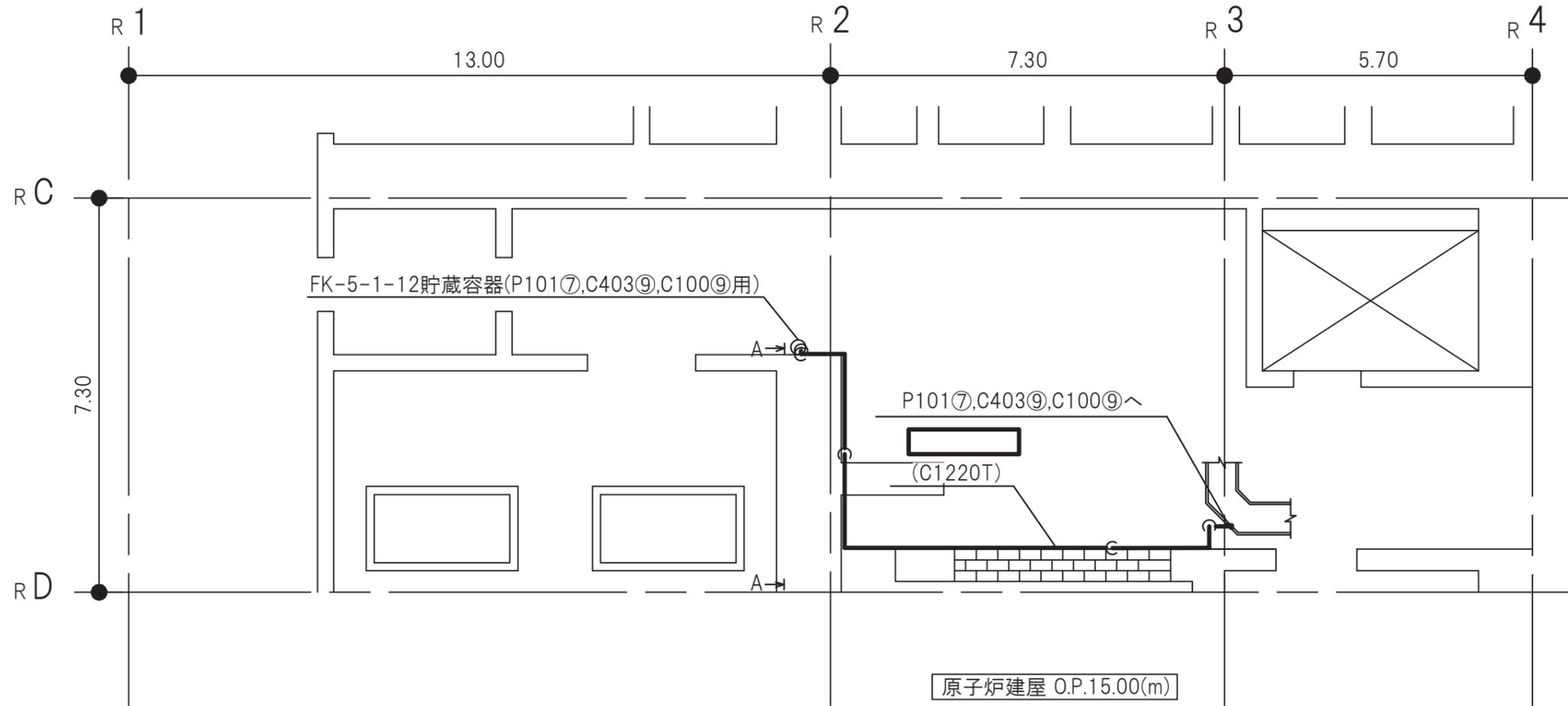
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|---|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-20図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C403⑦, C100⑦用) |
| 東北電力株式会社 | |



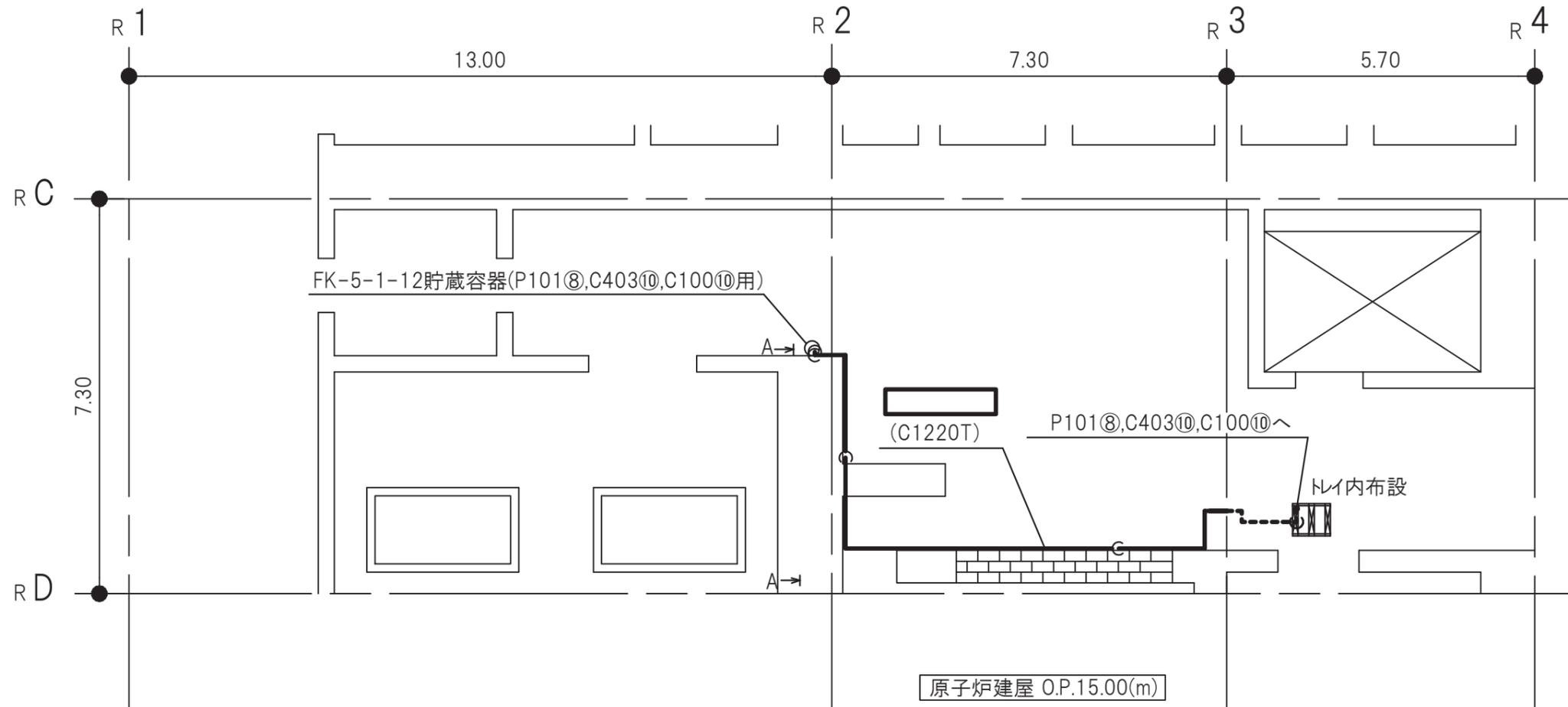
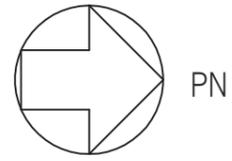
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|---|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-21図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P403⑦, P101⑤用) |
| 東北電力株式会社 | |

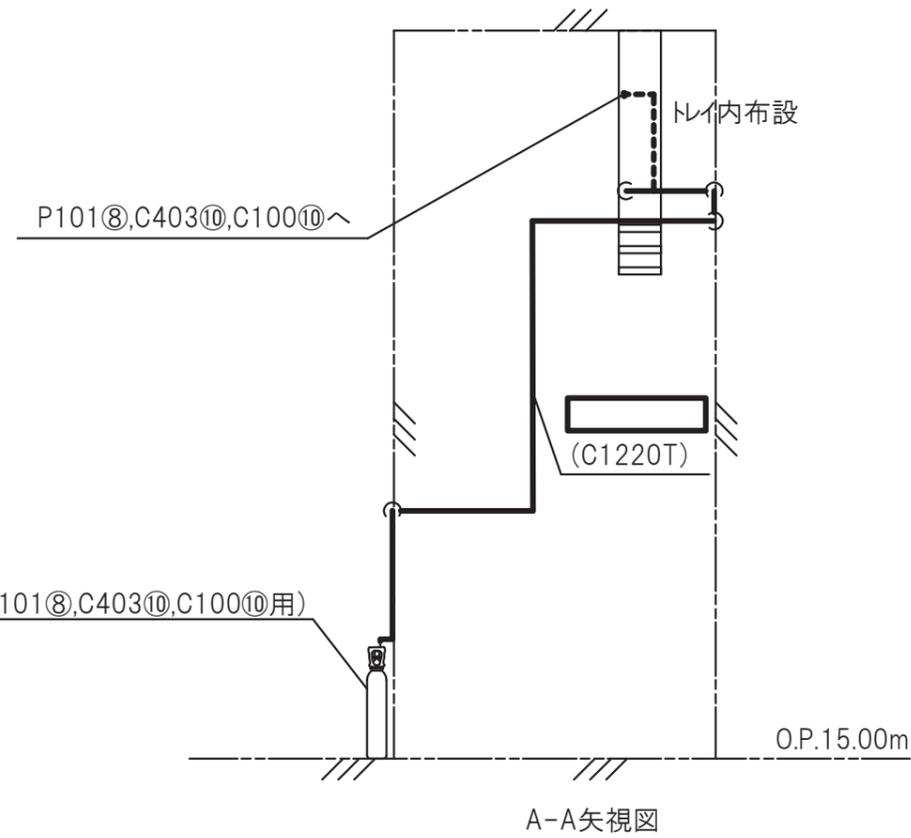


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-22図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (P101㉚,C403㉚,C100㉚用) |
| 東北電力株式会社 | |



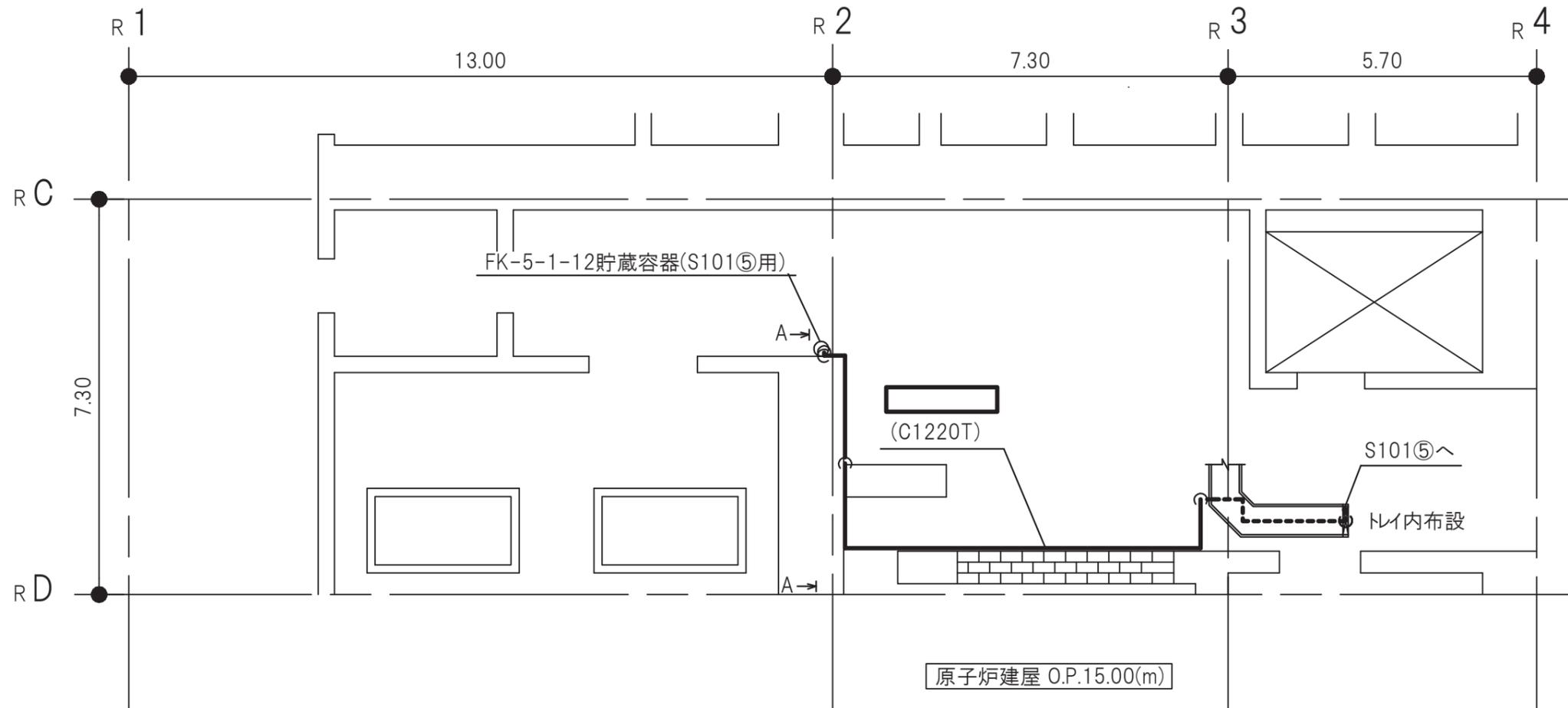
原子炉建屋 O.P.15.00(m)



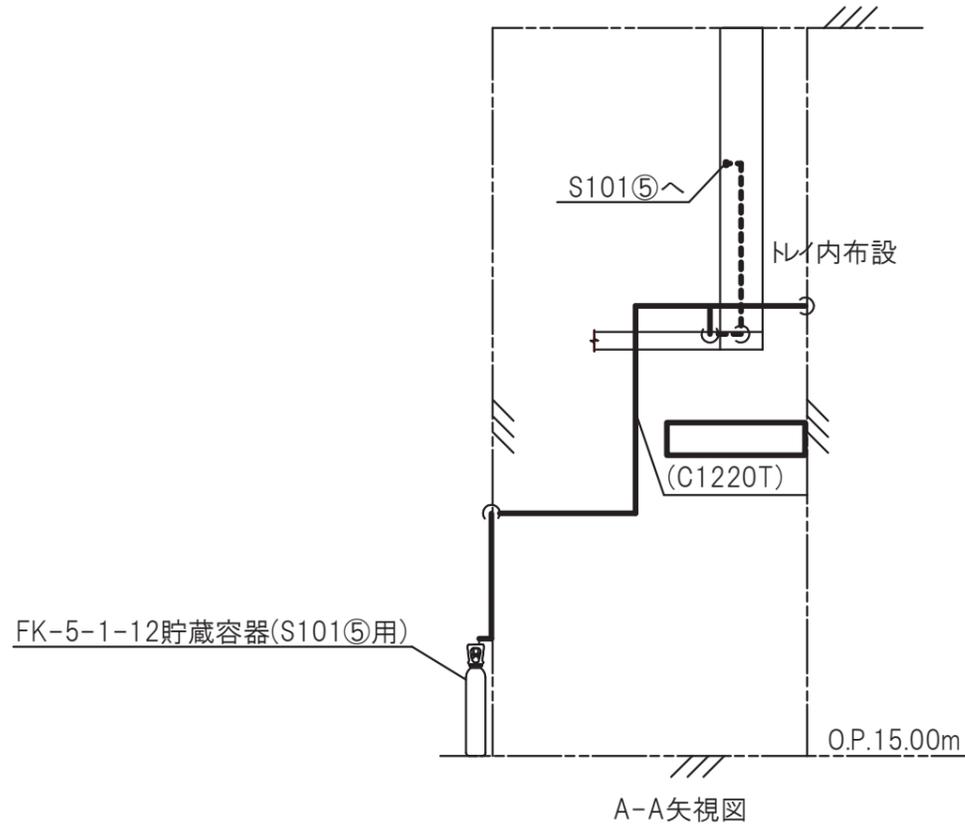
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|---|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-23図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (P101⑧, C403⑩, C100⑩用) |
| 東北電力株式会社 | |



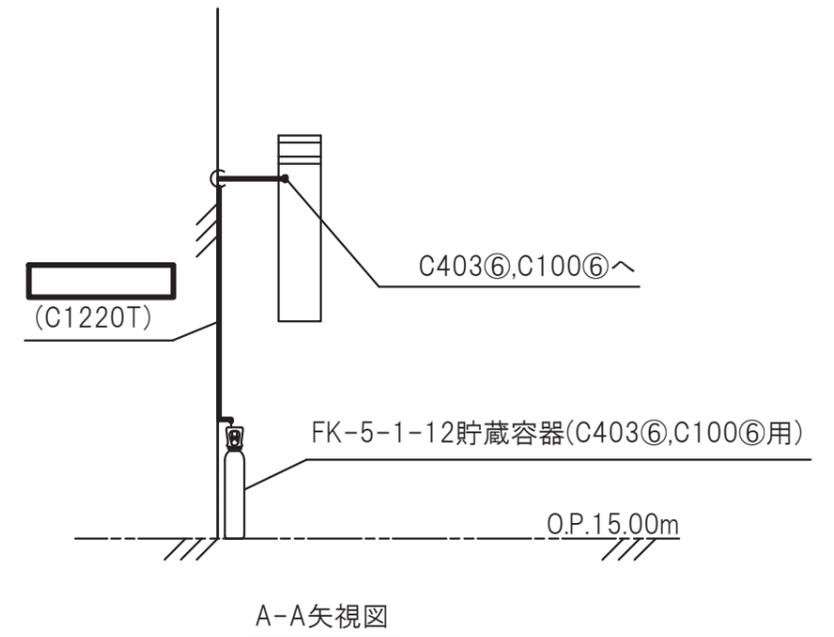
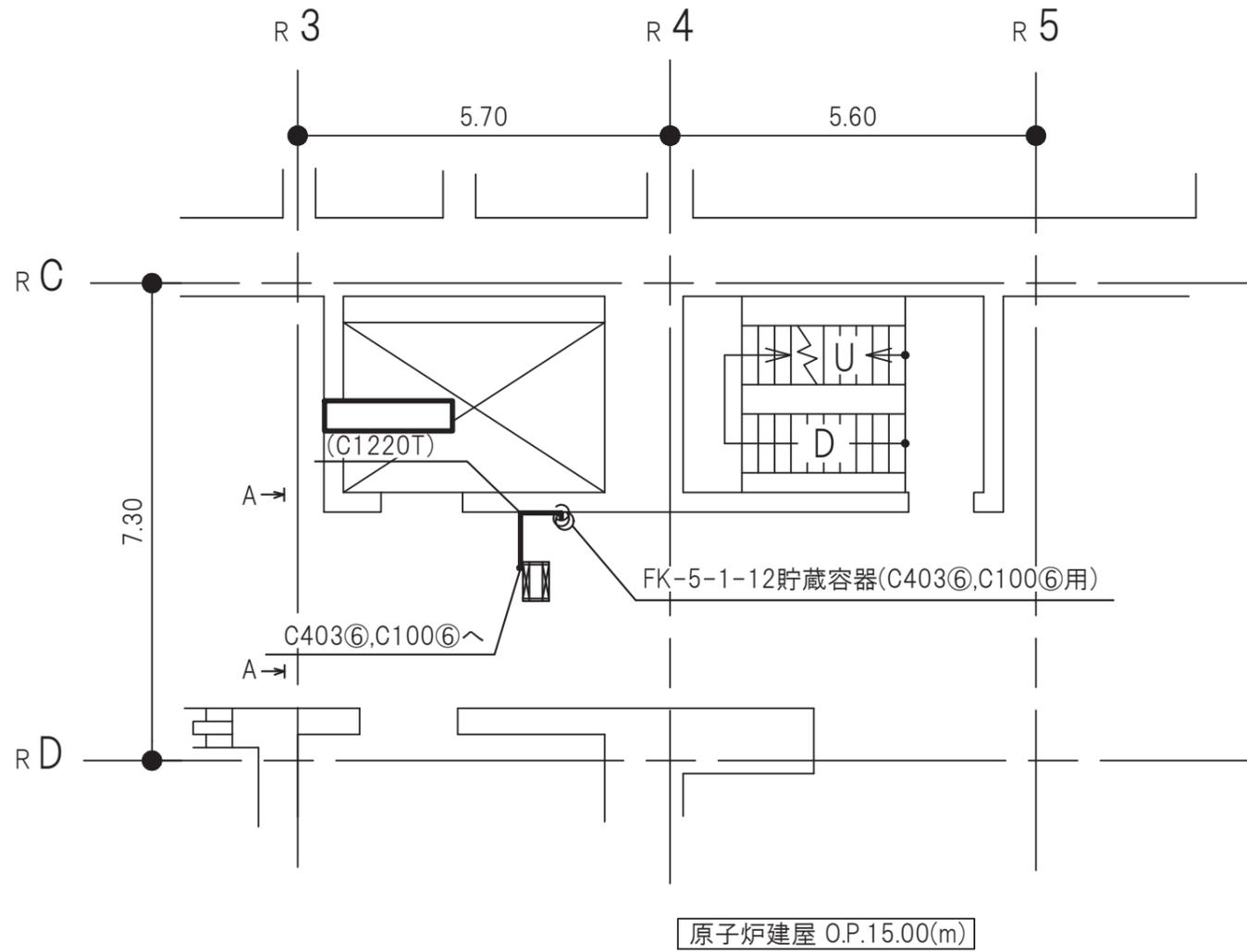
原子炉建屋 O.P.15.00(m)



A-A矢視図

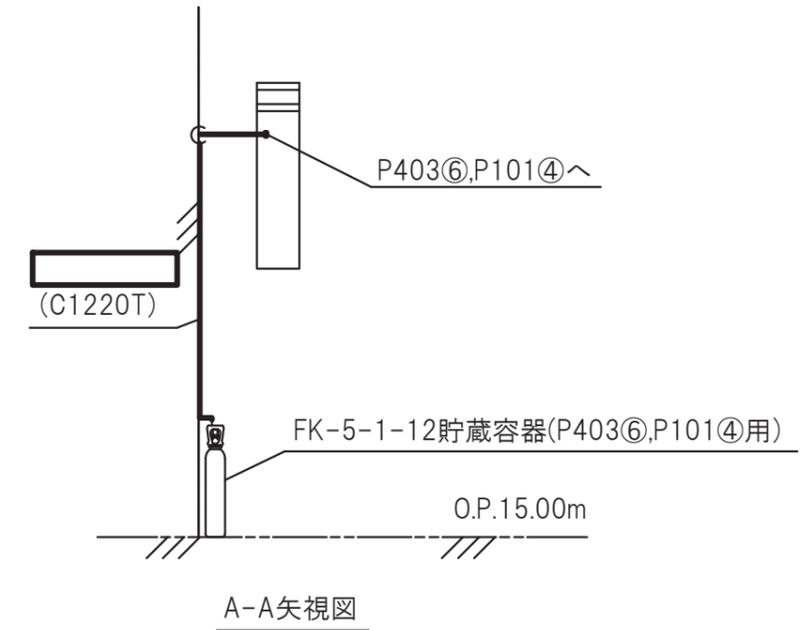
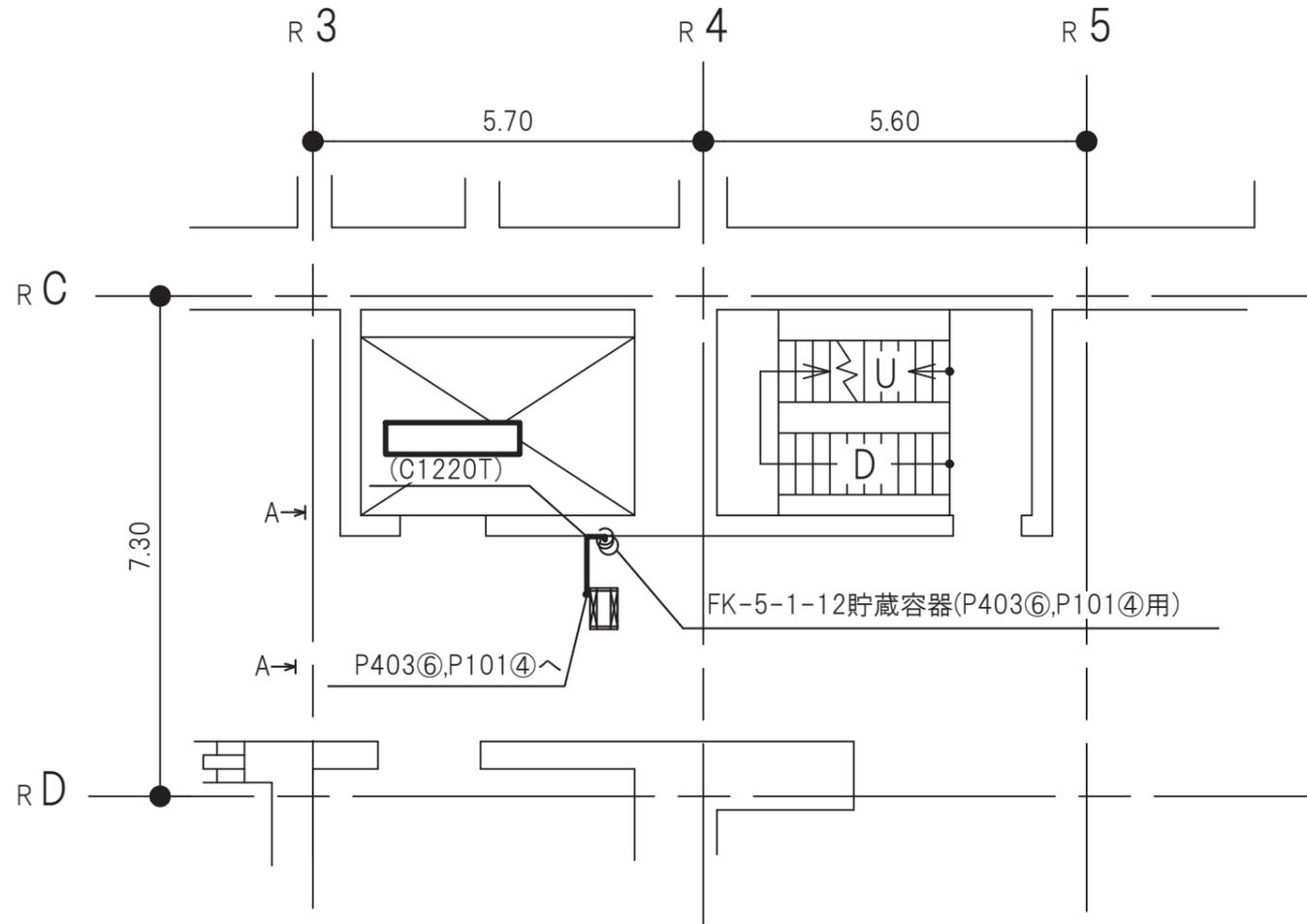
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-24図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S101⑤用) |
| 東北電力株式会社 | |



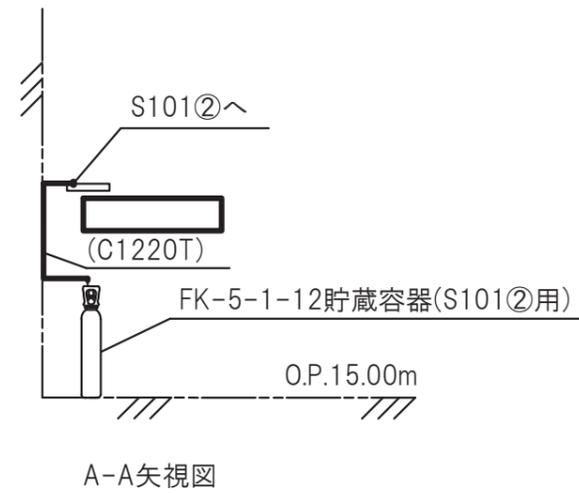
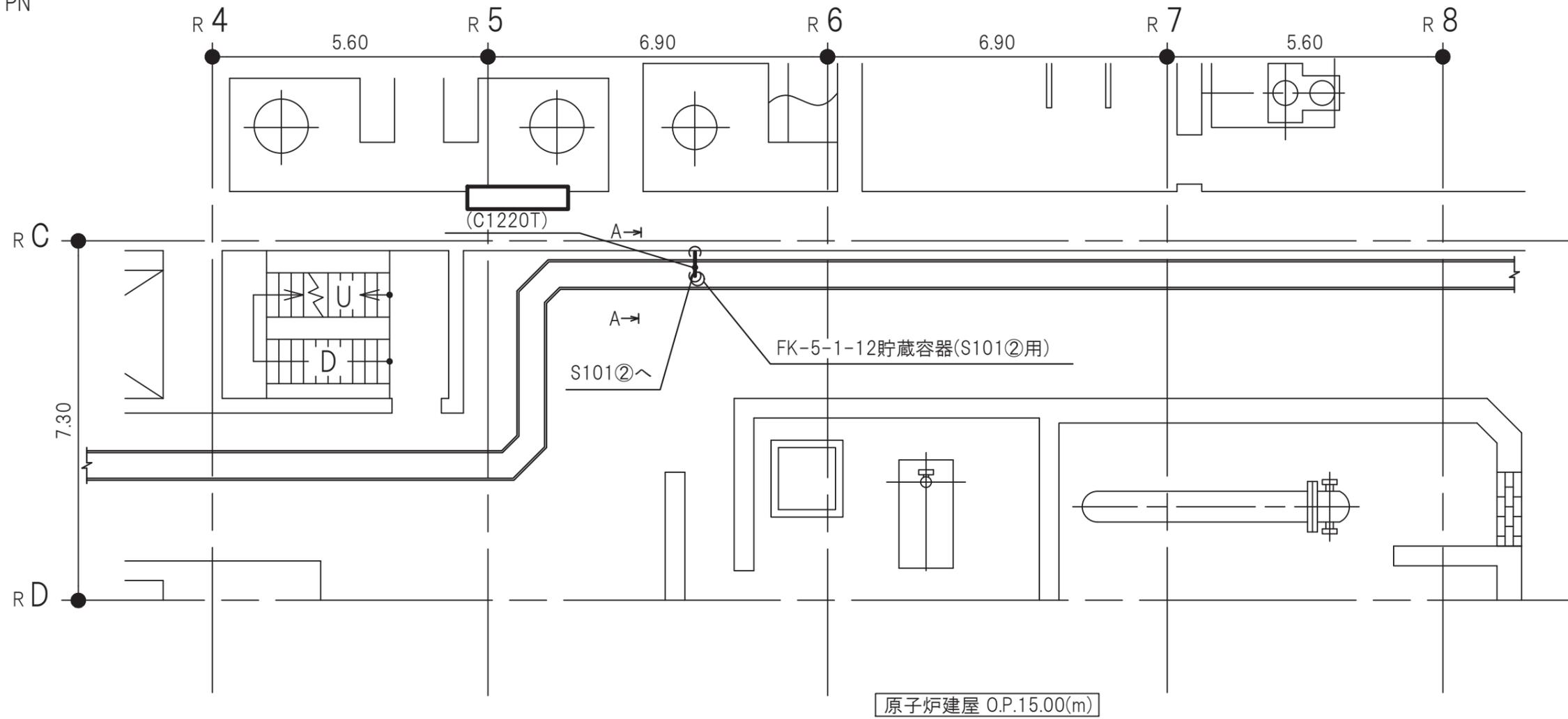
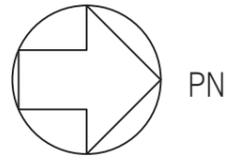
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|---|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-25図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C403㊸, C100㊸用) |
| 東北電力株式会社 | |



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-26図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P403㉔,P101㉔用) |
| 東北電力株式会社 | |

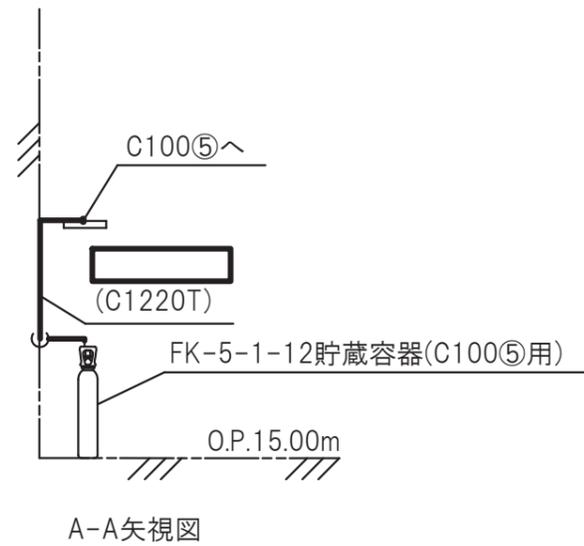
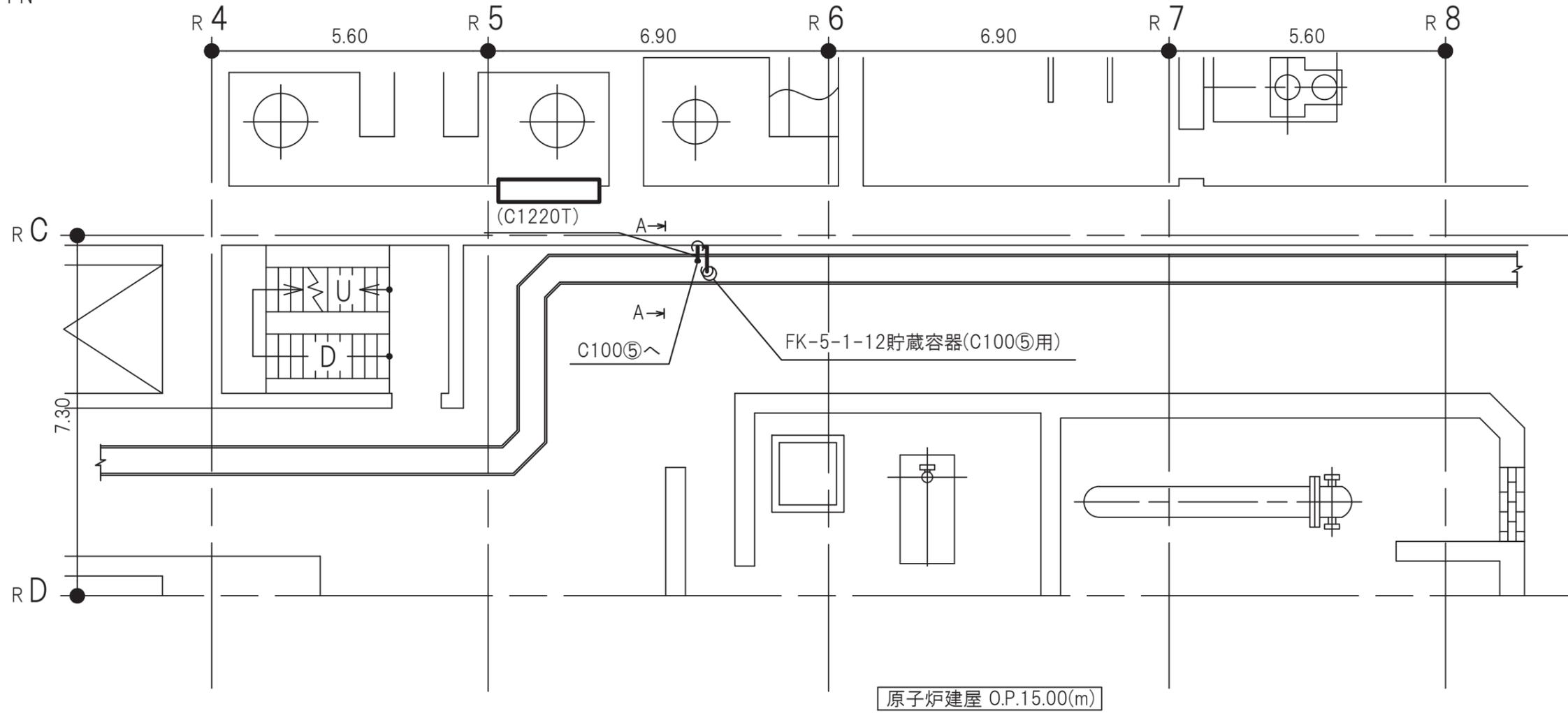
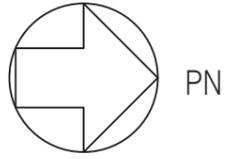


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-27図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S101②用) |
| 東北電力株式会社 | |

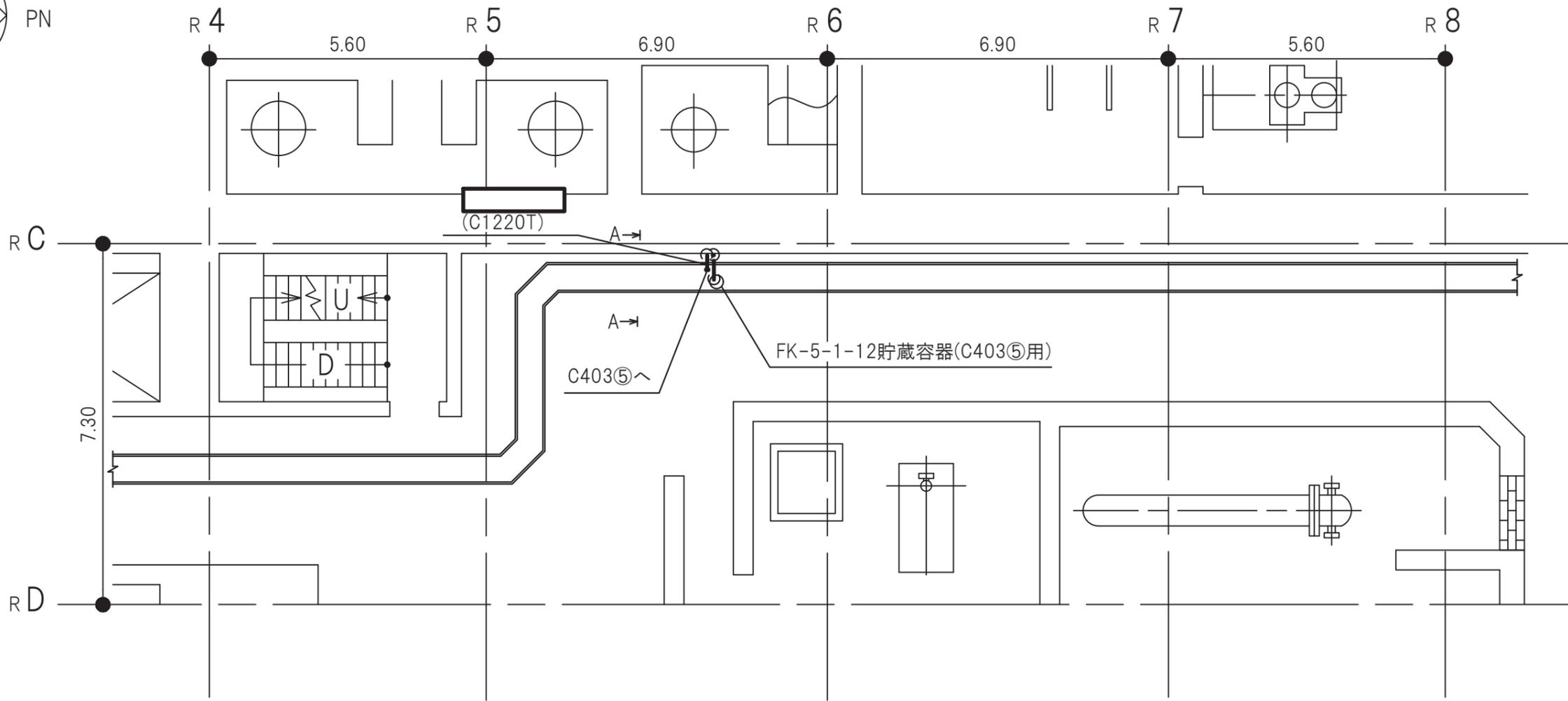
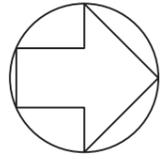
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

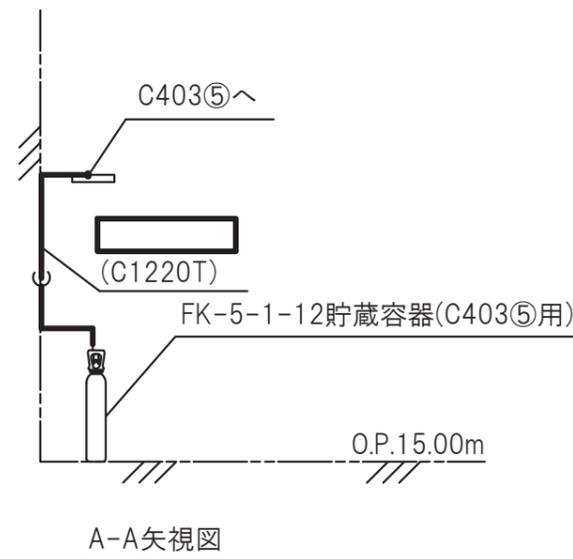


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-28図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C100㊸用) |
| 東北電力株式会社 | |

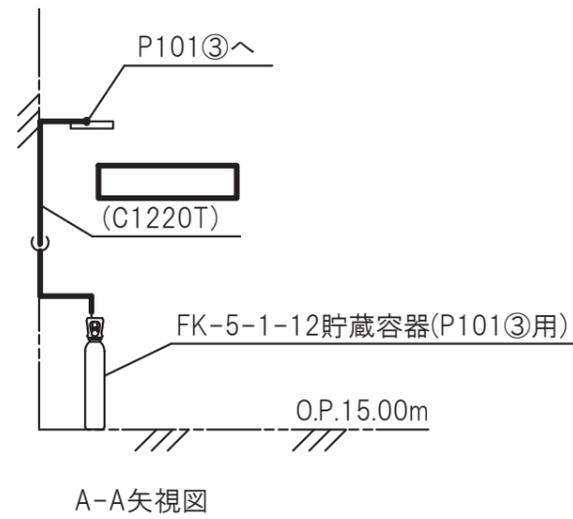
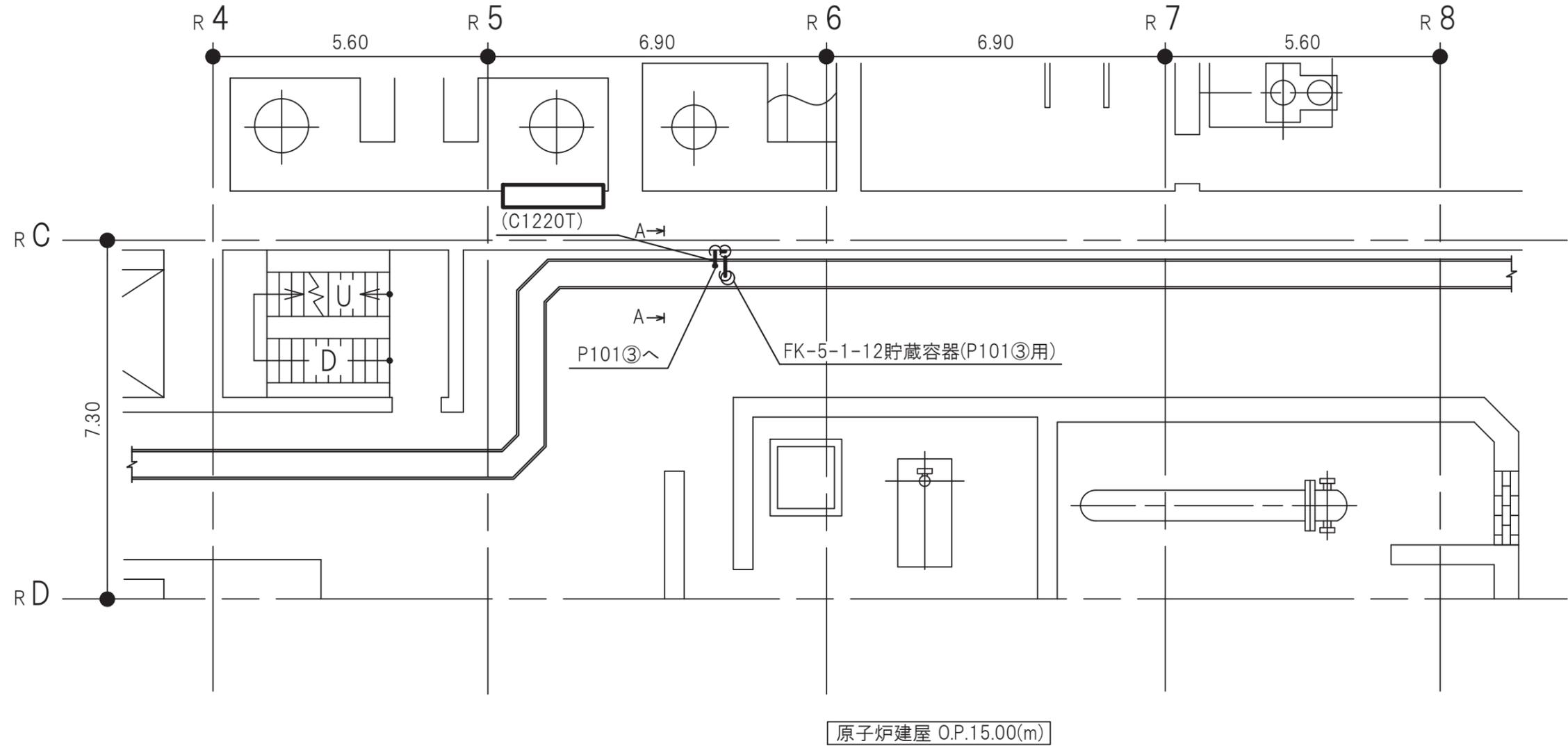
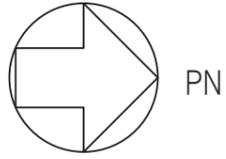


原子炉建屋 O.P.15.00(m)



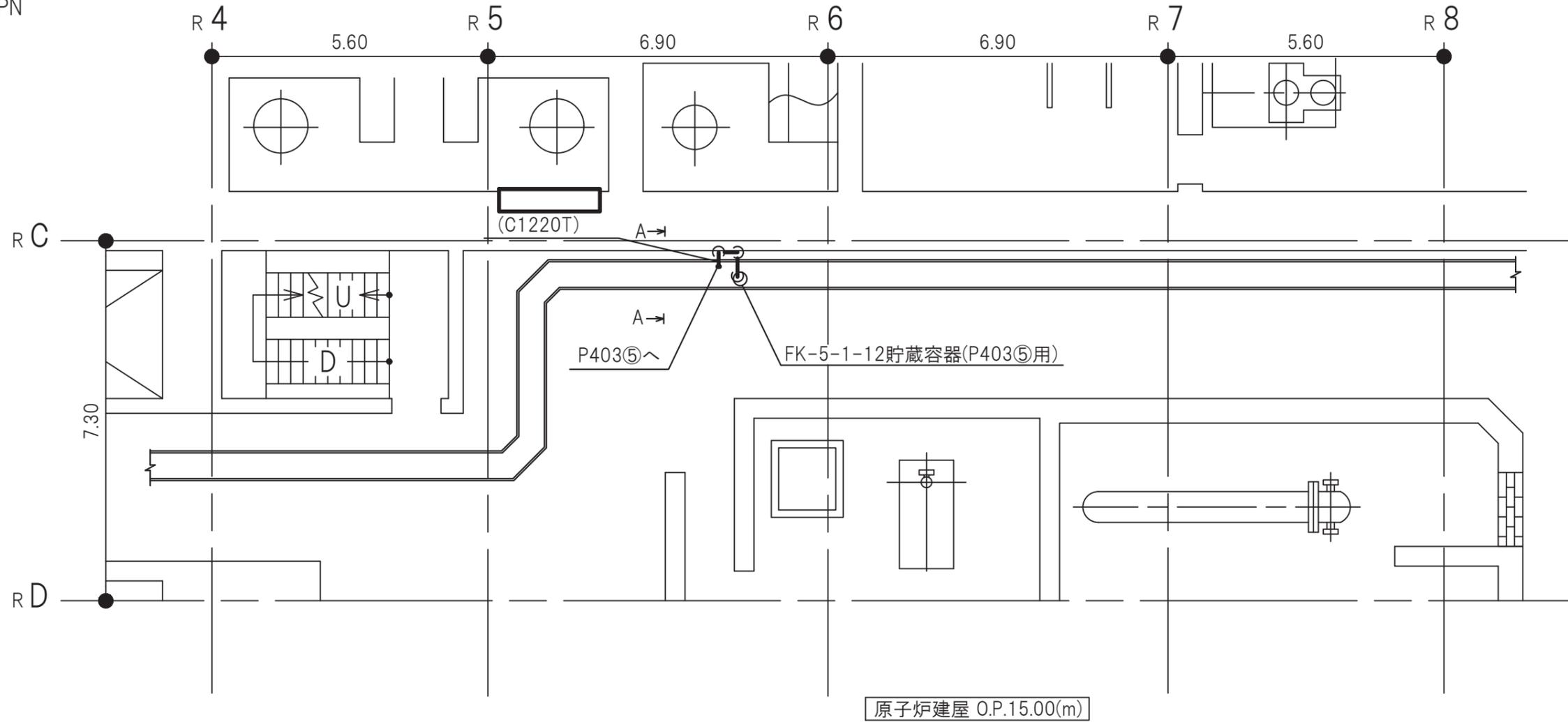
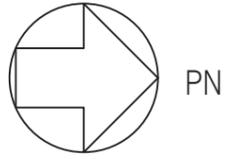
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-29図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C403⑤用) |
| 東北電力株式会社 | |

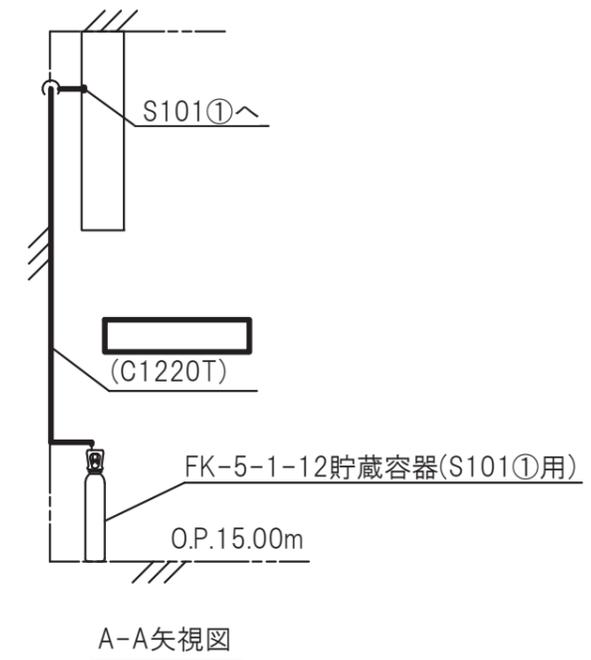
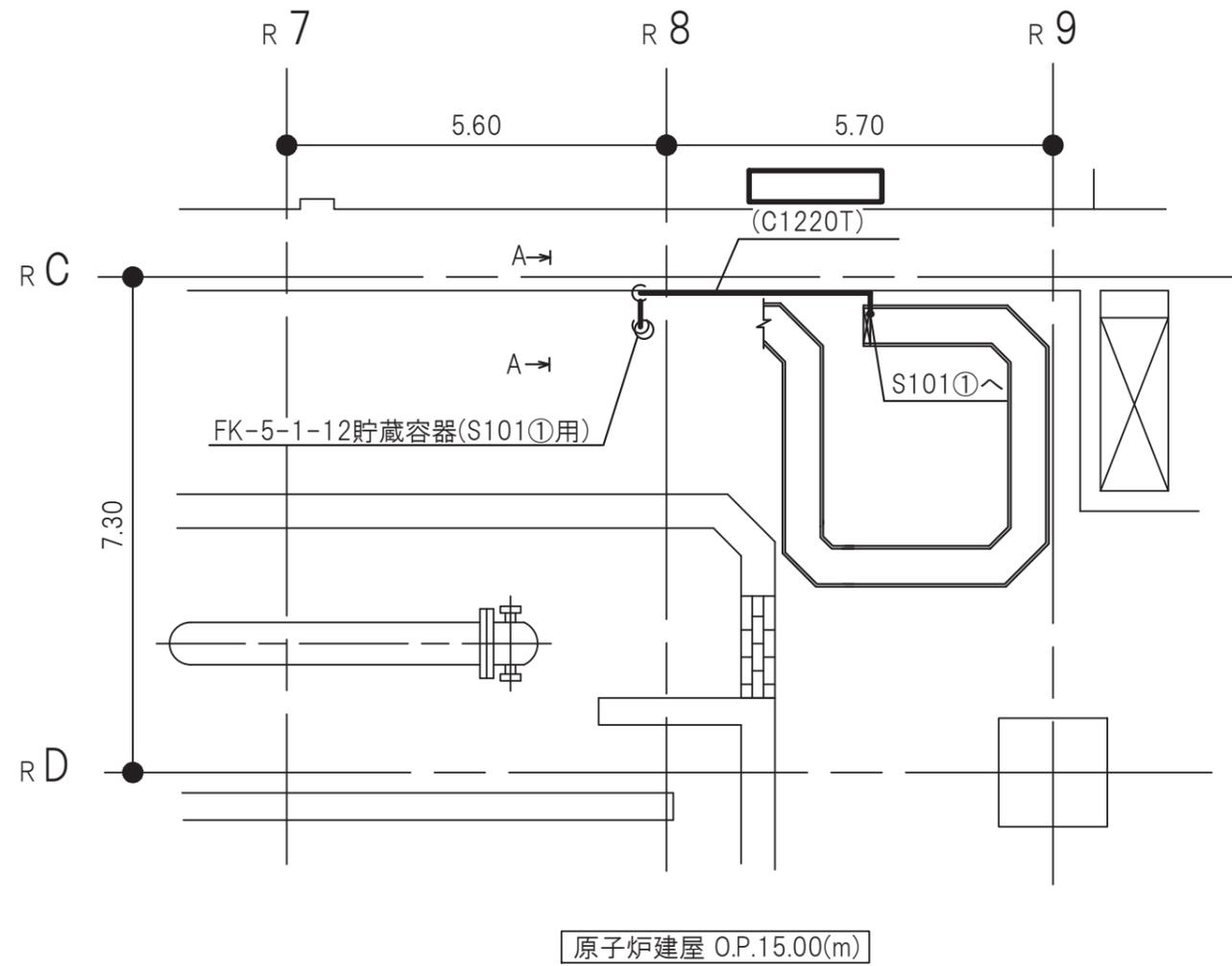
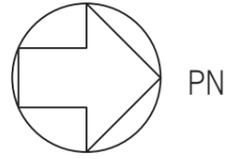


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-30図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P101③用) |
| 東北電力株式会社 | |



| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-31図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P403⑤用) |
| 東北電力株式会社 | |

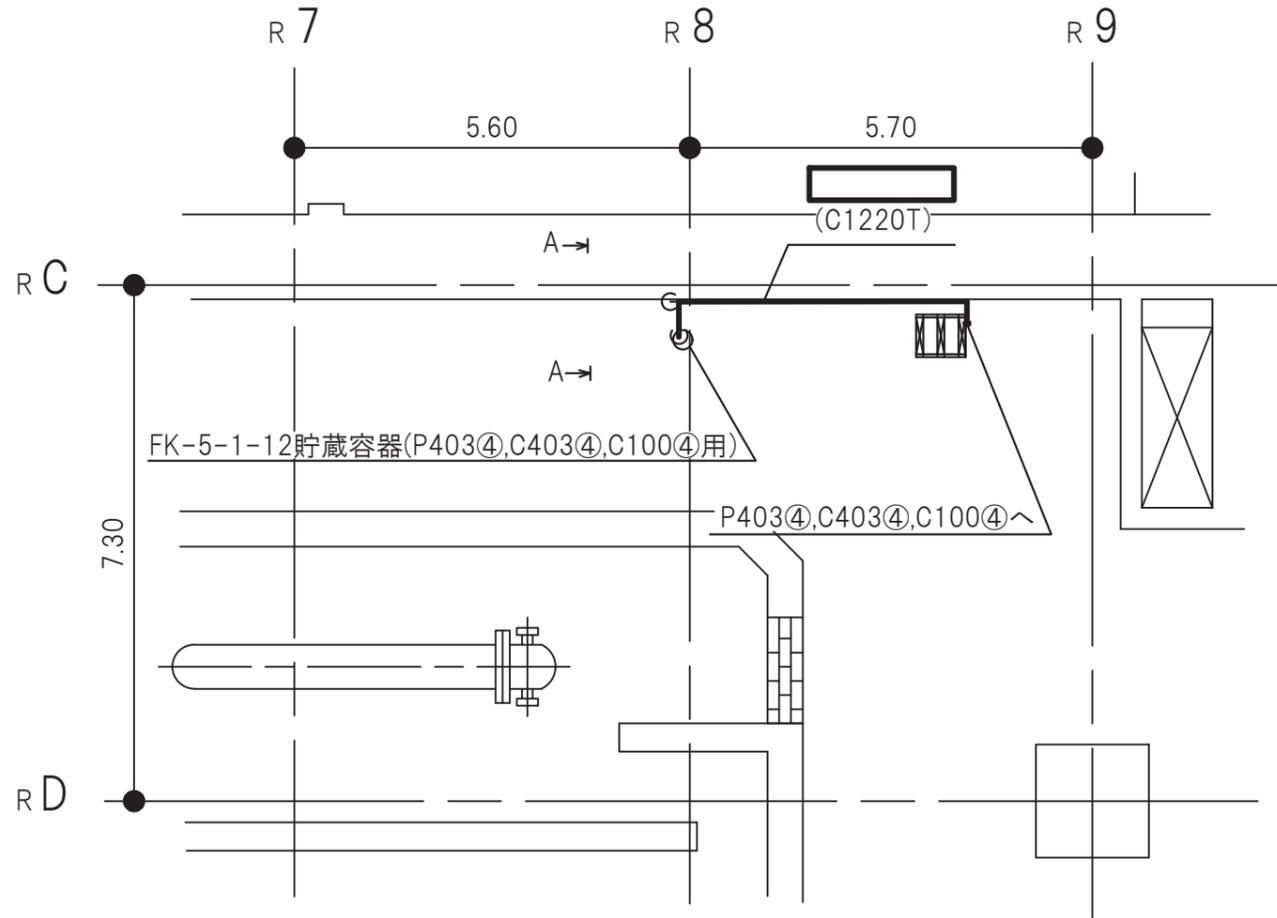


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

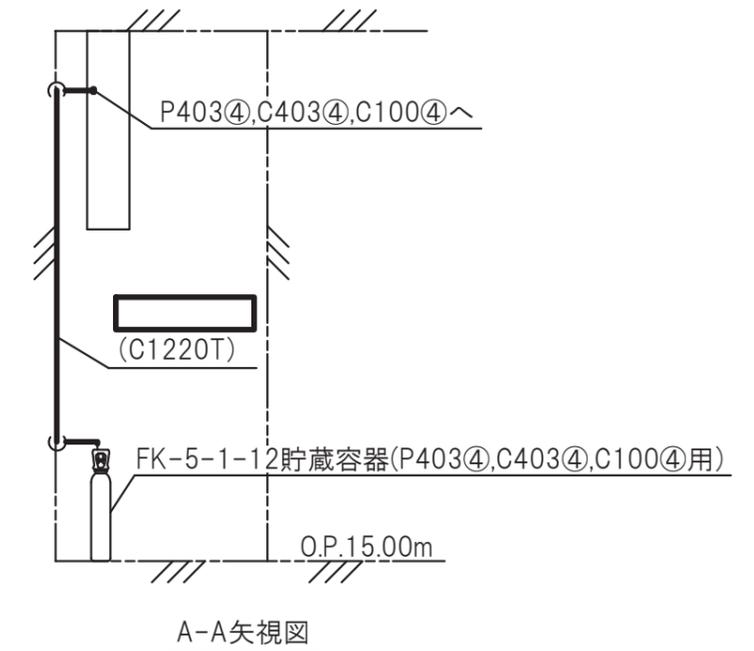
| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-32図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S101①用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



原子炉建屋 O.P.15.00(m)

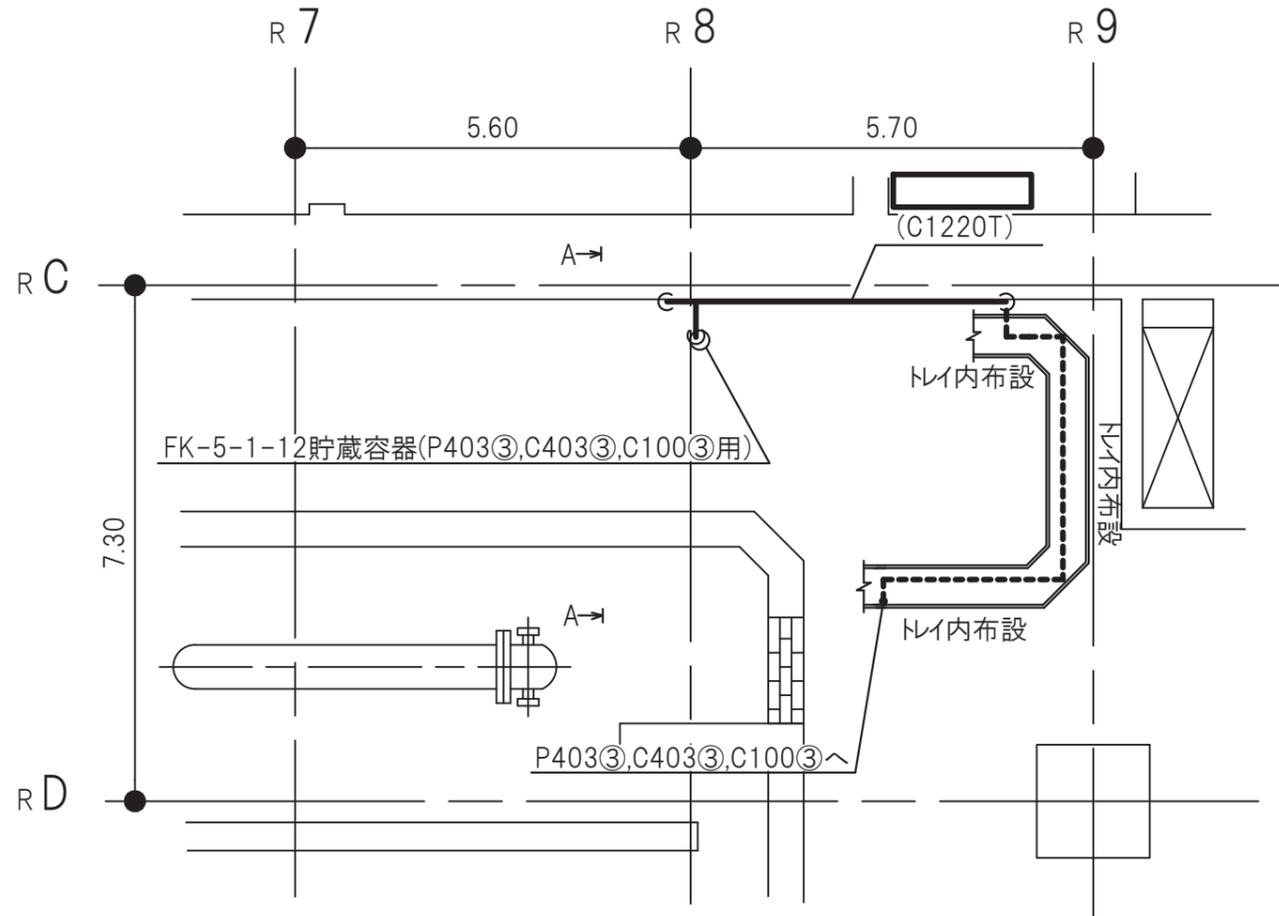
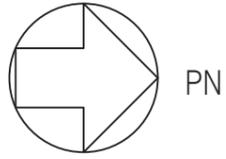


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

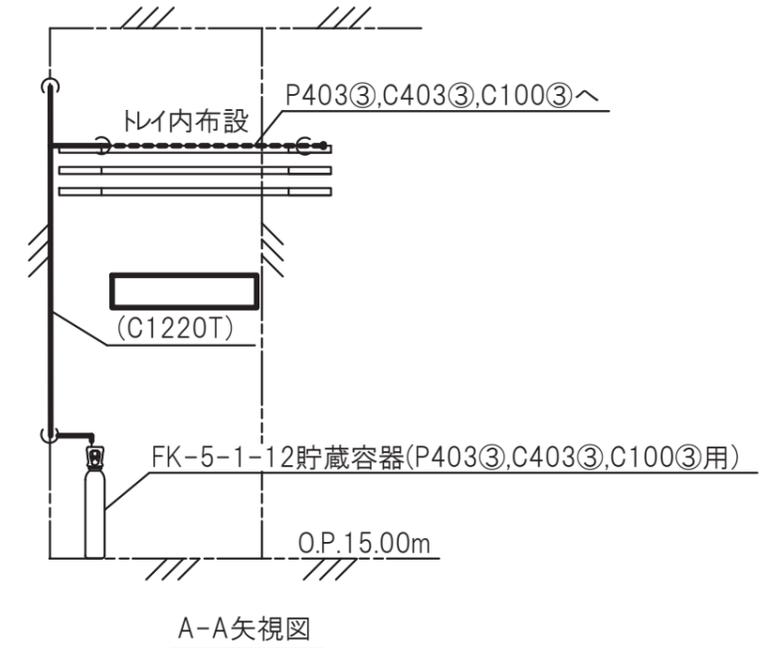
| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-33図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P403④,C403④,C100④用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



原子炉建屋 O.P.15.00(m)



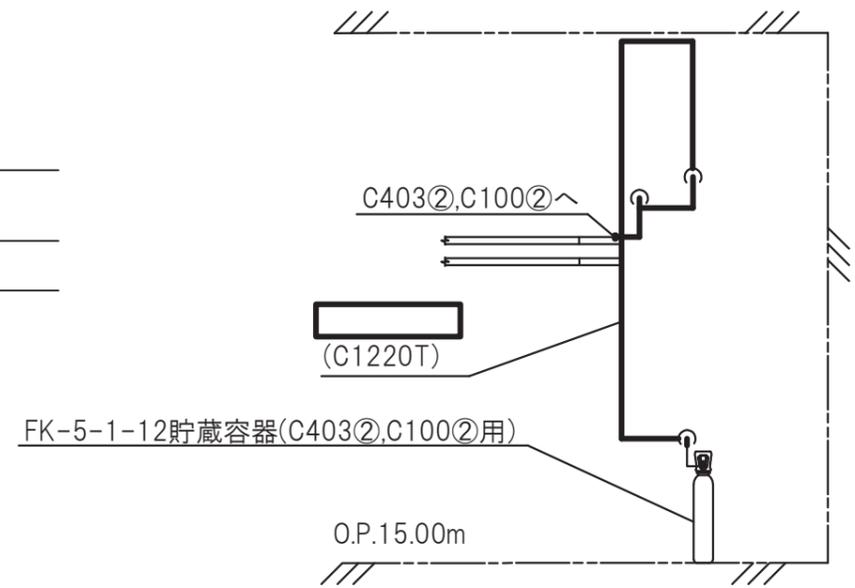
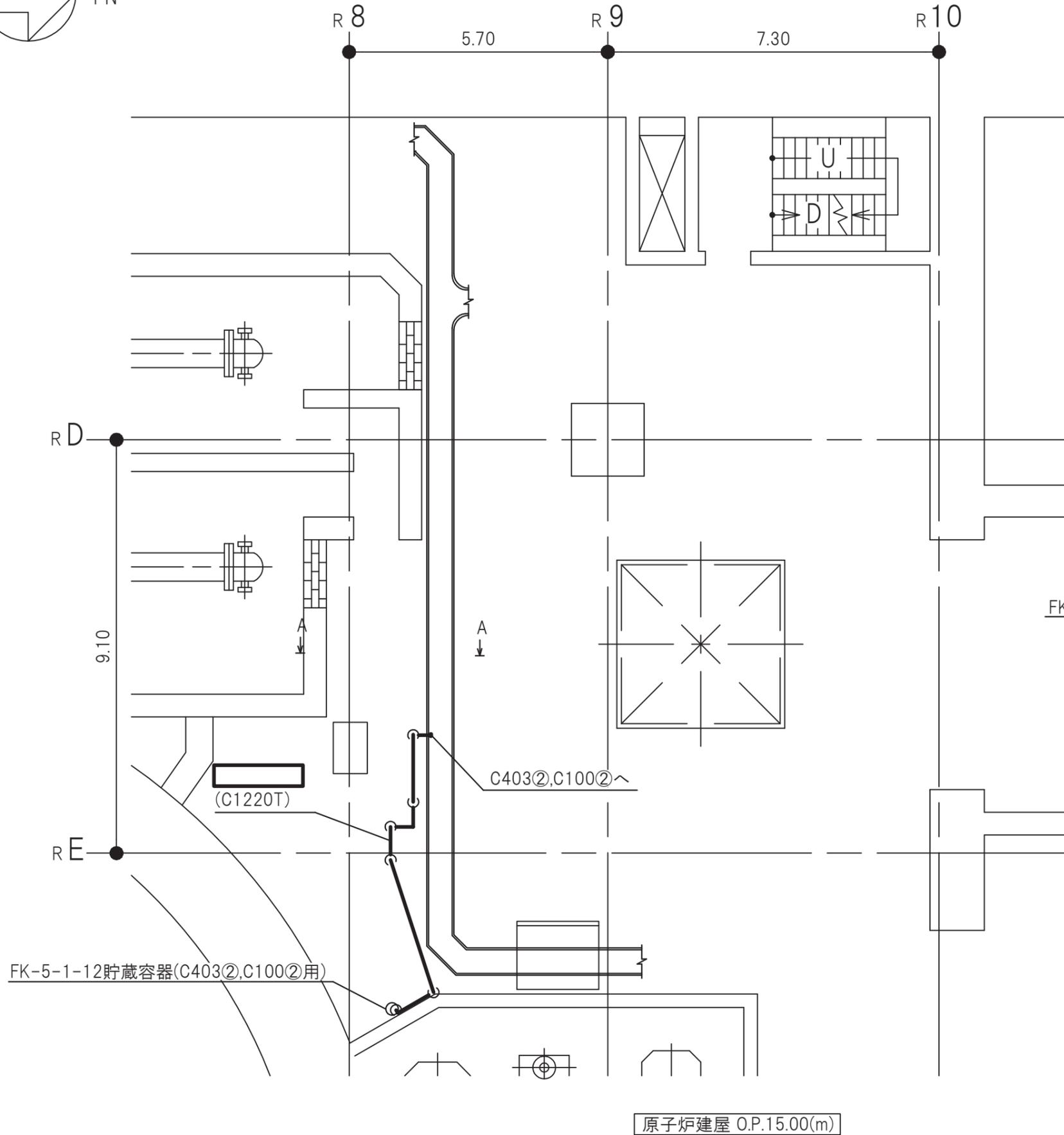
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-34図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P403③, C403③, C100③用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

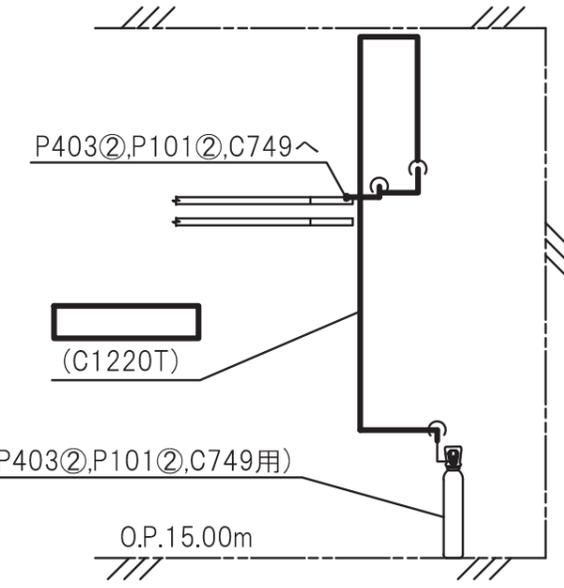
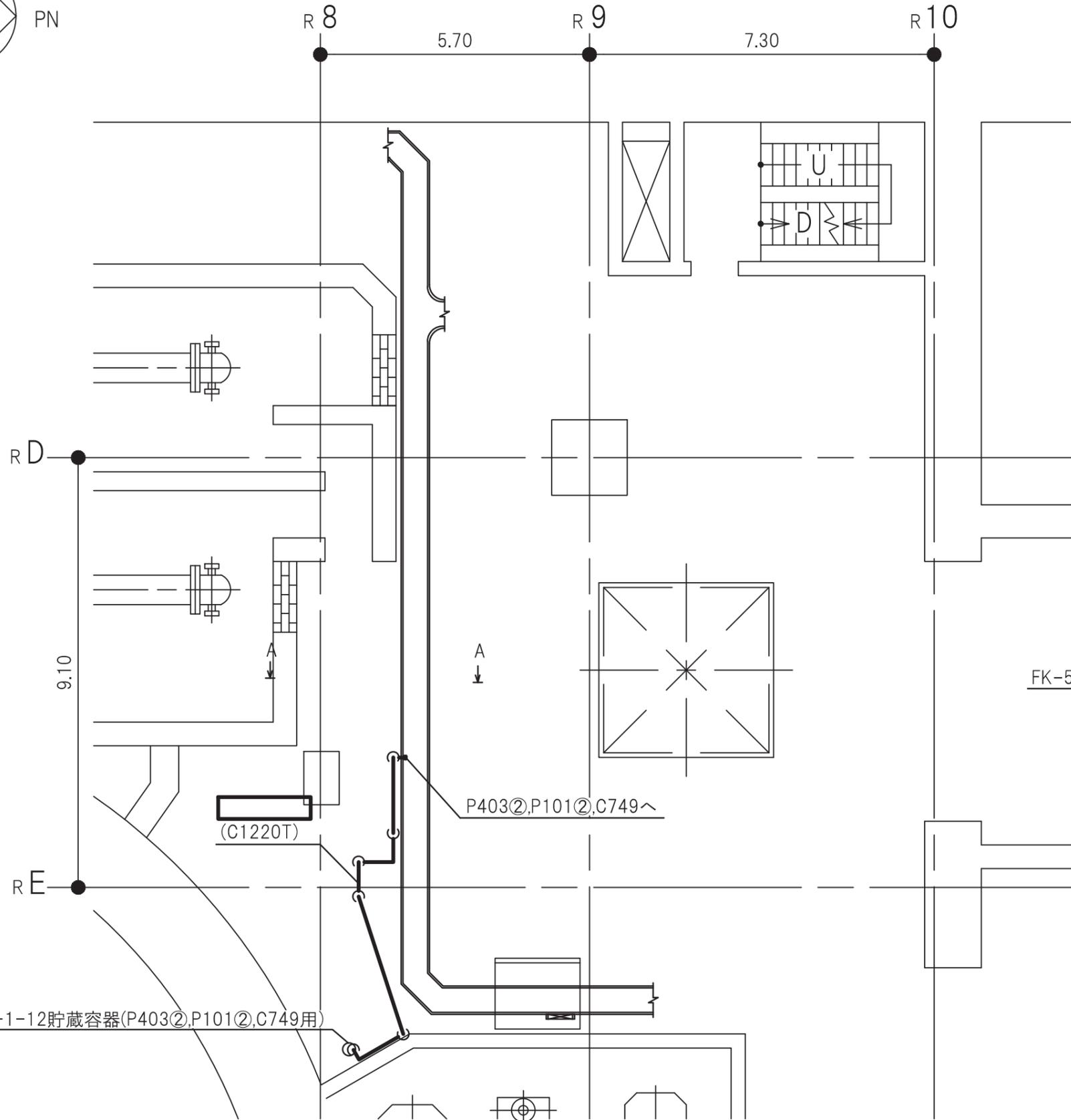
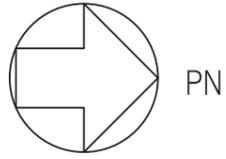
0420



A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-35図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C403②,C100②用) |
| 東北電力株式会社 | |



A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

FK-5-1-12貯蔵容器(P403②, P101②, C749用)

(C1220T)

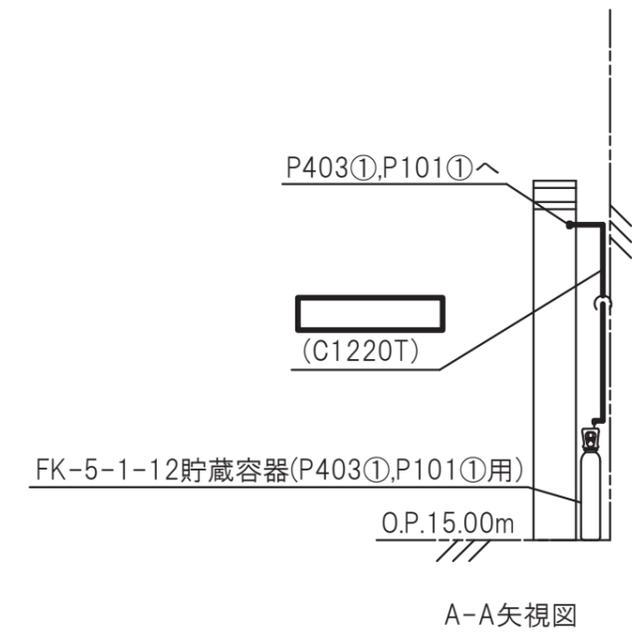
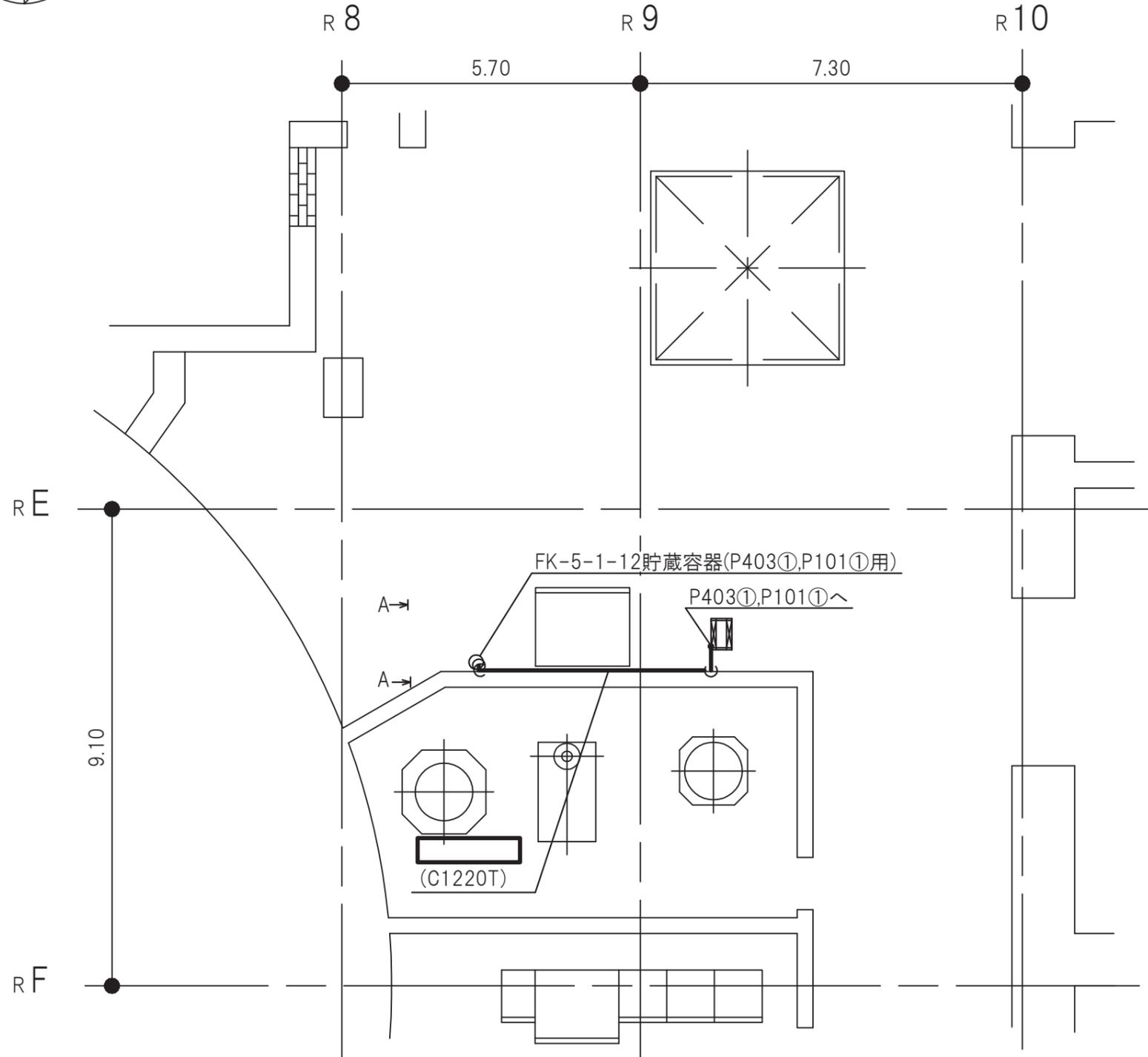
P403②, P101②, C749~

原子炉建屋 O.P.15.00(m)

| | |
|---------------|---|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-36図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P403②, P101②, C749用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

1618



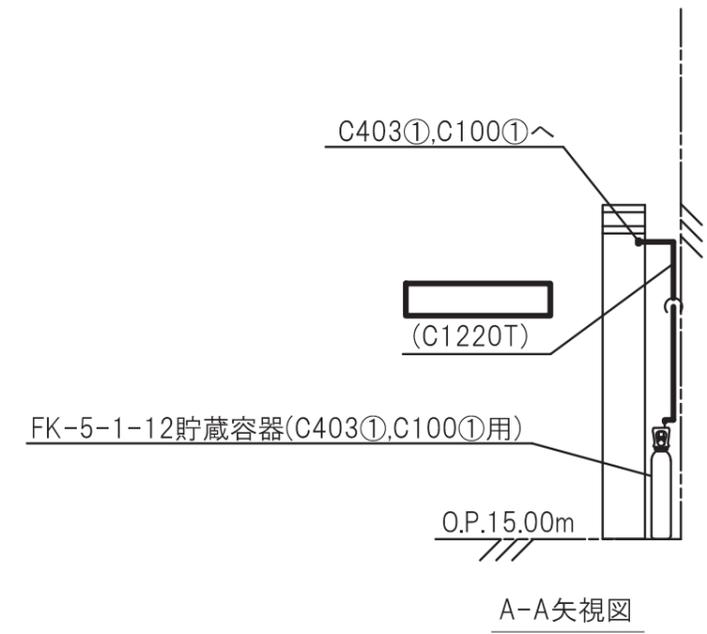
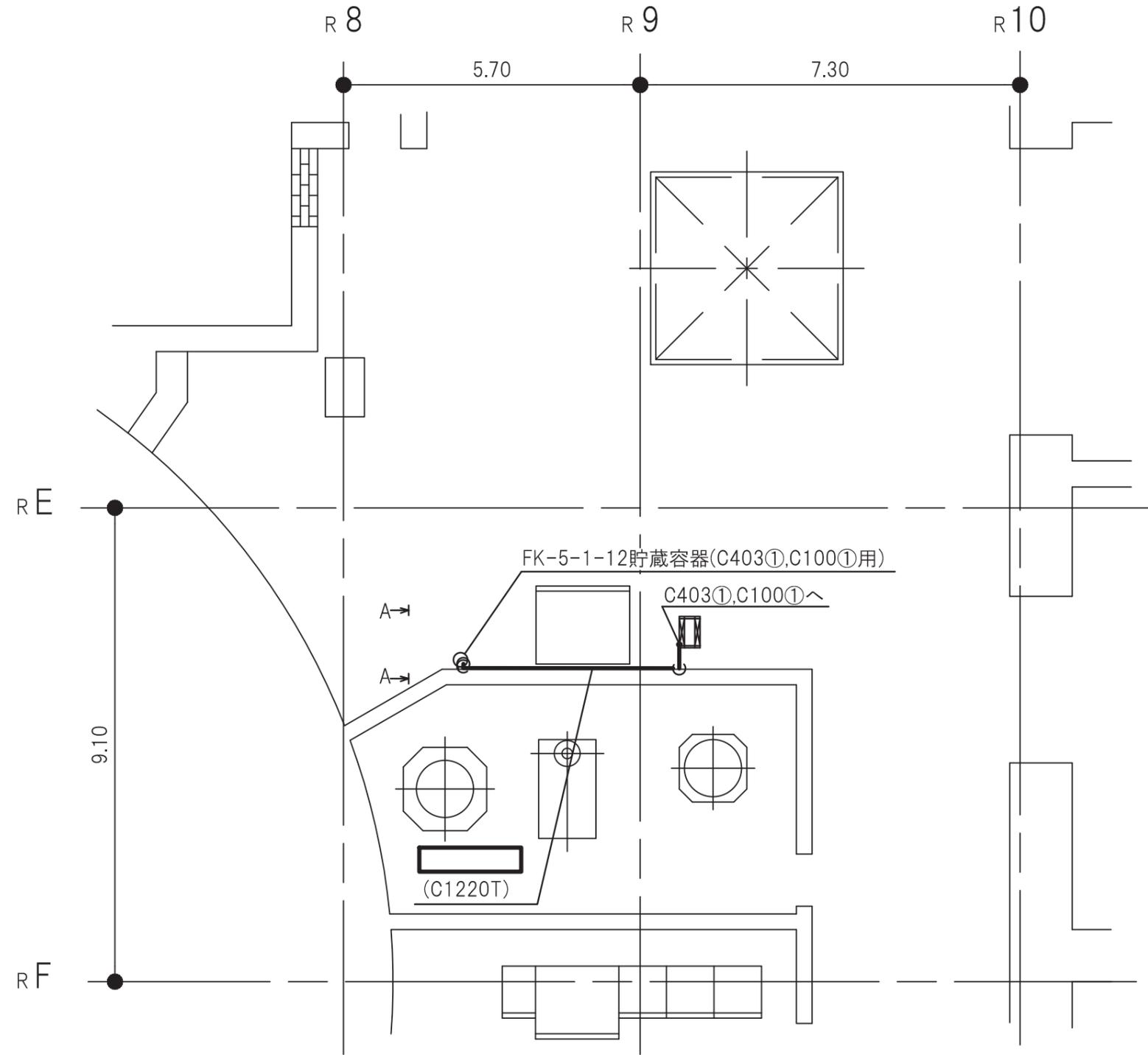
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

原子炉建屋 0.P.15.00(m)

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-37図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P403①,P101①用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

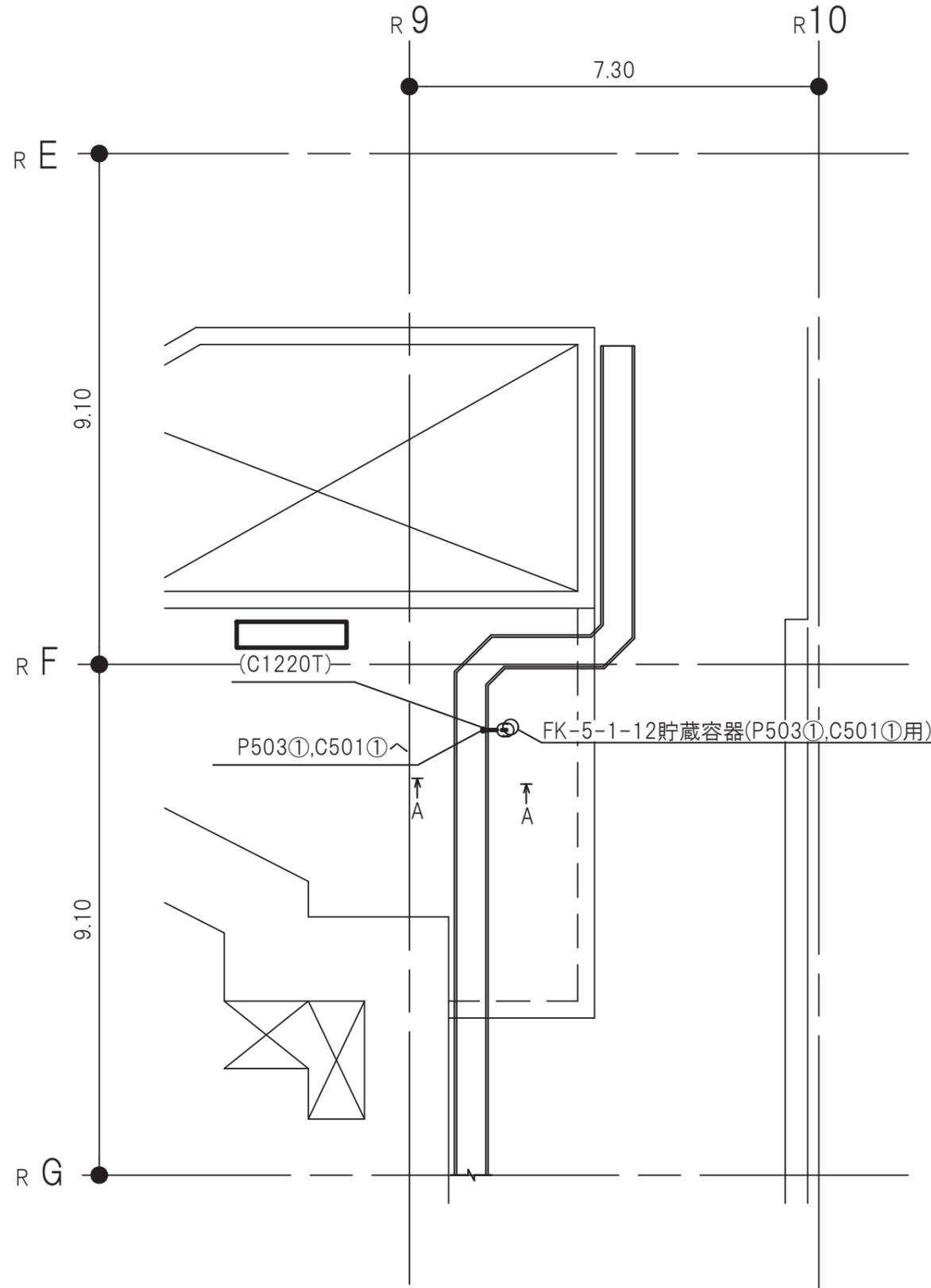
1618



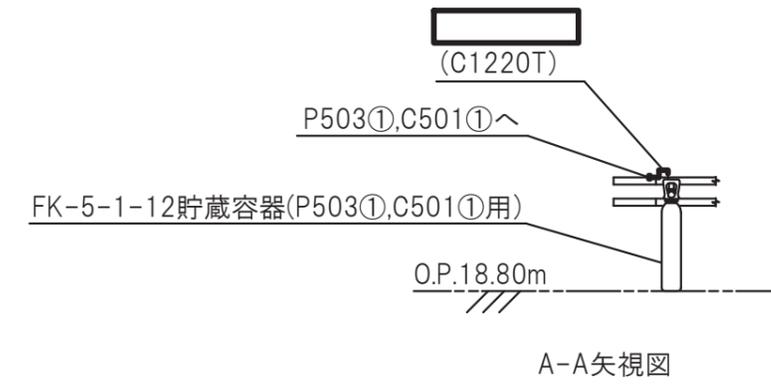
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

原子炉建屋 O.P.15.00(m)

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-38図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C403①,C100①用) |
| 東北電力株式会社 | |



原子炉建屋 O.P.18.80(m)

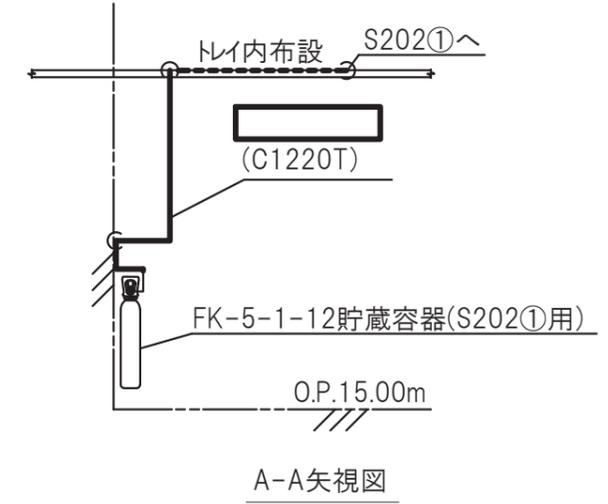
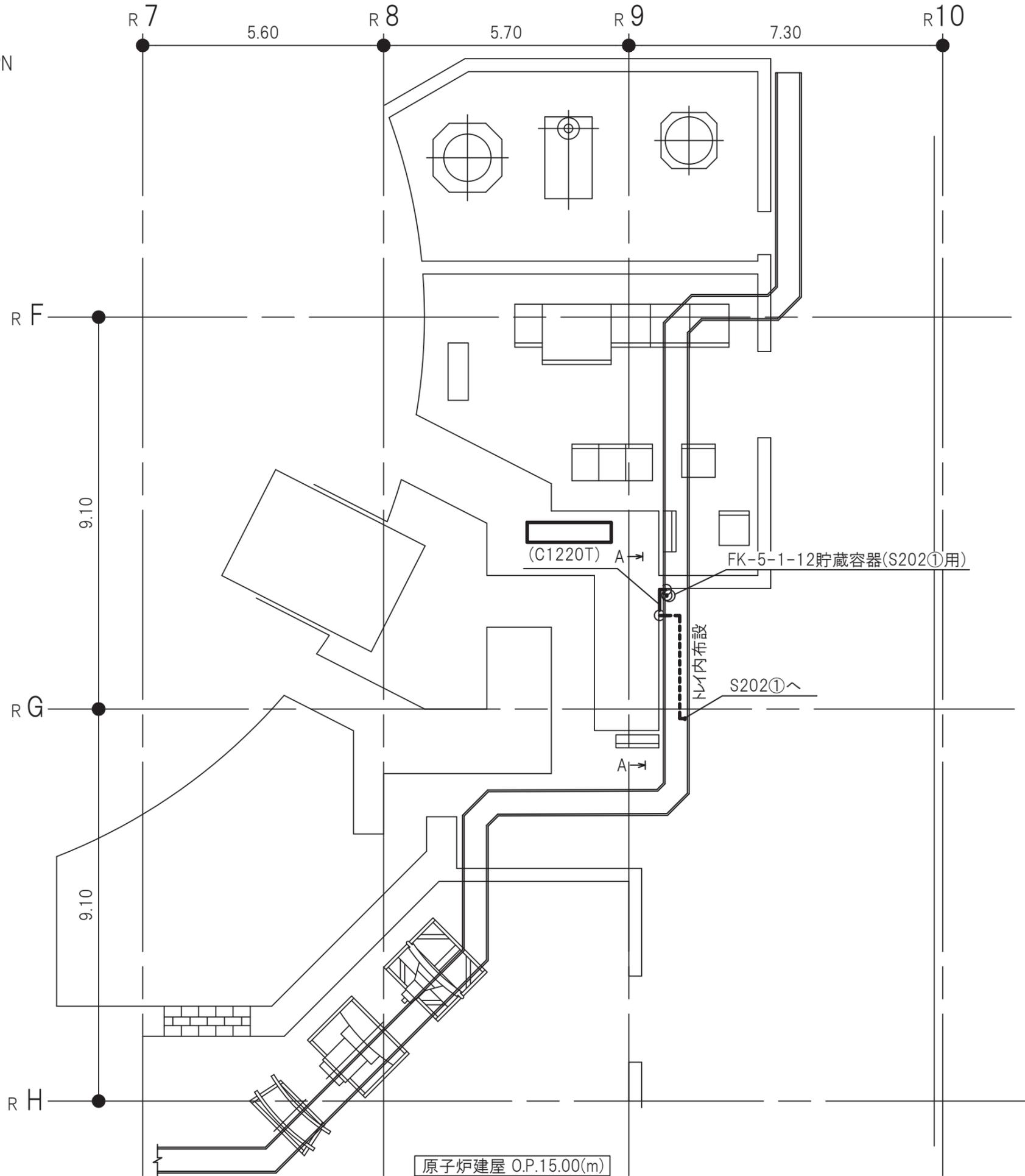
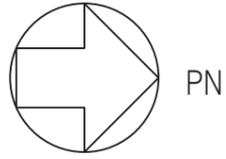


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|---|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-39図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P503①, C501①用) |
| 東北電力株式会社 | |

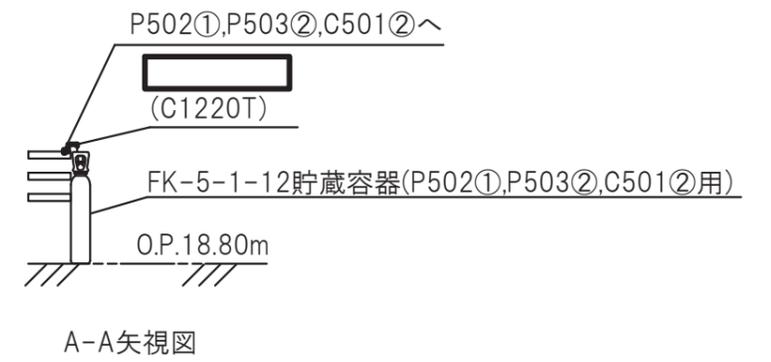
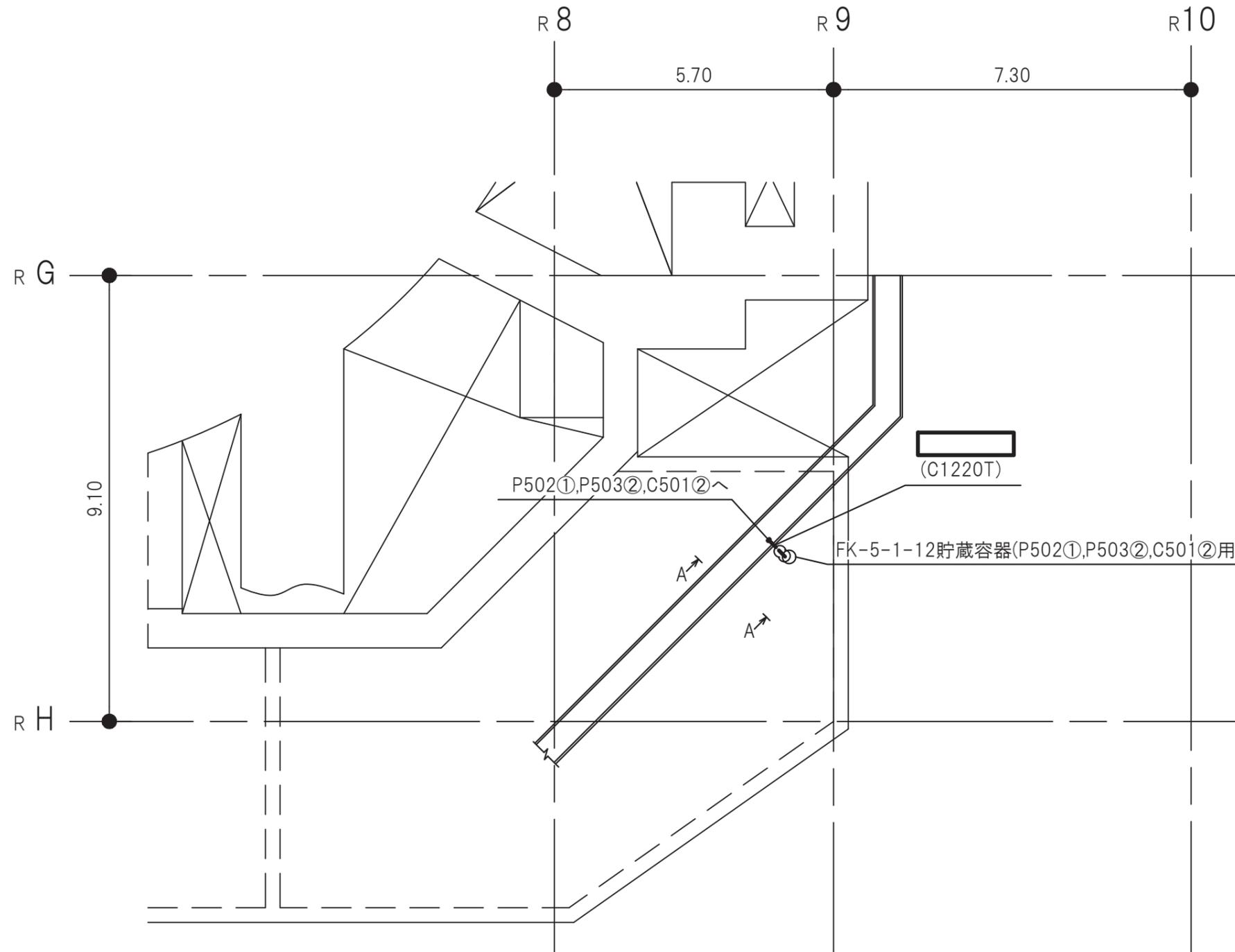
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-40図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S202①用) |
| 東北電力株式会社 | |



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

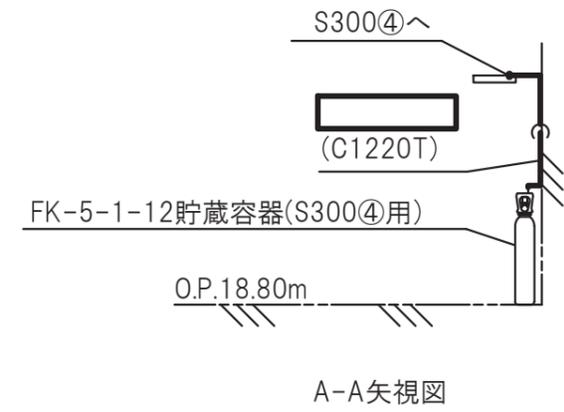
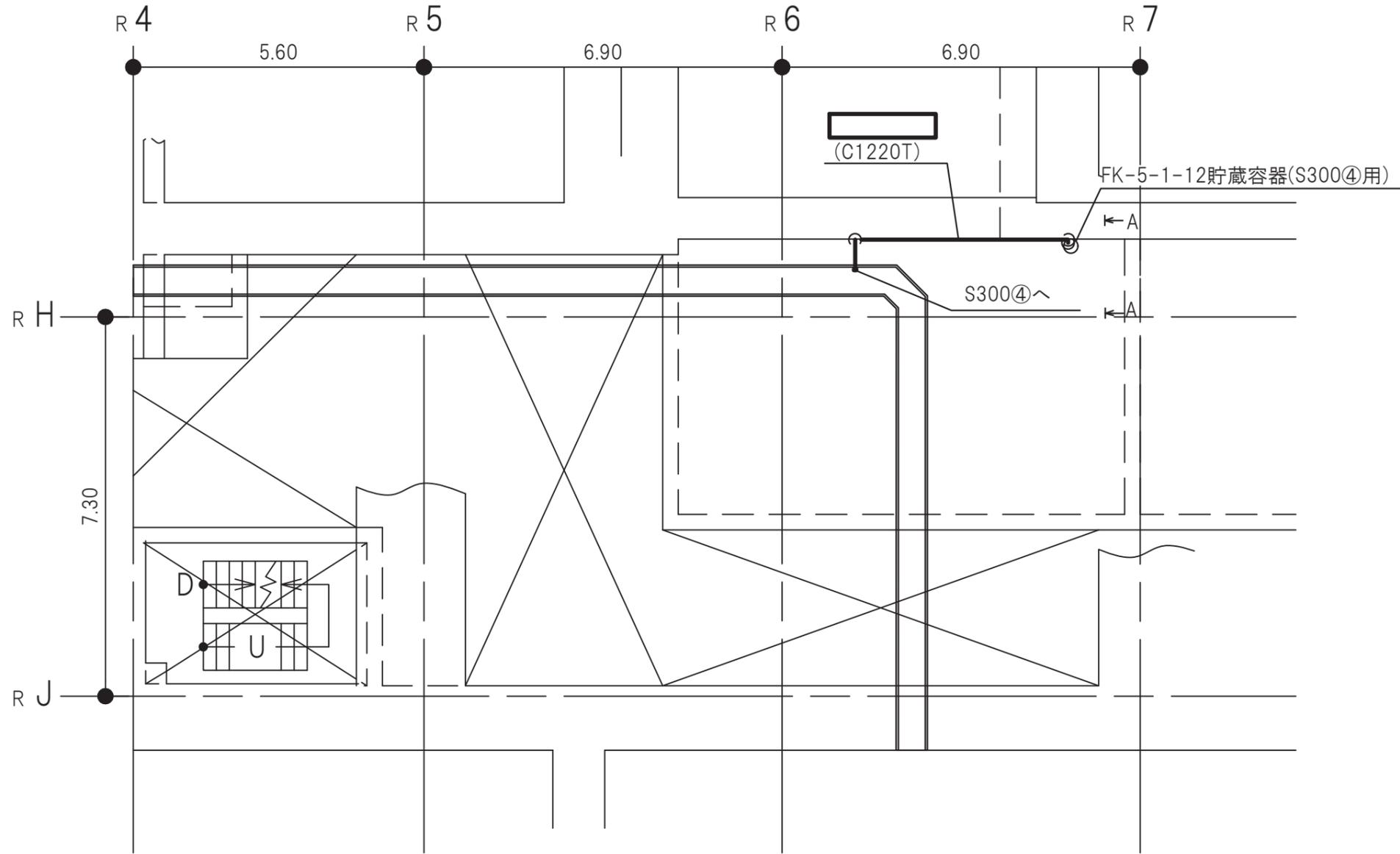
原子炉建屋 O.P.18.80(m)

原子炉建屋

| | |
|---------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-41図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P502①, P503②, C501②用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



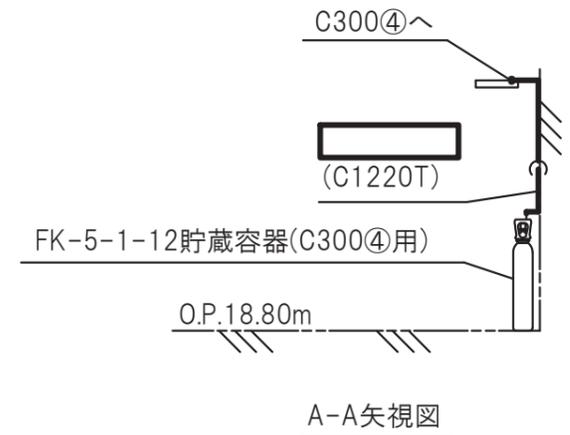
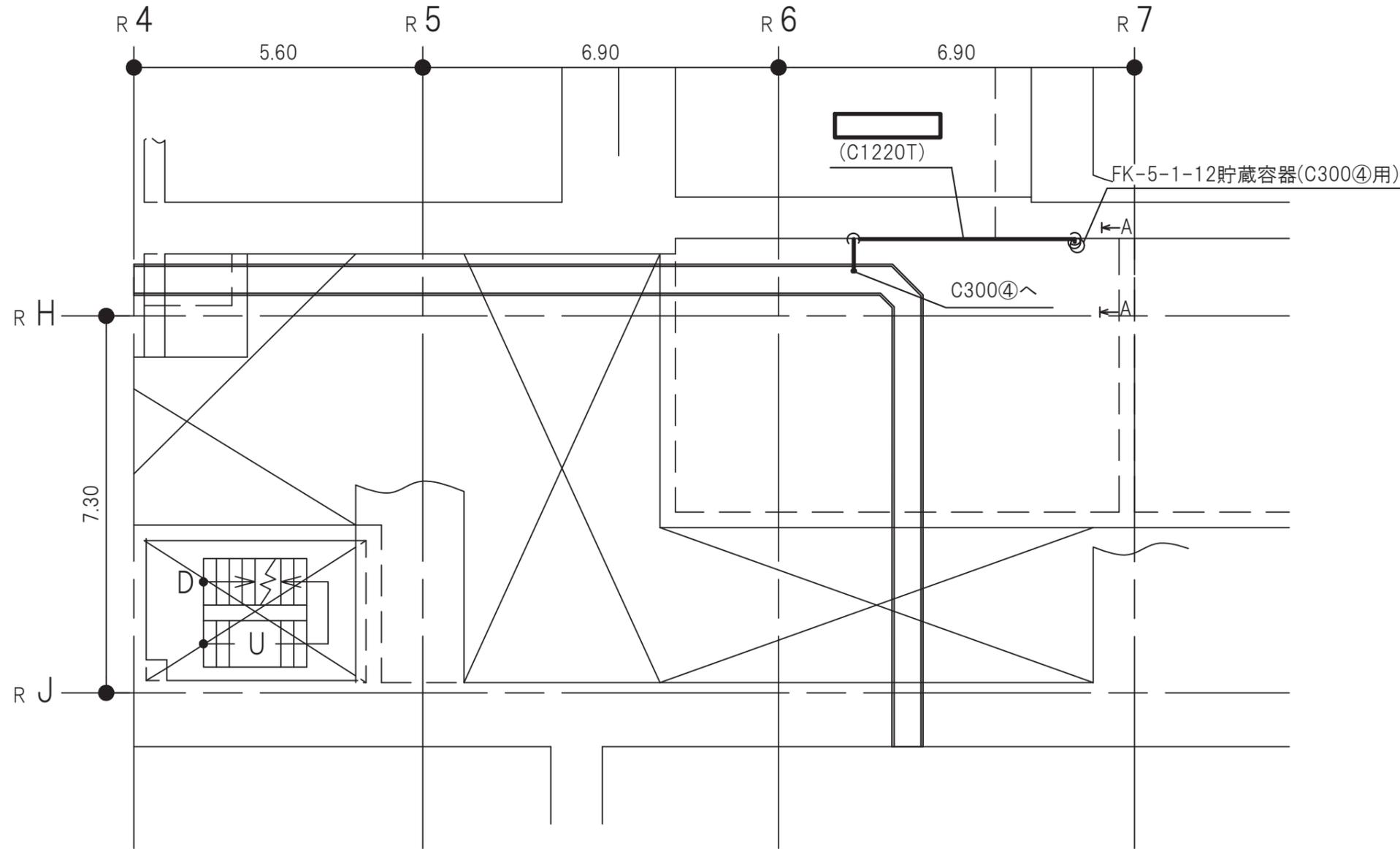
原子炉建屋 O.P.18.80(m)

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-42図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S300④用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

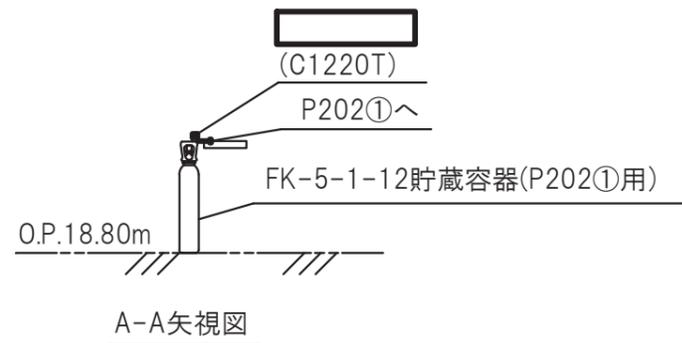
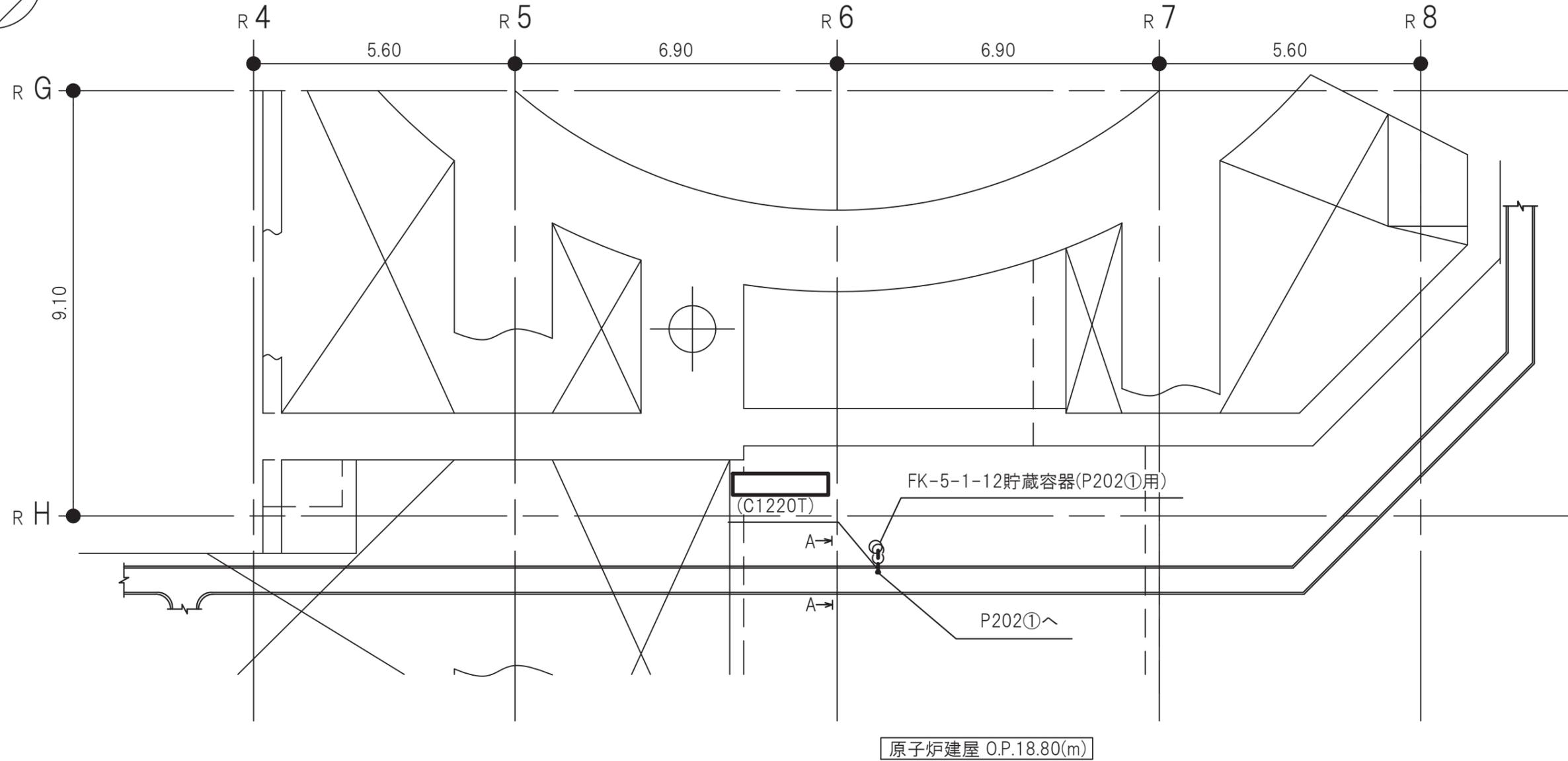
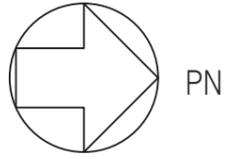
0420



原子炉建屋 O.P.18.80(m)

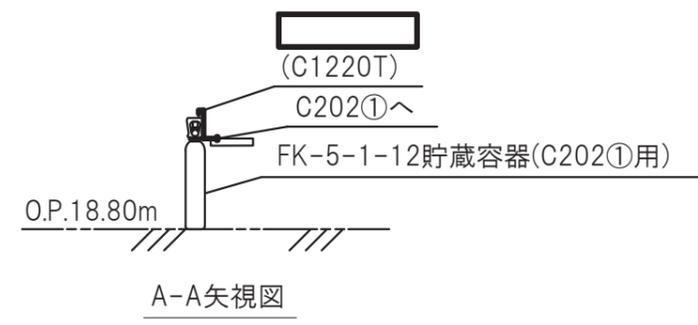
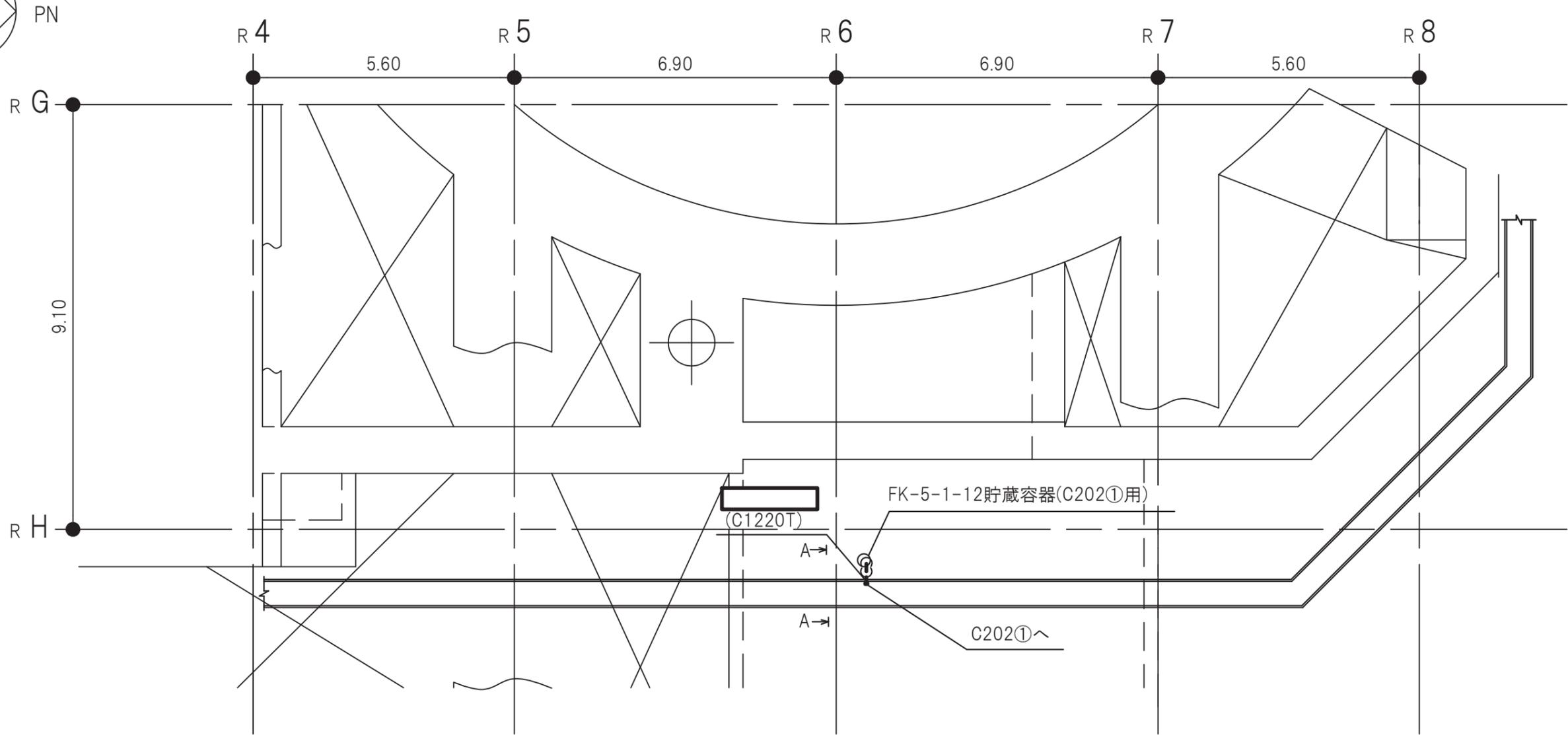
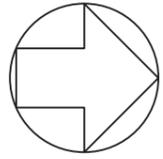
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-43図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C300④用) |
| 東北電力株式会社 | |



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

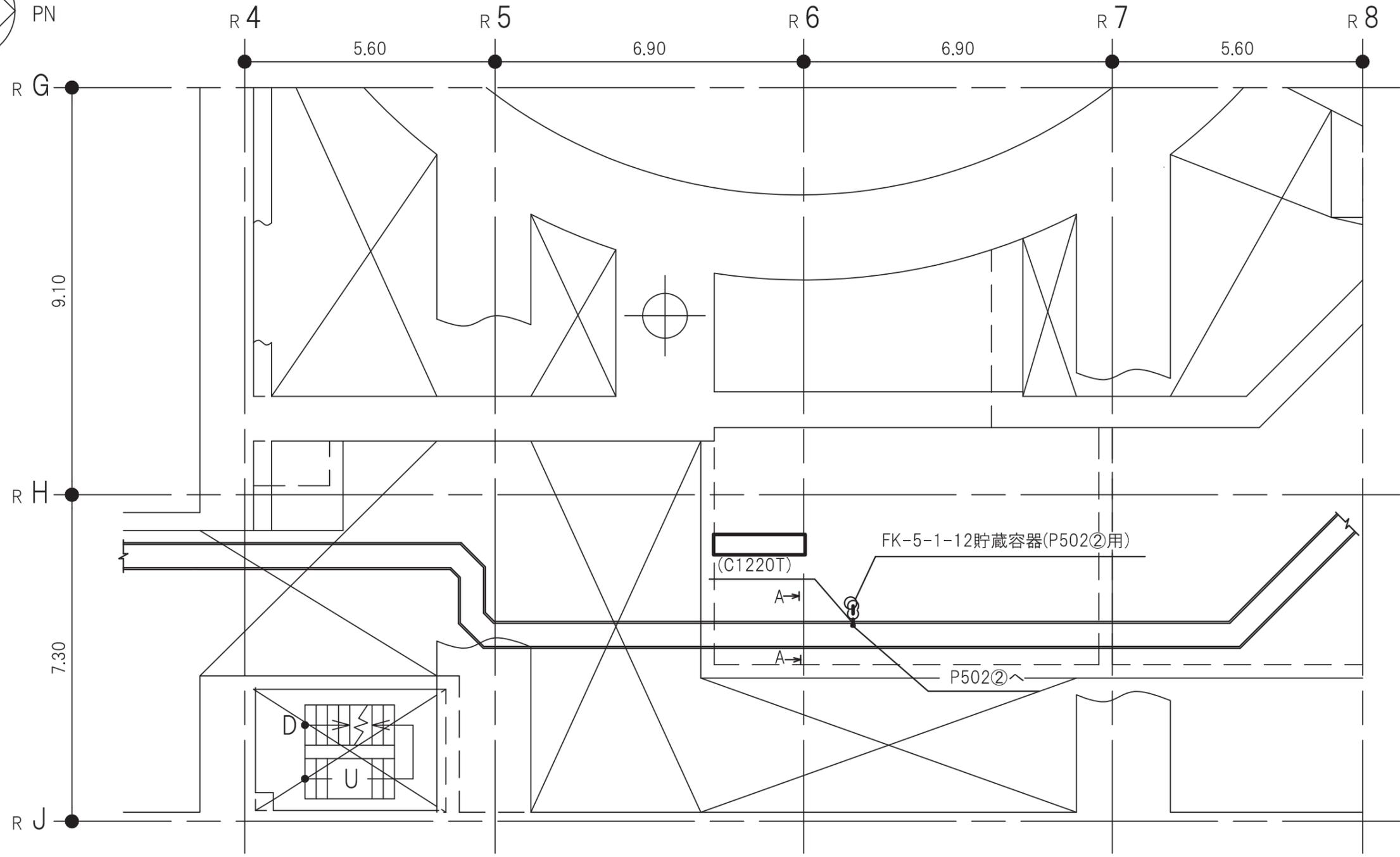
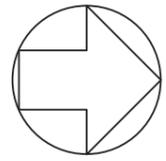
| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-44図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P202①用) |
| 東北電力株式会社 | |



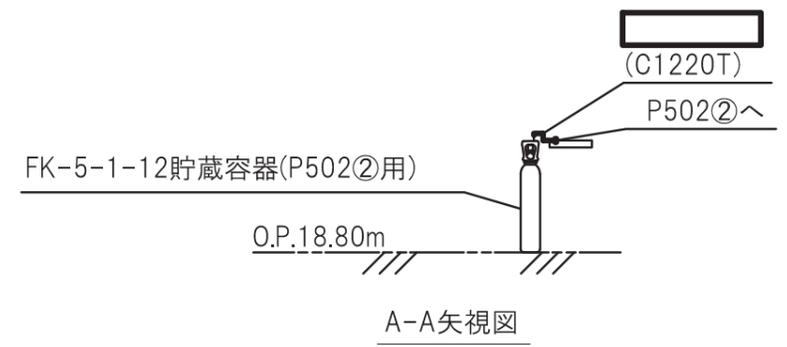
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-45図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C202①用) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



原子炉建屋 O.P.18.80(m)

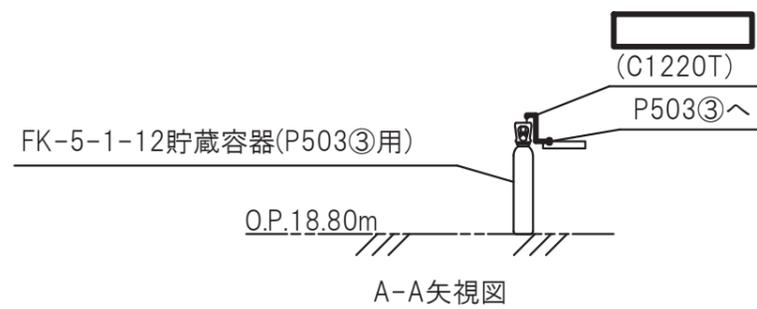
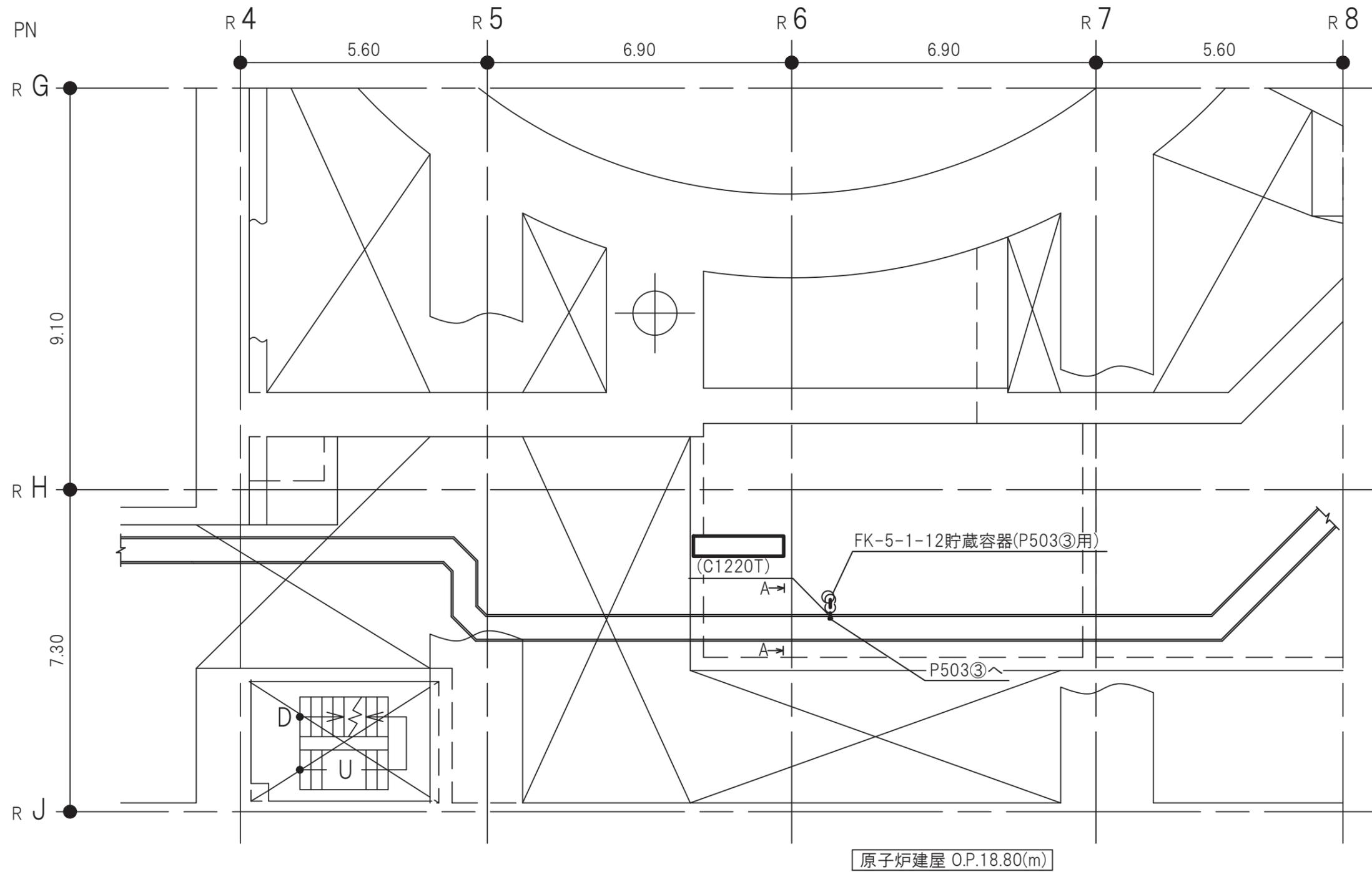
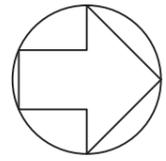


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-46図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P502②用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

1629

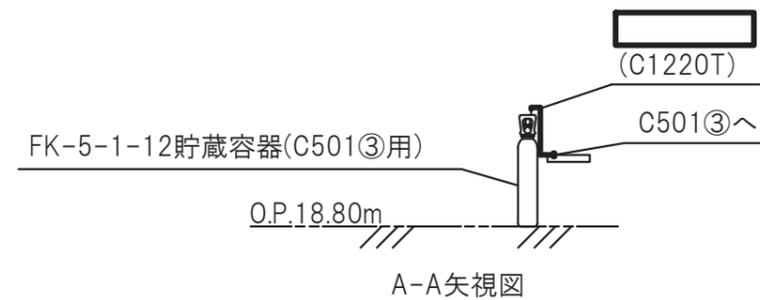
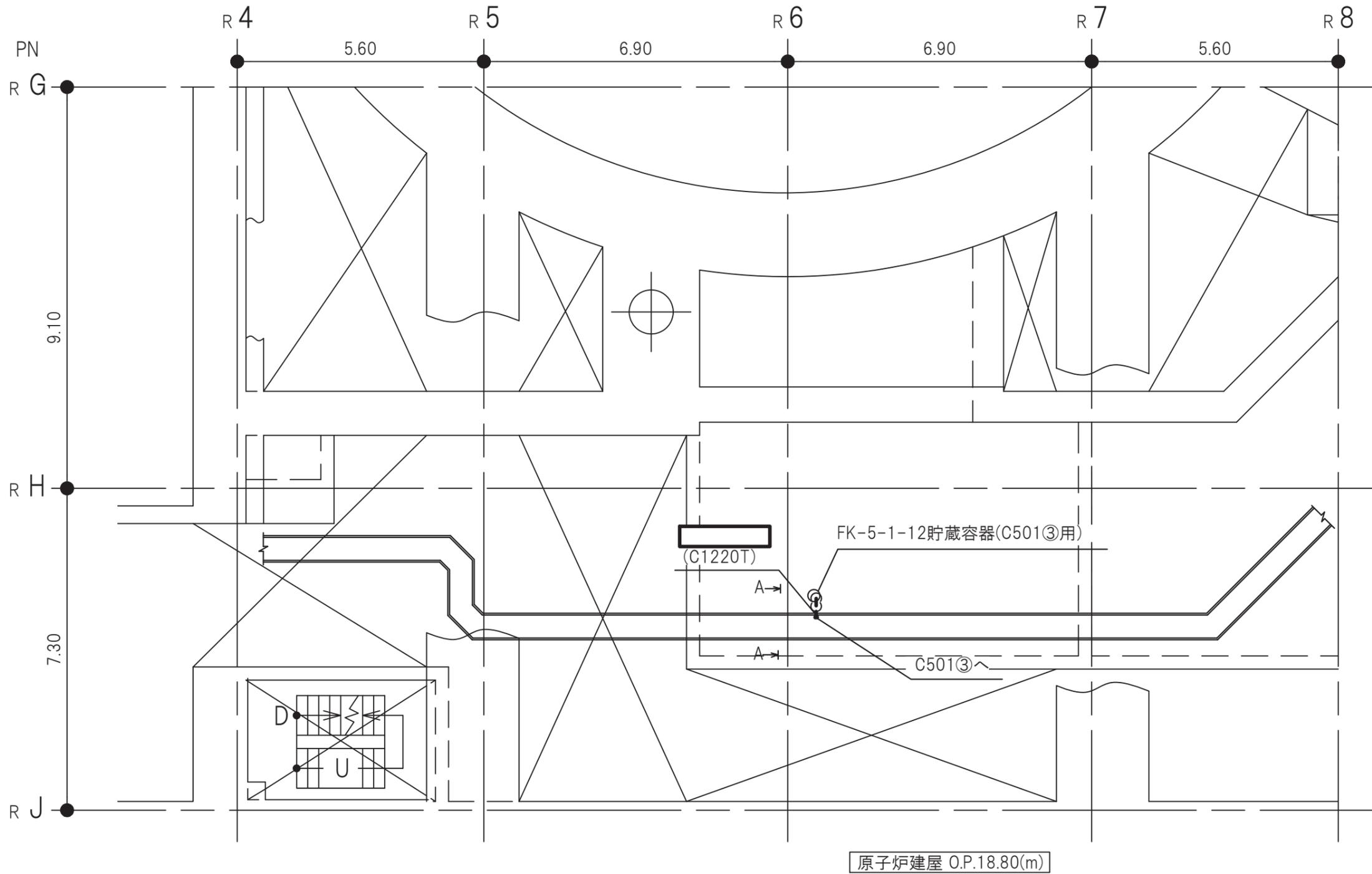
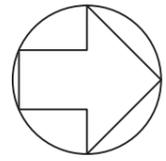


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-47図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P503③用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

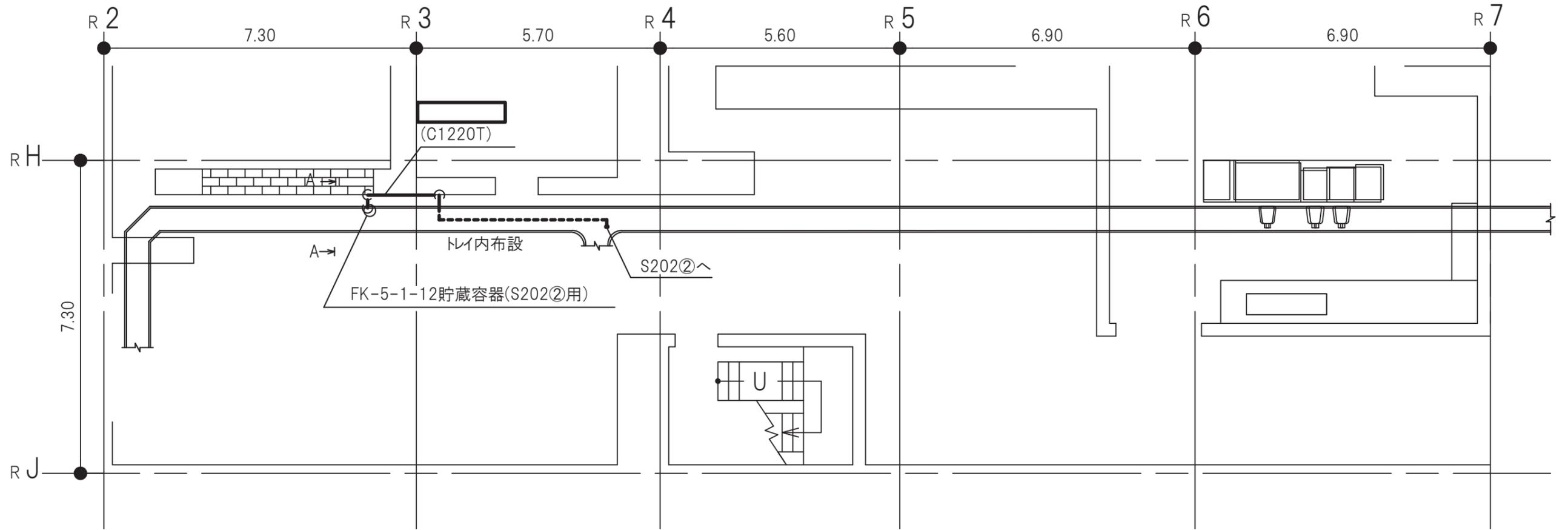
0420



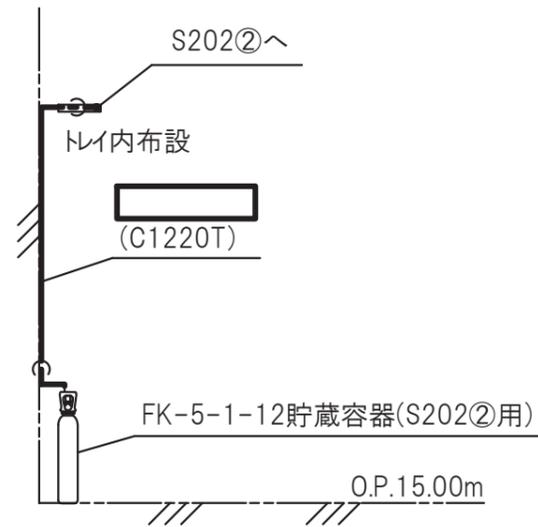
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-48図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C501③用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



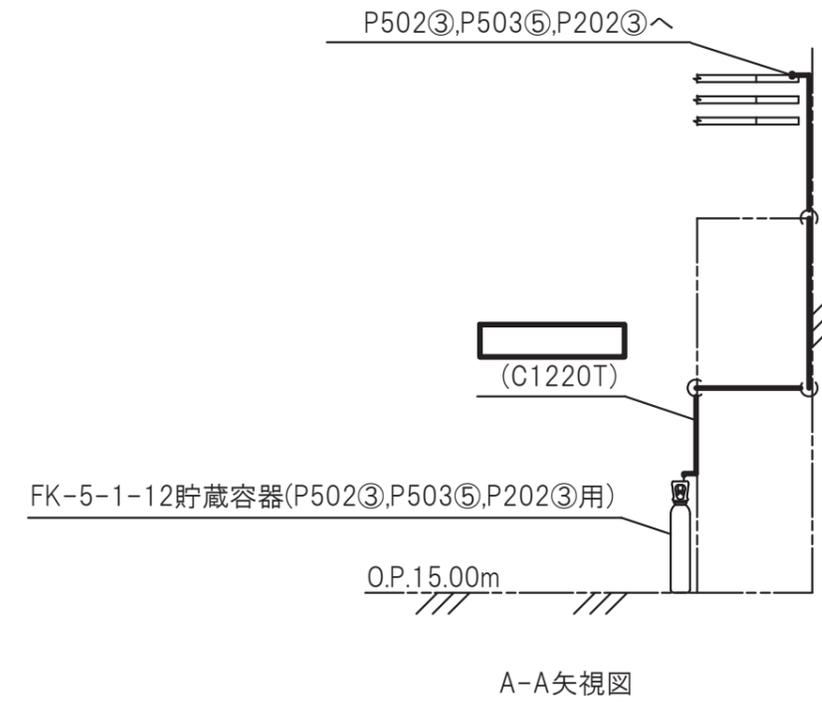
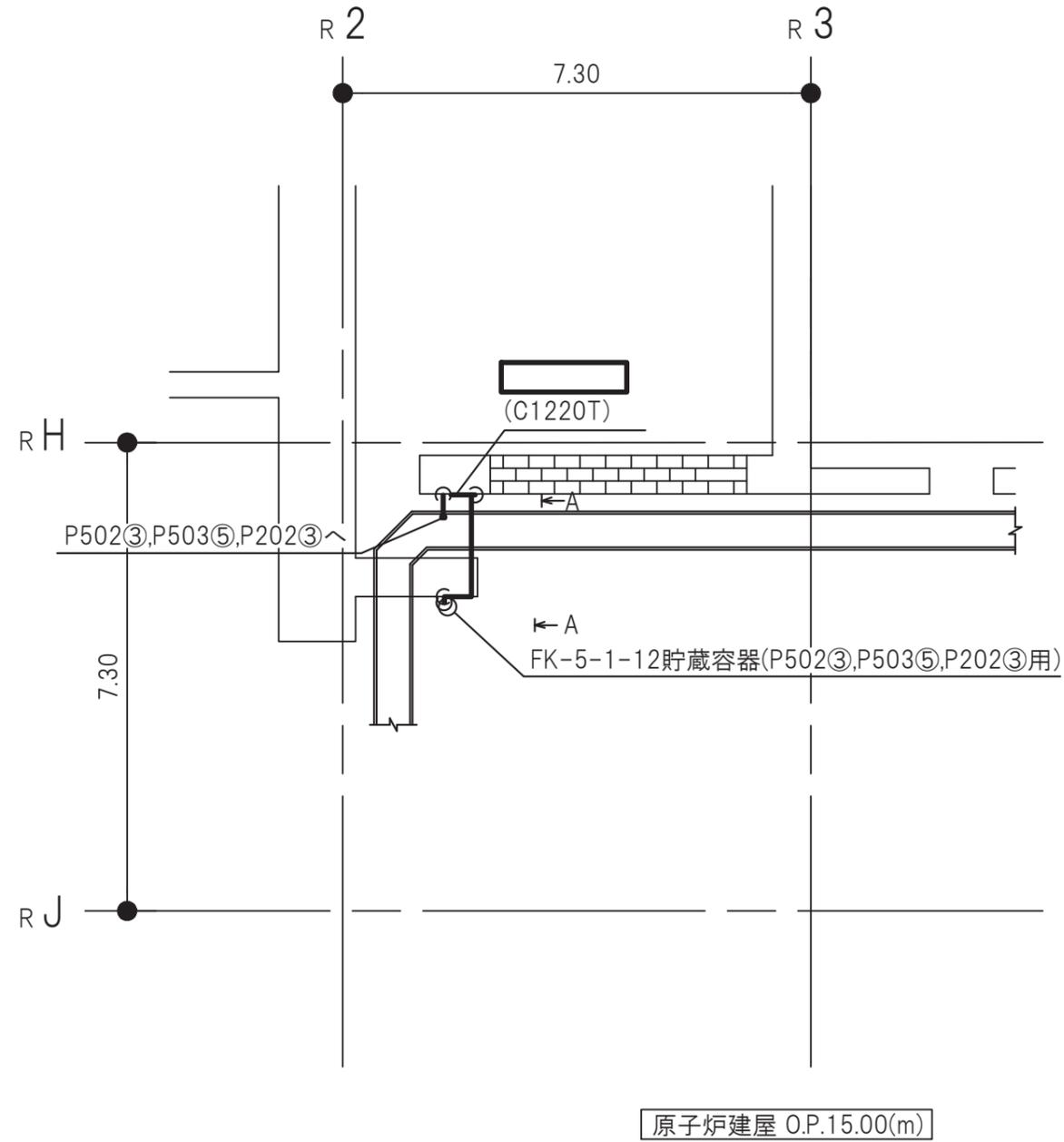
原子炉建屋 O.P.15.00(m)



A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-49図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S202②用) |
| 東北電力株式会社 | |



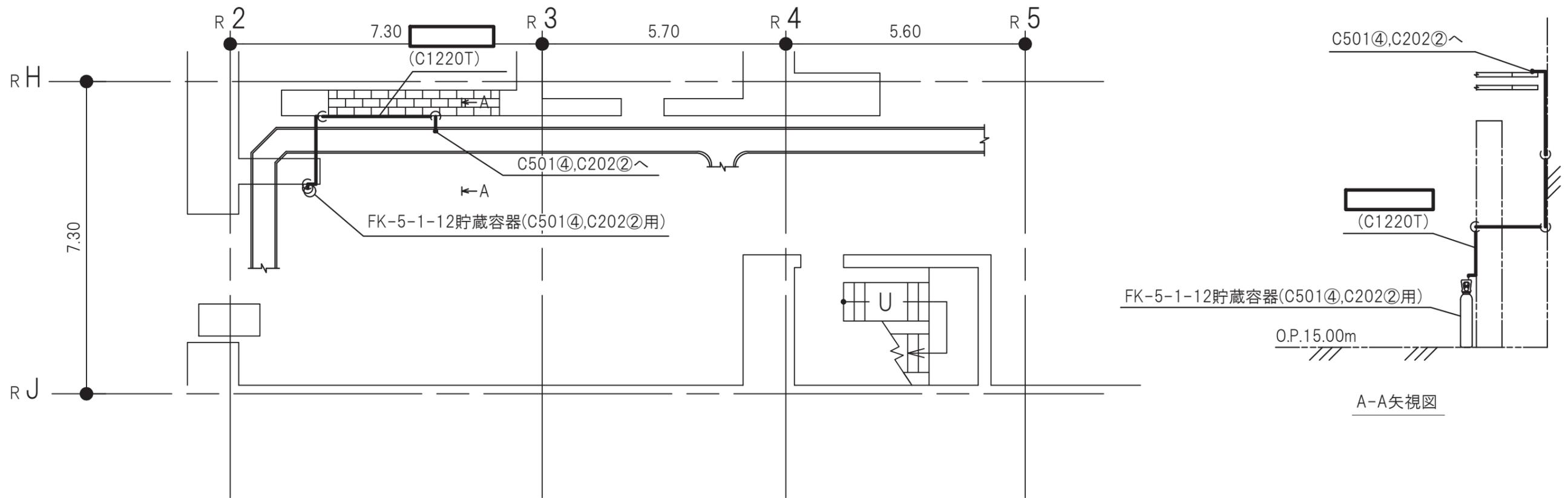
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

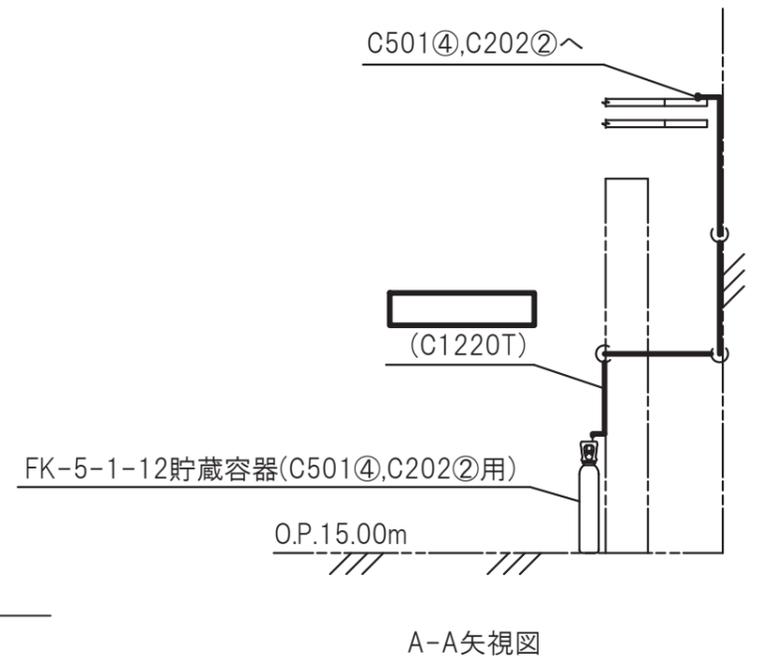
| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-50図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P502③,P503⑤,P202③用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



原子炉建屋 O.P.15.00(m)

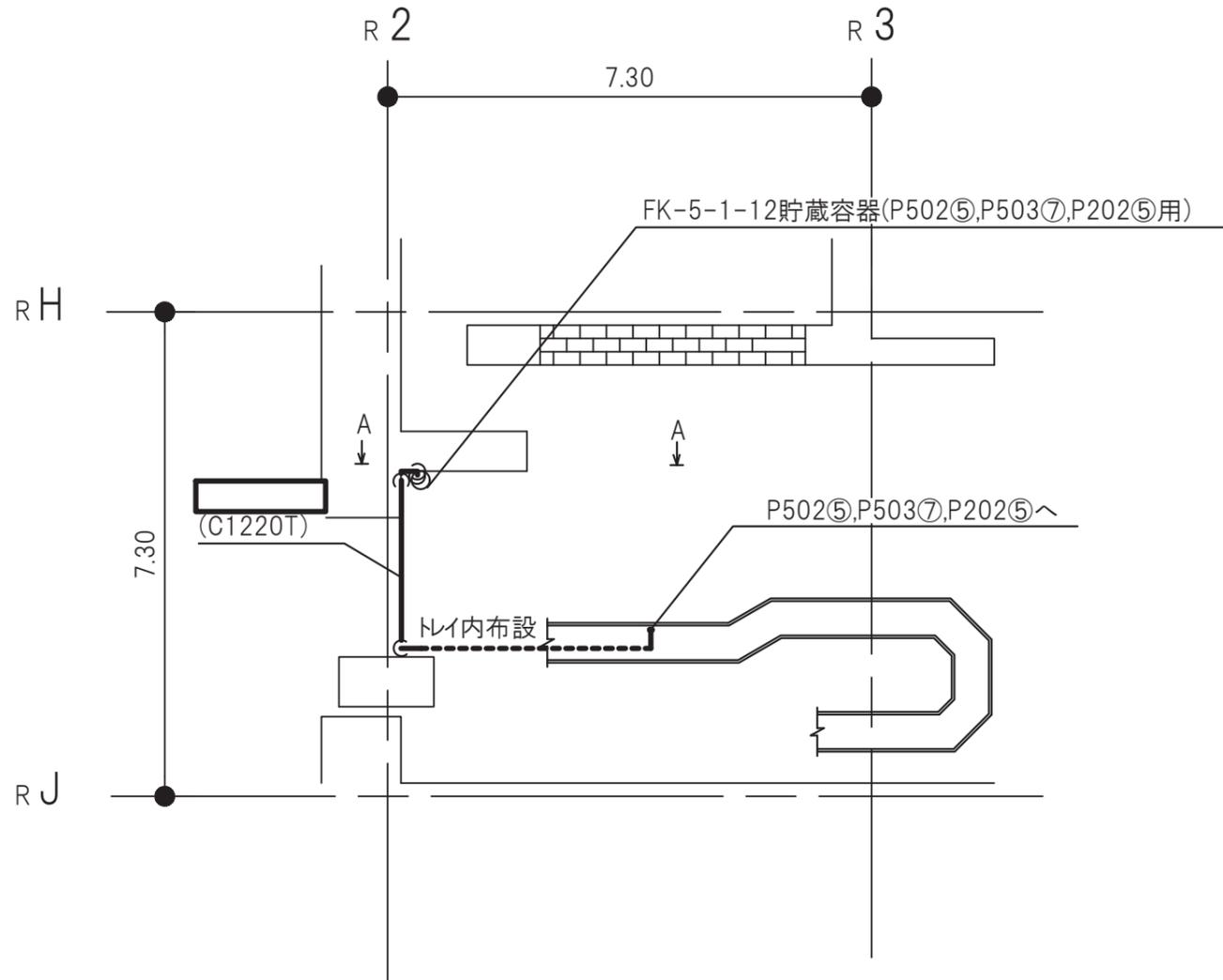


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

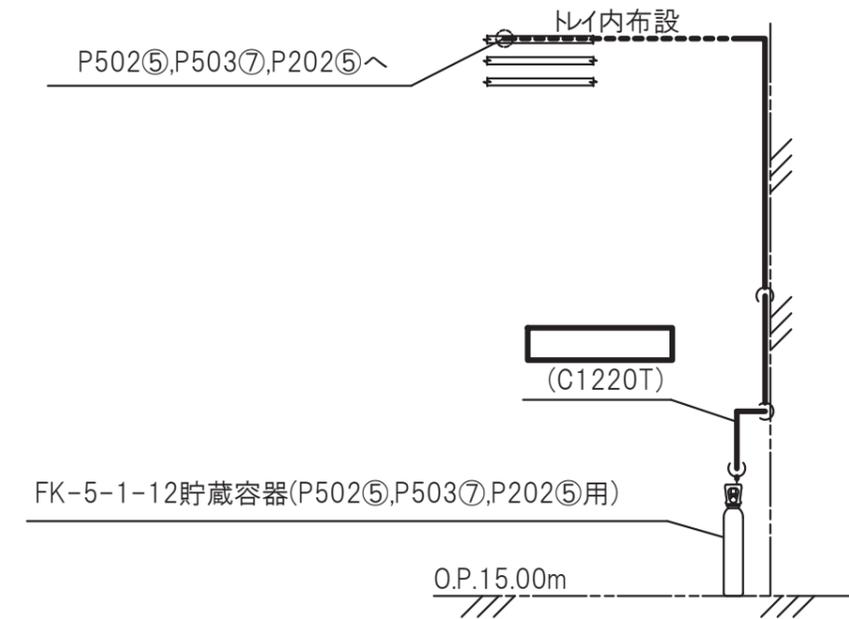
| | |
|---------------|---|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-51図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C501④, C202②用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



原子炉建屋 O.P.15.00(m)



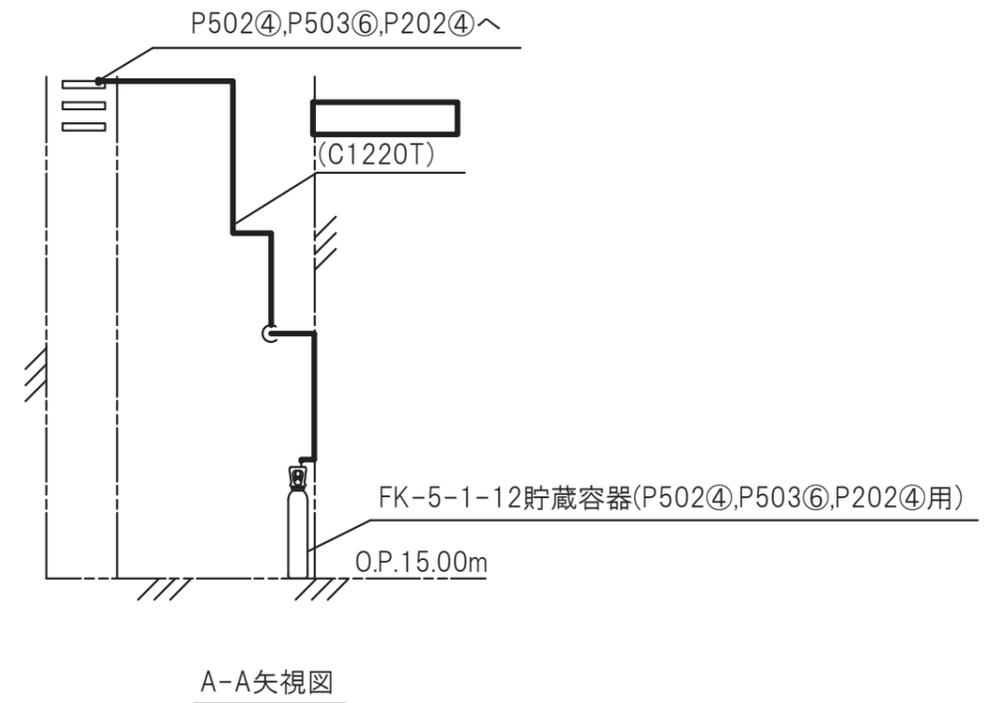
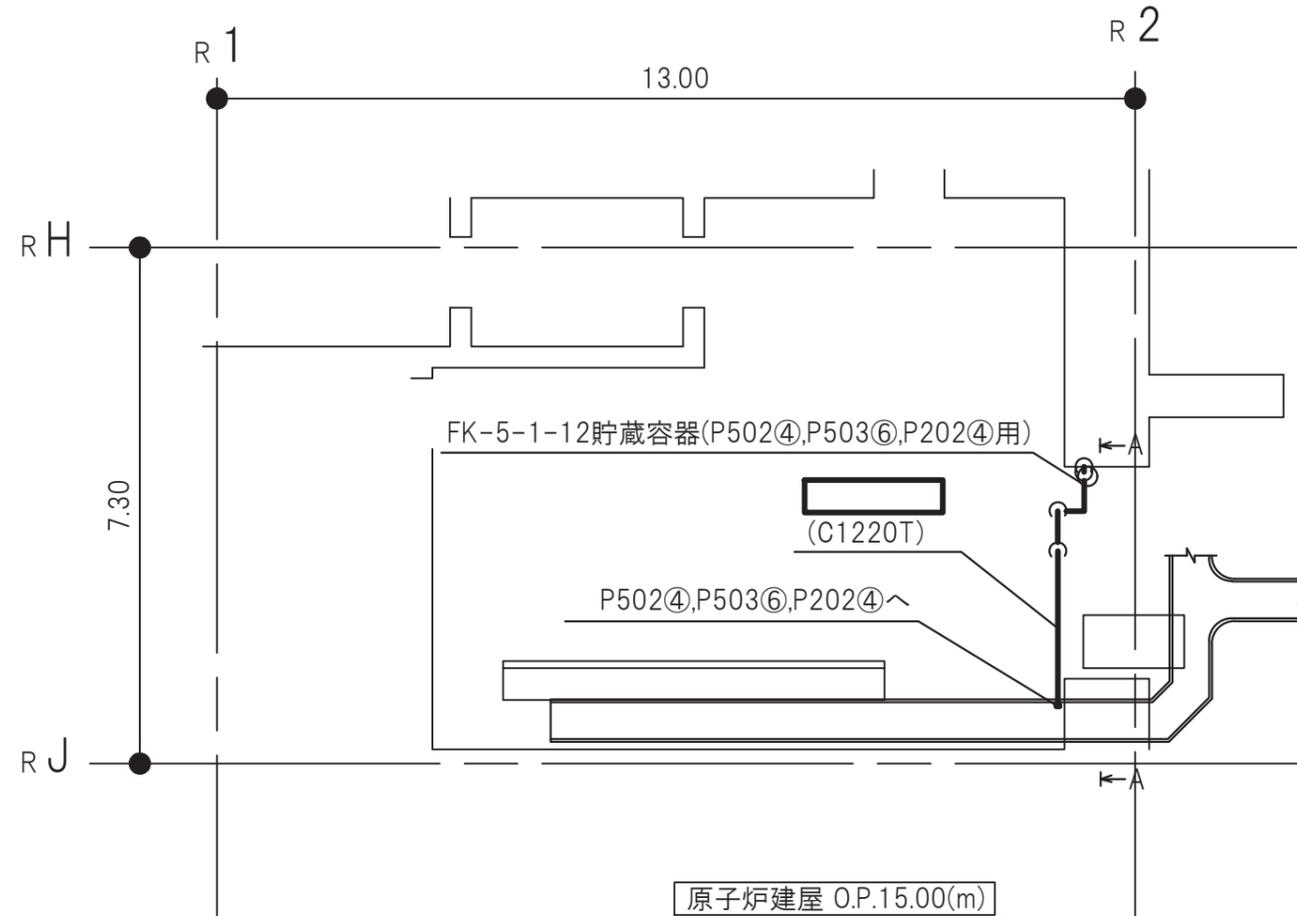
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-52図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P502⑤,P503⑦,P202⑤用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

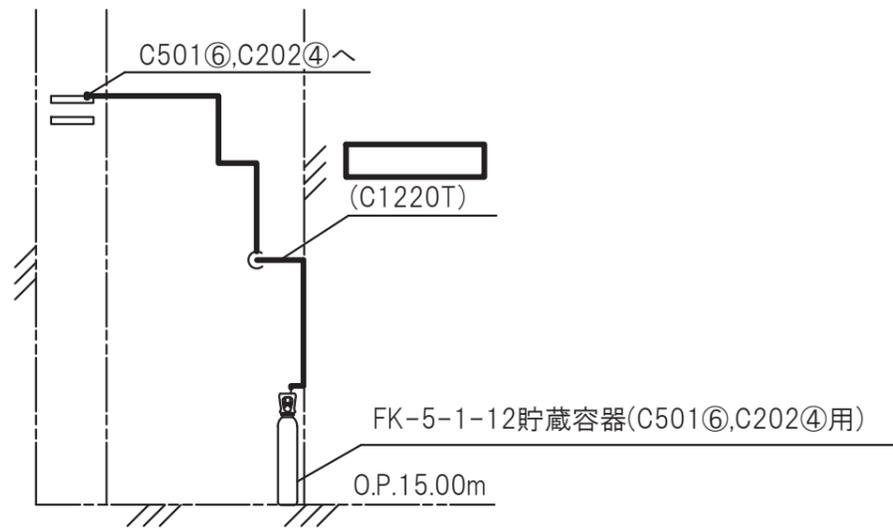
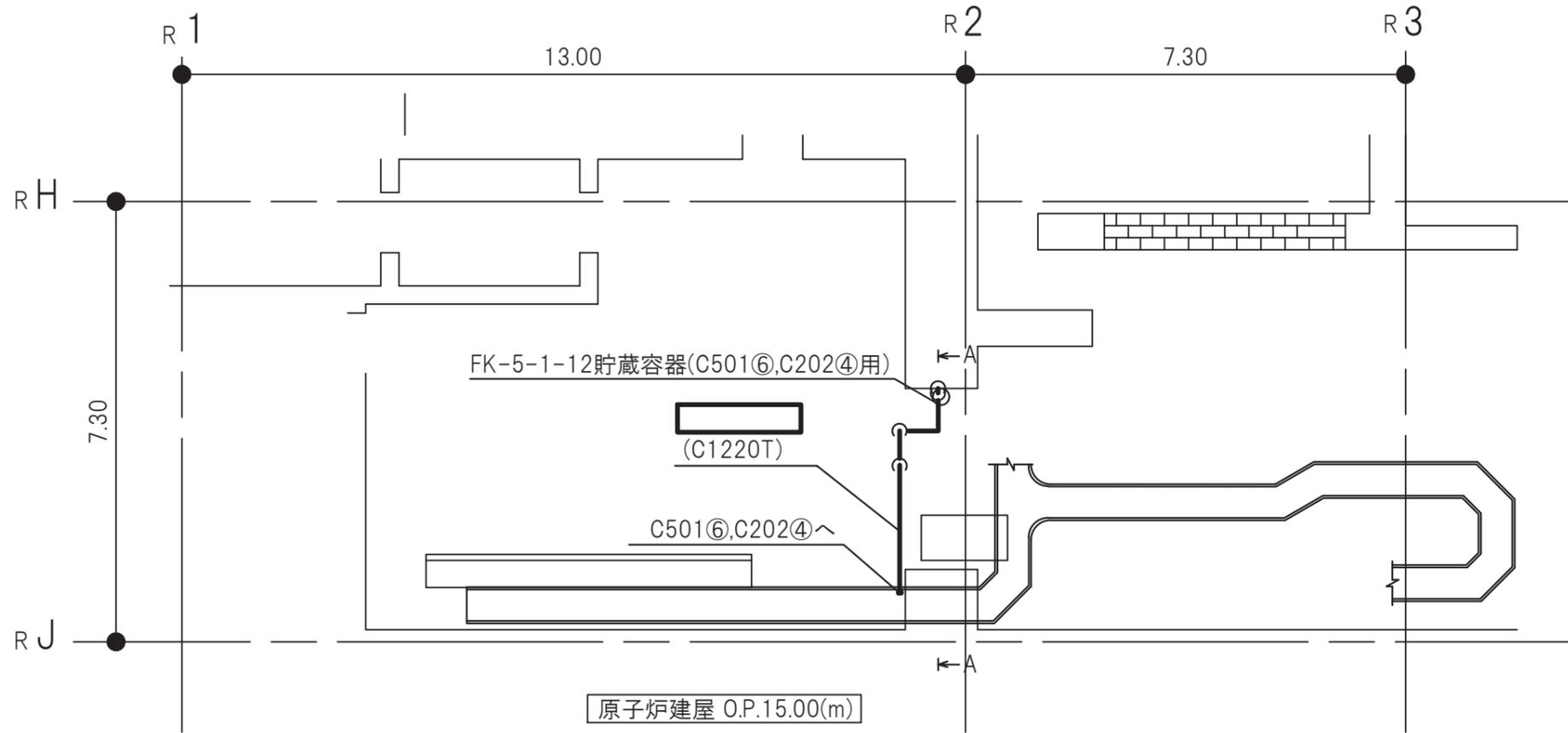
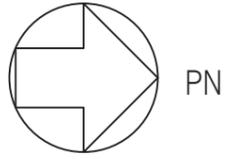


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-53図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P502④,P503⑥,P202④用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

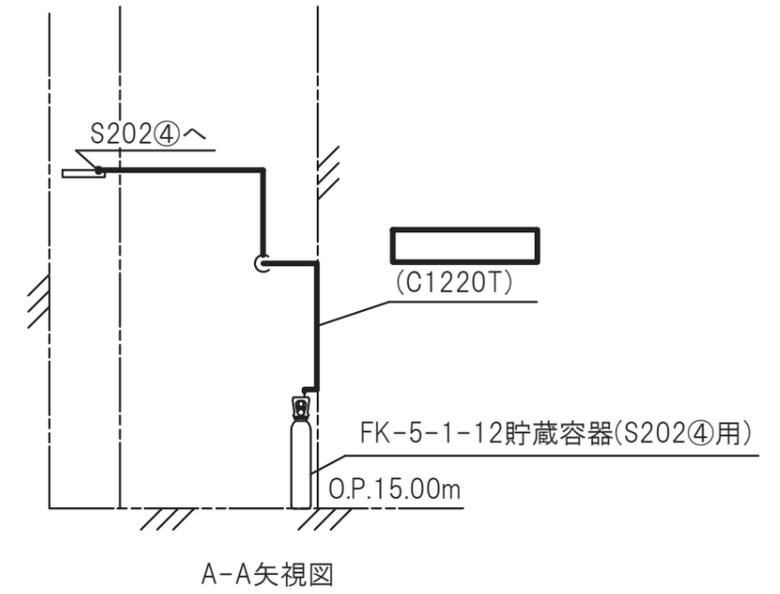
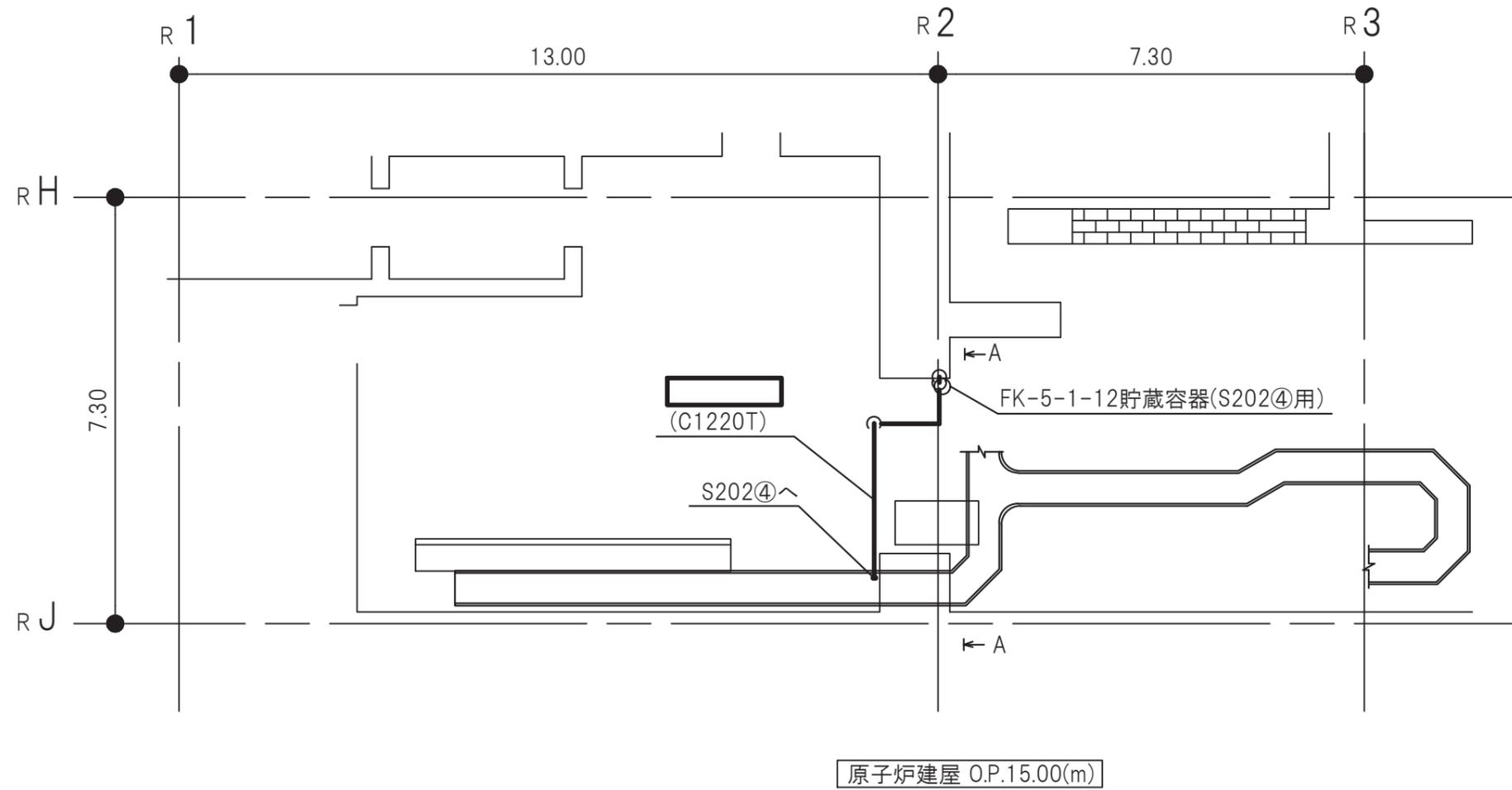
0420



A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-54図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C501⑥,C202④用) |
| 東北電力株式会社 | |

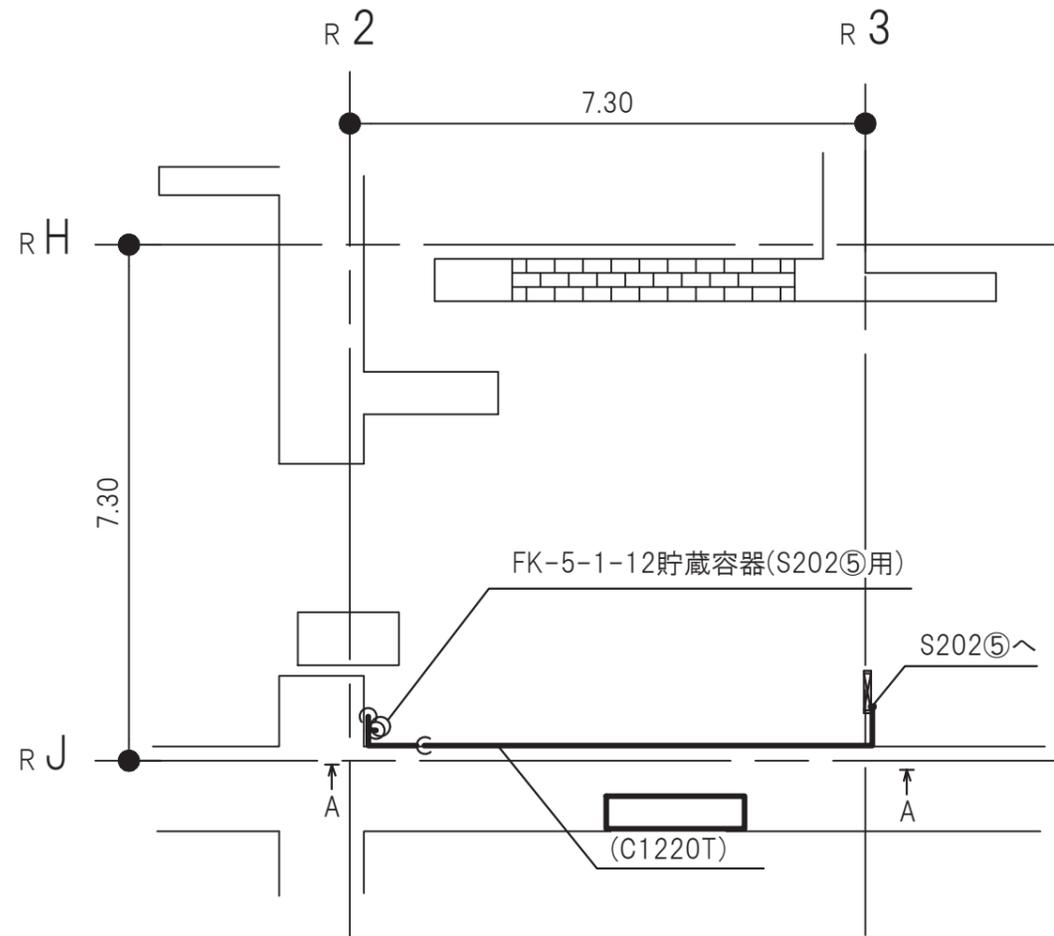


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

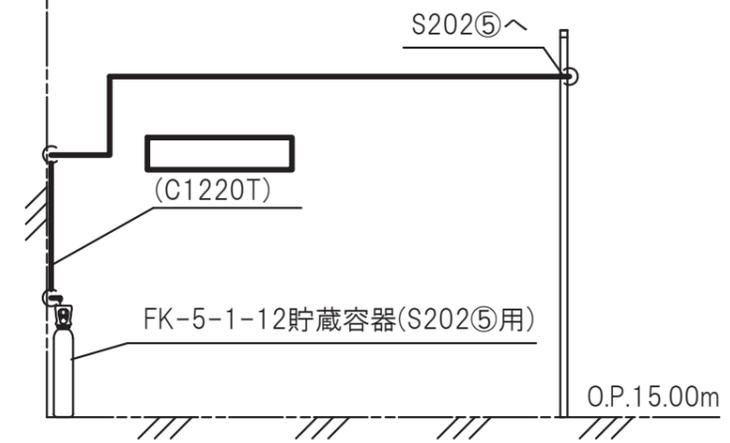
| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-55図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S202④用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



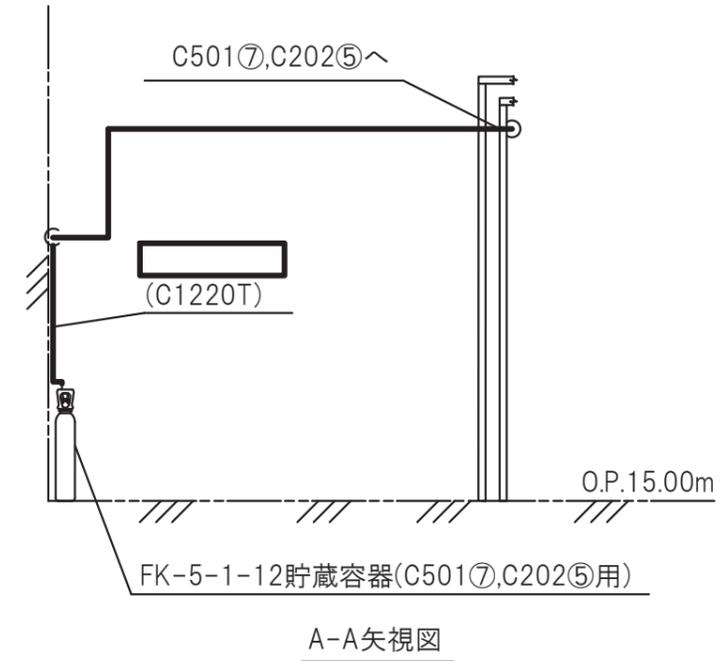
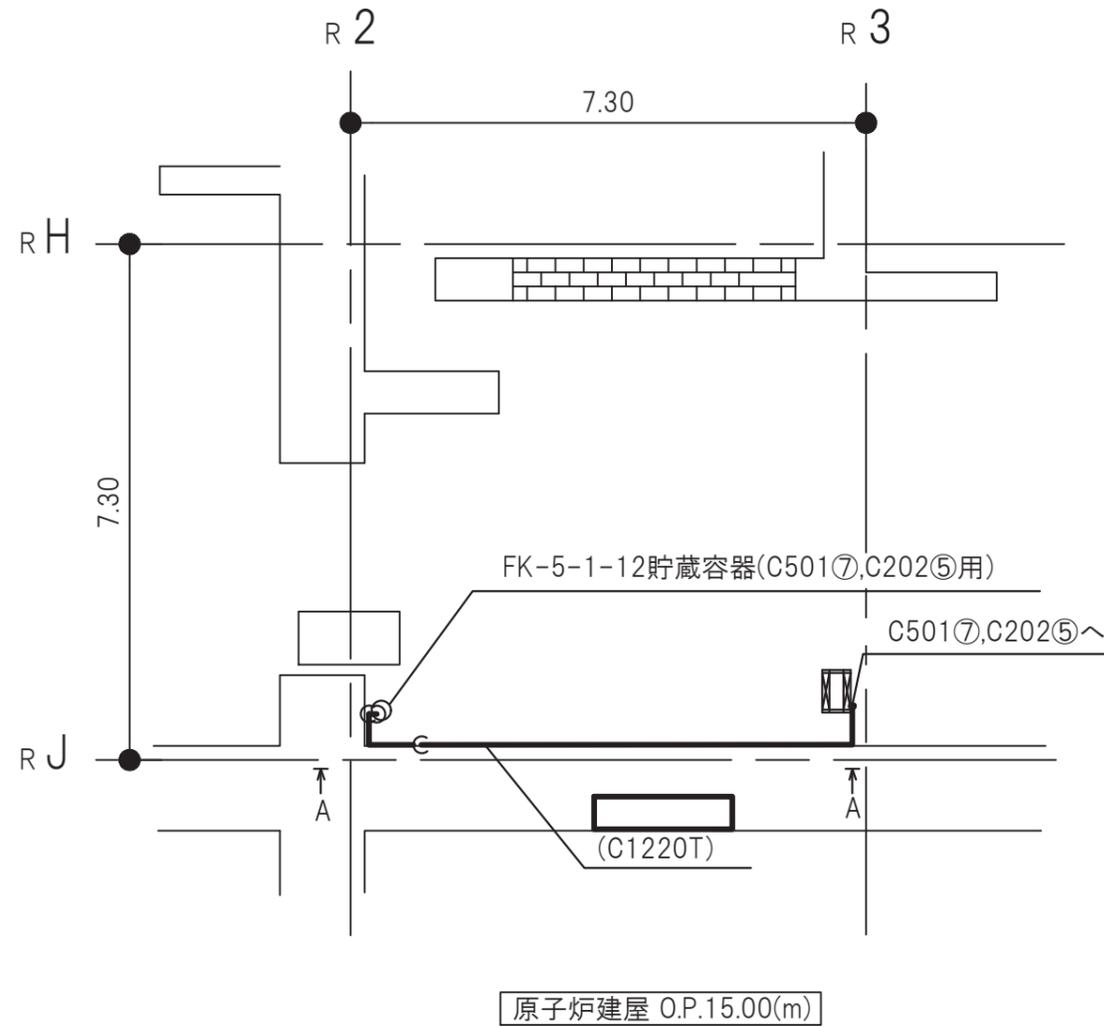
原子炉建屋 O.P.15.00(m)



A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-56図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S202⑤用) |
| 東北電力株式会社 | |

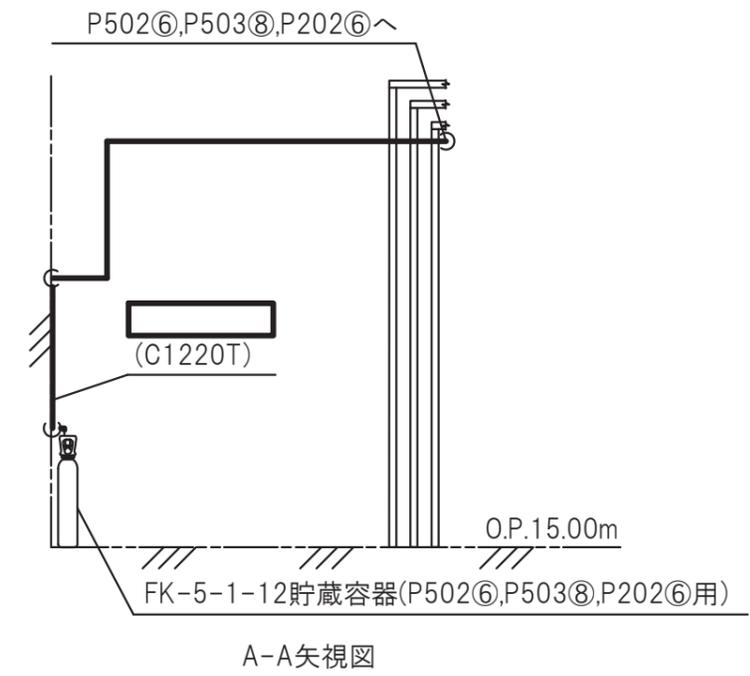
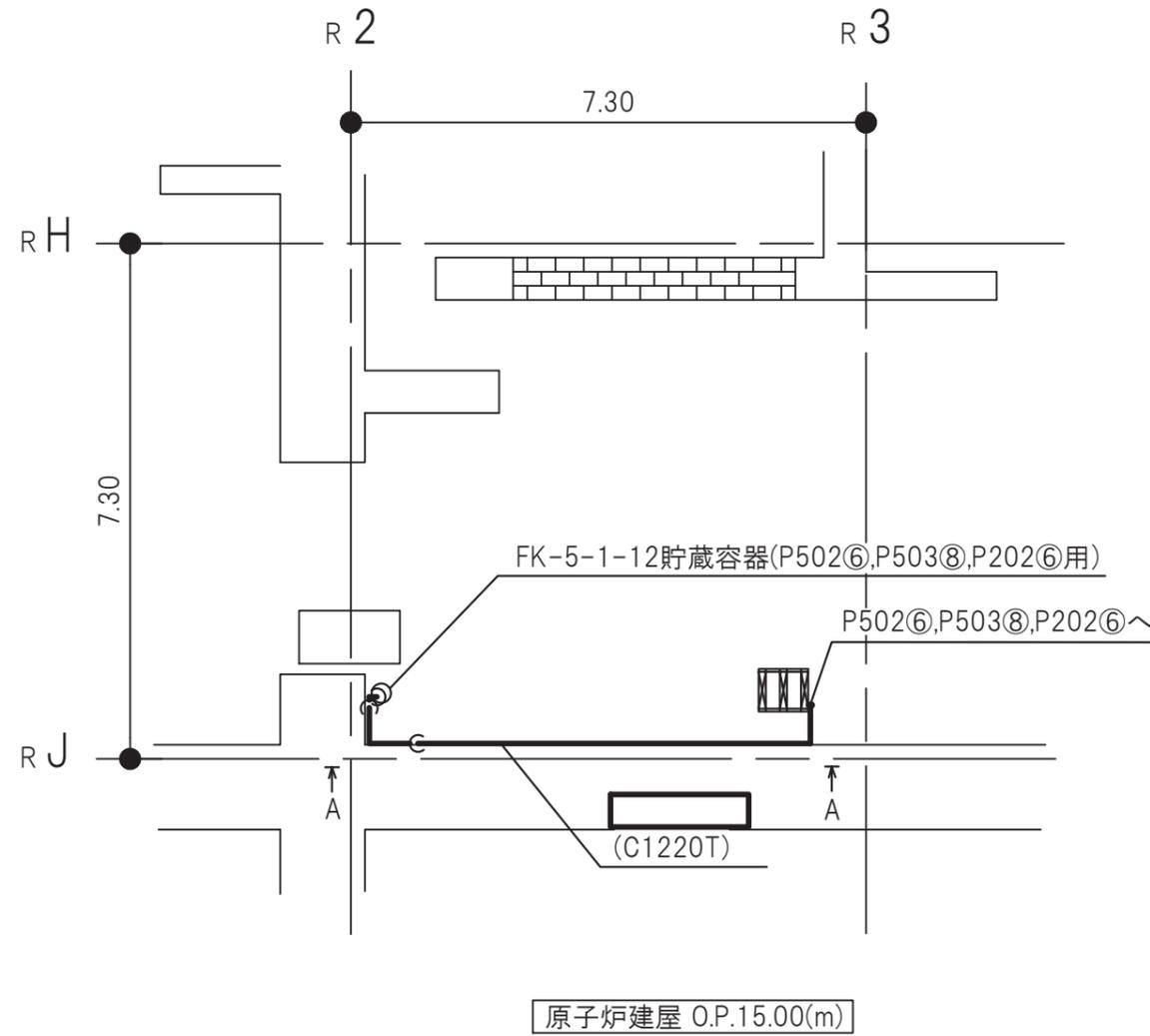


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-57図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C501⑦,C202⑤用) |
| 東北電力株式会社 | |

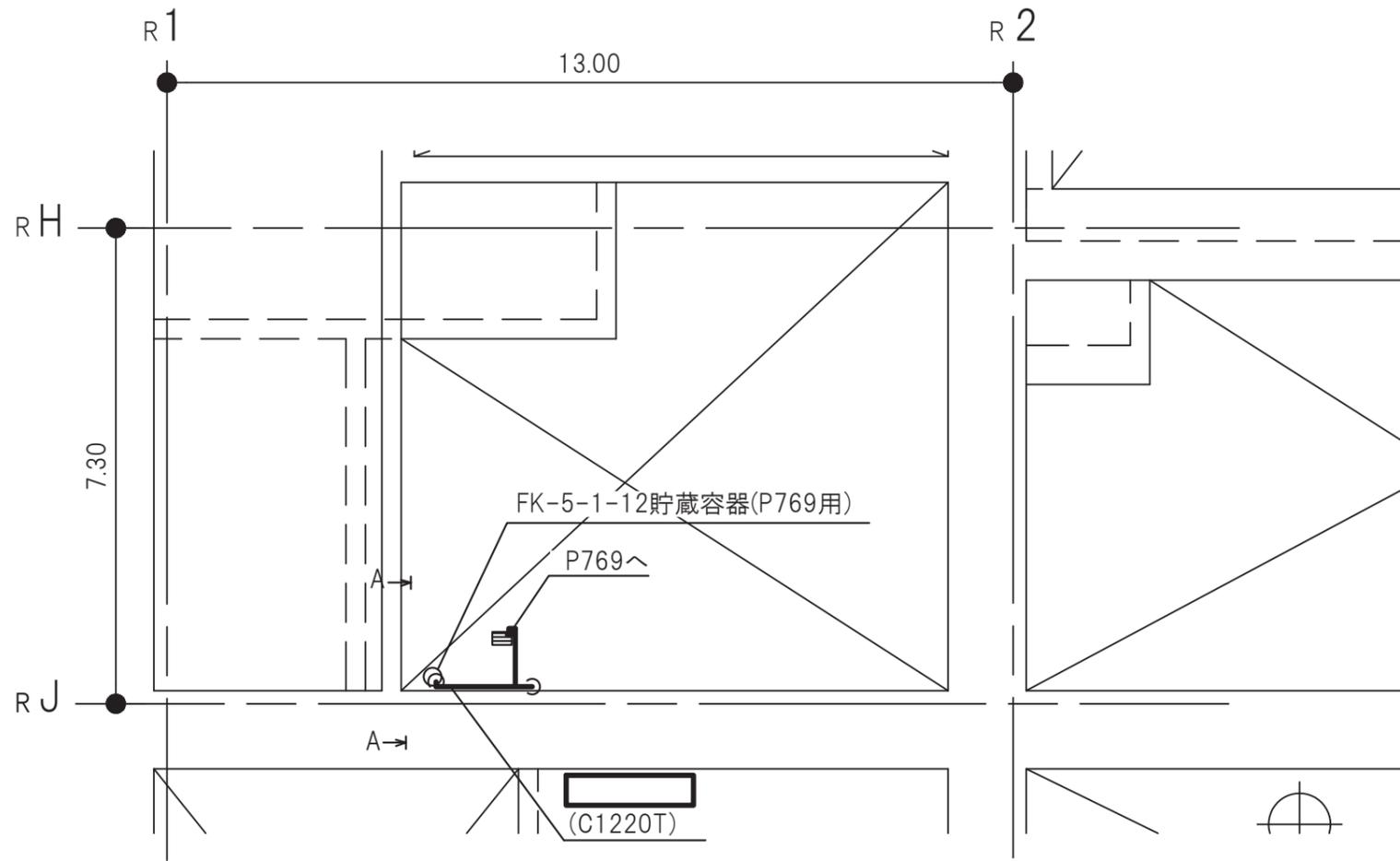
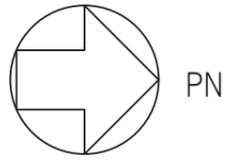
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

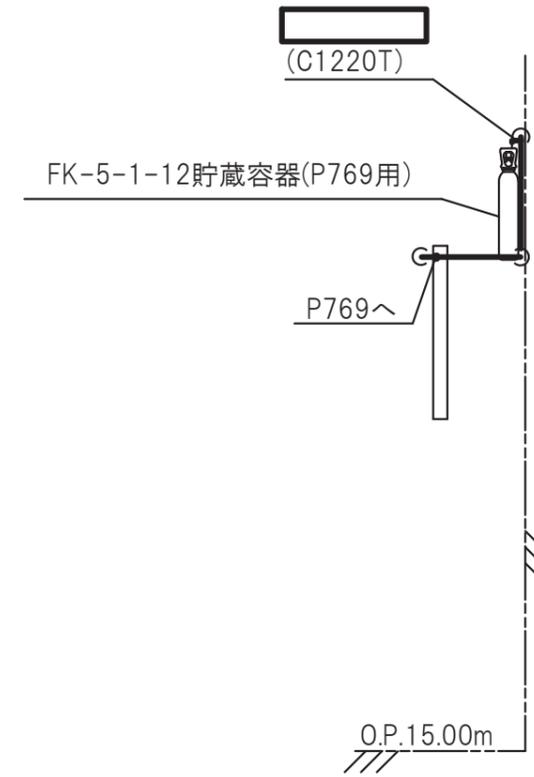


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-58図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P502⑥,P503⑧,P202⑥用) |
| 東北電力株式会社 | |



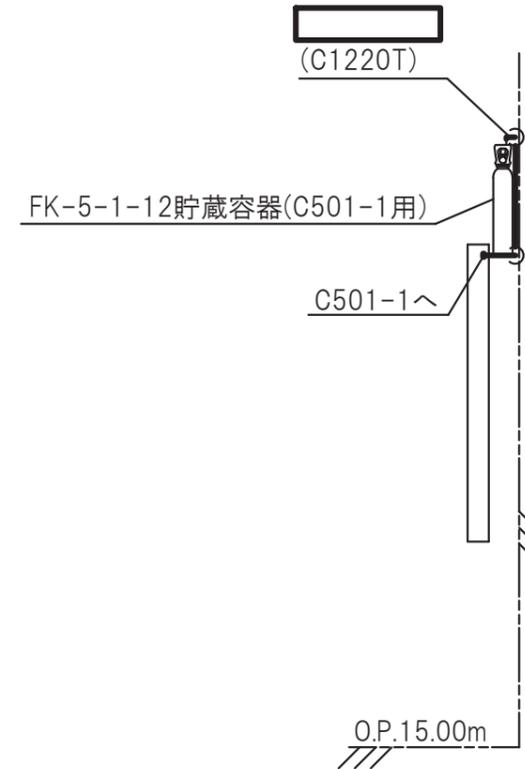
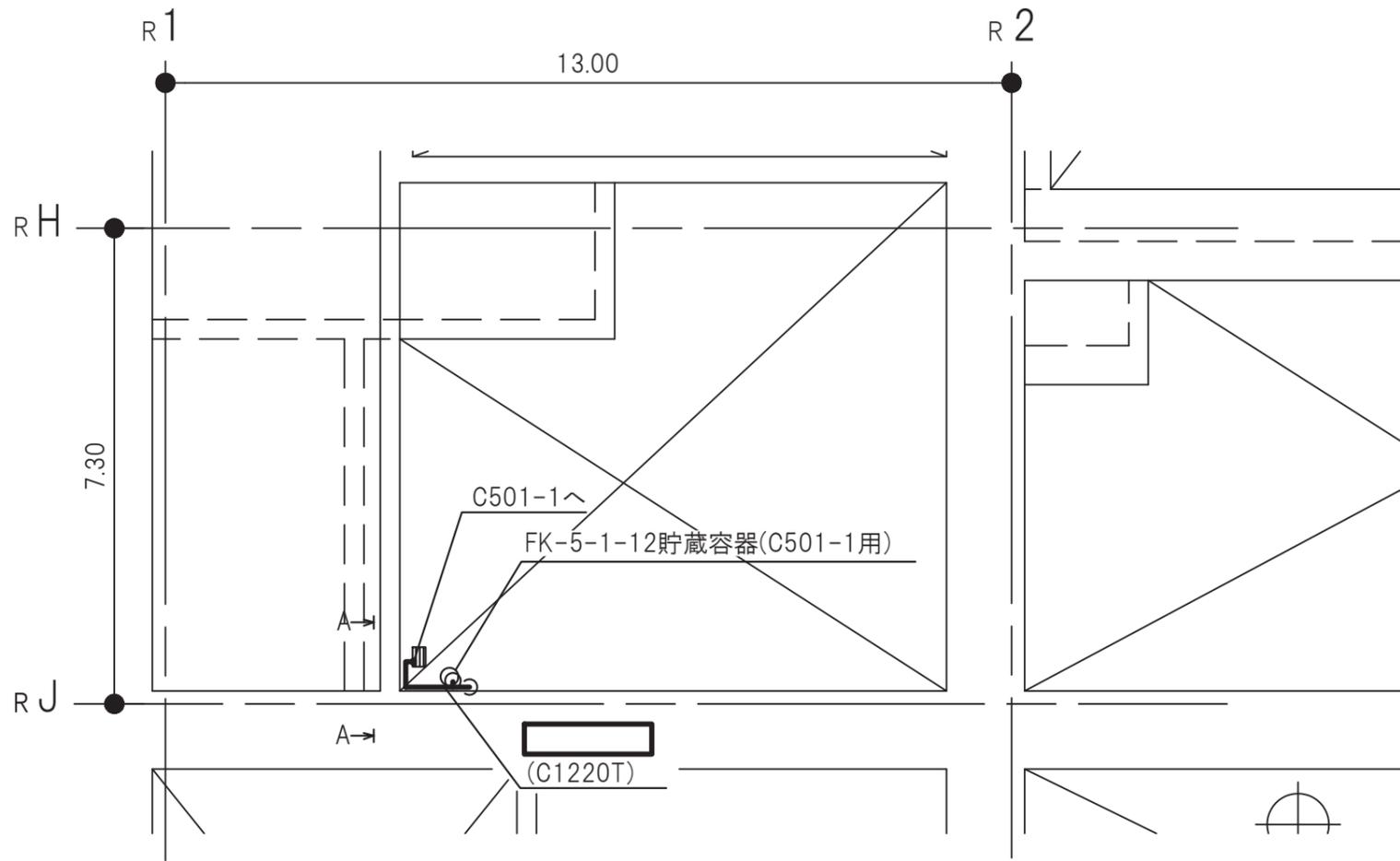
原子炉建屋 O.P.15.00(m)



A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

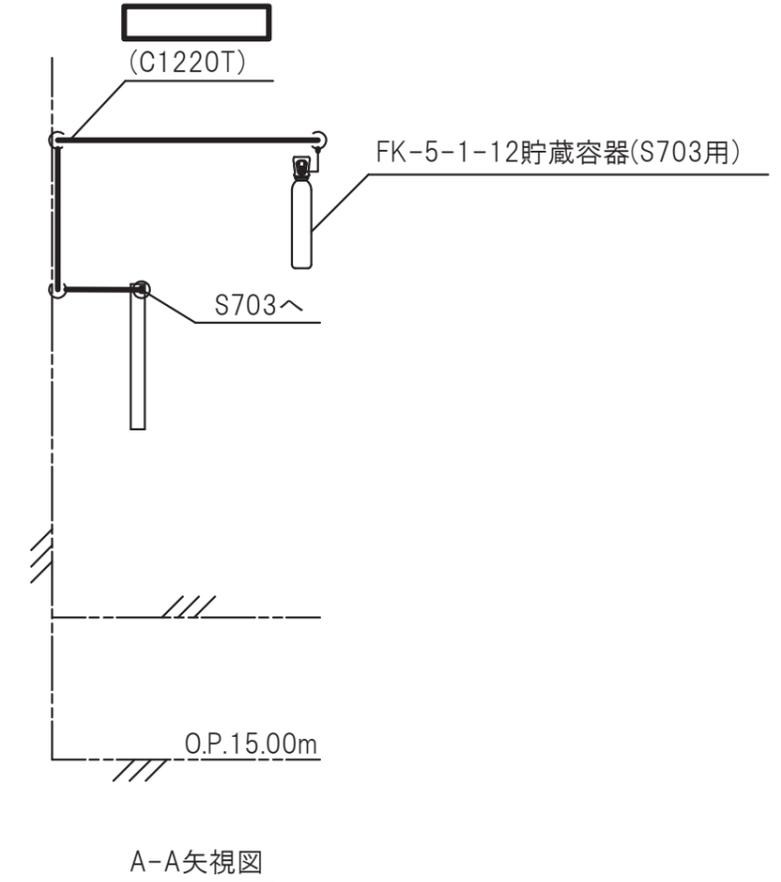
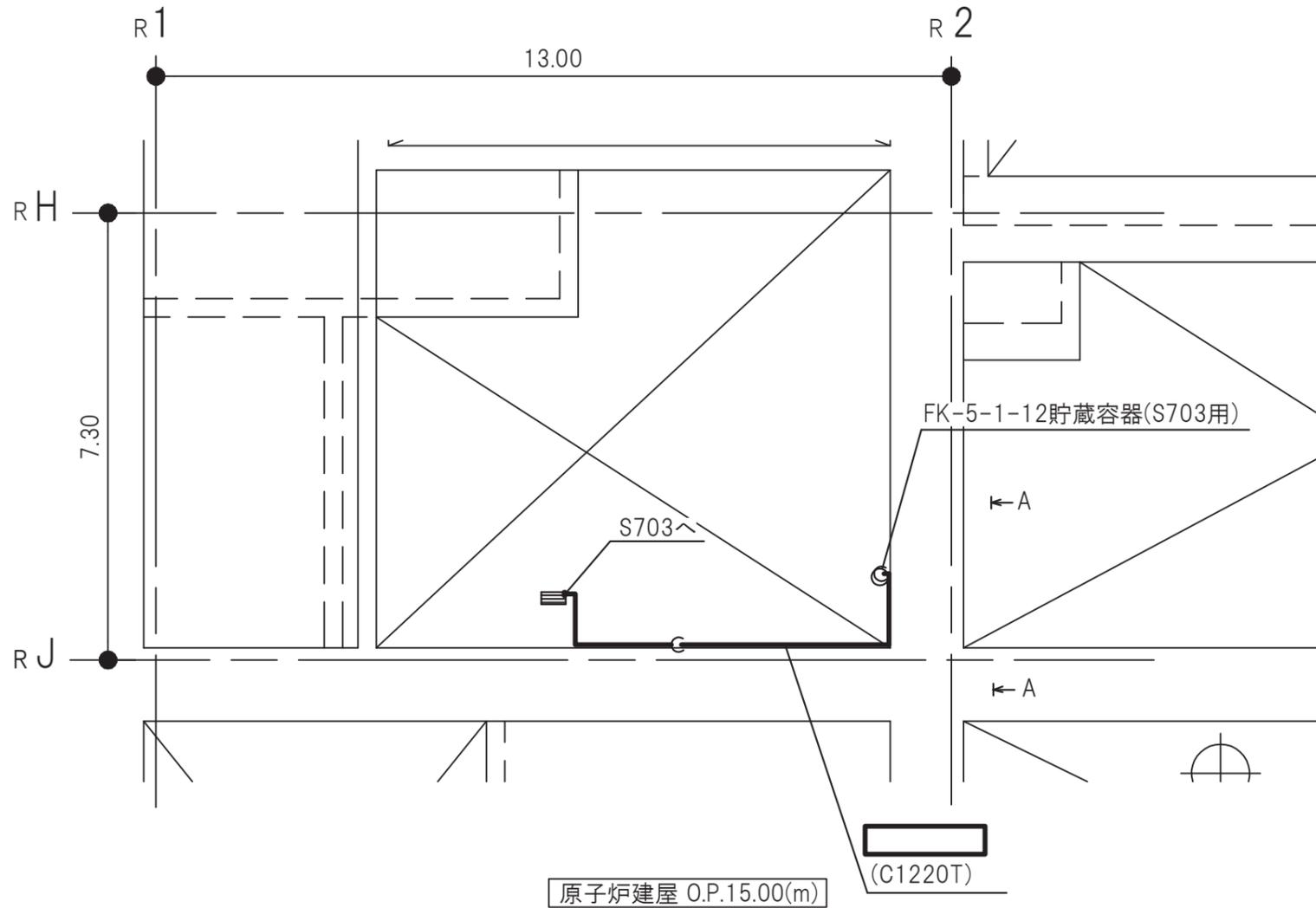
| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-59図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P769用) |
| 東北電力株式会社 | |



A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|-------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-60図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C501-1用) |
| 東北電力株式会社 | |

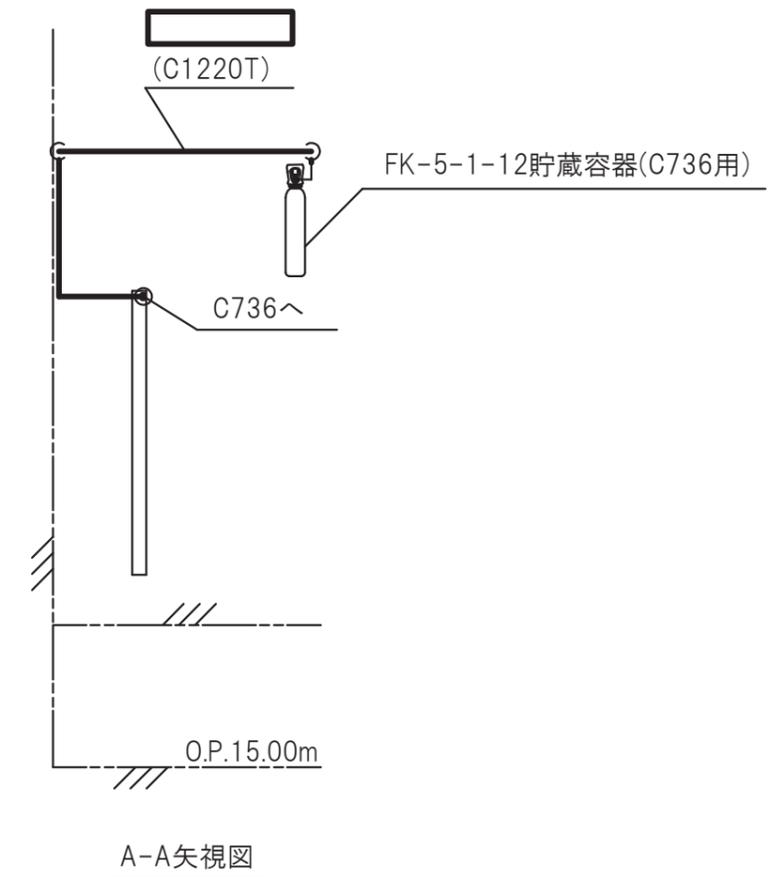
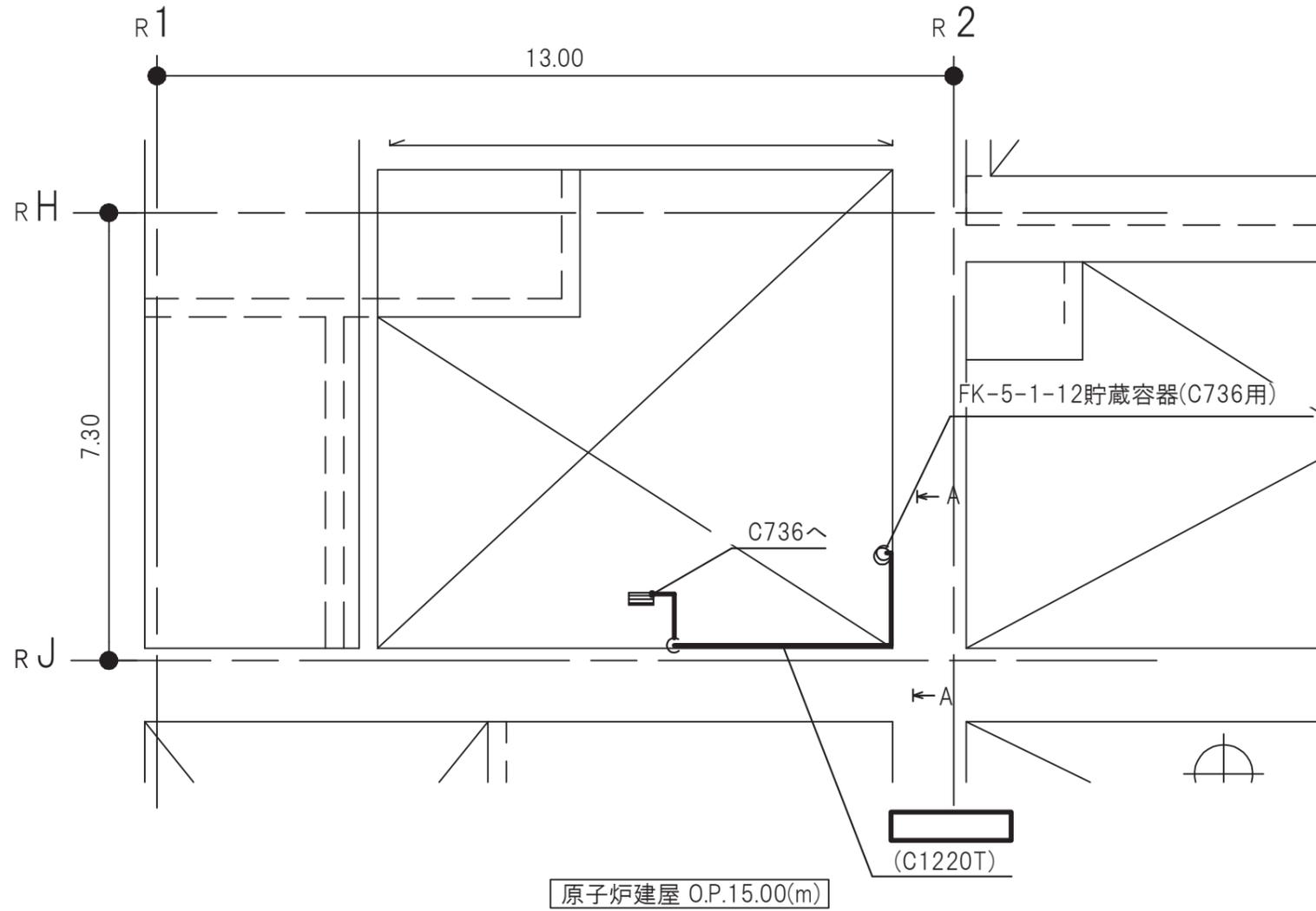
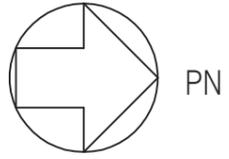


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-61図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S703用) |
| 東北電力株式会社 | |

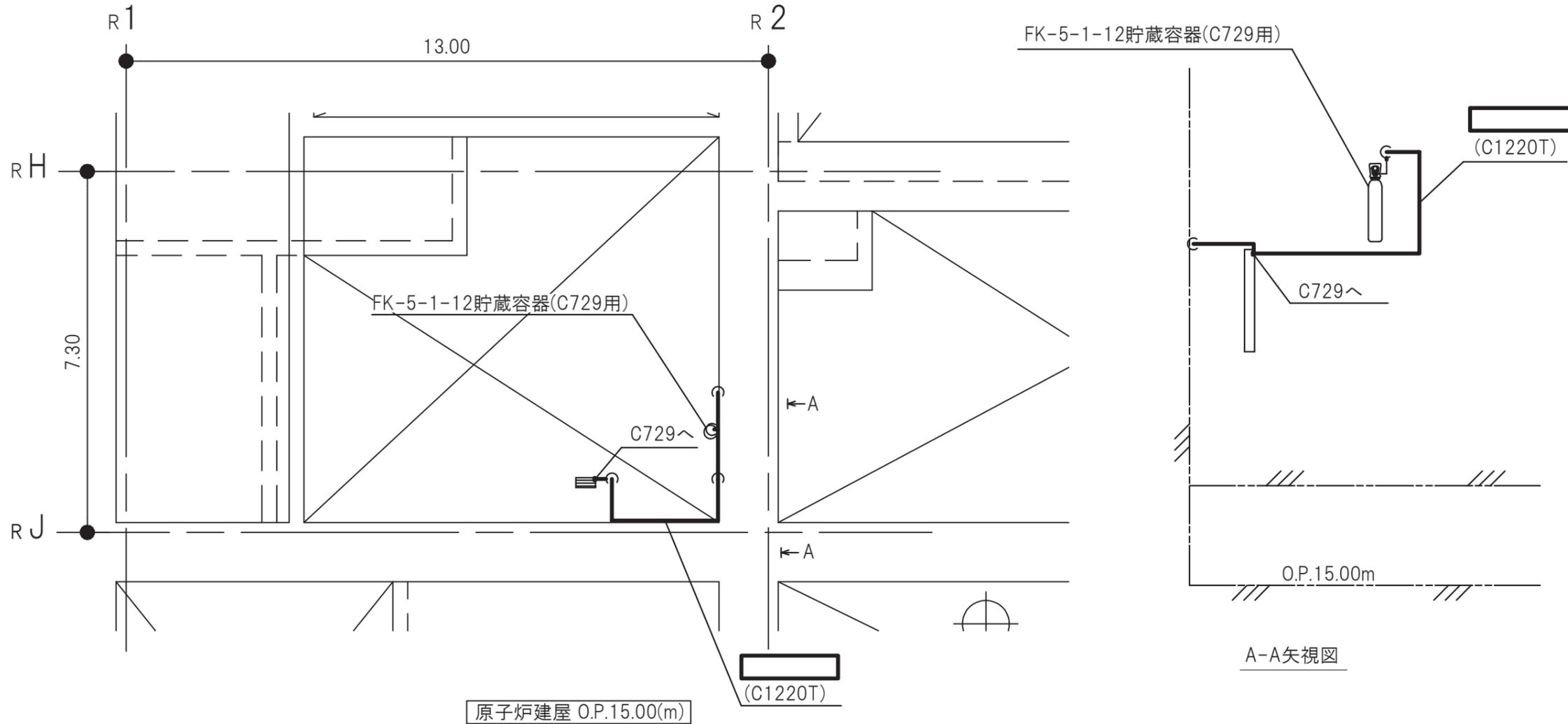
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

1618



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-62図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C736用) |
| 東北電力株式会社 | |

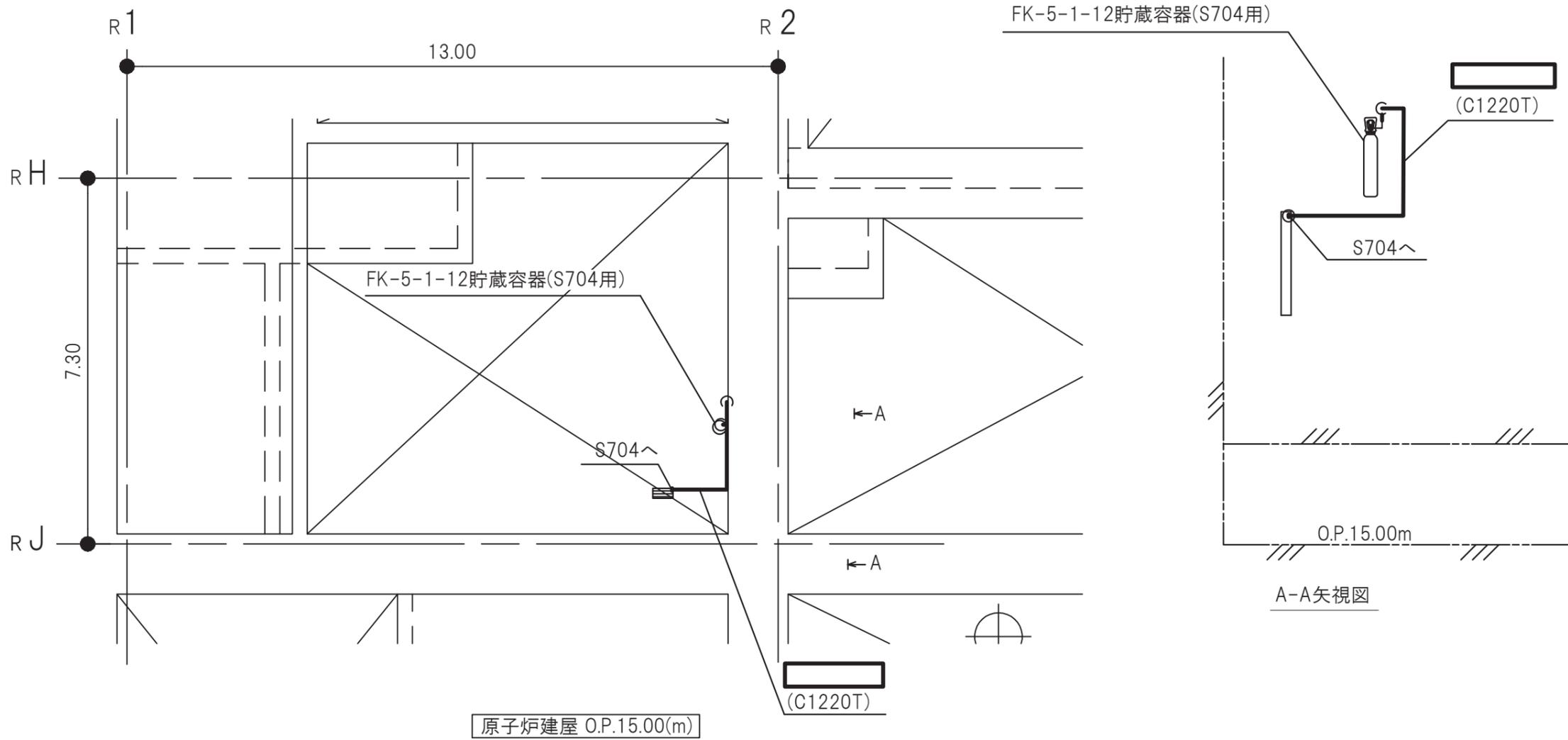


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-63図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C729用) |
| 東北電力株式会社 | |

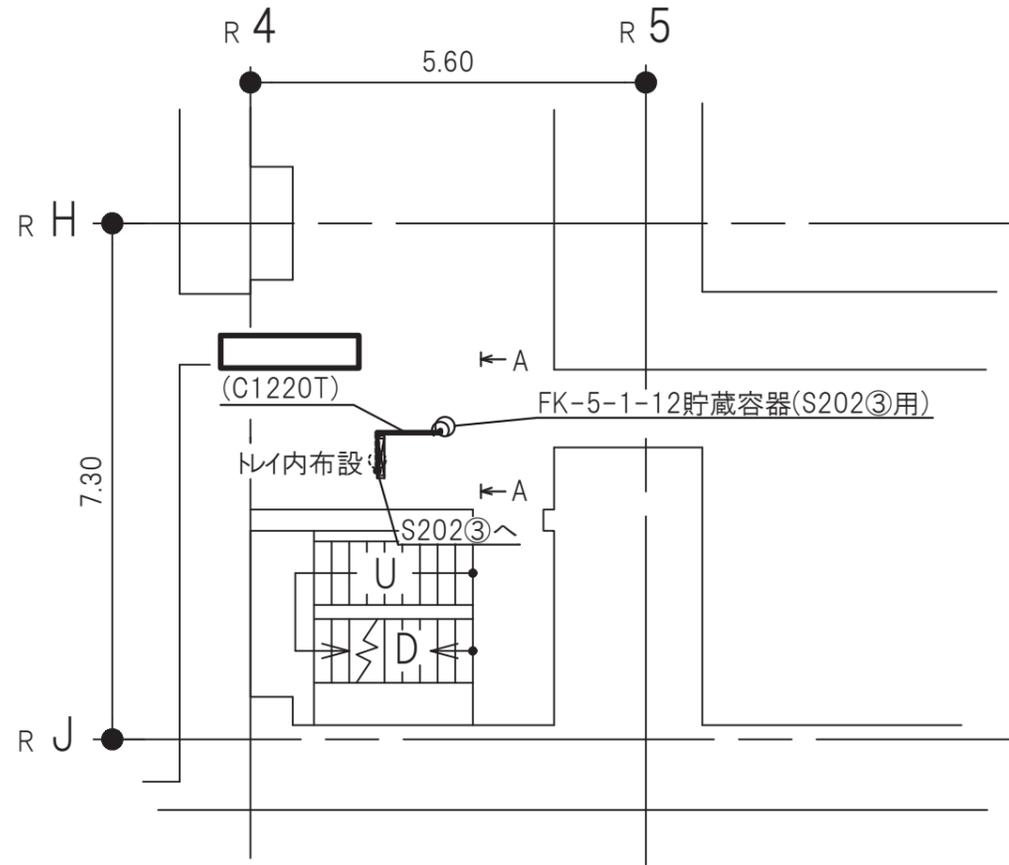
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

1618

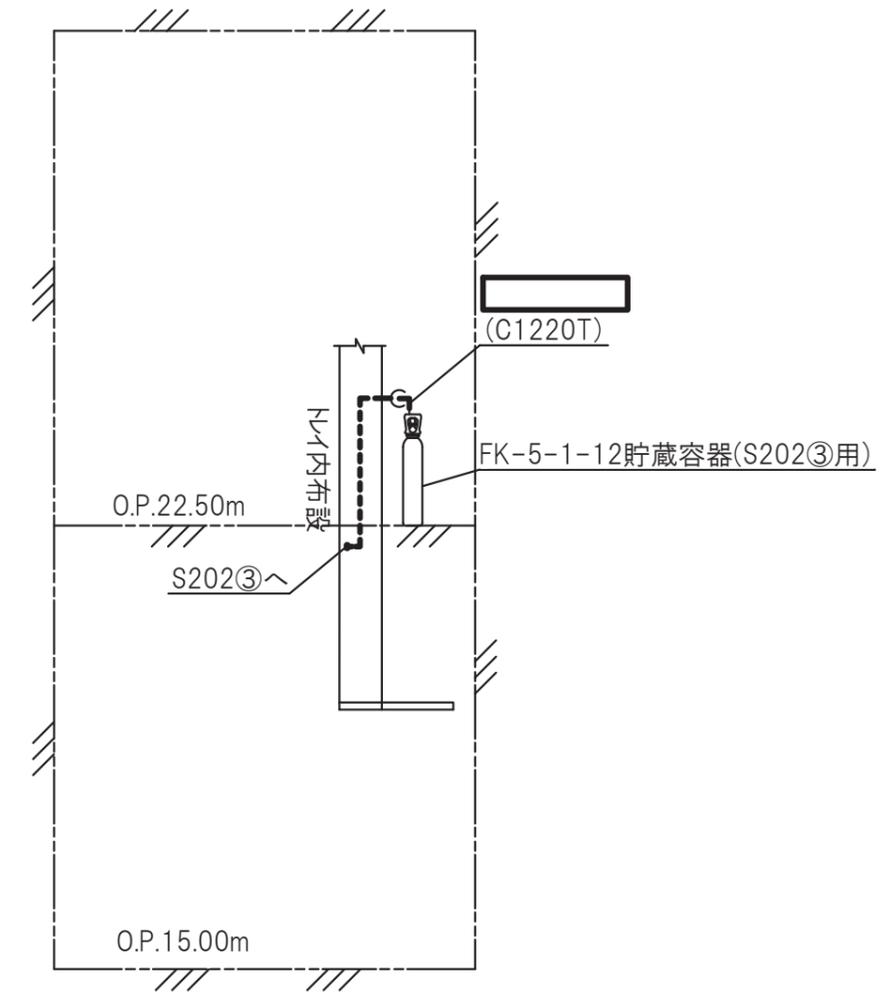


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-64図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S704用) |
| 東北電力株式会社 | |



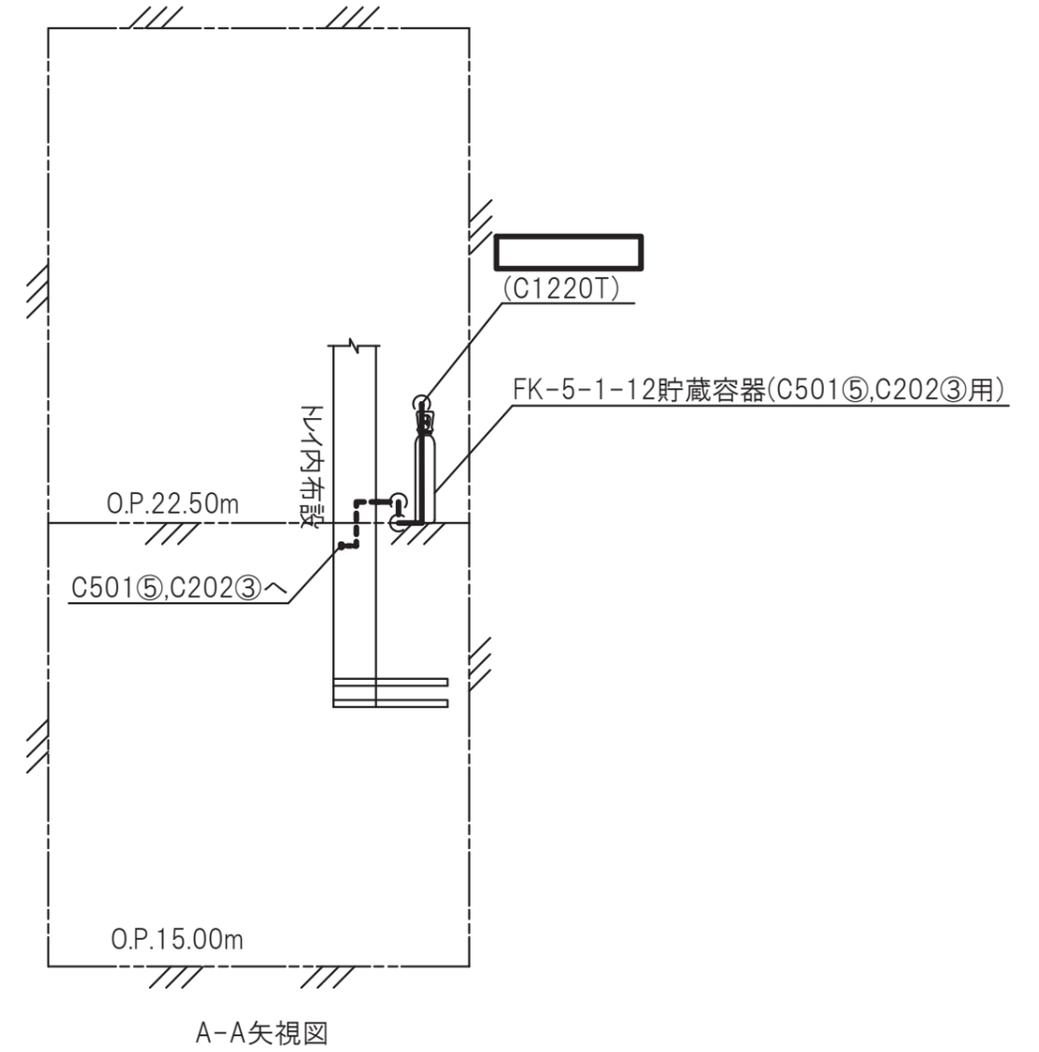
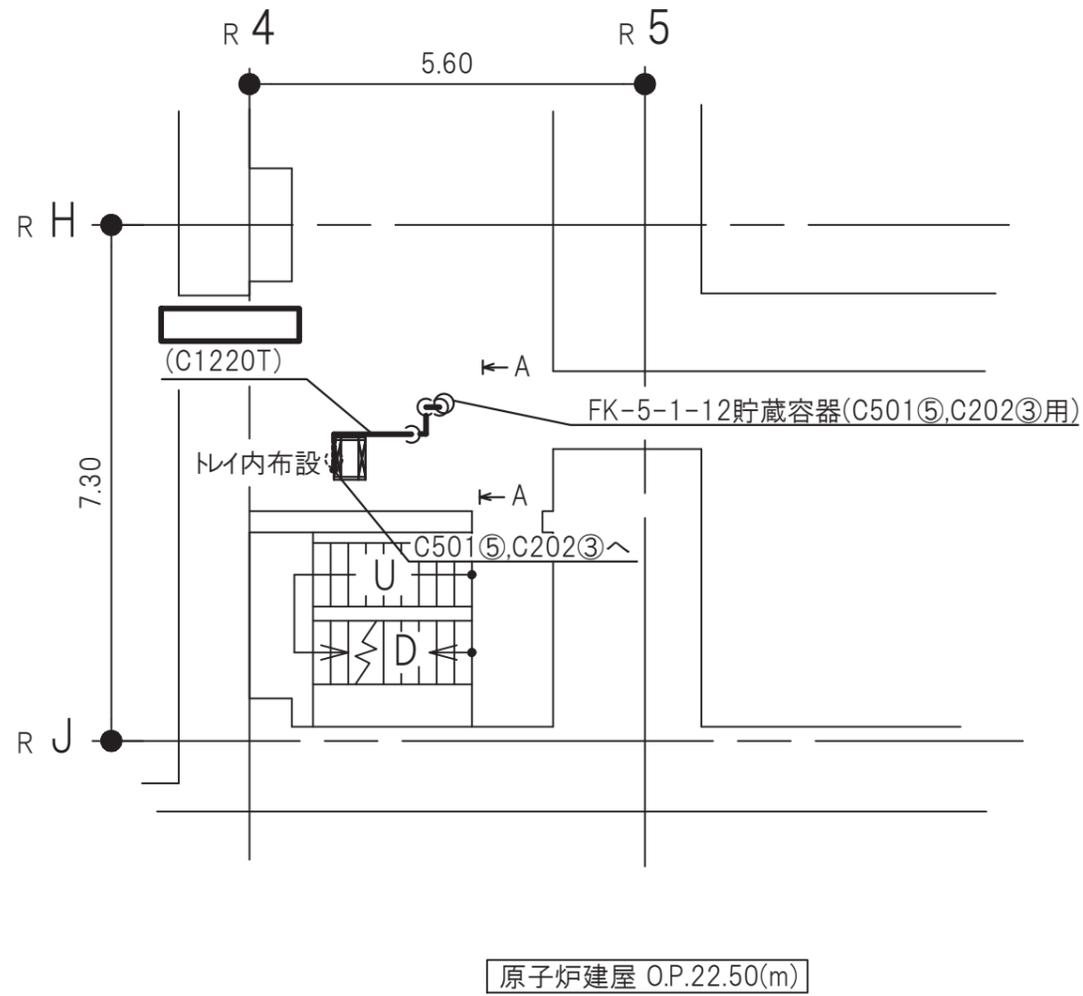
原子炉建屋 O.P.22.50(m)



A-A矢視図

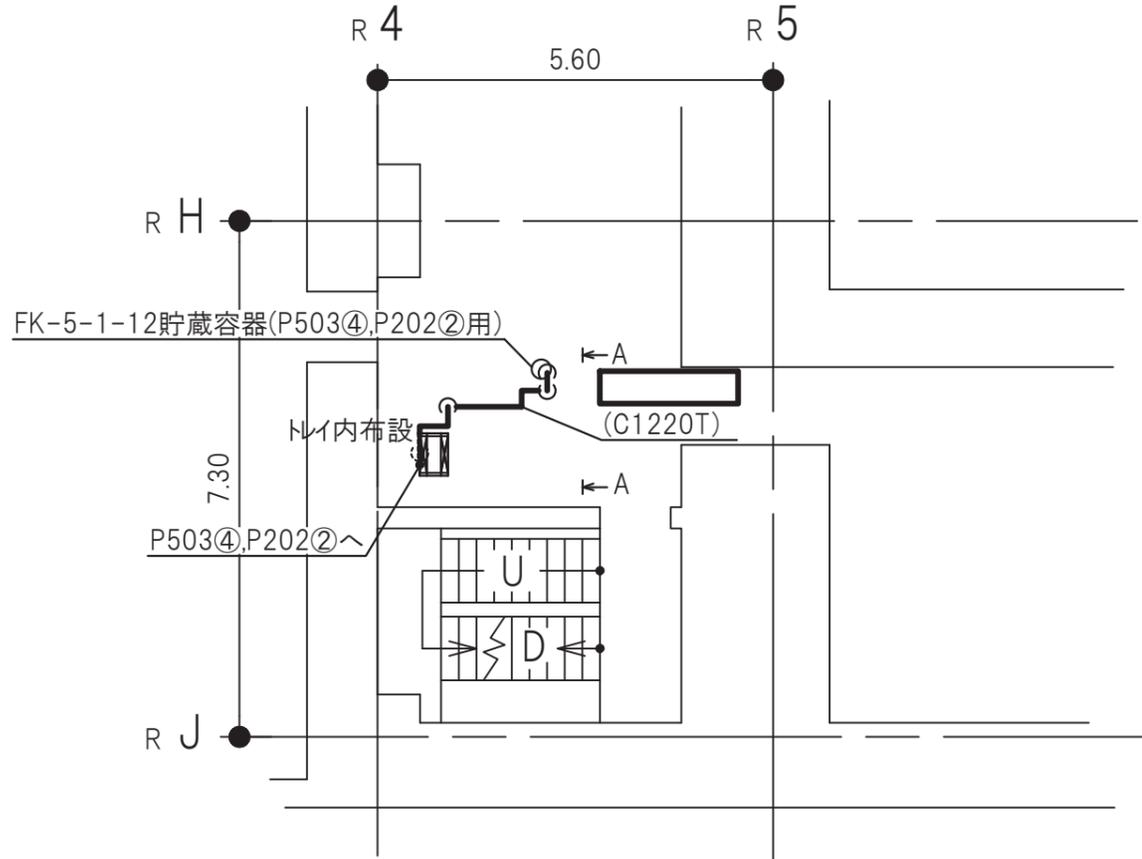
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-65図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S202③用) |
| 東北電力株式会社 | |

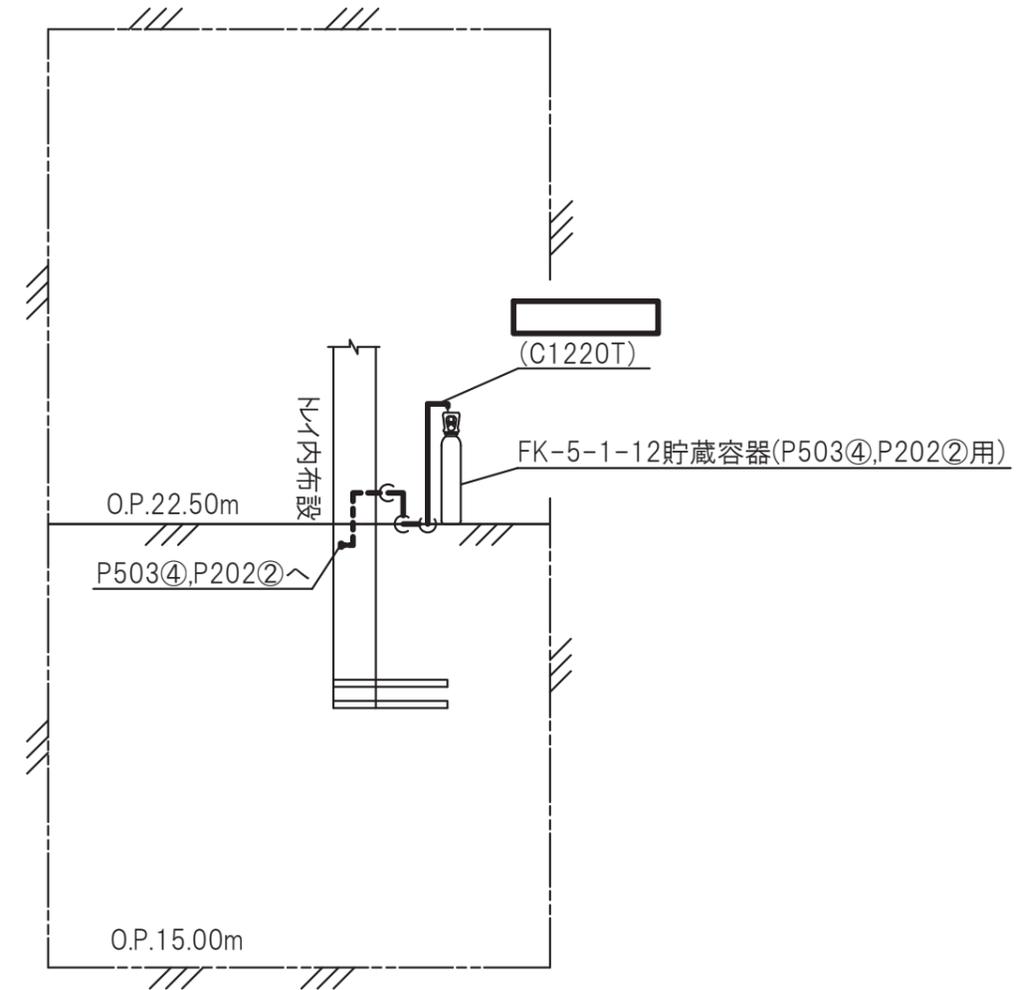


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-66図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C501⑤,C202③用) |
| 東北電力株式会社 | |



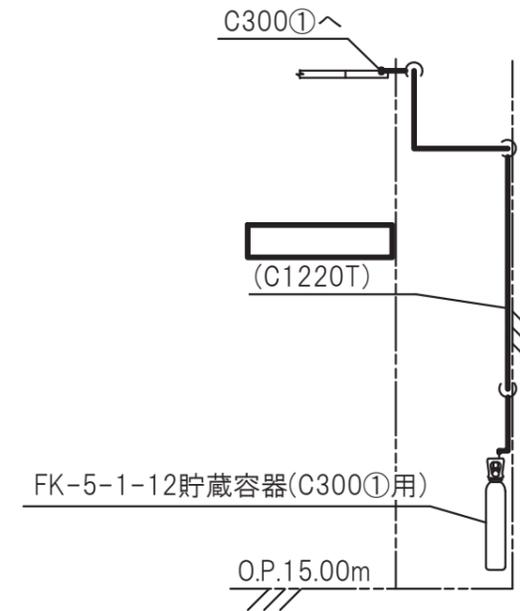
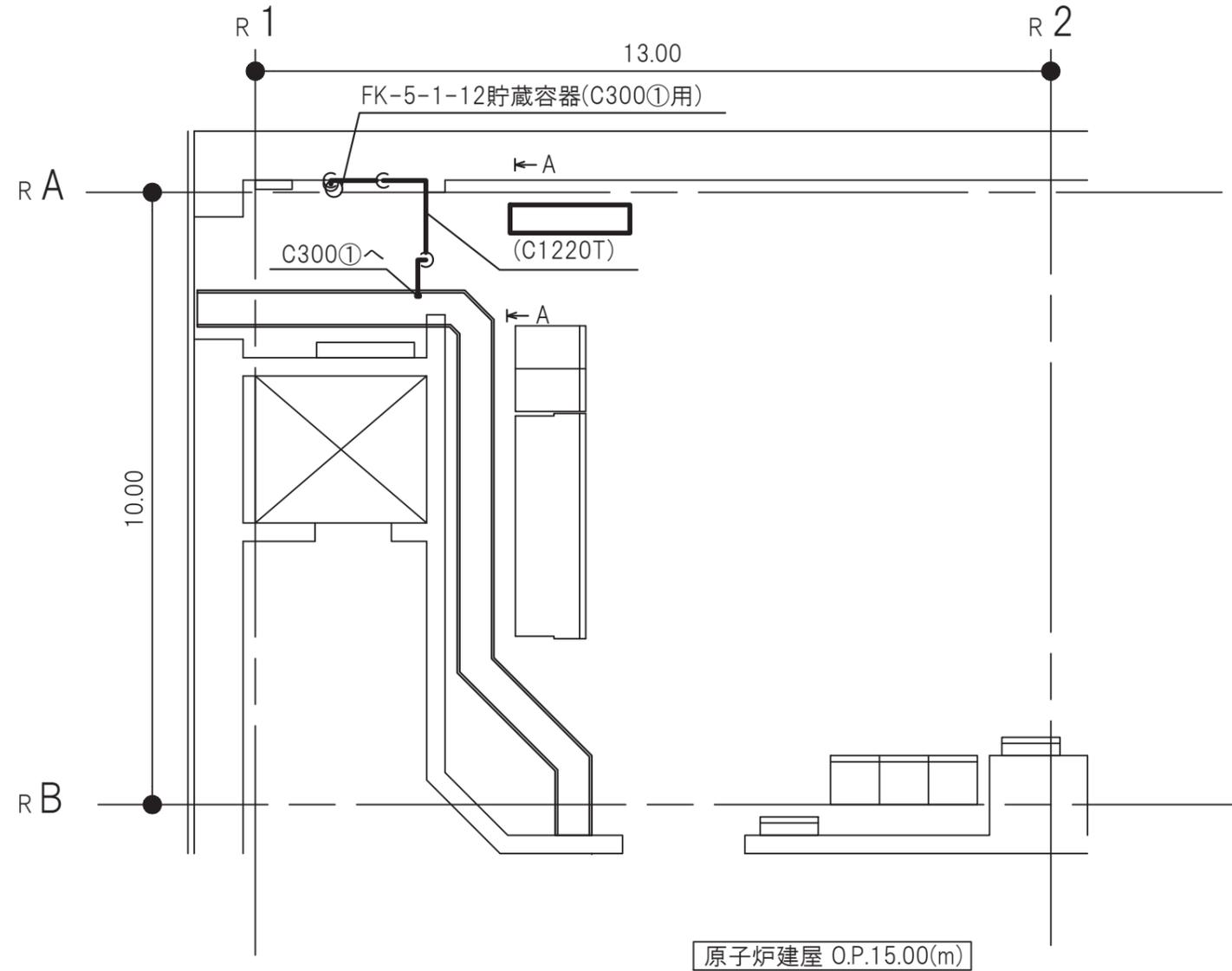
原子炉建屋 O.P.22.50(m)



A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

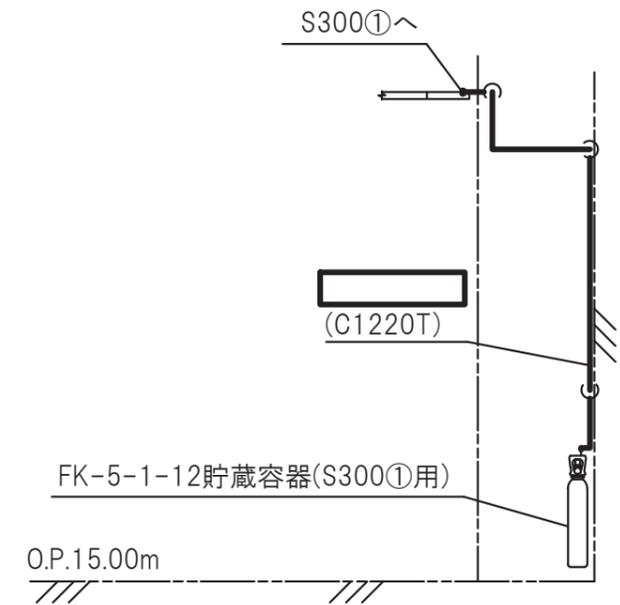
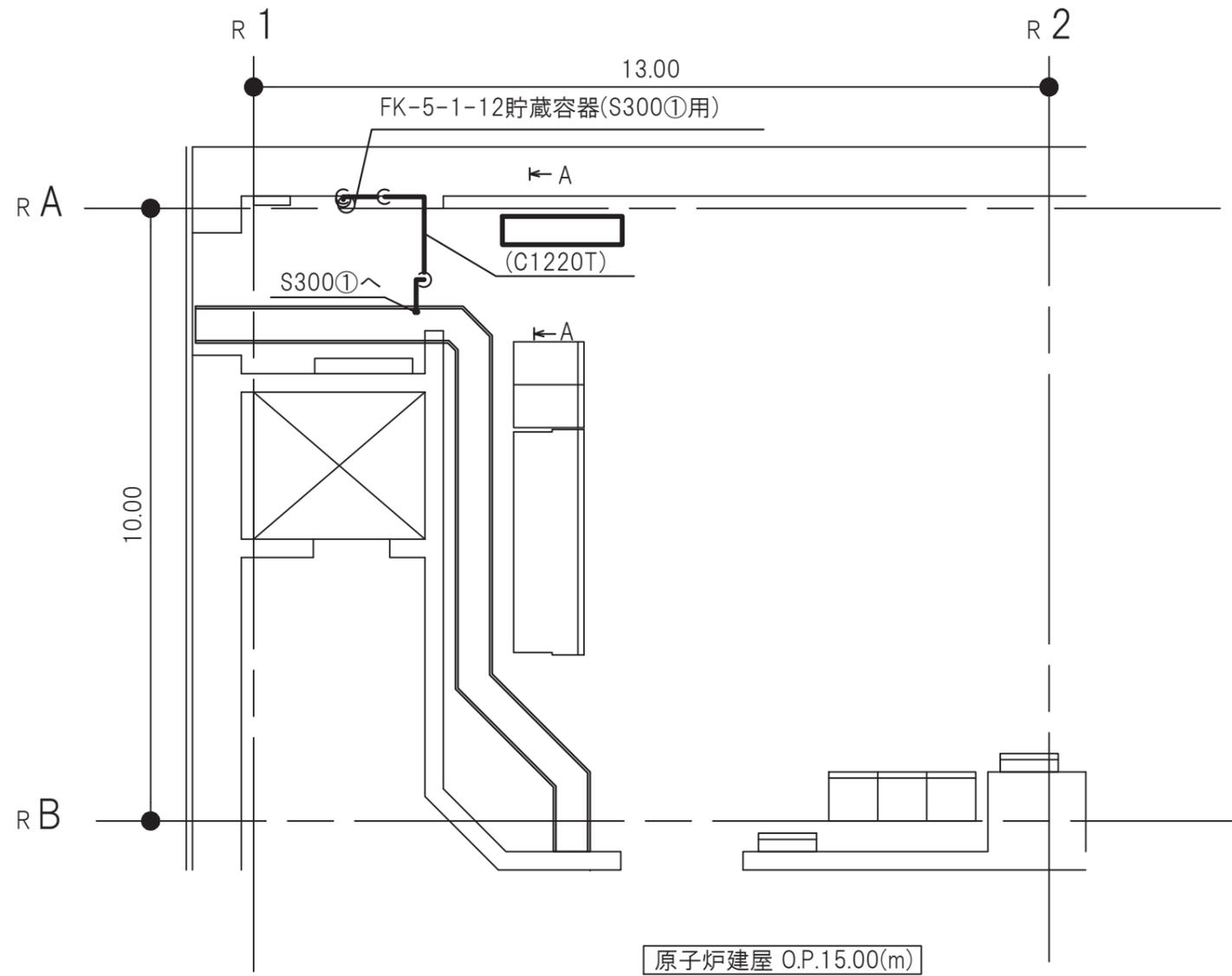
| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-67図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P503④,P202②用) |
| 東北電力株式会社 | |



A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

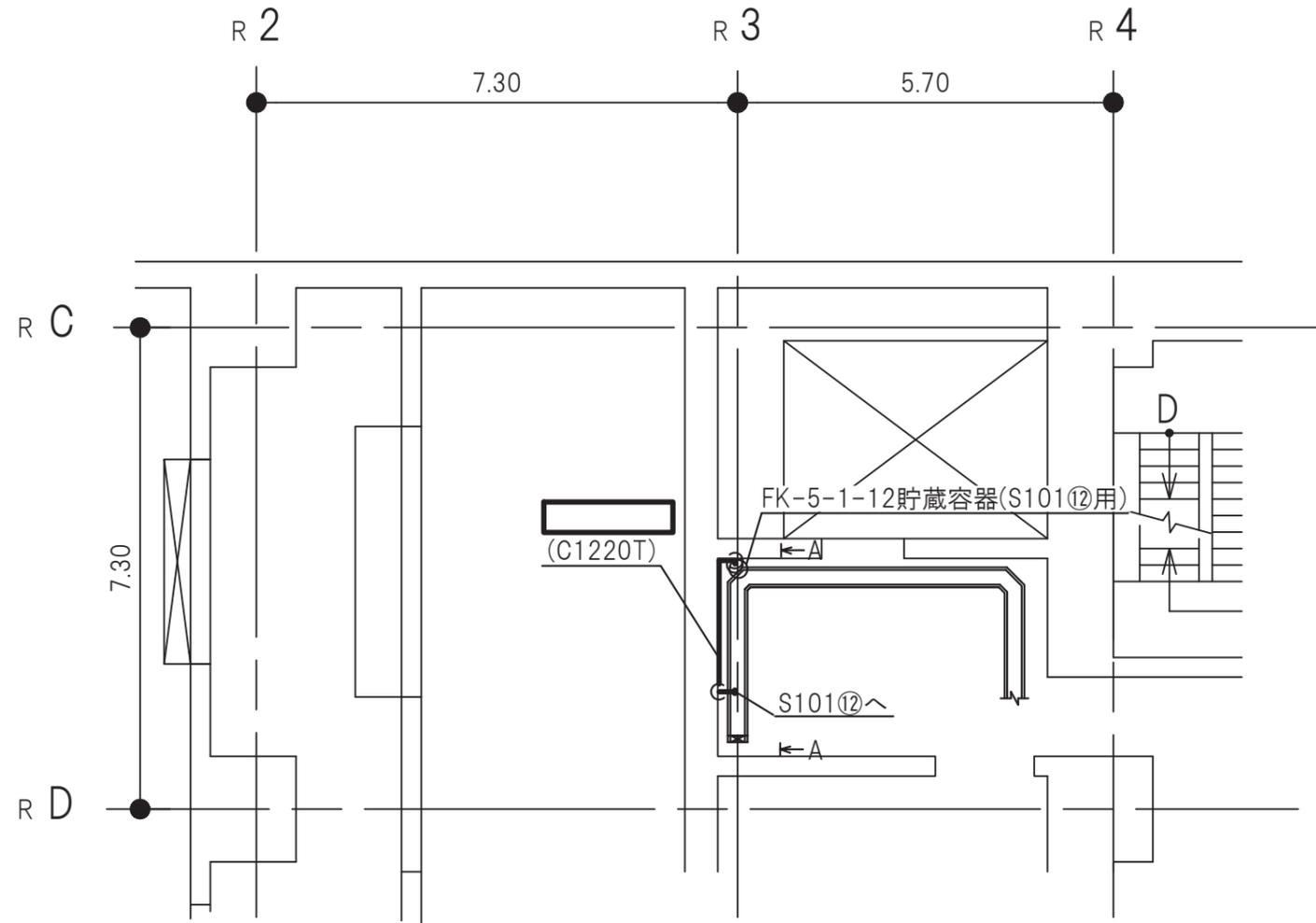
| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-68図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C300①用) |
| 東北電力株式会社 | |



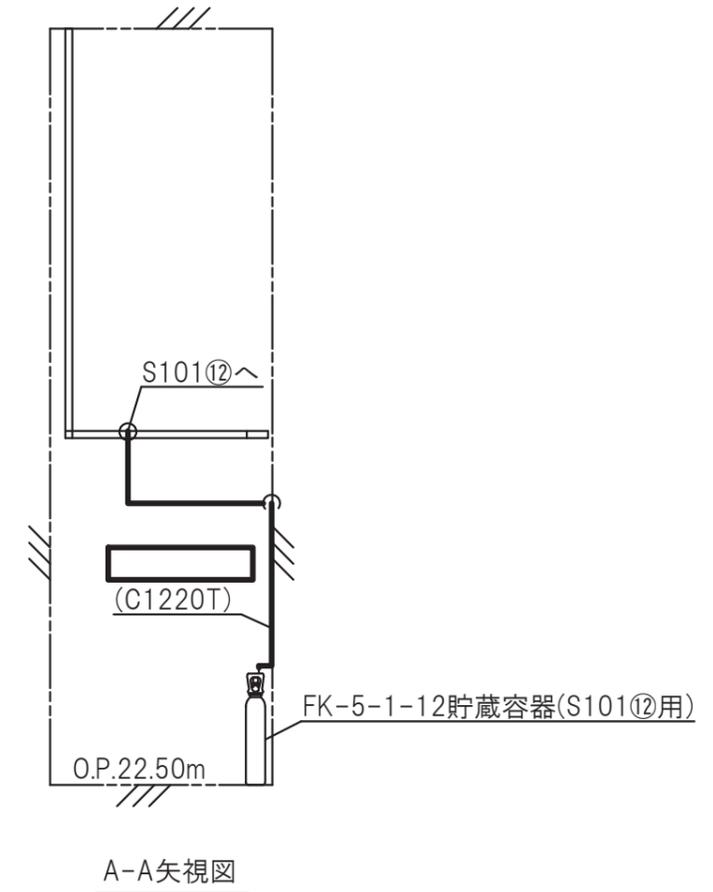
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-69図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S300①用) |
| 東北電力株式会社 | |



原子炉建屋 O.P.22.50(m)



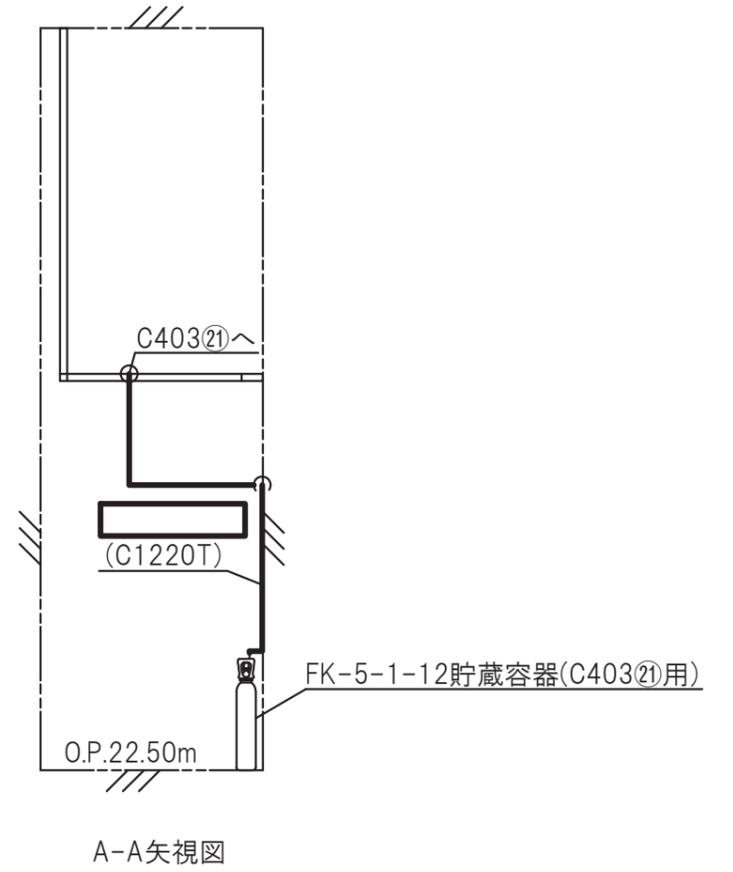
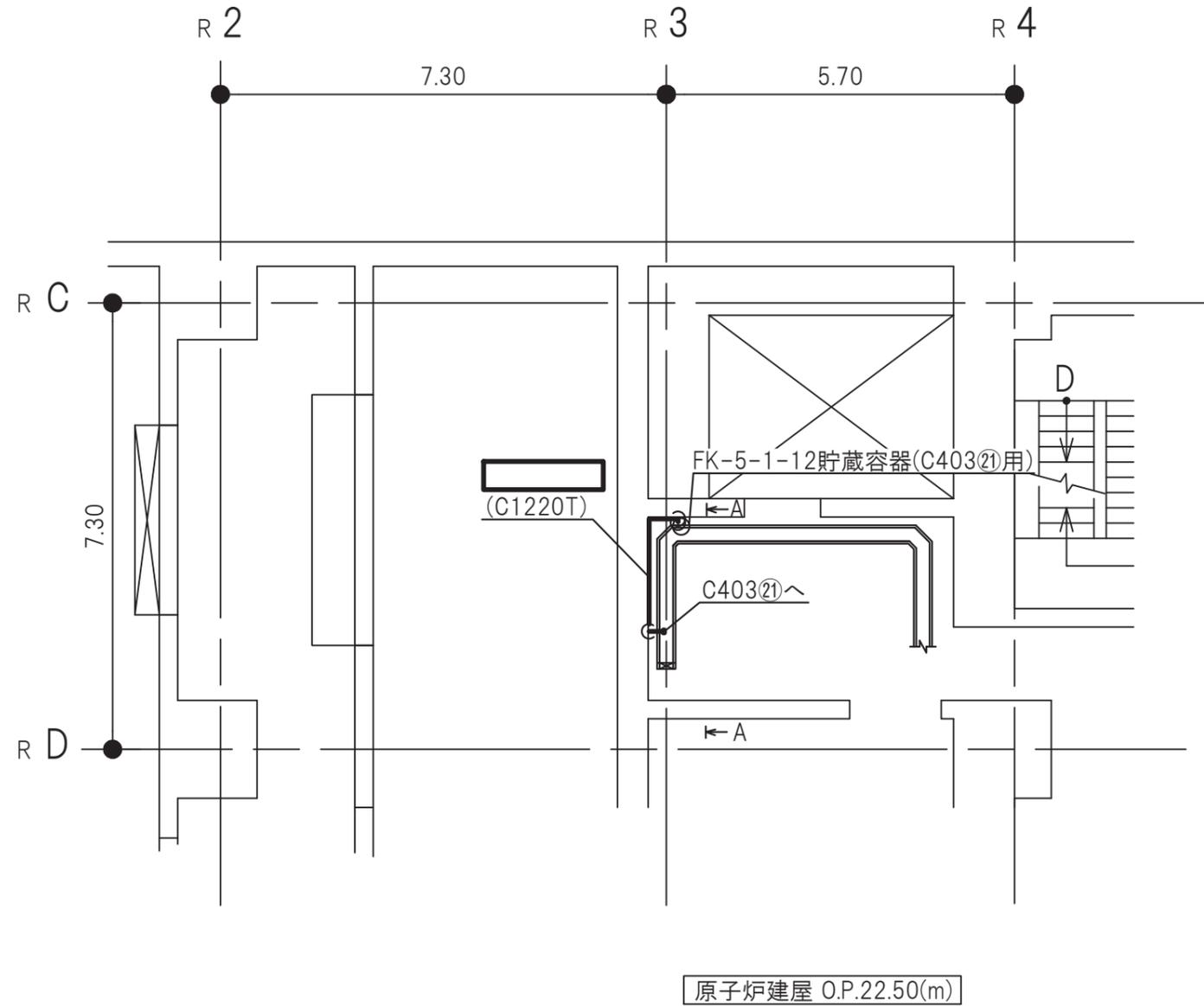
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-70図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S101⑫用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

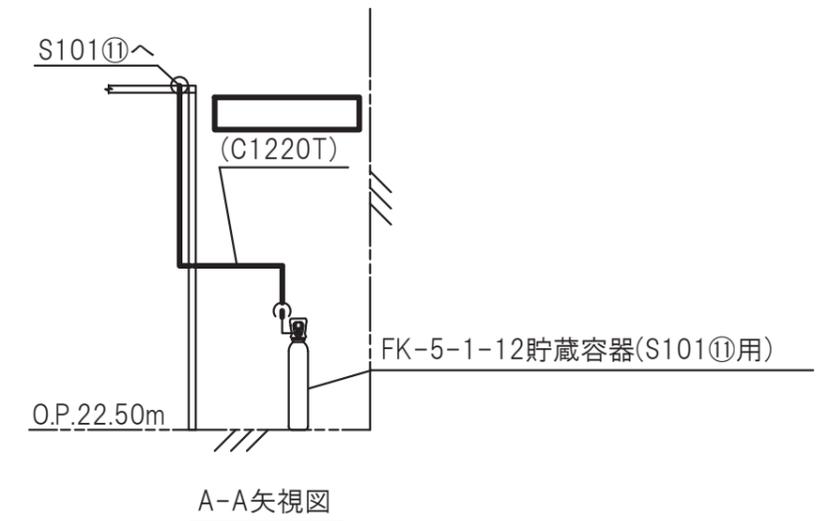
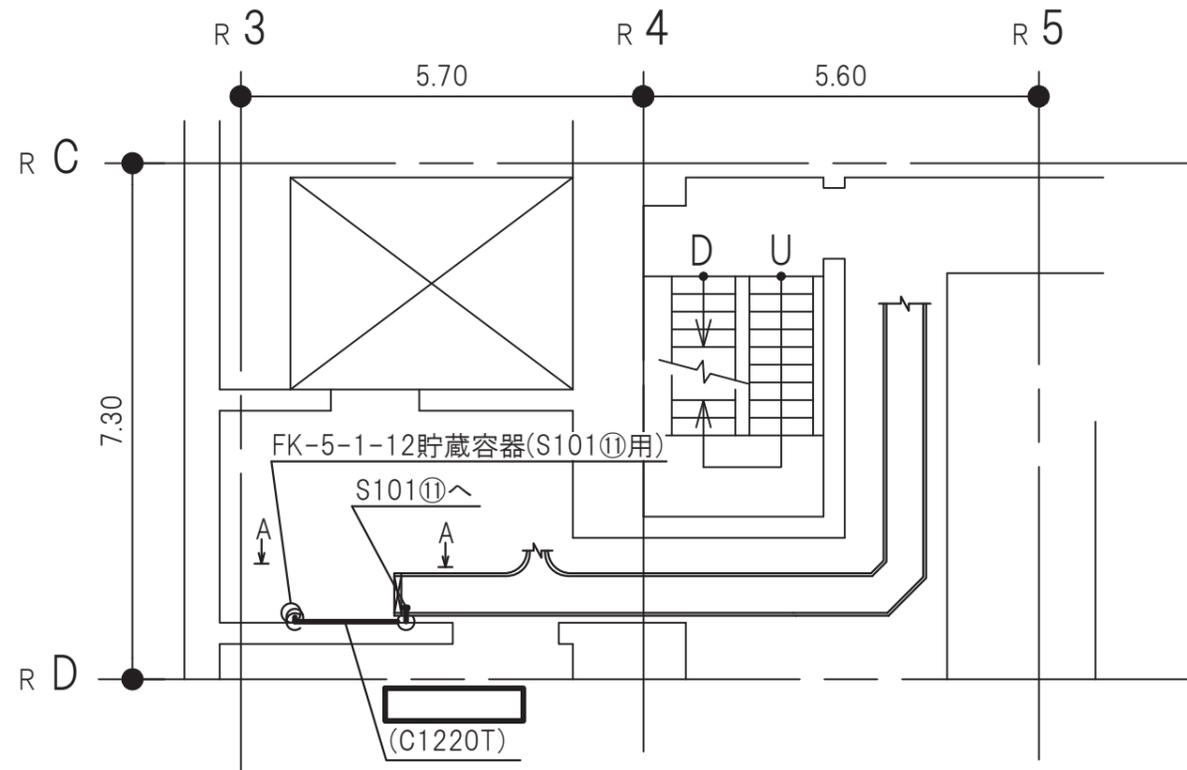


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-71図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C403㊸用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

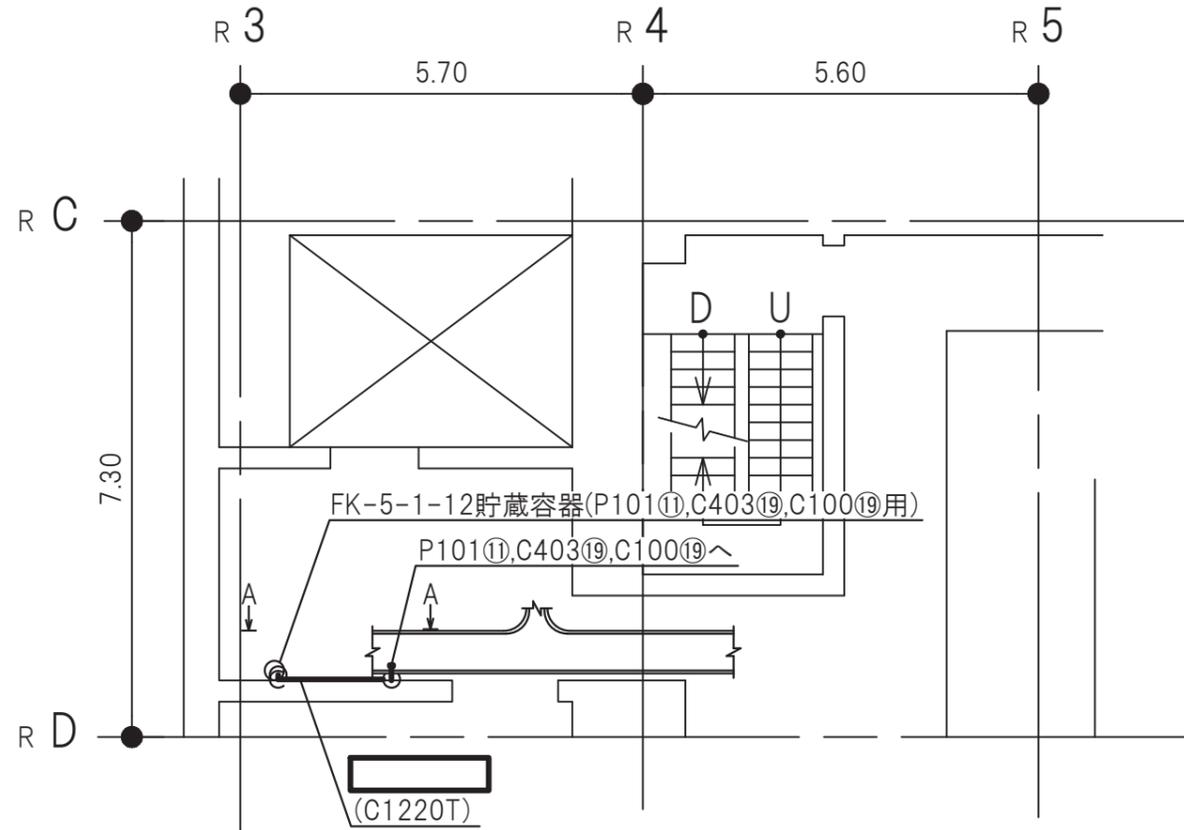


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

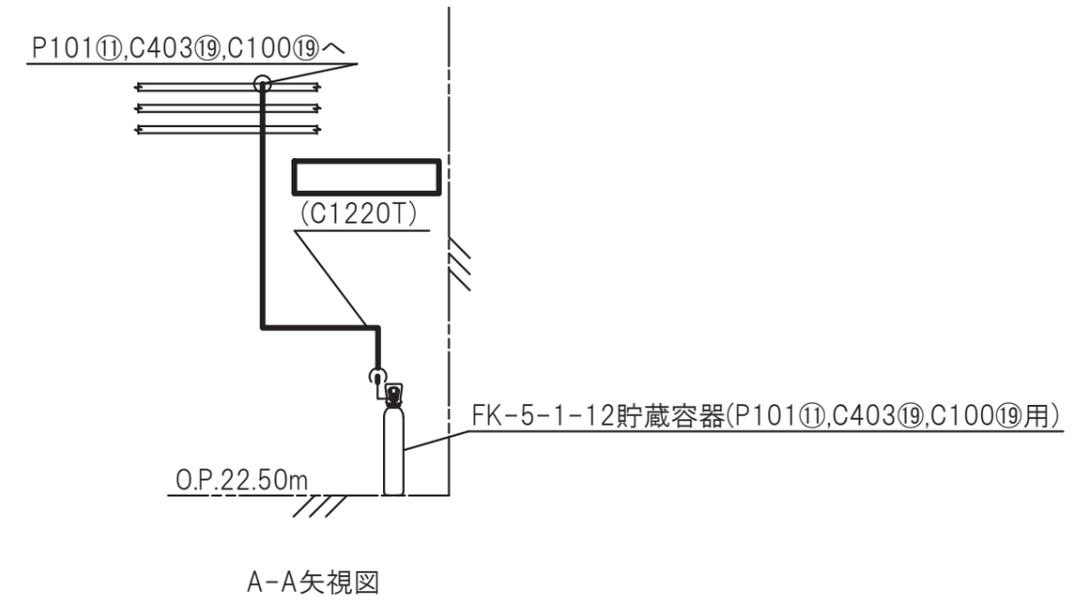
| | |
|-----------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-72図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S101①用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

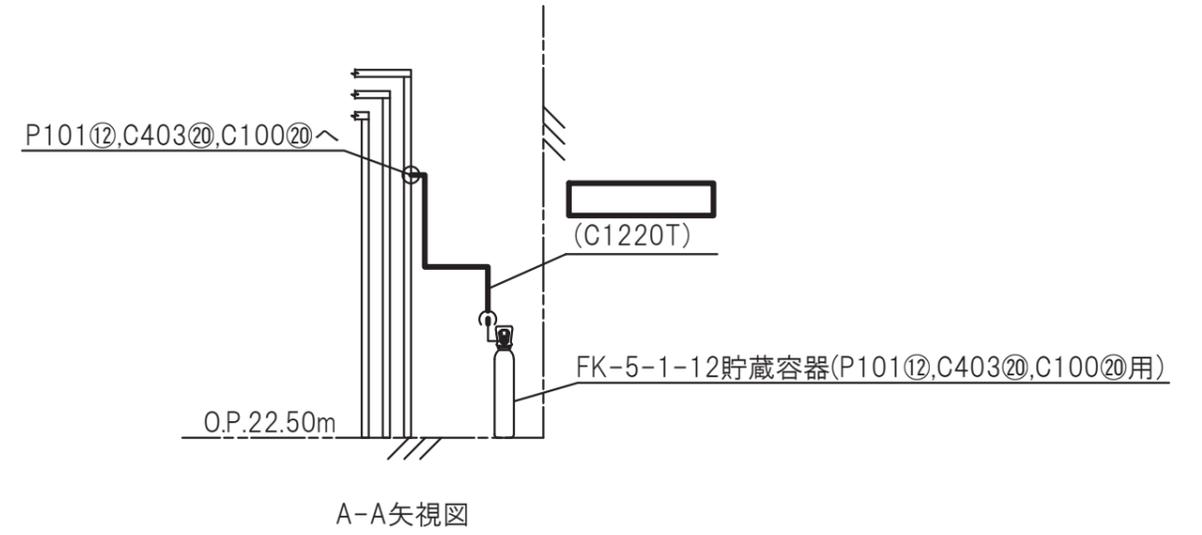
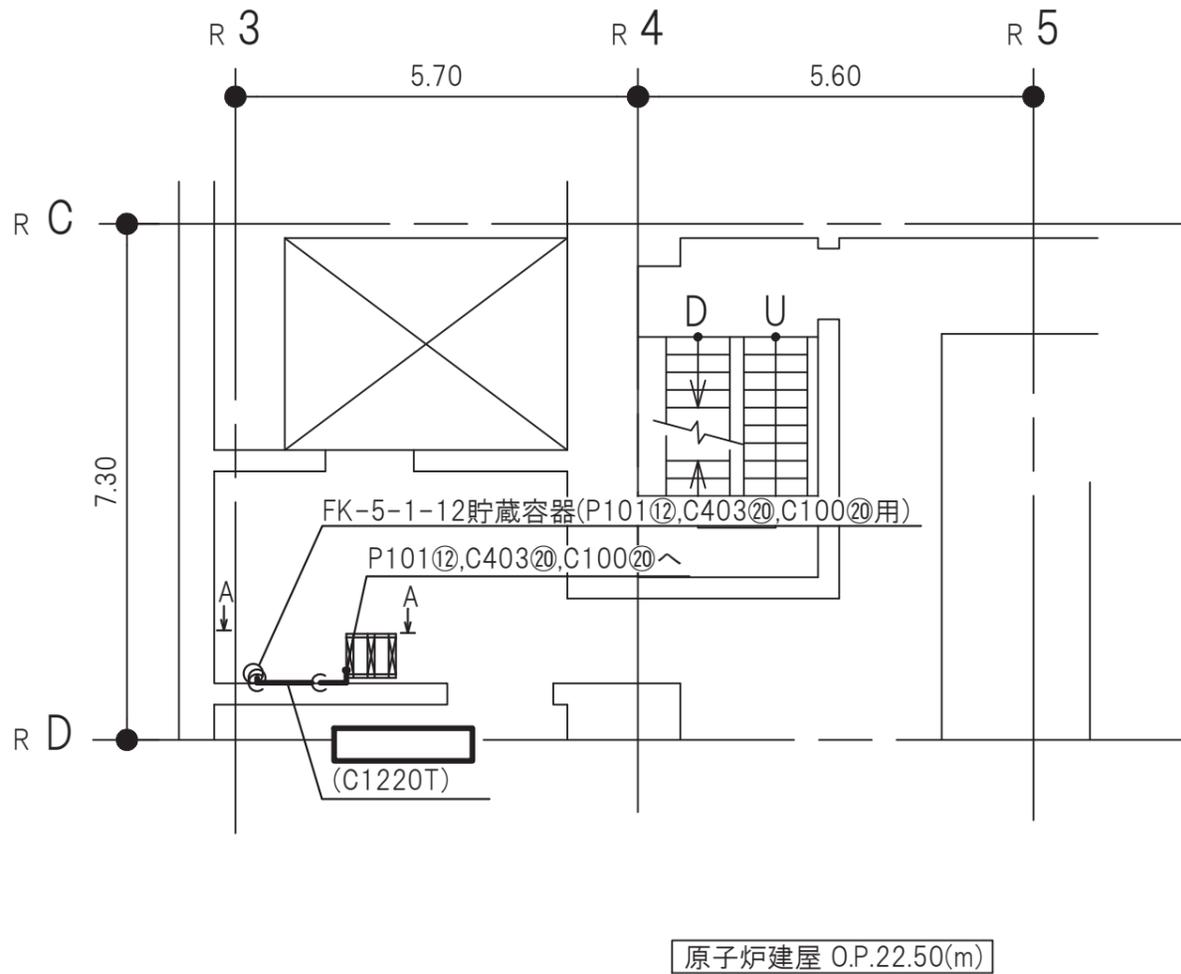
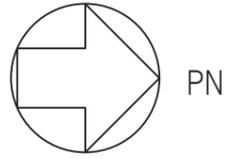


原子炉建屋 O.P.22.50(m)



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

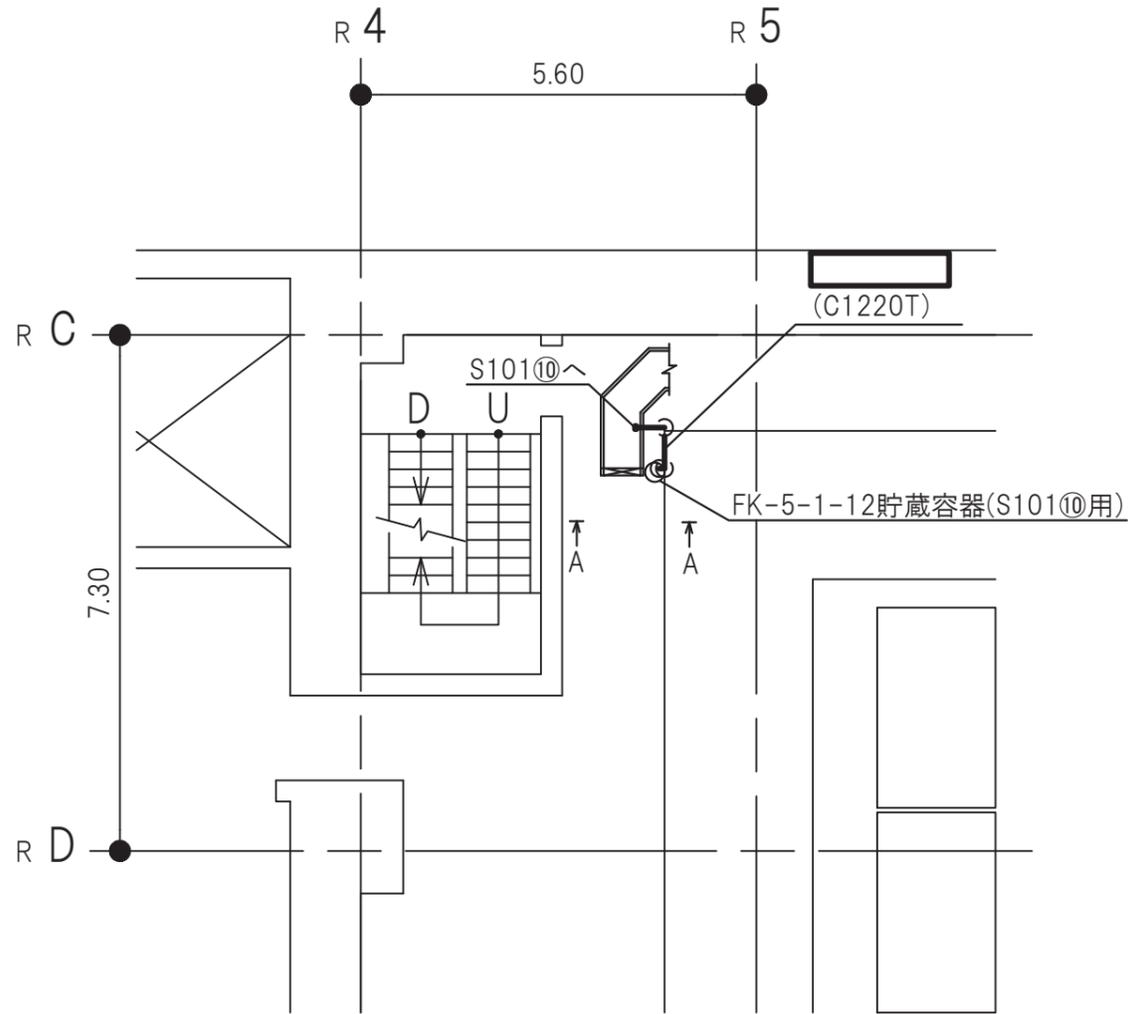
| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-73図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P101①,C403⑱,C100⑲用) |
| 東北電力株式会社 | |



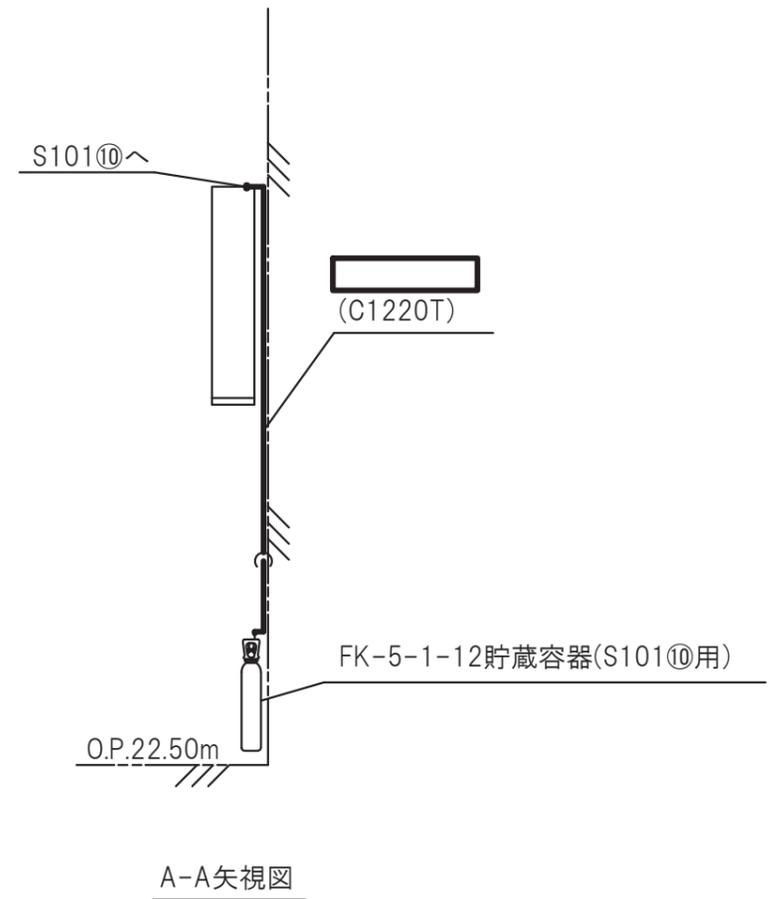
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-74図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P101⑫,C403⑳,C100㉔用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



原子炉建屋 O.P.22.50(m)

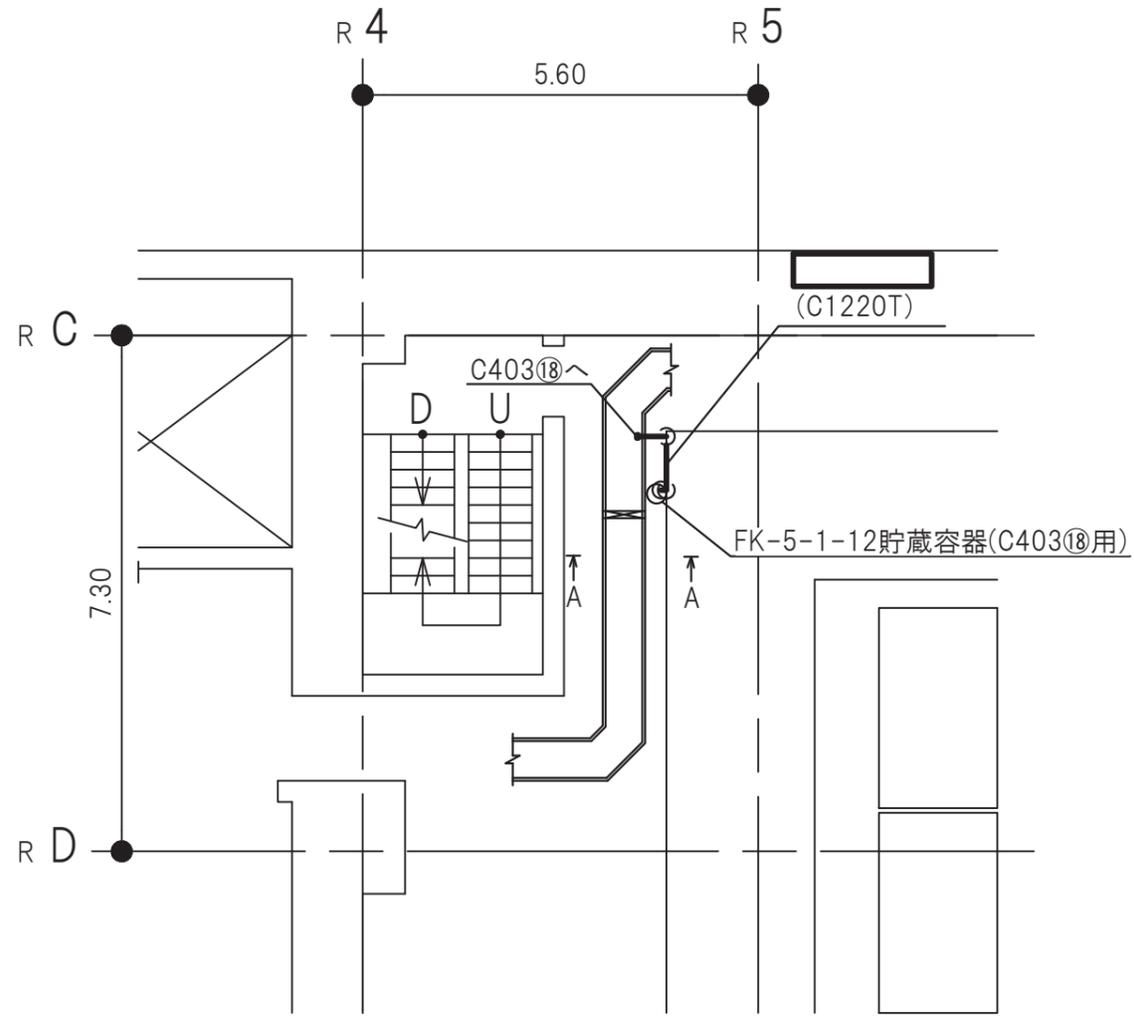


A-A矢視図

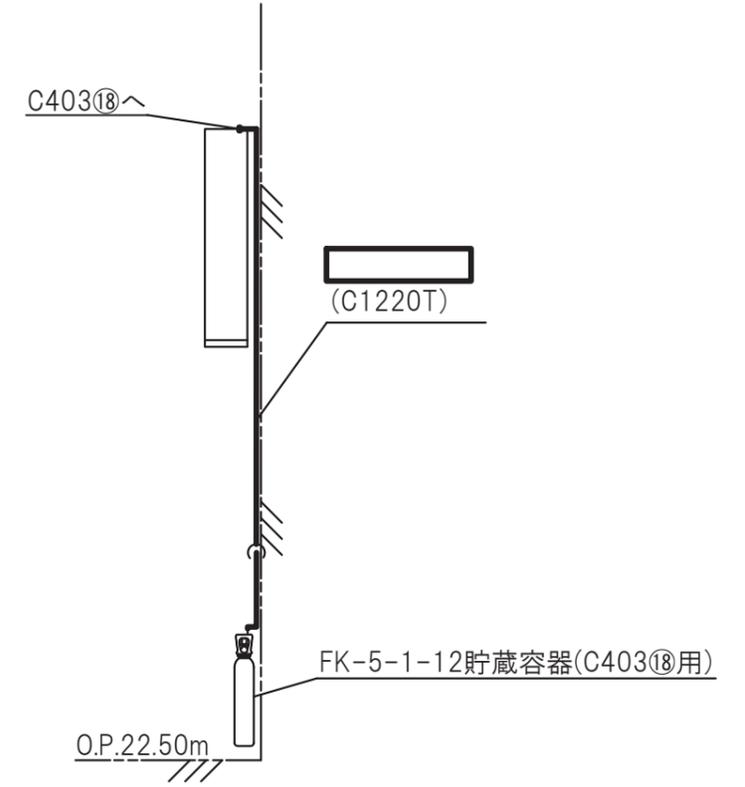
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-75図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S101⑩用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



原子炉建屋 O.P.22.50(m)



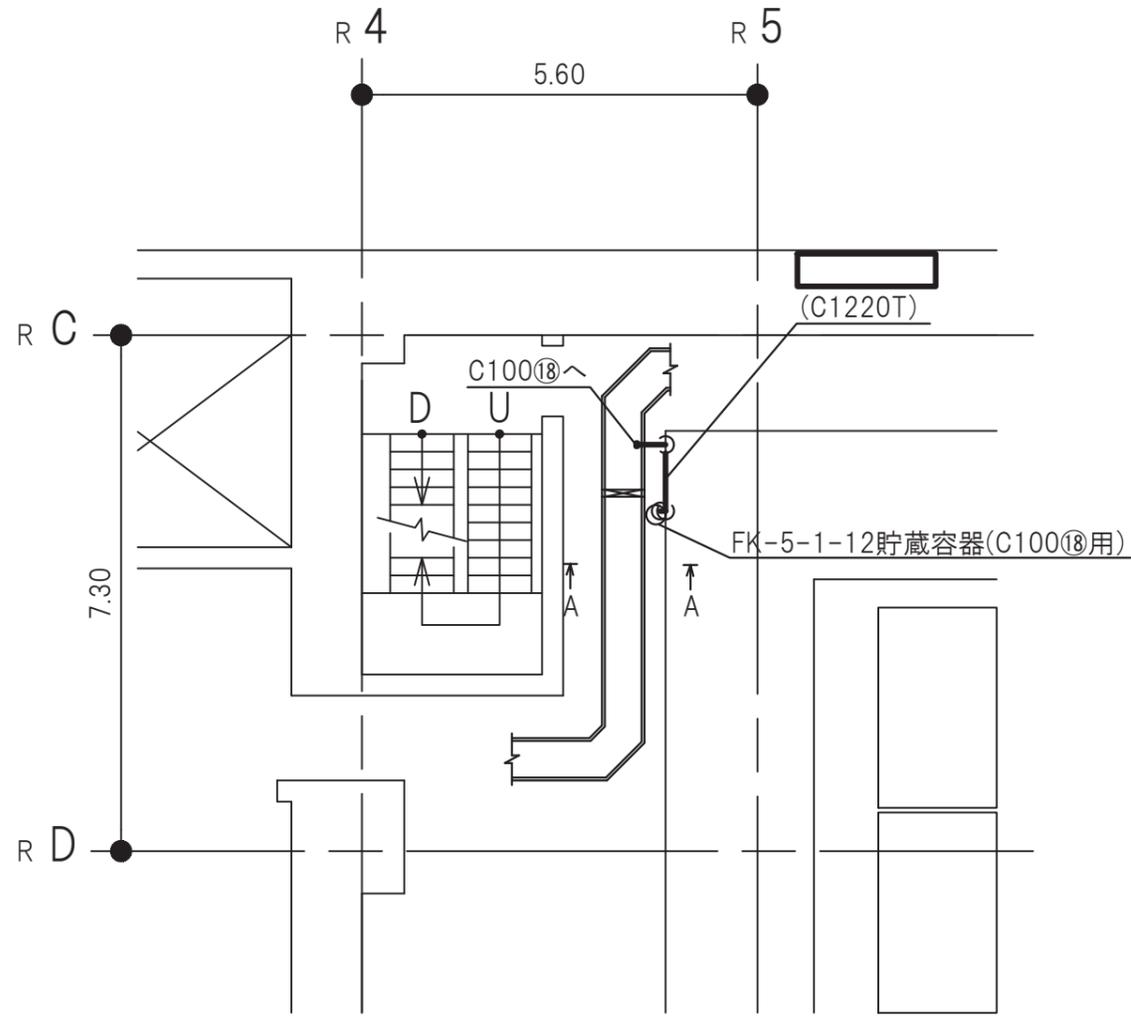
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

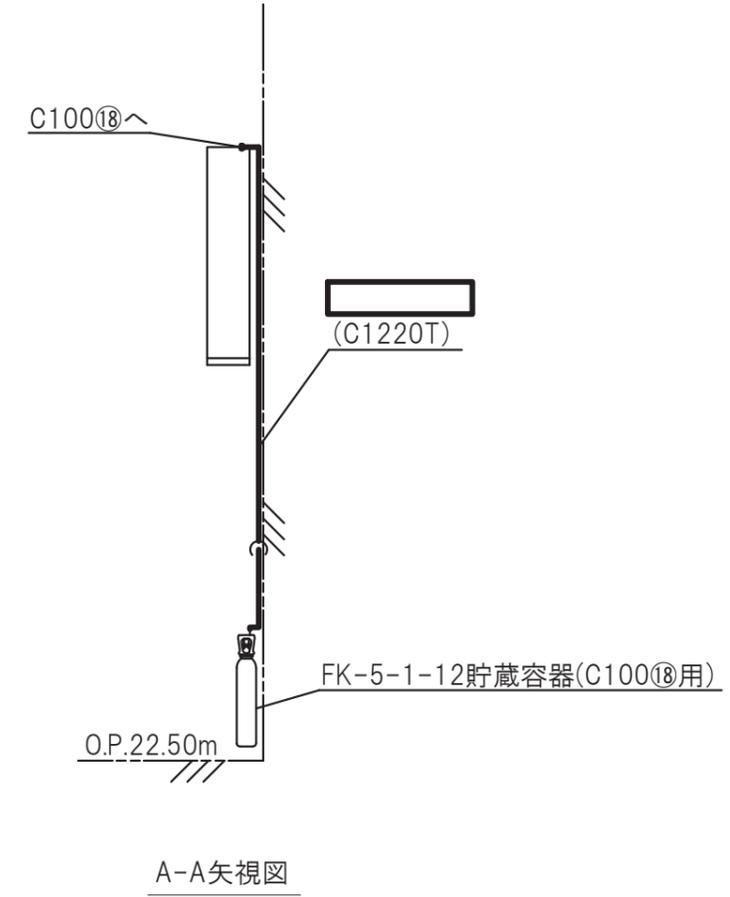
| | |
|---------------|---------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-76図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C403(18)用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



原子炉建屋 O.P.22.50(m)



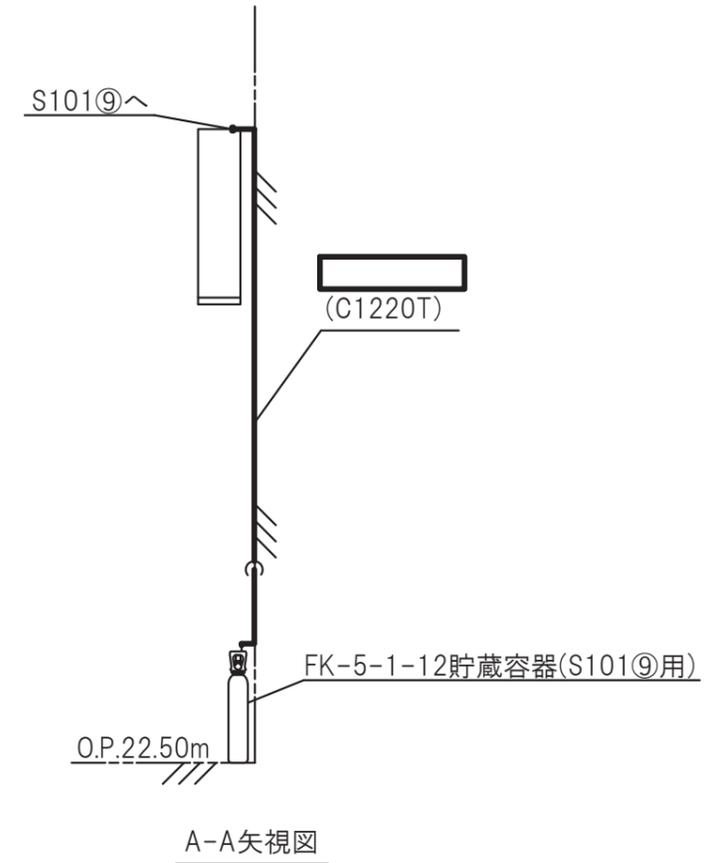
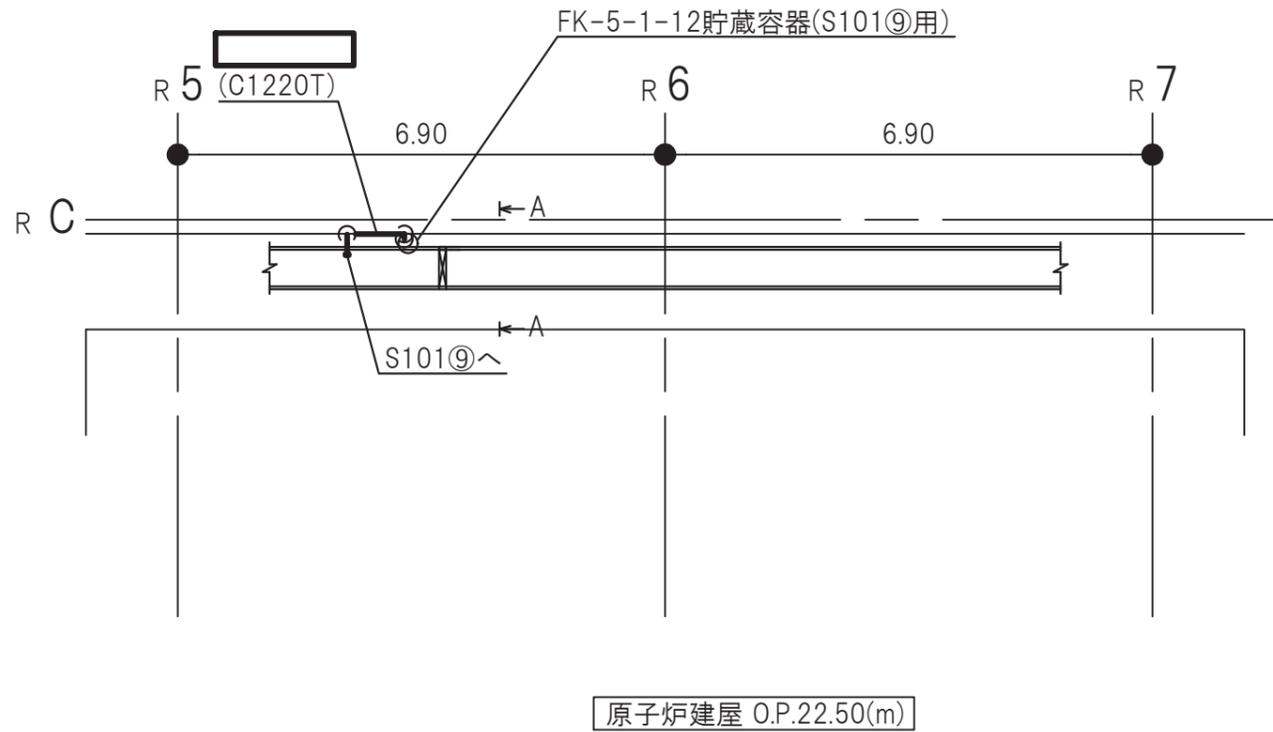
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|---------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-77図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C100(18)用) |
| 東北電力株式会社 | |

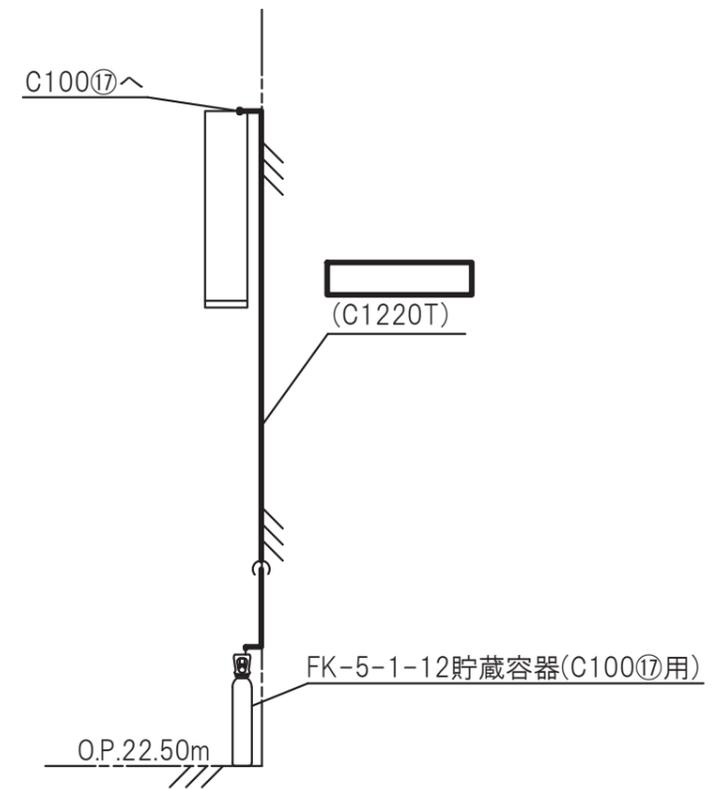
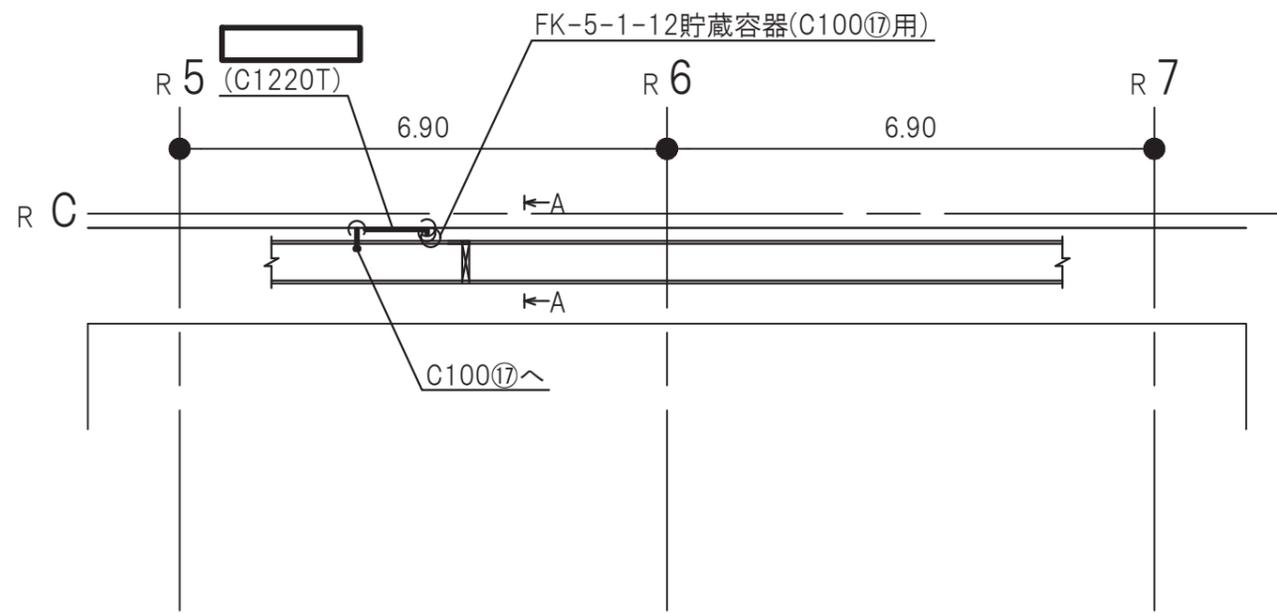
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-78図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S101㊟用) |
| 東北電力株式会社 | |



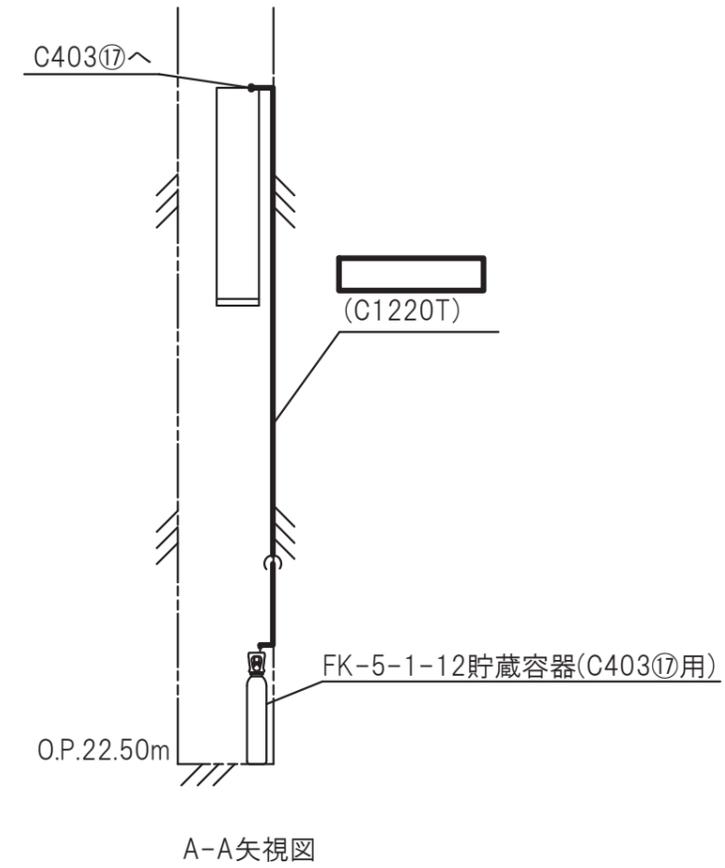
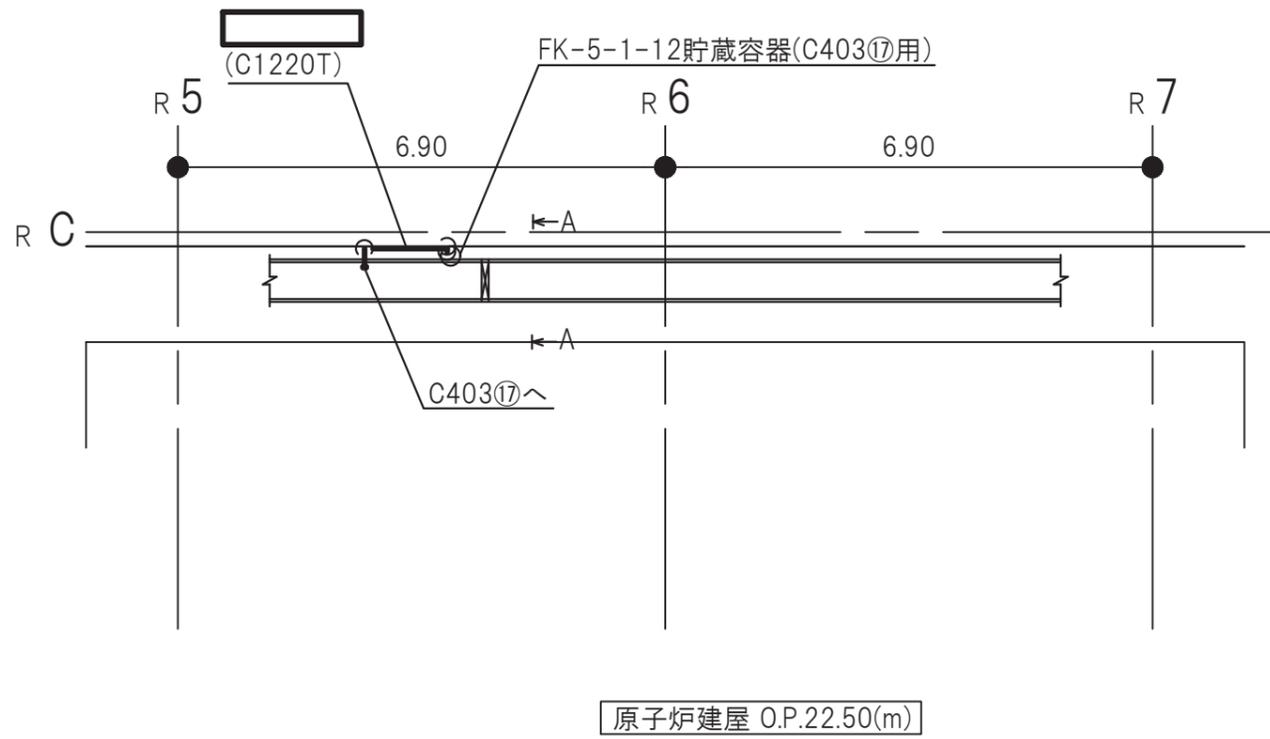
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-79図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C100⑰用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

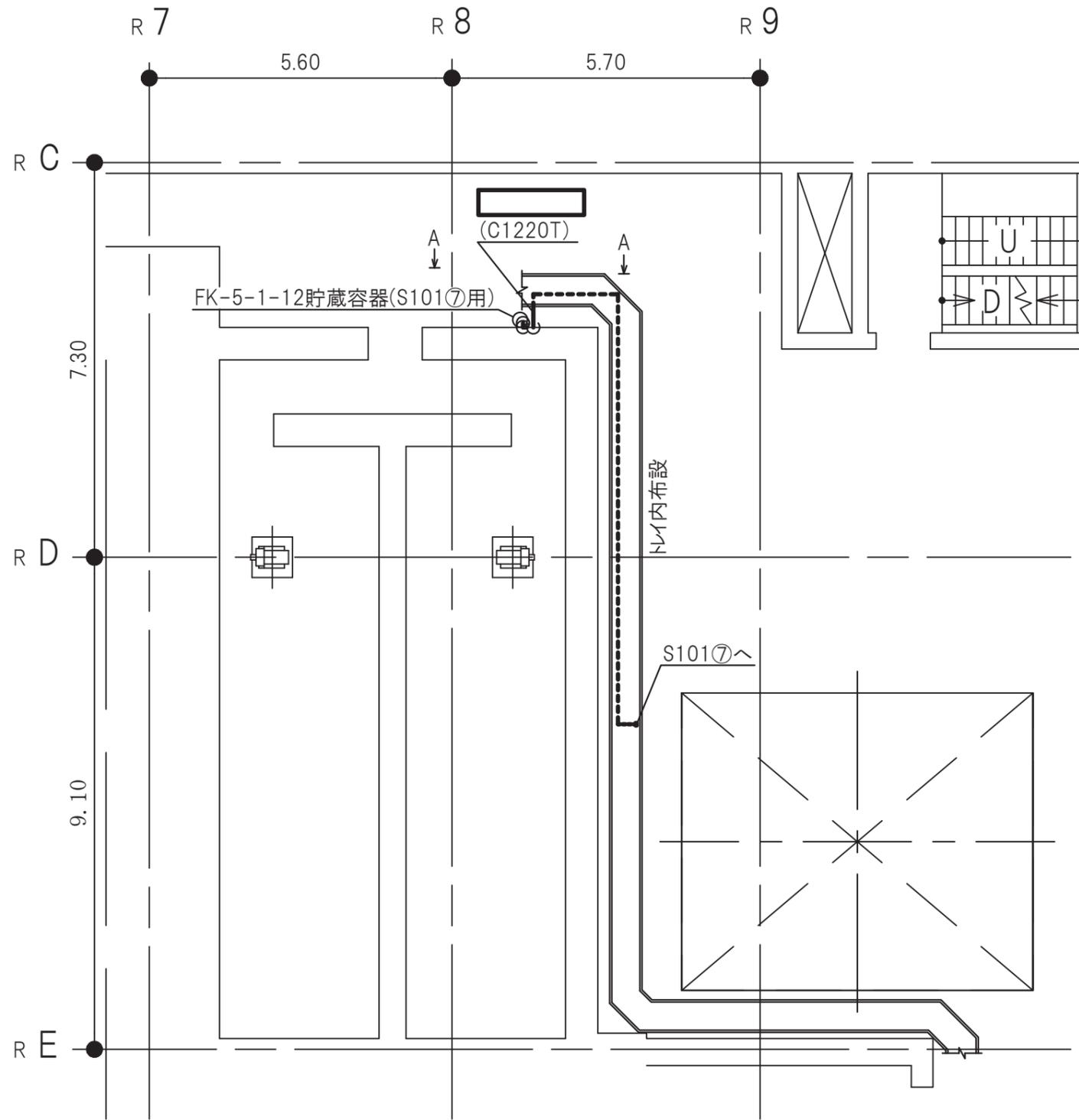


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

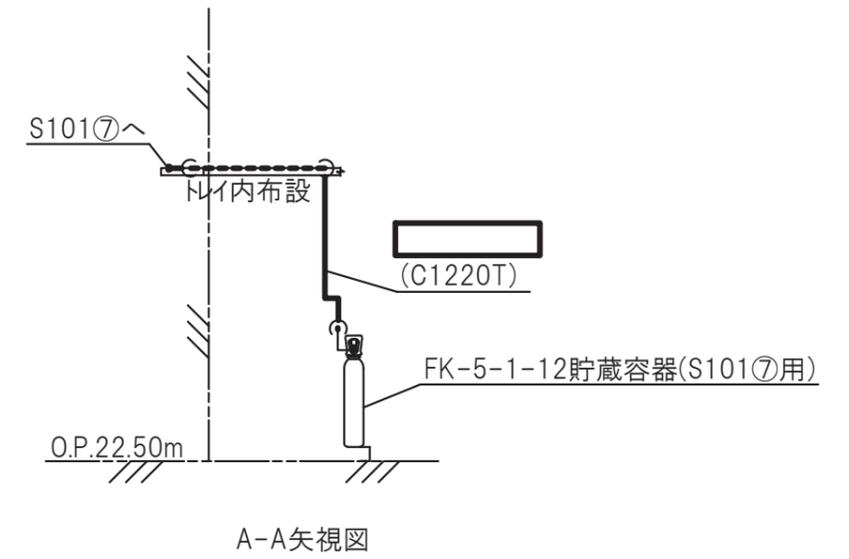
| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-80図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C403⑰用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

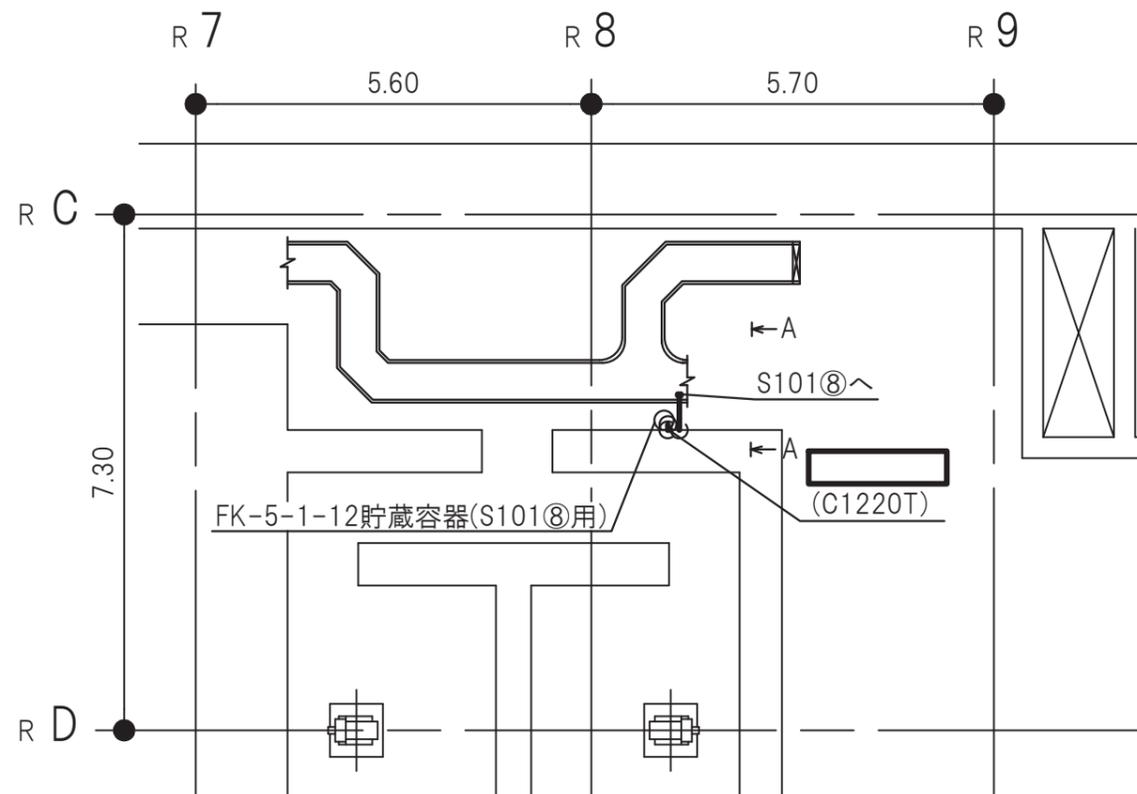


原子炉建屋 O.P.22.50(m)

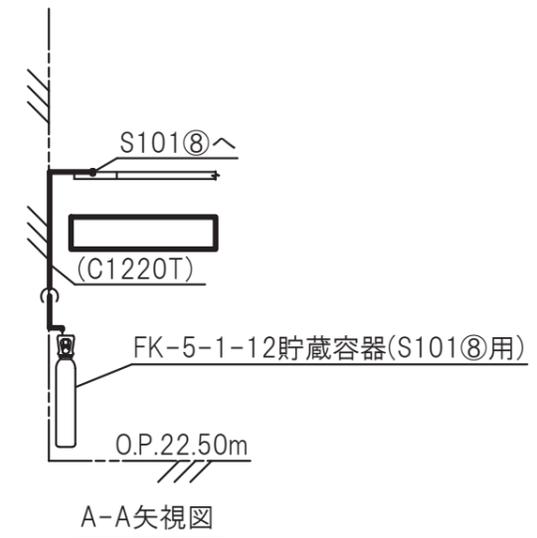


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-81図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S101㉚用) |
| 東北電力株式会社 | |



原子炉建屋 O.P.22.50(m)

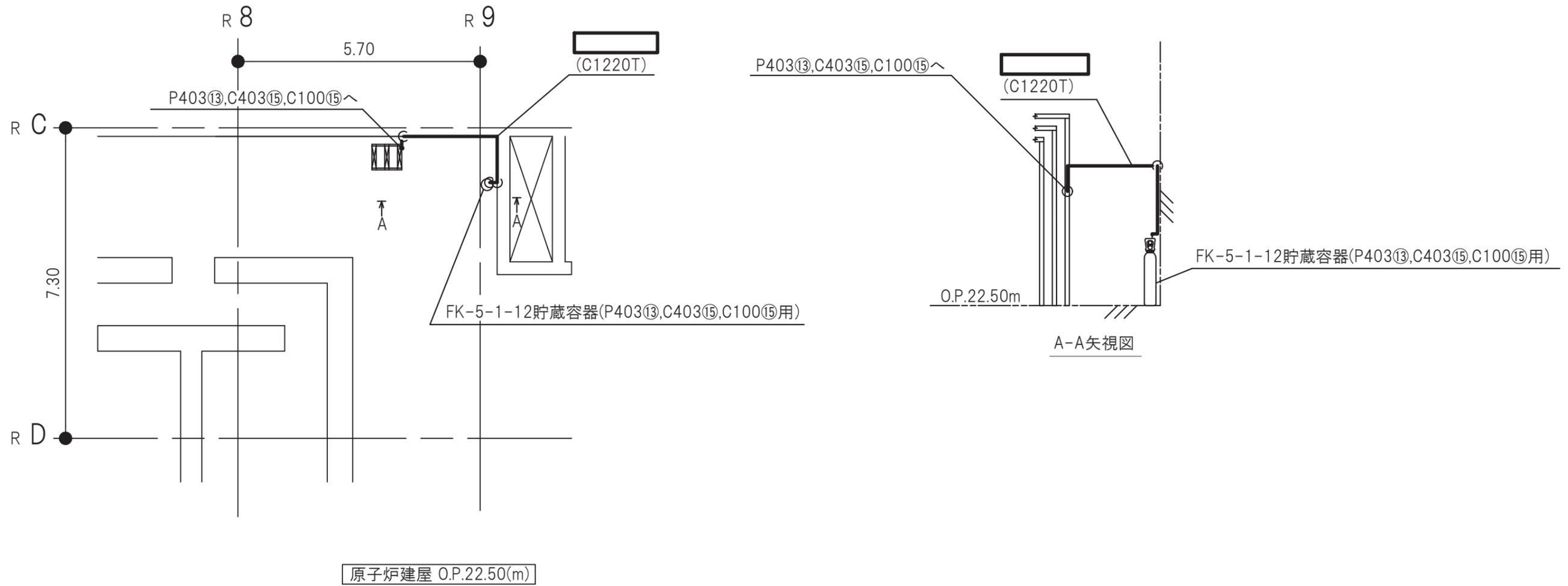
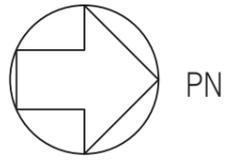


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-82図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S101⑧用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

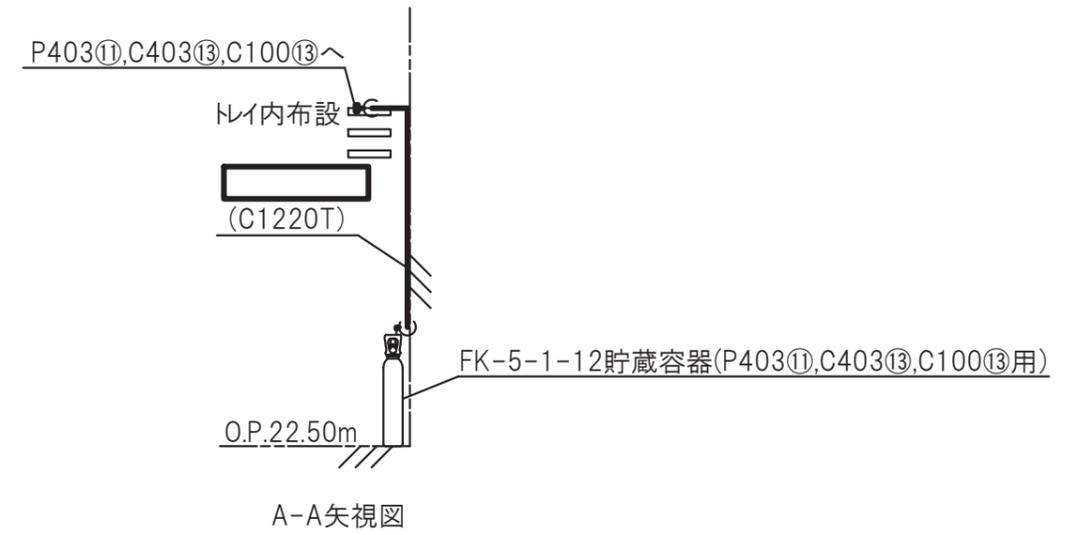
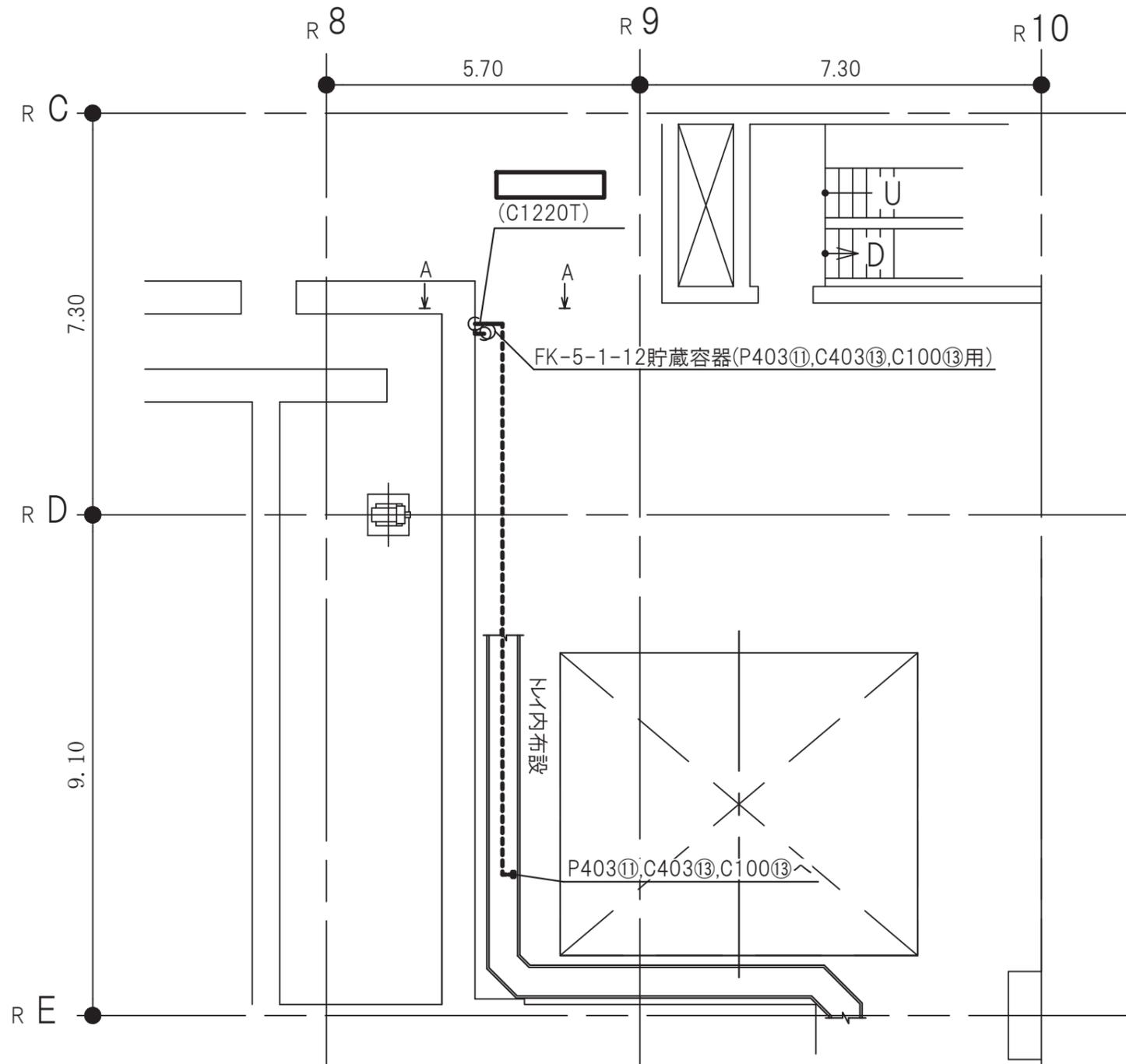


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|---|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-83図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P403(13), C403(15), C100(15)用) |
| 東北電力株式会社 | |

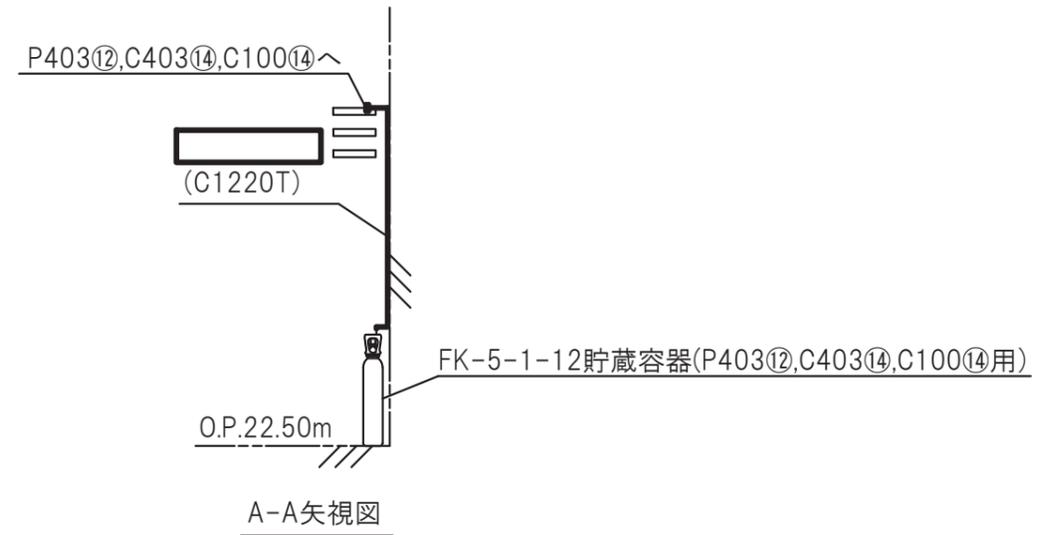
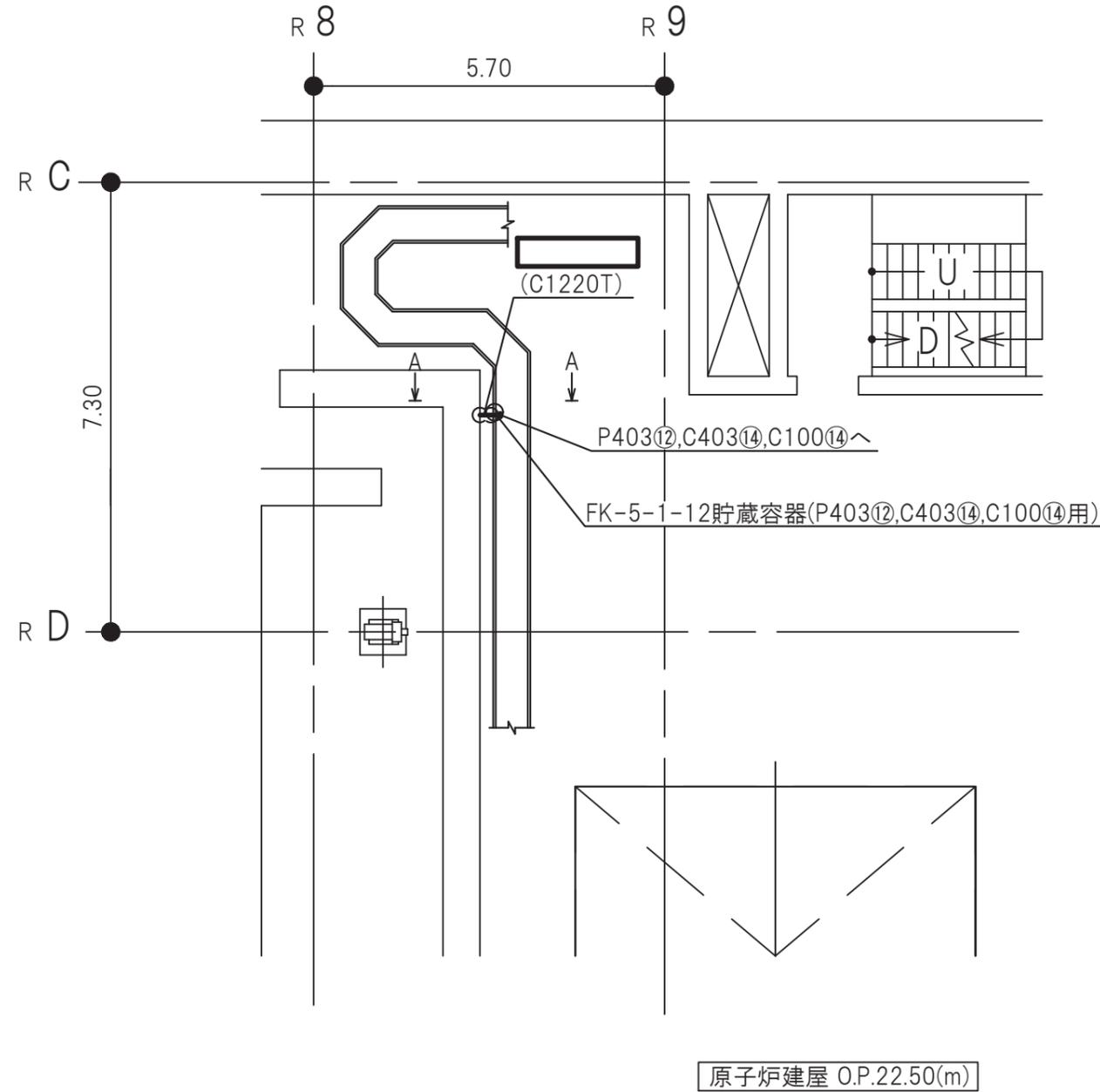
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



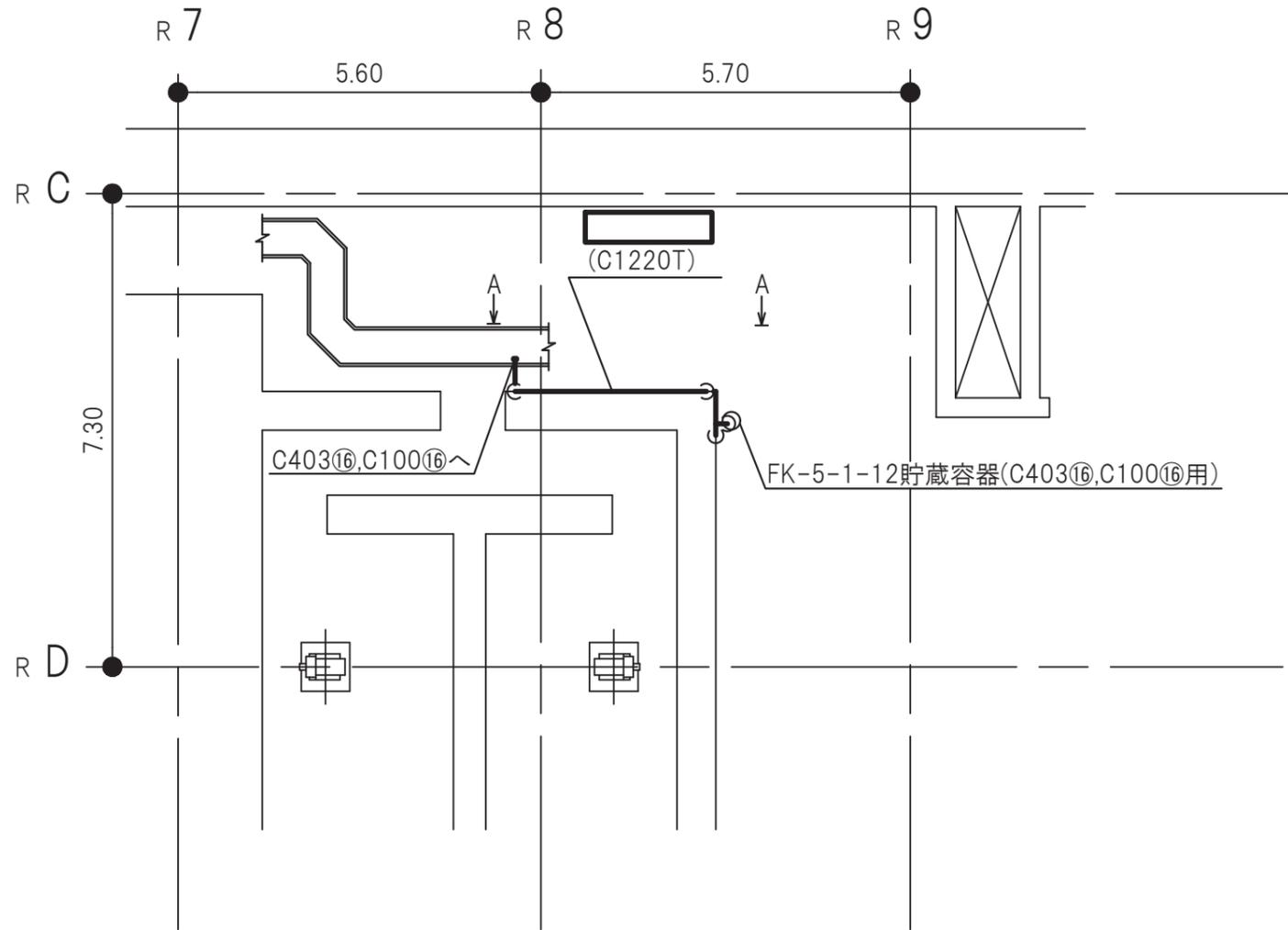
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-84図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P403①, C403⑬, C100⑬用) |
| 東北電力株式会社 | |

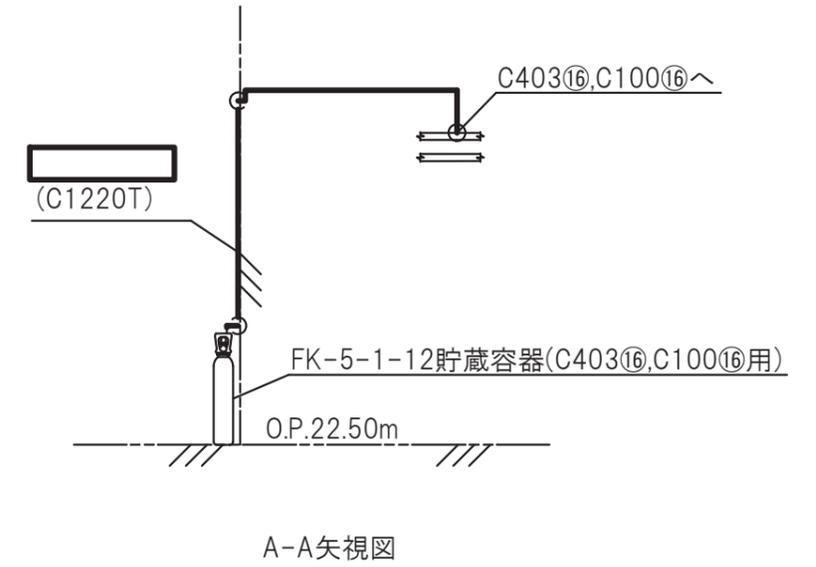


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|---|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-85図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P403(12), C403(14), C100(14)用) |
| 東北電力株式会社 | |



原子炉建屋 O.P.22.50(m)

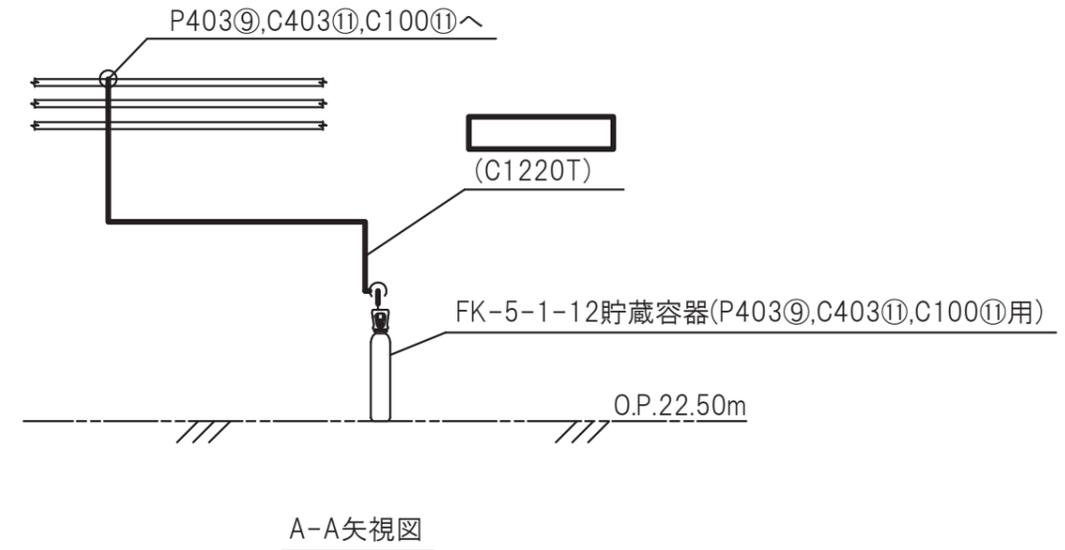
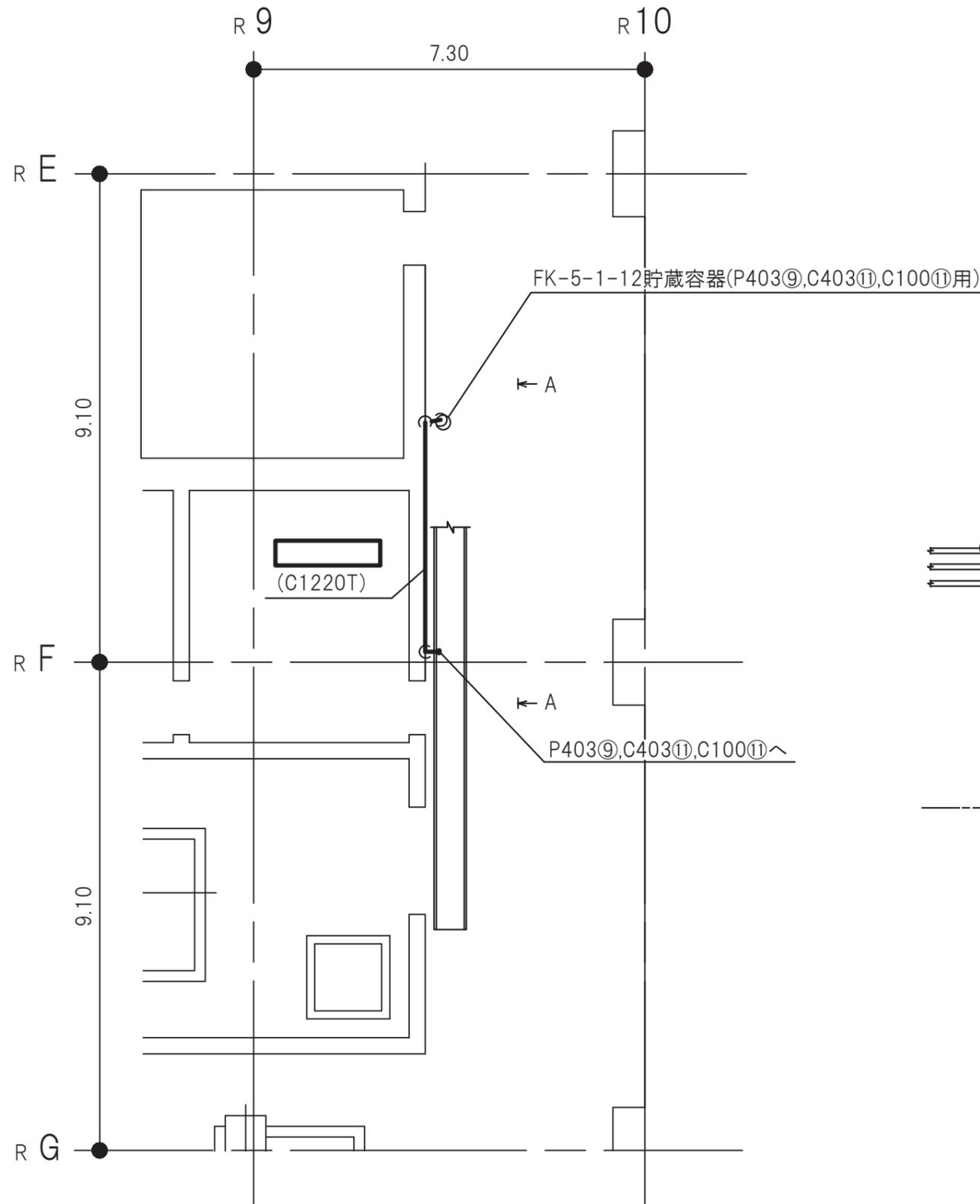


A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-86図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C403(16),C100(16)用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

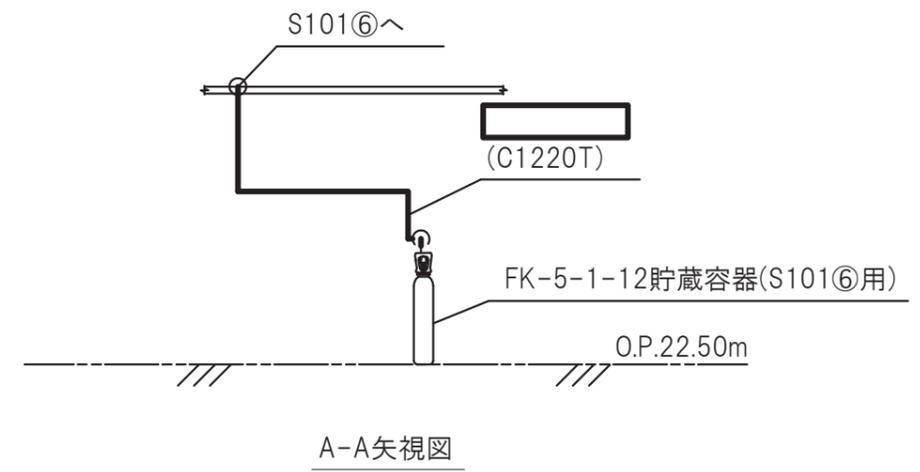
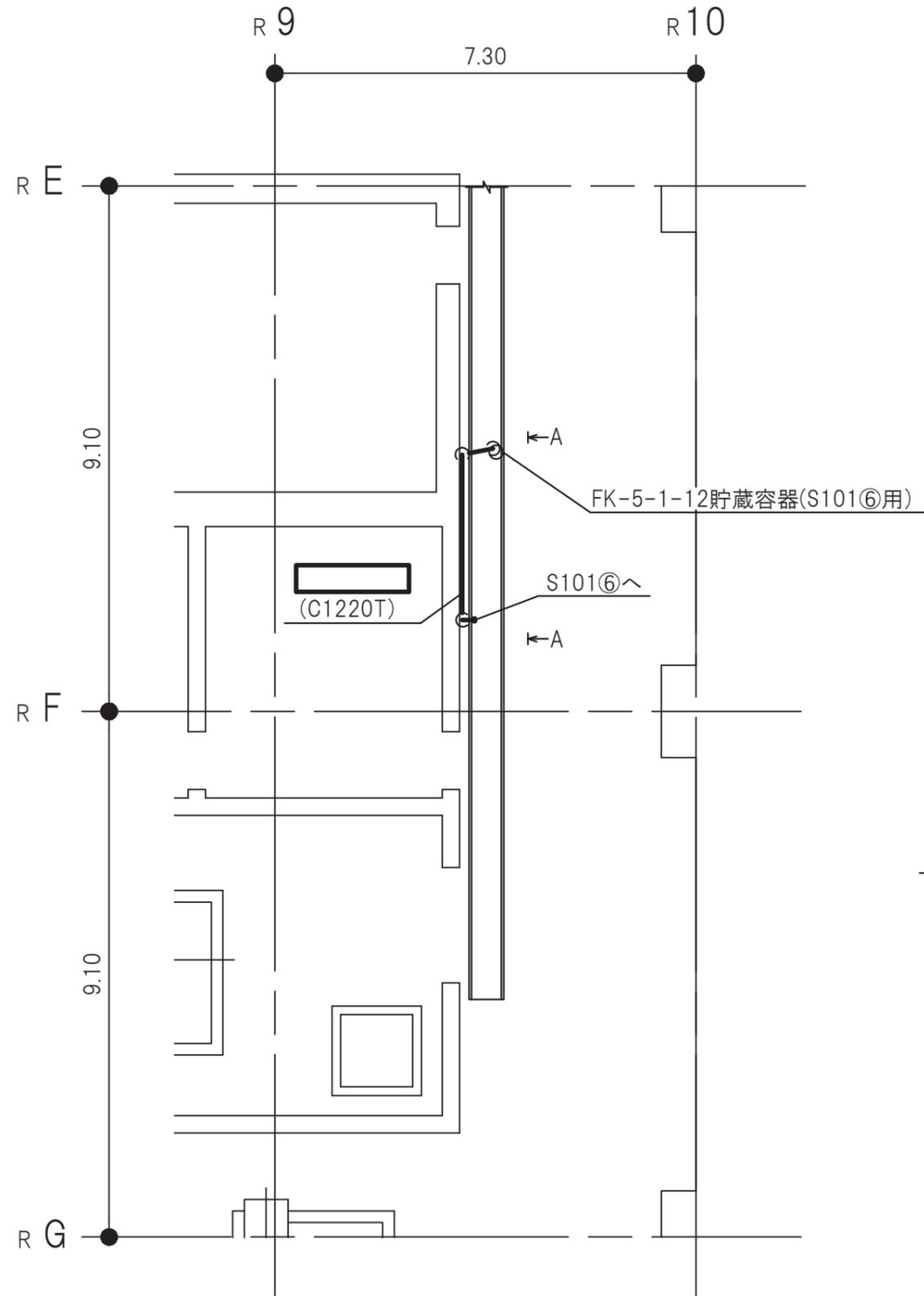
原子炉建屋 O.P.22.50(m)

原子炉建屋

| | |
|---------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-87図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (P403㊸,C403㊸,C100㊸用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

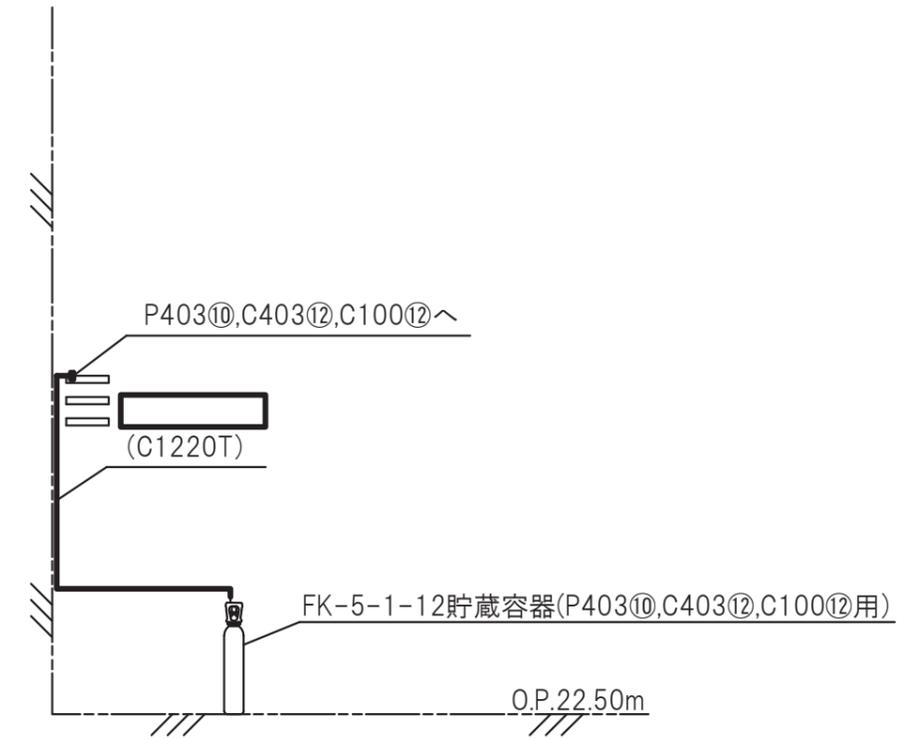
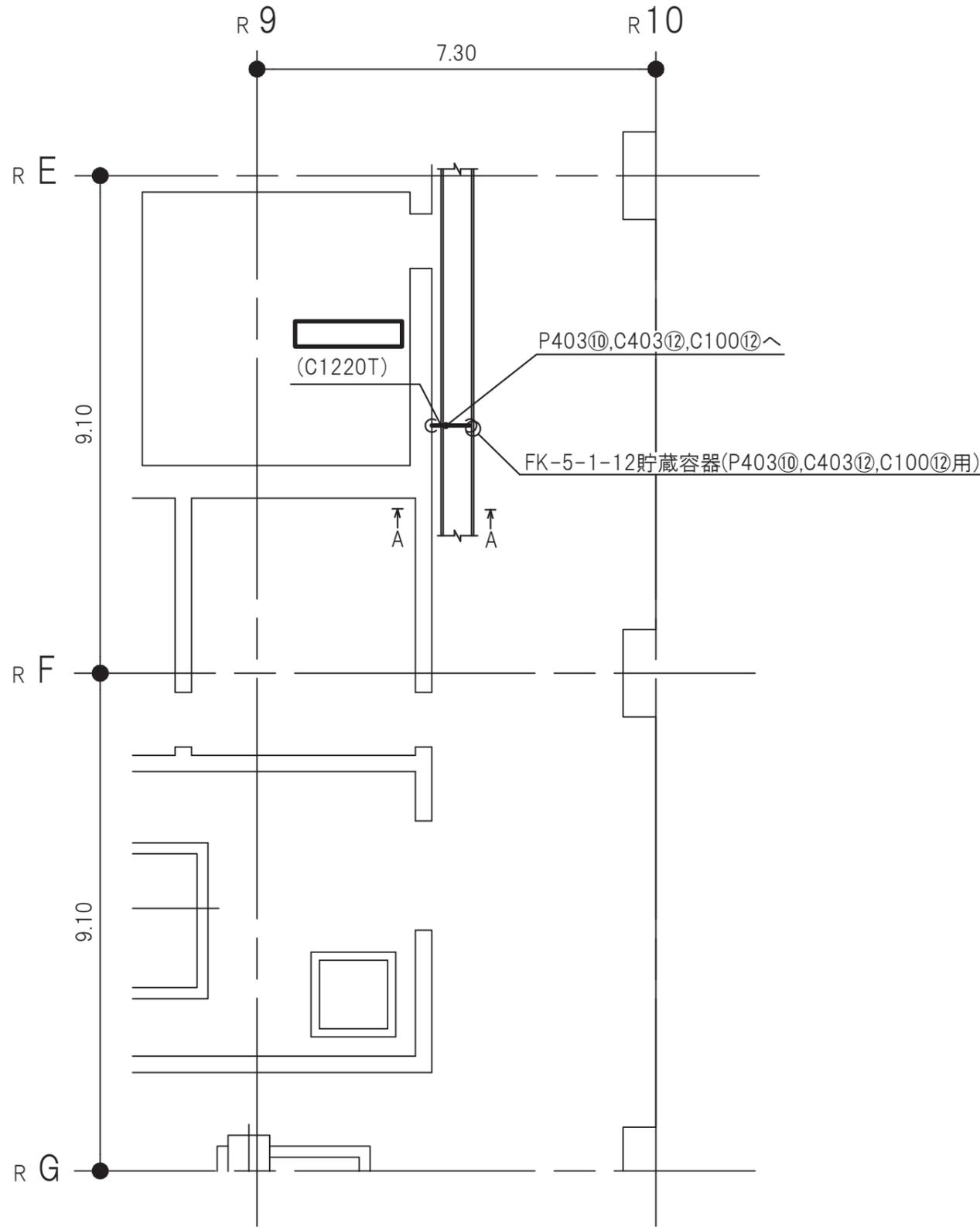
1618



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

原子炉建屋 O.P.22.50(m)

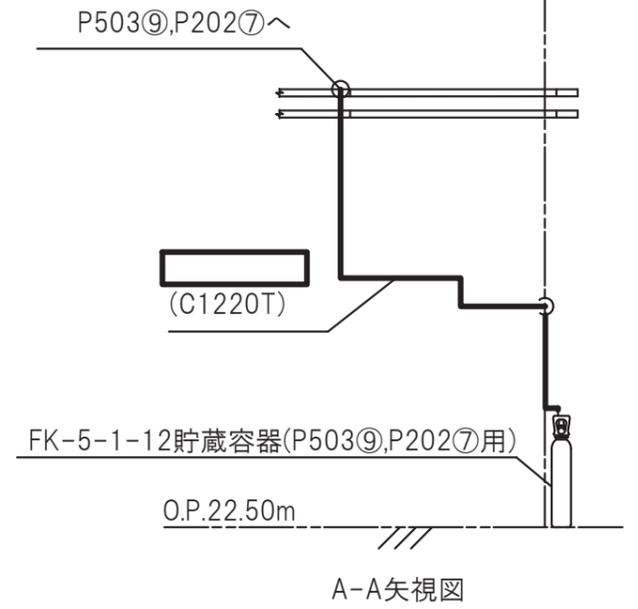
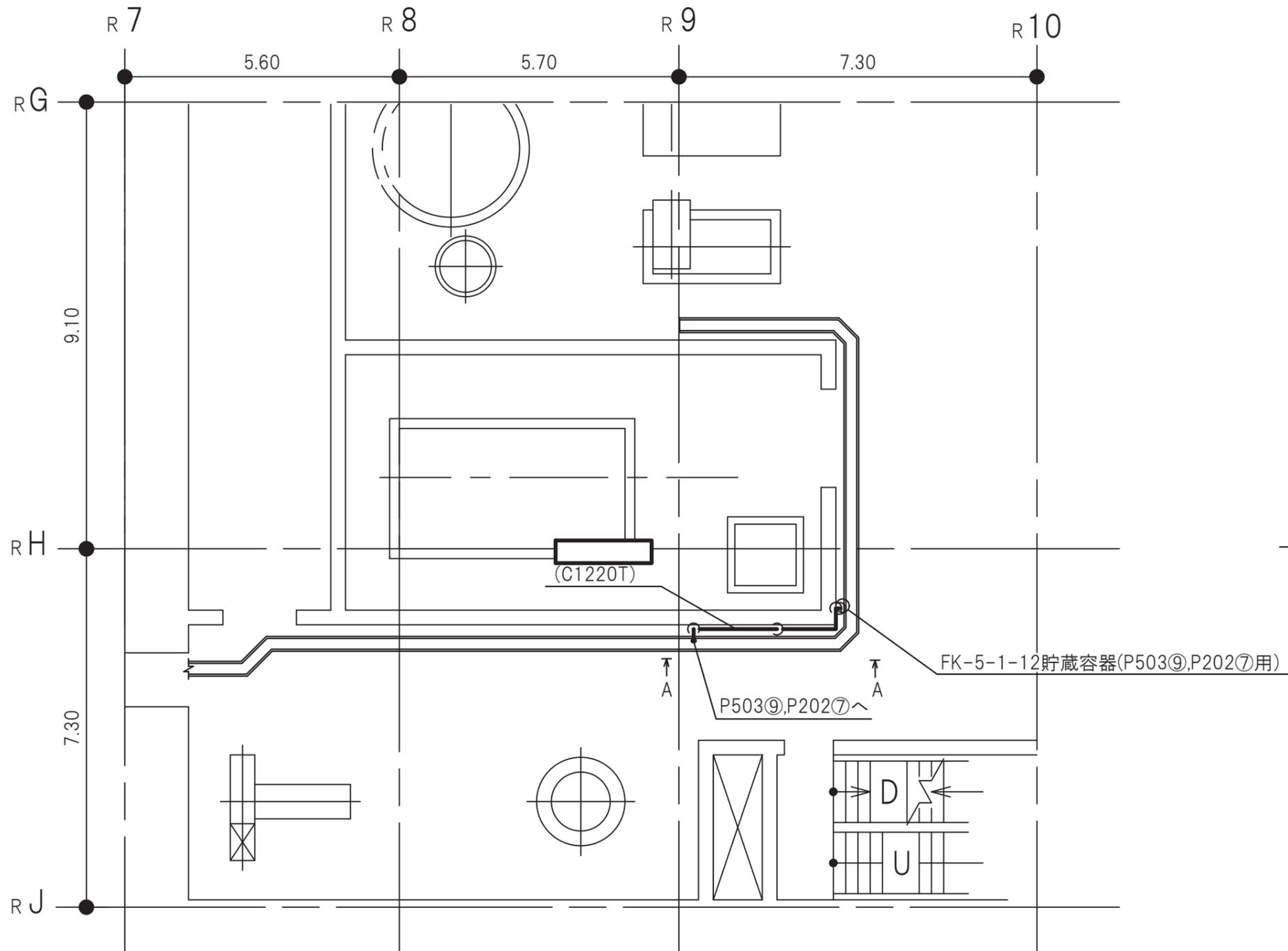
| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-88図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S101⑥用) |
| 東北電力株式会社 | |



A-A矢視図

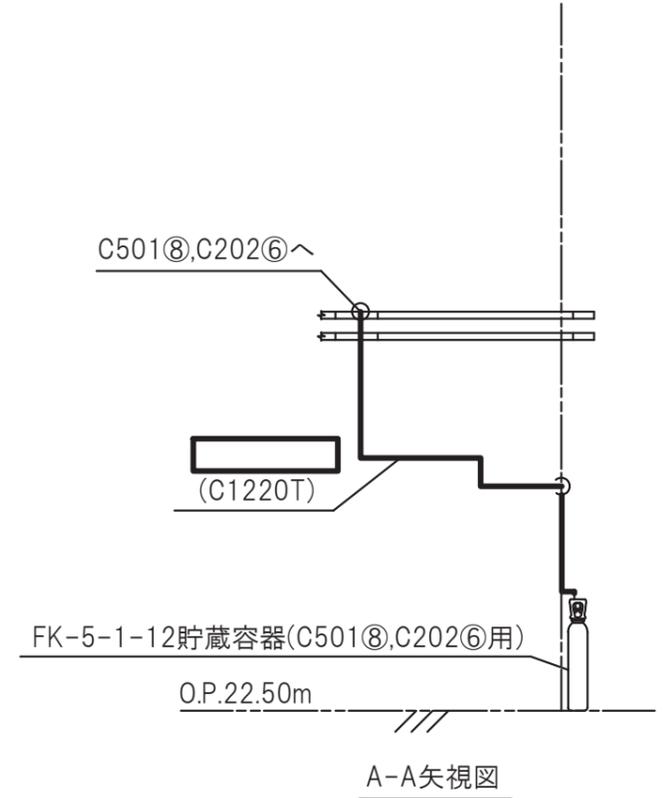
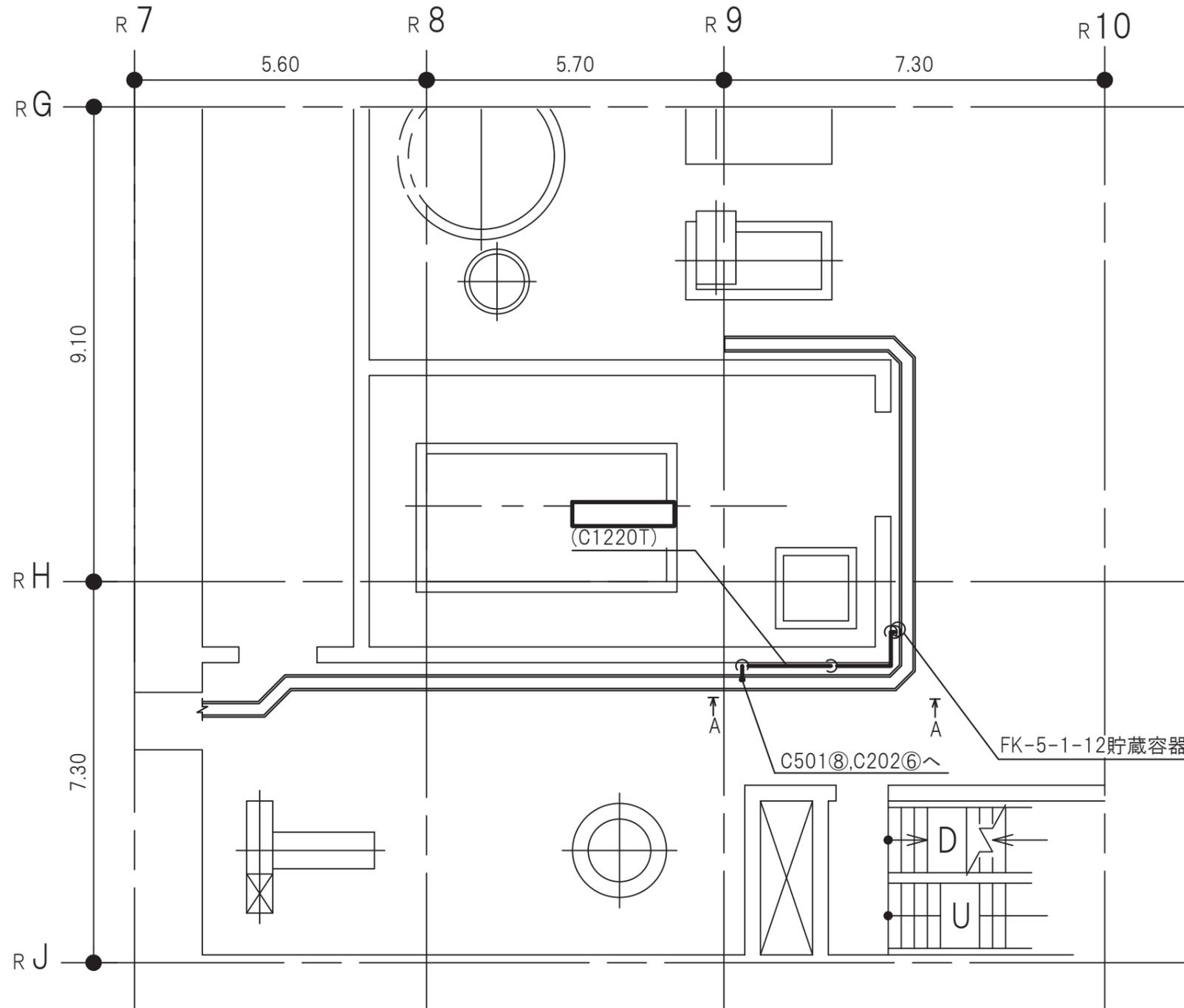
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|----------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-89図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面 |
| | (P403⑩,C403⑫,C100⑬用) |
| 東北電力株式会社 | |



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

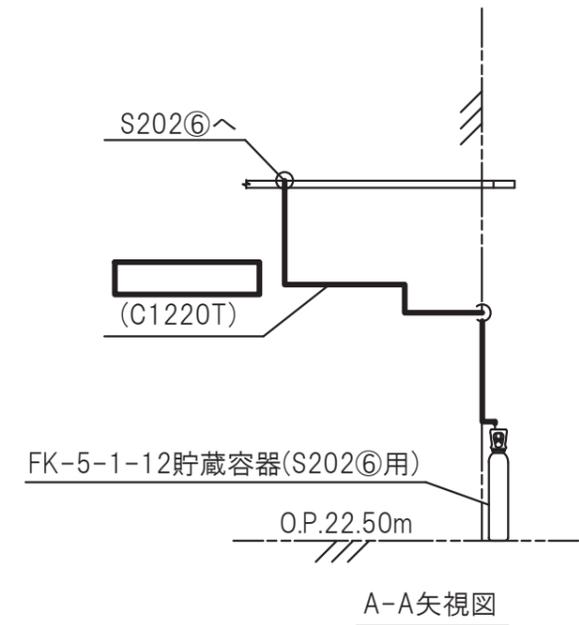
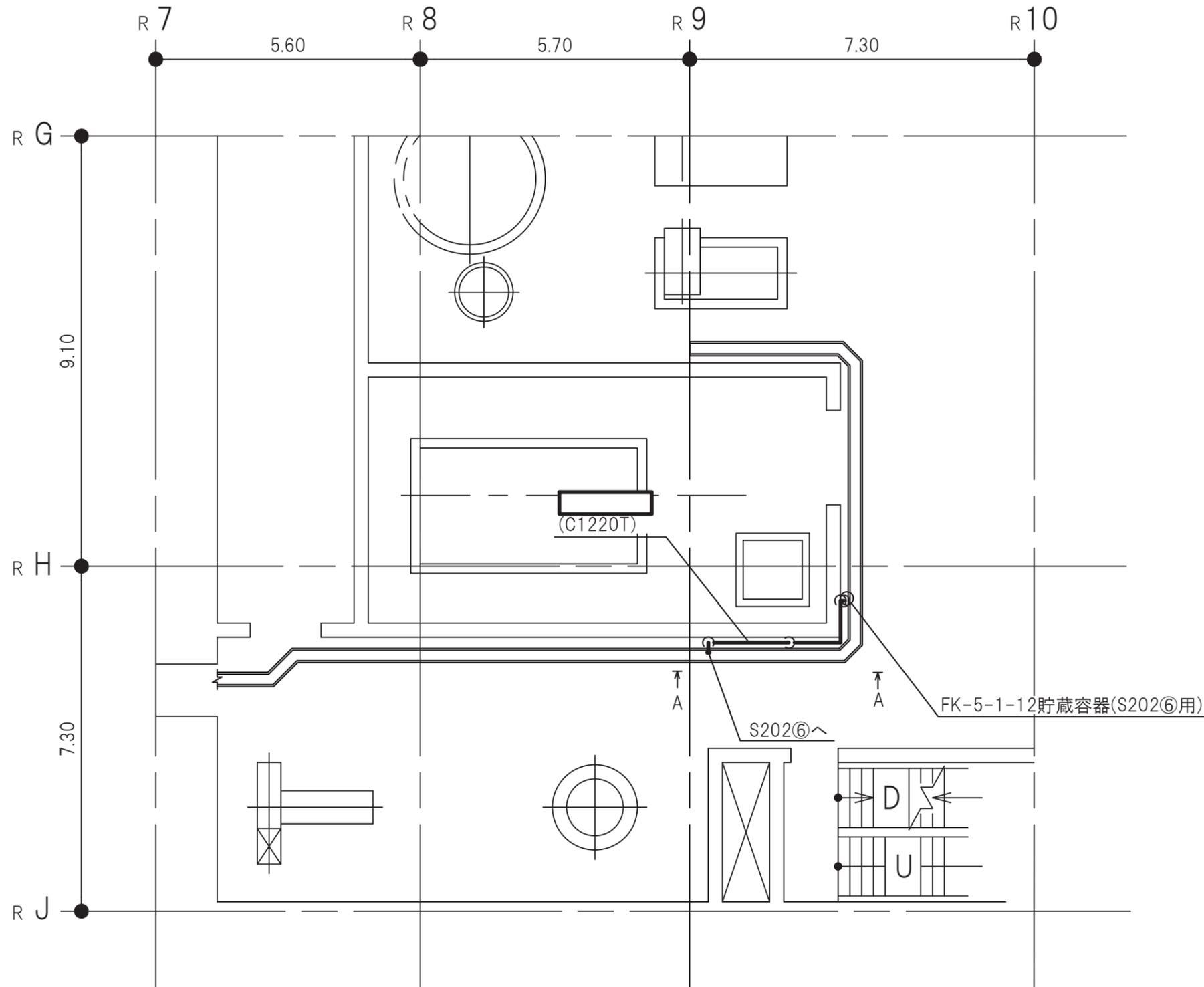
| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-90図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P503㉑,P202㉗用) |
| 東北電力株式会社 | |



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

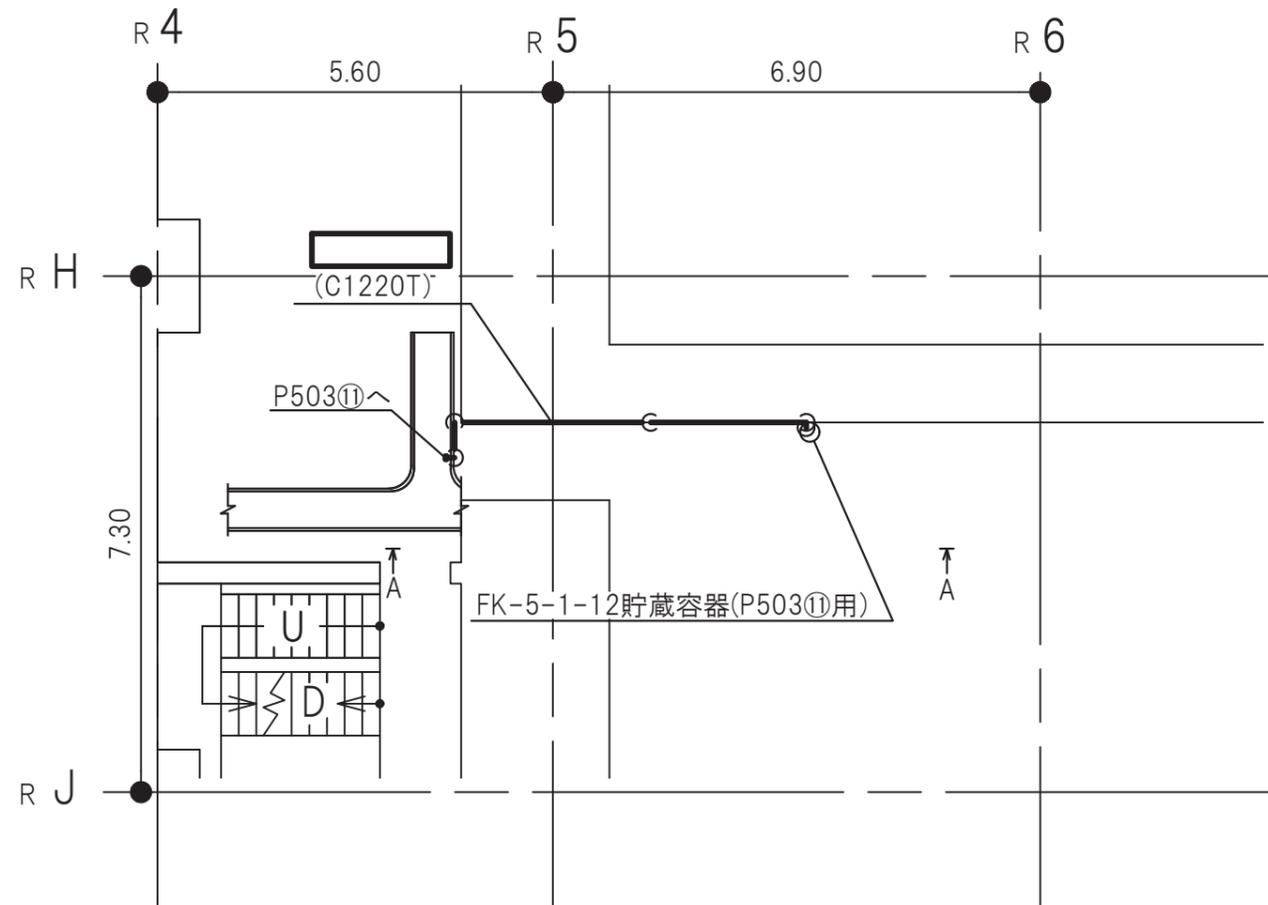
| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-91図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C501⑧,C202⑥用) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

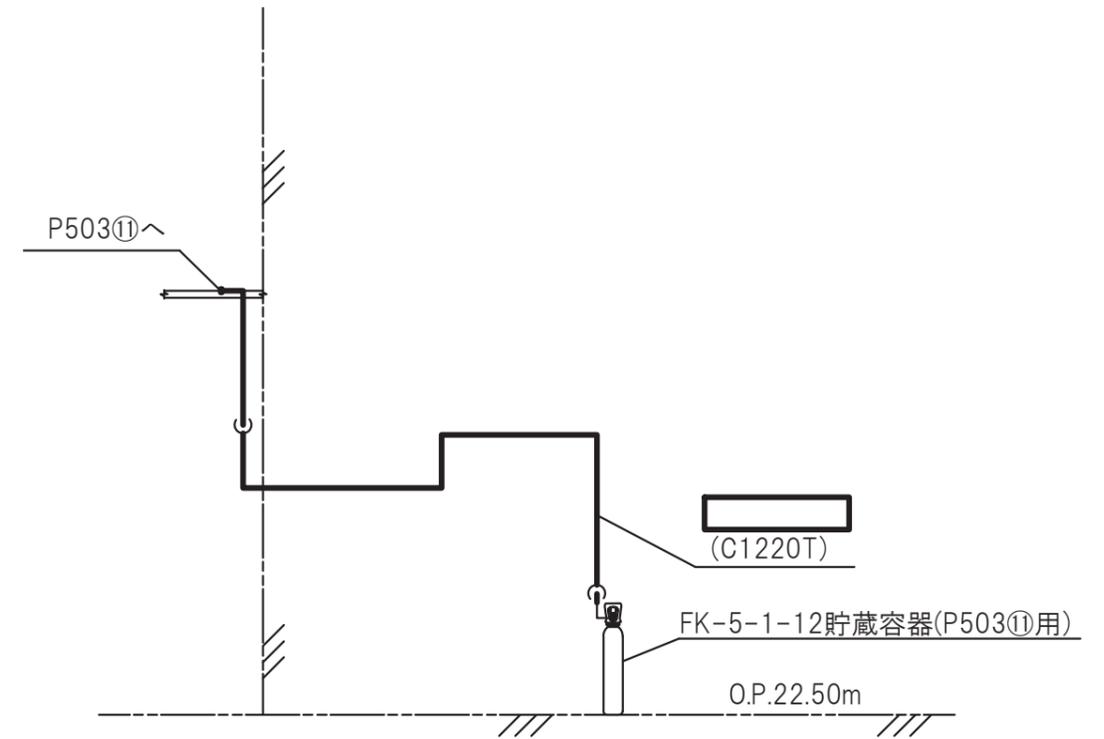


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-92図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S202⑥用) |
| 東北電力株式会社 | |



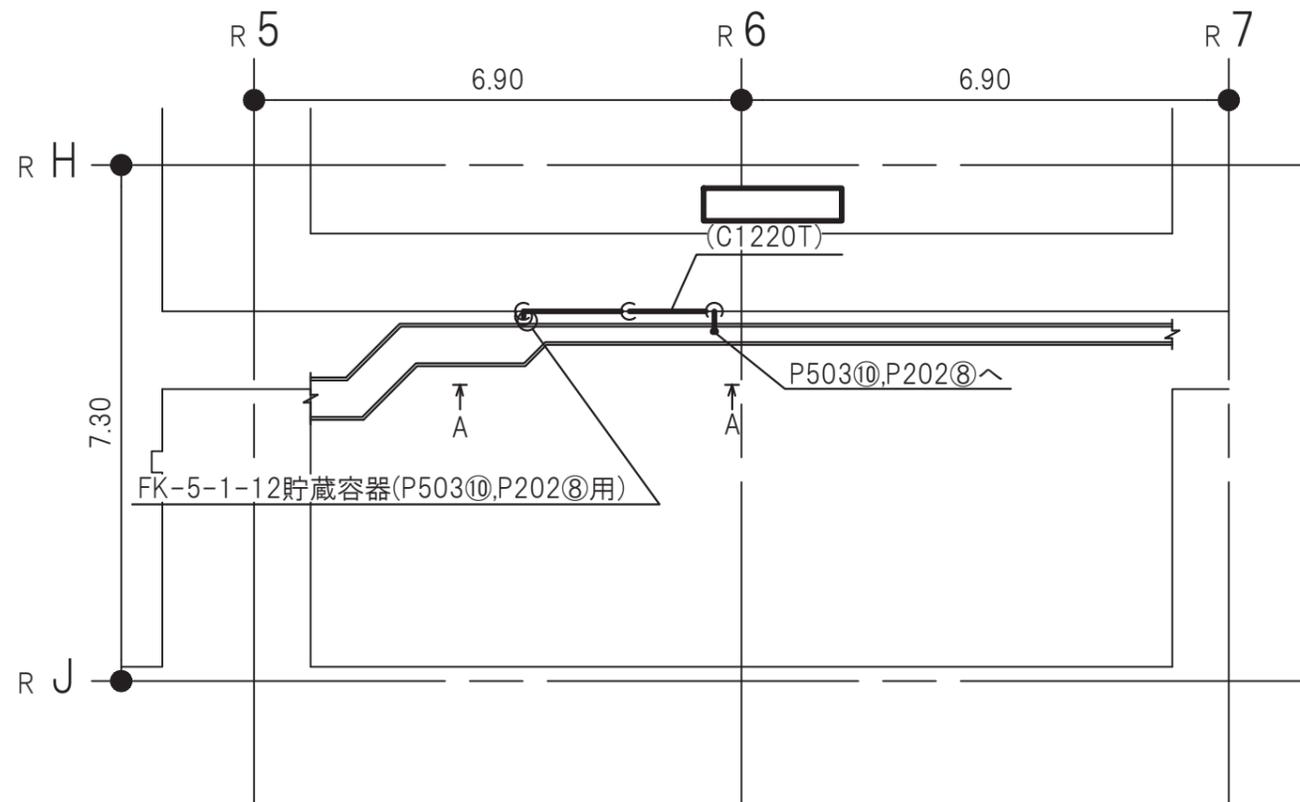
原子炉建屋 O.P.22.50(m)



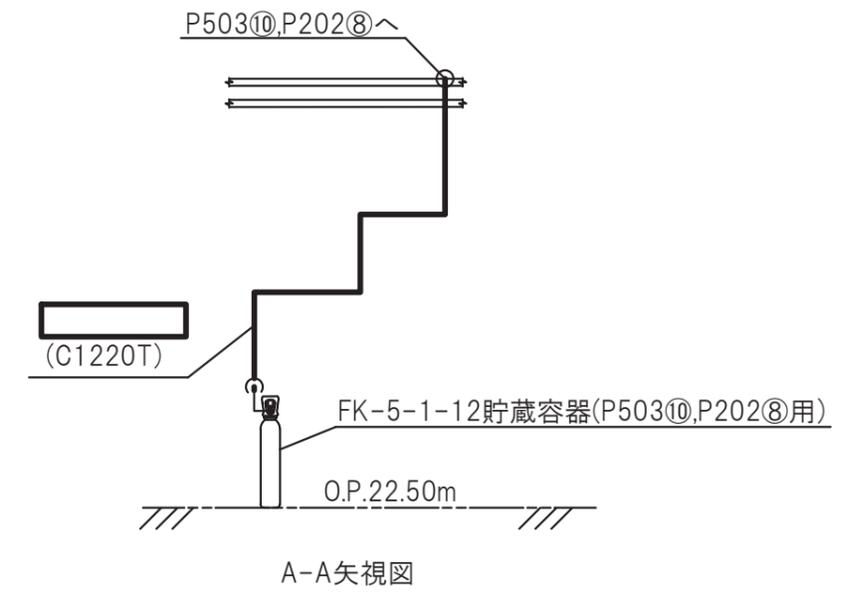
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-93図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P503①用) |
| 東北電力株式会社 | |

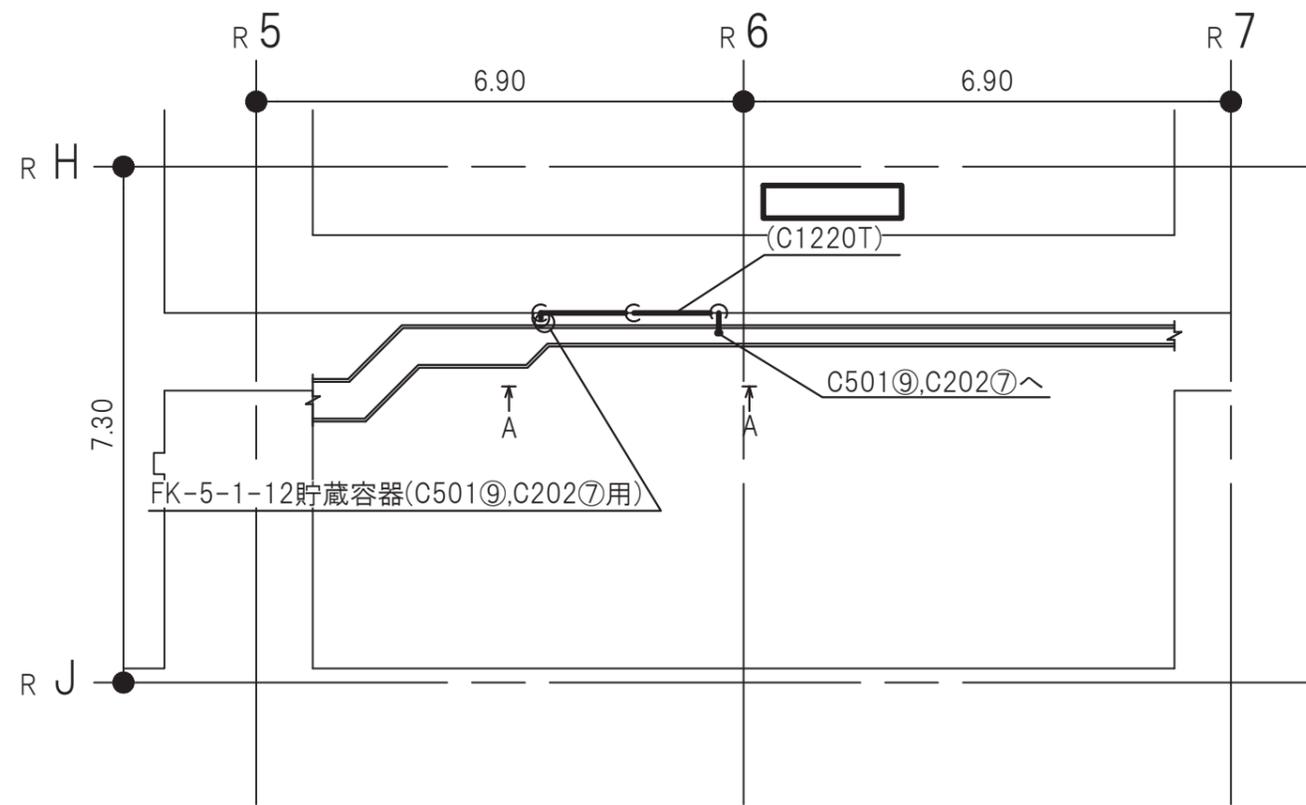


原子炉建屋 O.P.22.50(m)

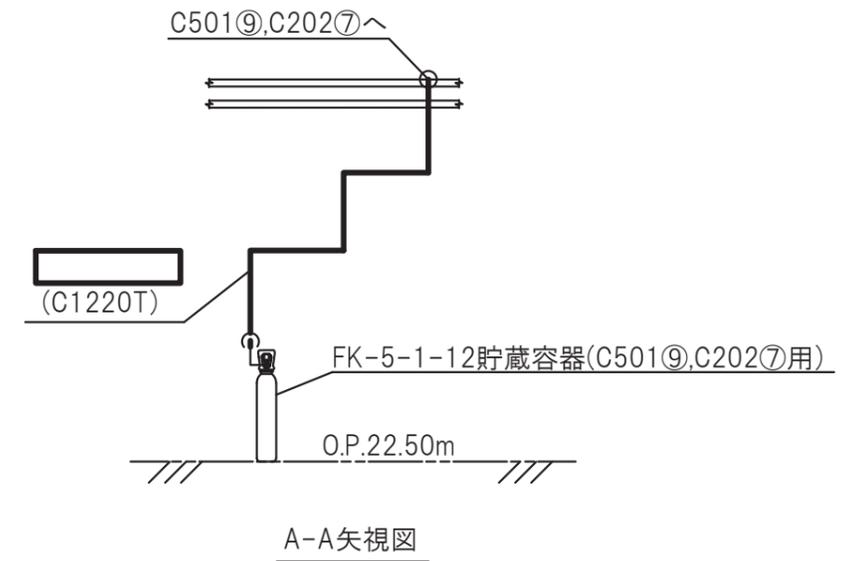


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|---|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-94図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P503⑩, P202⑧用) |
| 東北電力株式会社 | |

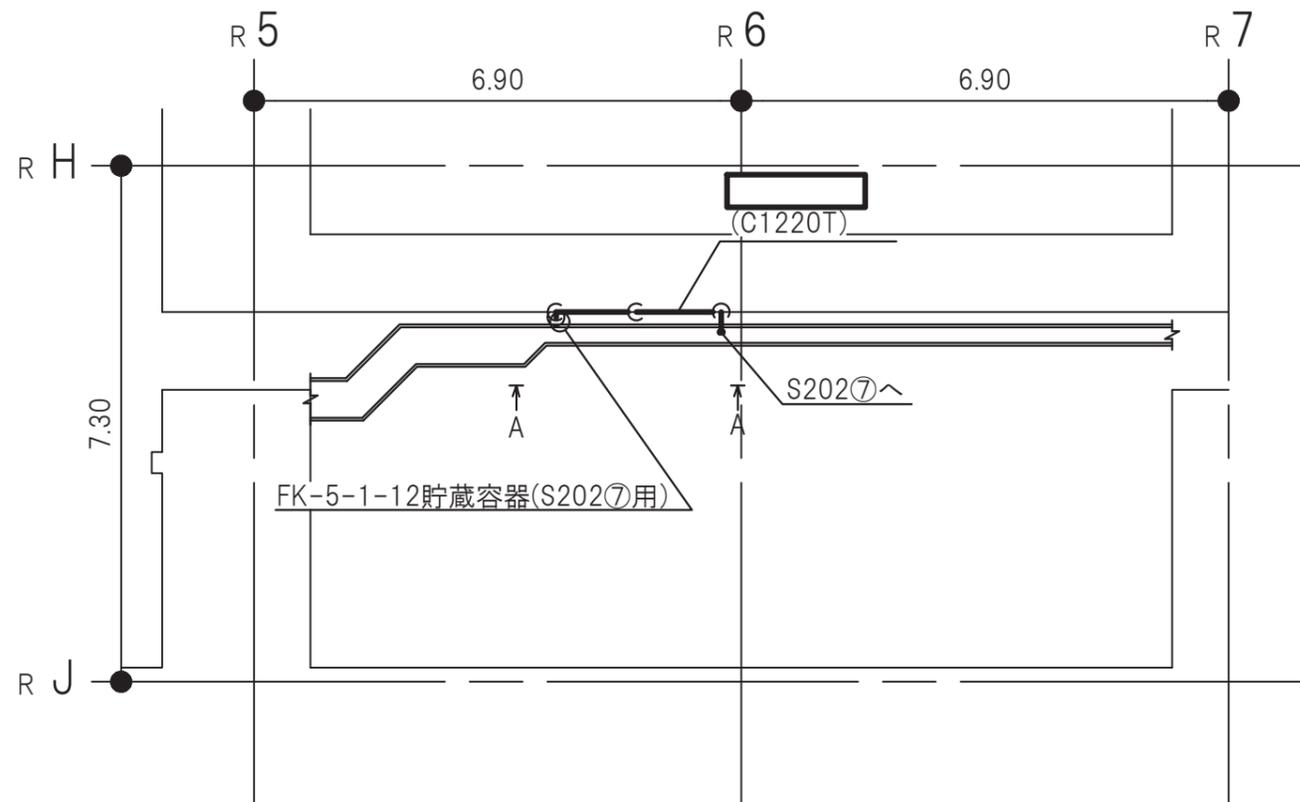


原子炉建屋 O.P.22.50(m)

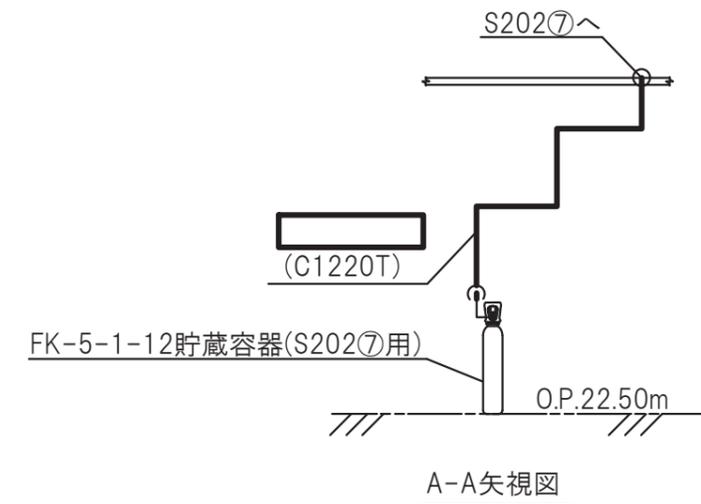


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-95図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C501⑨,C202⑦用) |
| 東北電力株式会社 | |



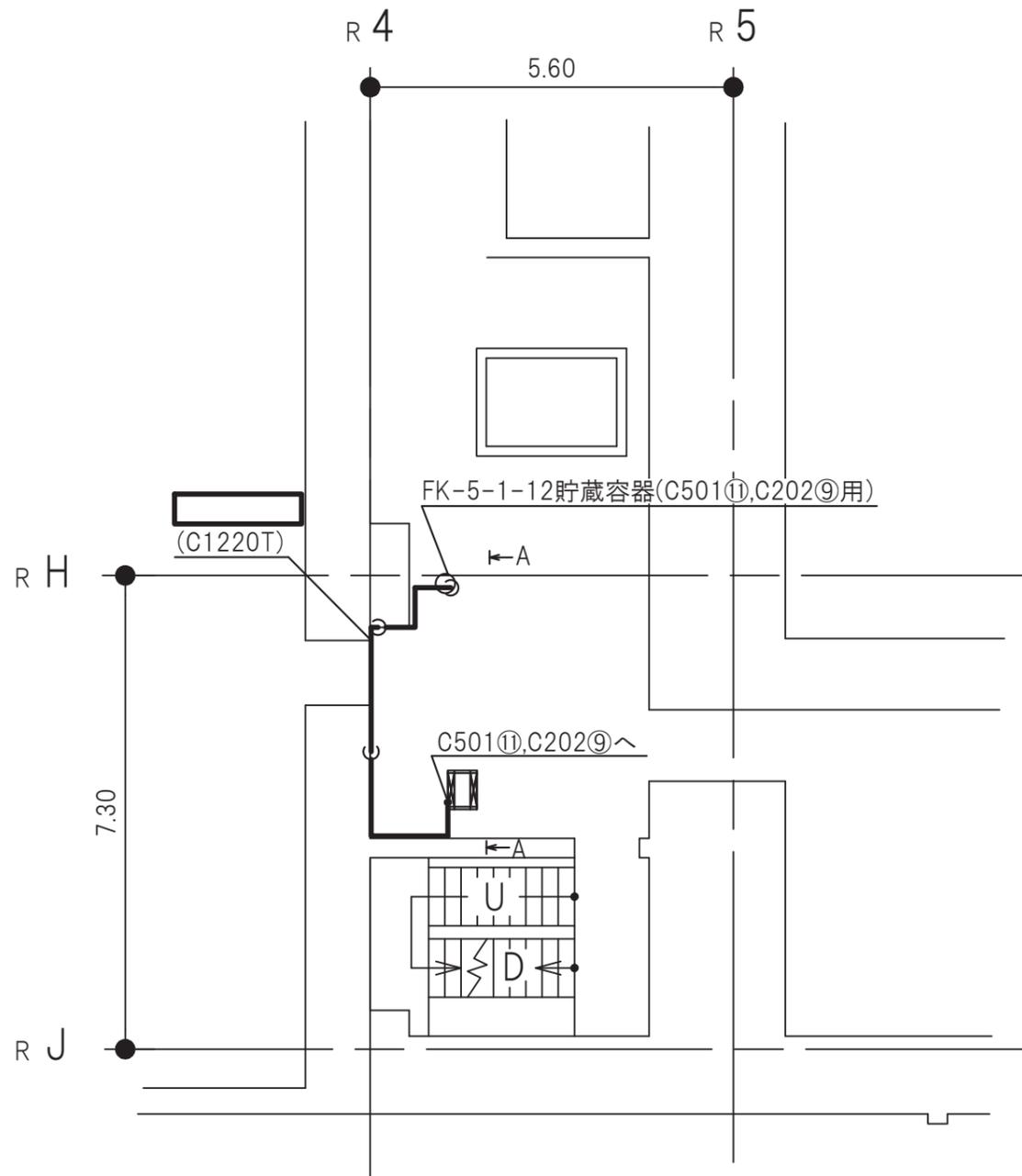
原子炉建屋 O.P.22.50(m)



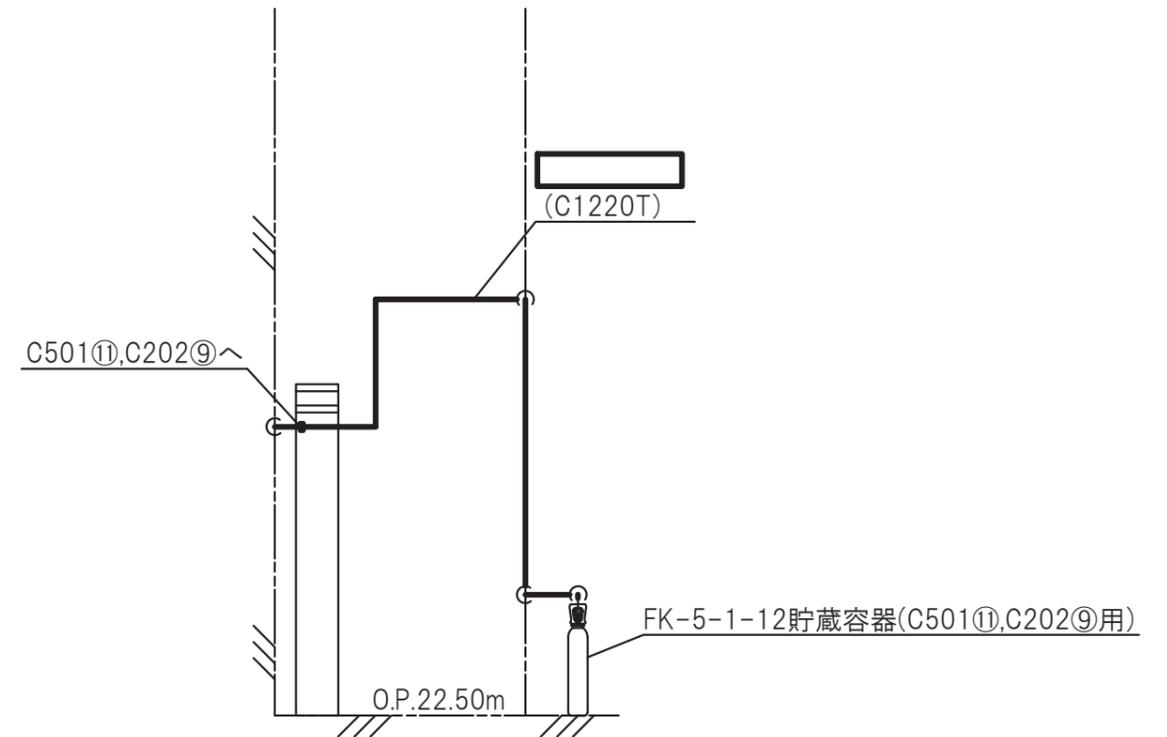
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-96図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S202⑦用) |
| 東北電力株式会社 | |



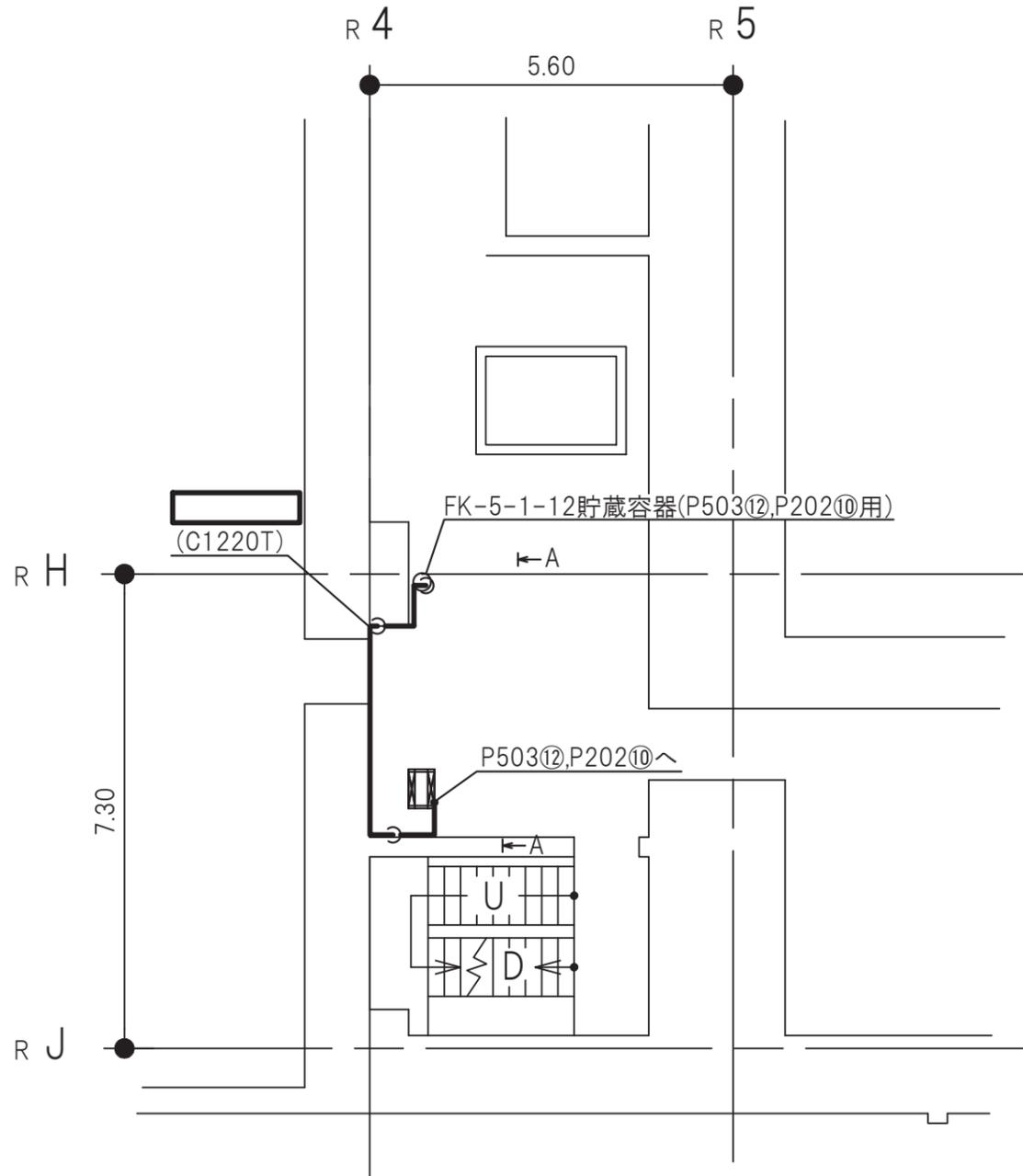
原子炉建屋 O.P.22.50(m)



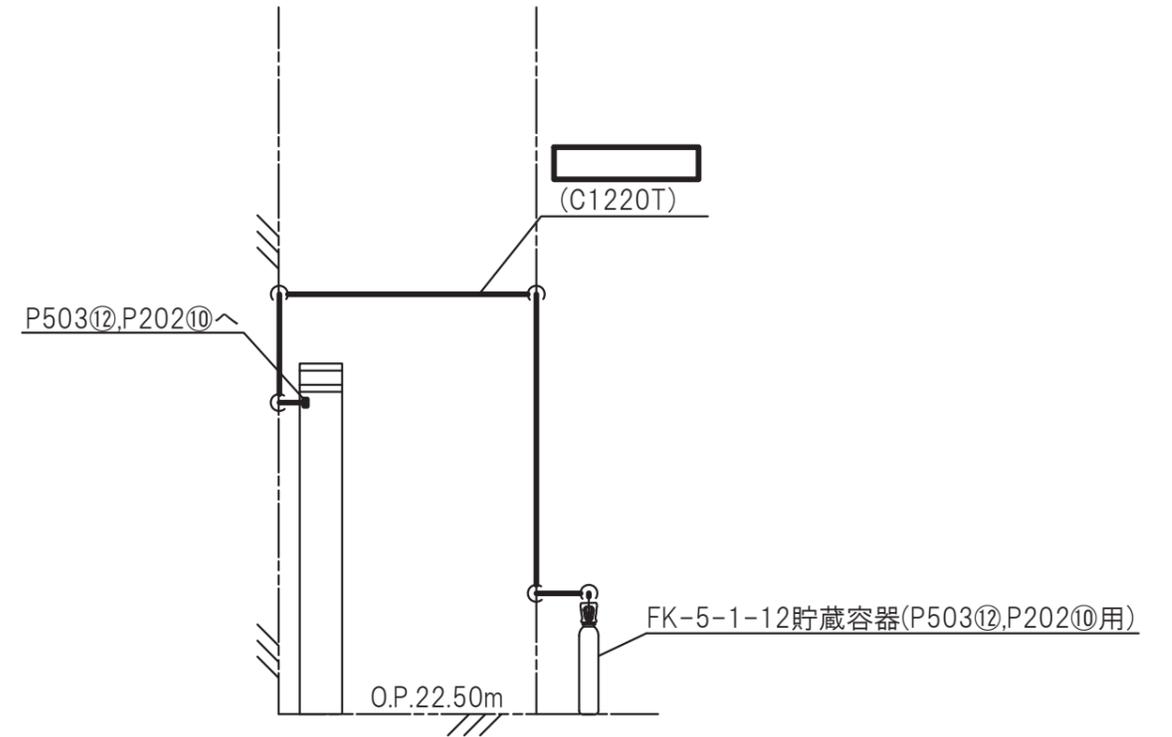
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-97図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C501①,C202⑨用) |
| 東北電力株式会社 | |



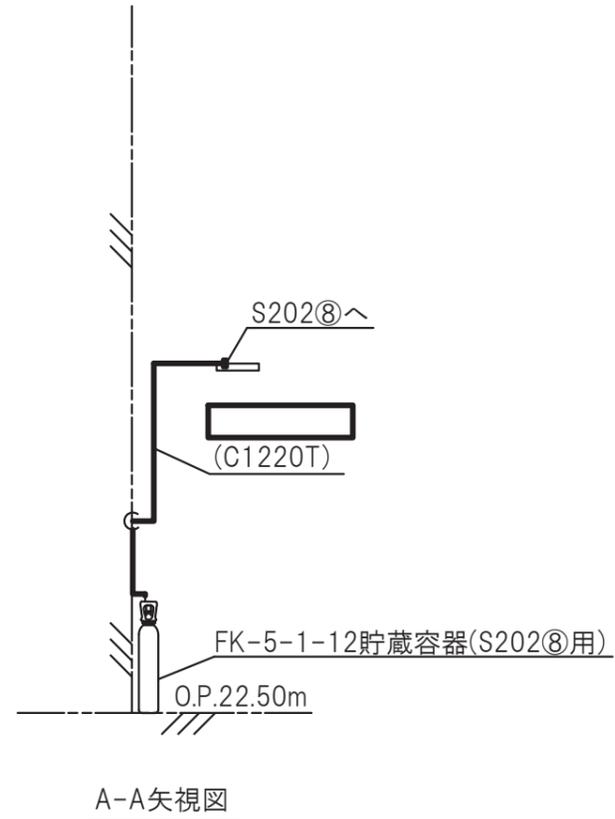
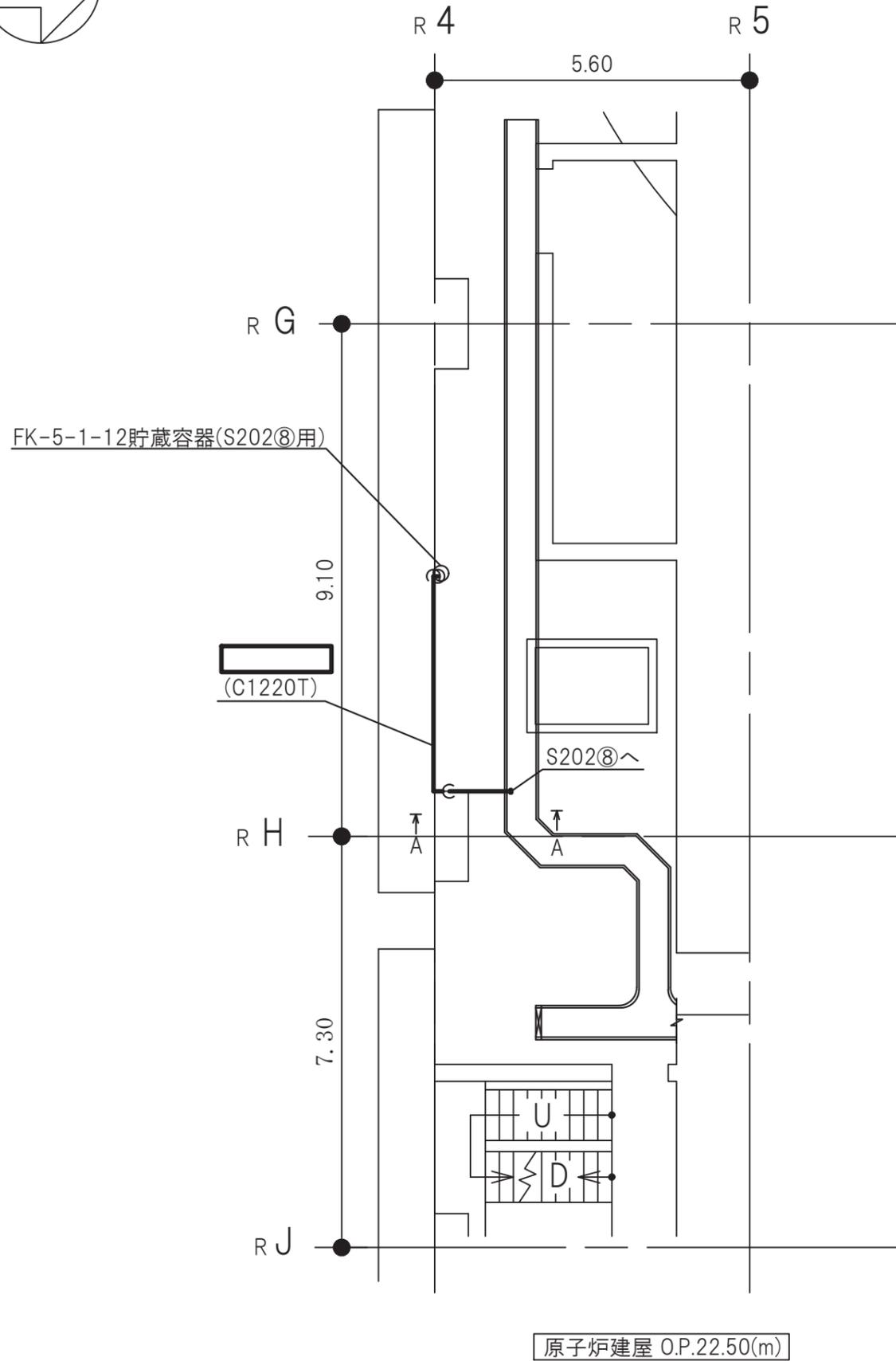
原子炉建屋 O.P.22.50(m)



A-A矢視図

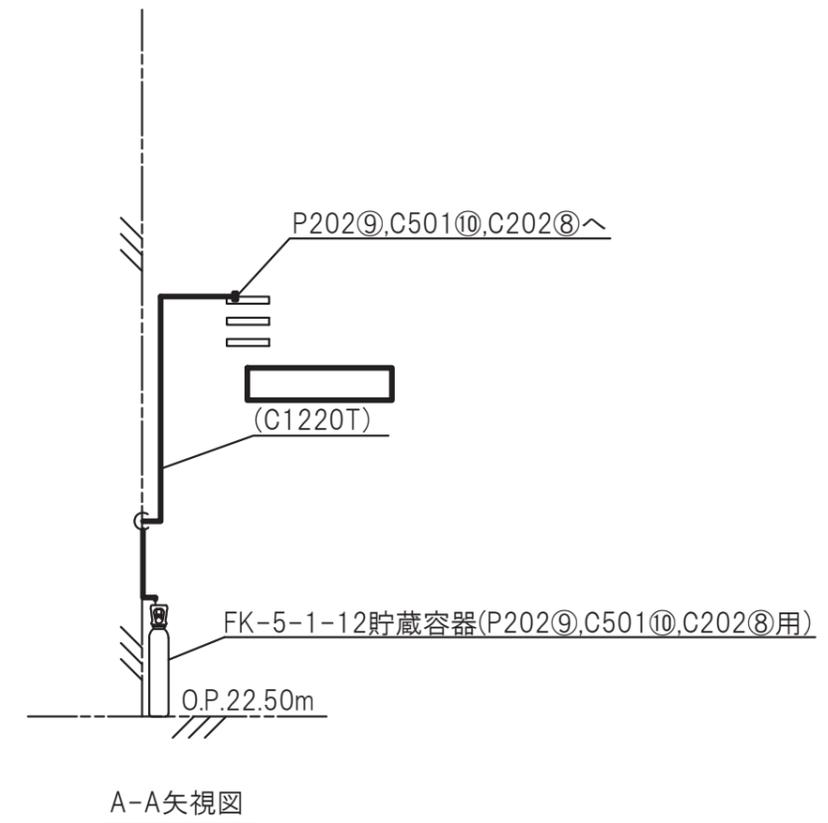
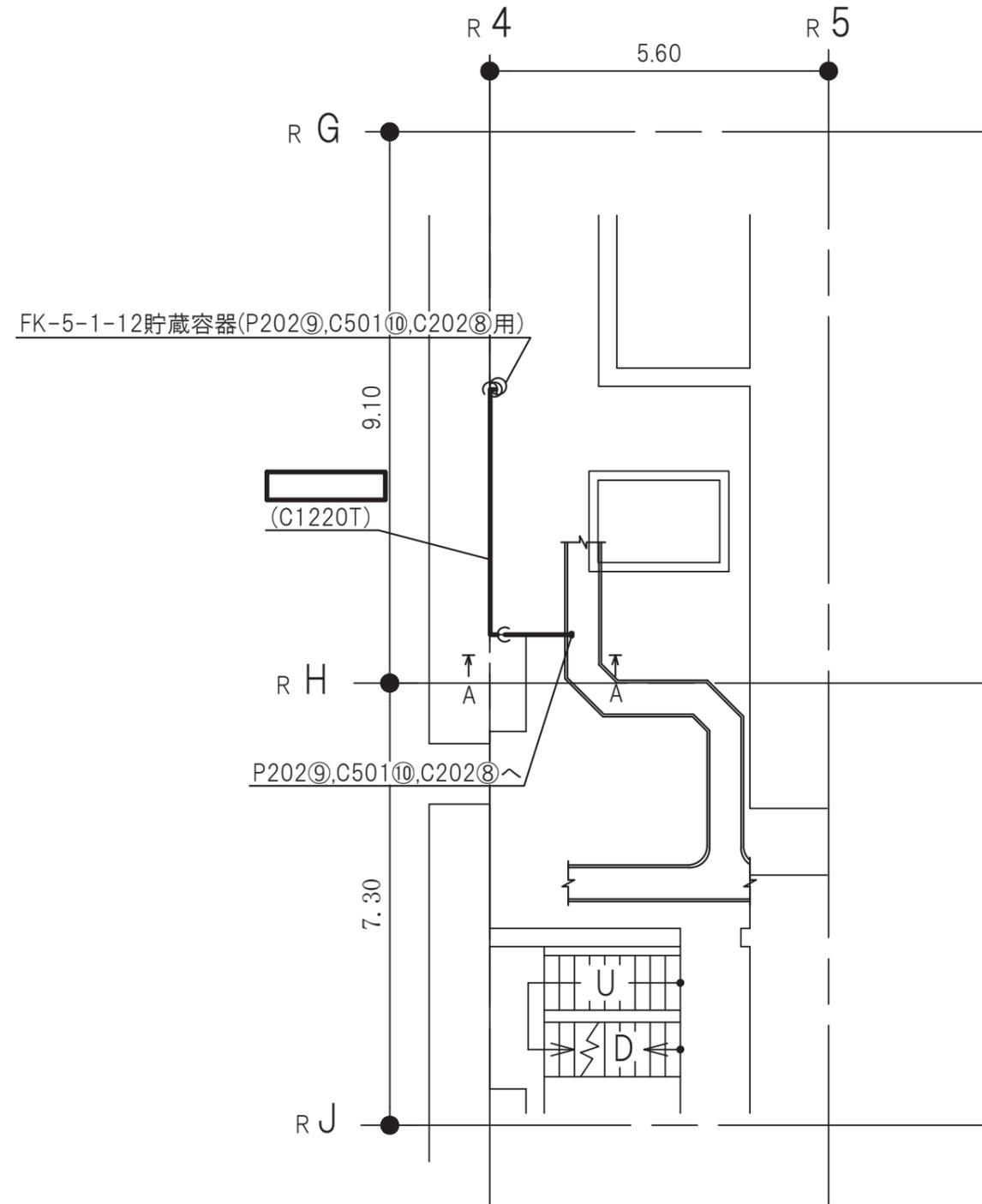
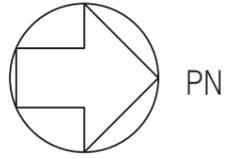
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-98図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P503(12),P202(10)用) |
| 東北電力株式会社 | |



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|-----------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-99図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S202⊗用) |
| 東 北 電 力 株 式 会 社 | |

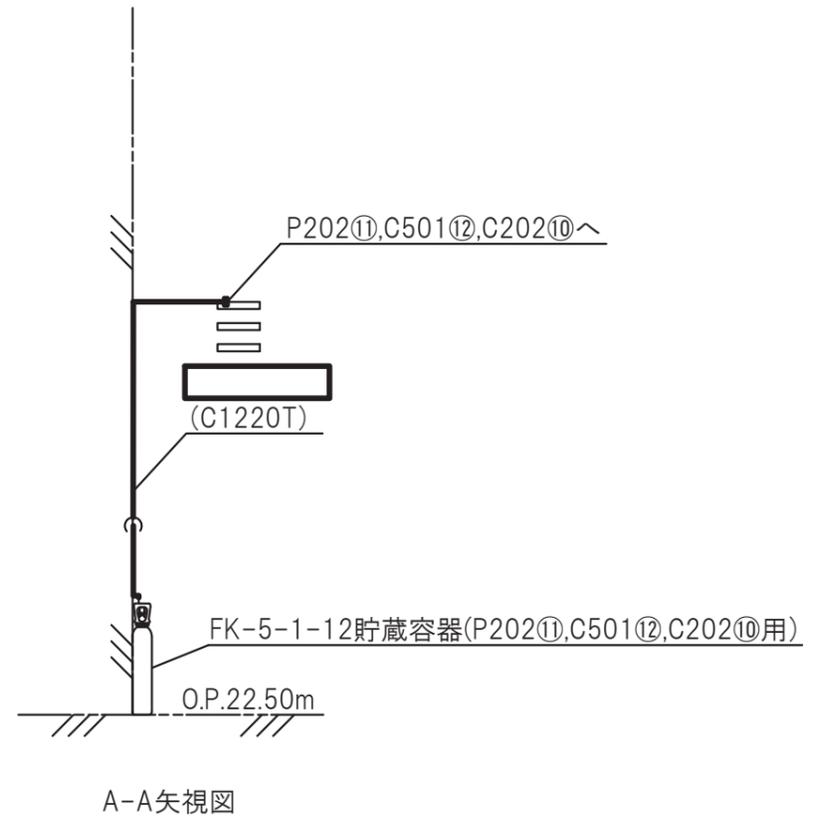
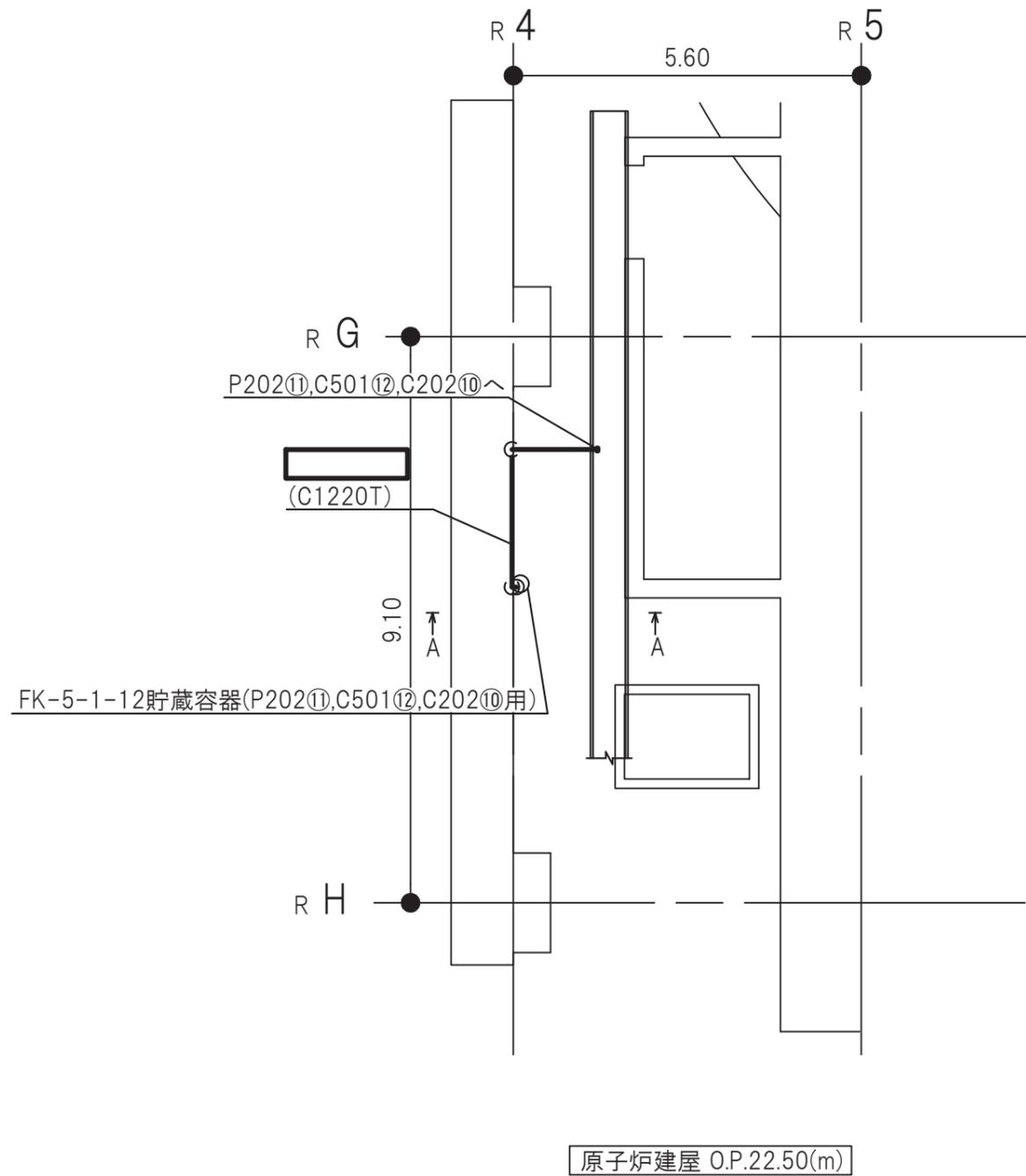


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-100図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P202㊸,C501㊸,C202㊸用) |
| 東北電力株式会社 | |

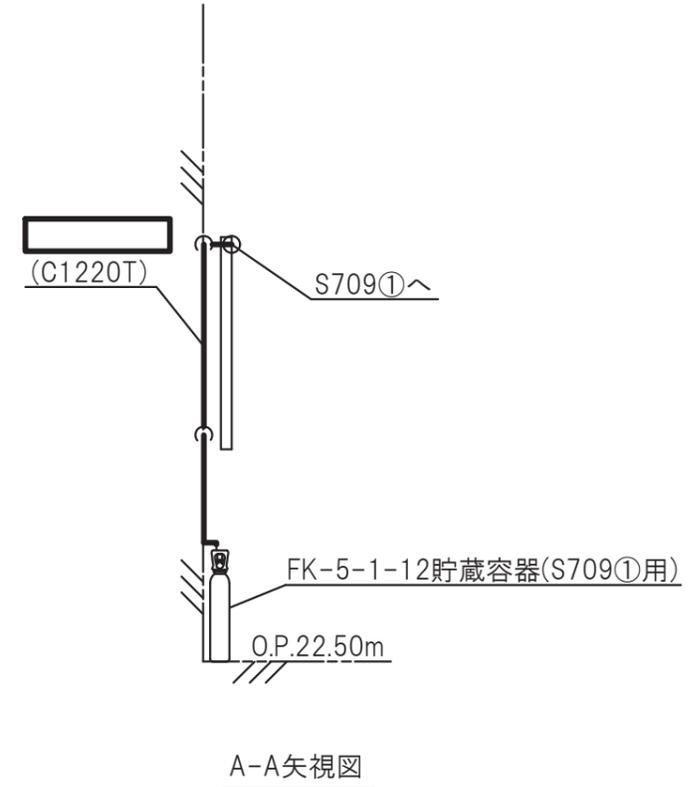
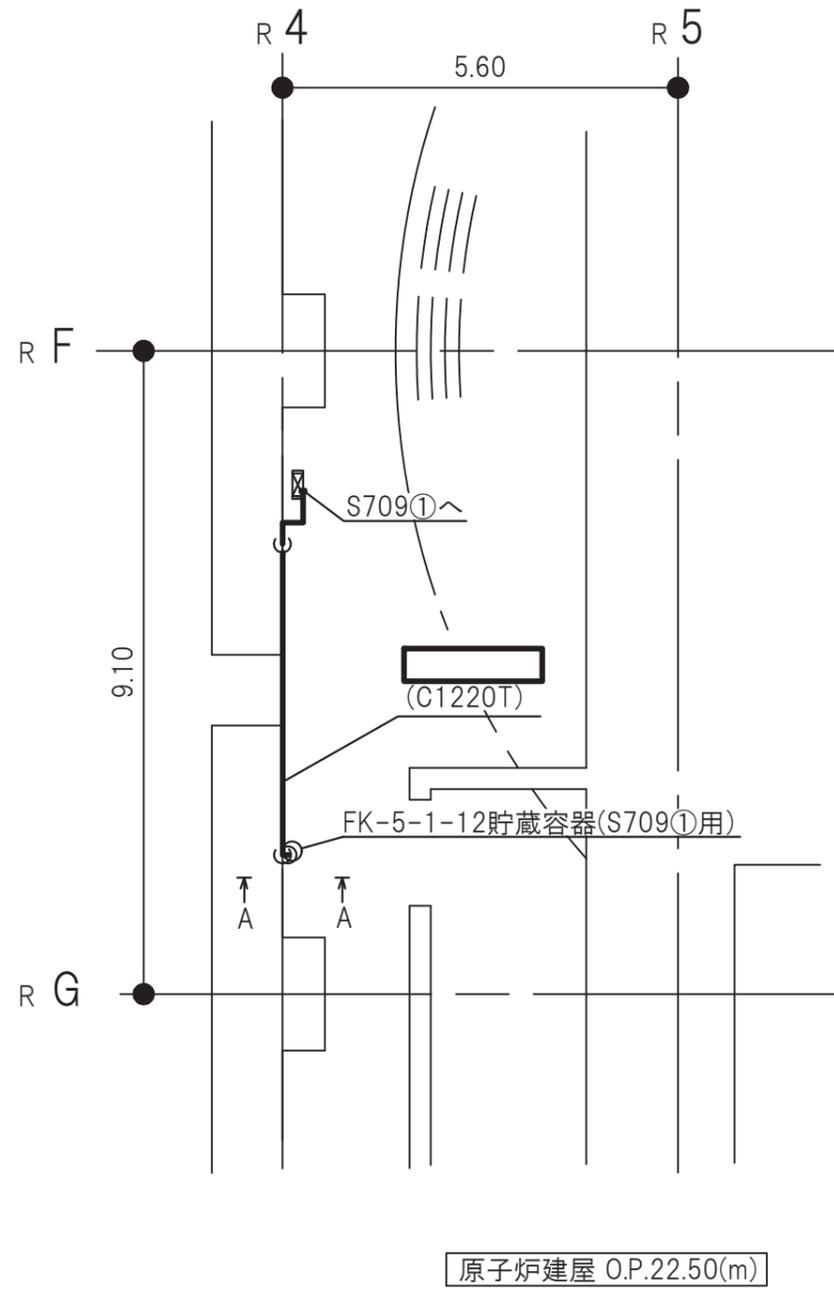
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-101図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P202①,C501②,C202⑩用) |
| 東北電力株式会社 | |

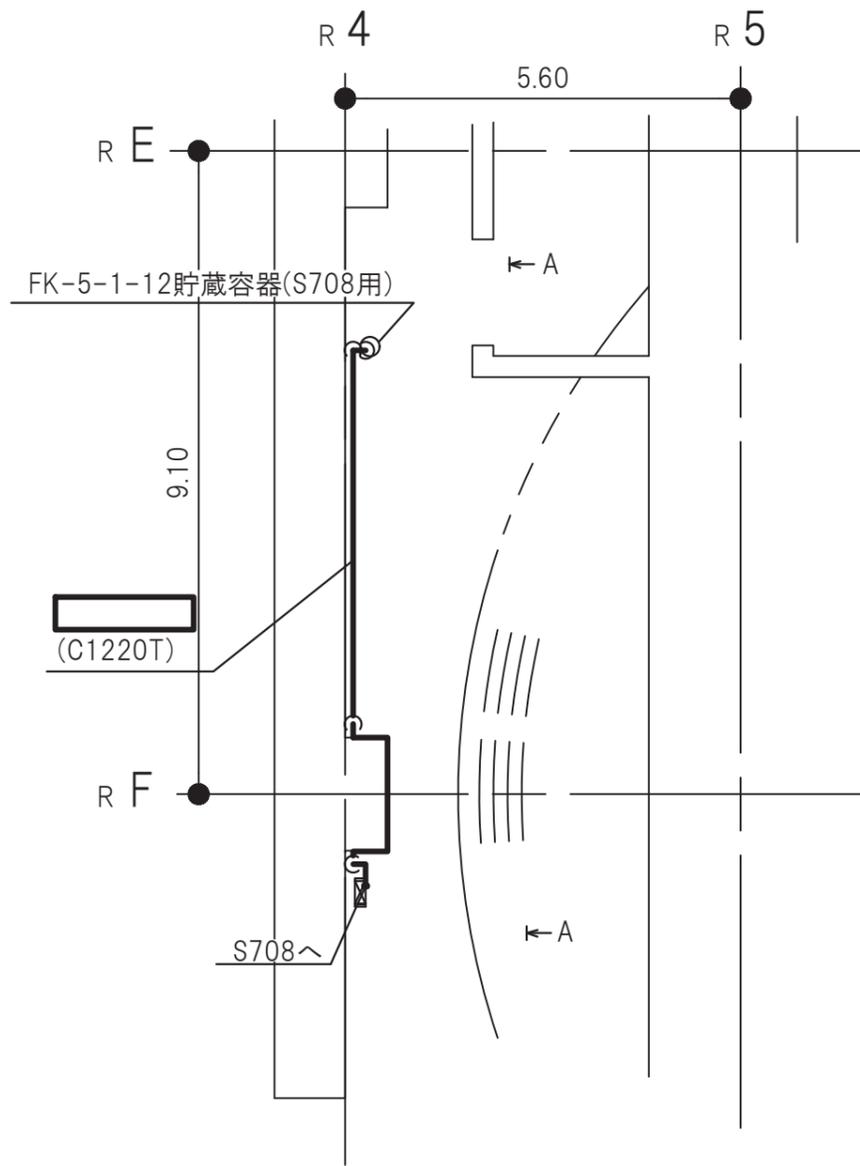


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

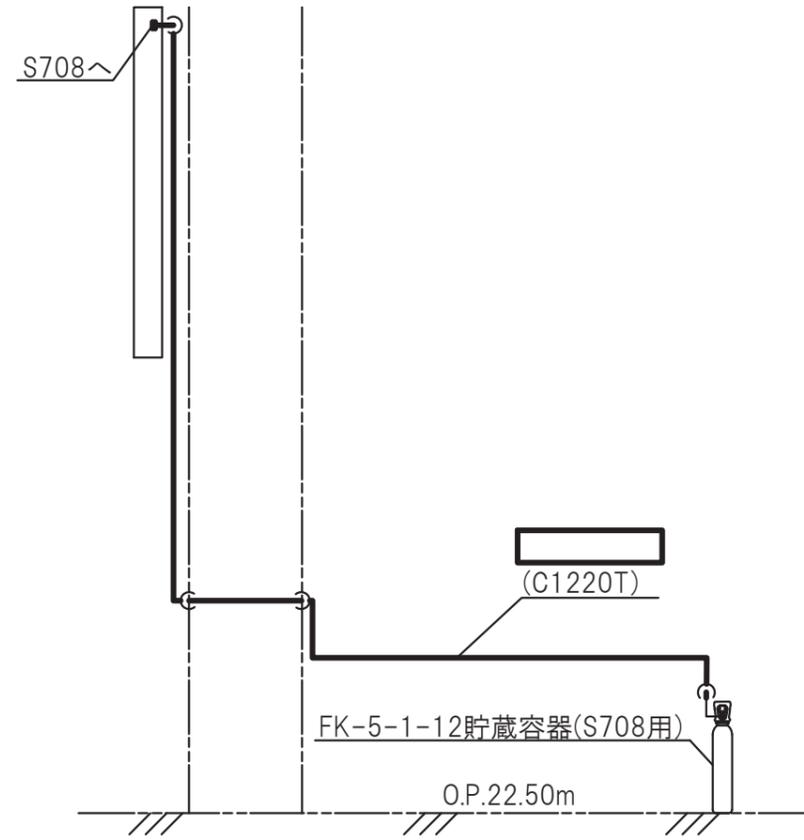
| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-102図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S709①用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



原子炉建屋 O.P.22.50(m)



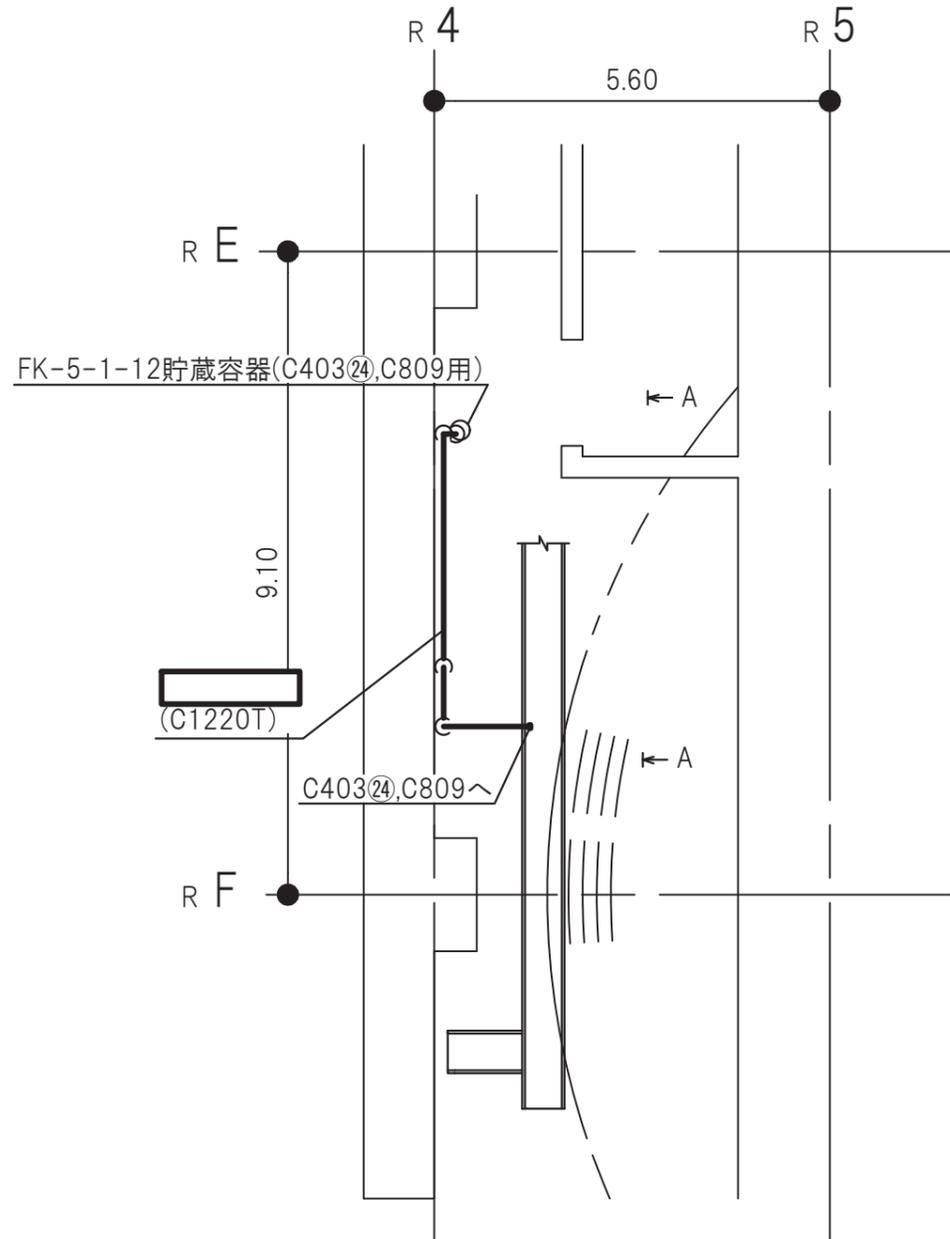
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

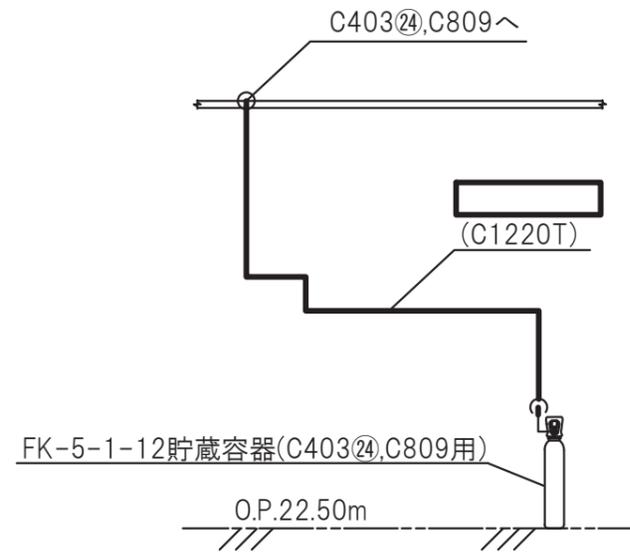
| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-103図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S708用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0930



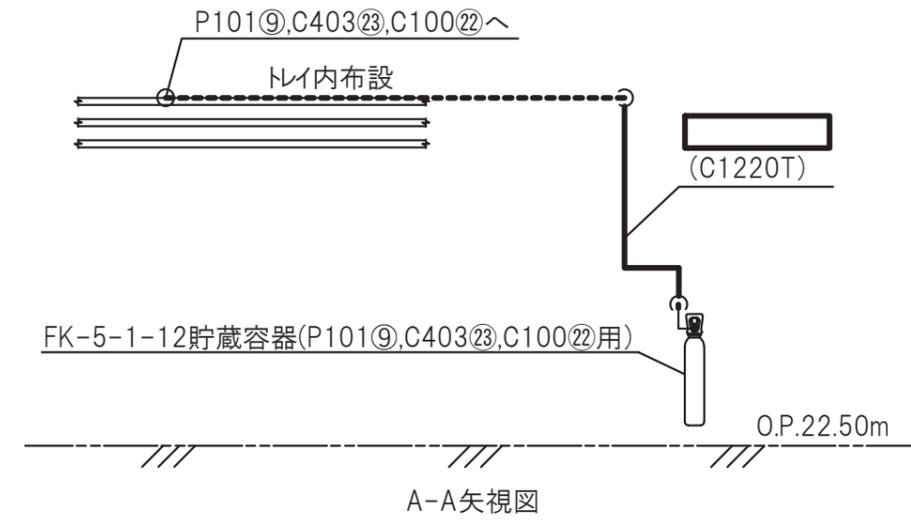
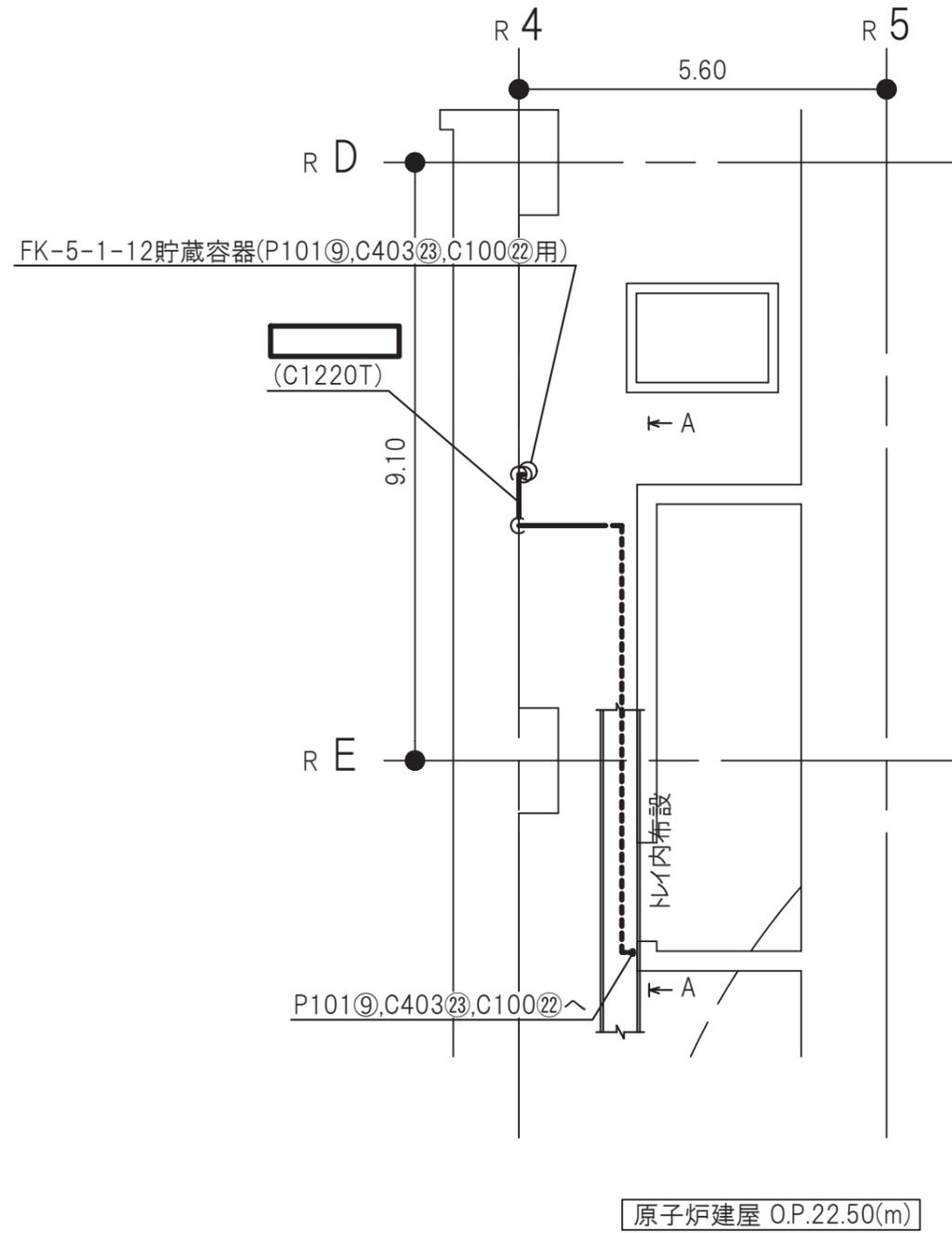
原子炉建屋 O.P.22.50(m)



A-A矢視図

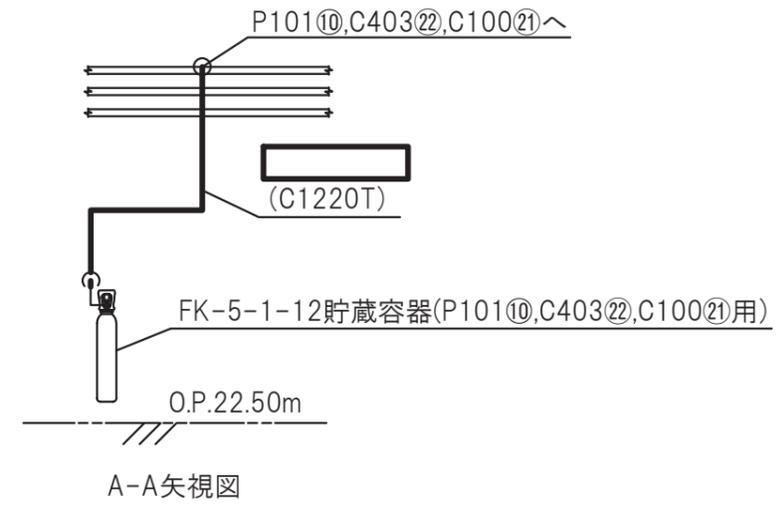
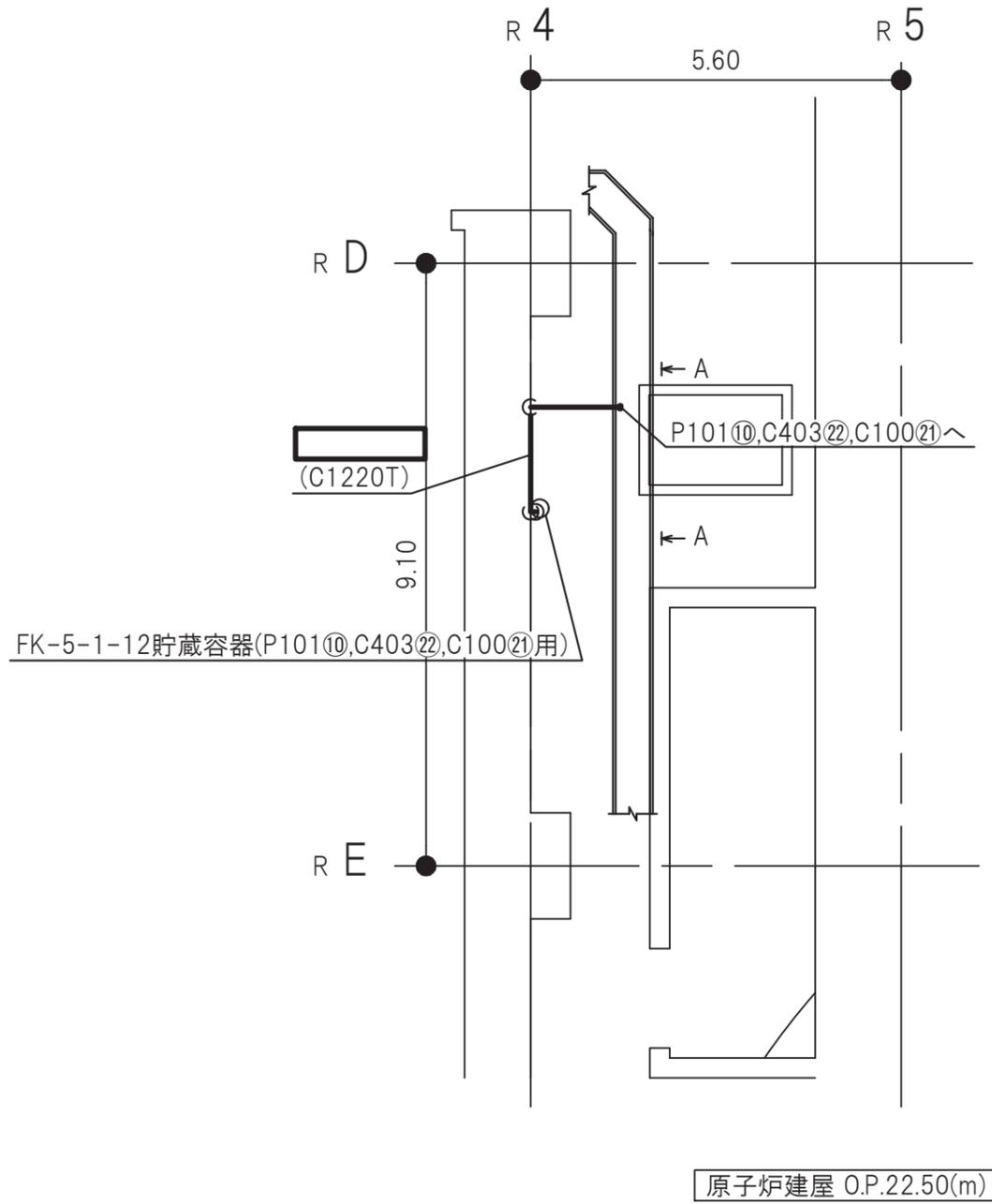
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-104図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C403(24),C809用) |
| 東北電力株式会社 | |



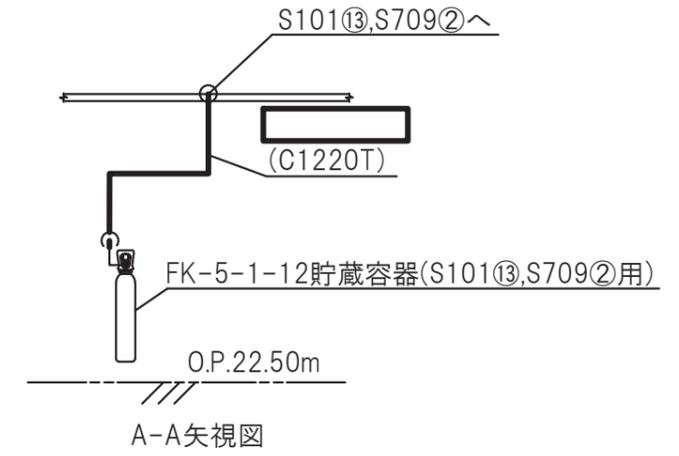
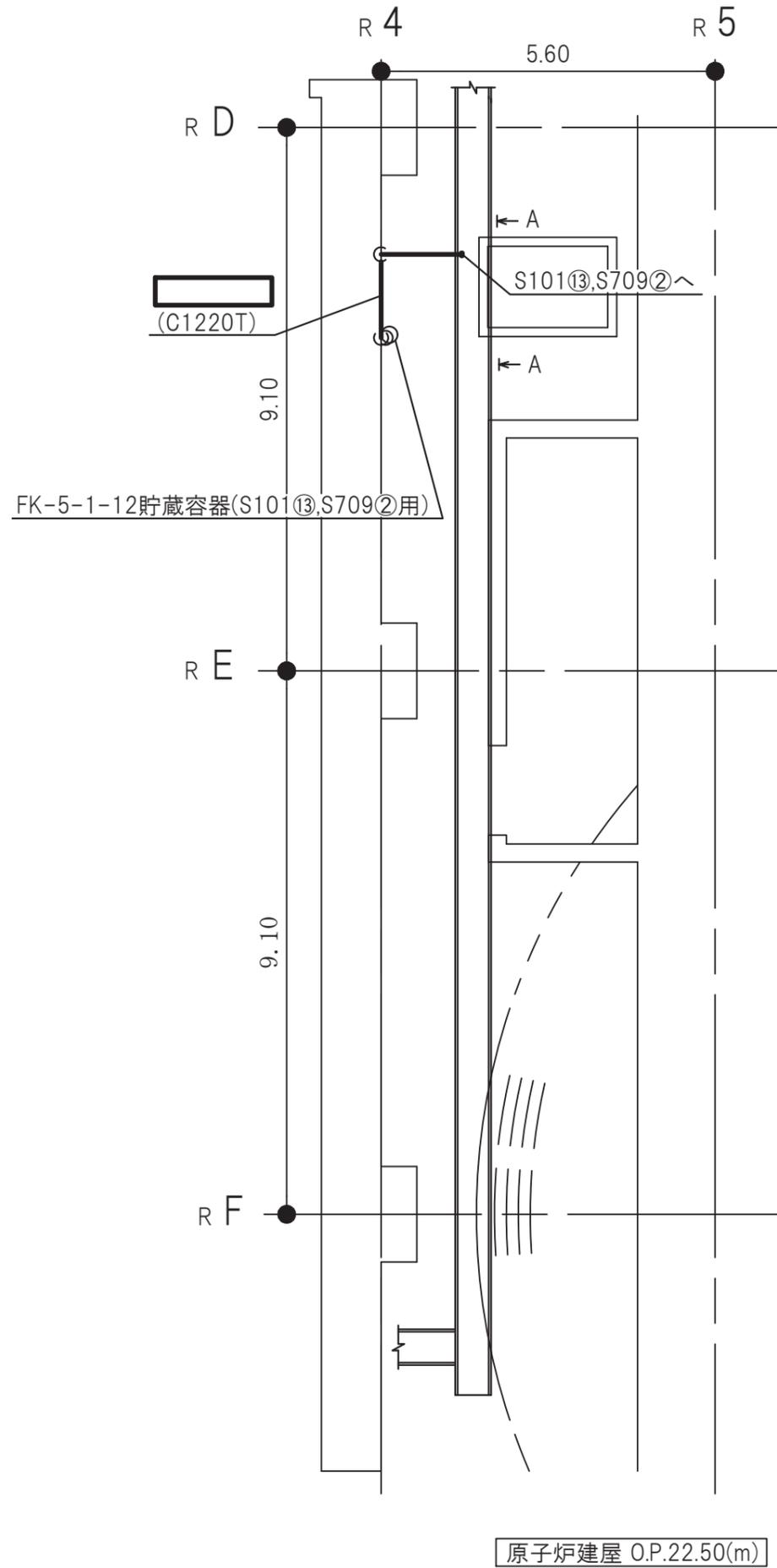
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-105図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P101⑨,C403㉓,C100㉔用) |
| 東北電力株式会社 | |



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|---|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-106図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P101(10), C403(22), C100(21)用) |
| 東北電力株式会社 | |

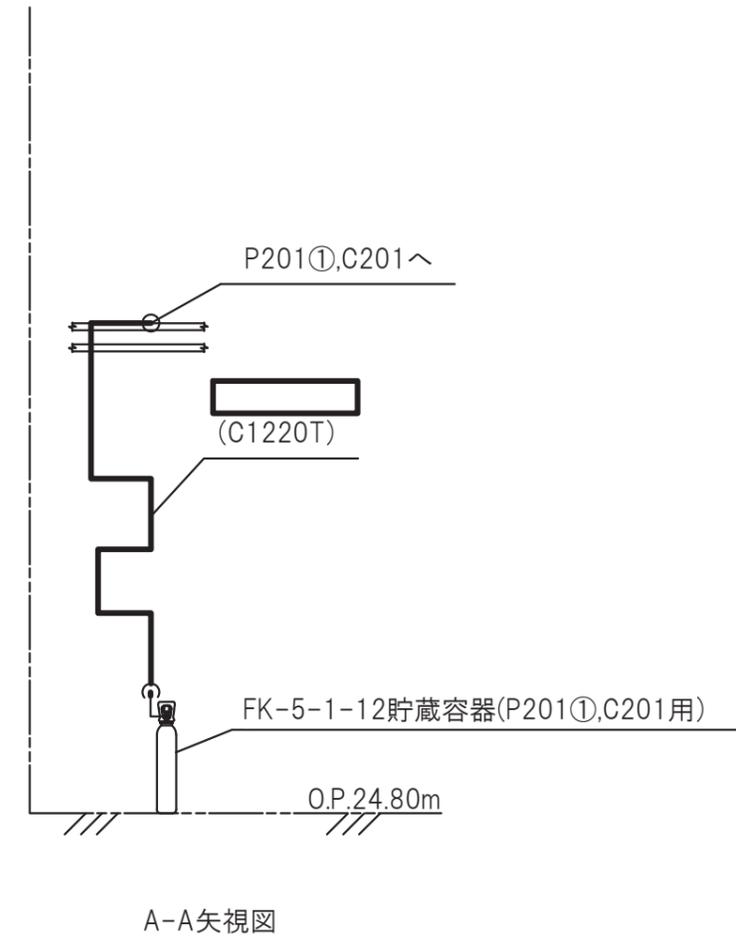
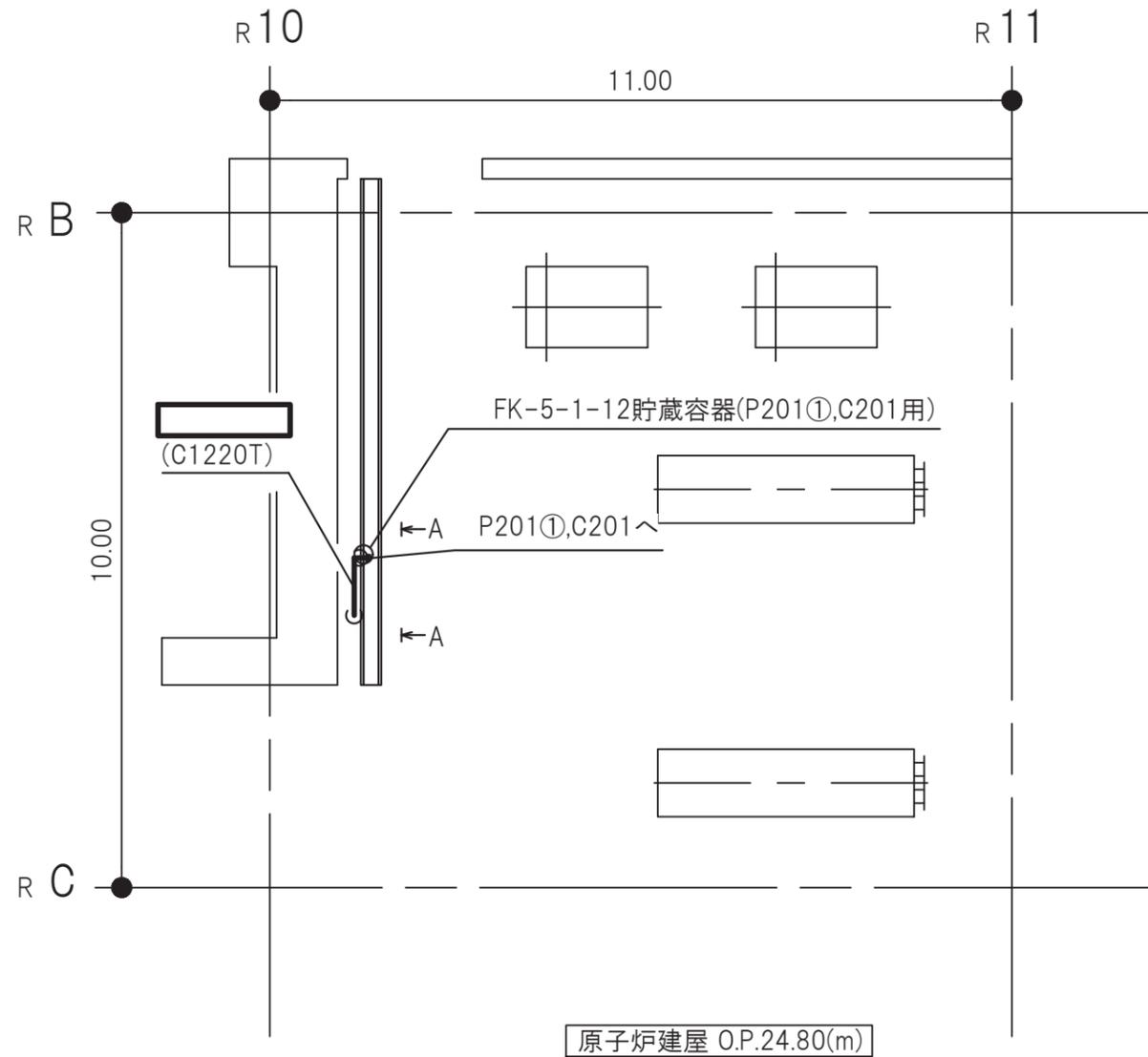


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-107図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S101⑬,S709②用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

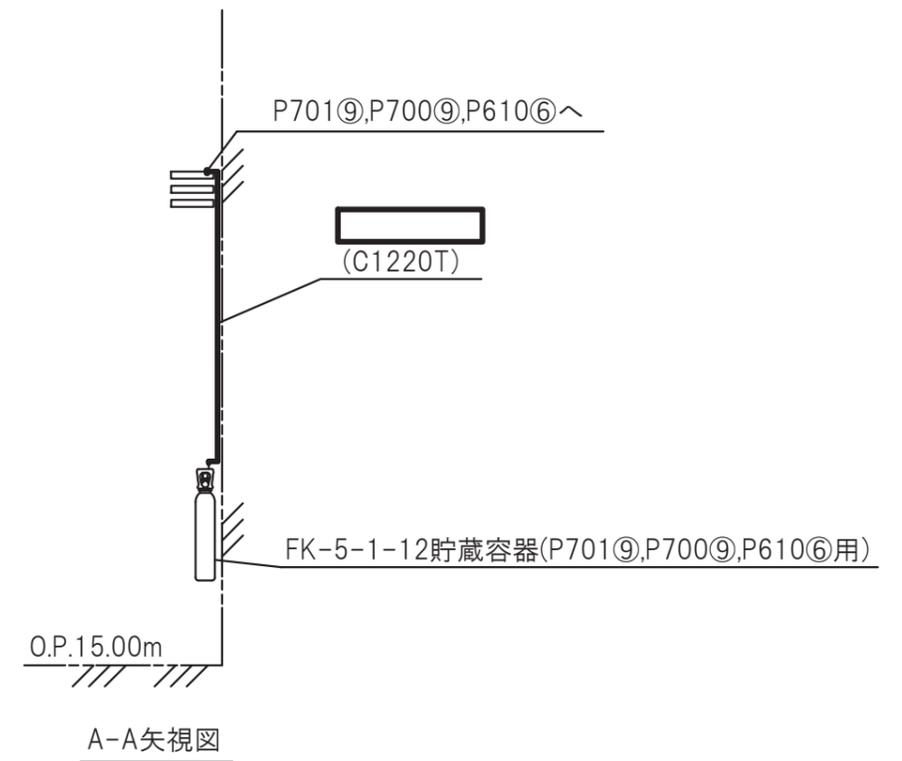
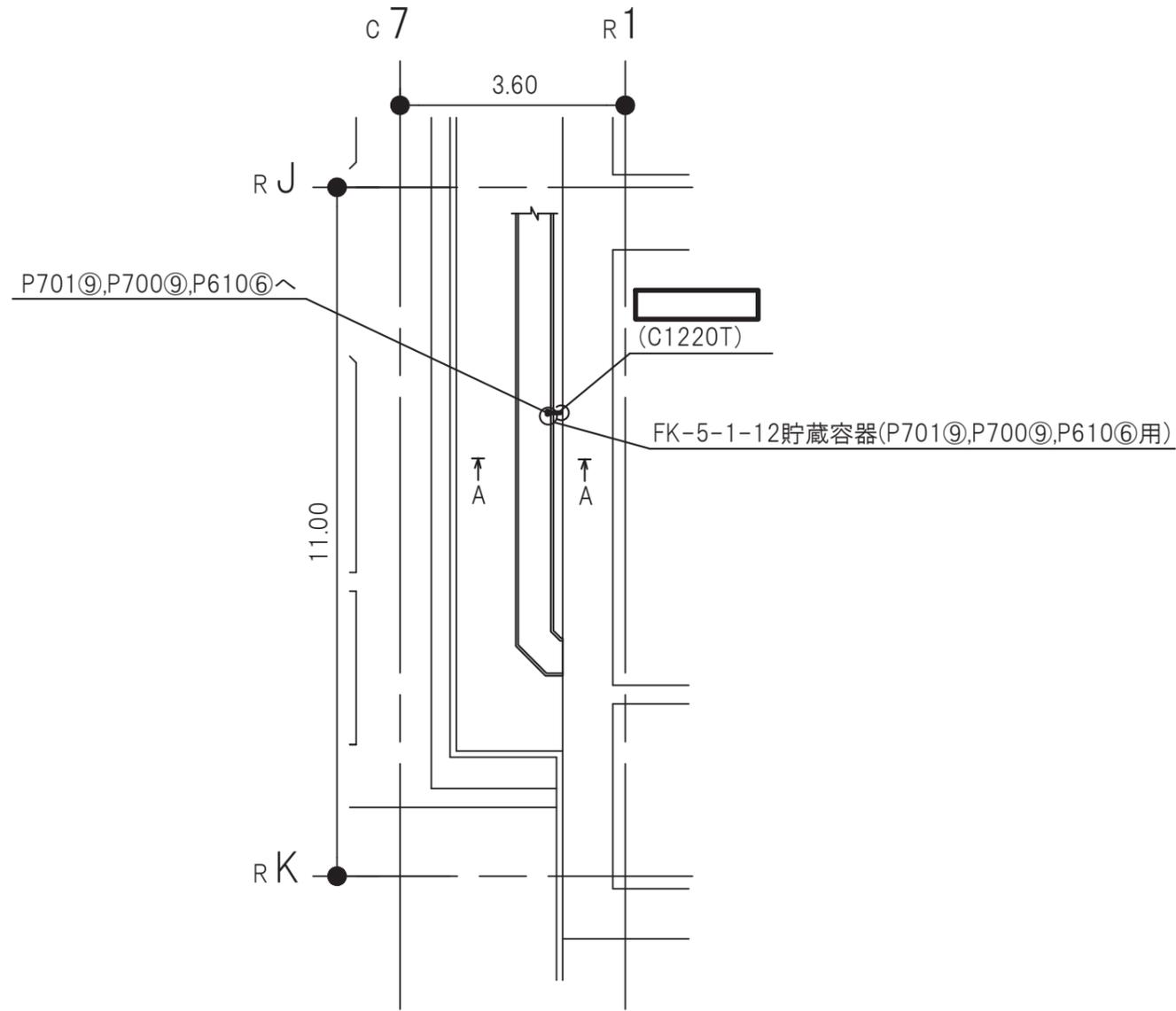


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|---|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-108図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P201①,C201用) |
| 東北電力株式会社 | |

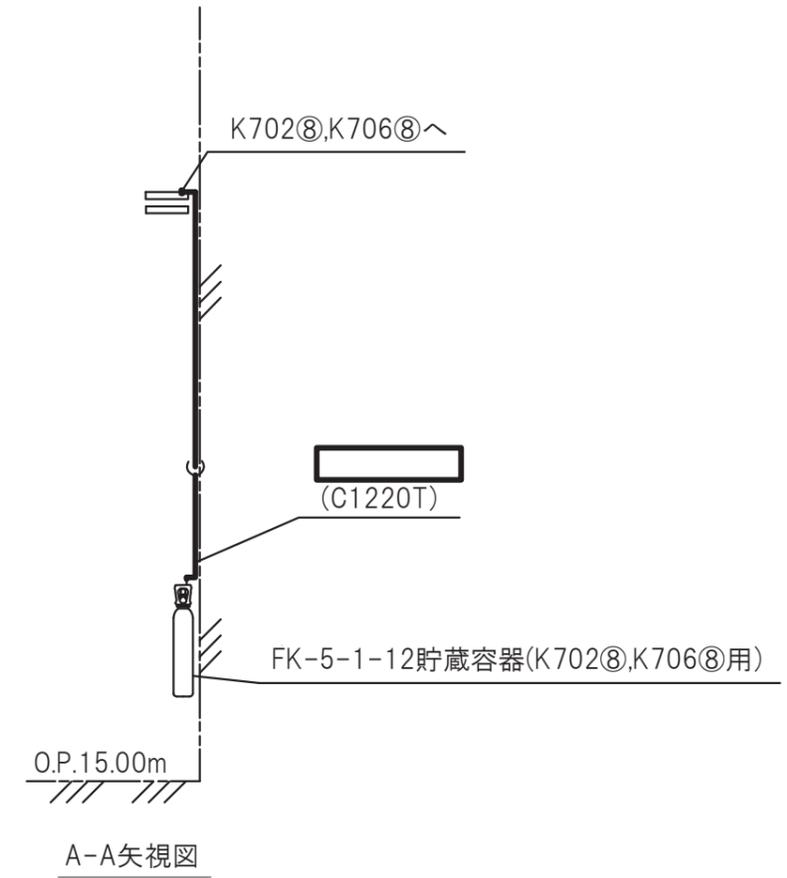
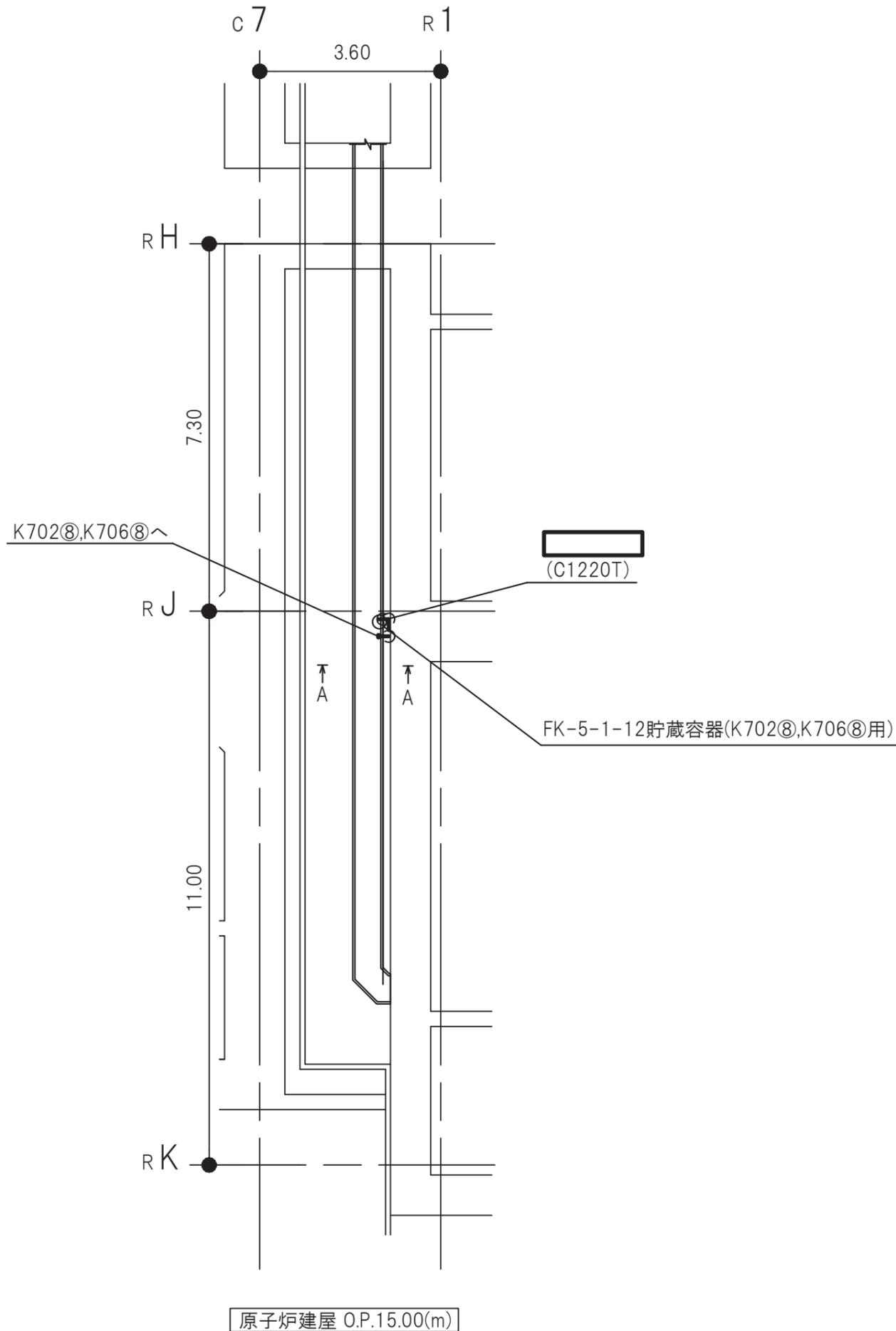
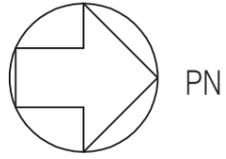
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0930



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-109図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P701㊟, P700㊟, P610㊟用) |
| 東北電力株式会社 | |

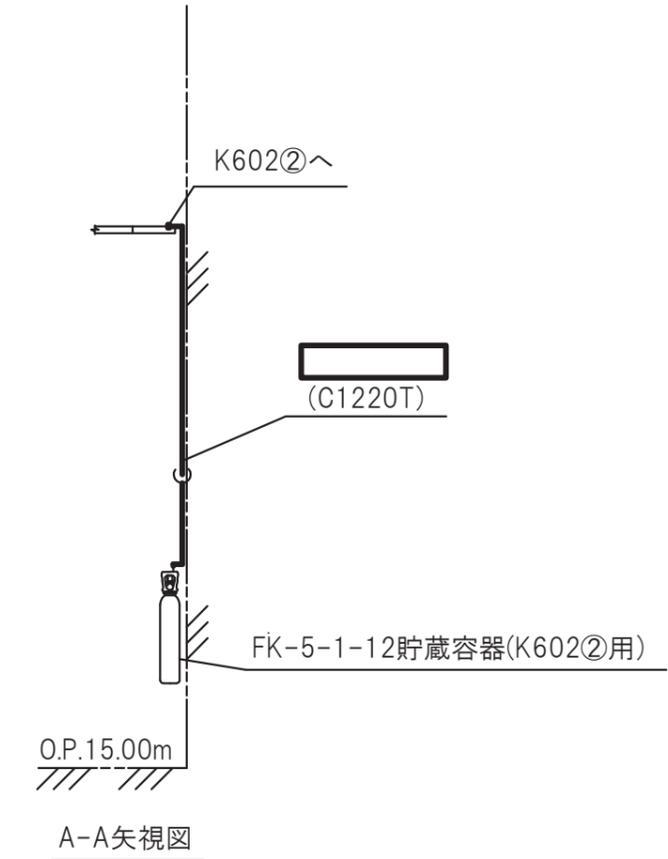
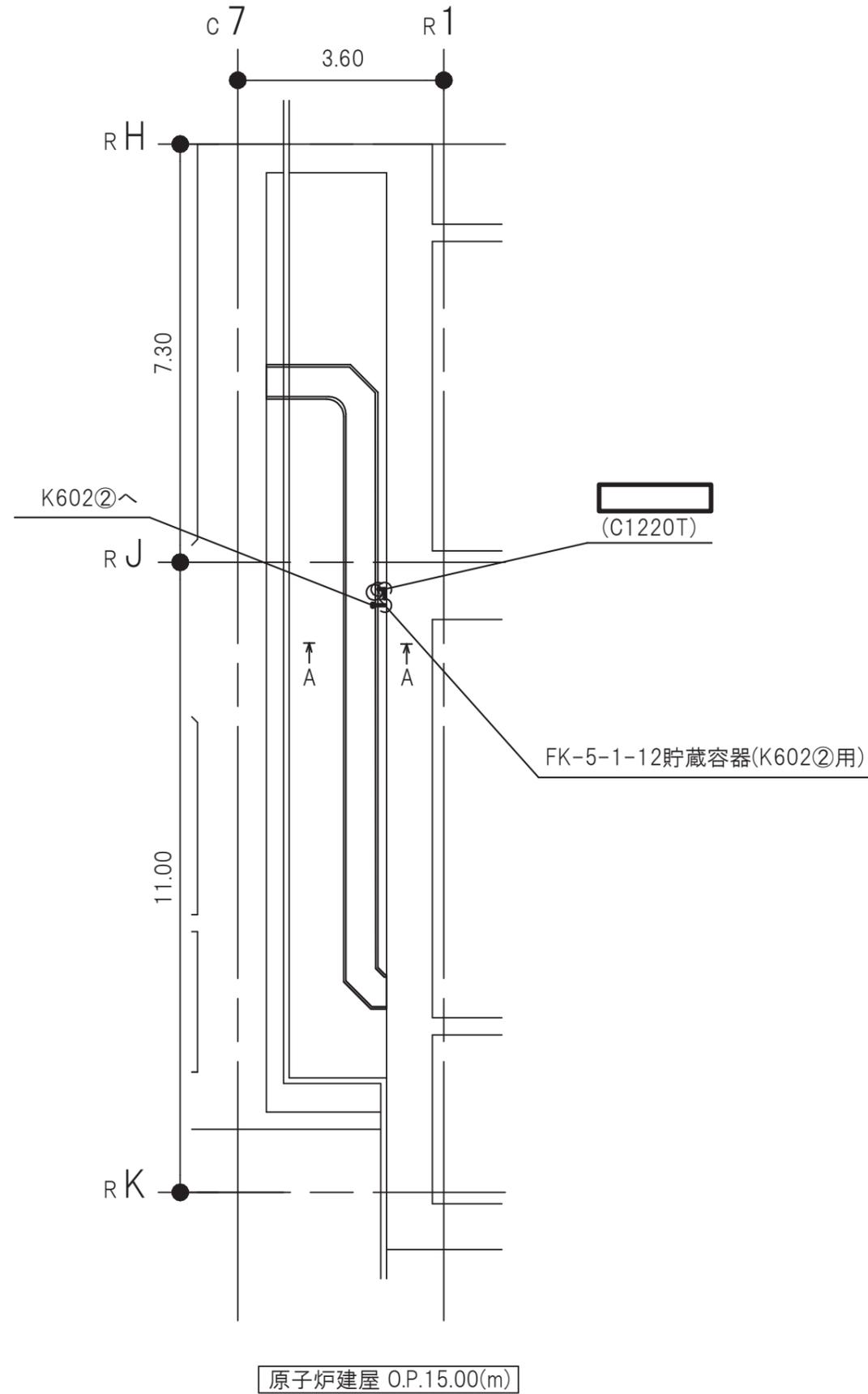


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-110図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K702⊗,K706⊗用) |
| 東北電力株式会社 | |

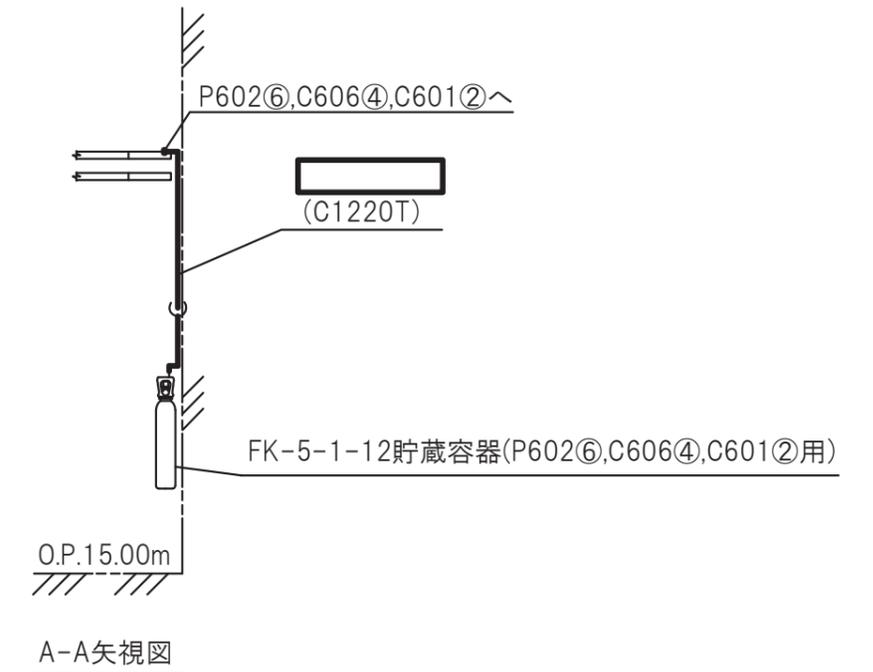
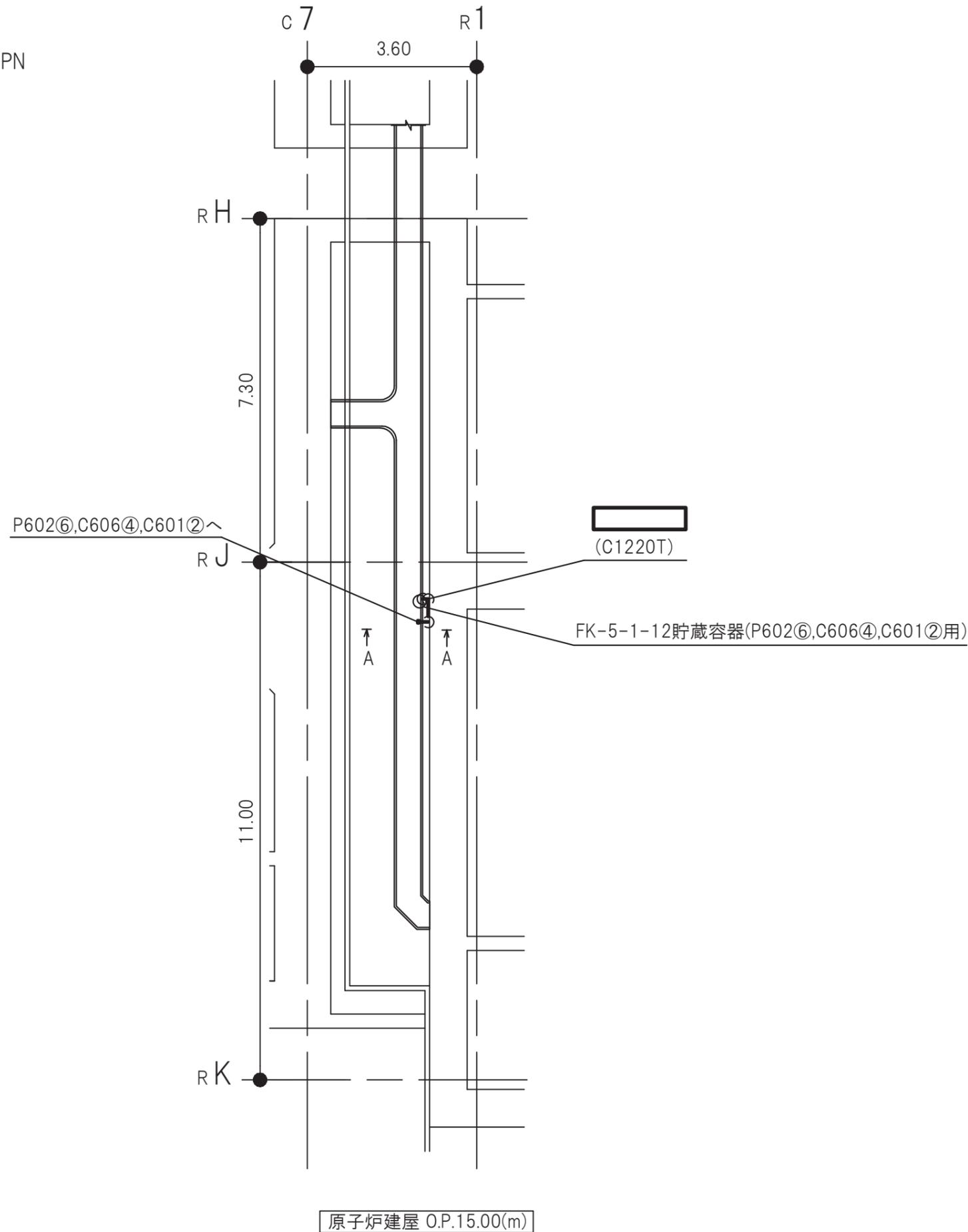
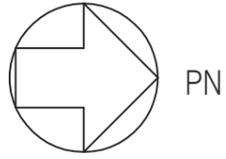
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

1618



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

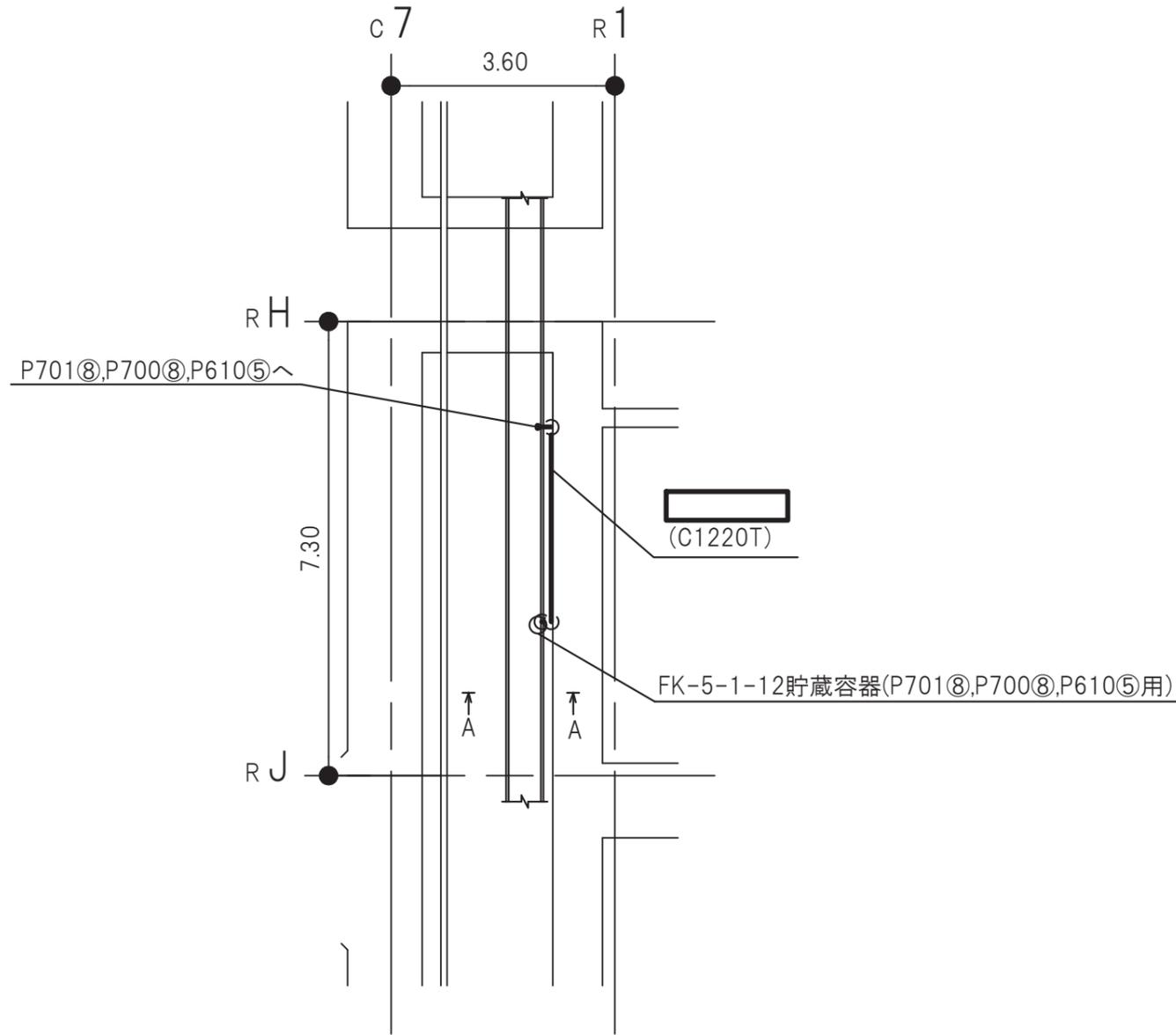
| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-111図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K602②用) |
| 東北電力株式会社 | |



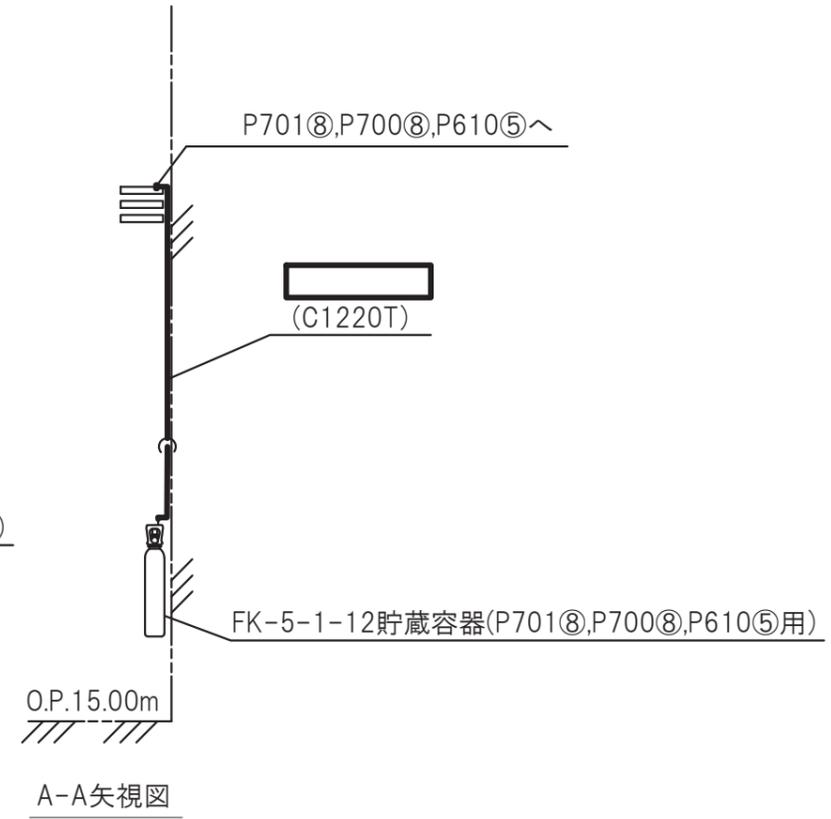
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-112図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (P602⑥,C606④,C601②用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



原子炉建屋 O.P.15.00(m)

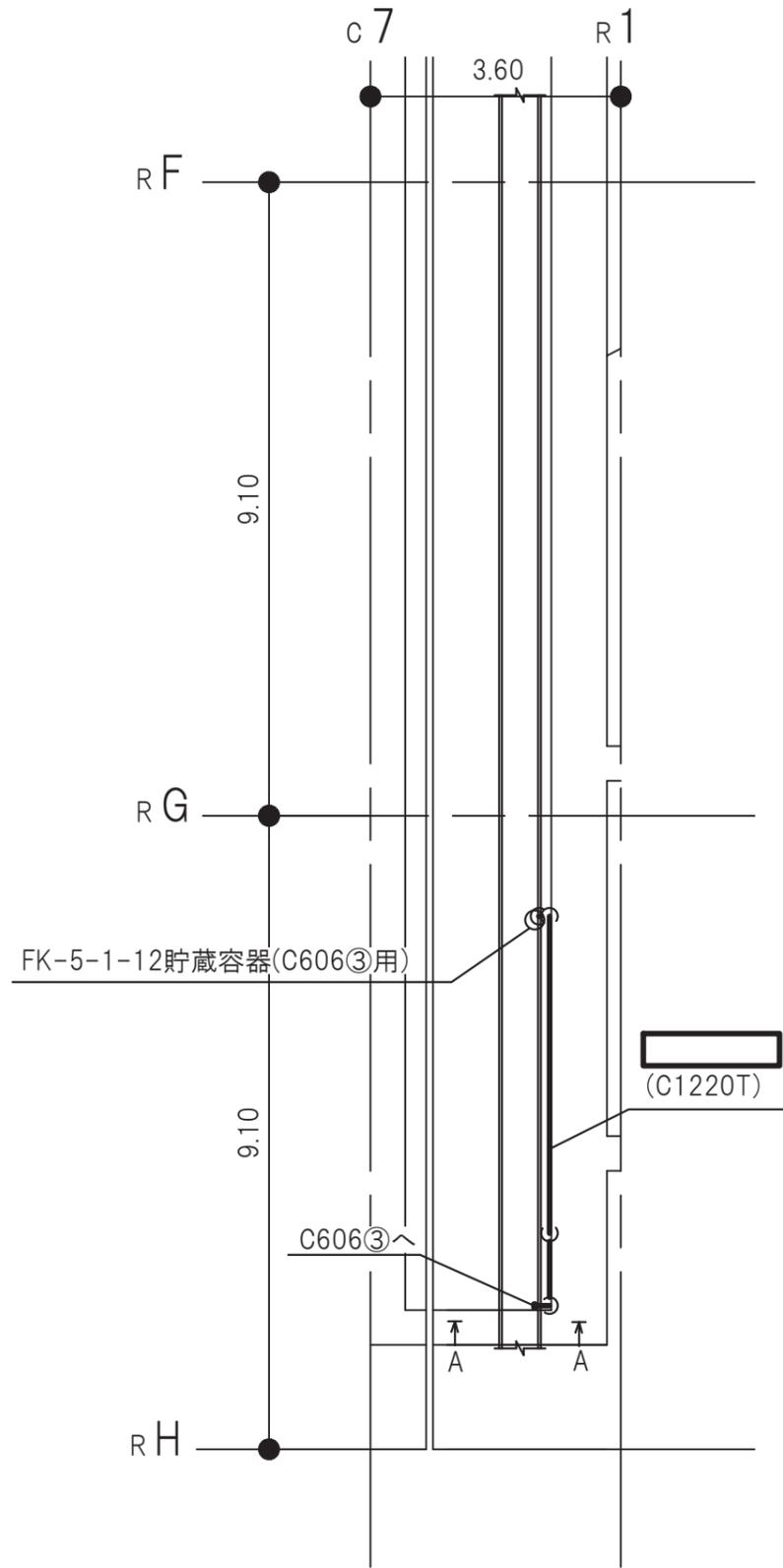


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

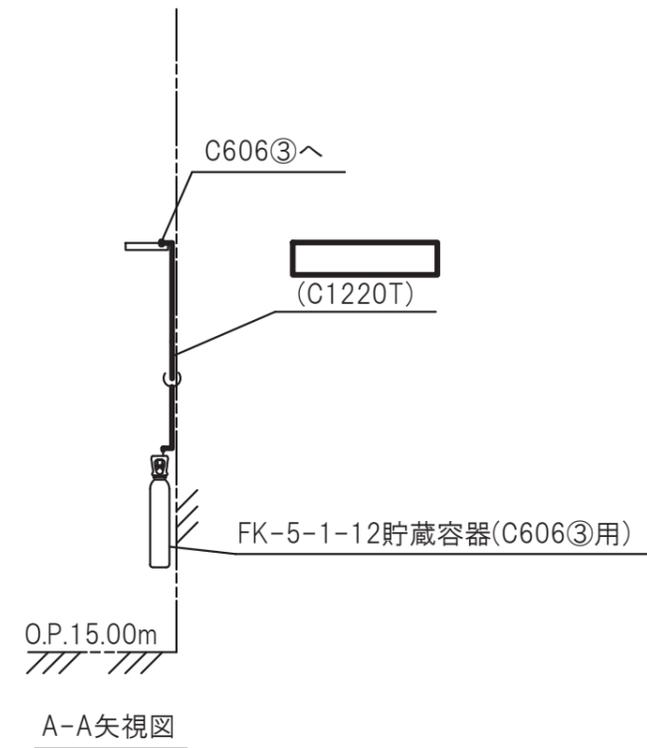
| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-113図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P701⑧,P700⑧,P610⑤用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0930



原子炉建屋 O.P.15.00(m)

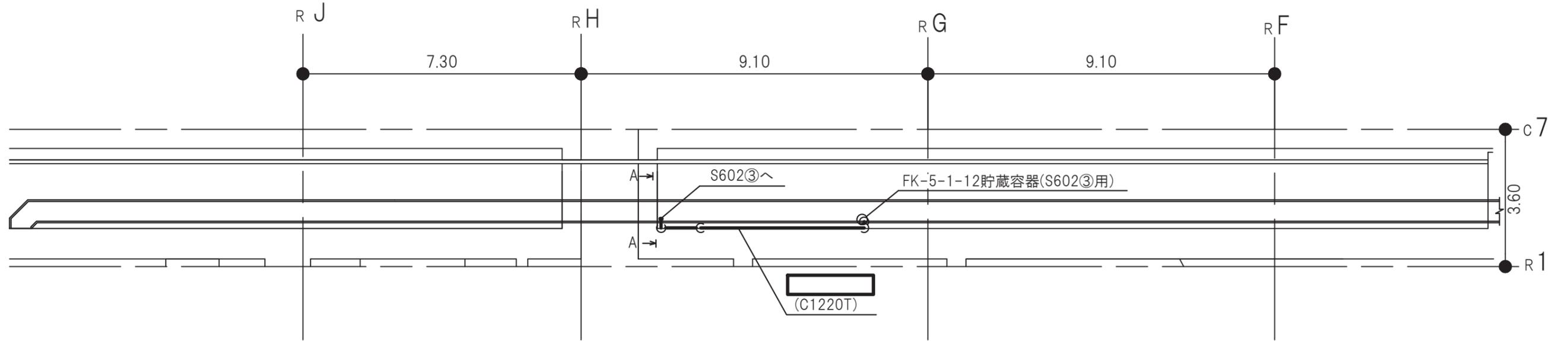
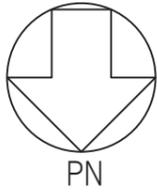


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

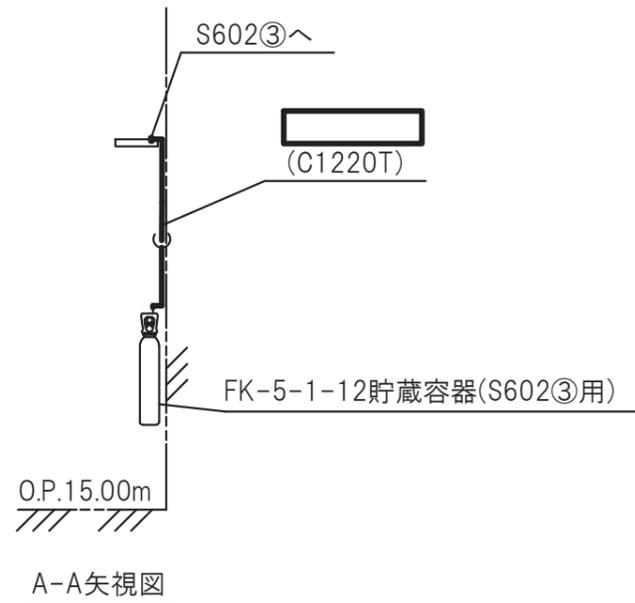
| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-114図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C606③用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

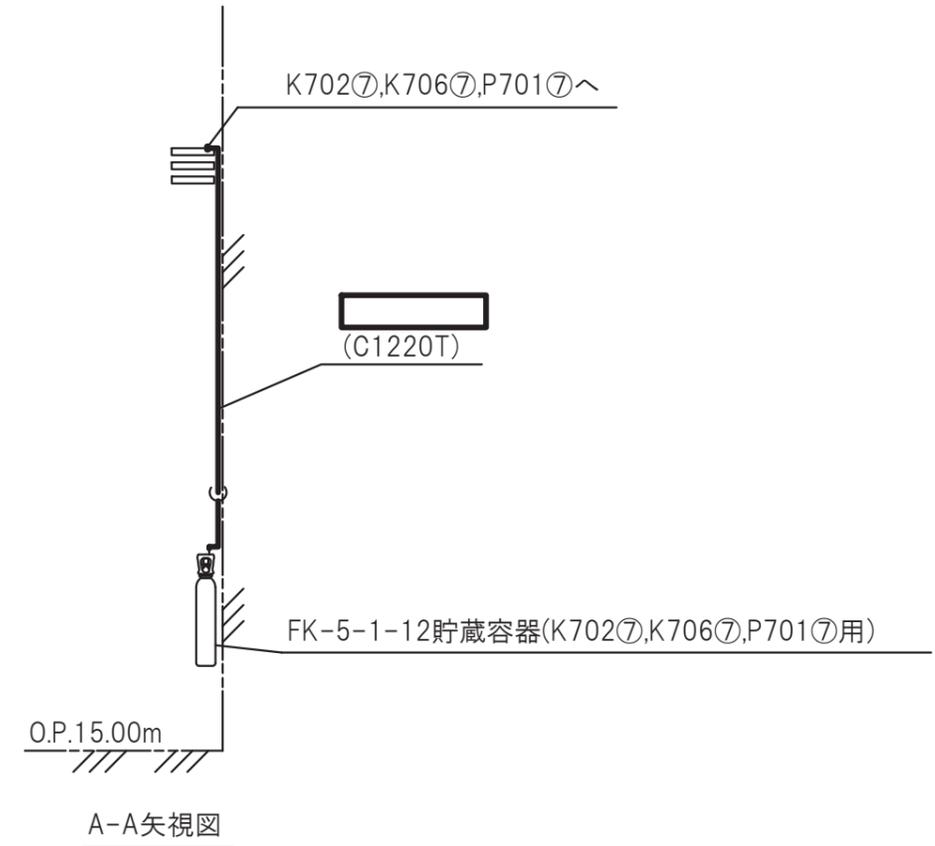
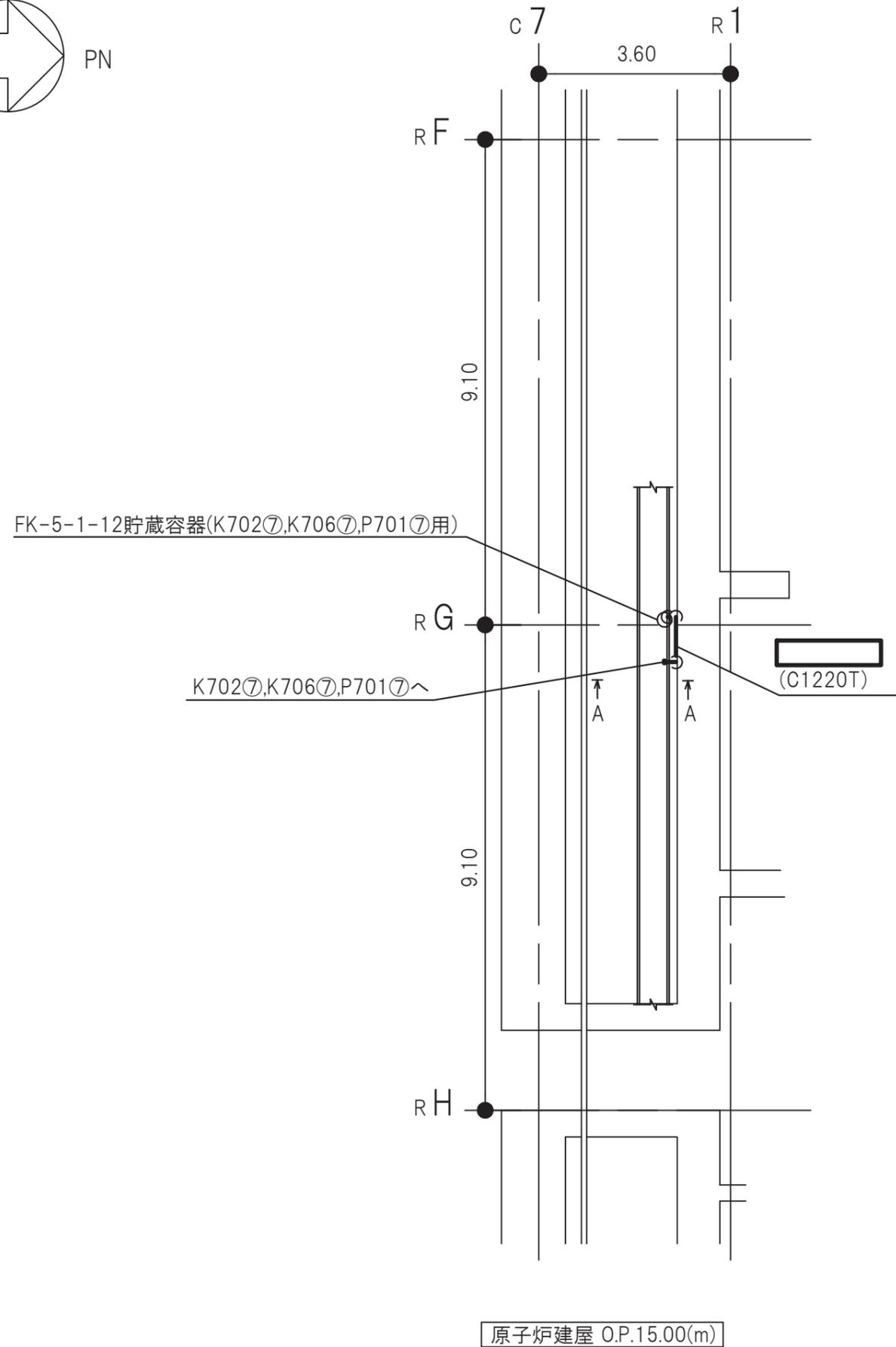
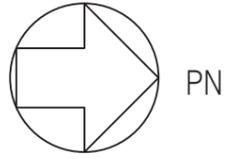


原子炉建屋 O.P.15.00(m)



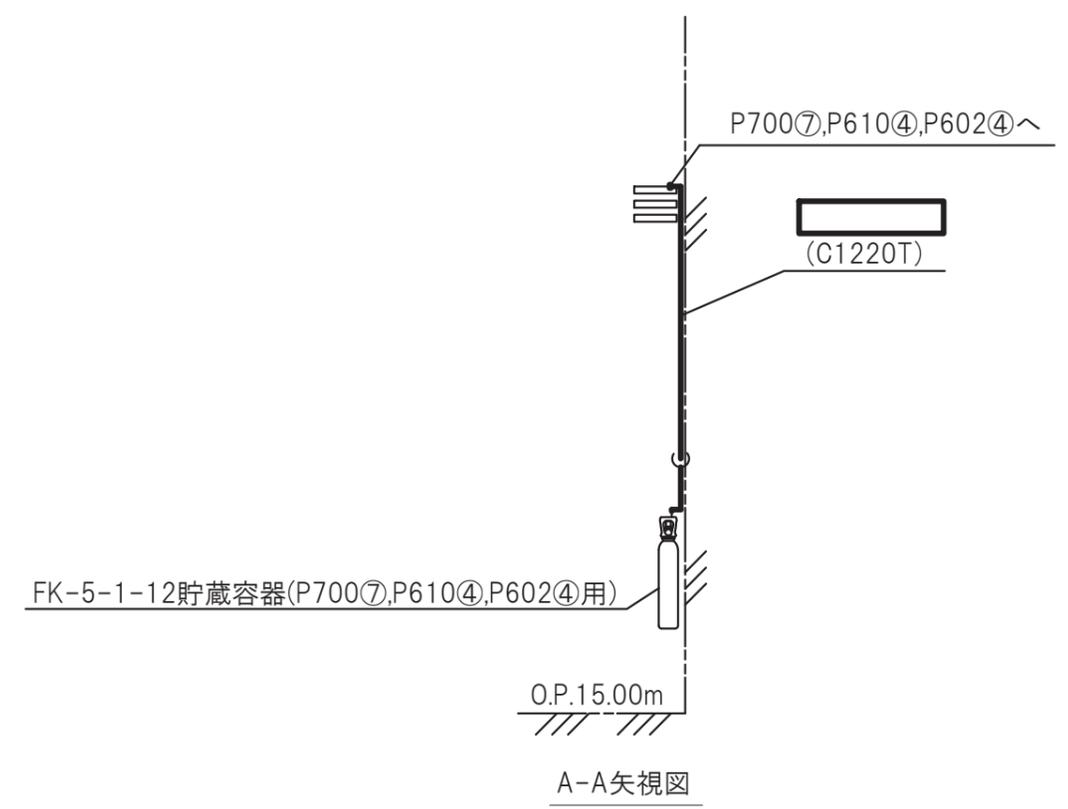
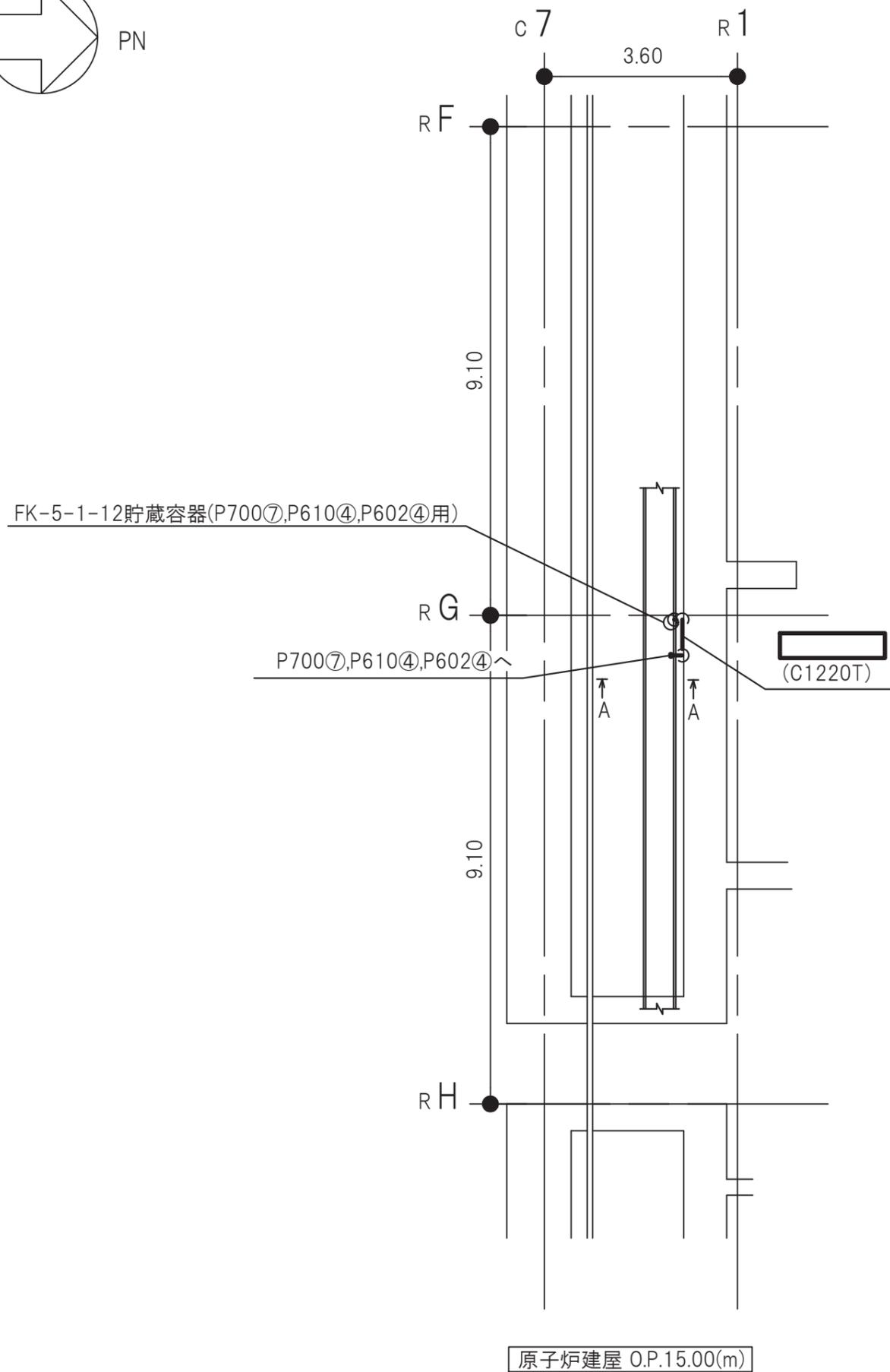
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-115図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S602③用) |
| 東北電力株式会社 | |



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

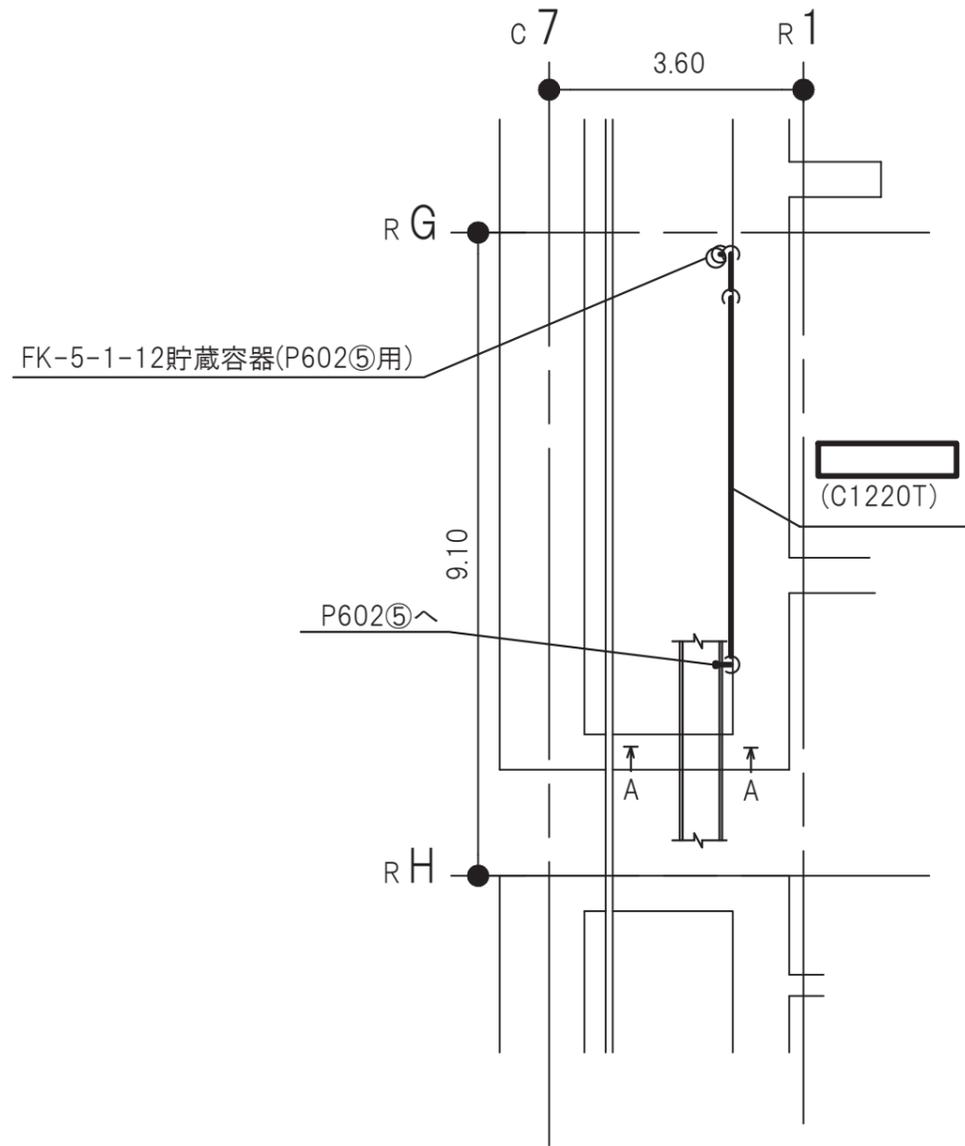
| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-116図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K702㉟,K706㉟,P701㉟用) |
| 東北電力株式会社 | |



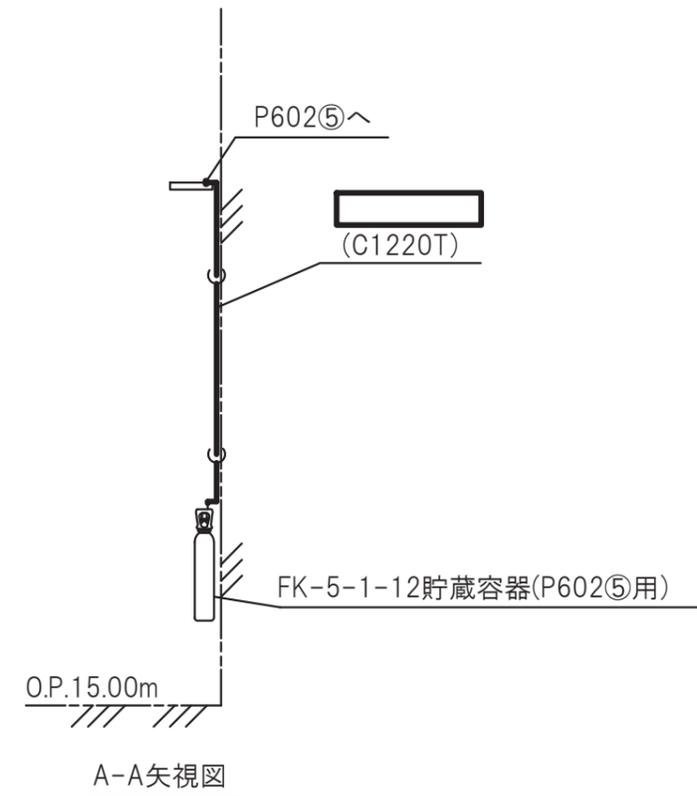
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-117図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P700⑦,P610④,P602④用) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



原子炉建屋 O.P.15.00(m)

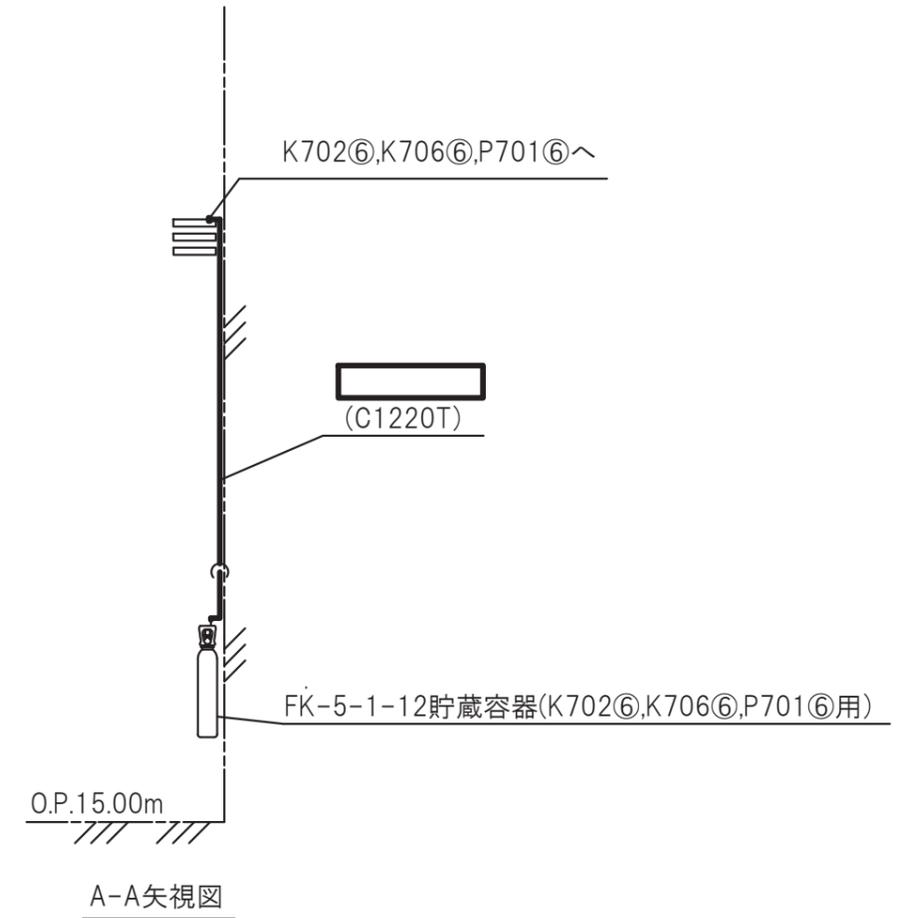
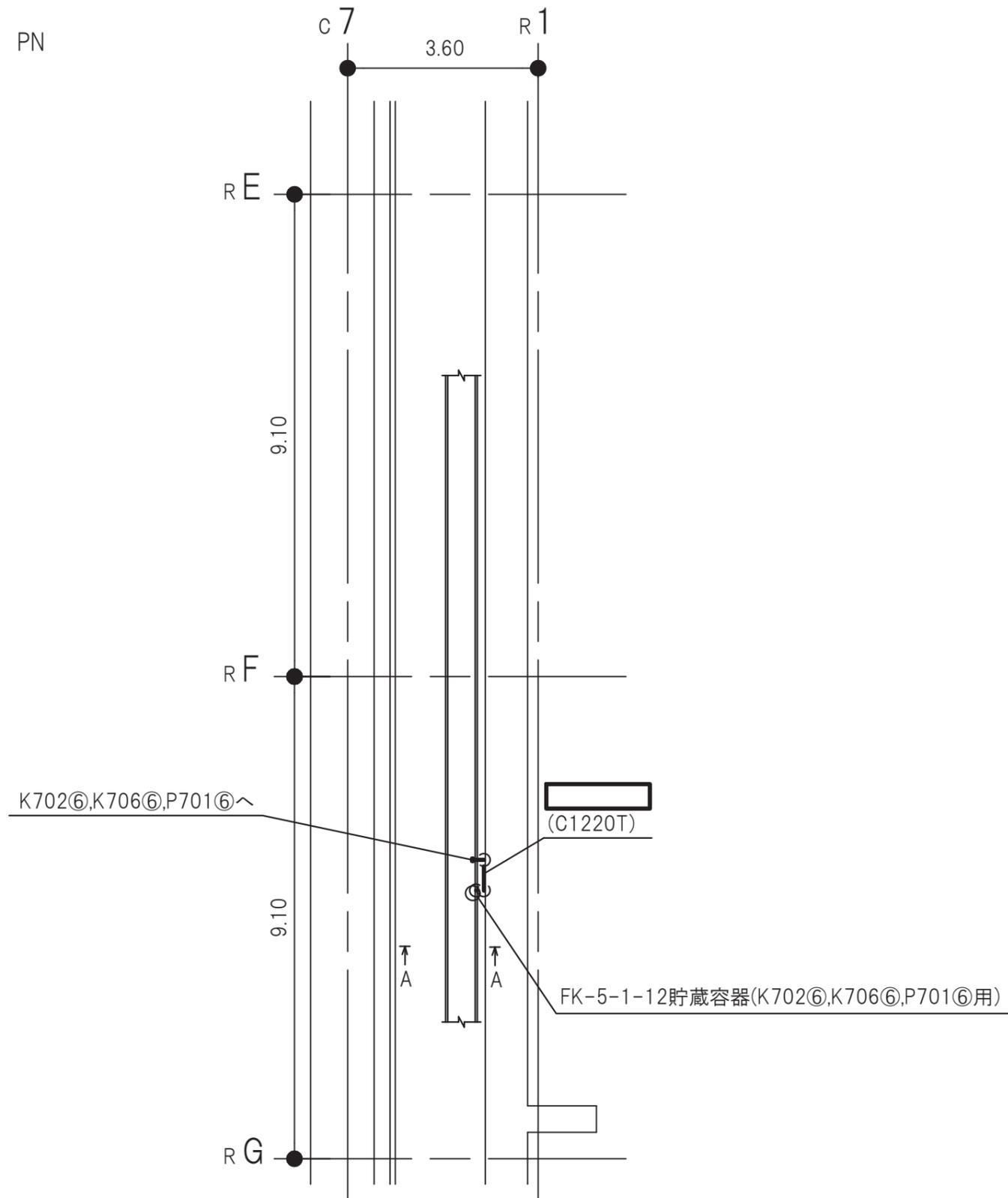


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-118図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P602⑤用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

原子炉建屋

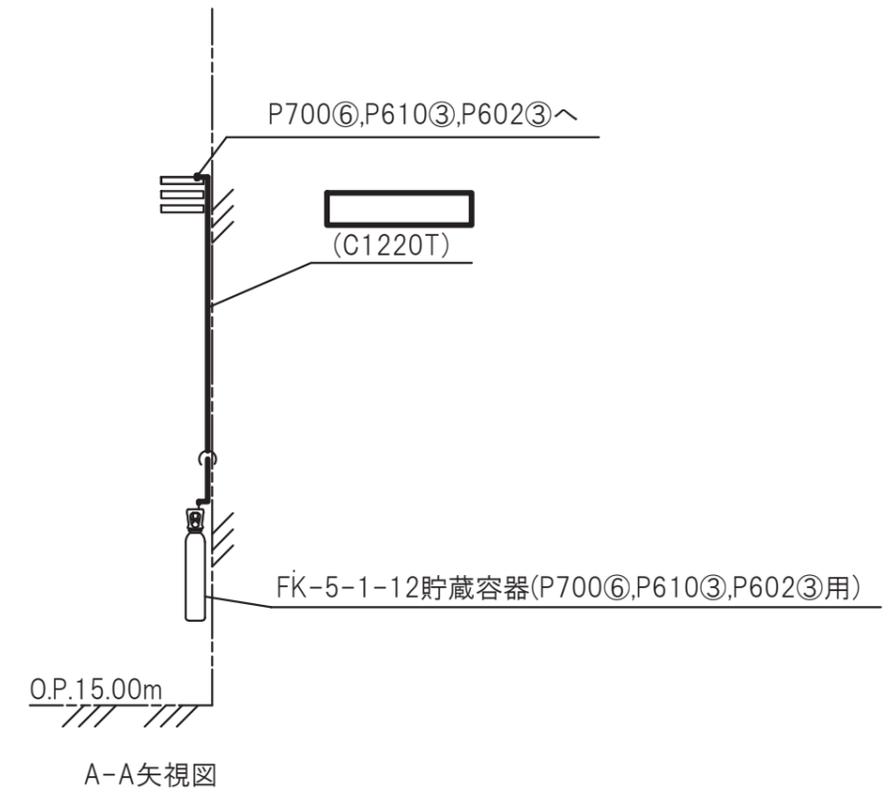
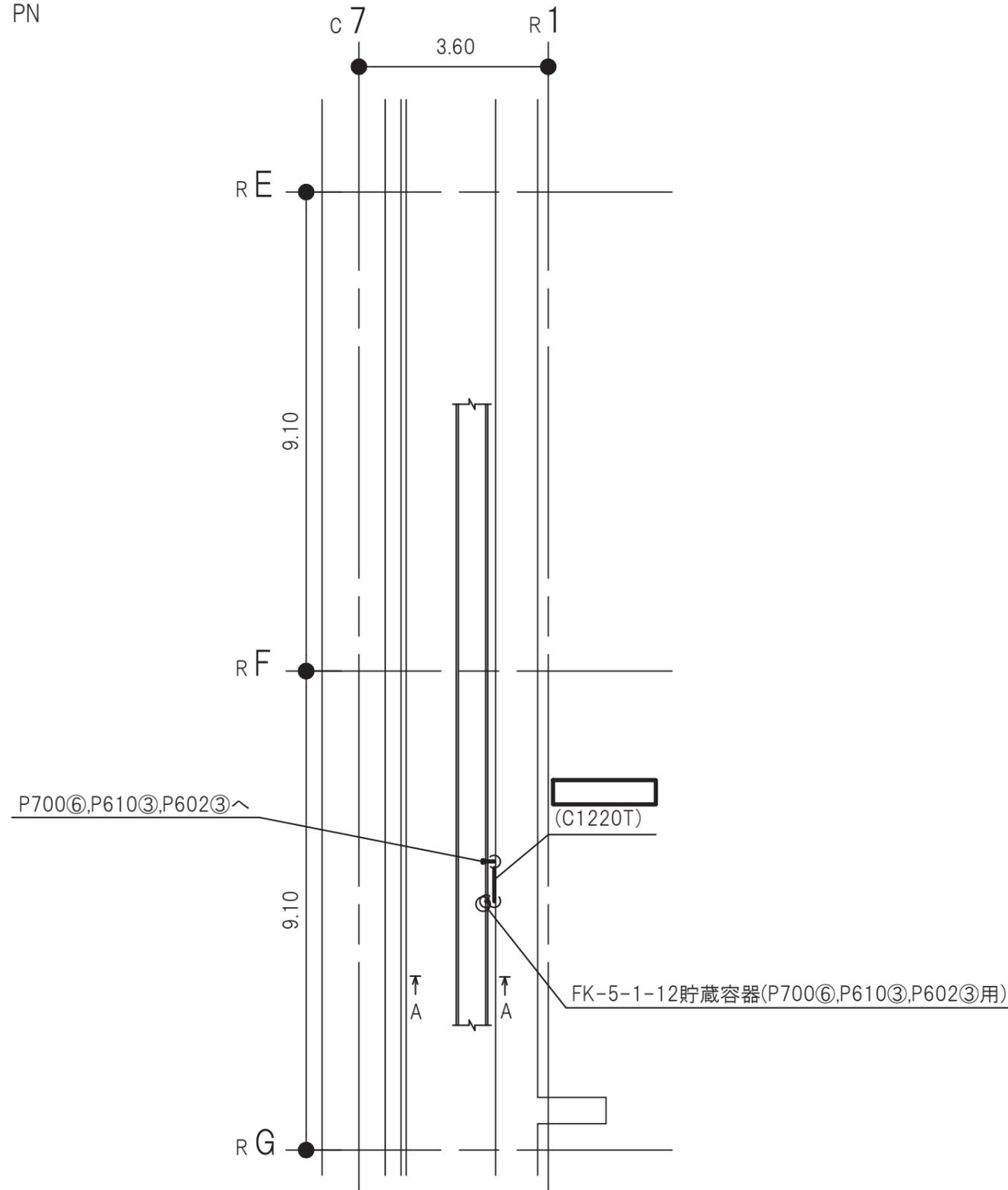
| | |
|---------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-119図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K702㊸,K706㊸,P701㊸用) |
| 東北電力株式会社 | |

0420

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



PN

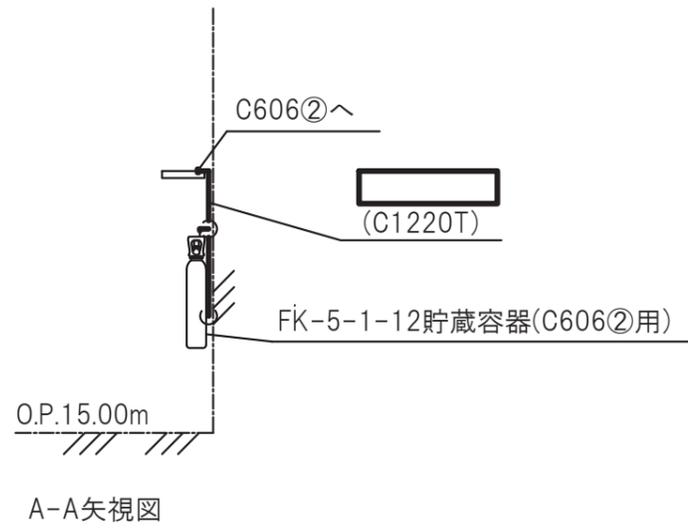
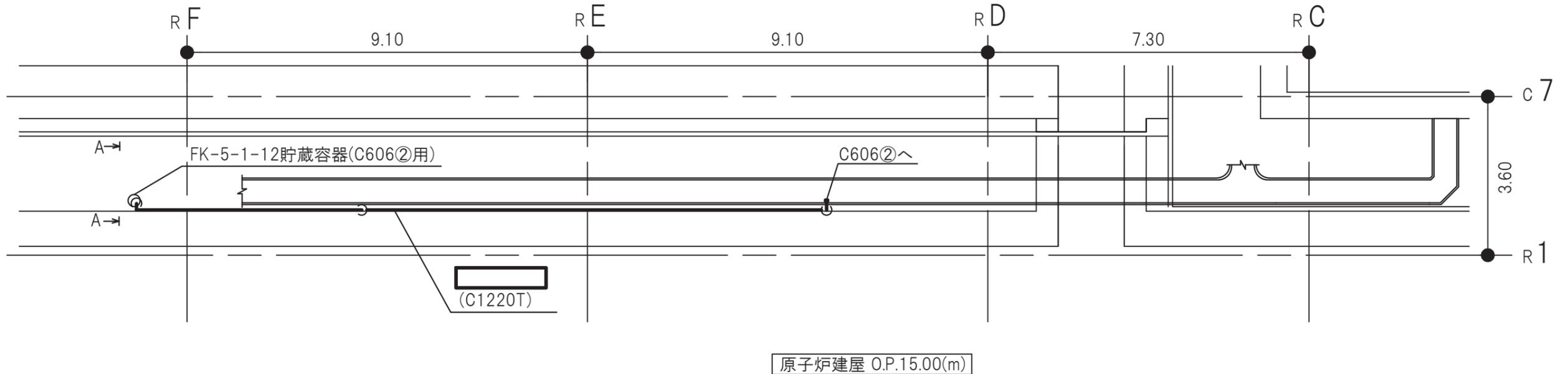
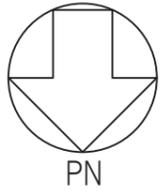


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

原子炉建屋

| | |
|---------------|--|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-120図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P700⑥, P610③, P602③用) |
| 東北電力株式会社 | |

原子炉建屋 O.P.15.00(m)

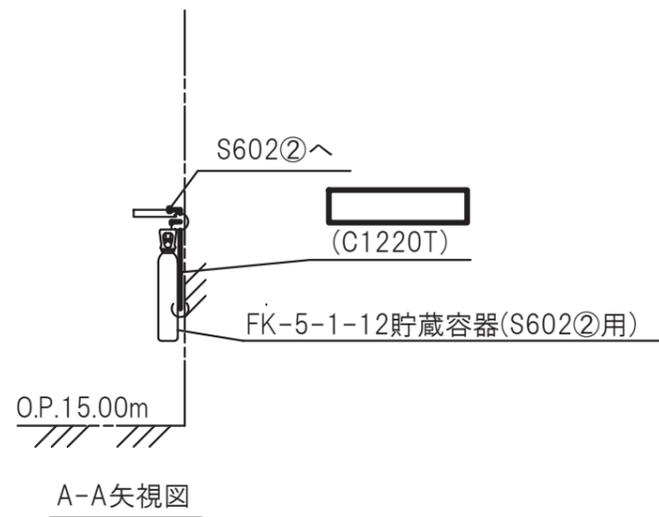
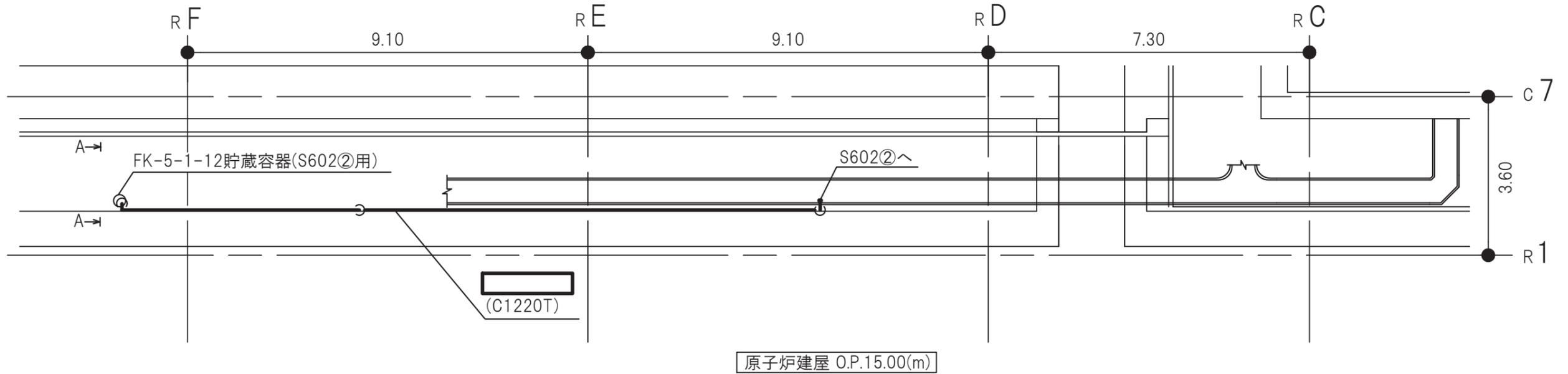


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-121図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C606②用) |
| 東北電力株式会社 | |

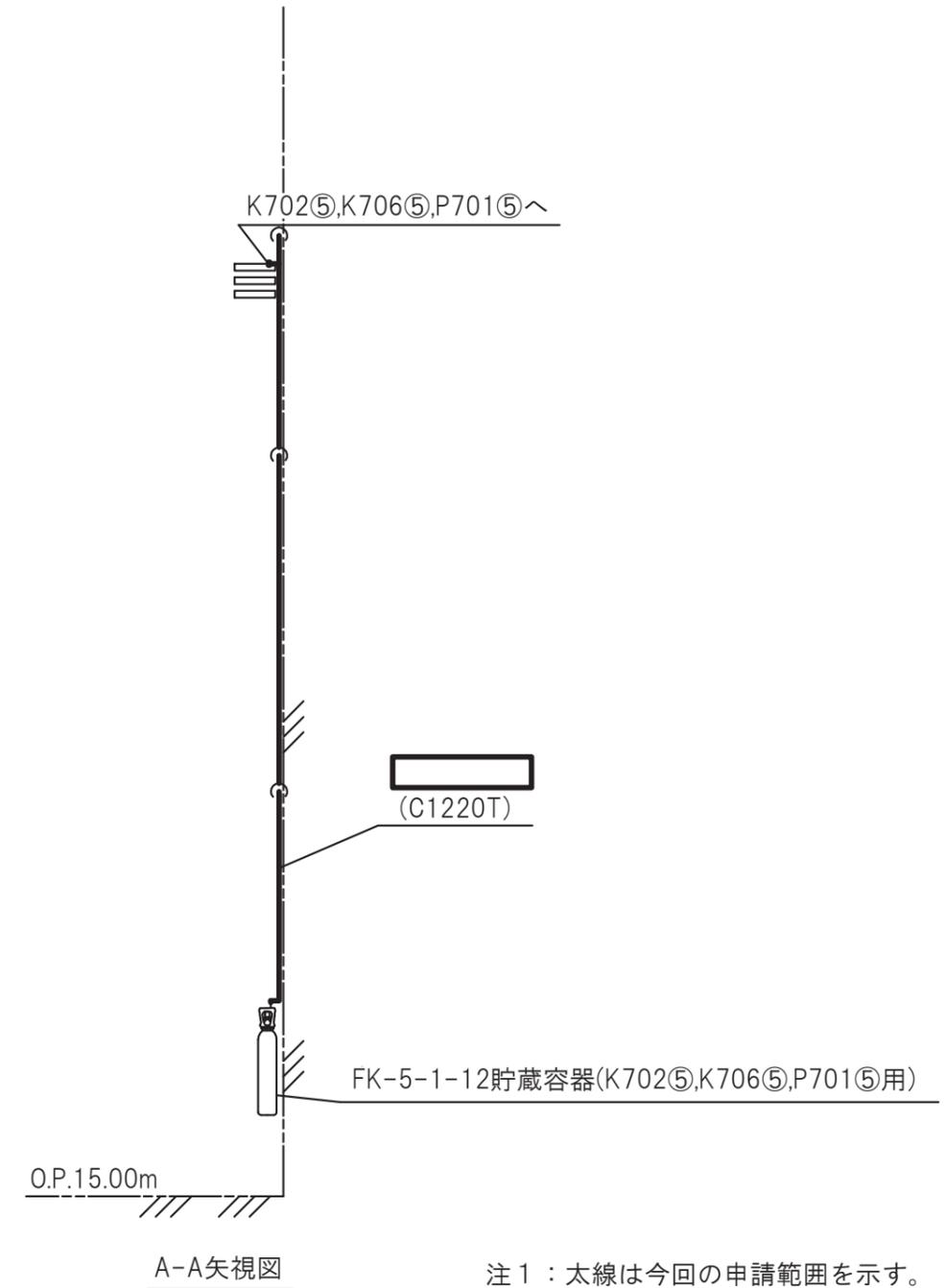
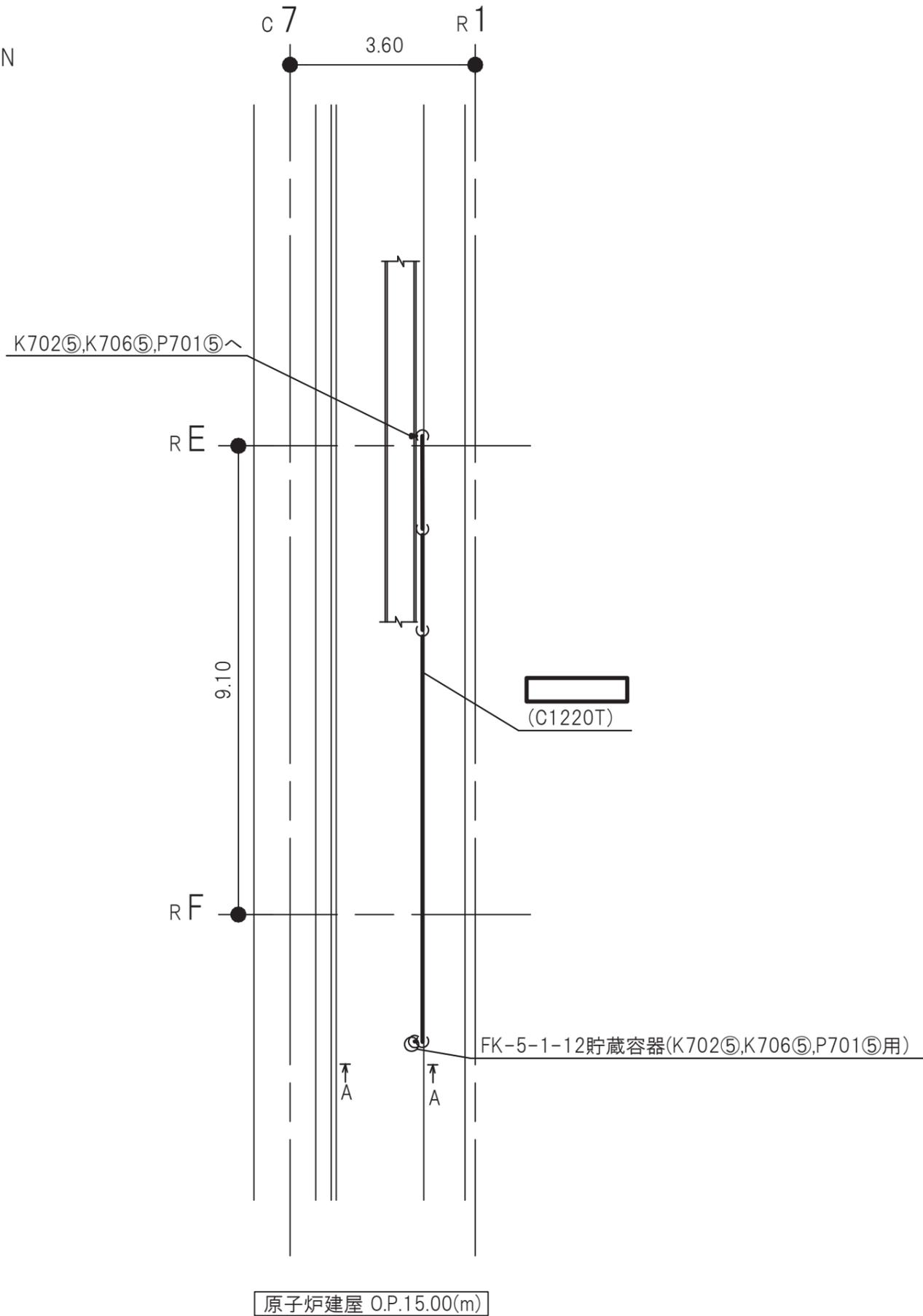
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



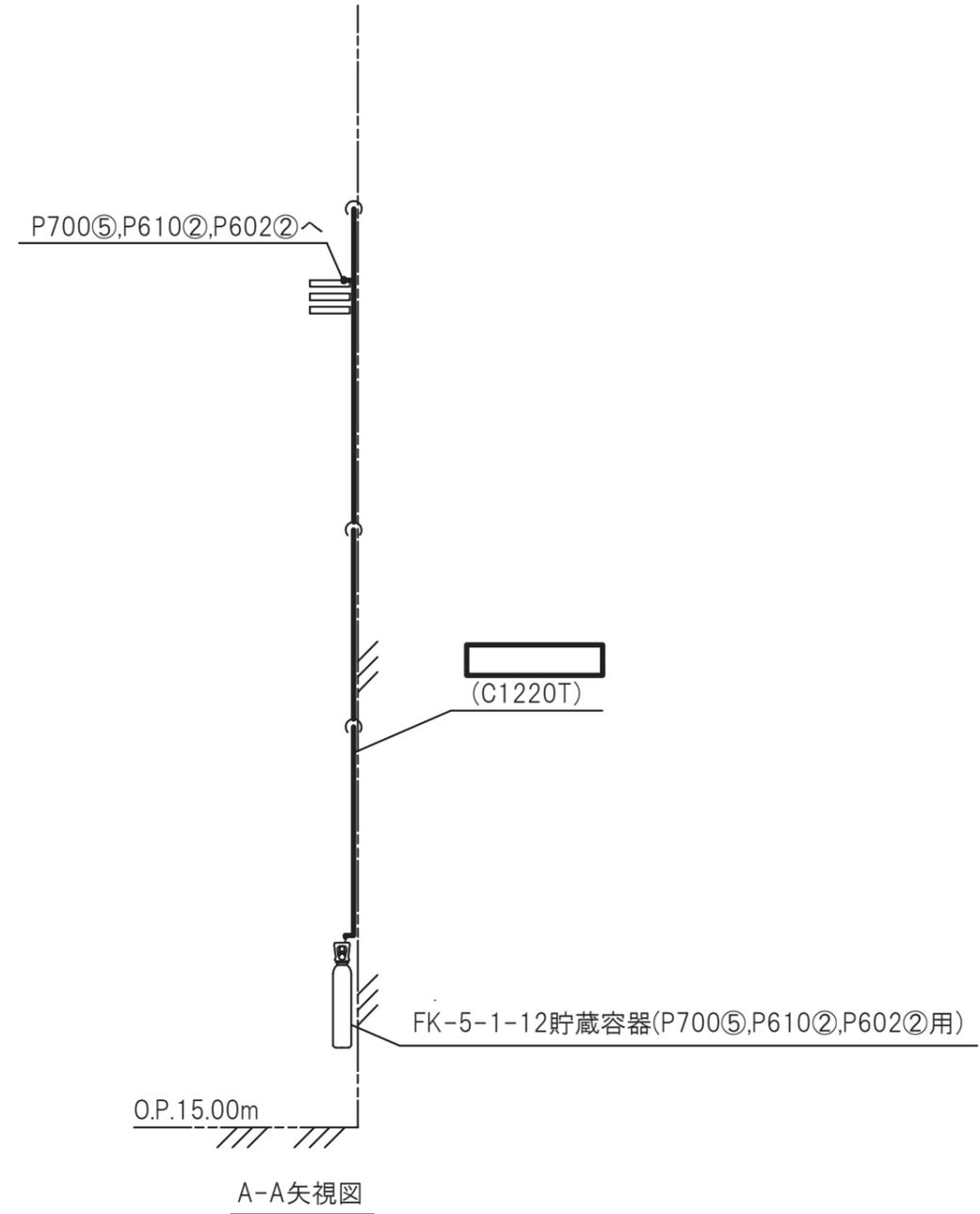
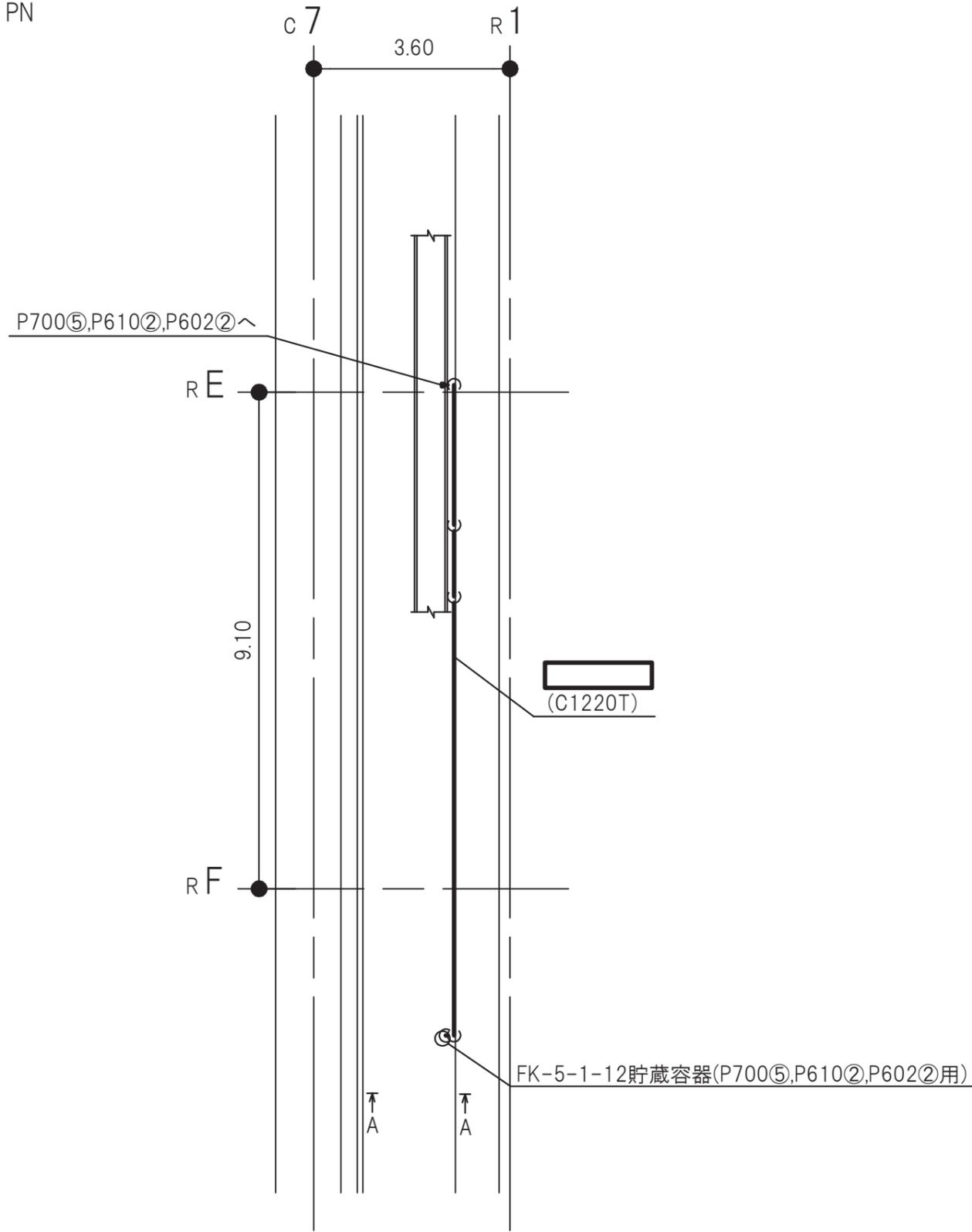
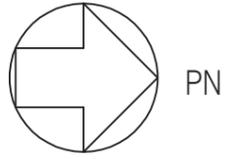
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-122図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S602②用) |
| 東北電力株式会社 | |



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

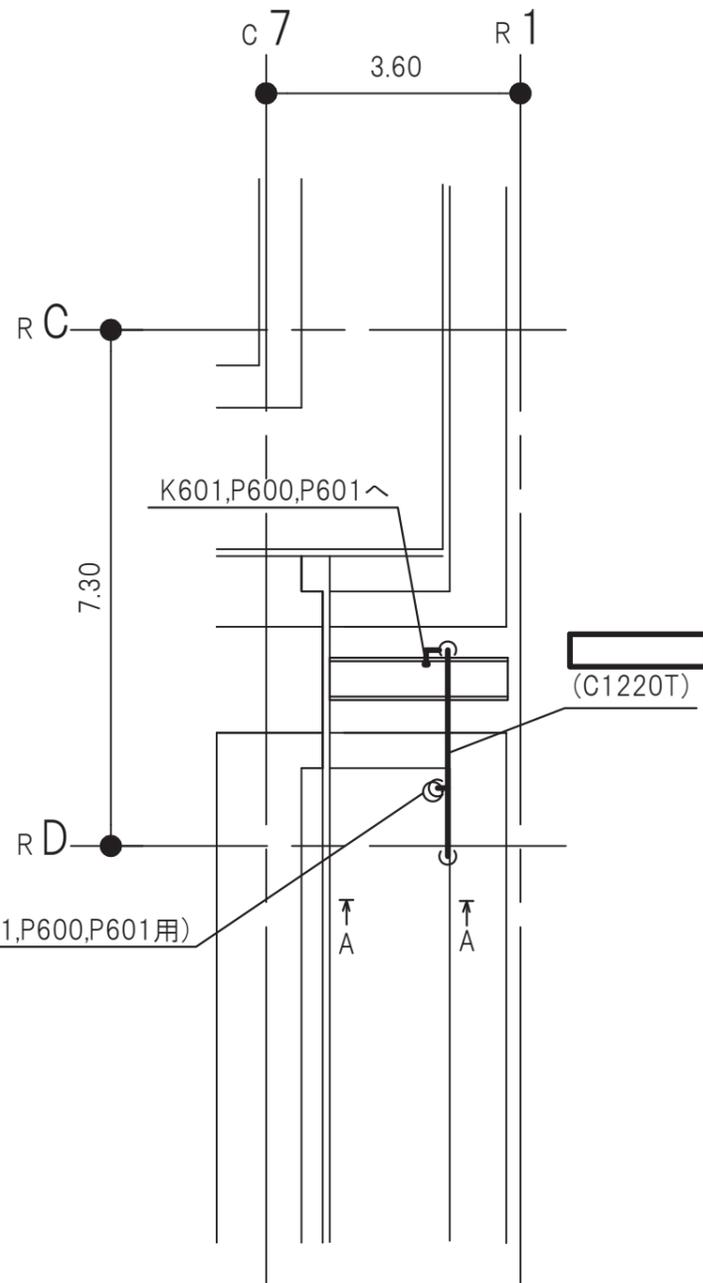
| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-123図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (K702㊟, K706㊟, P701㊟用) |
| 東北電力株式会社 | |



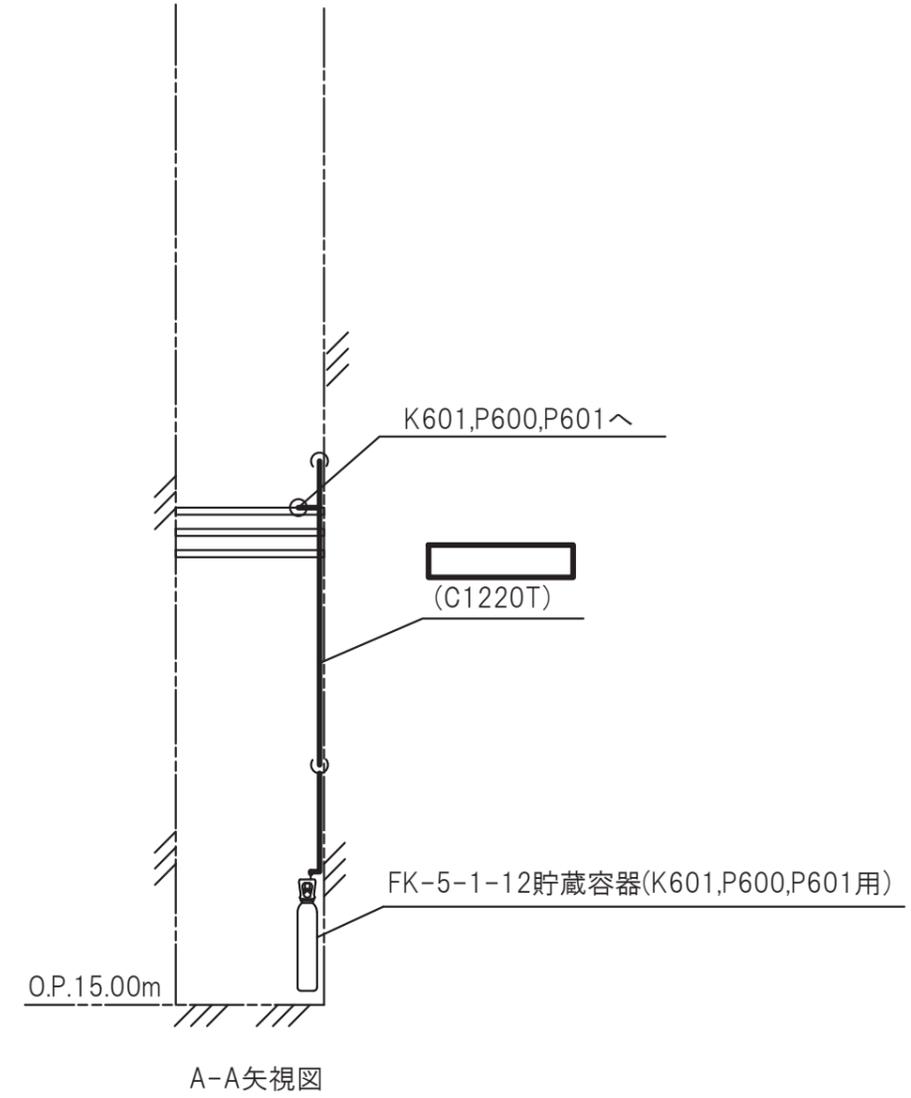
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

原子炉建屋

| | |
|---------------|---|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-124図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (P700⑤, P610②, P602②用) |
| 東北電力株式会社 | |

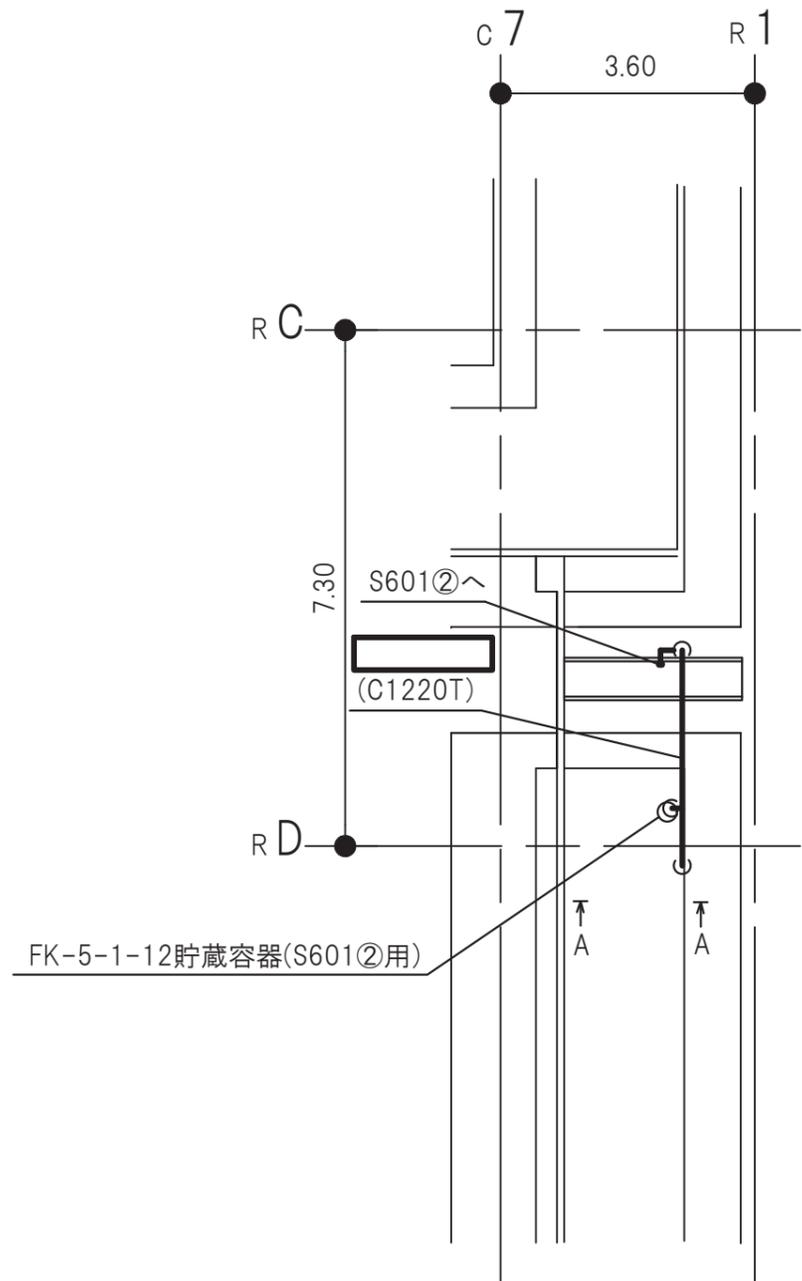


原子炉建屋 O.P.15.00(m)

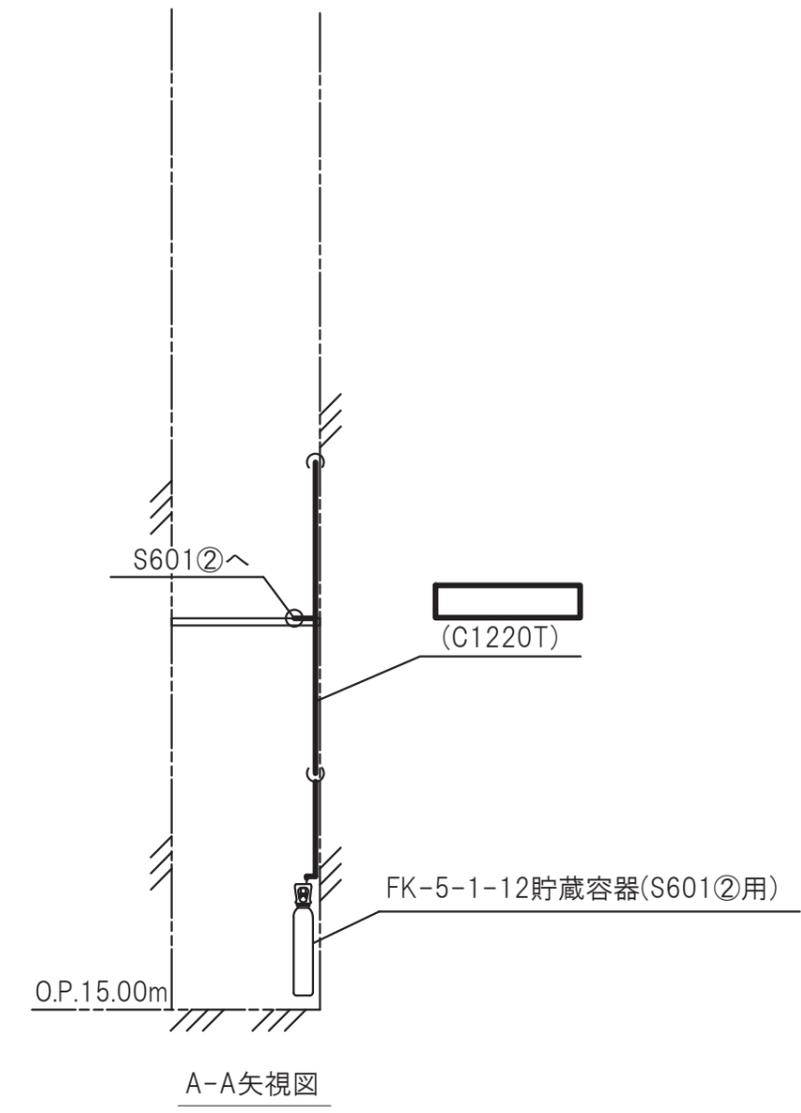


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|---|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-125図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K601,P600,P601用) |
| 東北電力株式会社 | |



原子炉建屋 O.P.15.00(m)

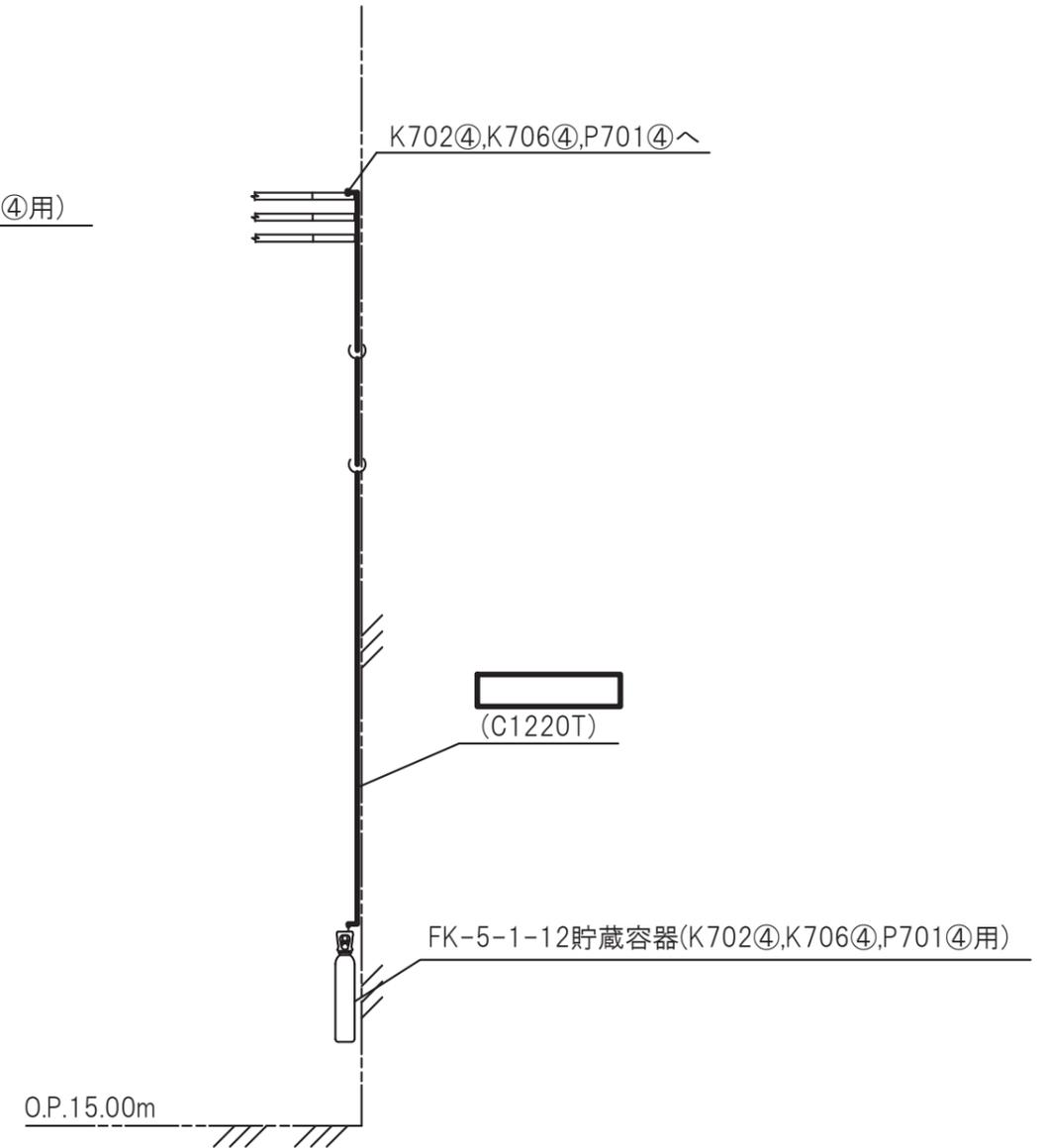
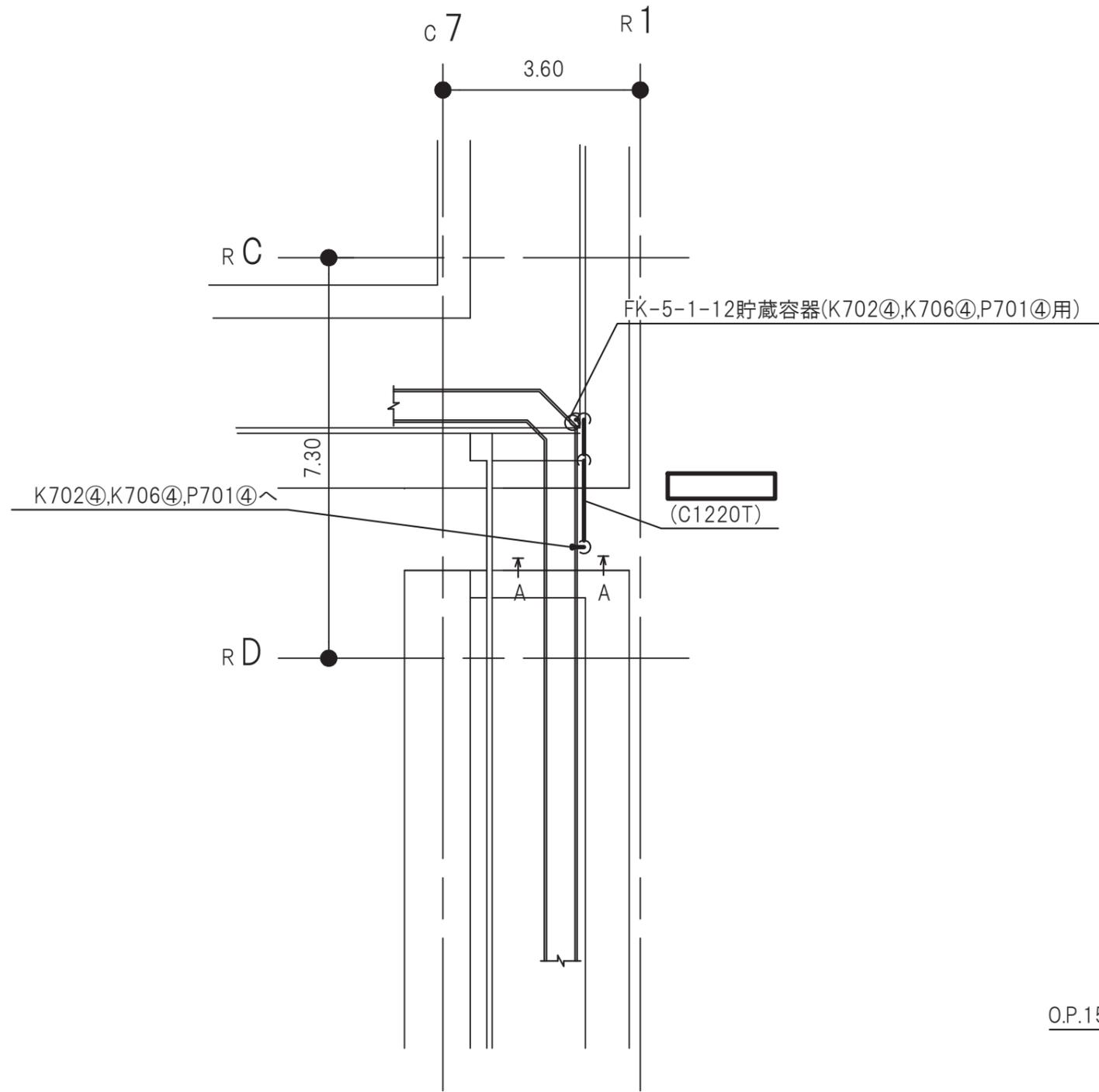


A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-126図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S601②用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



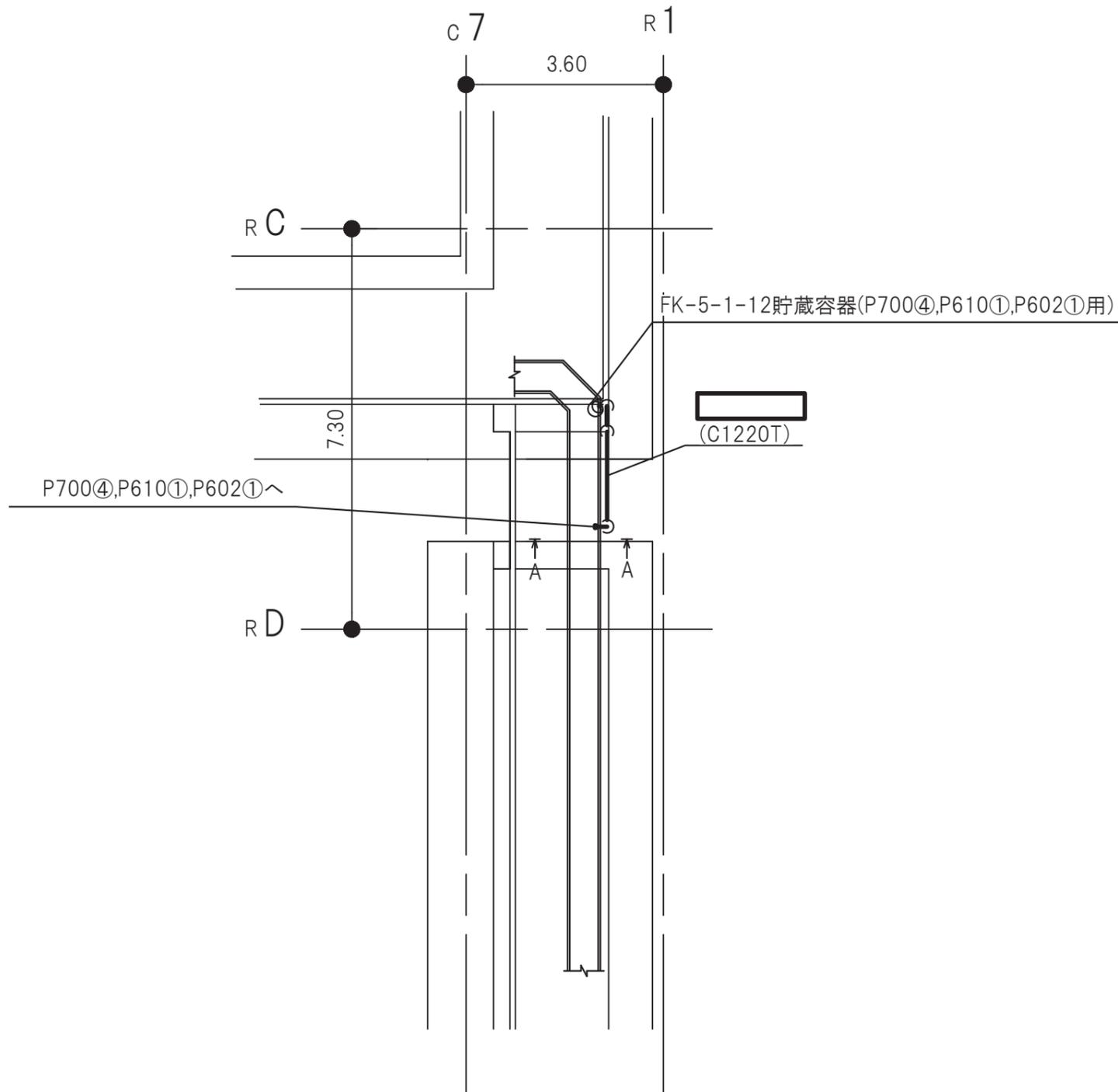
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

制御建屋 O.P.15.00(m)

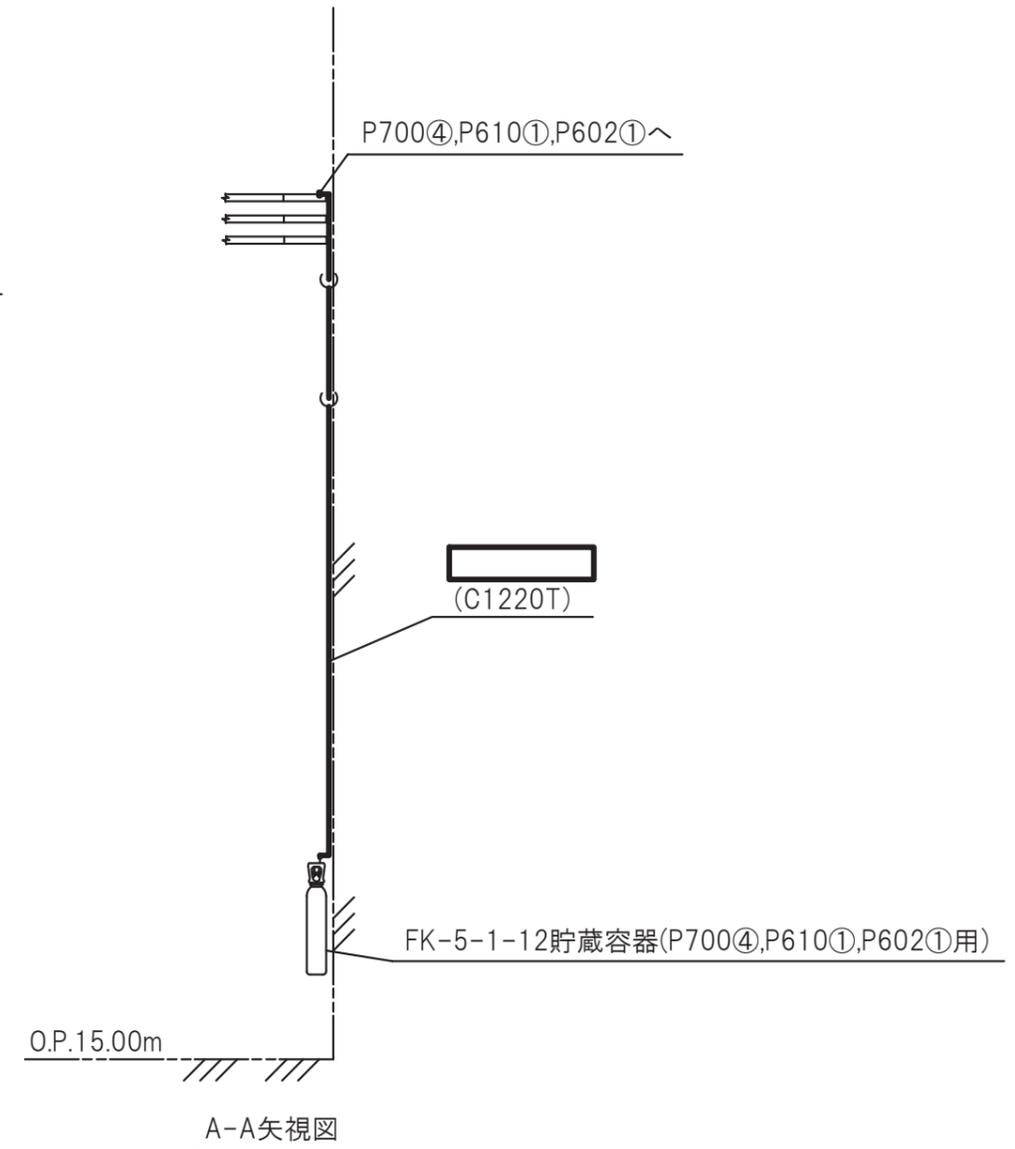
| | |
|---------------|--|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-127図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K702④,K706④,P701④用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

1119



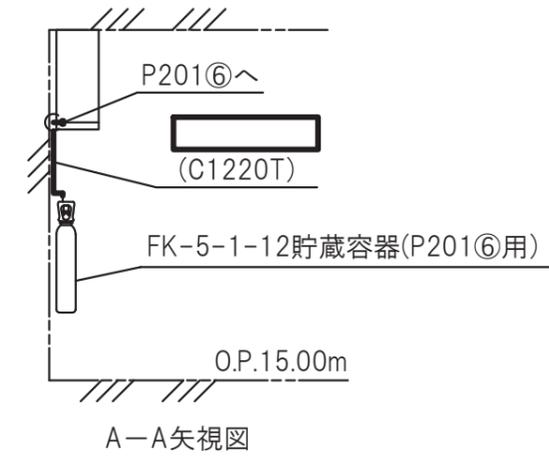
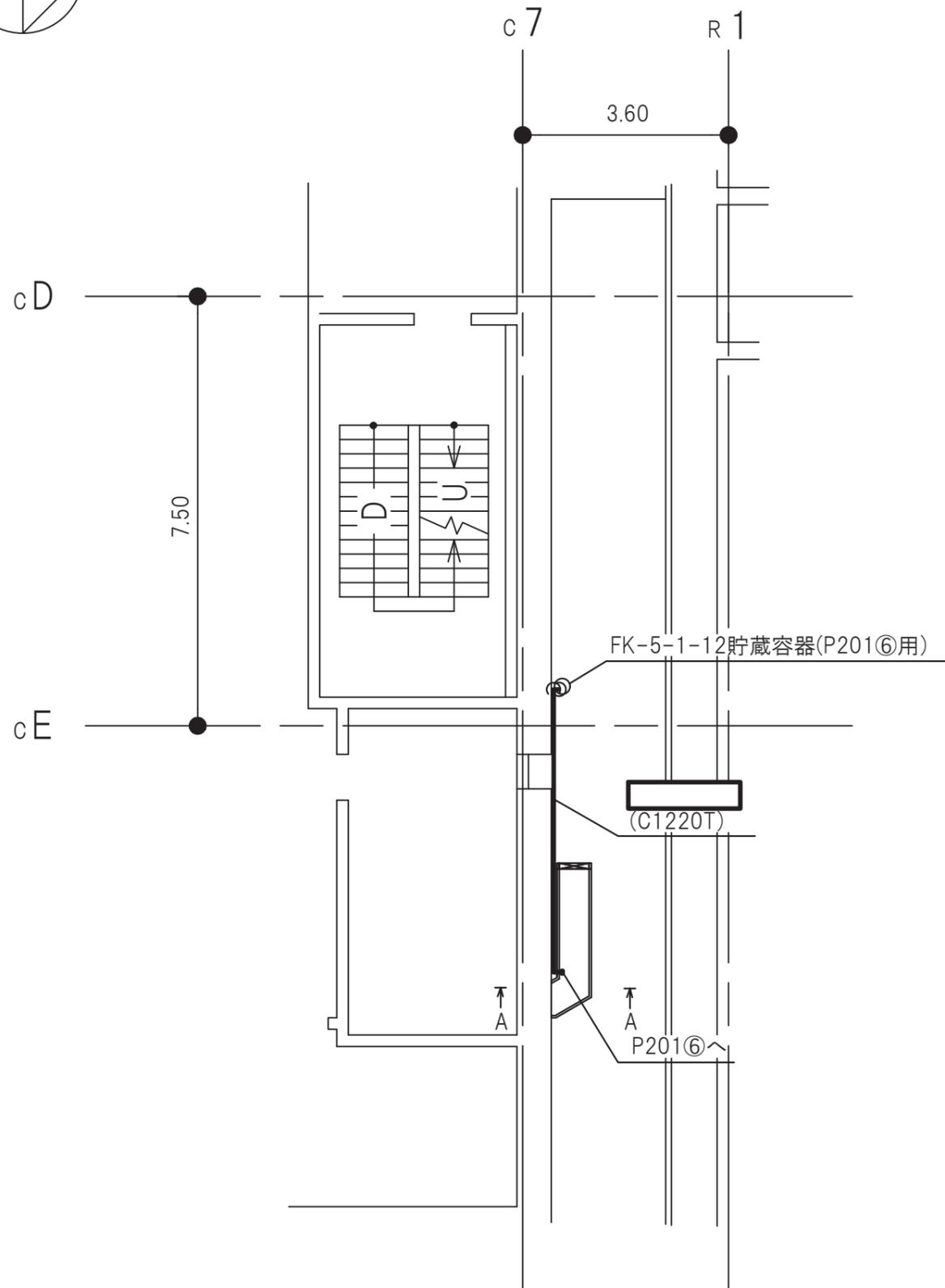
制御建屋 O.P.15.00(m)



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-128図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P700④,P610①,P602①用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

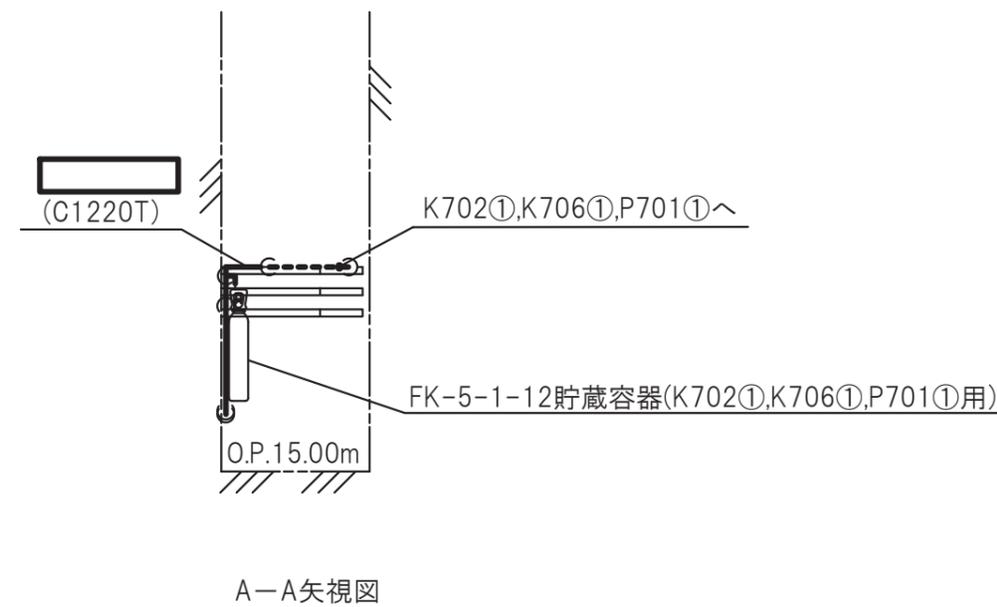
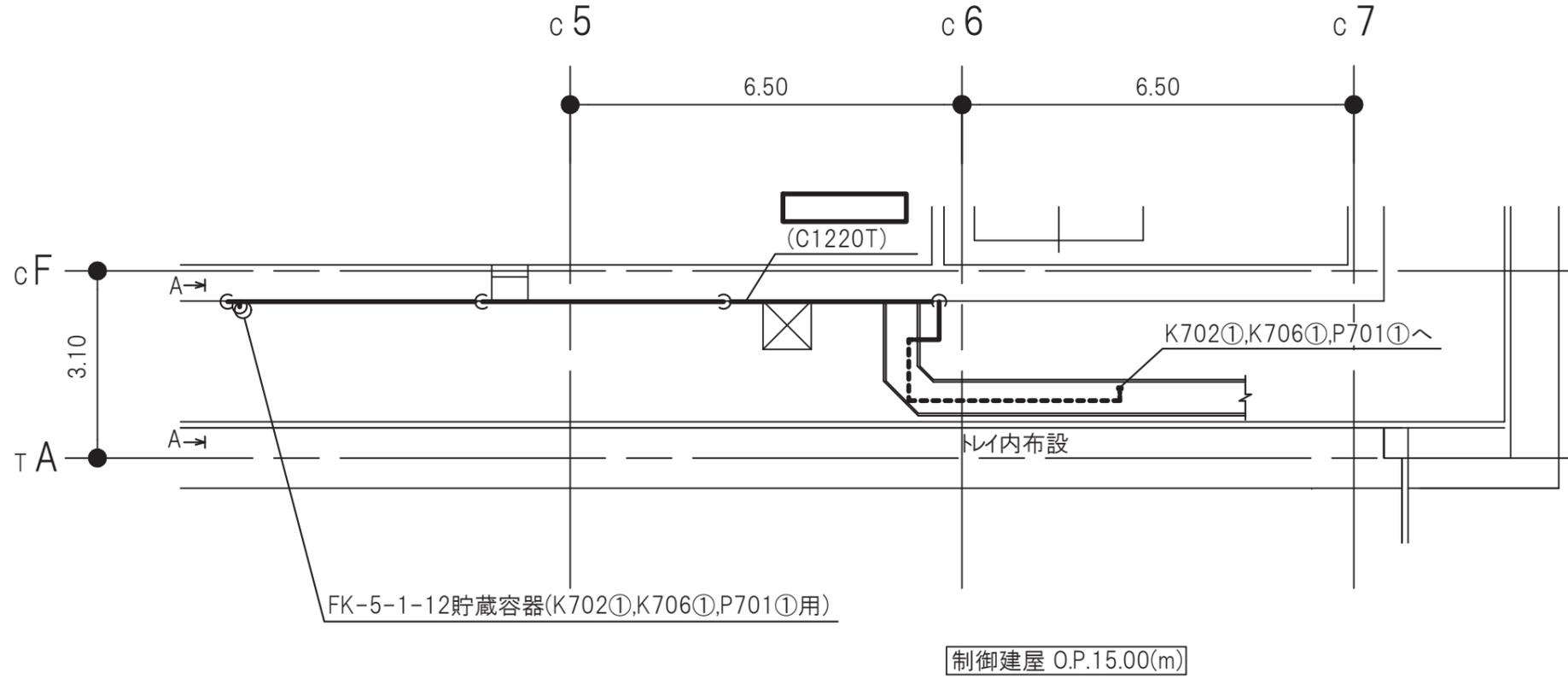


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

制御建屋

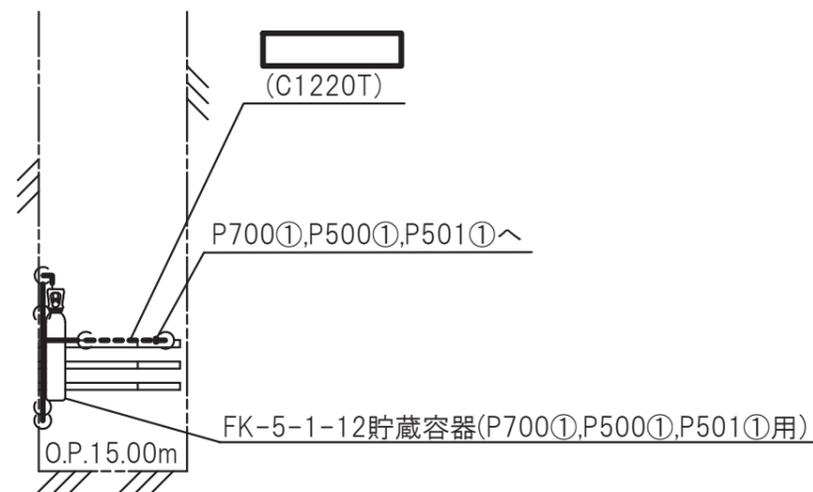
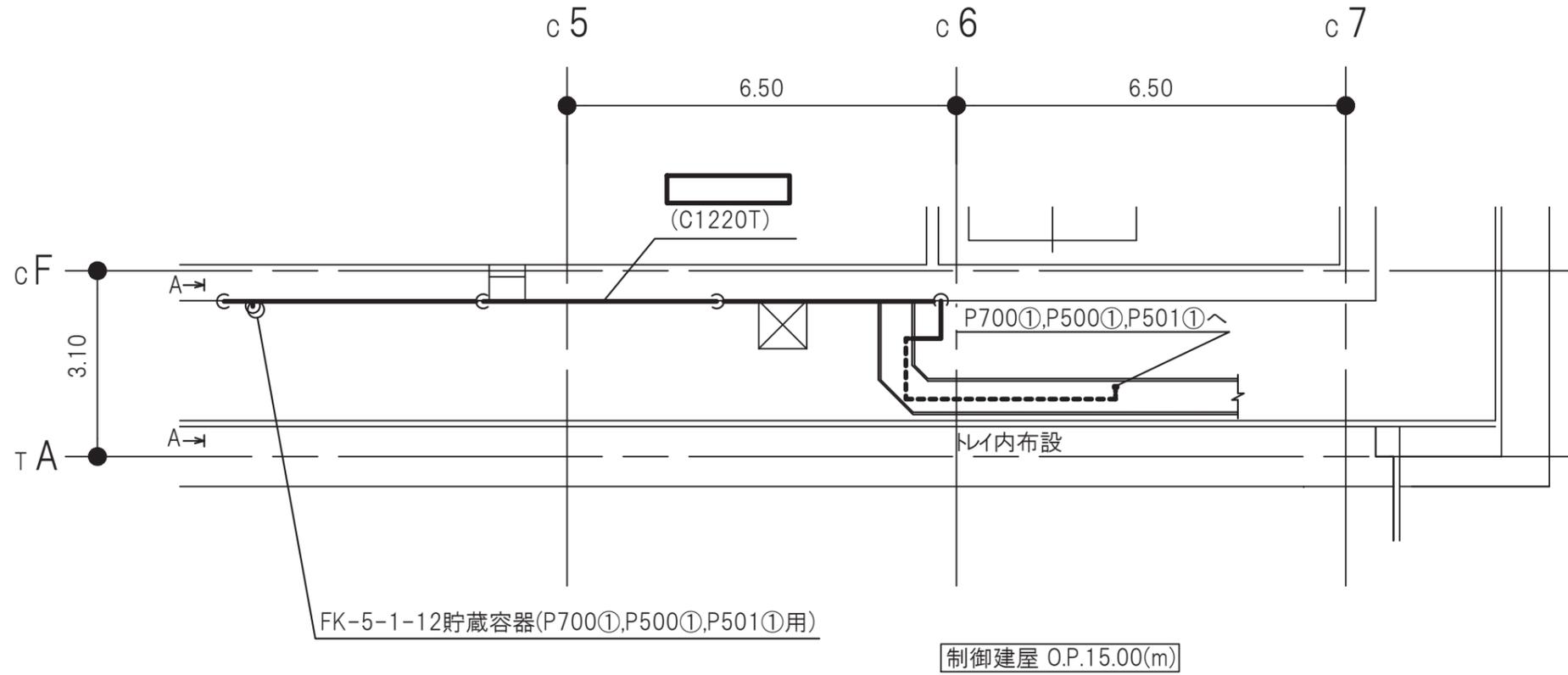
| | |
|---------------|------------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-129図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P201㊸用) |
| 東北電力株式会社 | |

制御建屋 O.P.15.00(m)



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

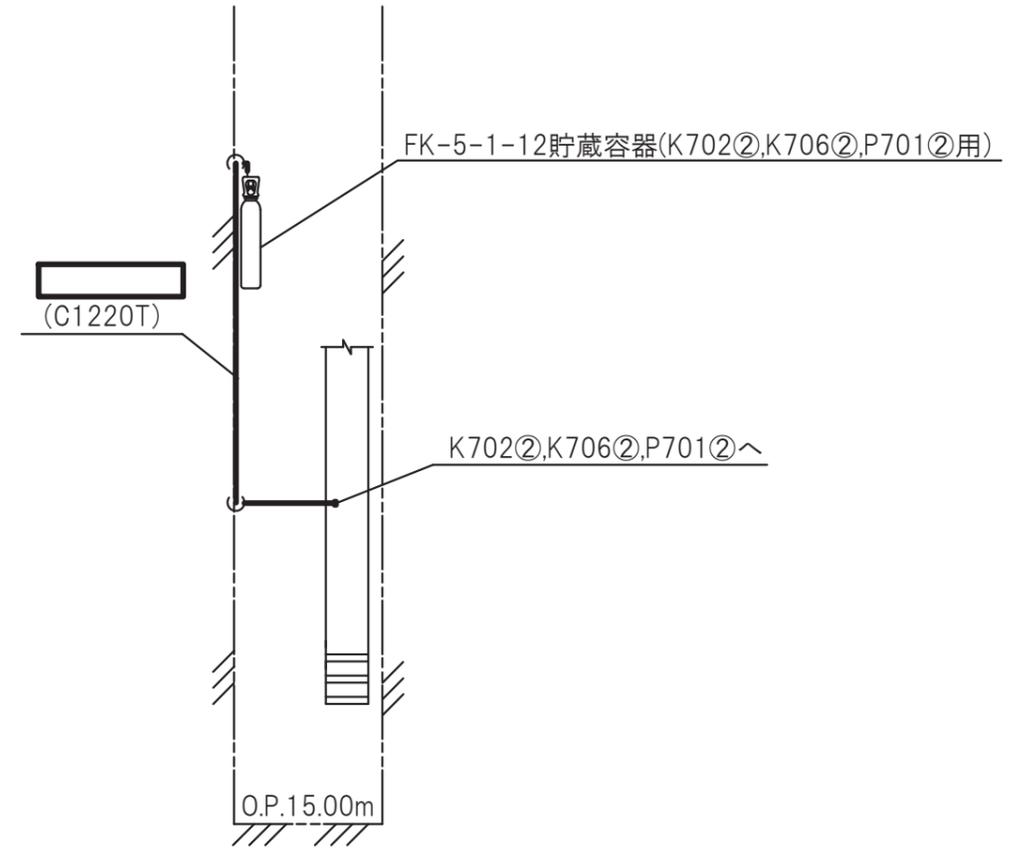
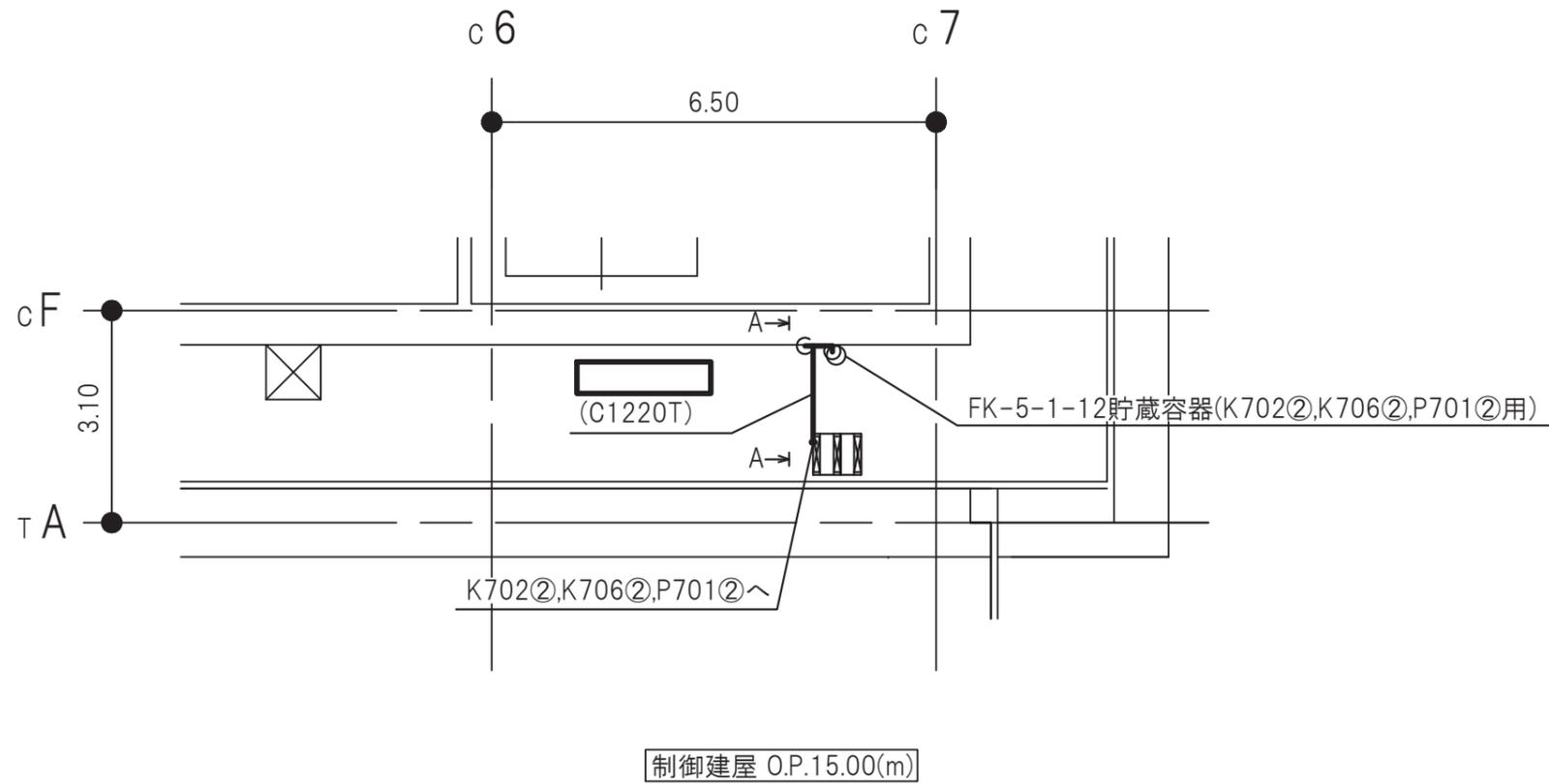
| | |
|---------------|--|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-130図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K702①,K706①,P701①用) |
| 東北電力株式会社 | |



A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

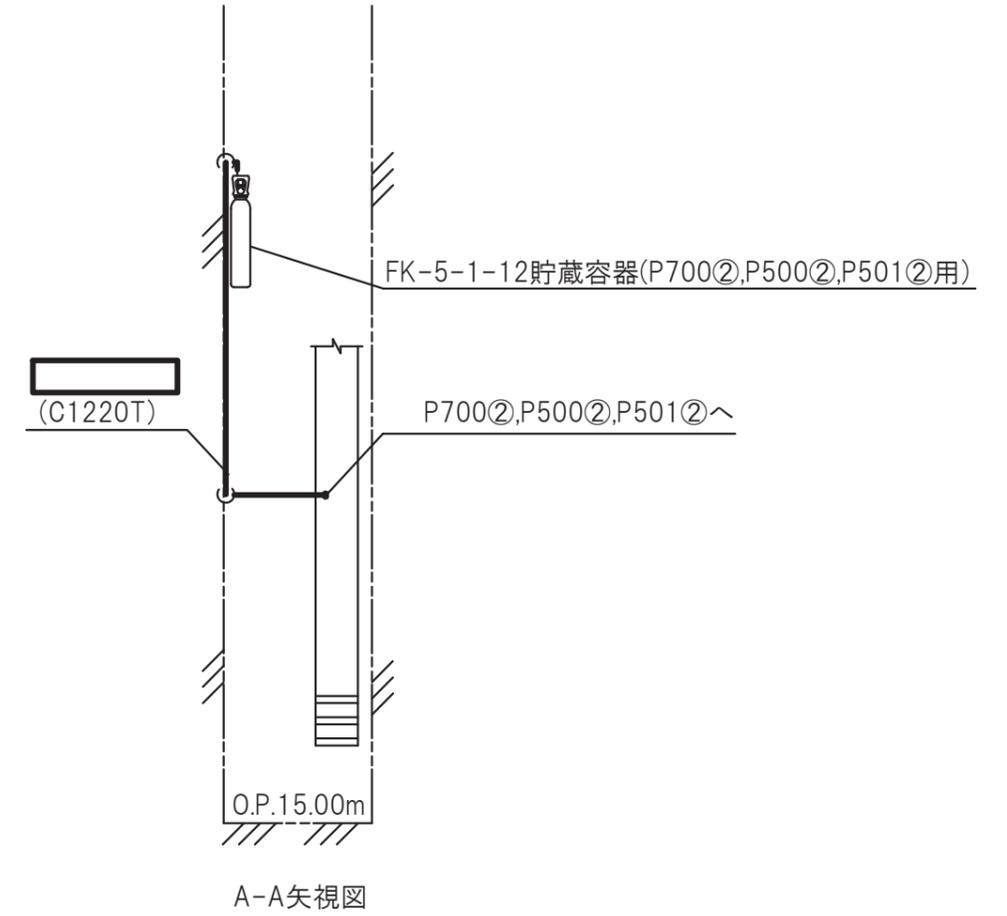
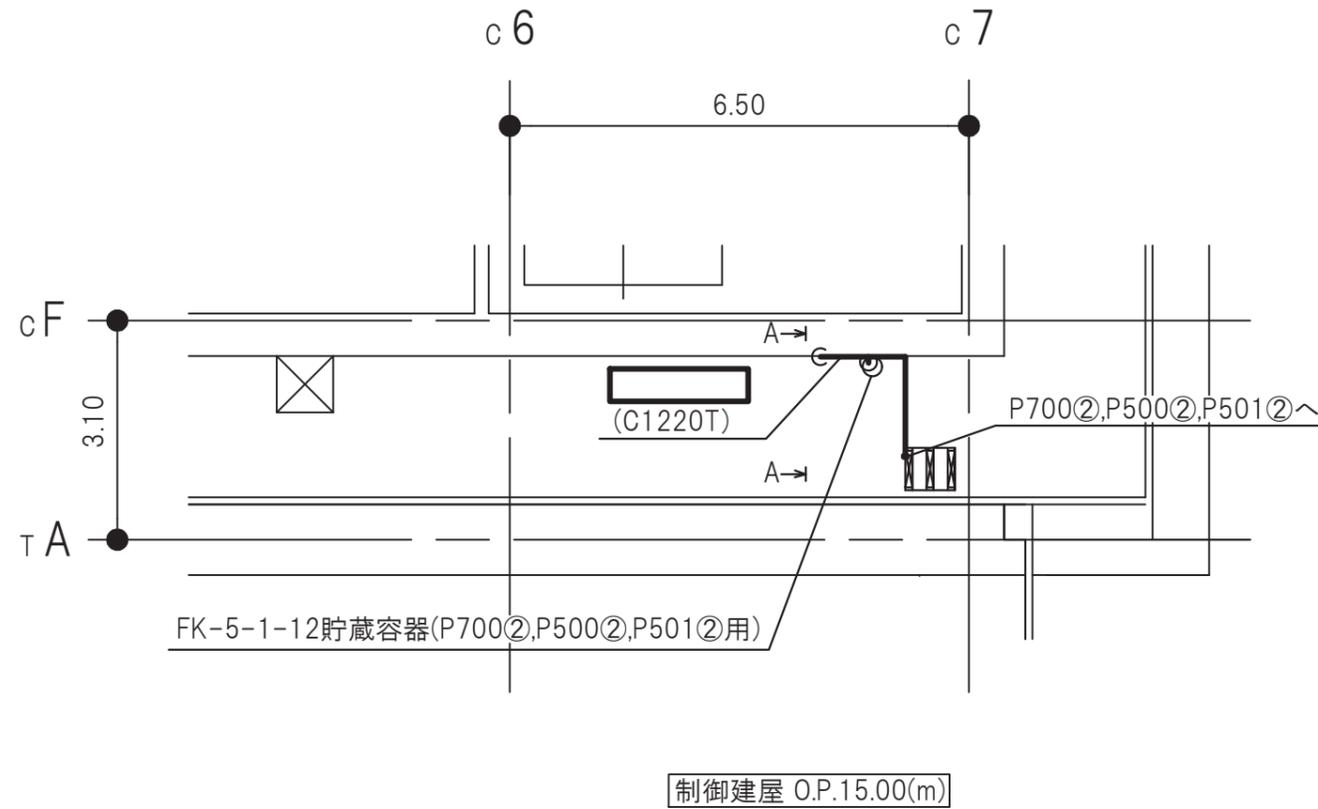
| | |
|---------------|--|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-131図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P700①, P500①, P501①用) |
| 東北電力株式会社 | |



A-A矢視図

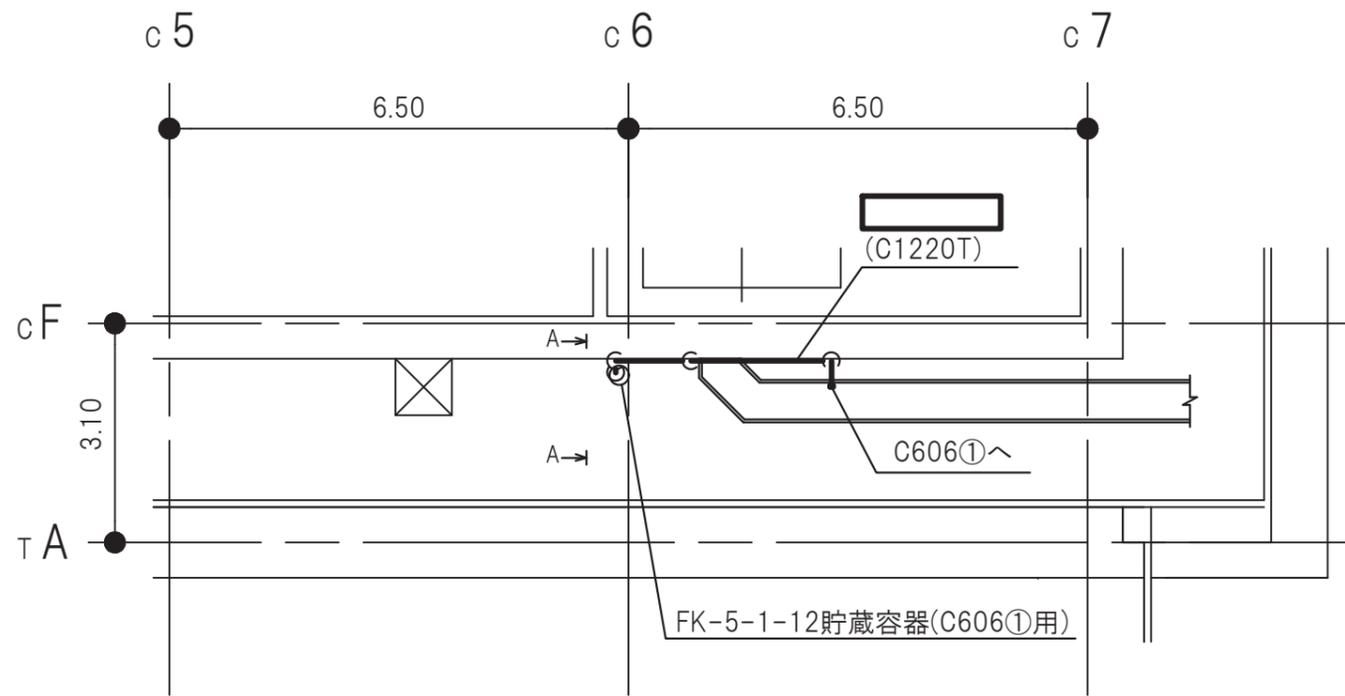
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-132図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K702②,K706②,P701②用) |
| 東北電力株式会社 | |

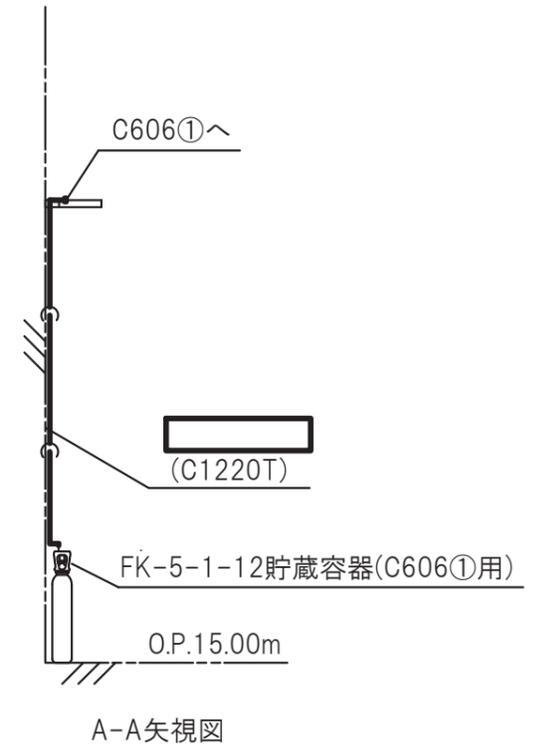


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-133図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P700②,P500②,P501②用) |
| 東北電力株式会社 | |



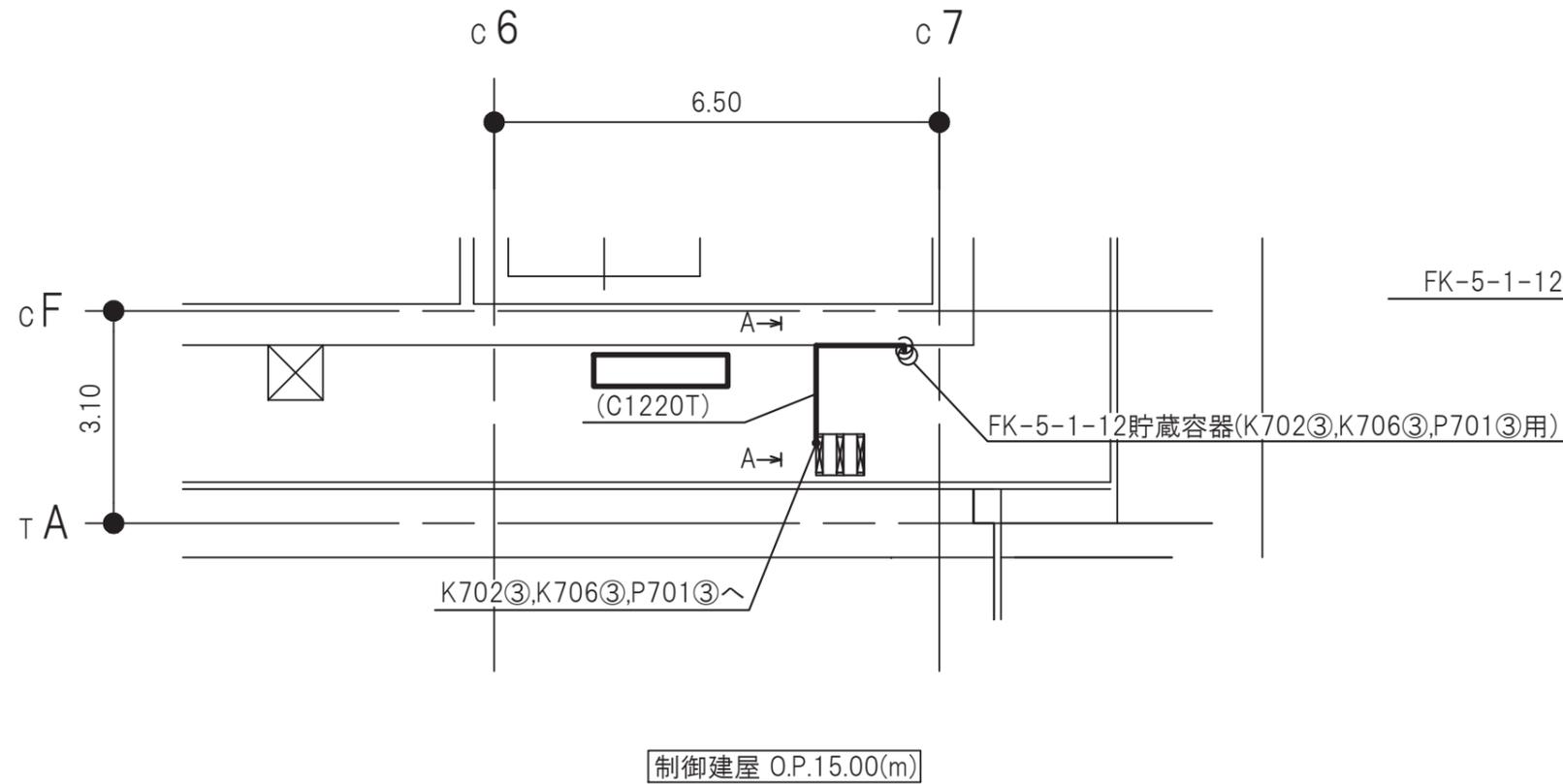
制御建屋 O.P.15.00(m)



A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

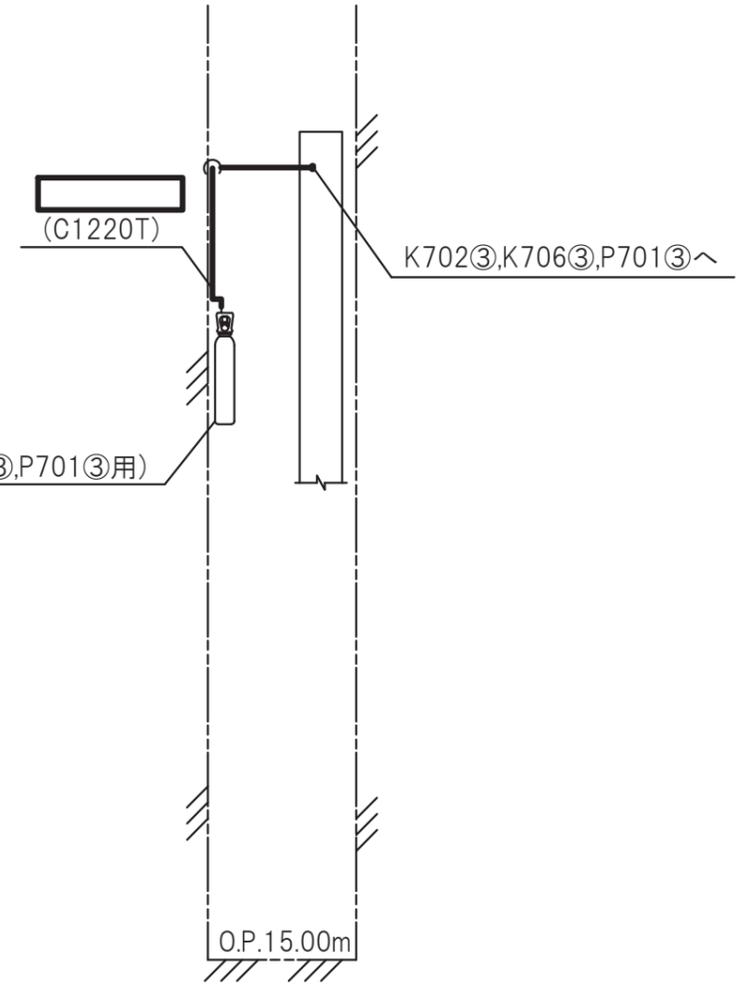
| | |
|---------------|------------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-134図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C606①用) |
| 東北電力株式会社 | |



制御建屋 O.P.15.00(m)

FK-5-1-12貯蔵容器(K702③,K706③,P701③用)

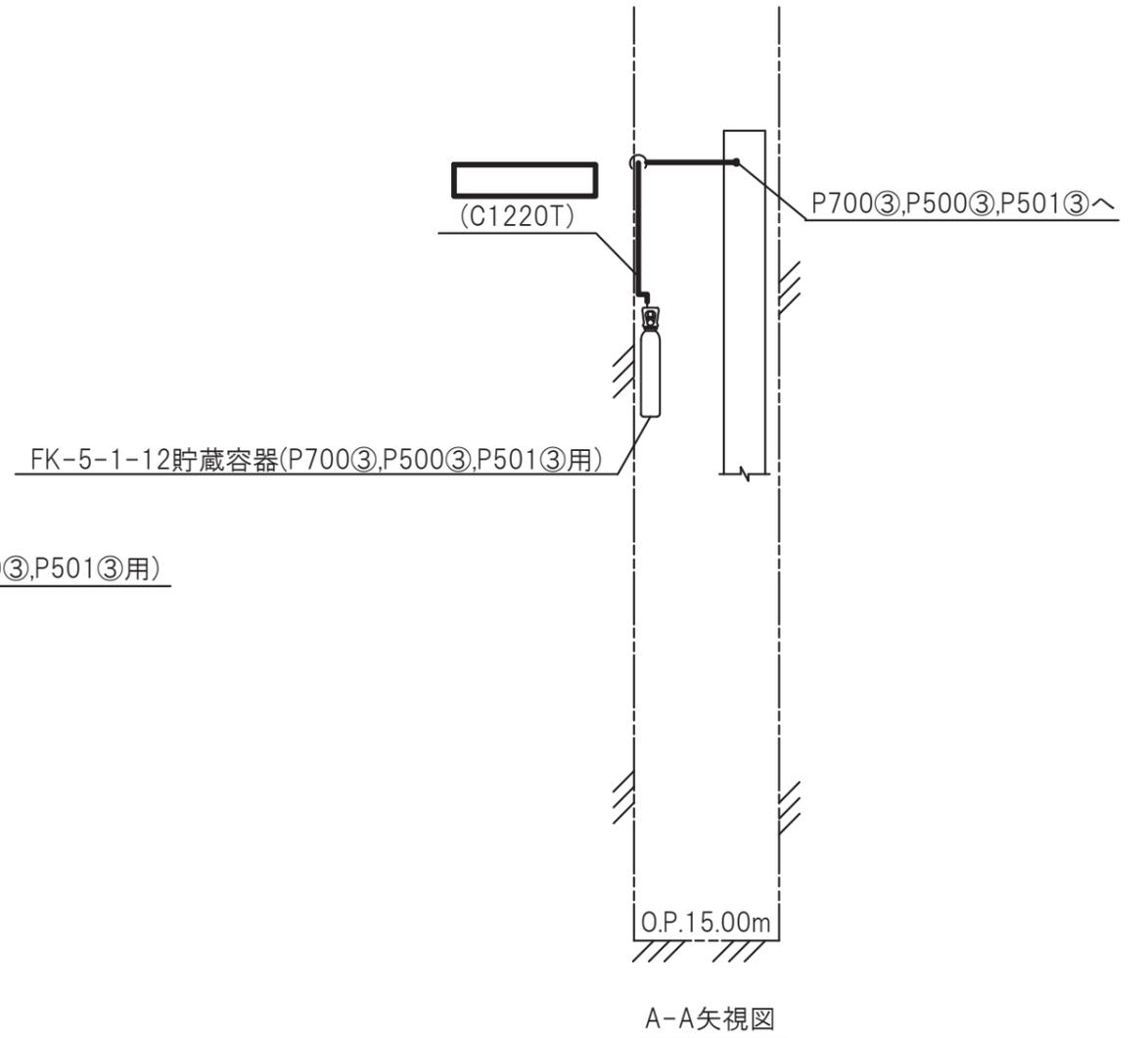
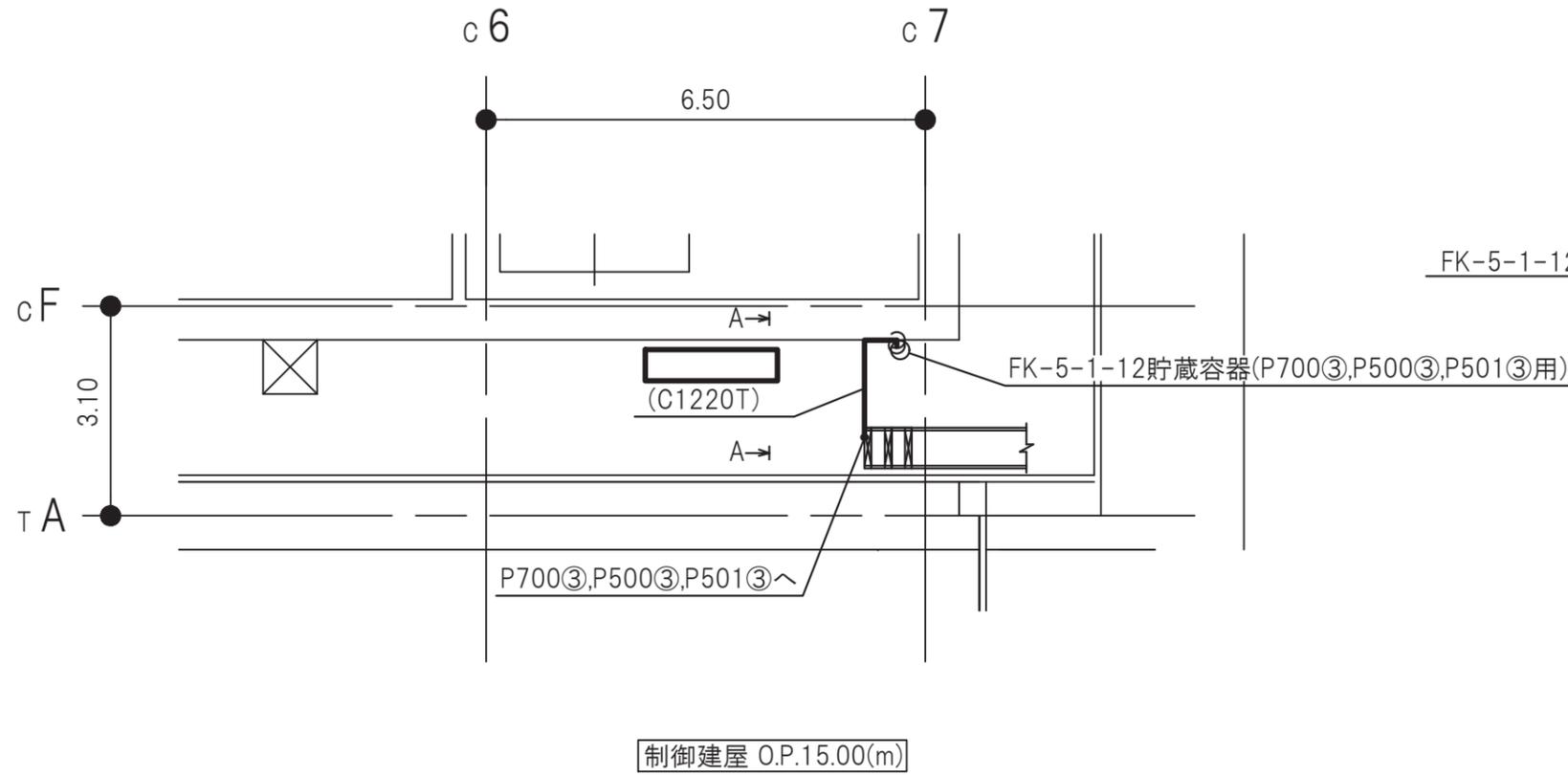
FK-5-1-12貯蔵容器(K702③,K706③,P701③用)



A-A矢視図

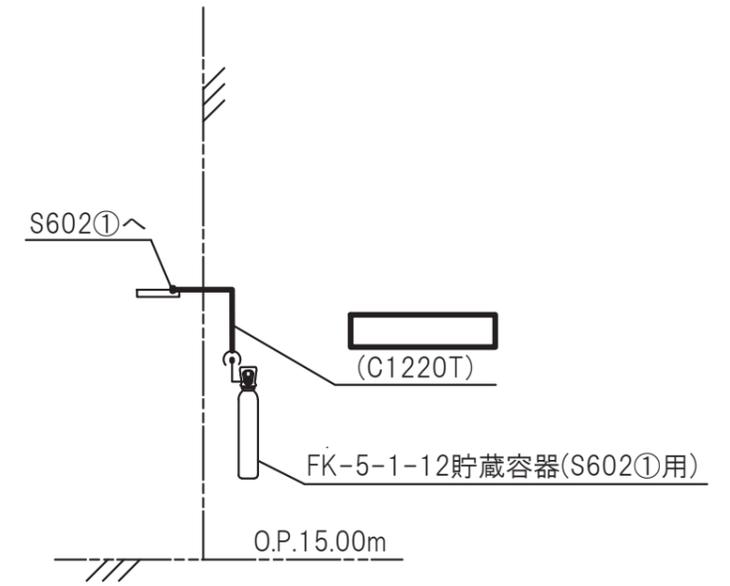
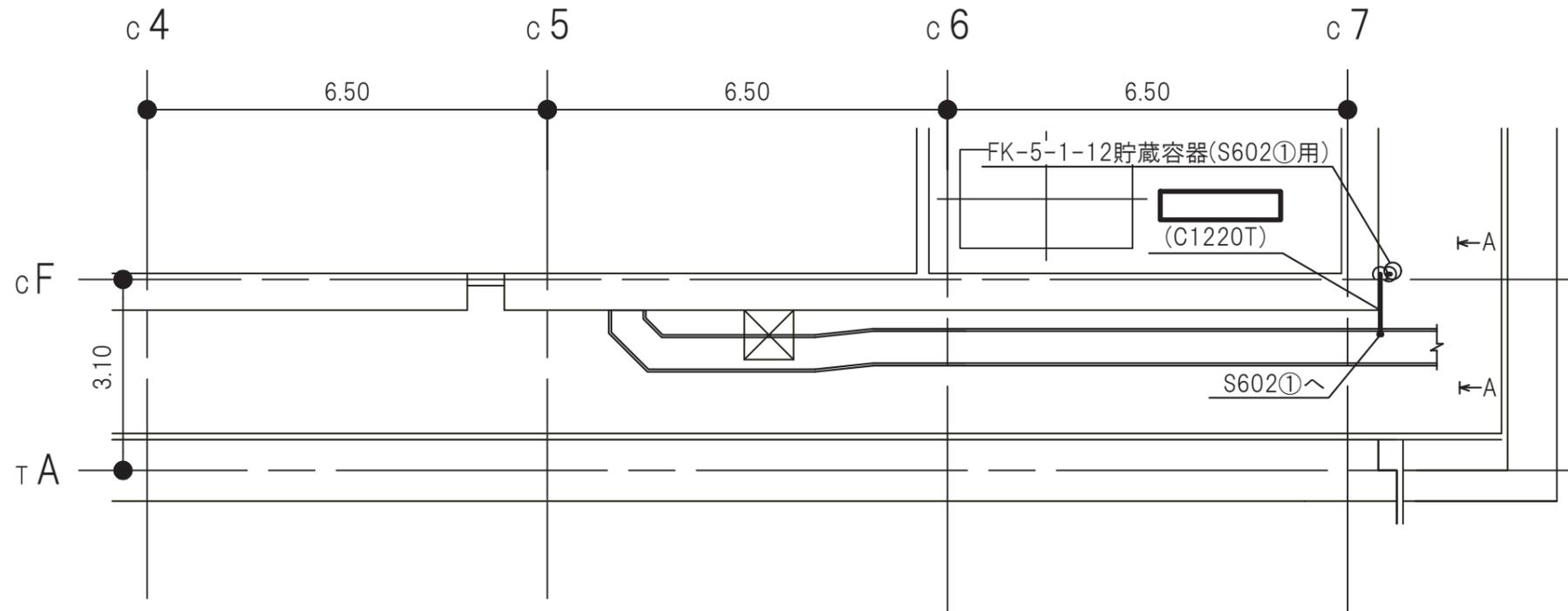
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-135図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K702③,K706③,P701③用) |
| 東北電力株式会社 | |



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

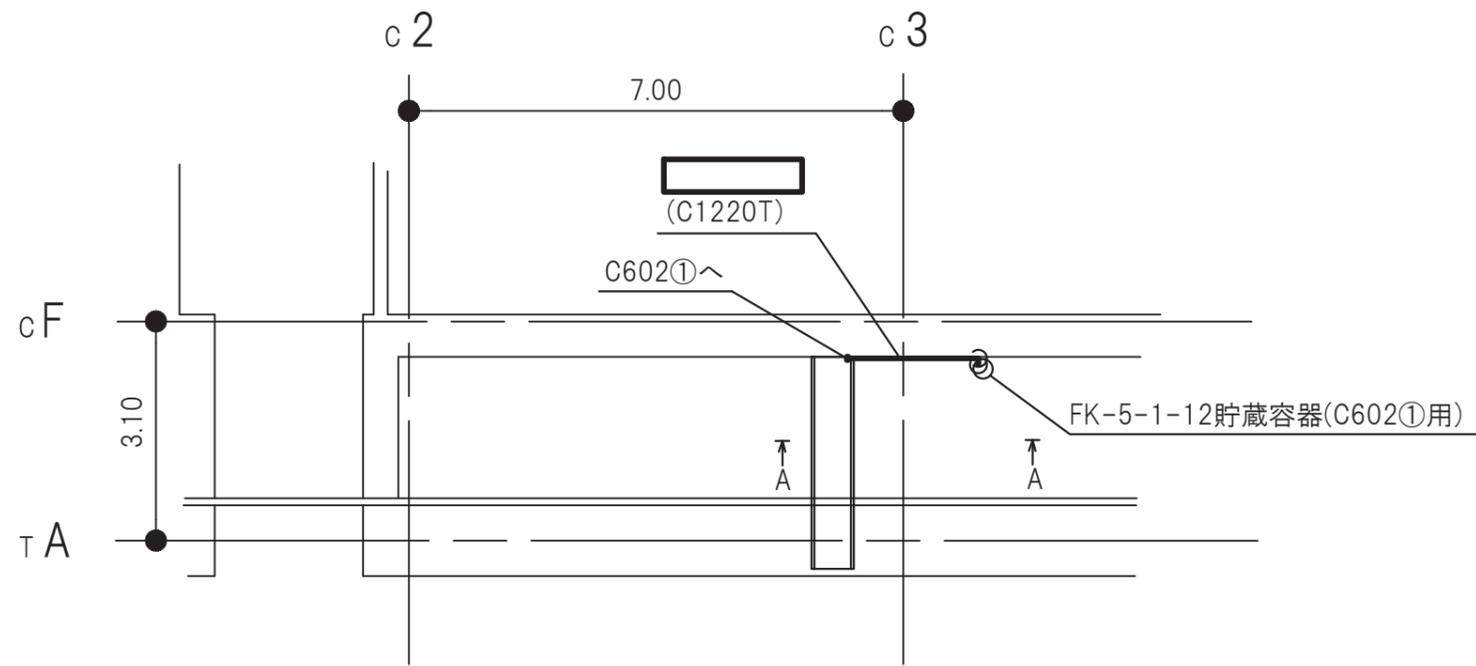
| | |
|---------------|--|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-136図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P700③,P500③,P501③用) |
| 東北電力株式会社 | |



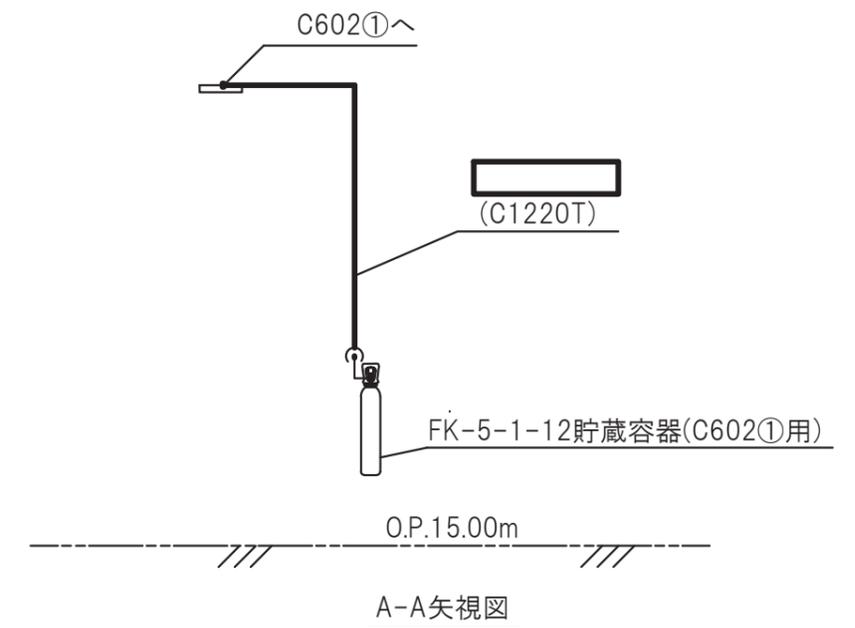
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-137図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S602①用) |
| 東北電力株式会社 | |

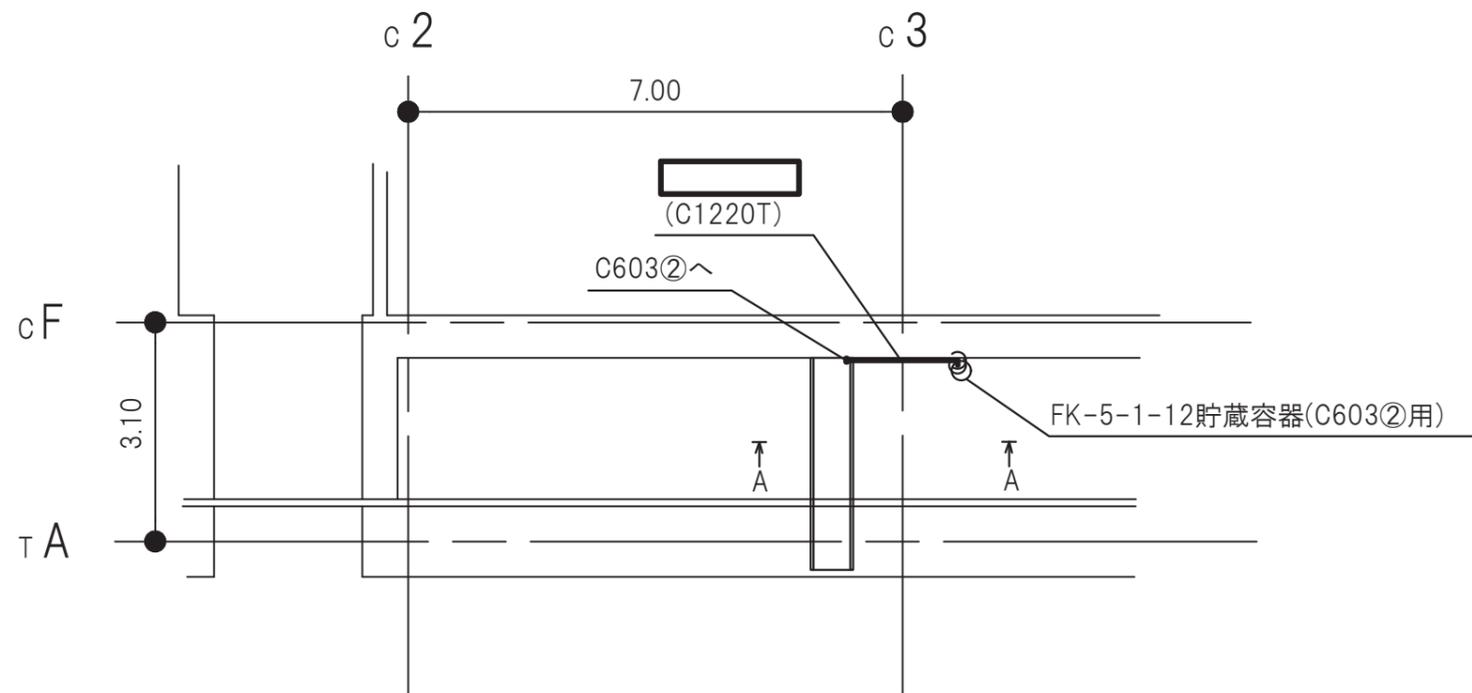


制御建屋 O.P.15.00(m)

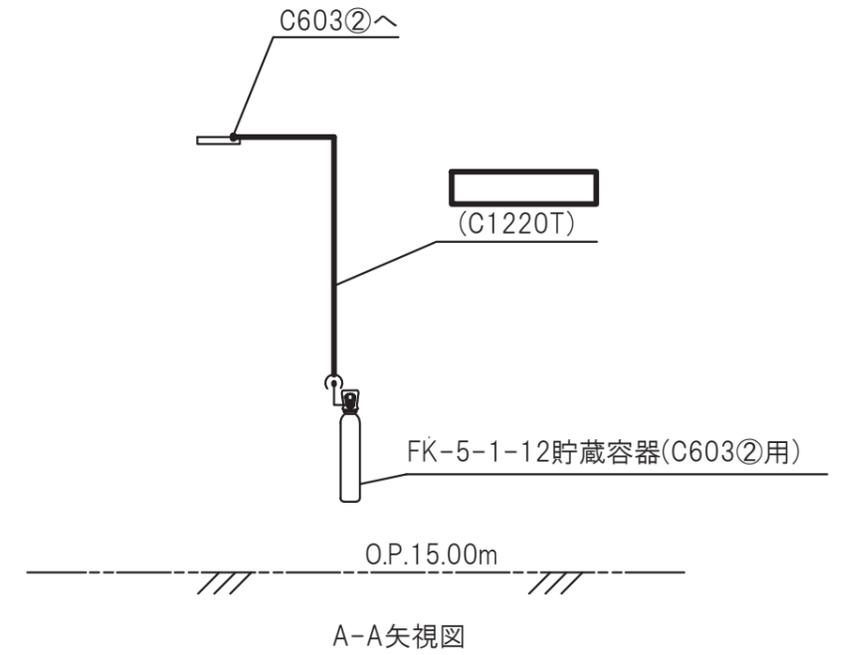


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-138図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C602①用) |
| 東北電力株式会社 | |

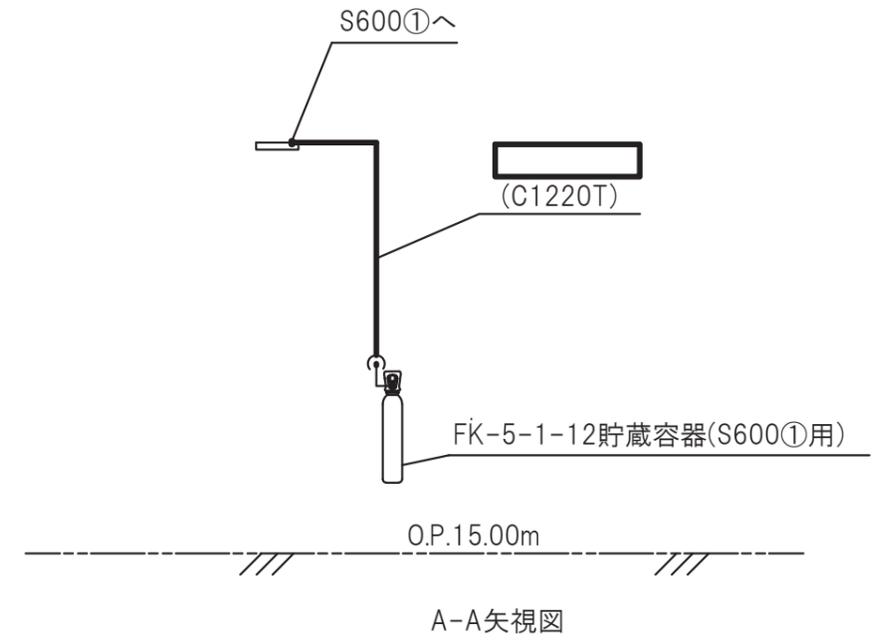
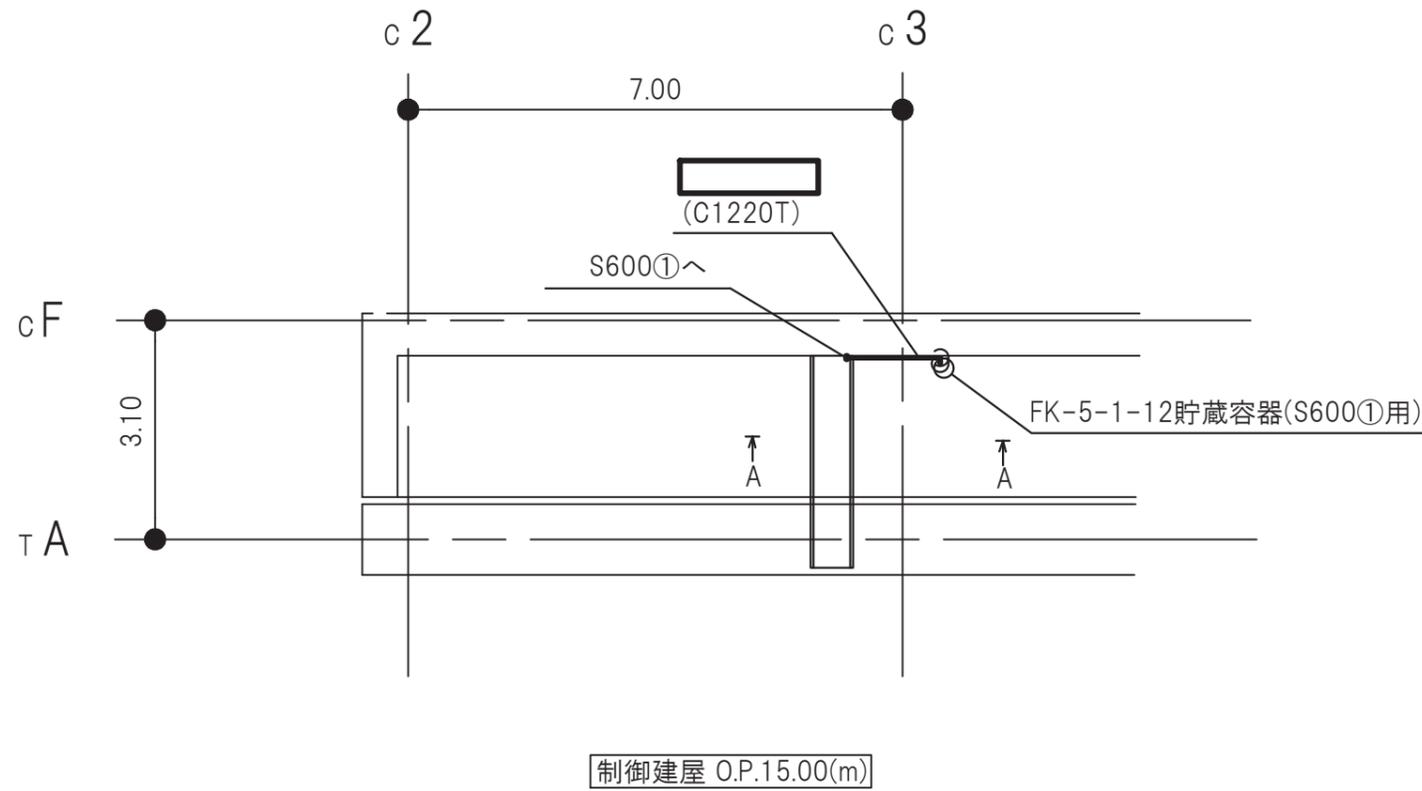


制御建屋 O.P.15.00(m)



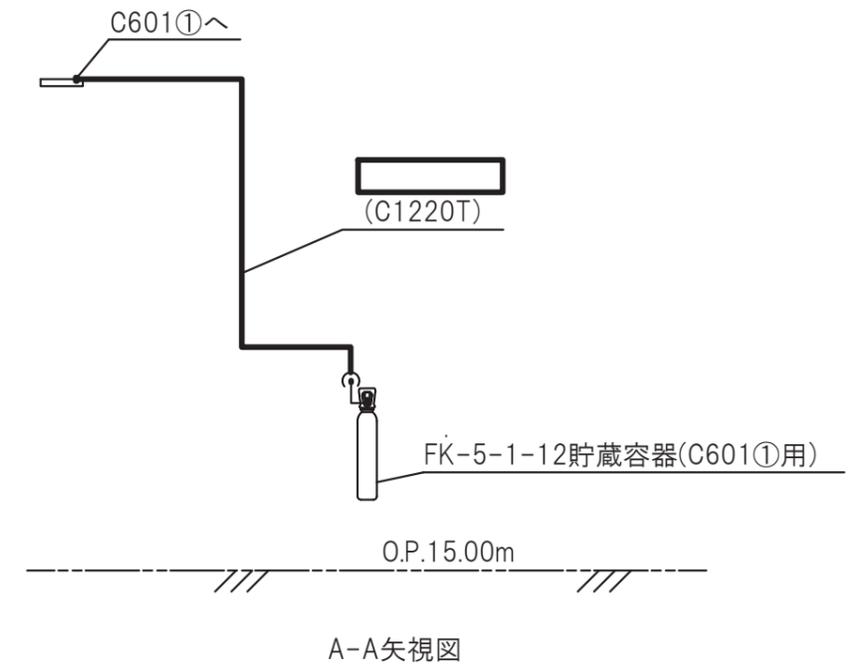
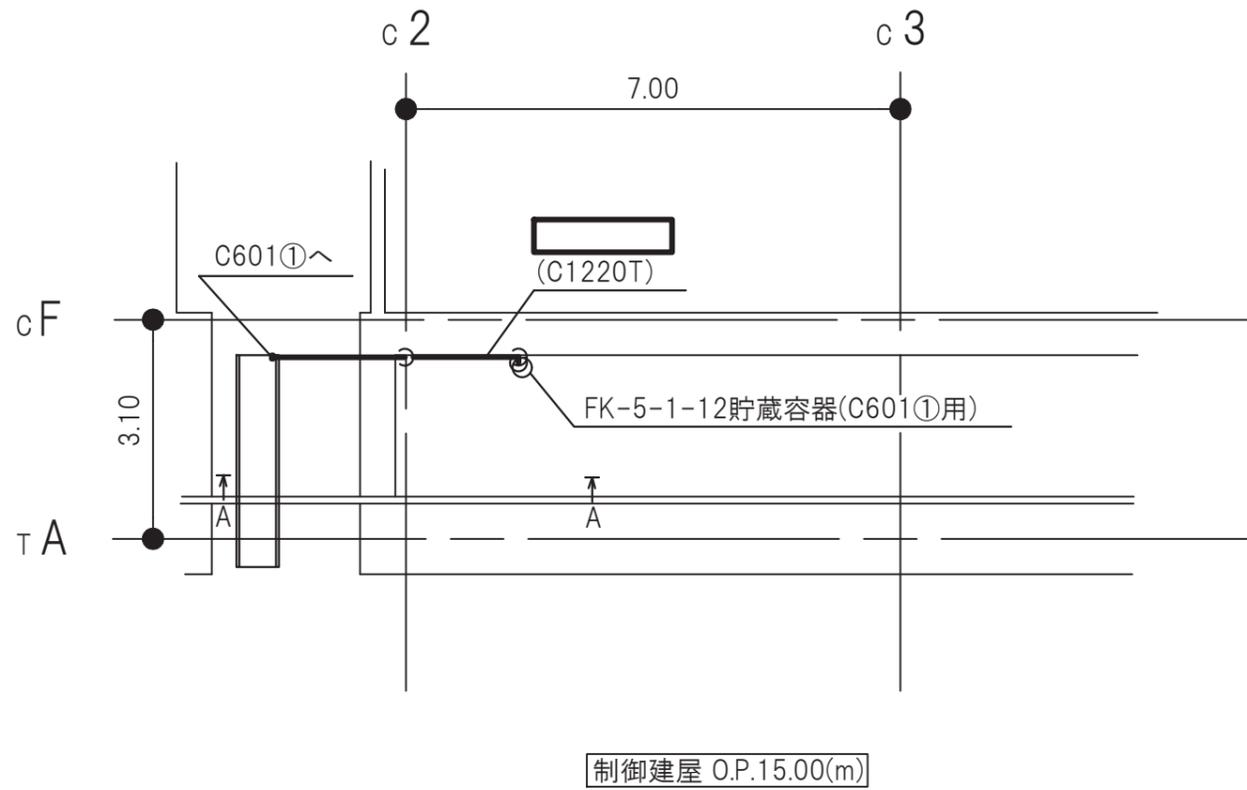
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-139図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C603②用) |
| 東北電力株式会社 | |



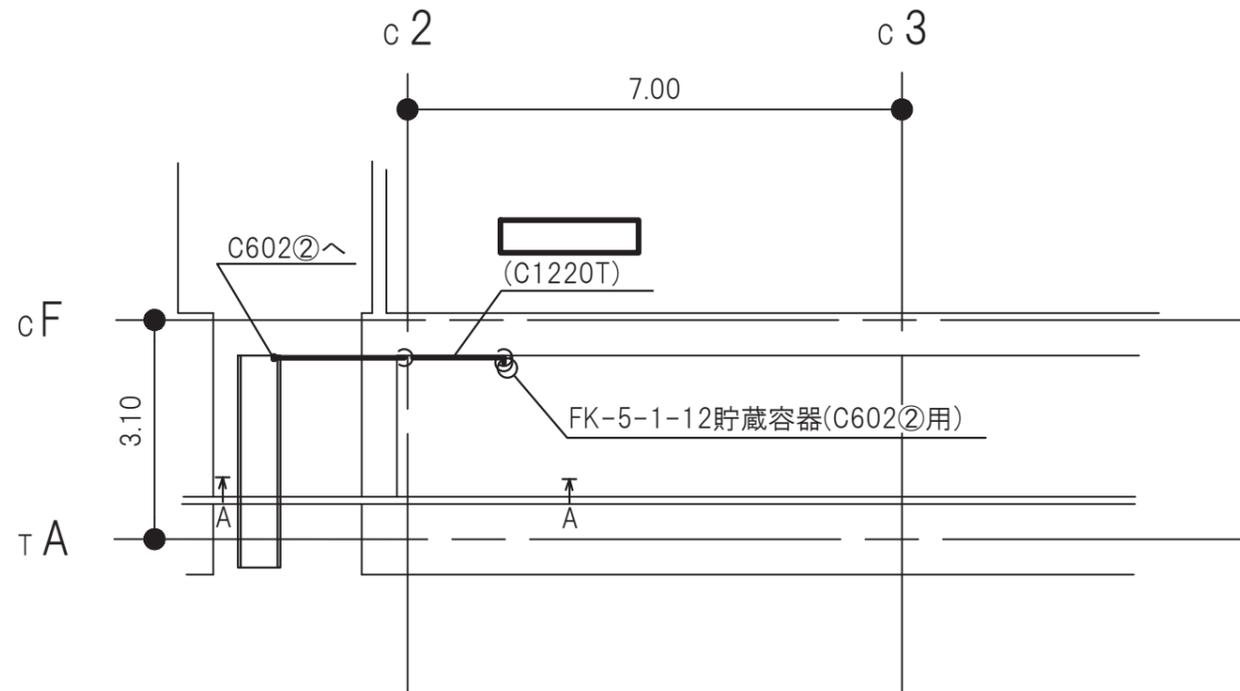
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-140図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S600①用) |
| 東北電力株式会社 | |

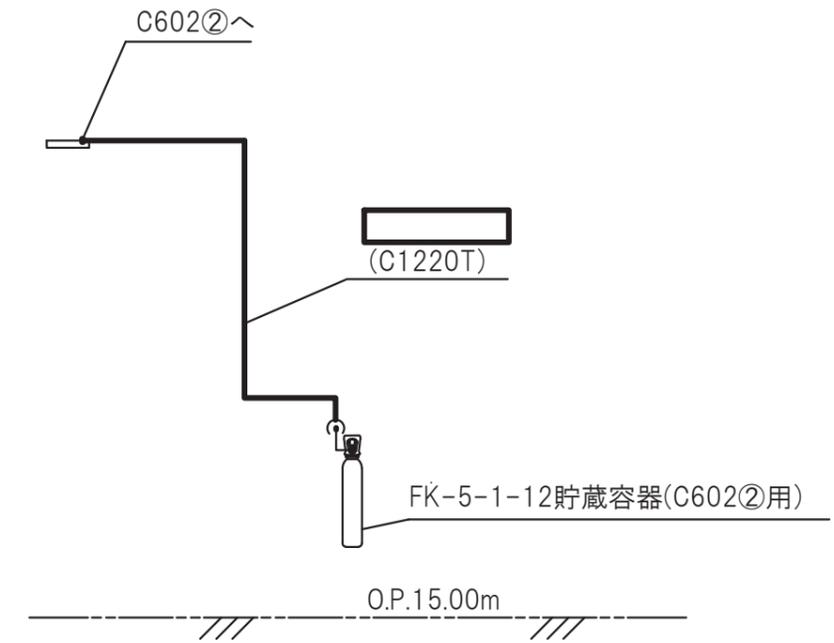


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-141図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C601①用) |
| 東北電力株式会社 | |



制御建屋 O.P.15.00(m)



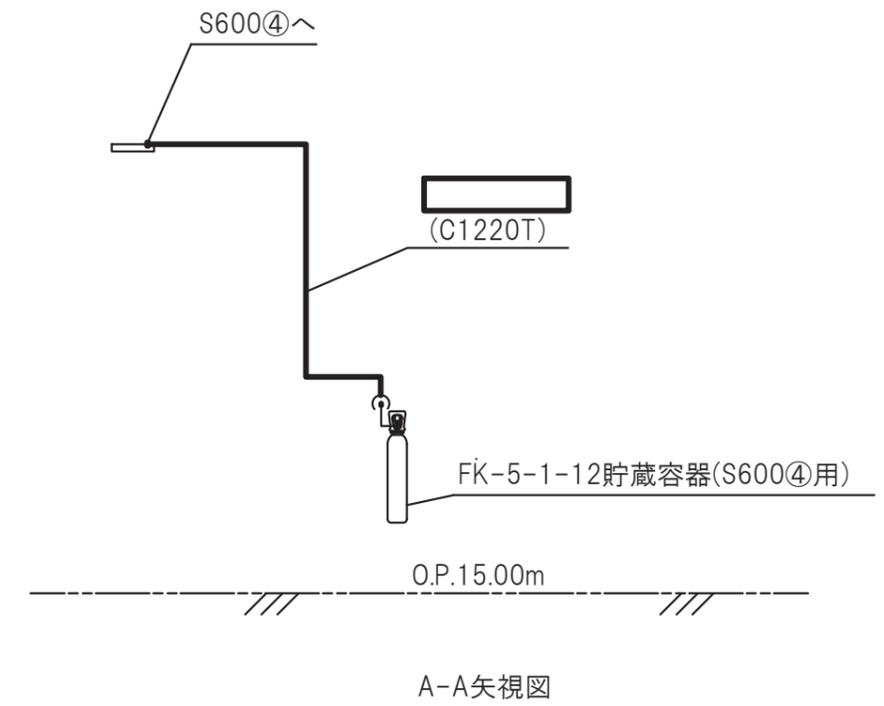
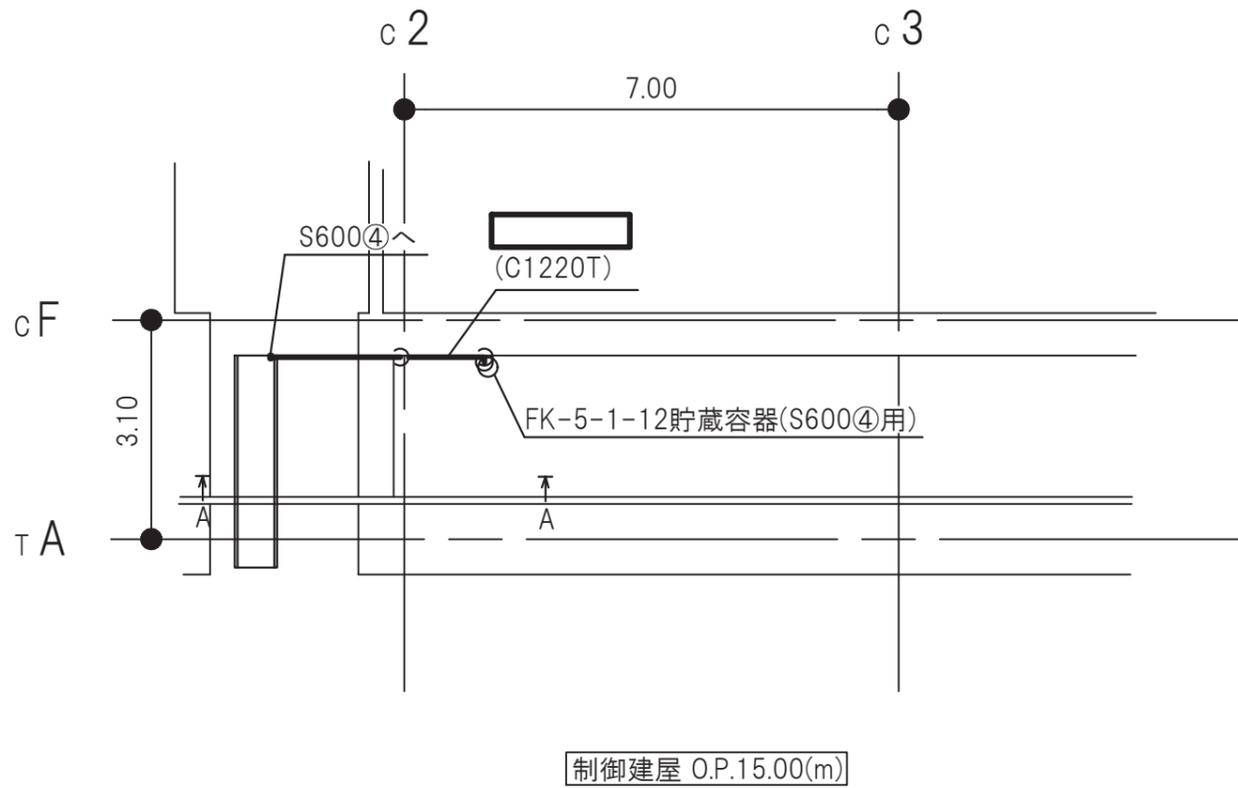
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-142図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C602②用) |
| 東北電力株式会社 | |

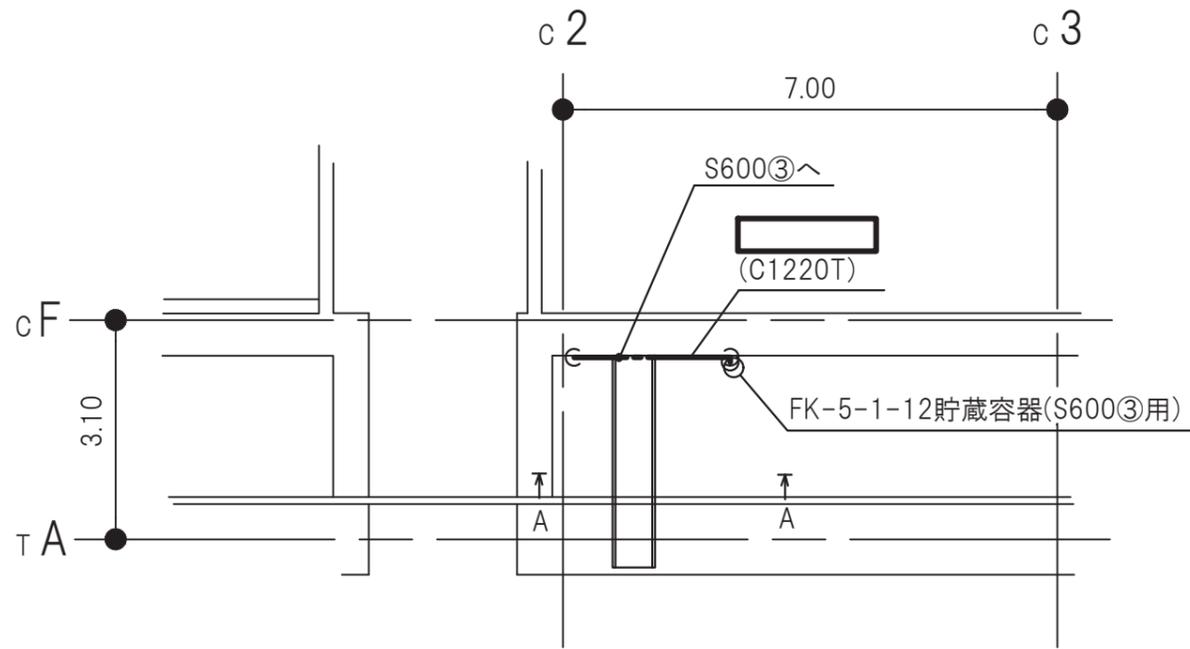
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

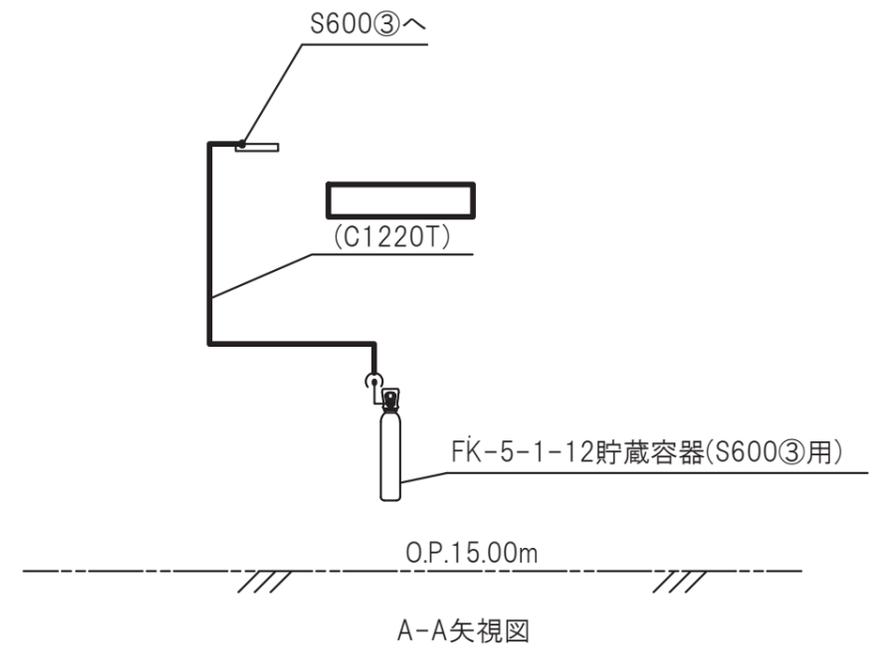


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-143図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S600④用) |
| 東北電力株式会社 | |



制御建屋 O.P.15.00(m)

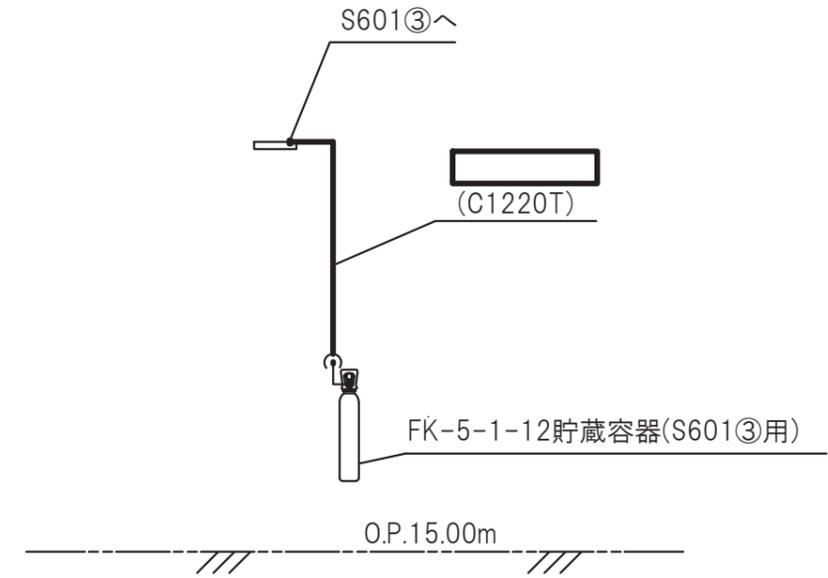
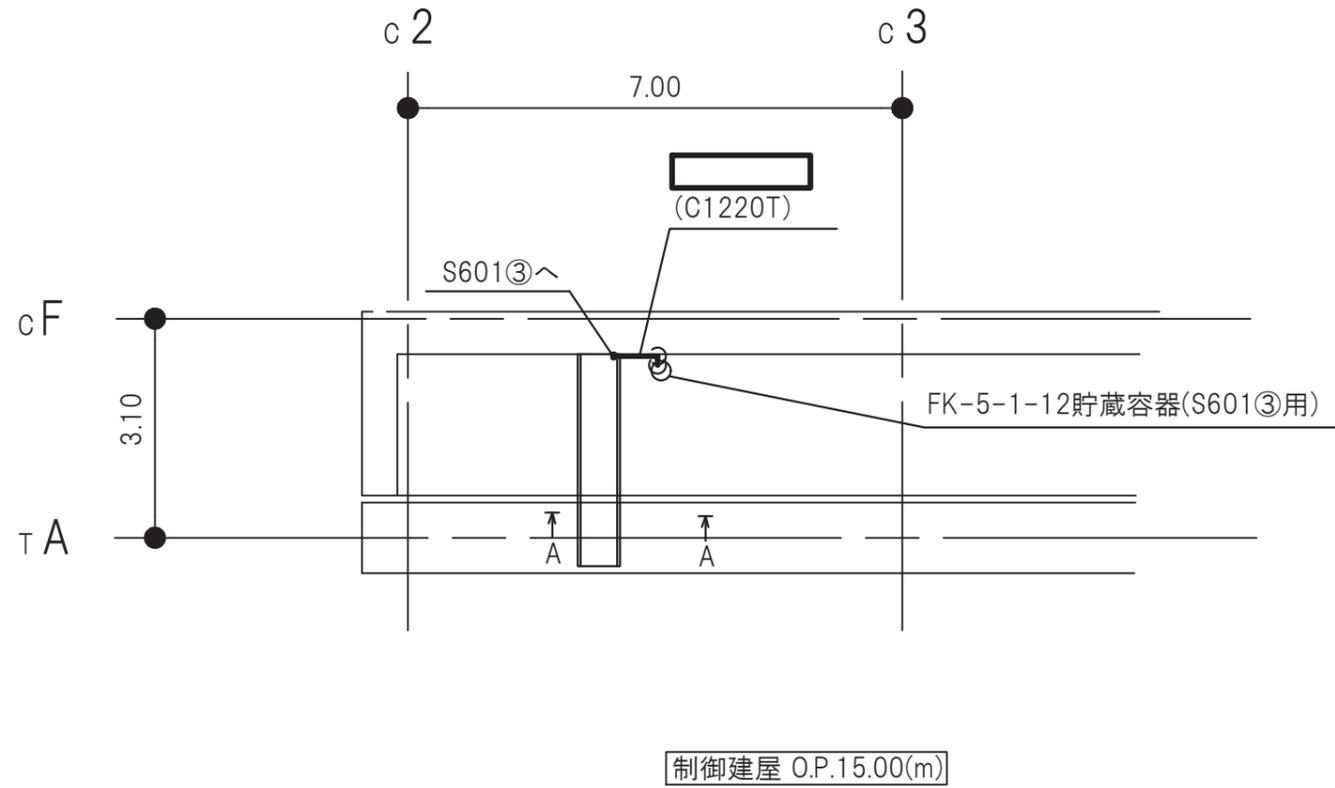


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-144図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S600③用) |
| 東北電力株式会社 | |

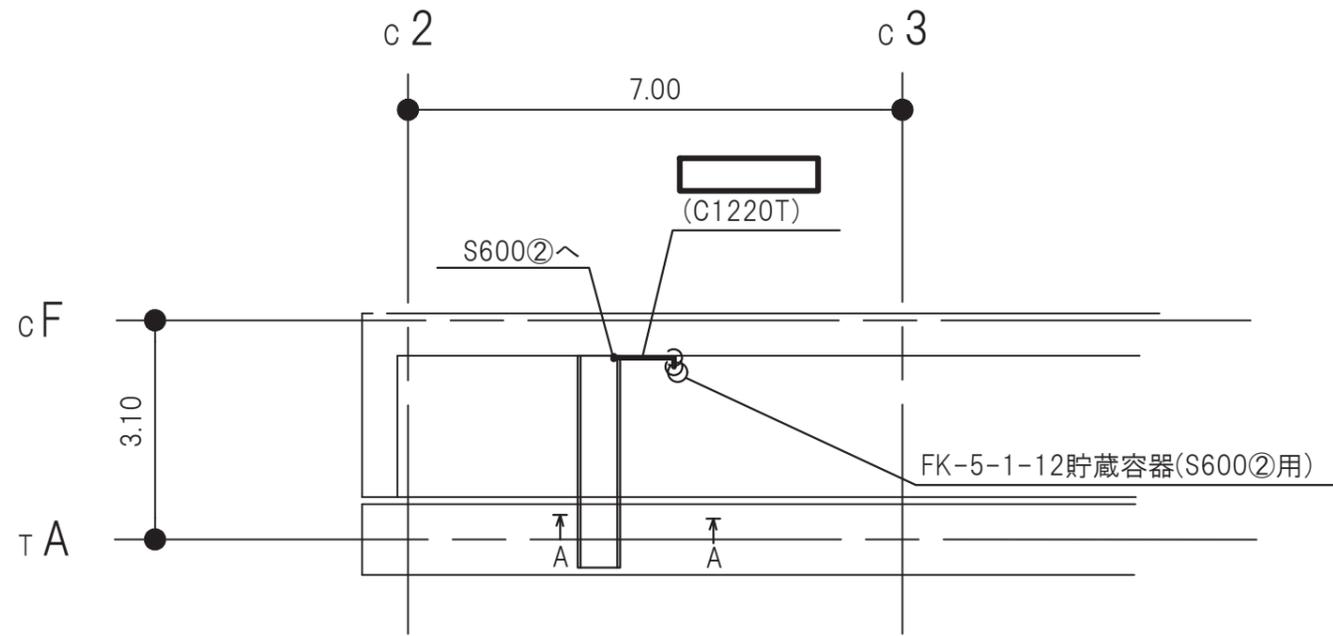
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

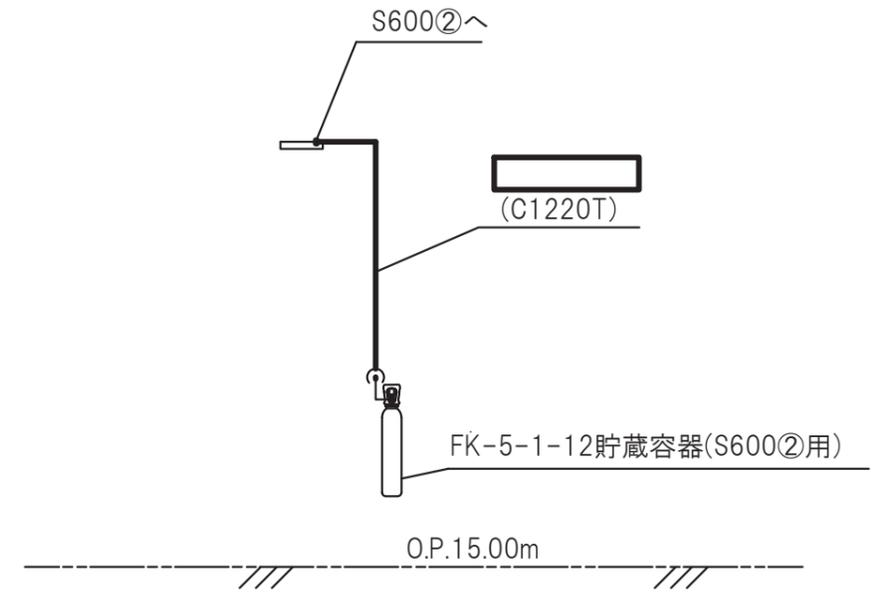


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-145図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S601③用) |
| 東北電力株式会社 | |



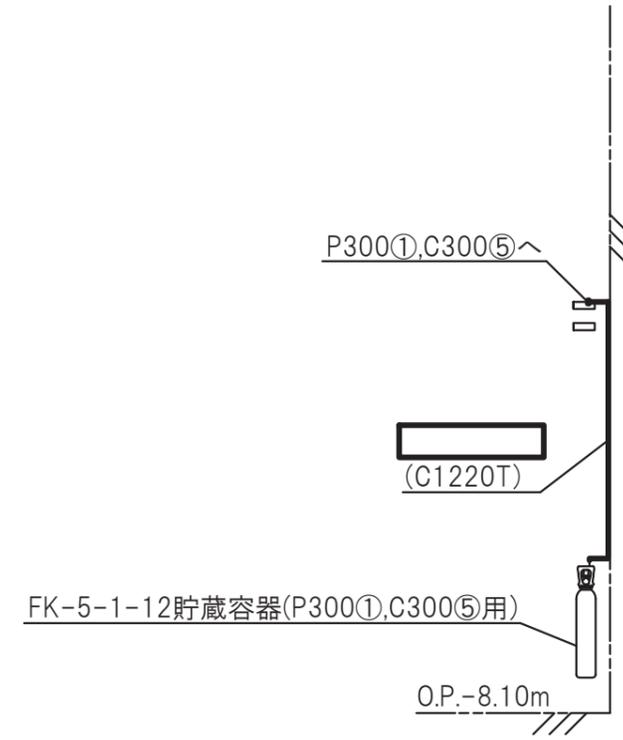
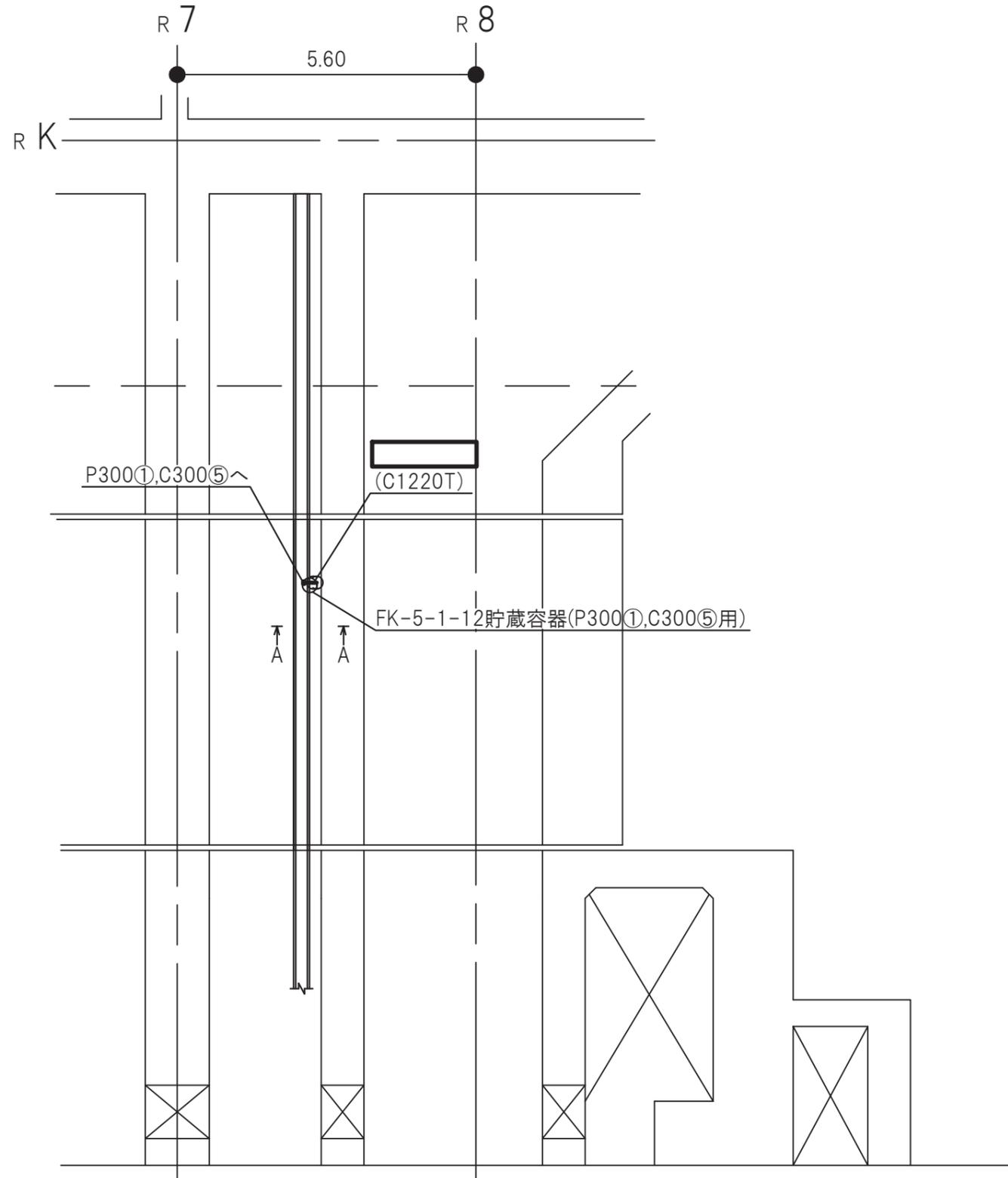
制御建屋 O.P.15.00(m)



A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-146図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S600②用) |
| 東北電力株式会社 | |

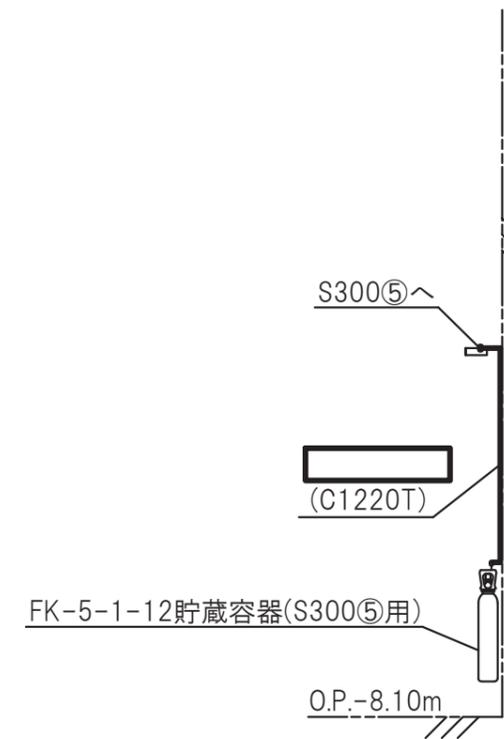
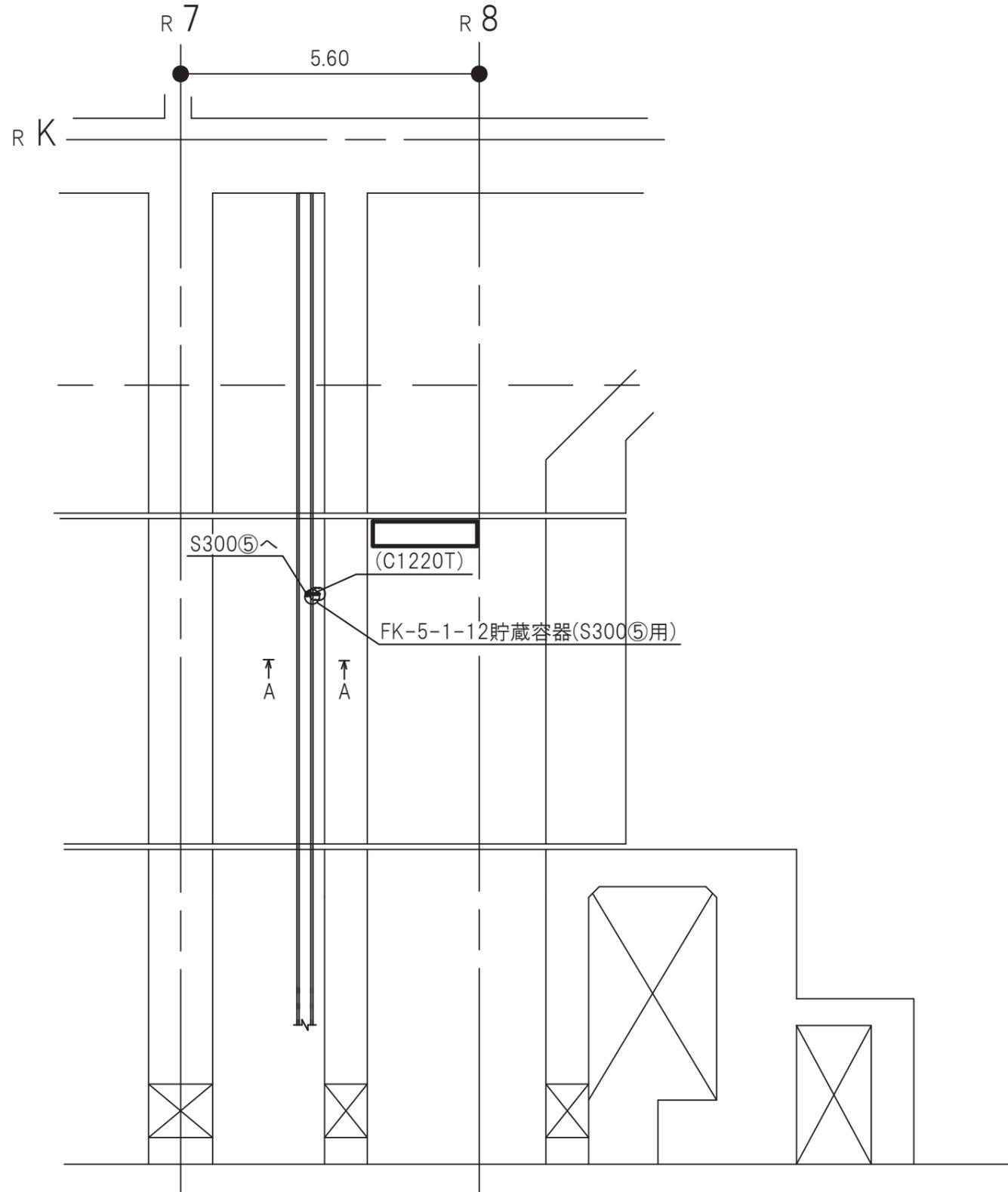
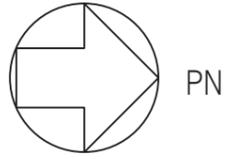


A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 補機冷却系トレンチ | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-147図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P300①,C300⑤用) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



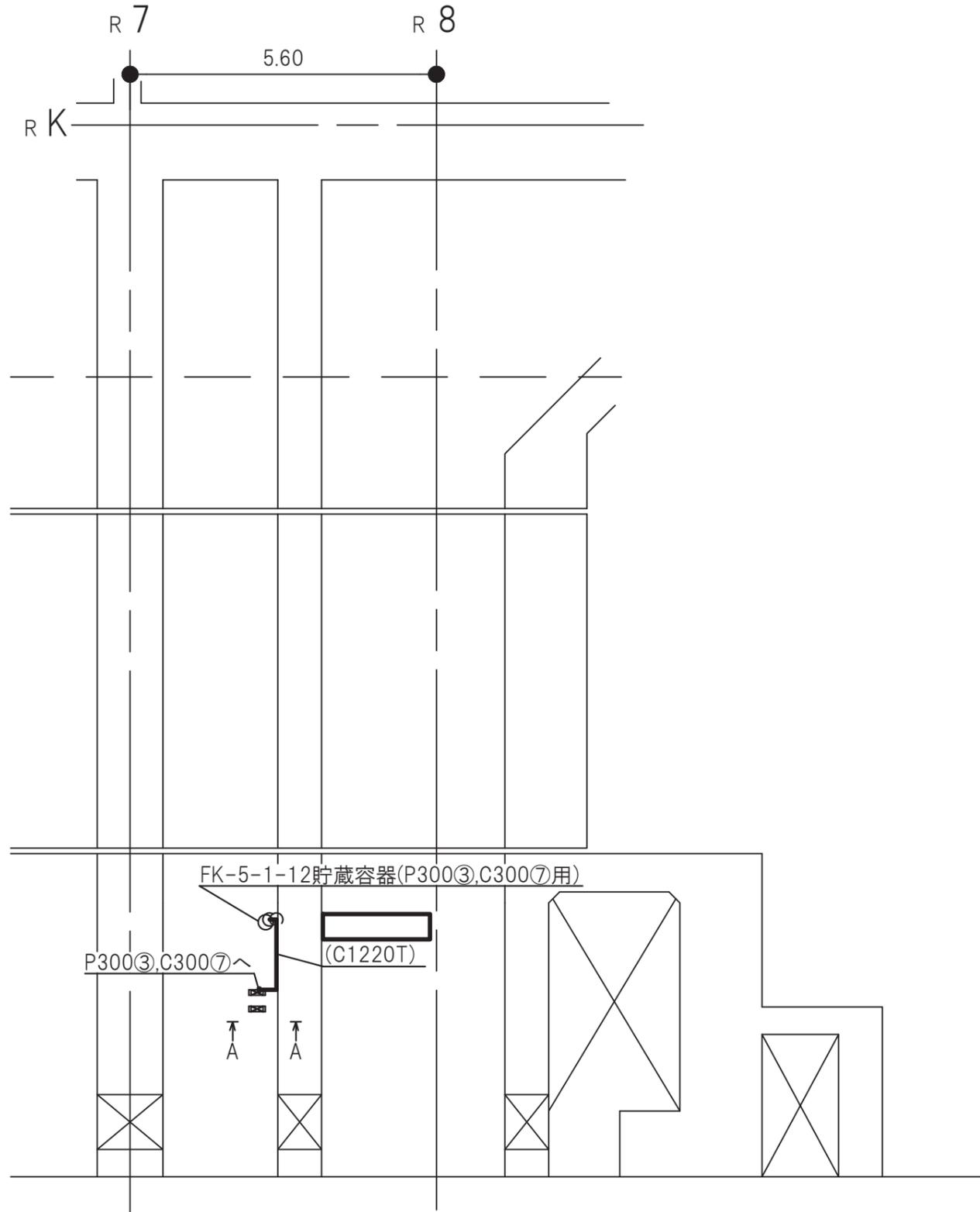
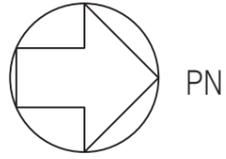
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

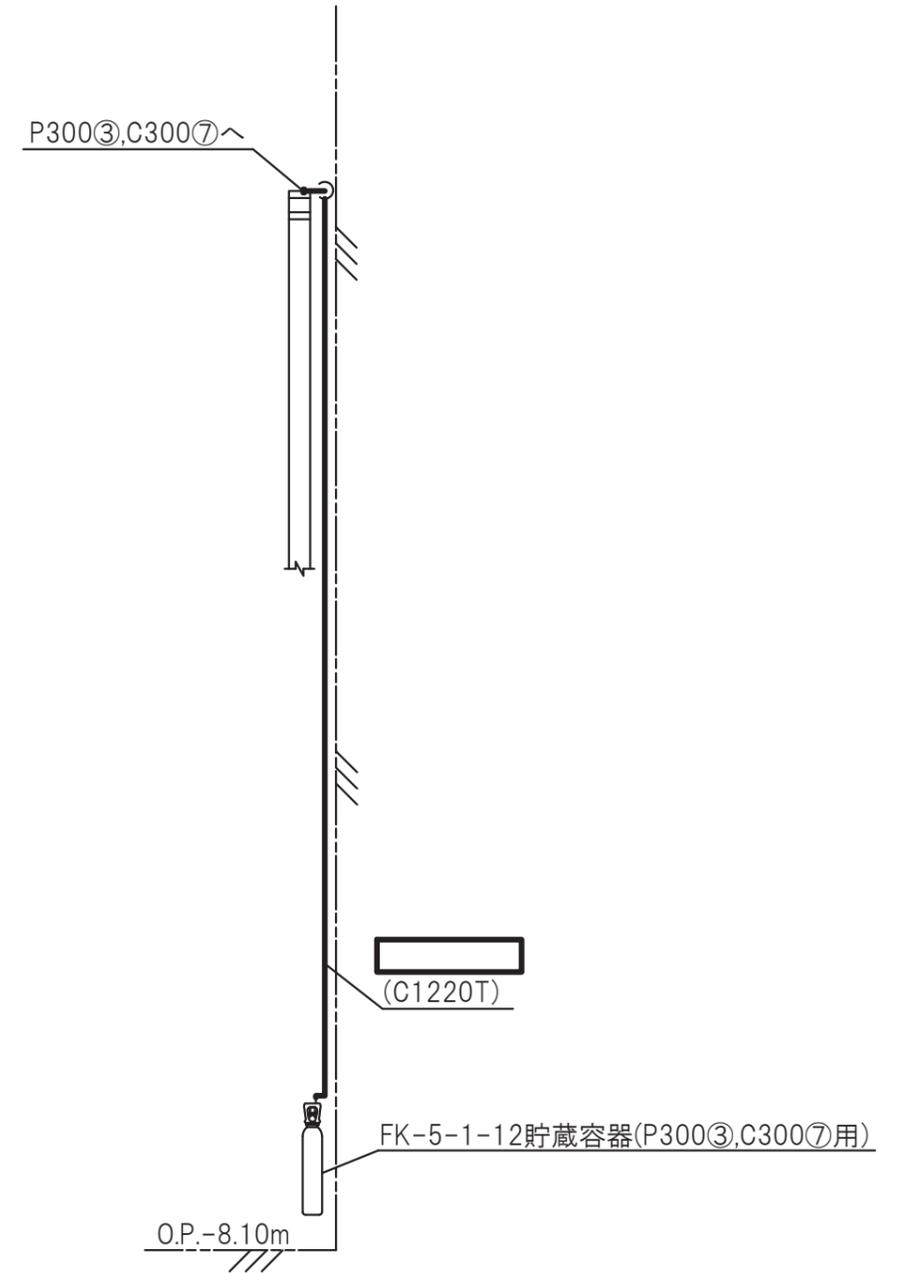
補機冷却系トレンチ O.P.-8.10(m)

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 補機冷却系トレンチ | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-148図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S300⑤用) |
| 東北電力株式会社 | |

0420



補機冷却系トレンチ O.P.-8.10(m)



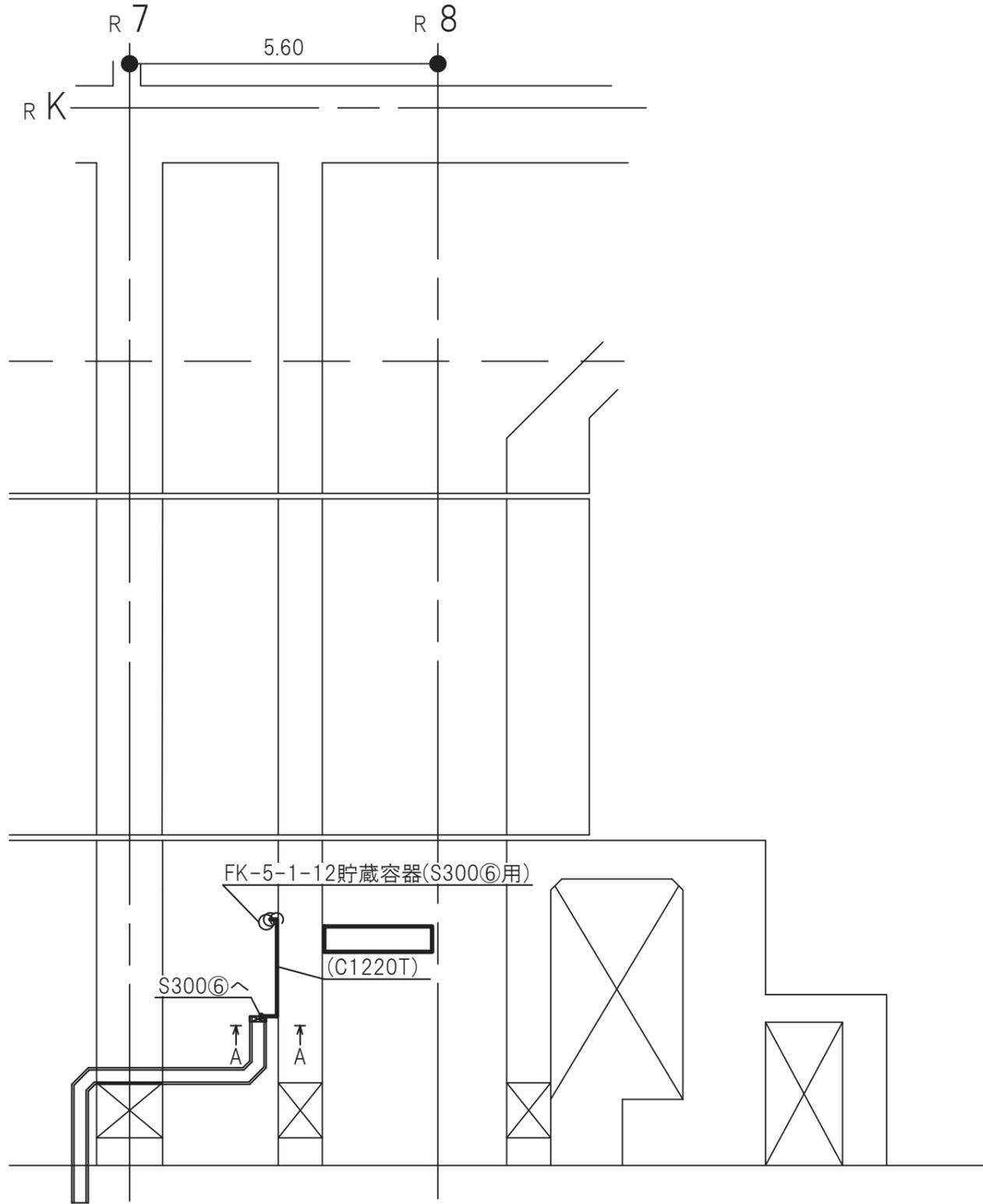
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

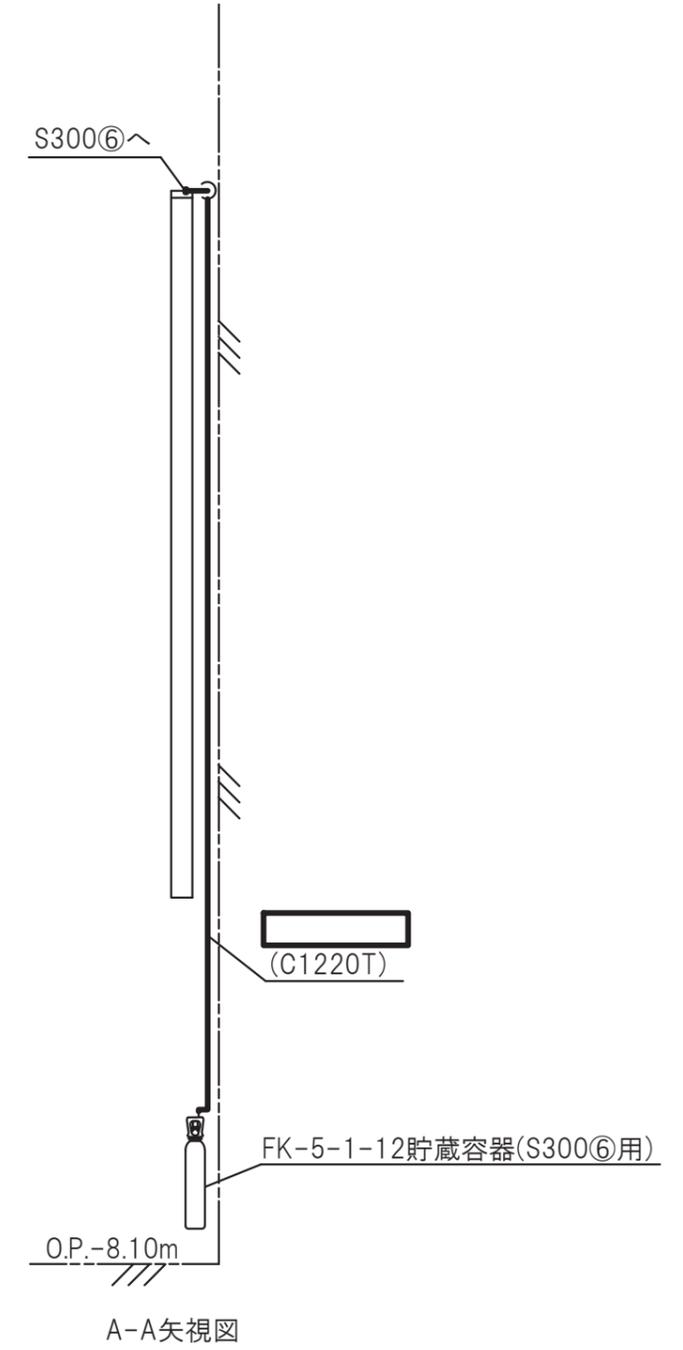
| | |
|---------------|--|
| 補機冷却系トレンチ | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-149図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P300③,C300⑦用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



補機冷却系トレンチ O.P.-8.10(m)

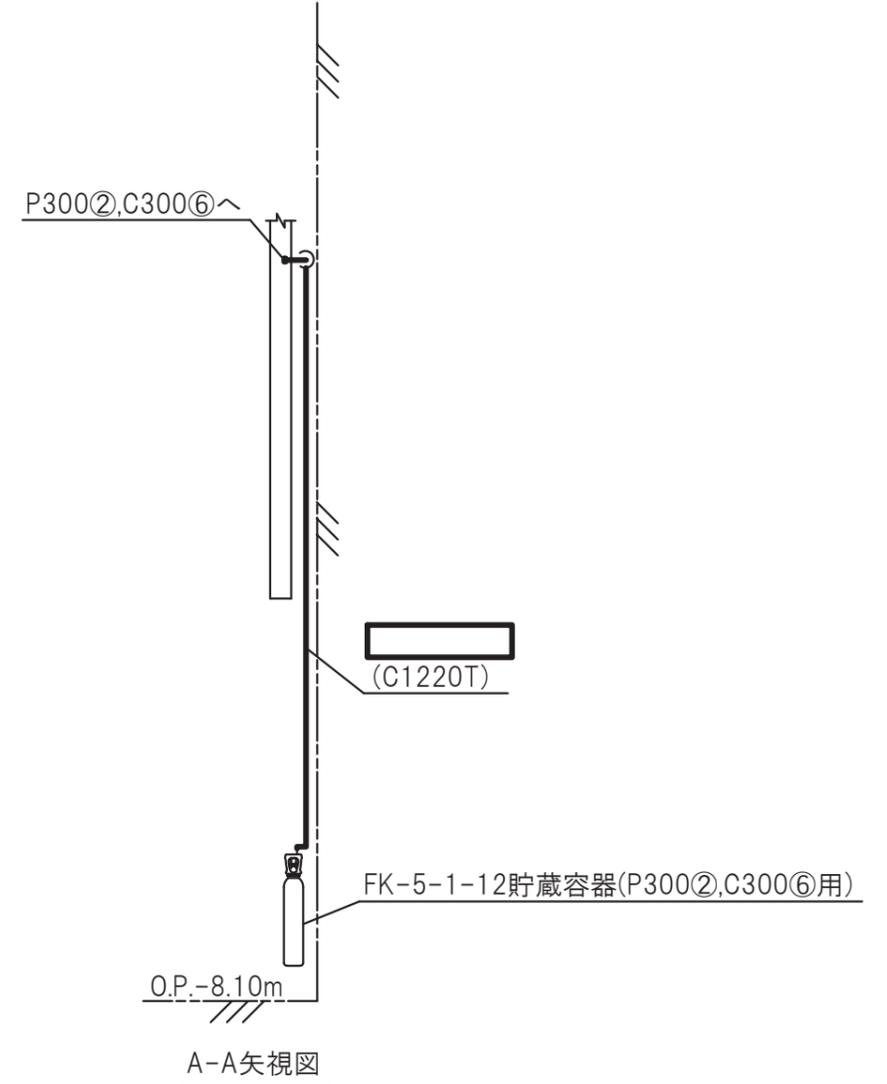
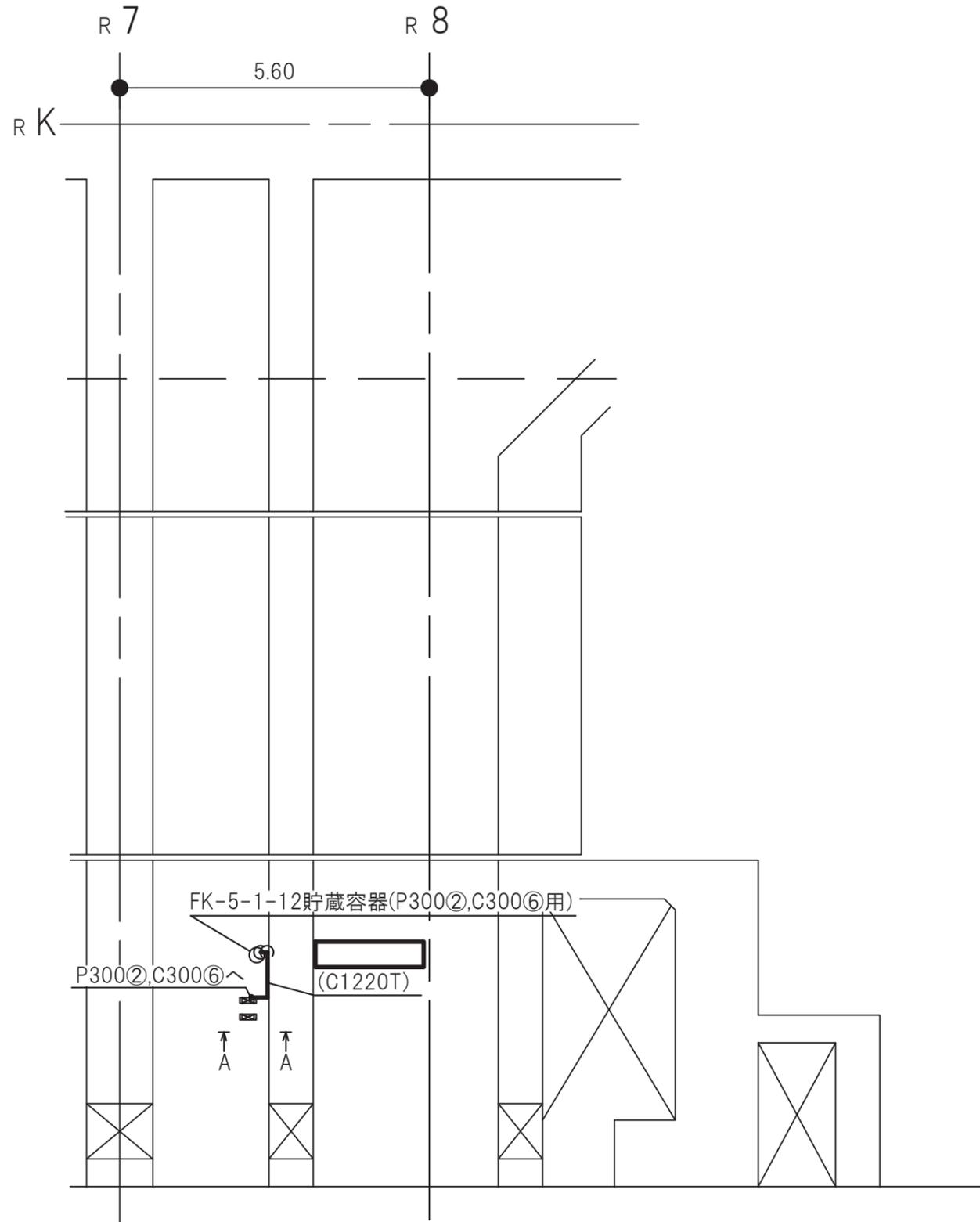
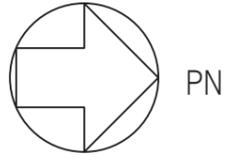


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 補機冷却系トレンチ | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-150図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S300用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



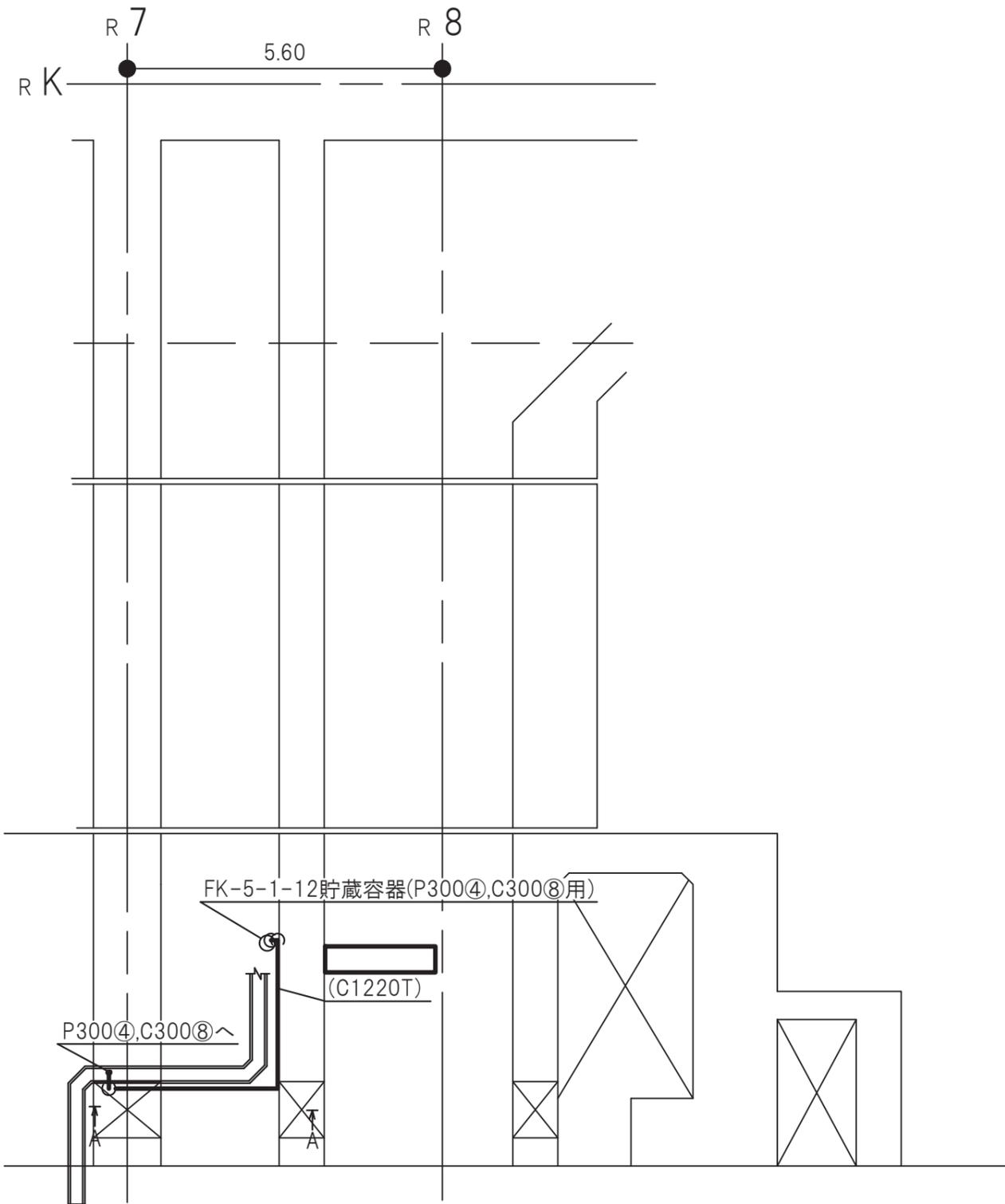
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

補機冷却系トレンチ O.P.-8.10(m)

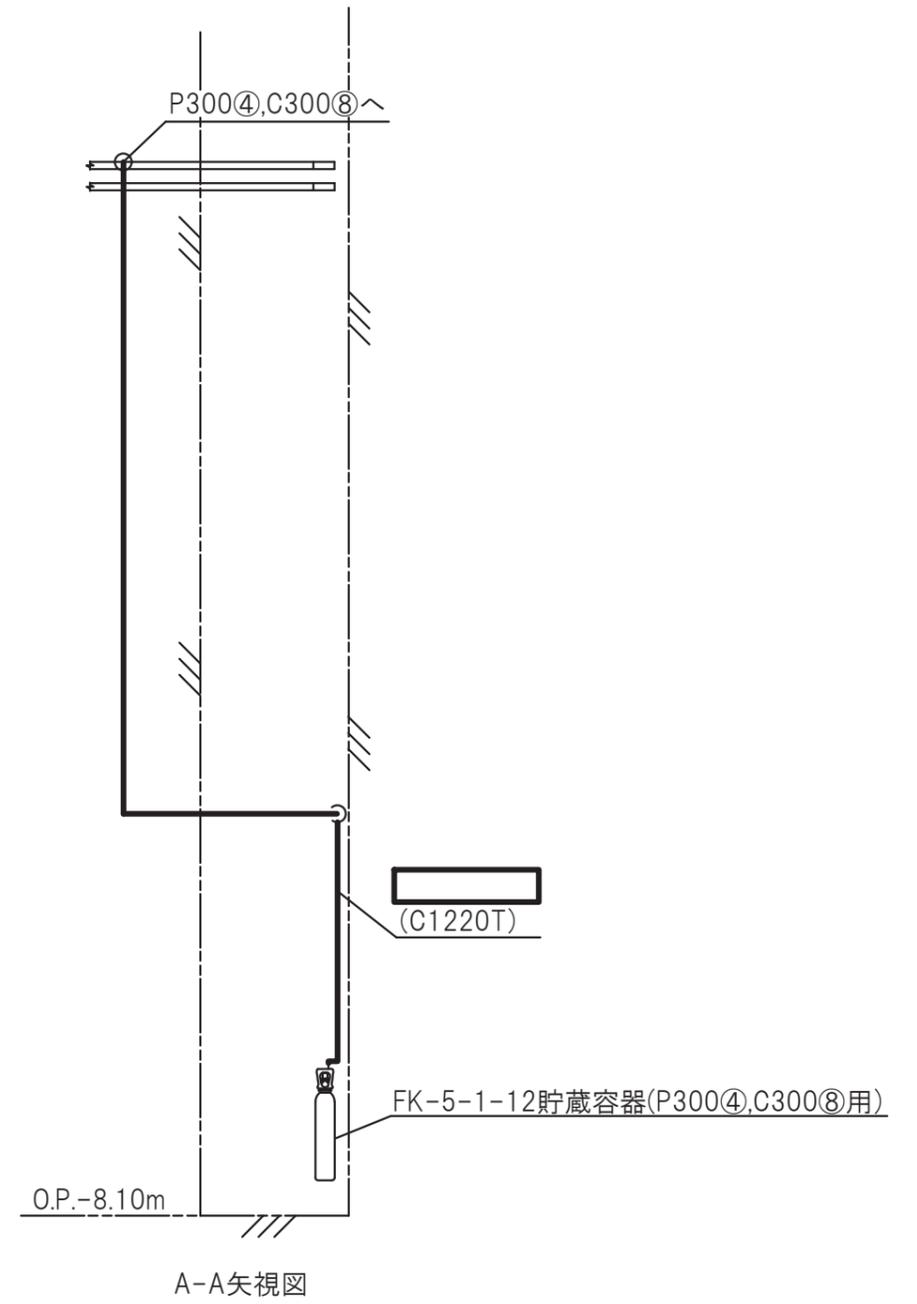
| | |
|---------------|--|
| 補機冷却系トレンチ | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-151図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P300②,C300⑥用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



補機冷却系トレンチ O.P.-8.10(m)

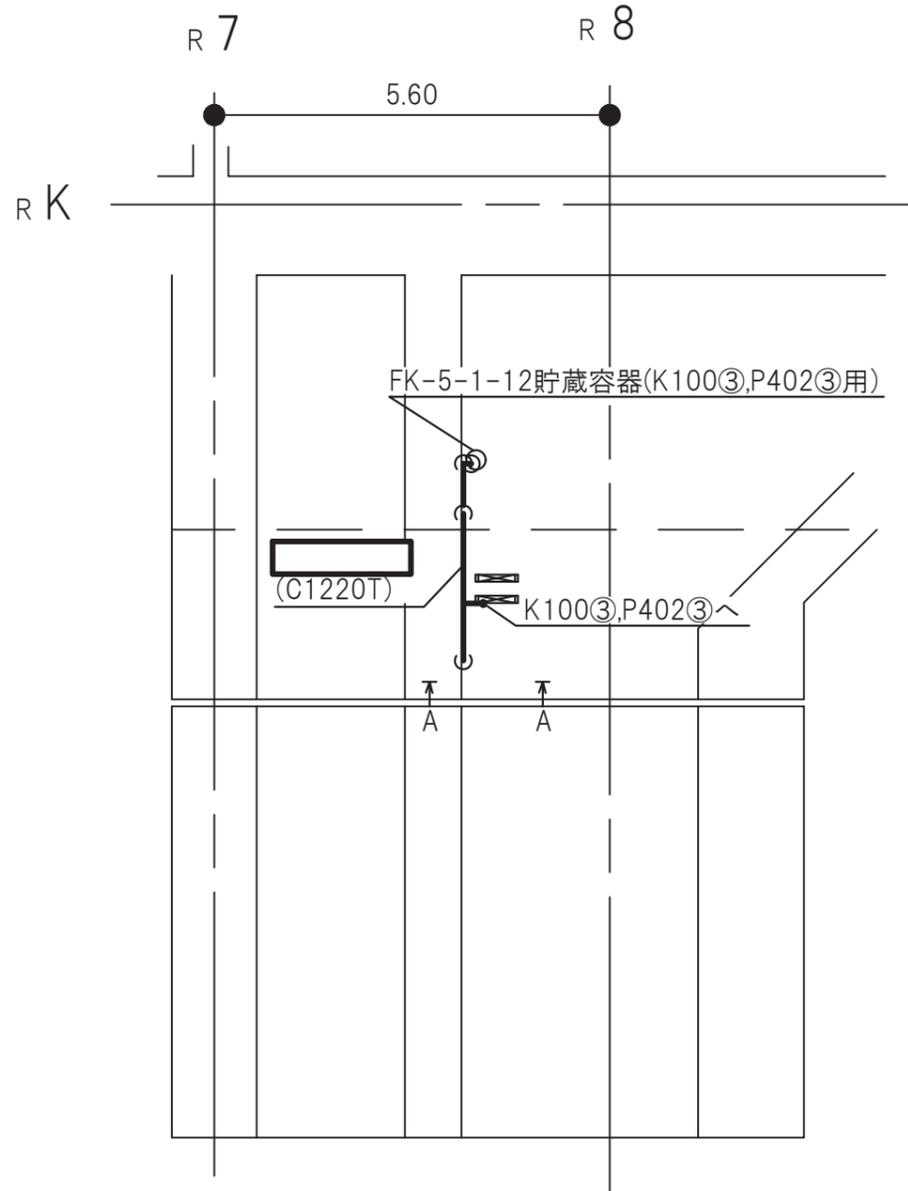
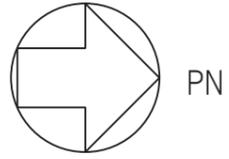


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

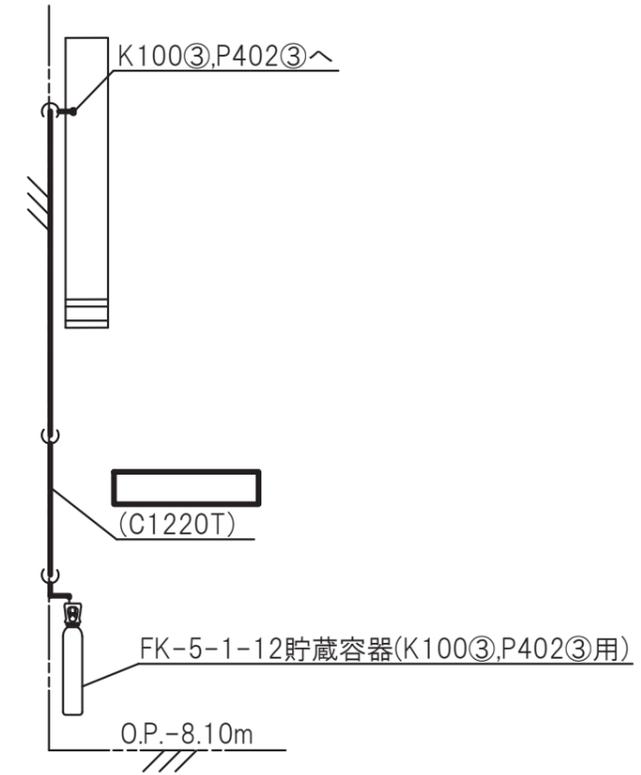
| | |
|---------------|--|
| 補機冷却系トレンチ | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-152図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P300④,C300⑧用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



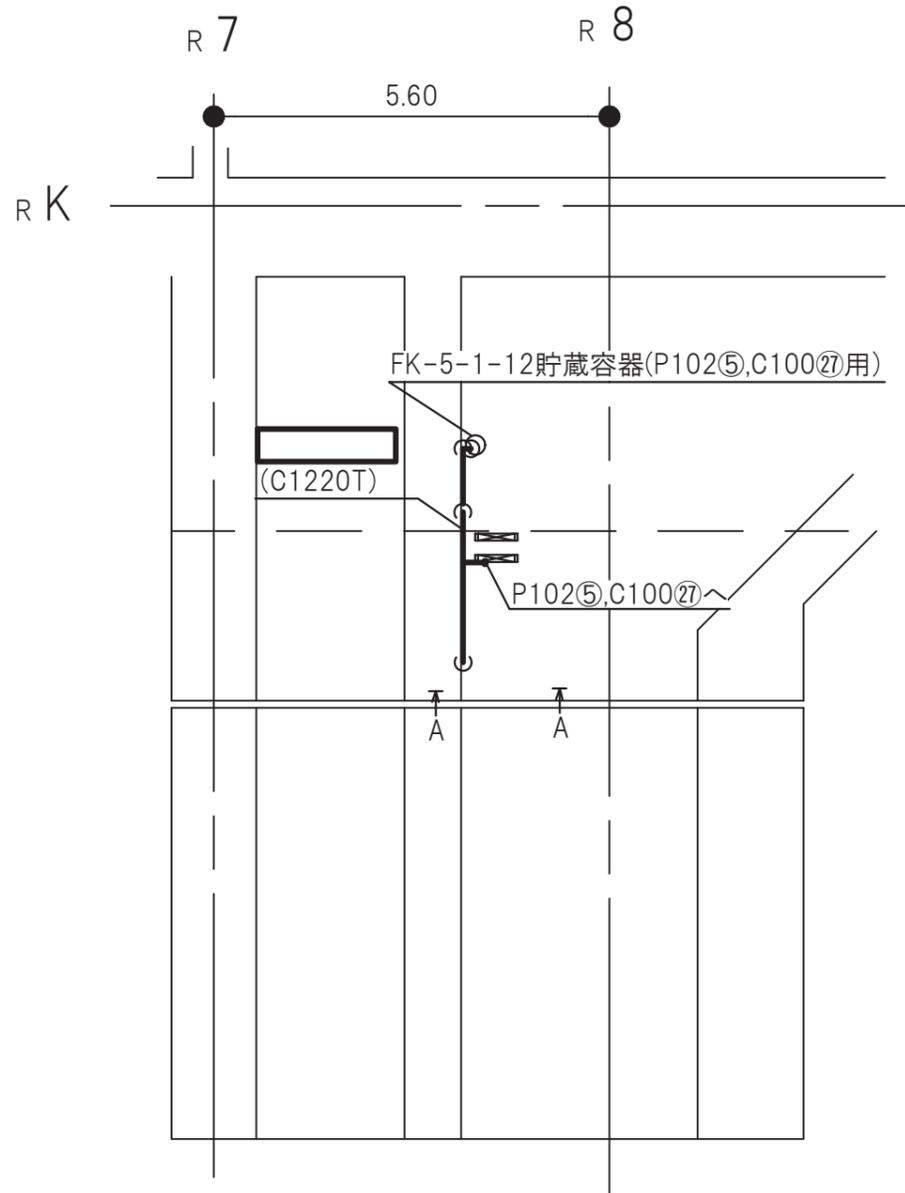
原子炉建屋 O.P.-8.10(m)



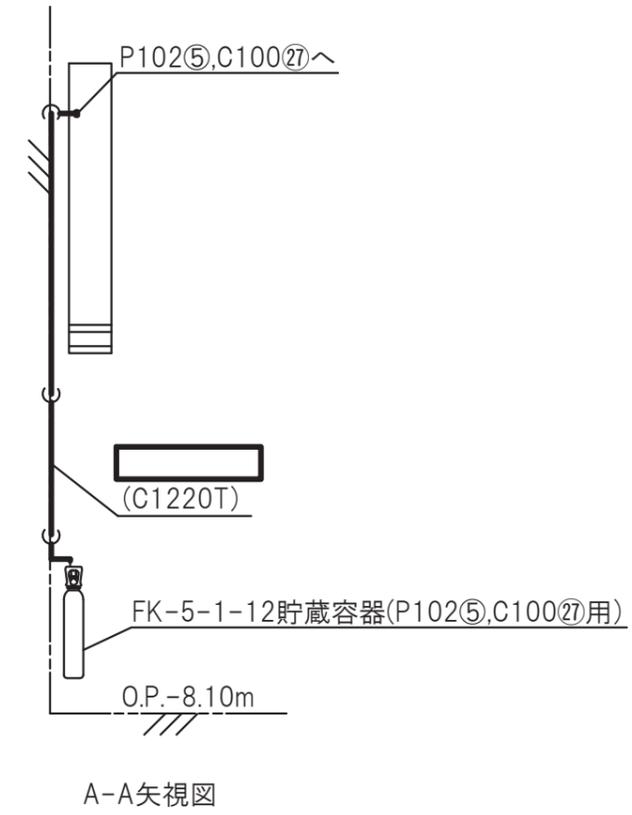
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-153図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K100③,P402③用) |
| 東北電力株式会社 | |



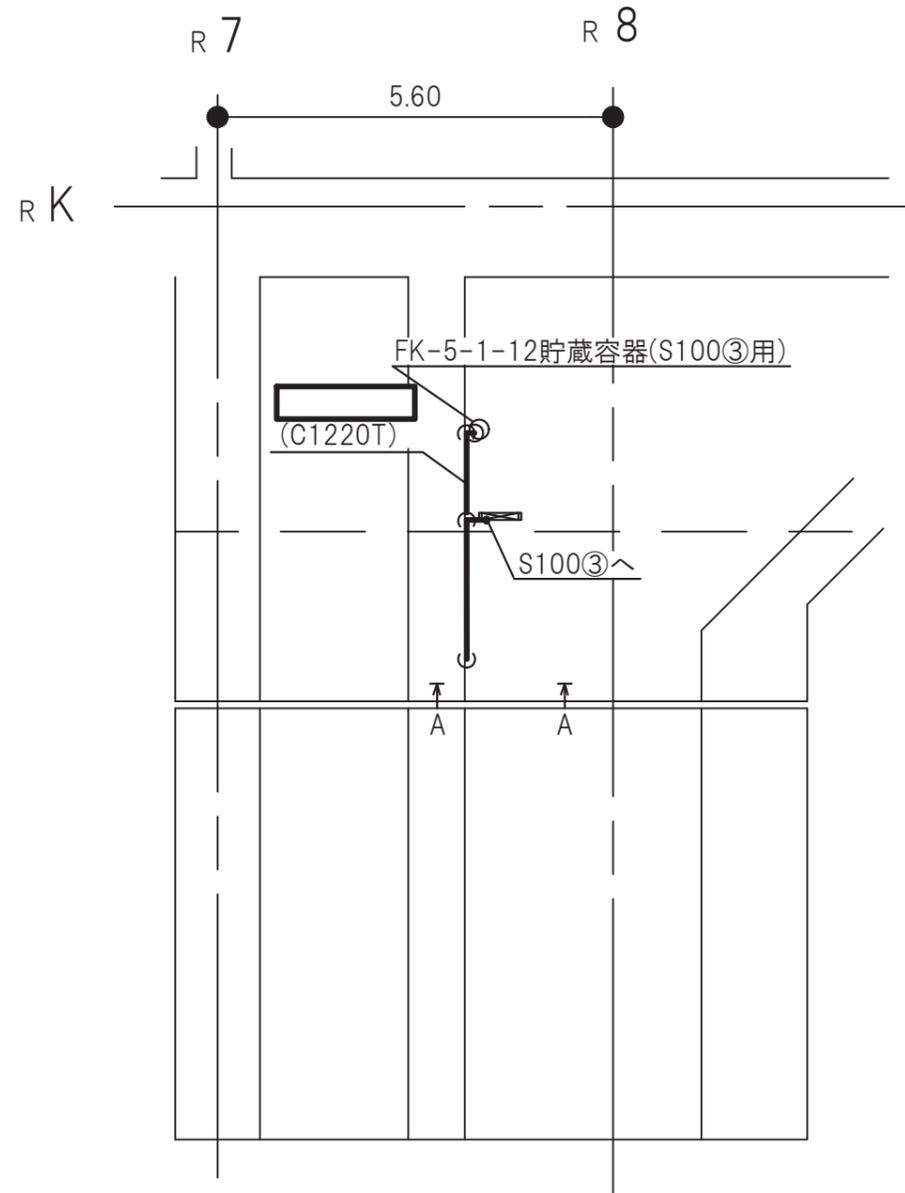
原子炉建屋 O.P.-8.10(m)



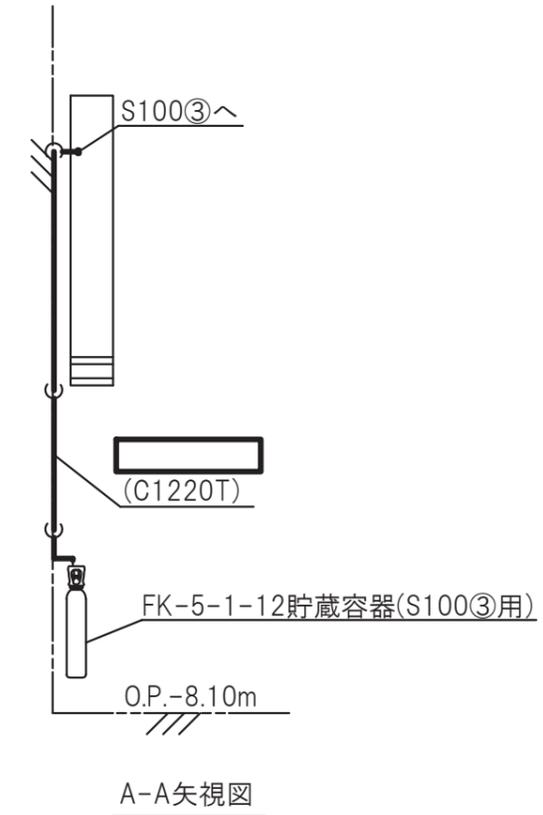
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-154図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P102⑤,C100⑺用) |
| 東北電力株式会社 | |



原子炉建屋 O.P.-8.10(m)

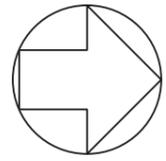


A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-155図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S100③用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



PN

R 7

R 8

5.60

R K

FK-5-1-12貯蔵容器(K100㉔,P402㉔用)

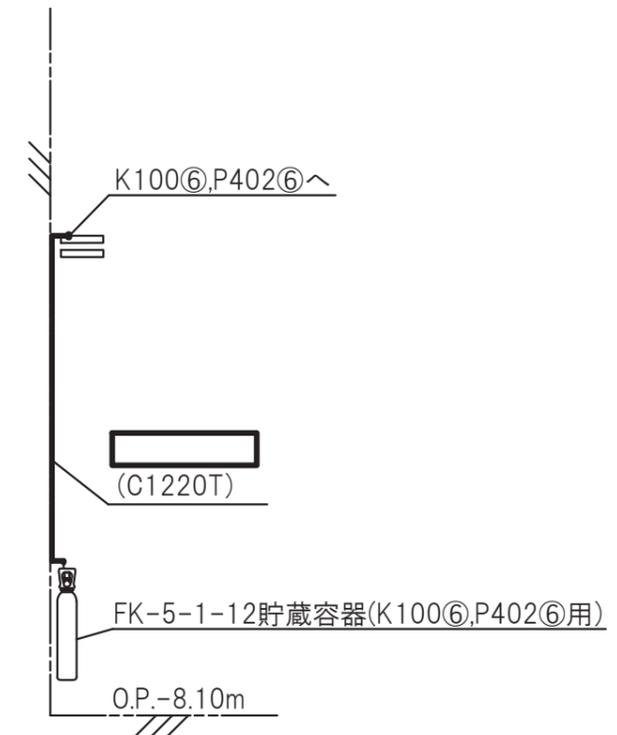
(C1220T)

K100㉔,P402㉔へ

↑ A

↑ A

補機冷却系トレンチ O.P.-8.10(m)



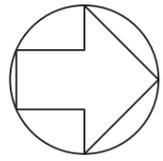
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 補機冷却系トレンチ | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-156図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K100㉔,P402㉔用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



PN

R 7

R 8

5.60

R K

FK-5-1-12貯蔵容器(P102⑥,C100⑳用)

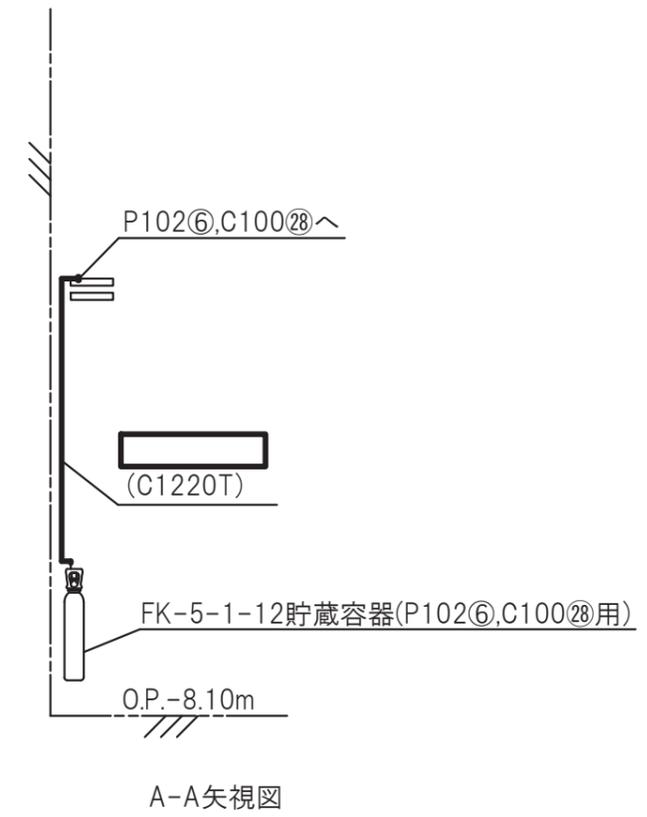
(C1220T)

P102⑥,C100⑳へ

A

A

補機冷却系トレンチ O.P.-8.10(m)

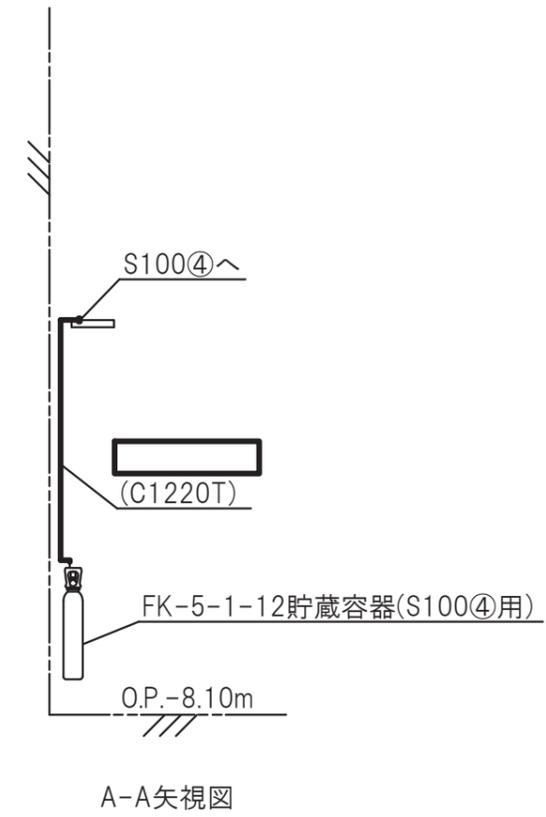
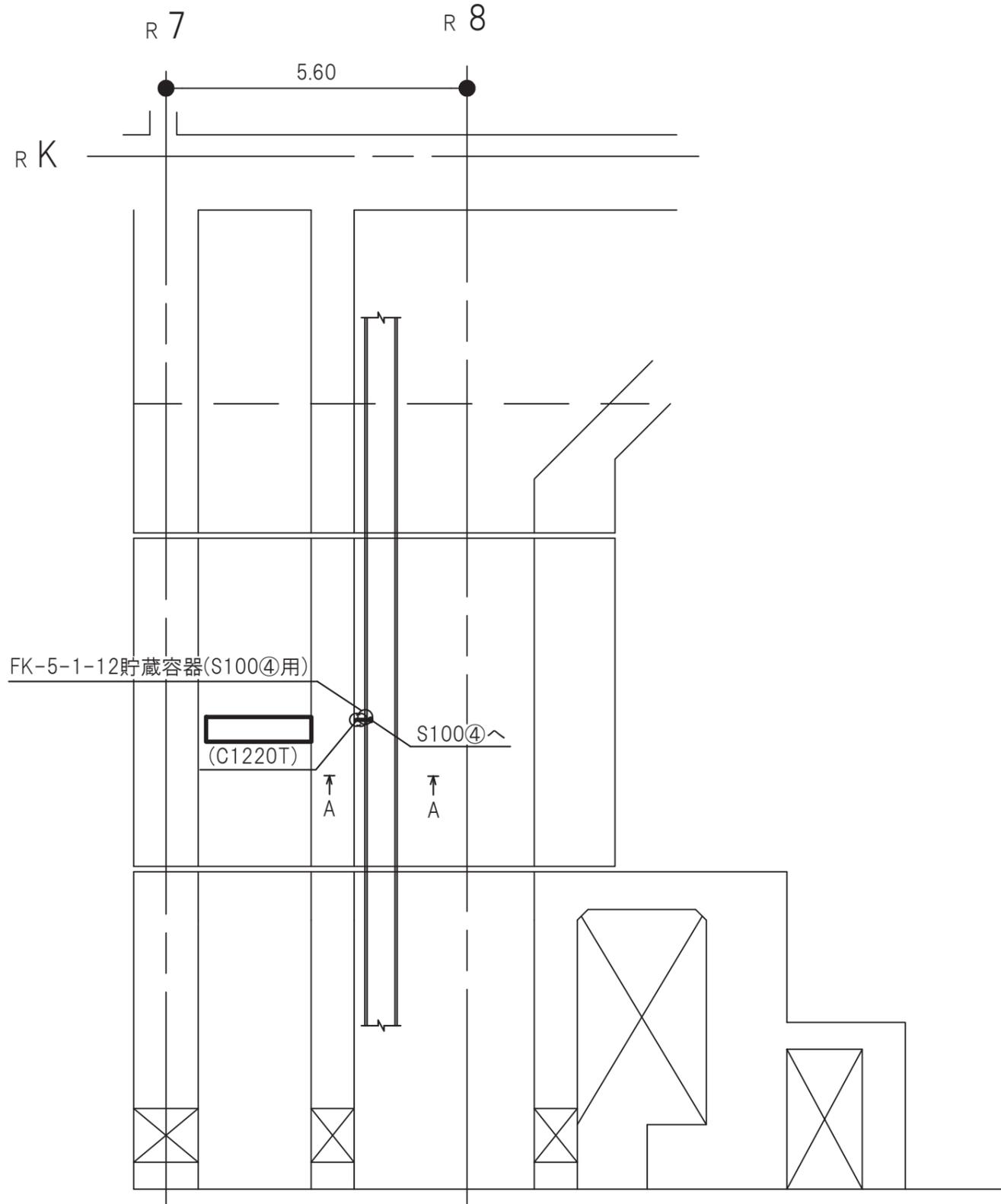


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 補機冷却系トレンチ | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-157図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P102⑥,C100⑳用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

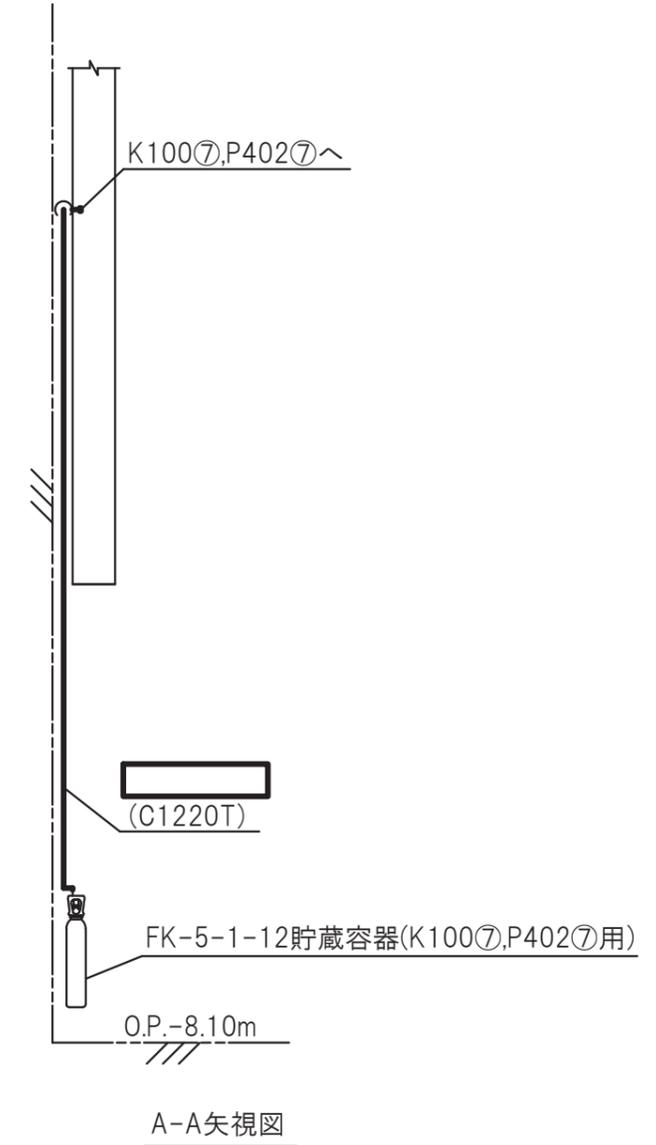
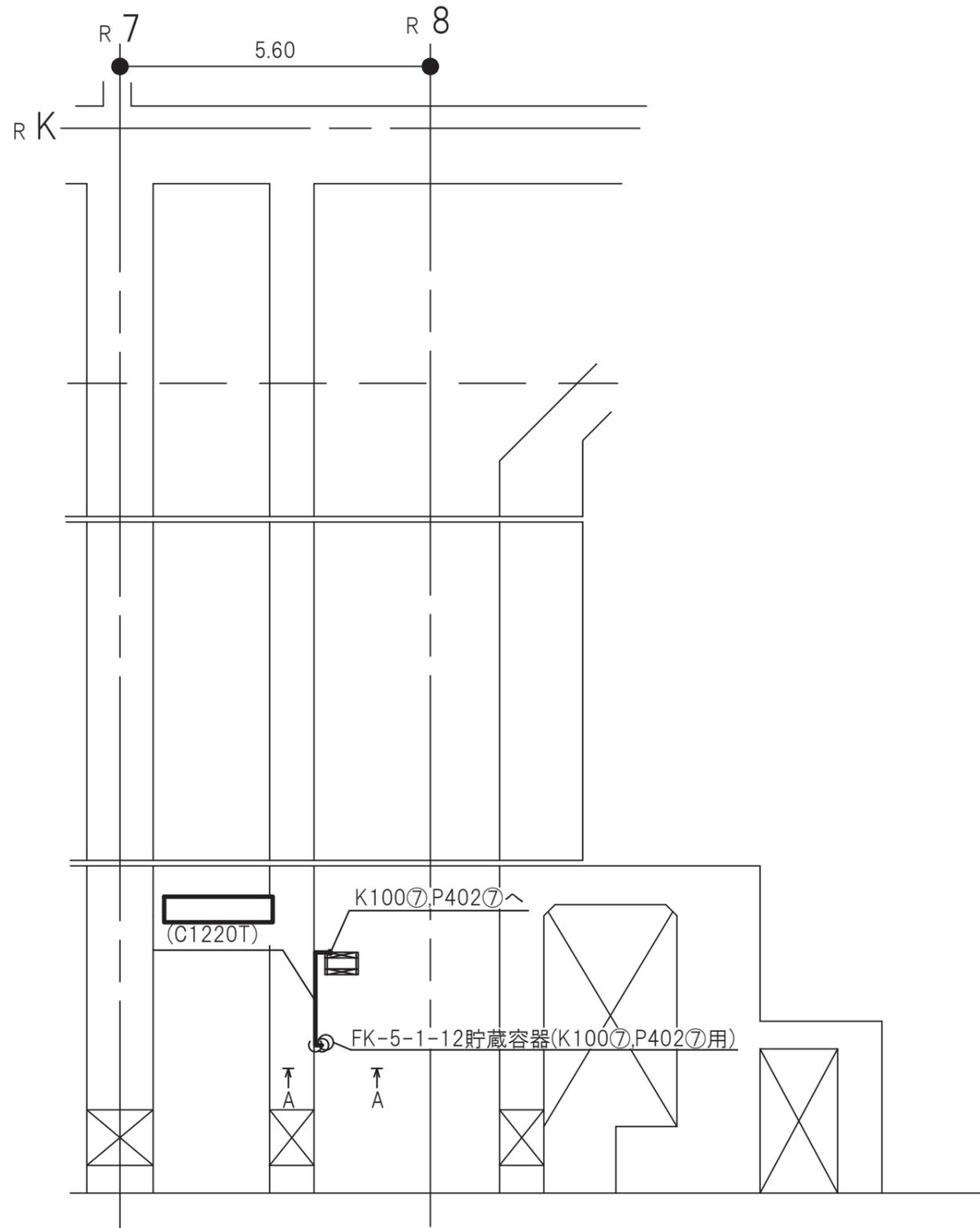
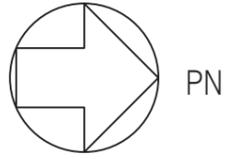


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 補機冷却系トレンチ | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-158図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S100④用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



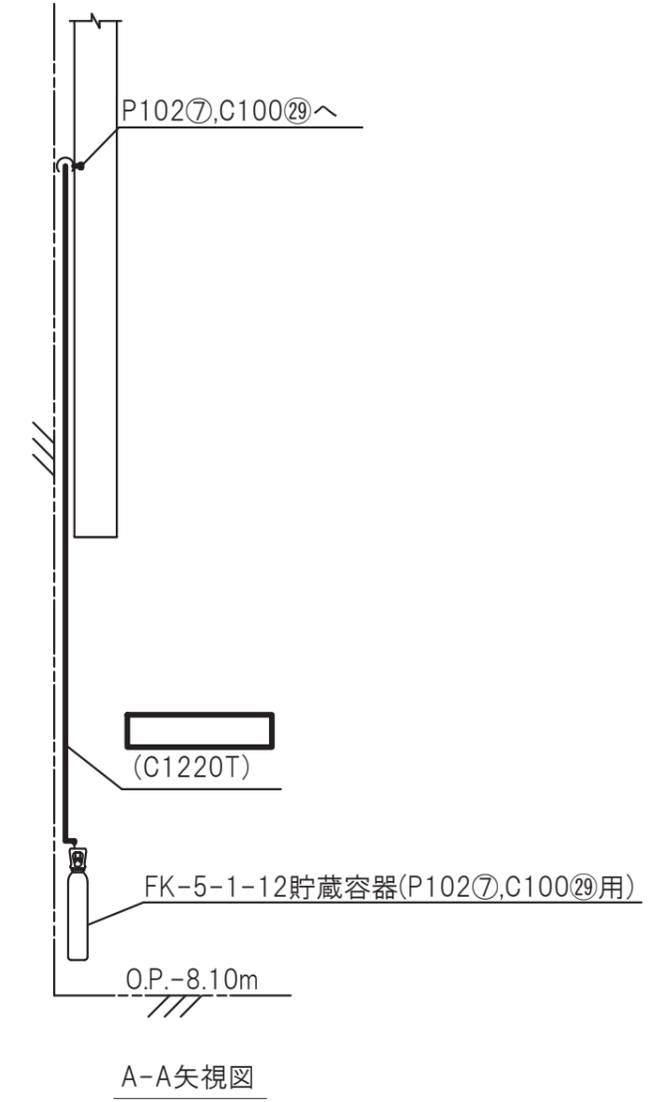
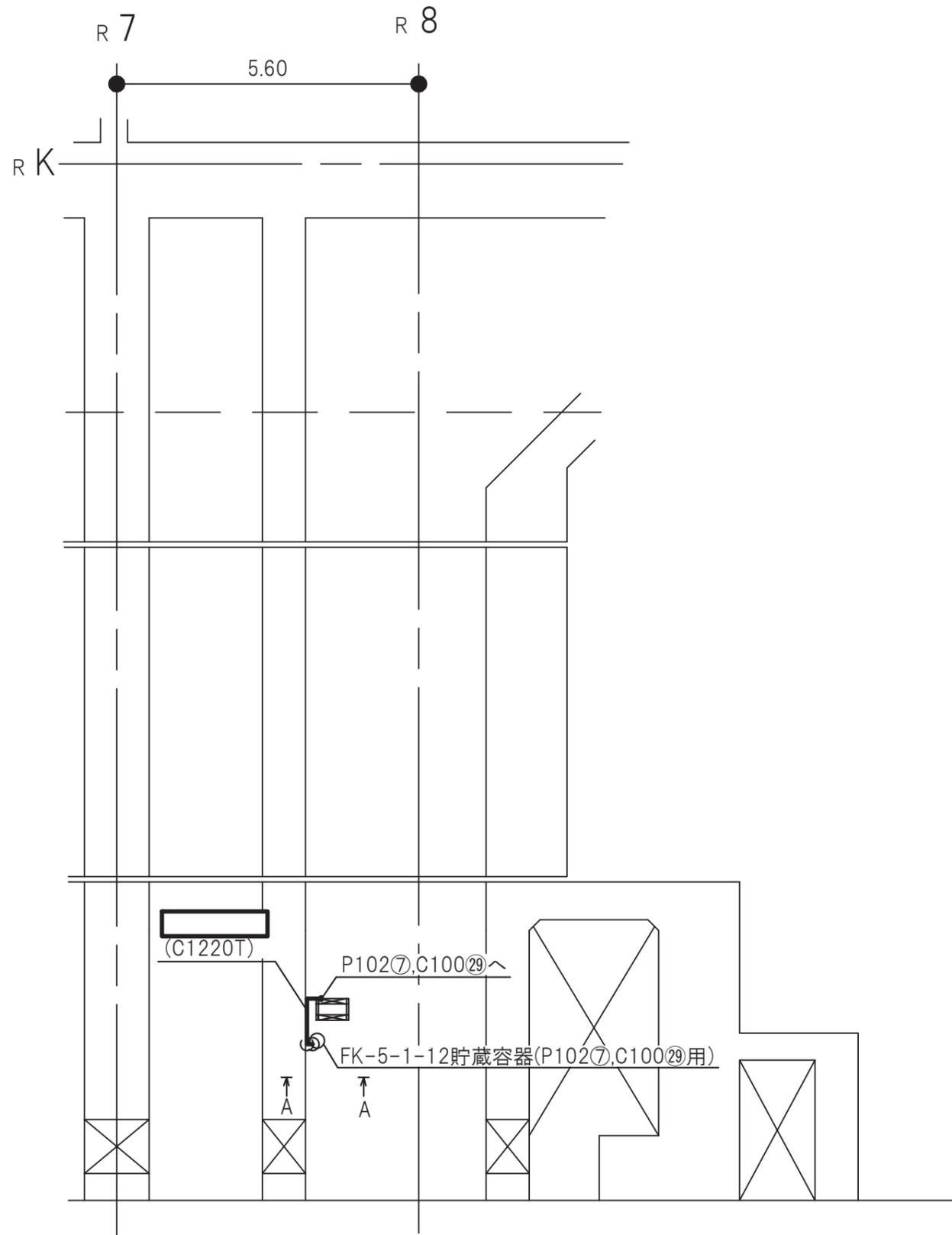
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

補機冷却系トレンチ O.P.-8.10(m)

| | |
|---------------|--|
| 補機冷却系トレンチ | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-159図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K100㉟,P402㉟用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

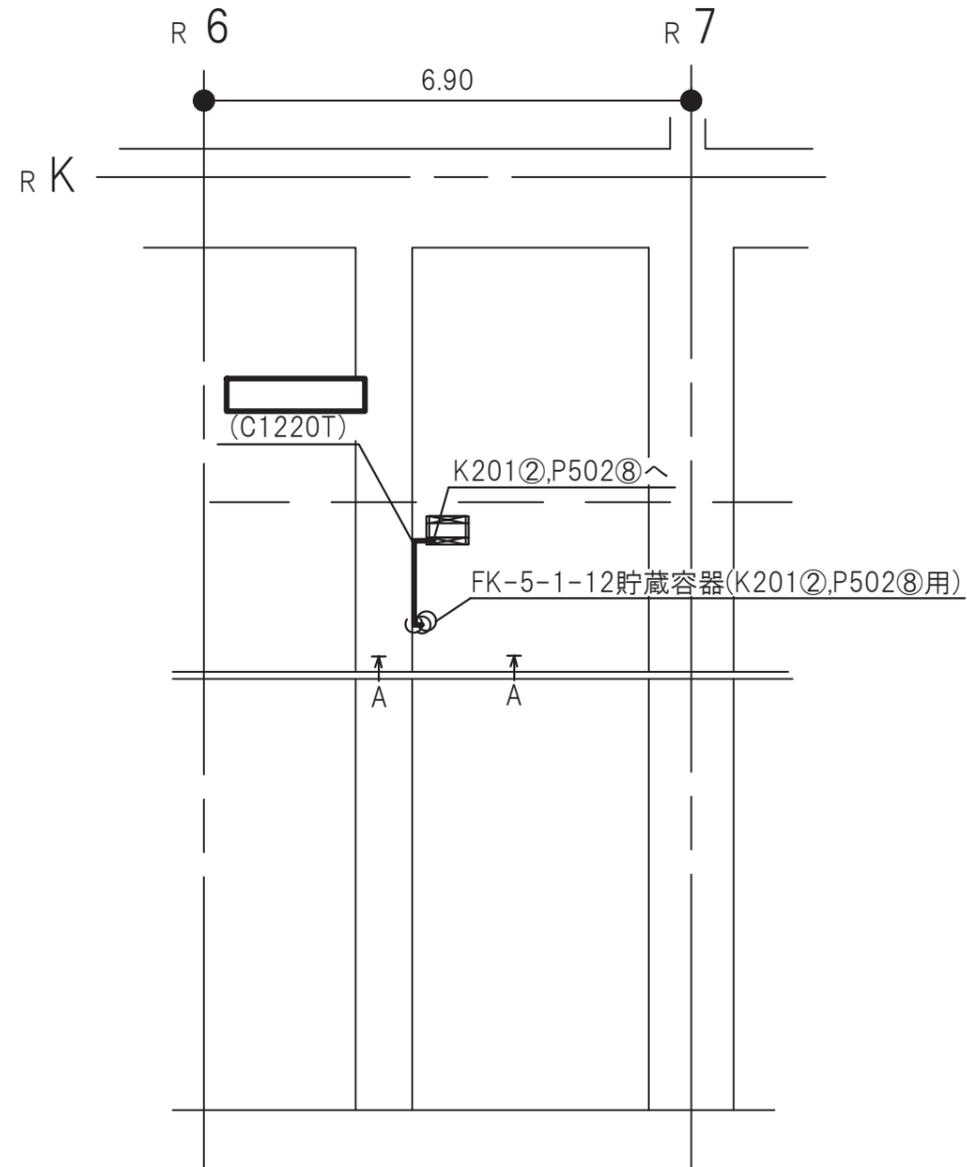
0420



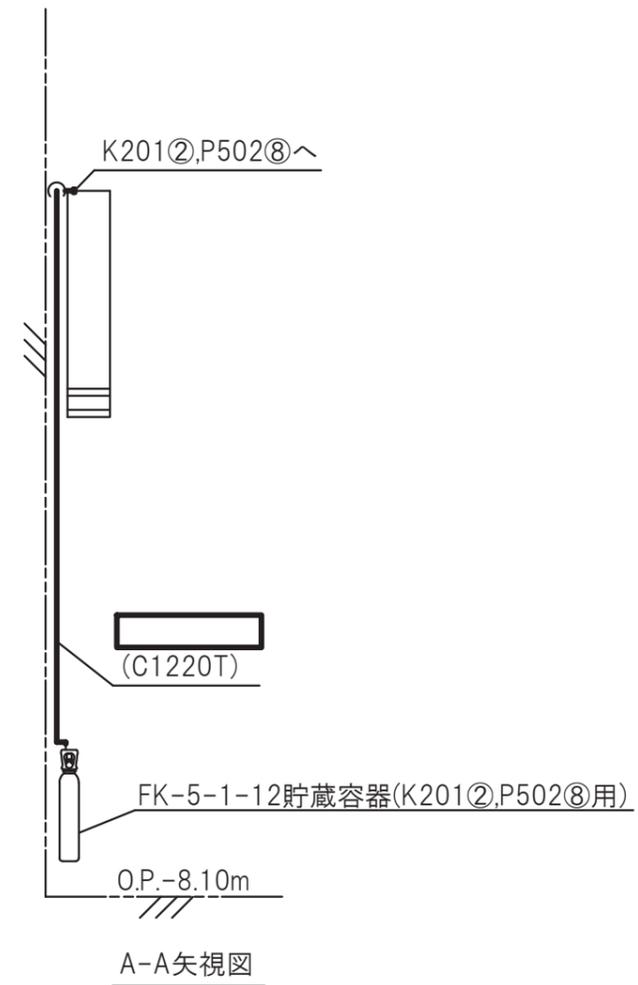
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 補機冷却系トレンチ | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-160図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P102㉚,C100㉚用) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

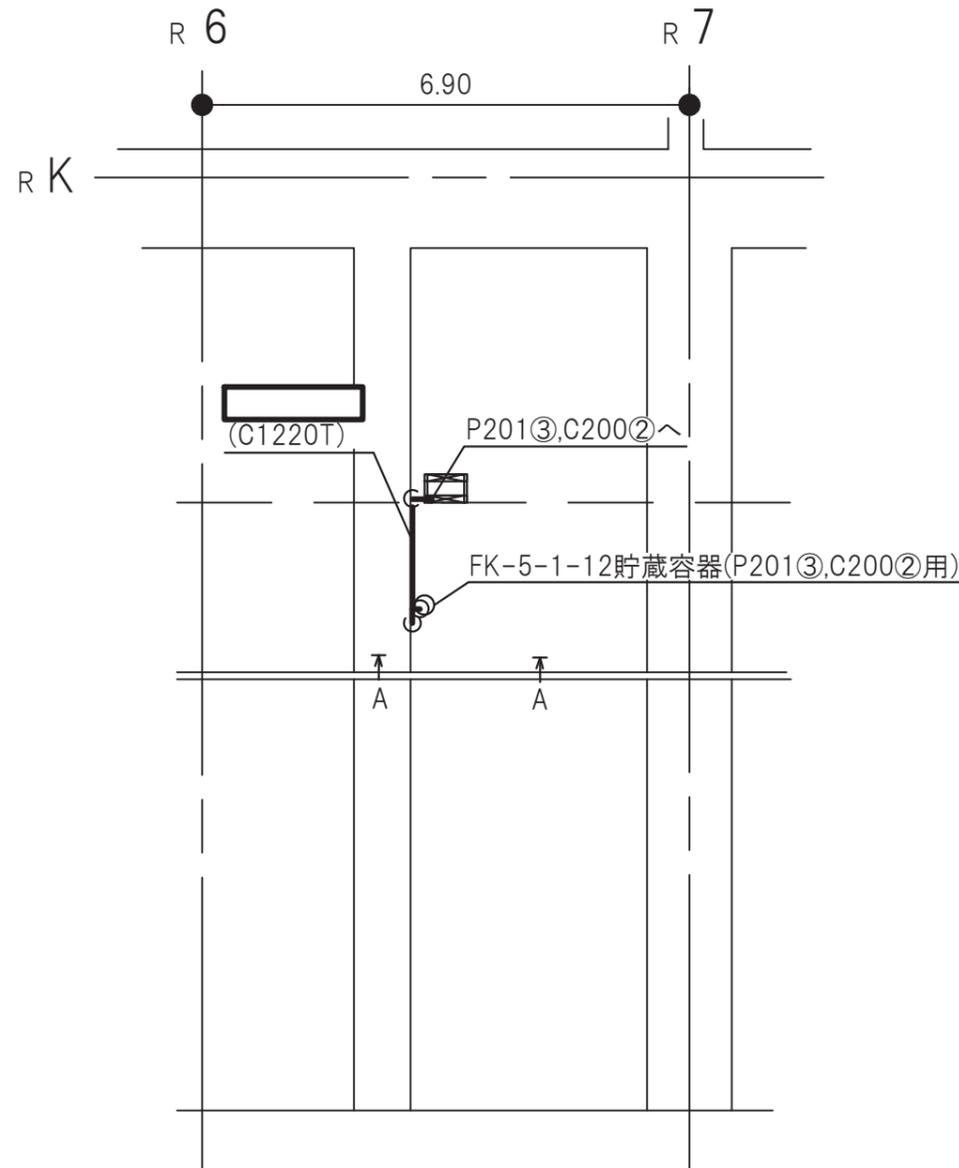


原子炉建屋 O.P.-8.10(m)

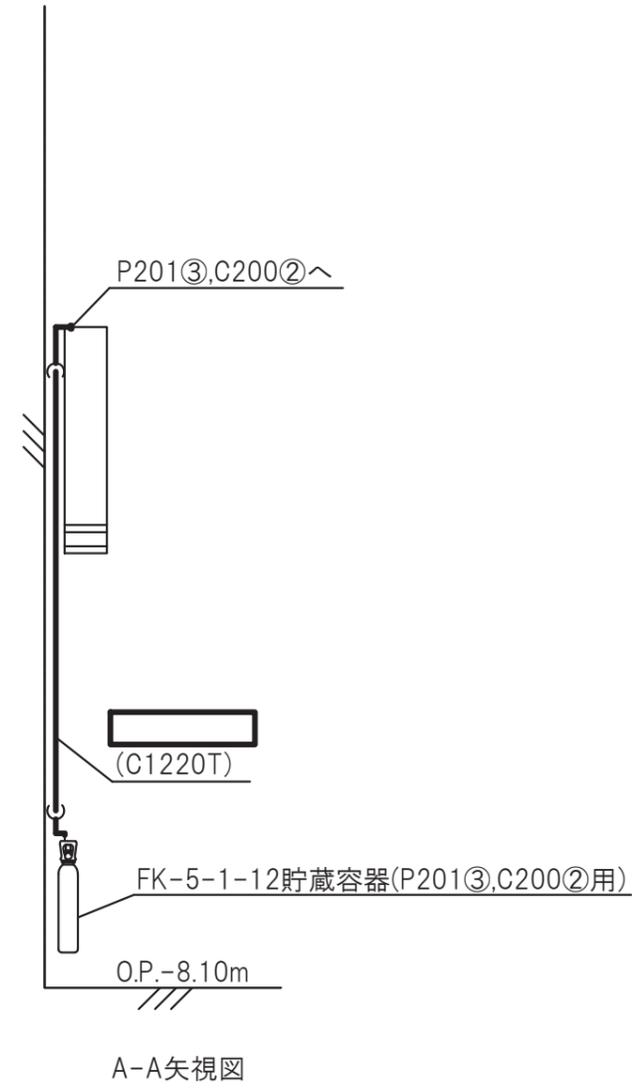


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-161図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K201②,P502⑧用) |
| 東北電力株式会社 | |



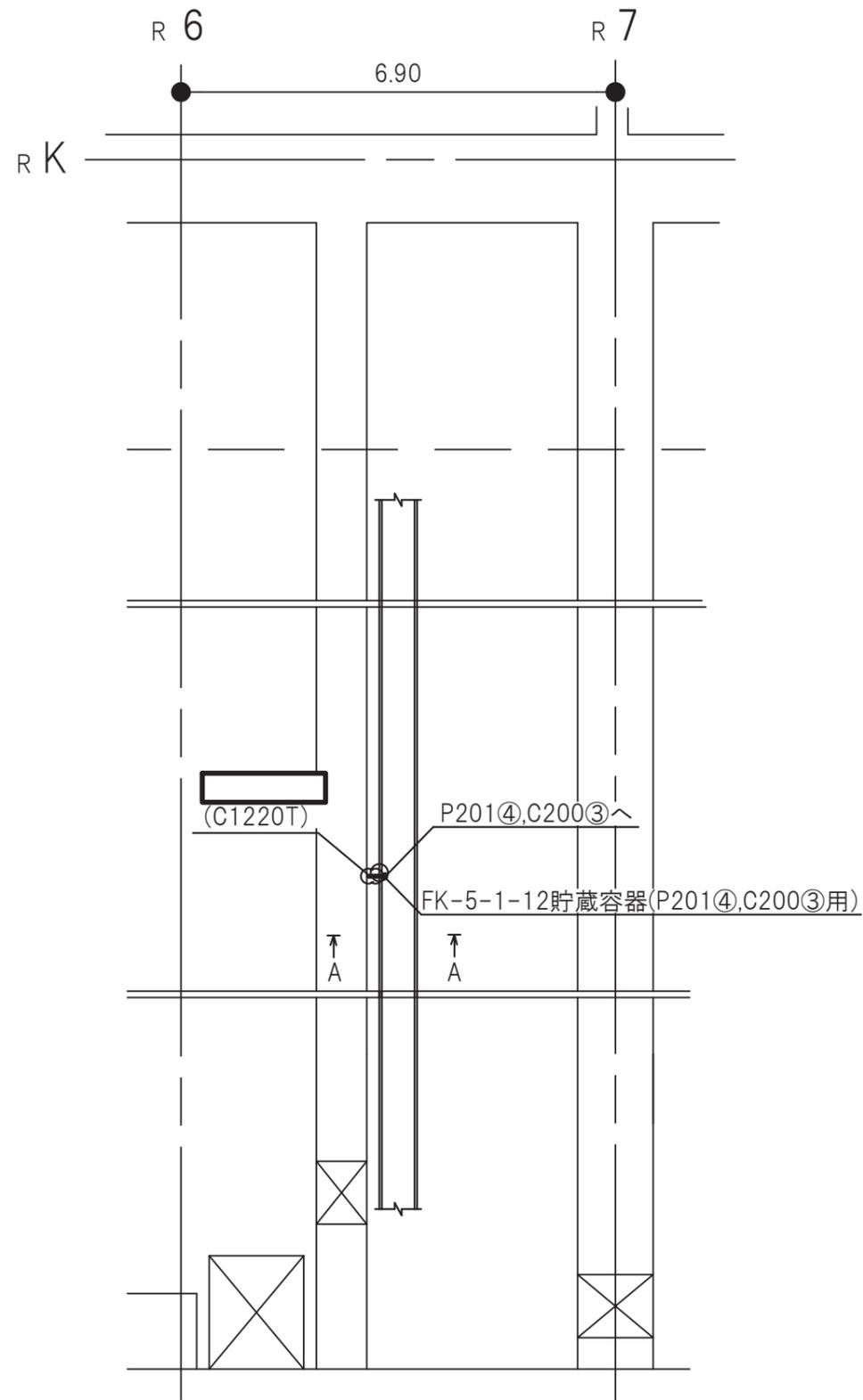
原子炉建屋 O.P.-8.10(m)



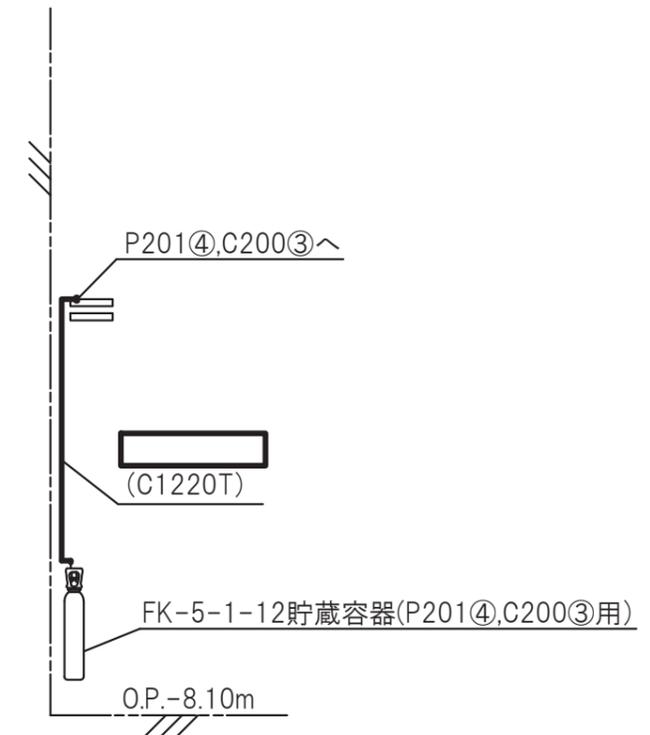
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-162図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P201③,C200②用) |
| 東北電力株式会社 | |



補機冷却系トレンチ O.P.-8.10(m)



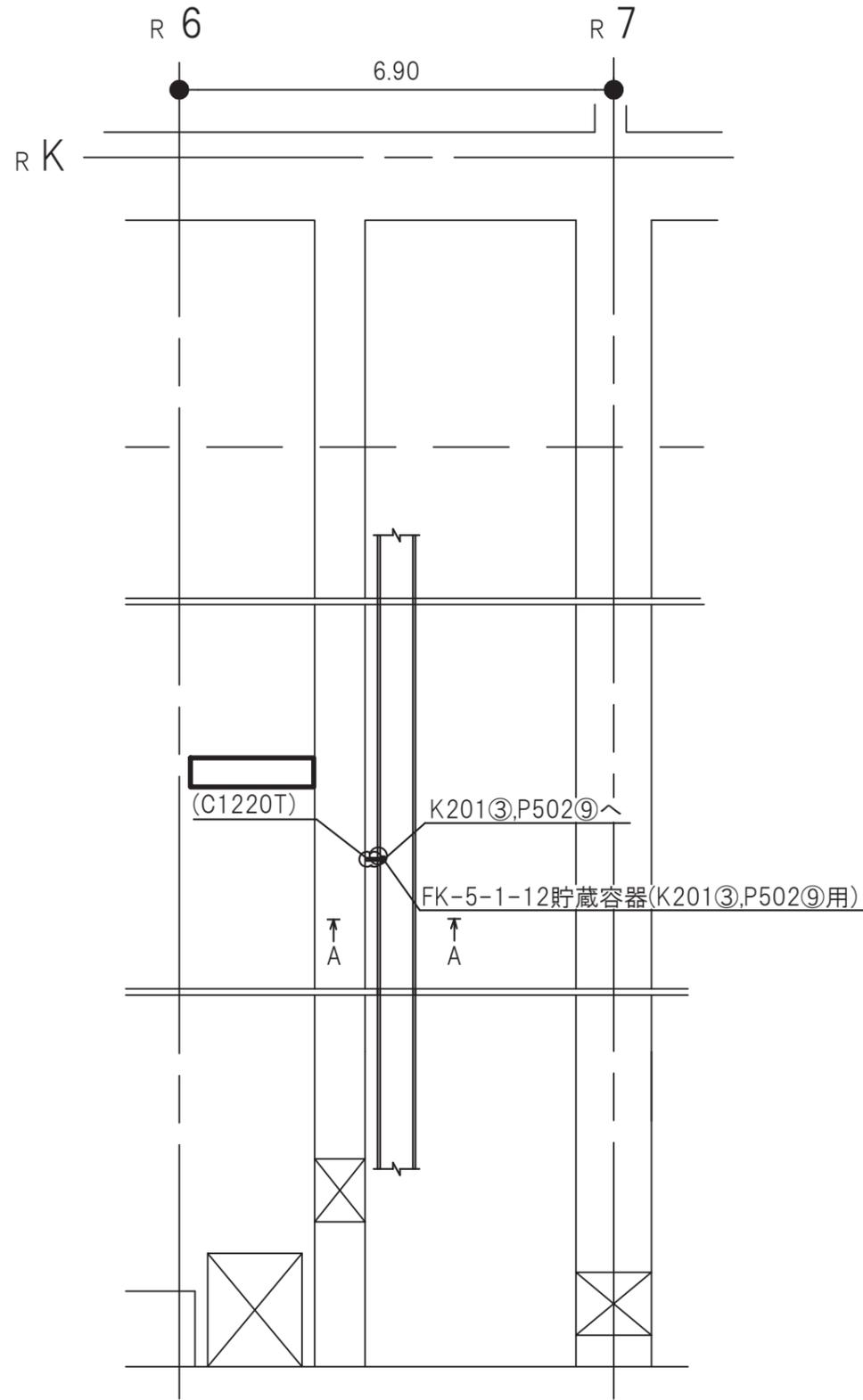
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

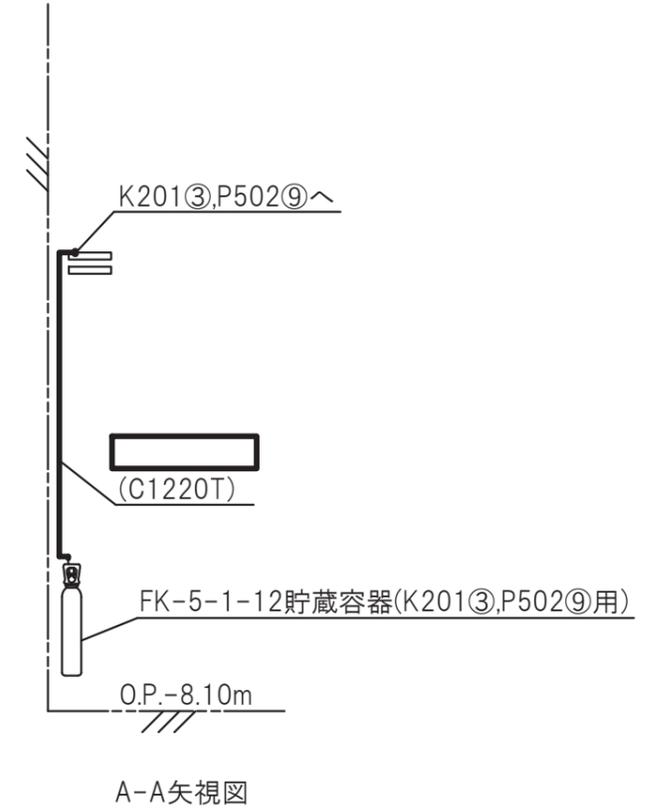
| | |
|---------------|--|
| 補機冷却系トレンチ | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-163図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P201④,C203③用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

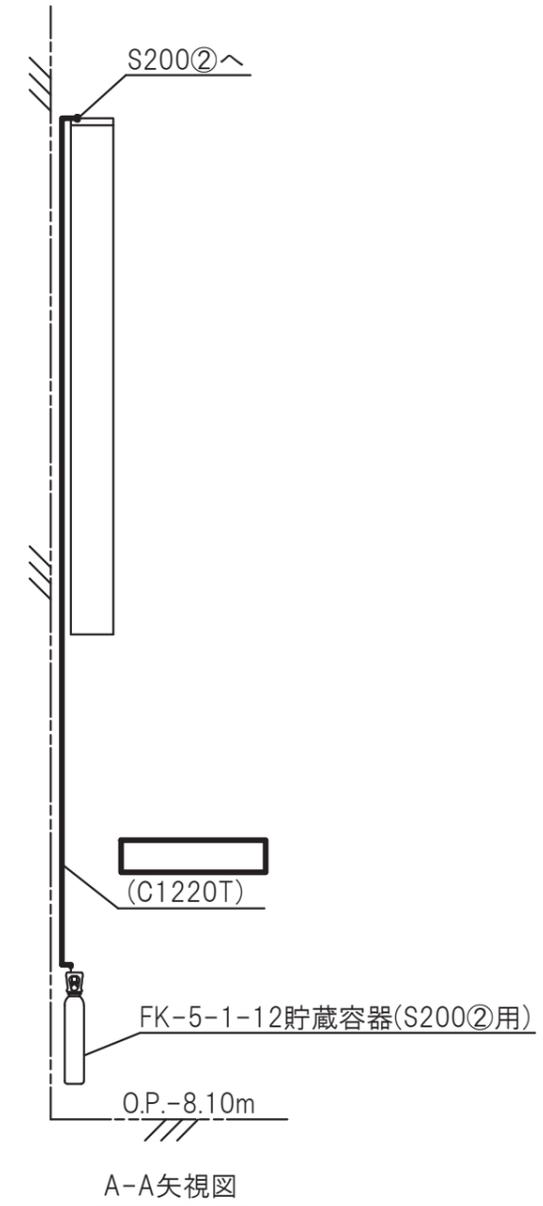
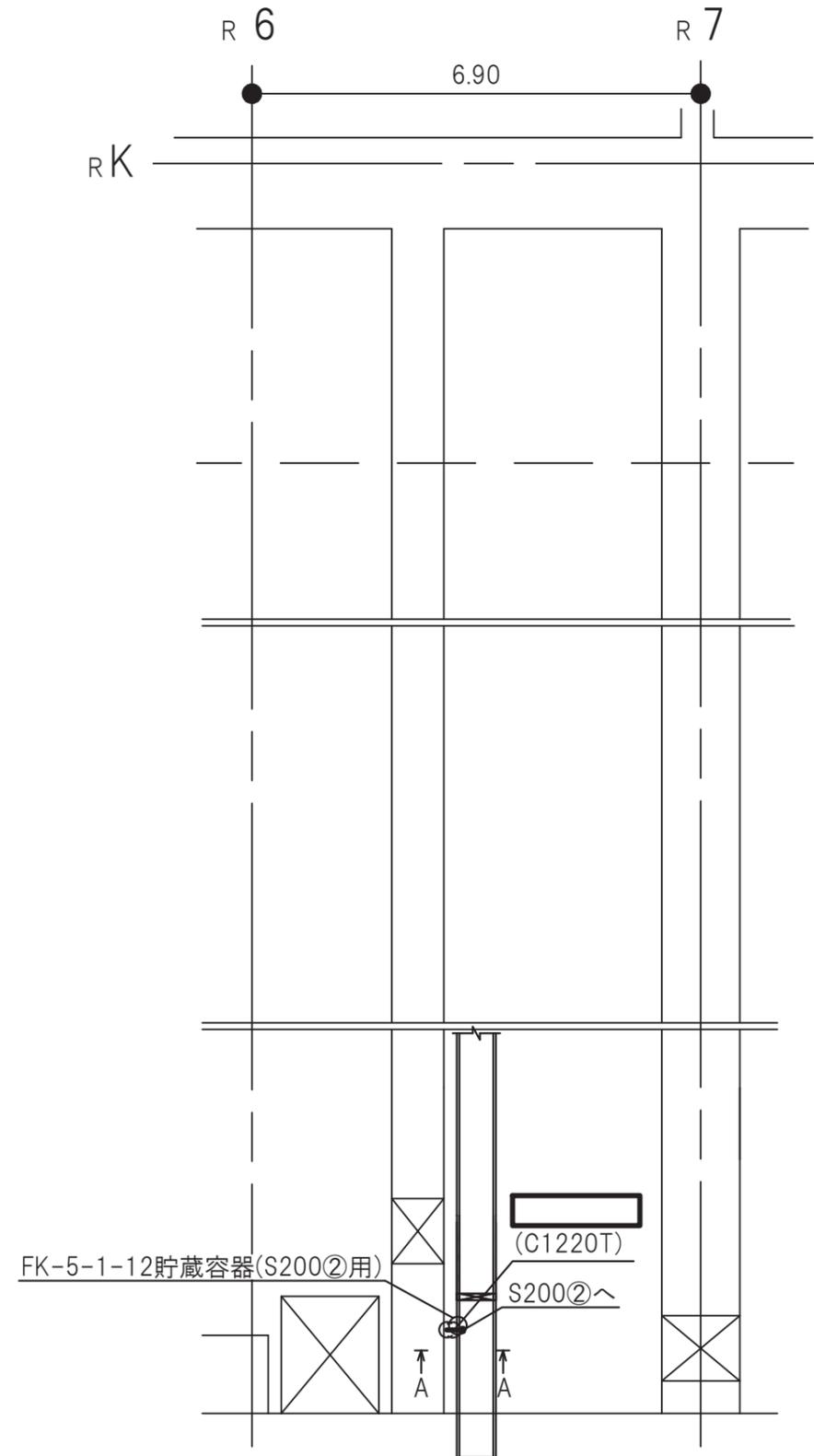


補機冷却系トレンチ O.P.-8.10(m)



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 補機冷却系トレンチ | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-164図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K201③,P502⑨用) |
| 東北電力株式会社 | |

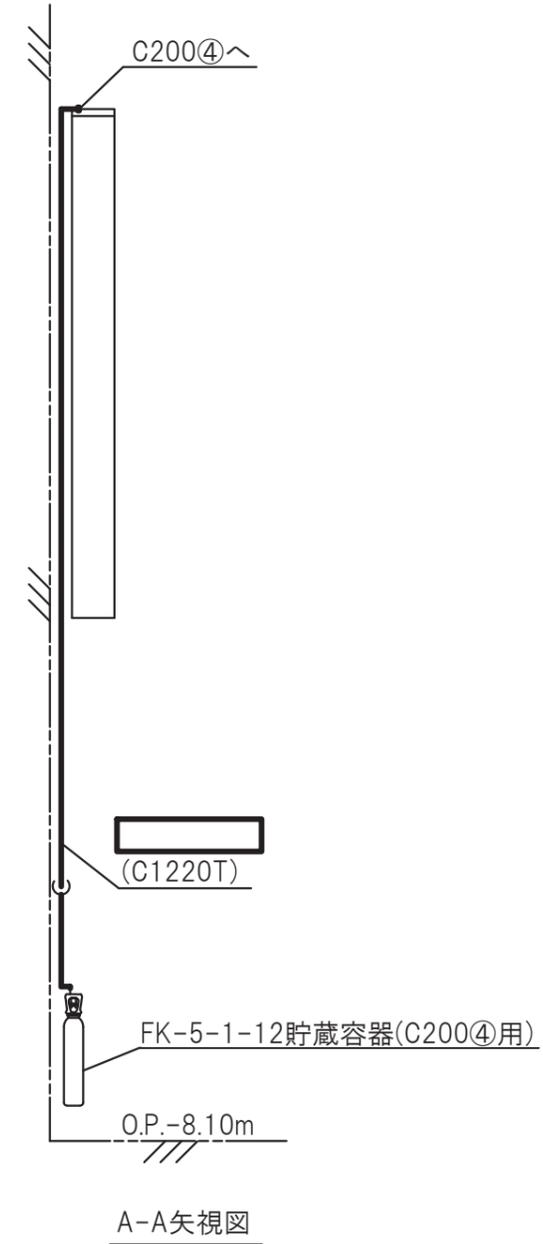
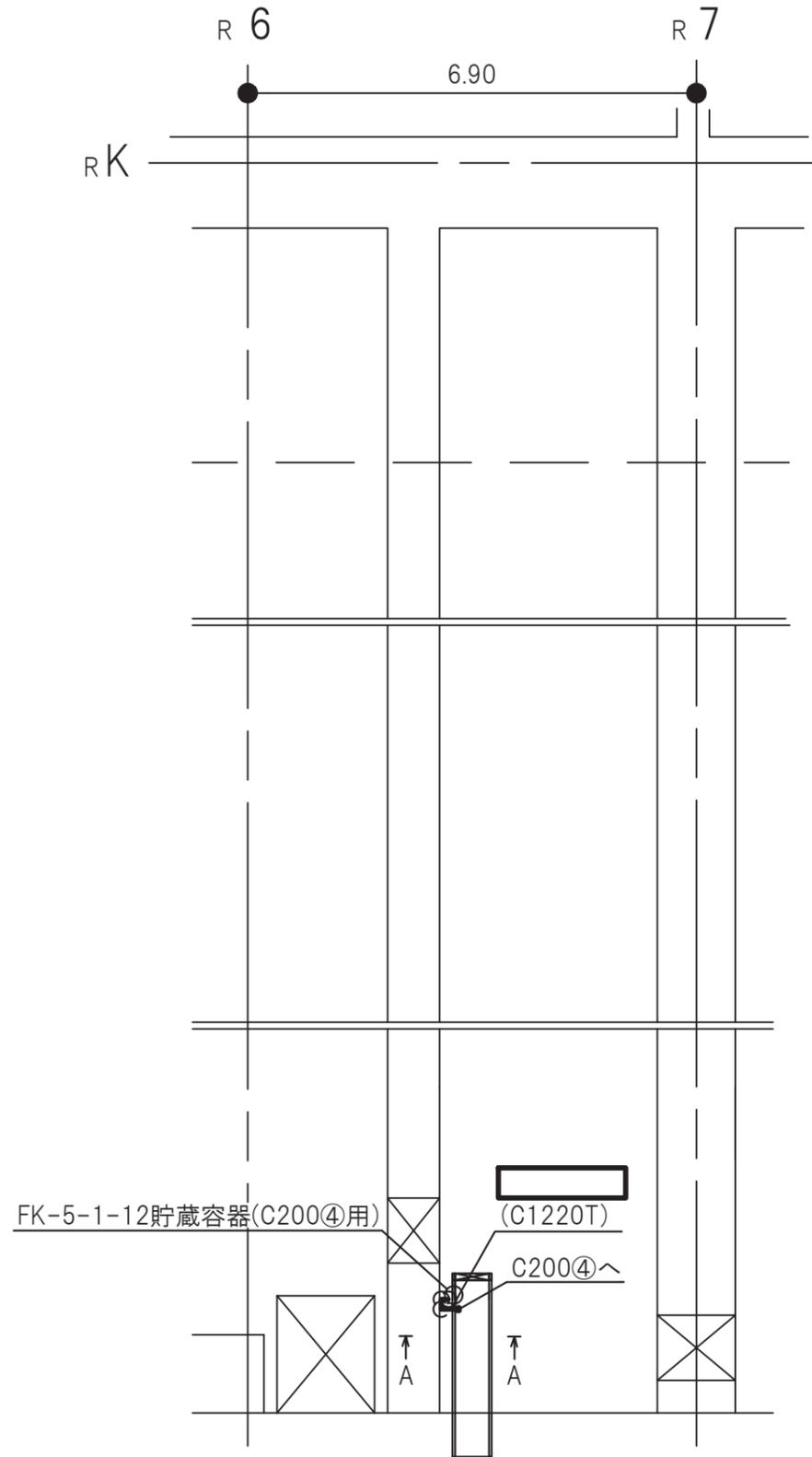


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

補機冷却系トレンチ

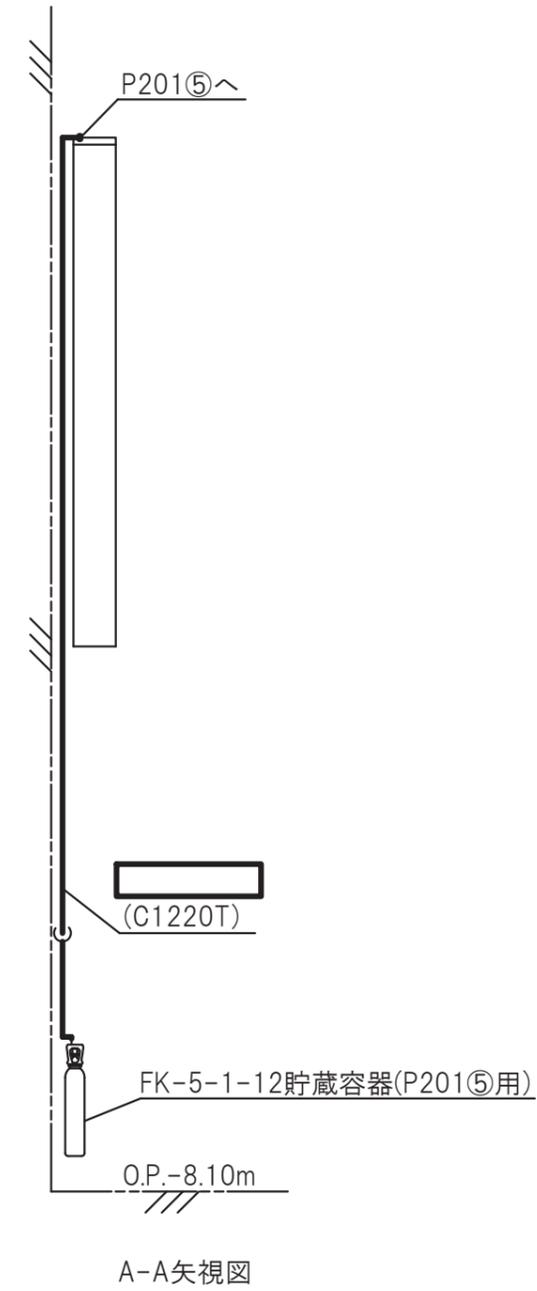
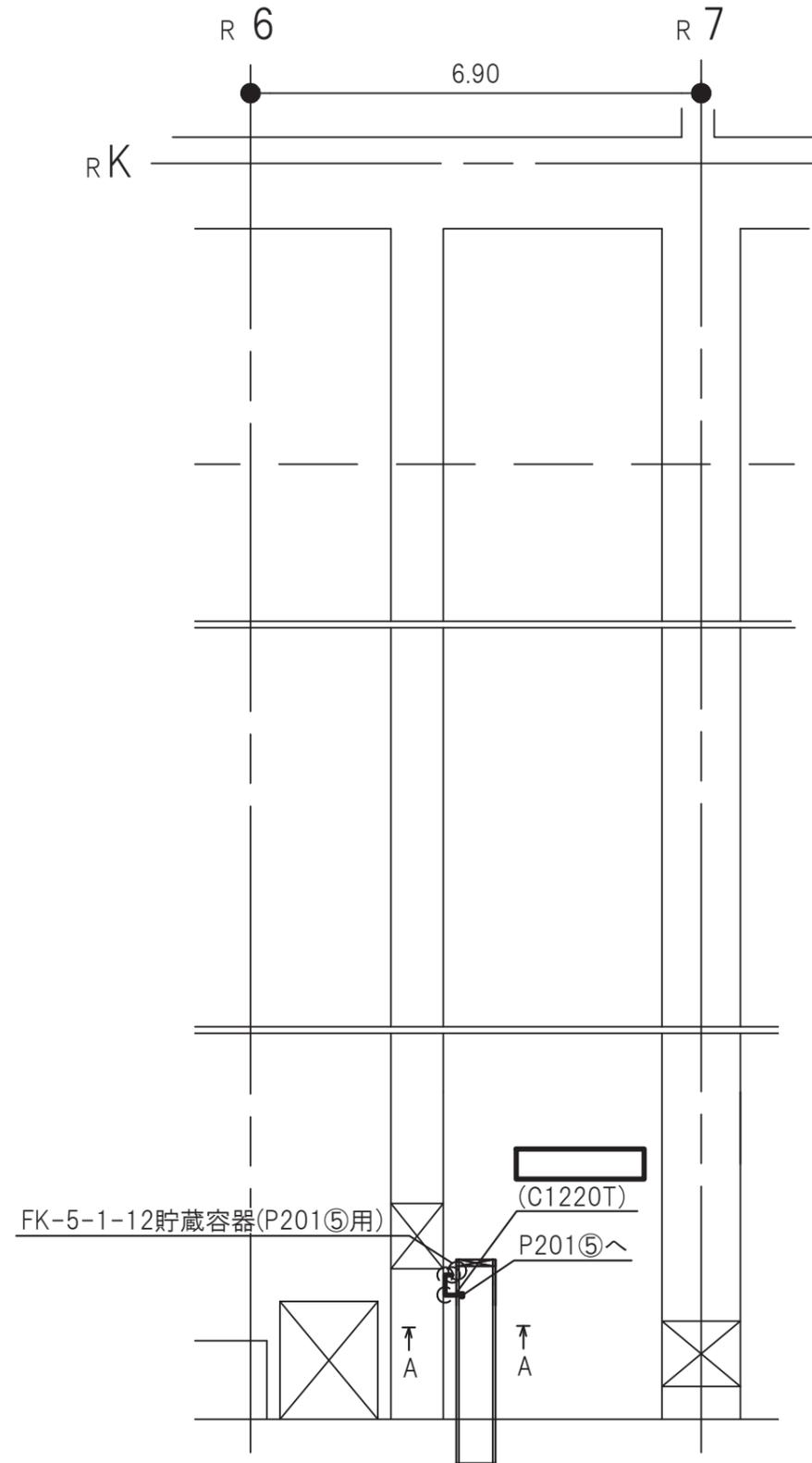
| | |
|---------------|------------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-165図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S200②用) |
| 東北電力株式会社 | |

補機冷却系トレンチ O.P.-8.10(m)



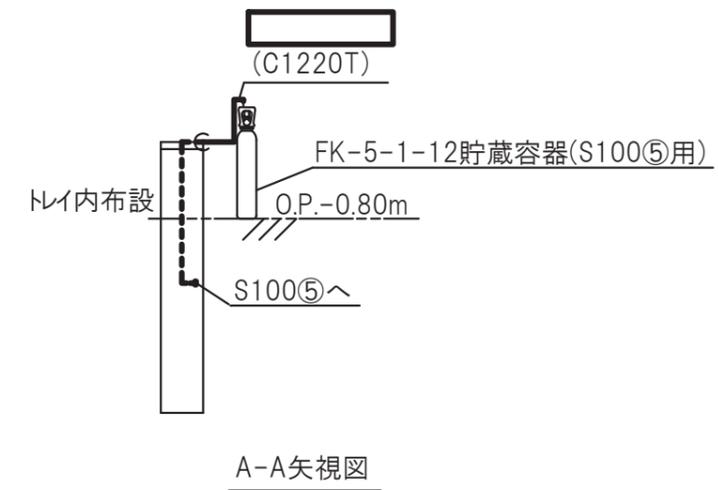
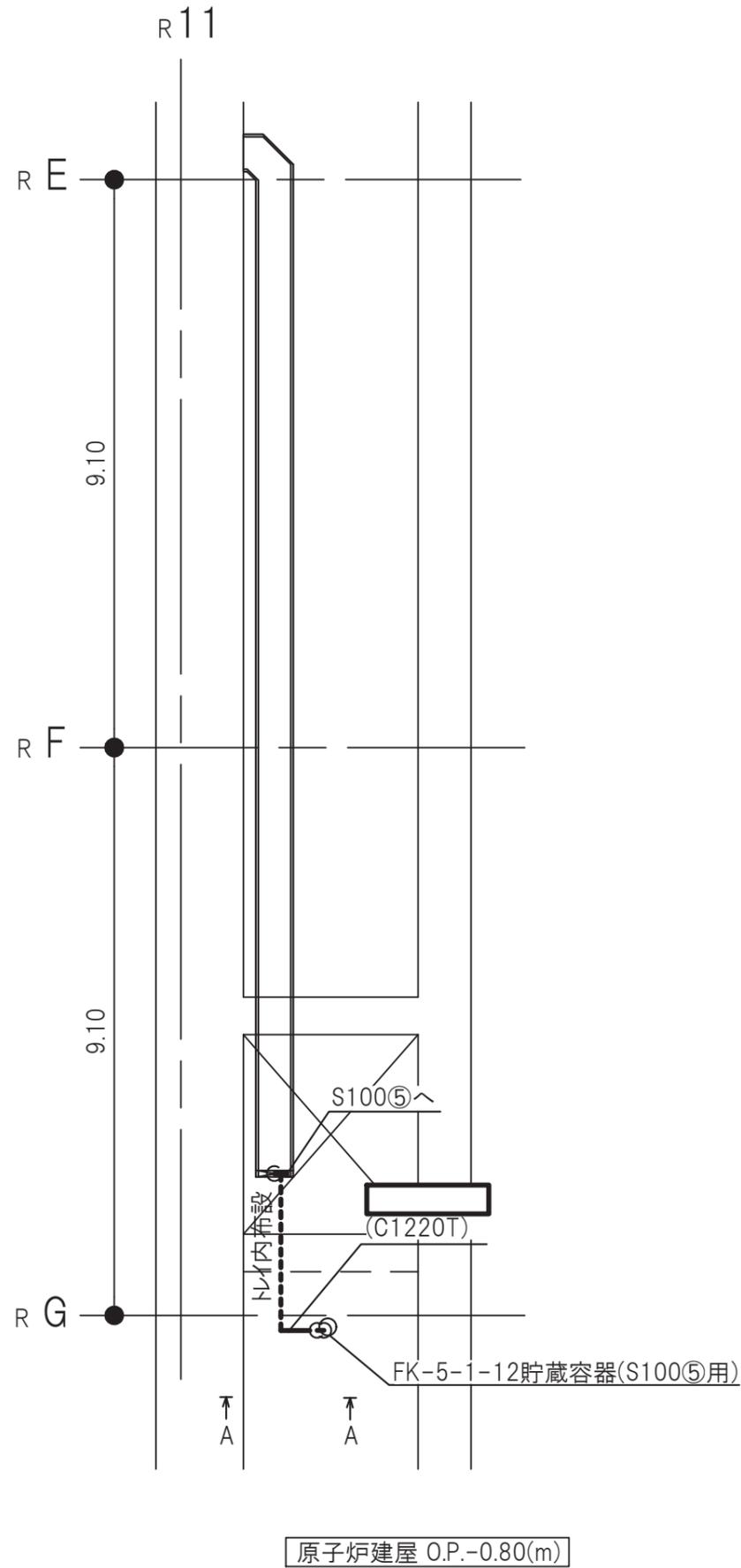
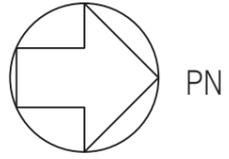
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 補機冷却系トレンチ | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-166図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C200④用) |
| 東北電力株式会社 | |



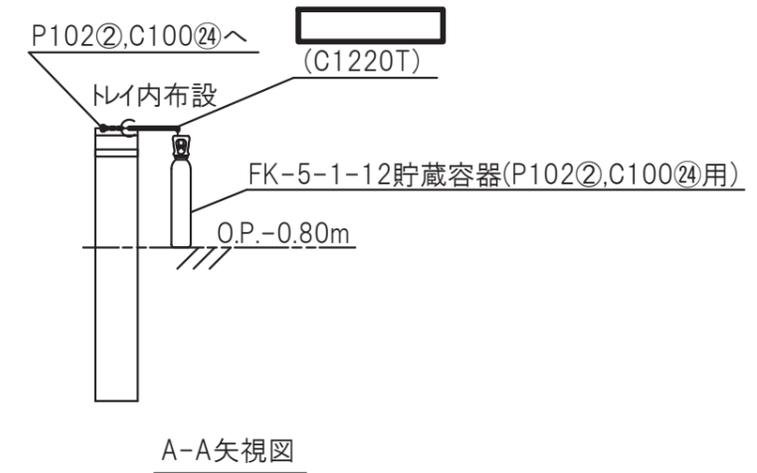
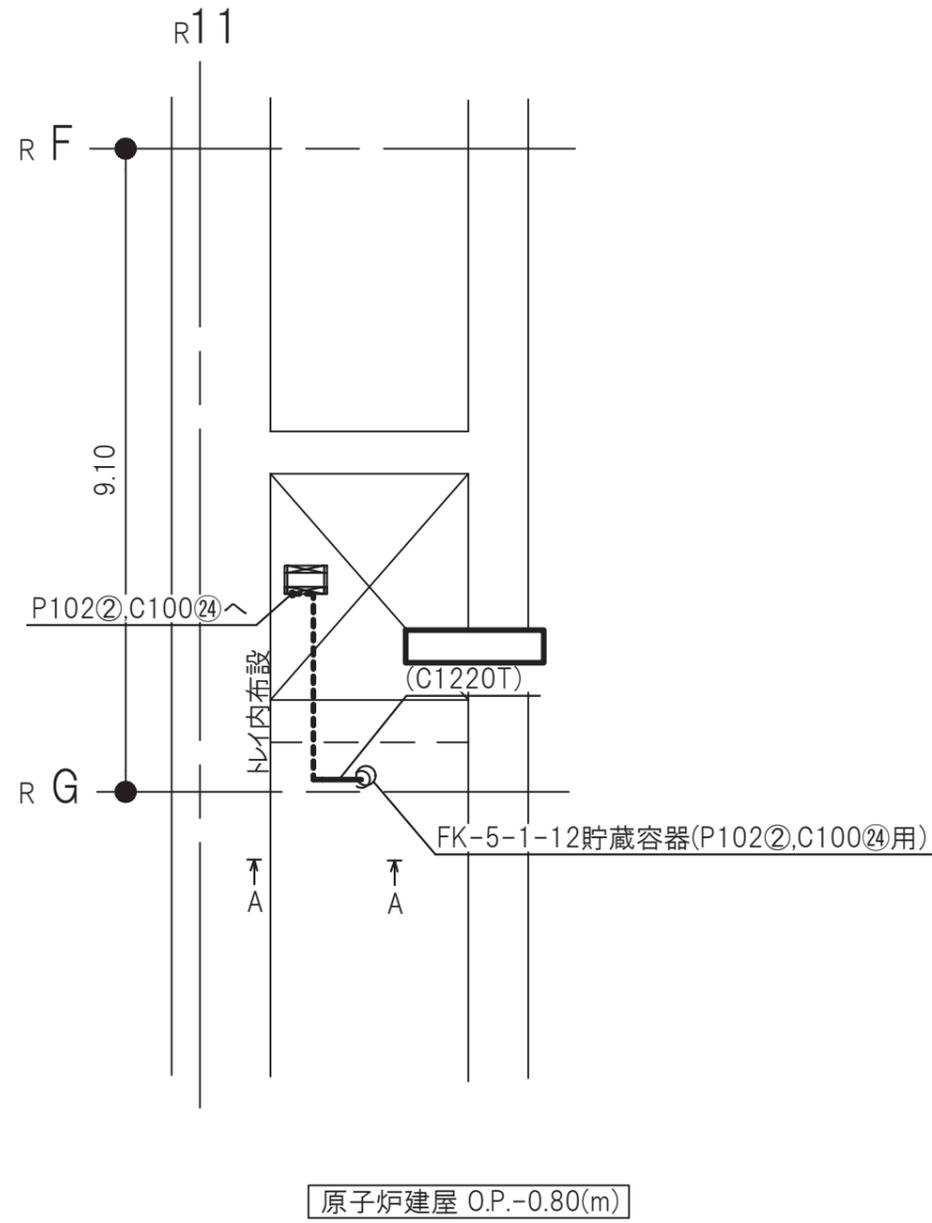
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 補機冷却系トレンチ | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-167図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P201⑤用) |
| 東北電力株式会社 | |



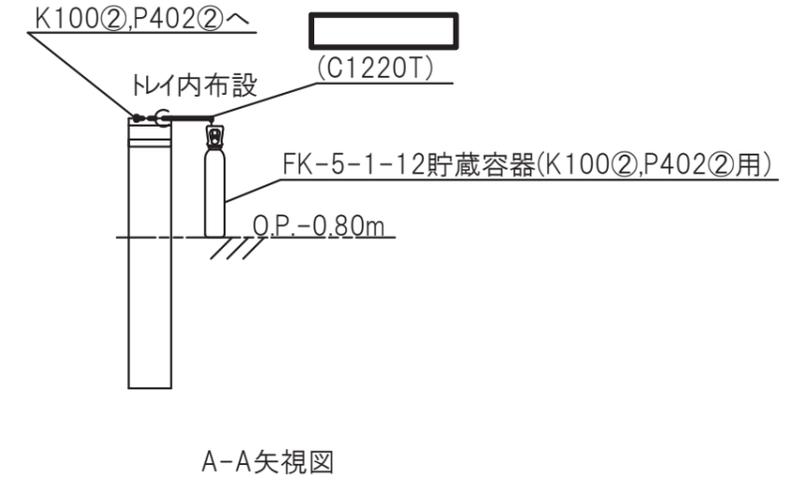
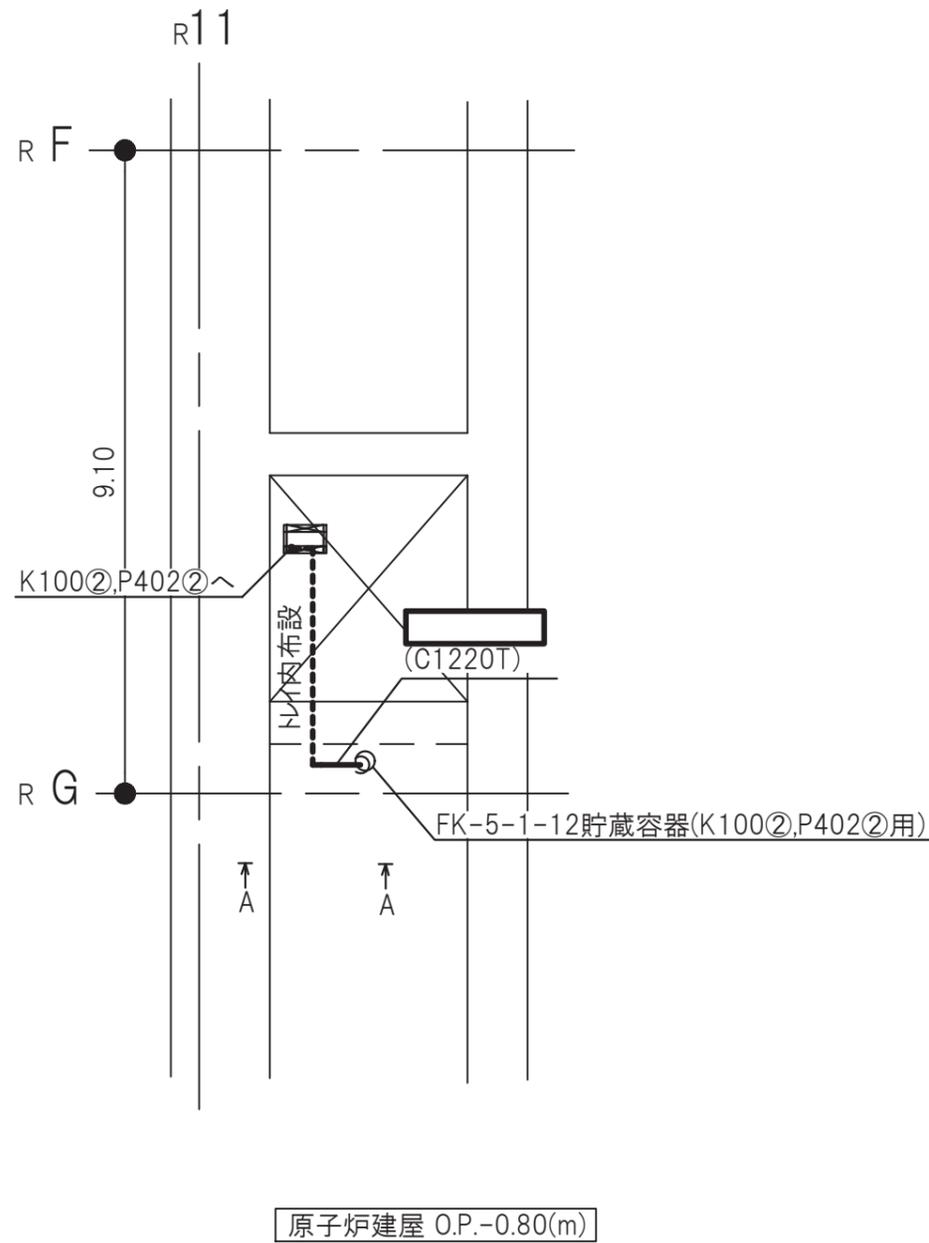
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-168図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S100㊸用) |
| 東北電力株式会社 | |



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-169図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P102②,C100④用) |
| 東北電力株式会社 | |

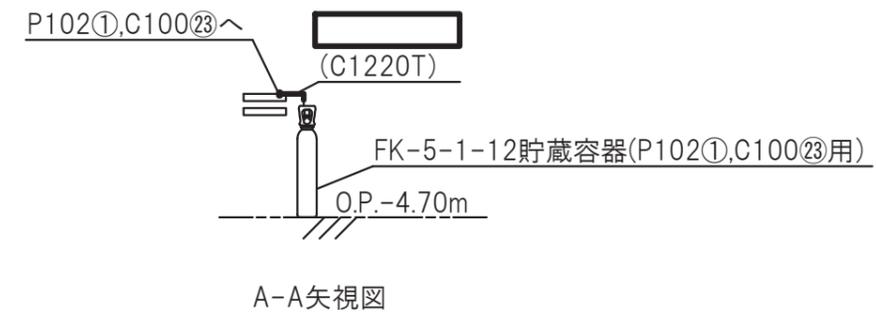
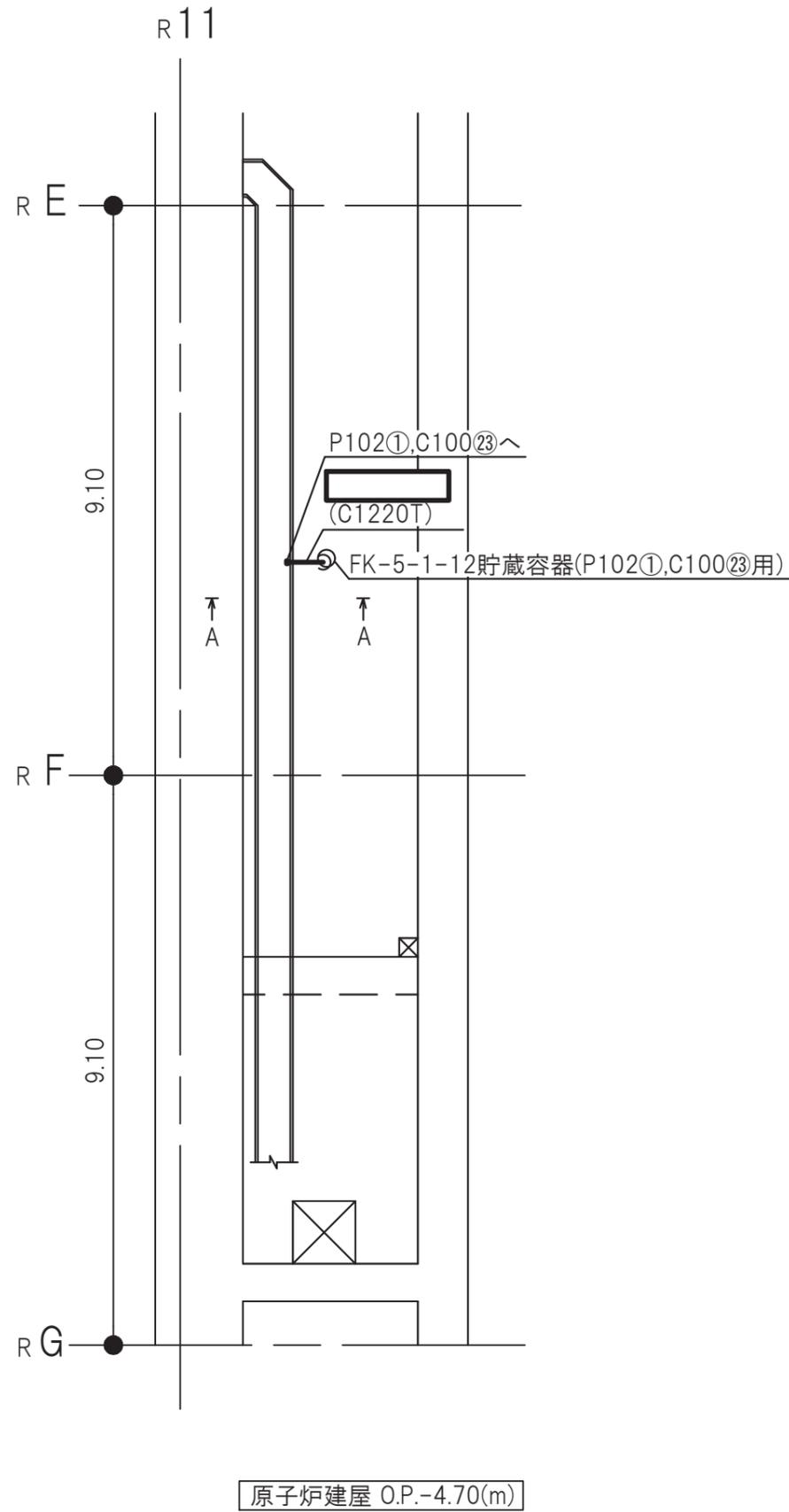


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-170図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K100②,P402②用) |
| 東北電力株式会社 | |

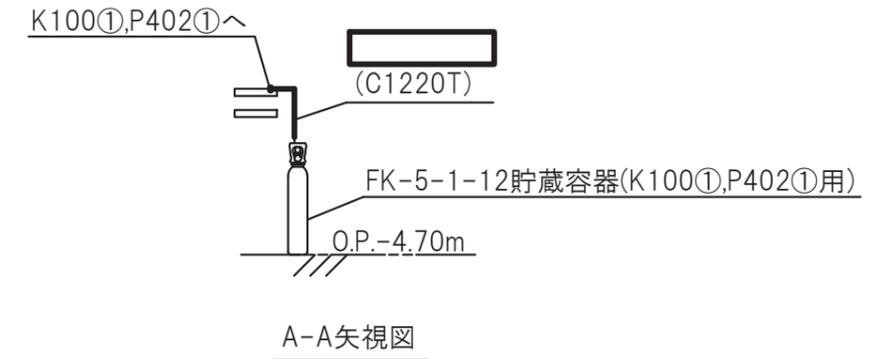
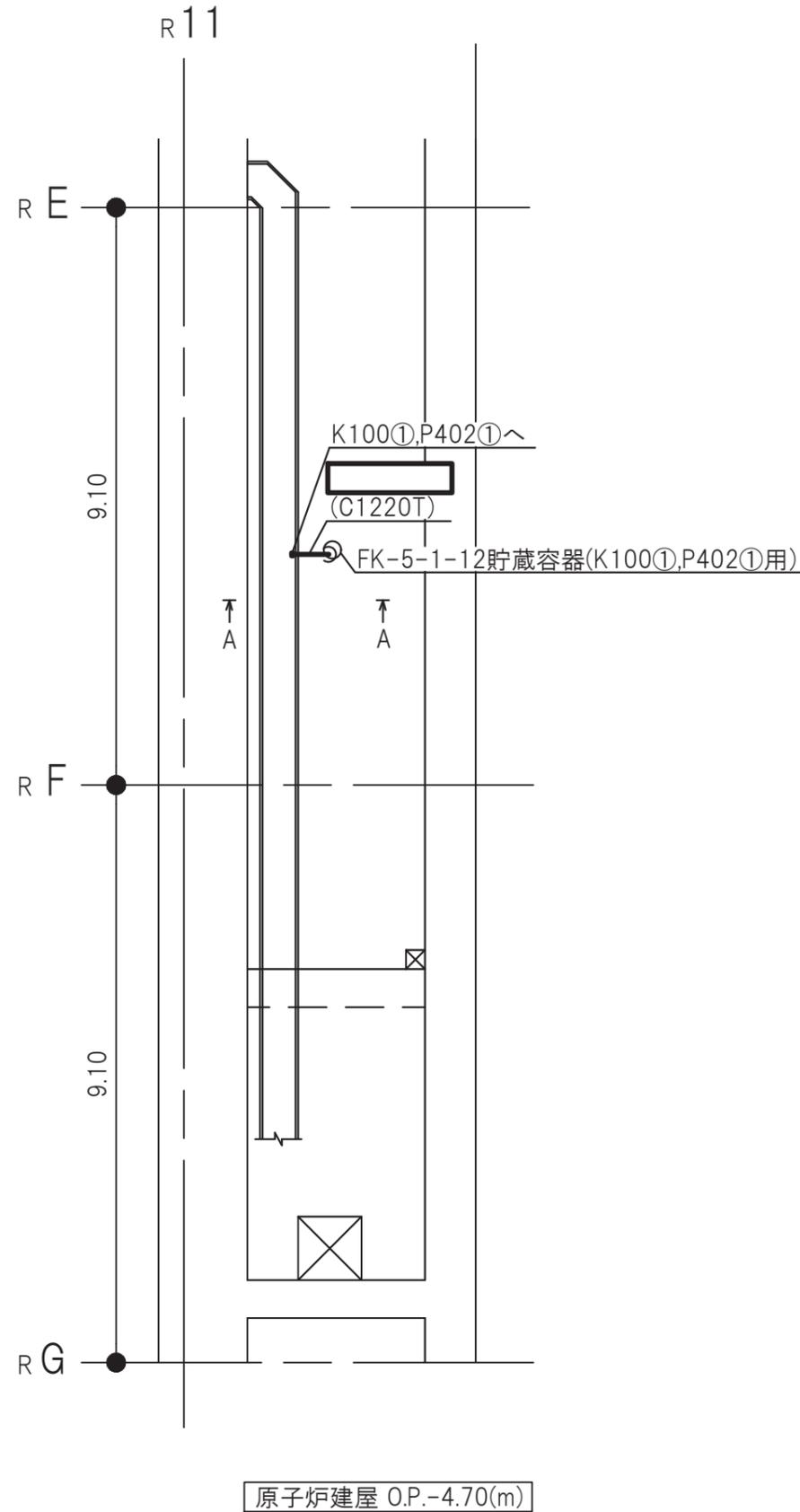
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



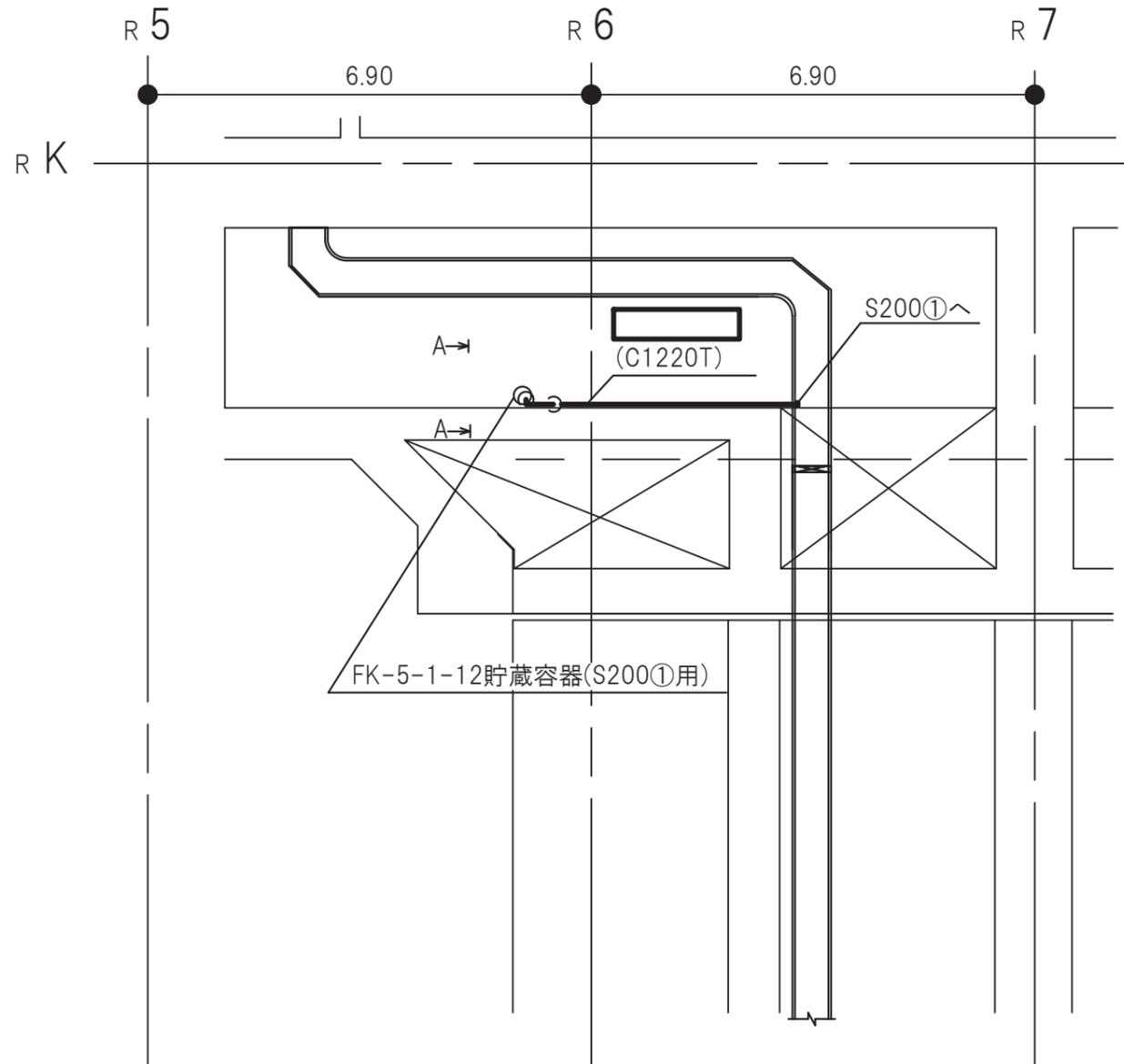
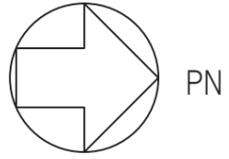
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|---|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-171図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P102①,C100②③用) |
| 東北電力株式会社 | |

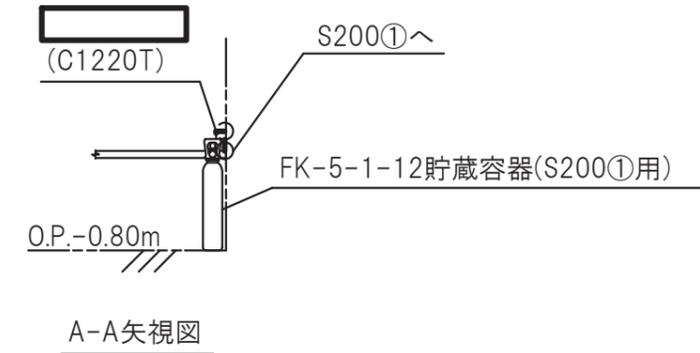


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-172図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K100①,P402①用) |
| 東北電力株式会社 | |



原子炉建屋 O.P.-0.80(m)

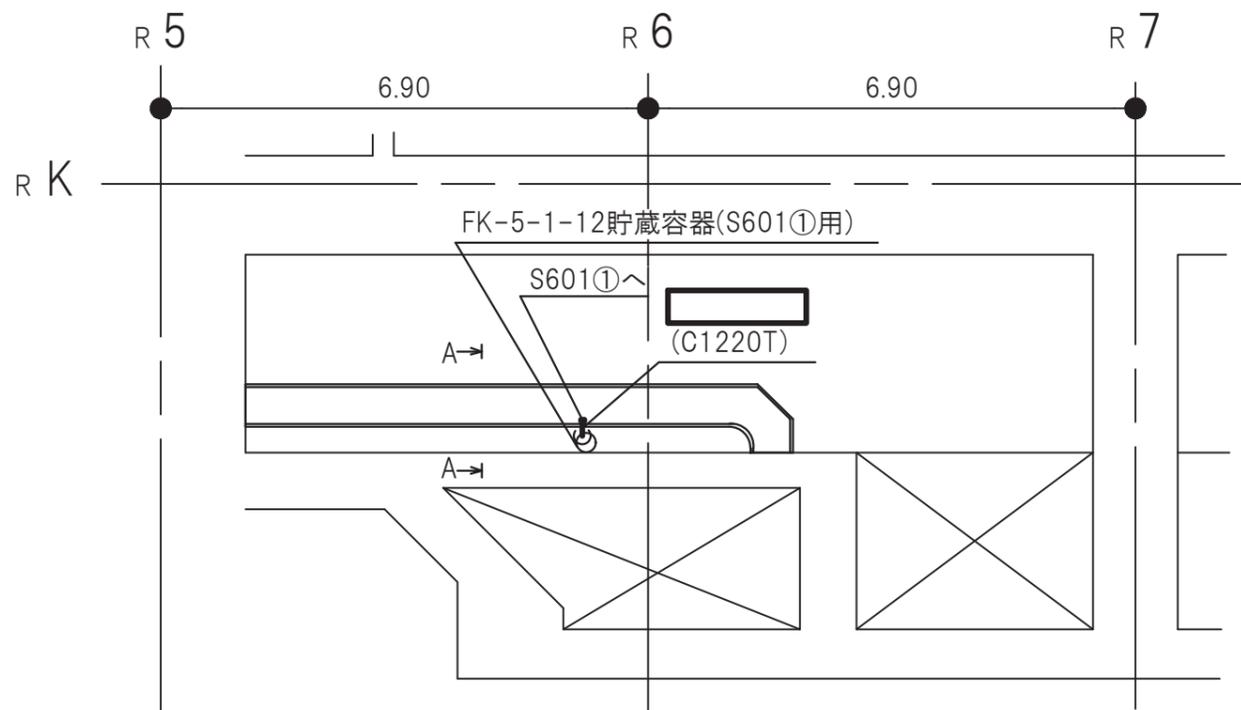


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

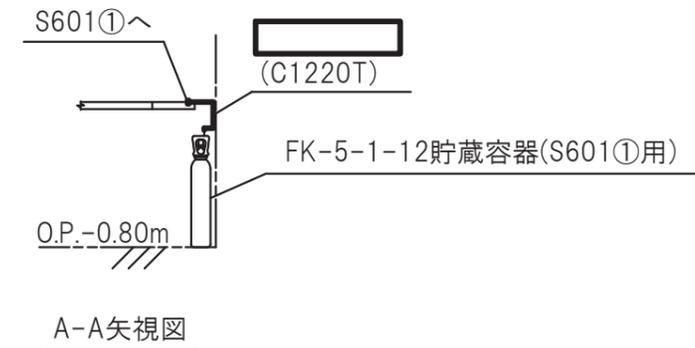
| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-173図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S200①用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



原子炉建屋 O.P.-0.80(m)



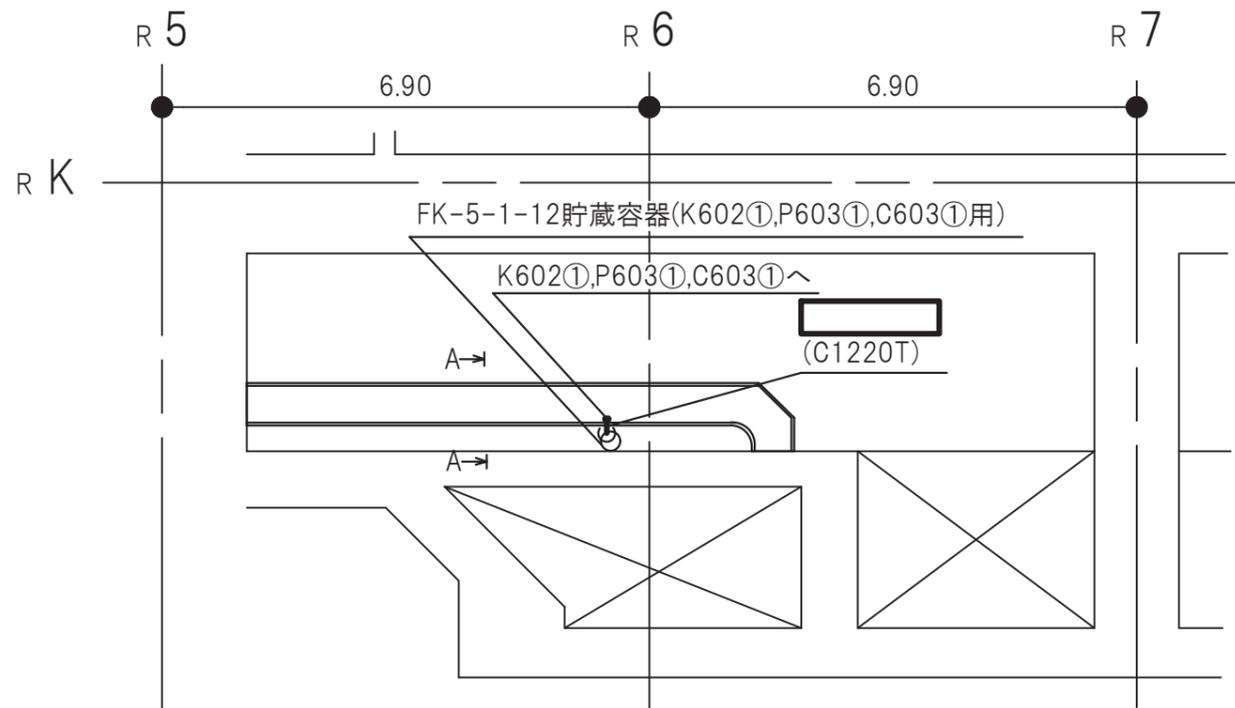
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

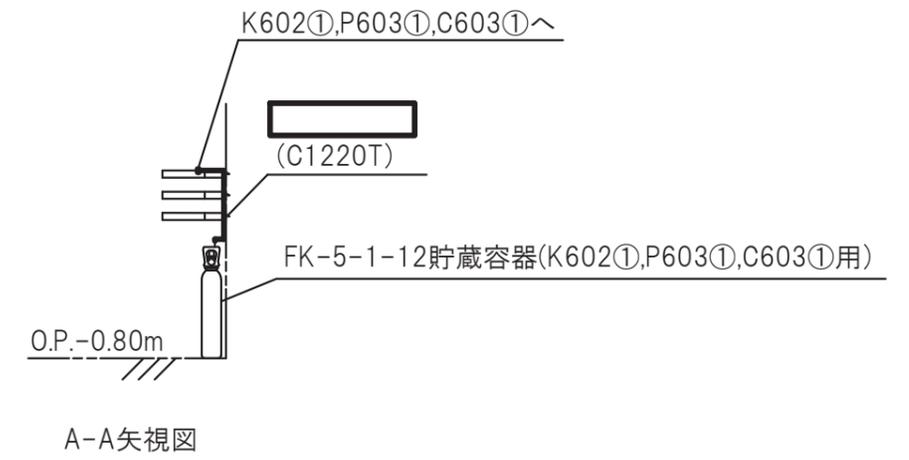
| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-174図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S601①用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



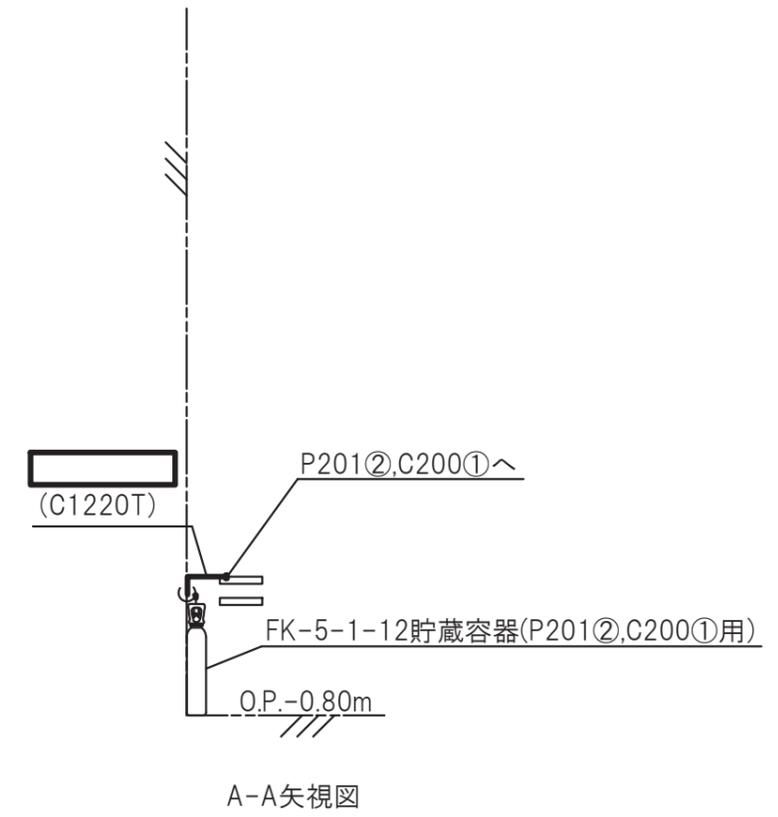
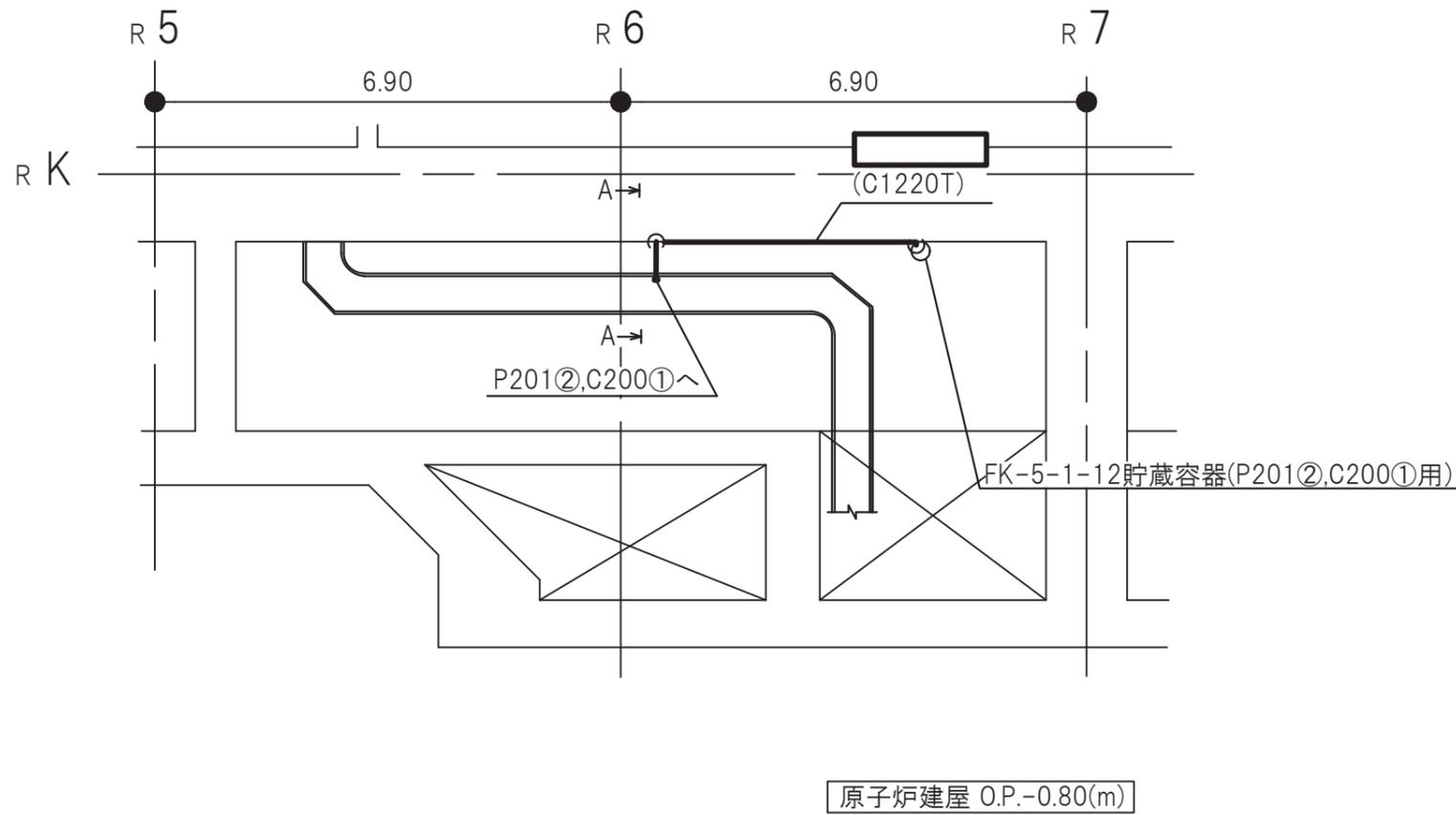
原子炉建屋 O.P.-0.80(m)



A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-175図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K602①,P603①,C603①用) |
| 東北電力株式会社 | |

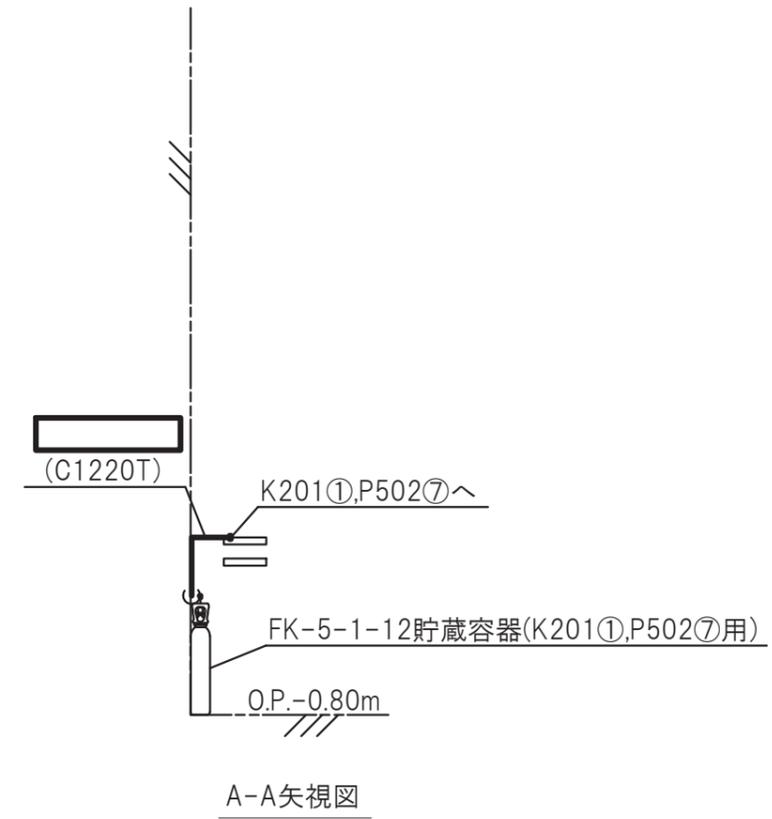
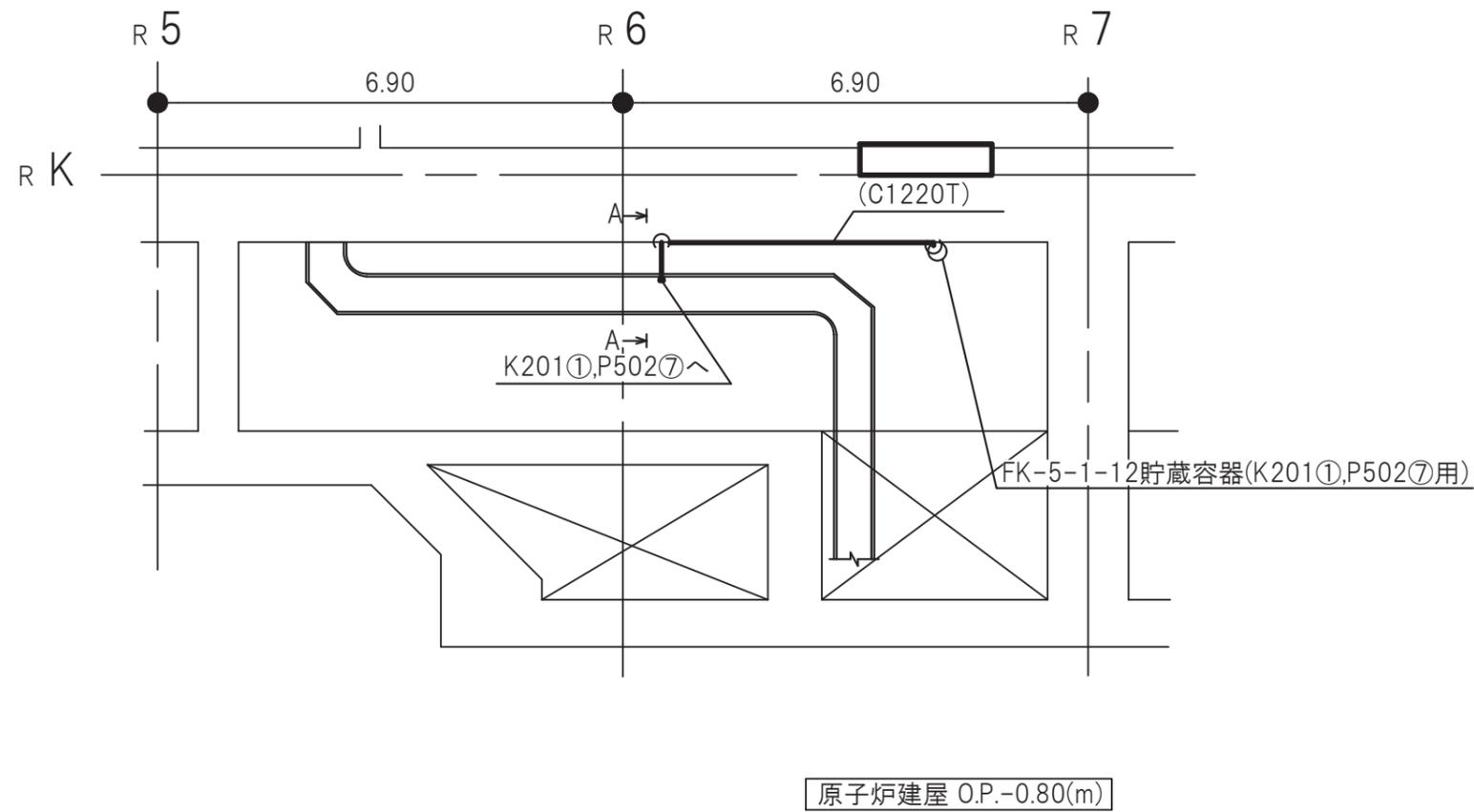


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-176図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P201②,C200①用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

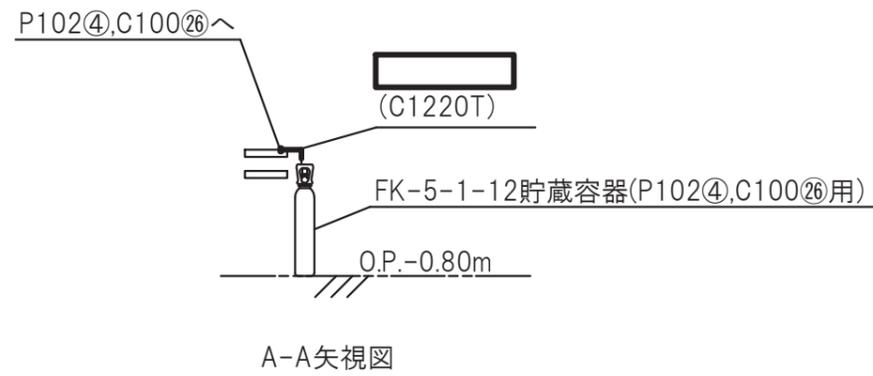
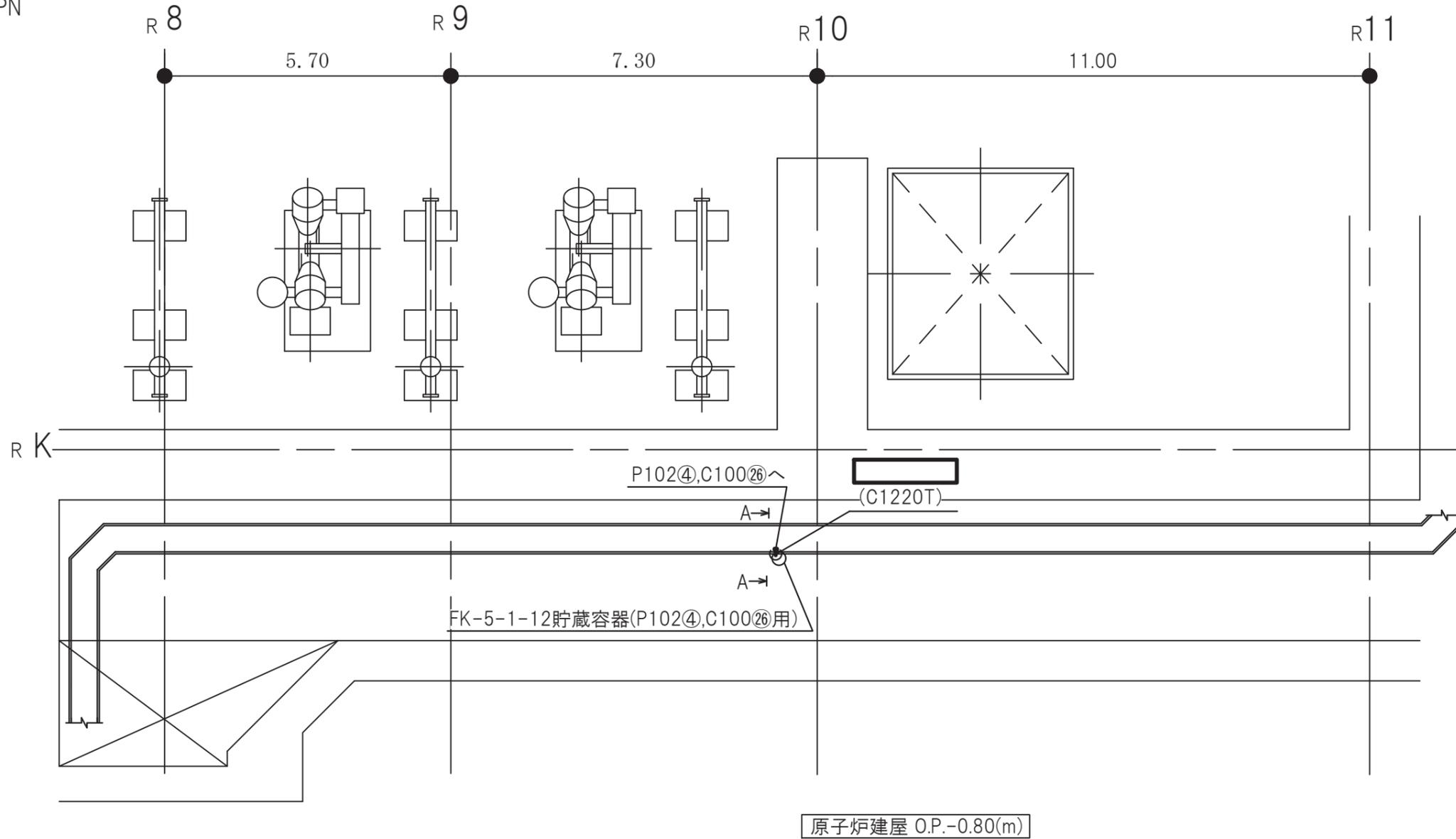


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-177図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K201①,P502⑦用) |
| 東北電力株式会社 | |

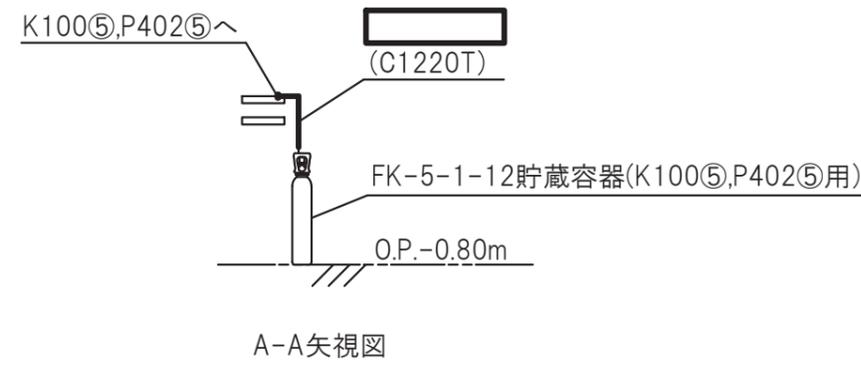
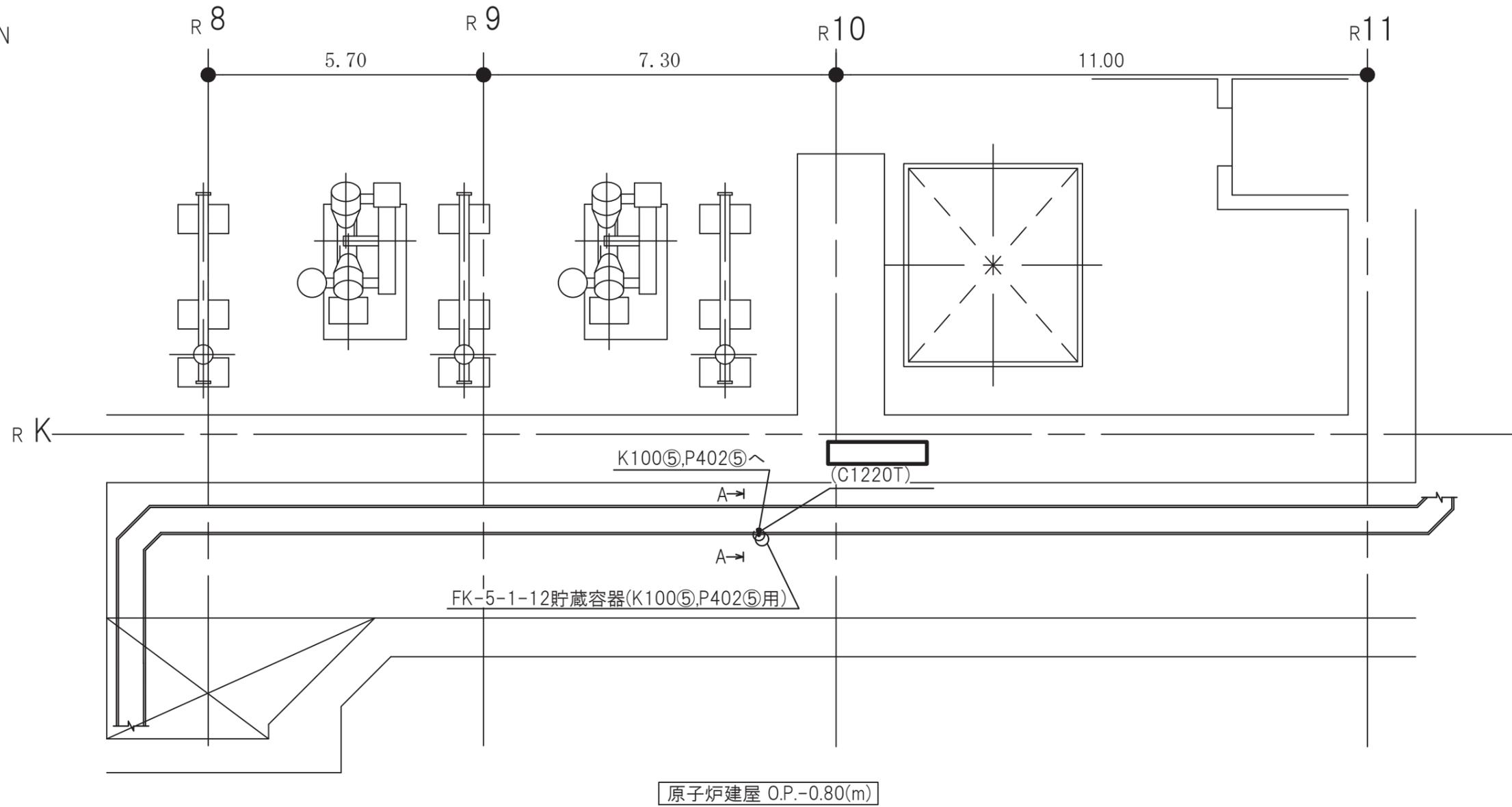
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

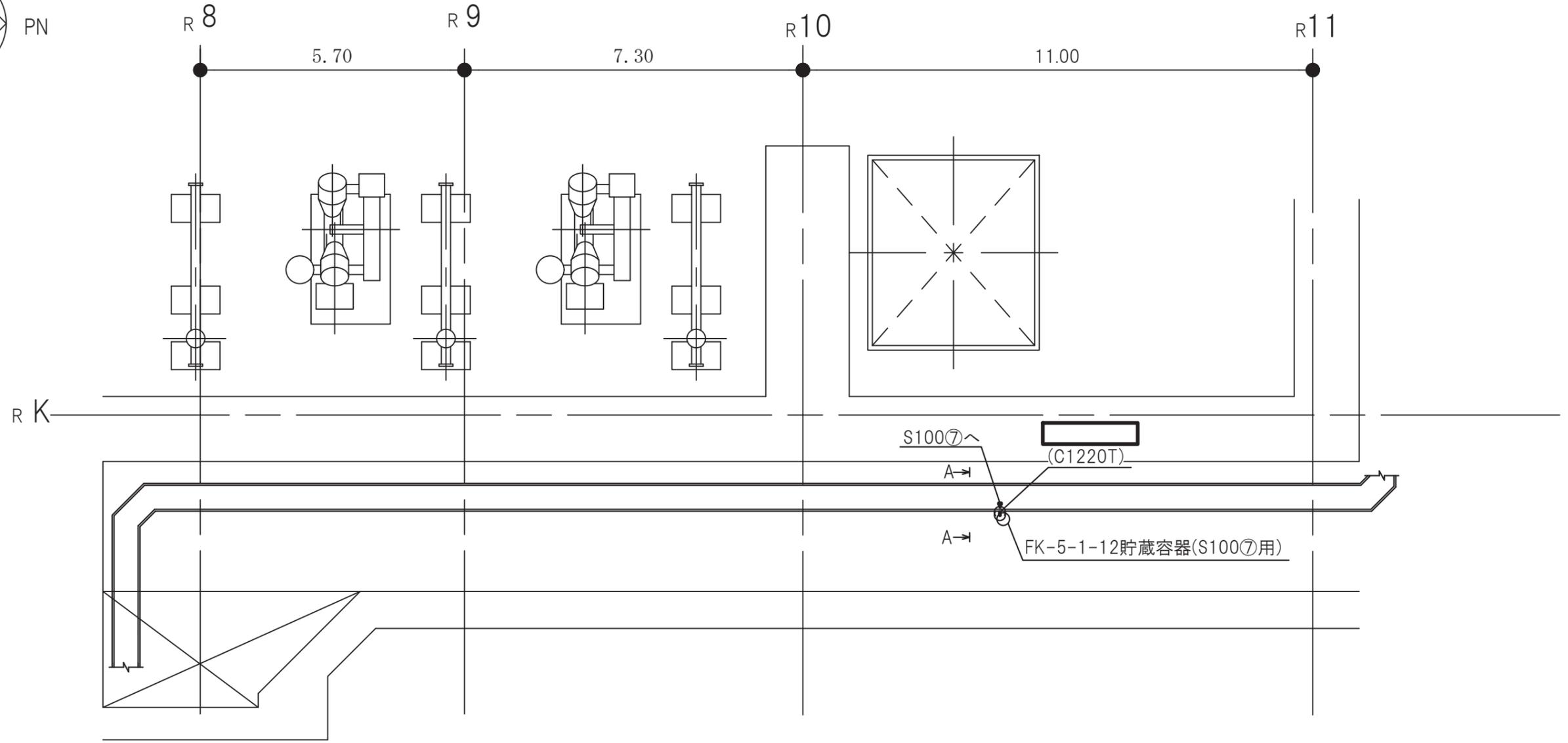
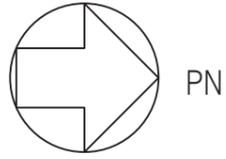
| | |
|---------------|---|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-178図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P102④,C100②⑥用) |
| 東北電力株式会社 | |



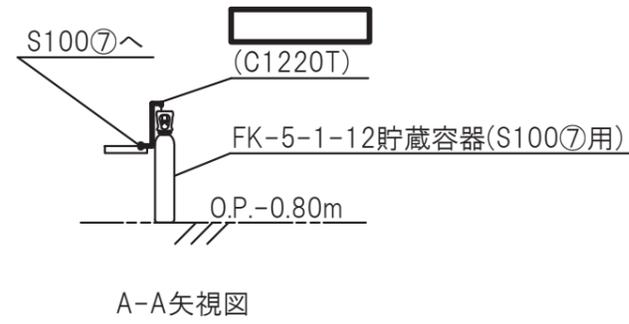
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|---|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-179図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K100㊥, P402㊥用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



原子炉建屋 O.P.-0.80(m)

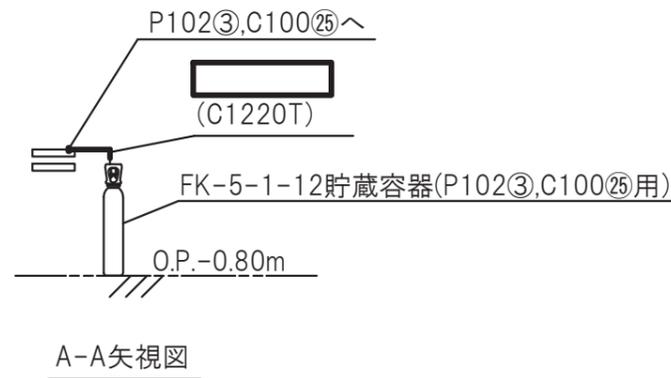
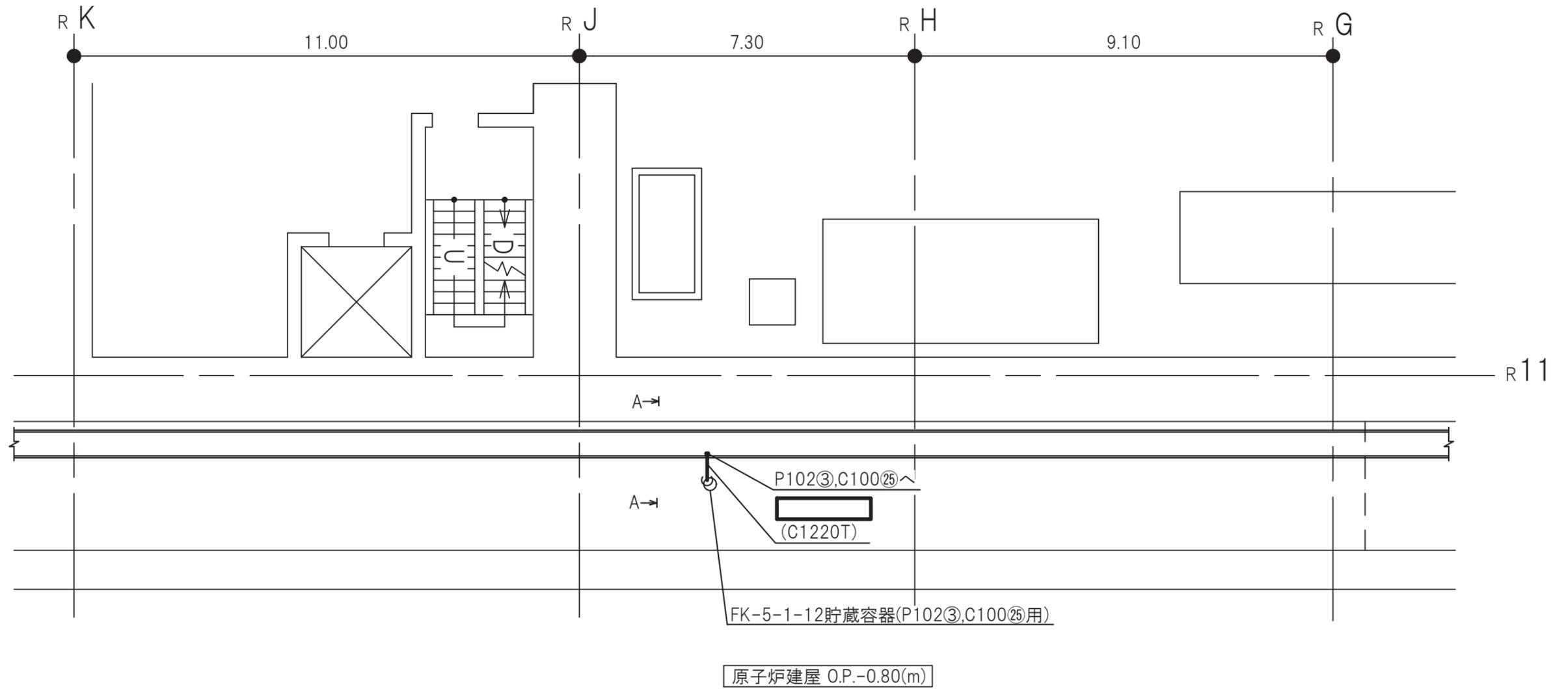
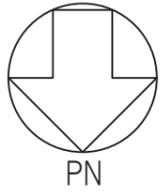


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-180図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S100用) |
| 東北電力株式会社 | |

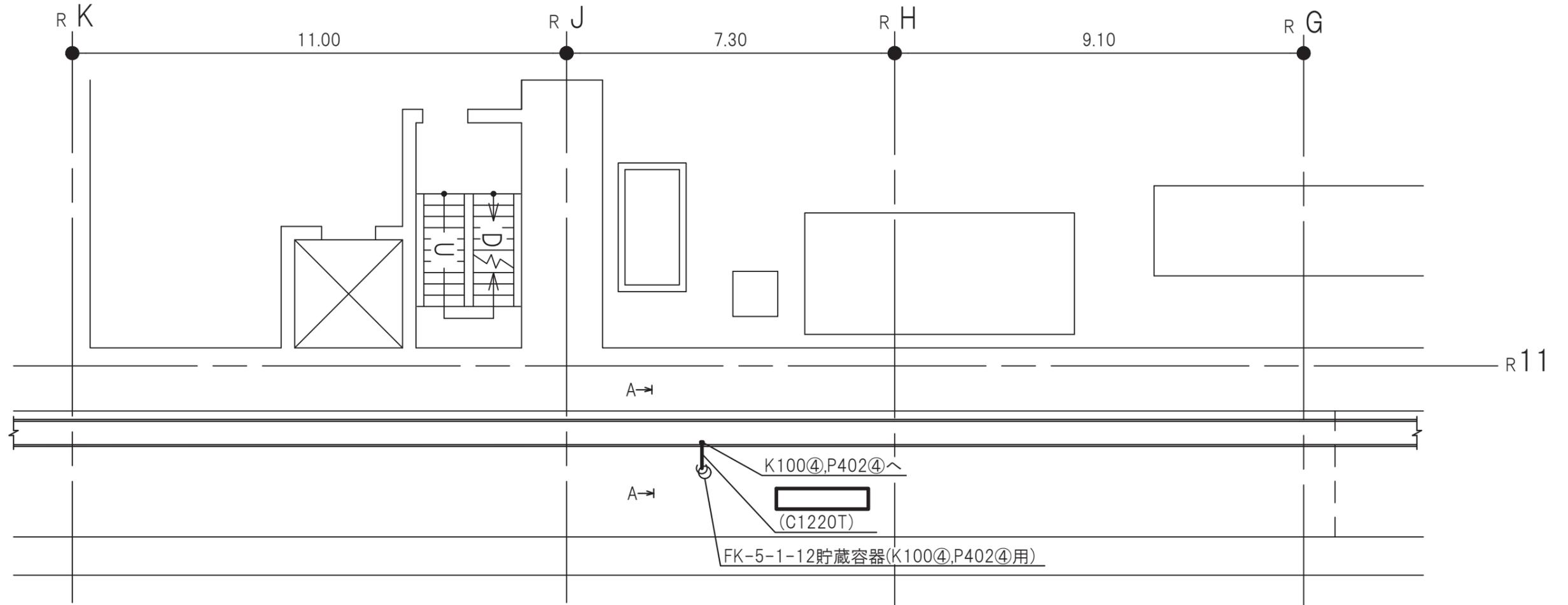
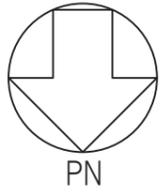
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

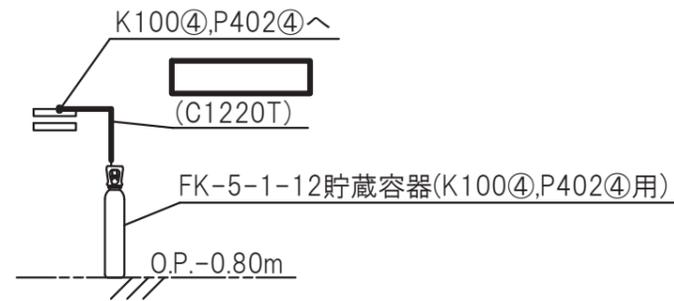


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-181図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P102③,C100㊸用) |
| 東北電力株式会社 | |



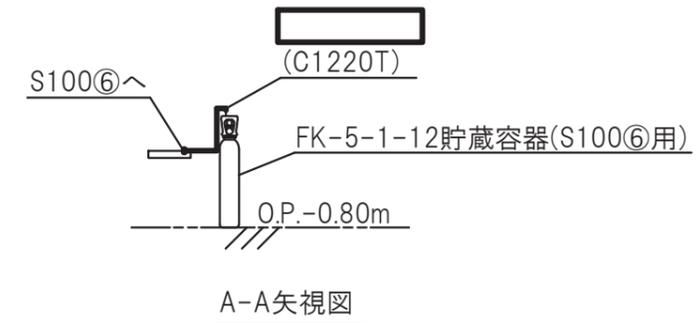
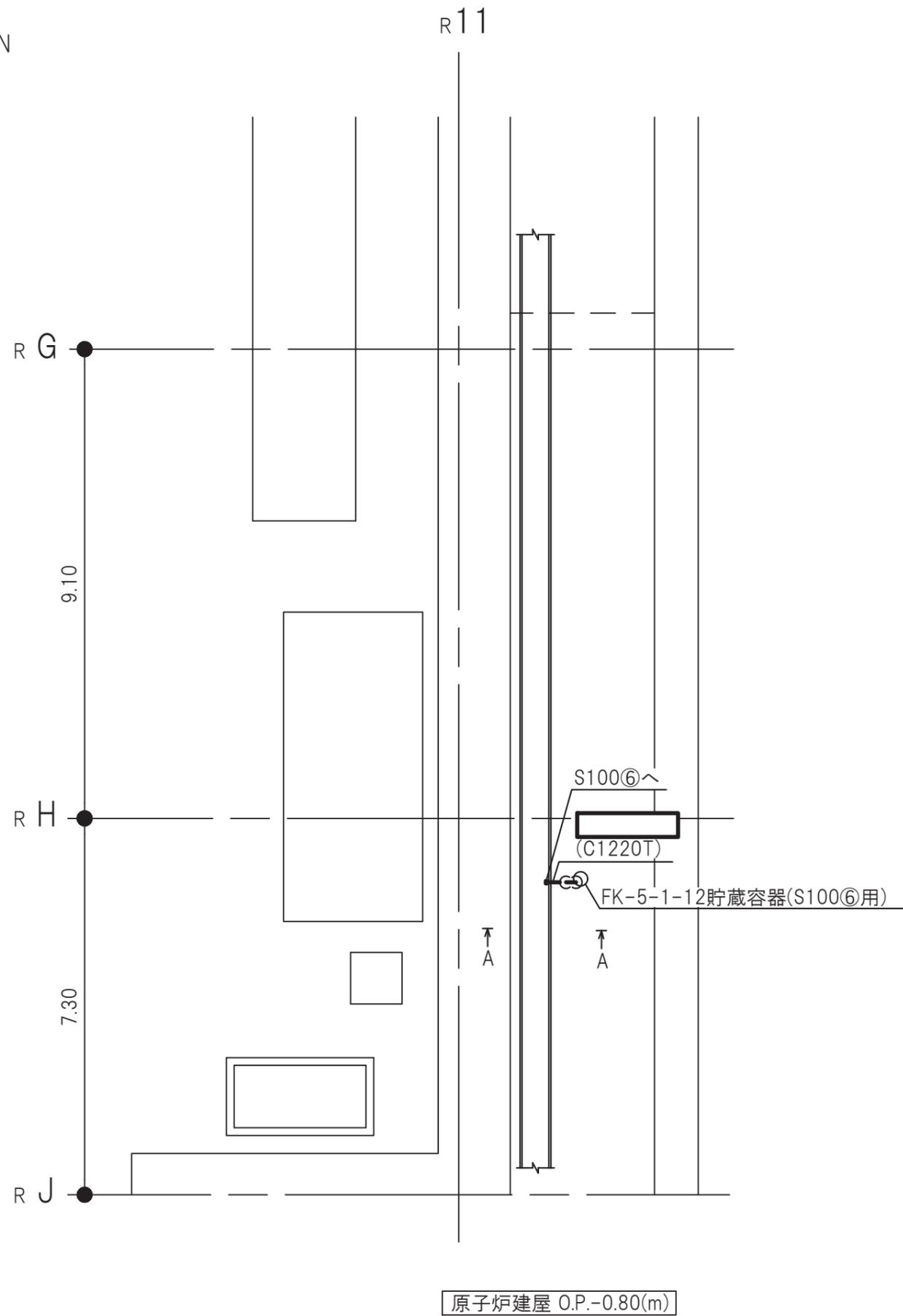
原子炉建屋 O.P.-0.80(m)



A-A矢視図

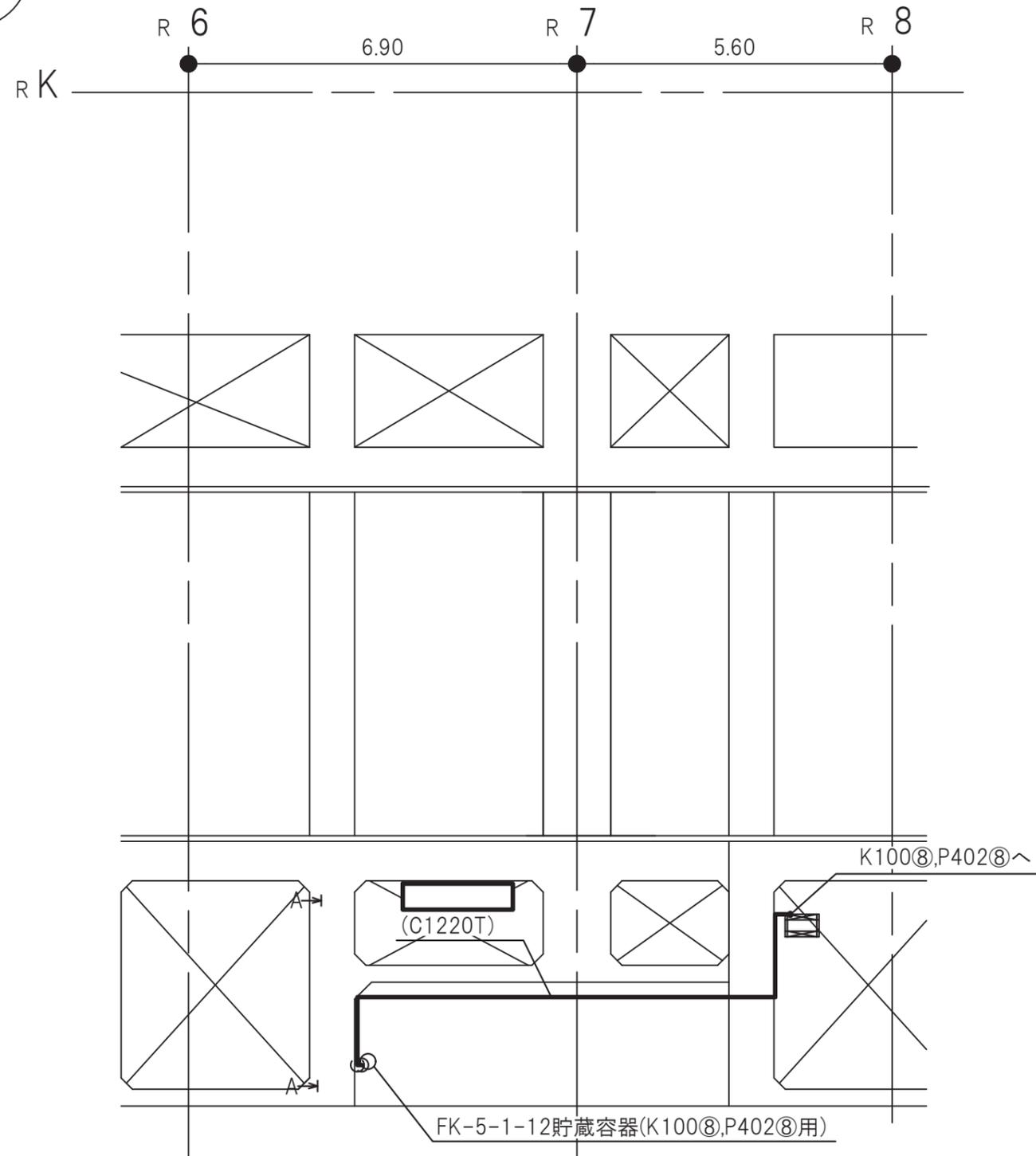
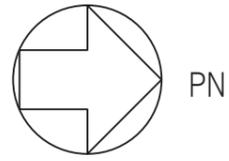
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-182図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K100④,P402④用) |
| 東北電力株式会社 | |

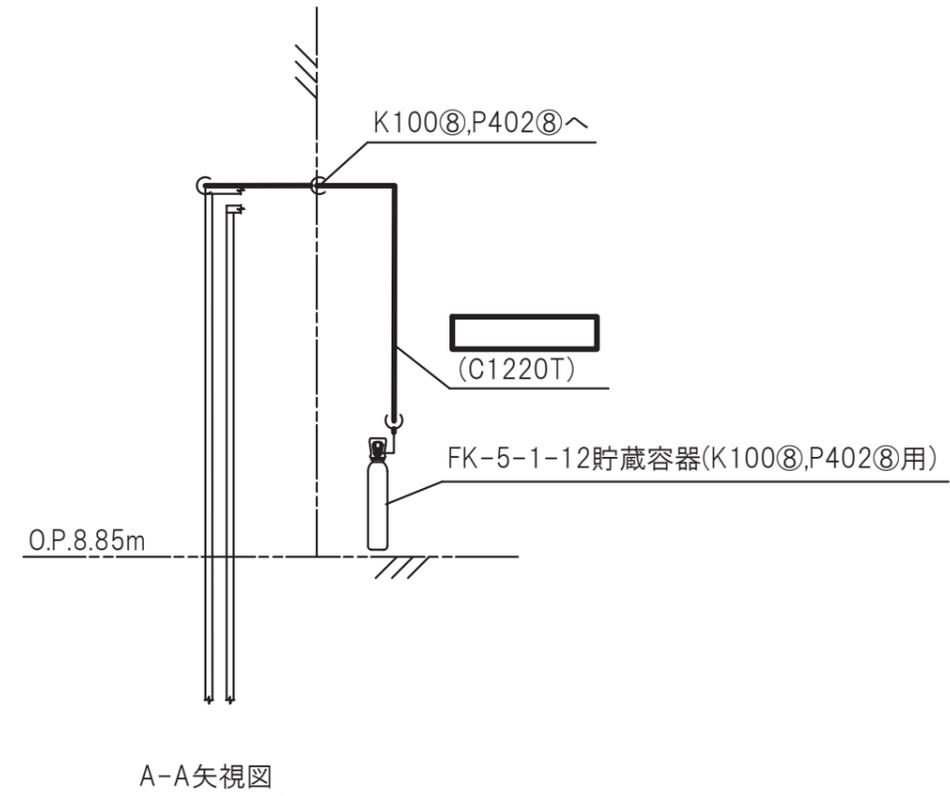


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-183図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S100㊟用) |
| 東北電力株式会社 | |

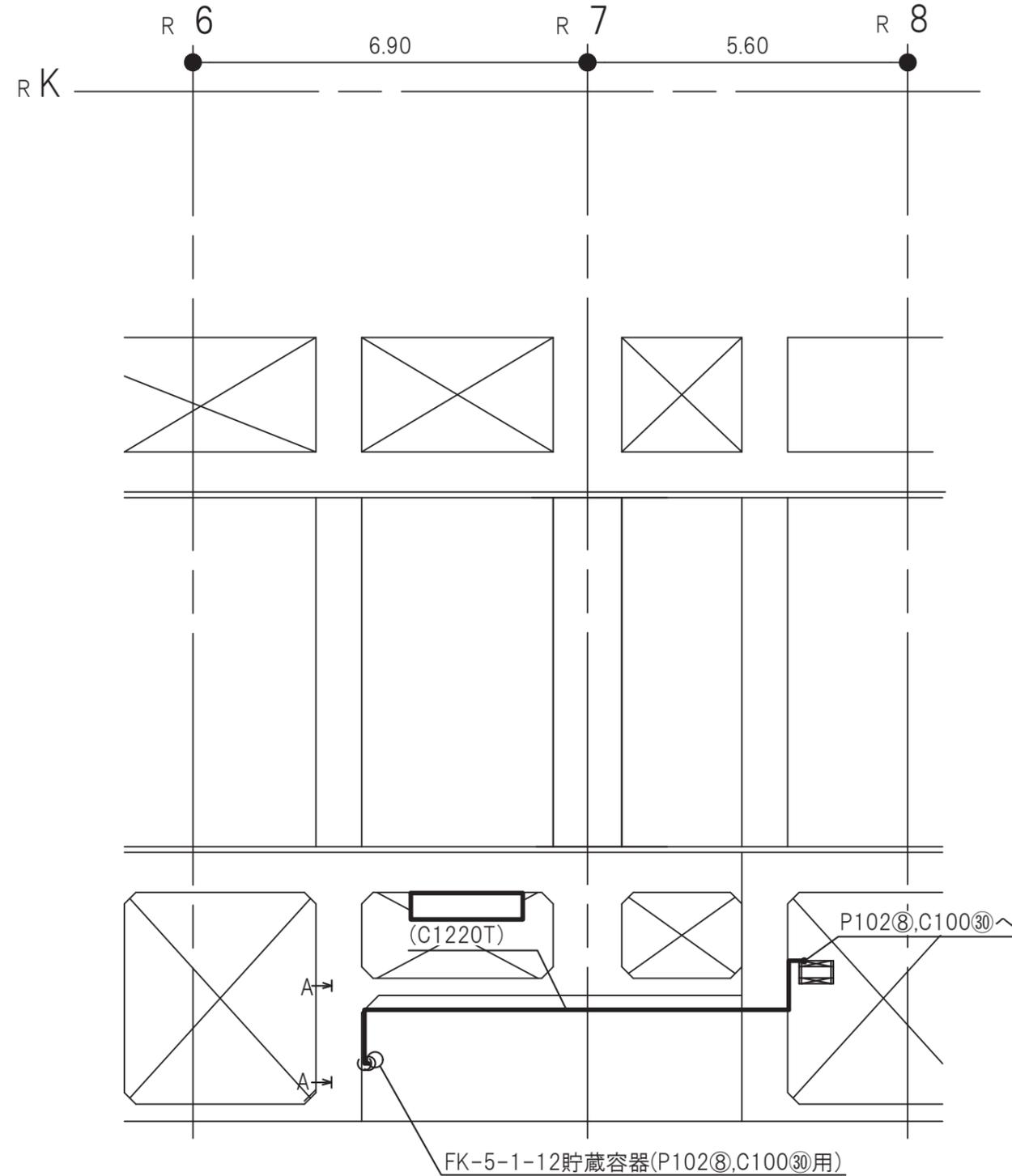


補機冷却系トレンチ O.P.8.85(m)

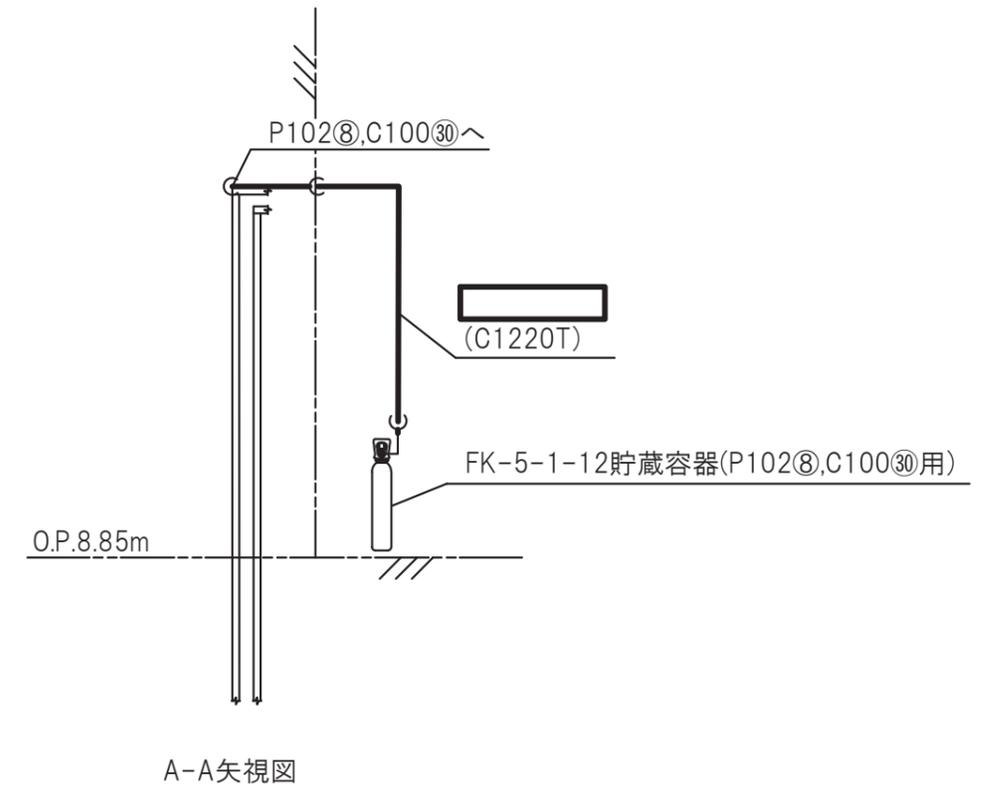


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|---|
| 補機冷却系トレンチ | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-184図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K100㊸, P402㊸用) |
| 東北電力株式会社 | |



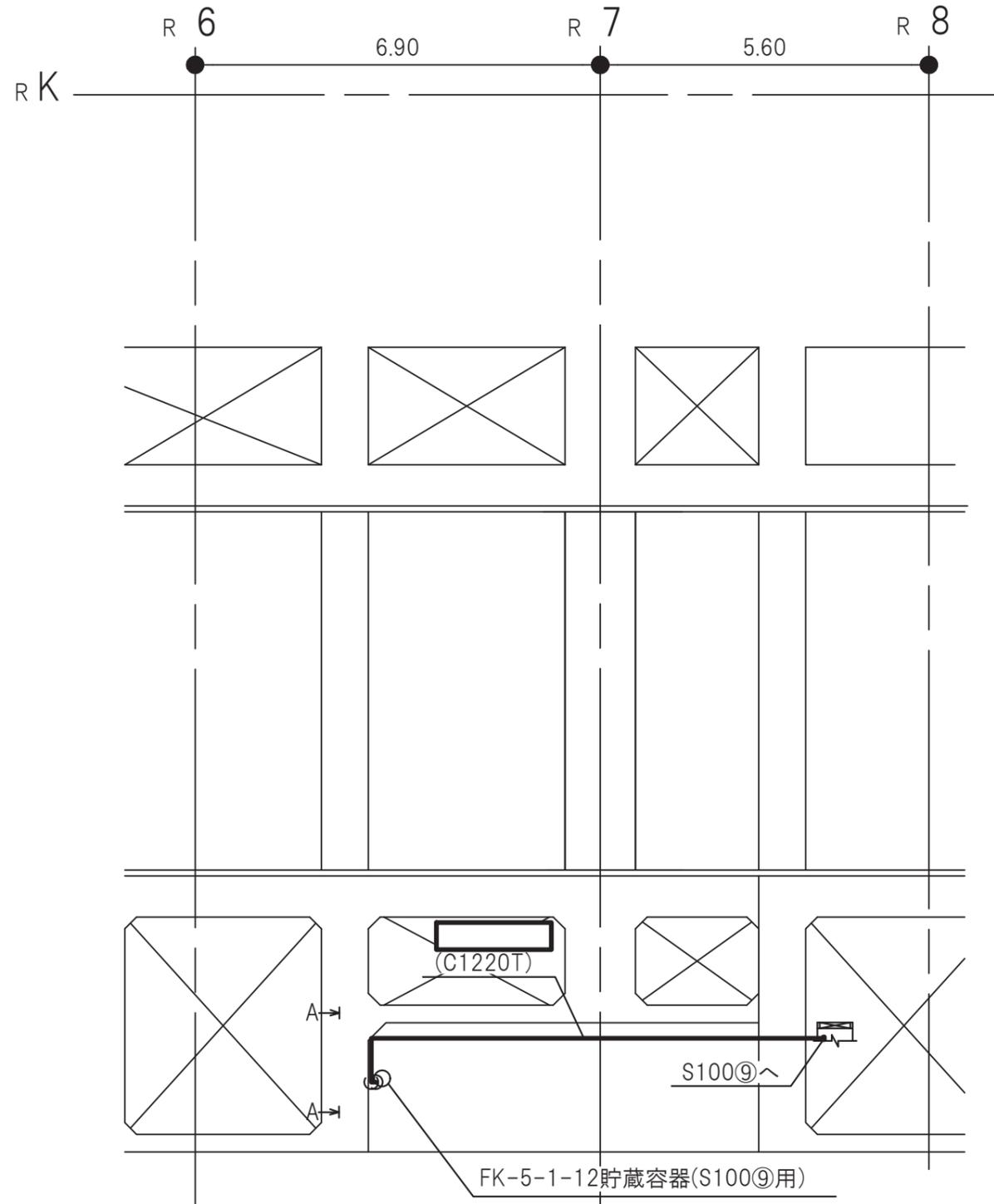
補機冷却系トレンチ O.P.8.85(m)



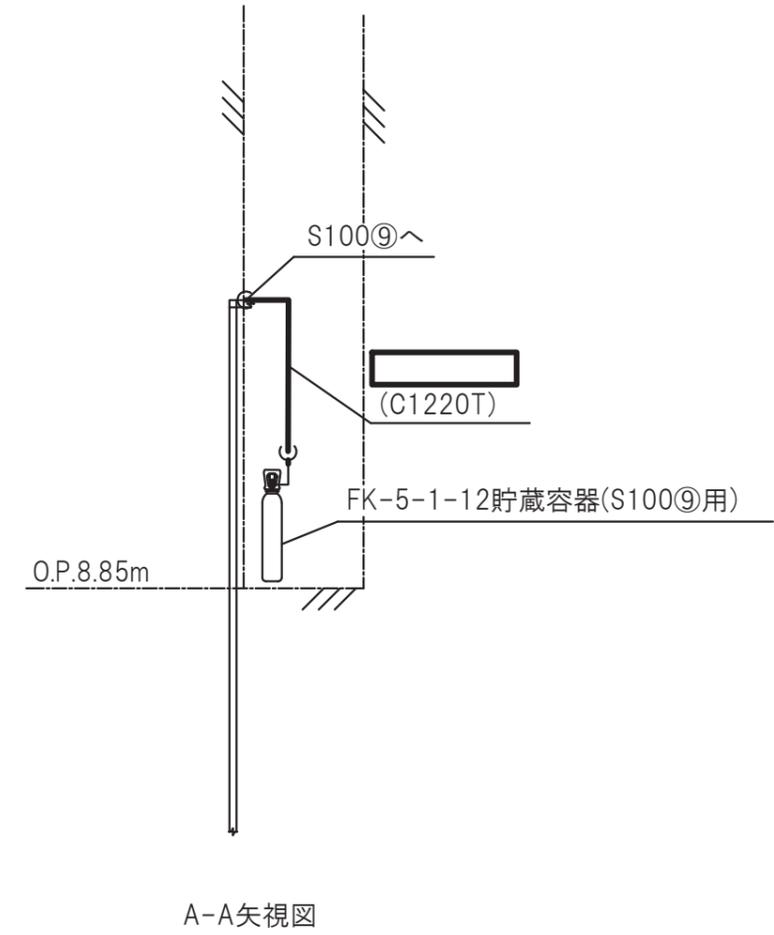
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 補機冷却系トレンチ | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-185図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P102㊸,C100㊸用) |
| 東北電力株式会社 | |



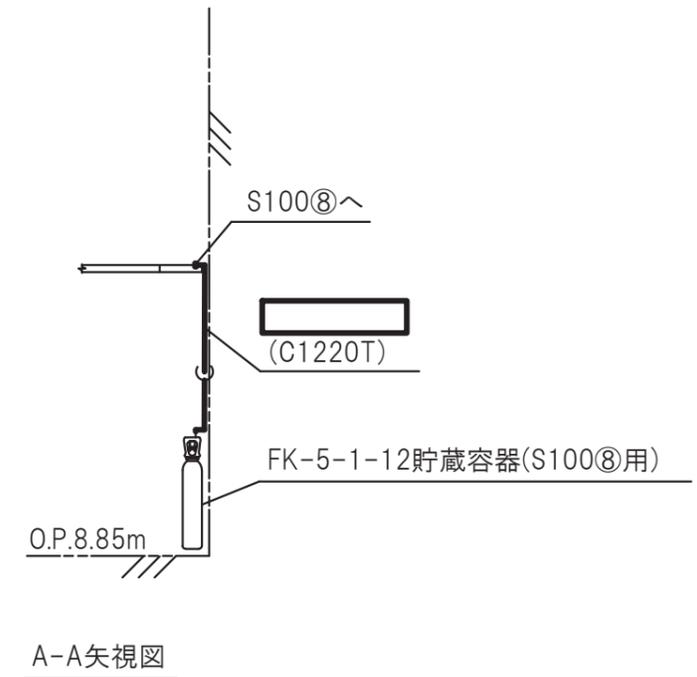
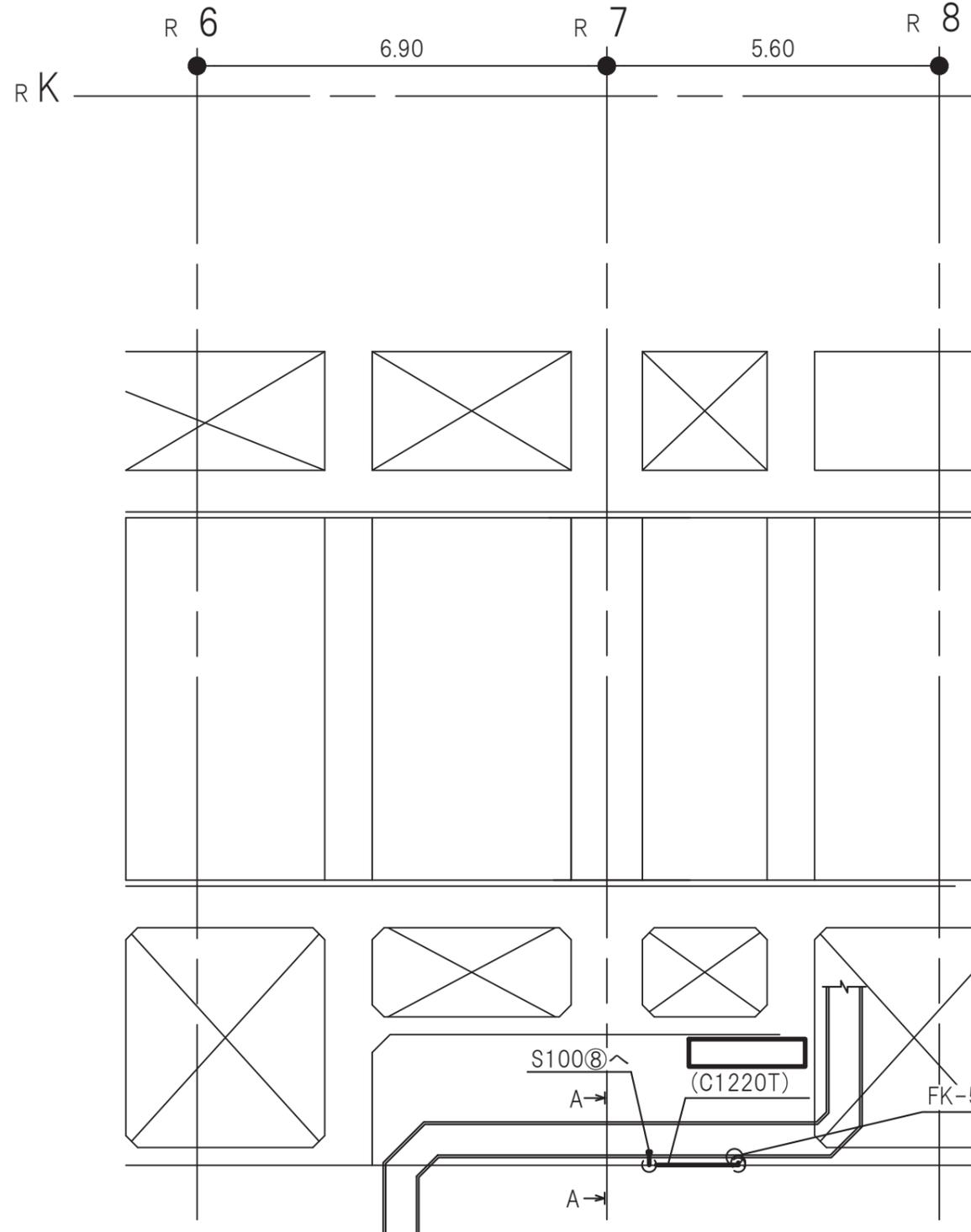
補機冷却系トレンチ O.P.8.85(m)



A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

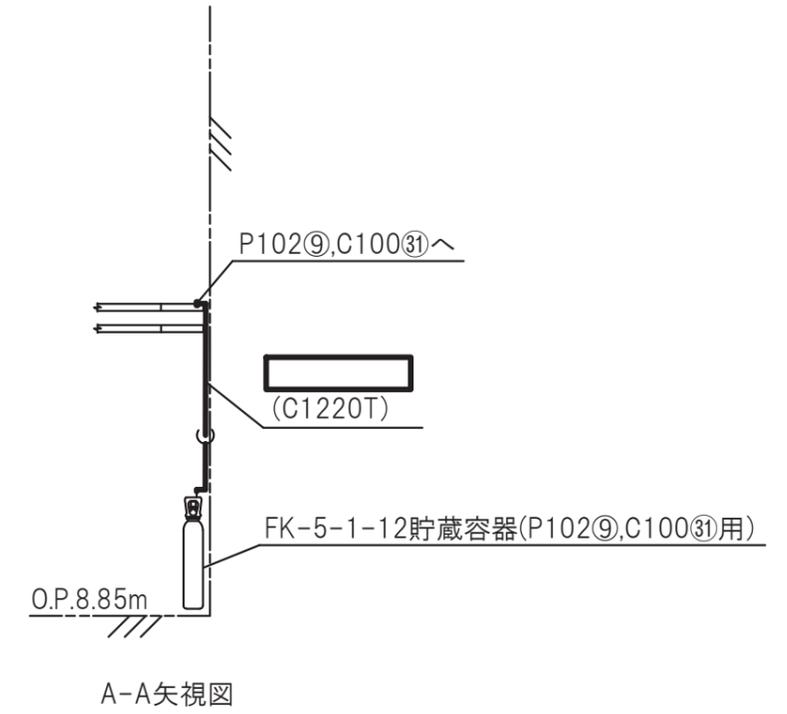
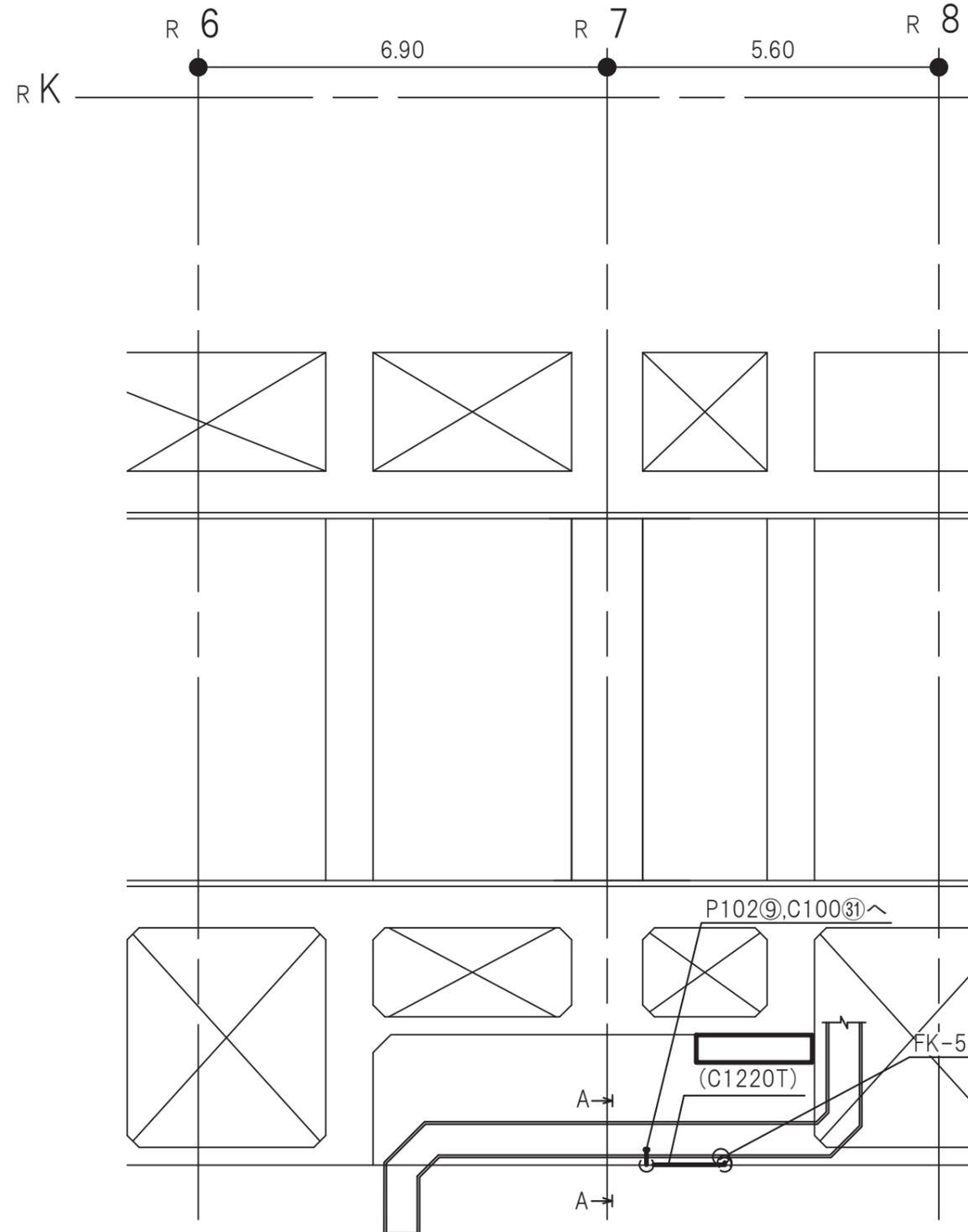
| | |
|---------------|------------------------------------|
| 補機冷却系トレンチ | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-186図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S100㊟用) |
| 東北電力株式会社 | |



補機冷却系トレンチ O.P.8.85(m)

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

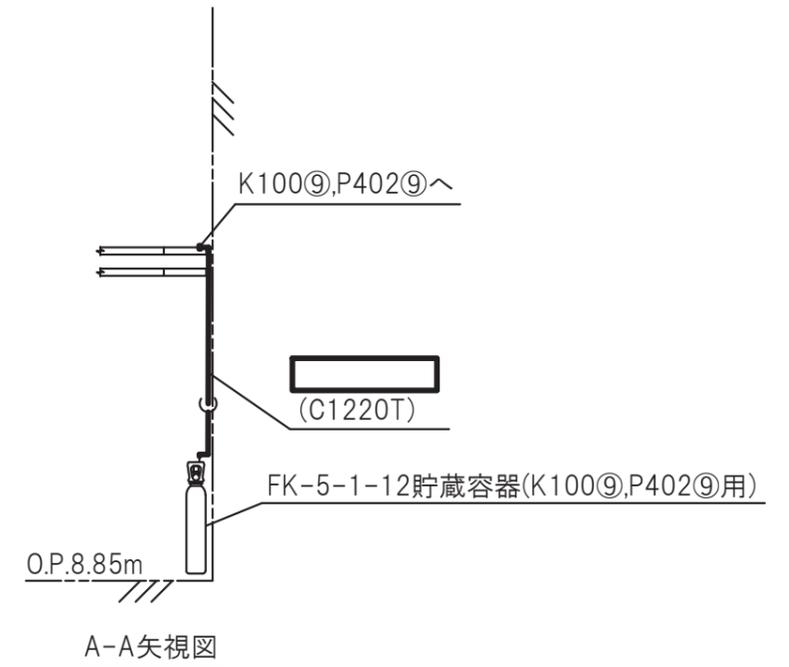
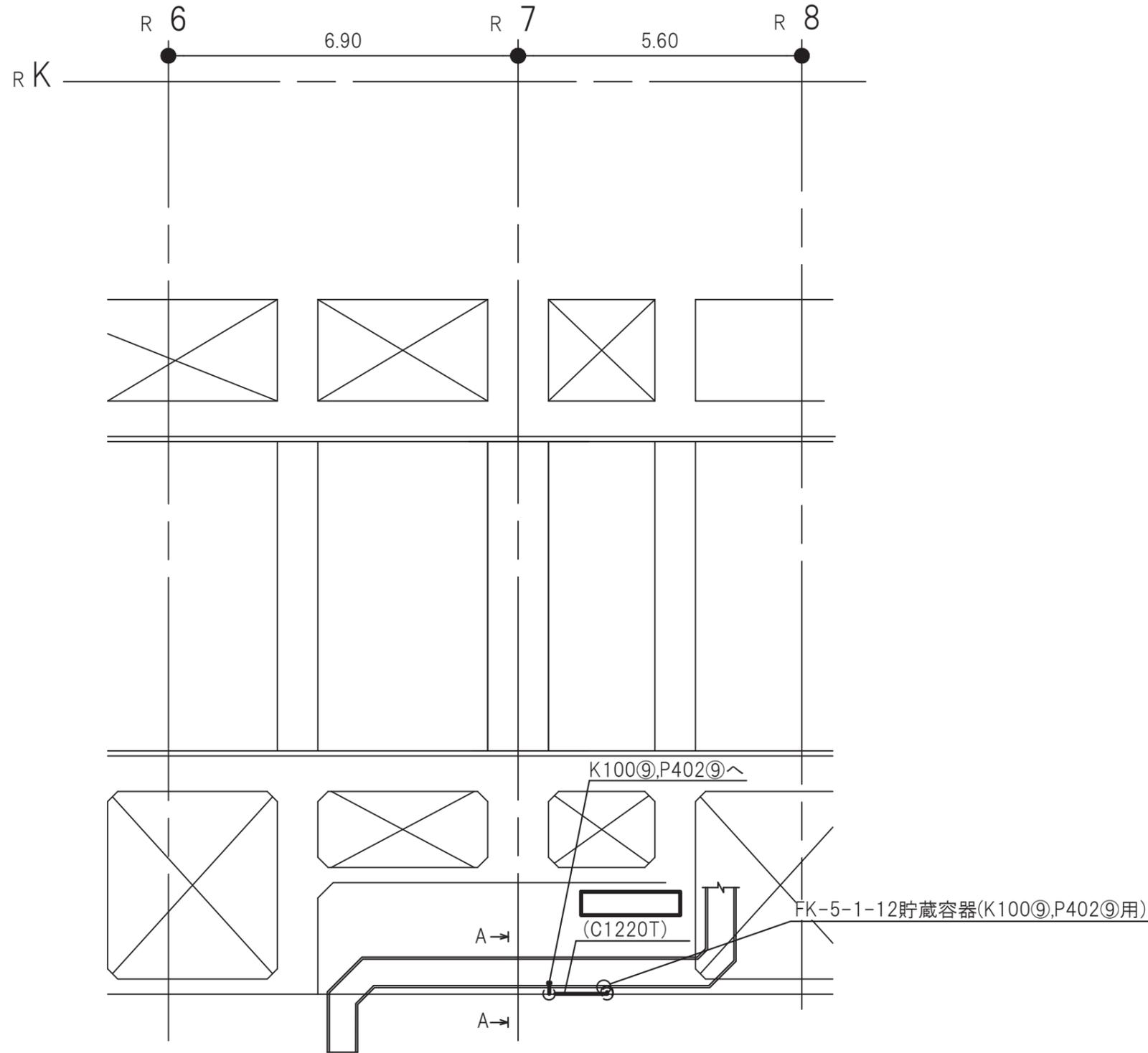
| | |
|---------------|------------------------------------|
| 補機冷却系トレンチ | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-187図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S100㊸用) |
| 東北電力株式会社 | |



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

補機冷却系トレンチ O.P.8.85(m)

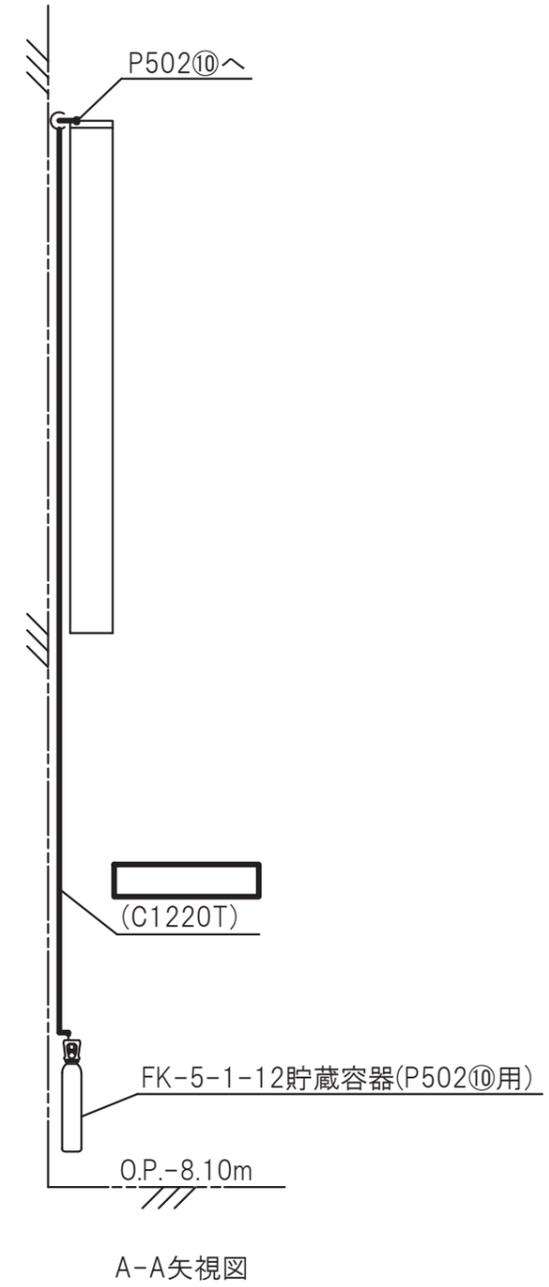
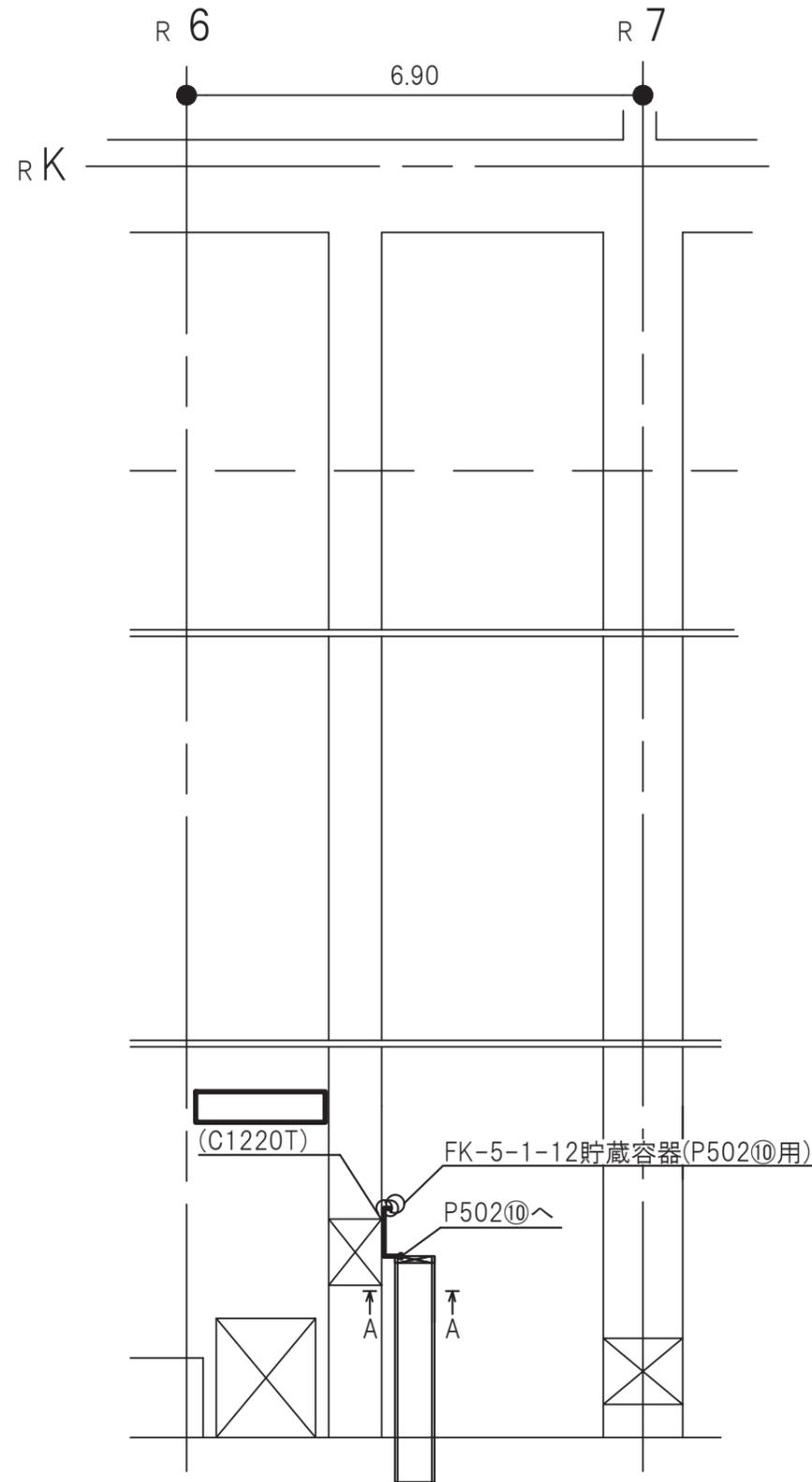
| | |
|---------------|---|
| 補機冷却系トレンチ | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-188図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P102(9),C100(31)用) |
| 東北電力株式会社 | |



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 補機冷却系トレンチ | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-189図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K100@,P402@用) |
| 東北電力株式会社 | |

補機冷却系トレンチ O.P.8.85(m)



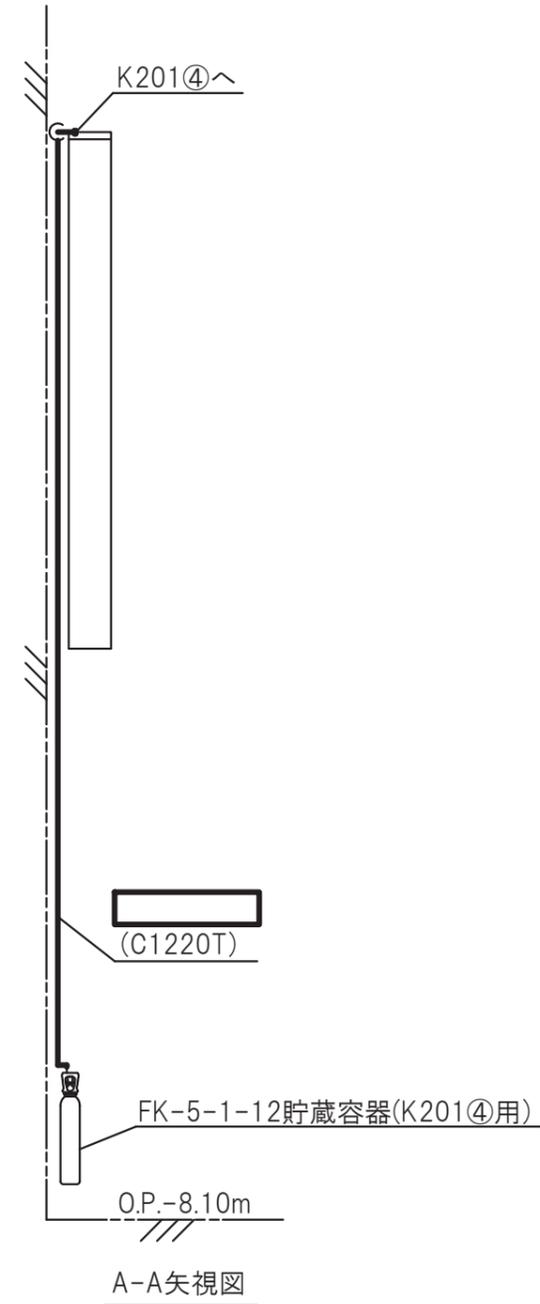
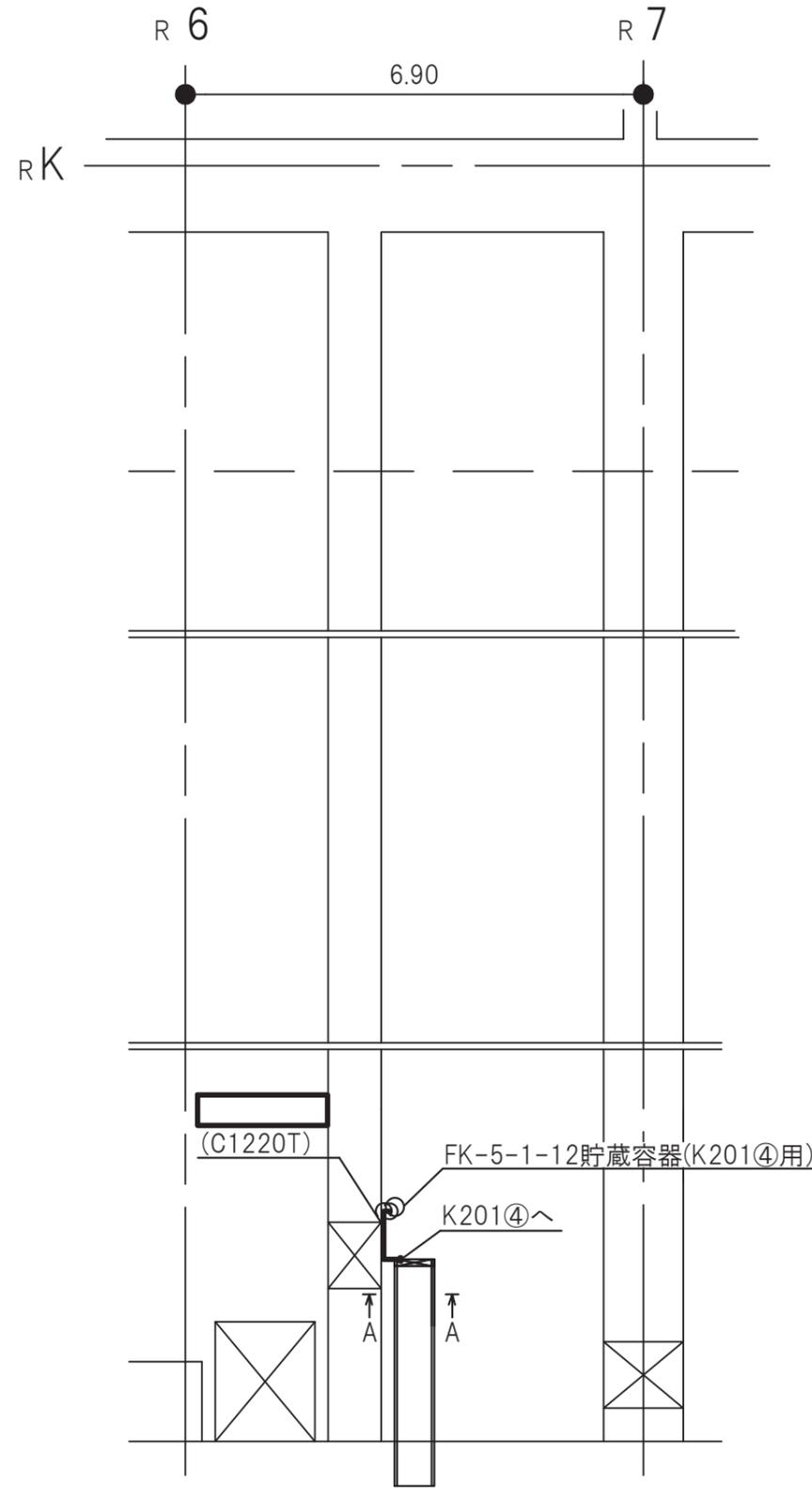
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

補機冷却系トレンチ O.P.-8.10(m)

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 補機冷却系トレンチ | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-190図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P502⑩用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

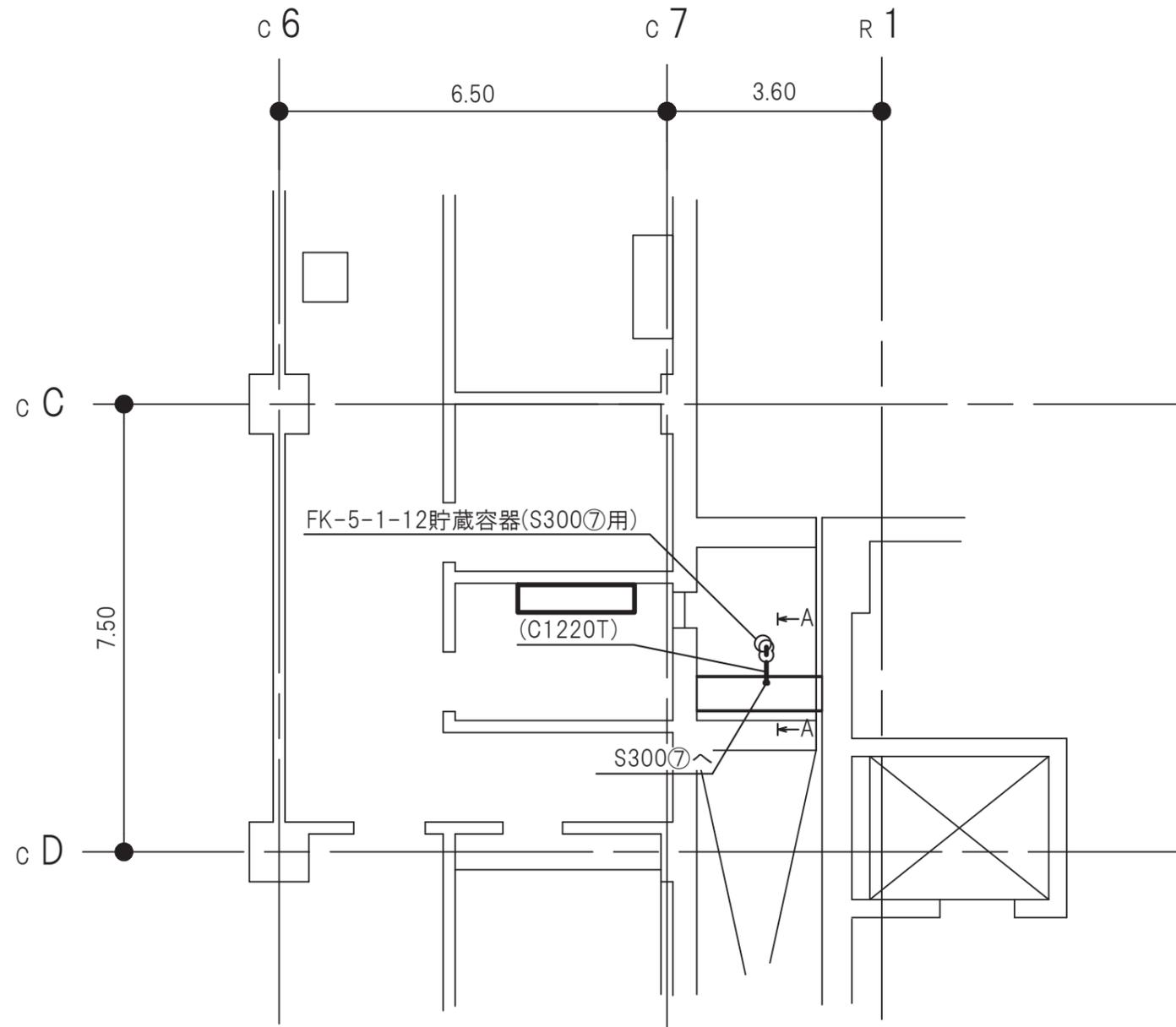


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

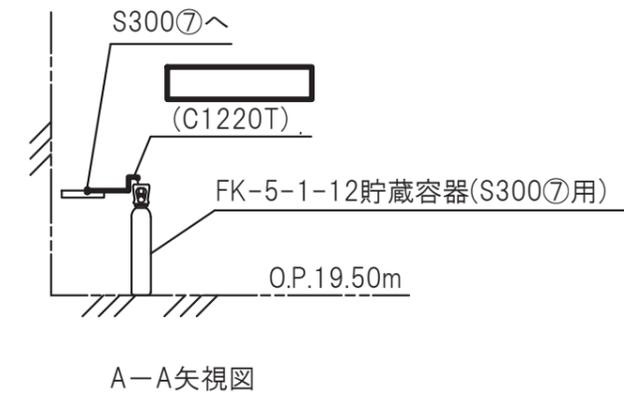
補機冷却系トレンチ

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-191図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K201④用) |
| 東北電力株式会社 | |

補機冷却系トレンチ O.P.-8.10(m)



制御建屋 O.P.19.50(m)

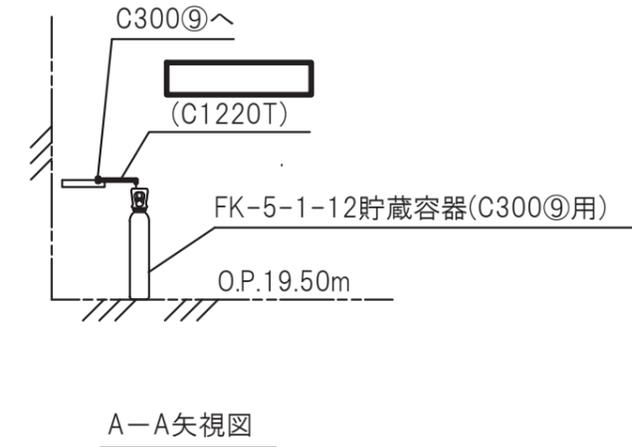
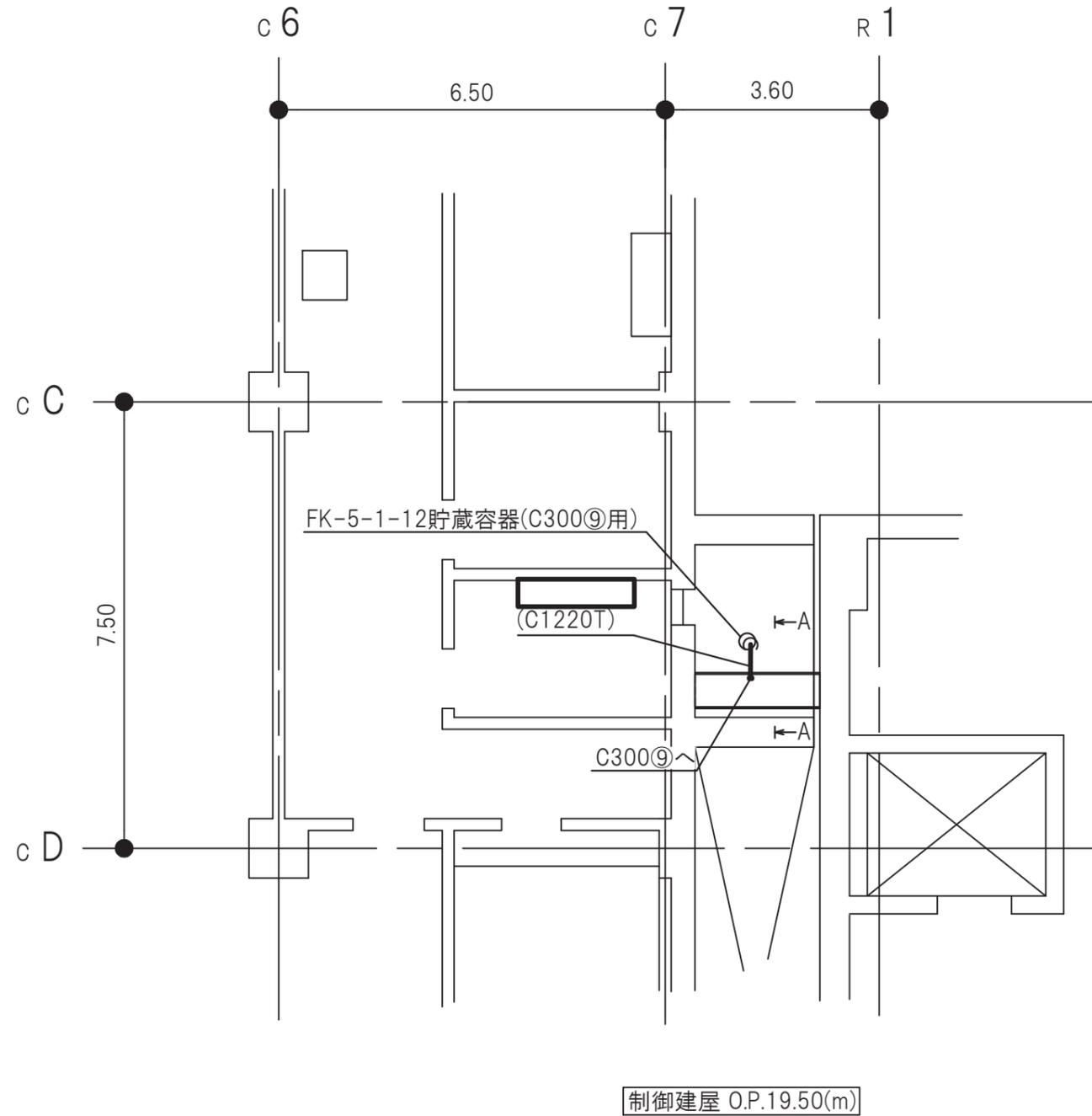


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-192図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S300用) |
| 東北電力株式会社 | |

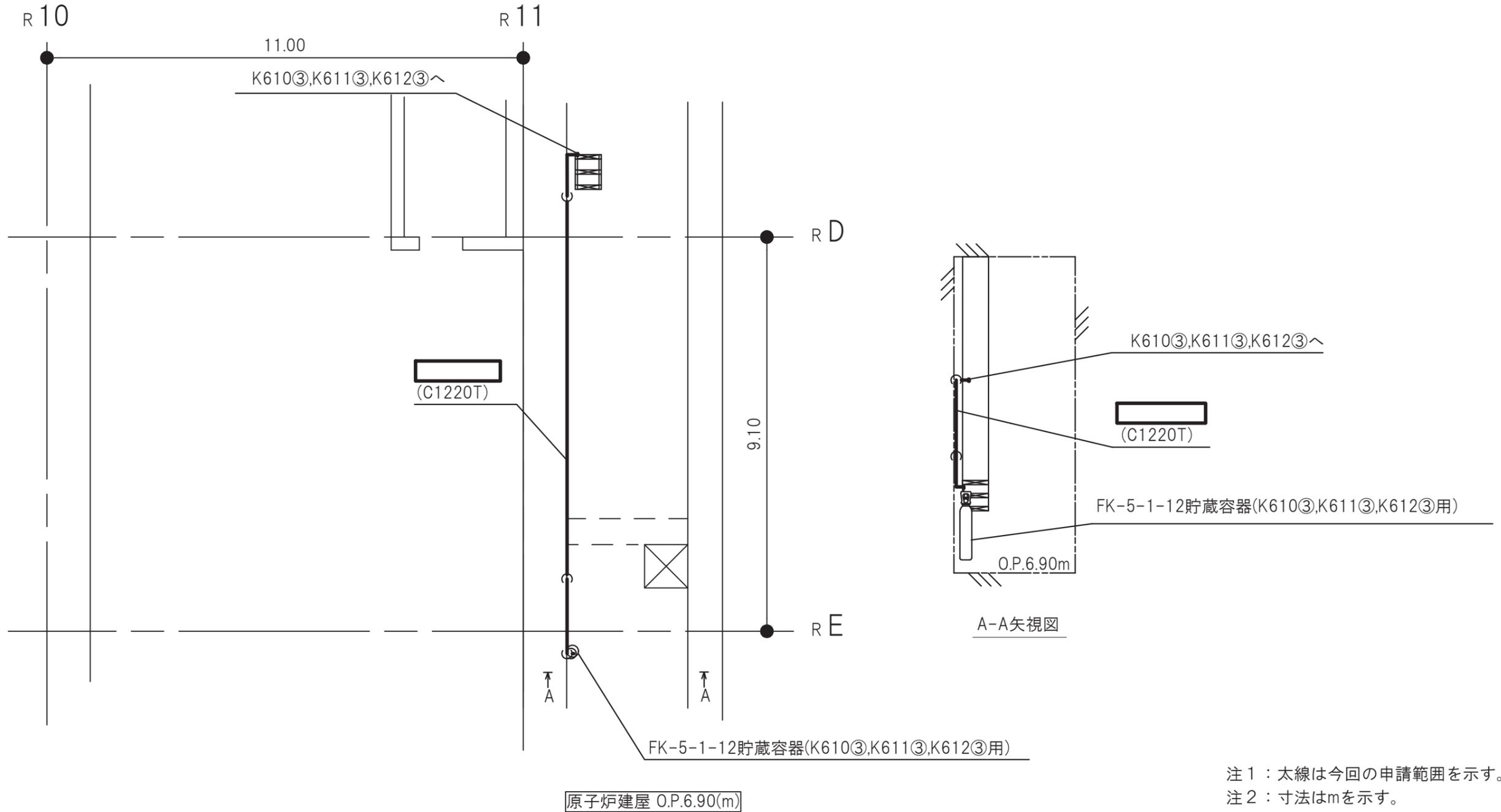
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

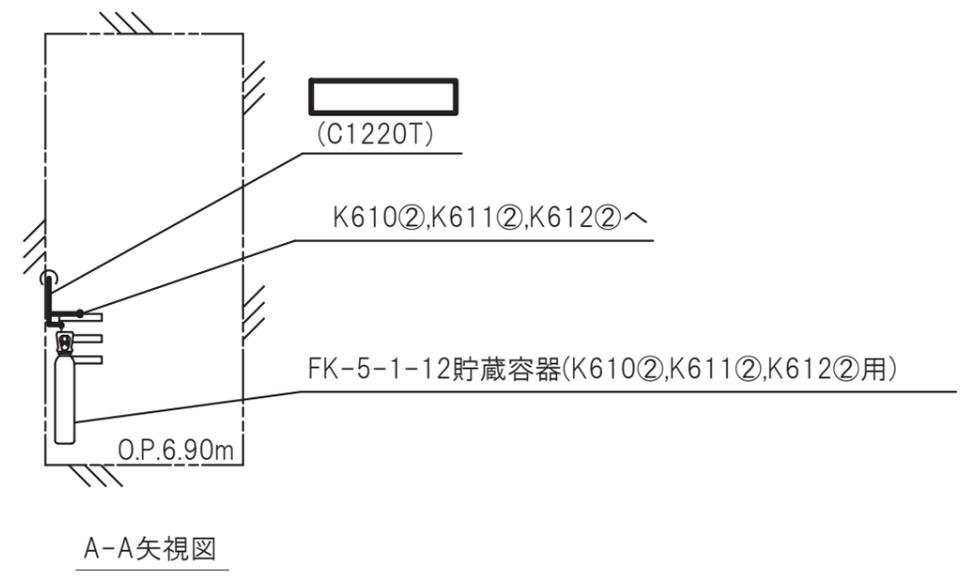
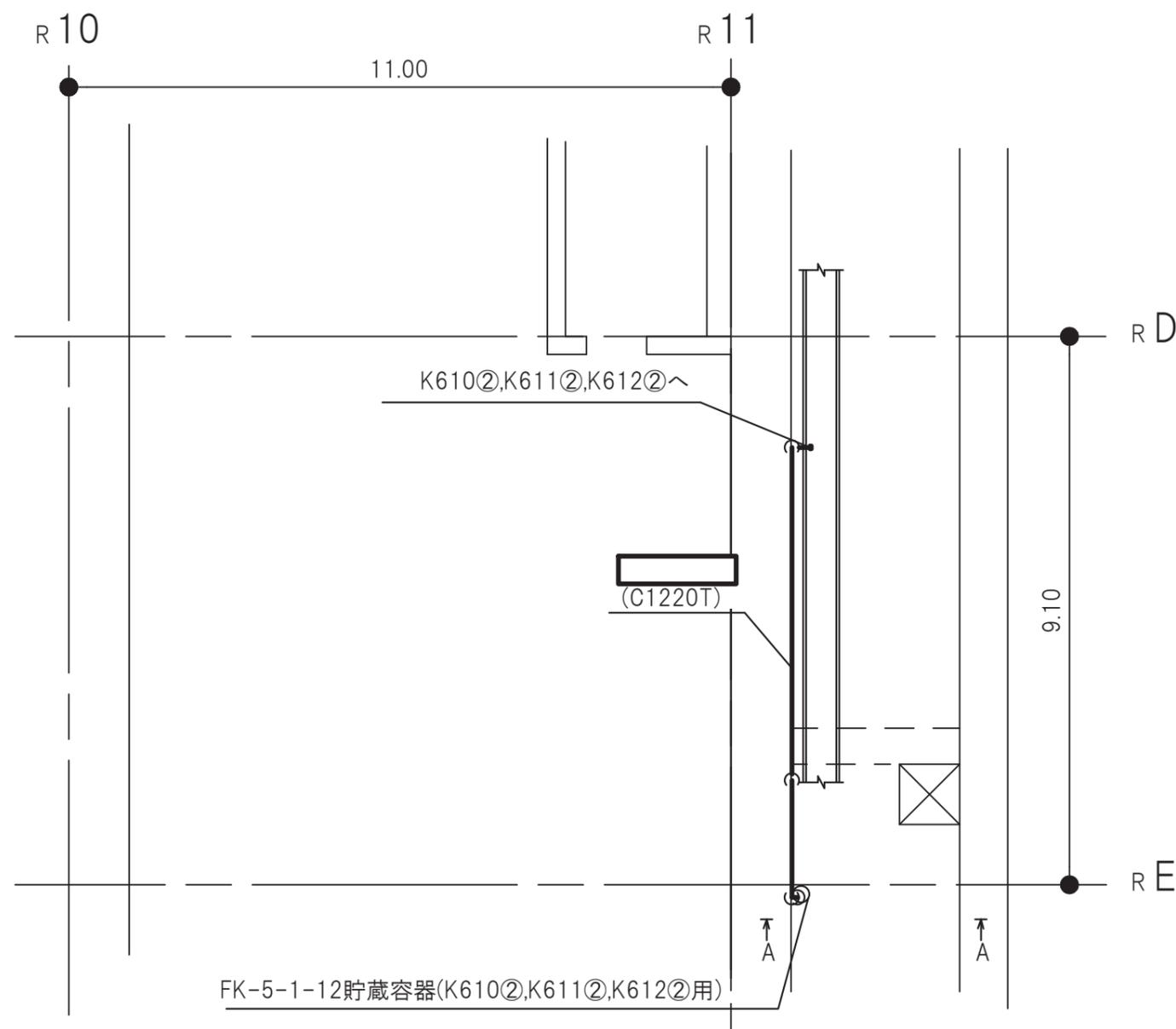


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-193図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C300用) |
| 東北電力株式会社 | |



| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-194図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K610③,K611③,K612③用) |
| 東北電力株式会社 | |

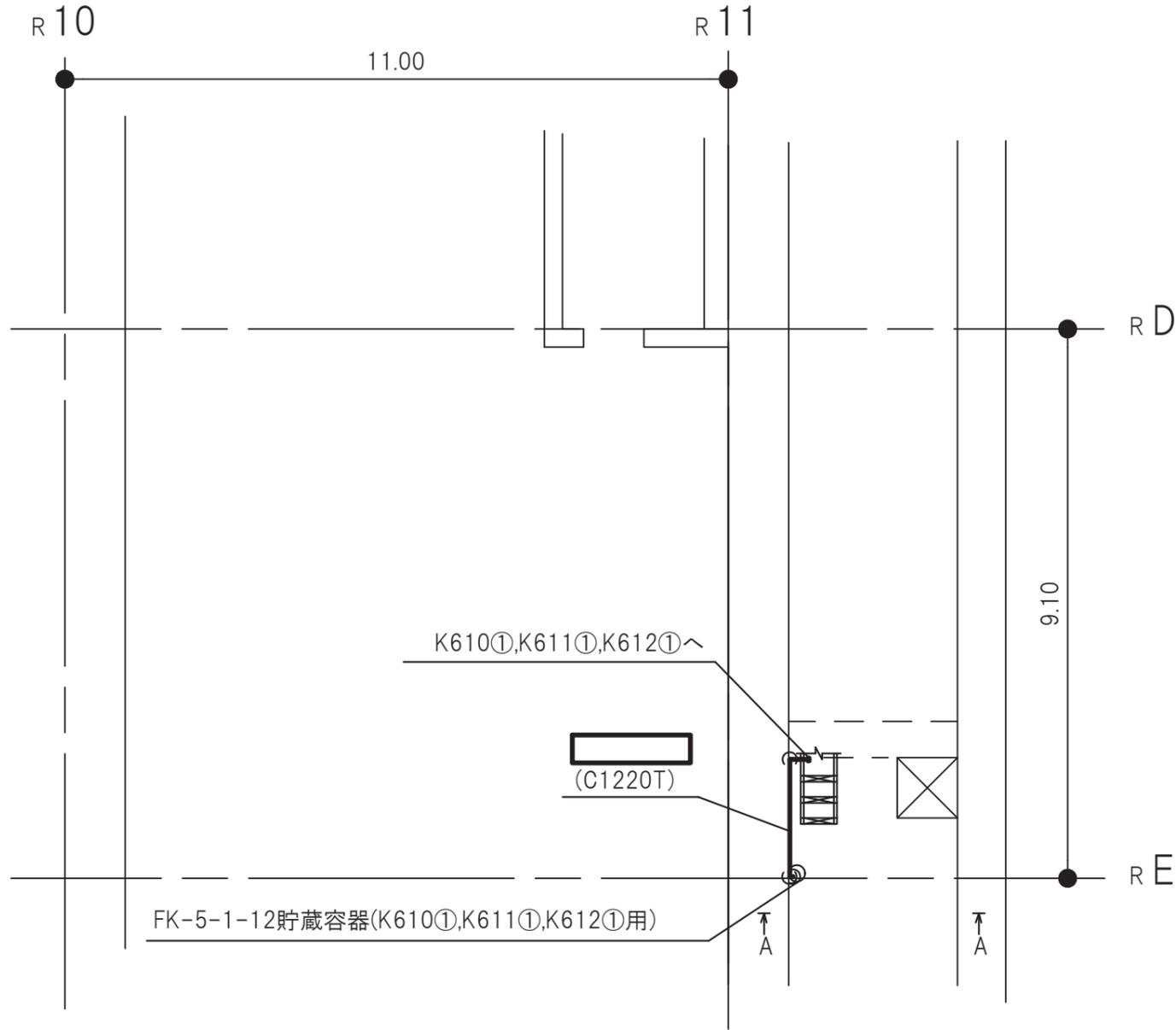
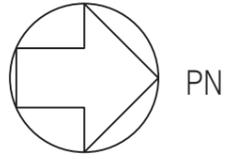


原子炉建屋 O.P.6.90(m)

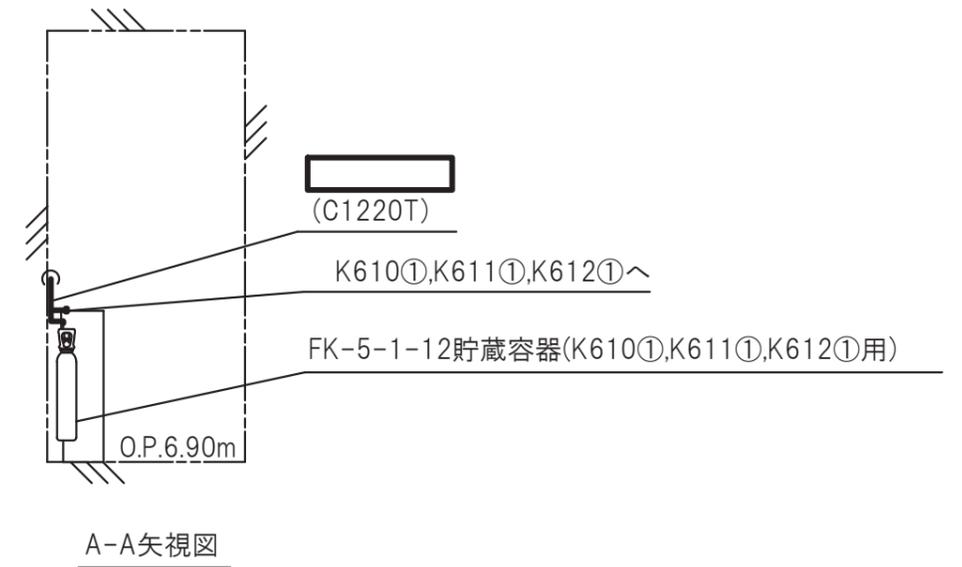
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-195図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K610②,K611②,K612②用) |
| 東北電力株式会社 | |
| 0420 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



原子炉建屋 O.P.6.90(m)

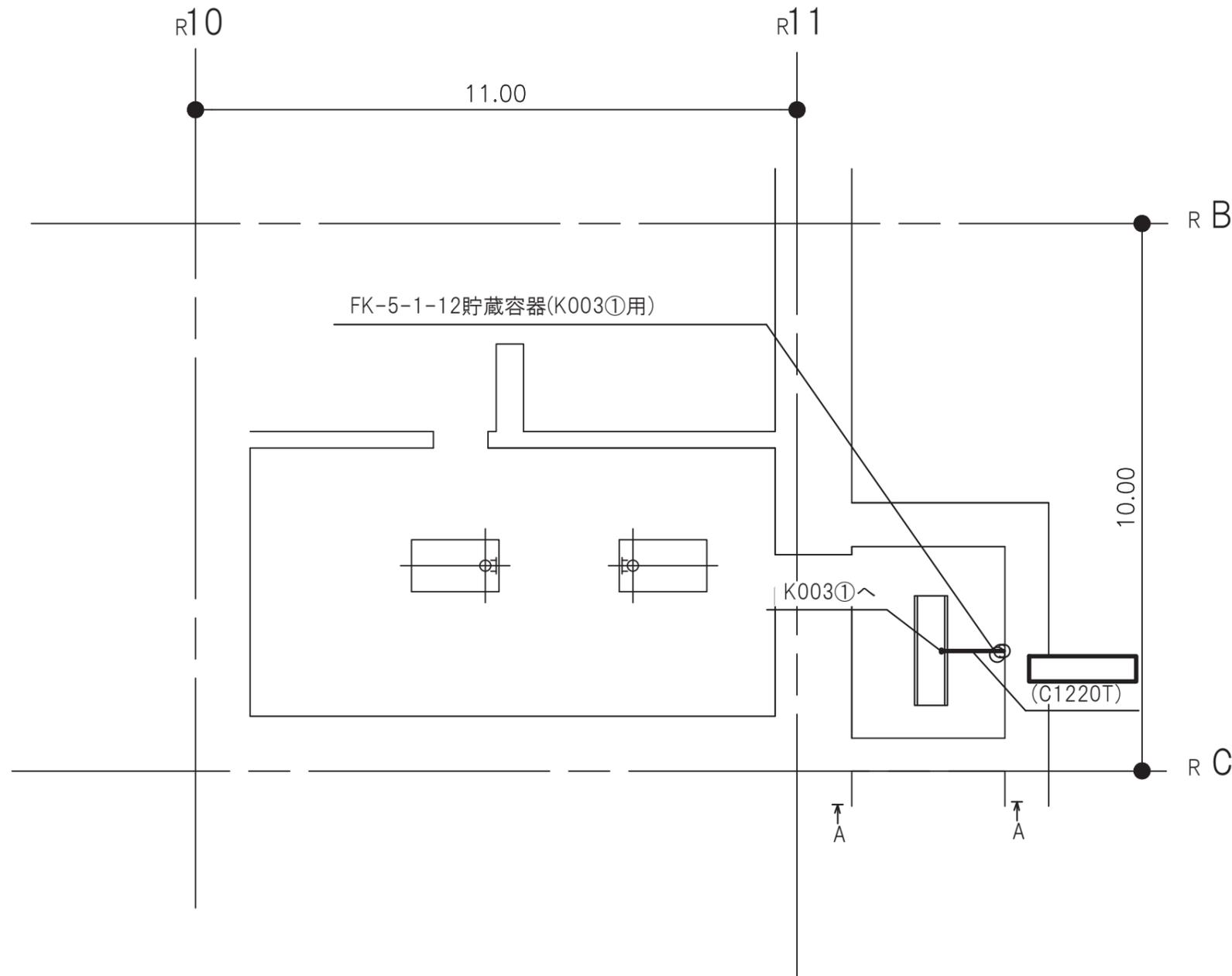


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

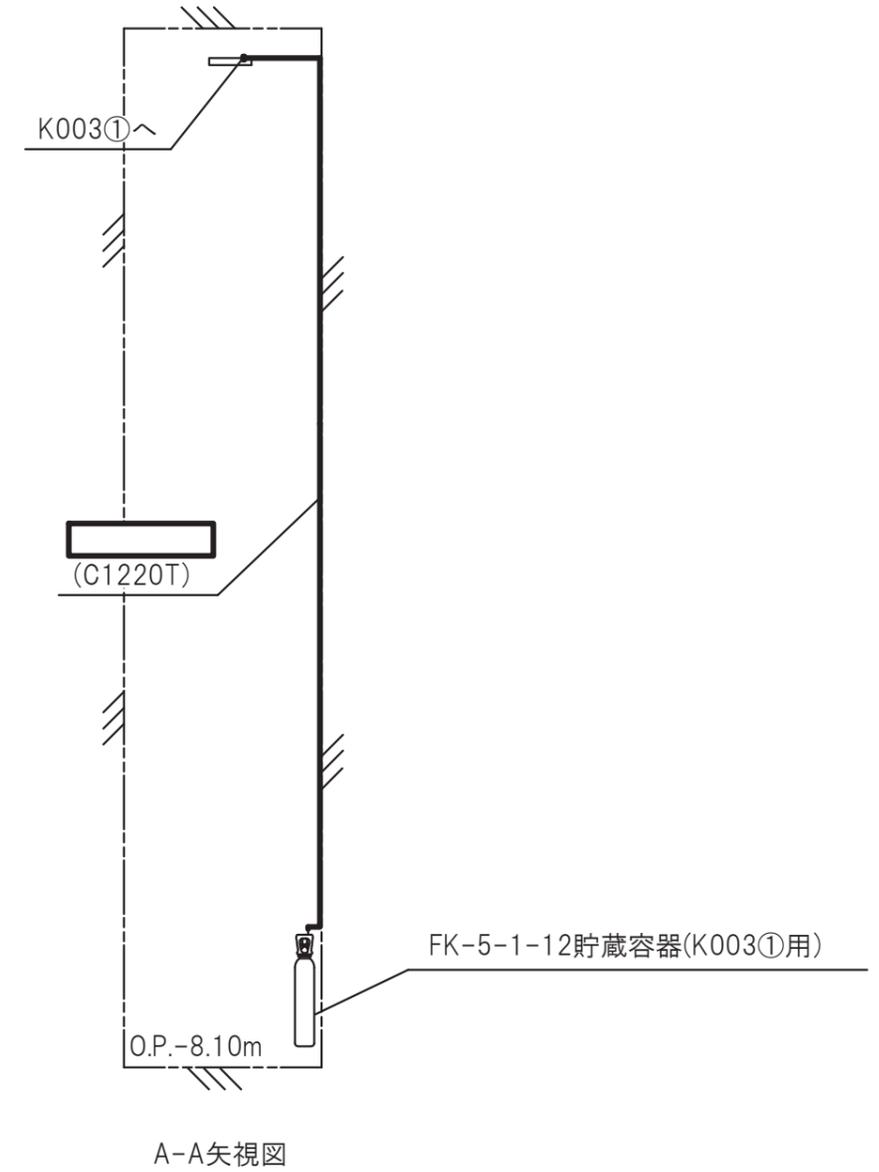
| | |
|---------------|--|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-196図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K610①, K611①, K612①用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



原子炉建屋 O.P.-8.10(m)



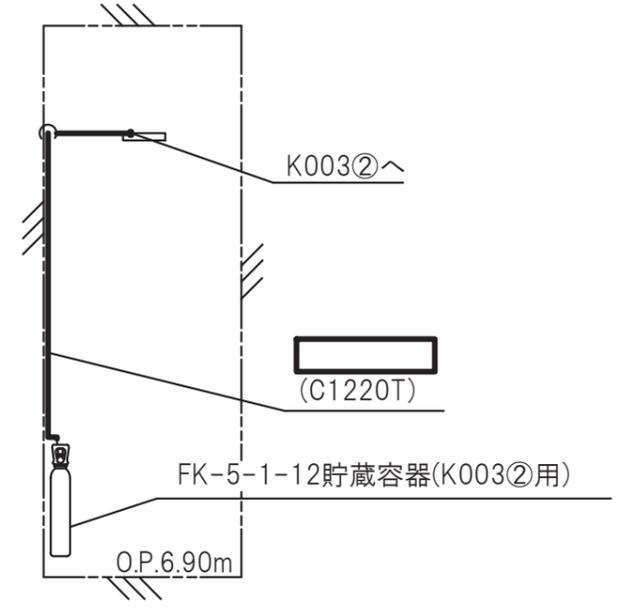
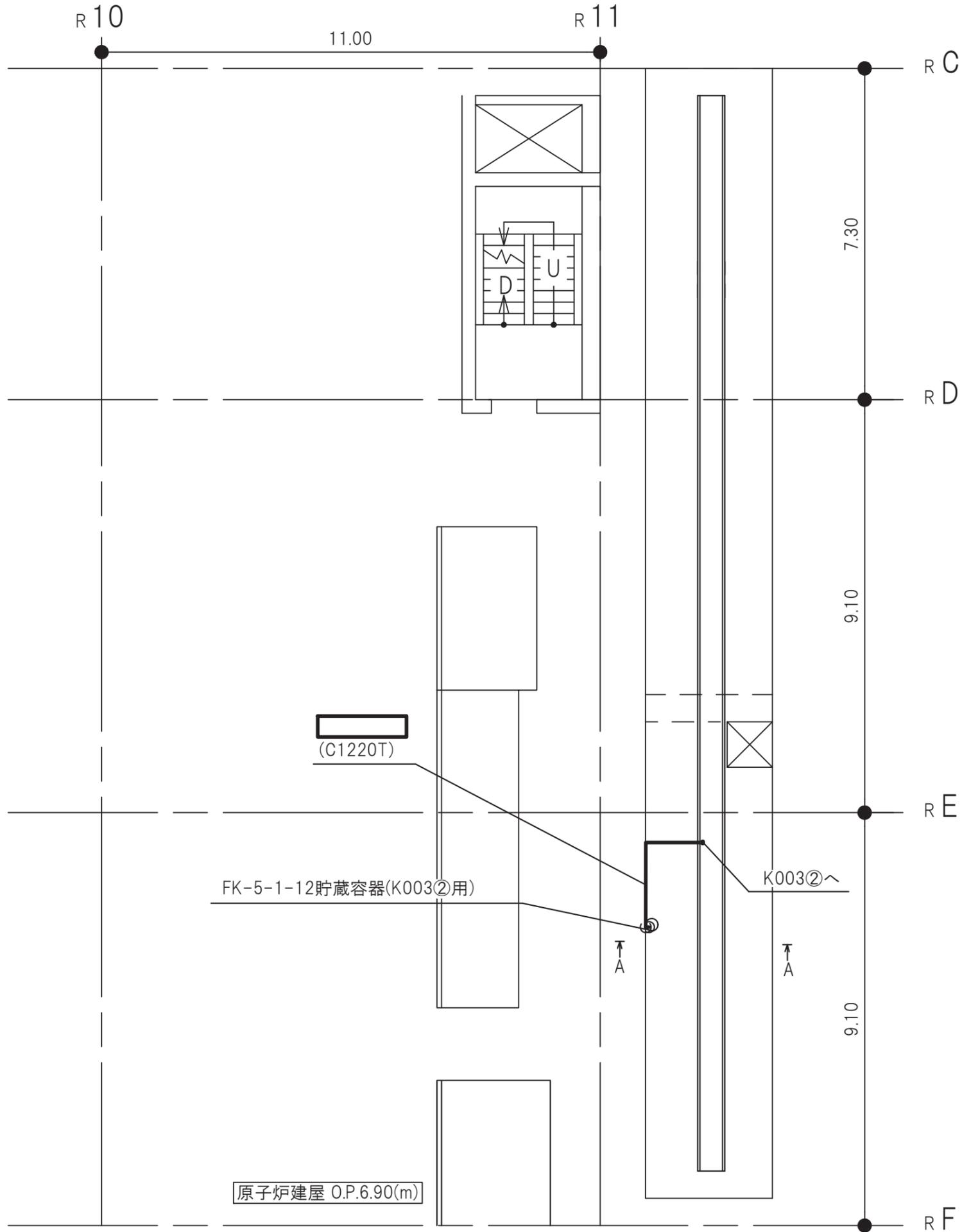
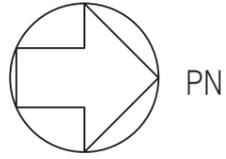
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-197図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K003①用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

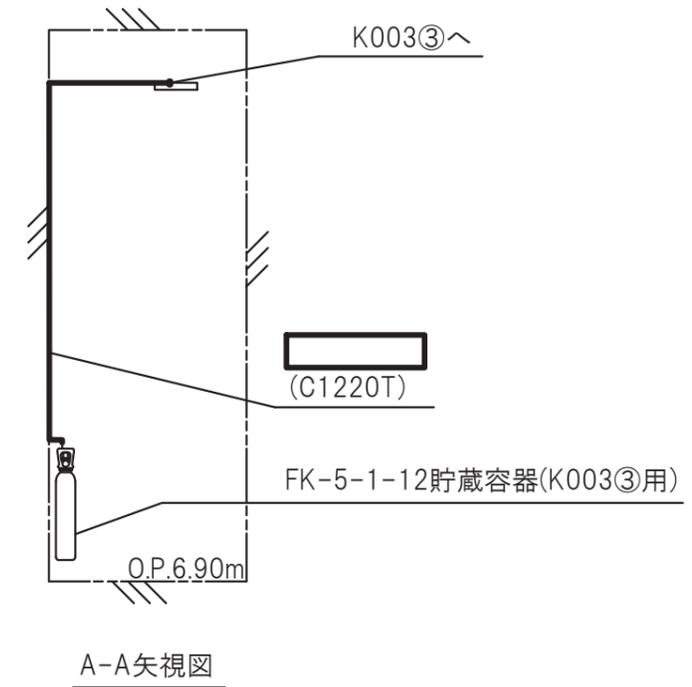
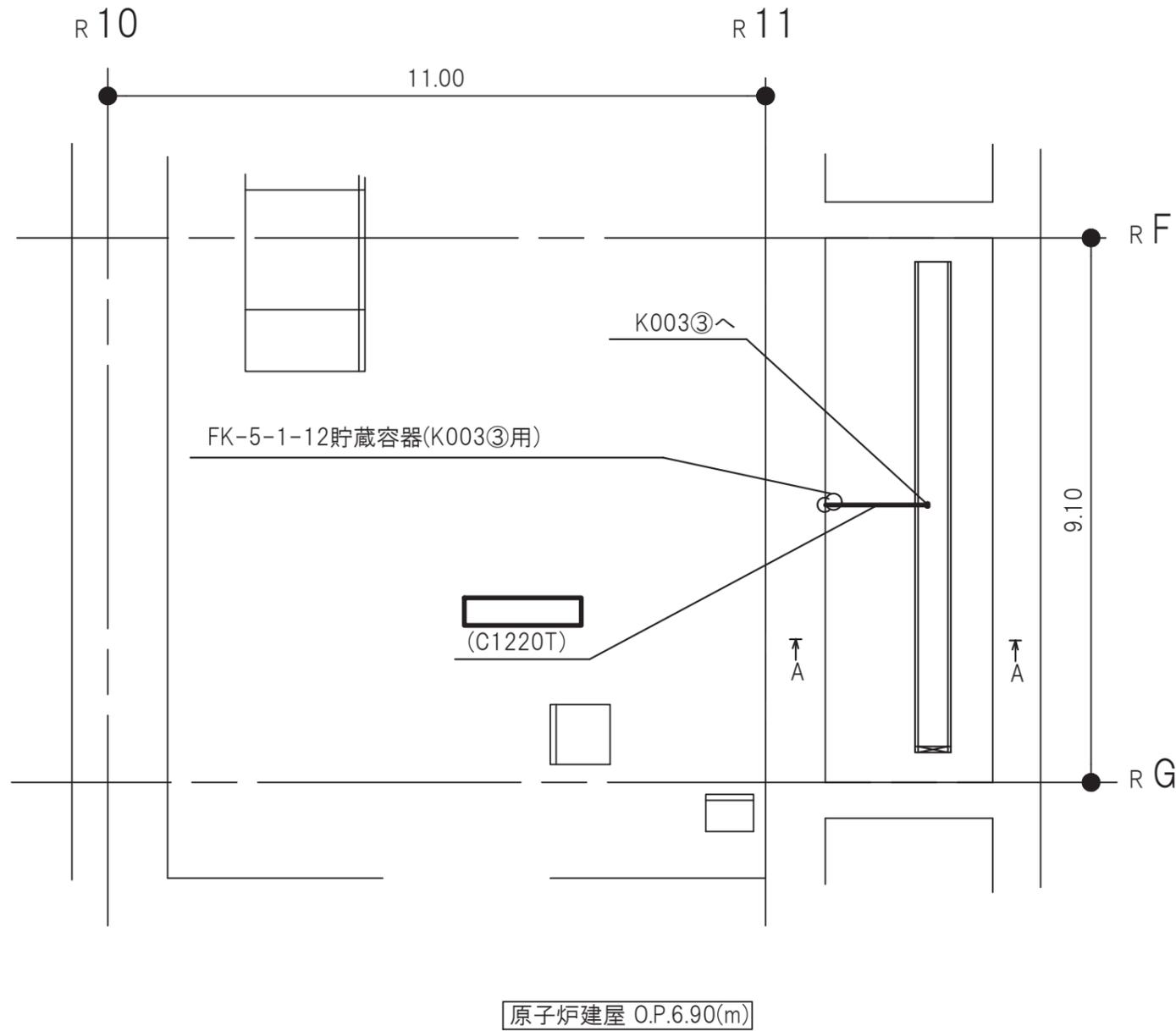
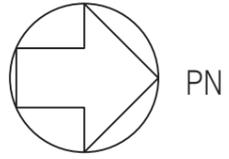
0420



A-A矢視図

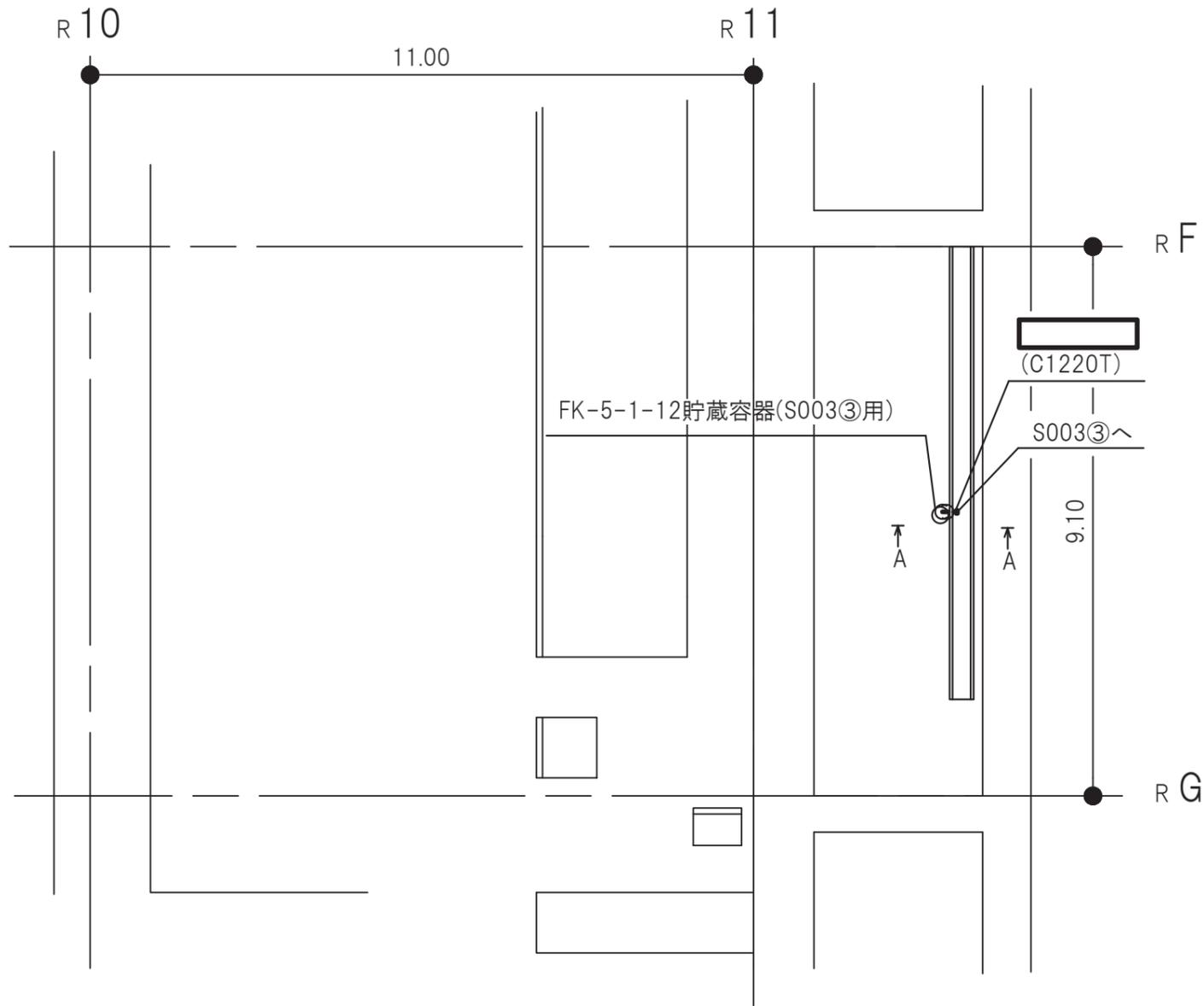
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-198図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K003②用) |
| 東北電力株式会社 | |

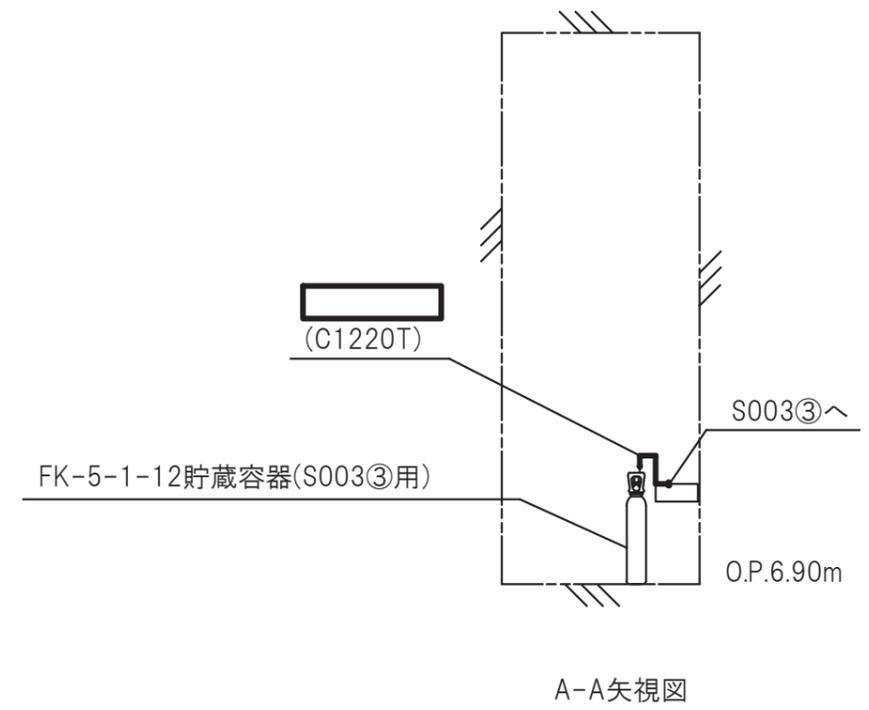


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-199図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K003③用) |
| 東北電力株式会社 | |

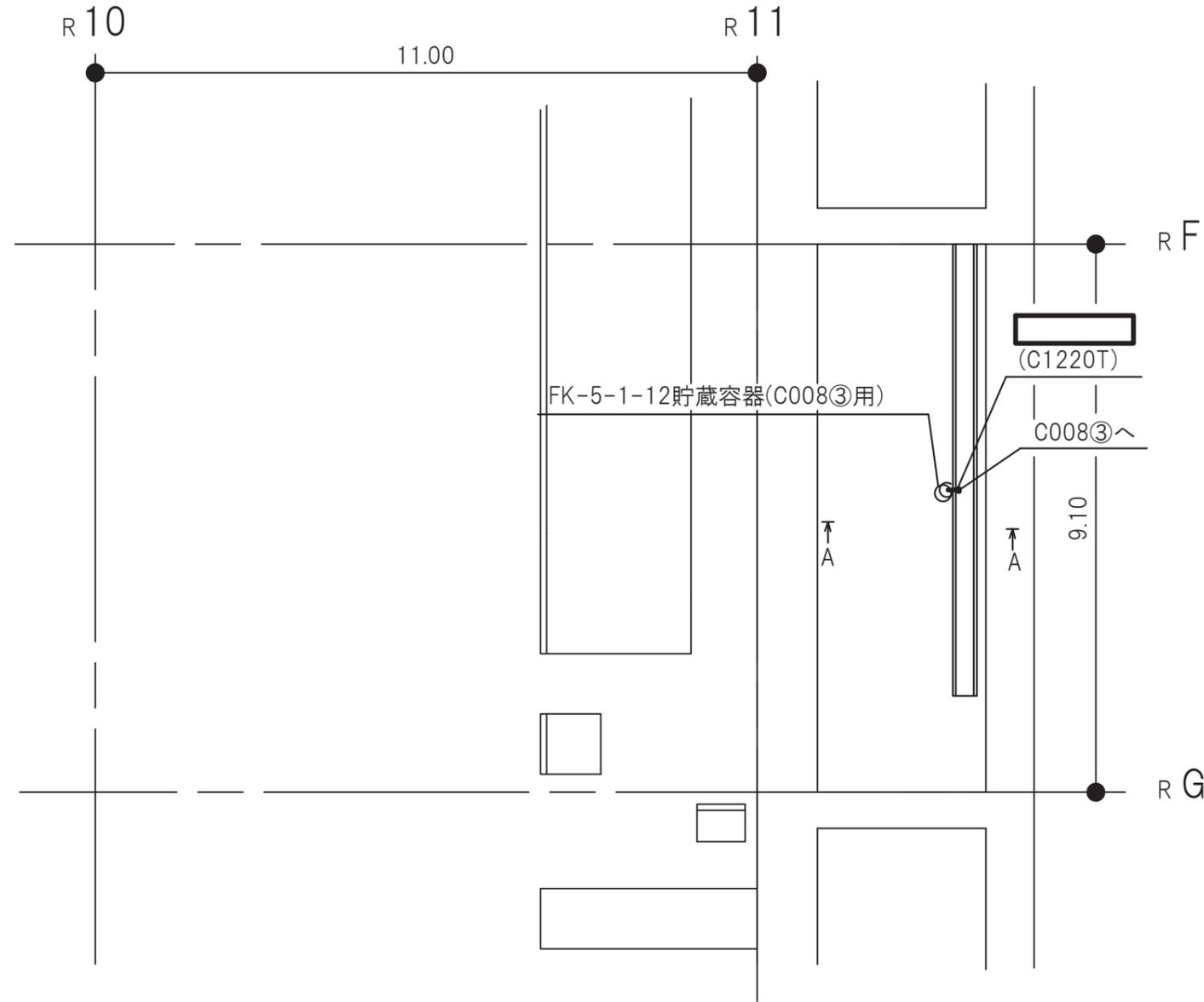


原子炉建屋 O.P.6.90(m)

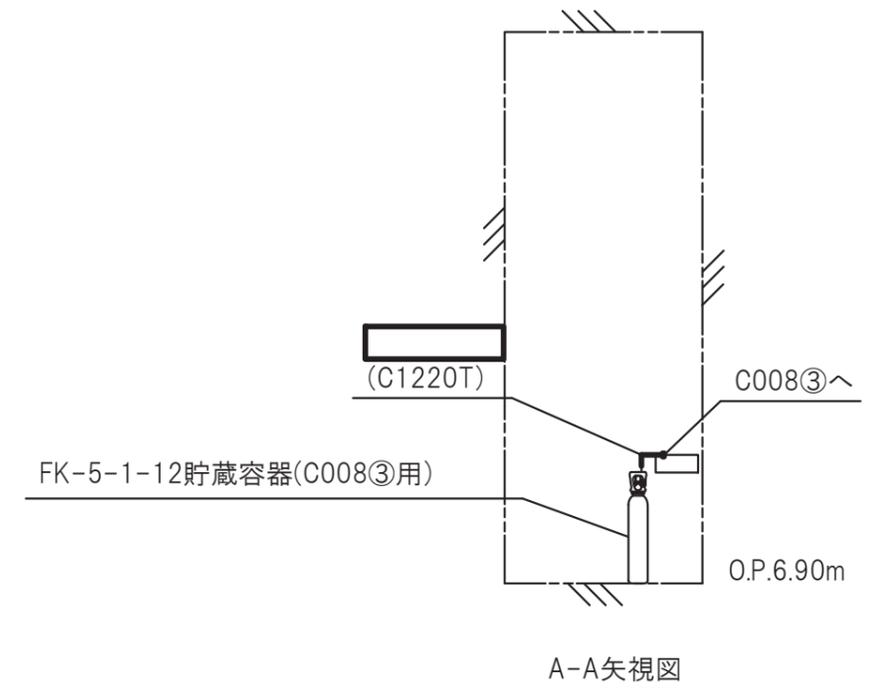


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-200図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S003③用) |
| 東北電力株式会社 | |

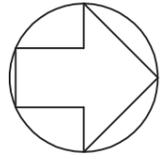


原子炉建屋 O.P.6.90(m)

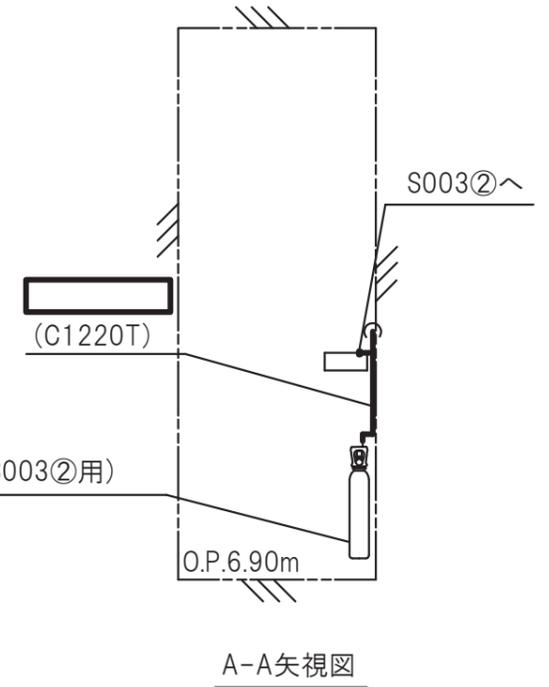
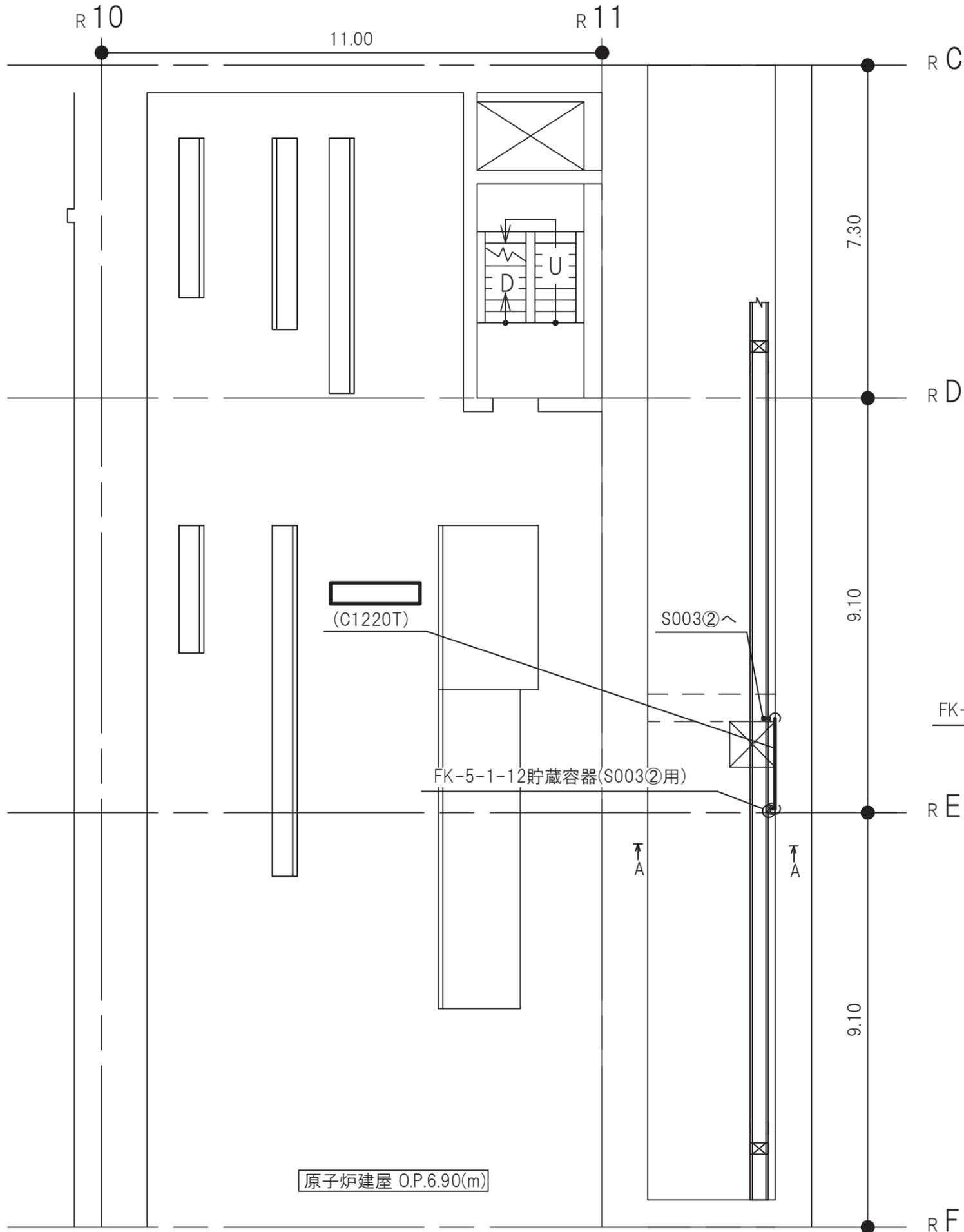


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-201図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C008③用) |
| 東北電力株式会社 | |



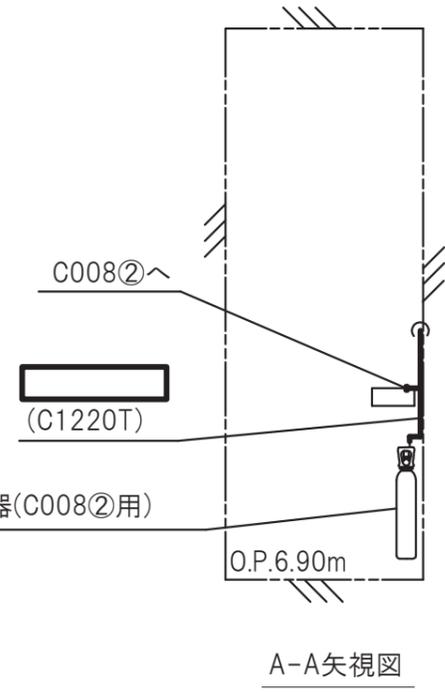
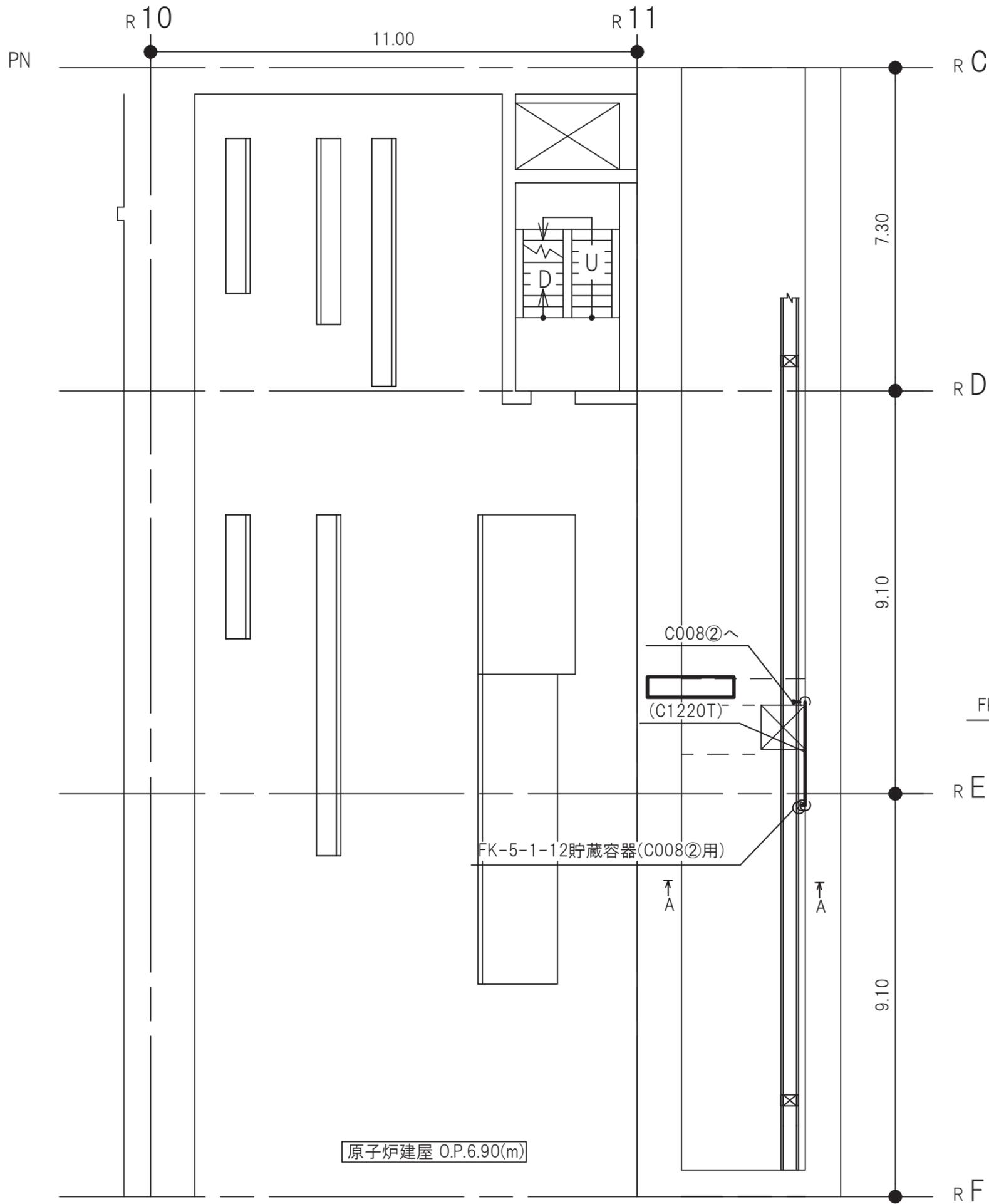
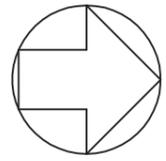
PN



A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

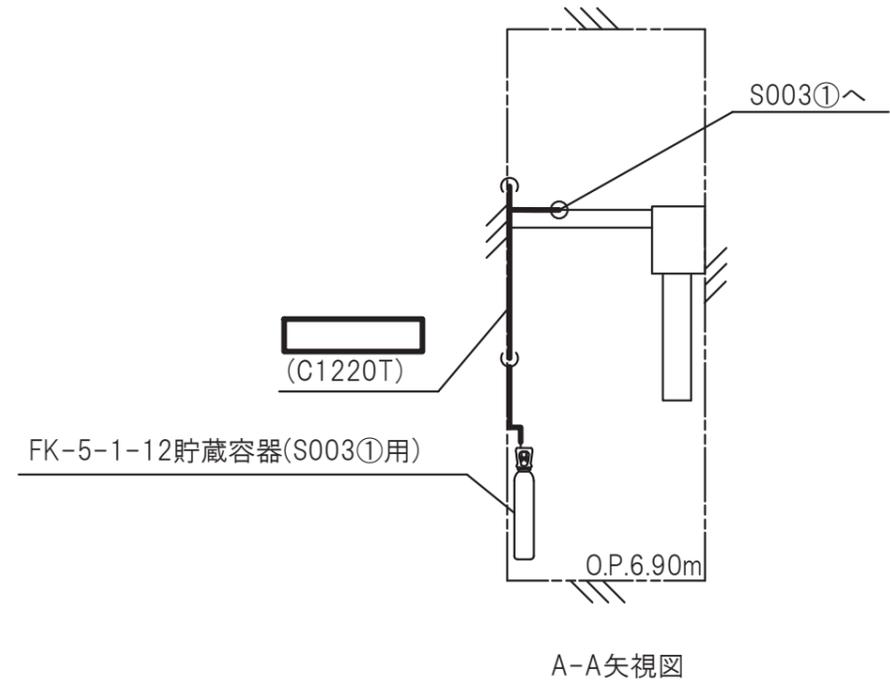
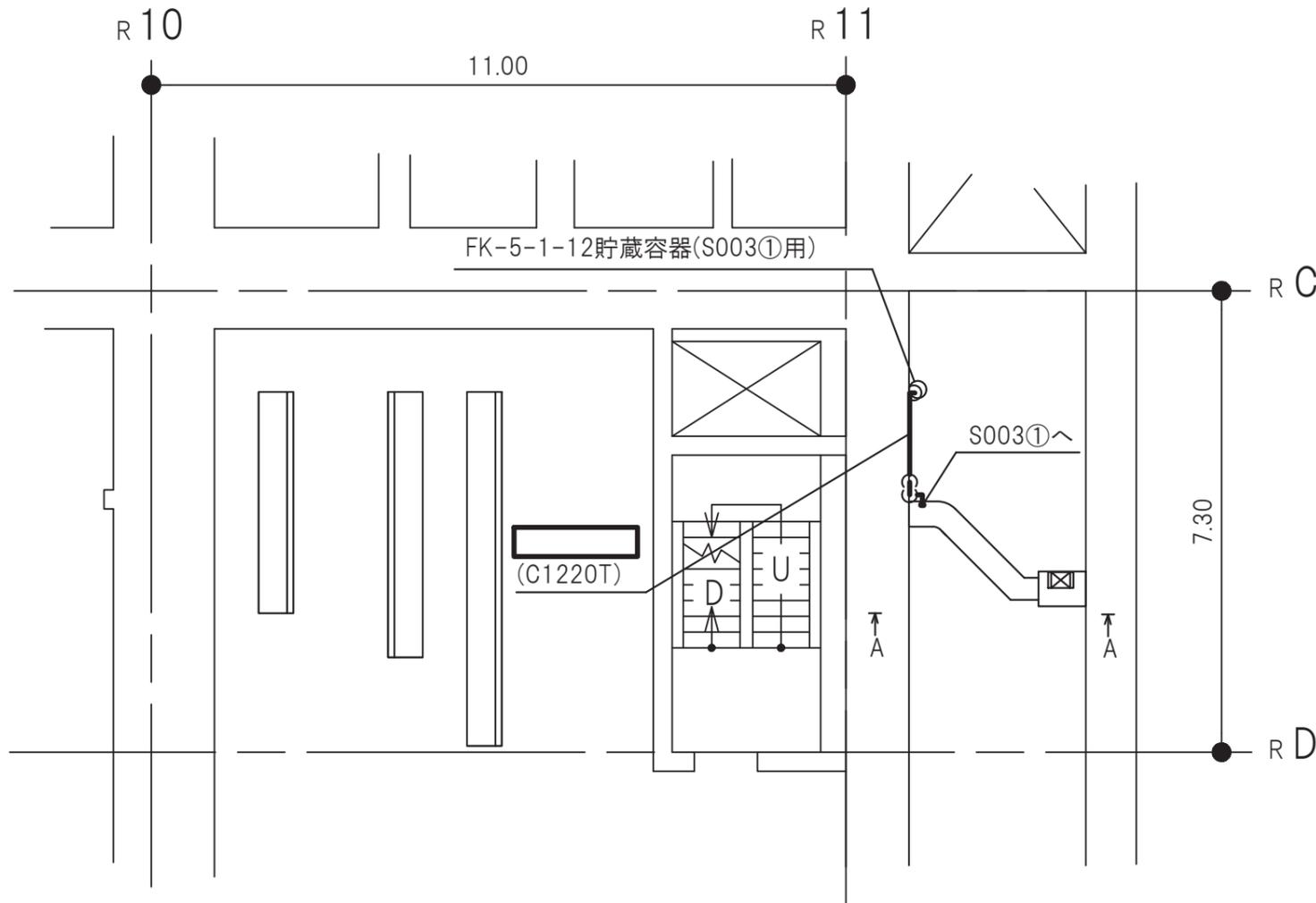
| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-202図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S003②用) |
| 東北電力株式会社 | |



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

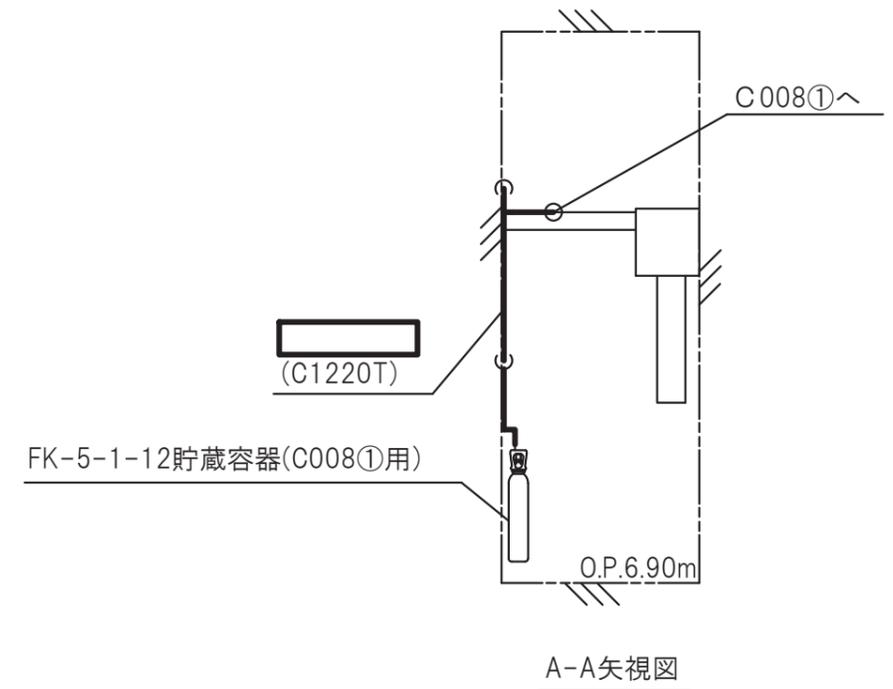
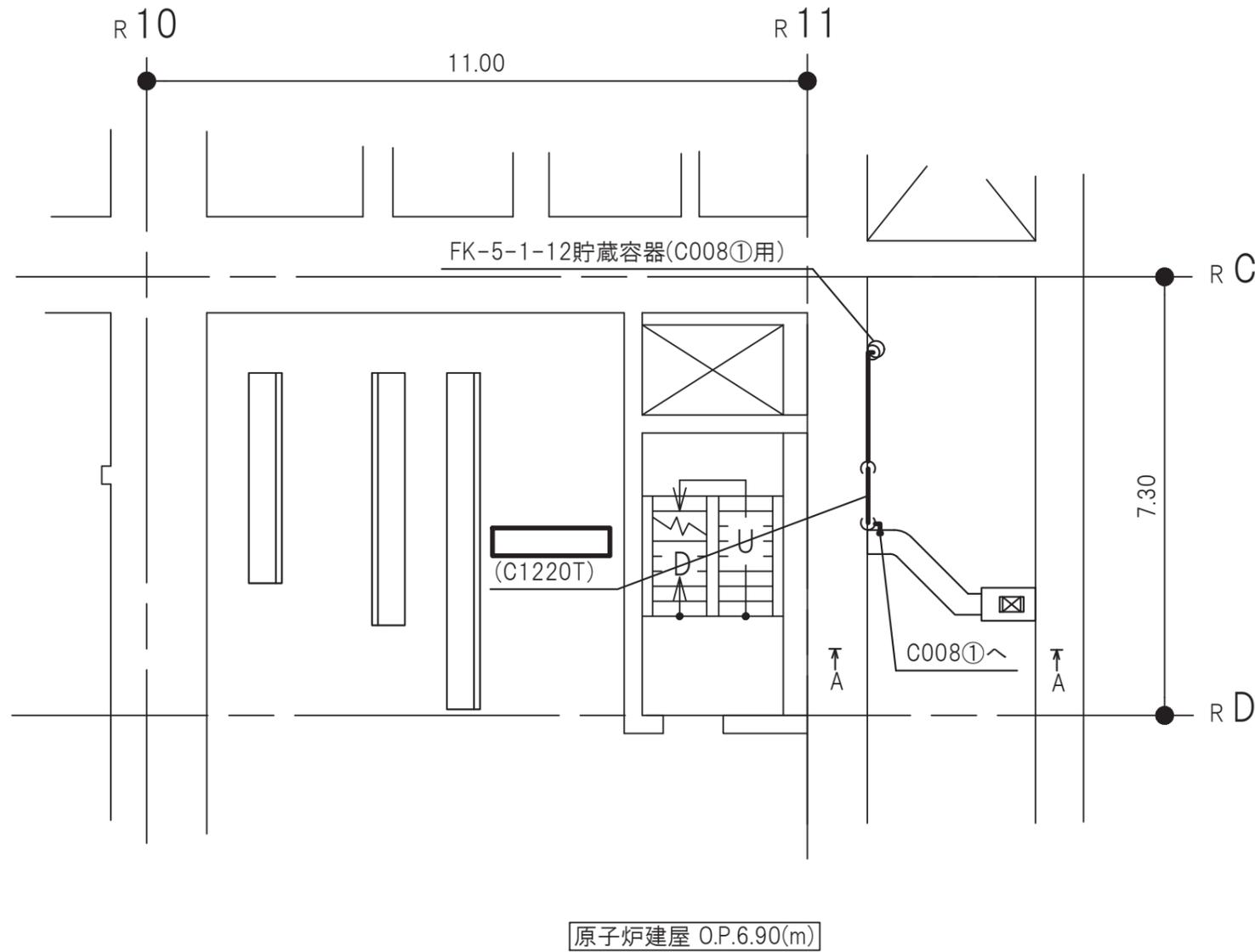
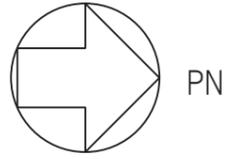
| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-203図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C008②用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



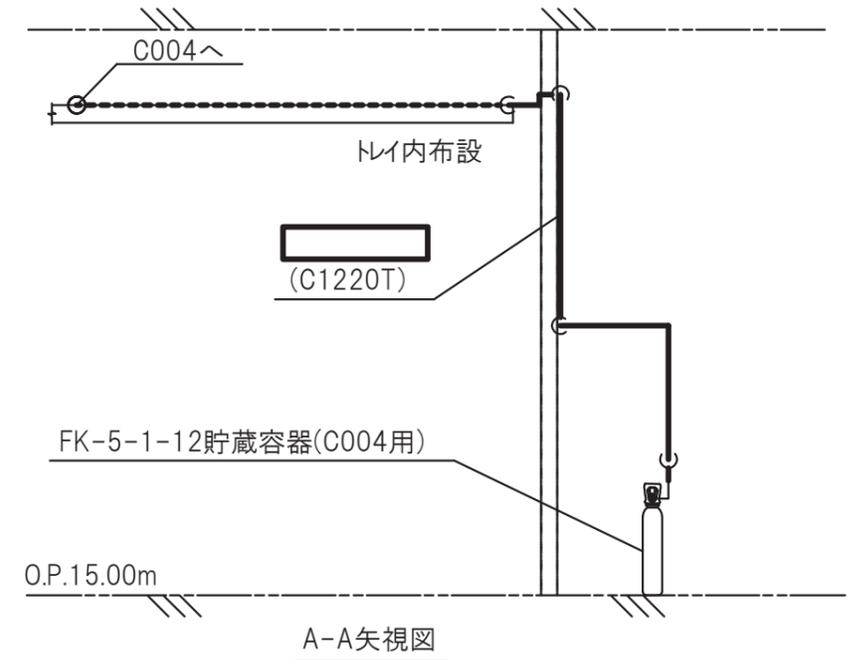
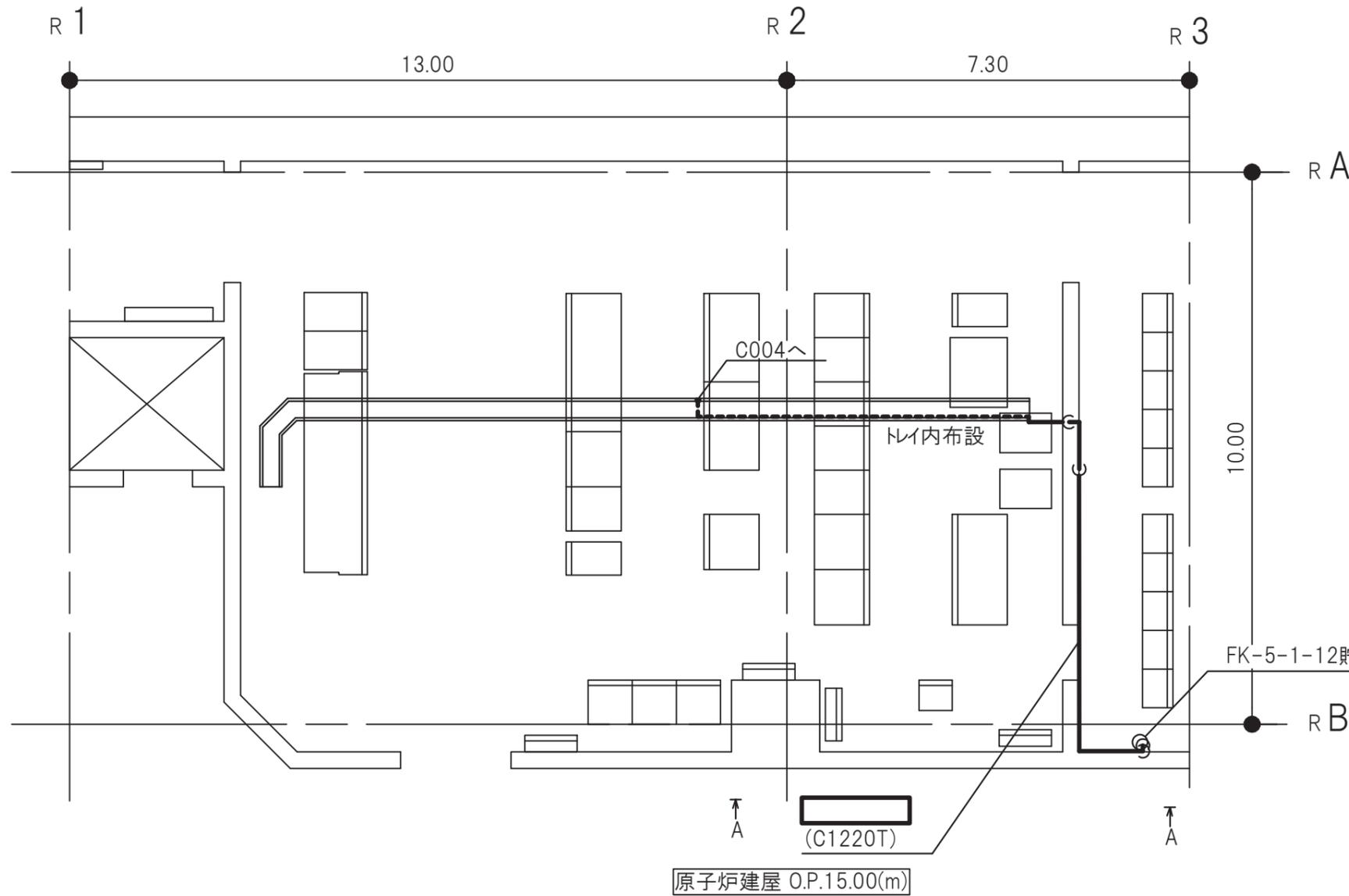
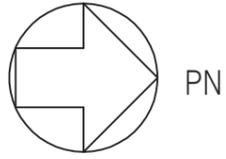
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-204図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S003①用) |
| 東北電力株式会社 | |



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

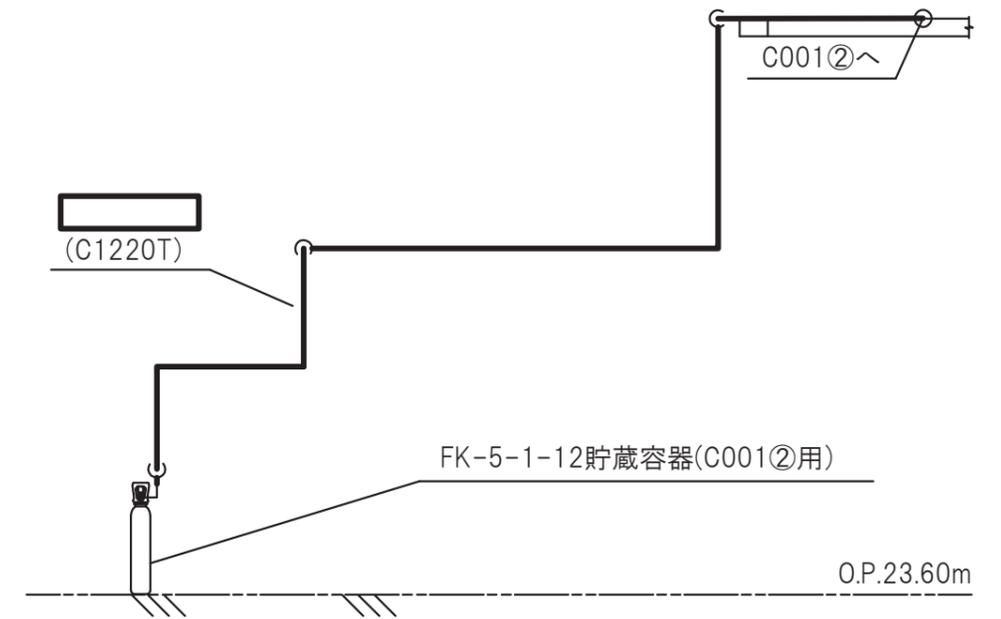
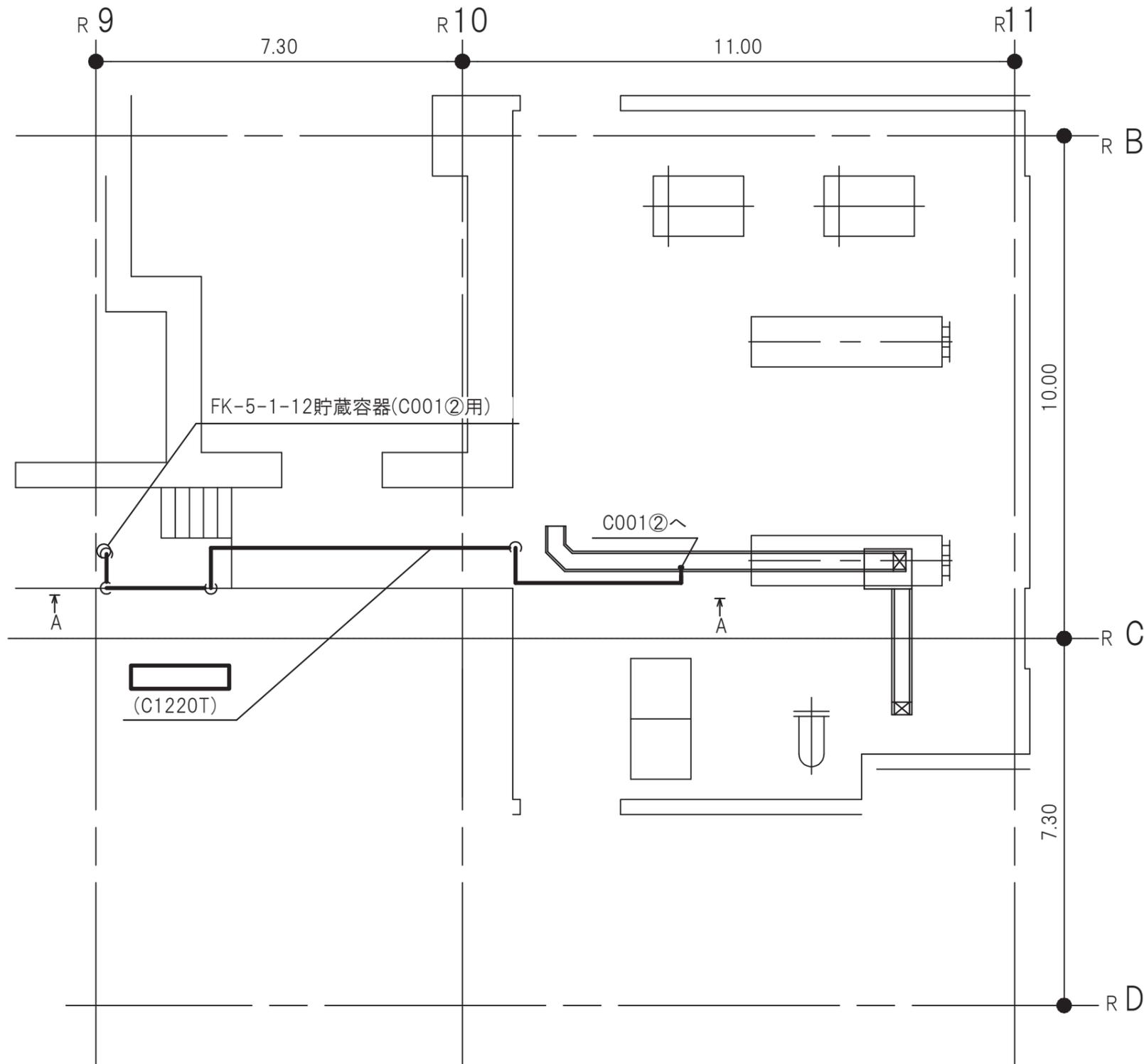
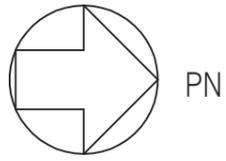
| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-205図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C008①用) |
| 東北電力株式会社 | |



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-206図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C004用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

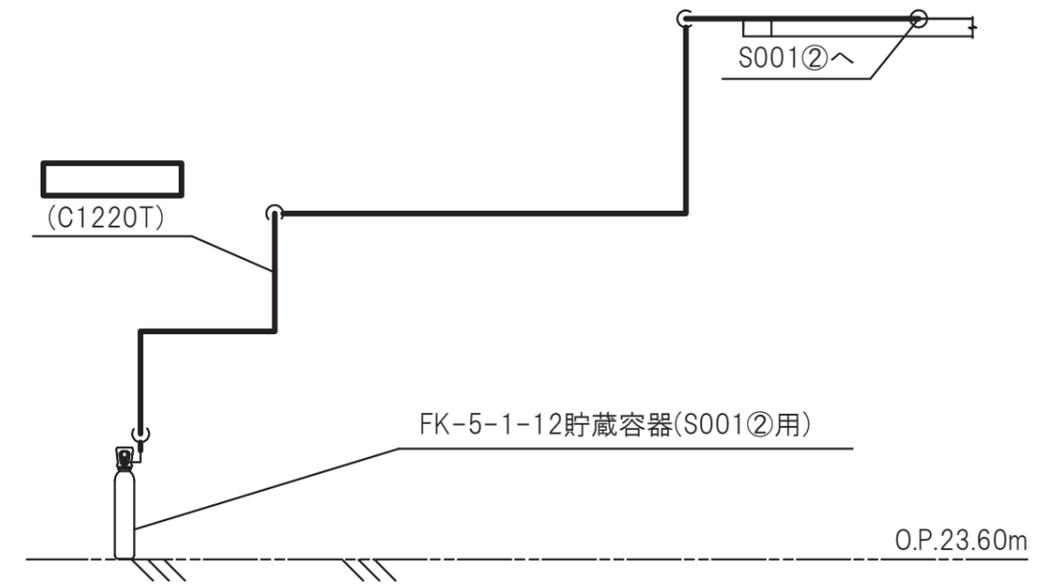
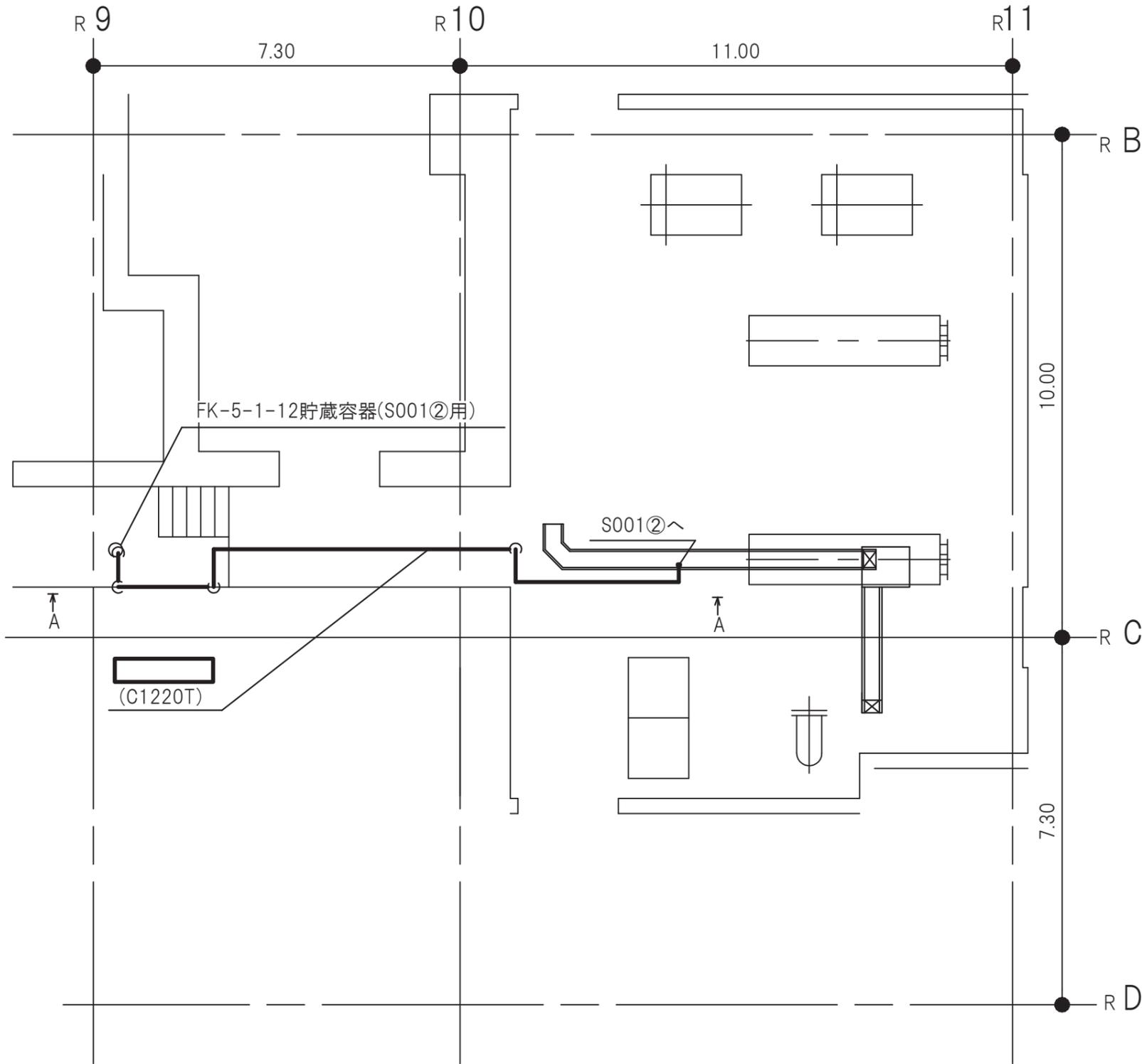


A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-207図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C001②用) |
| 東北電力株式会社 | |

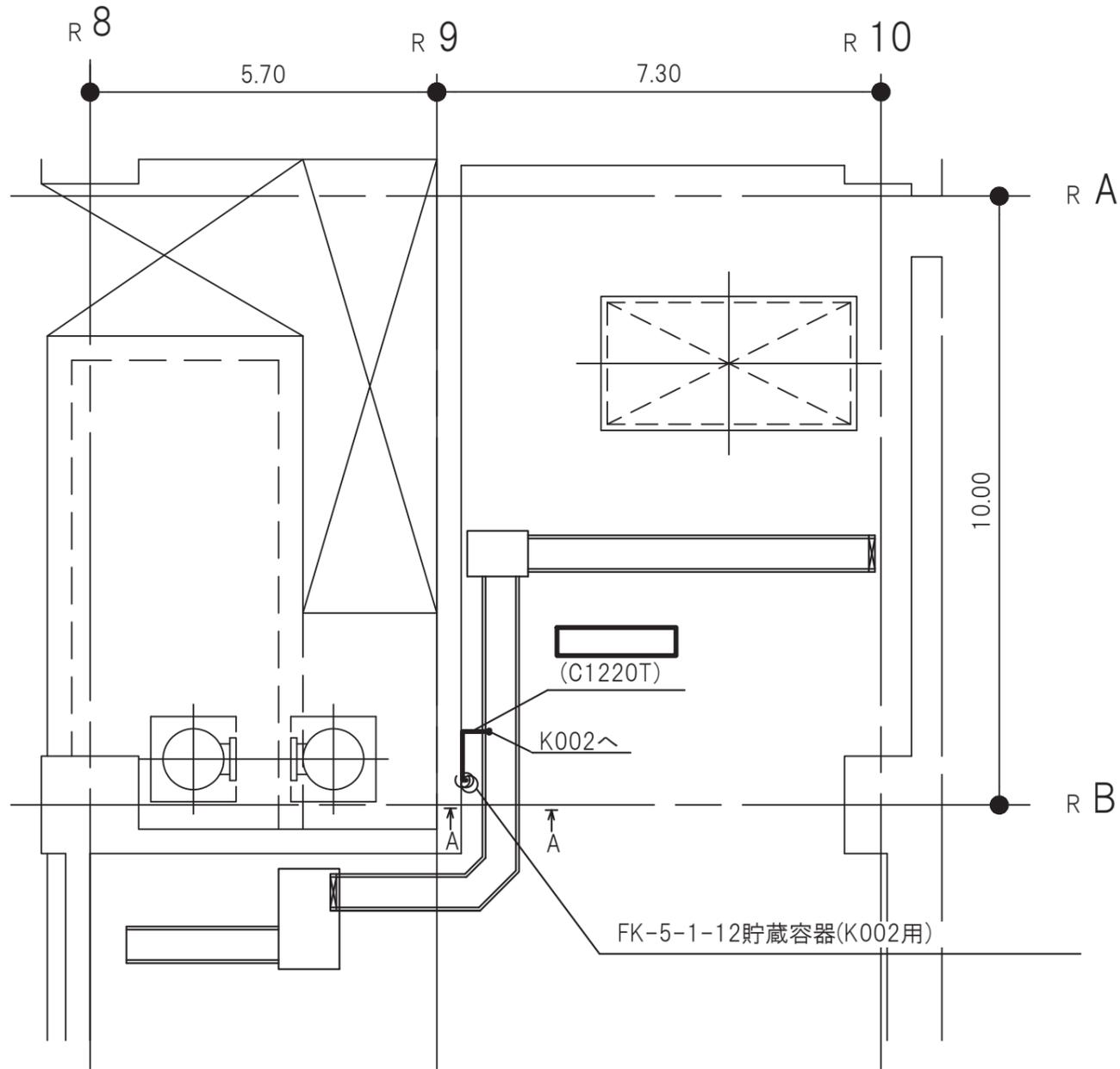
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



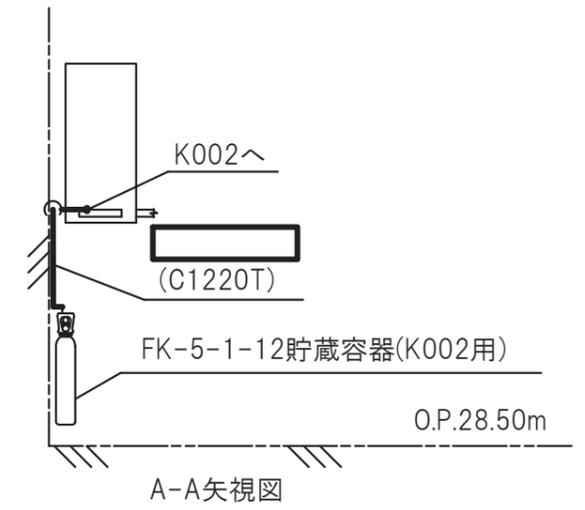
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-208図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S001②用) |
| 東北電力株式会社 | |



原子炉建屋 O.P.28.50(m)

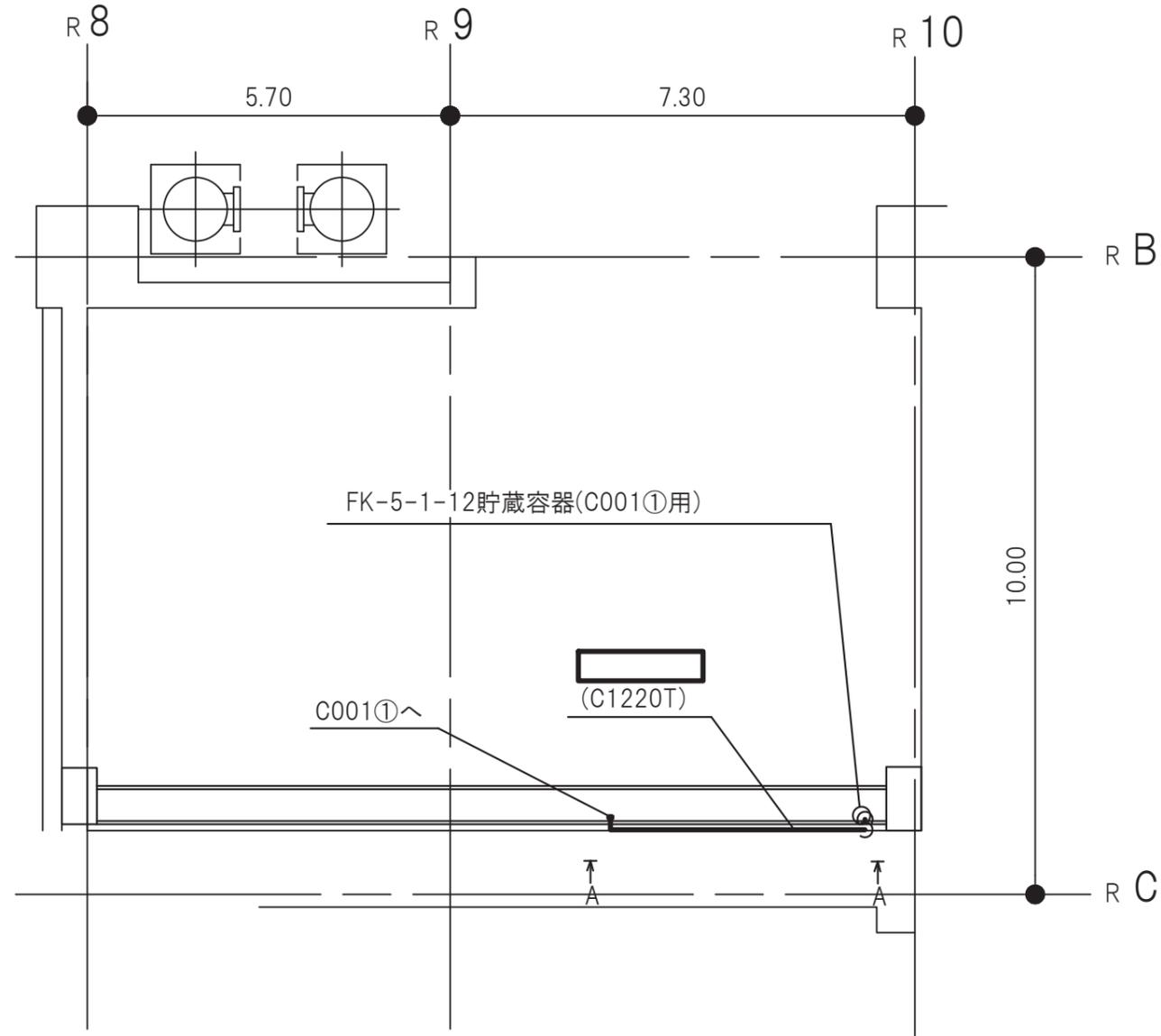


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

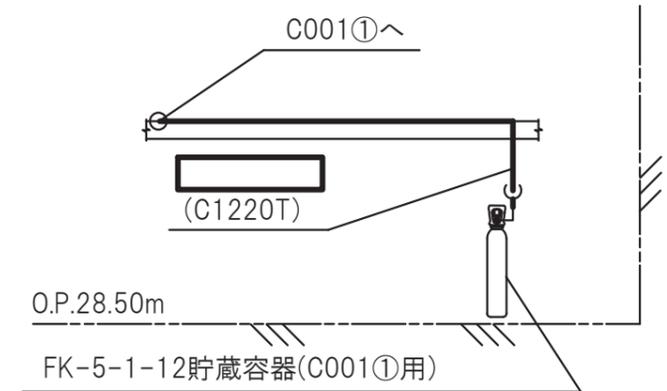
| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-209図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K002用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



原子炉建屋 O.P.28.50(m)

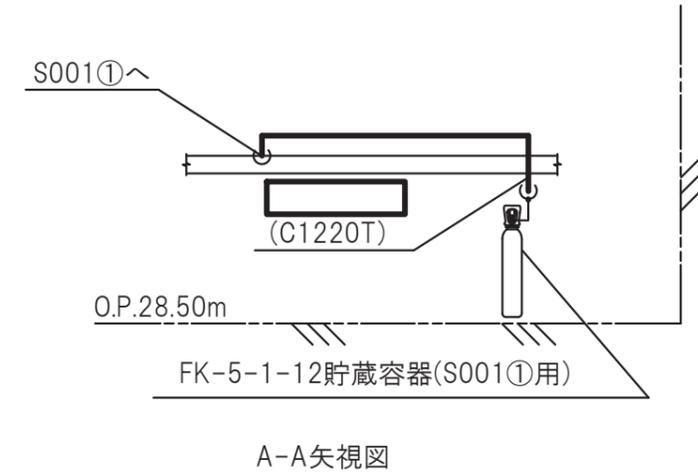
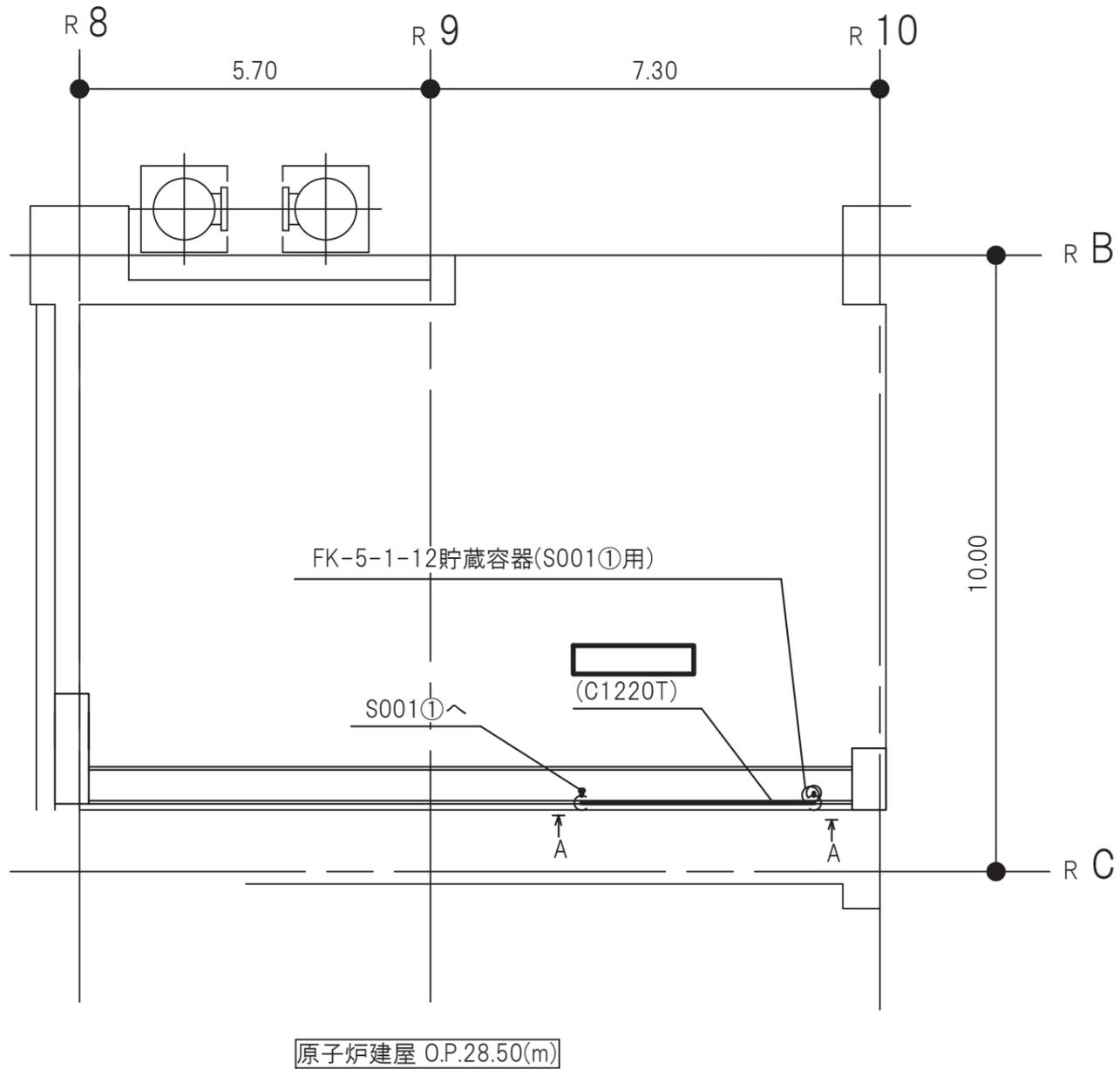


A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

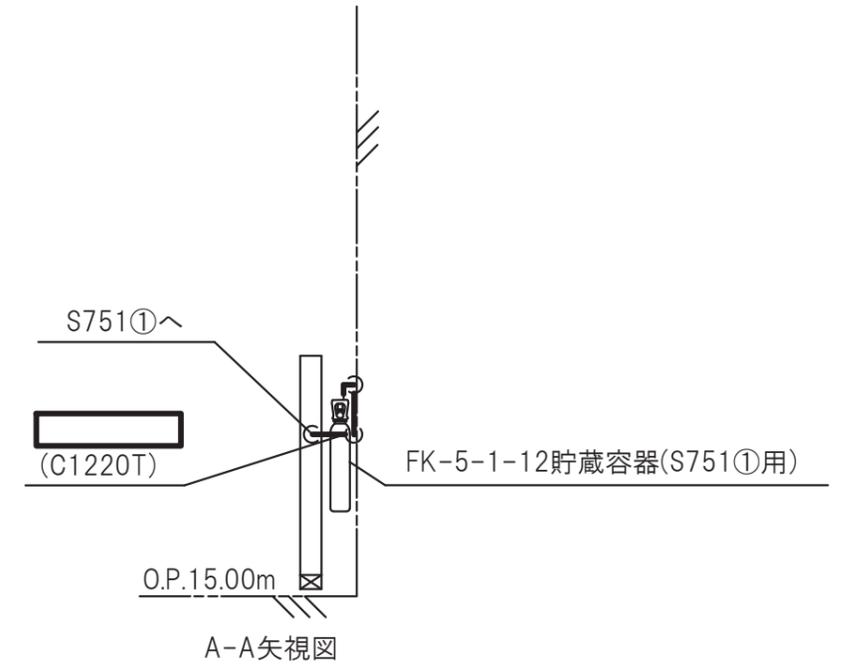
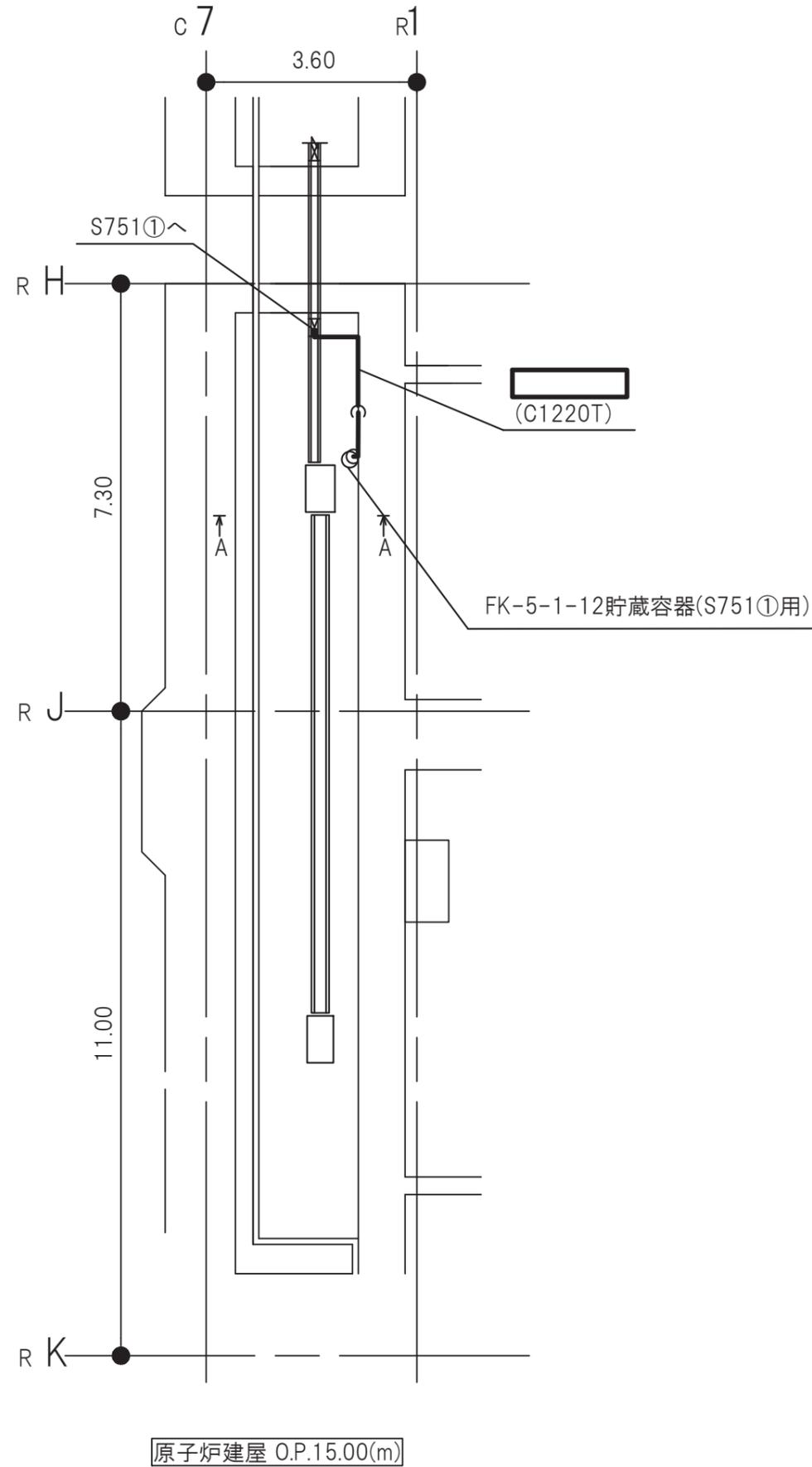
| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-210図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C001①用) |
| 東北電力株式会社 | |

0420



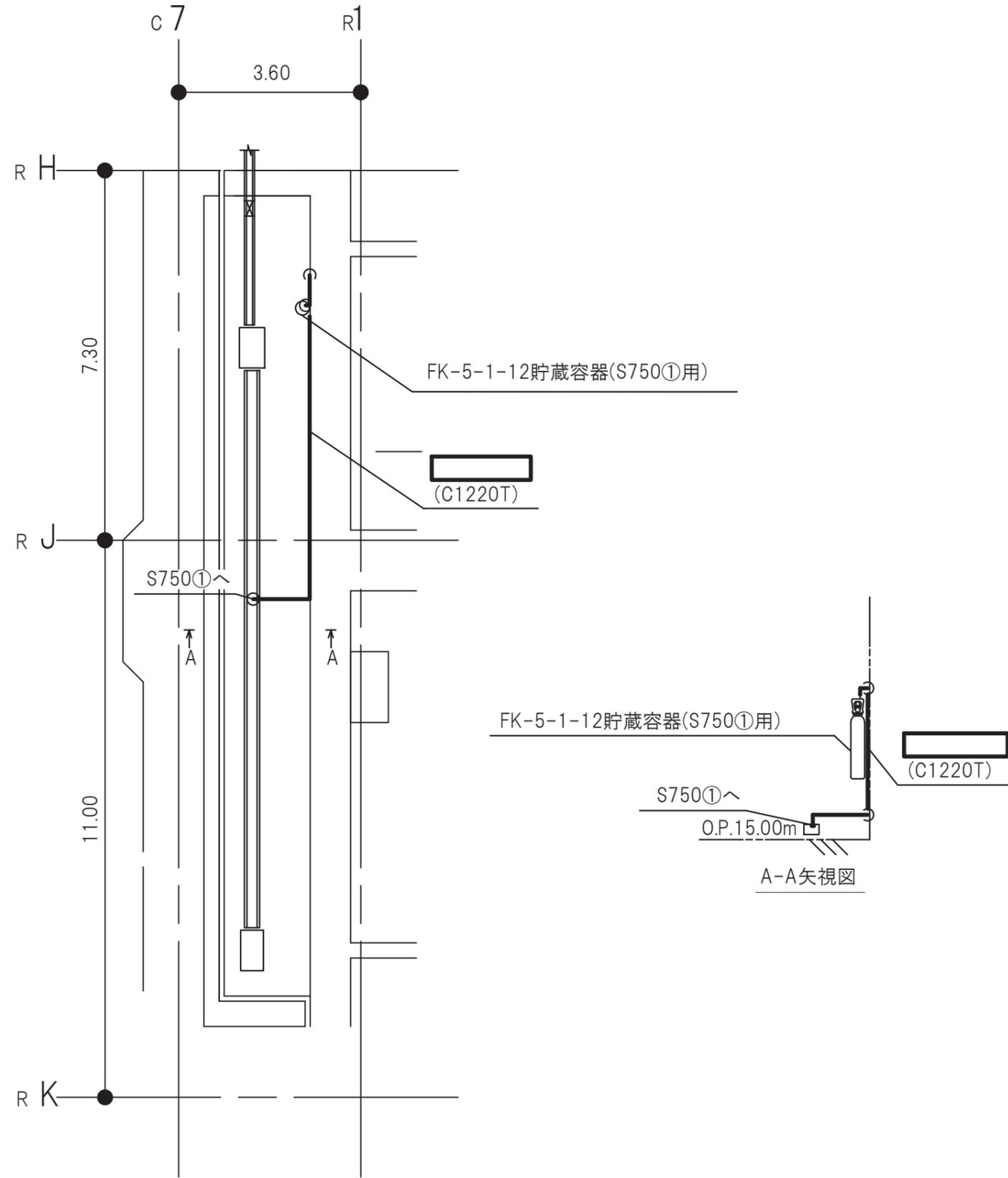
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-211図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S001①用) |
| 東北電力株式会社 | |



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-212図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S751①用) |
| 東北電力株式会社 | |



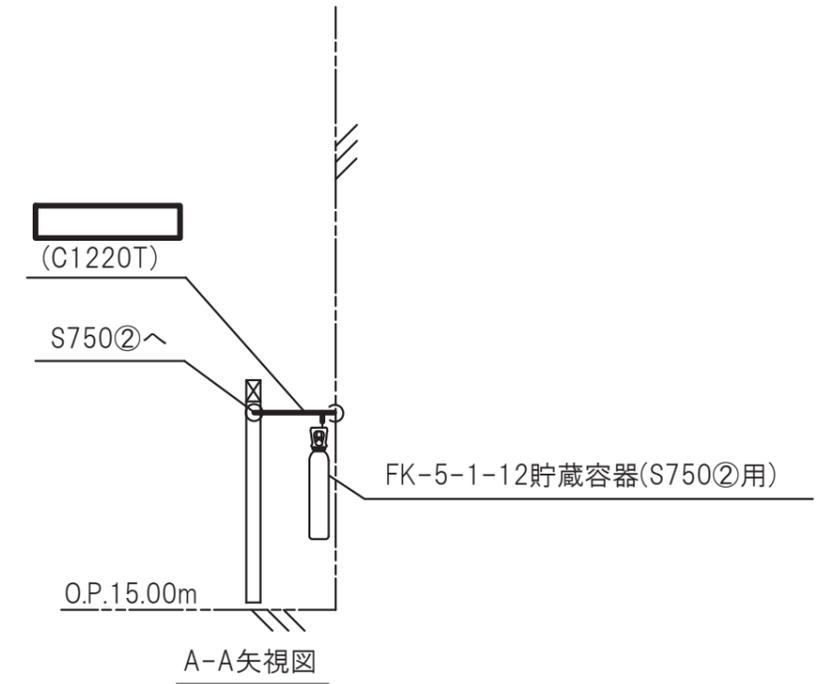
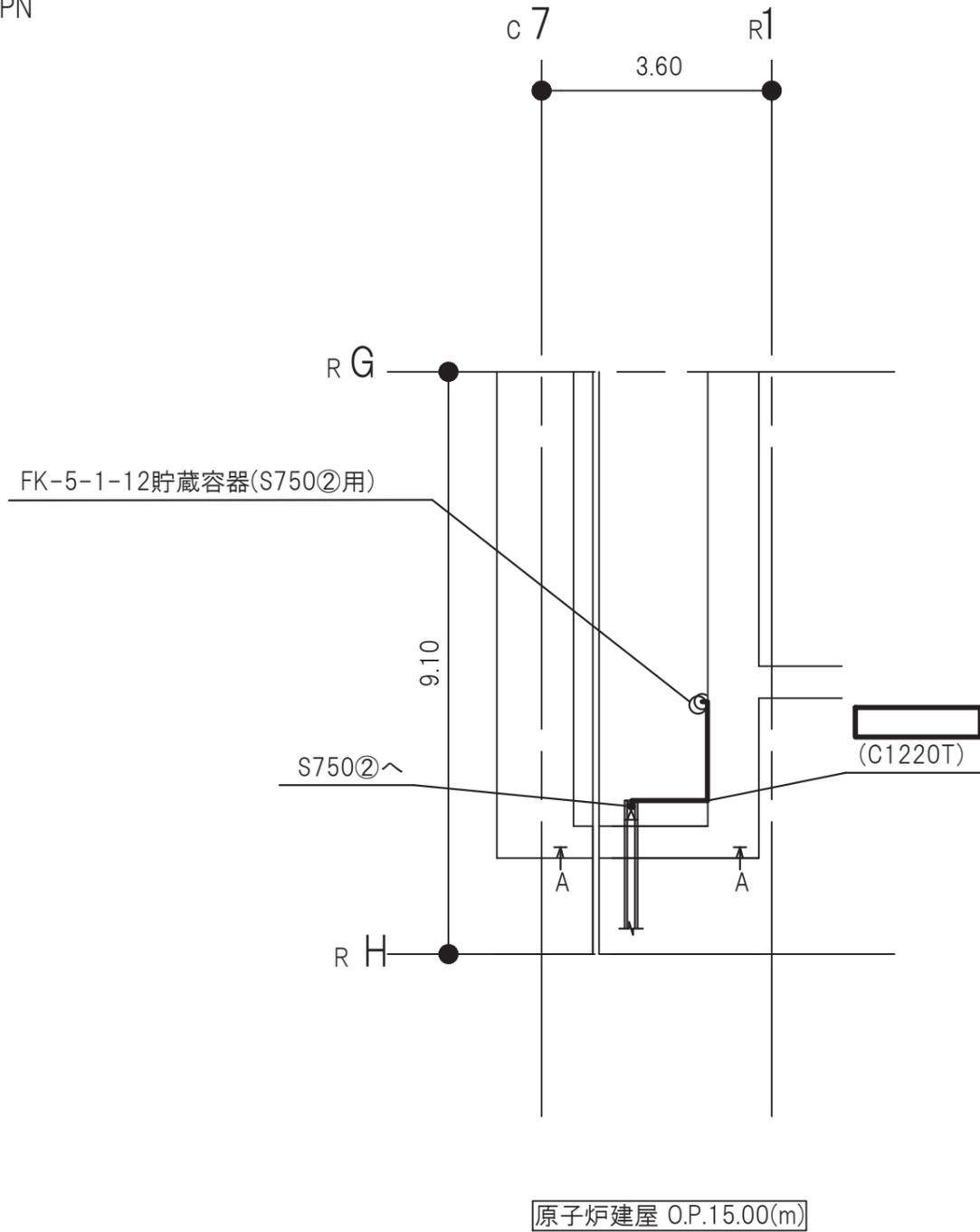
原子炉建屋 O.P.15.00(m)

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-213図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S750①用) |
| 東北電力株式会社 | |

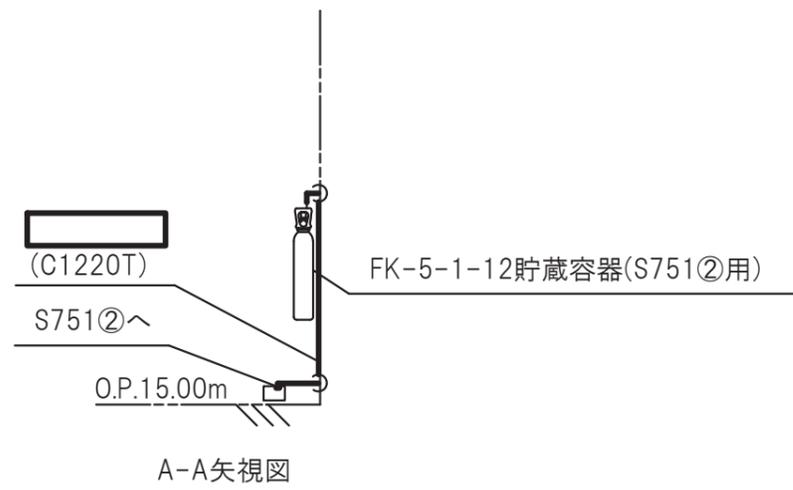
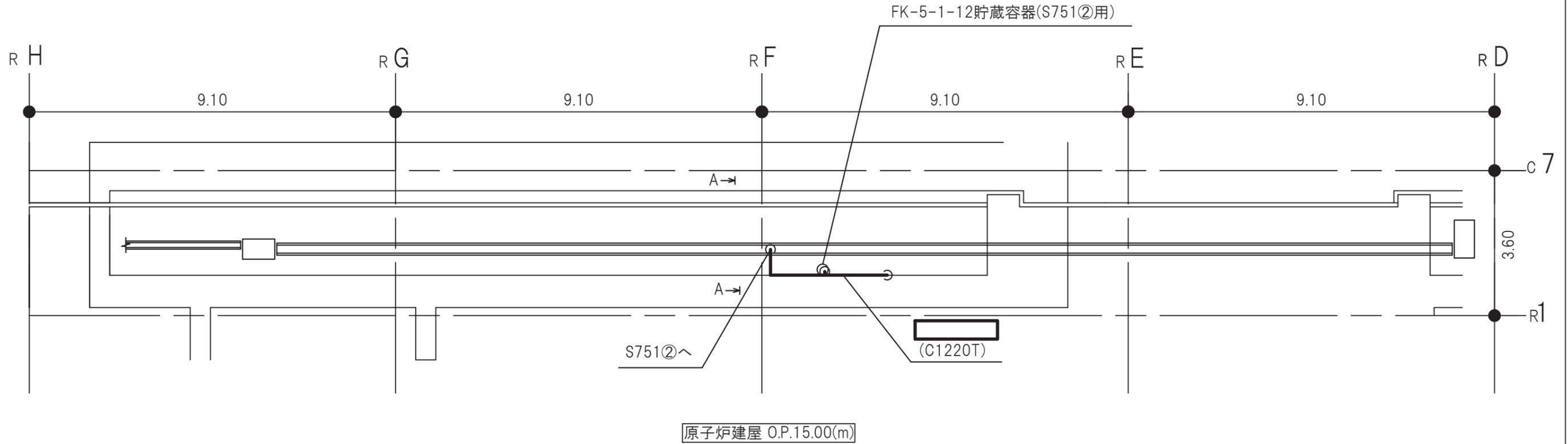
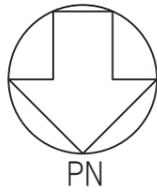
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



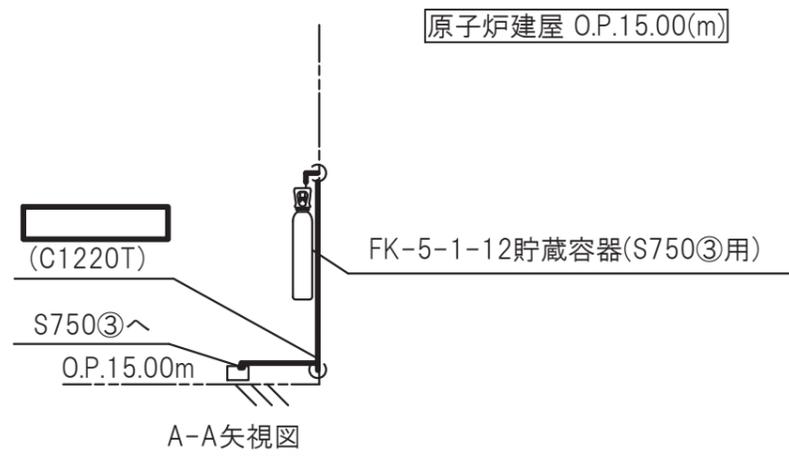
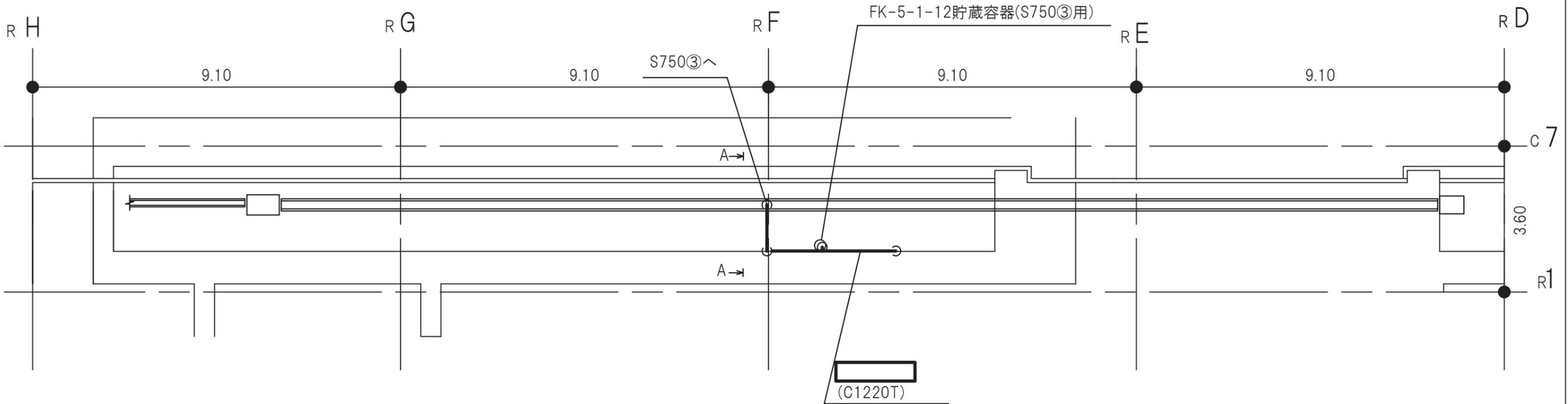
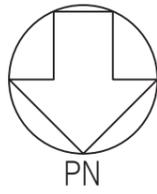
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-214図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S750②用) |
| 東北電力株式会社 | |



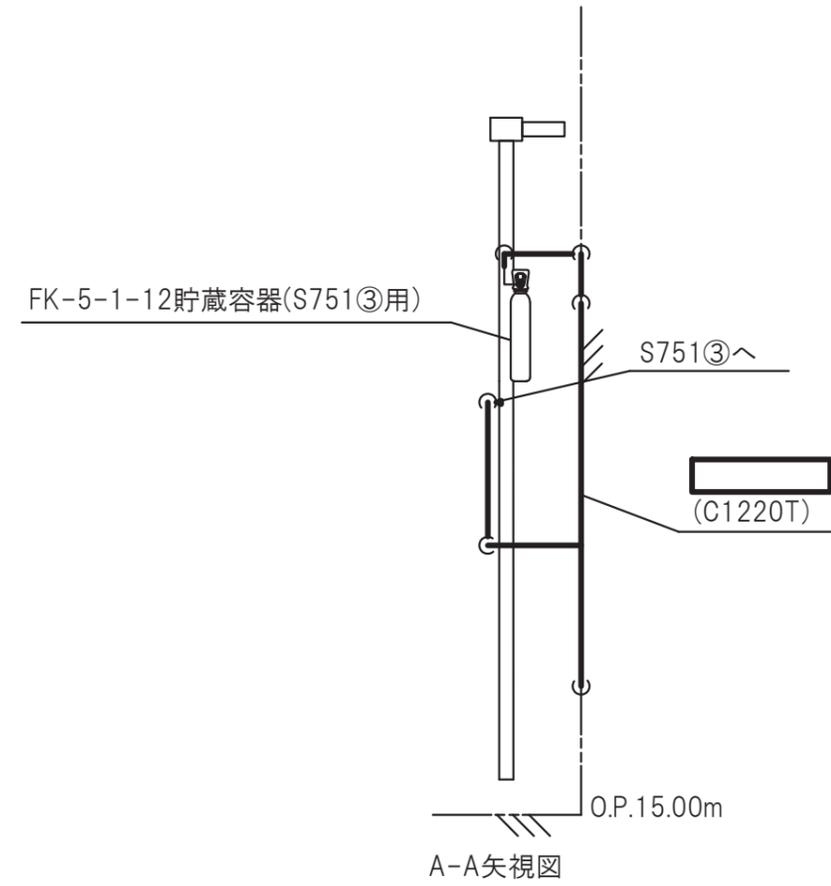
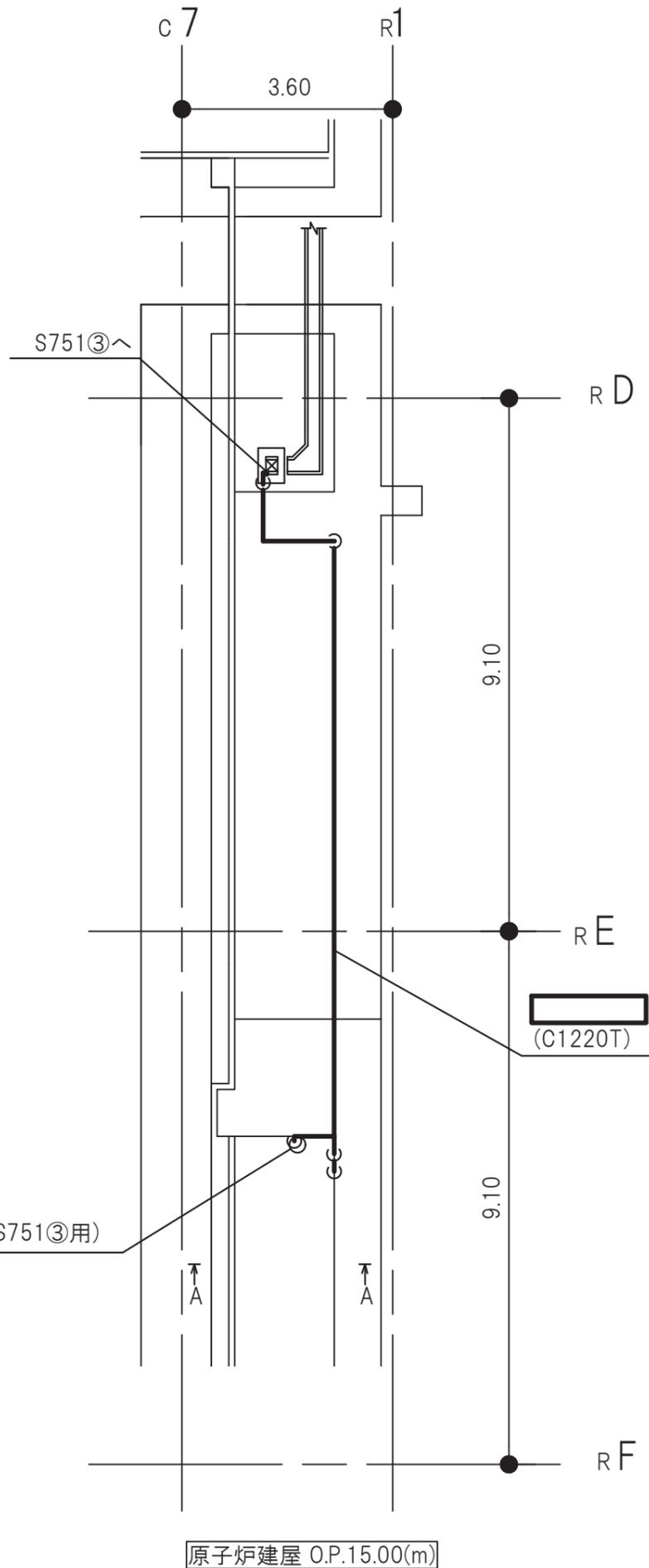
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-215図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S751②用) |
| 東北電力株式会社 | |



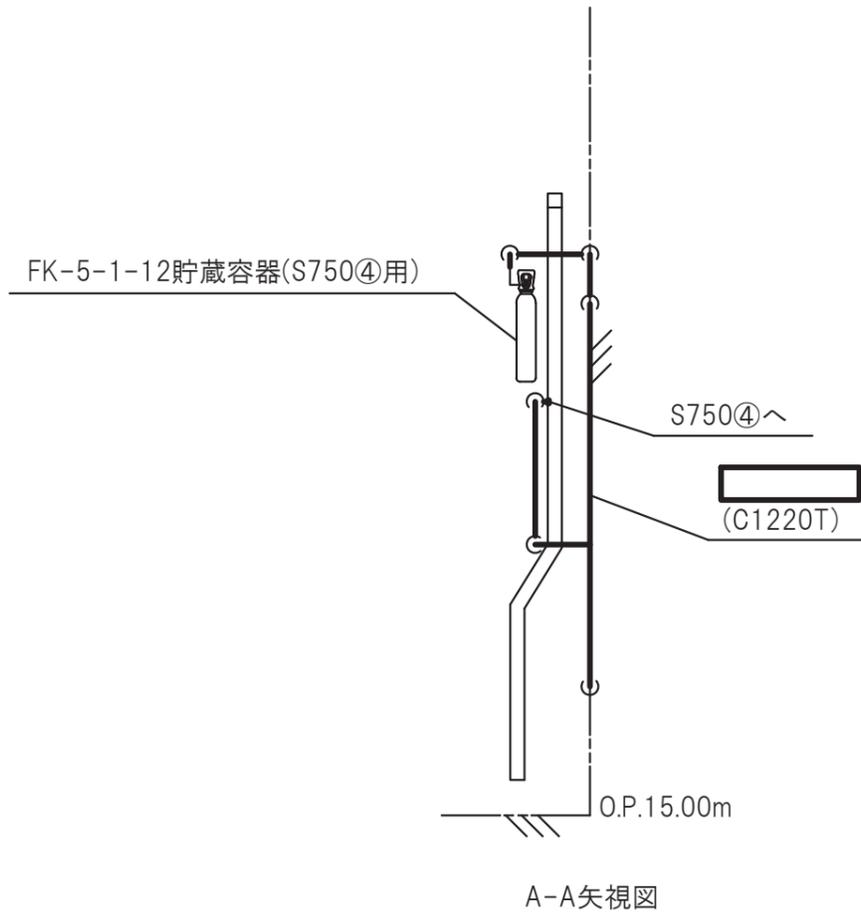
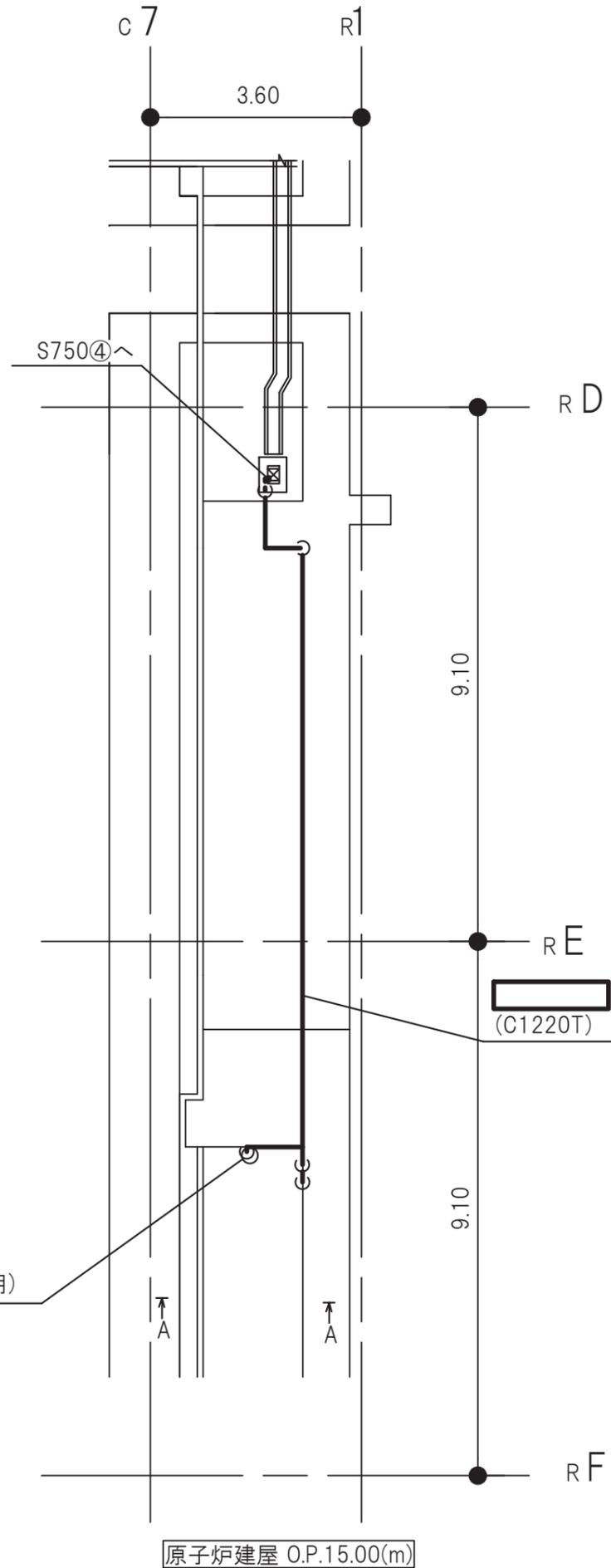
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-216図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S750③用) |
| 東北電力株式会社 | |



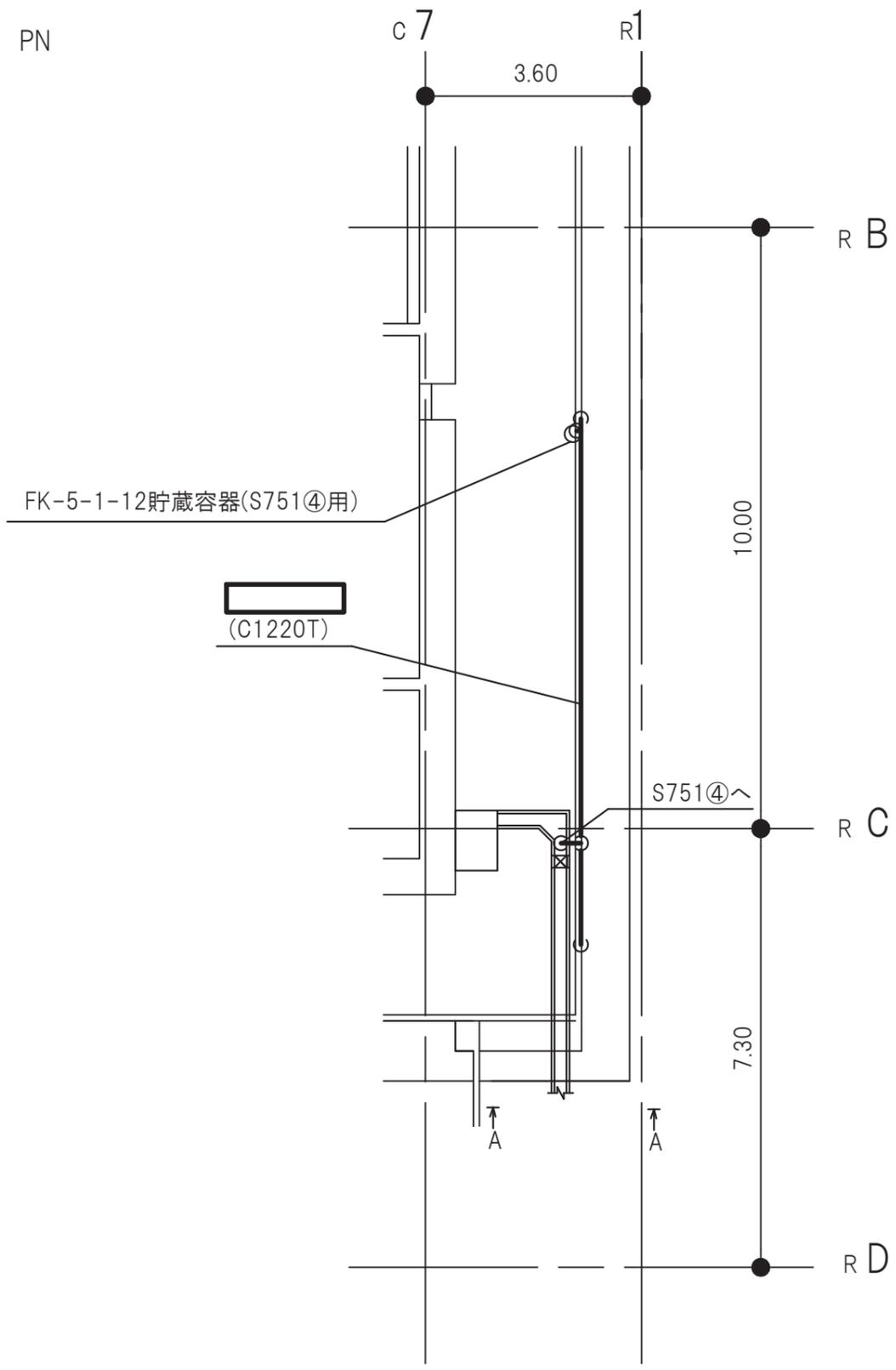
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-217図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S751③用) |
| 東北電力株式会社 | |

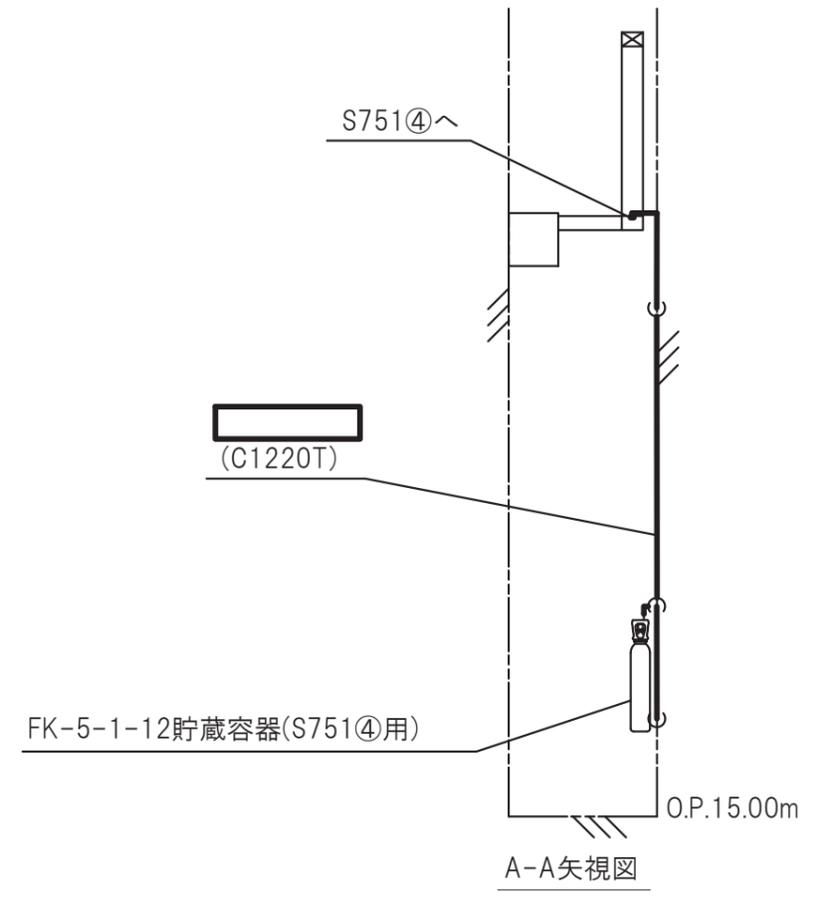


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-218図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S750④用) |
| 東北電力株式会社 | |



制御建屋 O.P.15.00(m)

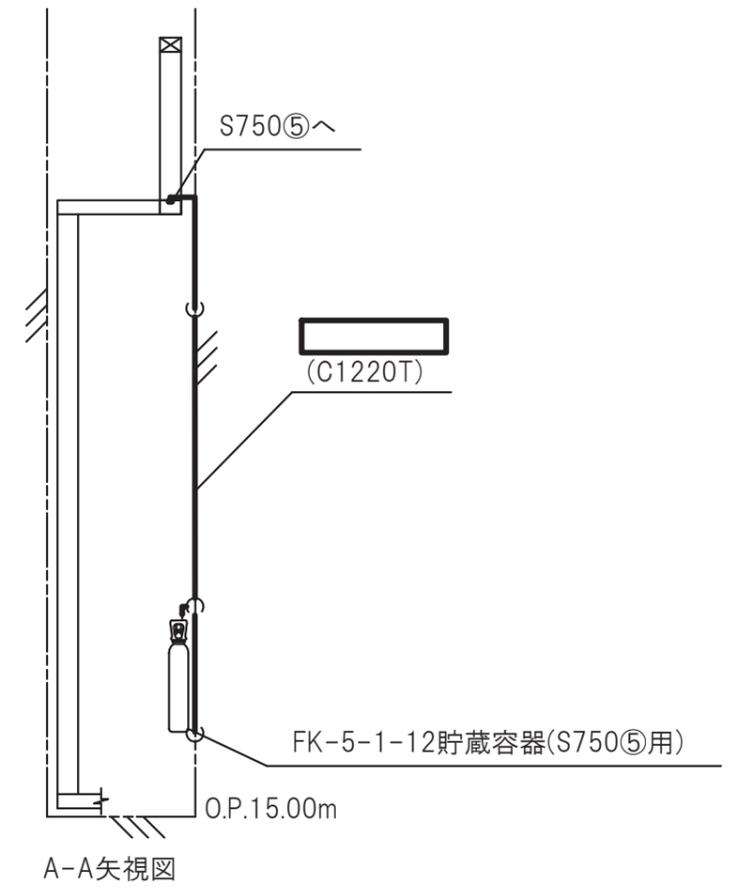
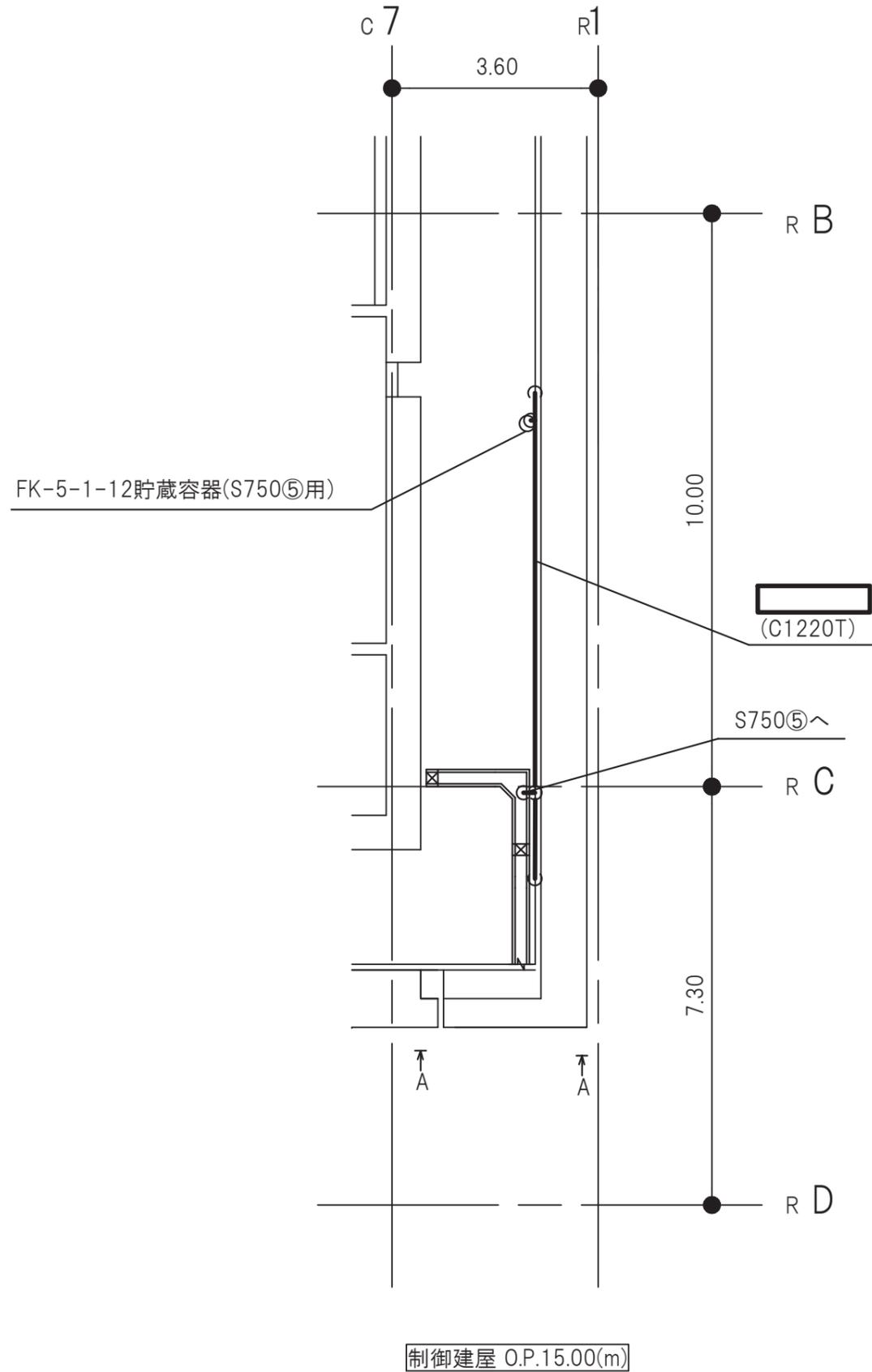


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-219図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S751④用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

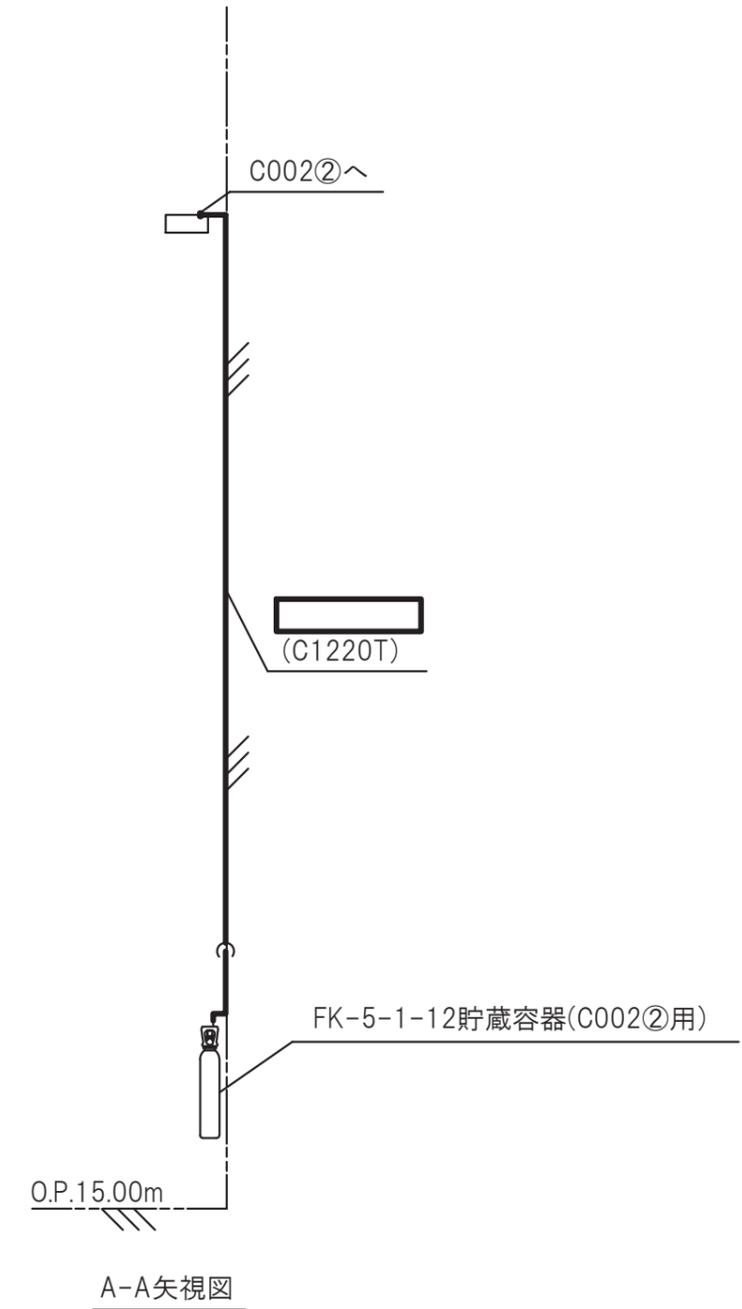
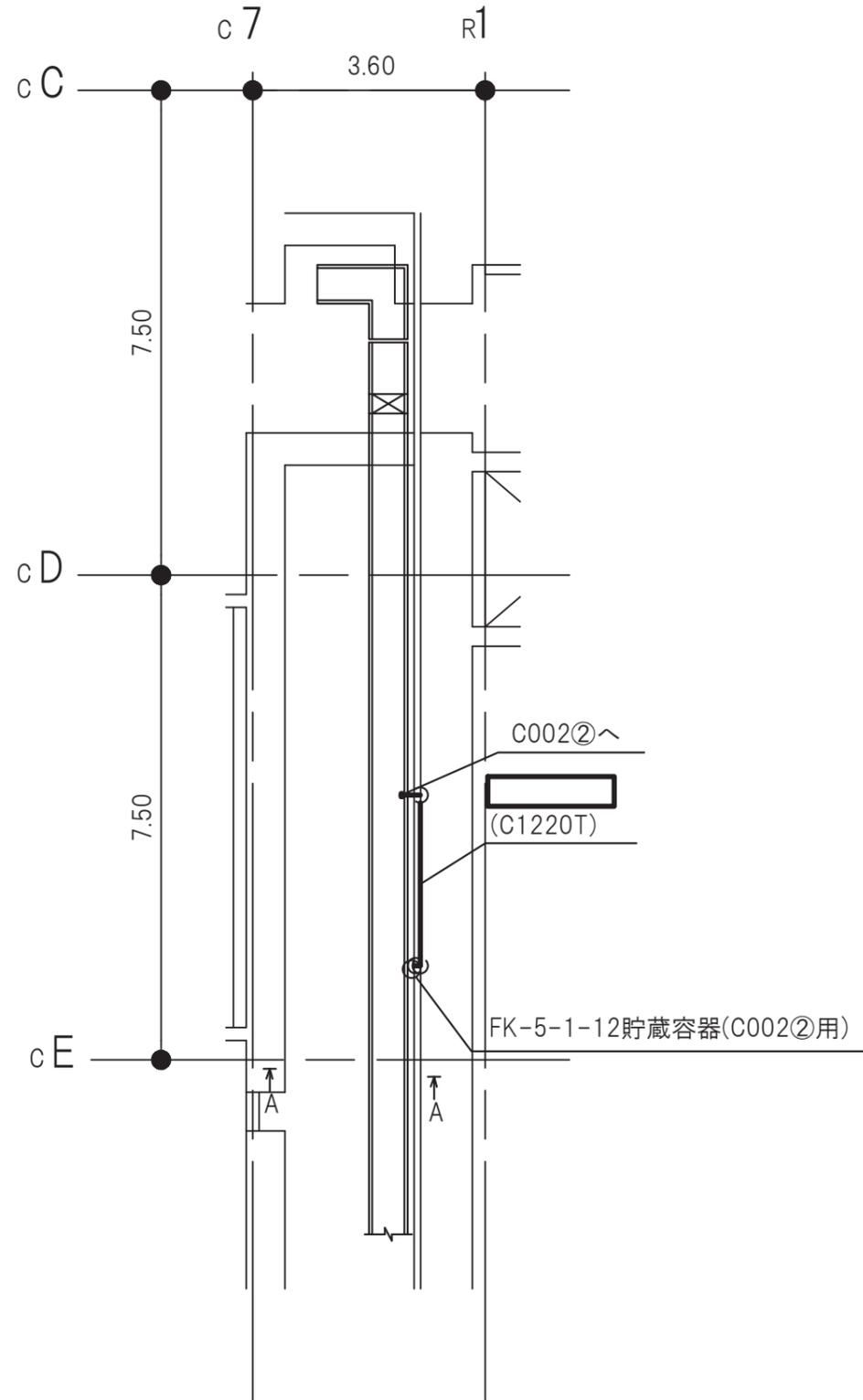
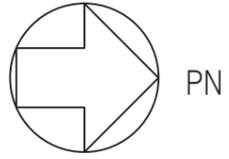


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-220図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S750㊟用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

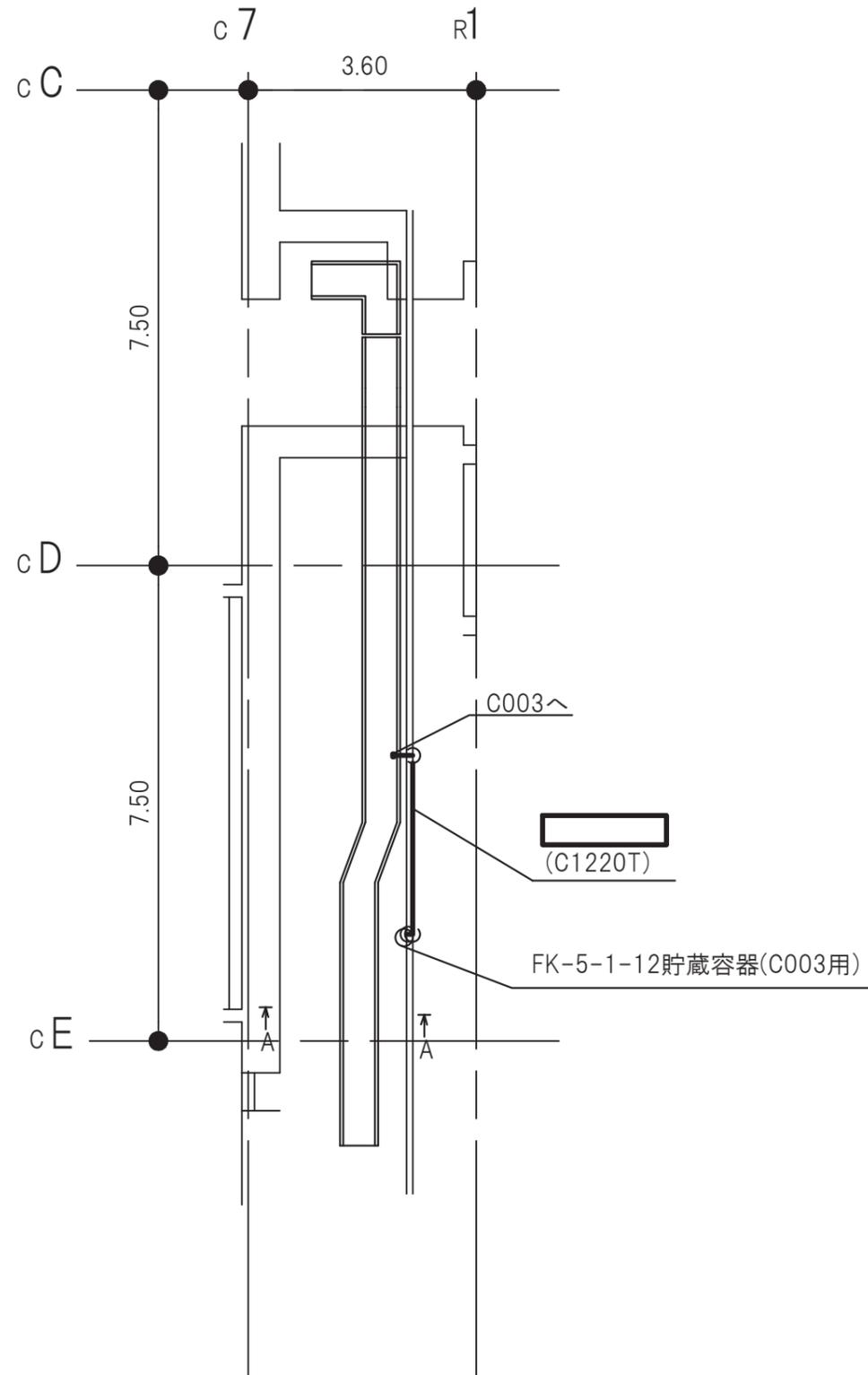


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

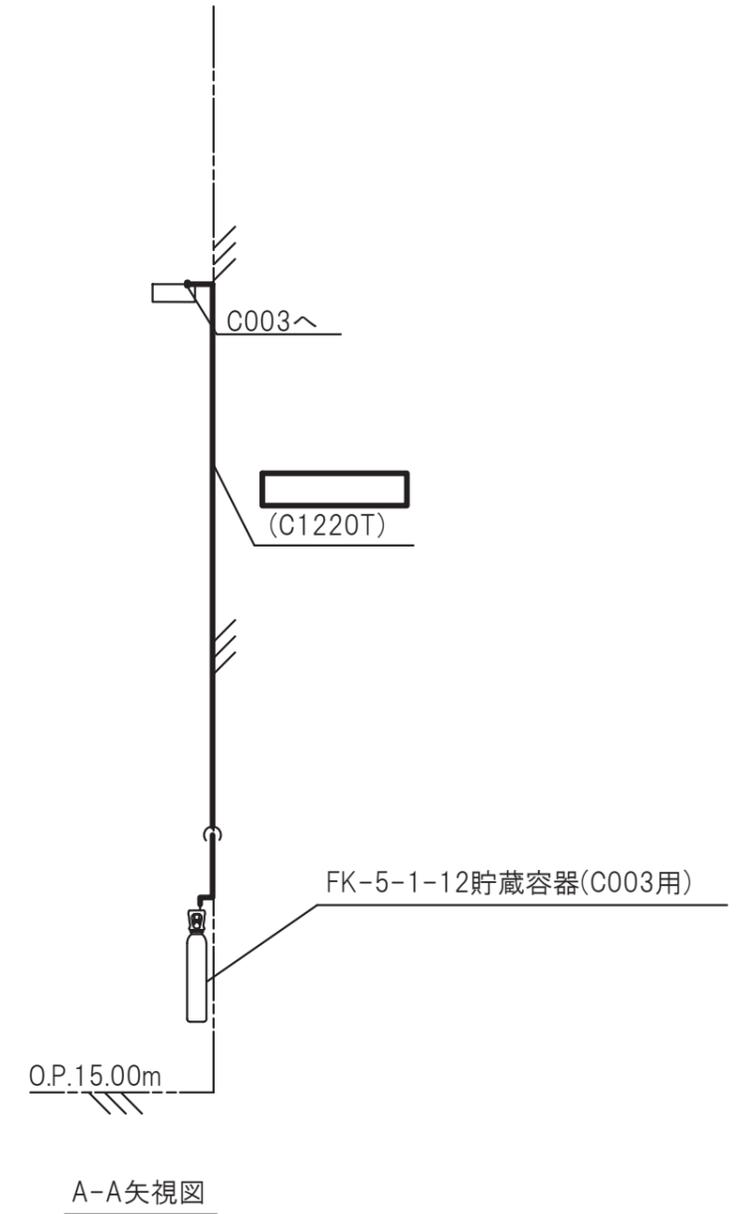
制御建屋

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-221図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C002②用) |
| 東北電力株式会社 | |

制御建屋 O.P.15.00(m)



制御建屋 O.P.15.00(m)

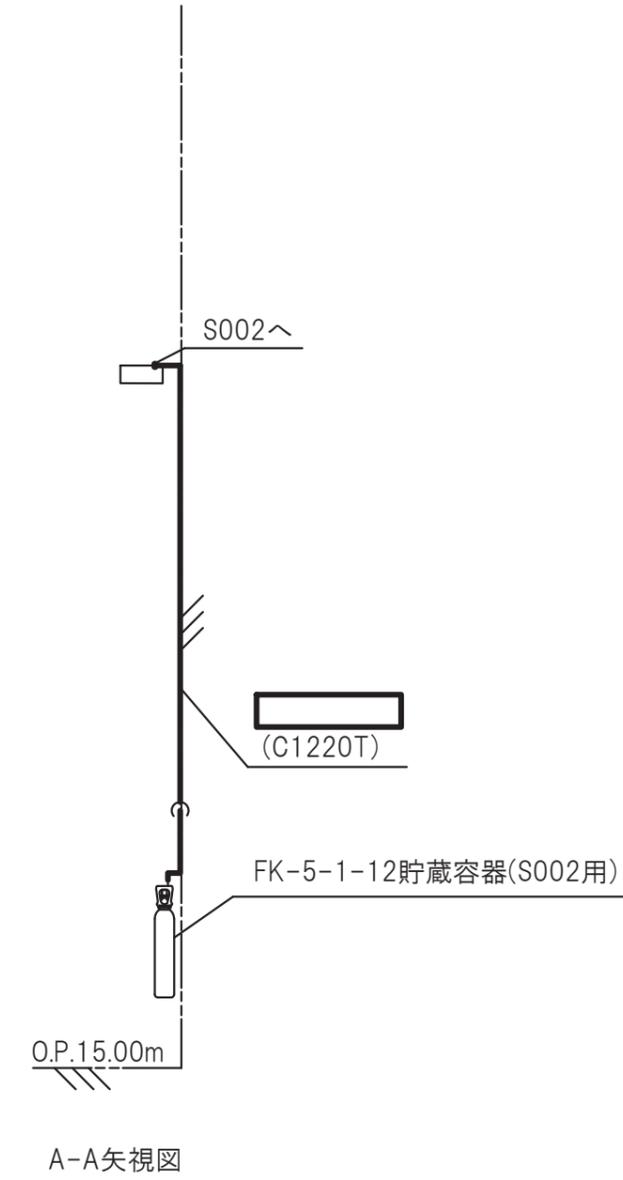
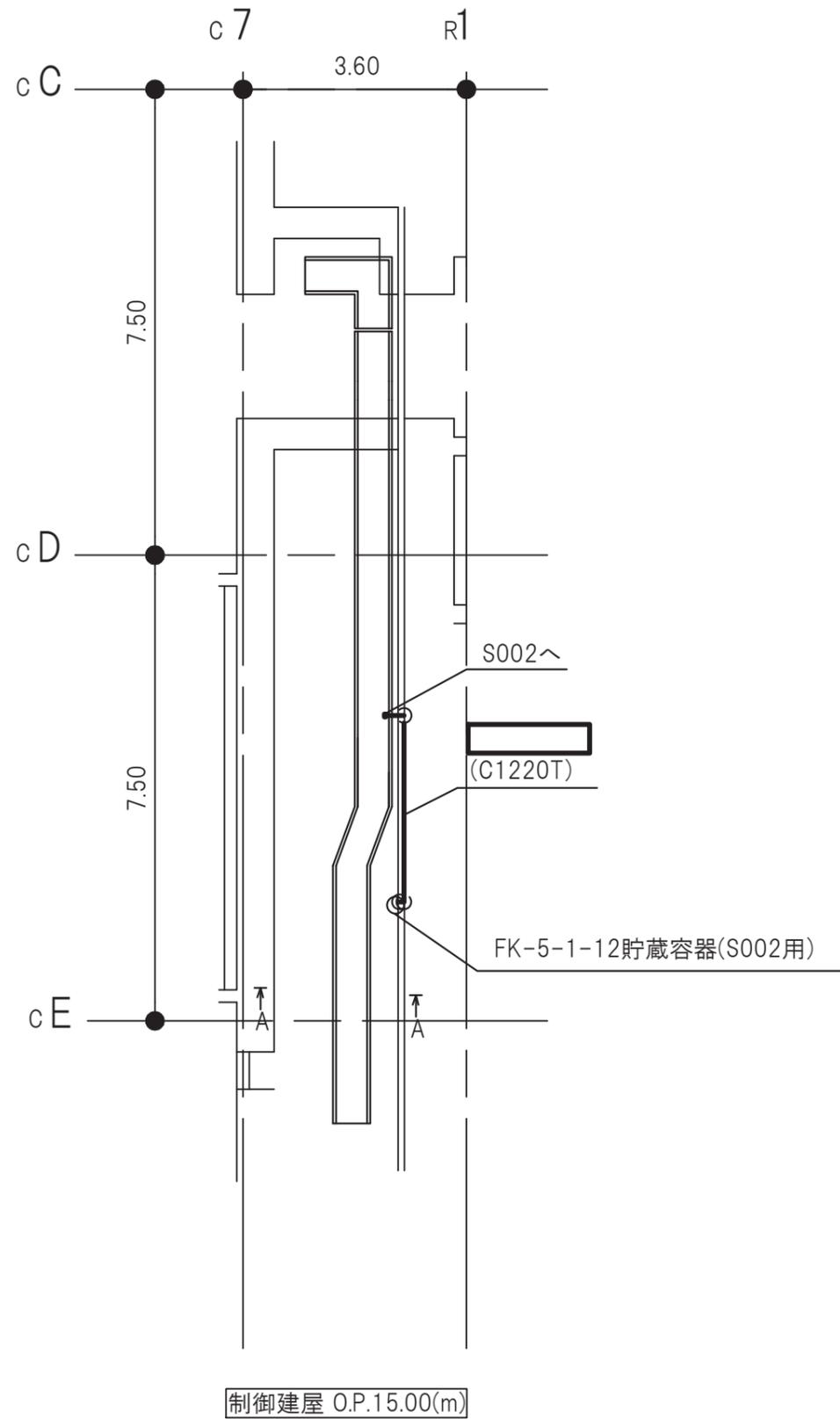
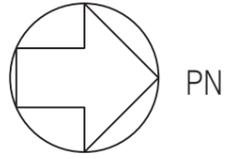


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-222図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C003用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

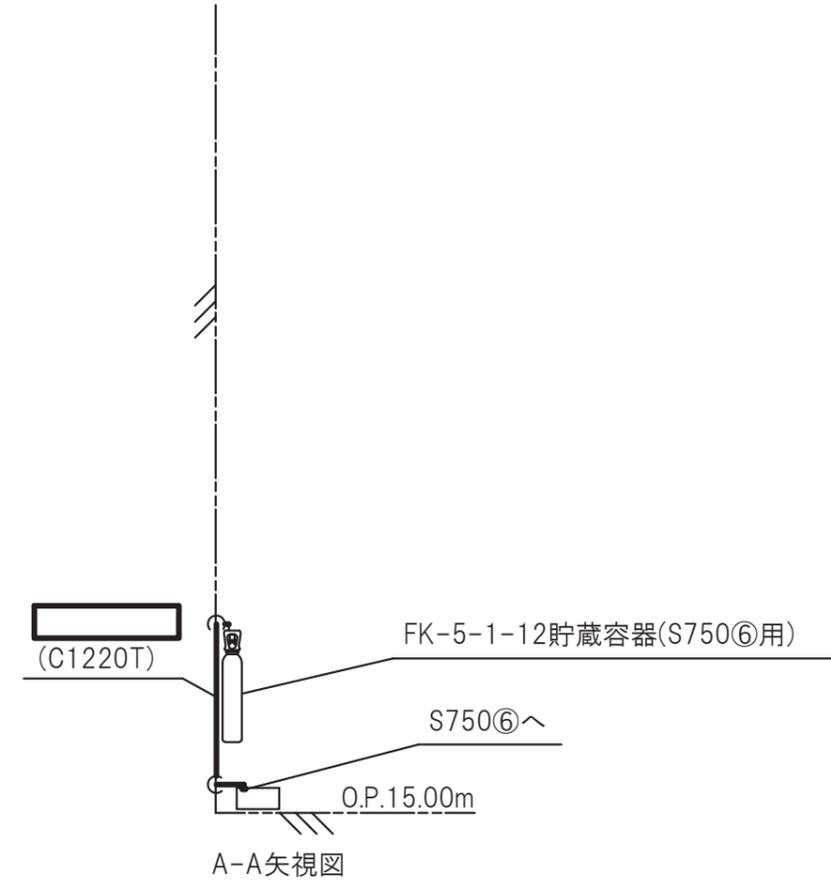
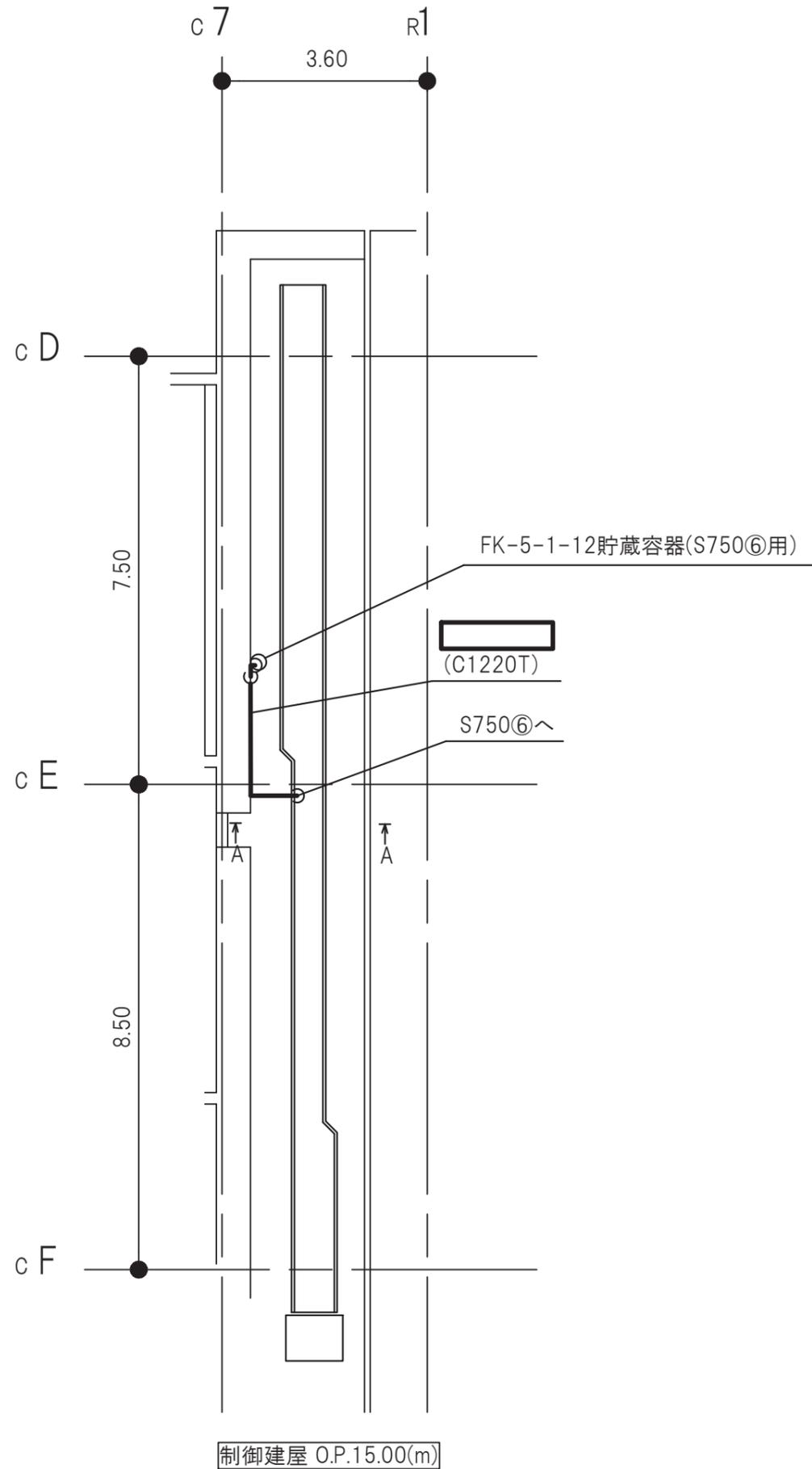


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-223図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S002用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

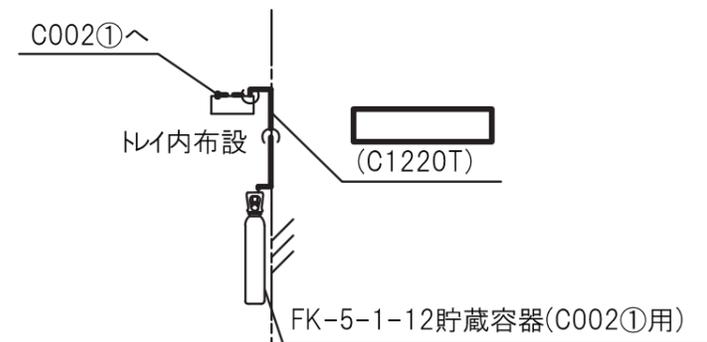
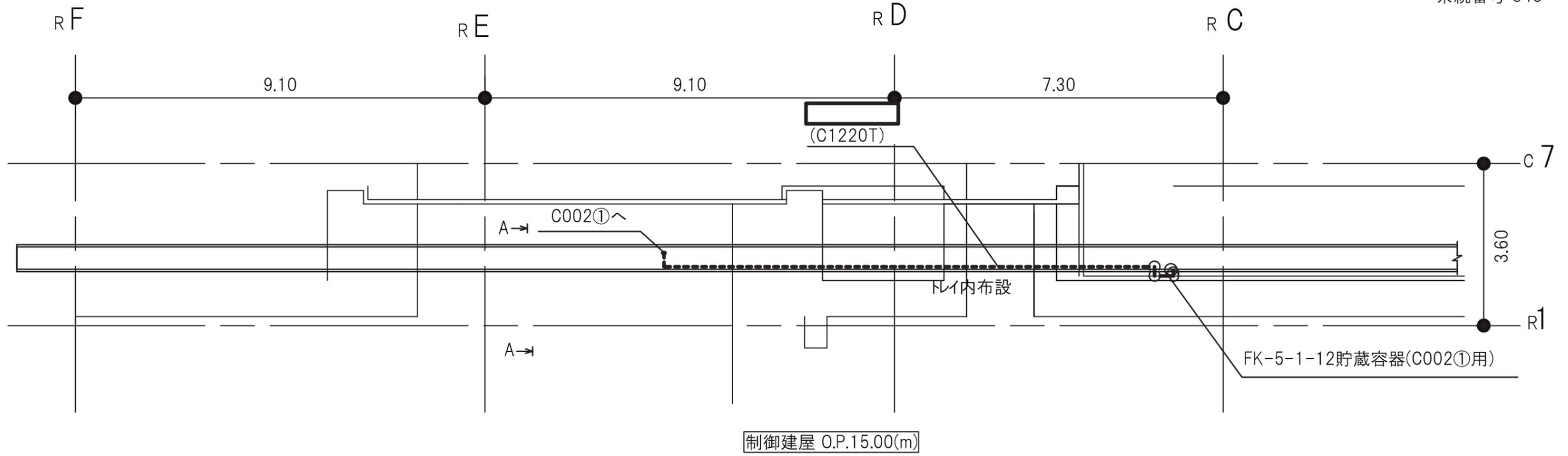
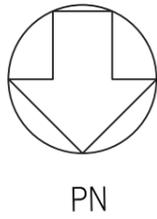
0420



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-224図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S750㊸用) |
| 東北電力株式会社 | |

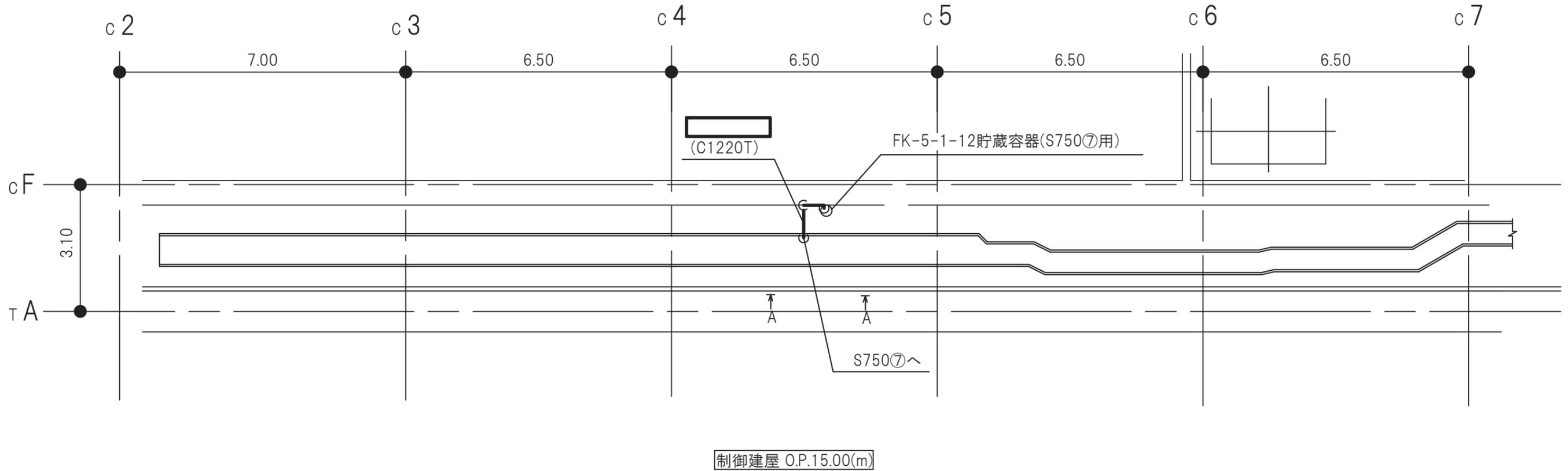
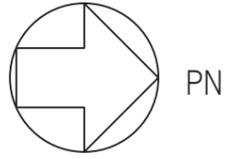
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



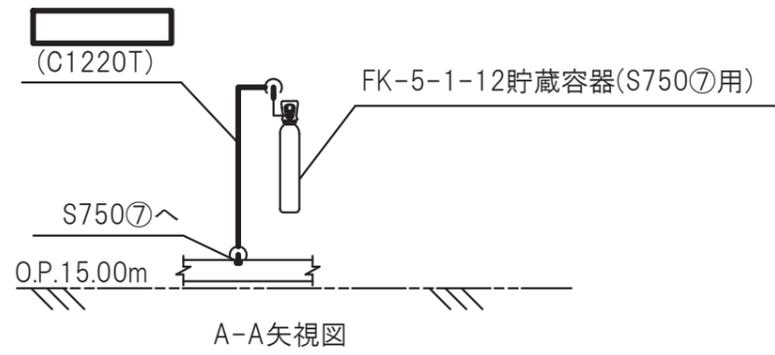
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-225図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C002①用) |
| 東北電力株式会社 | |

O.P.15.00m
 A-A矢視図

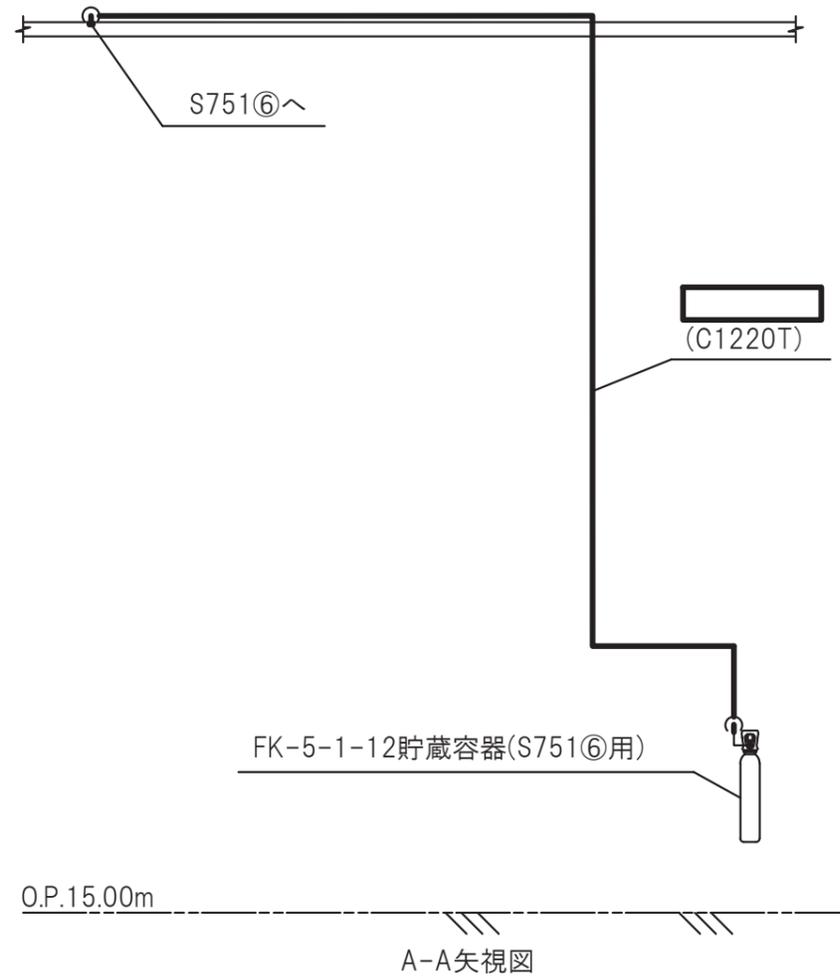
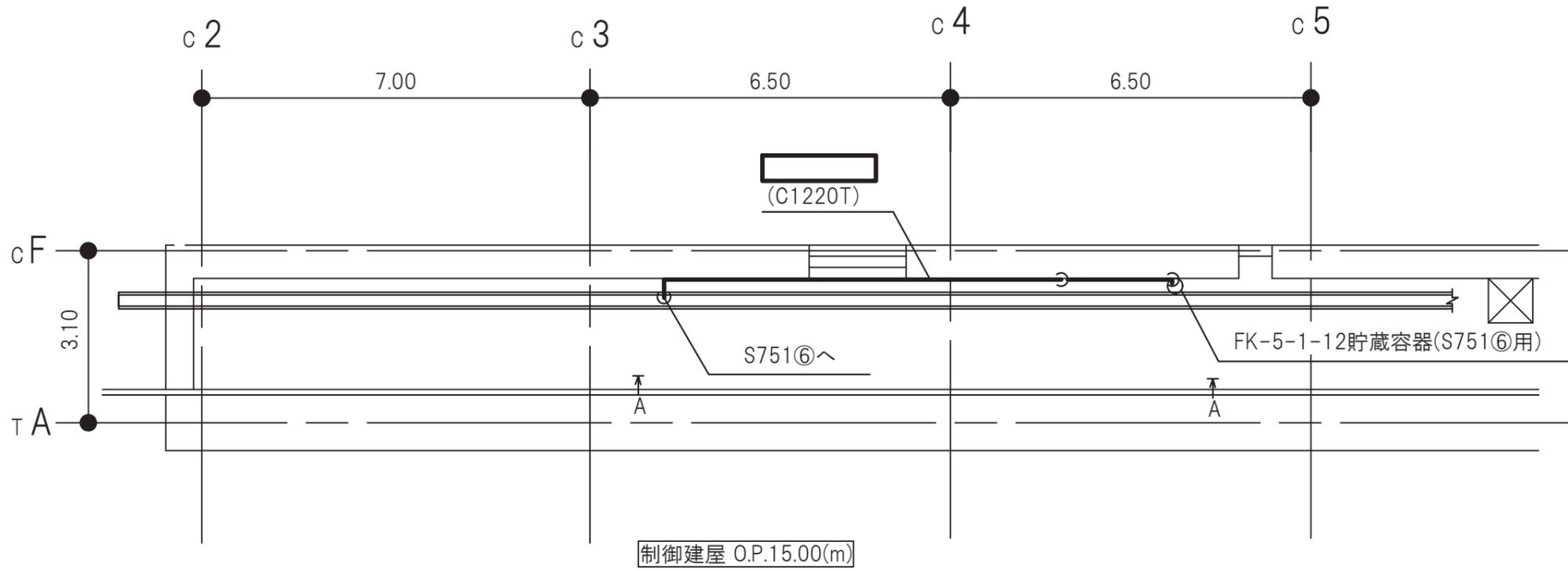


制御建屋 O.P.15.00(m)



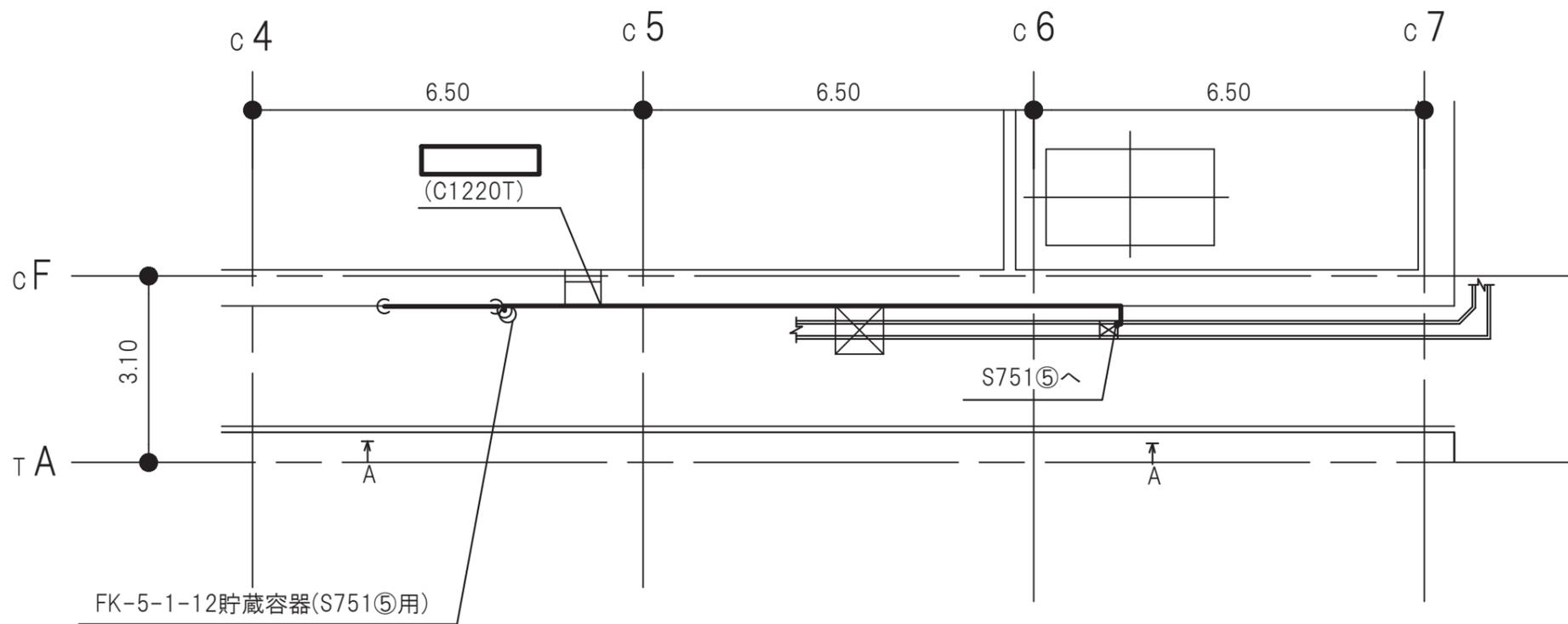
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-226図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S750㉞用) |
| 東北電力株式会社 | |

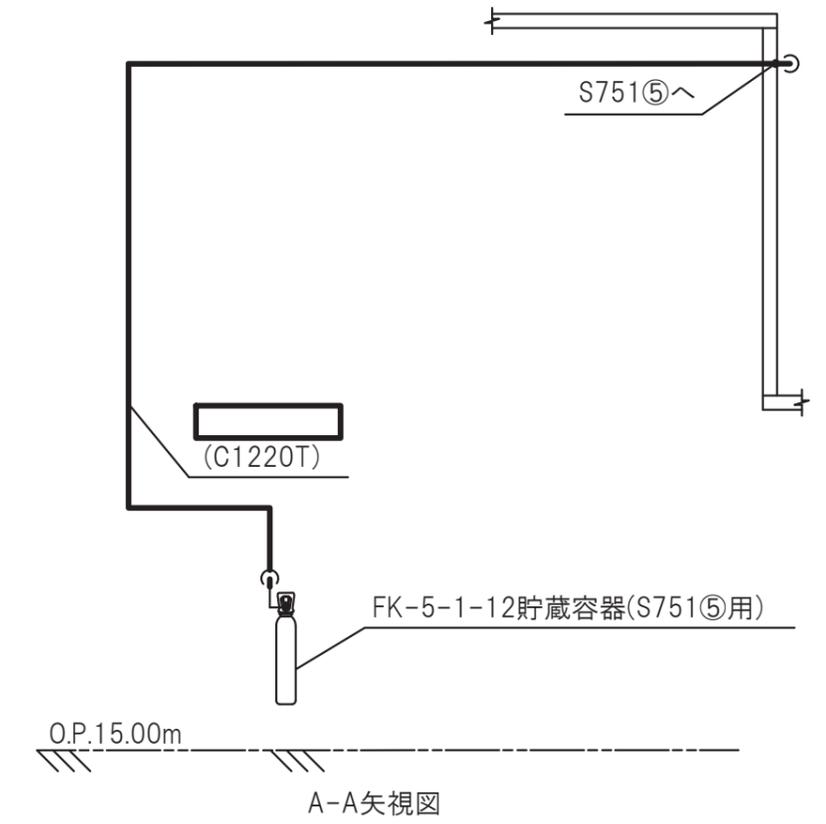


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-227図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S751⑥用) |
| 東北電力株式会社 | |



制御建屋 O.P.15.00(m)

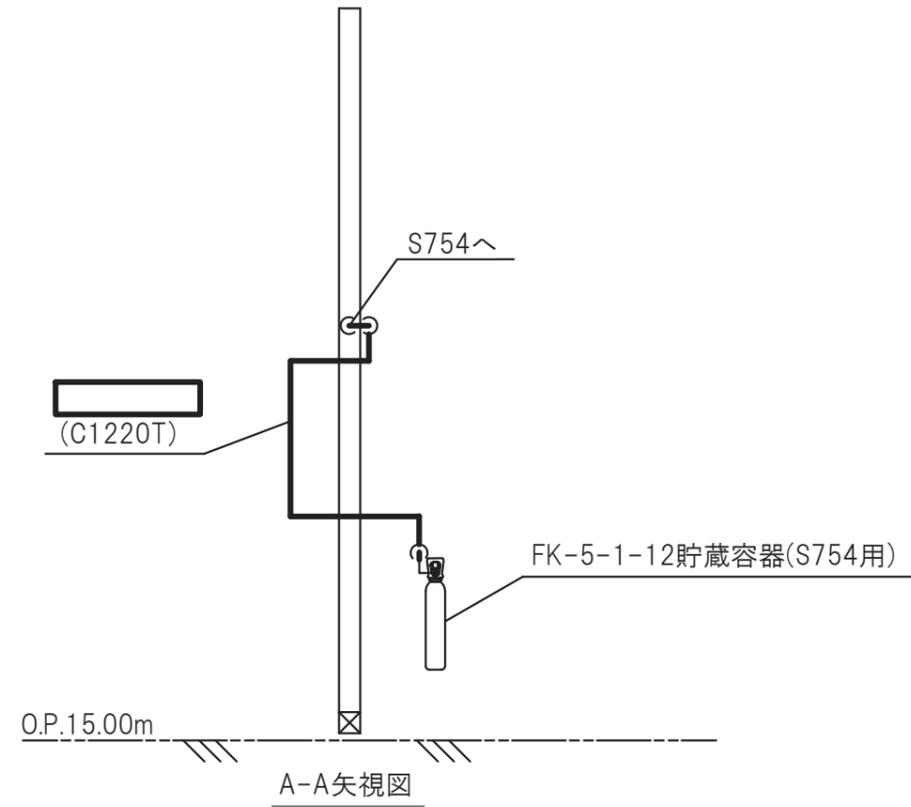
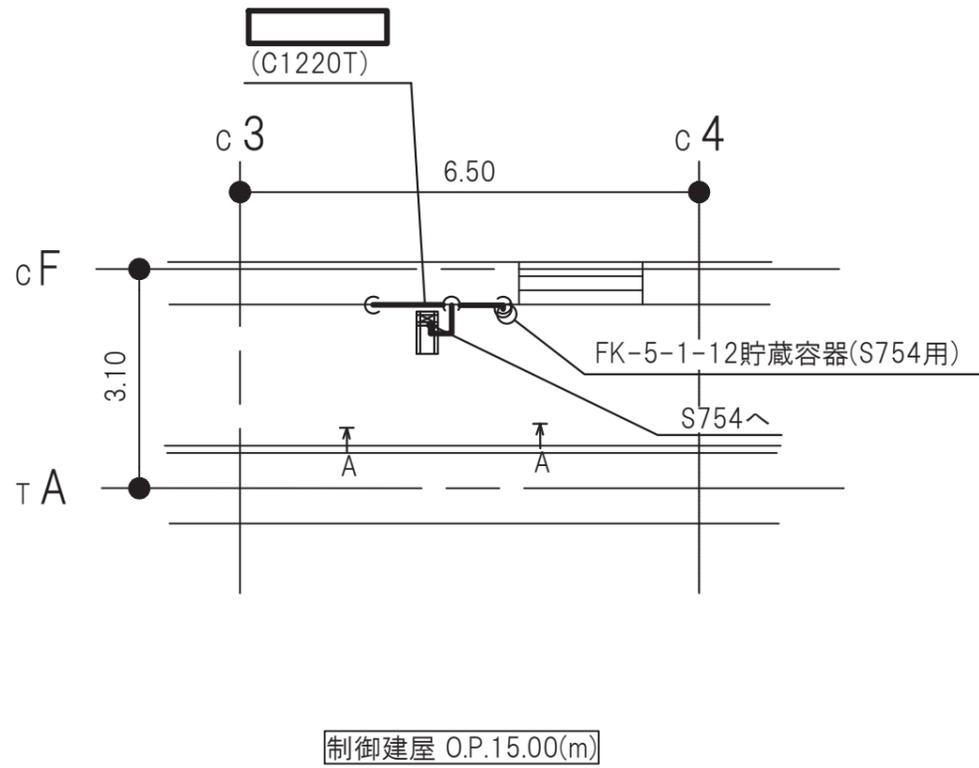


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-228図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S751⑤用) |
| 東北電力株式会社 | |

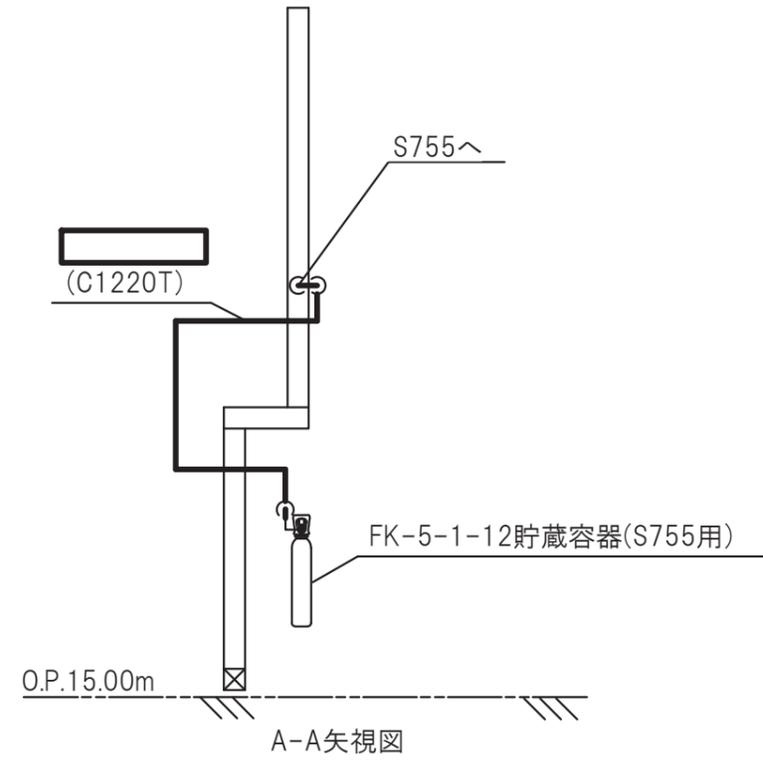
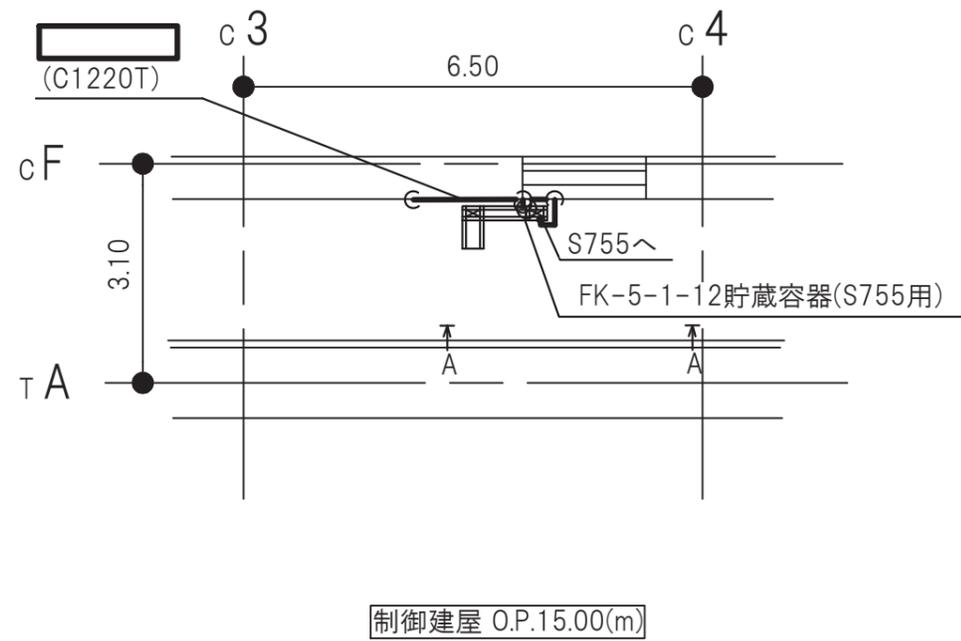
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-229図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S754用) |
| 東北電力株式会社 | |

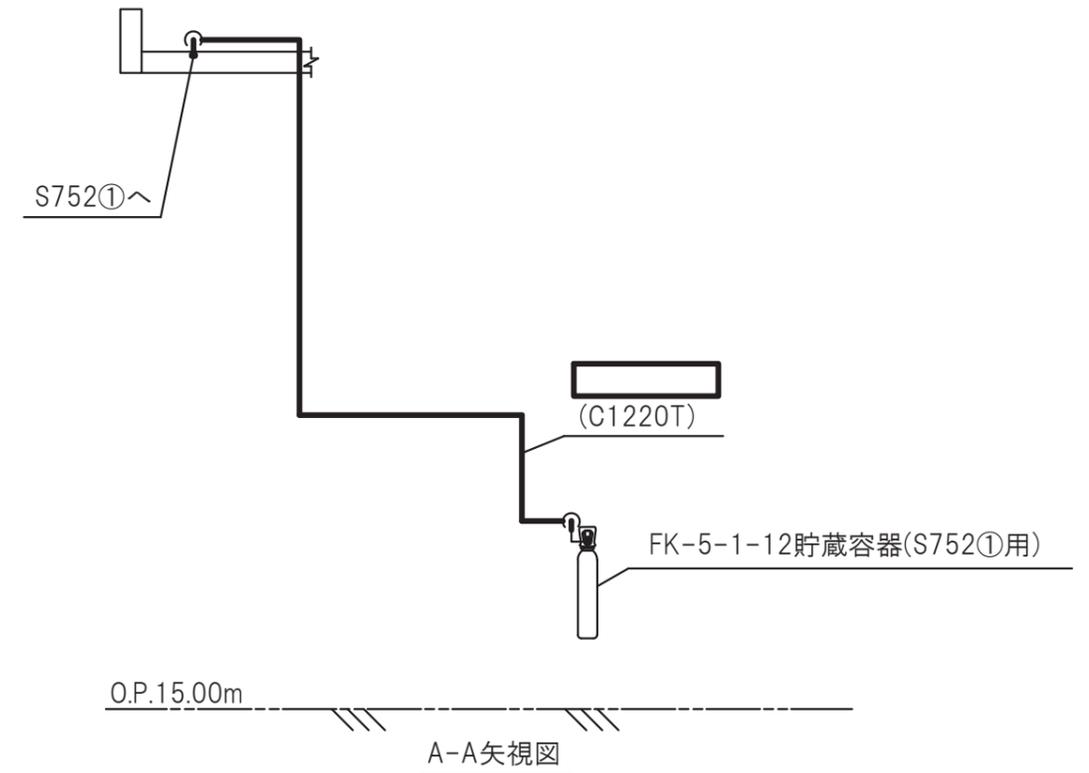
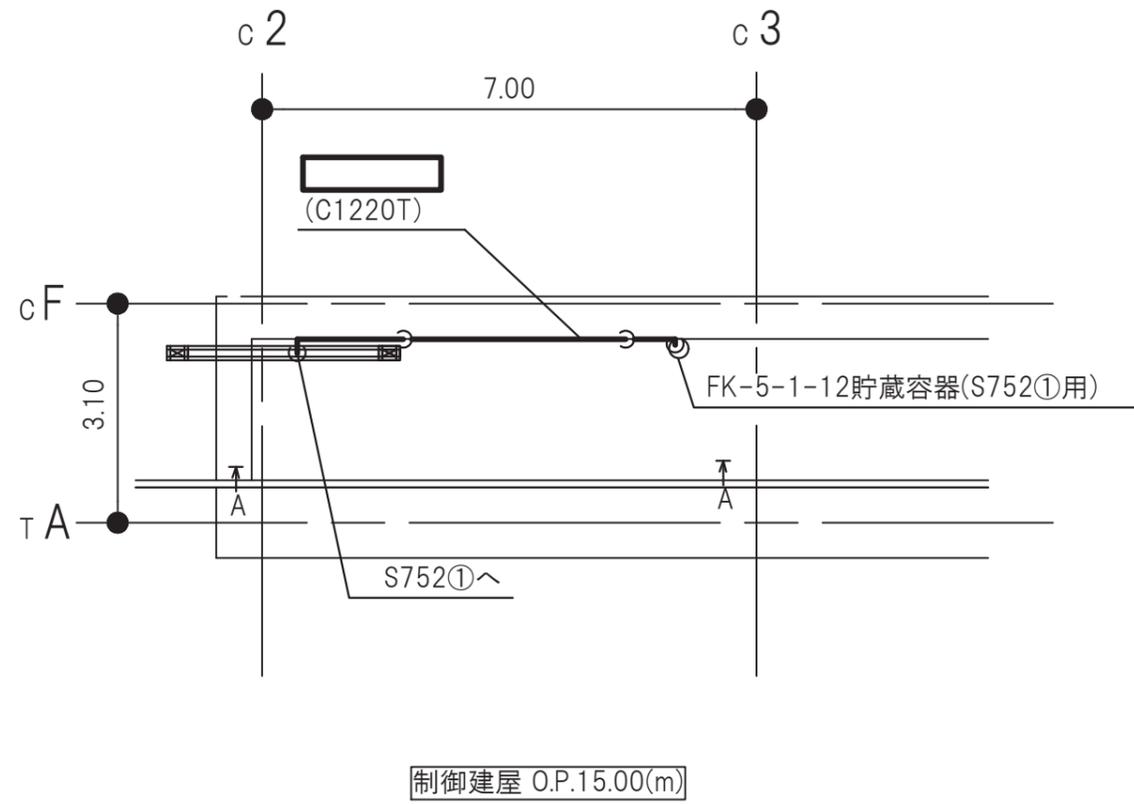


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-230図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S755用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

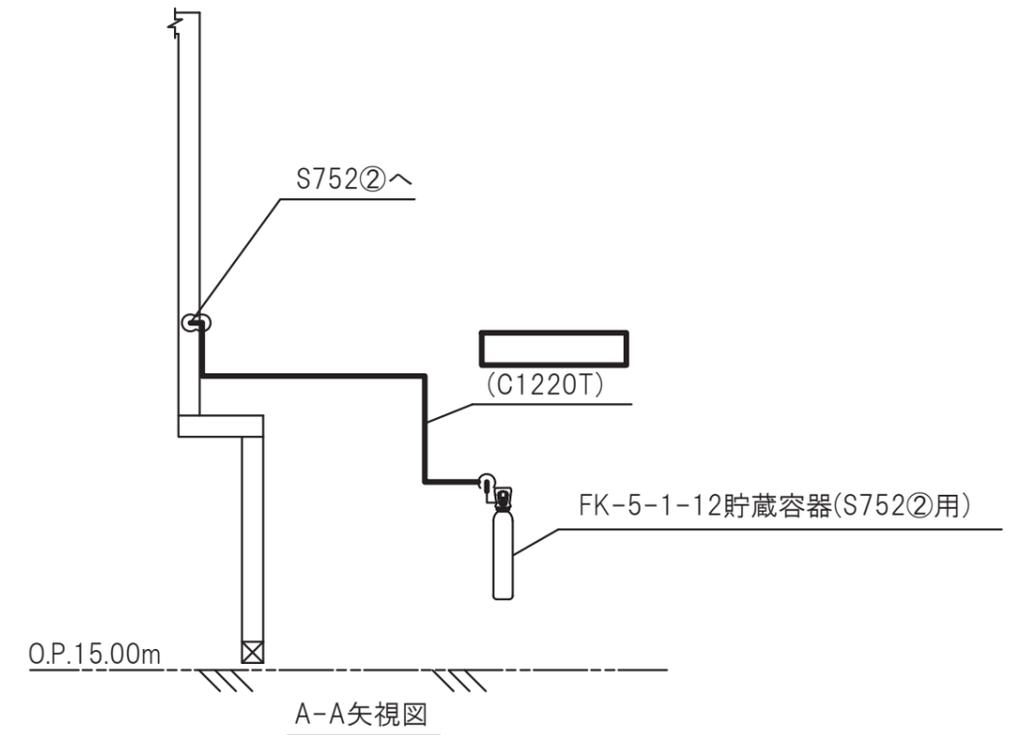
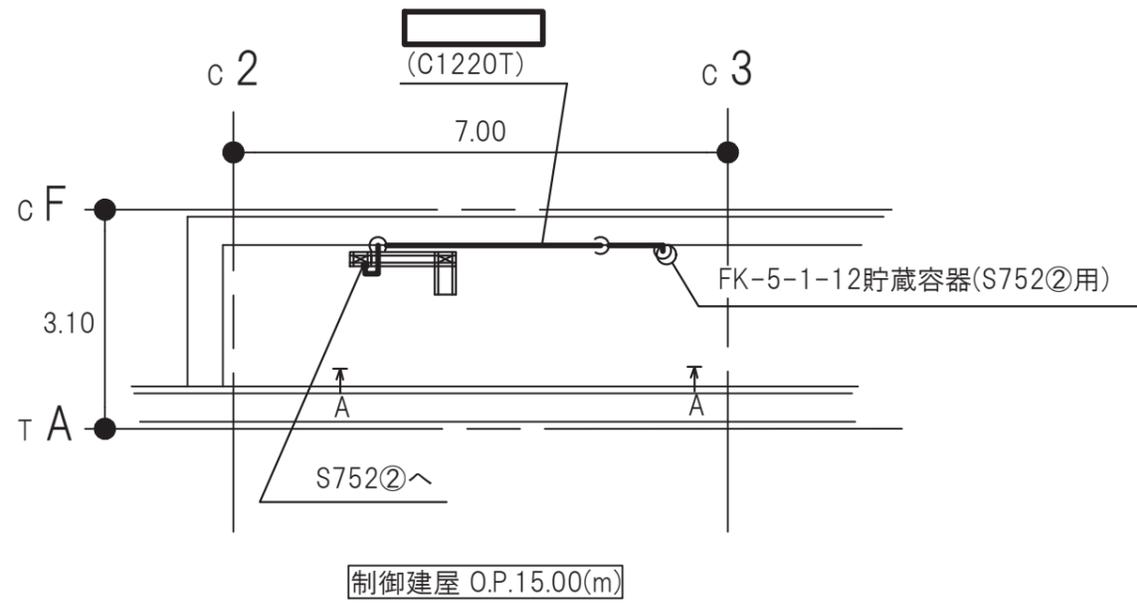


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-231図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S752①用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420

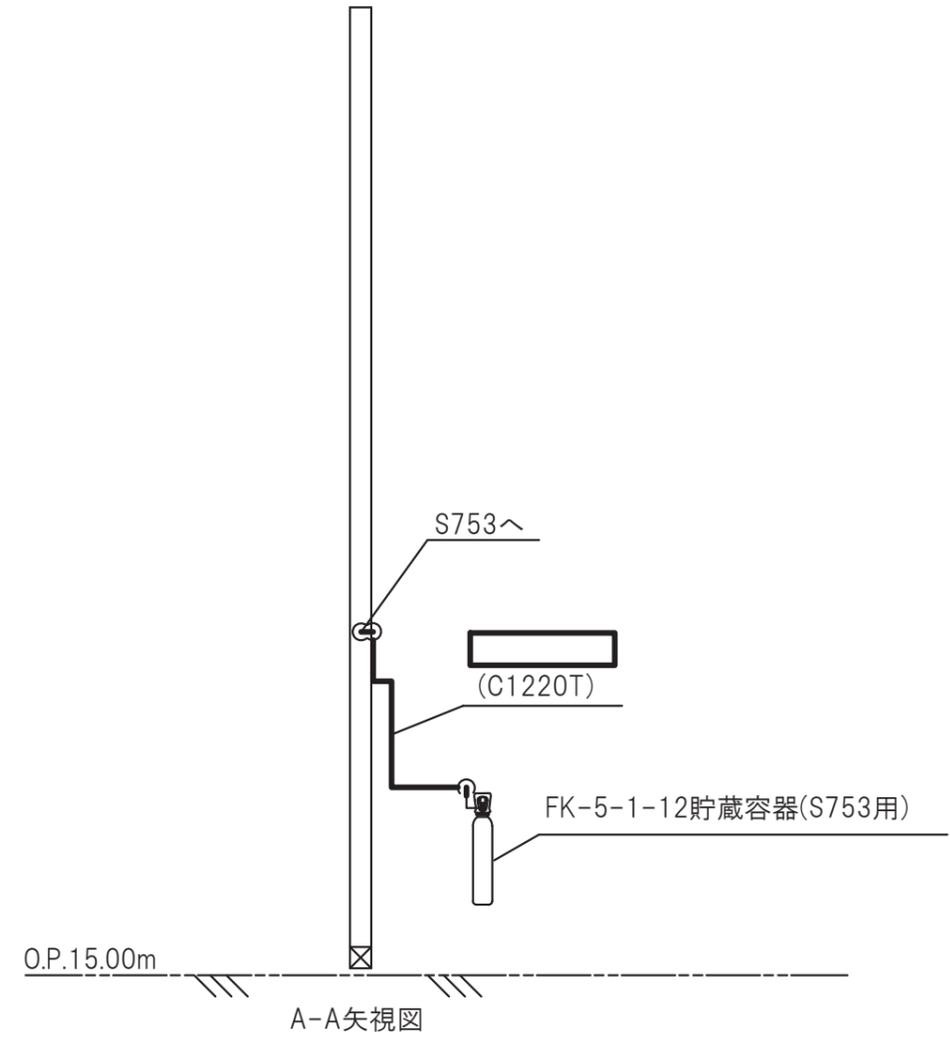
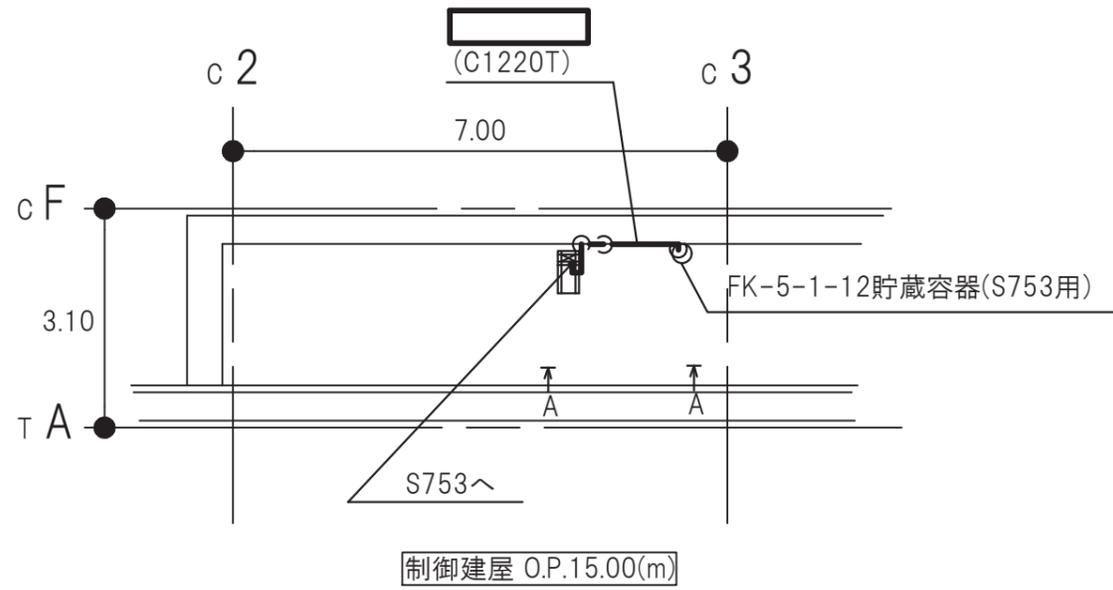


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-232図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S752②用) |
| 東北電力株式会社 | |

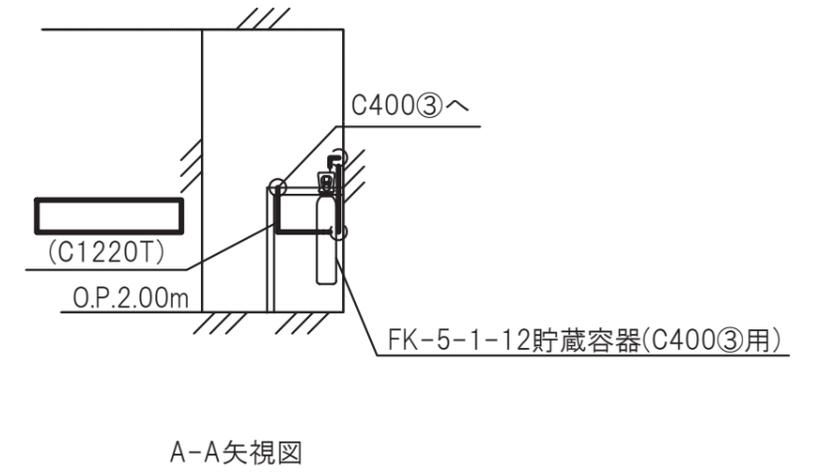
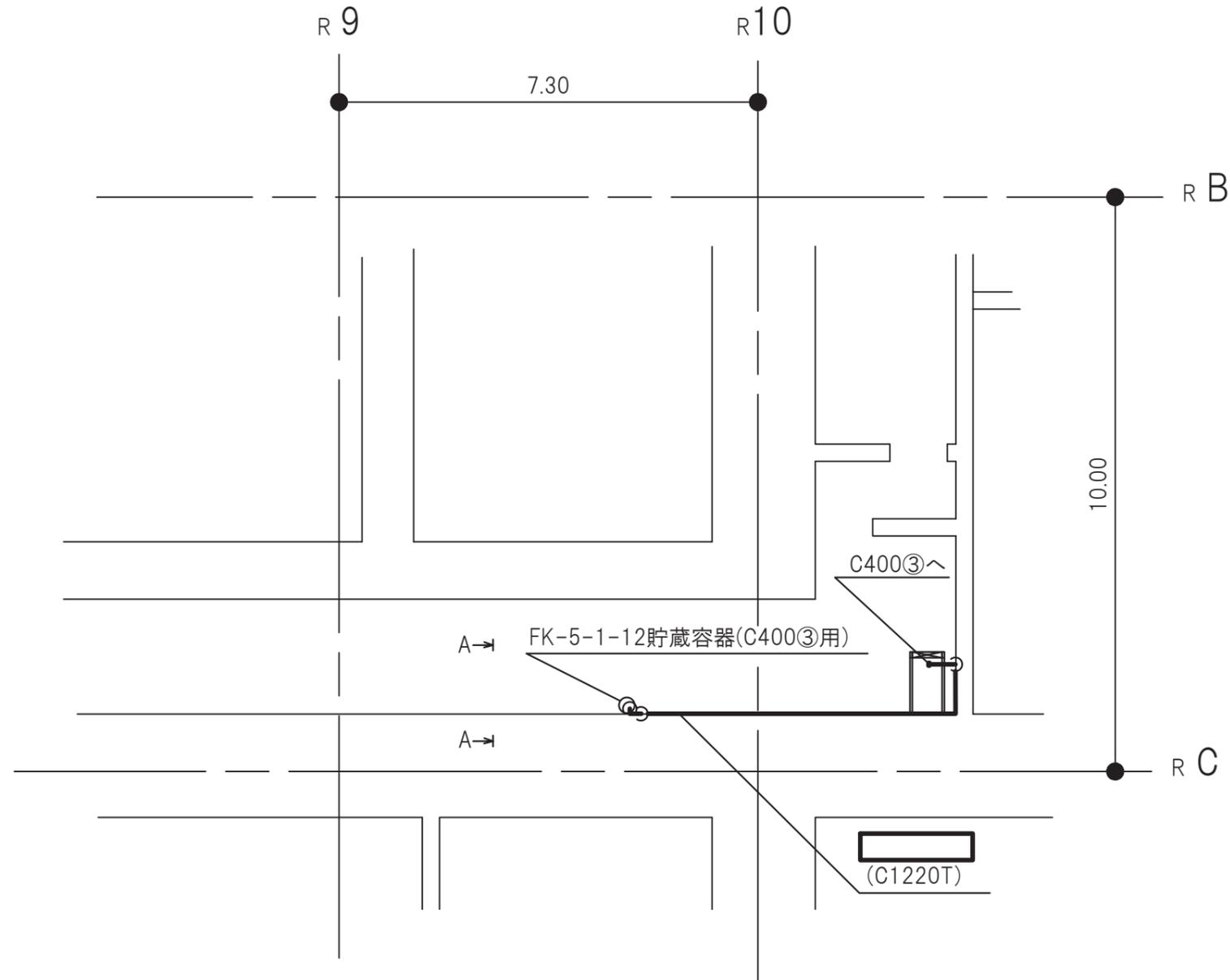
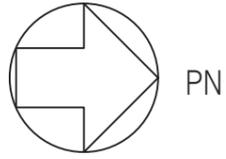
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0420



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-233図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S753用) |
| 東北電力株式会社 | |



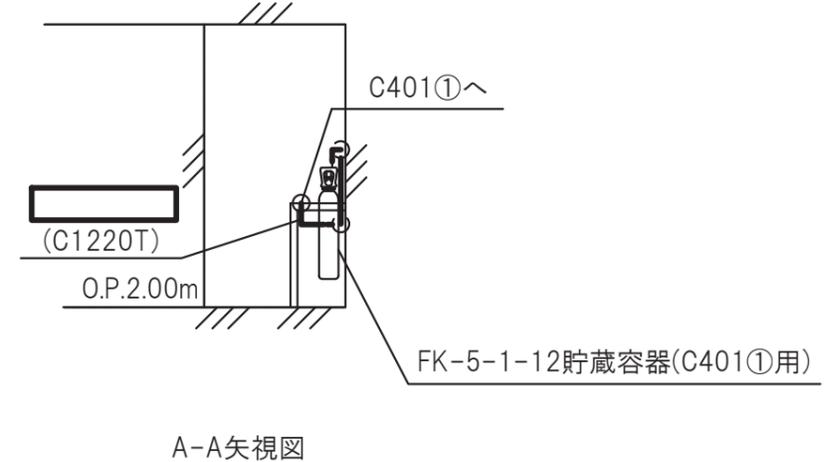
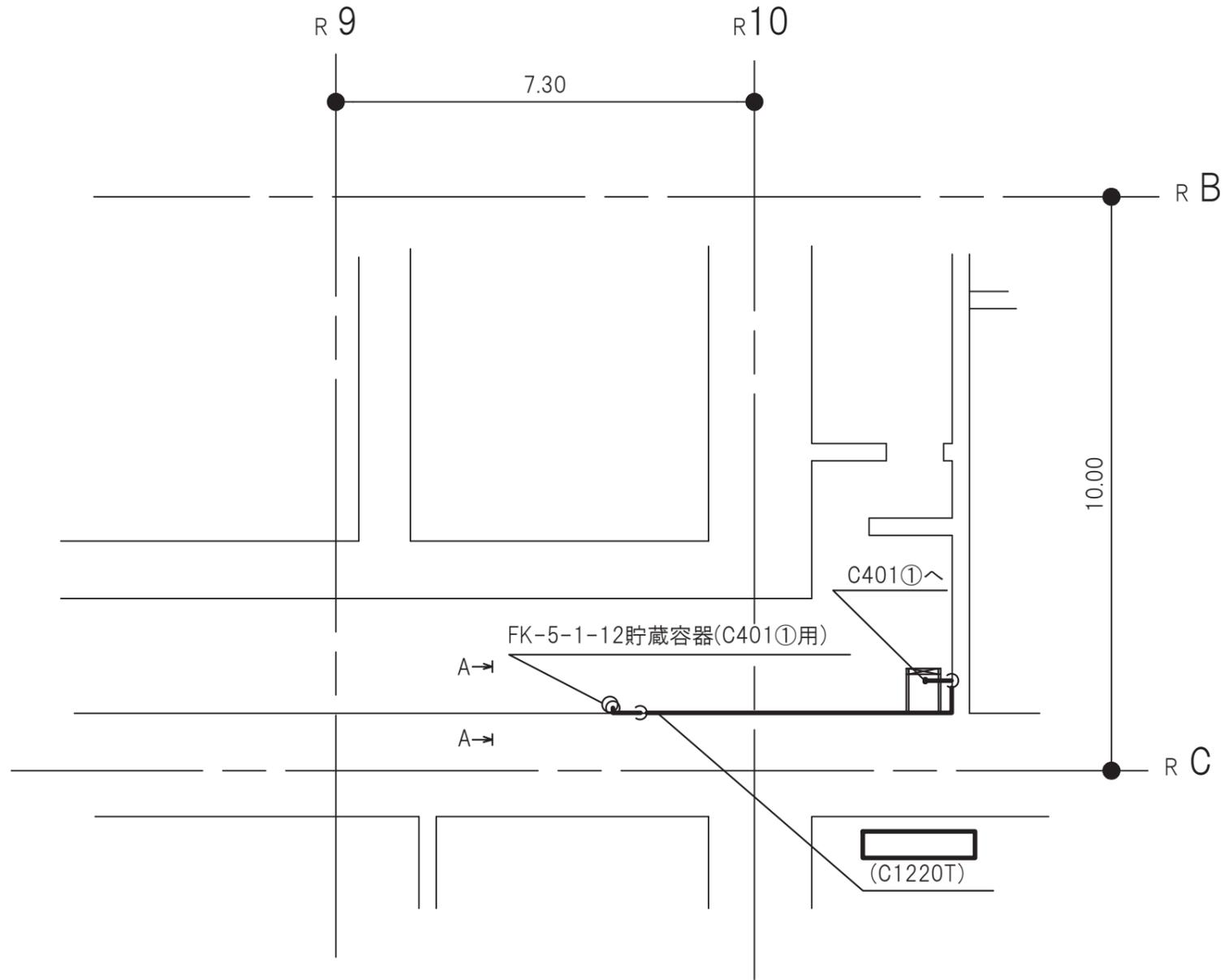
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

原子炉建屋 O.P.2.00(m)

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-234図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C400③用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

OX01



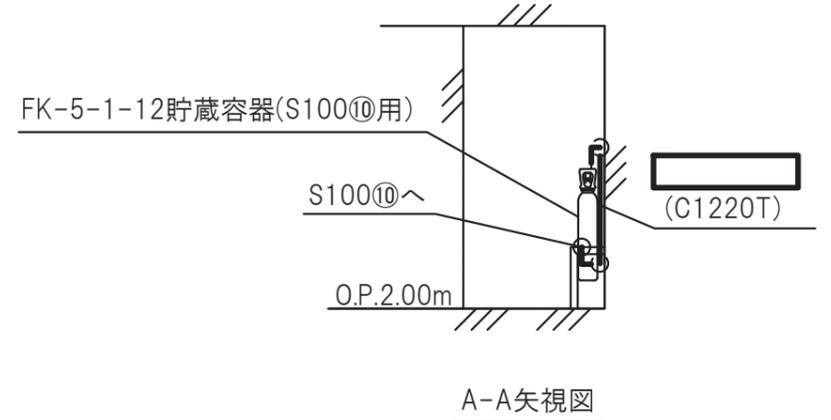
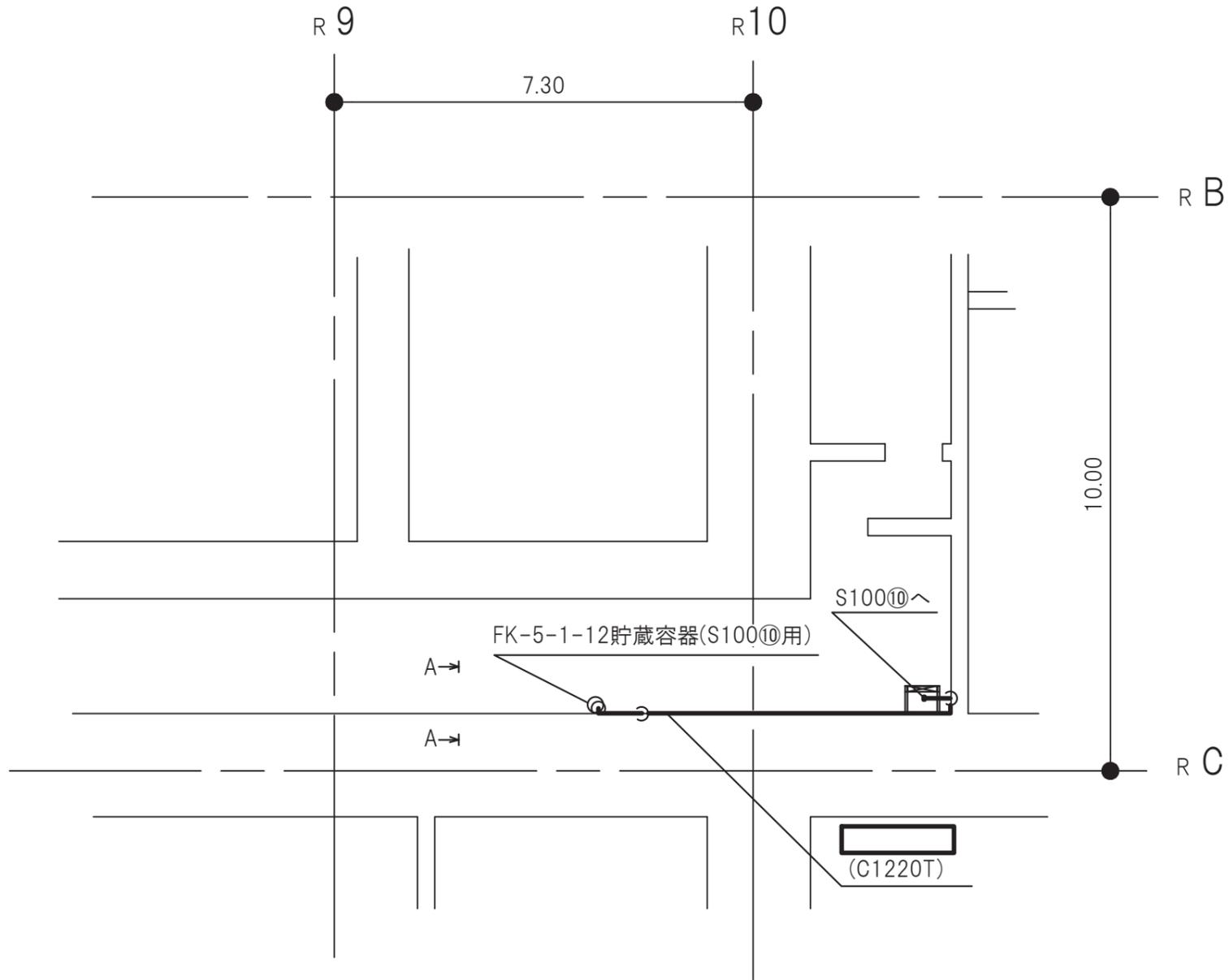
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

原子炉建屋 O.P.2.00(m)

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-235図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C401①用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

OX01



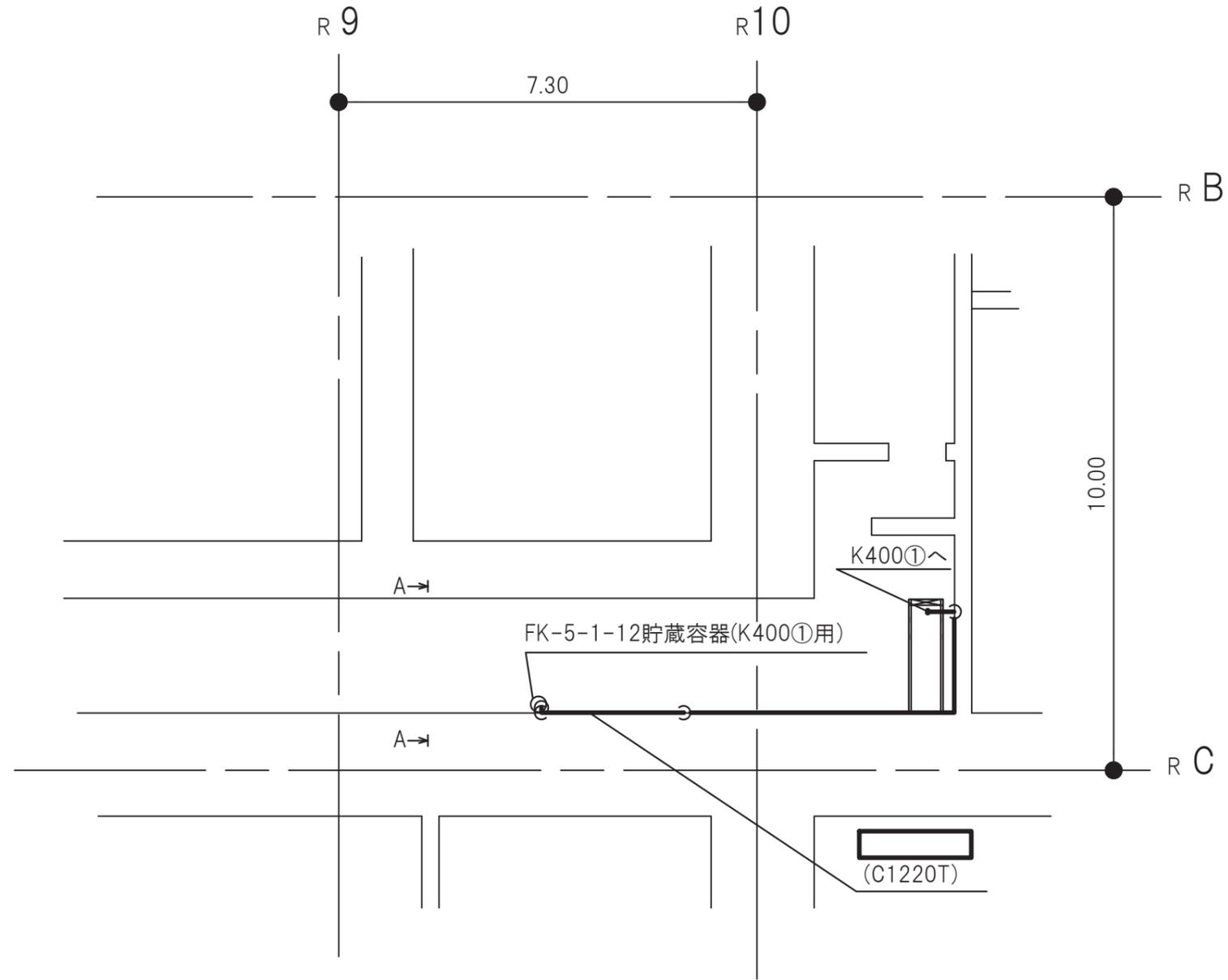
原子炉建屋 O.P.2.00(m)

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

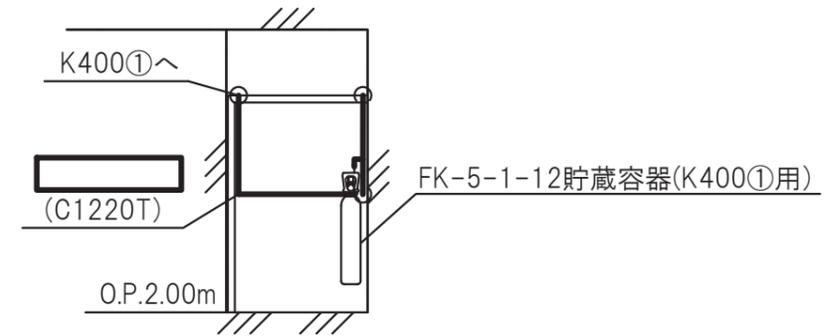
| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-236図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S100⑩用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

OX01



原子炉建屋 O.P.2.00(m)



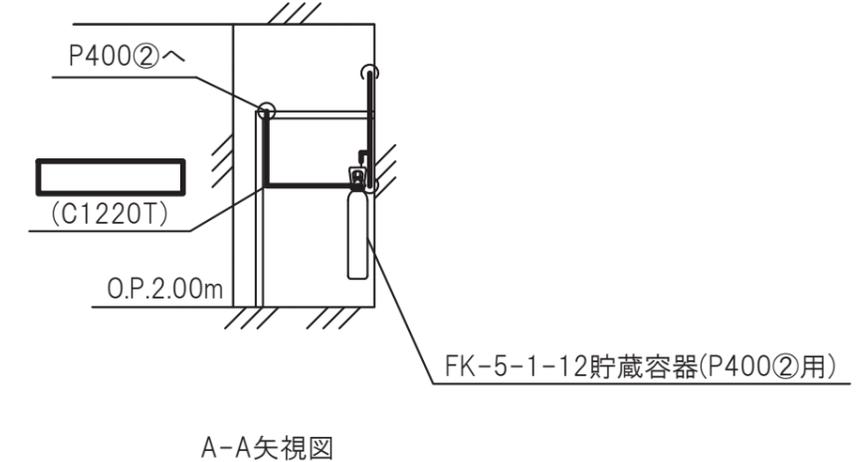
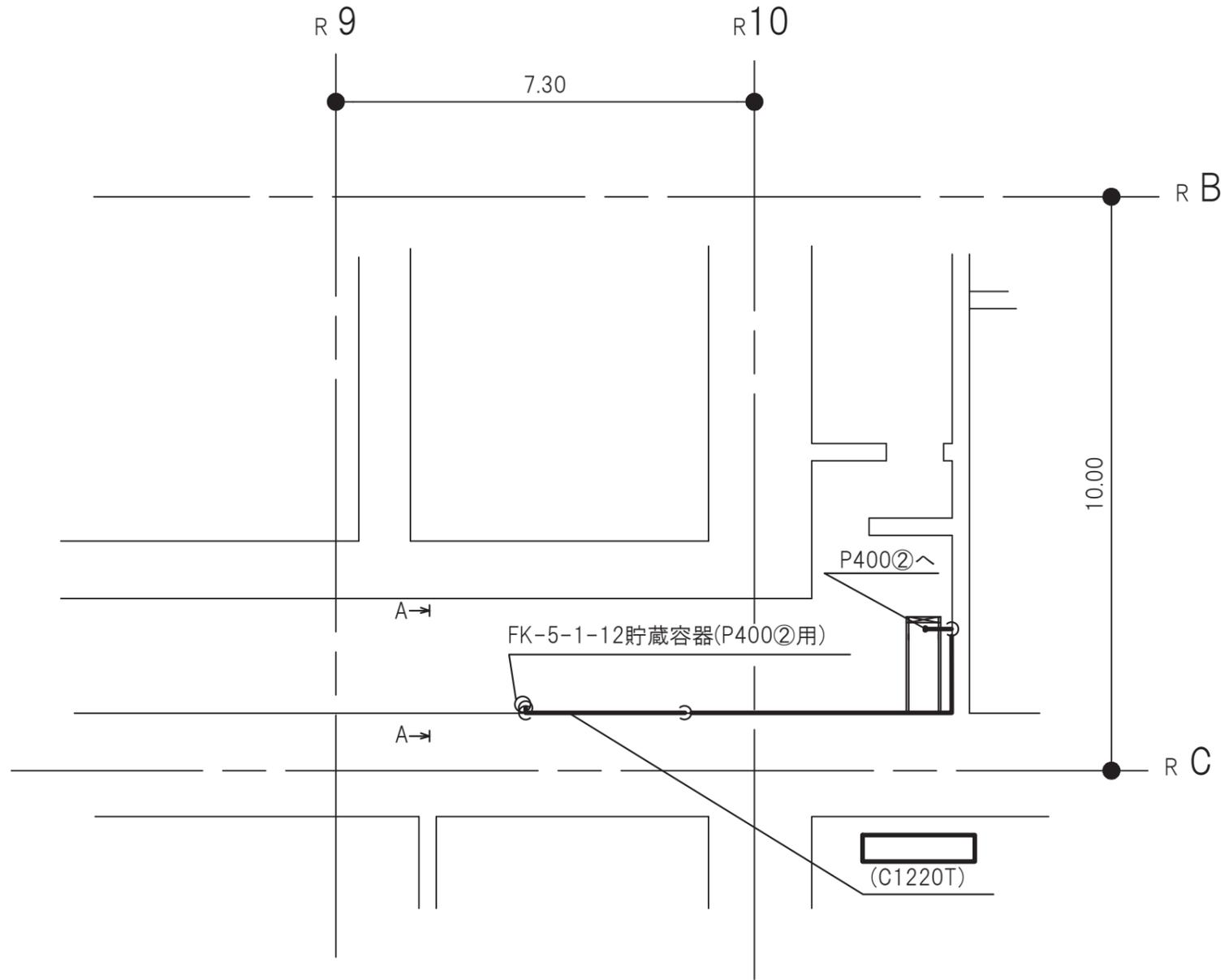
A-A矢視図

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-237図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K400①用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0X01



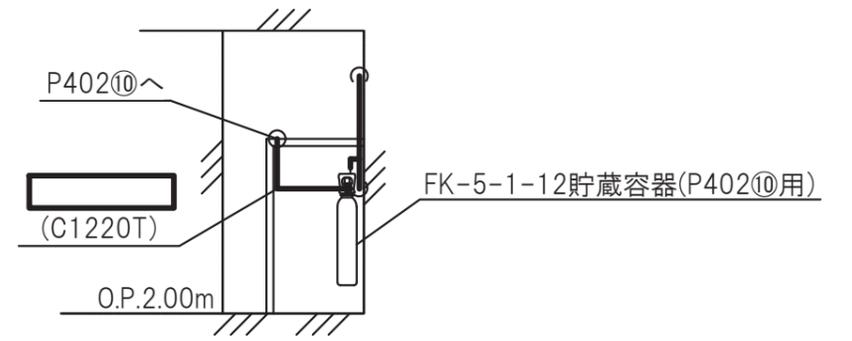
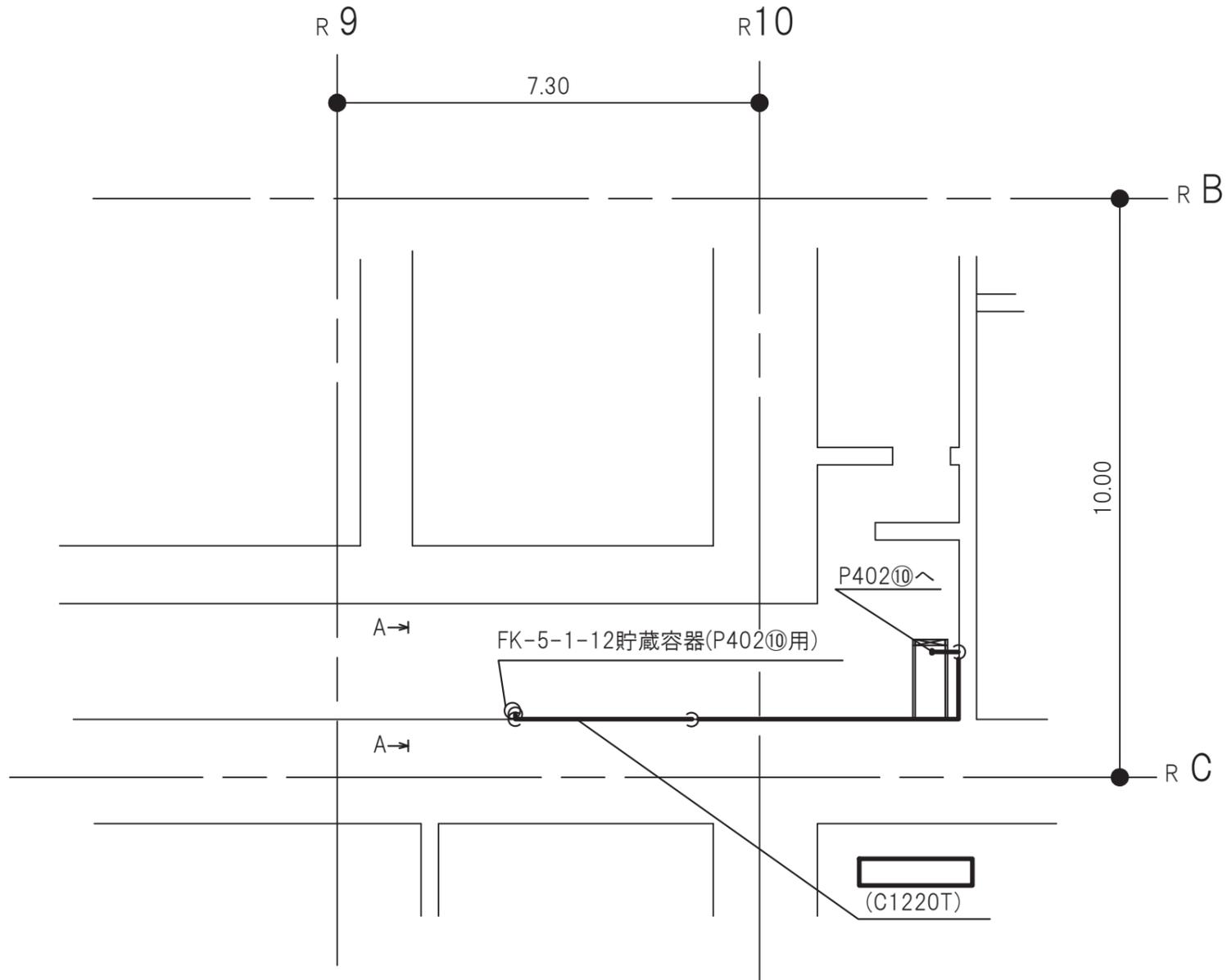
原子炉建屋 O.P.2.00(m)

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-238図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P400②用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0X01



A-A矢視図

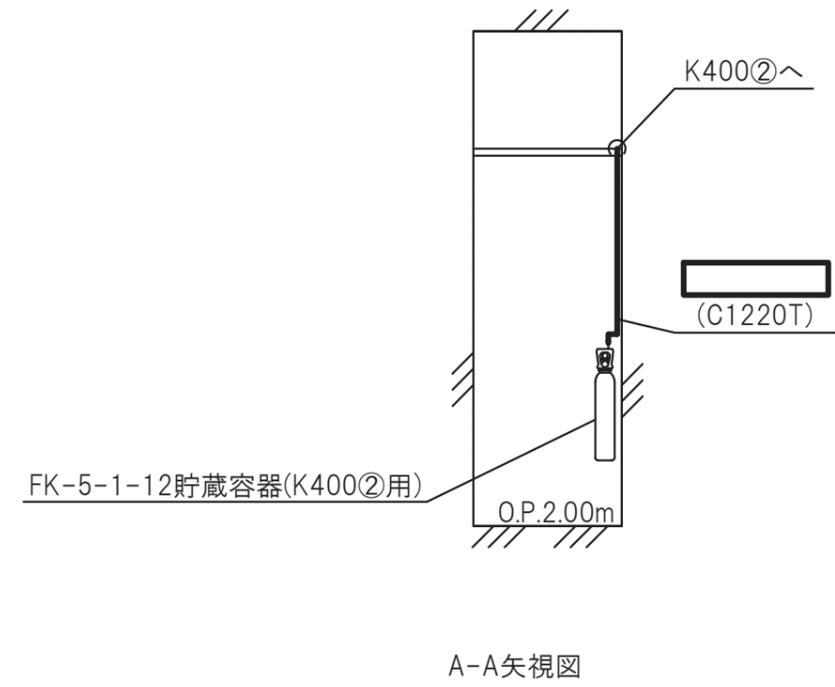
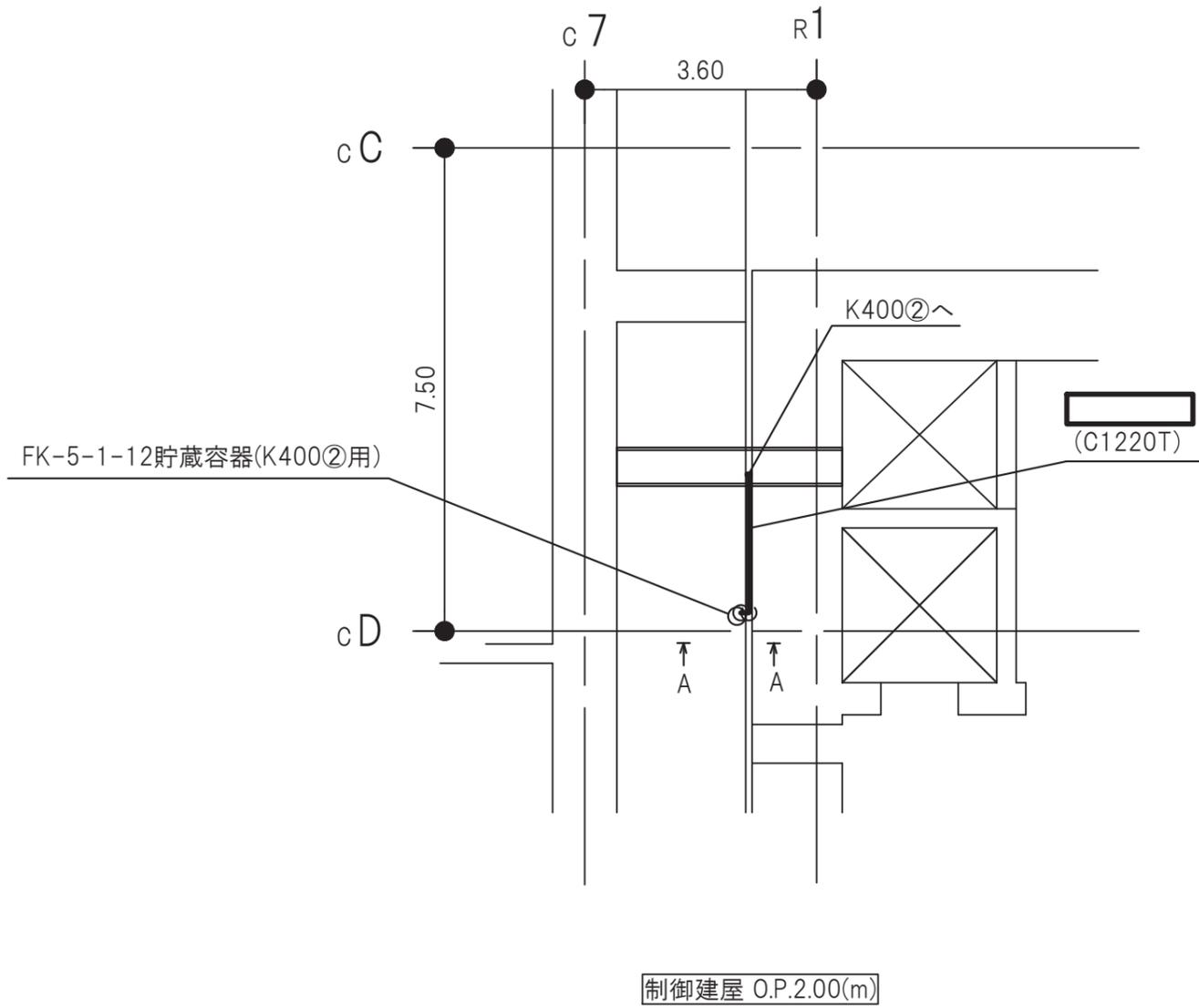
原子炉建屋 O.P.2.00(m)

注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 原子炉建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-239図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P402⑩用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

OX01

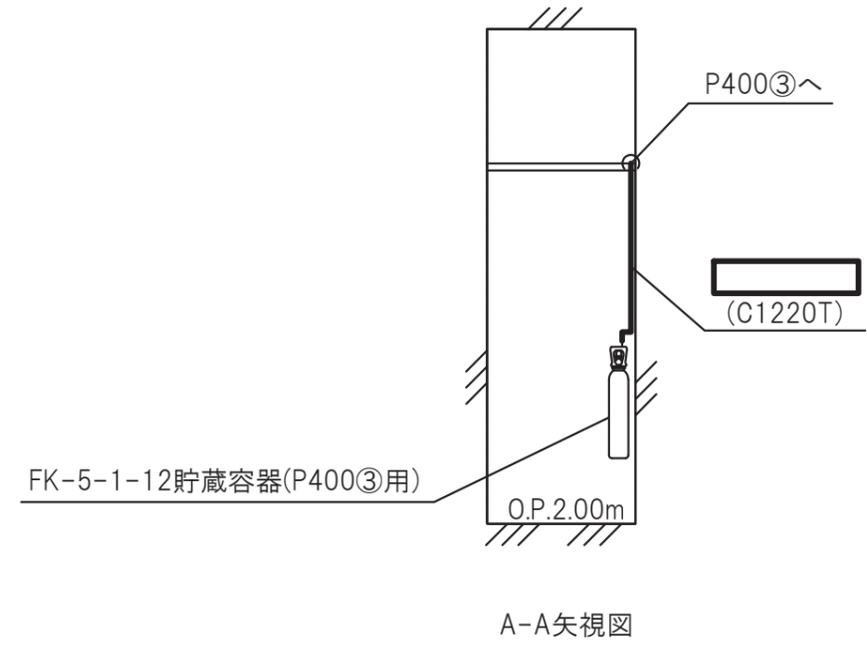
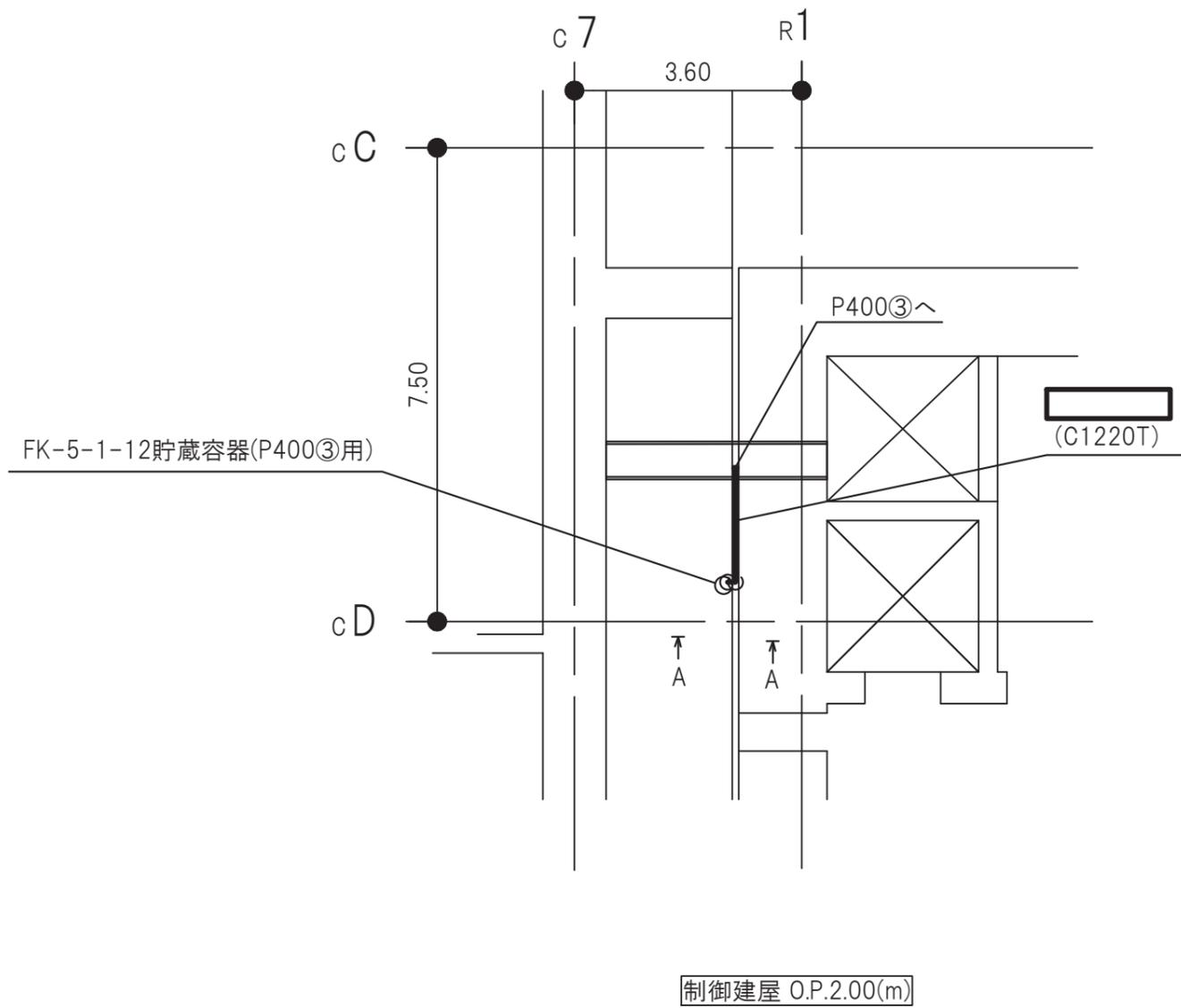


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-240図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(K400②用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0X01

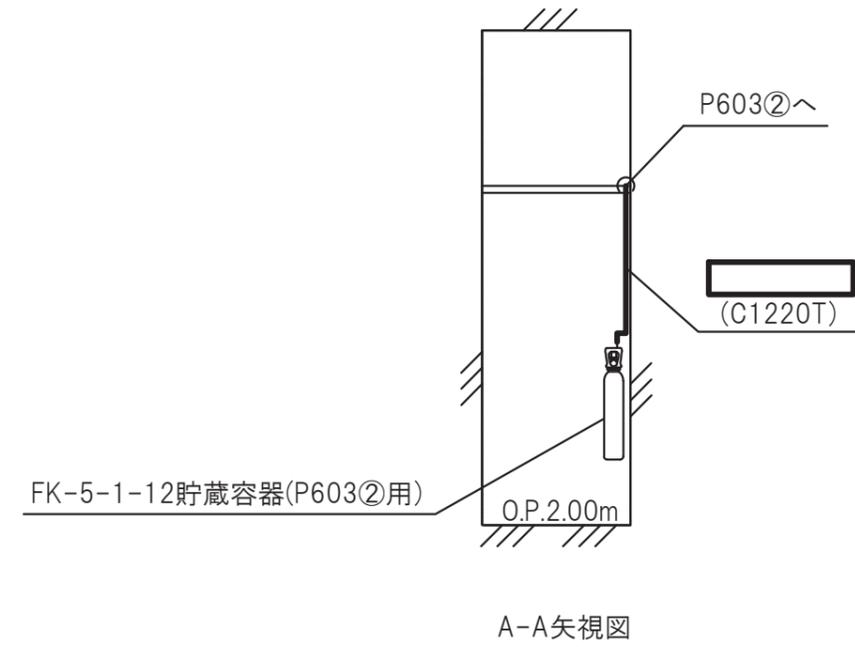
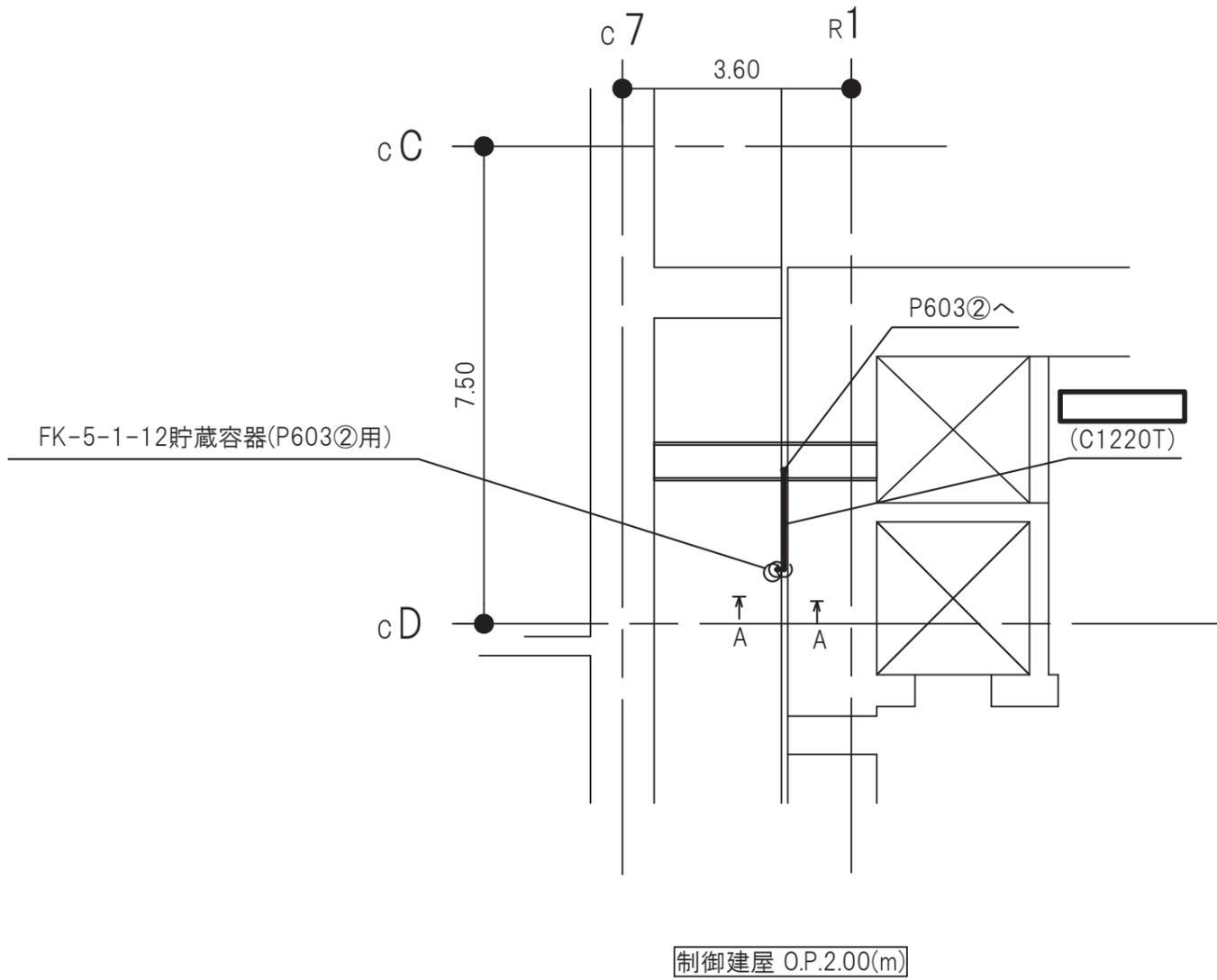
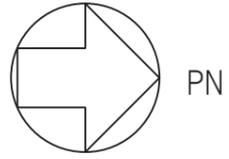


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-241図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P400③用) |
| 東北電力株式会社 | |

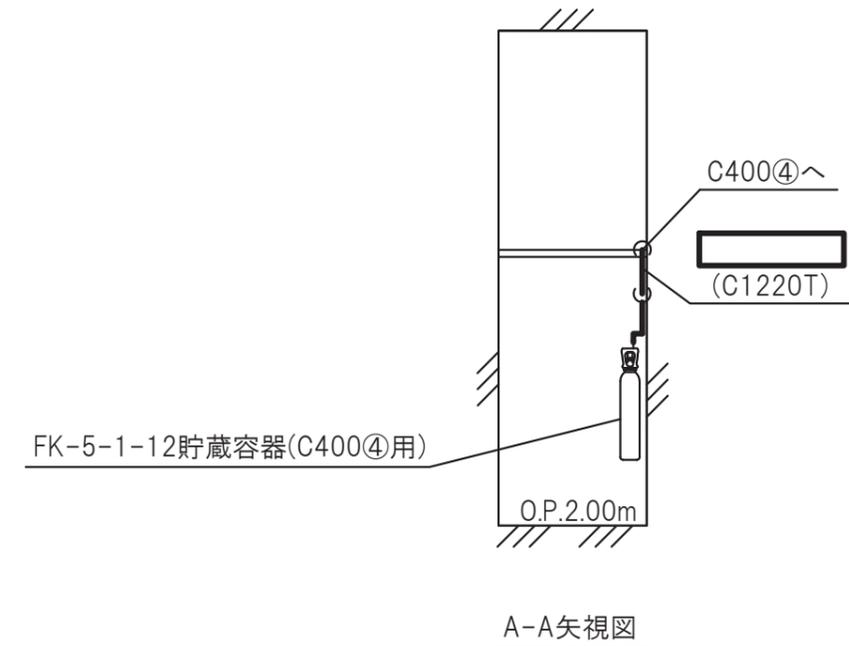
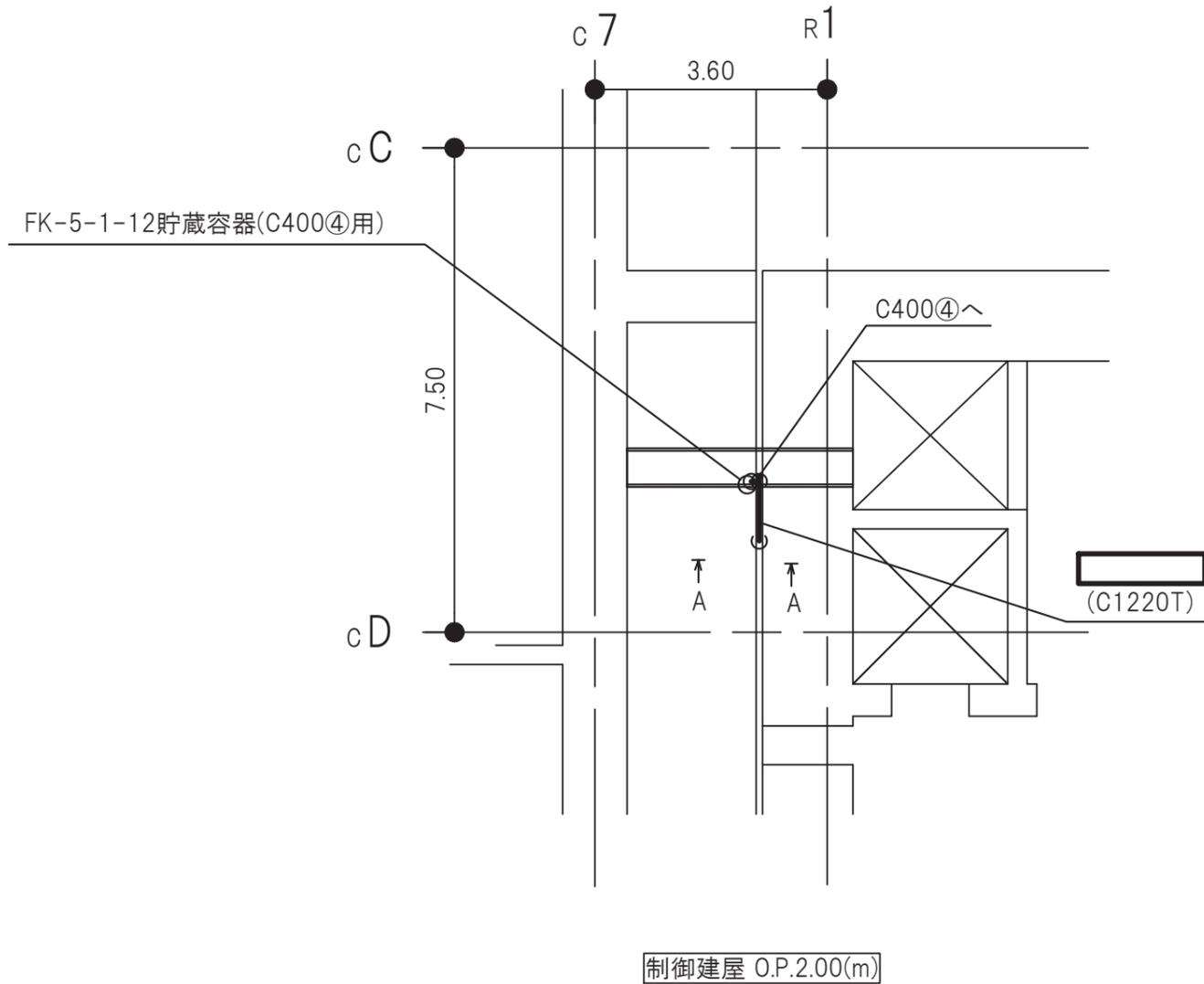
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

OX01



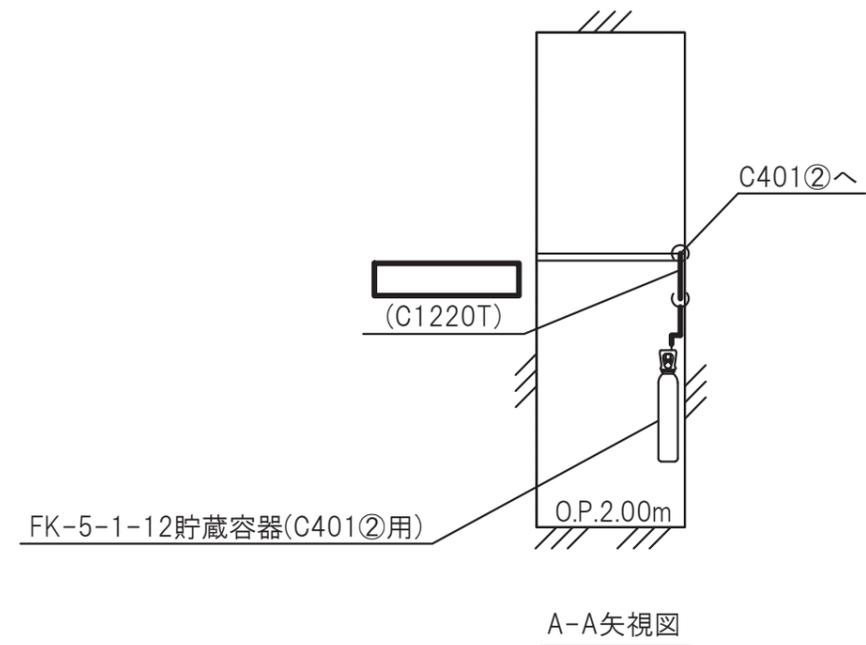
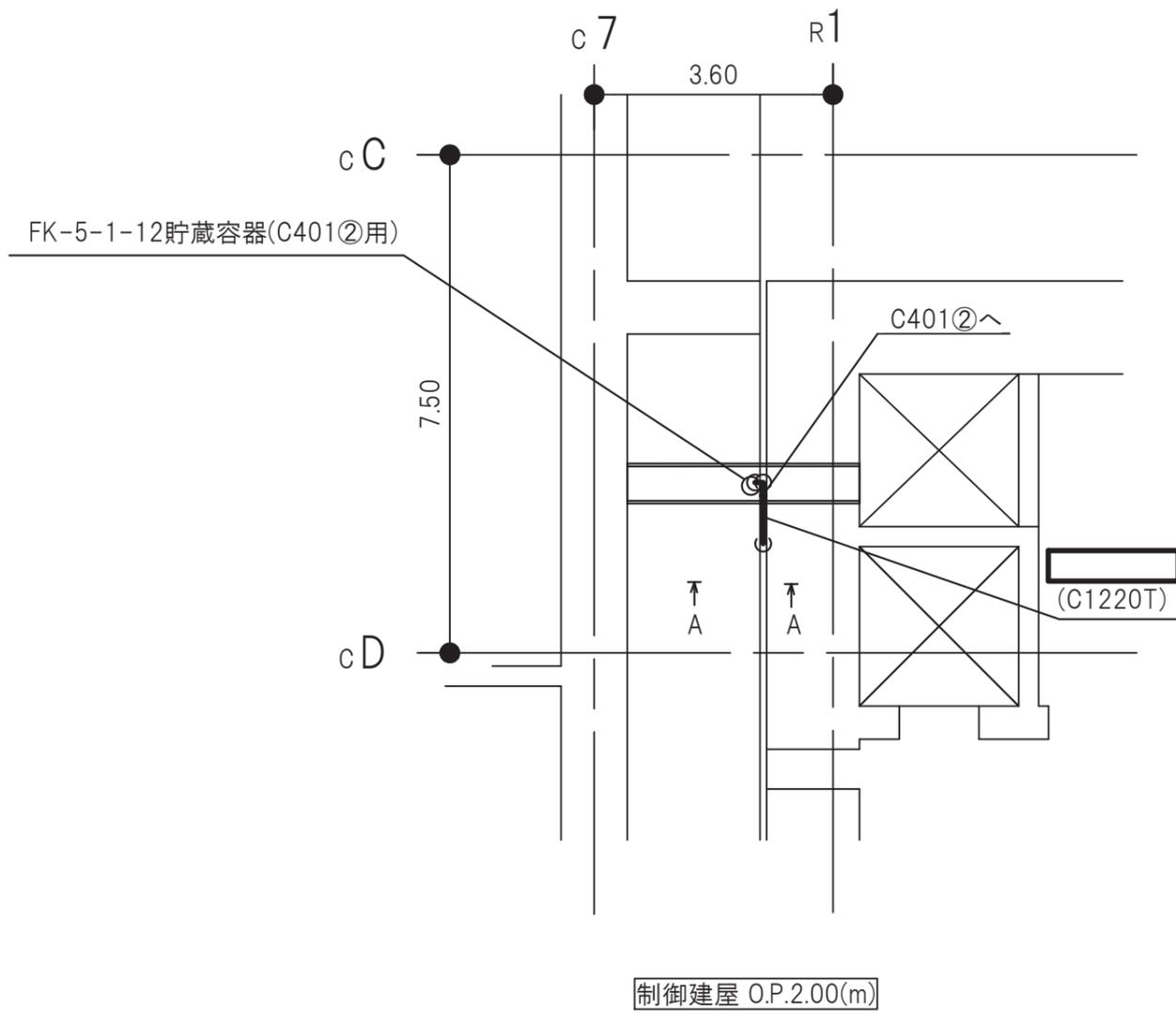
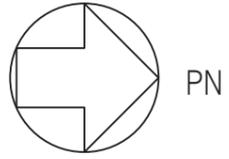
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-242図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P603②用) |
| 東北電力株式会社 | |



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-243図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C400④用) |
| 東北電力株式会社 | |

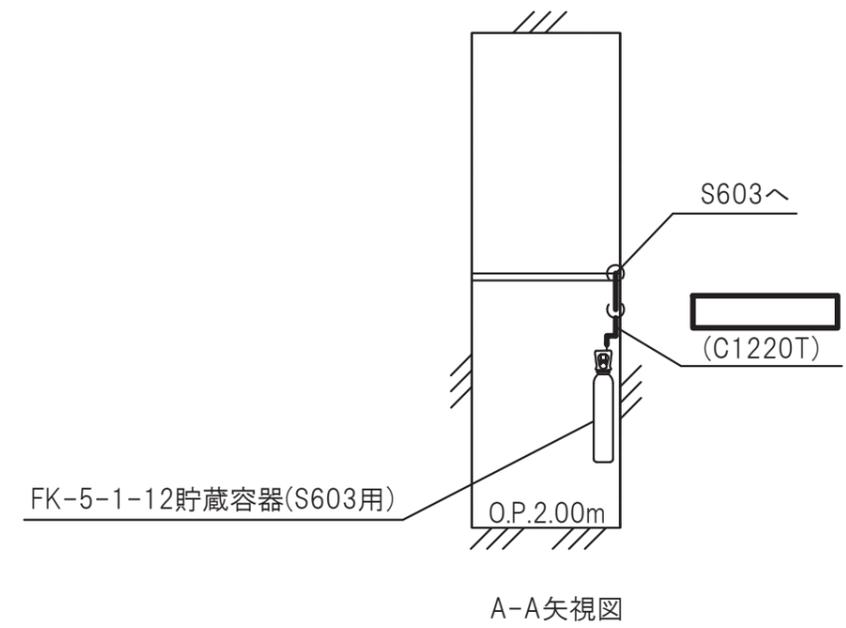
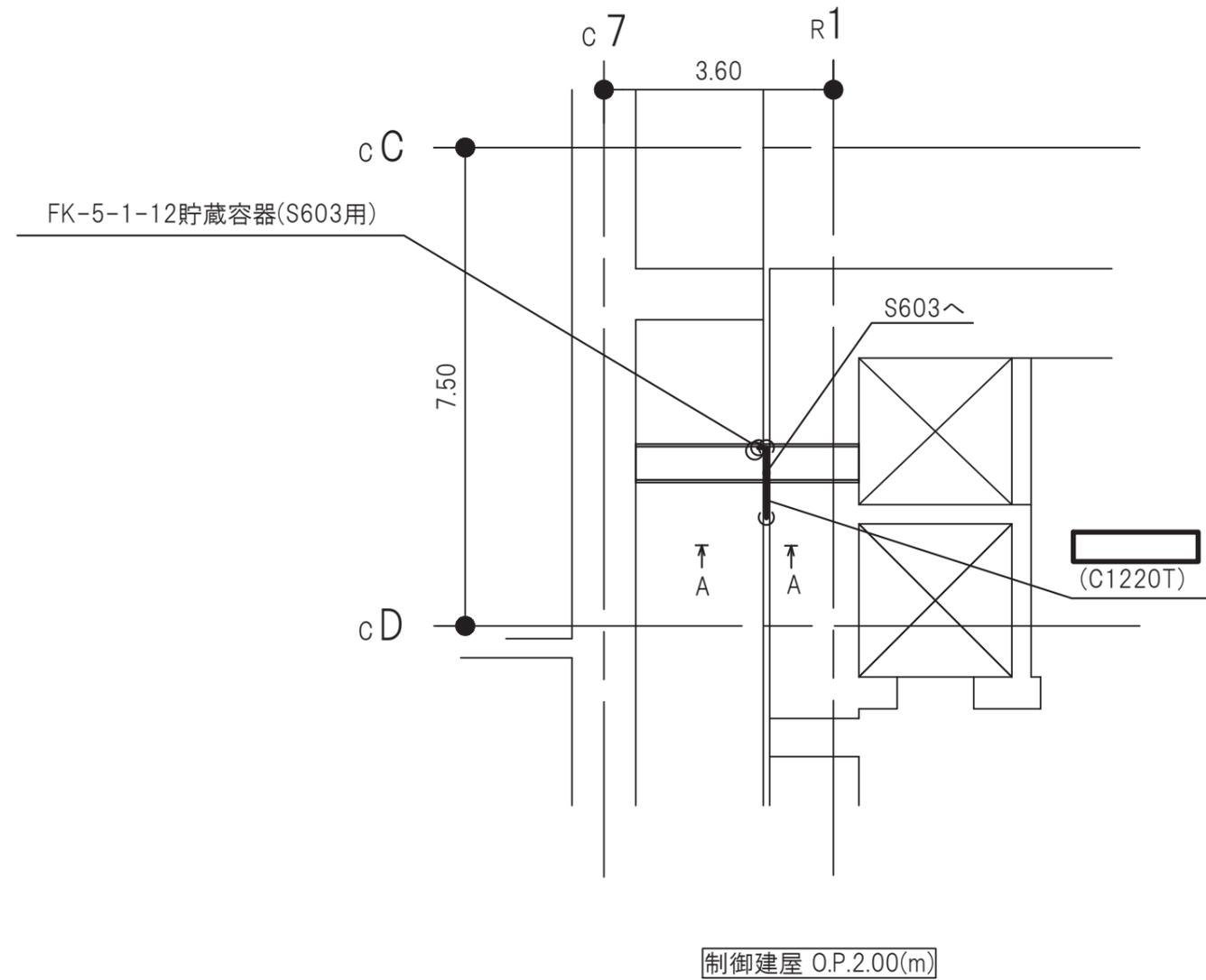


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-244図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(C401②用) |
| 東北電力株式会社 | |

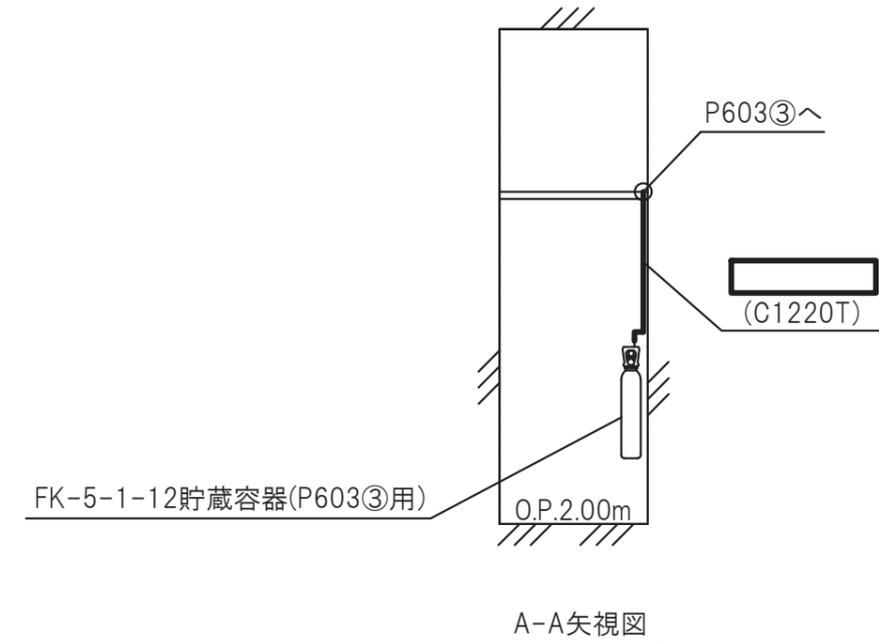
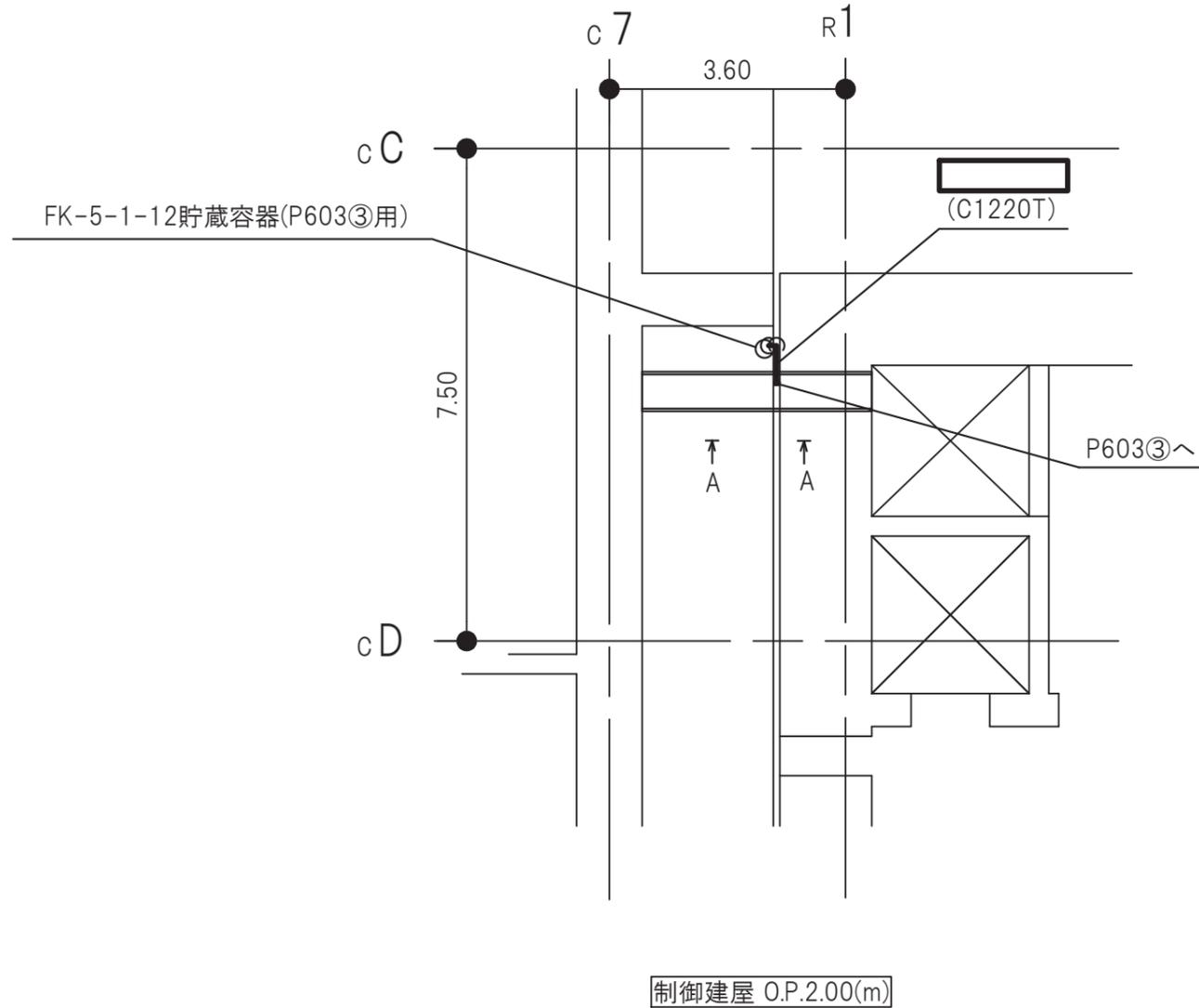
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

OX01



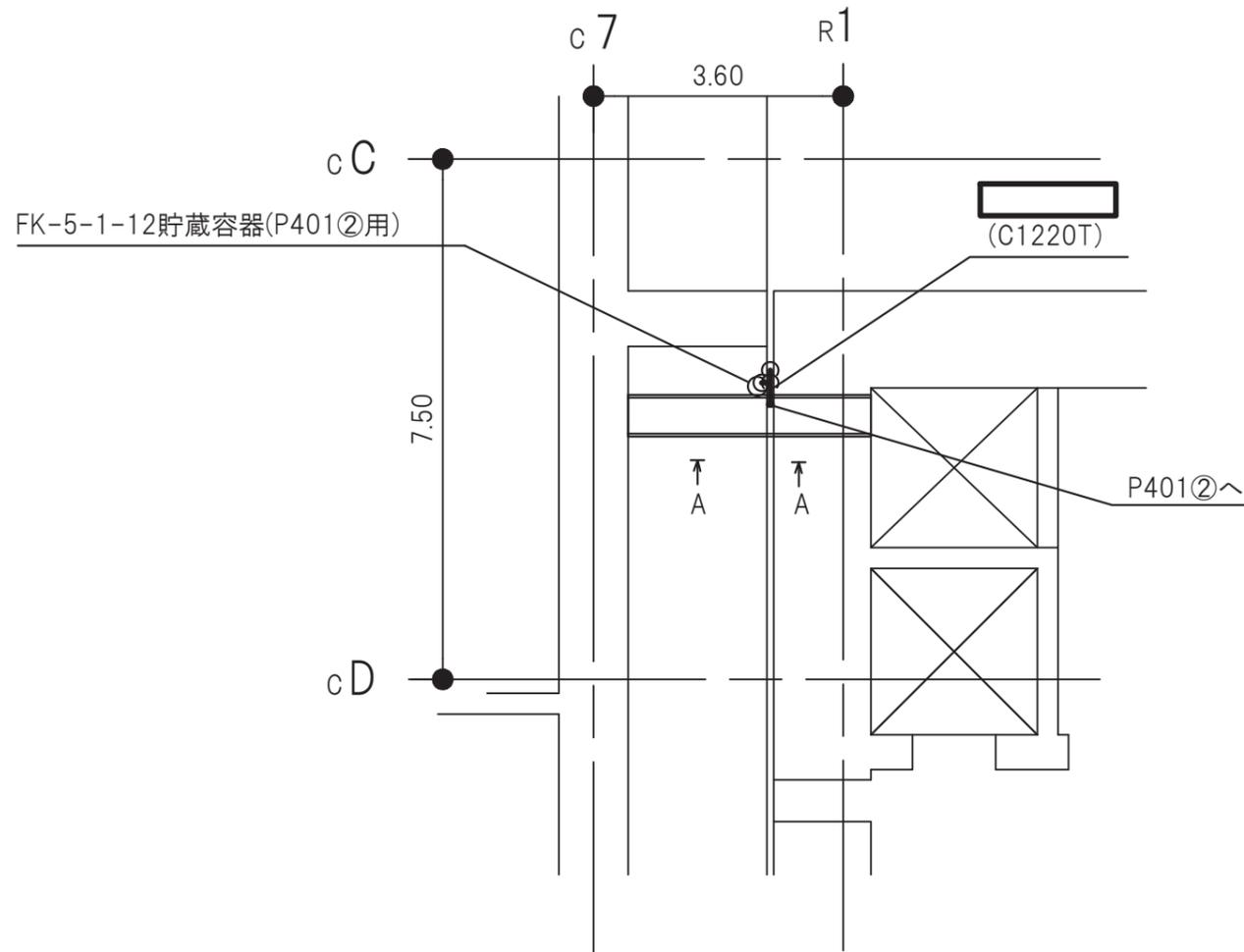
注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-245図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(S603用) |
| 東北電力株式会社 | |

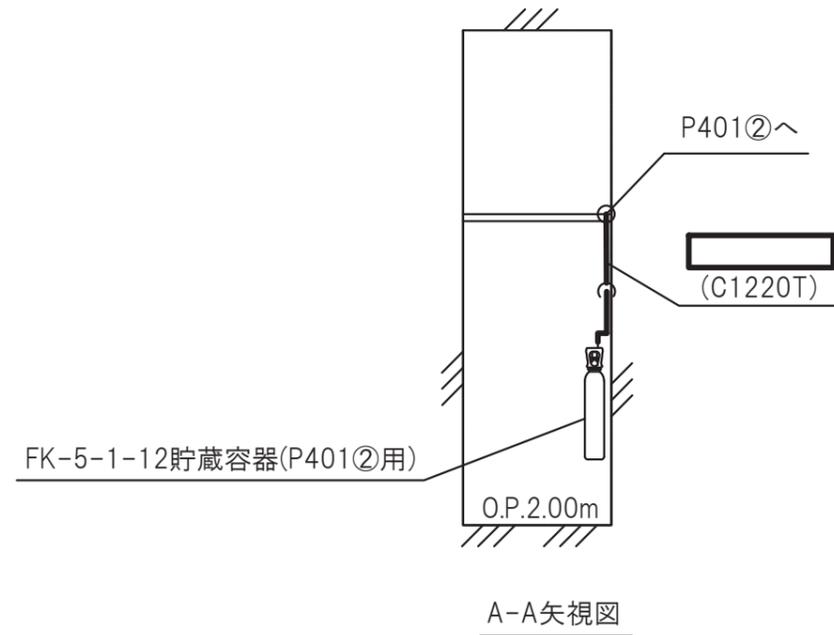


注1：太線は今回の申請範囲を示す。
 注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-246図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P603③用) |
| 東北電力株式会社 | |



制御建屋 O.P.2.00(m)



注1：太線は今回の申請範囲を示す。
注2：寸法はmを示す。

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 制御建屋 | |
| 工事計画認可申請 | 第9-3-2-3-4-247図 |
| 女川原子力発電所 第2号機 | |
| 名称 | ケーブルトレイ消火系に係る主配管の配置を明示した図面(P401②用) |
| 東北電力株式会社 | |

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

OX01

第 9-3-2-3-4-1 図～第 9-3-2-3-4-247 図 ケーブルトレイ消火系主配管の配置を明示した図面 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

[主配管]

FK-5-1-12 貯蔵容器～ケーブルトレイ

| 主要寸法 (mm) | | 許容範囲 | 根 拠 |
|--------------|----------------------|----------|-------------------|
| 外径 | <input type="text"/> | ±0.08 mm | JIS H 3300による材料公差 |
| 厚さ | <input type="text"/> | ±0.15 mm | 同上 |

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。